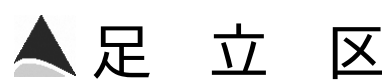


足立区高齢者等実態調査報告書

令和8年6月



目 次

第1章 調査概要.....	1
1 調査の目的	1
2 調査の対象等	1
3 調査件数	2
4 調査結果の表示方法	2
第2章 調査結果.....	3
1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	3
(1) あなたの基本情報について	3
(2) あなたのご家族や生活状況について	6
(3) からだを動かすことについて	15
(4) 食べることについて	22
(5) 毎日の生活について	36
(6) 地域での活動について	54
(7) 就労について	58
(8) たすけあいについて	59
(9) 健康について	64
(10) 将来の生活について	84
(11) 介護について	92
(12) 認知症について	99
(13) 高齢者福祉サービスや高齢者施策について	105
2 高齢者単身世帯実態調査	119
(1) あなたの基本情報について	119
(2) あなたの生活状況について	122
(3) からだを動かすことについて	125
(4) 食べることについて	128
(5) 毎日の生活について	134
(6) 地域での活動について	144
(7) 就労について	149
(8) たすけあいについて	150
(9) 健康について	154
(10) 将来の生活について	158
(11) 介護について	164
(12) 認知症について	167
(13) 高齢者福祉サービスや高齢者施策について	169
3 要介護認定者実態調査	175
(1) あなたの基本情報について	175

(2) あなたのご家族や生活状況について	179
(3) 食べることについて	182
(4) 毎日の生活について	186
(5) たすけあいについて	189
(6) 健康について	191
(7) 将来の生活について	197
(8) 介護について	202
(9) 認知症について	213
(10) 高齢者福祉サービスや高齢者施策について	216
(11) 主な介護者について	220
4 在宅介護実態調査	227
(1) 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目【A票】	227
(2) 主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目【B票】	241
5 第2号被保険者調査	245
(1) あなたの基本情報について	245
(2) あなたのご家族や生活状況について	246
(3) 地域での活動について	246
(4) 就労について	250
(5) たすけあいについて	254
(6) 健康について	257
(7) 介護について	260
(8) 認知症について	261
(9) 高齢者福祉サービスや高齢者施策について	262
6 在宅サービス事業所調査	267
(1) 事業所の基本情報について	267
(2) サービス提供の状況について	273
(3) 地域や他機関との連携について	277
(4) 利用者からの声について	282
(5) サービスの質の向上について	283
(6) リスク管理について	288
(7) 人材確保について	292
(8) 業務効率化について	307
(9) その他（景況感、困難事例、要望など）	309
7 居宅介護支援事業所調査	319
(1) 事業所の基本情報について	319
(2) 地域や他機関との連携について	324
(3) サービスの質の向上について	326
(4) リスク管理について	333
(5) 人材確保について	337
(6) ケアマネジメントについて	346

(7) 業務効率化について	356
(8) その他（景況感、困難事例、要望など）	358
8 介護保険施設調査	365
(1) 事業所の基本情報について	365
(2) 入居・利用状況について	371
(3) 地域や他機関との連携について	382
(4) 利用者からの声について	384
(5) サービスの質の向上について	386
(6) リスク管理について	390
(7) 人材確保について	394
(8) 業務効率化について	412
(9) その他（景況感、困難事例、要望など）	414
9 有料老人ホーム・軽費老人ホーム施設調査	423
(1) 事業所の基本情報について	423
(2) 入居・利用状況について	430
(3) 地域や他機関との連携について	443
(4) 利用者からの声について	445
(5) サービスの質の向上について	447
(6) リスク管理について	451
(7) 人材確保について	455
(8) 業務効率化について	472
(9) その他（景況感、困難事例、要望など）	474
10 サービス付き高齢者向け住宅調査	483
(1) 事業所の基本情報について	483
(2) サービス提供の状況について	486
(3) 入居・利用状況について	491
(4) 地域や他機関との連携について	504
(5) 利用者からの声について	506
(6) サービスの質の向上について	509
(7) リスク管理について	510
(8) 人材確保について	514
(9) 業務効率化について	529
(10) その他（景況感、困難事例、要望など）	531
資料編（調査票）	544

第1章 調査概要

1 調査の目的

高齢者等実態調査は、足立区における高齢者等の生活実態や介護ニーズ、介護サービス提供体制の現状等を把握し、今後の高齢者施策及び介護保険制度運営の基礎資料とすることを目的とする。

2 調査の対象等

調査名		対象者	実施時期	調査方法
区民 対象 調査	1 介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査	65歳以上の一般高齢者及び要支援認定者	令和7年 10月31日 ～ 令和7年 12月1日	郵送調査
	2 高齢者単身世帯実態調査	75歳以上の単身高齢者		
	3 要介護認定者実態調査	要介護1～5の認定者		
	4 在宅介護実態調査	在宅生活中の要支援・要介護認定者 (期間中に認定の更新申請を行った者)	令和7年9月 ～ 令和7年12月	聞き取り調査
	5 第2号被保険者調査	55歳～64歳の第2号被保険者	令和7年 10月31日 ～ 令和7年 12月1日	WEB調査
事業所 対象 調査	6 在宅サービス事業所調査	在宅サービス提供事業者	令和7年 10月31日 ～ 令和7年 12月1日	郵送調査
	7 居宅介護支援事業所調査	居宅介護支援事業所		
	8 介護保険施設調査	介護保険施設		
	9 有料老人ホーム・軽費老人 ホーム施設調査	有料老人ホーム・軽費老人ホーム施設		
	10 サービス付き高齢者向け 住宅調査	サービス付き高齢者向け住宅		

3 調査件数

調査名		上段:今回 中段:前回(括弧内) 下段:前回との差			
		発送数	回収数	有効票	回収率
区民対象調査	1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	7,500 (7,500)	4,425 (4,196)	4,410 (4,196)	59.0% (55.9%)
		±0	+229	+214	+3.1ポイント
	2 高齢者単身世帯実態調査	2,500 (2,500)	1,472 (1,485)	1,467 (1,484)	58.9% (59.4%)
		±0	-13	-17	-0.5ポイント
	3 要介護認定者実態調査	5,000 (5,000)	2,551 (2,442)	2,546 (2,440)	51.0% (48.8%)
		±0	+109	+106	+2.2ポイント
	4 在宅介護実態調査	931 (852)	707 (683)	674 (679)	75.9% (80.2%)
		+79	+24	-5	-4.3ポイント
	5 第2号被保険者調査	2500 (1,400)	1,240 (424)	1,240 (424)	49.6% (30.3%)
		+1,100	+816	+816	+19.3ポイント
事業所対象調査	6 在宅サービス事業所調査	805 (758)	452 (449)	452 (449)	56.1% (59.2%)
		+47	+3	+3	-3.1ポイント
	7 居宅介護支援事業所調査	191 (193)	150 (142)	150 (142)	78.5% (73.6%)
		-2	+8	+8	+4.9ポイント
	8 介護保険施設調査	49 (45)	37 (34)	37 (34)	75.5% (75.6%)
		+4	+3	+3	-0.1ポイント
	9 有料老人ホーム・軽費老人ホーム施設調査	65 (58)	24 (31)	24 (31)	36.9% (53.4%)
		+7	-7	-7	-16.5ポイント
	10 サービス付き高齢者向け住宅調査	36 (37)	19 (22)	19 (22)	52.8% (59.5%)
		-1	-3	-3	-6.7ポイント

4 調査結果の表示方法

- ① 回答は各質問の回答者数（n）を基礎とした百分率（％）で示している。
- ② 回答比率はすべて百分率（％）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出している。したがって、合計が100.0%にならない場合がある。
- ③ 複数回答の場合、回答の合計比率が100.0%を超える場合がある。
- ④ クロス集計の分析軸の項目では基本属性が不明だった「無回答」の方は除いて表示している。したがって、分析軸に表示している各項目の回答数合計は、全体の回答数と一致しない。
（例：地区が無回答の場合、クロス集計の分析軸には北西、北東、南西、南東、千住のみ表示）
- ⑤ 図表として示したもののうち、質問文・選択肢の文章を、意味が変わらない程度に簡略化してある場合がある。

1 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

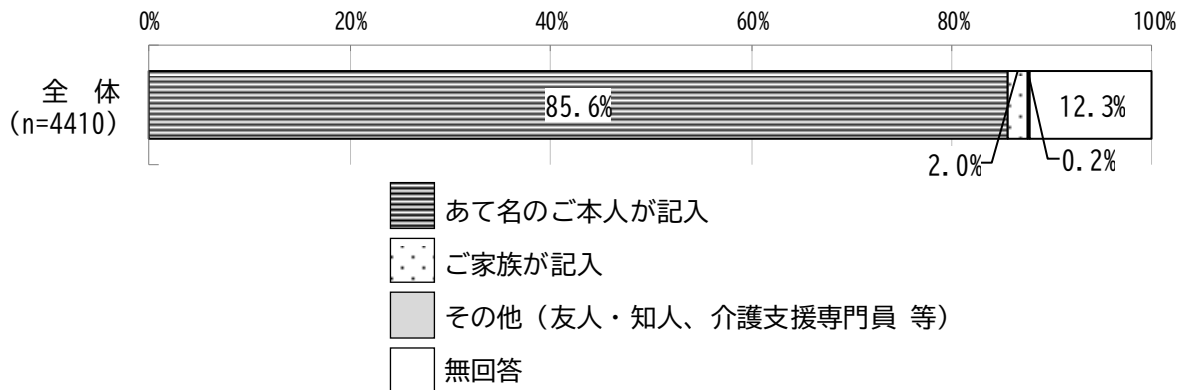
第2章 調査結果

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

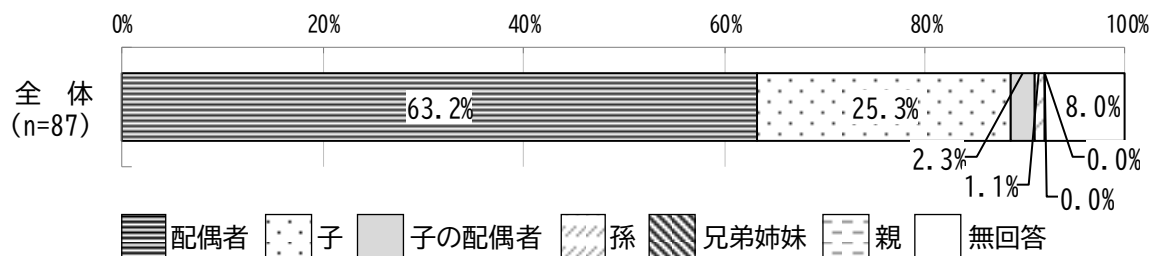
(1) あなたの基本情報について

この調査票を記入されたのはどなたですか（1つに○）。

回答者は、「あて名のご本人」が85.6%と最も高く、「ご家族」が2.0%、「その他（友人・知人、介護支援専門員等）」が0.2%となっている。

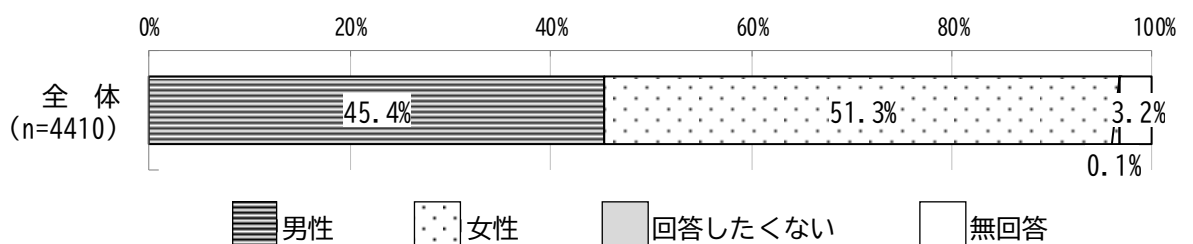


「ご家族」と回答した方の内訳をみると、「配偶者」が63.2%と最も高く、「子」が25.3%、「子の配偶者」が2.3%、「兄弟姉妹」が0.0%、「親」が1.1%、「孫」が0.0%となっている。



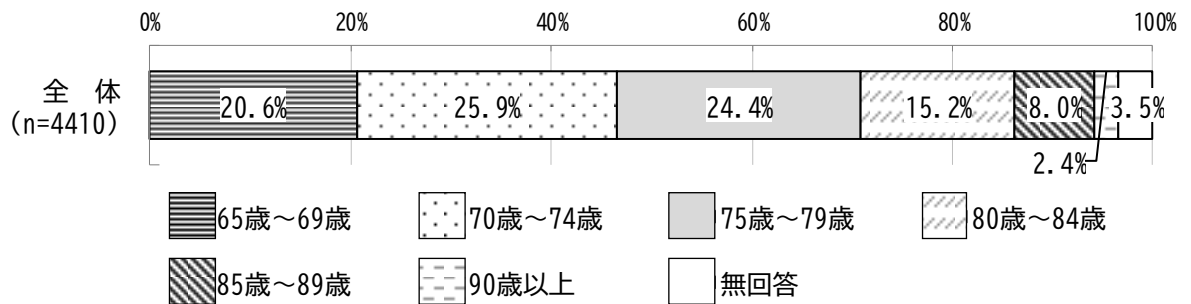
問1 (1) あなたの性別について、ご回答ください（1つに○）。

性別は、「男性」が45.4%、「女性」が51.3%、「回答したくない」が0.1%となっている。



問1（2） あなたの年齢について、ご回答ください（数字を記入）。

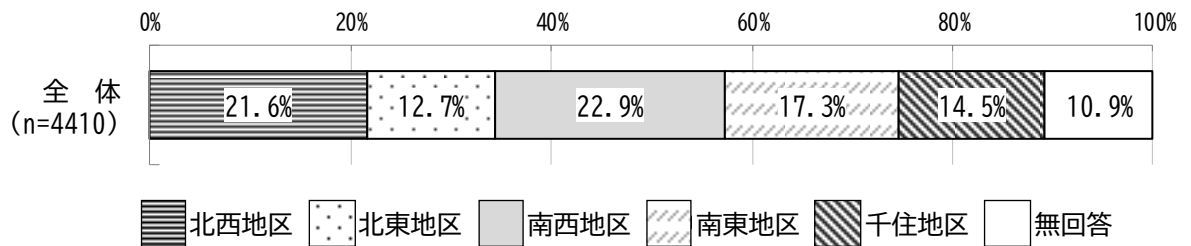
年齢は、「70-74 歳」が25.9%と最も高く、「75-79 歳」が24.4%、「65-69 歳」が20.6%、「80-84 歳」が15.2%、「85-89 歳」が8.0%、「90 歳以上」が2.4%となっている。



問1（3） あなたのお住まい（住所）について、ご回答ください（数字を記入）。

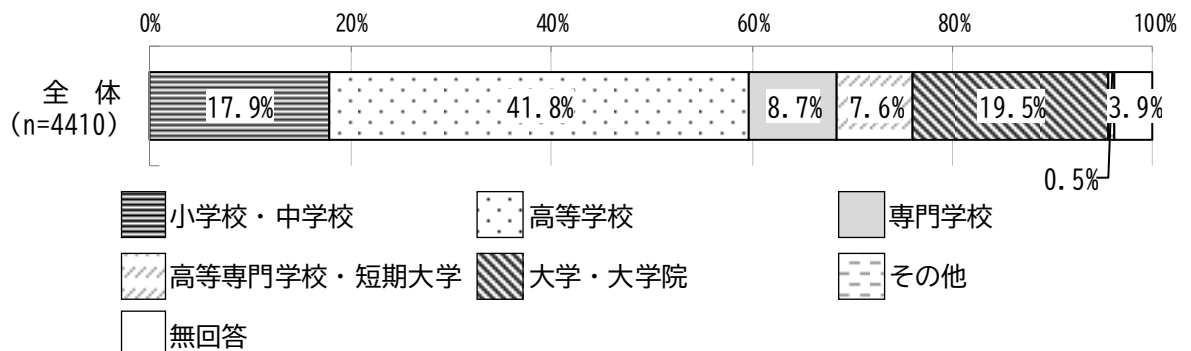
※ 「別紙：住所地一覧」から該当の番号を数字で記入

日常生活圏域でみると、「南西地区」が22.9%と最も高く、「北西地区」が21.6%、「南東地区」が17.3%、「千住地区」が14.5%、「北東地区」が12.7%となっている。



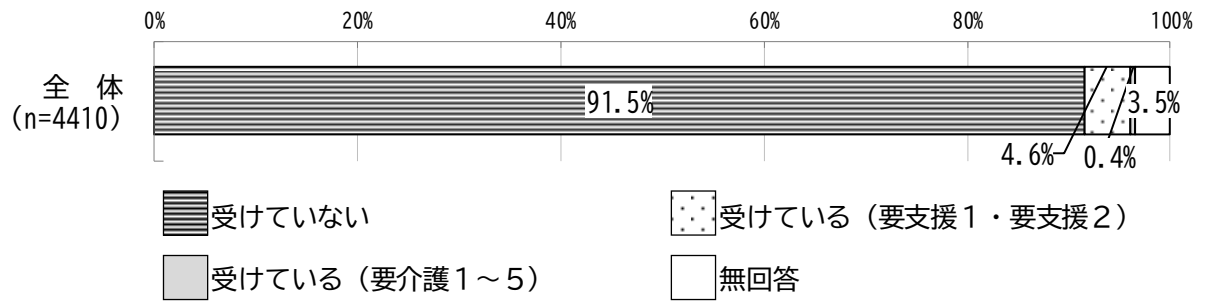
問1（4） あなたが最後に卒業（または中退）した学校について、ご回答ください（1つに○）。

最後に卒業した学校について、「高等学校」が41.8%と最も高く、「大学・大学院」が19.5%、「小学校・中学校」が17.9%、「専門学校」が8.7%、「高等専門学校・短期大学」が7.6%となっている。



問1 (5) あなたは現在、要介護認定を受けていますか(1つに○)。

要介護認定について、「受けていない」が91.5%と最も高く、「受けている(要支援1・要支援2)」が4.6%、「受けている(要介護1～5)」が0.4%となっている。



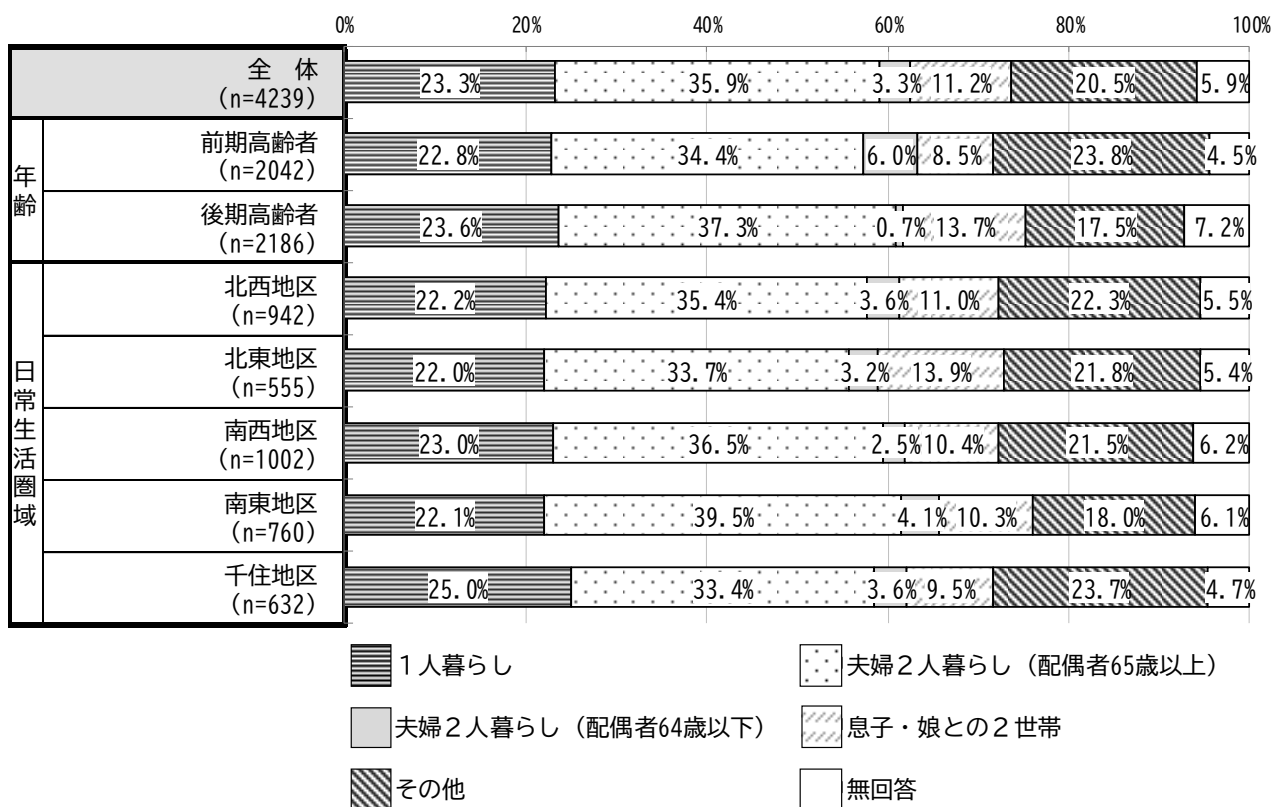
(2) あなたのご家族や生活状況について

問2 (1) 家族構成をお教えてください(1つに○)。

家族構成について、足立区全体では、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が35.9%と最も高く、「1人暮らし」が23.3%、「息子・娘との2世帯」が11.2%、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」が3.3%となっている。

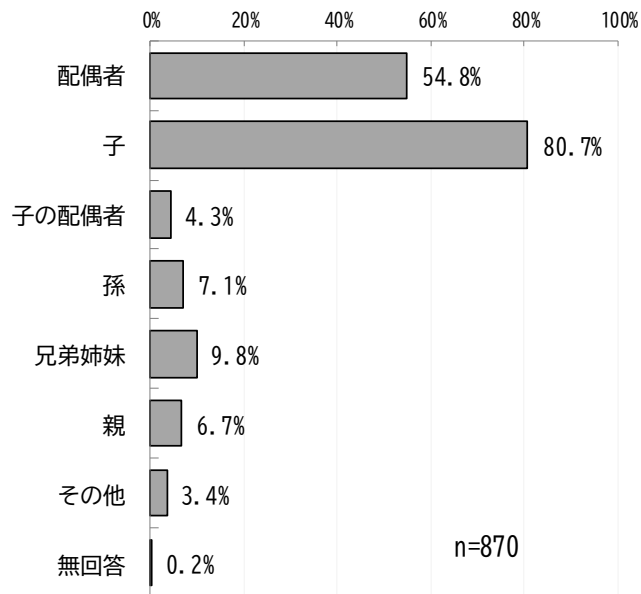
前期・後期別にみると、「息子・娘との2世帯」では、後期高齢者が13.7%と高く、前期高齢者が8.5%と低くなっている。

日常生活圏域別にみると、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」では、南東地区が39.5%と高く、千住地区が33.4%と低くなっている。



問2 (1) ① あなたと一緒に住まいのご家族はどなたですか（いくつでも○）。

家族構成で「その他」と回答した方の同居している家族について、「子」が80.7%と最も高く、「配偶者（夫または妻）」が54.8%、「兄弟・姉妹」が9.8%、「孫」が7.1%、「親」が6.7%、「子の配偶者」が4.3%となっている。

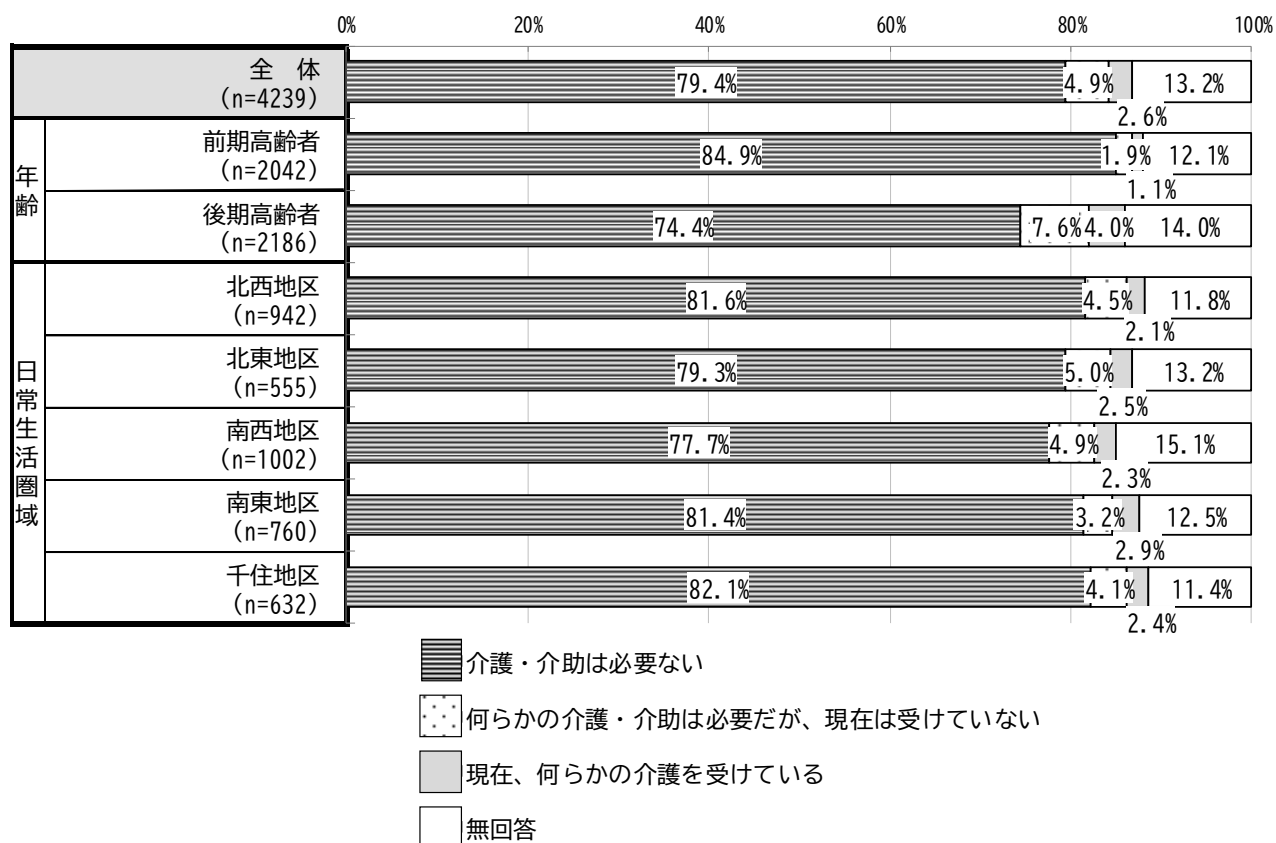


問2(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか(1つに○)。

普段の生活での介護・介助について、足立区全体では、「介護・介助は必要ない」が79.4%と最も高く、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が4.9%、「現在、何らかの介護を受けている」が2.6%となっている。

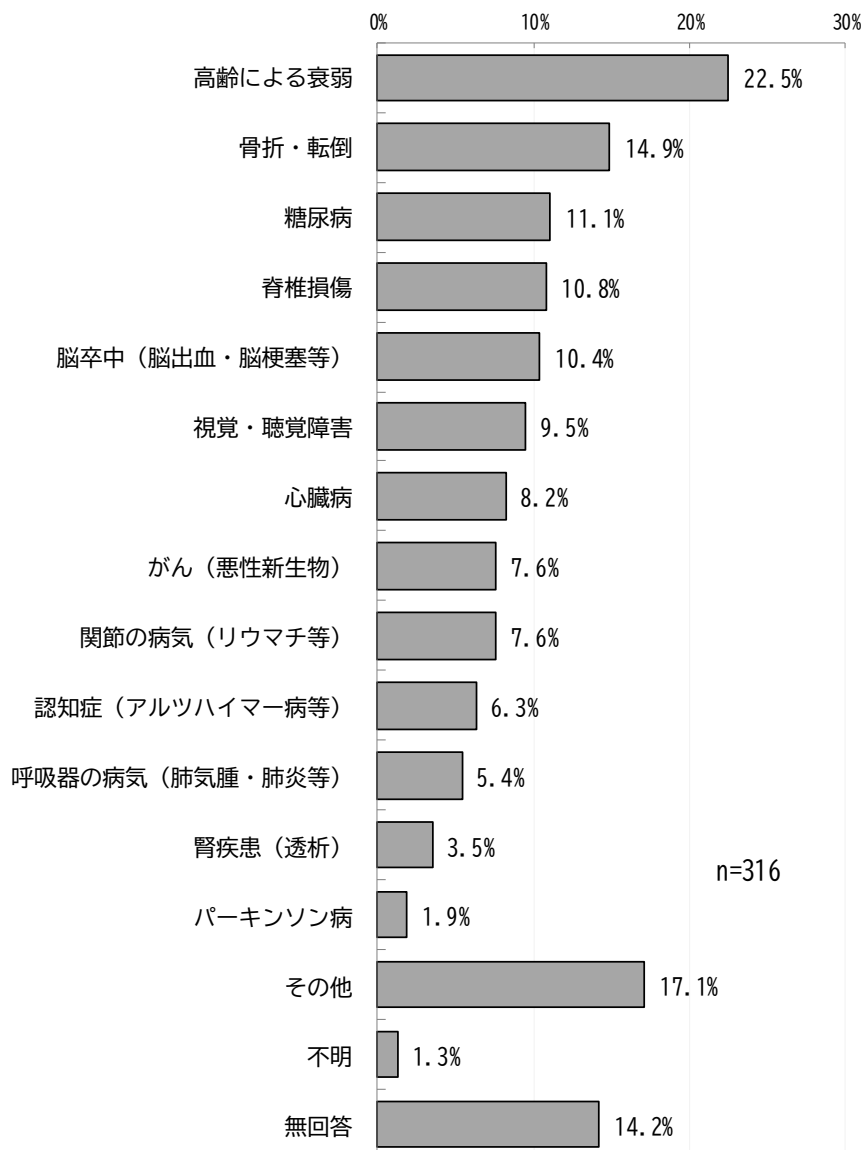
前期・後期別でみると、「介護・介助は必要ない」では、前期高齢者が84.9%と高く、後期高齢者では74.4%と低くなっている。

日常生活圏域別でみると、「介護・介助は必要ない」では、千住地区が82.1%と高く、南西地区では77.7%と低くなっている。



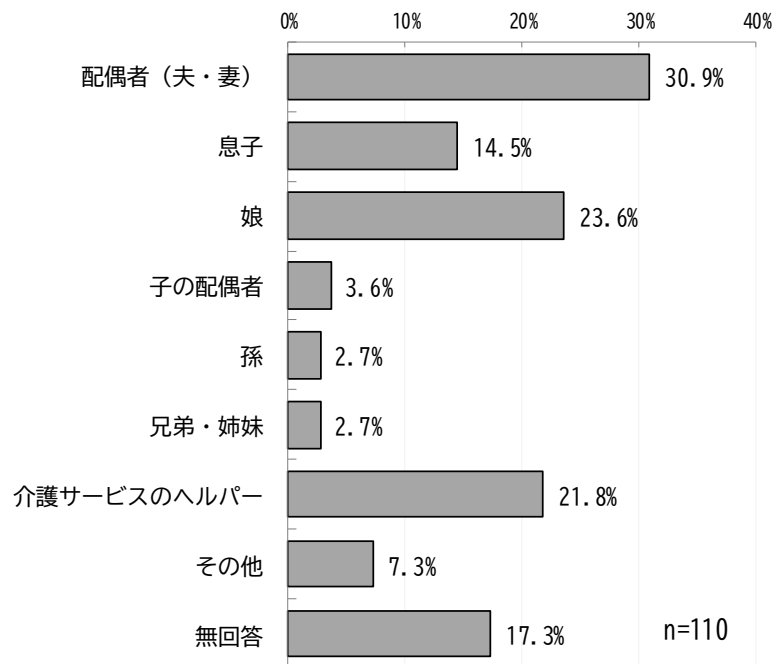
問2 (2) ① 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか（いくつでも○）。

「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方の、介護・介助が必要になった主な原因について、「高齢による衰弱」が22.5%と最も高く、「骨折・転倒」が14.9%、「糖尿病」が11.1%、「脊椎損傷」が10.8%、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が10.4%、「視覚・聴覚障害」が9.5%、「心臓病」が8.2%、「がん（悪性新生物）」「関節の病気（リウマチ等）」が7.6%、「認知症（アルツハイマー病等）」が6.3%、「呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）」が5.4%、「腎疾患（透析）」が3.5%、「パーキンソン病」が1.9%となっている。また「不明」が1.3%となっている。



問2（2）② 主にどなたから介護、介助を受けていますか（いくつでも○）。

「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方の、主に介護、介助している方について、「配偶者（夫・妻）」が30.9%と最も高く、「娘」が23.6%、「介護サービスのヘルパー」が21.8%、「息子」が14.5%、「子の配偶者」が3.6%、「孫」「兄弟・姉妹」が2.7%となっている。



問2 (3) あなたの現在の年間の収入はどの程度ですか(1つに○)。

現在の年収について、足立区全体では、「200～400 万円未満」が 25.6%と最も高く、「50～100 万円未満」が 18.0%、「150～200 万円未満」が 17.2%、「100～150 万円未満」が 14.1%、「50 万円未満」が 7.2%、「400～700 万円未満」が 6.8%、「700～1,000 万円未満」が 1.8%、「1,000 万円以上」が 1.1%となっている。

前期・後期別にみると、前期高齢者で「200～400 万円未満」が 29.3%、後期高齢者では「200～400 万円未満」が 22.3%と最も高い。

日常生活圏域別にみると、各地区で「200～400 万円未満」がそれぞれ最も高く、北西地区が 27.6%、北東地区が 26.3%、南西地区が 25.6%、南東地区が 24.3%、千住地区が 27.5%であった。

(%)

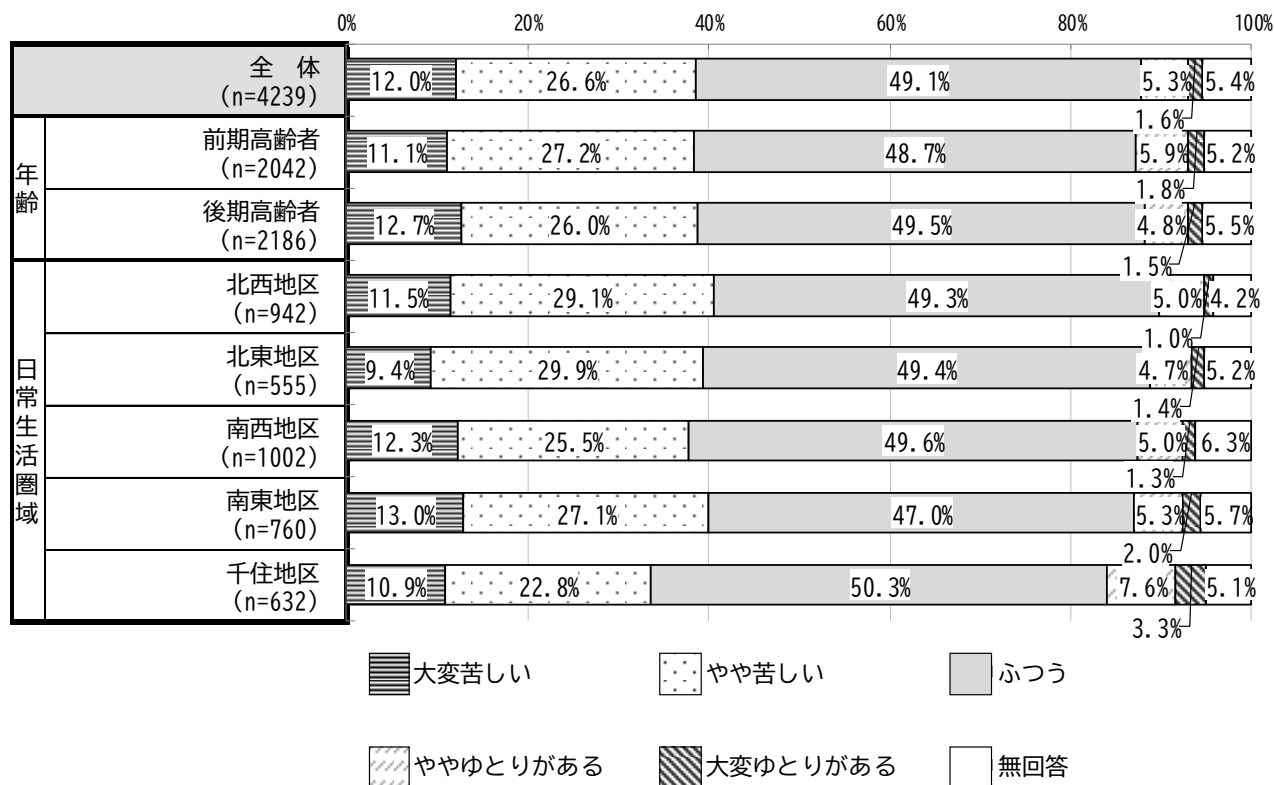
		調査数	50万円未満	50～100万円未満	100～150万円未満	150～200万円未満	200～400万円未満	400～700万円未満	700～1,000万円未満	1,000万円以上	無回答
全 体		4239	7.2	18.0	14.1	17.2	25.6	6.8	1.8	1.1	8.1
年 齢	前期高齢者	2042	5.8	16.1	12.4	16.7	29.3	9.6	2.3	1.4	6.4
	後期高齢者	2186	8.5	19.8	15.8	17.7	22.3	4.3	1.3	0.8	9.6
日常生活圏域	北西地区	942	7.3	17.0	15.3	15.2	27.6	6.4	3.3	1.4	6.6
	北東地区	555	7.0	16.9	13.5	18.9	26.3	7.4	0.9	1.3	7.7
	南西地区	1002	5.9	17.2	15.5	17.5	25.6	7.6	1.3	0.5	9.0
	南東地区	760	7.6	21.1	13.2	17.8	24.3	5.7	1.6	0.8	8.0
	千住地区	632	6.3	16.1	12.7	17.7	27.5	9.2	1.4	1.9	7.1

問2（4） 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（1つに○）。

現在の暮らしの経済的な状況について、足立区全体では、「ふつう」が49.1%と最も高く、「やや苦しい」が26.6%、「大変苦しい」が12.0%、「ややゆとりがある」が5.3%、「大変ゆとりがある」が1.6%となっている。

前期・後期別でみると、「ふつう」では、大きな差がみられない。

日常生活圏域別にみると、「ふつう」では、千住地区が50.3%と高く、南東地区が47.0%と低くなっている。



問2 (5) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか (1つに○)。

現在の住まいについて、足立区全体では、「持家（一戸建て）」が49.6%と最も高く、「持家（集合住宅）」が22.1%、「公営賃貸住宅」が11.9%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が8.7%、「借家」が0.8%、「民間賃貸住宅（一戸建て）」が0.4%となっている。

前期・後期別でみると、「持家（一戸建て）」では、後期高齢者が52.1%と高く、前期高齢者が46.9%と低くなっている。

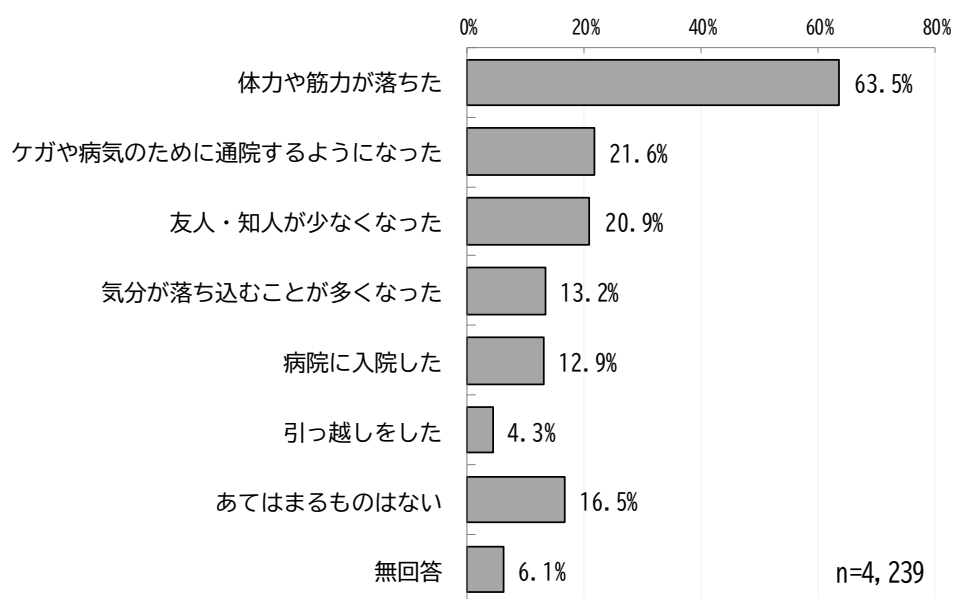
日常生活圏域別にみると、「持家（一戸建て）」では、北東地区が57.5%と高く、南東地区が41.1%と低くなっている。

(%)

		調査数	持家 (一戸 建て)	持家 (集合 住宅)	公営賃 貸住宅	民間賃 貸住宅 (一戸 建て)	民間賃 貸住宅 (集合 住宅)	借家	その他	無回答
全 体		4239	49.6	22.1	11.9	0.4	8.7	0.8	1.4	5.1
年 齢	前期高齢者	2042	46.9	25.2	9.2	0.6	10.5	0.7	1.6	5.2
	後期高齢者	2186	52.1	19.1	14.5	0.2	7.1	0.8	1.3	5.0
日常生活 圏域	北西地区	942	49.8	17.6	15.7	0.0	10.8	0.4	1.8	3.8
	北東地区	555	57.5	13.0	15.7	0.4	7.6	0.7	0.9	4.3
	南西地区	1002	54.1	22.2	8.5	0.6	6.5	0.8	1.3	6.1
	南東地区	760	41.1	27.9	11.3	0.3	11.8	1.1	1.1	5.5
	千住地区	632	46.0	31.8	7.4	0.9	5.5	1.1	1.6	5.5

問2（6） 3年前の2022年と比べて、あなたの生活状況におきた変化としてあてはまるものをお答えください（あてはまるものすべてに○）。

3年前と比べた生活状況におきた変化について、「体力や筋力が落ちた」が63.5%と最も高く、「ケガや病気のために通院するようになった」が21.6%、「友人・知人が少なくなった」が20.9%、「気分が落ち込むことが多くなった」が13.2%、「病院に入院した」が12.9%、「引っ越しをした」が4.3%となっている。「あてはまるものはない」は16.5%であった。



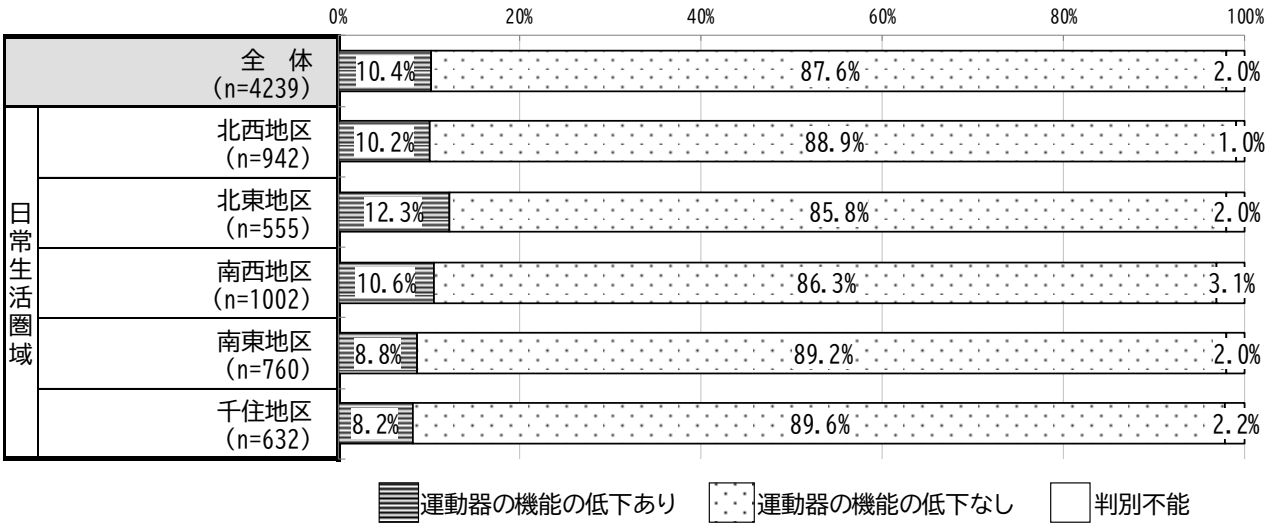
(3) からだを動かすことについて

問3 からだを動かすことについて

① 運動器の機能低下

運動器の機能低下について、足立区全体では、「運動器の機能低下あり」が10.4%、「運動器の機能低下なし」が87.6%となっている。

日常生活圏域別にみると、「運動器の機能低下あり」では、北東地区が12.3%と高く、千住地区が8.2%と低くなっている。



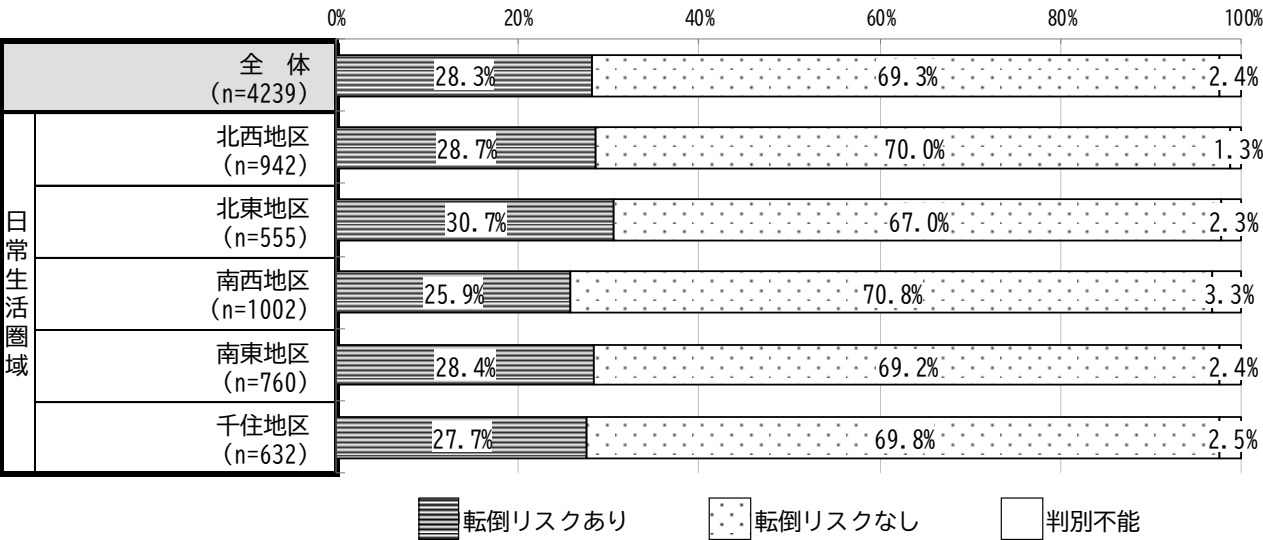
なお、上記の判断基準は、下記の設問の該当状況による。

リスクの区分	設問	質問項目	該当する選択肢	リスク該当者
運動器の機能低下	問3(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか(1つに○)。	3. できない	3つ以上の設問に該当
	問3(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか(1つに○)。	3. できない	
	問3(3)	15分位続けて歩いていますか(1つに○)。	3. できない	
	問3(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか(1つに○)。	1. 何度もある 2. 1度ある	
	問3(5)	転倒に対する不安は大きいですか(1つに○)。	1. とても不安である 2. やや不安である	

② 転倒リスク

転倒リスクについて、足立区全体では、「転倒リスクあり」が28.3%、「転倒リスクなし」が69.3%となっている。

日常生活圏域別にみると、「転倒リスクあり」では、北東地区が30.7%と高く、南西地区が25.9%と低くなっている。



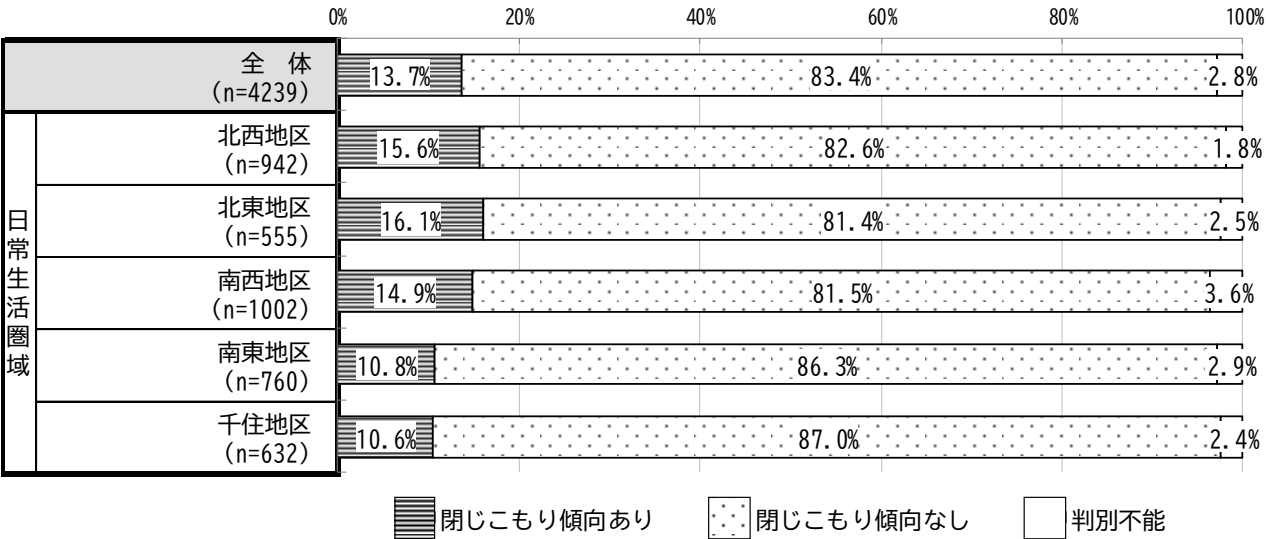
なお、上記の判断基準は、下記の設問の該当状況による。

リスクの区分	設問	質問項目	該当する選択肢	リスク該当者
転倒リスク	問3(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか(1つに○)。	1. 何度もある 2. 1度ある	1つの設問に該当

③ 閉じこもりリスク

閉じこもりリスクについて、足立区全体では、「閉じこもり傾向あり」が 13.7%、「閉じこもり傾向なし」が 83.4%となっている。

日常生活圏域別にみると、「閉じこもり傾向あり」では、北東地区が 16.1%と高く、千住地区が 10.6%と低くなっている。



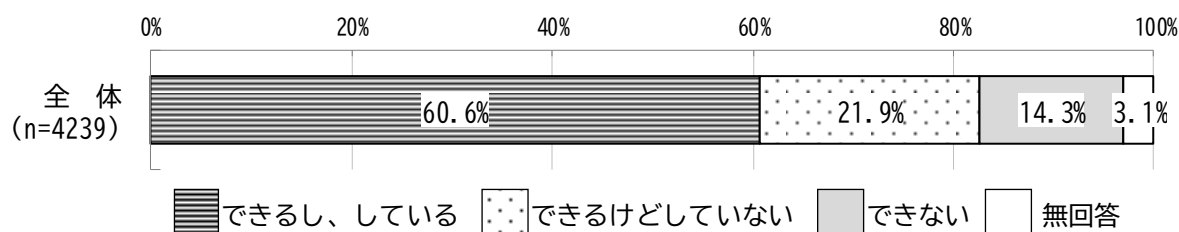
なお、上記の判断基準は、下記の設問の該当状況による。

リスクの区分	設問	質問項目	該当する選択肢	リスク該当者
閉じこもり傾向	問3(6)	週に1回以上は外出していますか(1つに○)。	1. ほとんど外出しない 2. 週1回	1つの設問に該当

また、前頁に関連する設問の回答状況は下記のとおりです。

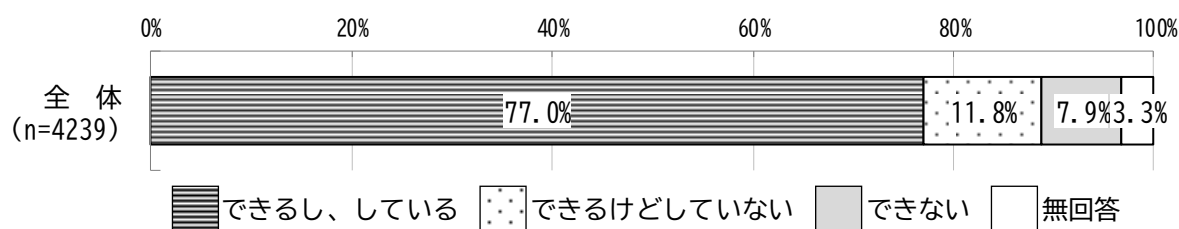
問3（1） 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか（1つに○）。

階段を手すりや壁をつたわずに昇ることについて、「できるし、している」が60.6%と最も高く、「できるけどしていない」が21.9%、「できない」が14.3%となっている。



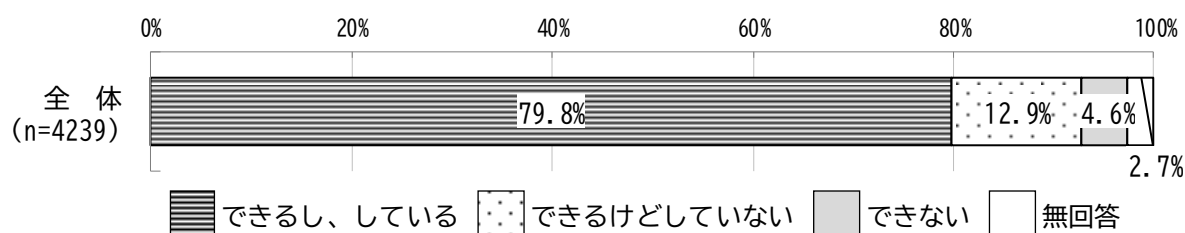
問3（2） 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか（1つに○）。

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることについて、「できるし、している」が77.0%と最も高く、「できるけどしていない」が11.8%、「できない」が7.9%となっている。



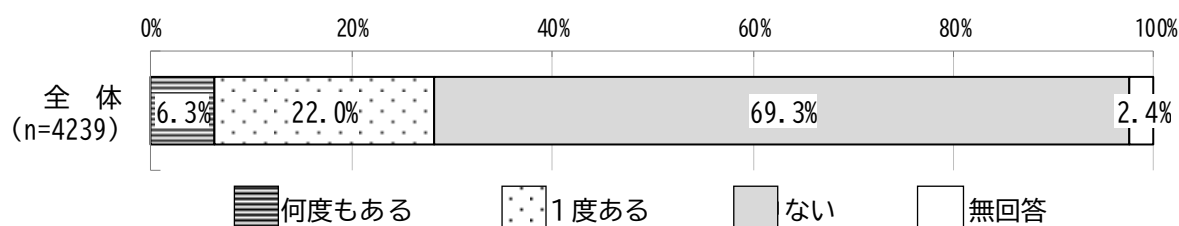
問3（3） 15分位続けて歩いていますか（1つに○）。

15分位続けて歩くことについて、「できるし、している」が79.8%と最も高く、「できるけどしていない」が12.9%、「できない」が4.6%となっている。



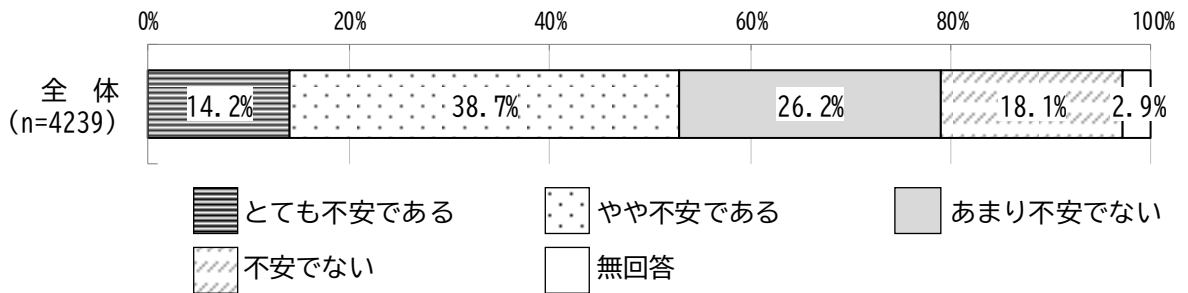
問3（4） 過去1年間に転んだ経験がありますか（1つに○）。

過去1年間に転んだ経験について、「ない」が69.3%と最も高く、「1度ある」が22.0%、「何度もある」が6.3%となっている。



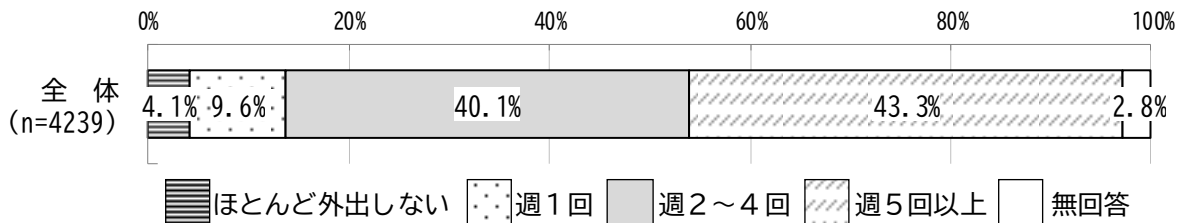
問3 (5) 転倒に対する不安は大きいですか (1つに○)。

転倒に対する不安について、「やや不安である」が38.7%と最も高く、「あまり不安でない」が26.2%、「不安ではない」が18.1%、「とても不安である」が14.2%となっている。



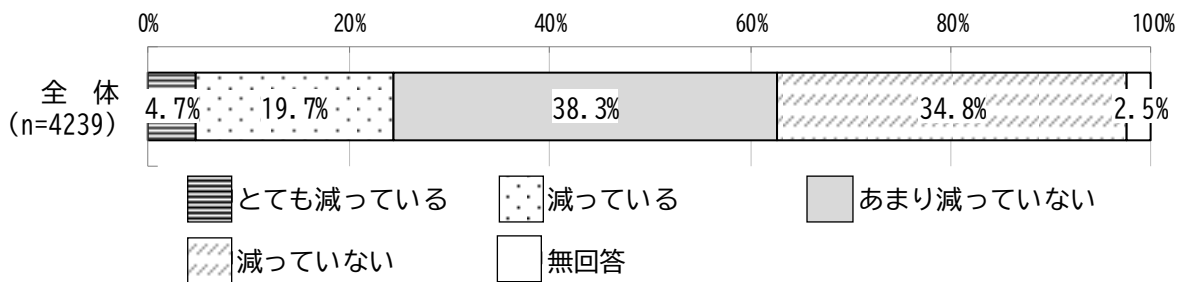
問3 (6) 週に1回以上は外出していますか (1つに○)。

外出の頻度について、「週5回以上」が43.3%と最も高く、「週2～4回」が40.1%、「週1回」が9.6%、「ほとんど外出しない」が4.1%となっている。



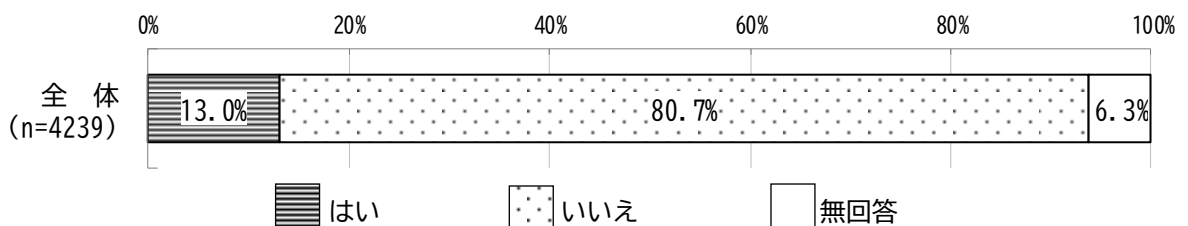
問3 (7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (1つに○)。

昨年と比べて外出の回数について、「あまり減っていない」が38.3%と最も高く、「減っていない」が34.8%、「減っている」が19.7%、「とても減っている」が4.7%となっている。



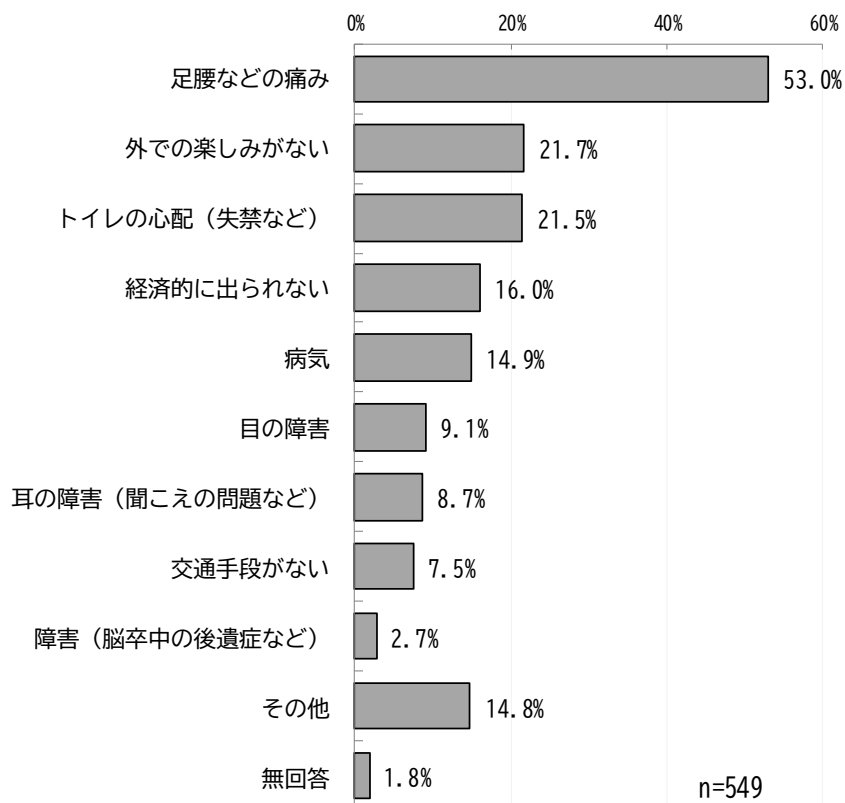
問3 (8) 外出を控えていますか (1つに○)。

外出を控えているかについて、「はい」が13.0%、「いいえ」が80.7%となっている。



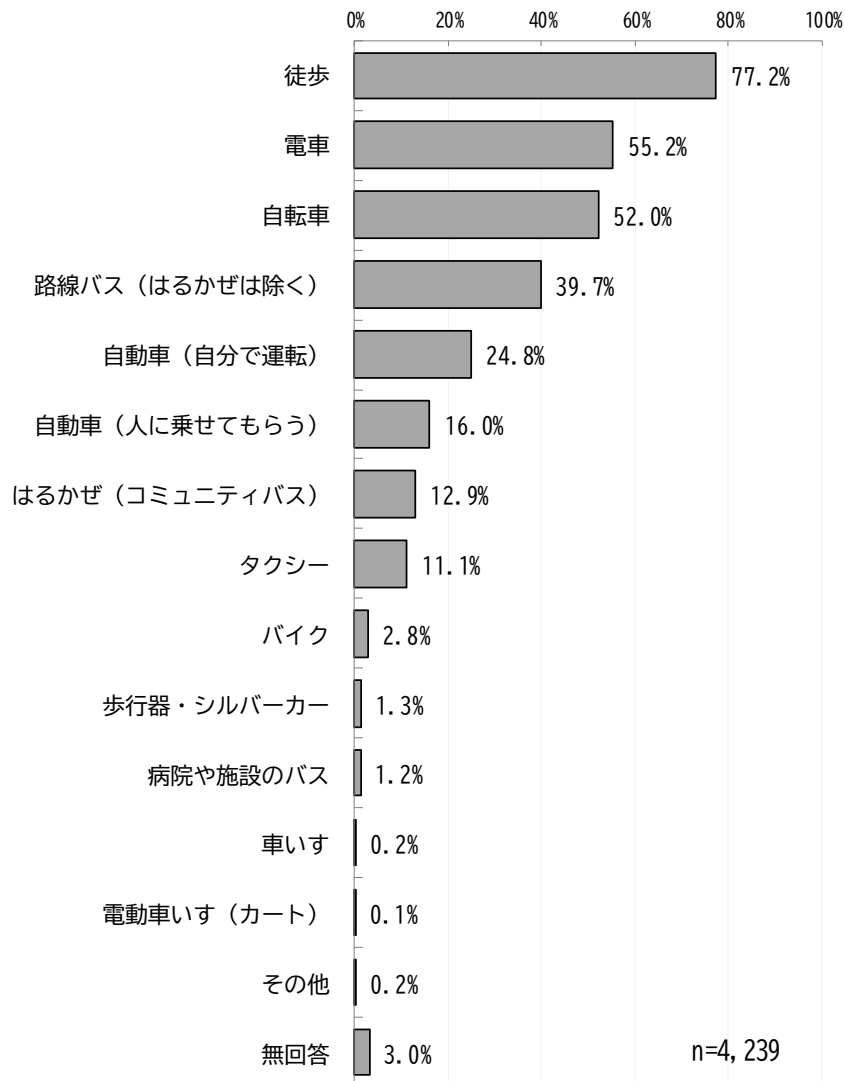
問3（8）① 外出を控えている理由は、次のどれですか（いくつでも○）。

外出を控えているかについて、「はい」と回答した方の外出を控えている理由として、「その他」を除くと、「足腰などの痛み」が53.0%と最も高く、「外での楽しみがない」が21.7%、「トイレの心配（失禁など）」が21.5%、「経済的に出られない」が16.0%、「病気」が14.9%、「目の障害」が9.1%、「耳の障害（聞こえの問題など）」が8.7%、「交通手段がない」が7.5%、「障害（脳卒中の後遺症など）」が2.7%となっている。



問3 (9) 外出する際の移動手段は何ですか (いくつでも○)。

外出する際の移動手段として、「徒歩」が77.2%と最も高く、「電車」が55.2%、「自転車」が52.0%、「路線バス（はるかぜは除く）」が39.7%、「自動車（自分で運転）」が24.8%、「自動車（人に乗せてもらう）」が16.0%、「はるかぜ（コミュニティバス）」が12.9%、「タクシー」が11.1%、「バイク」が2.8%、「歩行器・シルバーカー」が1.3%、「病院や施設のバス」が1.2%、「車いす」が0.2%、「電動車いす（カート）」が0.1%となっている。

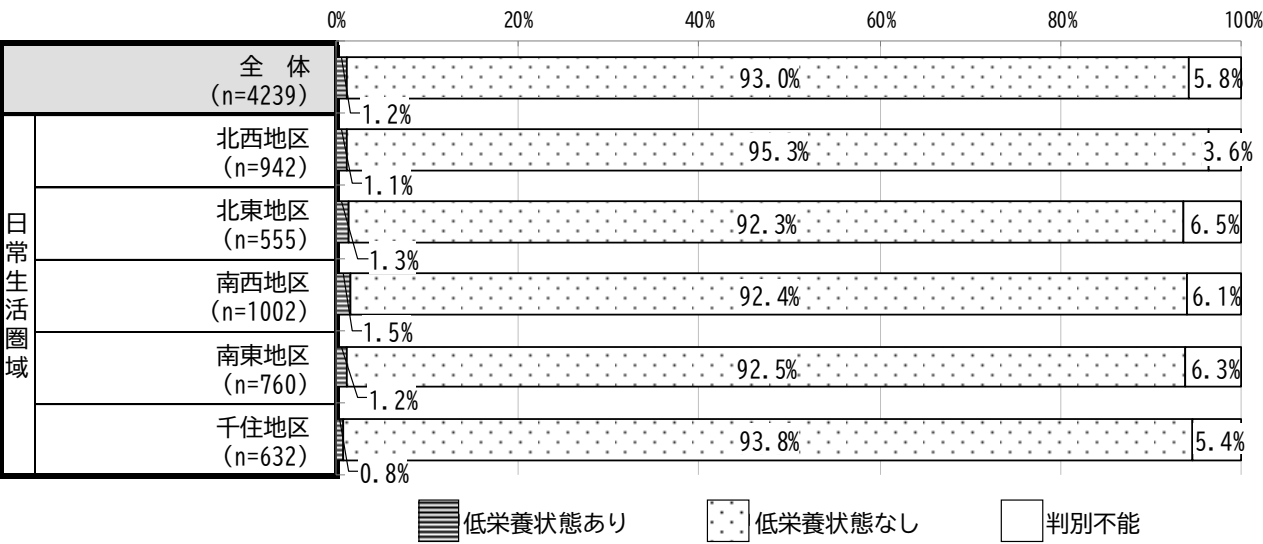


(4) 食べることについて

① 低栄養状態

低栄養状態について、足立区全体では、「低栄養状態あり」が1.2%、「低栄養状態なし」が93.0%となっている。

日常生活圏域別にみると、「低栄養状態あり」では、南西地区が1.5%と高く、千住地区が0.8%と低くなっている。



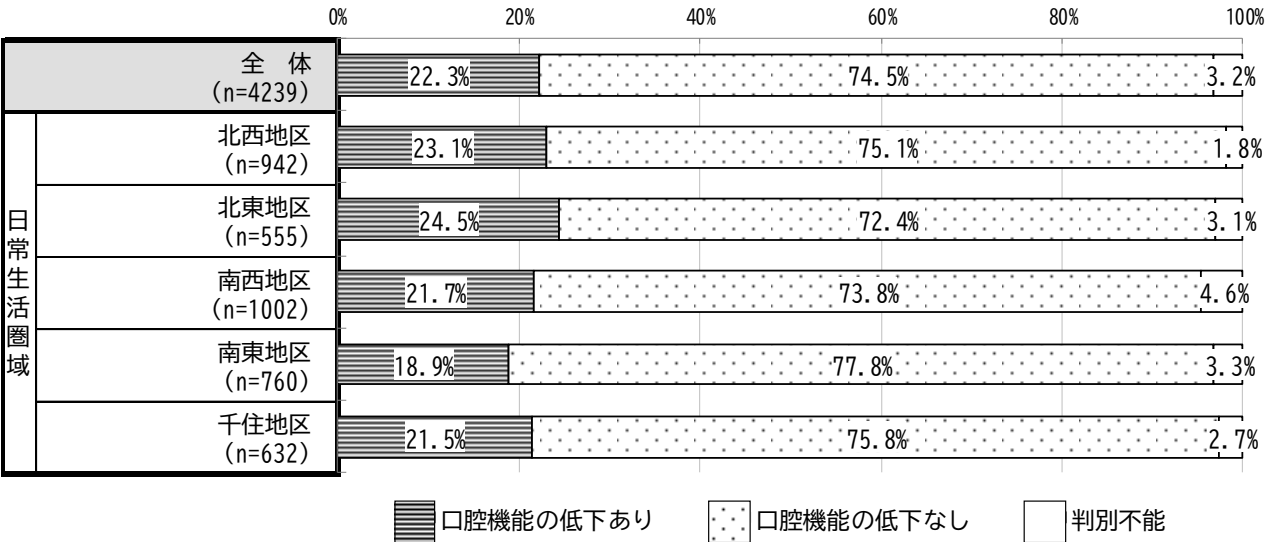
なお、上記の判断基準は、下記の設問の該当状況による。

リスクの区分	設問	質問項目	該当する選択肢	リスク該当者
低栄養状態	問4(1)	身長・体重をご記入ください(数字(整数)を記入)。	BMIが18.5未満 ※BMI=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)	2つの設問に該当
	問4(8)	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか(1つに○)。	1. はい	

② 口腔機能の低下

口腔機能の低下について、足立区全体では、「口腔機能の低下あり」が22.3%、「口腔機能の低下なし」が74.5%となっている。

日常生活圏域別にみると、「口腔機能の低下あり」では、北東地区が24.5%と高く、南東地区が18.9%と低くなっている。



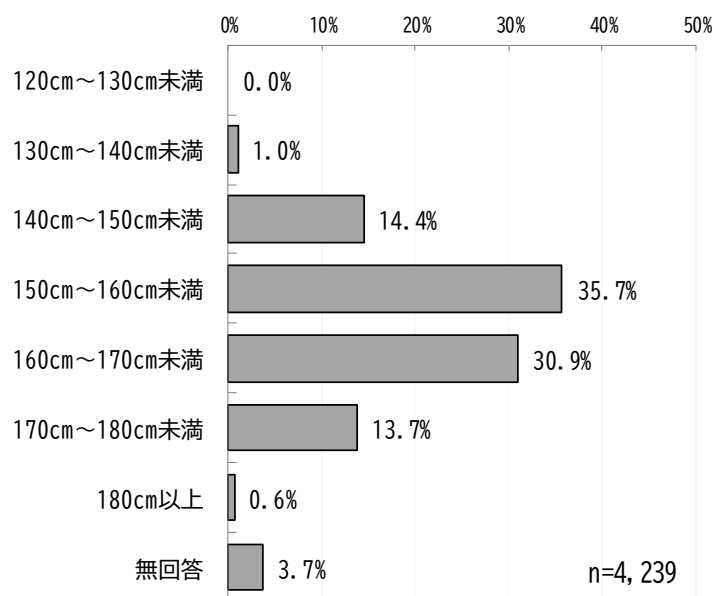
なお、上記の判断基準は、下記の設問の該当状況による。

リスクの区分	設問	質問項目	該当する選択肢	リスク該当者
口腔機能の低下	問4(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか(1つに○)。	1. はい	2つの設問に該当
	問4(3)	お茶や汁物等でむせることがありますか(1つに○)。	1. はい	
	問4(4)	口の渇きが気になりますか(1つに○)。	1. はい	

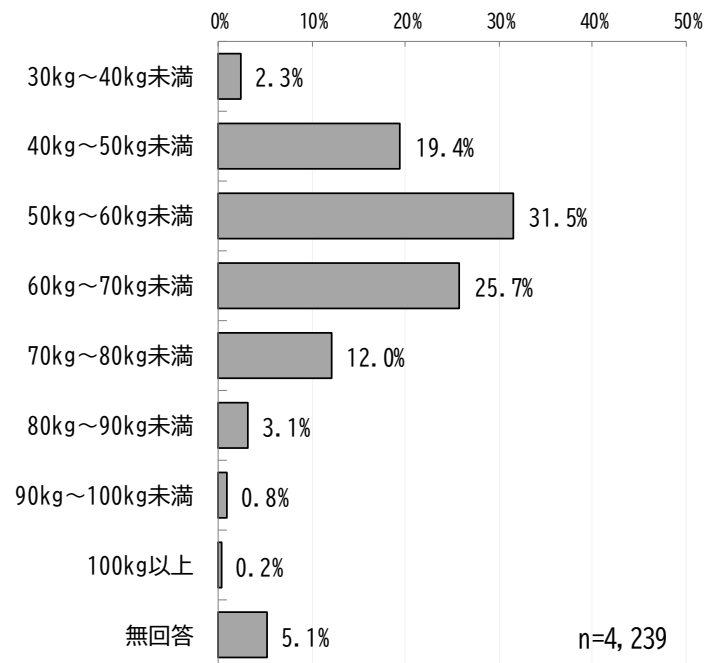
また、前頁に関連する設問の回答状況は下記のとおりです。

問4（1） 身長・体重を教えてください（数字（整数）を記入）。

身長について、「150cm～160cm 未満」が 35.7%と最も高く、「160cm～170cm 未満」が 30.9%、「140cm～150cm 未満」が 14.4%、「170cm～180cm 未満」が 13.7%、「130cm～140cm 未満」が 1.0%、「180cm 以上」が 0.6%、「120cm～130cm 未満」が 0.0%となっている。



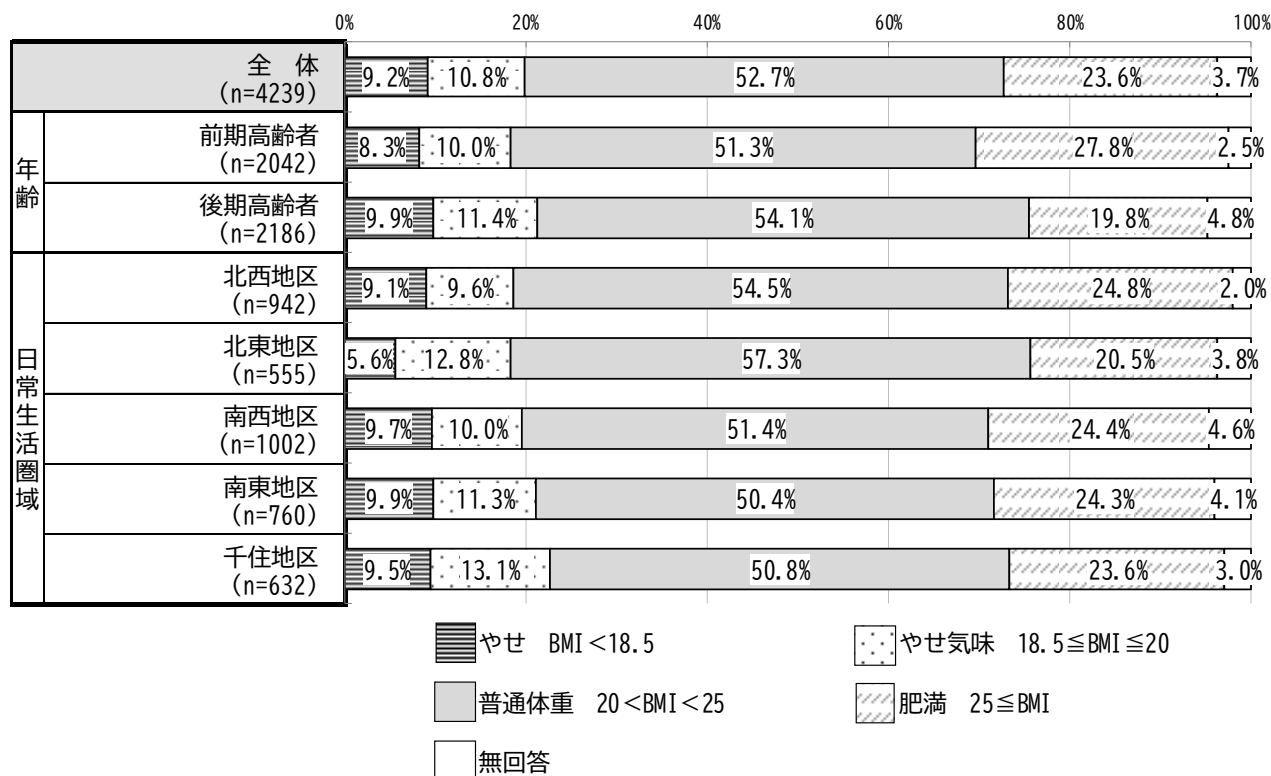
体重について、「50kg～60kg 未満」が 31.5%と最も高く、「60kg～70kg 未満」が 25.7%、「40kg～50kg 未満」が 19.4%、「70kg～80kg 未満」が 12.0%、「80kg～90kg 未満」が 3.1%、「30kg～40kg 未満」が 2.3%、「90kg～100kg 未満」が 0.8%、「100kg 以上」が 0.2%となっている。



BMIについて、足立区全体では、「普通体重」が52.7%と最も高く、「肥満」が23.6%、「やせ気味」が10.8%、「やせ」が9.2%となっている。

前期・後期別にみると、大きな差はない。

日常生活圏域別にみると、「やせ」「やせ気味」の合計では、北東地区が低くなっている。



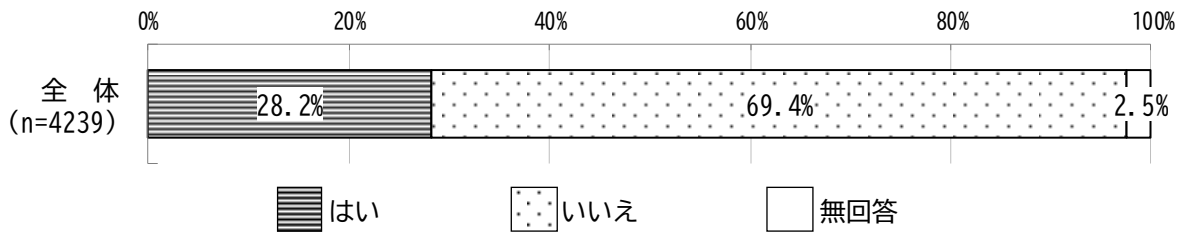
BMI (Body Mass Index)とは体格を表す指標。肥満や低体重(やせ)の判定に用い、 $[\text{体重 (kg)}] \div [\text{身長 (m)} \times 2]$ で求める。

本設問では身長と体重の回答からBMIを求め、その値を国(厚生労働省)の基準を元に判定を区分している。

判定基準はBMI < 18.5 を「やせ」、18.5 ≤ BMI ≤ 20 を「やせ気味」、20 < BMI < 25 を「普通体重」、25 ≤ BMI を「肥満」とする。

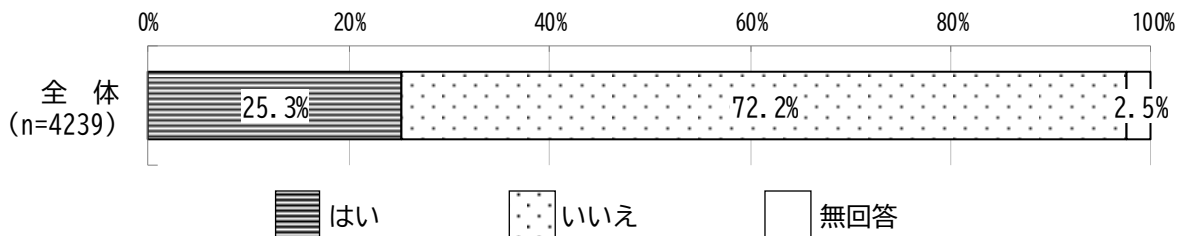
問4 (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか(1つに○)。

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについて、「はい」が28.2%、「いいえ」が69.4%となっている。



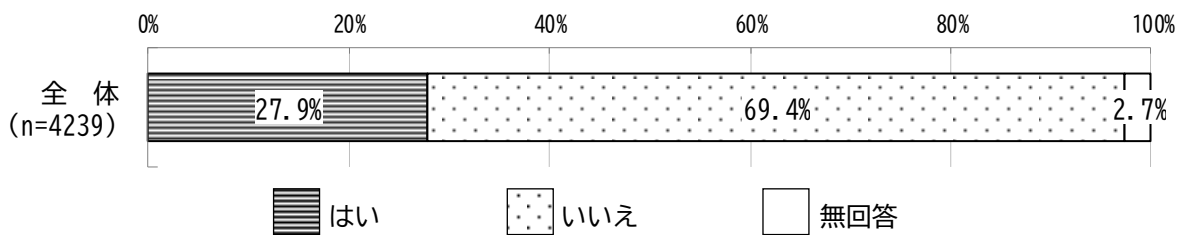
問4 (3) お茶や汁物等でむせることがありますか(1つに○)。

お茶や汁物等でむせることがあるかについて、「はい」が25.3%、「いいえ」が72.2%となっている。



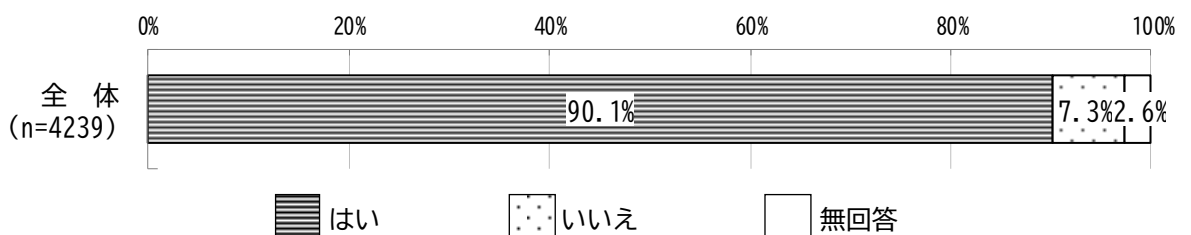
問4 (4) 口の渇きが気になりますか(1つに○)。

口の渇きが気になるかについて、「はい」が27.9%、「いいえ」が69.4%となっている。



問4 (5) 歯磨き(人にしてもら場合も含む)を毎日していますか(1つに○)。

歯磨きを毎日しているかについて、「はい」が90.1%、「いいえ」が7.3%となっている。

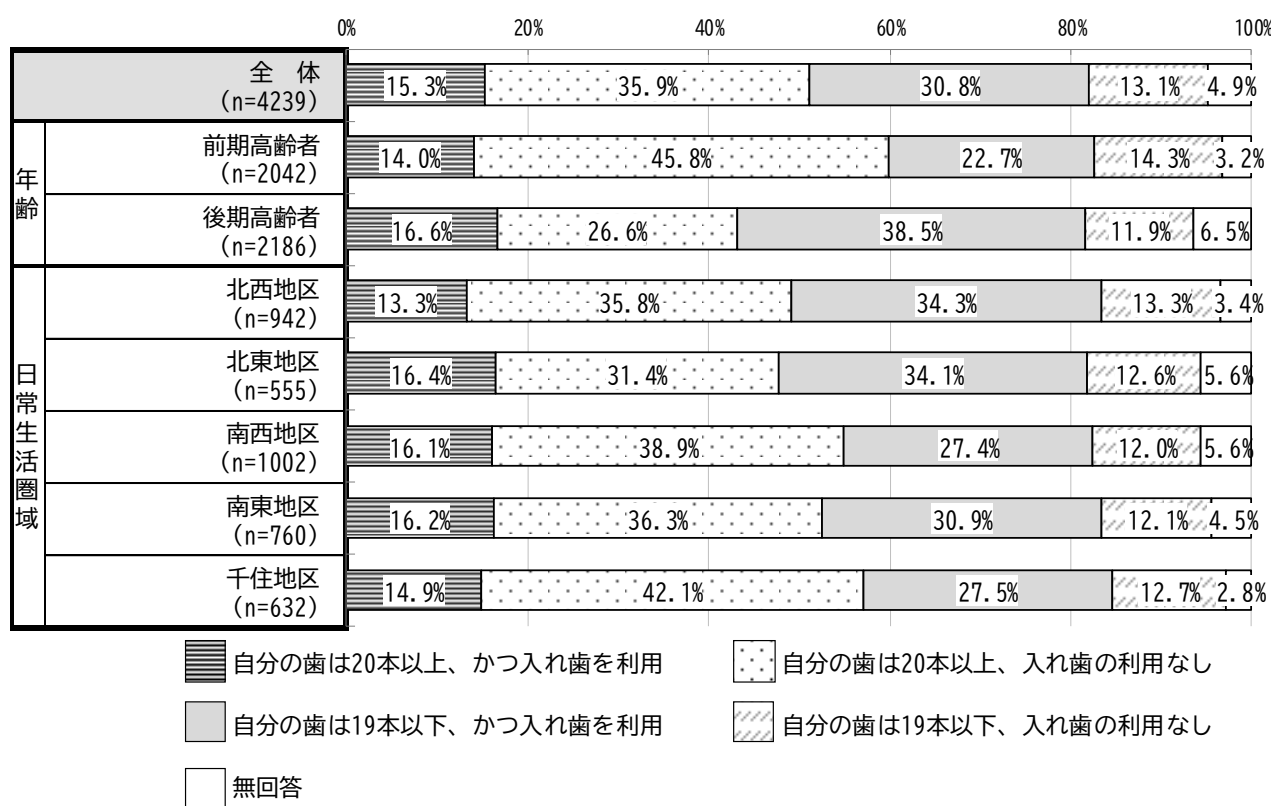


問4（6） 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください（1つに○）。

歯の数と入れ歯の利用状況について、足立区全体では、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が35.9%と最も高く、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が30.8%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が15.3%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が13.1%となっている。

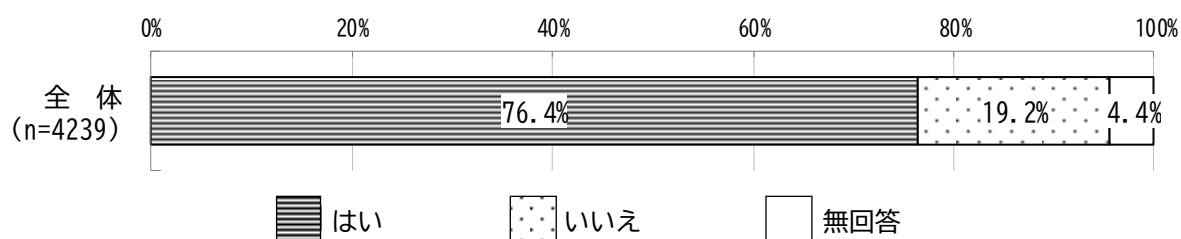
前期・後期別にみると、前期高齢者では「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が45.8%、後期高齢者では「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が38.5%と最も高くなっている。

日常生活圏域別にみると、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」では、千住地区が42.1%と高く、北東地区が31.4%と低くなっている。



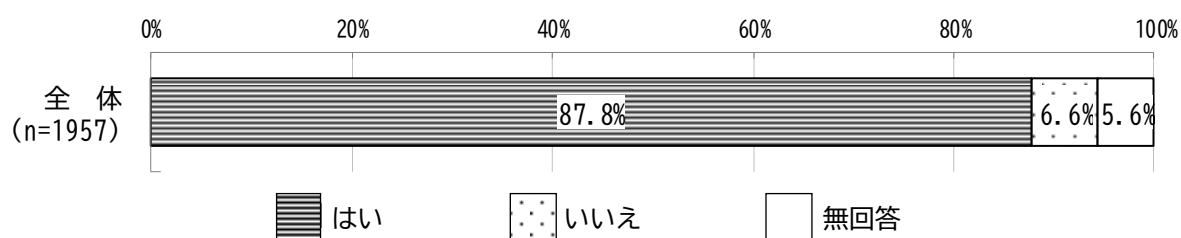
問4（6）① 噛み合わせは良いですか（1つに○）。

噛み合わせが良いかについて、「はい」が76.4%、「いいえ」が19.2%となっている。



問4（6）② 毎日入れ歯の手入れをしていますか（1つに○）。

入れ歯を利用していると回答した方の、毎日入れ歯の手入れをしているかについて、「はい」が87.8%、「いいえ」が6.6%となっている。

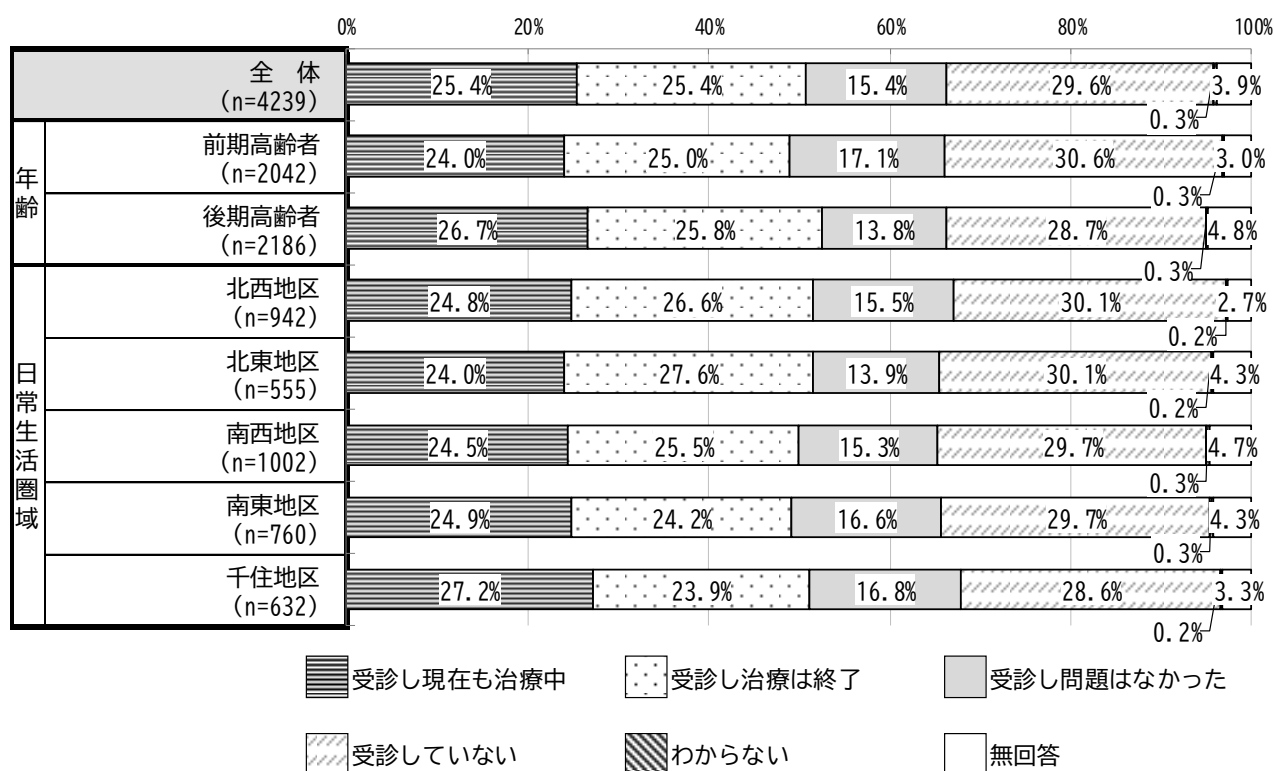


問4（7） あなたは1年前から今日の間で歯科医師による歯科健診（検診）や治療を受けましたか（1つに○）。

歯科医師による歯科健診（検診）や治療について、足立区全体では、「受診していない」が29.6%と最も高く、「受診し現在も治療中」「受診し治療は終了」が25.4%、「受診し問題はなかった」が15.4%、「わからない」が0.3%となっている。

前期・後期別にみると、「受診していない」では、前期高齢者が30.6%、後期高齢者が28.7%となっている。

日常生活圏域別にみると、「受診していない」では、北西地区および北東地区が30.1%と高く、千住地区が28.6%と低くなっている。

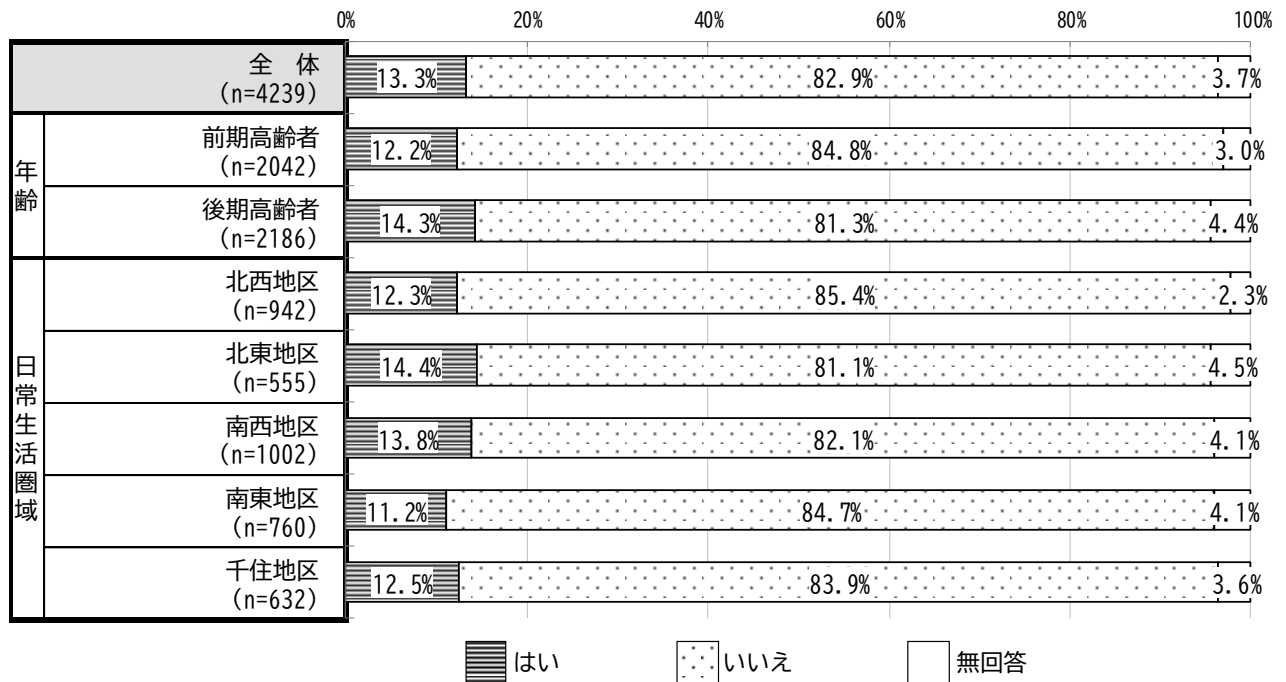


問4 (8) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか(1つに○)。

6か月間で2～3kg以上の体重減少があるかについて、「はい」が13.3%、「いいえ」が82.9%となっている。

前期・後期別にみると、「はい」では、前期高齢者が12.2%、後期高齢者が14.3%となっている。

日常生活圏域別にみると、「はい」では、北東地区が14.4%と高く、南東地区が11.2%と低くなっている。

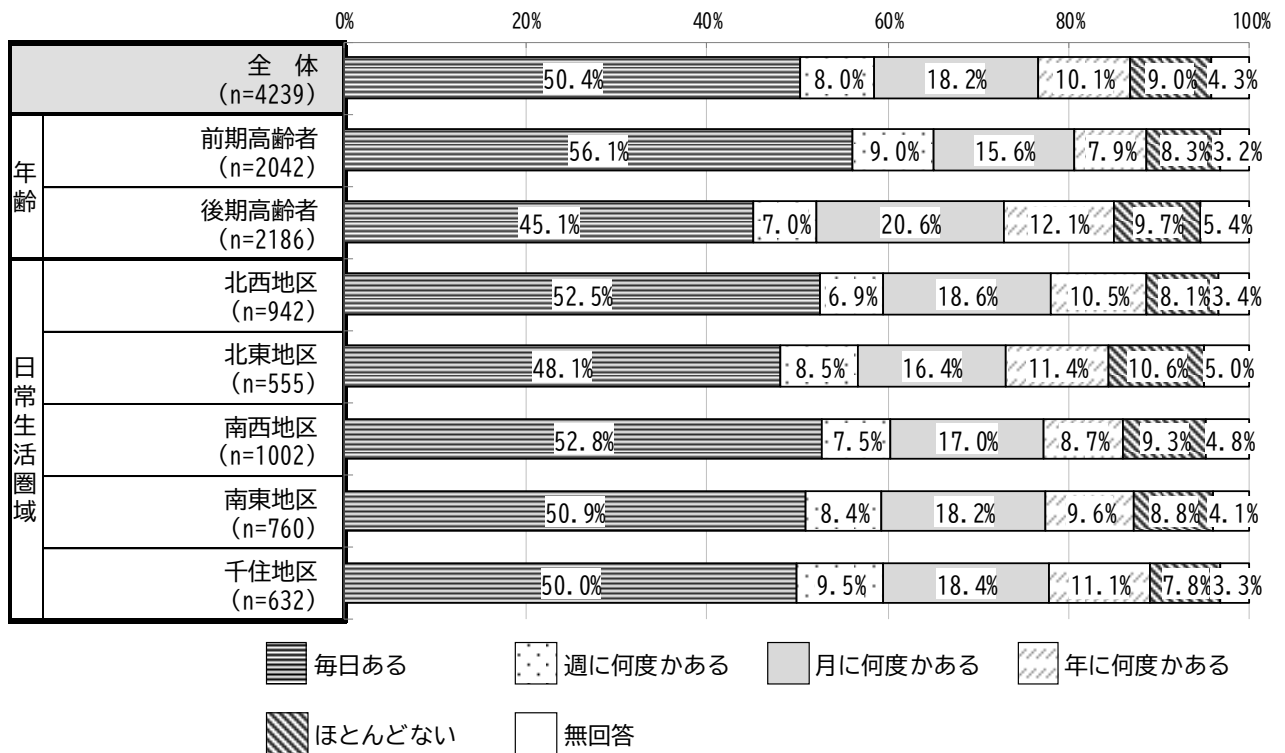


問4（9） どなたかと食事をともしめる機会がありますか（1つに○）。

食事をともしめる機会について、足立区全体では、「毎日ある」が50.4%と最も高く、「月に何度かある」が18.2%、「年に何度かある」が10.1%、「ほとんどない」が9.0%、「週に何度かある」が8.0%となっている。

前期・後期別にみると、「毎日ある」では、前期高齢者が56.1%と高く、後期高齢者では45.1%と低くなっている。

日常生活圏域別にみると、「毎日ある」では、南西地区が52.8%と高く、北東地区が48.1%と低くなっている。

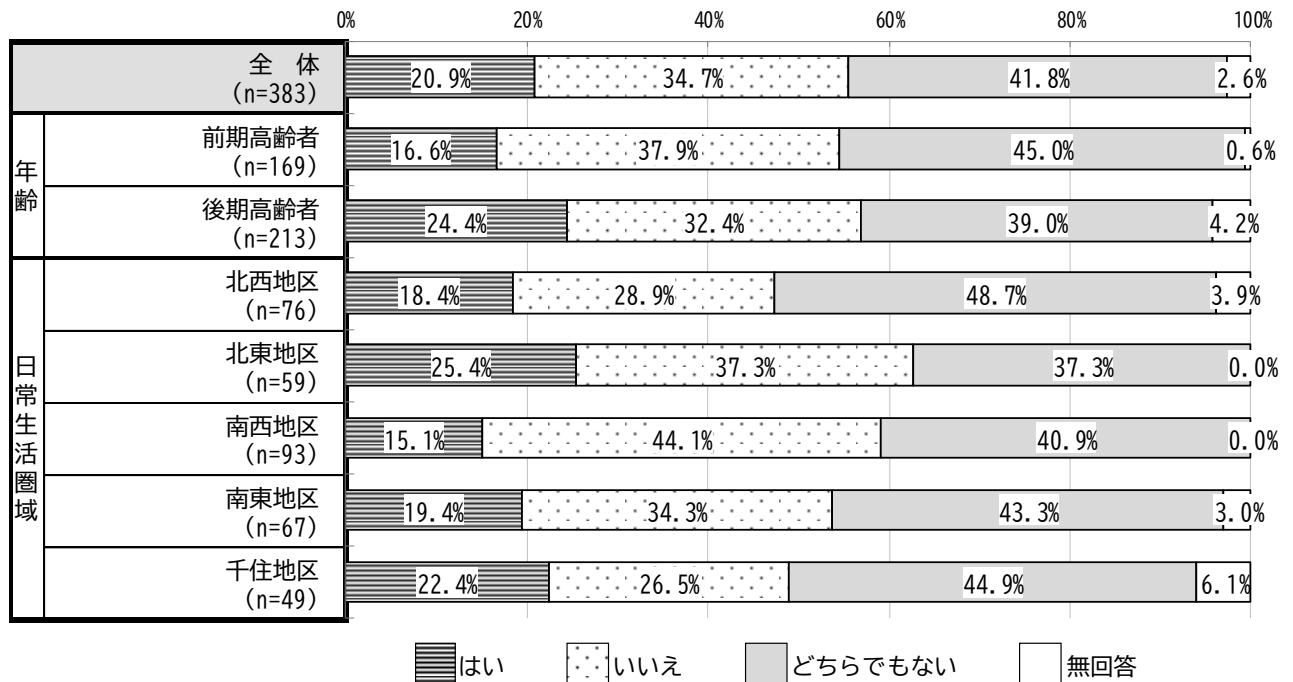


問4(9)① どなたかと食事をとにもする機会があれば参加したいですか(1つに○)。

どなたかと食事をとにもする機会があった場合の参加意向について、足立区全体では、「はい」が20.9%、「いいえ」が34.7%、「どちらでもない」が41.8%であった。

前期・後期別にみると、「はい」では、前期高齢者が16.6%と低く、後期高齢者は24.4%と高くなっている。

日常生活圏域別にみると、「はい」では、北東地区が25.4%と高く、南西地区が15.1%と低くなっている。



問4（10） 食事は1日何回食べますか（1つに○）。

1日の食事の回数について、足立区全体では、「3回」が81.5%と最も高く、「2回」が10.9%、「1回」が0.5%、「4回以上」が0.2%となっている。

前期・後期別にみると、「3回」では、前期高齢者が79.3%、後期高齢者が83.7%となっている。

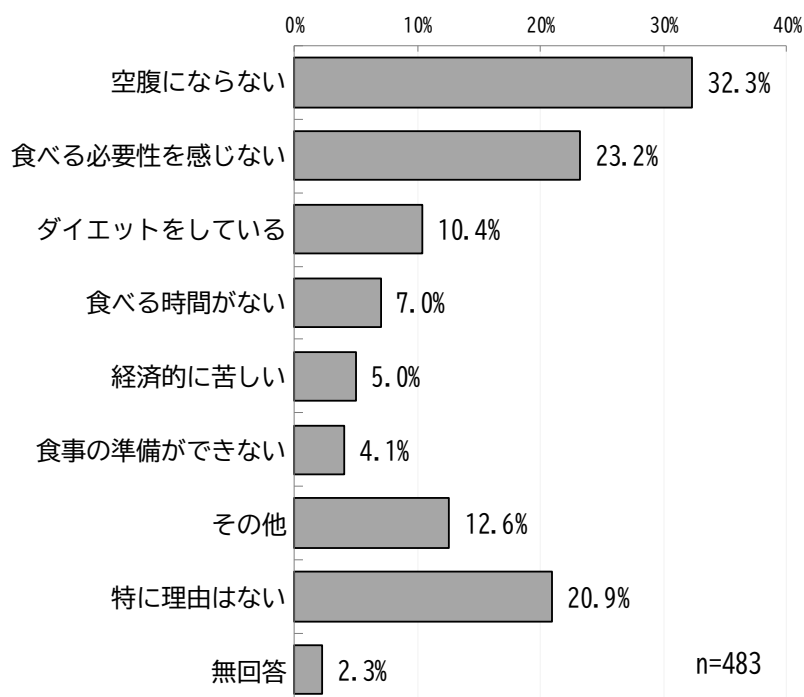
日常生活圏域別にみると、「3回」では、北西地区が82.5%と高く、南西地区が81.3%と低くなっている。

(%)

		調査数	1回	2回	3回	4回以上	無回答
全 体		4239	0.5	10.9	81.5	0.2	6.8
年 齢	前期高齢者	2042	0.8	12.7	79.3	0.1	7.0
	後期高齢者	2186	0.3	9.1	83.7	0.3	6.6
日常生活圏域	北西地区	942	0.4	11.1	82.5	0.4	5.5
	北東地区	555	1.1	10.8	81.4	0.2	6.5
	南西地区	1002	0.7	10.8	81.3	0.1	7.1
	南東地区	760	0.3	10.5	81.6	0.1	7.5
	千住地区	632	0.0	10.9	82.0	0.2	7.0

問4（10）① 食事を1日3回食べない理由は何ですか（いくつでも○）。

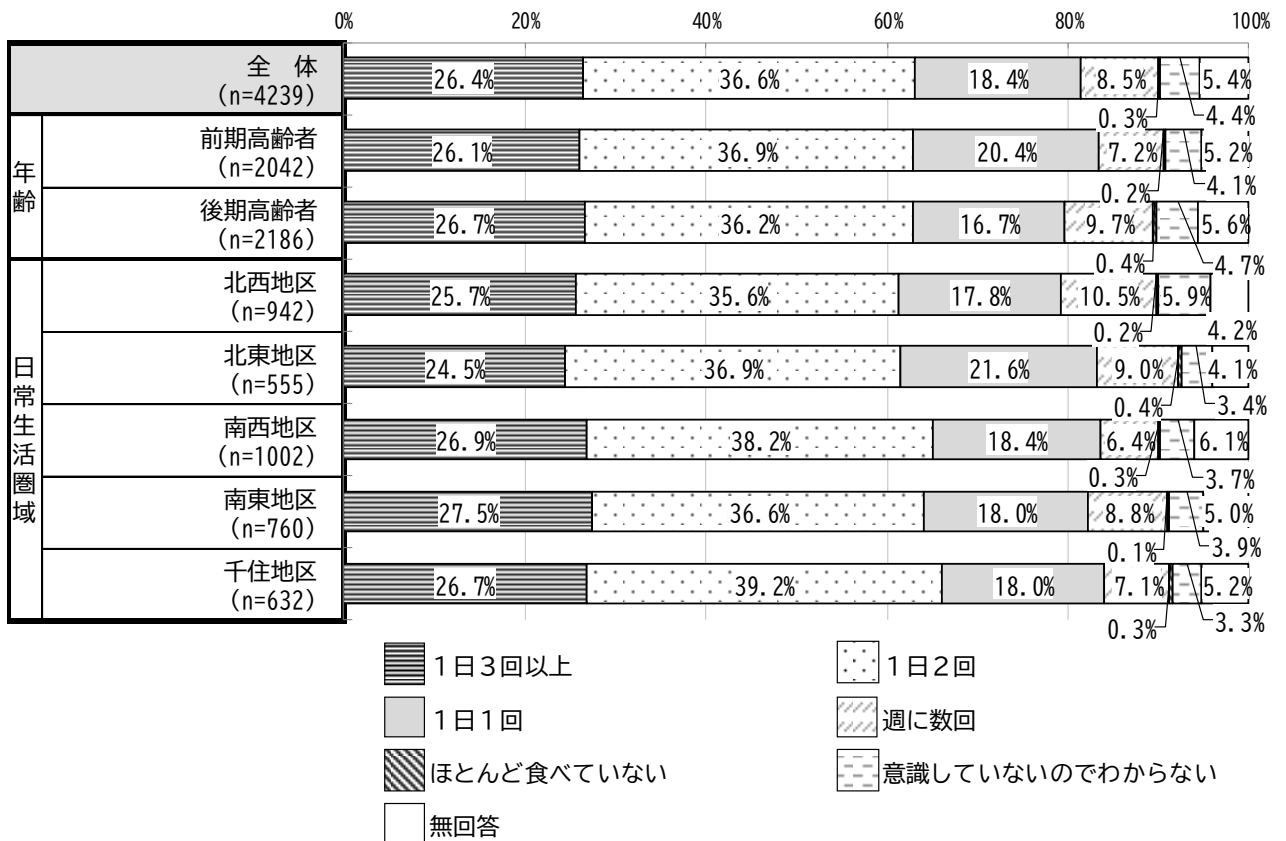
1日の食事の回数が「1回」または「2回」と回答した方の、食事を1日3回とらない理由について、「空腹にならない」が32.3%と最も高く、「食べる必要性を感じない」が23.2%、「ダイエットをしている」が10.4%、「食べる時間がない」が7.0%、「経済的に苦しい」が5.0%、「食事の準備ができない」が4.1%となっている。また「特に理由はない」が20.9%となっている。



問4 (11) たんぱく質を多く含む食品（肉・魚・卵・大豆製品の1種類以上）をどのくらいの頻度で食べていますか（1つに○）。

たんぱく質を多く含む食品を食べる頻度について、「1日3回以上」が26.4%と全体の約1/4となっている。

日常生活圏域別にみると、「1日3回以上」では、南東地区が27.5%と高く、北東地区が24.5%と低くなっている。

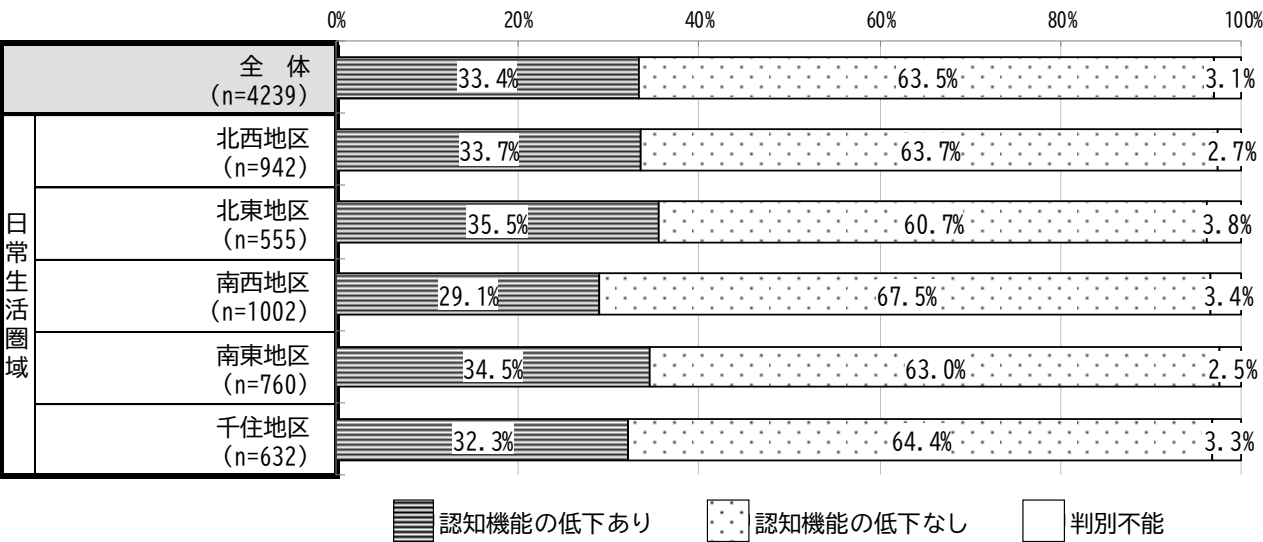


(5) 毎日の生活について

① 認知機能の低下

認知機能の低下について、足立区全体では、「認知機能の低下あり」が33.4%、「認知機能の低下なし」が63.5%となっている。

日常生活圏域別にみると、「認知機能の低下あり」では、北東地区が35.5%と高く、南西地区が29.1%と低くなっている。



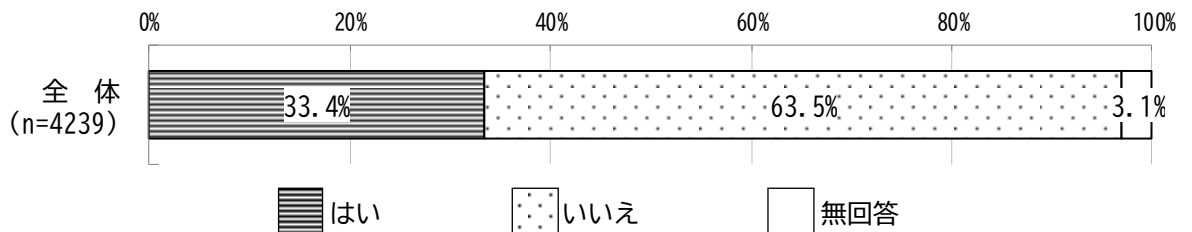
なお、上記の判断基準は、下記の設問の該当状況による。

リスクの区分	設問	質問項目	該当する選択肢	リスク該当者
認知機能の低下	問5(1)	物忘れが多いと感じますか(1つに○)。	1. はい	1つの設問に該当

また、前頁に関連する設問の回答状況は下記のとおりです。

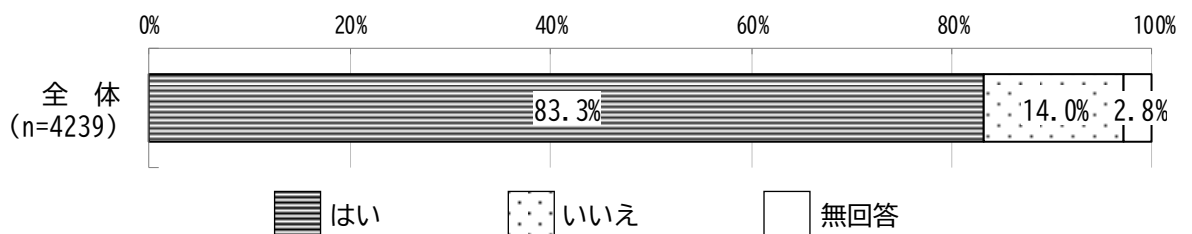
問5（1） 物忘れが多いと感じますか（1つに○）。

物忘れが多いと感じるかについて、「はい」が33.4%、「いいえ」が63.5%となっている。



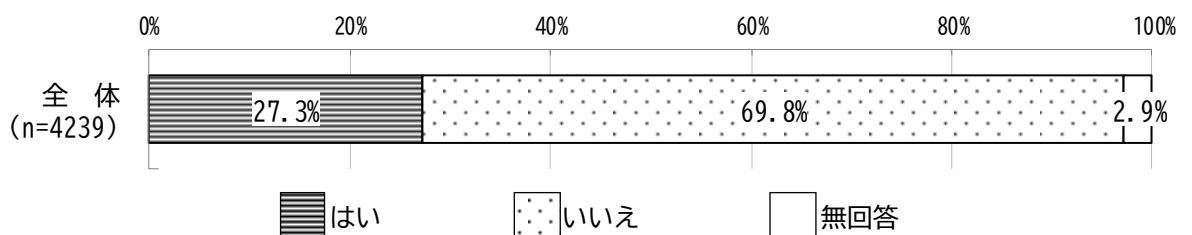
問5（2） 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか（1つに○）。

自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかについて、「はい」が83.3%、「いいえ」が14.0%となっている。



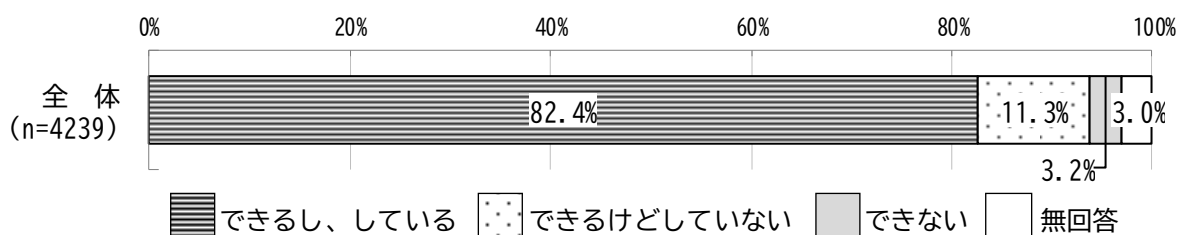
問5（3） 今日が何月何日かわからない時がありますか（1つに○）。

今日が何月何日かわからない時があるかについて、「はい」が27.3%、「いいえ」が69.8%となっている。



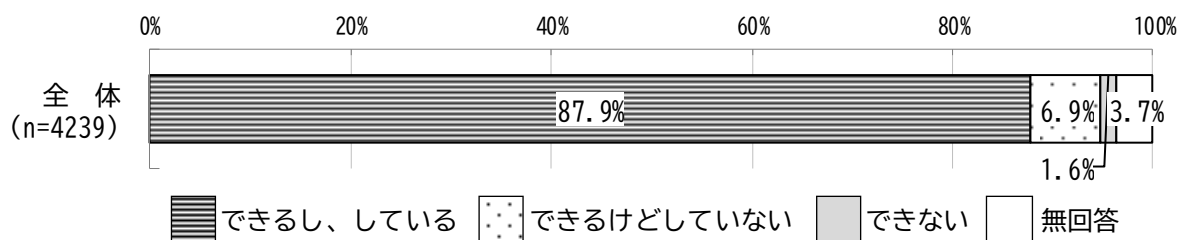
問5（4） バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）（1つに○）。

バスや電車を使って1人で外出しているかについて、「できるし、している」が82.4%、「できるけどしていない」が11.3%、「できない」が3.2%となっている。



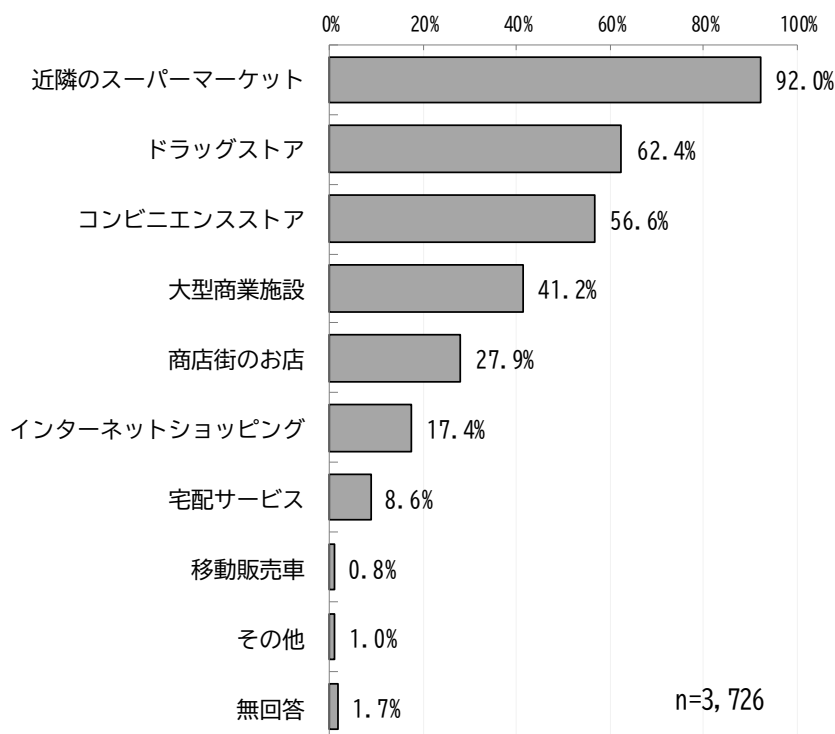
問5（5） 自分で食品・日用品の買物をしていますか（1つに○）。

自分で食品・日用品の買物をしているかについて、「できるし、している」が87.9%、「できるけどしていない」が6.9%、「できない」が1.6%となっている。



問5（5）① 日常用品を買物する場合、どのような店を利用しますか（いくつでも○）。

日常用品の買物先について、「近隣のスーパーマーケット」が92.0%と最も高く、「ドラッグストア」が62.4%、「コンビニエンスストア」が56.6%、「大型商業施設」が41.2%、「商店街のお店」が27.9%、「インターネットショッピング」が17.4%、「宅配サービス」が8.6%、「移動販売車」が0.8%となっている。



問5（5）② 日常用品を買物する所（お店）は自宅からどれくらいかかりますか
（1つに○）。

日常用品を買物する場所までの所要時間について、足立区全体では、「自宅から歩いて10分以内」が54.2%と最も高く、「自宅から歩いて20分以内」が31.3%、「自宅から歩いて30分以内」が7.1%、「自宅から歩いて30分以上かかる」が2.9%、「自宅に配送される」が0.3%、「わからない」が0.7%となっている。

前期・後期別にみると、「自宅から歩いて10分以内」では、前期高齢者が58.8%、後期高齢者が49.8%となっている。

日常生活圏域別にみると、「自宅から歩いて10分以内」では、北東地区が57.1%と高く、千住地区が50.0%と低くなっている。

(%)

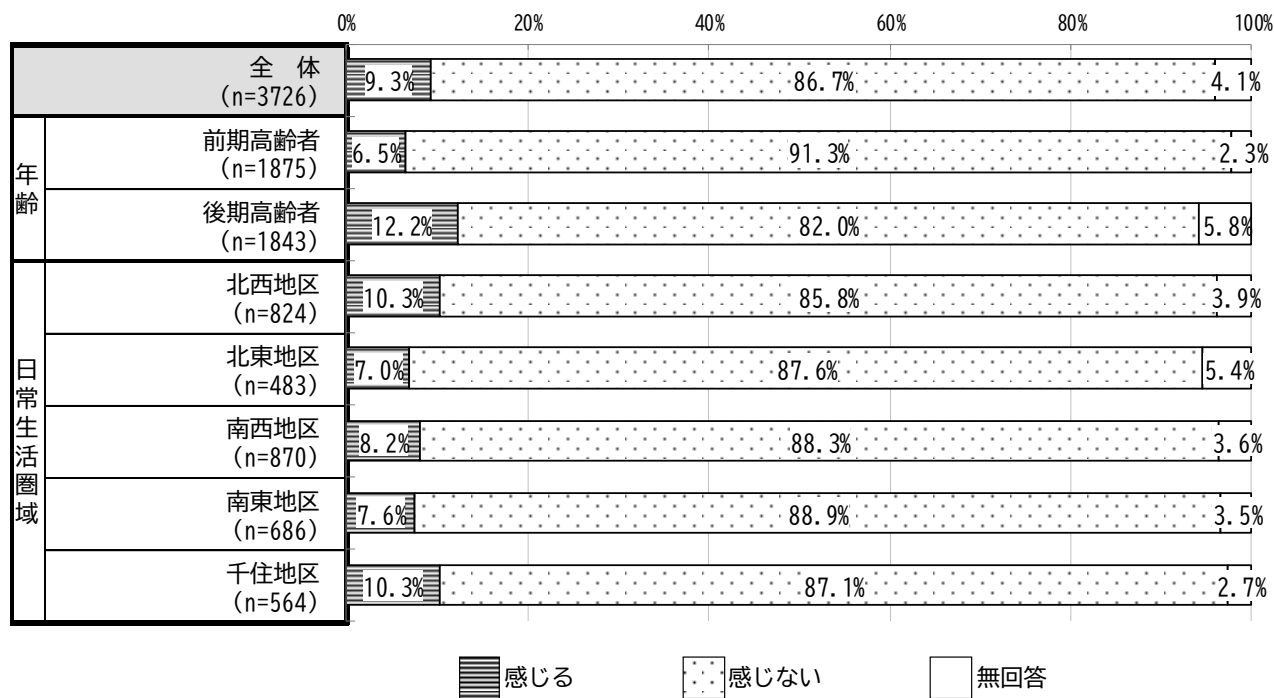
		調査数	自宅から歩いて10分以内	自宅から歩いて20分以内	自宅から歩いて30分以内	自宅から歩いて30分超	自宅に配送される	わからない	無回答
全 体		3726	54.2	31.3	7.1	2.9	0.3	0.7	3.5
年 齢	前期高齢者	1875	58.8	29.3	6.5	2.0	0.4	0.6	2.5
	後期高齢者	1843	49.8	33.4	7.7	3.7	0.3	0.8	4.4
日常生活圏域	北西地区	824	54.6	30.3	5.6	3.2	0.7	1.3	4.2
	北東地区	483	57.1	27.7	9.7	2.5	0.2	0.2	2.5
	南西地区	870	56.1	29.7	6.8	2.3	0.5	0.7	4.0
	南東地区	686	55.0	32.9	5.7	2.2	0.1	0.4	3.6
	千住地区	564	50.0	35.8	7.8	3.9	0.0	0.5	2.0

問5 (5) ③ 日用品の買物について不便を感じていますか(1つに○)。

日用品の買物について、不便を感じているかについて、足立区全体では、「感じる」が9.3%、「感じない」が86.7%となっている。

前期・後期別にみると、「感じる」では、前期高齢者が6.5%、後期高齢者が12.2%となっている。

日常生活圏域別にみると、「感じる」では、北西地区、千住地区が10.3%と高く、北東地区が7.0%と低くなっている。

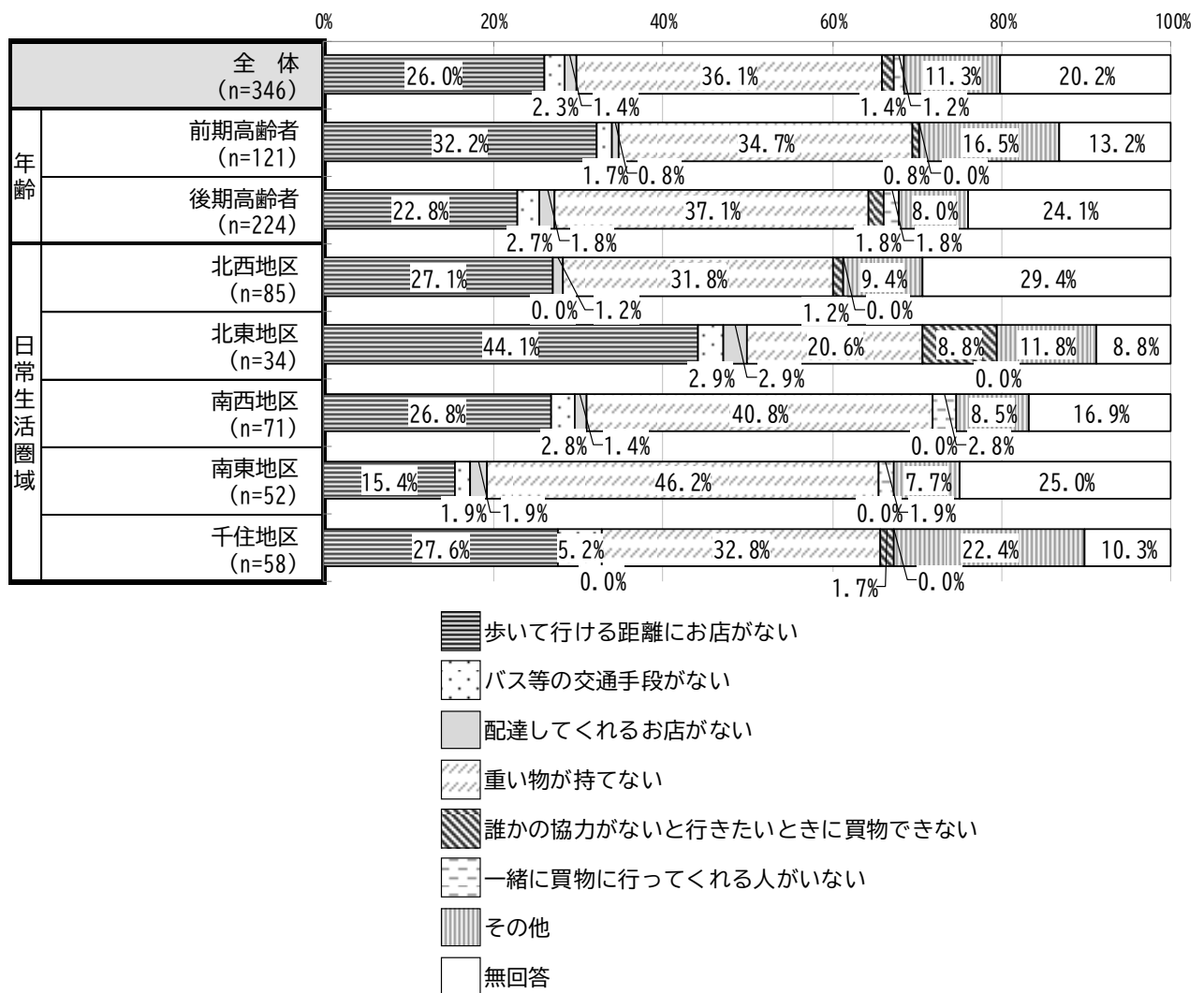


問5 (5) ④ 特に、どのようなことに不便を感じていますか(1つに○)。

日用品の買物において、不便を「感じる」と回答した方の不便を感じる点として、足立区全体では、「重い物が持てない」が36.1%と最も高く、「歩いて行ける距離にお店がない」が26.0%、「バス等の交通手段がない」が2.3%、「配達してくれるお店がない」「誰かの協力がないと行きたいときに買物できない」が1.4%、「一緒に買物に行ってくれる人がいない」が1.2%となっている。

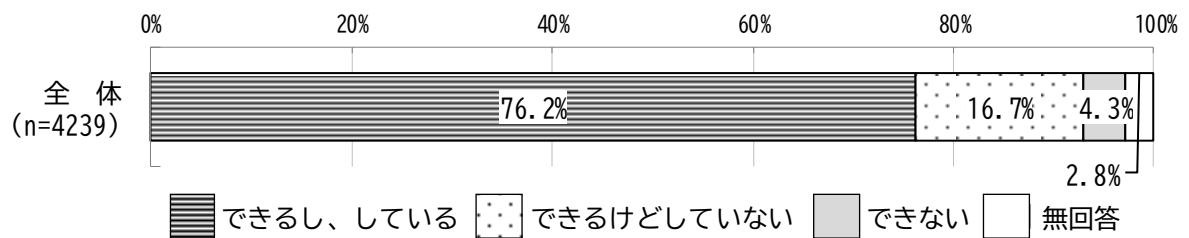
前期・後期別にみると、前期高齢者、後期高齢者ともに「重い物が持てない」が34.7%、37.1%と高くなっている。

日常生活圏域別にみると、北西地区、南西地区、南東地区、千住地区では、「重い物が持てない」、北東地区では「歩いて行ける距離にお店がない」が高くなっている。



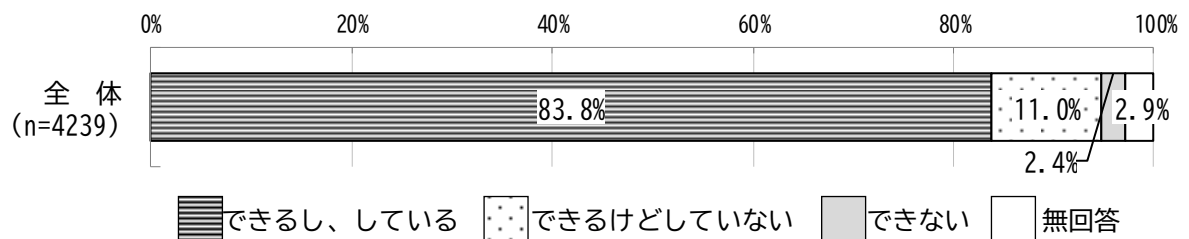
問5（6） 自分で食事の用意をしていますか（1つに○）。

自分で食事の用意をしているかについて、「できるし、している」が76.2%、「できるけどしていない」が16.7%、「できない」が4.3%となっている。



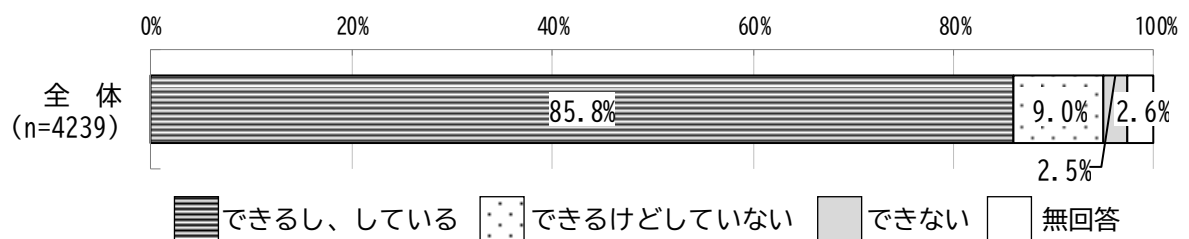
問5（7） 自分で請求書の支払いをしていますか（1つに○）。

自分で請求書の支払いをしているかについて、「できるし、している」が83.8%、「できるけどしていない」が11.0%、「できない」が2.4%となっている。



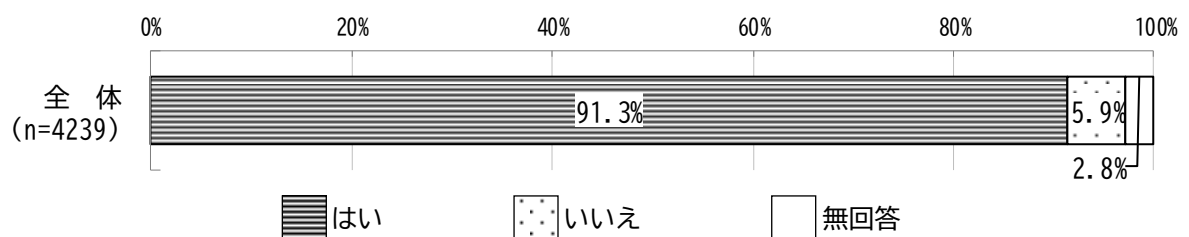
問5（8） 自分で預貯金の出し入れをしていますか（1つに○）。

自分で預貯金の出し入れをしているかについて、「できるし、している」が85.8%、「できるけどしていない」が9.0%、「できない」が2.5%となっている。



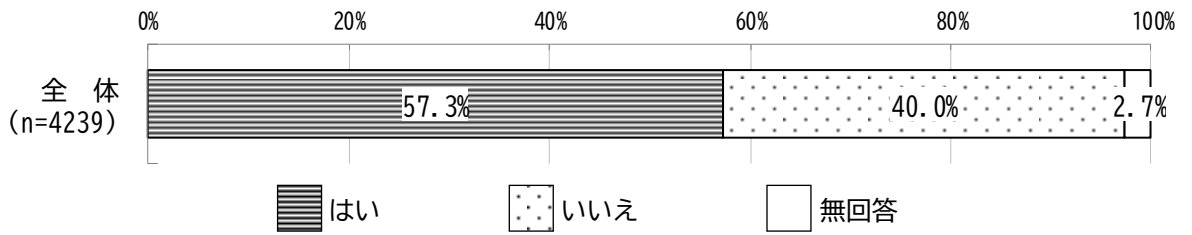
問5（9） 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか（1つに○）。

年金などの書類が書けるかについて、「はい」が91.3%、「いいえ」が5.9%となっている。



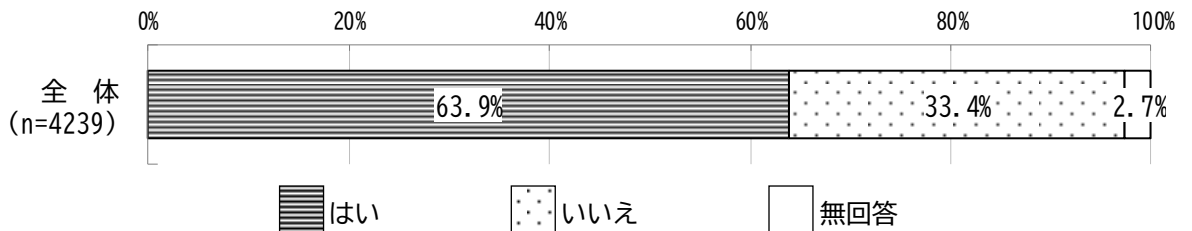
問5（10） 新聞を読んでいますか（1つに○）。

新聞を読んでいるかについて、「はい」が57.3%、「いいえ」が40.0%となっている。



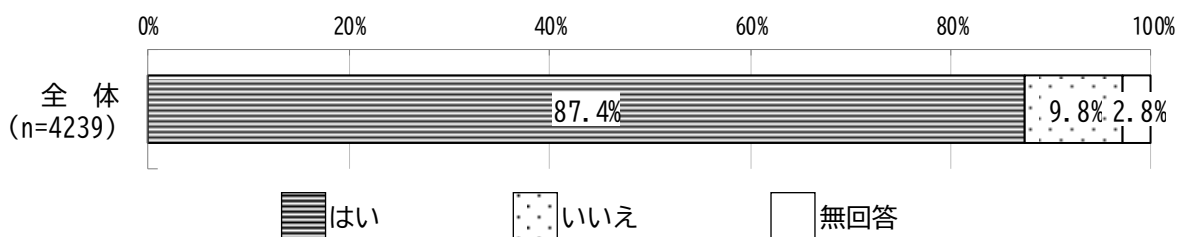
問5（11） 本や雑誌を読んでいますか（1つに○）。

本や雑誌を読んでいるかについて、「はい」が63.9%、「いいえ」が33.4%となっている。



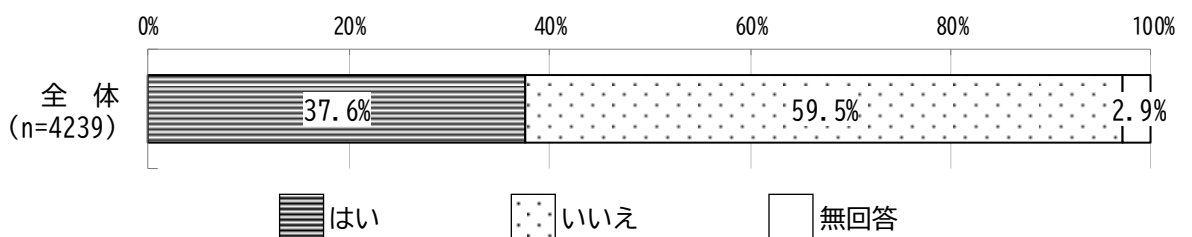
問5（12） 健康についての記事や番組に関心がありますか（1つに○）。

健康についての記事や番組に関心があるかについて、「はい」が87.4%、「いいえ」が9.8%となっている。



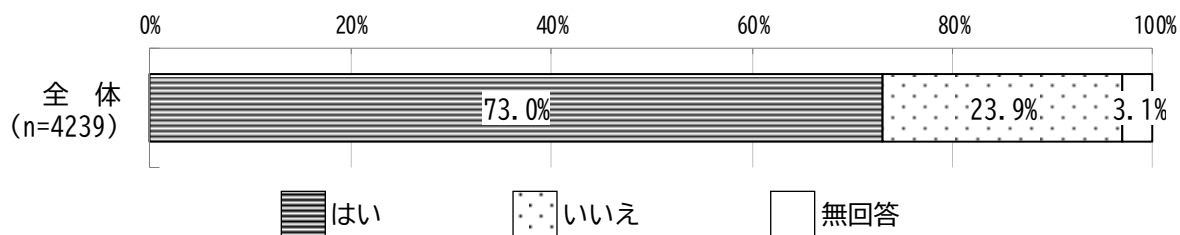
問5（13） 友人の家を訪ねていますか（1つに○）。

友人の家を訪ねているかについて、「はい」が37.6%、「いいえ」が59.5%となっている。



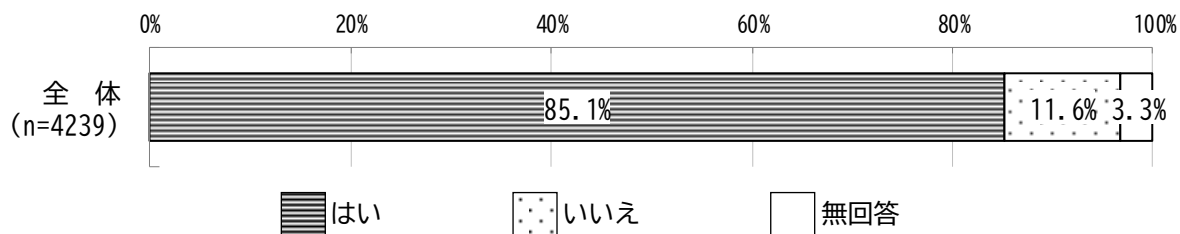
問5（14） 家族や友人の相談にのっていますか（1つに○）。

家族や友人の相談にのっているかについて、「はい」が73.0%、「いいえ」が23.9%となっている。



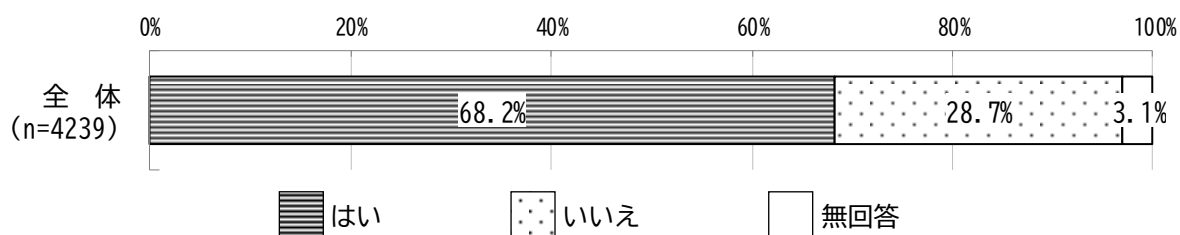
問5（15） 病人を見舞うことができますか（1つに○）。

病人を見舞うことができるかについて、「はい」が85.1%、「いいえ」が11.6%となっている。



問5（16） 若い人に自分から話しかけることがありますか（1つに○）。

若い人に自分から話しかけることがあるかについて、「はい」が68.2%、「いいえ」が28.7%となっている。

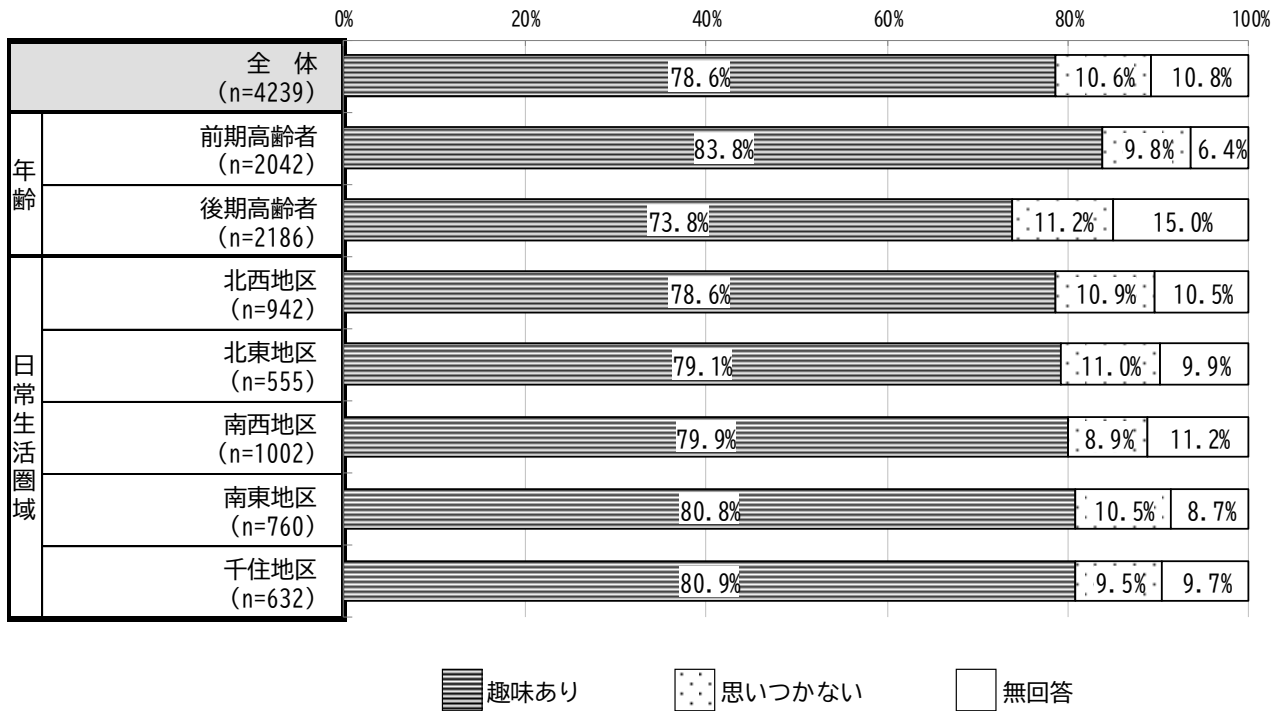


問5 (17) 趣味はありますか(1つに○)。

趣味について、足立区全体では、「趣味あり」が78.6%、「思いつかない」が10.6%となっている。

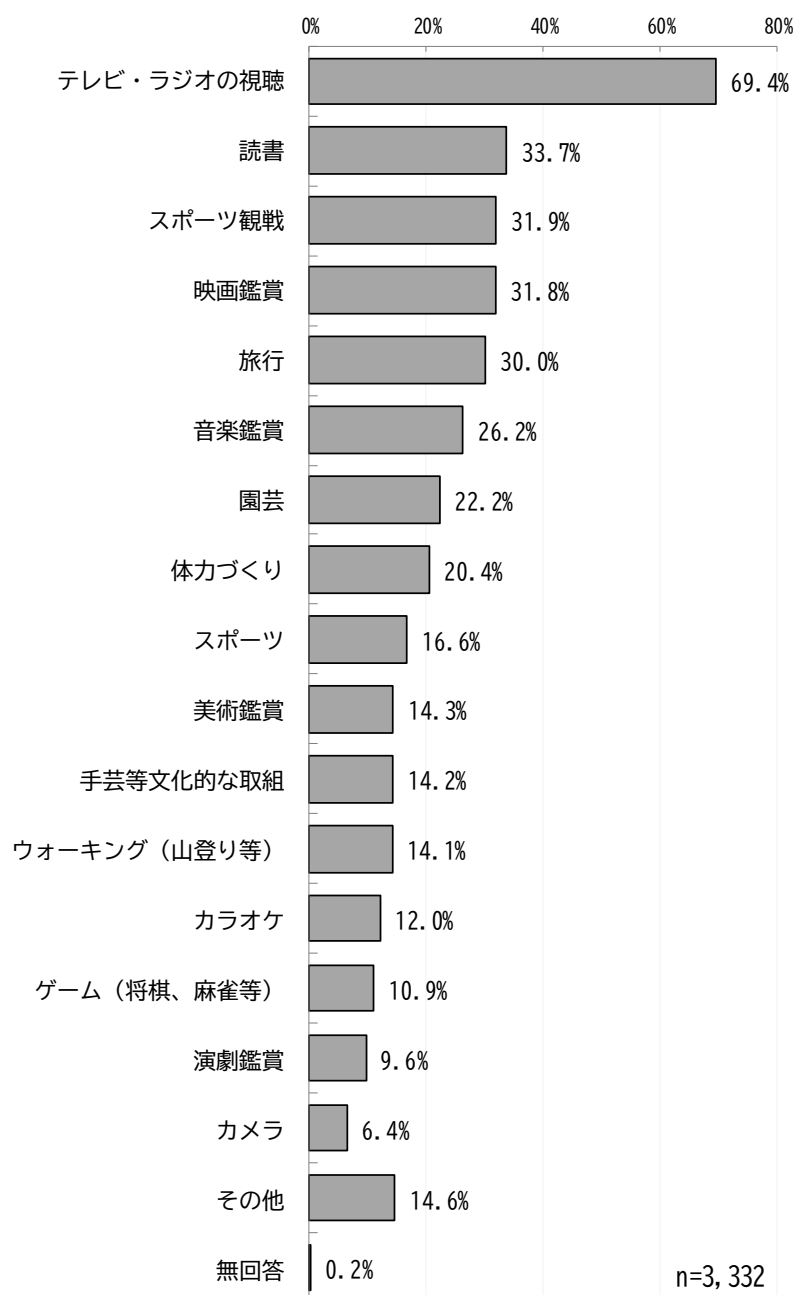
前期・後期別にみると、「趣味あり」では、前期高齢者が83.8%と高く、後期高齢者が73.8%と低くなっている。

日常生活圏域別にみると、「趣味あり」では、千住地区が80.9%と高く、北西地区が78.6%と低くなっている。



問5（17）① どのようなことを趣味にしていますか（いくつでも○）。

「趣味あり」と回答した方の趣味の内容について、「テレビ・ラジオの視聴」が69.4%と最も高く、「読書」が33.7%、「スポーツ観戦」が31.9%、「映画鑑賞」が31.8%、「旅行」が30.0%、「音楽鑑賞」が26.2%、「園芸」が22.2%、「体力づくり」が20.4%、「スポーツ」が16.6%、「美術鑑賞」が14.3%、「手芸等文化的な取組」が14.2%、「ウォーキング（山登り等）」が14.1%、「カラオケ」が12.0%、「ゲーム（将棋、麻雀等）」が10.9%、「演劇鑑賞」が9.6%、「カメラ」が6.4%となっている。

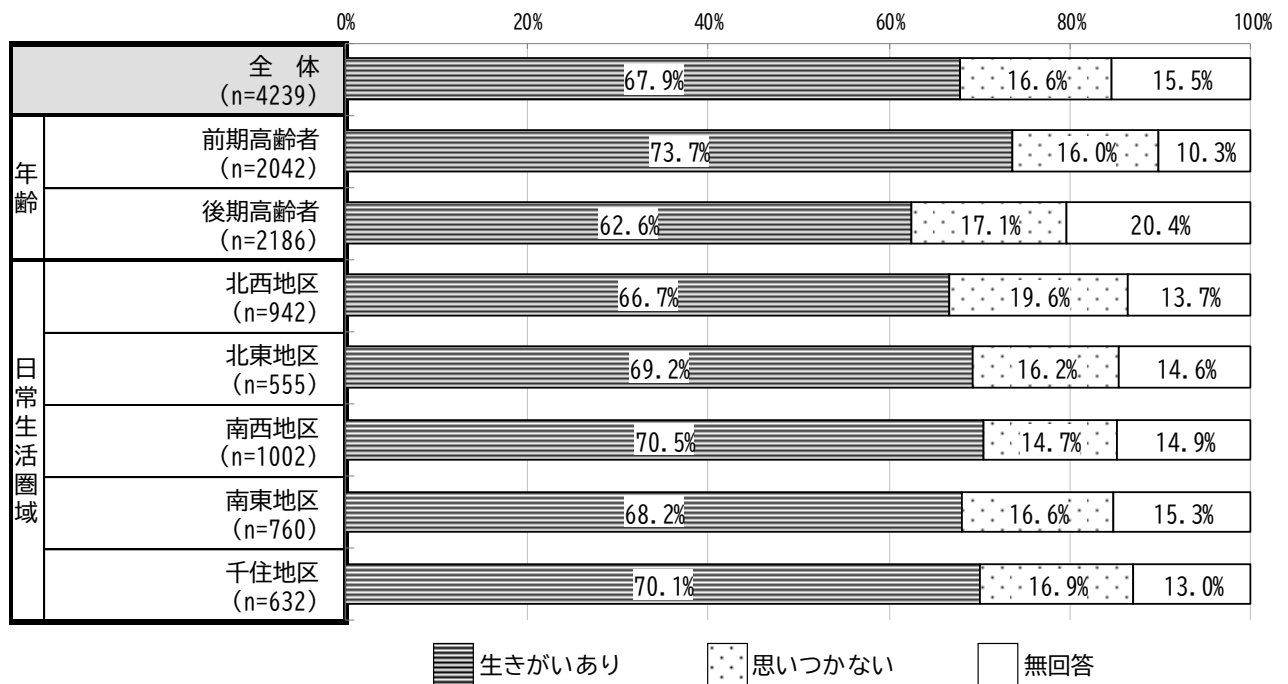


問5 (18) 生きがいがありますか(1つに○)。

生きがいについて、足立区全体では、「生きがいあり」が67.9%、「思いつかない」が16.6%となっている。

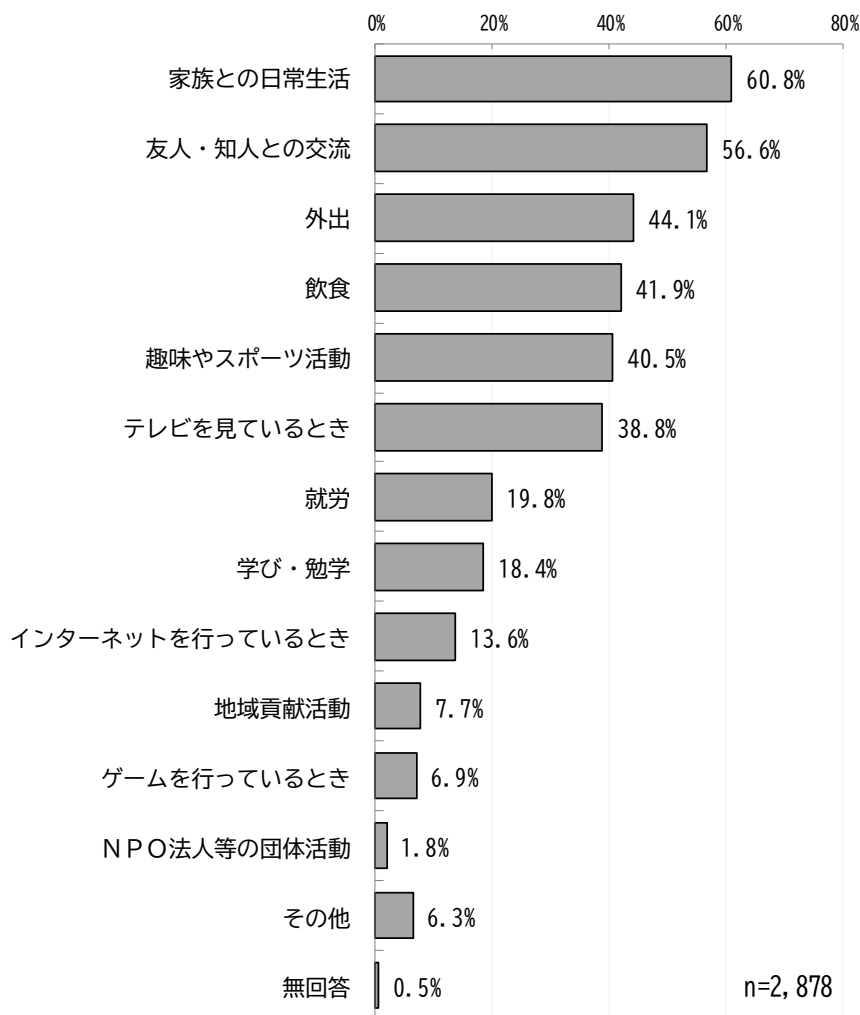
前期・後期別にみると、「生きがいあり」では、前期高齢者が73.7%と高く、後期高齢者が62.6%と低くなっている。

日常生活圏域別にみると、「生きがいあり」では、南西地区が70.5%と高く、北西地区が66.7%と低くなっている。



問5（18）① どのようなことに生きがいを感じますか（いくつでも○）。

「生きがいあり」と回答した方の生きがいの内容について、「家族との日常生活」が60.8%と最も高く、「友人・知人との交流」が56.6%、「外出」が44.1%、「飲食」が41.9%、「趣味やスポーツ活動」が40.5%、「テレビを見ているとき」が38.8%、「就労」が19.8%、「学び・勉学」が18.4%、「インターネットを行っているとき」が13.6%、「地域貢献活動」が7.7%、「ゲームを行っているとき」が6.9%、「NPO法人等の団体活動」が1.8%となっている。

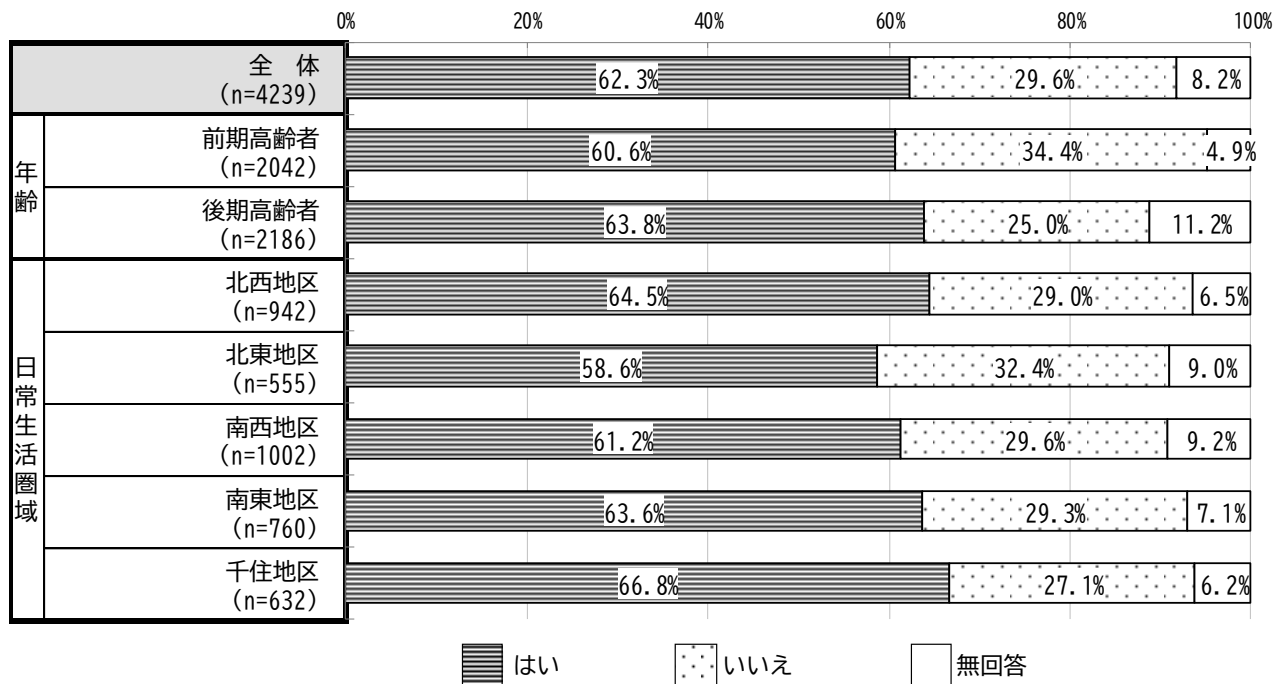


問5 (19) あなたは、詐欺にあわないための対策をしていますか(1つに○)。

詐欺にあわないための対策をしているかについて、足立区全体では、「はい」が62.3%、「いいえ」が29.6%となっている。

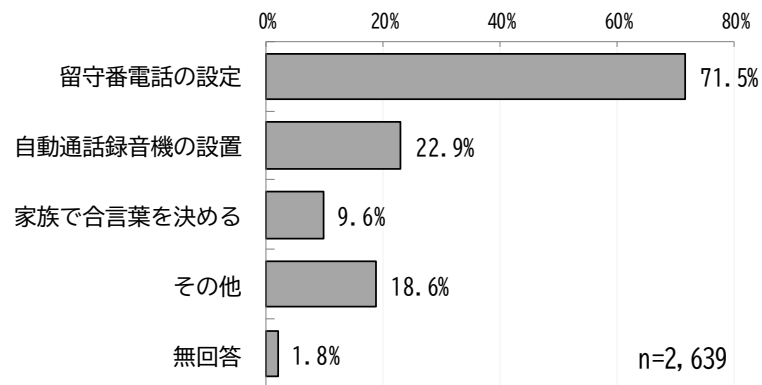
前期・後期別にみると、「はい」では、前期高齢者が60.6%、後期高齢者が63.8%となっている。

日常生活圏域別にみると、「はい」では、千住地区が66.8%と高く、北東地区が58.6%と低くなっている。



問5（19）① どのような対策をしていますか（いくつでも○）。

詐欺にあわないための対策をしているかについて、「はい」と回答した方の対策について、「留守番電話の設定」が71.5%と最も高く、「自動通話録音機の設置」が22.9%、「家族で合言葉を決める」が9.6%となっている。

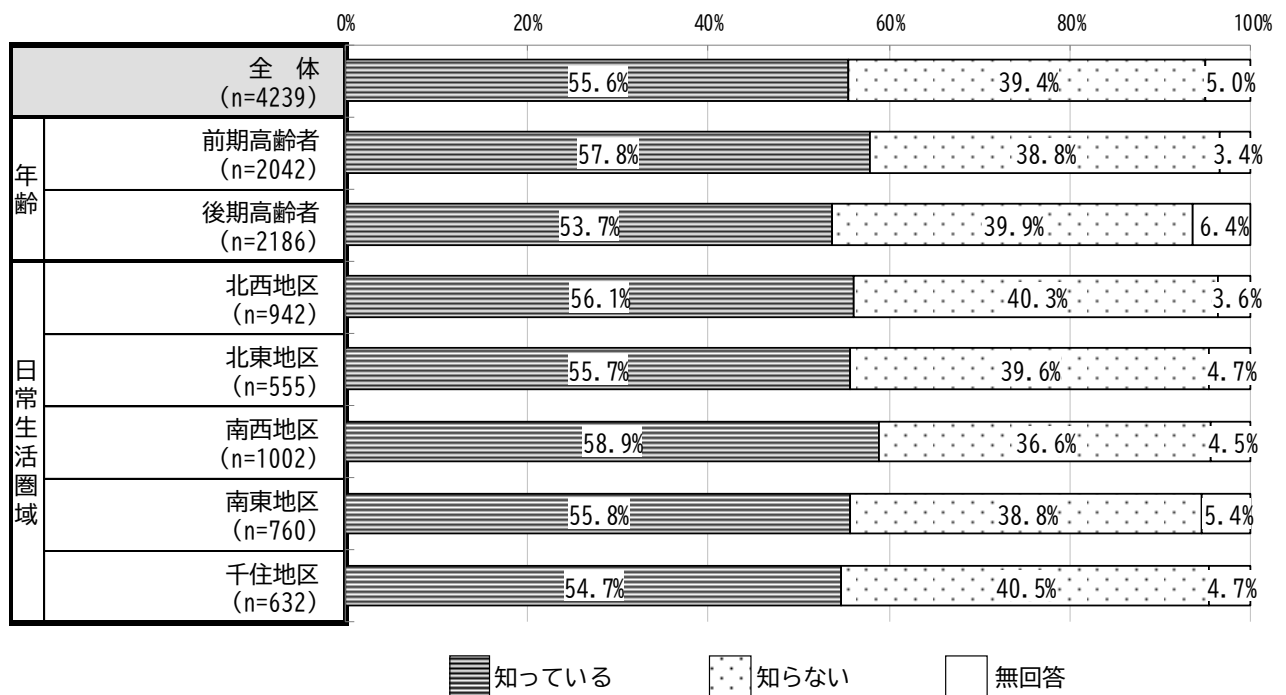


問5（20） 消費者被害にあったときの相談先として「足立区消費者センター」がありますが、ご存知ですか（1つに○）。

消費者被害の相談先としての「足立区消費者センター」の存在について、足立区全体では、「知っている」が55.6%、「知らない」が39.4%となっている。

前期・後期別にみると、「知っている」では、前期高齢者が57.8%、後期高齢者が53.7%となっている。

日常生活圏域別にみると、「知っている」では、南西地区が58.9%と高く、千住地区が54.7%と低くなっている。

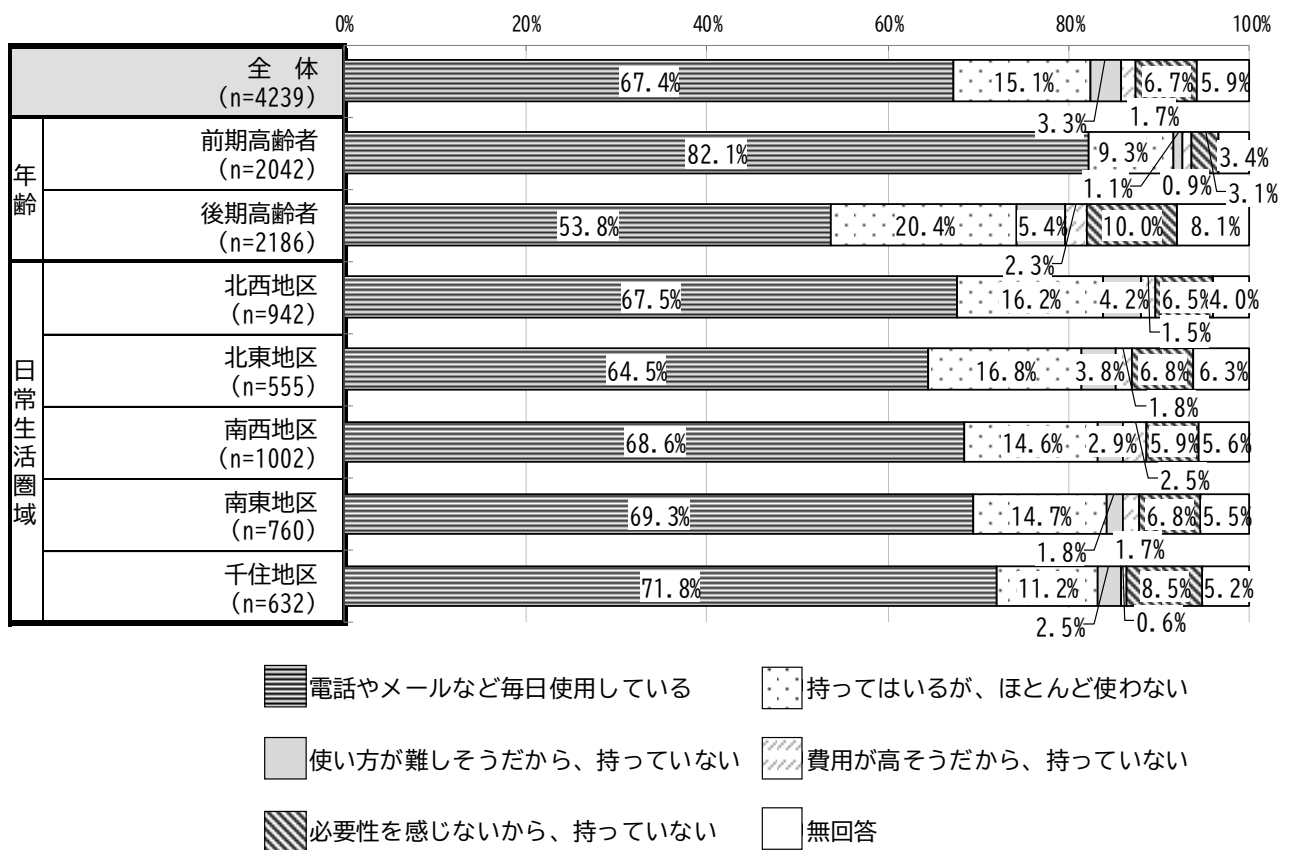


問5（21） スマートフォンの利用状況について、教えてください（1つに○）。

スマートフォンの利用状況について、足立区全体では、「電話やメールなど毎日使用している」が67.4%と最も高く、「持ってはいるが、ほとんど使わない」が15.1%、「必要性を感じないから、持っていない」が6.7%、「使い方が難しそうだから、持っていない」が3.3%、「費用が高そうだから、持っていない」が1.7%となっている。

前期・後期別にみると、「電話やメールなど毎日使用している」では、前期高齢者が82.1%と高く、後期高齢者が53.8%で低くなっている。

日常生活圏域別にみると、「電話やメールなど毎日使用している」では、千住地区が71.8%と高く、北東地区が64.5%と低くなっている。

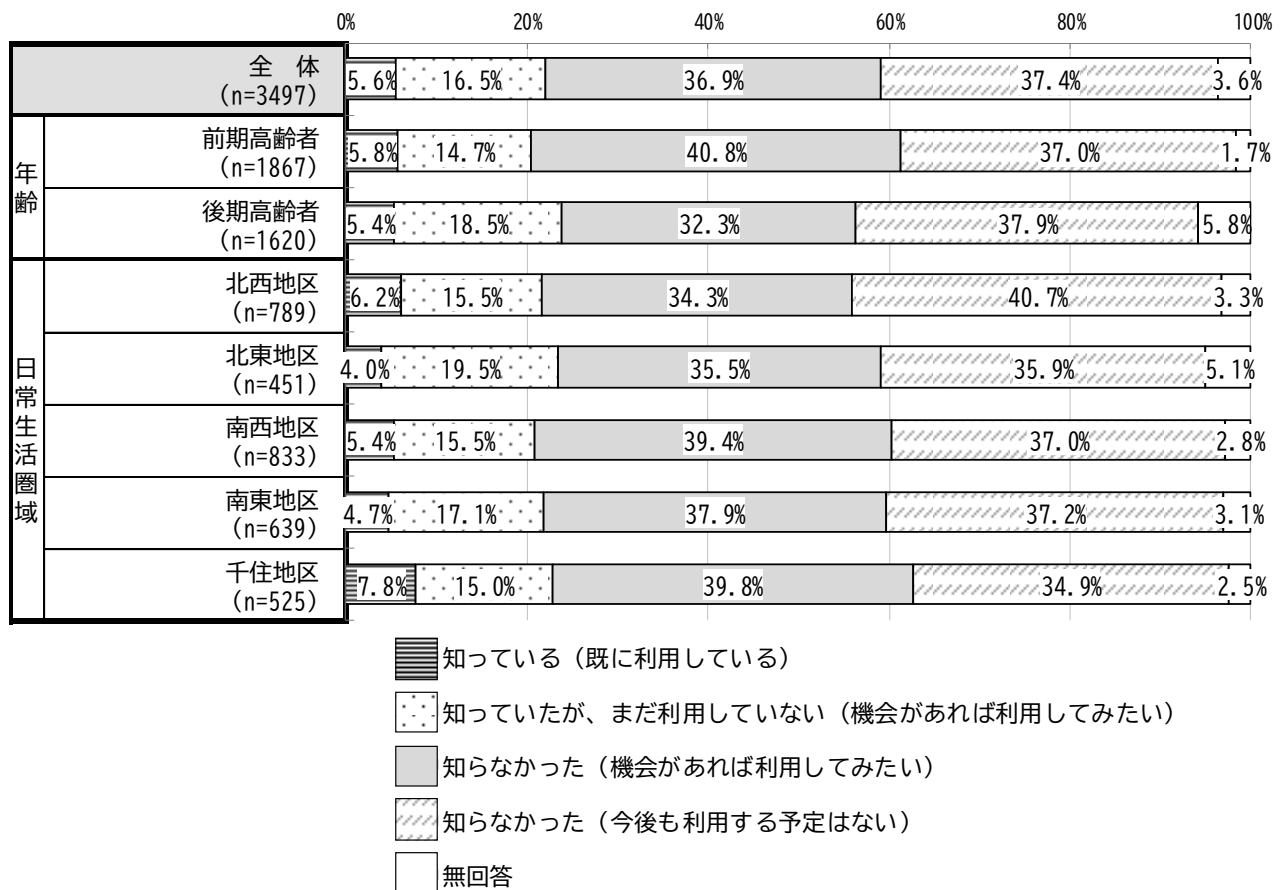


問5 (21) ① 「あだち脳活ラボ」をご存じですか(1つに○)。

スマートフォンを「利用している」と回答した方の「あだち脳活ラボ」の認知状況について、足立区全体では、「知らなかった(今後も利用する予定はない)」が37.4%で最も高く、「知らなかった(機会があれば利用してみたい)」が36.9%、「知っていたが、まだ利用していない(機会があれば利用してみたい)」が16.5%、「知っている(既に利用している)」が5.6%となっている。

前期・後期別にみると、「知らなかった(今後も利用する予定はない)」では、前期高齢者が37.0%、後期高齢者が37.9%となっている。

日常生活圏域別にみると、「知らなかった(今後も利用する予定はない)」では、北西地区が40.7%と高く、千住地区が34.9%と低くなっている。



(6) 地域での活動について

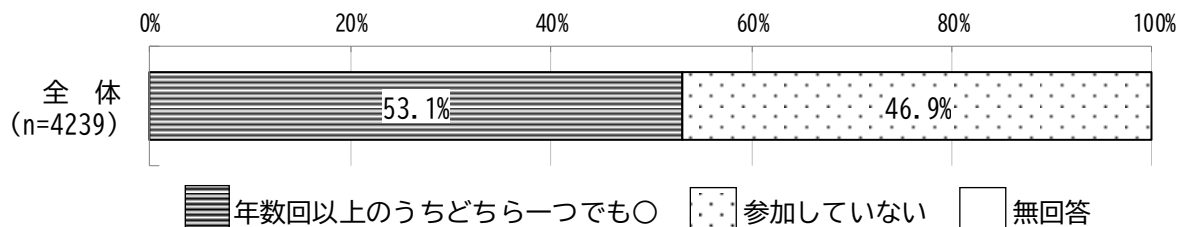
問6 (1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
(それぞれ1つに○)。

地域での会・グループ等への参加について、すべての会・グループ等で「参加していない」が最も高くなっている。

ボランティアのグループについて、「参加していない」が57.6%、スポーツ関係のグループやクラブについて、「参加していない」が52.4%、趣味関係のグループについて、「参加していない」が50.9%、学習・教養サークルについて、「参加していない」が57.0%、介護予防のための通いの場（ふれあいサロン等）について、「参加していない」が59.5%、老人クラブについて、「参加していない」が59.3%、町内会・自治会について、「参加していない」が49.2%、収入のある仕事について、「参加していない」が44.7%と最も高くなっている。

	調査数	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
① ボランティアのグループ	4239	0.3	0.9	1.1	2.5	2.0	57.6	35.6
② スポーツ関係のグループやクラブ	4239	3.0	5.2	3.8	3.3	1.2	52.4	31.1
③ 趣味関係のグループ	4239	0.9	2.8	3.4	7.5	3.2	50.9	31.3
④ 学習・教養サークル	4239	0.2	0.4	0.8	2.3	1.6	57.0	37.8
⑤ 介護予防のための通いの場（ふれあいサロン等）	4239	0.2	0.3	0.5	0.8	0.5	59.5	38.1
⑥ 老人クラブ	4239	0.2	0.3	0.3	0.6	0.7	59.3	38.6
⑦ 町内会・自治会	4239	0.4	0.8	1.0	5.2	10.3	49.2	33.1
⑧ 収入のある仕事	4239	13.4	6.2	0.9	1.5	1.0	44.7	32.2

地域での会・グループ等への参加について、1つ以上の会・グループ等に「年に数回以上参加している」のは、「年数回以上のうちどちら一つでも○」が53.1%、「参加していない」が46.9%となっている。

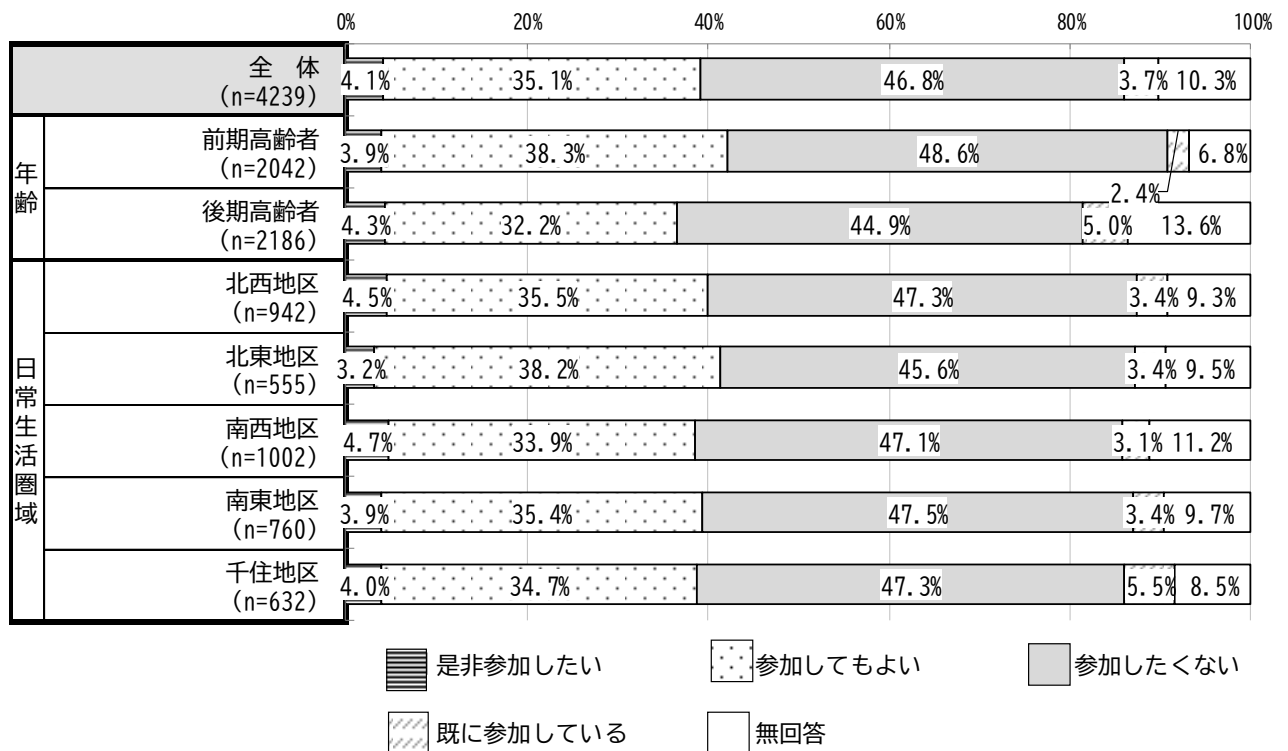


問6(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか(1つに○)。

地域住民の有志による健康づくり活動や趣味等のグループ活動について、足立区全体では、「参加したくない」が46.8%と最も高く、「参加してもよい」が35.1%、「是非参加したい」が4.1%、「既に参加している」が3.7%となっている。

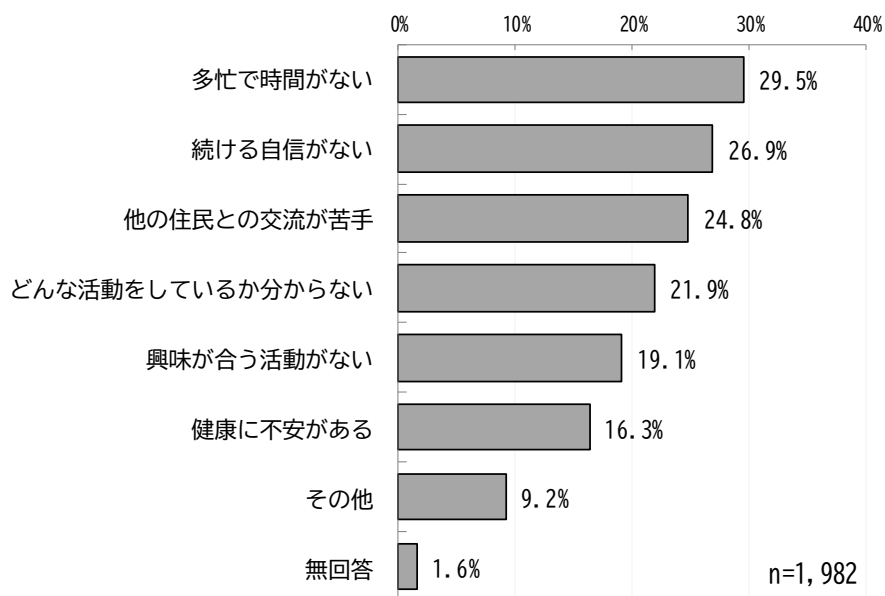
前期・後期別にみると、「参加したくない」では、前期高齢者が48.6%、後期高齢者が44.9%となっている。

日常生活圏域別にみると、「参加したくない」では、南東地区が47.5%と高く、北東地区が45.6%と低くなっている。



問6(2)① 参加したくない理由を教えてください(いくつでも○)。

地域住民の有志による健康づくり活動や趣味等のグループ活動に「参加したくない」と回答した方の、参加したくない理由として、「多忙で時間がない」が29.5%と最も高く、「続ける自信がない」が26.9%、「他の住民との交流が苦手」が24.8%、「どんな活動をしているか分からない」が21.9%、「興味が合う活動がない」が19.1%、「健康に不安がある」が16.3%となっている。

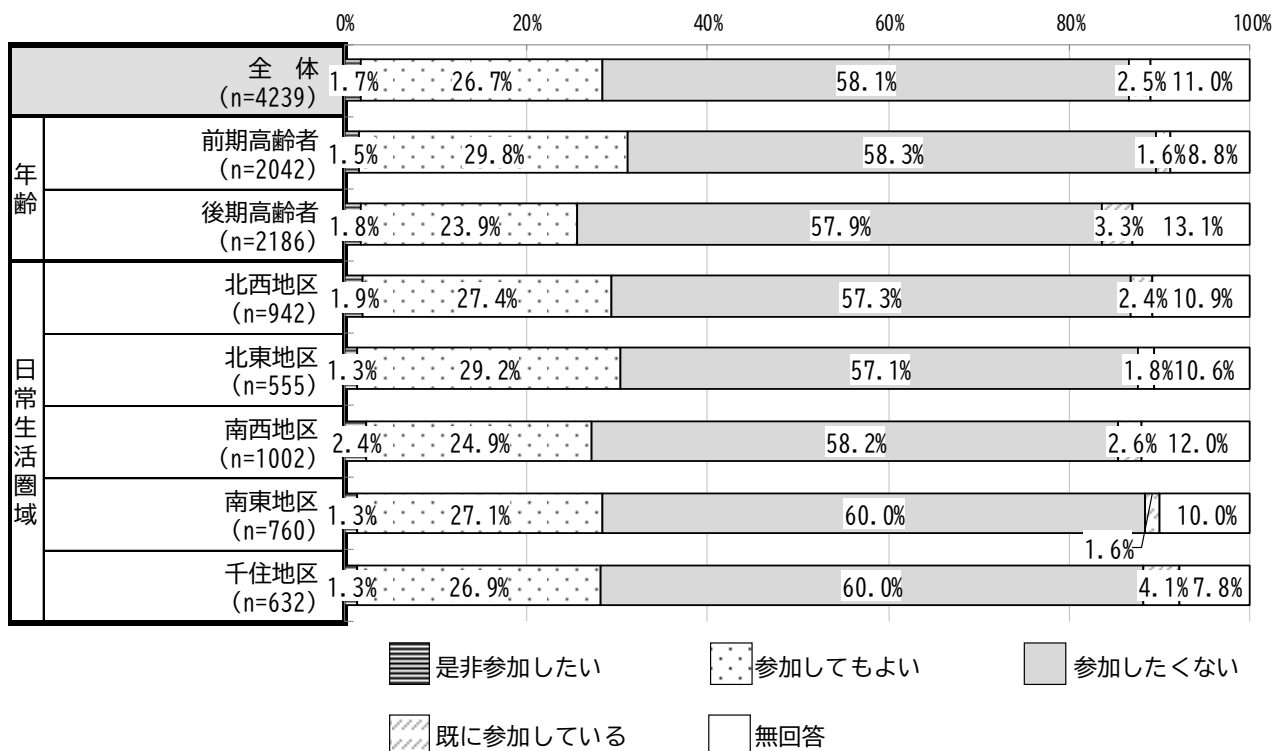


問6(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（1つに○）。

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動へ、企画・運営（お世話役）として参加することについて、足立区全体では、「参加したくない」が58.1%と最も高く、「参加してもよい」が26.7%、「既に参加している」が2.5%、「是非参加したい」が1.7%となっている。

前期・後期別にみると、「参加したくない」では、前期高齢者が58.3%、後期高齢者が57.9%となっている。

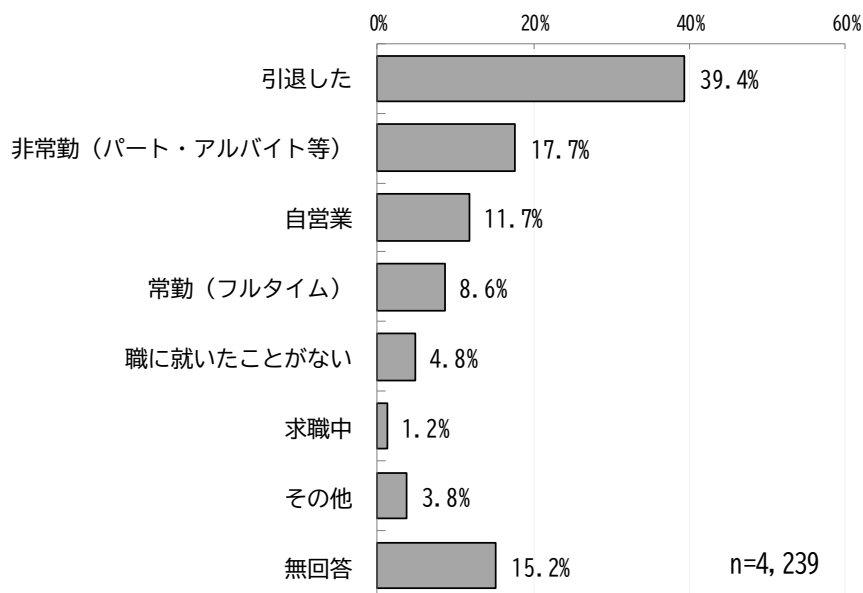
日常生活圏域別にみると、「参加したくない」では、南東地区、千住地区が60.0%と高く、北東地区が57.1%と低くなっている。



(7) 就労について

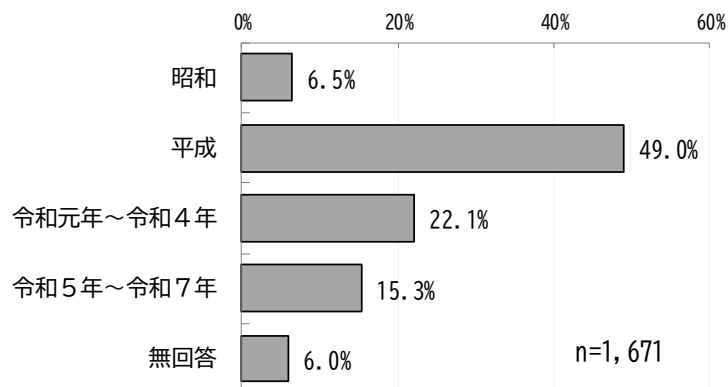
問7(1) 現在のあなたの就労状態はどれですか(いくつでも○)。

現在の就労状況について、足立区全体では、「引退した」が39.4%と最も高く、「非常勤(パート・アルバイト等)」が17.7%、「自営業」が11.7%、「常勤(フルタイム)」が8.6%、「職に就いたことがない」が4.8%、「求職中」が1.2%となっている。



問7(1)① あなたはいつ引退しましたか(数字を記入)。

現在の就労状態として「引退した」と回答した方の、引退時期について、足立区全体では、「昭和」が6.5%、「平成」が49.0%、「令和元年～令和4年」が22.1%、「令和5年～令和7年」が15.3%となっている。



(8) たすけあいについて

- 問8 (1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいますか（いくつでも○）。
- 問8 (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はいますか（いくつでも○）。
- 問8 (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか（いくつでも○）。
- 問8 (4) 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人はいますか（いくつでも○）。

「心配事や愚痴を聞いてくれる人」について、「配偶者」が49.1%と最も高く、「友人」が44.3%、「別居の子ども」が33.2%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が27.7%、「同居の子ども」が19.9%、「近隣」が10.9%となっている。また「そのような人はいない」が4.6%となっている。

「心配事や愚痴を聞いてあげる人」について、「配偶者」が47.5%と最も高く、「友人」が44.5%、「別居の子ども」が31.4%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が28.8%、「同居の子ども」が18.1%、「近隣」が13.1%となっている。また「そのような人はいない」が5.4%となっている。

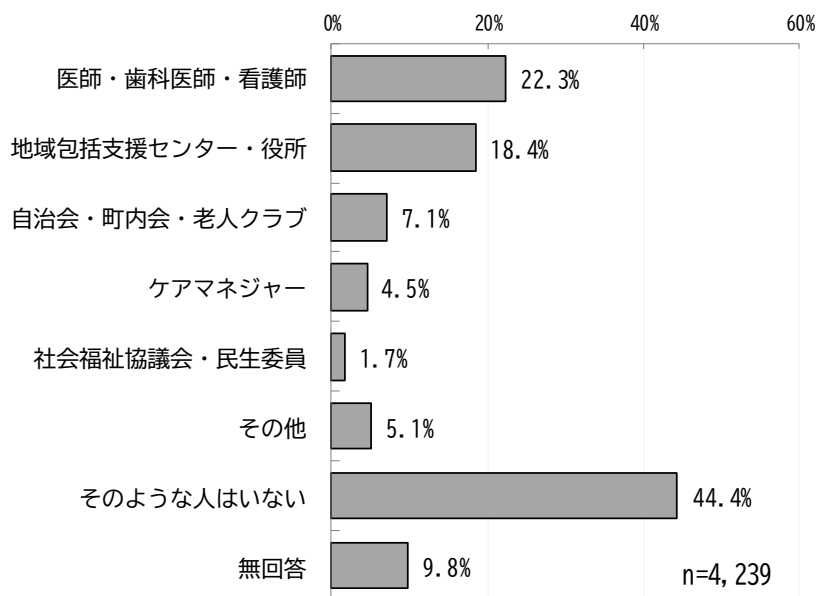
「看病や世話をしてくれる人」について、「配偶者」が53.4%と最も高く、「別居の子ども」が30.9%、「同居の子ども」が24.2%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が13.4%、「友人」が5.9%、「近隣」が2.1%となっている。また「そのような人はいない」が8.6%となっている。

「看病や世話をしてあげる人」について、「配偶者」が49.7%と最も高く、「別居の子ども」が21.7%、「同居の子ども」が19.7%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が19.0%、「友人」が6.9%、「近隣」が3.0%となっている。また「そのような人はいない」が18.0%となっている。

		(%)								
	調査数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいますか	4239	49.1	19.9	33.2	27.7	10.9	44.3	2.1	4.6	5.3
(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はいますか	4239	47.5	18.1	31.4	28.8	13.1	44.5	2.0	5.4	6.1
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか	4239	53.4	24.2	30.9	13.4	2.1	5.9	1.2	8.6	5.4
(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人はいますか	4239	49.7	19.7	21.7	19.0	3.0	6.9	1.2	18.0	7.7

問8（5） 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも○）。

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手について、「医師・歯科医師・看護師」が22.3%と最も高く、「地域包括支援センター・役所」が18.4%、「自治会・町内会・老人クラブ」が7.1%、「ケアマネジャー」が4.5%、「社会福祉協議会・民生委員」が1.7%となっている。また「そのような人はいない」が44.4%となっている。

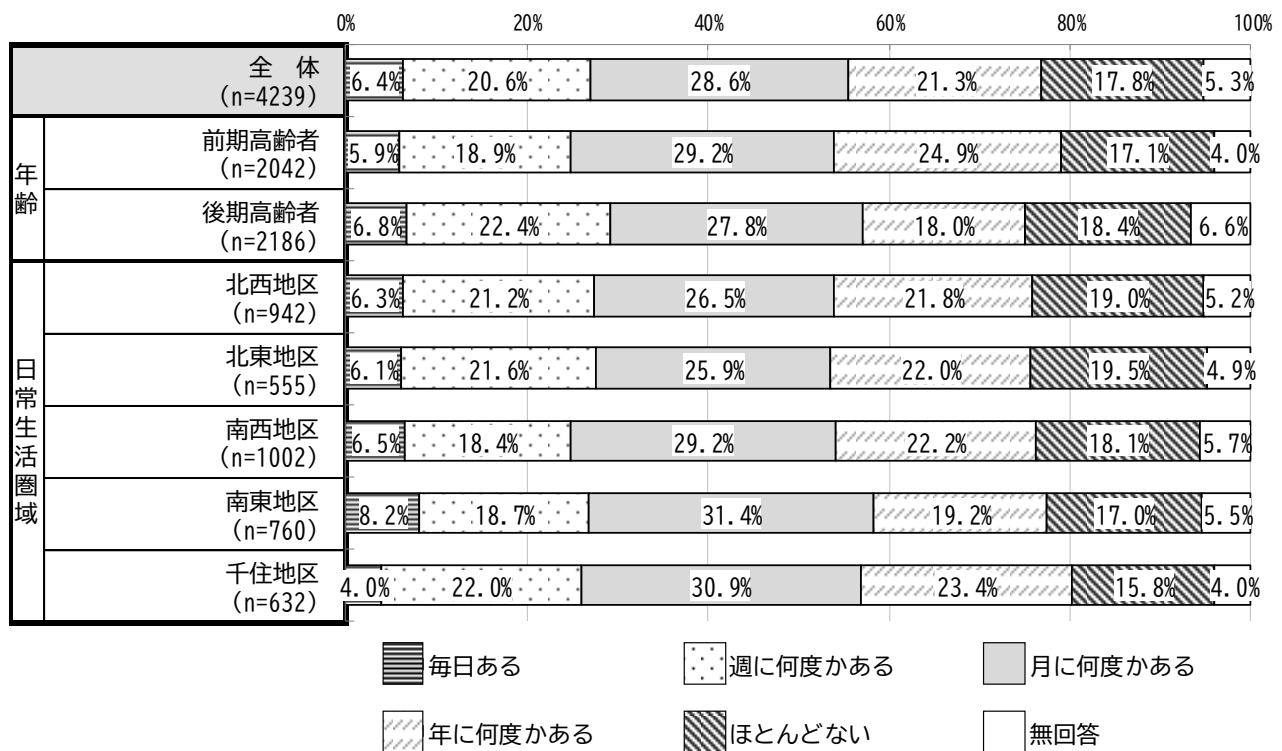


問8 (6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか(1つに○)。

友人・知人と会う頻度について、足立区全体では、「月に何度かある」が28.6%と最も高く、「年に何度かある」が21.3%、「週に何度かある」が20.6%、「ほとんどない」が17.8%、「毎日ある」が6.4%となっている。

前期・後期別にみると、「月に何度かある」では、前期高齢者が29.2%、後期高齢者が27.8%となっている。

日常生活圏域別にみると、「月に何度かある」では、南東地区が31.4%と高く、北東地区が25.9%と低くなっている。



問8（7） この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします（1つに○）。

この1か月間に友人・知人と会った人数について、足立区全体では、「3～5人」が26.8%と最も高く、「1～2人」が23.2%、「0人（いない）」「10人以上」が17.8%、「6～9人」が9.9%となっている。

前期・後期別にみると、「3～5人」では、前期高齢者が26.7%、後期高齢者が26.9%となっている。

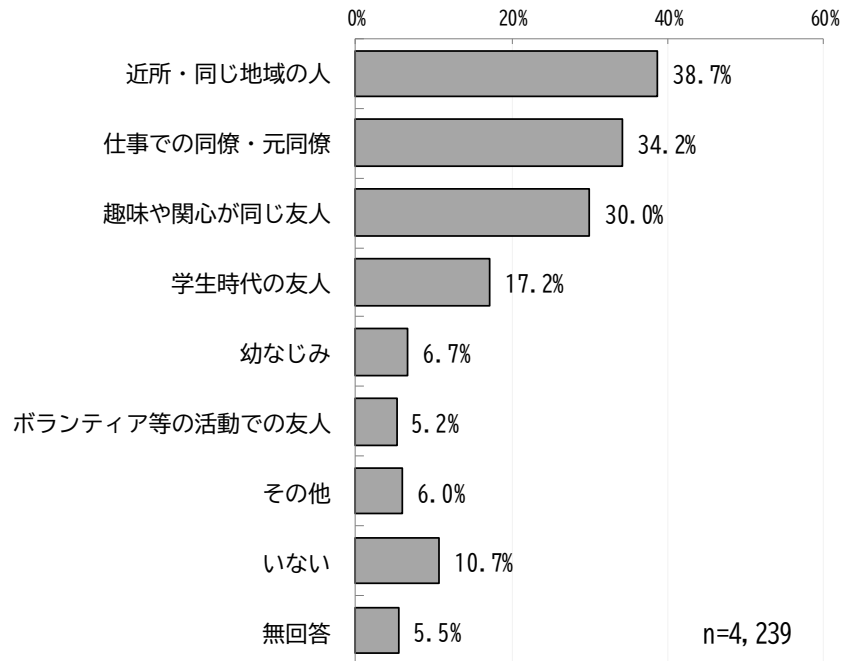
日常生活圏域別にみると、「3～5人」では、千住地区が28.0%と高く、北東地区が24.7%と低くなっている。

(%)

		調査数	0人 (いない)	1～2 人	3～5 人	6～9 人	10人以 上	無回答
全 体		4239	17.8	23.2	26.8	9.9	17.8	4.5
年 齢	前期高齢者	2042	18.5	22.0	26.7	10.0	19.4	3.2
	後期高齢者	2186	17.1	24.2	26.9	9.8	16.3	5.7
日常生活 圏域	北西地区	942	19.6	22.2	27.8	9.9	16.9	3.6
	北東地区	555	21.3	21.6	24.7	9.4	17.8	5.2
	南西地区	1002	16.6	24.6	26.8	9.2	17.9	5.0
	南東地区	760	17.1	24.2	25.8	11.1	17.2	4.6
	千住地区	632	16.3	21.5	28.0	10.6	20.1	3.5

問8（8） よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（いくつでも○）。

よく会う友人・知人との関係について、「近所・同じ地域の人」が38.7%と最も高く、「仕事での同僚・元同僚」が34.2%、「趣味や関心が同じ友人」が30.0%、「学生時代の友人」が17.2%、「幼なじみ」が6.7%、「ボランティア等の活動での友人」が5.2%となっている。また「いない」が10.7%となっている。



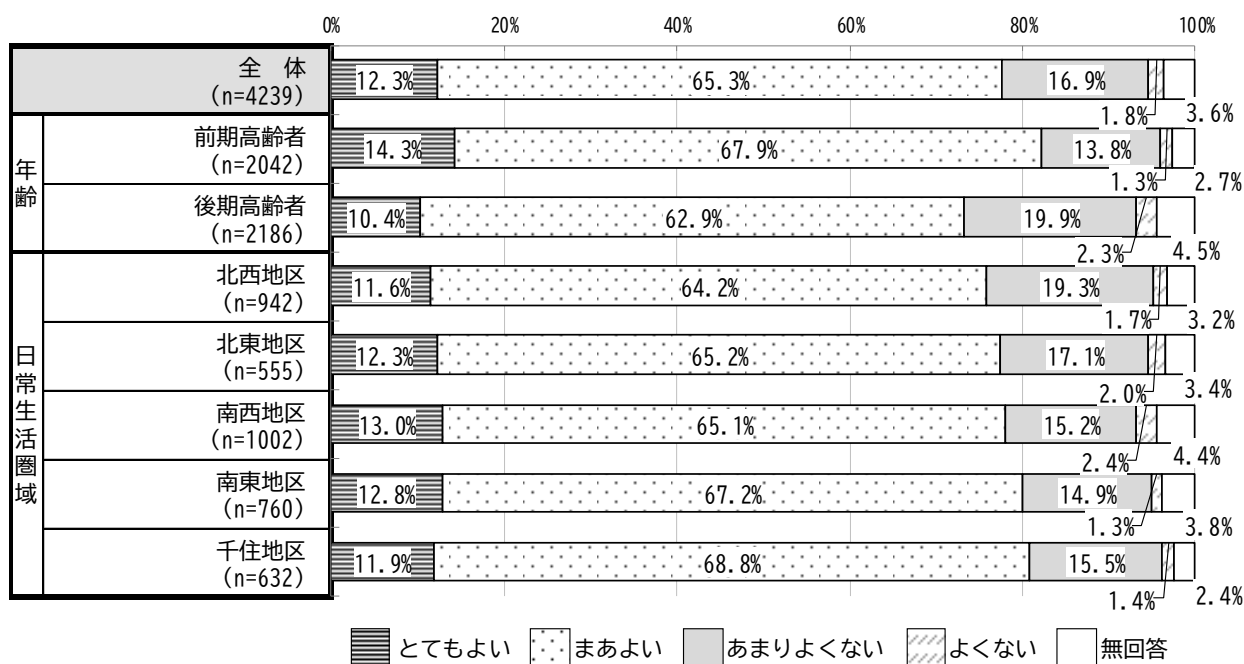
(9) 健康について

問9 (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (1つに○)。

現在の健康状態について、足立区全体では、「まあよい」が65.3%と最も高く、「あまりよくない」が16.9%、「とてもよい」が12.3%、「よくない」が1.8%となっている。

前期・後期別にみると、「まあよい」では、前期高齢者が67.9%、後期高齢者が62.9%となっている。

日常生活圏域別にみると、「まあよい」では、千住地区が68.8%と高く、北西地区が64.2%と低くなっている。



問9（2） あなたは、現在どの程度幸せですか（当てはまる点数1つに○）
（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）。

現在の幸福度について、足立区全体では、「8点」が24.0%と最も高く、「5点」が17.6%、「7点」が17.2%、「10点（とても幸せ）」が11.7%、「6点」が9.6%、「9点」が8.3%、「4点」が3.1%、「3点」が2.5%、「2点」が0.7%、「0点（とても不幸）」が0.5%、「1点」が0.0%となっている。7点以上は61.2%となっている。

（%）

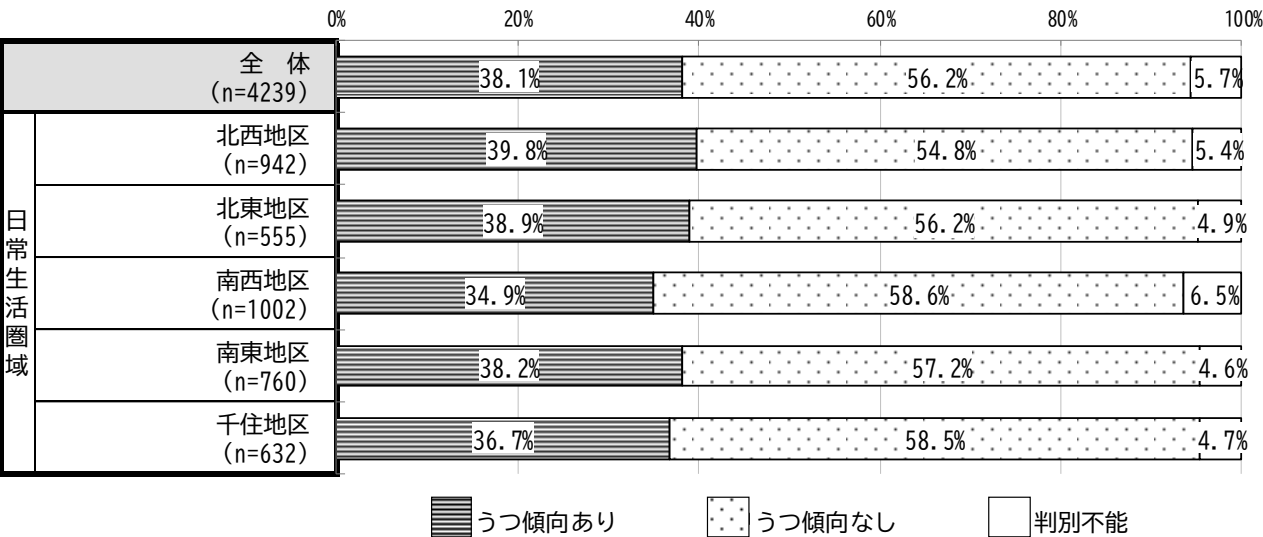
		調査数	0点 とても 不幸	1点	2点	3点	4点	5点
全 体		4239	0.5	0.0	0.7	2.5	3.1	17.6
年 齢	前期高齢者	2042	0.5	0.1	0.7	2.4	2.9	16.2
	後期高齢者	2186	0.4	0.0	0.6	2.6	3.2	18.8
日常生活 圏域	北西地区	942	0.4	0.0	0.7	3.3	3.4	18.0
	北東地区	555	0.2	0.0	1.1	1.4	3.4	21.3
	南西地区	1002	0.6	0.1	0.8	2.6	1.9	16.9
	南東地区	760	0.5	0.1	0.5	1.6	3.3	16.7
	千住地区	632	0.6	0.0	0.5	2.1	4.6	13.8

		調査数	6点	7点	8点	9点	10点 とても 幸せ	無回答
全 体		4239	9.6	17.2	24.0	8.3	11.7	4.9
年 齢	前期高齢者	2042	9.6	17.3	27.3	8.6	11.0	3.3
	後期高齢者	2186	9.7	17.0	20.8	8.1	12.4	6.4
日常生活 圏域	北西地区	942	9.0	17.8	23.1	6.6	12.7	4.8
	北東地区	555	9.7	17.1	23.6	8.1	9.2	4.9
	南西地区	1002	11.1	17.2	24.0	8.3	11.9	4.8
	南東地区	760	9.2	18.0	24.5	9.6	11.2	4.7
	千住地区	632	8.4	17.6	27.4	9.7	11.7	3.8

① うつ傾向

うつ傾向について、足立区全体では、「うつ傾向あり」が38.1%、「うつ傾向なし」が56.2%となっている。

日常生活圏域別にみると、「うつ傾向あり」では、北西地区が39.8%と高く、南西地区が34.9%と低くなっている。



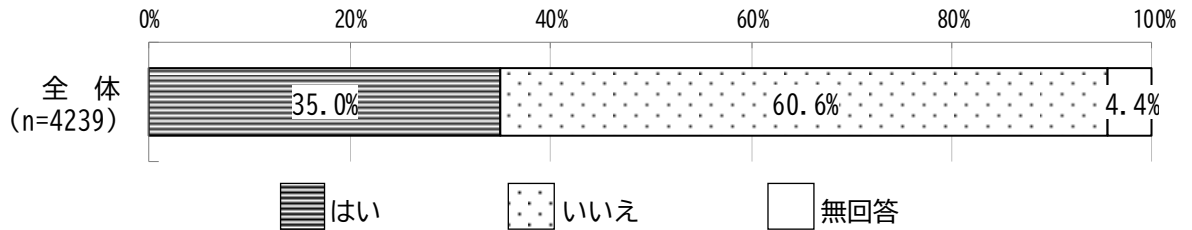
なお、上記の判断基準は、下記の設問の該当状況による。

リスクの区分	設問	質問項目	該当する選択肢	リスク該当者
うつ傾向	問9(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか(1つに○)。	1. はい	1つ以上の設問に該当
	問9(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか(1つに○)。	1. はい	

また、前頁に関連する設問の回答状況は下記のとおりです。

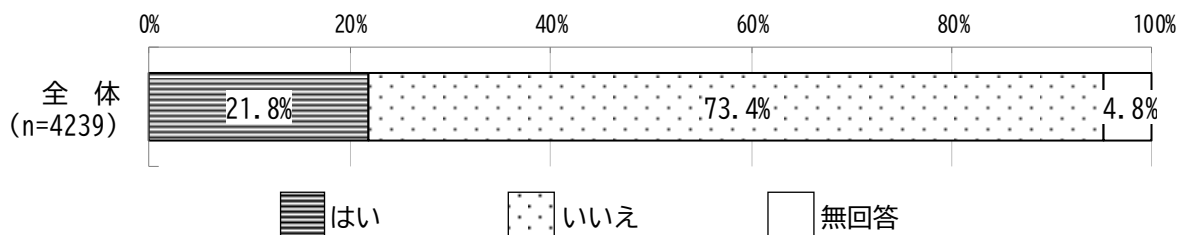
問9（3） この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか（1つに○）。

気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについて、「はい」が35.0%、「いいえ」が60.6%となっている。



問9（4） この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか（1つに○）。

物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがあったかについて、「はい」が21.8%、「いいえ」が73.4%となっている。

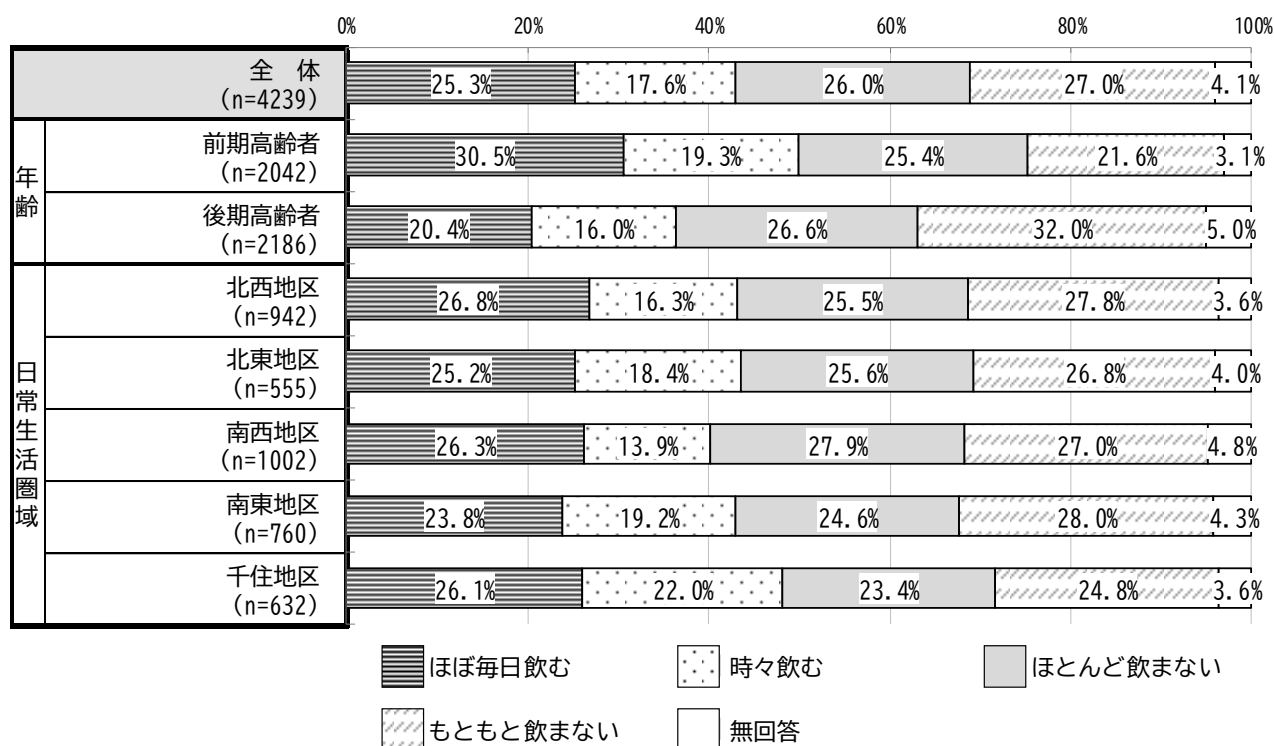


問9 (5) お酒は飲みますか (1つに○)。

飲酒について、足立区全体では、「もともと飲まない」が27.0%と最も高く、「ほとんど飲まない」が26.0%、「ほぼ毎日飲む」が25.3%、「時々飲む」が17.6%となっている。

前期・後期別にみると、前期高齢者では、「ほぼ毎日飲む」が30.5%、後期高齢者では、「もともと飲まない」が32.0%と最も高くなっている。

日常生活圏域別にみると、南西地区では、「ほとんど飲まない」が、北西地区、北東地区、南東地区では、「もともと飲まない」が、千住地区では「ほぼ毎日飲む」が高くなっている。



問9 (5) ① お酒を飲む日は、1日にどのくらい量を飲みますか(1つに○)。

飲酒について、「ほぼ毎日飲む」または「時々飲む」と回答した方の、1日の飲酒量について、足立区全体では、「1合未満」が39.2%と最も高く、「1～2合未満」が35.9%、「2～3合未満」が18.2%、「3合以上」が5.1%となっている。

前期・後期別にみると、「1合未満」では、前期高齢者が31.0%、後期高齢者では49.7%となっている。

日常生活圏域別にみると、「1合未満」では、北東地区が46.7%と高く、北西地区、千住地区が36.5%と低くなっている。

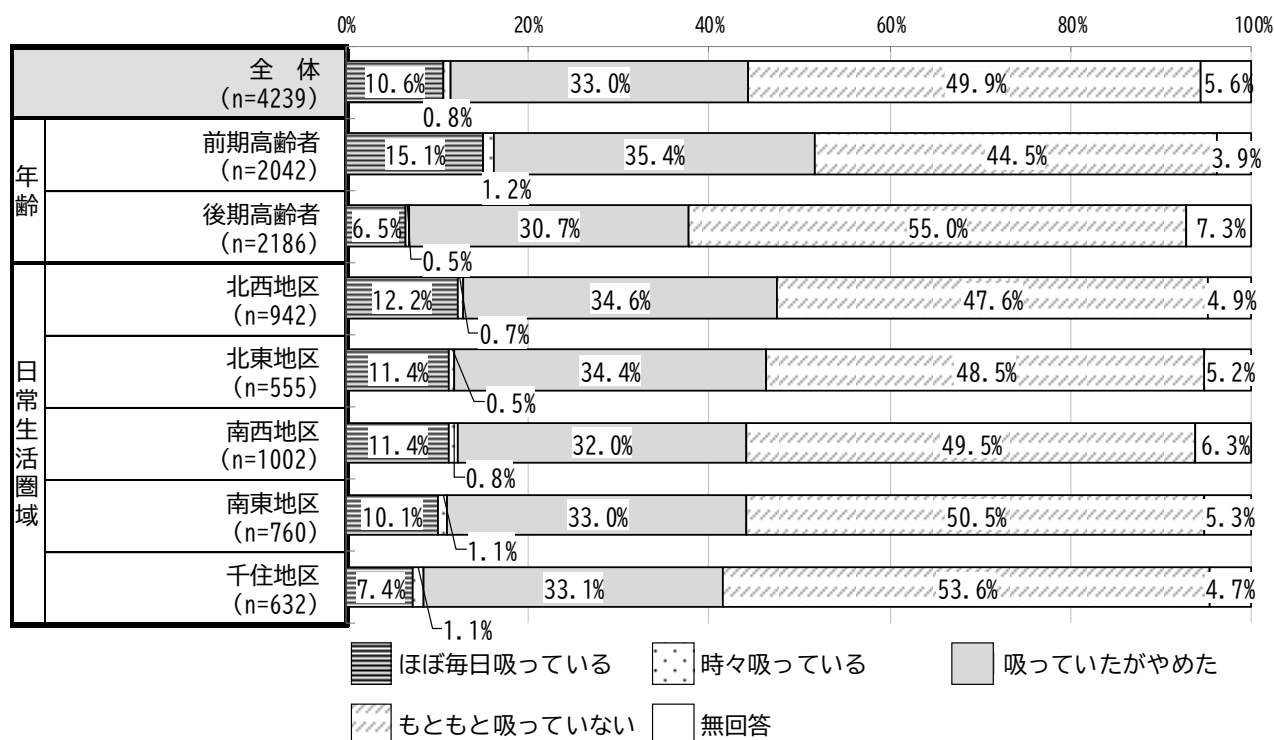
		(%)					
		調査数	1 合未 満	1～2 合未満	2～3 合未満	3合以 上	無回答
全 体		1817	39.2	35.9	18.2	5.1	1.6
年 齢	前期高齢者	1018	31.0	37.8	23.0	7.5	0.7
	後期高齢者	797	49.7	33.5	12.0	2.0	2.8
日常生活 圏域	北西地区	406	36.5	38.7	18.5	4.4	2.0
	北東地区	242	46.7	33.9	14.0	4.5	0.8
	南西地区	403	39.2	32.3	21.6	5.5	1.5
	南東地区	327	36.7	37.3	18.3	6.4	1.2
	千住地区	304	36.5	39.5	16.8	5.6	1.6

問9 (6) タバコは吸っていますか (1つに○)。

喫煙について、足立区全体では、「もともと吸っていない」が49.9%と最も高く、「吸っていたがやめた」が33.0%、「ほぼ毎日吸っている」が10.6%、「時々吸っている」が0.8%となっている。

前期・後期別にみると、「ほぼ毎日吸っている」では、前期高齢者が15.1%、後期高齢者が6.5%となっている。

日常生活圏域別にみると、「ほぼ毎日吸っている」では、北西地区が12.2%と高く、千住地区が7.4%と低くなっている。



問9 (6) ① タバコは1日にどのくらい吸いますか(1つに○)。

喫煙について、「ほぼ毎日吸っている」または「時々吸っている」と回答した方の、一日の喫煙量について、足立区全体では、「15本未満」が53.2%と最も高く、「15～20本未満」が30.1%、「20～35本未満」が14.0%、「35本以上」が2.1%となっている。

前期・後期別にみると、「15本未満」では、前期高齢者が49.8%、後期高齢者が60.5%となっている。

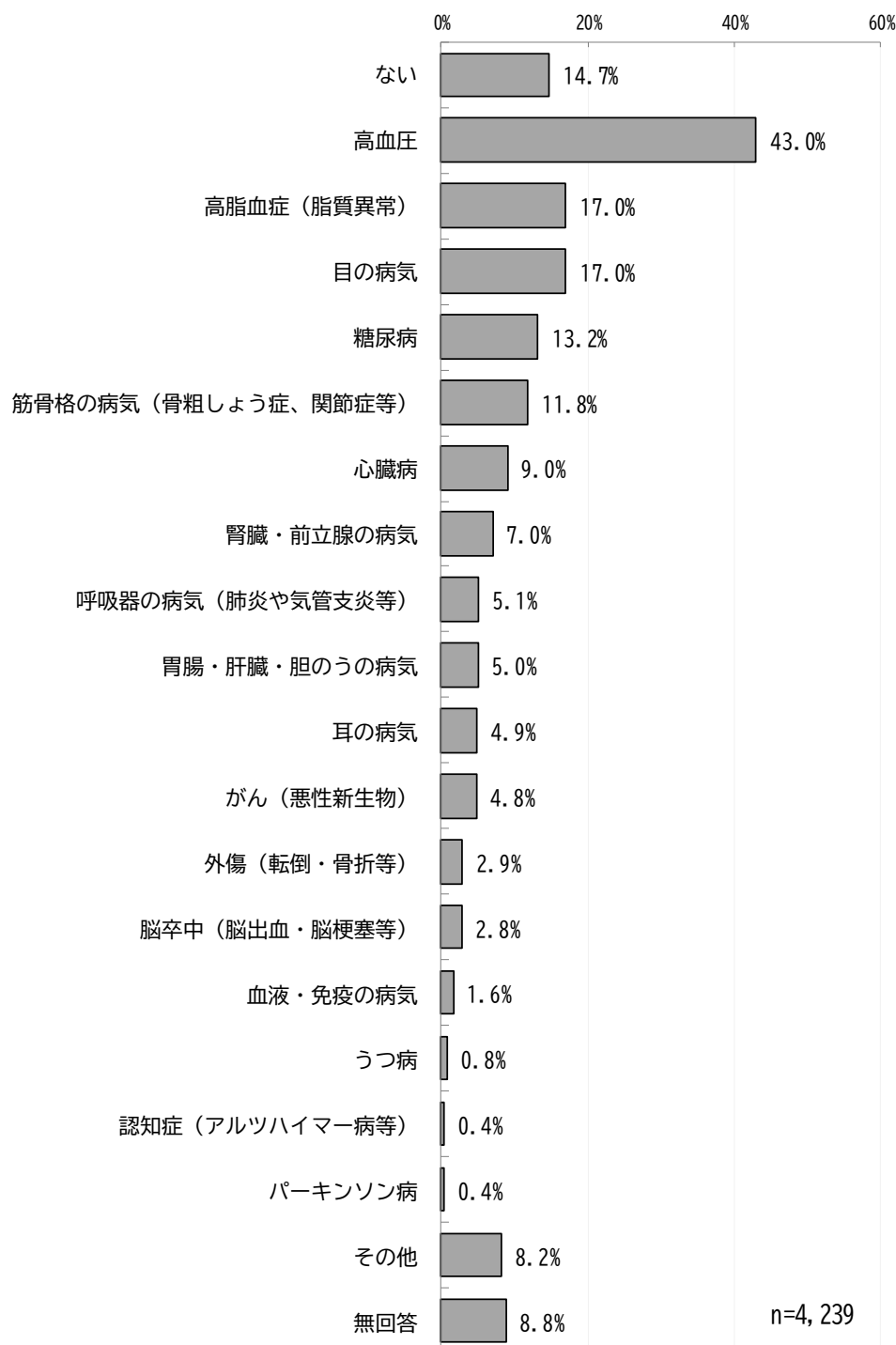
日常生活圏域別にみると、「15本未満」では、北東地区が56.1%と高く、北西地区、南西地区が53.3%と低くなっている。

(%)

		調査数	15本未満	15～20本未満	20～35本未満	35本以上	無回答
全 体		485	53.2	30.1	14.0	2.1	0.6
年 齢	前期高齢者	333	49.8	32.1	15.3	2.1	0.6
	後期高齢者	152	60.5	25.7	11.2	2.0	0.7
日常生活圏域	北西地区	122	53.3	27.9	16.4	2.5	0.0
	北東地区	66	56.1	33.3	9.1	1.5	0.0
	南西地区	122	53.3	27.9	17.2	0.8	0.8
	南東地区	85	54.1	27.1	14.1	2.4	2.4
	千住地区	54	55.6	29.6	11.1	3.7	0.0

問9（7） 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（いくつでも○）。

現在治療中、または後遺症のある病気について、「高血圧」が43.0%と最も高く、「高脂血症（脂質異常）」、「目の病気」が17.0%、「ない」が14.7%、「糖尿病」が13.2%、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が11.8%、「心臓病」が9.0%、「腎臓・前立腺の病気」が7.0%、「呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）」が5.1%、「胃腸・肝臓・胆のうの病気」が5.0%、「耳の病気」が4.9%、「がん（悪性新生物）」が4.8%、「外傷（転倒・骨折等）」が2.9%、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が2.8%、「血液・免疫の病気」が1.6%、「うつ病」が0.8%、「認知症（アルツハイマー病等）」、「パーキンソン病」が0.4%となっている。



問9（8） あなたは、いくつまで健康（介護を受けない状態）に過ごしたいですか（1つに○）。

健康に過ごしたいと考えている年齢について、足立区全体では、「85～89 歳」が 31.6%と最も高く、「90 歳以上」が 29.4%、「80～84 歳」が 25.0%、「75～79 歳」が 6.5%、「70～74 歳」が 1.2%、「65～69 歳」が 0.4%となっている。

前期・後期別にみると、前期高齢者では「80～84 歳」が 31.0%、後期高齢者では「85～89 歳」が 38.4%と高くなっている。

(%)

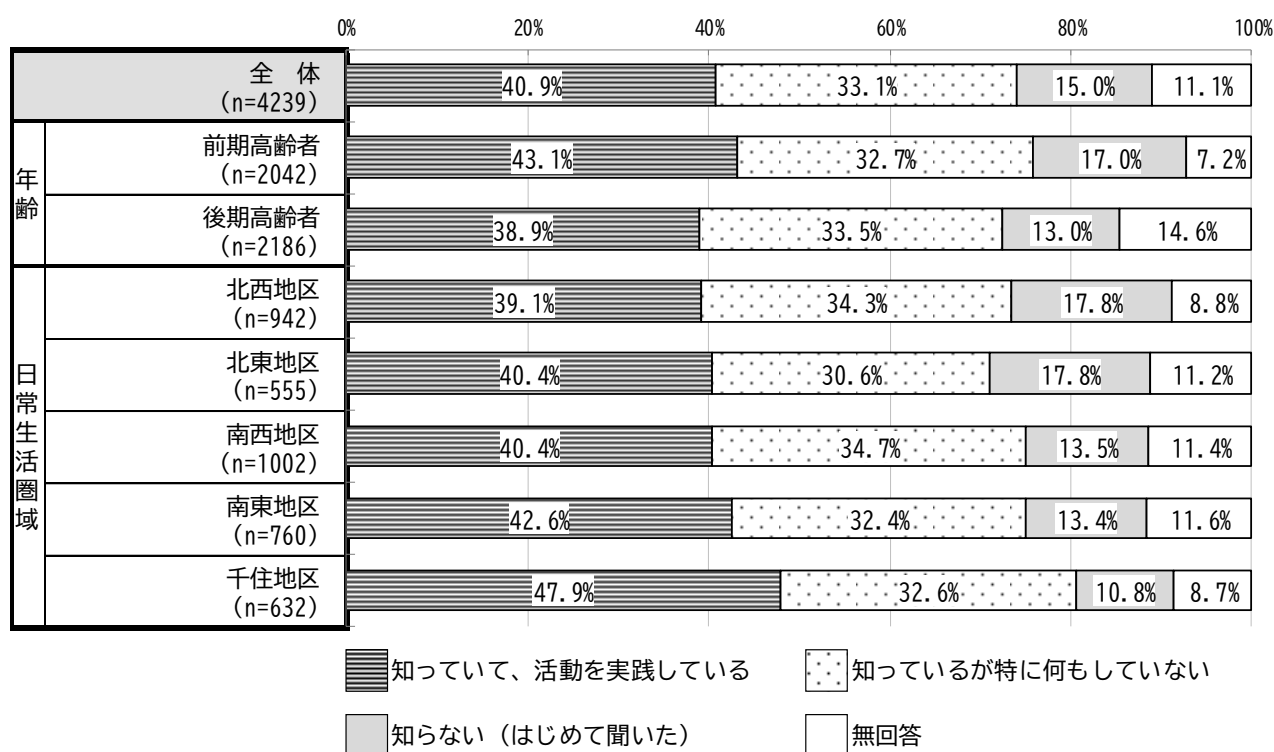
		調査数	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90歳以 上	無回答
全 体		4239	0.4	1.2	6.5	25.0	31.6	29.4	5.9
年 齢	前期高齢者	2042	0.7	2.3	10.4	31.0	24.4	27.2	4.1
	後期高齢者	2186	0.1	0.1	2.7	19.4	38.4	31.6	7.7
日常生活 圏域	北西地区	942	0.4	1.2	6.6	25.6	31.3	29.9	5.0
	北東地区	555	0.2	0.4	5.4	22.5	33.7	32.1	5.8
	南西地区	1002	0.6	1.7	7.1	22.8	32.3	28.3	7.2
	南東地区	760	0.1	0.5	7.1	27.1	30.4	28.9	5.8
	千住地区	632	0.5	1.1	5.9	27.1	29.6	31.5	4.4

問9 (9) 高齢期におこりやすい「フレイル」(筋力や心身の機能などが低下し、衰弱した状態)にならないために、「運動」「口の健康・栄養」「社会参加」のそれぞれが大切なことを知っていますか(1つに○)。

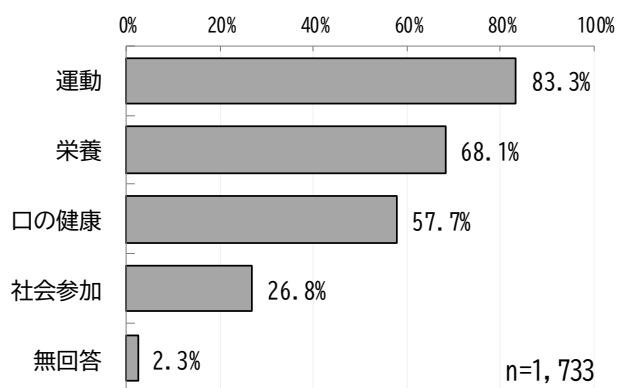
「フレイル」にならないために、「運動」「口の健康・栄養」「社会参加」のそれぞれが大切なことを知っているかについて、足立区全体では、「知っていて、活動を実践している」が40.9%と最も高く、「知っているが特に何もしていない」が33.1%、「知っていて、活動を実践している」と「知っているが、特に何もしていない」を合わせた【知っている】は74.0%となっている。「知らない(はじめて聞いた)」が15.0%となっている。

前期・後期別にみると、「知っていて、活動を実践している」では、前期高齢者が43.1%、後期高齢者が38.9%となっている。

日常生活圏域別にみると、「知っていて、活動を実践している」では、千住地区が47.9%と高く、北西地区が39.1%と低くなっている。



「フレイル」にならないために「実践している」と回答した方の活動は、「運動」が83.3%と最も高く、「栄養」が68.1%、「口の健康」が57.7%、「社会参加」が26.8%となっている。

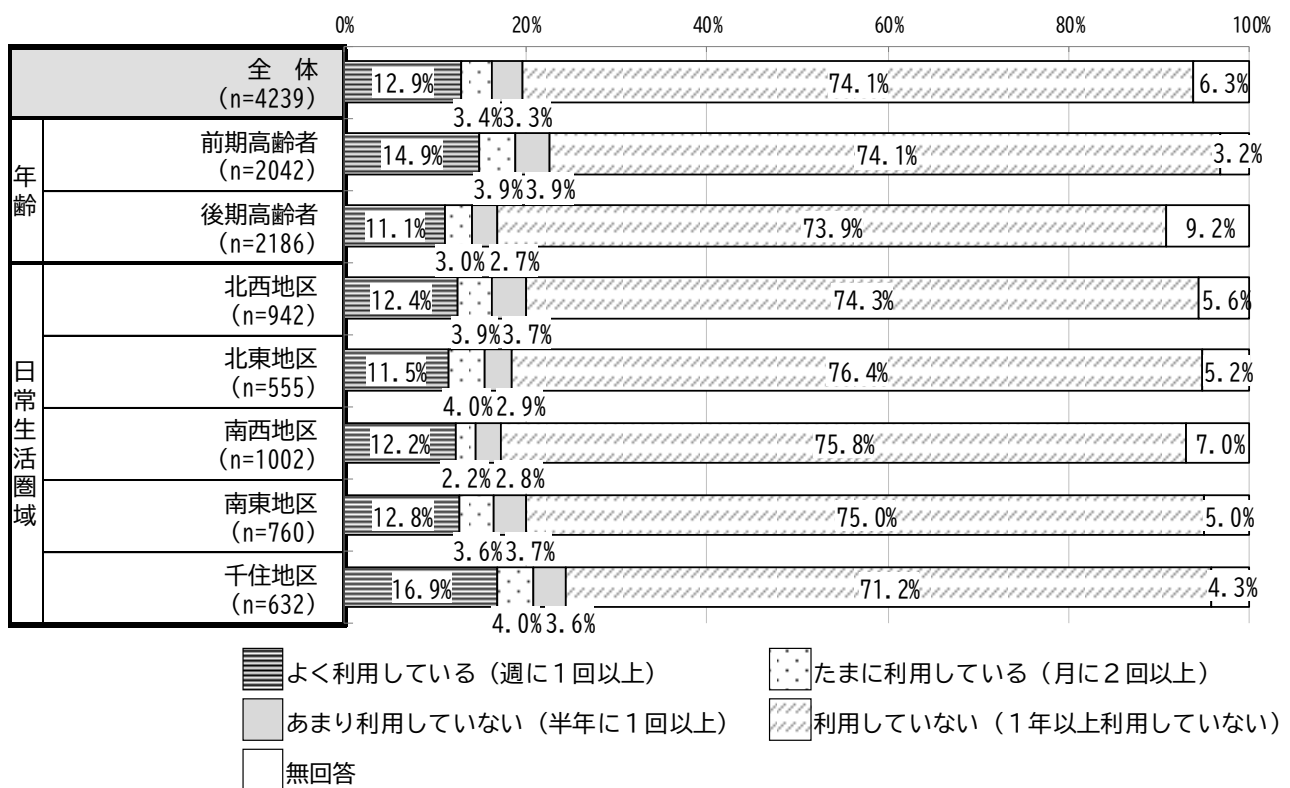


問9（10） 日頃、スポーツクラブやジム、プール等の運動施設を利用していますか（1つに○）。

日頃の、スポーツクラブやジム、プール等の運動施設の利用状況について、足立区全体では、「利用していない」が74.1%と最も高く、「よく利用している」が12.9%、「たまに利用している」が3.4%、「あまり利用していない」が3.3%となっている。

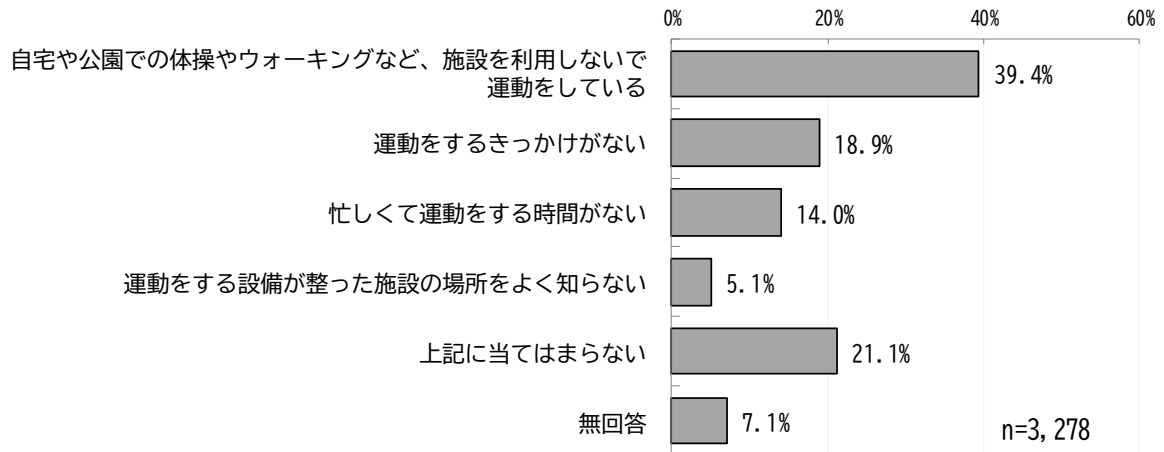
前期・後期別にみると、「利用していない」では、前期高齢者が74.1%、後期高齢者が73.9%となっている。

日常生活圏域別にみると、「利用していない」では、北東地区が76.4%と高く、千住地区が71.2%と低くなっている。



問9（10）① 日頃から民間のスポーツクラブやジム、運動施設等を利用していない理由を教えてください（いくつでも○）。

日頃の、スポーツクラブやジム、プール等の運動施設を利用状況について、足立区全体では、「自宅や公園での体操やウォーキングなど、施設を利用しないで運動している」が39.4%と最も高く、「運動するきっかけがない」が18.9%、「忙しくて運動する時間がない」が14.0%、「運動する設備が整った施設の場所をよく知らない」が5.1%となっている。

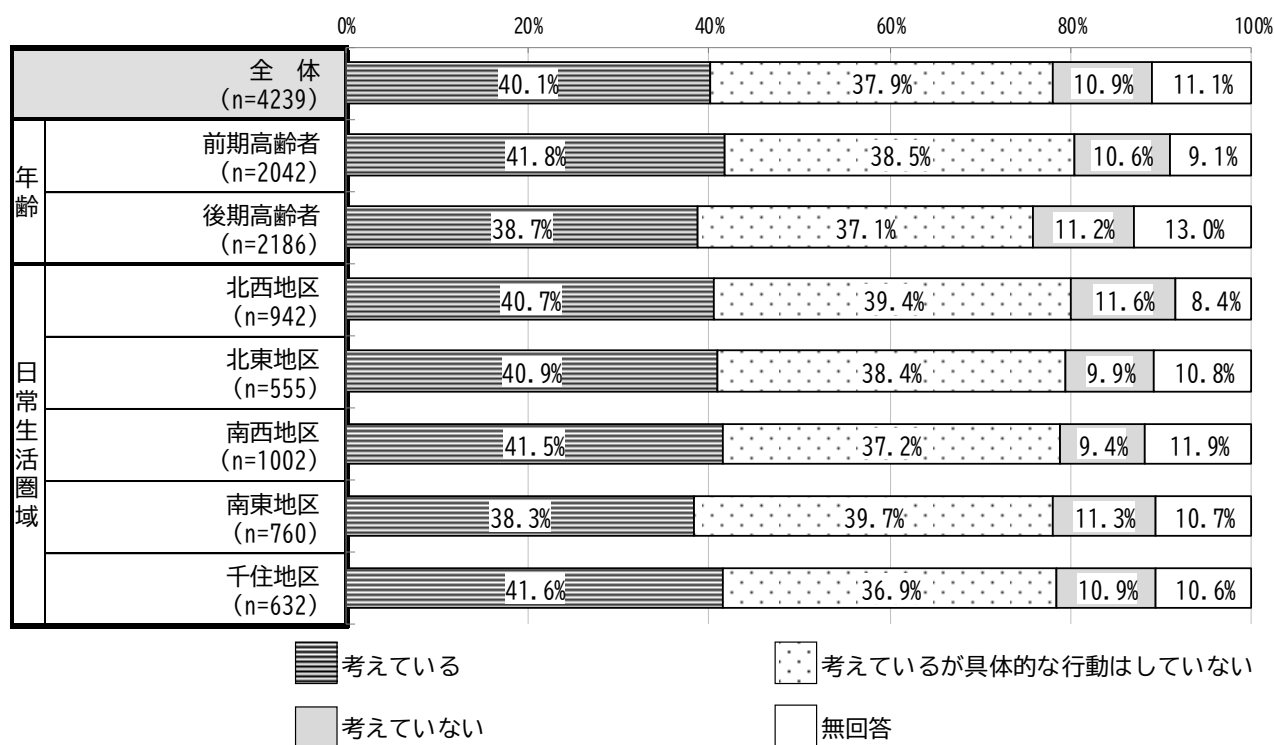


問9（11） あなたは、老いへの備えを考えていますか（1つに○）。

老いへの備えについて、足立区全体では、「考えている」が40.1%と最も高く、「考えているが具体的な行動はしていない」が37.9%、「考えていない」が10.9%となっている。

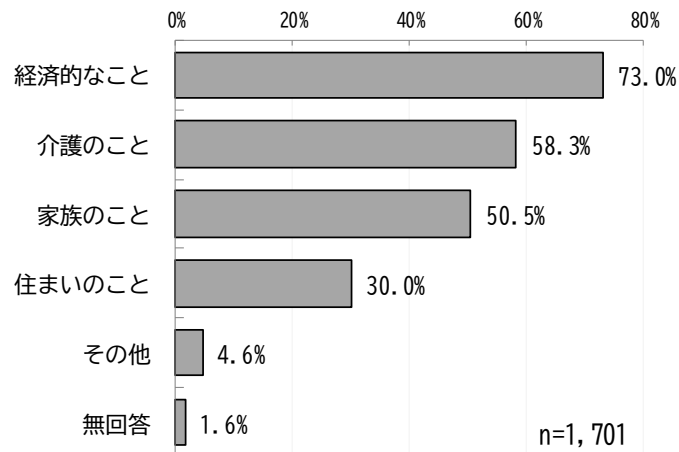
前期・後期別にみると、「考えている」では、前期高齢者が41.8%、後期高齢者が38.7%となっている。

日常生活圏域別にみると、「考えている」では、千住地区が41.6%と高く、南東地区が38.3%と低くなっている。



問9（11）① 考えている場合、それはどのようなことについてですか（いくつでも○）。

老いへの備えについて、「考えている」と回答した方の、考えている内容について、「経済的なこと」が73.0%と最も高く、「介護のこと」が58.3%、「家族のこと」が50.5%、「住まいのこと」が30.0%となっている。

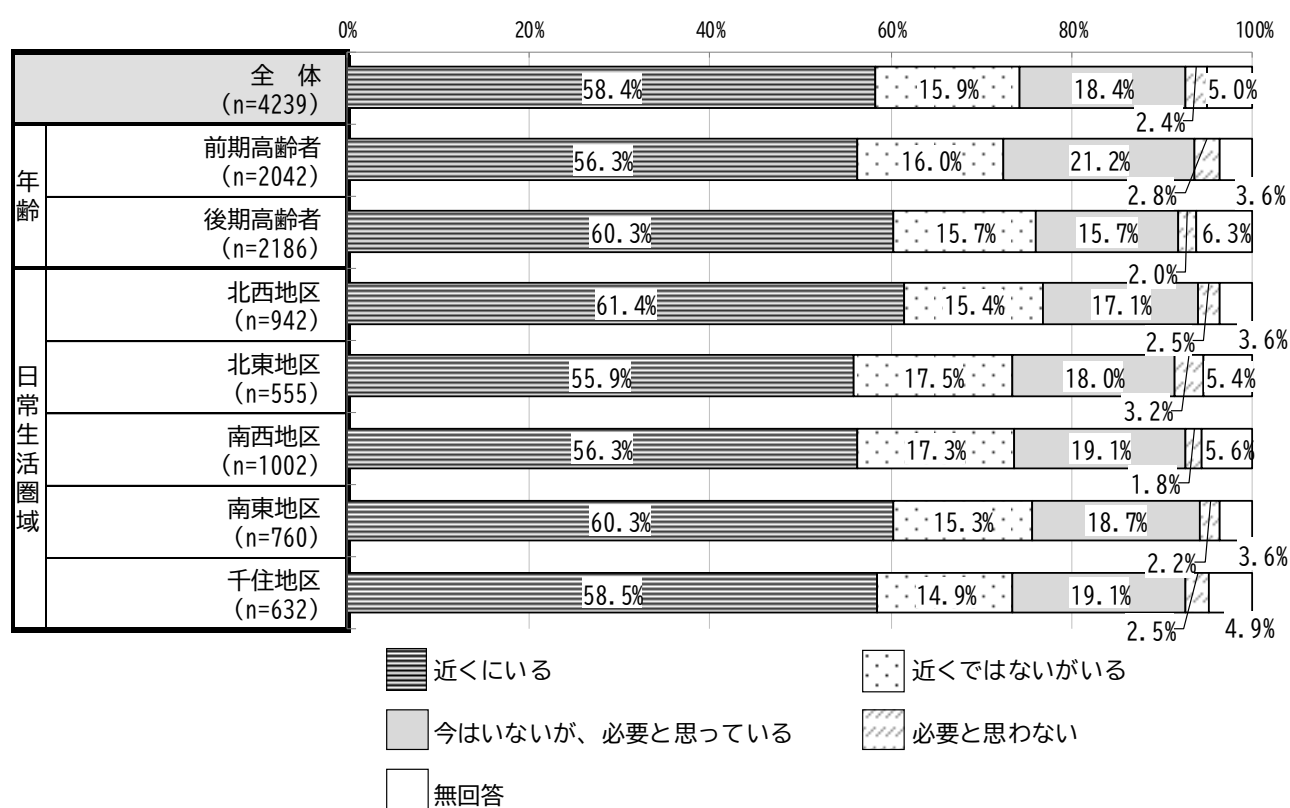


問9（12） あなたには、日常の健康について相談するかかりつけの医師、歯科医師、薬局のいずれかはいますか（1つに○）。

日常の健康について相談するかかりつけの医師等について、足立区全体では、「近くにいる」が58.4%と最も高く、「今はいないが、必要と思っている」が18.4%、「近くではないがいる」が15.9%、「必要と思わない」が2.4%となっている。

前期・後期別にみると、「近くにいる」では、前期高齢者が56.3%、後期高齢者が60.3%となっている。

日常生活圏域別にみると、「近くにいる」では、北西地区が61.4%と高く、北東地区が55.9%と低くなっている。

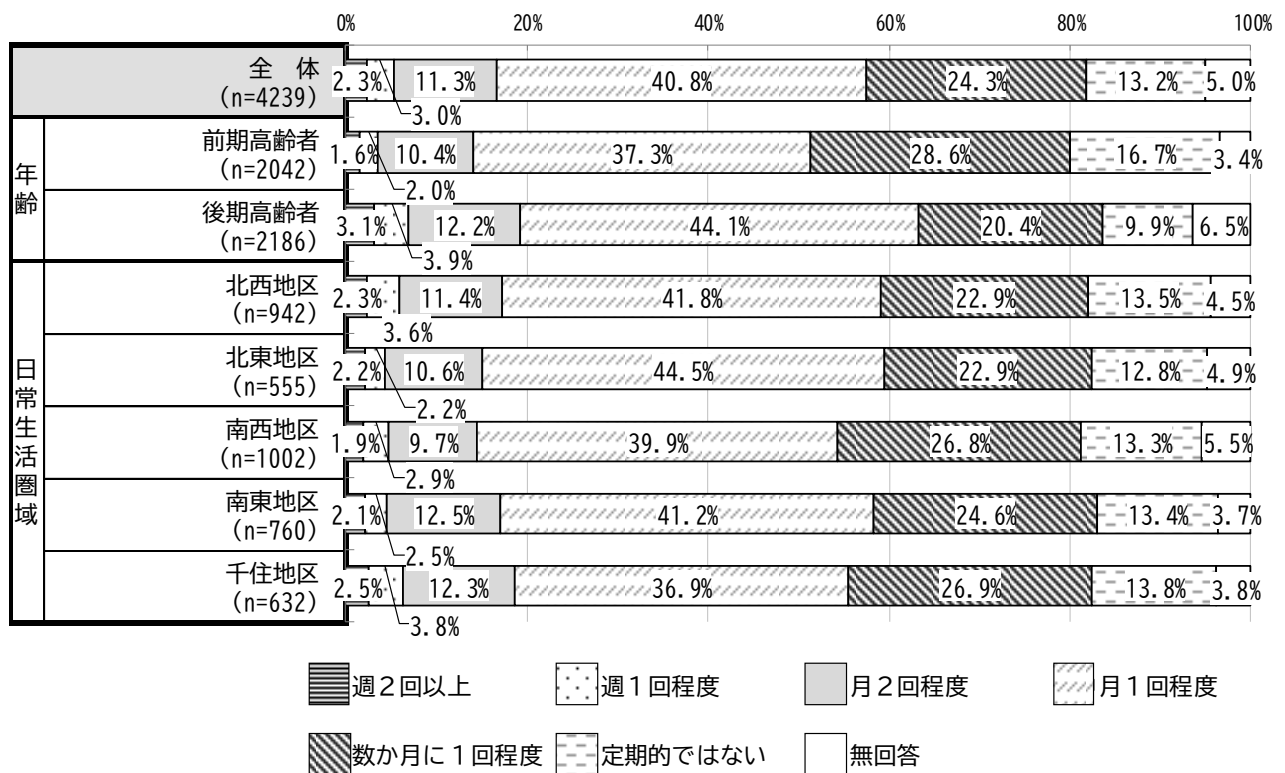


問9（13） あなたは、医療機関（病院・医院・診療所）にどのくらいの頻度で、通院や往診（訪問診療）を受けていますか（1つに○）。

通院や往診（訪問診療）の頻度について、足立区全体では、「月1回程度」が40.8%と最も高く、「数か月に1回程度」が24.3%、「定期的ではない」が13.2%、「月2回程度」が11.3%、「週2回以上」が3.0%、「週1回程度」が2.3%となっている。

前期・後期別にみると、「月1回程度」では、前期高齢者が37.3%、後期高齢者が44.1%となっている。

日常生活圏域別にみると、「月1回程度」では、北東地区が44.5%と高く、千住地区が36.9%と低くなっている。

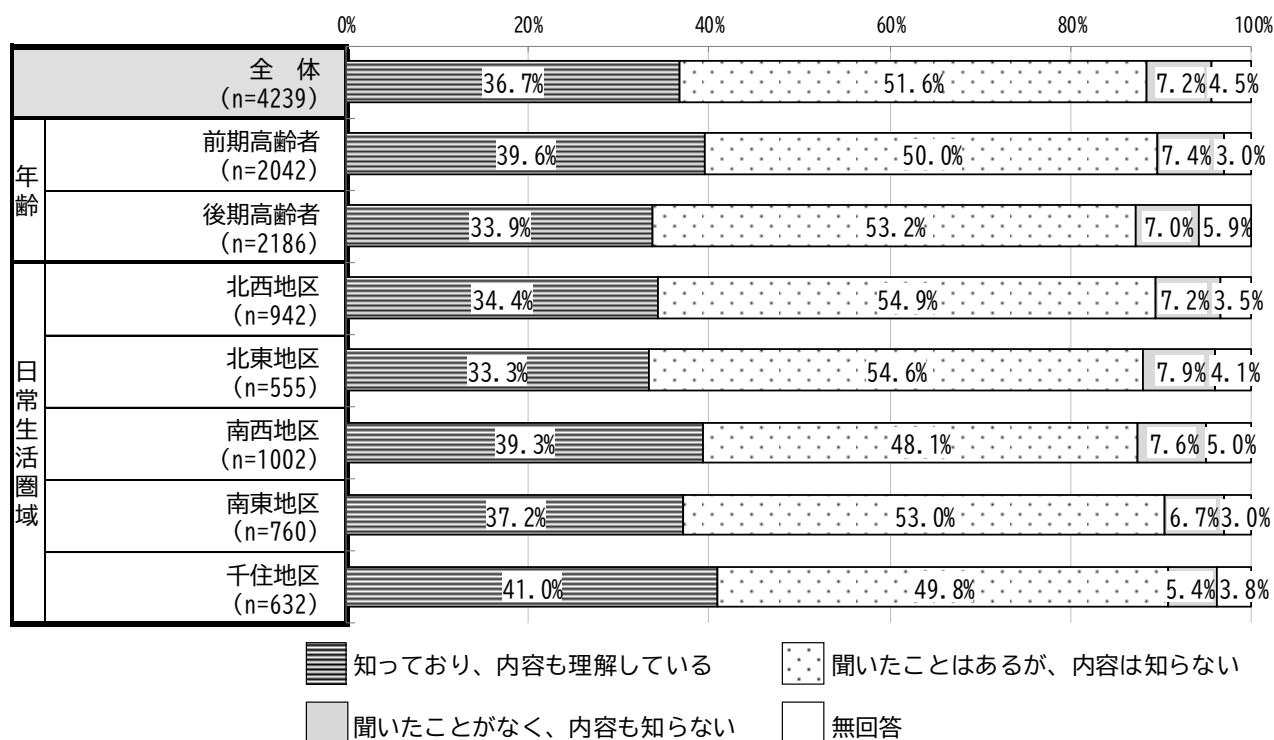


問9（14） 「在宅療養」とは、通院が困難な場合などでも、訪問型の医療や介護サービスを利用しながら、住み慣れたご自宅や地域（在宅施設）で暮らし続けることです。あなたは、「在宅療養」について元々ご存知でしたか（1つに○）。

「在宅療養」の認知度について、足立区全体では、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が51.6%と最も高く、「知っており、内容も理解している」が36.7%、「聞いたことがなく、内容も知らない」が7.2%となっている。

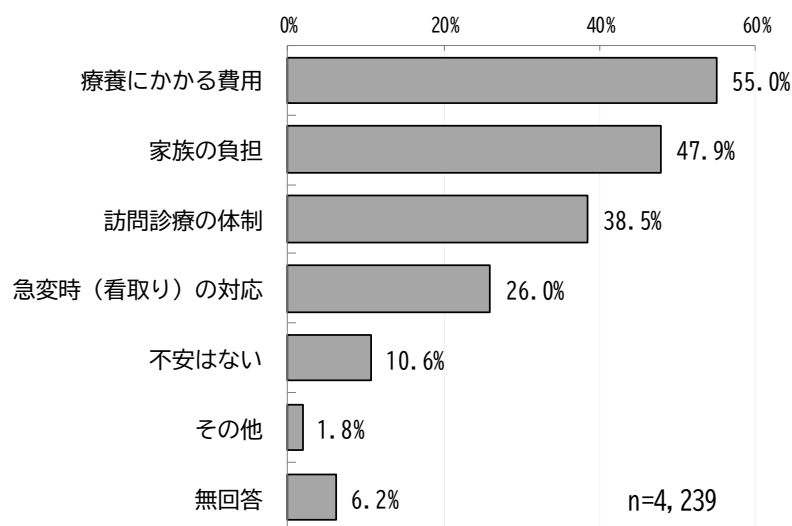
前期・後期別にみると、「聞いたことはあるが、内容は知らない」では、前期高齢者が50.0%、後期高齢者が53.2%となっている。

日常生活圏域別にみると、「聞いたことはあるが、内容は知らない」では、北西地区が54.9%と高く、南西地区が48.1%と低くなっている。



問9（15） あなたが在宅療養を利用する場合に、不安に思うことは何ですか（いくつでも○）。

在宅療養を利用する場合に不安に思うことについて、「療養にかかる費用」が55.0%と最も高く、「家族の負担」が47.9%、「訪問診療の体制」が38.5%、「急変時（看取り）の対応」が26.0%、「不安はない」が10.6%となっている。



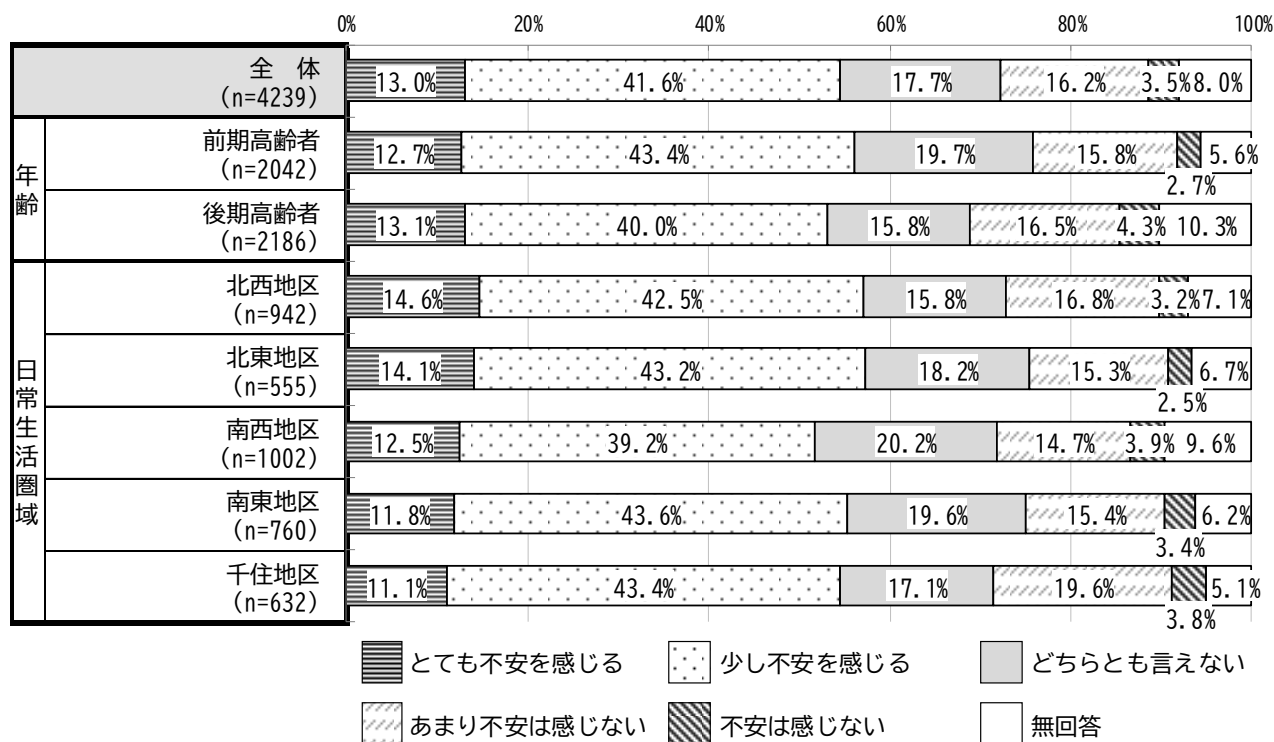
(10) 将来の生活について

問10(1) あなたは、今後の生活についてどのように感じていますか(1つに○)。

今後の生活について、足立区全体では、「少し不安を感じる」が41.6%と最も高く、「どちらとも言えない」が17.7%、「あまり不安は感じない」が16.2%、「とても不安を感じる」が13.0%、「不安は感じない」が3.5%となっている。

前期・後期別にみると、「少し不安を感じる」では、前期高齢者が43.4%、後期高齢者が40.0%となっている。

日常生活圏域別にみると、「少し不安を感じる」では、南東地区が43.6%と高く、南西地区が39.2%と低くなっている。



問10(1)① どのようなことに不安を感じていますか(いくつでも○)。
また、どのようなことに最も不安を感じていますか(1つに○)。

<不安を感じること>

今後の生活について、「とても不安を感じる」または「少し不安を感じる」と回答した方の『不安を感じること』について、足立区全体では、「自分や配偶者が、介護が必要な状態(寝たきりなど)になること」が68.3%と最も高く、「自分や配偶者の健康のこと」が67.6%、「生活費など収入のこと」が52.4%、「頼れる人や面倒をみてくれる人がいないこと」が25.4%、「住まいのこと」が23.5%、「金銭管理や財産保全に関すること」が22.9%、「相談相手や話し相手がないこと」が13.1%、「ペットの継続飼育が難しく、引き取り先がないこと」が3.2%となっている。

前期・後期別にみると、「自分や配偶者が、介護が必要な状態(寝たきりなど)になること」では、前期高齢者が70.5%、後期高齢者が66.2%となっている。

日常生活圏域別にみると、「自分や配偶者が、介護が必要な状態(寝たきりなど)になること」では、千住地区が74.7%と高く、北西地区が64.7%と低くなっている。

(%)

		調査数	自分や 配偶者の 健康の こと	自分や 配偶者が、 介護が必要 な状態(寝 たきりなど) になる こと	頼れる 人や面 倒をみ てくれ る人が いない こと	相談相 手や話 し相手 がない こと	生活費 など収 入のこ と
全 体		2315	67.6	68.3	25.4	13.1	52.4
年 齢	前期高齢者	1146	72.4	70.5	26.7	13.7	58.2
	後期高齢者	1161	62.9	66.2	23.9	12.3	47.0
日常生活 圏域	北西地区	538	63.6	64.7	25.7	13.4	54.1
	北東地区	318	70.1	68.2	23.9	11.6	52.2
	南西地区	518	68.5	69.7	23.0	13.9	51.4
	南東地区	421	71.3	70.5	27.1	12.4	57.0
	千住地区	344	70.3	74.7	27.3	13.4	46.2

		調査数	住まい のこと	金銭管 理や財 産保全 に関す ること	ペット の継続 飼育が 難しく、 引き取 り先が ないこ と	その他	無回答
全 体		2315	23.5	22.9	3.2	1.9	7.6
年 齢	前期高齢者	1146	29.9	25.7	4.1	1.7	5.1
	後期高齢者	1161	17.0	20.2	2.2	2.1	10.2
日常生活 圏域	北西地区	538	26.2	22.3	3.5	2.4	7.8
	北東地区	318	20.1	23.3	2.8	1.3	9.1
	南西地区	518	24.5	26.8	3.5	1.4	7.7
	南東地区	421	22.8	19.7	3.3	1.9	6.7
	千住地区	344	23.8	24.4	2.0	2.6	5.2

<最も不安を感じる事>

今後の生活について、「とても不安を感じる」または「少し不安を感じる」と回答した方の『最も不安を感じる事』について、足立区全体では、「自分や配偶者が、介護が必要な状態（寝たきりなど）になること」が27.0%と最も高く、「自分や配偶者の健康のこと」が14.4%、「生活費など収入のこと」が12.7%、「頼れる人や面倒をみってくれる人がいないこと」が4.4%、「住まいのこと」が1.8%、「金銭管理や財産保全に関する事」が1.4%、「相談相手や話し相手がないこと」が0.5%、「ペットの継続飼育が難しく、引き取り先がないこと」が0.4%となっている。

前期・後期別にみると、「自分や配偶者が、介護が必要な状態（寝たきりなど）になること」では、前期高齢者が26.6%、後期高齢者が27.4%となっている。

日常生活圏域別にみると、「自分や配偶者が、介護が必要な状態（寝たきりなど）になること」では、南東地区が29.5%と高く、北西地区が26.0%と低くなっている。

(%)

		調査数	自分や 配偶者の健康 のこと	自分や 配偶者が、介 護が必要 な状態（寝 たきり など）に なること	頼れる 人や面 倒をみ てくれ る人が いない こと	相談相 手や話 し相手 がない こと	生活費 など収 入のこ と
全 体		2315	14.4	27.0	4.4	0.5	12.7
年 齢	前期高齢者	1146	17.4	26.6	5.3	0.4	14.9
	後期高齢者	1161	11.5	27.4	3.4	0.6	10.6
日常生活 圏域	北西地区	538	11.9	26.0	4.5	0.7	14.1
	北東地区	318	17.6	28.0	4.4	0.0	11.3
	南西地区	518	17.2	27.4	4.1	0.2	12.0
	南東地区	421	11.6	29.5	4.0	0.7	10.9
	千住地区	344	16.9	29.4	6.7	0.3	13.7

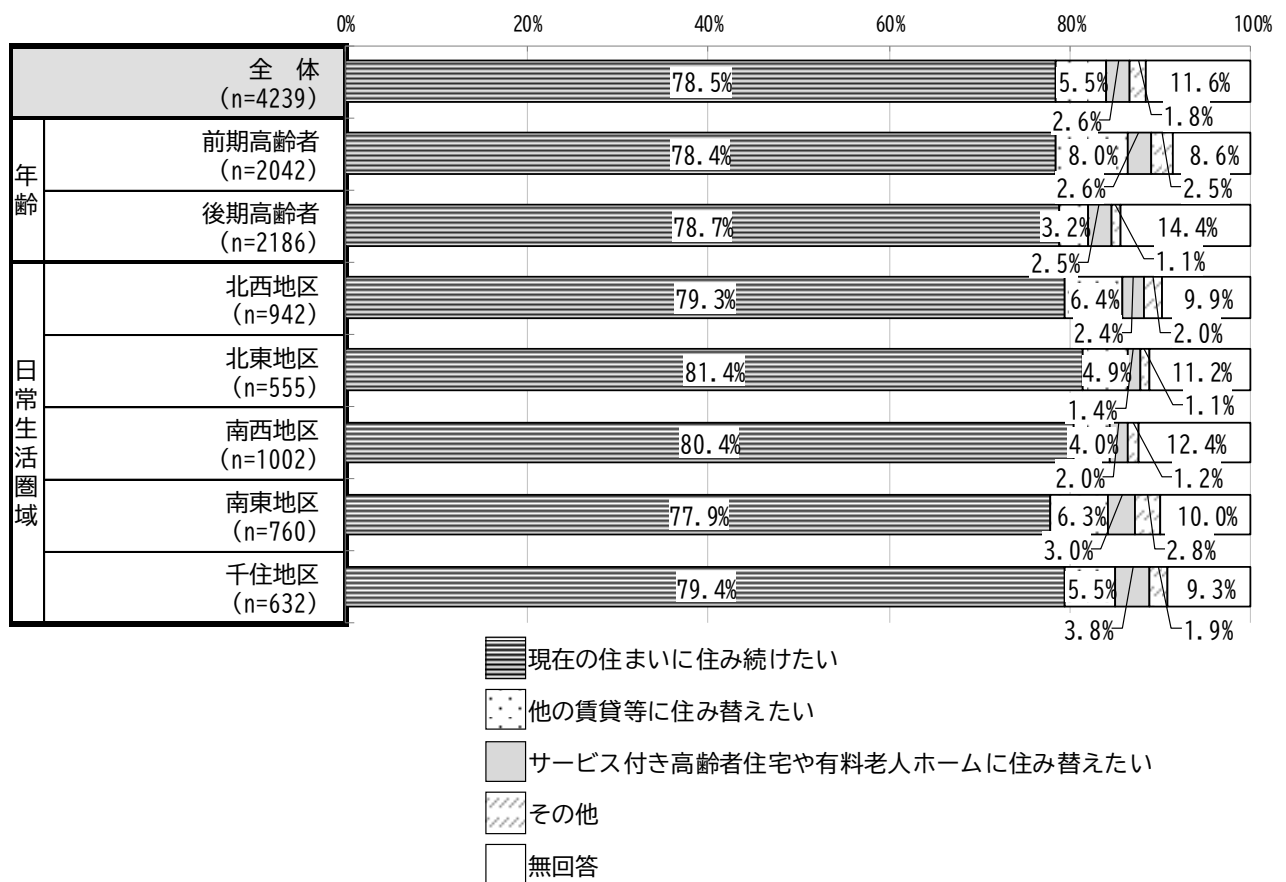
		調査数	住まい のこと	金銭管 理や財 産保全 に関する こと	ペット の継続 飼育が 難しく、 引き取 り先が ないこ と	その他	無回答
全 体		2315	1.8	1.4	0.4	1.1	36.3
年 齢	前期高齢者	1146	2.4	1.1	0.7	1.0	30.0
	後期高齢者	1161	0.9	1.7	0.2	1.1	42.5
日常生活 圏域	北西地区	538	2.2	1.7	0.9	1.5	36.4
	北東地区	318	0.6	0.6	0.3	0.3	36.8
	南西地区	518	1.7	1.9	0.2	0.8	34.6
	南東地区	421	2.1	0.5	0.2	1.2	39.2
	千住地区	344	2.3	2.3	0.3	1.5	26.7

問10(2) あなたは今後も現在お住まいの住宅に住み続けたいとお考えですか(1つに○)。

現在の住宅に住み続けることについて、足立区全体では、「現在の住まいに住み続けたい」が78.5%と最も高く、「他の賃貸等に住み替えたい」が5.5%、「サービス付き高齢者住宅や有料老人ホームに住み替えたい」が2.6%となっている。

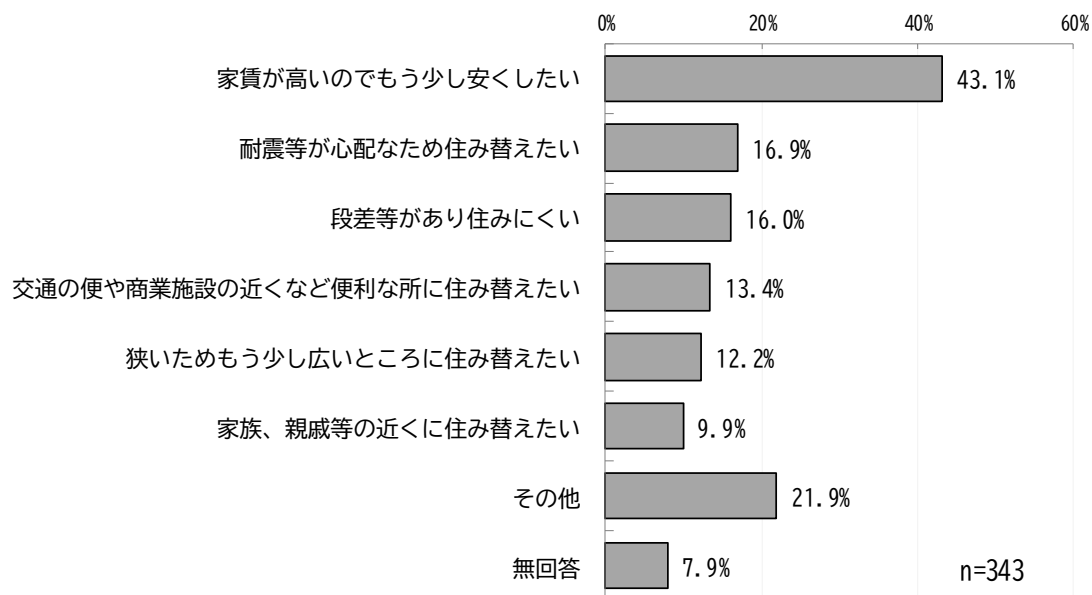
前期・後期別にみると、「現在の住まいに住み続けたい」では、前期高齢者が78.4%、後期高齢者が78.7%となっている。

日常生活圏域別にみると、「現在の住まいに住み続けたい」では、北東地区が81.4%と高く、南東地区が77.9%と低くなっている。



問10(2)① 住み替えたいと思う理由は何ですか（いくつでも○）。

現在の住宅に住み続けることについて、「住み替えたい」と回答した方の住み替えたい理由として、「家賃が高いのでもう少し安くしたい」が43.1%と最も高く、「耐震等が心配なため住み替えたい」が16.9%、「段差等があり住みにくい」が16.0%、「交通の便や商業施設の近くなど便利な所に住み替えたい」が13.4%、「狭いためもう少し広いところに住み替えたい」が12.2%、「家族、親戚等の近くに住み替えたい」が9.9%となっている。



問10(2)② 住み替えを検討される場合、選ぶ基準として最も優先していることは何ですか(1つに○)。

現在の住宅に「住み替えたい」と回答した方の、住み替えの検討に際して優先する基準として、足立区全体では、「賃料等の安さ」が25.1%と最も高く、「介護等のサービス」が13.1%、「周辺環境」が10.5%、「交通の便」が8.5%、「保証人が不要」が5.8%、「住居の広さ」が3.5%、「築年数」が1.7%となっている。

前期・後期別にみると、「賃料等の安さ」が前期高齢者では27.3%、後期高齢者では、21.6%となっている。

日常生活圏域別にみると、北西地区、北東地区、南西地区、南東地区では「賃料等の安さ」、千住地区では、「介護等のサービス」が高くなっている。

(%)

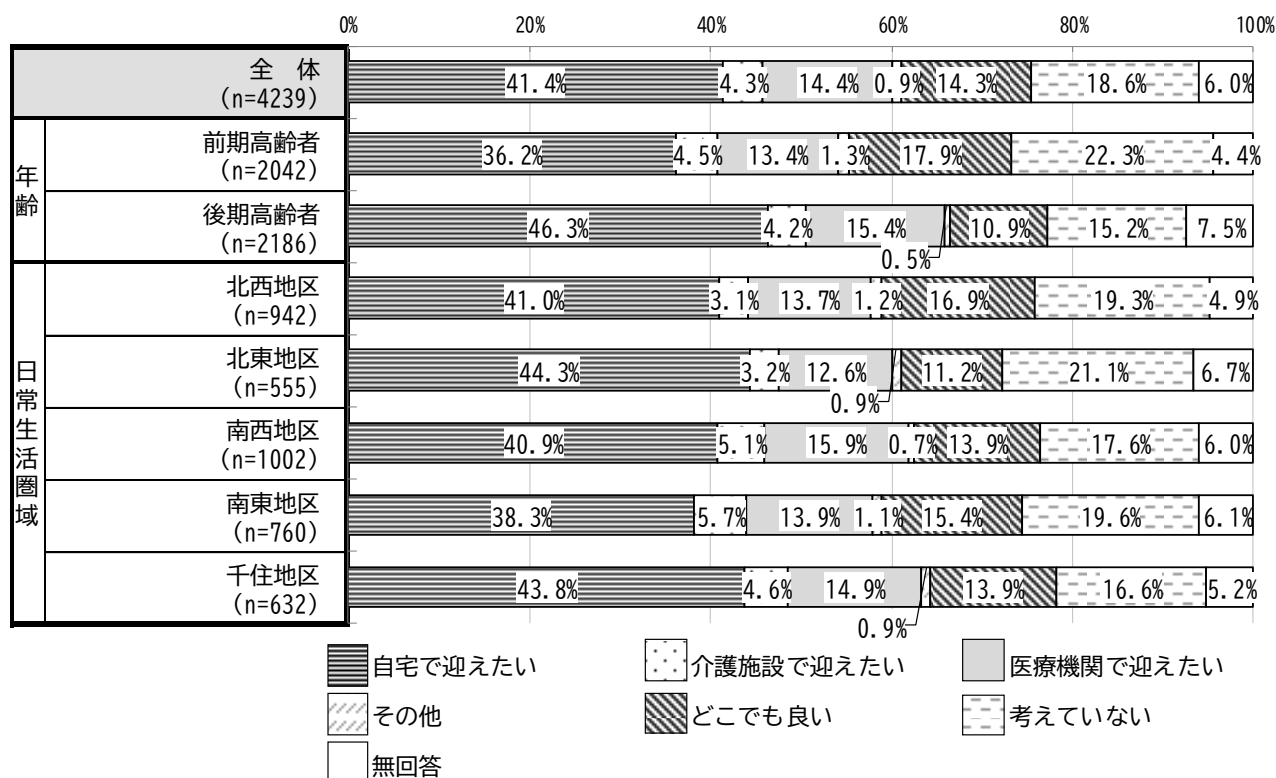
		調査数	住居の 広さ	築年数	賃料等 の安さ	交通の 便	周辺環 境	介護等 のサー ビス	保証人 が不要	その他	わから ない	無回答
全 体		343	3.5	1.7	25.1	8.5	10.5	13.1	5.8	0.6	2.0	29.2
年 齢	前期高齢者	216	1.9	1.9	27.3	10.6	10.6	8.8	6.5	0.5	2.3	29.6
	後期高齢者	125	6.4	1.6	21.6	4.8	9.6	20.0	4.8	0.8	1.6	28.8
日常生活 圏域	北西地区	83	3.6	2.4	37.3	6.0	4.8	9.6	3.6	1.2	3.6	27.7
	北東地区	35	2.9	2.9	34.3	11.4	2.9	14.3	11.4	0.0	0.0	20.0
	南西地区	60	1.7	1.7	28.3	6.7	13.3	6.7	3.3	1.7	3.3	33.3
	南東地区	71	5.6	2.8	19.7	5.6	16.9	14.1	9.9	0.0	1.4	23.9
	千住地区	59	3.4	0.0	13.6	11.9	13.6	22.0	3.4	0.0	1.7	30.5

問10(3) あなたは人生の最期をどこで迎えたいですか(1つに○)。

人生の最期を迎えたい場所について、足立区全体では、「自宅で迎えたい」が41.4%と最も高く、「医療機関で迎えたい」が14.4%、「介護施設で迎えたい」が4.3%となっている。また「どこでも良い」が14.3%、「考えていない」が18.6%となっている。

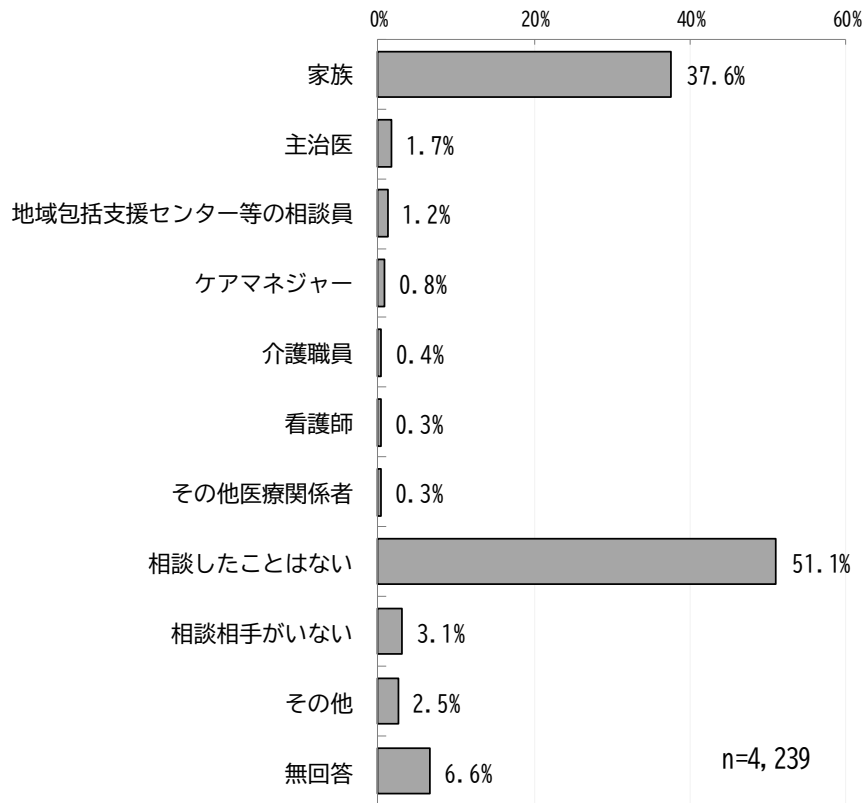
前期・後期別にみると、「自宅で迎えたい」では、前期高齢者が36.2%、後期高齢者が46.3%となっている。

日常生活圏域別にみると、「自宅で迎えたい」では、北東地区が44.3%と高く、南東地区が38.3%と低くなっている。



問10(4) あなたは人生の最期について、どなたかに相談したことはありますか
(いくつでも○)。

人生の最期について誰かに相談したことがあるかについて、「相談したことはない」が51.1%と最も高く、「家族」が37.6%、「相談相手がない」が3.1%、「主治医」が1.7%、「地域包括支援センター等の相談員」が1.2%、「ケアマネジャー」が0.8%、「介護職員」が0.4%、「看護師」「その他医療関係者」が0.3%となっている。



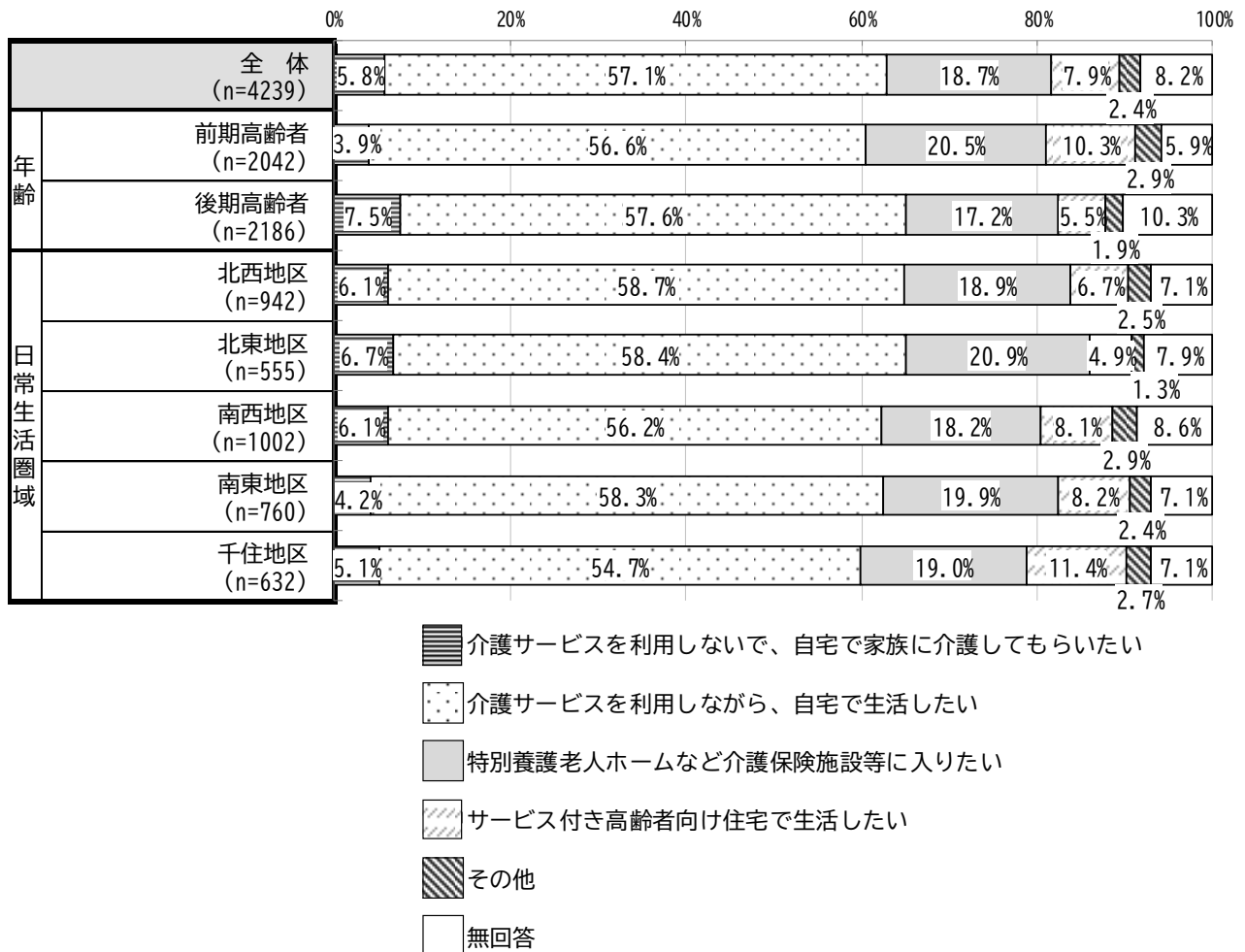
(11) 介護について

問11(1) あなたは、介護が必要になったとき、どのような介護を希望しますか
(1つに○)。

介護が必要になった際の介護の希望として、足立区全体では、「介護サービスを利用しながら、自宅で生活したい」が57.1%と最も高く、「特別養護老人ホームなど介護保険施設等に入りたい」が18.7%、「サービス付き高齢者向け住宅で生活したい」が7.9%、「介護サービスを利用しないで、自宅で家族に介護してもらいたい」が5.8%となっている。

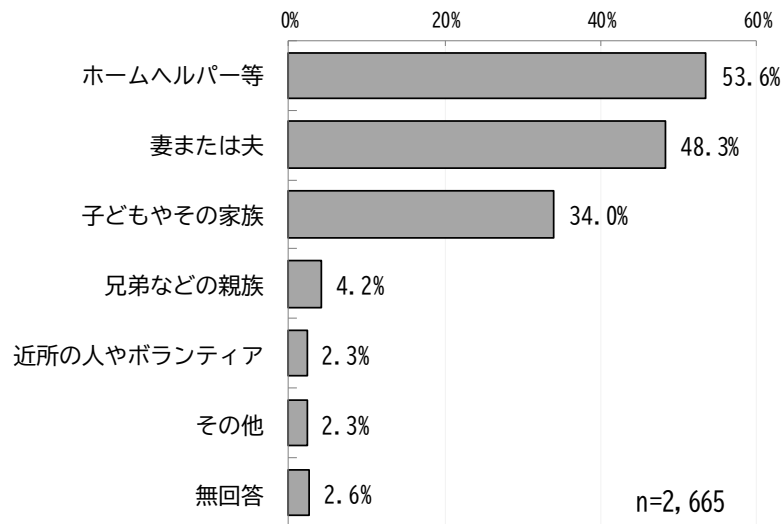
前期・後期別にみると、「介護サービスを利用しながら、自宅で生活したい」では、前期高齢者が56.6%、後期高齢者が57.6%となっている。

日常生活圏域別にみると、「介護サービスを利用しながら、自宅で生活したい」では、北西地区が58.7%と高く、千住地区が54.7%と低くなっている。



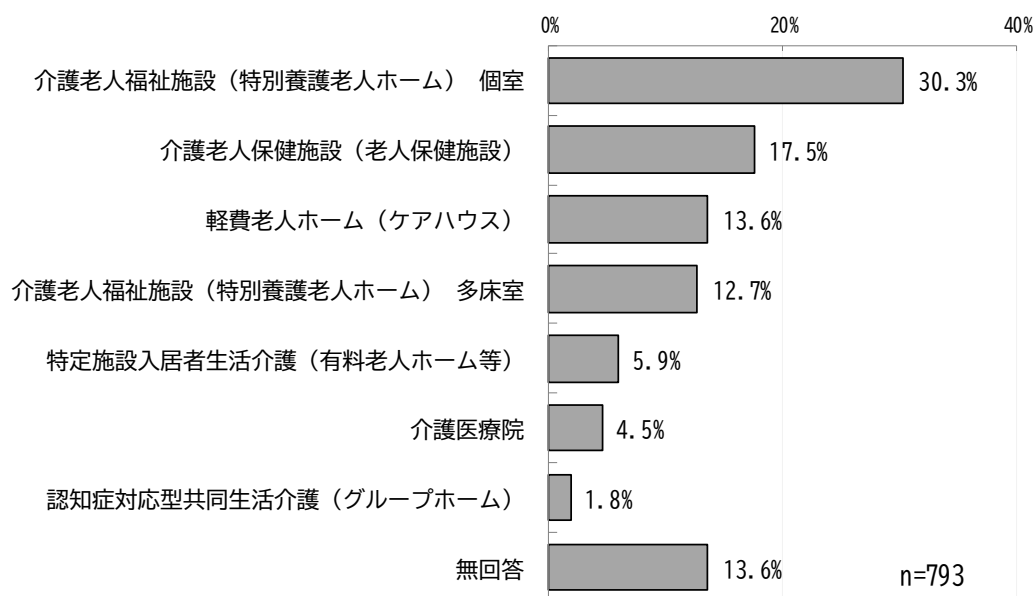
問11 (1) ① あなたは、どなたに介護してもらいたいですか（いくつでも○）。

「介護サービスを利用しないで、自宅で家族に介護してもらいたい」または「介護サービスを利用しながら、自宅で生活したい」と回答した方の介護者の希望として、「ホームヘルパー等」が53.6%と最も高く、「妻または夫」が48.3%、「子どもやその家族」が34.0%、「兄弟などの親族」が4.2%、「近所の人やボランティア」が2.3%となっている。



問11 (1) ② 介護を受けられる施設には、次のような施設がありますが、あなたはどのような施設等を望んでいますか（1つに○）。

「特別養護老人ホームなど介護保険施設等に入りたい」と回答した方の、介護を受ける施設の希望として、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）個室」が30.3%と最も高く、「介護老人保健施設」が17.5%、「軽費老人ホーム」が13.6%、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）多床室」が12.7%、「特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム等）」が5.9%、「介護医療院」が4.5%、「認知症対応型共同生活介護（グループホーム）」が1.8%となっている。

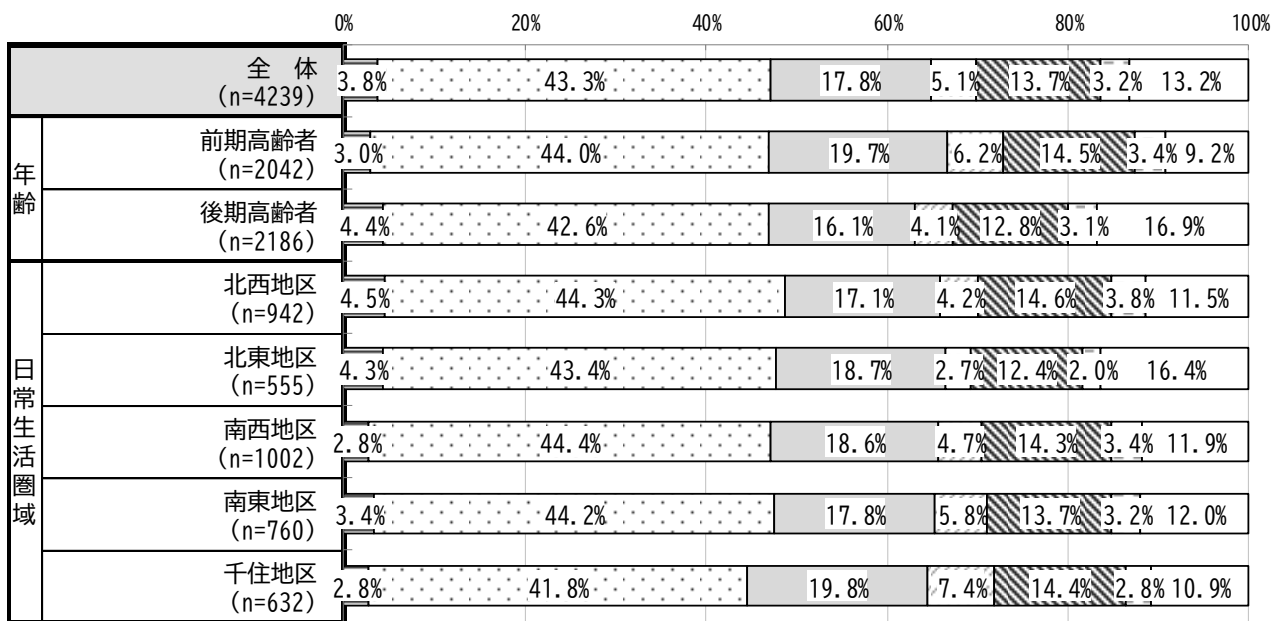


問11 (2) あなたの家族等に介護が必要となった場合、どのようにしたいと思いますか(1つに○)。

家族等に介護が必要となった場合について、足立区全体では、「介護サービスを利用しながら、自宅で介護したい」が43.3%と最も高く、「特別養護老人ホームなどの介護保険施設に入所させたい」が17.8%、「介護の対象となる家族等がない」が13.7%、「サービス付き高齢者向け住宅に入居させたい」が5.1%、「介護サービスを利用しないで、自宅で介護したい」が3.8%となっている。

前期・後期別にみると、「介護サービスを利用しながら、自宅で介護したい」では、前期高齢者が44.0%、後期高齢者が42.6%となっている。

日常生活圏域別にみると、「介護サービスを利用しながら、自宅で介護したい」では、南西地区が44.4%と高く、千住地区が41.8%と低くなっている。



- 介護サービスを利用しないで、自宅で介護したい
- 介護サービスを利用しながら、自宅で介護したい
- 特別養護老人ホームなどの介護保険施設に入所させたい
- サービス付き高齢者向け住宅に入居させたい
- 介護の対象となる家族等がない
- その他
- 無回答

問11 (3) あなたは、これまでに介護保険の要介護認定を申請したことがありますか(1つに○)。

要介護認定の申請について、足立区全体では、「申請したことはないし、申請する予定もない」が77.5%と最も高く、「申請して要支援や要介護と認定されたことがある」が5.5%、「現在申請中、または申請する予定である」が1.3%、「申請したが「自立」と判定された」が1.0%、「わからない」が6.4%となっている。

前期・後期別にみると、「申請したことはないし、申請する予定もない」では、前期高齢者が86.5%、後期高齢者が69.3%となっている。

日常生活圏域別にみると、「申請したことはないし、申請する予定もない」では、千住地区が81.8%と高く、北東地区が76.4%と低くなっている。

(%)

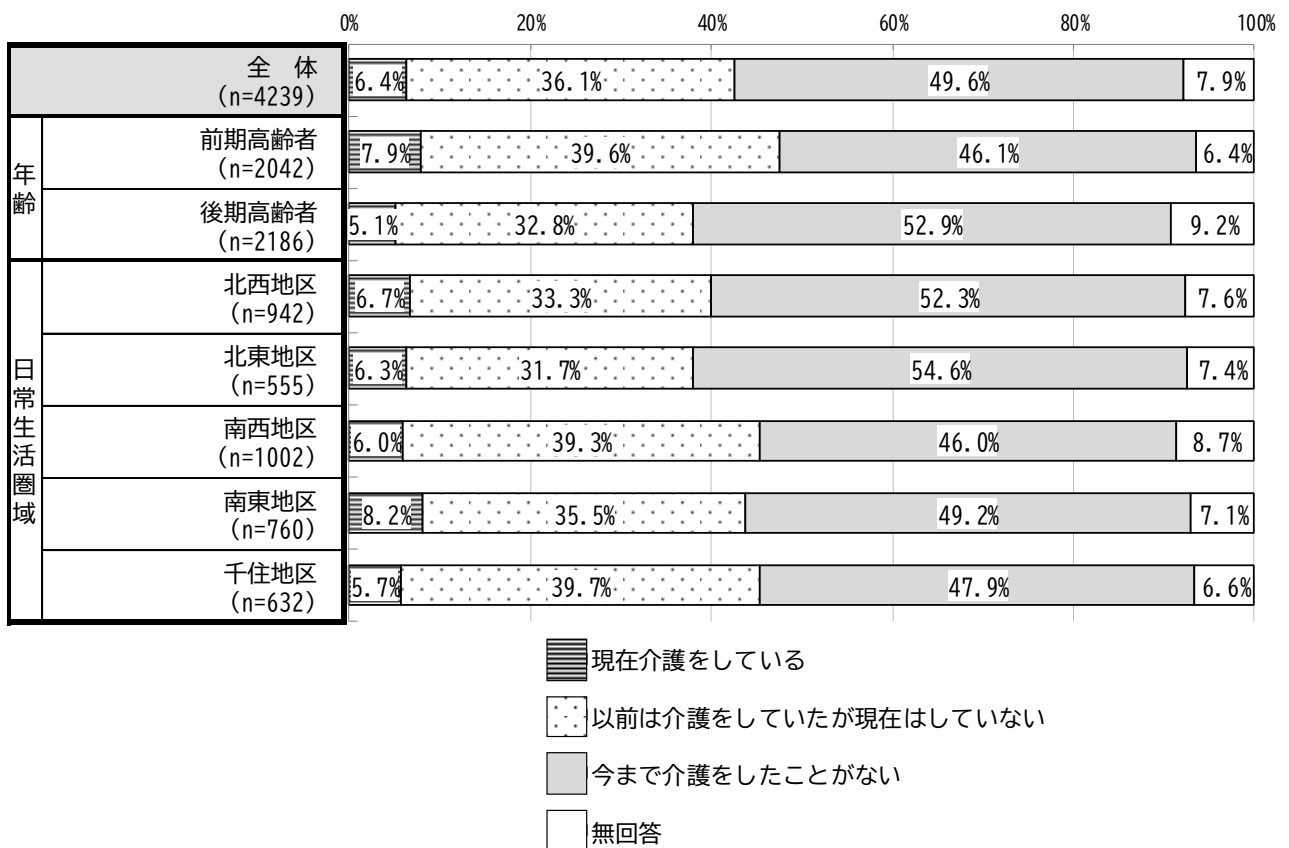
		調査数	申請したことはないし、申請する予定もない	現在申請中、または申請する予定である	申請したが「自立」と判定された	申請して要支援や要介護と認定されたことがある	わからない	無回答
全 体		4239	77.5	1.3	1.0	5.5	6.4	8.3
年 齢	前期高齢者	2042	86.5	0.4	0.3	2.4	4.6	5.8
	後期高齢者	2186	69.3	2.2	1.6	8.4	8.1	10.6
日常生活圏域	北西地区	942	78.3	0.8	1.4	5.2	6.5	7.7
	北東地区	555	76.4	0.7	1.3	6.1	7.7	7.7
	南西地区	1002	76.6	2.0	1.0	5.8	5.4	9.2
	南東地区	760	80.4	1.1	0.8	4.5	6.4	6.8
	千住地区	632	81.8	1.7	0.5	5.5	4.1	6.3

問11 (4) あなたは、家族等の介護をした経験はありますか(1つに○)。

家族等の介護をした経験について、足立区全体では、「今まで介護をしたことがない」が49.6%と最も高く、「以前は介護をしていたが現在はしていない」が36.1%、「現在介護をしている」が6.4%となっている。

前期・後期別にみると、「今まで介護をしたことがない」では、前期高齢者が46.1%、後期高齢者が52.9%となっている。

日常生活圏域別にみると、「今まで介護をしたことがない」では、北東地区が54.6%と高く、南西地区が46.0%と低くなっている。

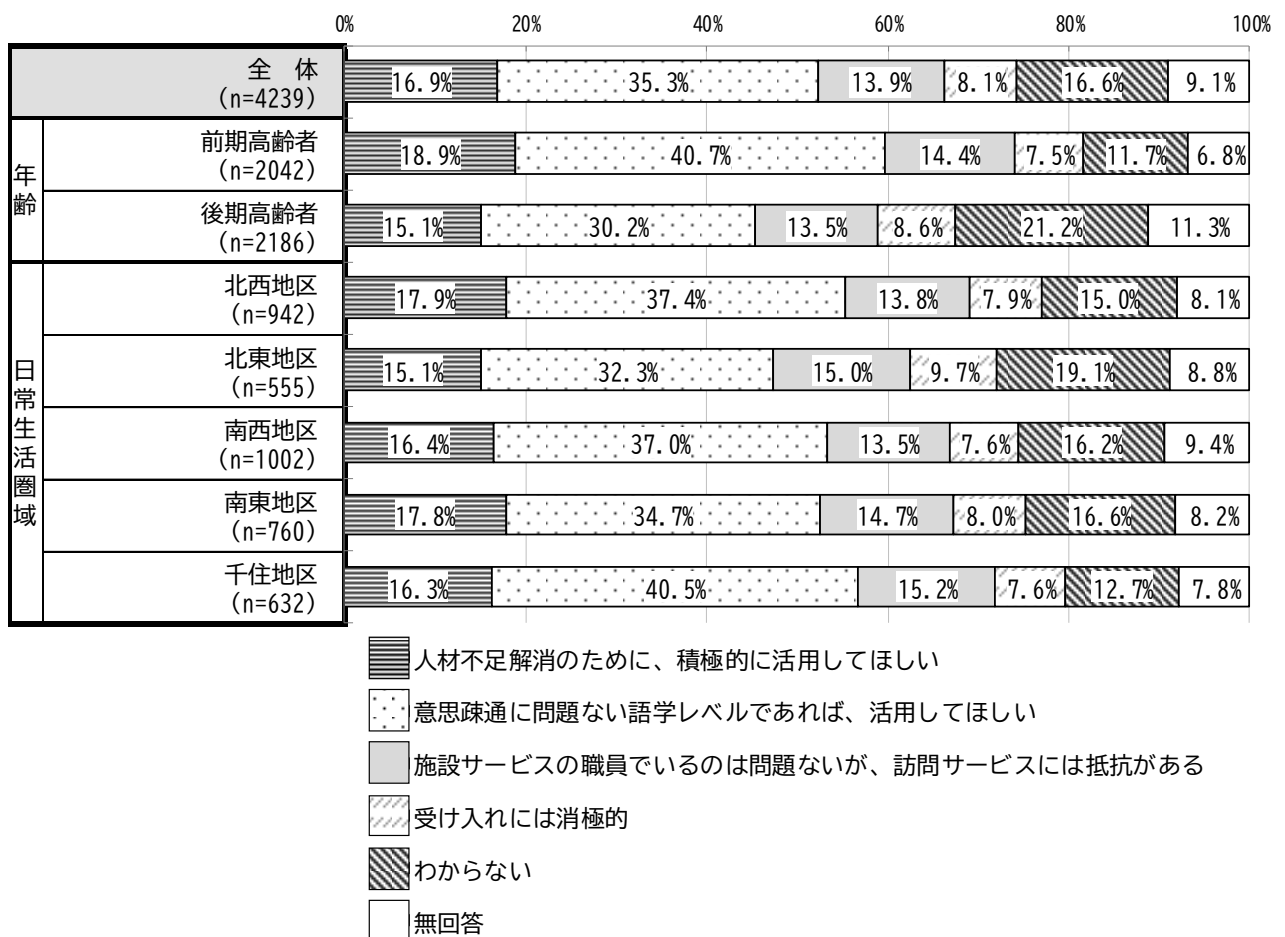


問11 (5) 介護サービスに関して、国では外国人材の活用が推進されていますが、どのようにお考えですか（1つに○）。

介護サービスにおける外国人材の活用について、足立区全体では、「意思疎通に問題ない語学レベルであれば、活用してほしい」が35.3%と最も高く、「人材不足解消のために、積極的に活用してほしい」が16.9%、「施設サービスの職員でいるのは問題ないが、訪問サービスには抵抗がある」が13.9%、「受け入れには消極的」が8.1%、「わからない」が16.6%となっている。

前期・後期別にみると、「意思疎通に問題ない語学レベルであれば、活用してほしい」では、前期高齢者が40.7%、後期高齢者が30.2%となっている。

日常生活圏域別にみると、「意思疎通に問題ない語学レベルであれば、活用してほしい」では、千住地区が40.5%と高く、北東地区が32.3%と低くなっている。



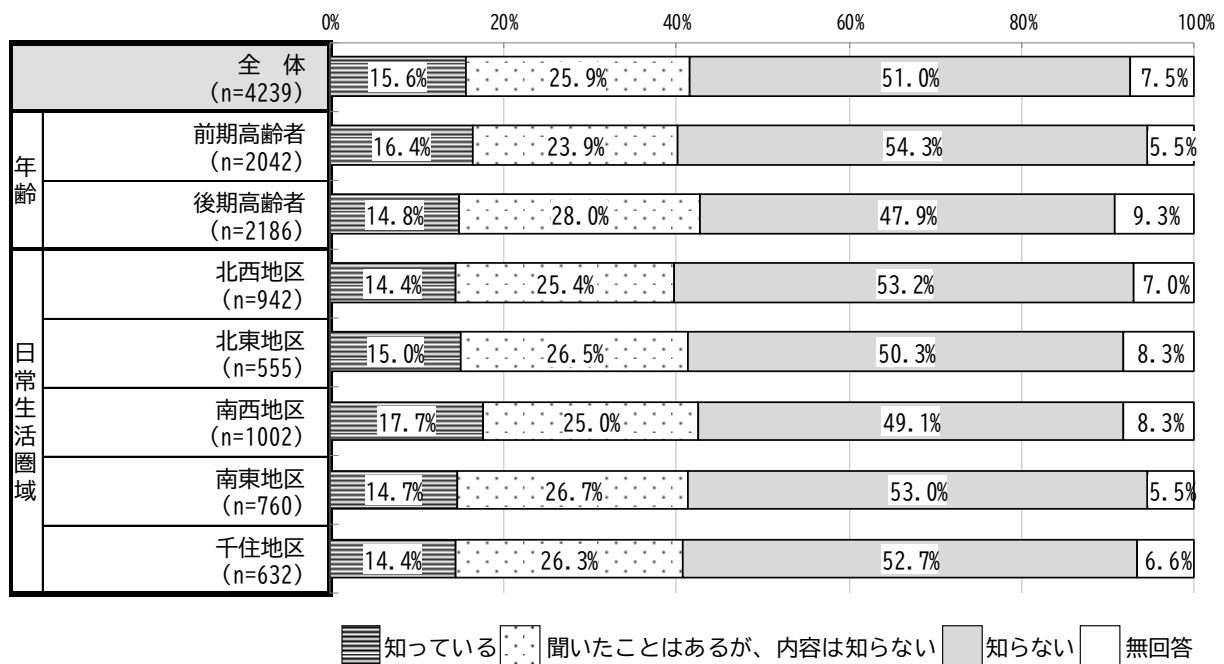
(12) 認知症について

問12(1) 認知症サポーターをご存知ですか(1つに○)。

認知症サポーターについて、足立区全体では、「知らない」が51.0%と最も高く、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が25.9%、「知っている」が15.6%となっている。

前期・後期別にみると、「知らない」では、前期高齢者が54.3%、後期高齢者が47.9%となっている。

日常生活圏域別にみると、「知らない」では、北西地区が53.2%と高く、南西地区が49.1%と低くなっている。

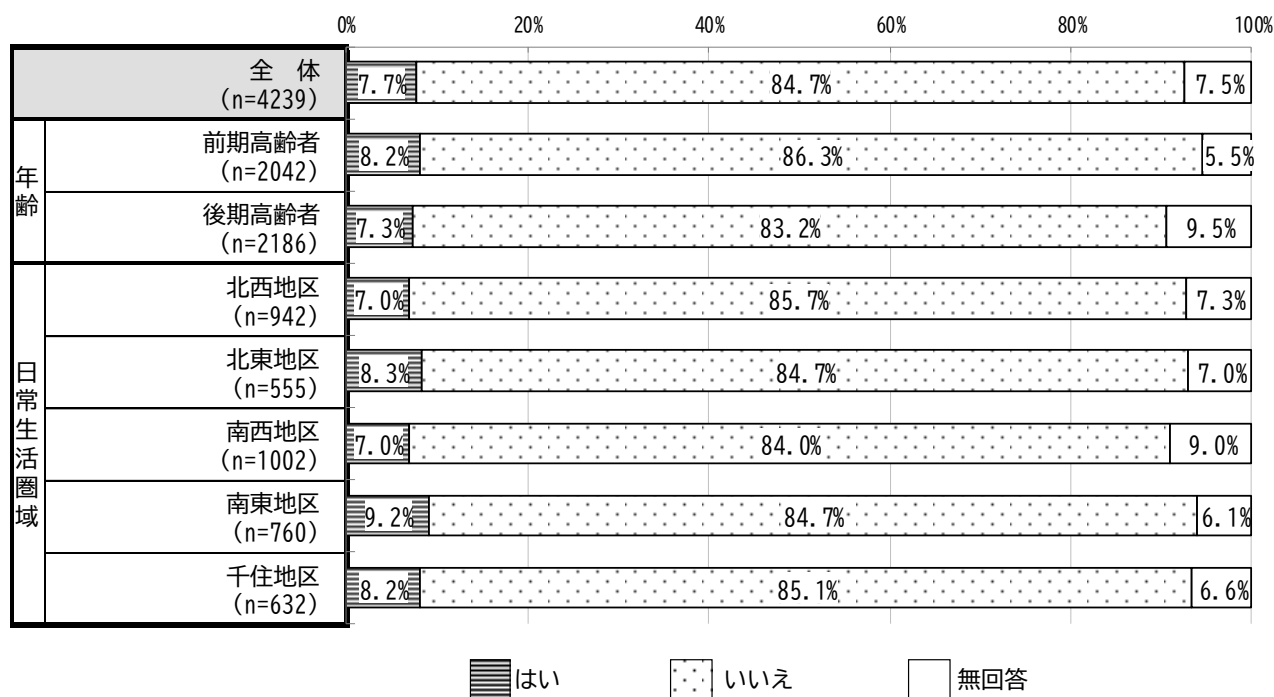


問12(2) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか(1つに○)。

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかについて、足立区全体では、「はい」が7.7%、「いいえ」が84.7%となっている。

前期・後期別にみると、「はい」では、前期高齢者が8.2%、後期高齢者が7.3%となっている。

日常生活圏域別にみると、「はい」では、南東地区が9.2%と高く、北西地区、南西地区が7.0%と低くなっている。

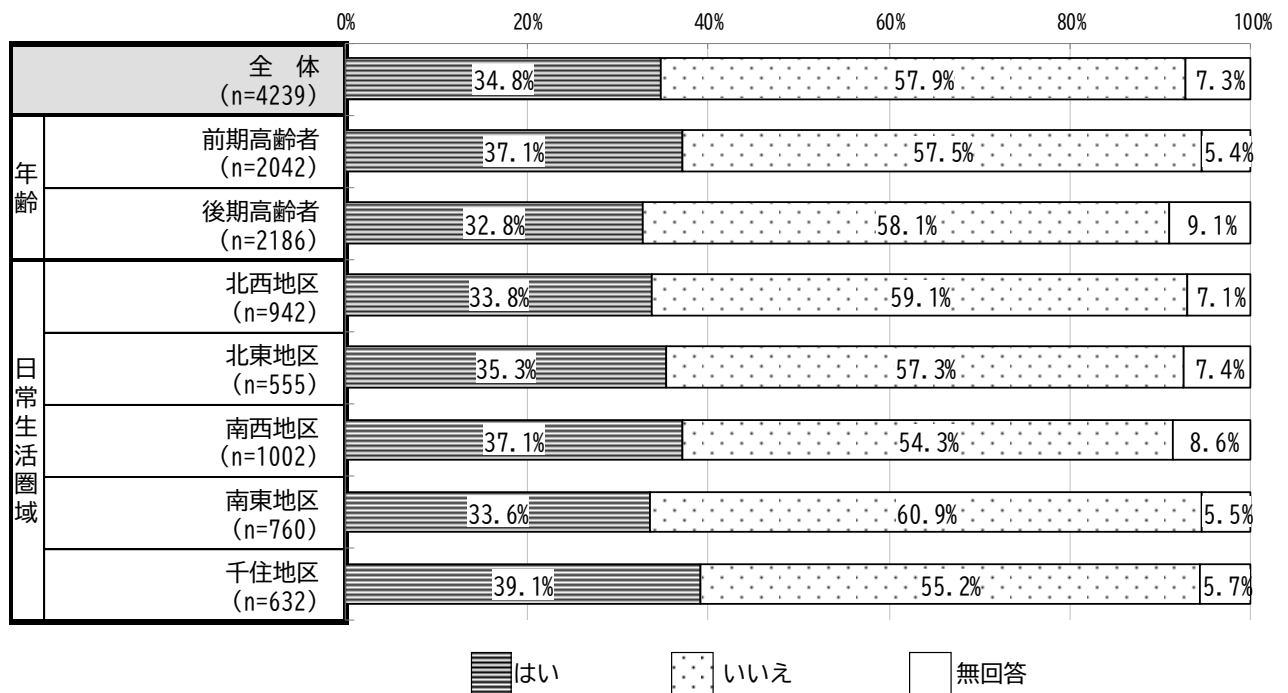


問12(3) 認知症に関する相談窓口を知っていますか(1つに○)。

認知症に関する相談窓口を知っているかについて、足立区全体では、「はい」が34.8%、「いいえ」が57.9%となっている。

前期・後期別にみると、「はい」では、前期高齢者が37.1%、後期高齢者が32.8%となっている。

日常生活圏域別にみると、「はい」では、千住地区が39.1%と高く、南東地区が33.6%と低くなっている。

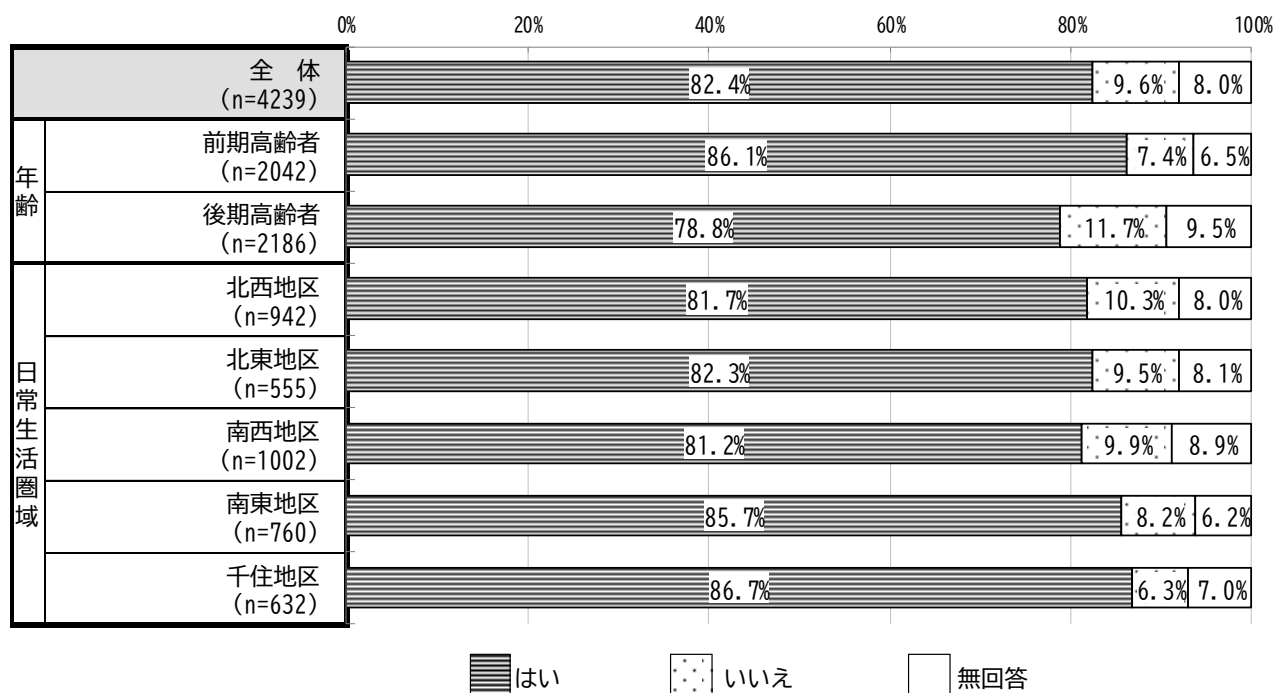


問12(4) 将来、あなたが認知症になったとしたら、周囲（家族や友人など）に公表しますか（1つに○）。

将来、認知症になったとしたら、周囲（家族や友人など）に公表するかどうかについて、足立区全体では、「はい」が82.4%、「いいえ」が9.6%となっている。

前期・後期別にみると、「はい」では、前期高齢者が86.1%、後期高齢者が78.8%となっている。

日常生活圏域別にみると、「はい」では、千住地区が86.7%と高く、南西地区が81.2%と低くなっている。

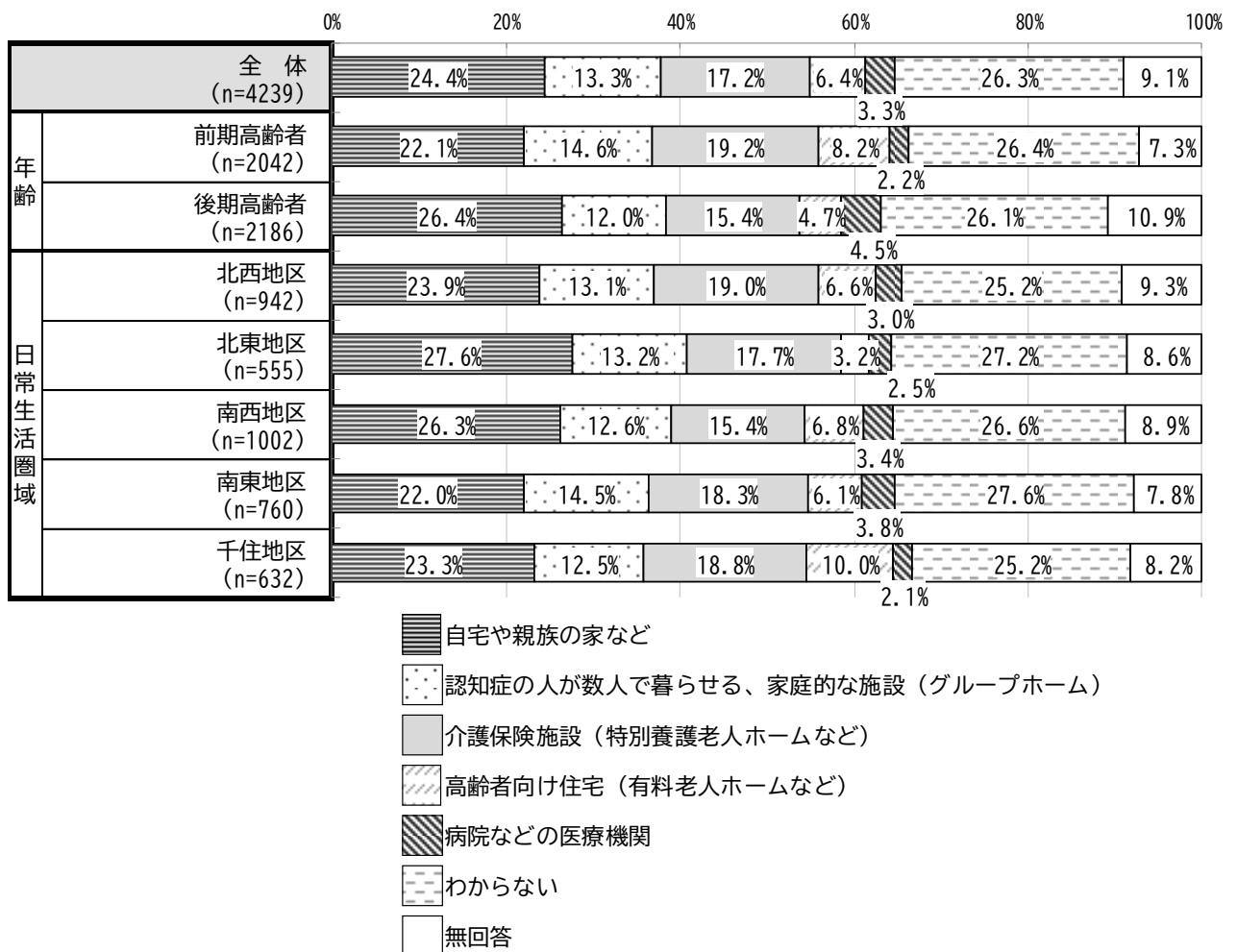


問12(5) 将来、あなたが認知症になったとしたら、どこで暮らしたいですか
(1つに○)。

将来、認知症になった場合に暮らしたい場所について、足立区全体では、「自宅や親族の家など」が24.4%と最も高く、「介護保険施設（特別養護老人ホームなど）」が17.2%、「認知症の人が数人で暮らせる、家庭的な施設（グループホーム）」が13.3%、「高齢者向け住宅（有料老人ホームなど）」が6.4%、「病院などの医療機関」が3.3%、「わからない」が26.3%となっている。

前期・後期別にみると、「自宅や親族の家など」では、前期高齢者が22.1%、後期高齢者が26.4%となっている。

日常生活圏域別にみると、「自宅や親族の家など」では、北東地区が27.6%と高く、南東地区が22.0%と低くなっている。



問12(6) 認知症に関する以下のことに関して、あなたはどのように感じたり、思ったりしていますか（それぞれ1つに○）。

認知症に関する考えについて、認知症は誰もがなり得ると思うかでは「思う」が52.5%、認知症になったら何もわからなくなると思うかでは「どちらかというと思う」が30.3%、認知症になったら何もできなくなると思うかでは「どちらかというと思わない」が32.2%、地域生活の様々な場面において、認知症の人の意思が尊重されていると思うかでは「どちらかというと思わない」が37.8%、認知症の人が自分らしく暮らしていると思うかでは「どちらかというと思わない」が38.5%となっている。

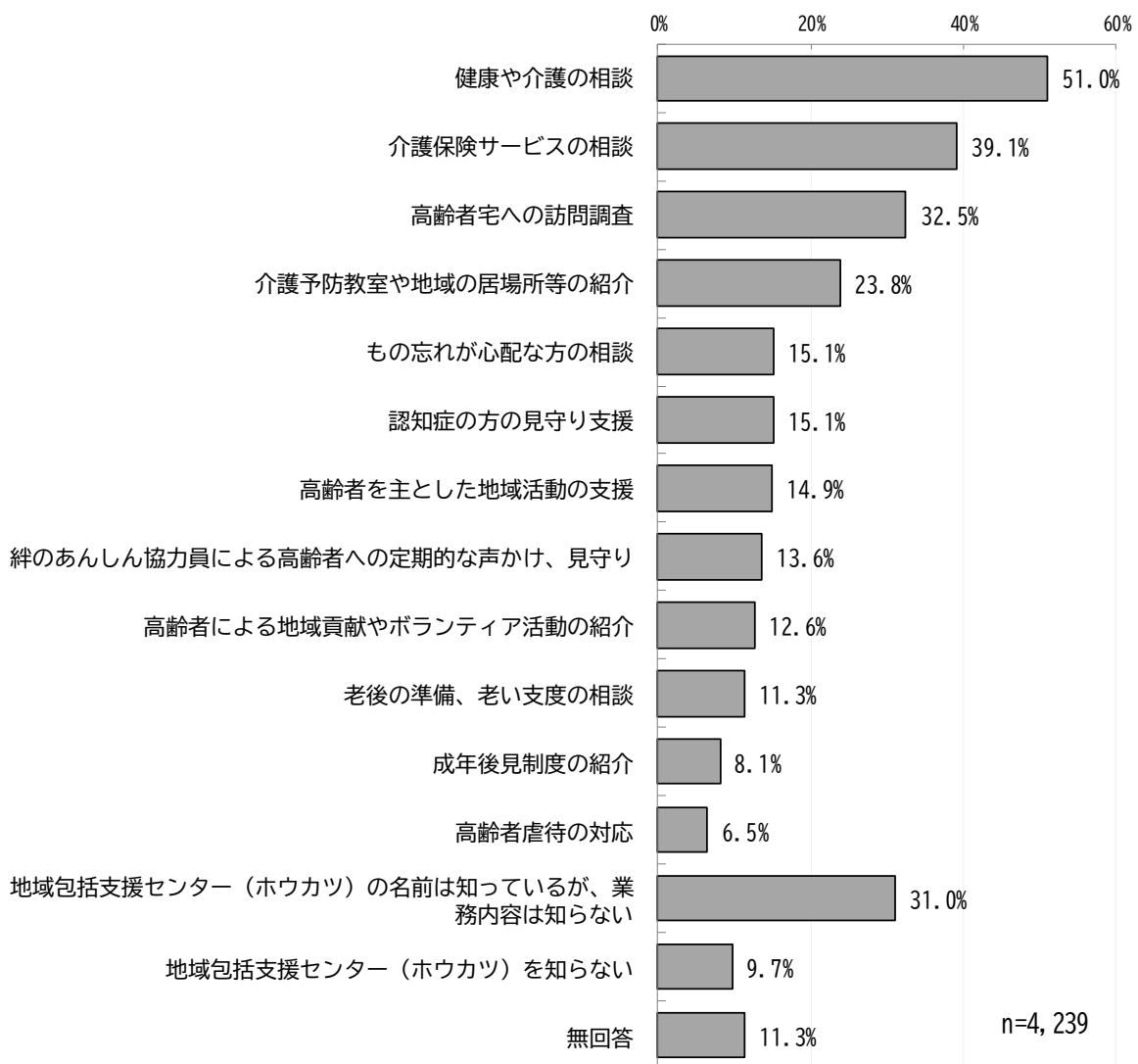
(%)

	調査数	思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない	無回答
① 認知症は誰もがなり得ると思いますか	4239	52.5	24.9	7.5	6.5	8.5
② 認知症になったら何もわからなくなると思いますか	4239	12.1	30.3	27.7	19.5	10.4
③ 認知症になったら何もできなくなると思いますか	4239	10.6	24.1	32.2	22.8	10.3
④ 地域生活の様々な場面において、認知症の人の意思が尊重されていると思いますか	4239	5.0	24.3	37.8	16.8	16.0
⑤ あなたが暮らす地域では、認知症の人が自分らしく暮らしていると思いますか	4239	3.8	23.0	38.5	19.1	15.6

(13) 高齢者福祉サービスや高齢者施策について

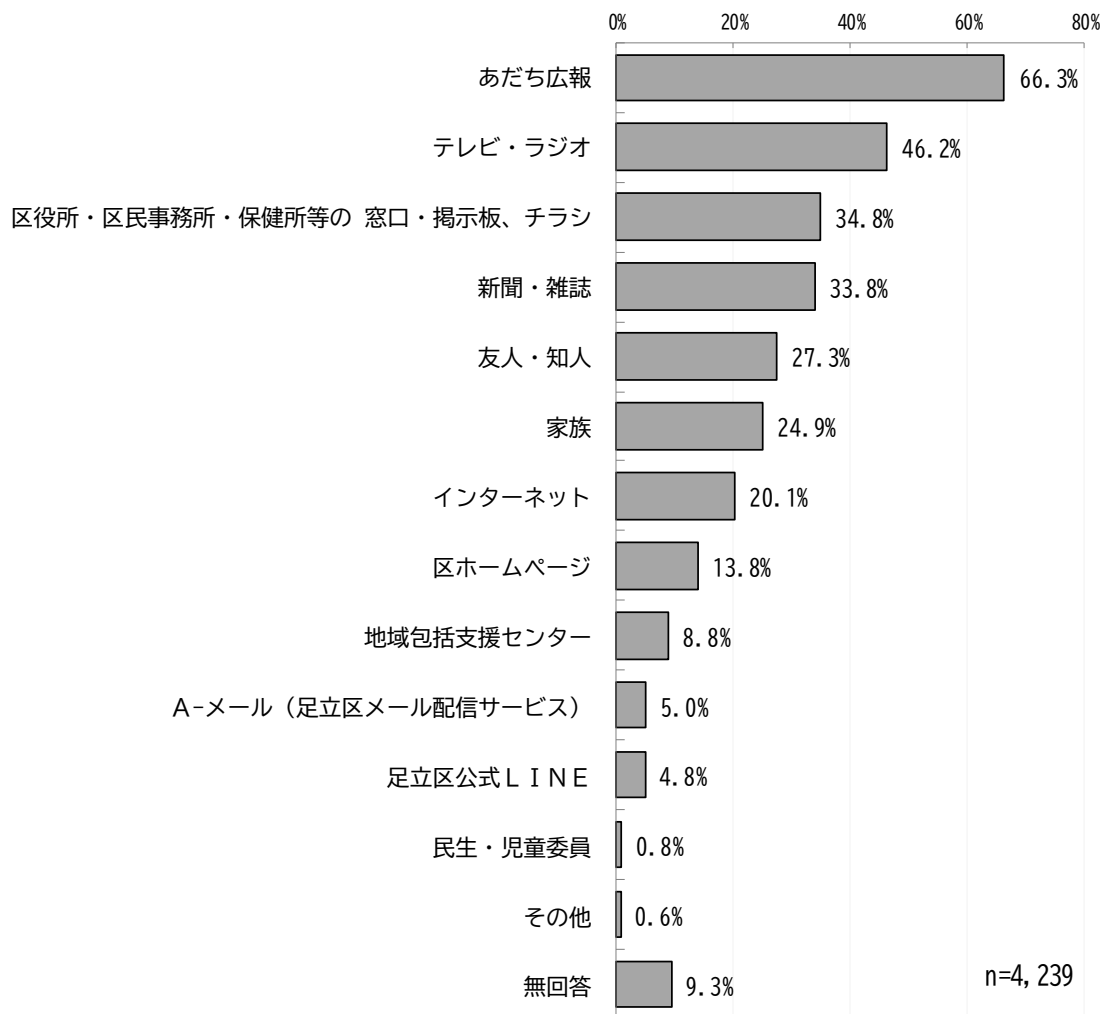
問13(1) 現在、区内には、高齢者の介護や生活上の相談等を受ける地域包括支援センターがあります。地域包括支援センター（ホウカツ）の業務で、ご存知のものに○を付けてください（いくつでも○）。

足立区内の地域包括支援センターが行っている業務の認知度について、「健康や介護の相談」が51.0%と最も高く、「介護保険サービスの相談」が39.1%、「高齢者宅への訪問調査」が32.5%、「地域包括支援センター（ホウカツ）の名前は知っているが、業務内容は知らない」が31.0%、「介護予防教室や地域の居場所等の紹介」が23.8%、「もの忘れが心配な方の相談」「認知症の方の見守り支援」が15.1%、「高齢者を主とした地域活動の支援」が14.9%、「絆のあんしん協力員による定期的な声かけ、見守り」が13.6%、「高齢者による地域貢献やボランティア活動の紹介」が12.6%、「老後の準備、老い支度の相談」が11.3%、「地域包括支援センター（ホウカツ）を知らない」が9.7%、「成年後見制度の紹介」が8.1%、「高齢者虐待の対応」が6.5%となっている。



問13(2) 身近な暮らしの情報をどのように入手しますか（いくつでも○）。

身近な暮らしの情報の入手先について、「あだち広報」が66.3%と最も高く、「テレビ・ラジオ」が46.2%、「区役所・区民事務所・保健所等の窓口・掲示板、チラシ」が34.8%、「新聞・雑誌」が33.8%、「友人・知人」が27.3%、「家族」が24.9%、「インターネット」が20.1%、「区ホームページ」が13.8%、「地域包括支援センター」が8.8%、「A-メール（足立区メール配信サービス）」が5.0%、「足立区公式LINE」が4.8%、「民生・児童委員」が0.8%となっている。

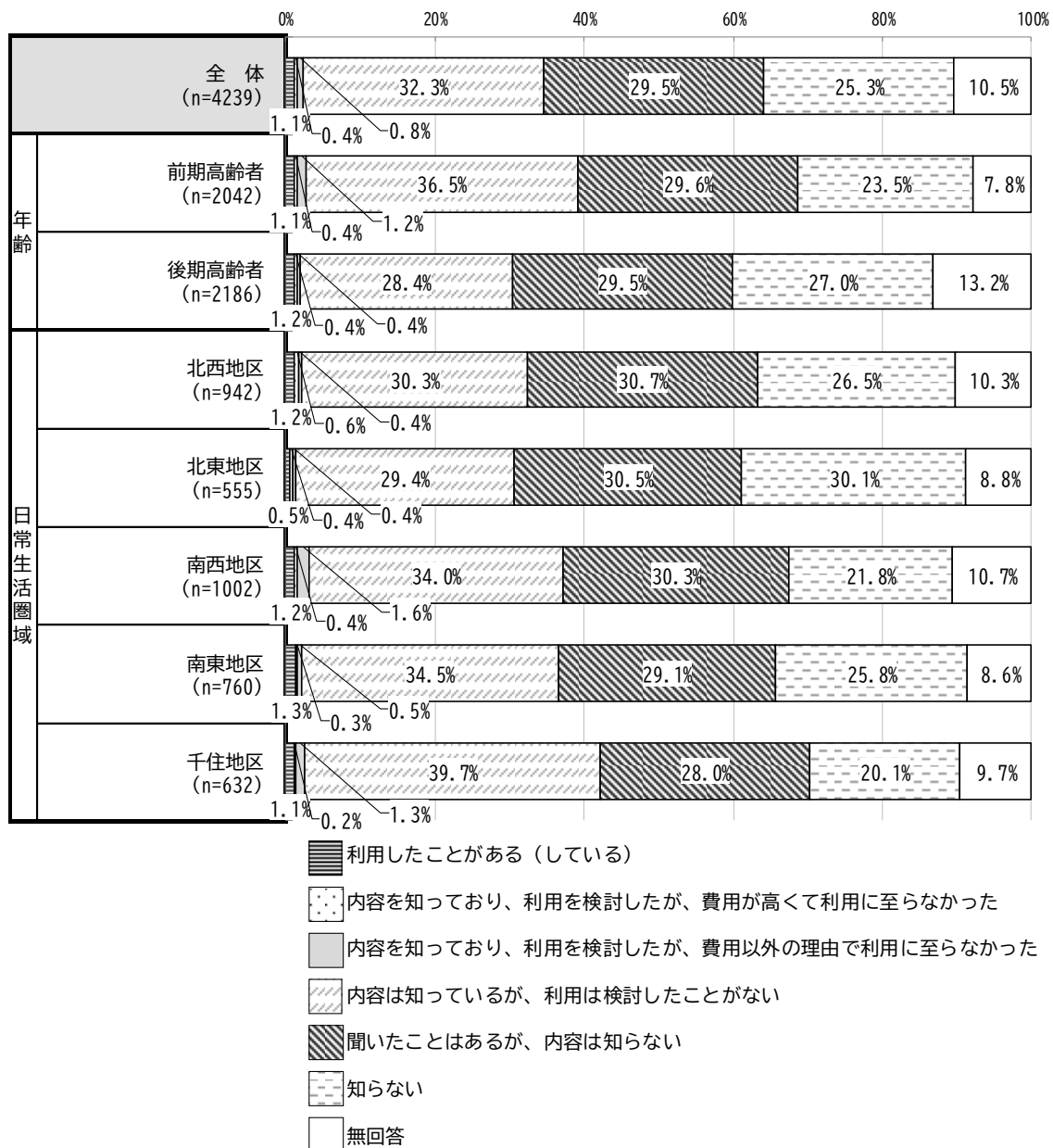


問13(3) 成年後見制度についてご存知ですか。また利用を検討したことがありますか(1つに○)。

成年後見制度について、足立区全体では「内容は知っているが、利用は検討したことがない」が32.3%と最も高く、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が29.5%、「知らない」が25.3%、「利用したことがある(している)」が1.1%、「内容を知っており、利用を検討したが、費用以外の理由で利用に至らなかった」が0.8%、「内容を知っており、利用を検討したが、費用が高くて利用に至らなかった」が0.4%となっている。

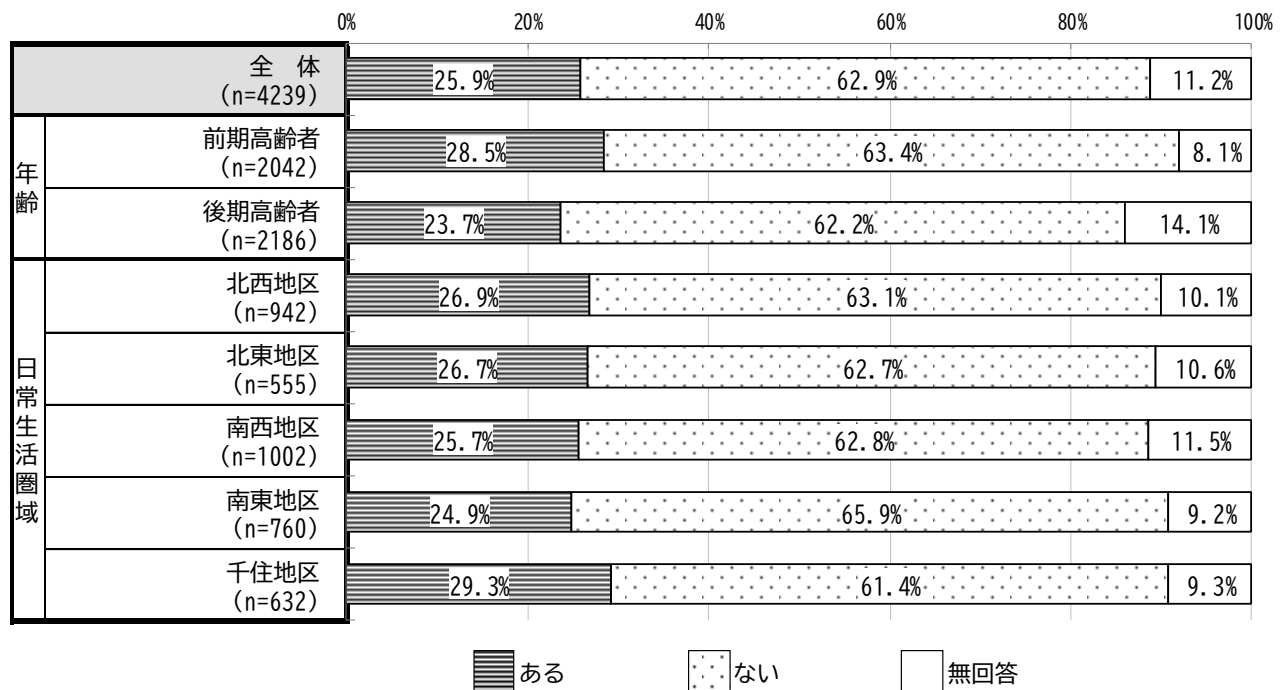
前期・後期別にみると、前期高齢者では、「内容は知っているが、利用は検討したことがない」が36.5%、後期高齢者では、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が29.5%と高くなっている。

日常生活圏域別にみると、南西地区、南東地区、千住地区では「内容は知っているが、利用は検討したことがない」、北西地区、北東地区では「聞いたことはあるが、内容は知らない」が高くなっている。



問13(4) 成年後見制度について関心がありますか(1つに○)。

成年後見制度について、足立区全体では、関心が「ある」が25.9%、「ない」が62.9%となっている。

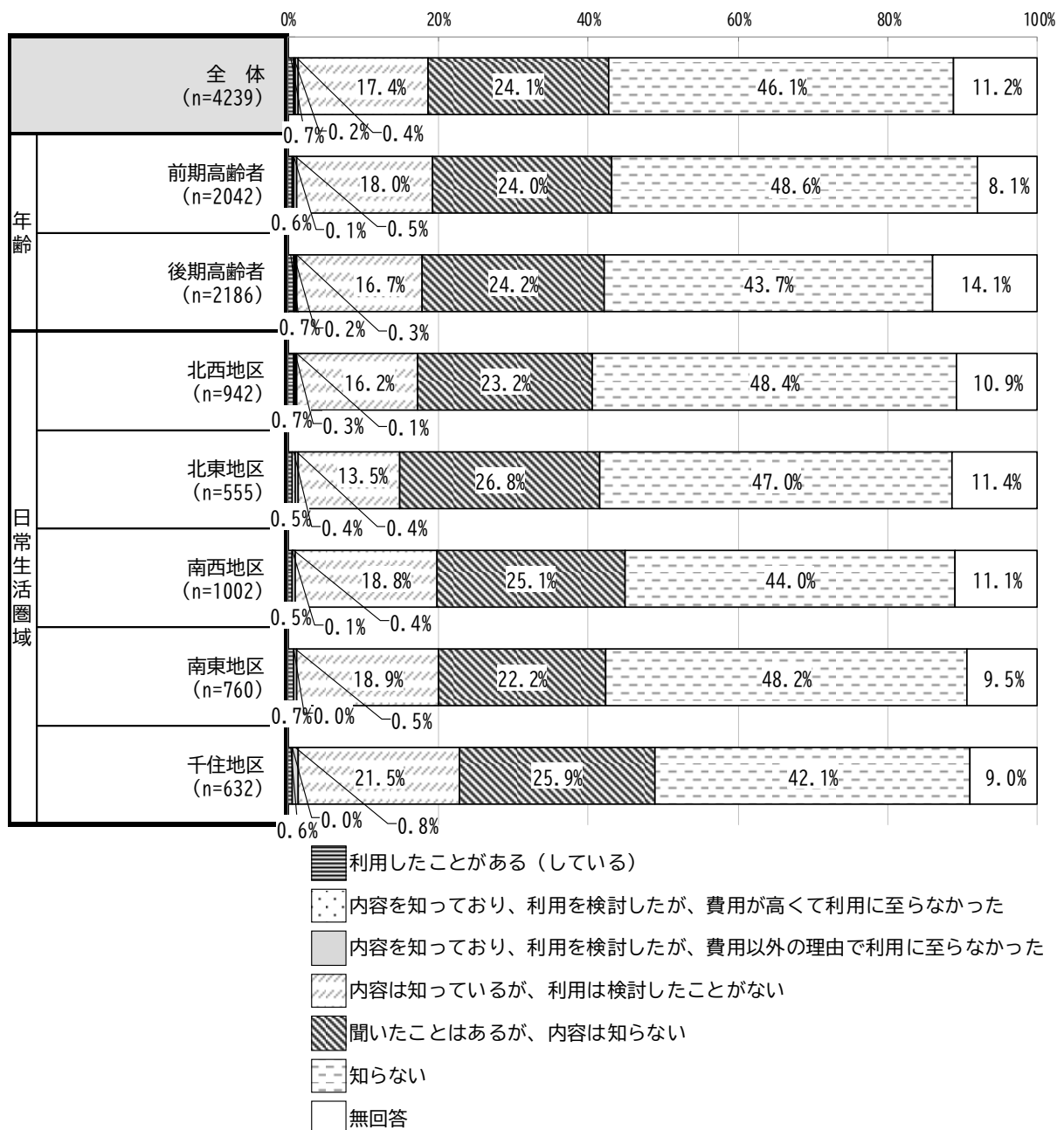


問13 (5) 任意後見制度についてご存知ですか。また利用を検討したことがありますか (1つに○)。

任意後見制度について、足立区全体では、「知らない」が46.1%と最も高く、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が24.1%、「内容は知っているが、利用は検討したことがない」が17.4%、「利用したことがある(している)」が0.7%、「内容を知っており、利用を検討したが、費用以外の理由で利用に至らなかった」が0.4%、「内容を知っており、利用を検討したが、費用が高くて利用に至らなかった」が0.2%となっている。

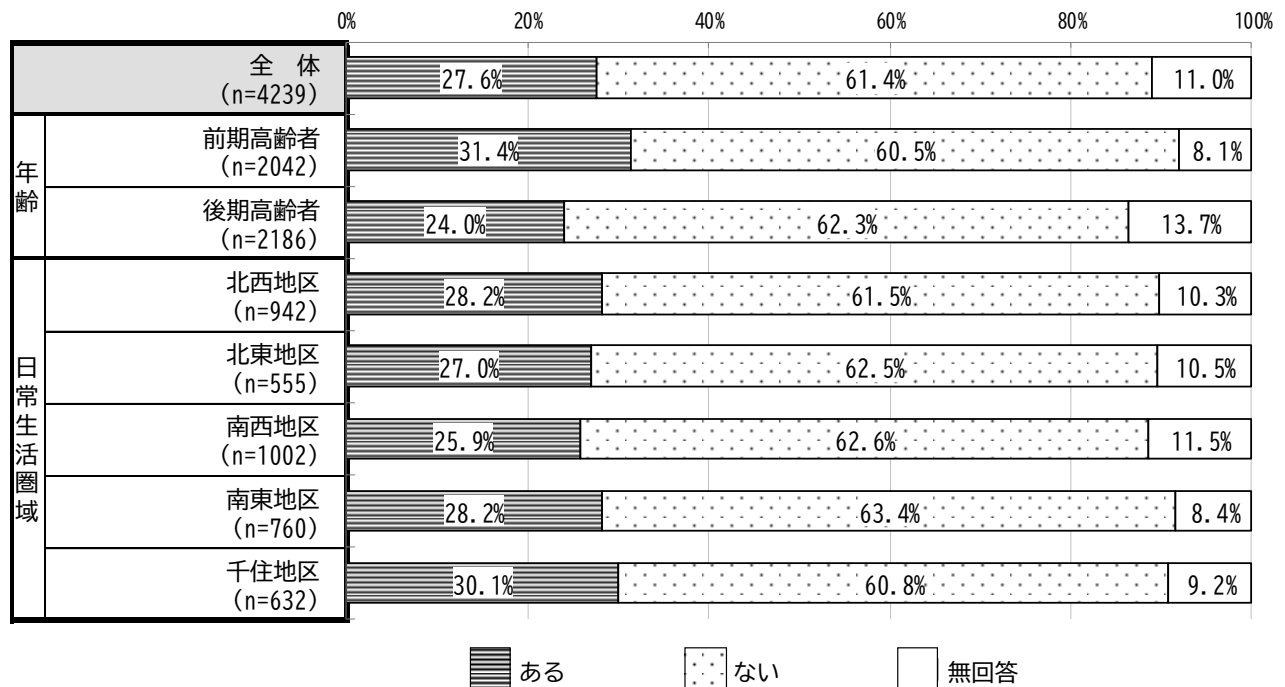
前期・後期別にみると、「知らない」では、前期高齢者が48.6%、後期高齢者が43.7%となっている。

日常生活圏域別にみると、「知らない」では、北西地区が48.4%と高く、千住地区が42.1%と低くなっている。



問13(6) 任意後見制度について関心がありますか(1つに○)。

任意後見制度について、足立区全体では、関心が「ある」が27.6%、「ない」が61.4%となっている。



問13 (7) 足立区には次のようなサービスがありますが、あなたは現在利用していますか。また利用していない方は、そのサービスをご存知ですか（それぞれ1つに○）。

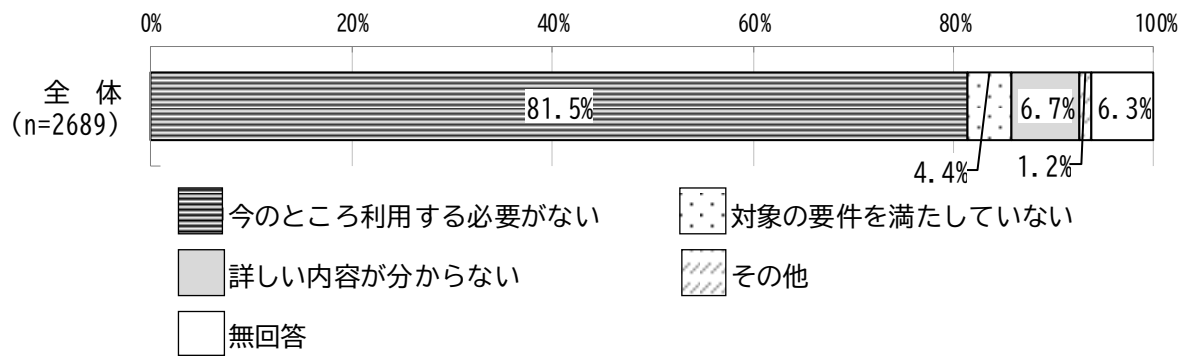
足立区内のサービスの利用状況について、日常生活用具の給付では、「知らない」が52.8%、高齢者住宅改修給付では、「知っているが利用したことはない」が45.4%、高齢者配食サービスでは、「知らない」が48.2%、高齢者緊急通報システムの設置では、「知らない」が60.8%、見守りキーホルダー・シールの支給では、「知らない」が65.1%、訪問理美容サービスでは、「知らない」が55.2%、見守りサービス助成では、「知らない」が67.3%、あいあいサポートでは、「知らない」が54.4%と高くなっている。

(%)

	調査数	利用している (したことがある)	知っているが 利用したことはない	知らない	無回答
① 日常生活用具の給付	4239	2.7	31.5	52.8	12.9
② 高齢者住宅改修給付	4239	8.4	45.4	33.8	12.3
③ 高齢者配食サービス	4239	0.8	38.7	48.2	12.4
④ 高齢者緊急通報システムの設置	4239	0.7	25.6	60.8	12.9
⑤ 見守りキーホルダー・シールの支給	4239	1.6	20.6	65.1	12.7
⑥ 訪問理美容サービス	4239	1.1	31.2	55.2	12.6
⑦ 見守りサービス助成	4239	0.4	19.0	67.3	13.3
⑧ あいあいサポート	4239	0.6	32.0	54.4	13.0

問13(7)⑨ 利用したことがない理由は何ですか(1つに○)。

足立区内のサービスで1つでも「知っているが利用したことはない」と回答した方の利用したことがない理由は、「今のところ利用する必要がない」が81.5%と最も高く、「詳しい内容が分からない」が6.7%、「対象の要件を満たしていない」が4.4%となっている。



問13(8) 介護予防事業についてお聞きします。あなたは以下の事業に現在参加していますか。またしていない方は、そのサービスをご存知ですか（それぞれ1つに○）。

介護予防事業への参加状況について、すべての事業で「知らない」が最も高くなっている。

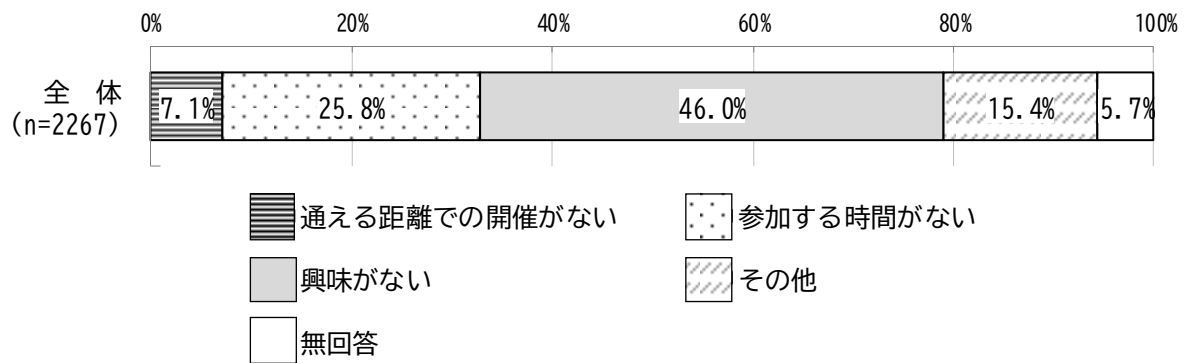
パークで筋トレ（公園で開催）では、「知らない」が47.3%、ウォーキング教室（区内の名所等）では、「知らない」が50.1%、はつらつ教室（地域学習センター等）では、「知らない」が56.3%、はつらつ測定会（地域学習センター等）では、「知らない」が58.8%、みんなで元気アップ教室（地域学習センター等）では、「知らない」が61.1%、元気アップサポーター養成研修（地域学習センター等）では、「知らない」が64.4%、住区センターで実施している教室・講座では、「知らない」が39.8%、ふれあい游湯う（公衆浴場）では、「知らない」が45.5%、「住区de団らん（住区センター）」では、「知らない」が59.1%と最も高くなっている。

(%)

	調査数	参加している (したことがある)	知っているが 参加したことは ない	知らない	無回答
① パークで筋トレ（公園で開催）	4239	4.1	31.0	47.3	17.6
② ウォーキング教室（区内の名所等）	4239	1.9	29.6	50.1	18.4
③ はつらつ教室（地域学習センター等）	4239	3.0	21.8	56.3	18.9
④ はつらつ測定会（地域学習センター等）	4239	2.1	19.8	58.8	19.3
⑤ みんなで元気アップ教室（地域学習センター等）	4239	2.4	17.3	61.1	19.2
⑥ 元気アップサポーター養成研修（地域学習センター等）	4239	0.6	15.1	64.4	19.9
⑦ 住区センターで実施している教室・講座	4239	9.0	33.4	39.8	17.8
⑧ ふれあい游湯う（公衆浴場）	4239	3.6	32.3	45.5	18.6
⑨ 住区de団らん（住区センター）	4239	2.1	19.7	59.1	19.0

問13(8)⑩ 参加したことがない理由は何ですか(1つに○)。

介護予防事業で1つでも「知っているが参加したことはない」と回答した方の参加したことがない理由は、「興味がない」が46.0%と最も高く、「参加する時間がない」が25.8%、「通える距離での開催がない」が7.1%となっている。

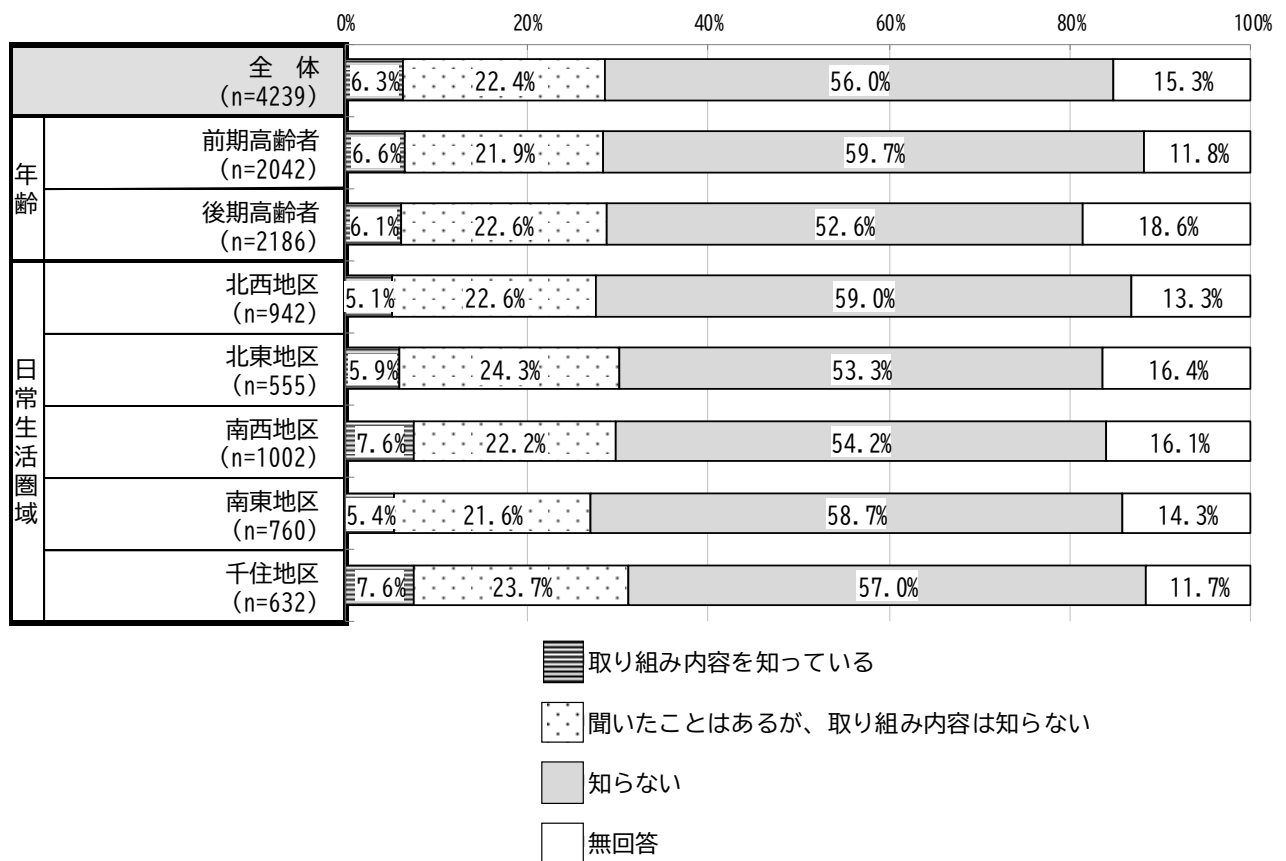


問13(9) 足立区ではひとり暮らし高齢者や高齢者世帯を対象に、「孤立ゼロプロジェクト～絆のあんしんネットワーク～」(近隣同士の見守り活動)の取り組みを実施していますが、ご存知ですか(1つに○)。

「孤立ゼロプロジェクト」による取り組みについて、足立区全体では、「知らない」が56.0%と最も高く、「聞いたことはあるが、取り組み内容は知らない」が22.4%、「取り組み内容を知っている」が6.3%となっている。

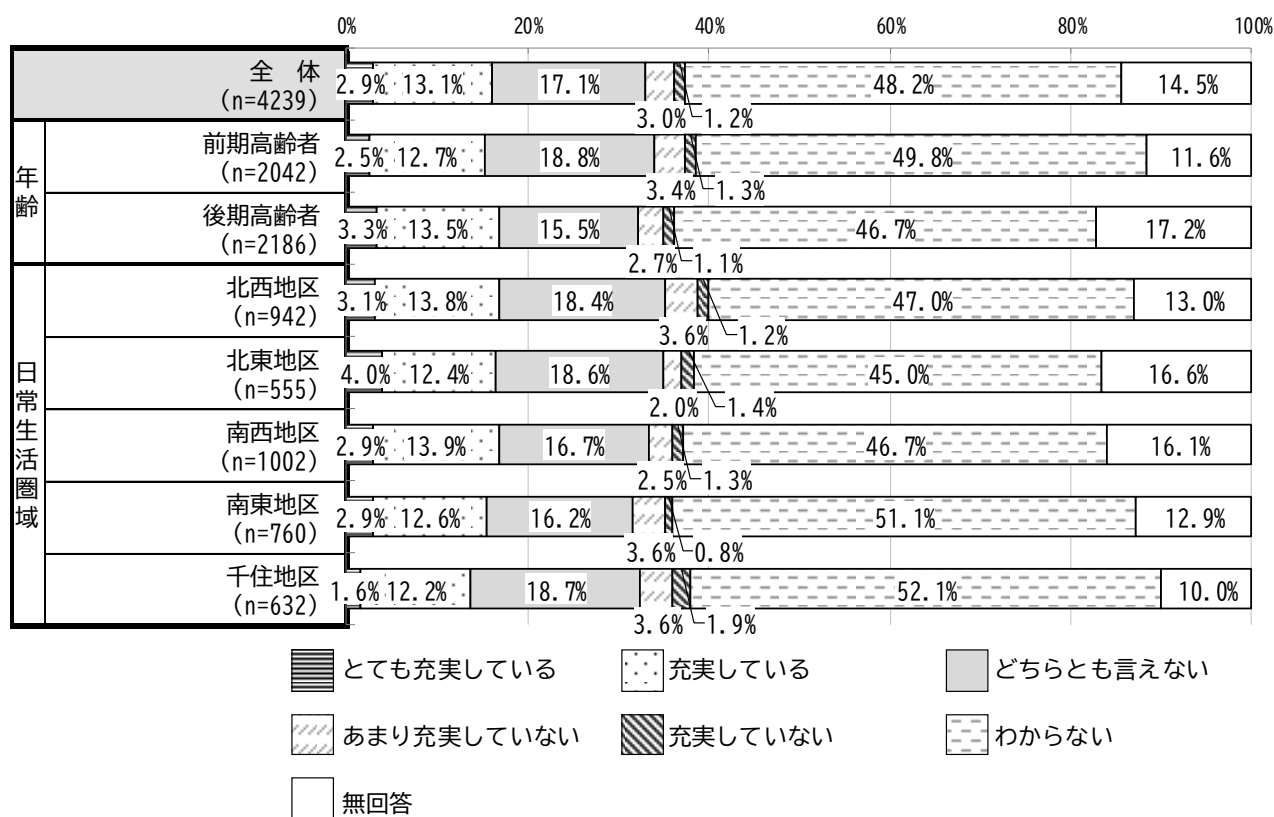
前期・後期別にみると、「知らない」では、前期高齢者が59.7%、後期高齢者が52.6%となっている。

日常生活圏域別にみると、「知らない」では、北西地区が59.0%と高く、北東地区が53.3%と低くなっている。



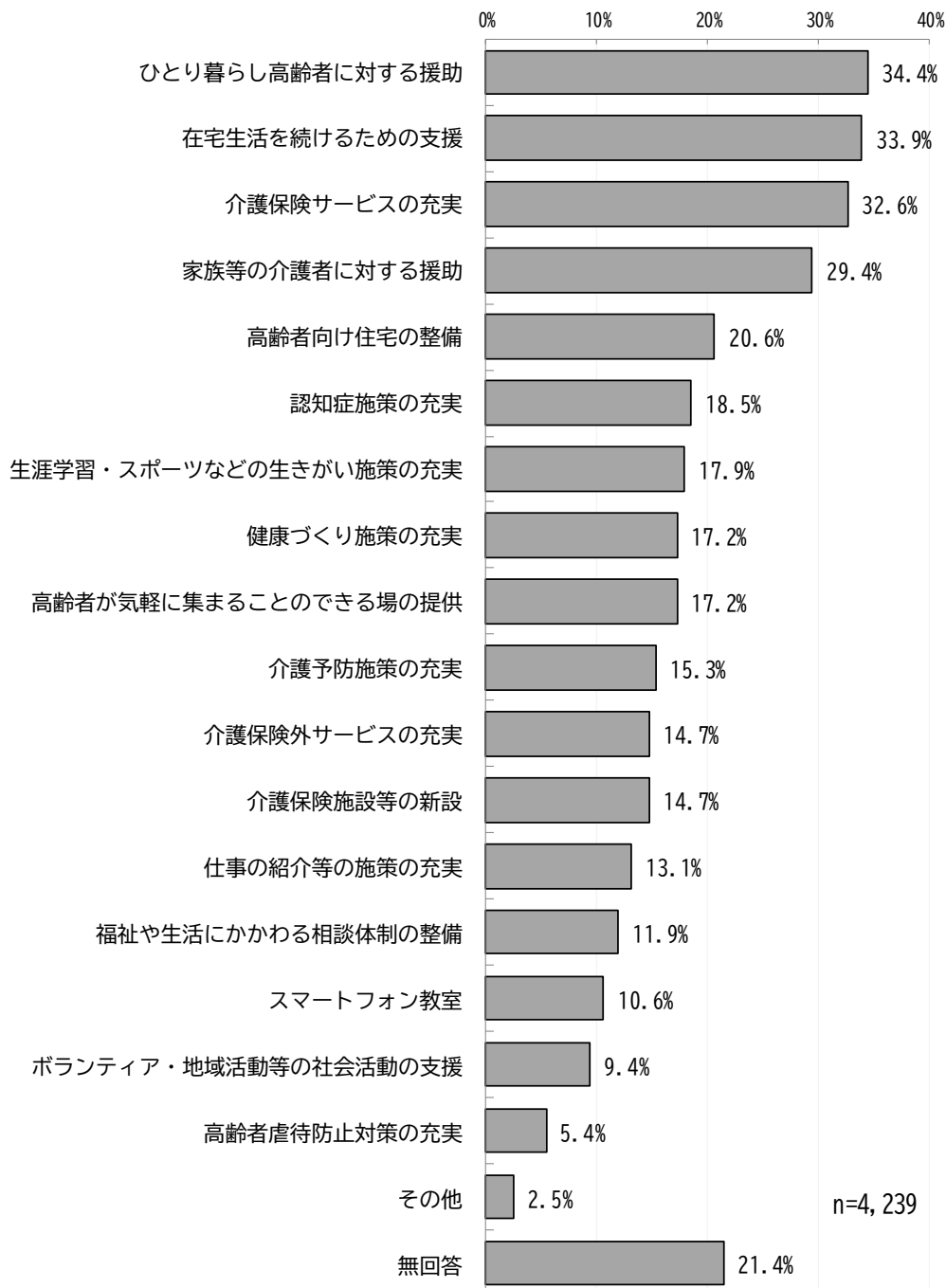
問13(10) あなたは、足立区の高齢者施策についてどのように感じていますか
(1つに○)。

足立区の高齢者施策について、足立区全体では、「どちらとも言えない」が17.1%と最も高く、「充実している」が13.1%、「あまり充実していない」が3.0%、「とても充実している」が2.9%、「充実していない」が1.2%、「わからない」が48.2%となっている。



問13(11) あなたは、足立区に対してどのような高齢者施策の充実をお望みですか（いくつでも○）。

足立区に対して望む高齢者施策の充実について、「ひとり暮らし高齢者に対する援助」が34.4%と最も高く、「在宅生活を続けるための支援」が33.9%、「介護保険サービスの充実」が32.6%、「家族等の介護者に対する援助」が29.4%、「高齢者向け住宅の整備」が20.6%、「認知症施策の充実」が18.5%と続いている。



第2章 調査結果

基本チェックリスト点数化に基づく介護予防必要者の算出、該当割合

介護予防・日常生活圏域ニーズに関する調査、高齢者単身世帯実態調査の回答結果より、介護予防必要者を抽出するため、厚生労働省作成の基本チェックリストと比較可能な関連設問を整理した。基本チェックリストの点数化に基づく該当者割合の算出根拠および結果は次のとおりである。

基本 チェック リスト		該当設問番号		設問項目・選択肢項目		介護予防必要者 算出割合	
分類	項目 番号	【01】 ニーズ 調査	【02】 単身 高齢者	設問項目	該当選択肢・割合		
暮らし びり①	1	問5（4）	問5（4）	【01】 【02】 バスや電車を使って1人で外出していますか （自家用車でも可）	【01】 【02】 3 できない		
	2	問5（5）	問5（5）	【01】 【02】 自分で食品・日用品の買い物をしていますか	【01】 【02】 3 できない		
	3	問5（6）	問5（6）	【01】 【02】 自分で預貯金の出し入れをしていますか	【01】 【02】 3 できない		
	4	問5（13）	問5（7）	【01】 【02】 友人の家を訪ねていますか	【01】 【02】 3 できない		
	5	問5（14）	問5（8）	【01】 【02】 家族や友人の相談にのっていますか	【01】 【02】 3 できない		
運 動 器 関 係	6	問3（1）	問3（1）	【01】 【02】 階段を手すりや壁をつたわずに 昇っていますか	【01】 【02】 3 できない	<運動器> 3項目該当 【01】 10.4% 【02】 16.8%	<暮らし びり> 1～20のうち 10項目該当 【01】 3.6% 【02】 4.1%
	7	問3（2）	問3（2）	【01】 【02】 椅子に座った状態から何もつかまらずに 立ち上がっていますか	【01】 【02】 3 できない		
	8	問3（3）	問3（3）	【01】 【02】 15分位続けて歩いていますか	【01】 【02】 3 できない		
	9	問3（4）	問3（4）	【01】 【02】 過去1年間に転んだ経験がありますか	【01】 【02】 1 何度もある 2 一度ある		
	10	問3（5）	問3（5）	【01】 【02】 転倒に対する不安は大きいですか	【01】 【02】 1 とても不安である 2 やや不安である		
栄 養 ・ 口 腔 機 能 等 の 関 係	11	問4（8）	問4（1）	【01】 【02】 6か月間で2～3kg以上の体重減少が ありましたか	【01】 【02】 1 はい	<栄養> 両方該当 【01】 1.2% 【02】 2.3%	
	12	問4（1）	問4（6）	【01】 【02】 BMI＝体重（kg）÷身長（m）÷身長（m） BMI<18.5（やせ）	BMI<18.5（やせ）		
	13	問4（2）	問4（2）	【01】 【02】 半年前に比べて固いものが食べにくく なりましたか	【01】 【02】 1 はい	<口腔> 2項目該当 【01】 22.3% 【02】 31.0%	
	14	問4（3）	問4（3）	【01】 【02】 お茶や汁物などでむせることがありますか	【01】 【02】 1 はい		
	15	問4（4）	問4（4）	【01】 【02】 口の渇きが気になりますか	【01】 【02】 1 はい		
暮 ら し び り②	16	問3（6）	問3（6）	【01】 【02】 週に1回以上は外出していますか	【01】 【02】 1 ほとんど外出 しない		
	17	問3（7）	問3（7）	【01】 【02】 昨年と比べて外出の回数が減っていますか	【01】 【02】 1 とても減っている 2 減っている		
	18	問5（1）	問5（1）	【01】 物忘れが多いと感じますか 【02】 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの 物忘れがあるとされますか	【01】 【02】 1 はい		
	19	問5（2）	問5（2）	【01】 【02】 自分で電話番号を調べて、 電話をかけることをしていますか	【01】 【02】 1 はい		
	20	問5（3）	問5（3）	【01】 【02】 今日が何月何日かわからない時がありますか	【01】 【02】 1 はい		
こ こ ろ（う つ） 予 防	21	-	問5（12）①	【02】（ここ2週間）毎日の生活に充実感がない	【02】 1 はい		
	22	-	問5（12）②	【02】（ここ2週間）これまで楽しんでやれていたこと が楽しめなくなった	【02】 1 はい		
	23	-	問5（12）③	【02】（ここ2週間）以前は楽にできていたことが 今ではおっくうに感じられる	【02】 1 はい		
	24	-	問5（12）④	【02】（ここ2週間）自分が役に立つ人間だと思えない	【02】 1 はい		
	25	-	問5（12）⑤	【02】（ここ2週間）わけもなく疲れたような感じがする	【02】 1 はい	<うつ傾向> 2項目該当 【02】 13.1%	

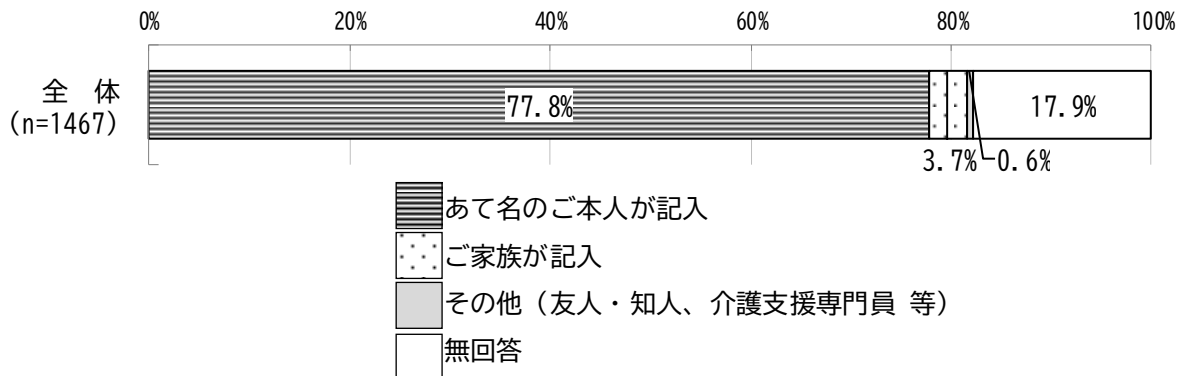
2 高齡者単身世帯実態調査

2 高齢者単身世帯実態調査

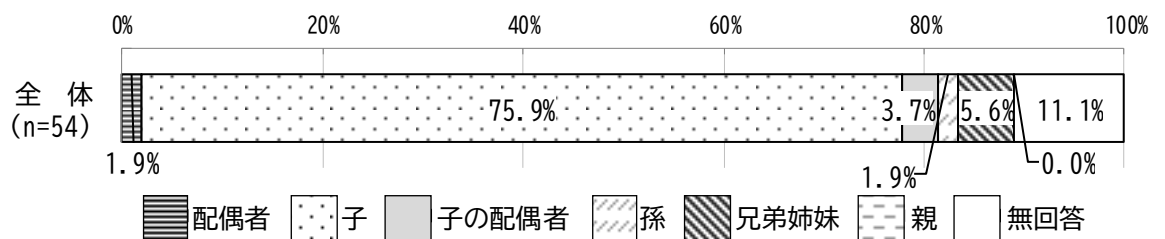
(1) あなたの基本情報について

調査票を記入されたのはどなたですか（1つに○）。

回答者は、「あて名のご本人」が77.8%と最も高く、「ご家族」が3.7%、「その他（友人・知人、介護支援専門員等）」が0.6%となっている。

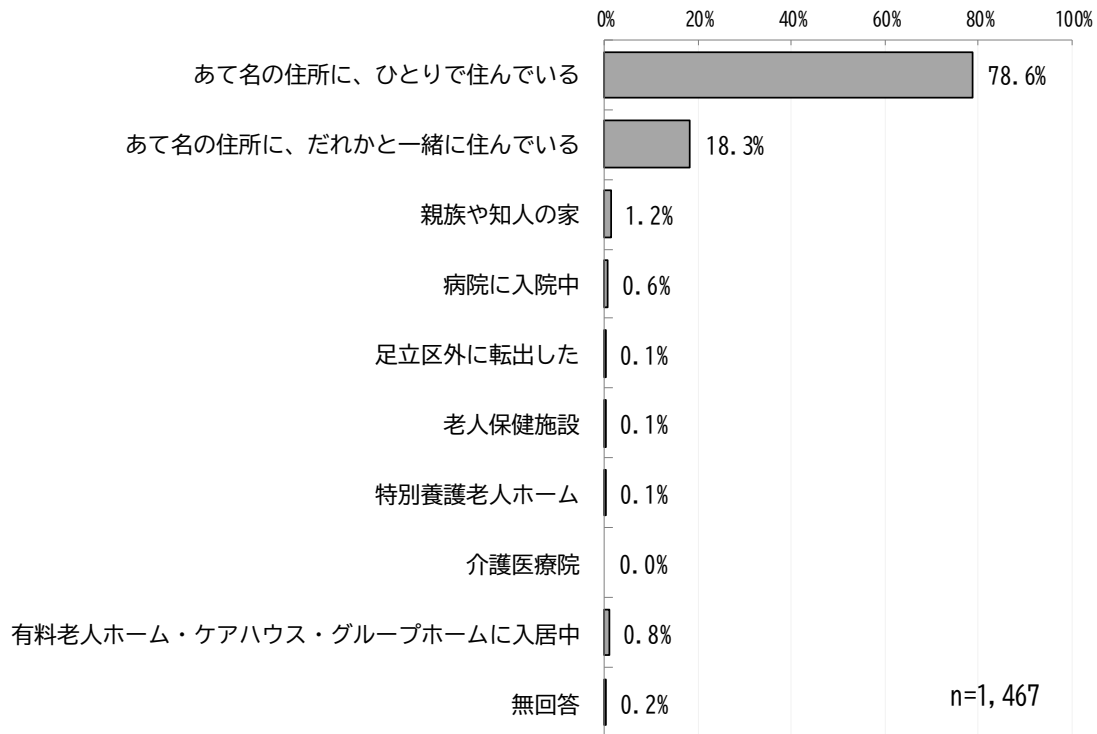


「ご家族」と回答した方の内訳をみると、「子」が75.9%と最も高く、「兄弟姉妹」が5.6%、「子の配偶者」が3.7%、「配偶者」「孫」が1.9%となっている。



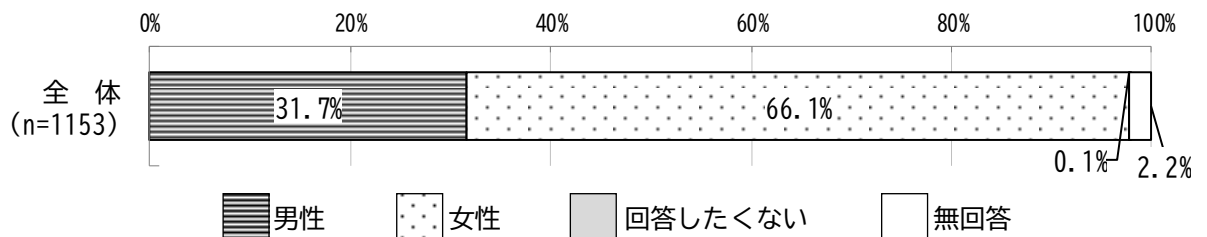
問1（1） あなたは、普段、どちらにお住まいですか（1つに○）。

回答者の住まいは、「あて名の住所に、ひとりで住んでいる」が78.6%と最も高く、「あて名の住所に、だれかと一緒に住んでいる」が18.3%、「親族や知人の家」が1.2%、「病院に入院中」が0.6%、「病院に入院中」が0.6%となっている。



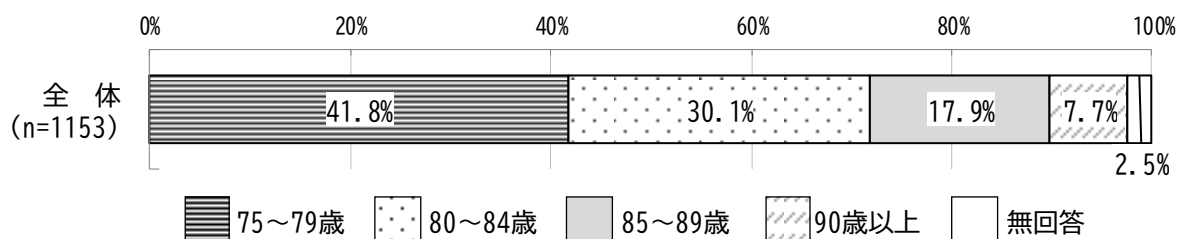
問1（2） あなたの性別について、ご回答ください（1つに○）。

性別は、「男性」が31.7%、「女性」が66.1%、「回答したくない」が0.1%となっている。



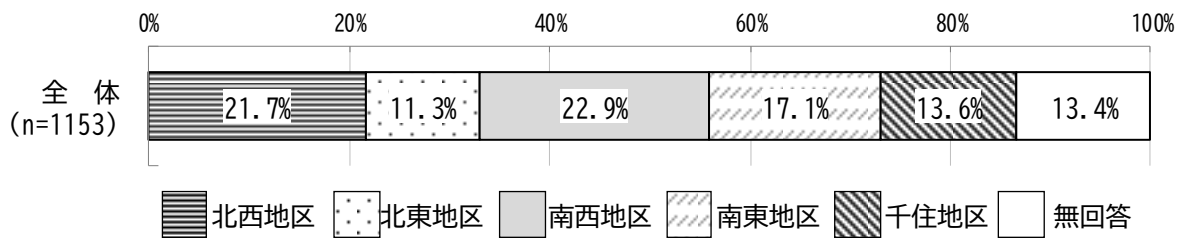
問1（3） あなたの年齢について、ご回答ください（数字を記入）。

年齢は、「75-79 歳」が41.8%と最も高く、「80-84 歳」が30.1%、「85-89 歳」が17.9%、「90 歳以上」が7.7%となっている。



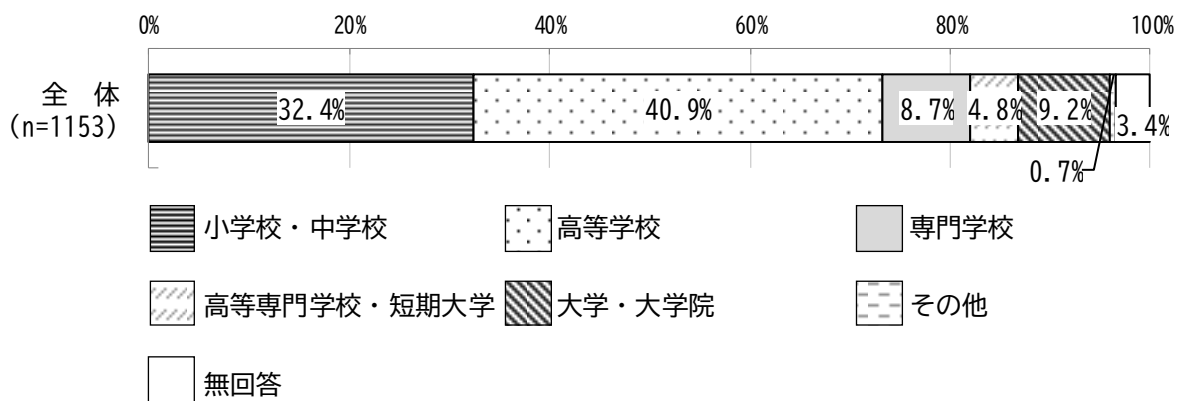
問1 (4) あなたのお住まい(住所)について、ご回答ください(数字を記入)。

日常生活圏域でみると、「南西地区」が22.9%と最も高く、「北西地区」が21.7%、「南東地区」が17.1%、「千住地区」が13.6%、「北東地区」が11.3%となっている。



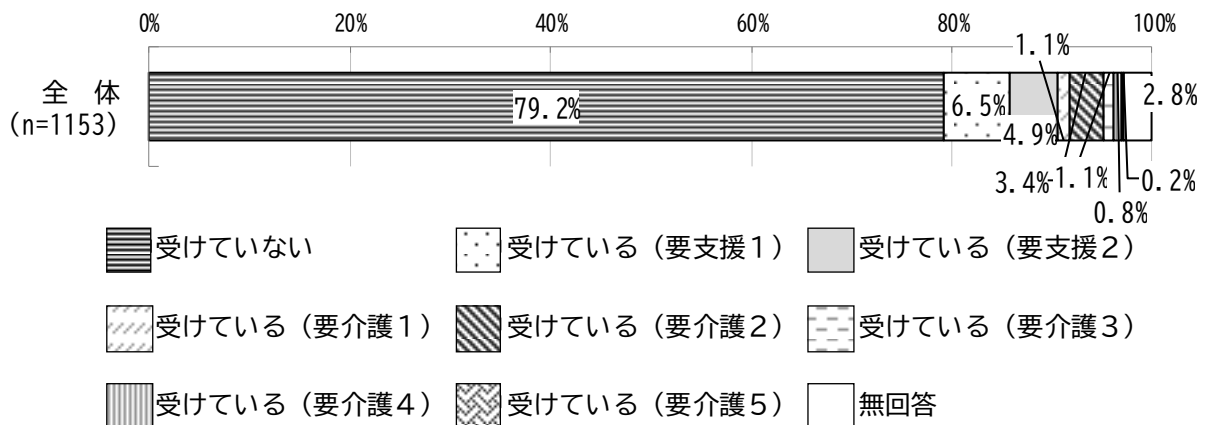
問1 (5) あなたが最後に卒業(または中退)した学校について、ご回答ください(1つに○)。

最後に卒業した学校について、「高等学校」が40.9%と最も高く、「小学校・中学校」が32.4%、「大学・大学院」が9.2%、「専門学校」が8.7%、「高等専門学校・短期大学」が4.8%となっている。



問1 (6) あなたは現在、要介護認定を受けていますか(1つに○)。

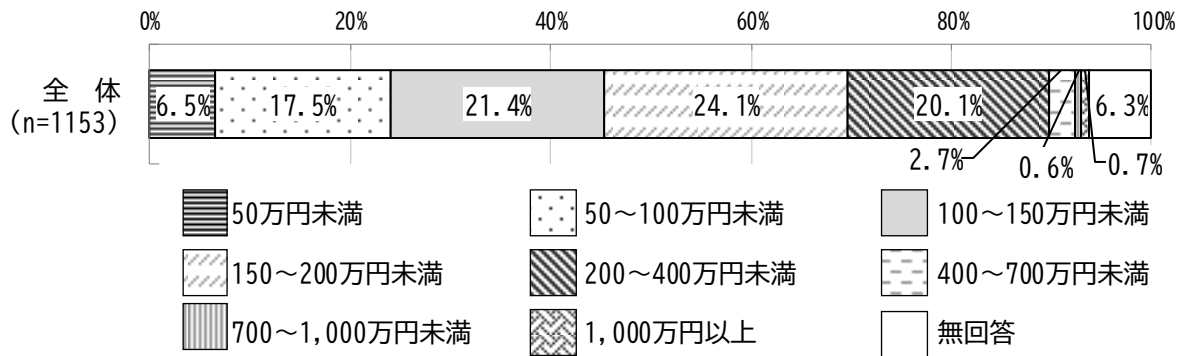
現在の要介護度は、「要介護認定を受けていない」が79.2%と最も高く、「要支援1」が6.5%、「要支援2」が4.9%、「要介護2」が3.4%、「要介護1」「要介護3」が1.1%、「要介護4」が0.8%、「要介護5」が0.2%となっている。



(2) あなたの生活状況について

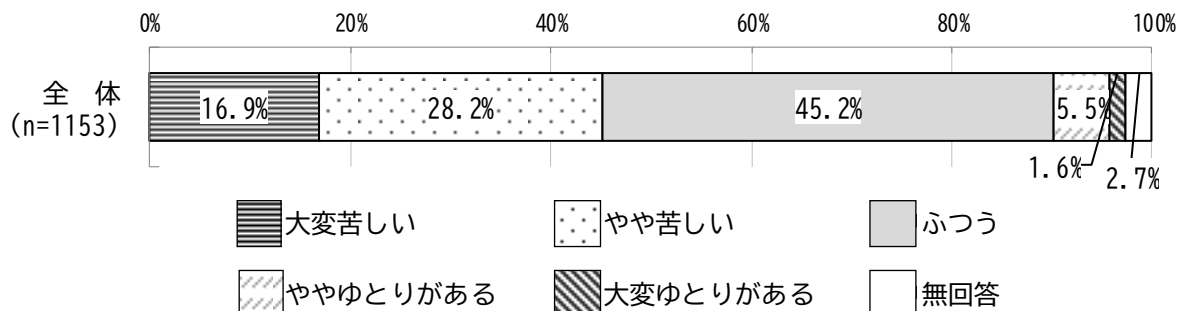
問2 (1) あなたの現在の年間収入はどのくらいですか (1つに○)。

現在の年収について、「150～200万円未満」が24.1%と最も高く、「100～150万円未満」が21.4%、「200～400万円未満」が20.1%、「50～100万円未満」が17.5%、「50万円未満」が6.5%、「400～700万円未満」が2.7%、「1,000万円以上」が0.7%、「700～1,000万円未満」が0.6%となっている。



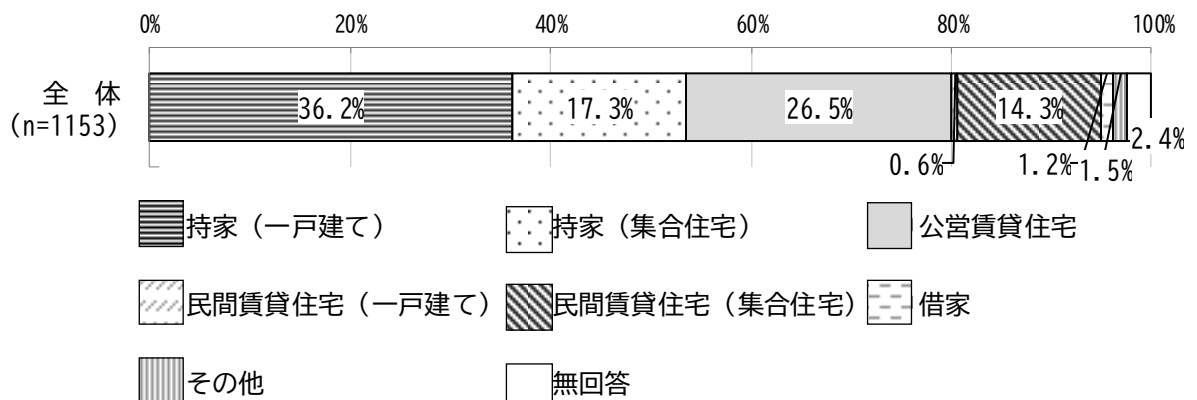
問2 (2) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (1つに○)。

現在の暮らしの経済的な状況について、「ふつう」が45.2%と最も高く、「やや苦しい」が28.2%、「大変苦しい」が16.9%、「ややゆとりがある」が5.5%、「大変ゆとりがある」が1.6%となっている。



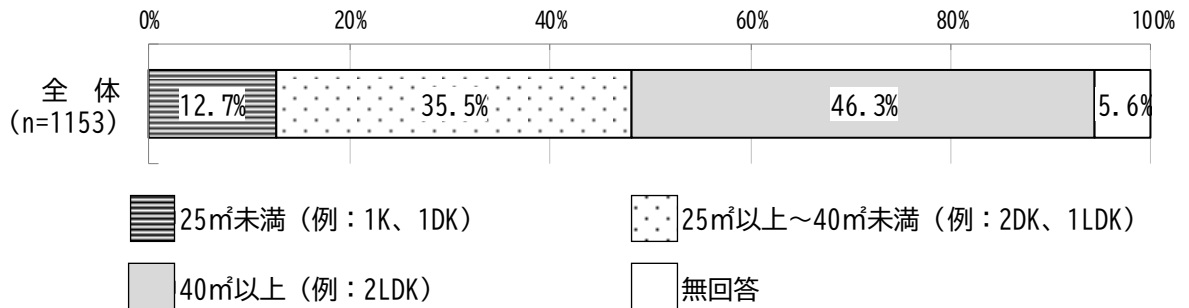
問2 (3) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか (1つに○)。

住まいの種類について、「持家 (一戸建て)」が36.2%と最も高く、「公営賃貸住宅」が26.5%、「持家 (集合住宅)」が17.3%、「民間賃貸住宅 (集合住宅)」が14.3%、「借家」が1.2%、「民間賃貸住宅 (一戸建て)」が0.6%となっている。



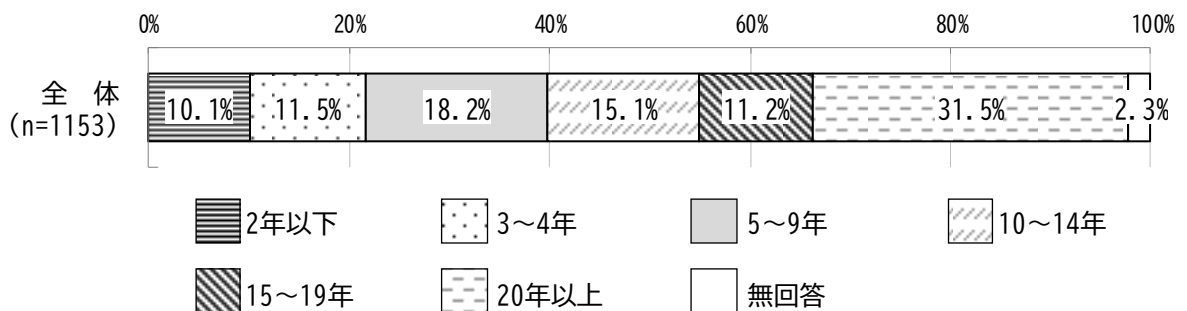
問2 (4) あなたのお住まいの広さはおよそどのくらいですか (1つに○)。

住まいの広さについて、「40㎡以上 (例: 2LDK)」が46.3%と最も高く、「25㎡以上～40㎡未満 (例: 2DK、1LDK)」が35.5%、「25㎡未満 (例: 1K、1DK)」が12.7%となっている。



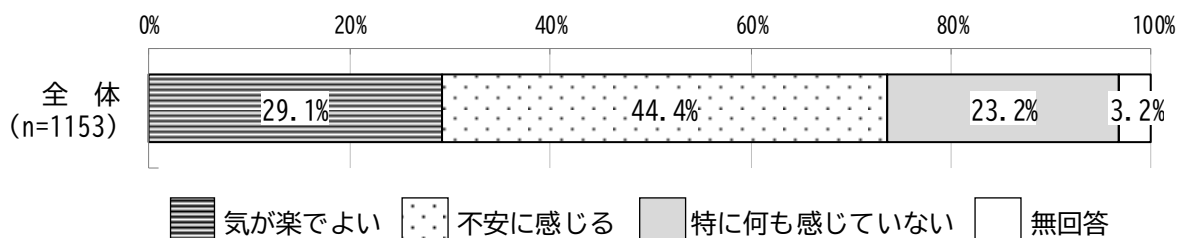
問2 (5) おひとりで暮らされている期間はおよそどのくらいですか (1つに○)。

ひとりで住んでいる期間について、「20年以上」が31.5%と最も高く、「5～9年」が18.2%、「10～14年」が15.1%、「15～19年」が11.2%、「3～4年」が11.5%、「2年以下」が10.1%となっている。



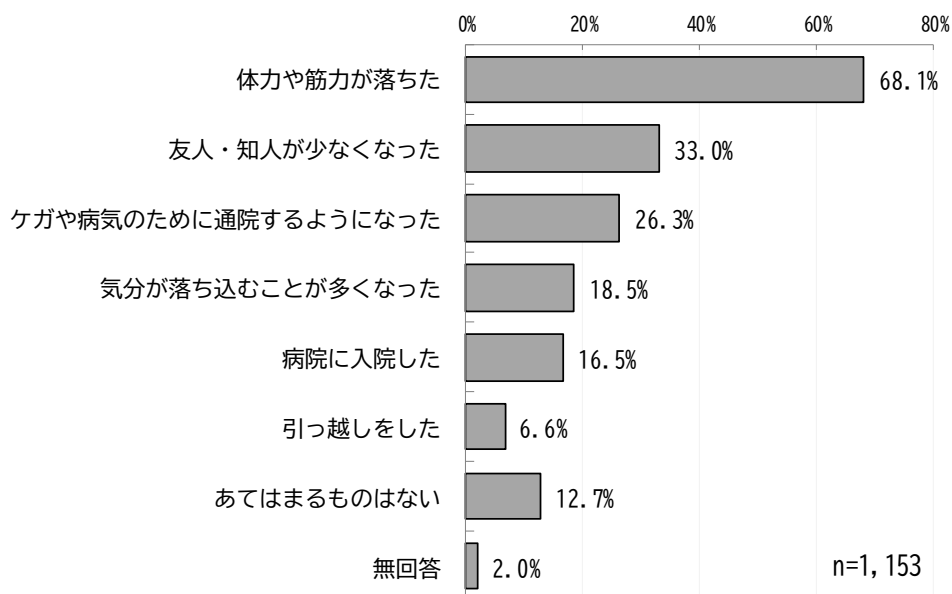
問2 (6) おひとりで暮らされていることについて、どのように感じですか (1つに○)。

ひとりで暮らしていることについて、「不安を感じる」が44.4%と最も高く、「気が楽でよい」が29.1%、「特に何も感じていない」が23.2%となっている。



問2（7） 3年前の2022年と比べて、あなたの生活状況におきた変化としてあてはまるものをお答えください（いくつでも○）。

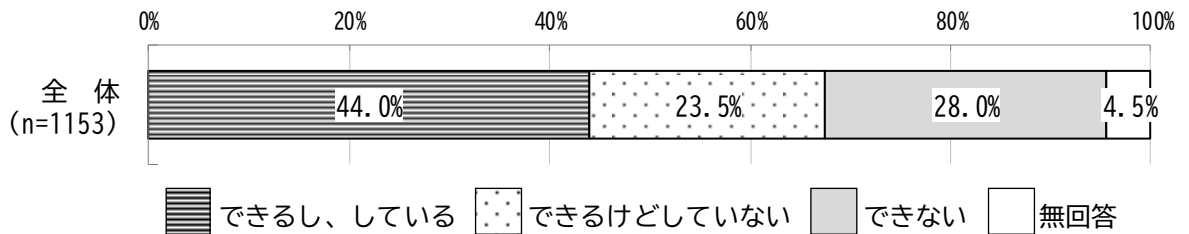
3年前と比べた生活状況におきた変化について、「体力や筋力が落ちた」が68.1%と最も高く、「友人・知人が少なくなった」が33.0%、「ケガや病気のために通院するようになった」が26.3%、「気分が落ち込むことが多くなった」が18.5%、「病院に入院した」が16.5%、「引っ越しをした」が6.6%、「あてはまるものはない」が12.7%となっている。



(3) からだを動かすことについて

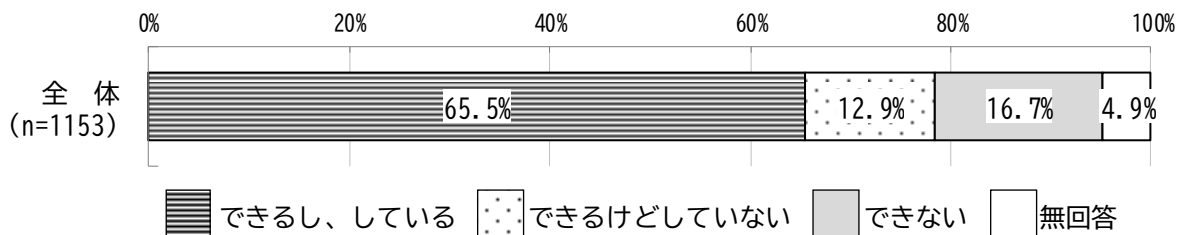
問3 (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (1つに○)。

階段を手すりや壁をつたわずに昇ることについて、「できるし、している」が44.0%と最も高く、「できない」が28.0%、「できるけどしていない」が23.5%となっている。



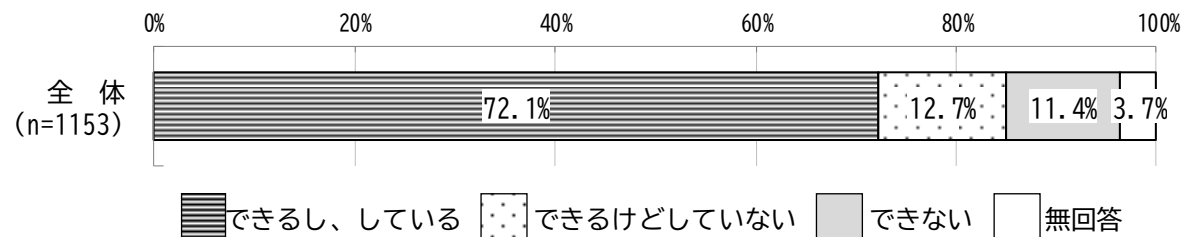
問3 (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (1つに○)。

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がるることについて、「できるし、している」が65.5%と最も高く、「できない」が16.7%、「できるけどしていない」が12.9%となっている。



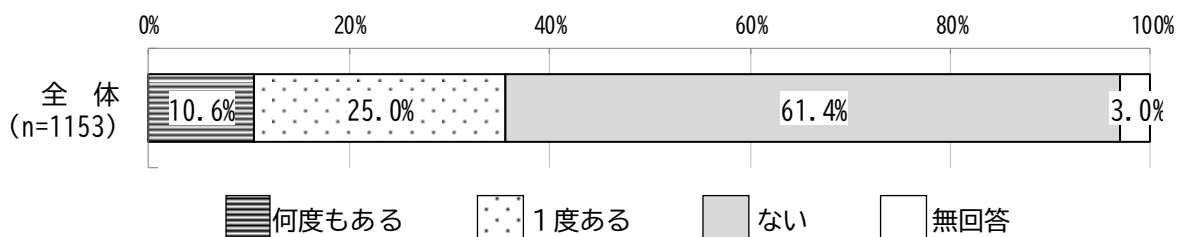
問3 (3) 15分位続けて歩いていますか (1つに○)。

15分位続けて歩くことについて、「できるし、している」が72.1%と最も高く、「できるけどしていない」が12.7%、「できない」が11.4%となっている。



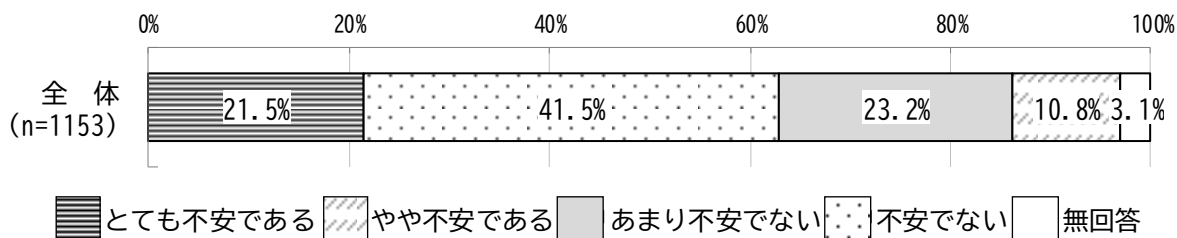
問3 (4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (1つに○)。

過去1年間に転んだ経験について、「ない」が61.4%と最も高く、「1度ある」が25.0%、「何度もある」が10.6%となっている。



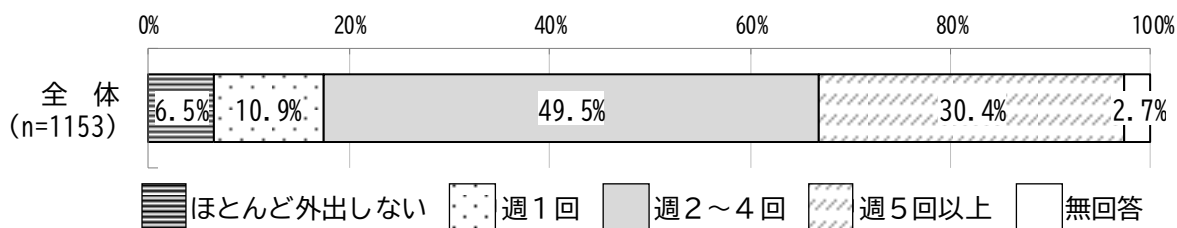
問3（5） 転倒に対する不安は大きいですか（1つに○）。

転倒に対する不安について、「やや不安である」が41.5%と最も高く、「あまり不安ではない」が23.2%、「とても不安である」が21.5%、「不安でない」が10.8%となっている。



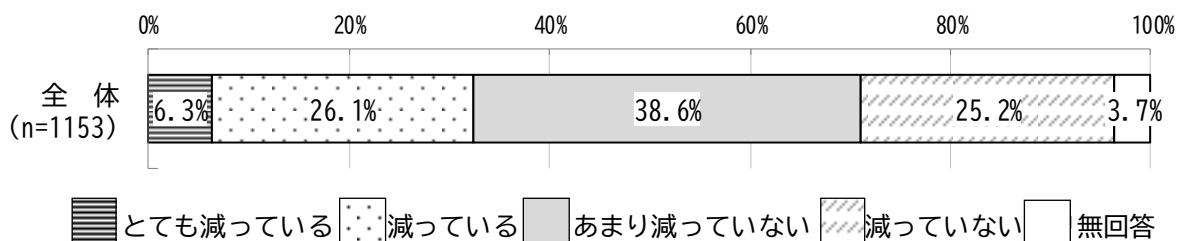
問3（6） 週に1回以上は外出していますか（1つに○）。

外出の頻度について、「週2～4回」が49.5%と最も高く、「週5回以上」が30.4%、「週1回」が10.9%、「ほとんど外出しない」が6.5%となっている。



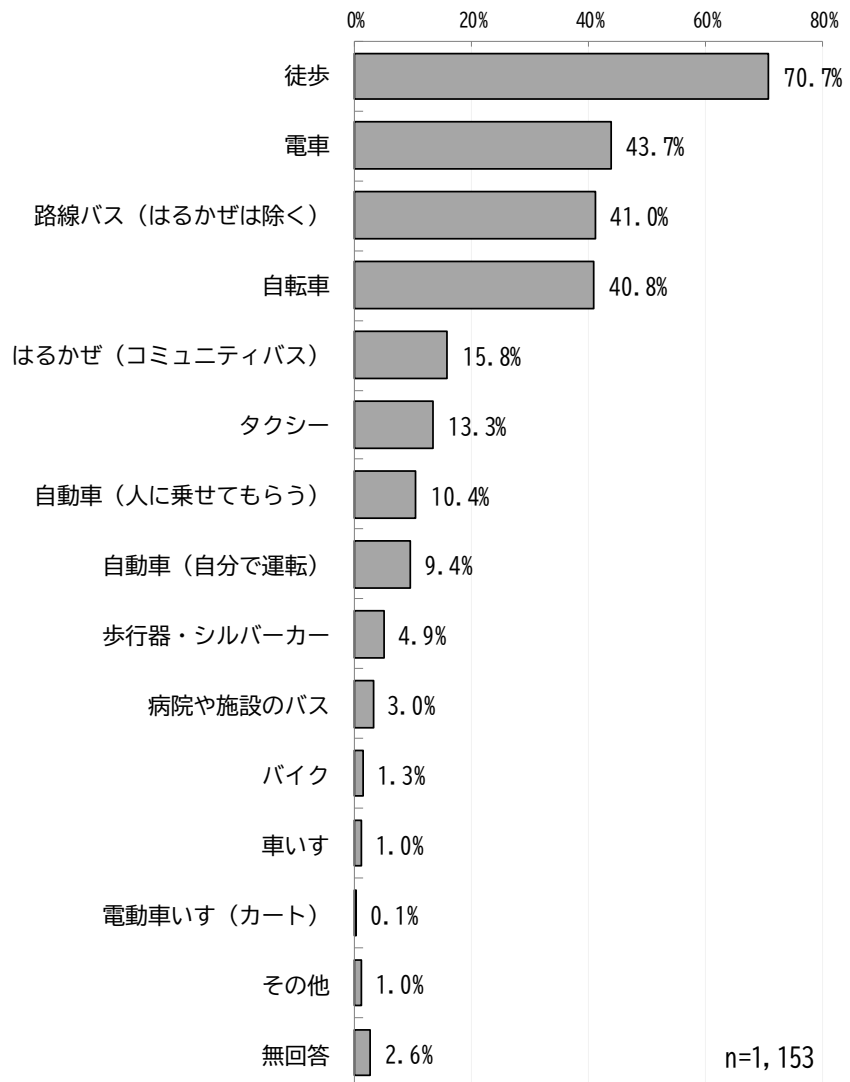
問3（7） 昨年と比べて外出の回数が減っていますか（1つに○）。

昨年と比べて外出の回数について、「あまり減っていない」が38.6%と最も高く、「減っている」が26.1%、「減っていない」が25.2%、「とても減っている」が6.3%となっている。



問3（8） 外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも○）。

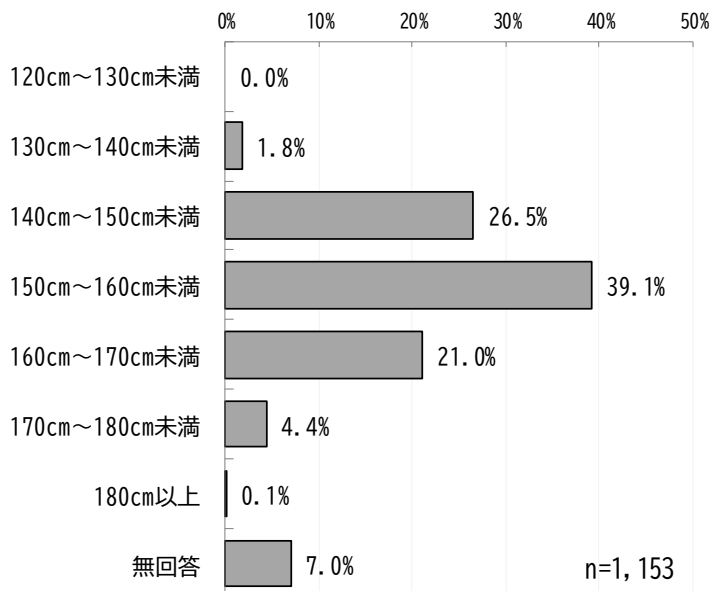
外出する際の移動手段として、「徒歩」が70.7%と最も高く、「電車」が43.7%、「路線バス（はるかぜは除く）」が41.0%、「自転車」が40.8%、「はるかぜ（コミュニティバス）」が15.8%、「タクシー」が13.3%、「自動車（人に乗せてもらう）」が10.4%、「自動車（自分で運転）」が9.4%、「歩行器・シルバーカー」が4.9%、「病院や施設のバス」が3.0%、「バイク」が1.3%、「車いす」が1.0%、「電動車いす（カート）」が0.1%となっている。



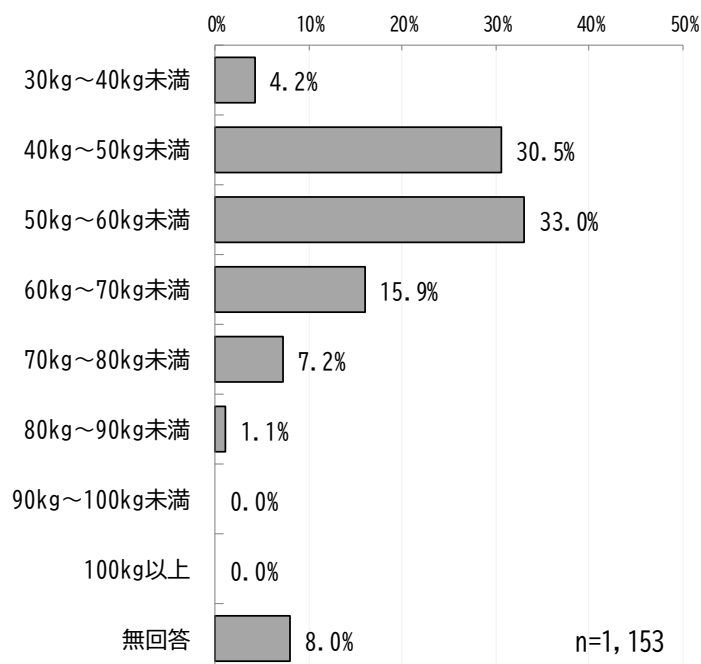
(4) 食べることについて

問4 (1) 身長・体重を教えてください(数字を記入)。

現在の身長について、「150cm～160cm 未満」が39.1%と最も高く、「140cm～150cm 未満」が26.5%、「160cm～170cm 未満」が21.0%、「170cm～180cm 未満」が4.4%、「130cm～140cm 未満」が1.8%、「180cm 以上」が0.1%、「120～130cm 未満」が0.0%となっている。

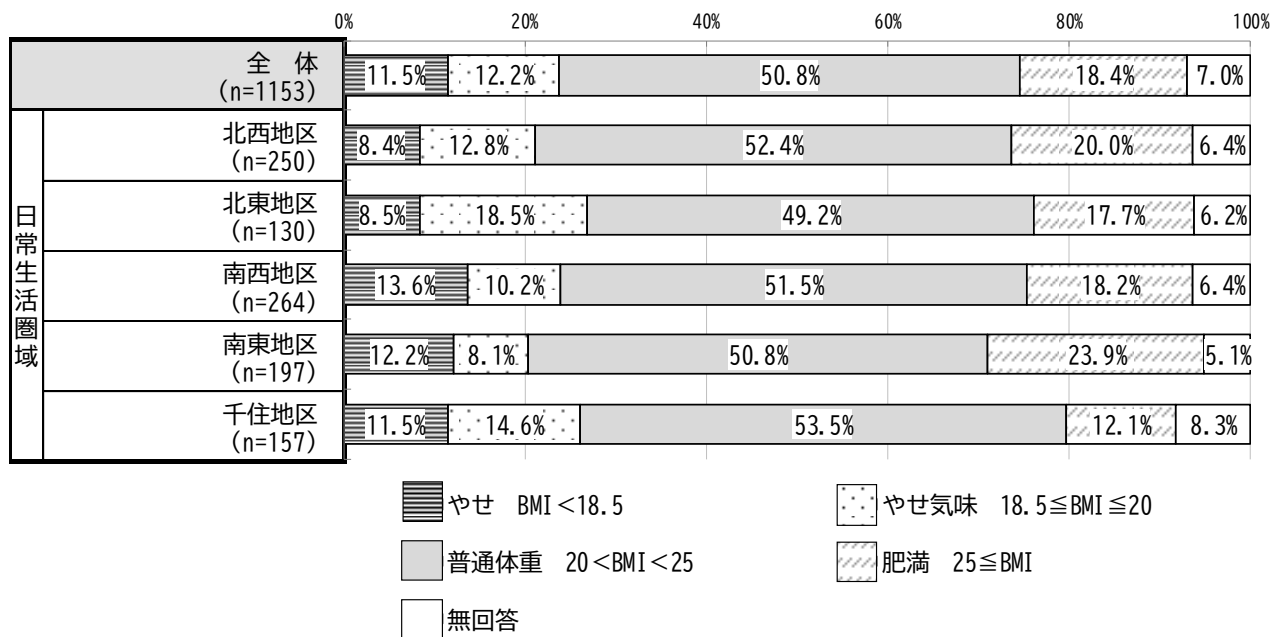


現在の体重について、「50kg～60kg 未満」が33.0%と最も高く、「40kg～50kg 未満」が30.5%、「60kg～70kg 未満」が15.9%、「70kg～80kg 未満」が7.2%、「30kg～40kg 未満」が4.2%、「80kg～90kg 未満」が1.1%、「90kg～100kg 未満」「100kg 以上」が0.0%となっている。



BMIについて、足立区全体では、「普通体重」が50.8%と最も高く、「肥満」が18.4%、「やせ気味」が12.2%、「やせ」が11.5%となっている。

日常生活圏域別にみると、「やせ」「やせ気味」の合計では、南東地区が低くなっている。



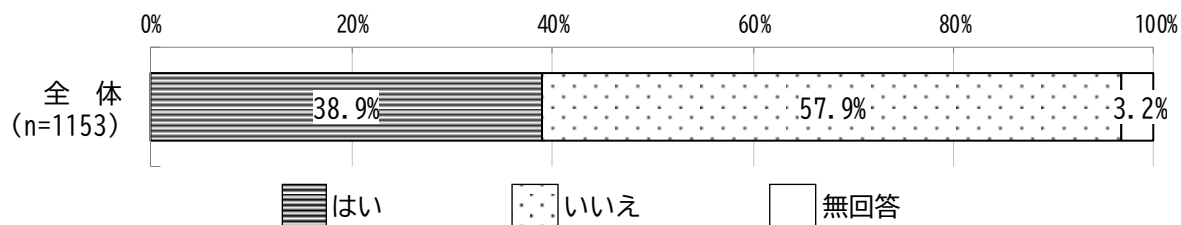
BMI (Body Mass Index) とは体格を表す指標。肥満や低体重(やせ)の判定に用い、 $[\text{体重 (kg)}] \div [\text{身長 (m)}^2]$ で求める。

本設問では身長と体重の回答からBMIを求め、その値を国(厚生労働省)の基準を元に判定を区分している。

判定基準はBMI <18.5 を「やせ」、18.5 ≤ BMI ≤ 20 を「やせ気味」、20 < BMI < 25 を「普通体重」、25 ≤ BMI を「肥満」とする。

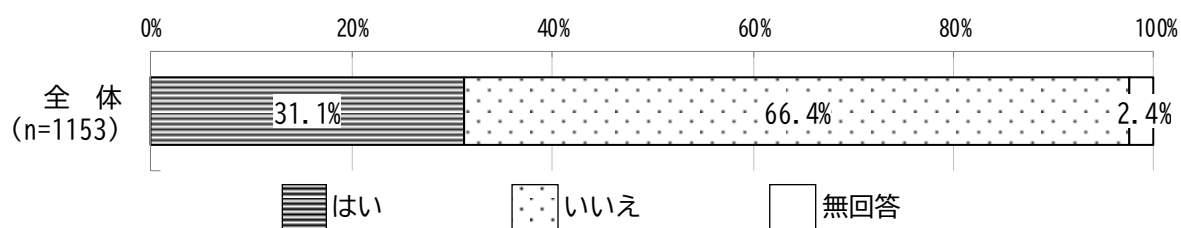
問4（2） 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか（1つに○）。

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについて、「はい」が38.9%、「いいえ」が57.9%となっている。



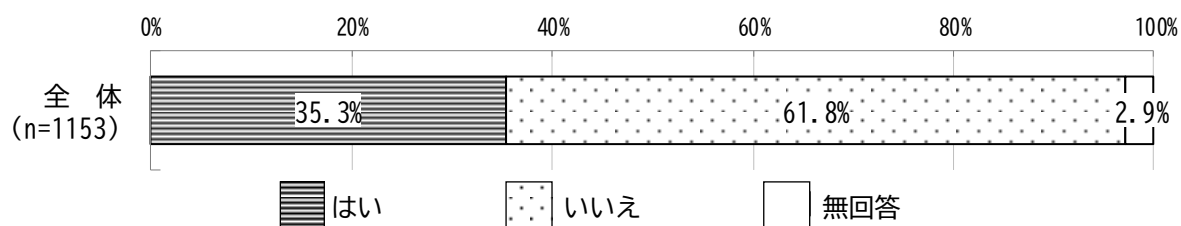
問4（3） お茶や汁物等でむせることがありますか（1つに○）。

お茶や汁物等でむせることがあるかについて、「はい」が31.1%、「いいえ」が66.4%となっている。



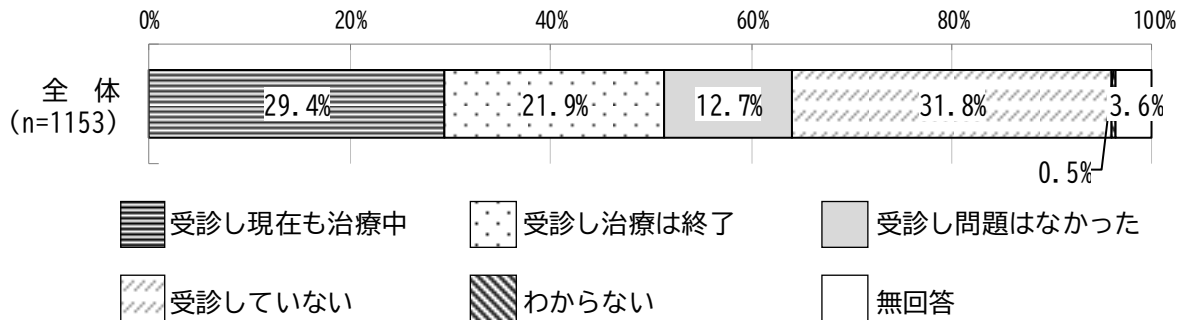
問4（4） 口の渇きが気になりますか（1つに○）。

口の渇きが気になるかについて、「はい」が35.3%、「いいえ」が61.8%となっている。



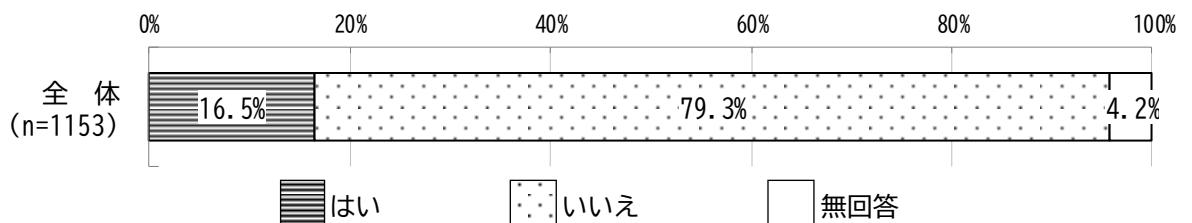
問4（5） あなたは1年前から今日の間で歯科医師による歯科健診（検診）や治療を受けましたか（1つに○）。

歯科医師による歯科健診（検診）や治療について、「受診していない」が31.8%と最も高く、「受診し現在も治療中」が29.4%、「受診し治療は終了」が21.9%、「受診し問題はなかった」が12.7%、「わからない」が0.5%となっている。



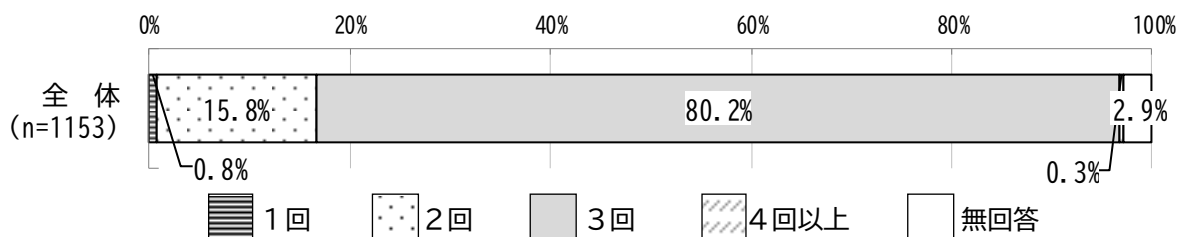
問4（6） 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか（1つに○）。

6か月間で2～3kg以上の体重減少があるかについて、「はい」が16.5%、「いいえ」が79.3%となっている。



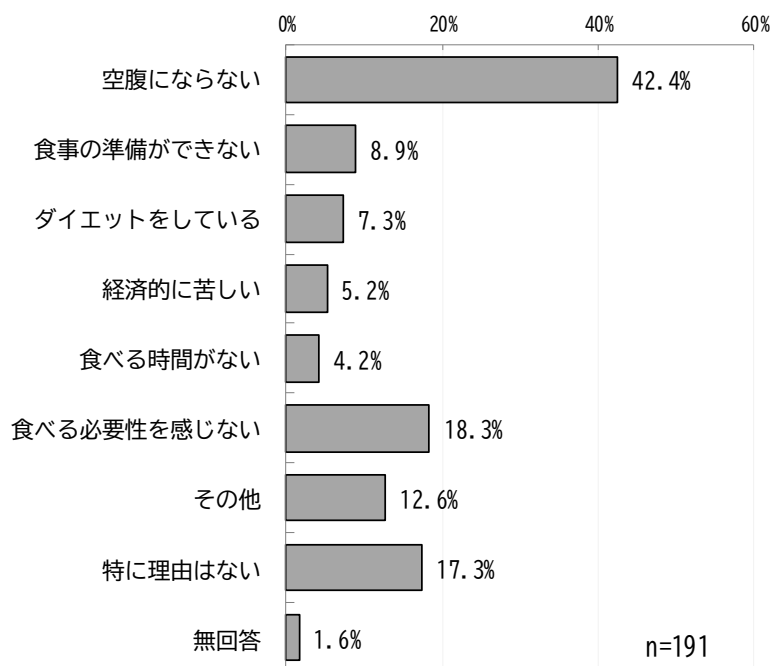
問4（7） 食事は1日何回食べますか（1つに○）。

1日の食事の回数について、足立区全体では、「3回」が80.2%と最も高く、「2回」が15.8%、「1回」が0.8%、「4回以上」が0.3%となっている。



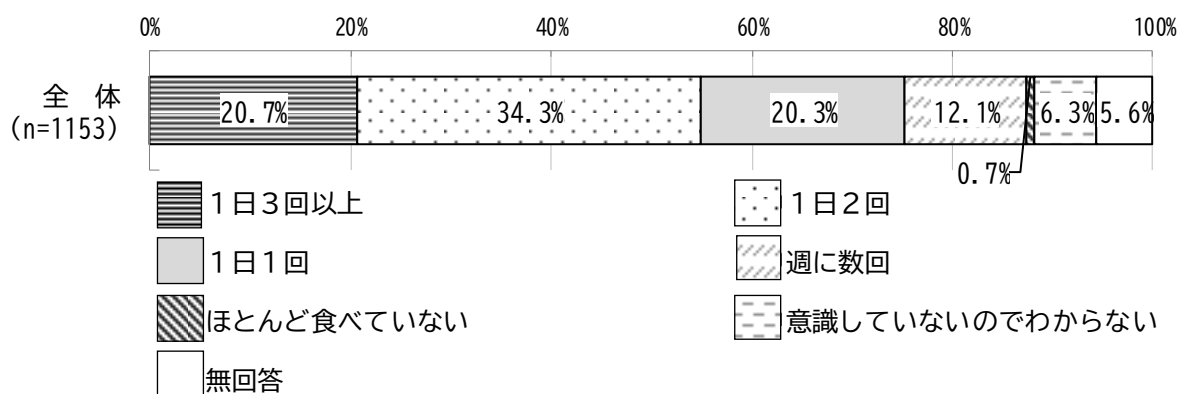
問4 (7) ① 食事を1日3回食べない理由は何ですか（いくつでも○）。

1日の食事の回数が「1回」または「2回」と回答した方の、食事を1日3回とらない理由について、「空腹にならない」が42.4%と最も高く、「食べる必要性を感じない」が18.3%、「食事の準備ができない」が8.9%、「ダイエットをしている」が7.3%、「経済的に苦しい」が5.2%、「食べる時間がない」が4.2%となっている。また「特に理由はない」が17.3%となっている。



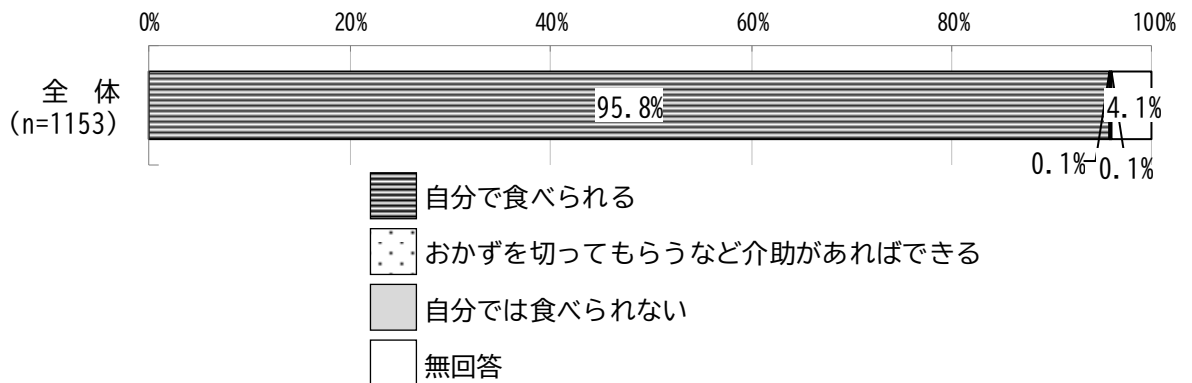
問4 (8) たんぱく質を多く含む食品（肉・魚・卵・大豆製品の1種類以上）をどのくらいの頻度で食べていますか（1つに○）。

たんぱく質を多く含む食品を食べる頻度について、「1日3回以上」が20.7%となっている。



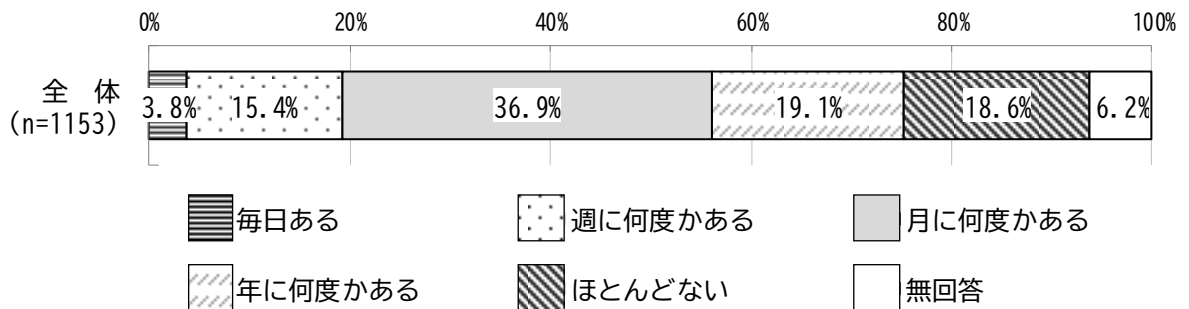
問4 (9) あなたは、自分で食事を食べられますか (1つに○)。

自分の食事について、「自分で食べられる」が95.8%、「おかずを切ってもらなど介助があればできる」が4.1%、「自分では食べられない」が0.1%となっている。



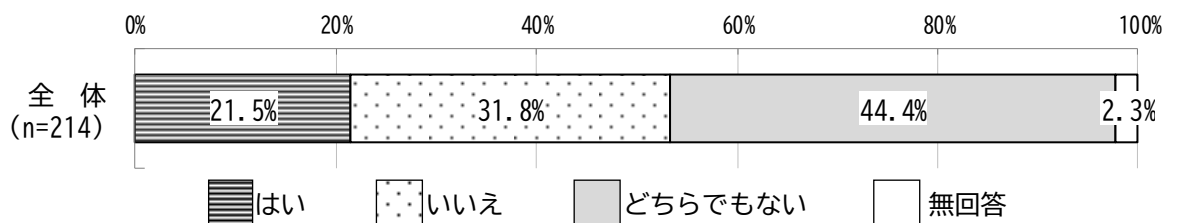
問4 (10) どなたかと食事をとる機会がありますか (1つに○)。

食事をとる機会について、「月に何度かある」が36.9%と最も高く、「年に何度かある」が19.1%、「ほとんどない」が18.6%、「毎日ある」が3.8%となっている。



問4 (10)① どなたかと食事をとる機会があれば参加したいですか (1つに○)。

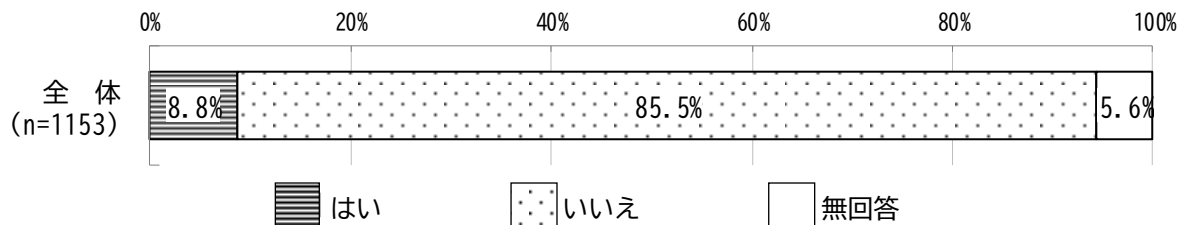
どなたかと食事をとる機会があった場合の参加意向について、「はい」が21.5%、「いいえ」が31.8%、「どちらでもない」が44.4%であった。



(5) 毎日の生活について

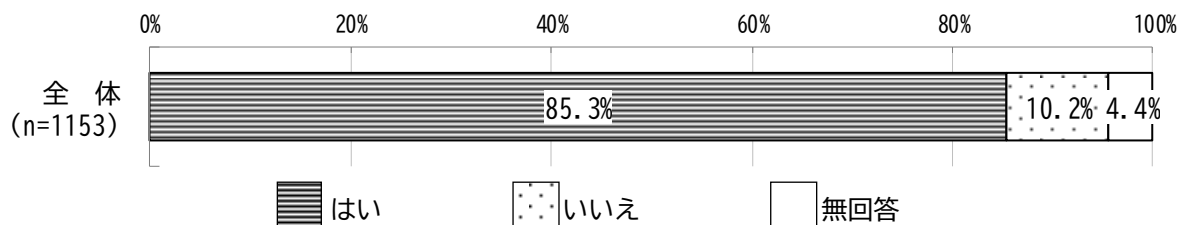
問5(1) 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われますか(1つに○)。

物忘れが多いと感じるかについて、「はい」が8.8%、「いいえ」が85.5%となっている。



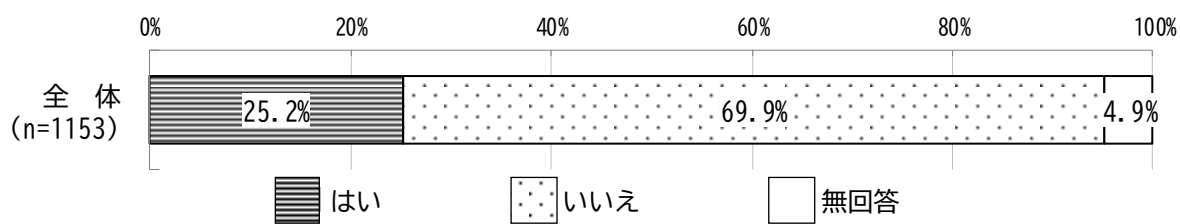
問5(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか(1つに○)。

自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかについて、「はい」が85.3%、「いいえ」が10.2%となっている。



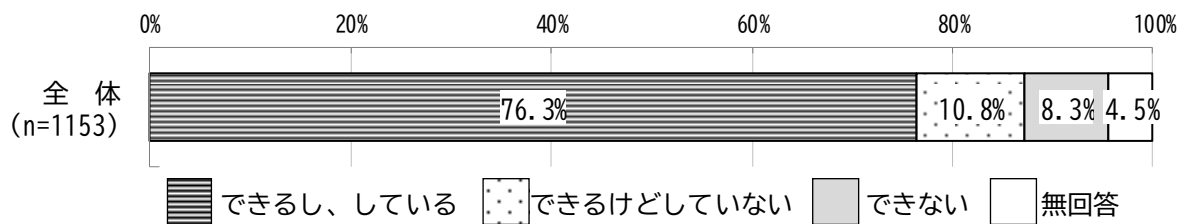
問5(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか(1つに○)。

今日が何月何日かわからない時があるかについて、「はい」が25.2%、「いいえ」が69.9%となっている。



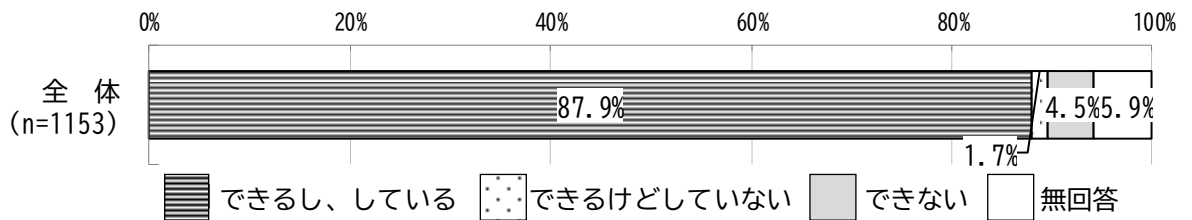
問5(4) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)(1つに○)。

バスや電車を使って1人で外出しているかについて、「できるし、している」が76.3%、「できるけどしていない」が10.8%、「できない」が8.3%となっている。



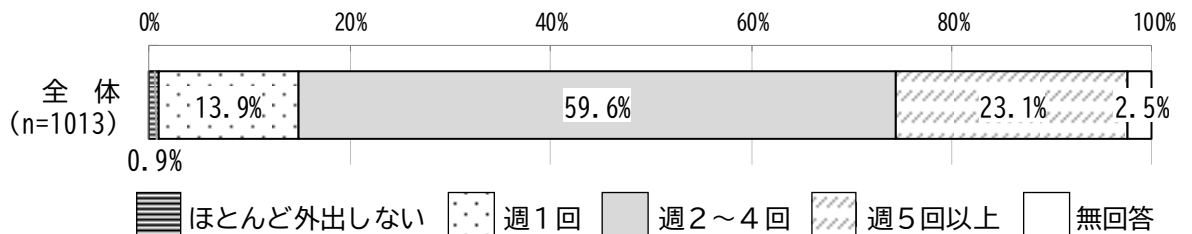
問5 (5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか(1つに○)。

自分で食品・日用品の買物をしているかについて、「できるし、している」が87.9%、「できるけれどしていない」が1.7%、「できない」が4.5%となっている。



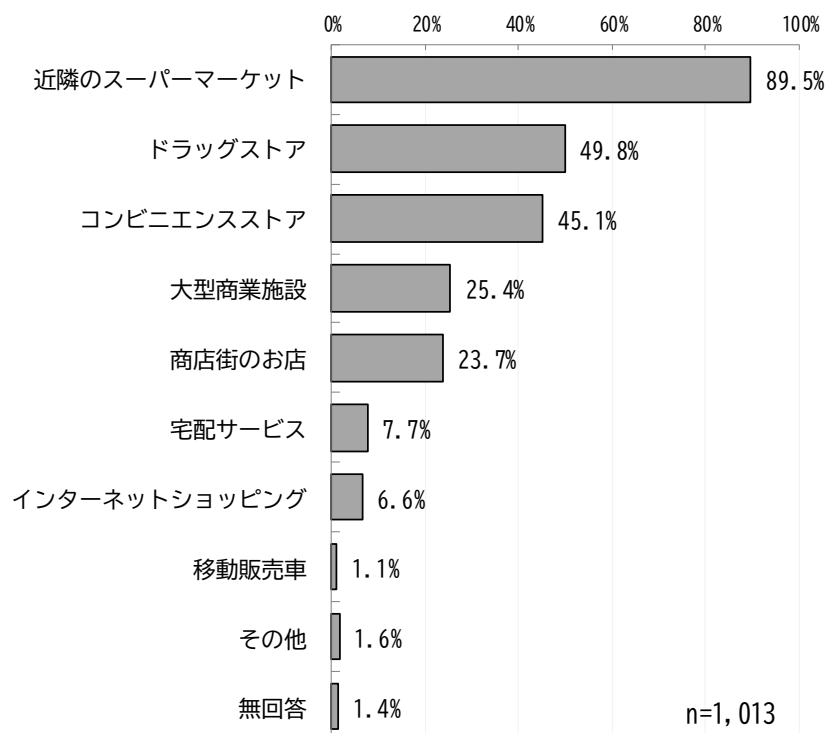
問5 (5) ① 食品・日用品の買物に出かける頻度はどのくらいですか(1つに○)。

買物に出かける頻度について、「週2～4回」が59.6%と最も高く、「週5回以上」が23.1%、「週1回」が13.9%、「ほとんど外出しない」が0.9%となっている。



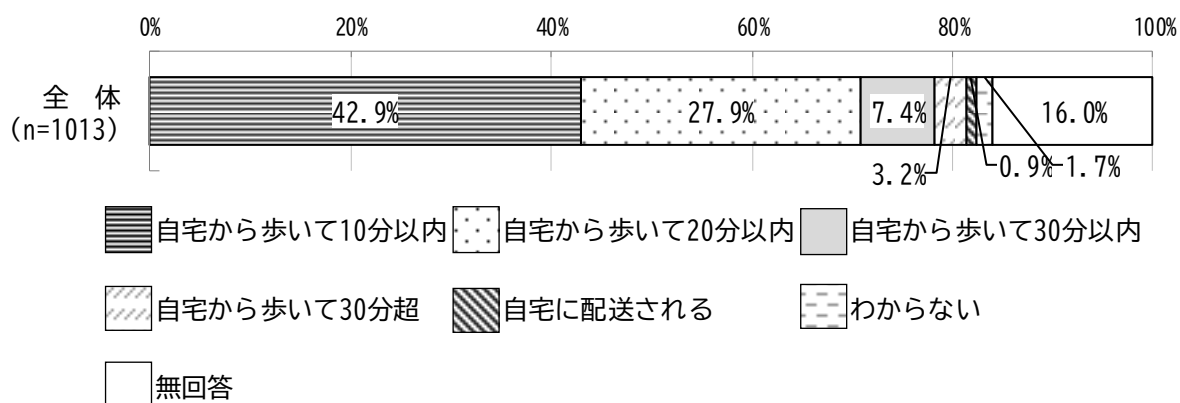
問5 (5) ② どのようなお店で食品・日用品の買物をしていますか(いくつでも○)。

日常用品の買物先について、「近隣のスーパーマーケット」が89.5%と最も高く、「ドラッグストア」が49.8%、「コンビニエンスストア」が45.1%、「大型商業施設」が25.4%、「商店街のお店」が23.7%、「宅配サービス」が7.7%、「インターネットショッピング」が6.6%、「移動販売車」が1.1%となっている。



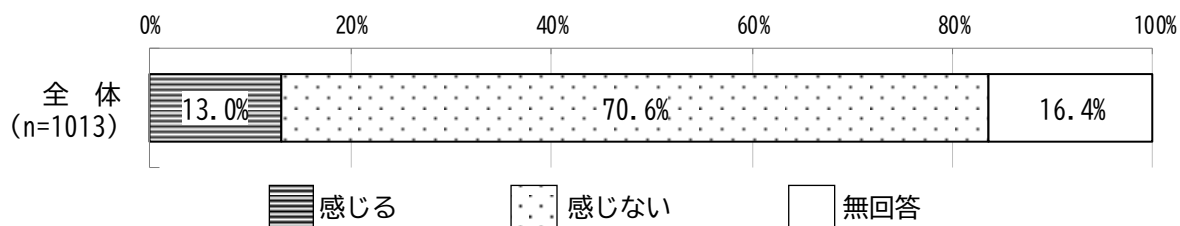
問5（5）③ 食品・日用品の買物をするお店まで自宅からどれくらいかかりますか（1つに○）。

日常用品を買物する場所までの所要時間について、「自宅から歩いて10分以内」が42.9%と最も高く、「自宅から歩いて20分以内」が27.9%、「自宅から歩いて30分以内」が7.4%、「自宅から歩いて30分超」が3.2%、「自宅に配送される」が0.9%、「わからない」が1.7%となっている。



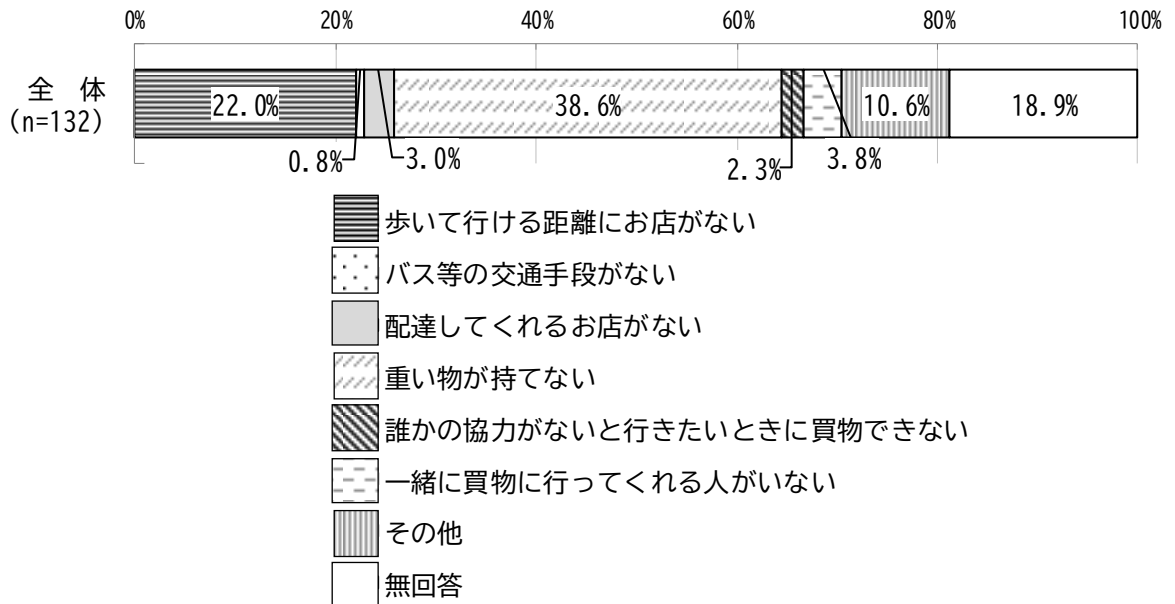
問5（5）④ 食品・日用品の買物について、不便を感じていますか（1つに○）。

日常用品の買物について、不便を「感じる」が13.0%、「感じない」が70.6%となっている。



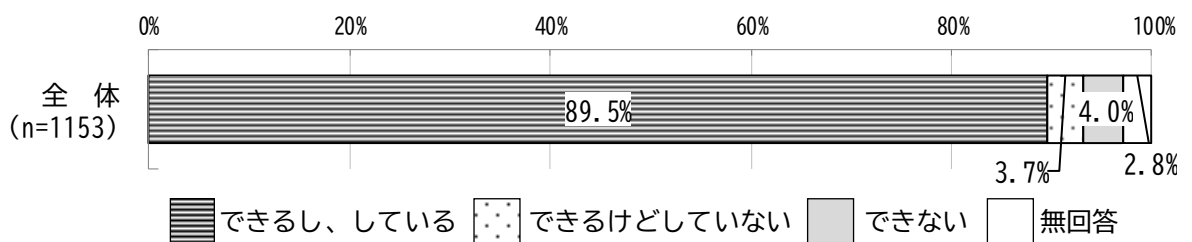
問5 (5) ⑤ 特に、どのようなことに不便を感じていますか(1つに○)。

日常用品の買物において、不便を「感じる」と回答した方の不便を感じる点として、「重い物が持てない」が38.6%と最も高く、「歩いて行ける距離に日常用品のお店がない」が22.0%、「一緒に買物に行ってくれる人がいない」が3.8%、「配達してくれるお店がない」が3.0%、「誰かの協力がないと行きたいときに買物できない」が2.3%、「バス等の交通手段がない」が0.8%となっている。



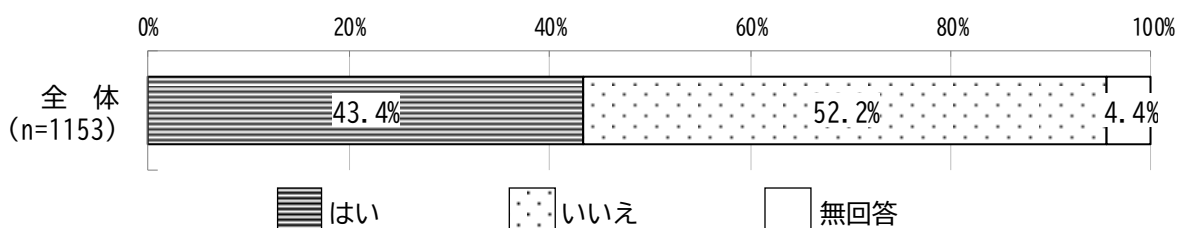
問5 (6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか(1つに○)。

自分で預貯金の出し入れをしているかについて、「できるし、している」が89.5%、「できるけれどしていない」が3.7%、「できない」が4.0%となっている。



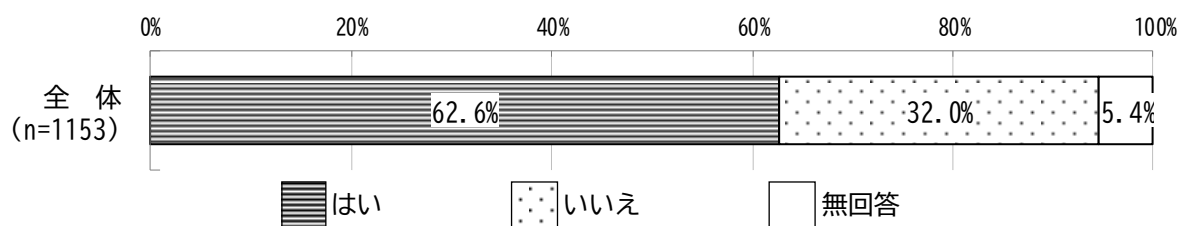
問5 (7) 友人の家を訪ねていますか(1つに○)。

友人の家を訪ねているかについて、「はい」が43.4%、「いいえ」が52.2%となっている。



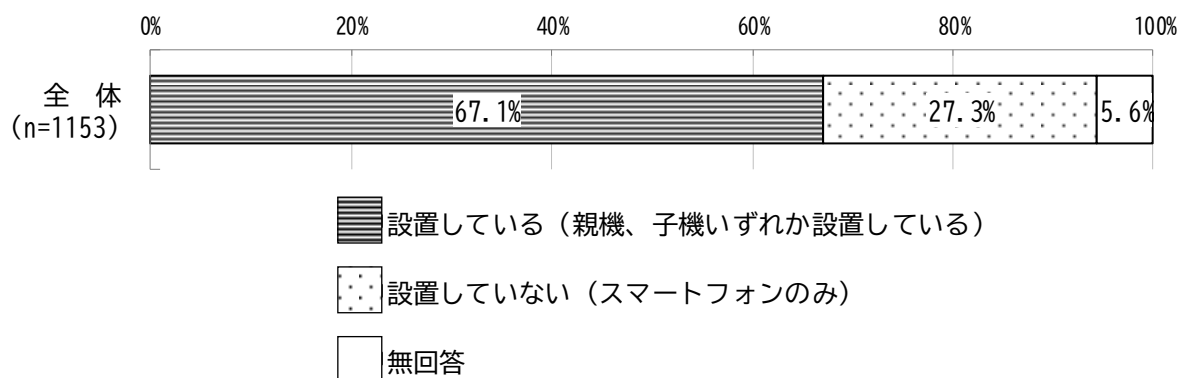
問5（8） 家族や友人の相談にのっていますか（1つに○）。

家族や友人の相談にのっているかについて、「はい」が62.6%、「いいえ」が32.0%となっている。



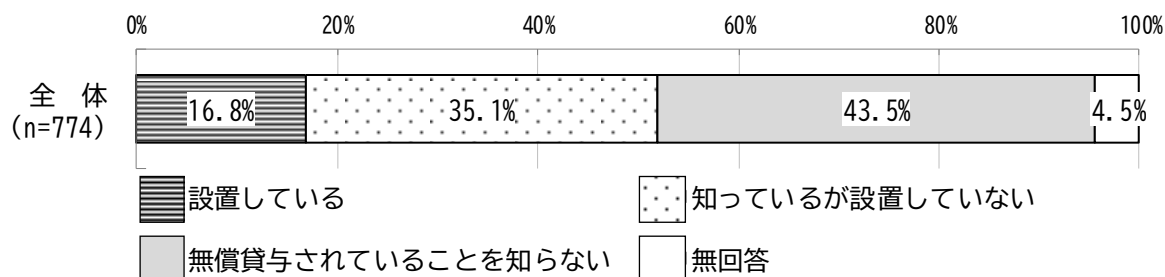
問5（9） 自宅に固定電話を設置していますか（1つに○）。

自宅に固定電話を設置しているかについて、「設置している（親機、子機、いずれか設置している）」が67.1%、「設置していない（スマートフォンのみ）」が27.3%となっている。



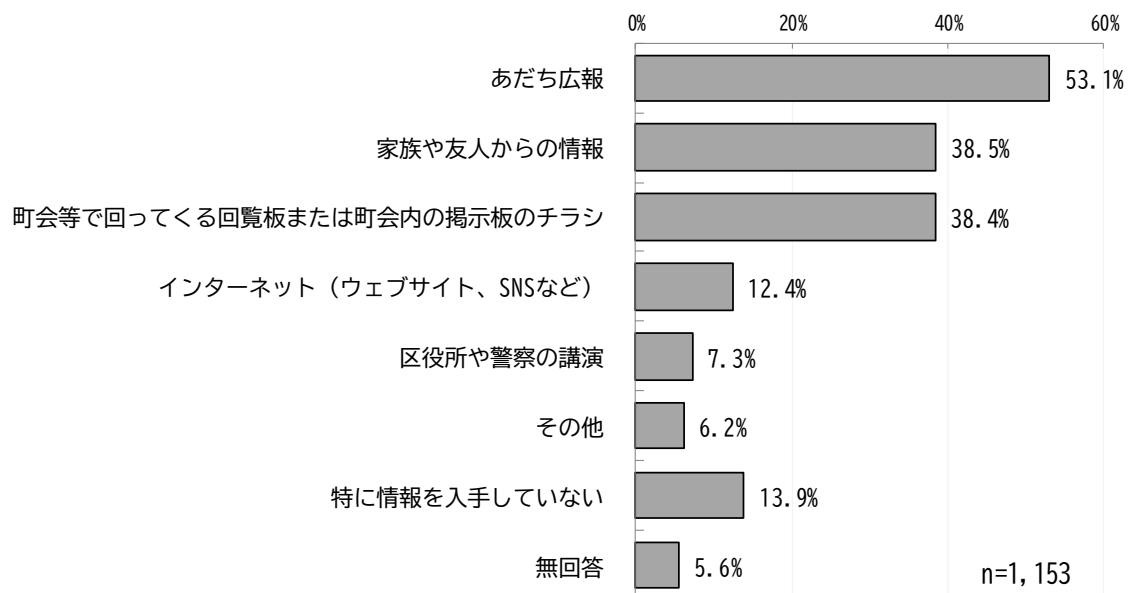
問5（9）① 足立区で無償貸与している「自動通話録音機」を設置していますか（1つに○）。

足立区で無償貸与している「自動通話録音機」を設置しているかについて、「無償貸与されていることを知らない」が43.5%と最も高く、「知っているが設置していない」が35.1%、「設置している」が16.8%となっている。



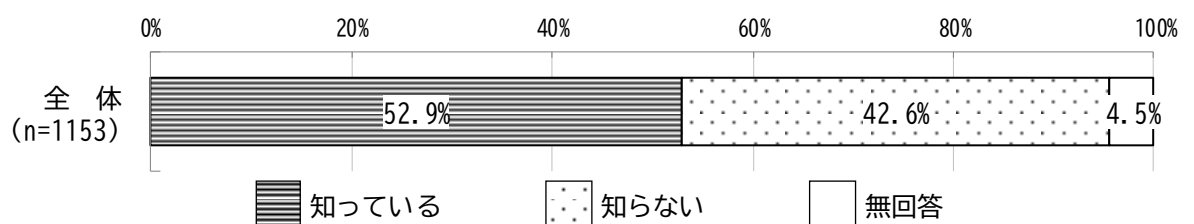
問5（10） 特殊詐欺対策に関する情報は、テレビのニュースや新聞以外にどのような方法で入手していますか（1つに○）。

特殊詐欺対策に関する情報の入手について、「あだち広報」が53.1%と最も高く、「家族や友人からの情報」が38.5%、「町会等で回ってくる回覧板または町会内掲示板のチラシ」が38.4%、「インターネット（ウェブサイト、SNSなど）」が12.4%、「区役所や警察の講演」が7.3%となっている。また、「特に情報を入手していない」が13.9%となっている。



問5（11） 消費者被害にあったときの相談先として、「足立区消費者センター」がありますが、ご存知ですか（1つに○）。

消費者被害の相談先としての「足立区消費者センター」の存在について、「知っている」が52.9%、「知らない」が42.6%となっている。



問5（12） ここ2週間の生活について教えてください（それぞれ1つに○）。

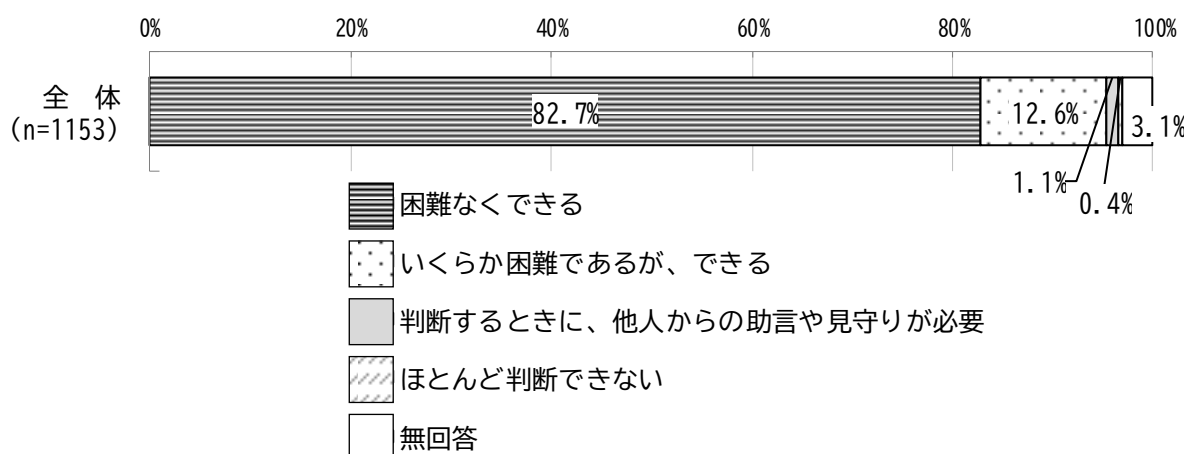
ここ2週間の生活について、毎日の生活に充実感がないでは、「いいえ」が63.3%、これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなったでは、「いいえ」が63.4%、以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられるでは、「はい」が52.4%、自分が役に立つ人間だとは思えないでは、「いいえ」が59.4%、わけもなく疲れたような感じがするでは、「いいえ」が51.7%となっている。

(%)

	調査数	はい	いいえ	無回答
① 毎日の生活に充実感がない。	1153	23.5	63.3	13.2
② これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった。	1153	22.8	63.4	13.8
③ 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる。	1153	52.4	38.5	9.1
④ 自分が役に立つ人間だとは思えない。	1153	25.7	59.4	14.9
⑤ わけもなく疲れたような感じがする。	1153	36.0	51.7	12.3

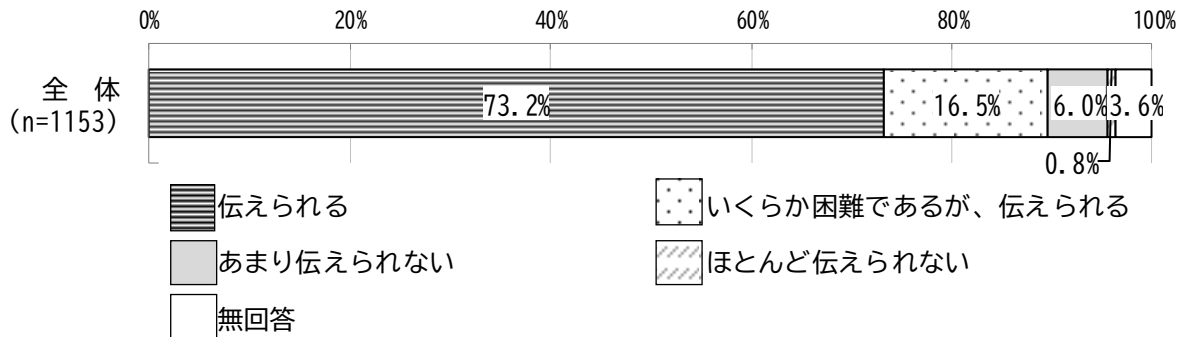
問5（13） あなたは、食事をする、衣服を選ぶなど、その日の活動を自分で判断できますか（1つに○）。

その日の活動の判断について、「困難なくできる」が82.7%、「いくらか困難であるが、できる」が12.6%、「判断するとき、他人からの助言や見守りが必要」が1.1%、「ほとんど判断できない」が0.4%となっている。



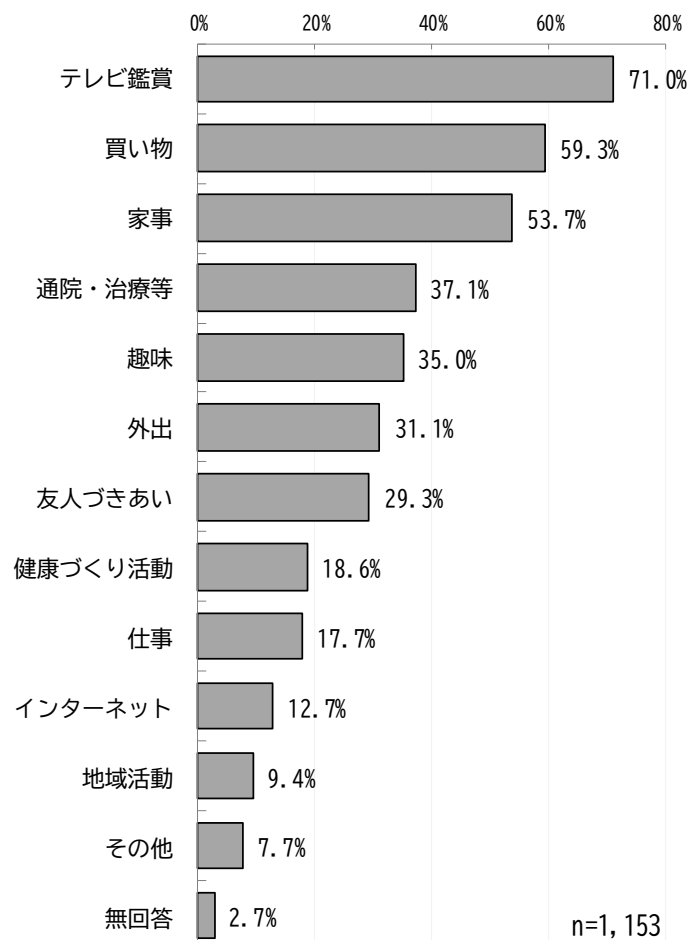
問5（14） あなたは、人に自分の考えをうまく伝えられますか（1つに○）。

自分の考えについて、「伝えられる」が73.2%、「いくらか困難であるが、伝えられる」が16.5%、「あまり伝えられない」が6.0%、「ほとんど伝えられない」が0.8%となっている。



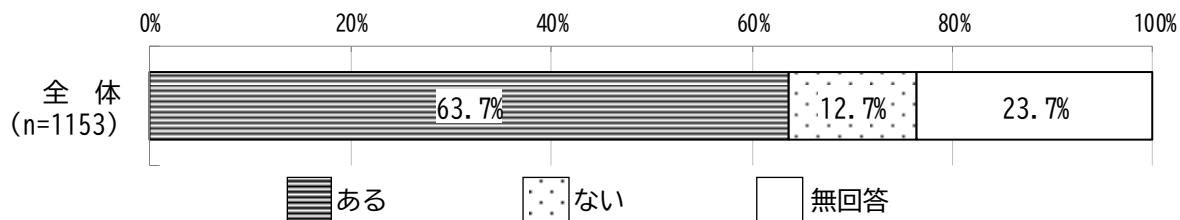
問5（15） 日中はどのように過ごされていることが多いですか（いくつでも○）。

日常の主な過ごし方として、「テレビ鑑賞」が71.0%と最も高く、「買い物」が59.3%、「家事」が53.7%、「通院・治療等」が37.1%、「趣味」が35.0%、「外出」が31.1%、「友人づきあい」が29.3%、「健康づくり活動」が18.6%、「仕事」が17.7%、「インターネット」が12.7%、「地域活動」が9.4%となっている。



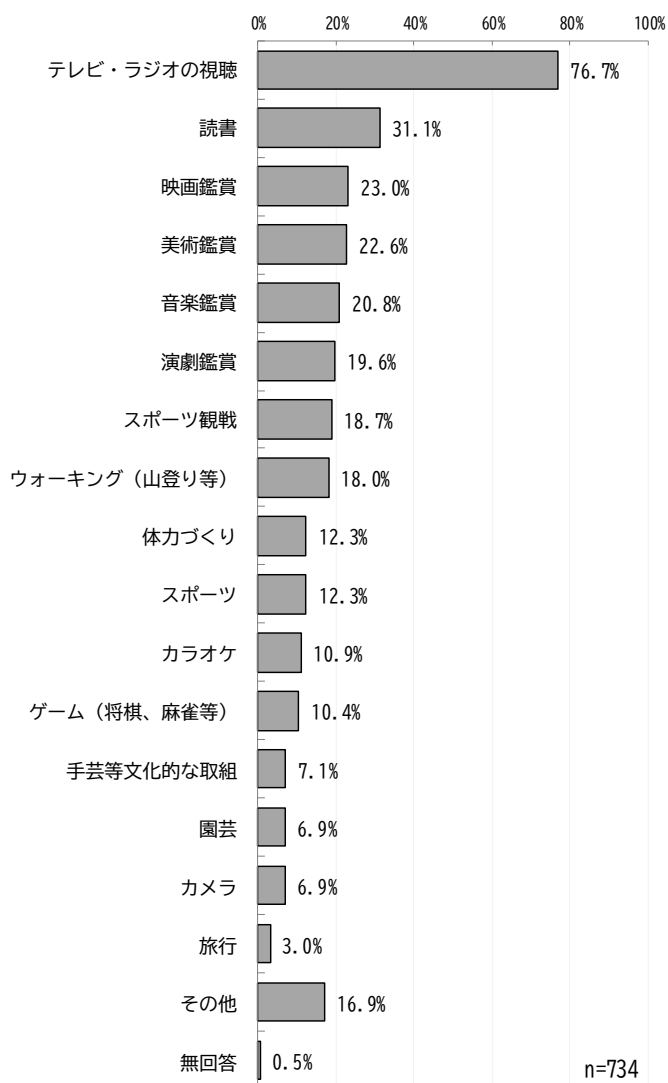
問5（16） あなたは今、何か生活の上で楽しみがありますか（1つに○）。

生活の上での楽しみについて、「ある」が63.7%、「ない」が12.7%となっている。



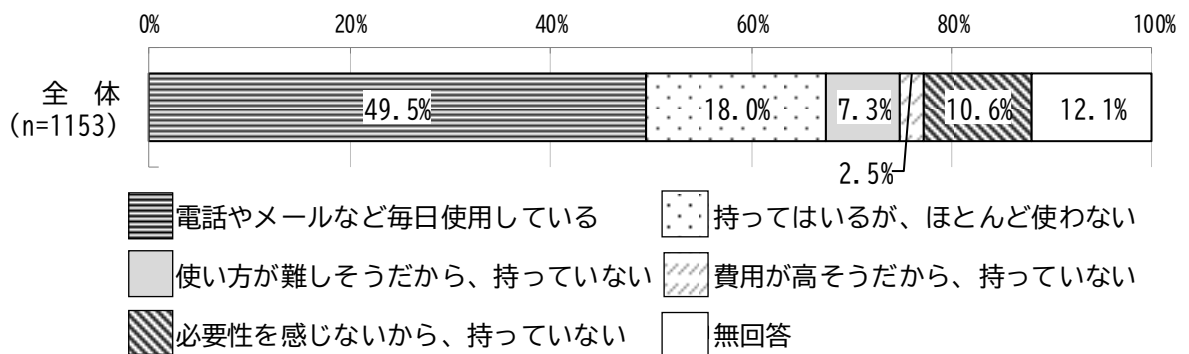
問5（16）① それはどのようなことですか（いくつでも○）。

生活の上での楽しみの内容について、「テレビ・ラジオの視聴」が76.7%と最も高く、「読書」が31.1%、「映画鑑賞」が23.0%、「美術鑑賞」が22.6%、「音楽鑑賞」が20.8%、「演劇鑑賞」が19.6%、「スポーツ観戦」が18.7%、「ウォーキング（山登り等）」が18.0%、「体力づくり」「スポーツ」が12.3%、「カラオケ」が10.9%、「ゲーム（将棋、麻雀等）」が10.4%、「手芸等文化的な取組」が7.1%、「園芸」「カメラ」が6.9%、「旅行」が3.0%となっている。



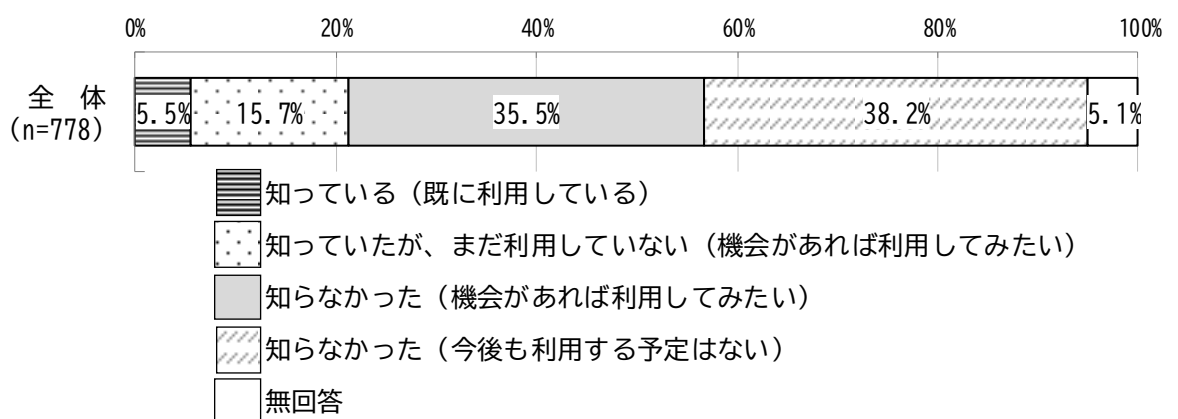
問5 (17) スマートフォンの利用状況について、教えてください(1つに○)。

スマートフォンの利用状況について、「電話やメールなど毎日使用している」が49.5%で最も高く、「持ってはいるが、ほとんど使わない」が18.0%、「必要性を感じないから、持っていない」が10.6%、「使い方が難しそうだから、持っていない」が7.3%、「費用が高そうだから、持っていない」が2.5%となっている。



問5 (17) ① 「あだち脳活ラボ」をご存じですか(1つに○)。

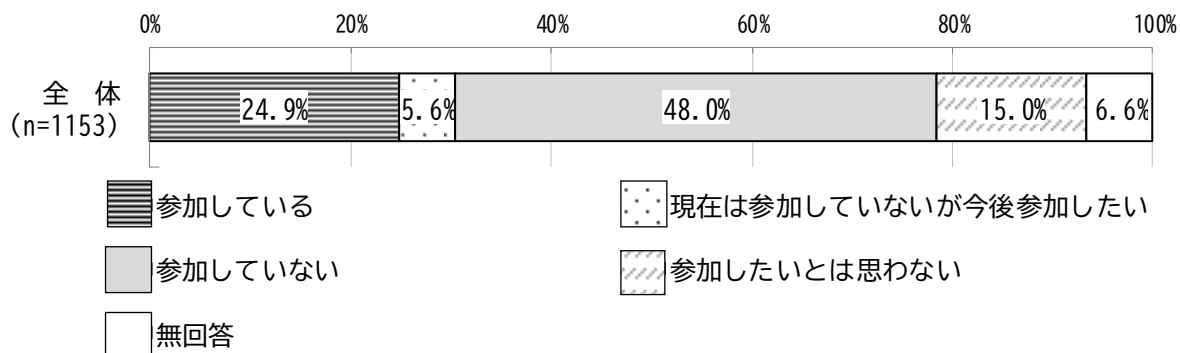
スマートフォンを「利用している」と回答した方の「あだち脳活ラボ」の認知状況について、「知らなかった(今後も利用する予定はない)」が38.2%で最も高く、「知らなかった(機会があれば利用してみたい)」が35.5%、「知っていたが、まだ利用していない(機会があれば利用してみたい)」が15.7%、「知っている(既に利用している)」が5.5%となっている。



(6) 地域での活動について

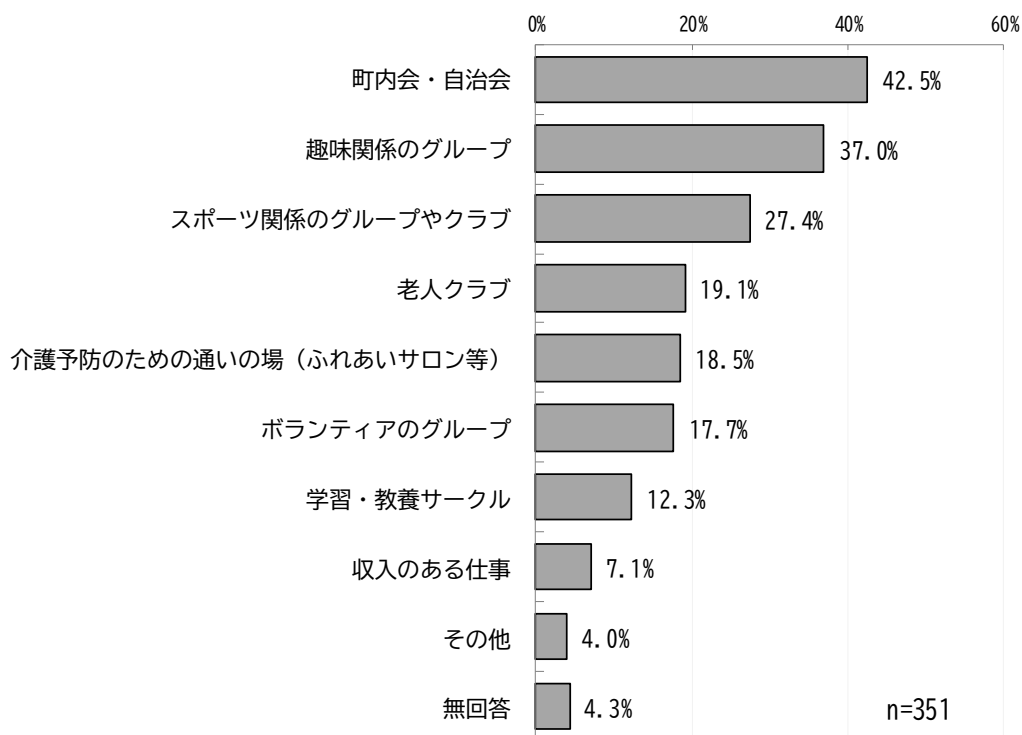
問6(1) あなたは現在、地域での活動に参加していますか(1つに○)。

地域活動について、「参加していない」が48.0%と最も高く、「参加している」が24.9%、「参加したいとは思わない」が15.0%、「現在は参加していないが今後参加したい」が5.6%となっている。



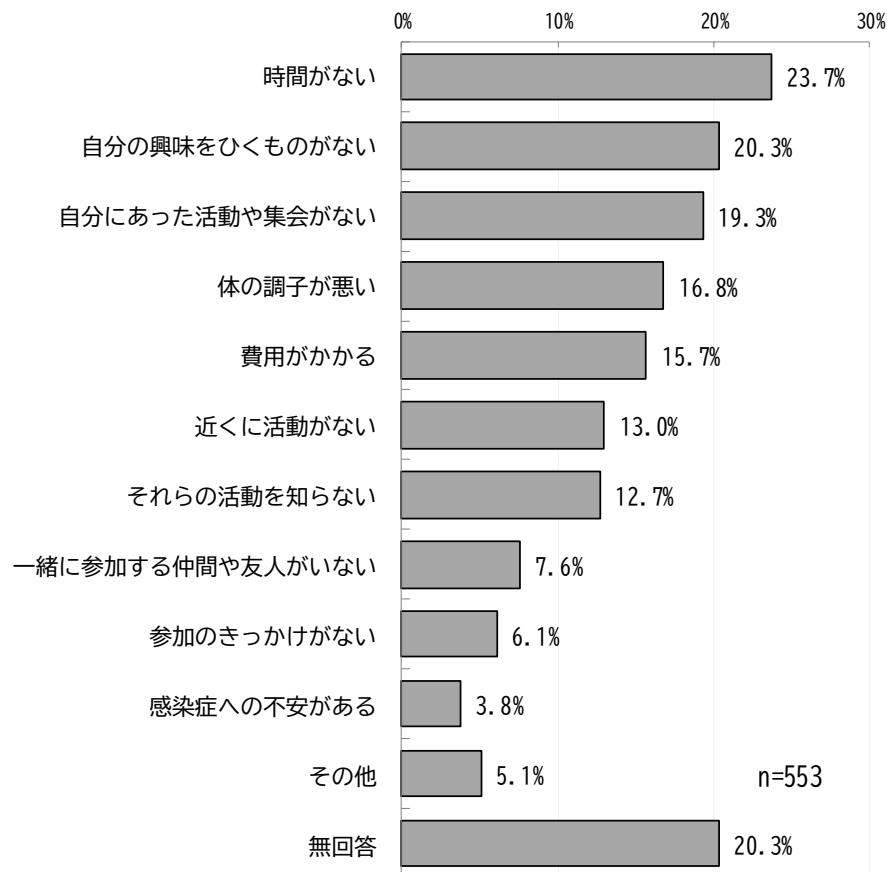
問6(1)① 以下のような会・グループ等の中で、あなたが現在参加されている、または今後参加したいと思うものを教えてください(いくつでも○)。

団体や集まりに「参加している」または「今後参加したい」と思う団体や集まりについて、「町内会・自治会」が42.5%と最も高く、「趣味関係のグループ」が37.0%、「スポーツ関係のグループやクラブ」が27.4%、「老人クラブ」が19.1%、「介護予防のための通いの場」が18.5%、「ボランティアのグループ」が17.7%、「学習・教養サークル」が12.3%、「収入のある仕事」が7.1%となっている。



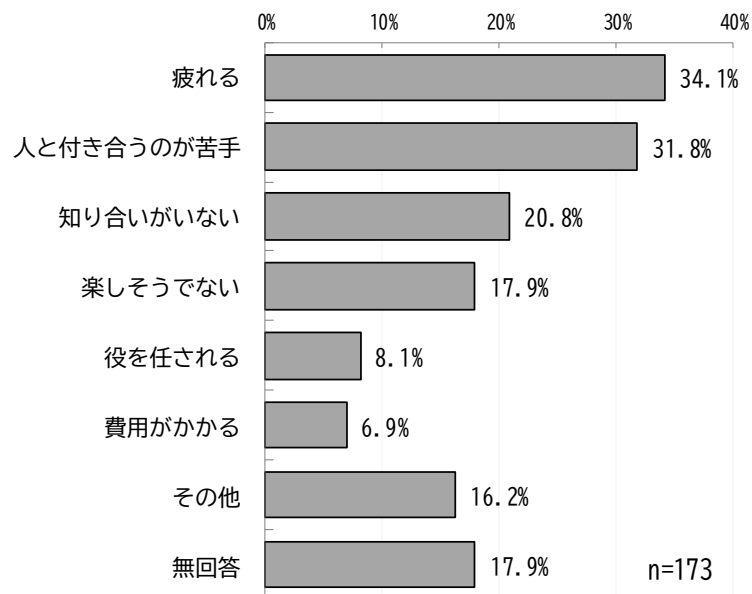
問6 (1) ② 参加していない理由は何ですか (いくつでも○)。

団体や集まりに「参加していない」と回答した理由として、「時間がない」が23.7%と最も高く、「自分の興味をひくものがない」が20.3%、「自分にあった活動や集会がない」が19.3%、「体の調子が悪い」が16.8%、「費用がかかる」が15.7%、「近くに活動がない」が13.0%、「それらの活動を知らない」が12.7%、「一緒に参加する仲間や友人がいない」が7.6%、「参加のきっかけがない」が6.1%、「感染症への不安がある」が3.8%となっている。



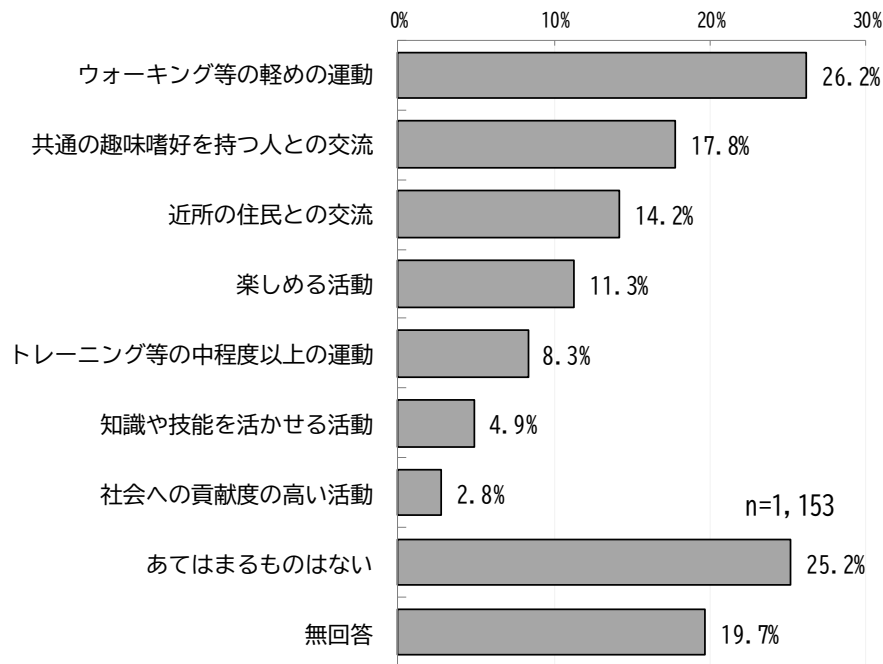
問6（1）③ 参加したいと思わない理由は何ですか（いくつでも○）。

団体や集まりに「参加したいとは思わない」と回答した理由として、「疲れる」が34.1%と最も高く、「人と付き合うのが苦手」が31.8%、「知り合いがいない」が20.8%、「楽しそうでない」が17.9%、「役を任される」が8.1%、「費用がかかる」が6.9%となっている。



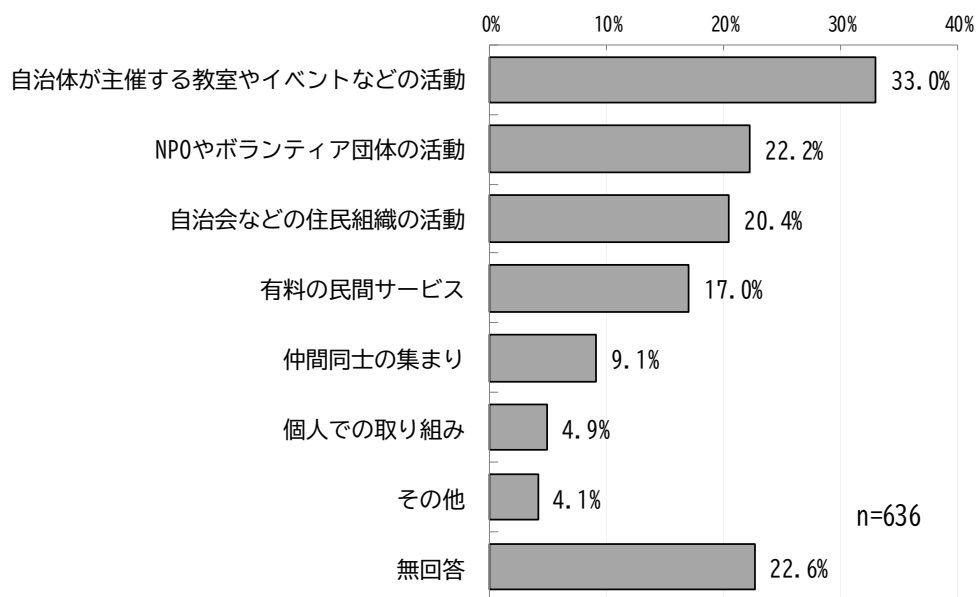
問6（2） あなたが月に1回以上行っている取り組みや活動はありますか（いくつでも○）。

月に1回以上行っている取り組みや活動について、「ウォーキング等の軽めの運動」が26.2%と最も高く、「あてはまるものはない」が25.2%、「共通の趣味嗜好を持つ人との交流」が17.8%、「近所の住民との交流」が14.2%、「楽しめる活動」が11.3%、「トレーニング等の中程度以上の運動」が8.3%、「知識や技能を活かせる活動」が4.9%、「社会への貢献度の高い活動」が2.8%となっている。



問6（2）① 活動にあてはまる場をお答えください（いくつでも○）。

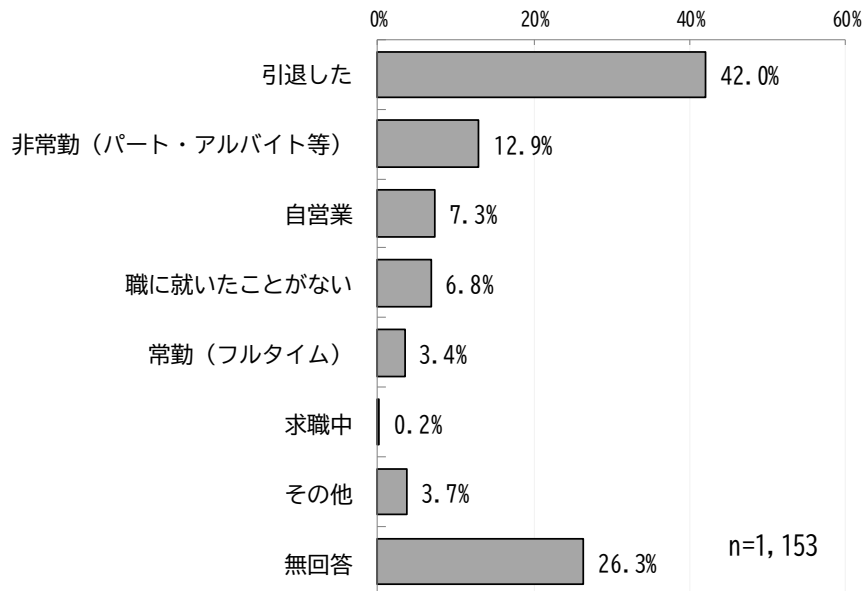
月に1回以上行っている取り組みや活動の場について、「自治体が主催する教室やイベントなどの活動」が33.0%と最も高く、「NPOやボランティア団体の活動」が22.2%、「自治会などの住民組織の活動」が20.4%、「有料の民間サービス」が17.0%、「仲間同士の集まり」が9.1%、「個人での取り組み」が4.9%となっている。



(7) 就労について

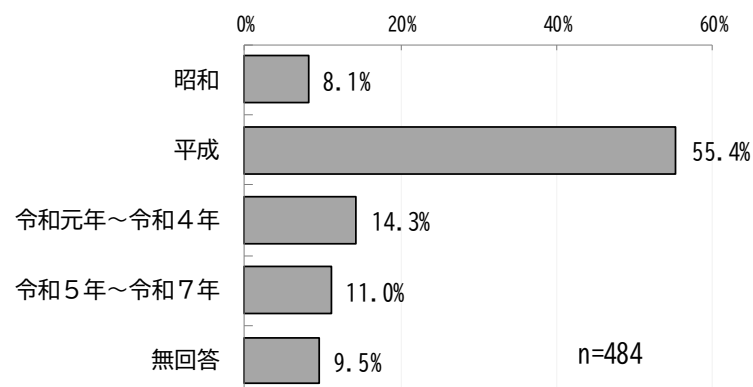
問7(1) 現在のあなたの就労状態はどれですか(いくつでも○)。

就労状態について、「引退した」が42.0%と最も高く、「非常勤(パート・アルバイト等)」が12.9%、「自営業」が7.3%、「職に就いたことがない」が6.8%、「常勤(フルタイム)」が3.4%、「求職中」が0.2%となっている。



問7(1)① あなたはいつ引退しましたか(数字を記入)。

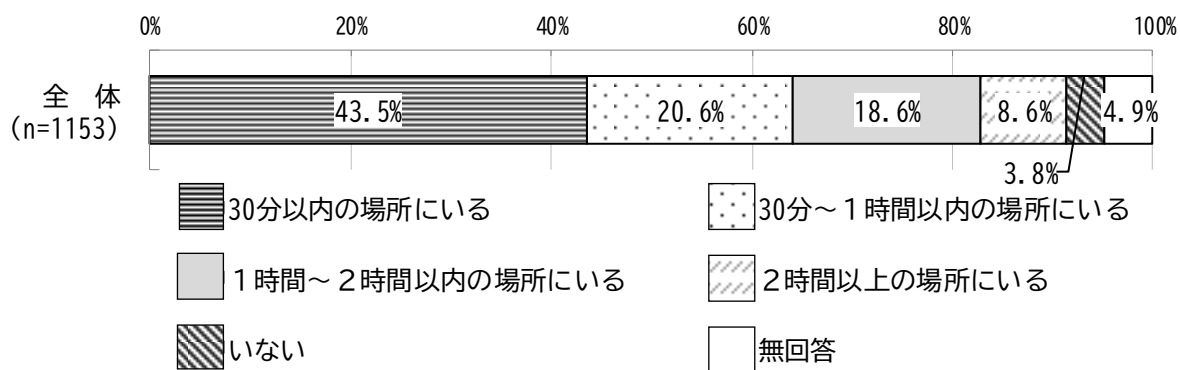
現在の就労状態として「引退した」と回答した方の、引退時期について、「昭和」が8.1%、「平成」が55.4%、「令和元年～令和4年」が14.3%、「令和5年～令和7年」が11.0%となっている。



(8) たすけあいについて

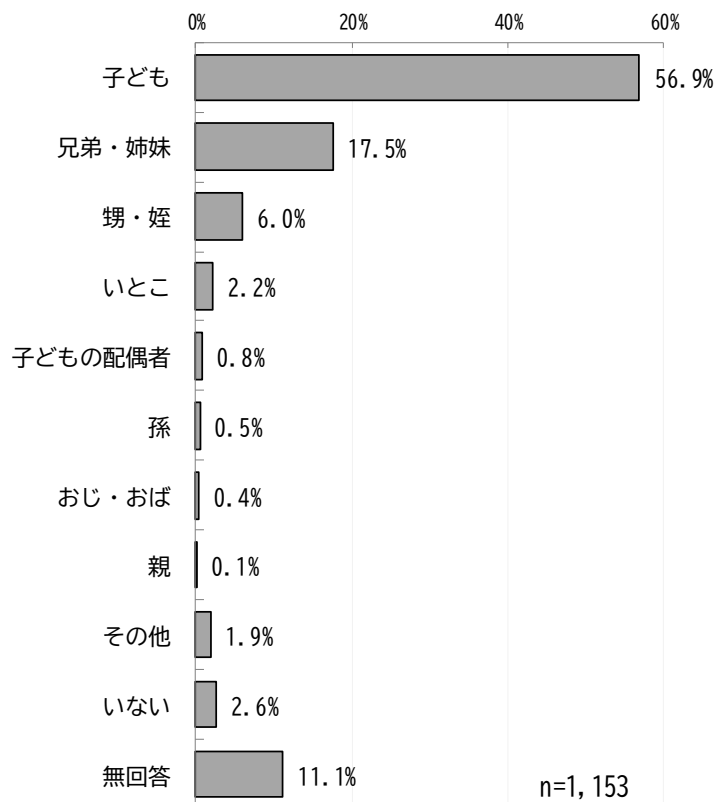
問8 (1) ご家族、ご親せきで一番近い方はどのくらいの距離にいらっしゃいますか
(普段利用される交通手段でご回答ください) (1つに○)。

距離が一番近い家族、親せきについて、「30分以内の場所にいる」が43.5%と最も高く、「30分～1時間以内の場所にいる」が20.6%、「1時間～2時間以内の場所にいる」が18.6%、「2時間以上の場所にいる」が8.6%、「いない」が3.8%となっている。



問8 (2) 日頃、最も連絡がとれるご家族、ご親せきはどなたですか (1つに○)。

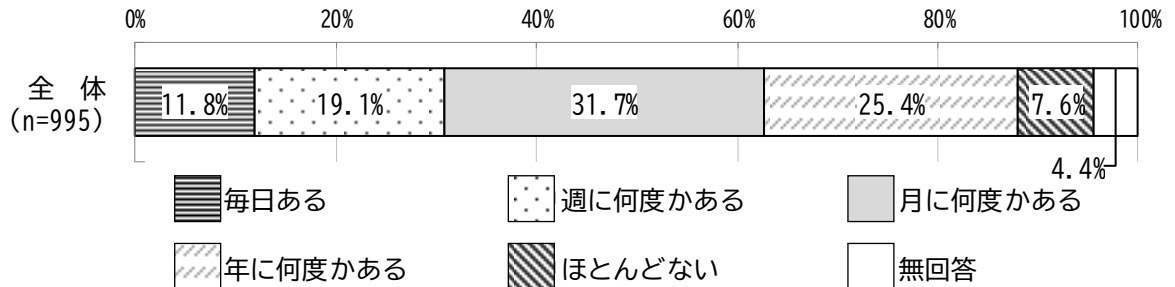
日頃、最も連絡がとれる家族、または親せきとして、「子ども」が56.9%と最も高く、「兄弟・姉妹」が17.5%、「甥・姪」が6.0%、「いとこ」が2.2%、「子どもの配偶者」が0.8%、「孫」が0.5%、「おじ・おば」が0.4%、「親」が0.1%となっている。また「いない」が2.6%となっている。



n=1,153

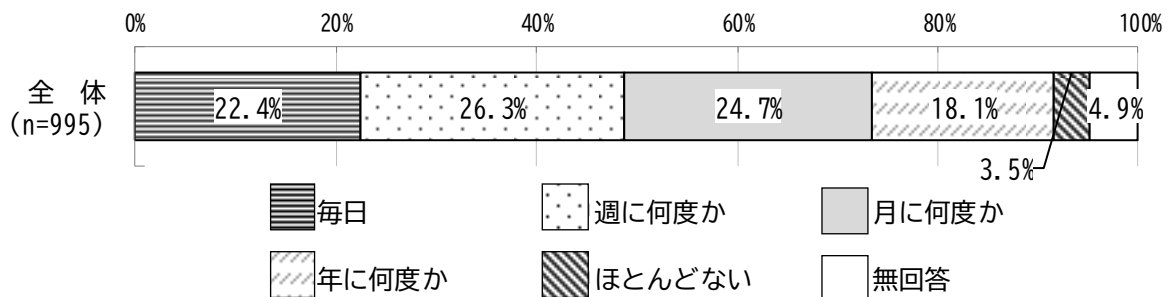
問8 (2) ① その人と会う頻度はどれくらいですか (1つに○)。

日頃、最も連絡がとれる家族、または親せきと会う頻度は、「月に何度かある」が31.7%と最も高く、「年に何度かある」が25.4%、「週に何度かある」が19.1%、「毎日ある」が11.8%、「ほとんどない」が7.6%となっている。



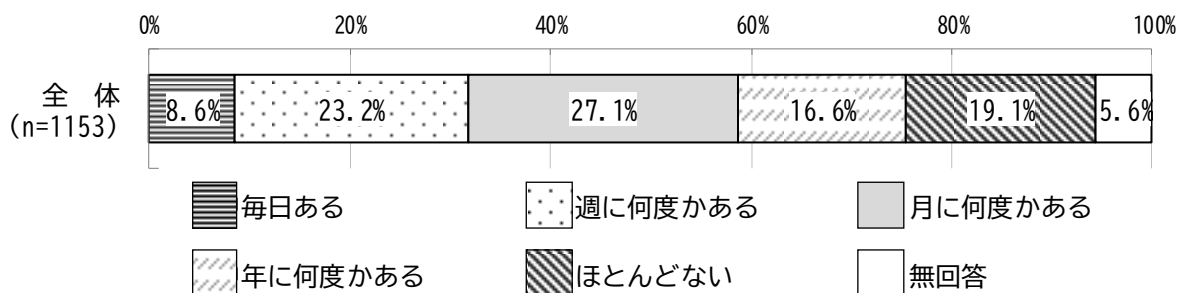
問8 (2) ② その人と連絡をとる頻度はどれくらいですか (1つに○)。

日頃、最も連絡がとれる家族、または親せきとの連絡をとる頻度は、「週に何度か」が26.3%と最も高く、「月に何度か」が24.7%、「毎日」が22.4%、「年に何度か」が18.1%、「ほとんどない」が3.5%となっている。



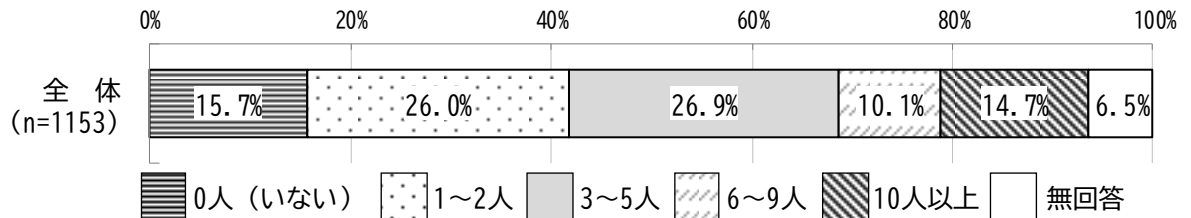
問8 (3) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか (1つに○)。

最も親しい友人・知人と会う頻度として、「月に何度かある」が27.1%と最も高く、「週に何度かある」が23.2%、「ほとんどない」が19.1%、「年に何度かある」が16.6%、「毎日ある」が8.6%となっている。



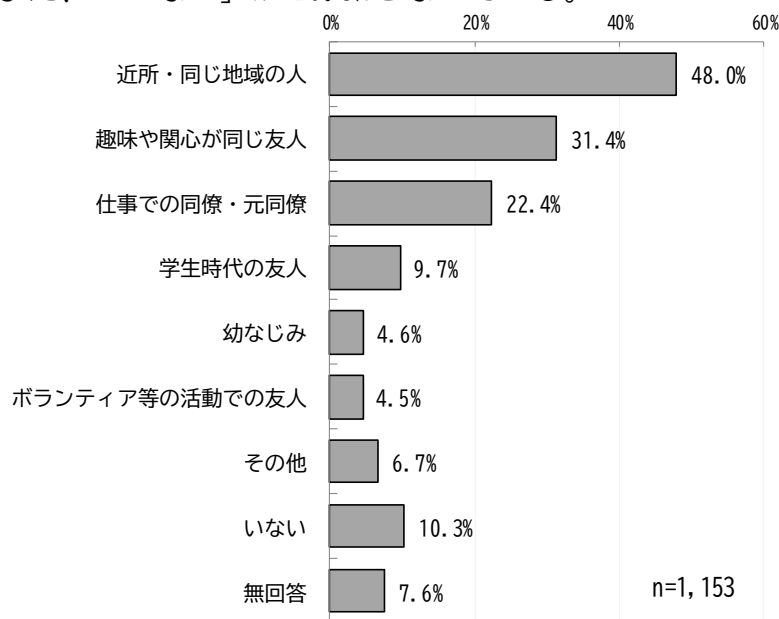
問8（4） この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします（1つに○）。

この1か月間に友人・知人と会った人数について、足立区全体では、「3～5人」が26.9%と最も高く、「1～2人」が26.0%、「0人（いない）」が15.7%、「10人以上」が14.7%、「6～9人」が10.1%となっている。



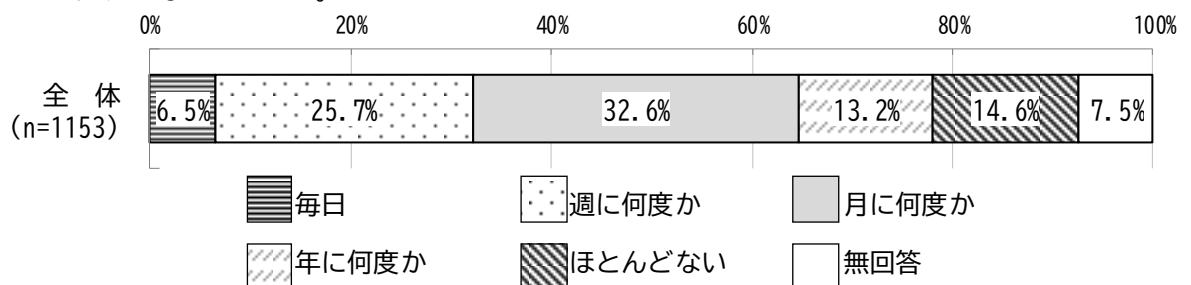
問8（5） よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（いくつでも○）。

最も親しい友人・知人として、「近所・同じ地域の人」が48.0%と最も高く、「趣味や関心が同じ友人」が31.4%、「仕事での同僚・元同僚」が22.4%、「学生時代の友人」が9.7%、「幼なじみ」が4.6%、「ボランティア等の活動での友人」が4.5%となっている。また、「いない」が10.3%となっている。



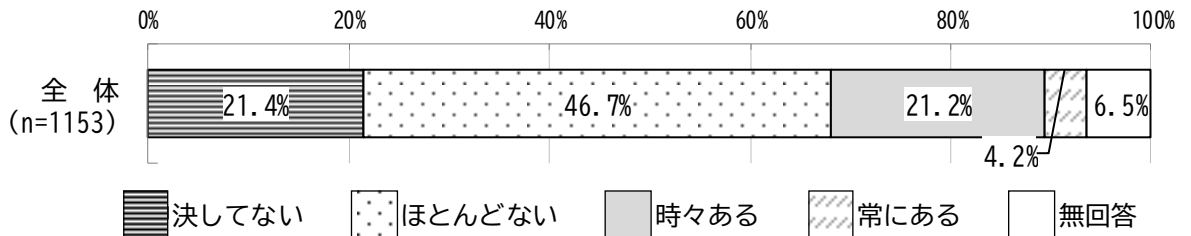
問8（6） 友人・知人と連絡をとる頻度はどれくらいですか（1つに○）。

最も親しい友人・知人との連絡をとる頻度は、「月に何度か」が32.6%と最も高く、「週に何度か」が25.7%、「ほとんどない」が14.6%、「年に何度か」が13.2%、「毎日」が6.5%となっている。



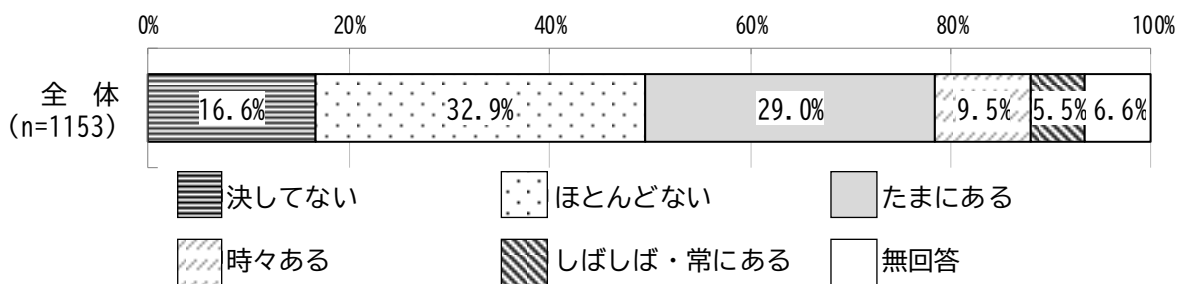
問8（7） あなたは、自分は他の人たちから孤立していると感じることがありますか（1つに○）。

他の人たちから孤立していると感じることは、「ほとんどない」が46.7%と最も高く、「決してない」が21.4%、「時々ある」が21.2%、「常にある」が4.2%となっている。



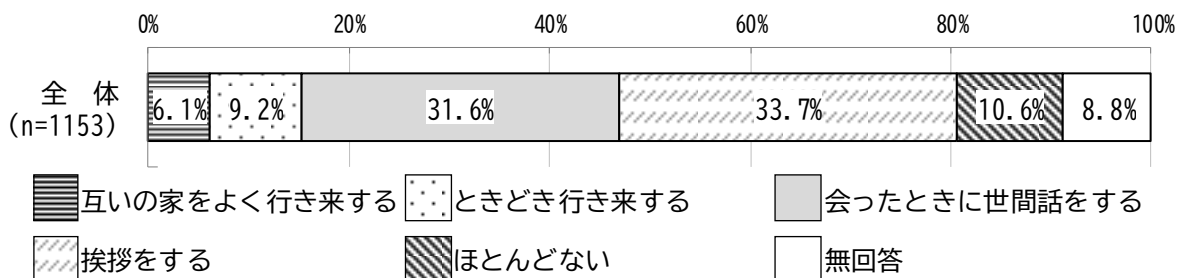
問8（8） あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか（1つに○）。

孤独であると感じることは、「ほとんどない」が32.9%と最も高く、「たまにある」が29.0%、「決してない」が16.6%、「時々ある」が9.5%、「しばしば・常にある」が5.5%となっている。



問8（9） 隣近所とどの程度交流を持っていますか（1つに○）。

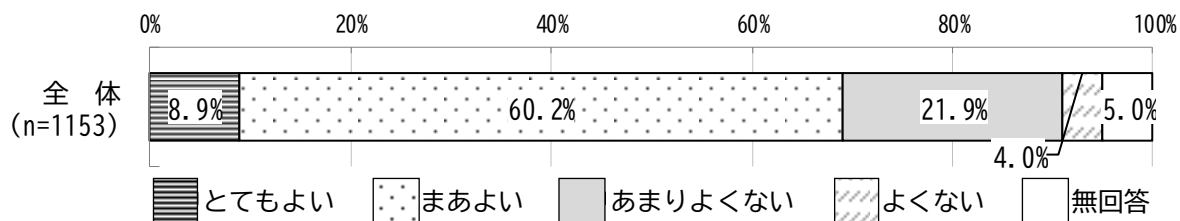
隣近所との交流の程度は、「挨拶をする」が33.7%と最も高く、「会ったときに世間話をする」が31.6%、「ほとんどない」が10.6%、「ときどき行き来する」が9.2%、「互いの家をよく行き来する」が6.1%となっている。



(9) 健康について

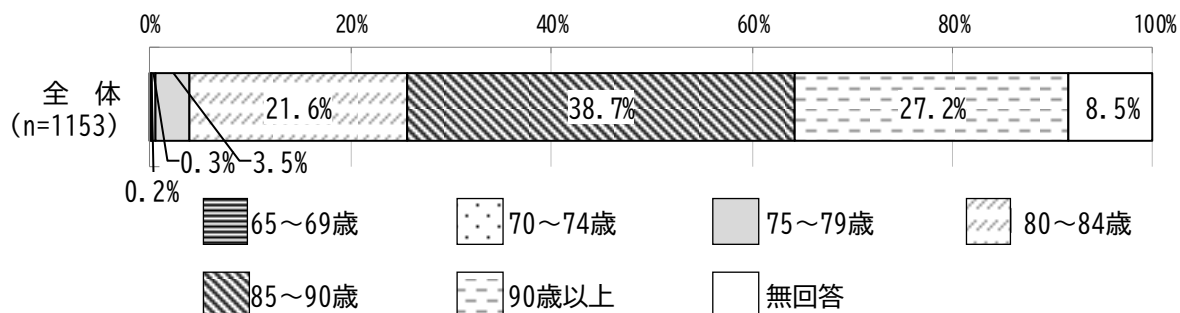
問9 (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (1つに○)。

自分の健康状態について、「まあよい」が60.2%と最も高く、「あまりよくない」が21.9%、「とてもよい」が8.9%、「よくない」が4.0%となっている。



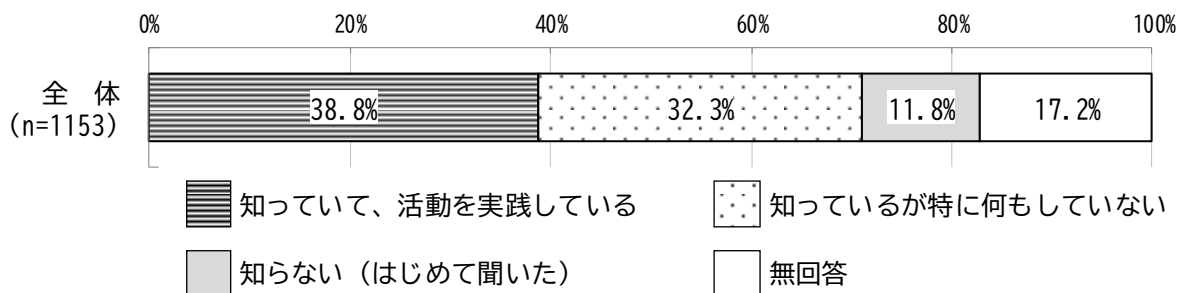
問9 (2) あなたは、いくつまで健康 (介護を受けない状態) に過ごしたいですか (1つに○)。

健康に過ごしたいと考えている年齢について、「85～90歳」が38.7%と最も高く、「90歳以上」が27.2%、「80～84歳」が21.6%、「75～79歳」が3.5%、「70～74歳」が0.3%、「65～69歳」が0.2%となっている。

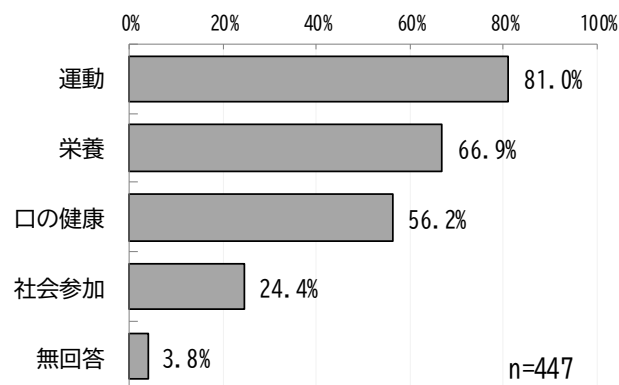


問9 (3) 高齢期におこりやすい「フレイル」(筋力や心身の機能などが低下し、衰弱した状態)にならないために、「運動」「口の健康・栄養」「社会参加」のそれぞれが大切なことを知っていますか(1つに○)。

「フレイル」にならないために、「運動」「口の健康・栄養」「社会参加」のそれぞれが大切なことを知っているかについて、「知っていて、活動を実践している」が38.8%と最も高く、「知っているが特に何もしていない」が32.3%、「知っていて、活動を実践している」と「知っているが、特に何もしていない」を合わせた【知っている】は71.1%となっている。「知らない(はじめて聞いた)」が11.8%となっている。

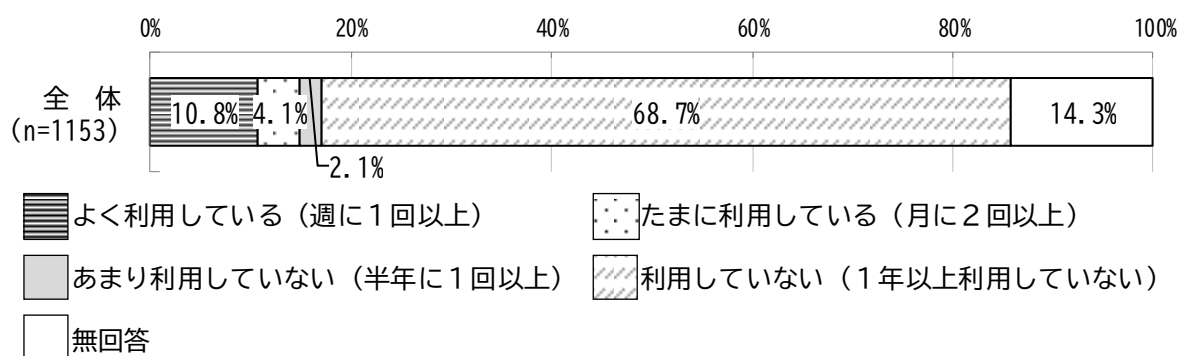


「フレイル」にならないために「実践している」と回答した方の活動は、「運動」が81.0%と最も高く、「栄養」が66.9%、「口の健康」が56.2%、「社会参加」が24.4%となっている。



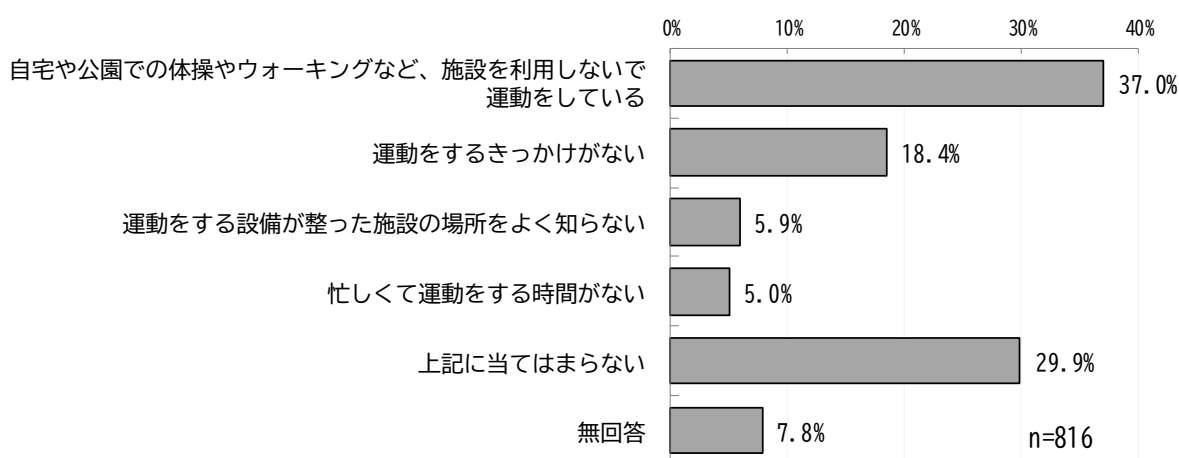
問9（4） 日頃、スポーツクラブやジム、プール等の運動施設を利用していますか（1つに○）。

日頃の、スポーツクラブやジム、プール等の運動施設の利用状況について、「利用していない（1年以上利用していない）」が68.7%と最も高く、「よく利用している（週に1回以上）」が10.8%、「たまに利用している（月に2回以上）」が4.1%、「あまり利用していない（半年に1回以上）」が2.1%となっている。



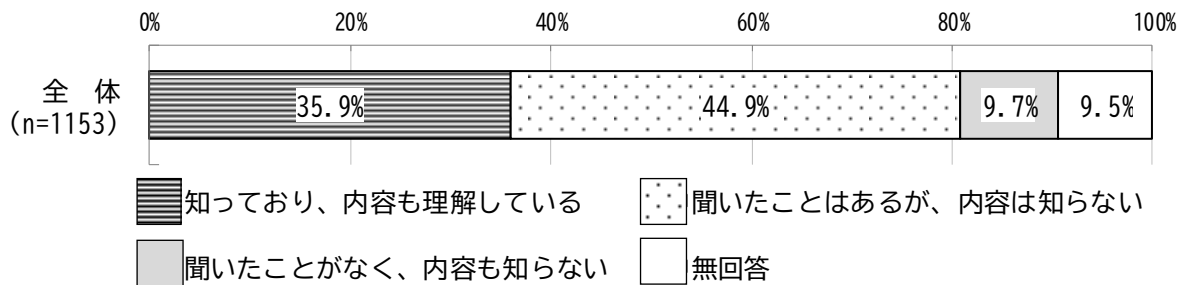
問9（4）① 日頃から民間のスポーツクラブやジム、運動施設等を利用していない理由を教えてください（いくつでも○）。

日頃の、スポーツクラブやジム、プール等の運動施設を利用状況について、「自宅や公園での体操やウォーキングなど、施設を利用しないで運動をしている」が37.0%と最も高く、「運動をするきっかけがない」が18.4%、「運動をする設備が整った施設の場所をよく知らない」が5.9%、「忙しくて運動をする時間がない」が5.0%となっている。また、これらに「当てはまらない」が29.9%となっている。



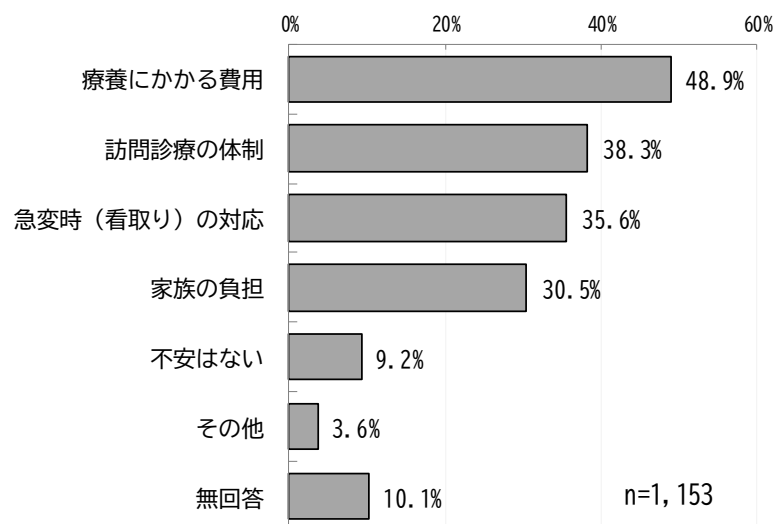
問9（5） 「在宅療養」とは、通院が困難な場合などでも、訪問型の医療や介護サービスを利用しながら、住み慣れたご自宅や地域（在宅施設）で暮らし続けることです。あなたは、「在宅療養」について元々ご存知でしたか（1つに○）。

「在宅療養」の認知度について、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が44.9%と最も高く、「知っており、内容も理解している」が35.9%、「聞いたことがなく、内容も知らない」が9.7%となっている。



問9（6） あなたが在宅療養を利用する場合に、不安に思うことは何ですか（いくつでも○）。

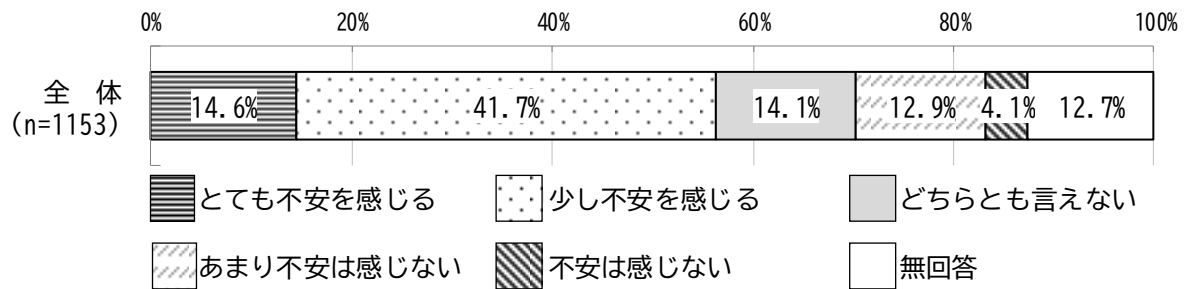
「在宅療養」を利用する場合に不安に思うことについて、「療養にかかる費用」が48.9%と最も高く、「訪問診療の体制」が38.3%、「急変時（看取り）の対応」が35.6%、「家族の負担」が30.5%、「不安はない」が9.2%となっている。



(10) 将来の生活について

問10(1) あなたは、将来の生活についてどのように感じていますか(1つに○)。

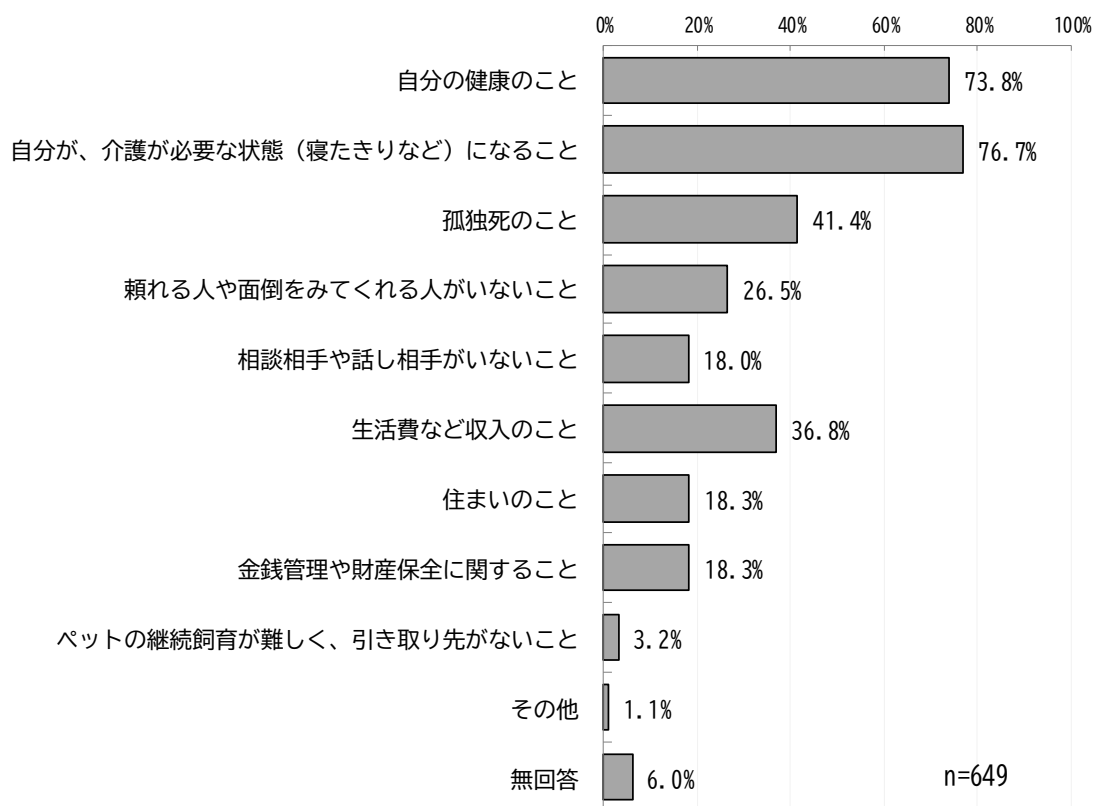
今後の生活について、「少し不安を感じる」が41.7%と最も高く、「とても不安を感じる」が14.6%、「どちらとも言えない」が14.1%、「あまり不安は感じない」が12.9%、「不安は感じない」が4.1%となっている。



問10(1)① どのようなことに不安を感じていますか（いくつでも○）。
また、どのようなことに最も不安を感じていますか（1つに○）。

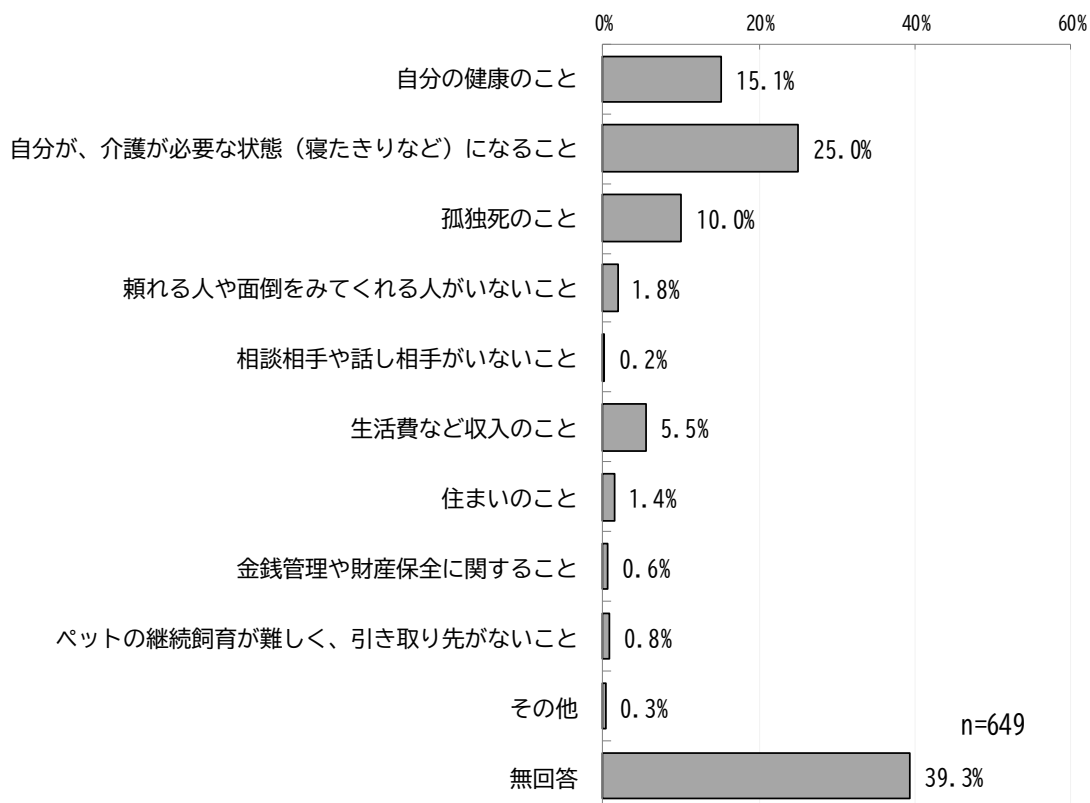
<不安を感じる事>

今後の生活について、「とても不安を感じる」または「少し不安を感じる」と回答した方の『不安を感じる事』について、「自分が、介護が必要な状態（寝たきりなど）になること」が76.7%と最も高く、「自分の健康のこと」が73.8%、「孤独死のこと」が41.4%、「生活費など収入のこと」が36.8%、「頼れる人や面倒をみてくれる人がいないこと」が26.5%、「住まいのこと」「金銭管理や財産保全に関すること」が18.3%、「相談相手や話し相手がないこと」が18.0%、「ペットの継続飼育が難しく、引き取り先がないこと」が3.2%となっている。



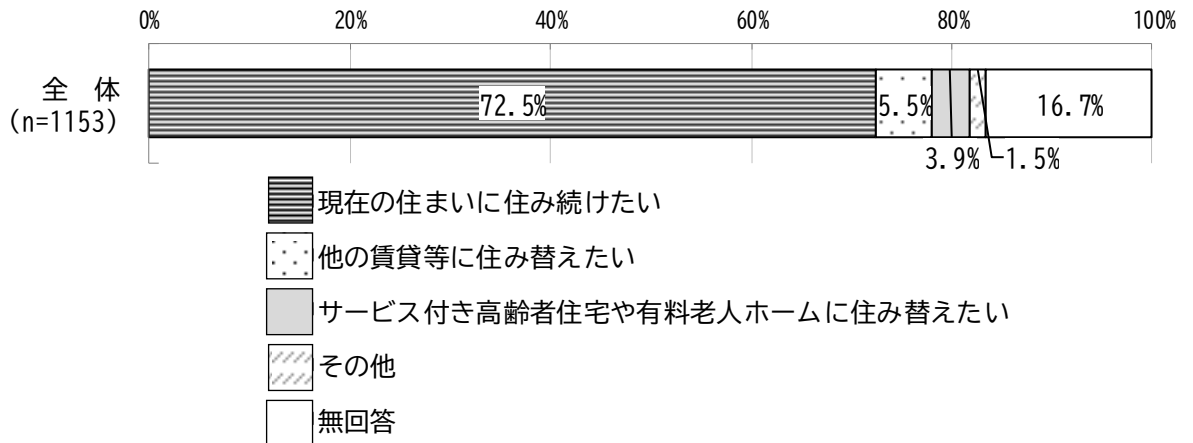
<最も不安を感じること>

今後の生活について、「とても不安を感じる」または「少し不安を感じる」と回答した方の『最も不安を感じること』について、「自分が、介護が必要な状態（寝たきりなど）になること」が25.0%と最も高く、「自分の健康のこと」が15.1%、「孤独死のこと」が10.0%、「生活費など収入のこと」が5.5%、「頼れる人や面倒をみてくれる人がいないこと」が1.8%、「住まいのこと」が1.4%、「ペットの継続飼育が難しく、引き取り先がないこと」が0.8%、「金銭管理や財産保全に関すること」が0.6%、「相談相手や話し相手がないこと」が0.2%となっている。



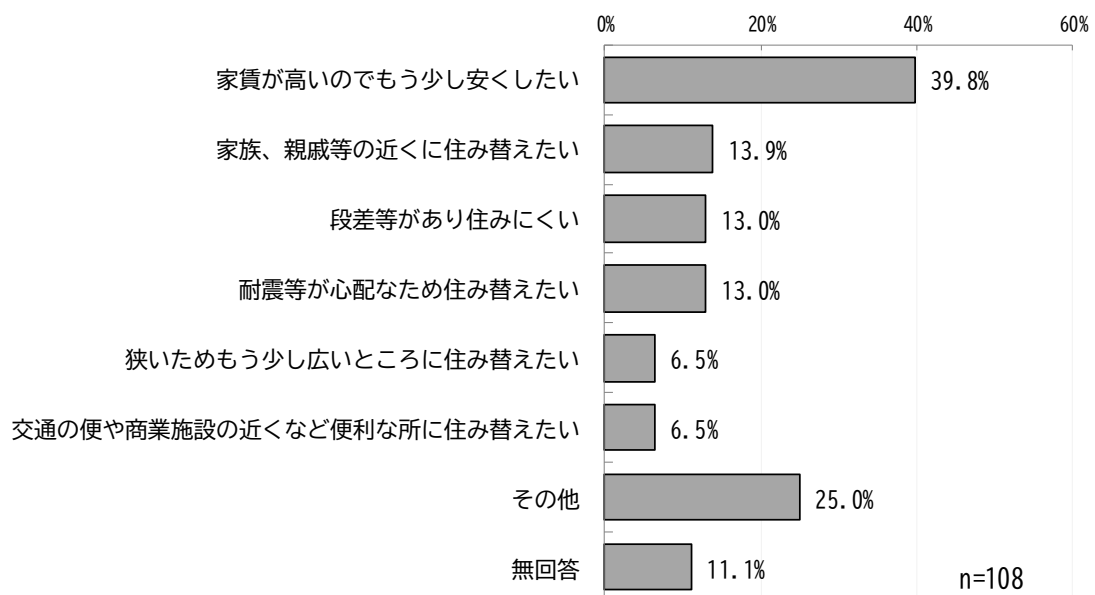
問10(2) あなたは、現在の住まいに住み続けたいとお考えですか(1つに○)。

今後の住まいの希望について、「現在の住まいに住み続けたい」が72.5%と最も高く、「他の賃貸等に住み替えたい」が5.5%、「サービス付き高齢者住宅や有料老人ホームに住み替えたい」が3.9%となっている。



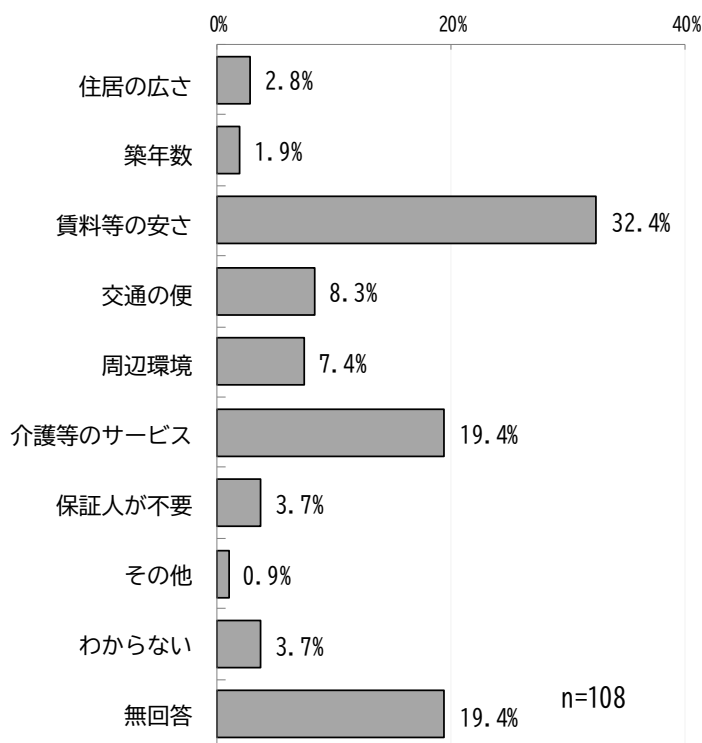
問10(2)① 住み替えたいと思う理由は何ですか(いくつでも○)。

「他の賃貸等に住み替えたい」または「サービス付き高齢者住宅や有料老人ホームに住み替えたい」と回答した方の住み替えたい理由として、「家賃が高いのでもう少し安くしたい」が39.8%と最も高く、「家族、親戚等の近くに住み替えたい」が13.9%、「段差等があり住みにくい」「耐震等が心配なため住み替えたい」が13.0%、「狭いためもう少し広いところに住み替えたい」「交通の便や商業施設の近くなど便利な所に住み替えたい」が6.5%となっている。



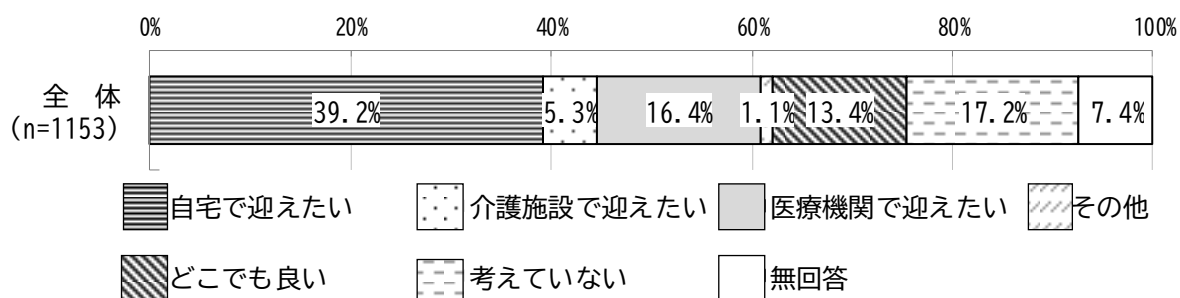
問10(2)② 住み替えを検討される場合、選ぶ基準として最も優先していることは何ですか(1つに○)。

住み替えの検討に際して優先する基準として、無回答を除くと、「賃料等の安さ」が32.4%と最も高く、「介護等のサービス」が19.4%、「交通の便」が8.3%、「周辺環境」が7.4%、「保証人が不要」が3.7%、「住居の広さ」が2.8%、「築年数」が1.9%となっている。また「わからない」が3.7%となっている。



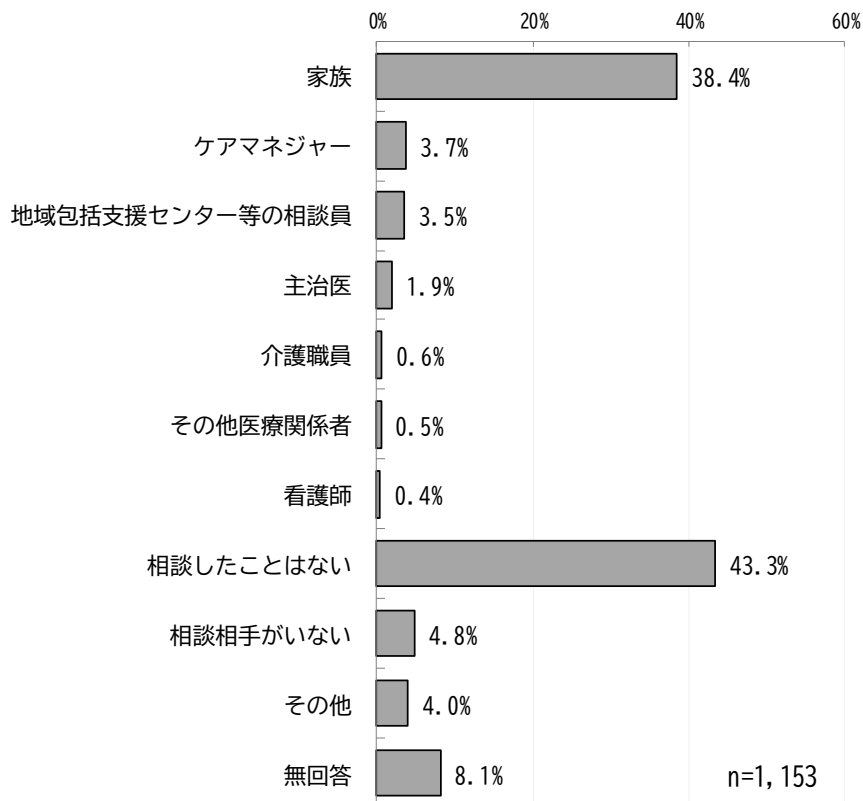
問10(3) あなたは人生の最期をどこで迎えたいですか(1つに○)。

人生の最期を迎えたい場所について、「自宅で迎えたい」が39.2%と最も高く、「医療機関で迎えたい」が16.4%、「介護施設で迎えたい」が5.3%となっている。また「どこでも良い」が13.4%、「考えていない」が17.2%となっている。



問10(4) あなたは人生の最期について、どなたかに相談したことはありますか
(いくつでも○)。

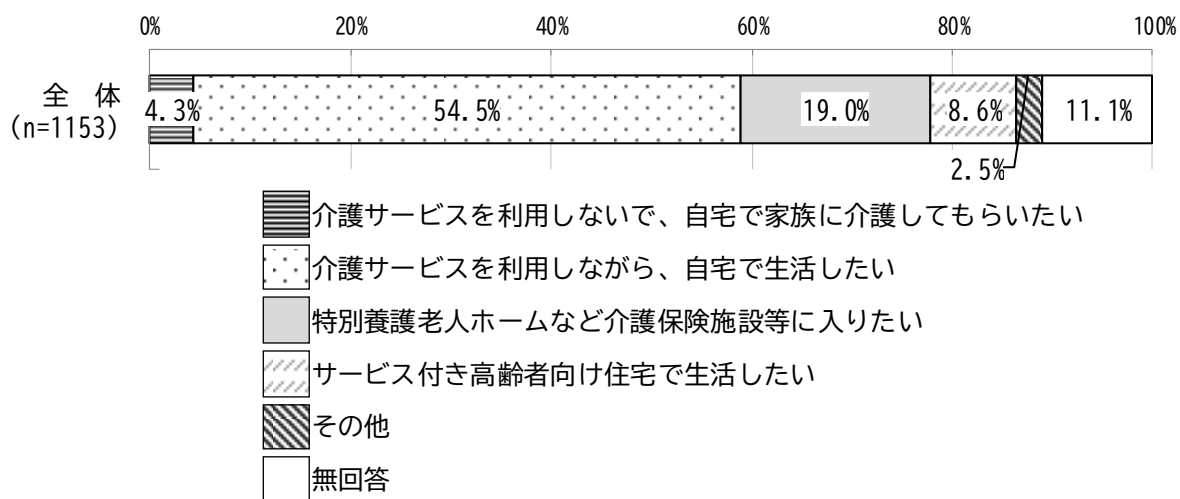
人生の最期について誰かに相談したことがあるかについて、「相談したことはない」が43.3%と最も高く、「家族」が38.4%、「相談相手がない」が4.8%、「ケアマネジャー」が3.7%、「地域包括支援センター等の相談員」が3.5%、「主治医」が1.9%、「介護職員」が0.6%、「その他医療関係者」が0.5%、「看護師」が0.4%となっている。



(11) 介護について

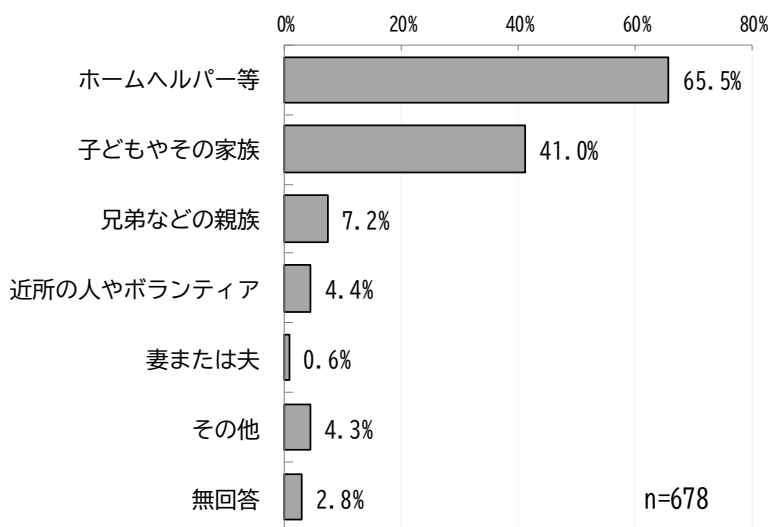
問11(1) あなたは、介護が必要になったとき、どのような介護を希望しますか(1つに○)。

介護が必要になった際の介護の希望として、「介護サービスを利用しながら、自宅で生活したい」が54.5%と最も高く、「特別養護老人ホームなど介護保険施設等に入りたい」が19.0%、「サービス付き高齢者向け住宅で生活したい」が8.6%、「介護サービスを利用しないで、自宅で家族に介護してもらいたい」が4.3%となっている。



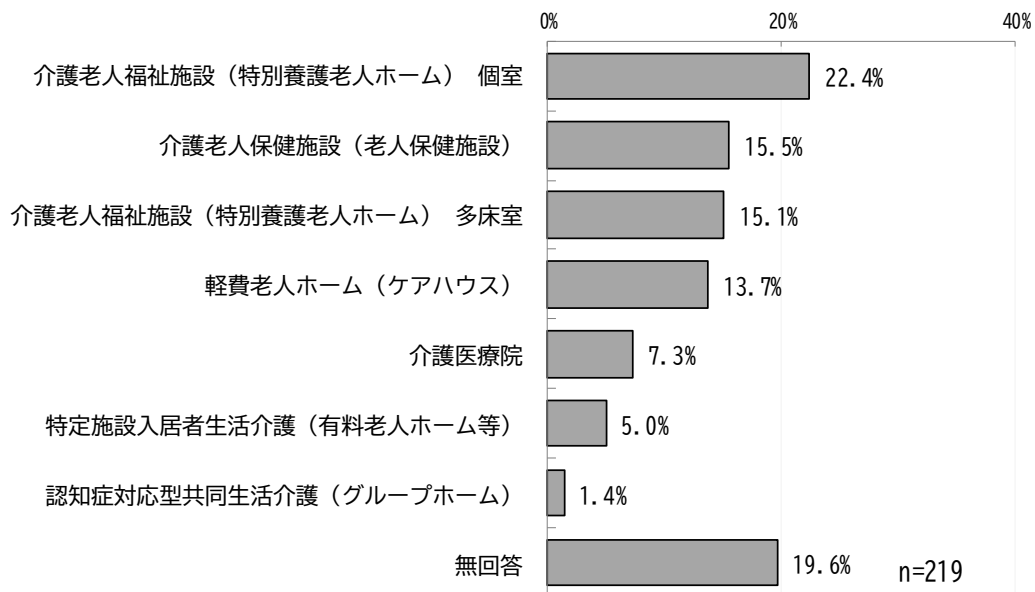
問11(1)① あなたは、どなたに介護してもらいたいですか(いくつでも○)。

「介護サービスを利用しないで、自宅で家族に介護してもらいたい」または「介護サービスを利用しながら、自宅で生活したい」と回答した方の介護者の希望として、「ホームヘルパー等」が65.5%と最も高く、「子どもやその家族」が41.0%、「兄弟などの親族」が7.2%、「近所の人やボランティア」が4.4%となっている。



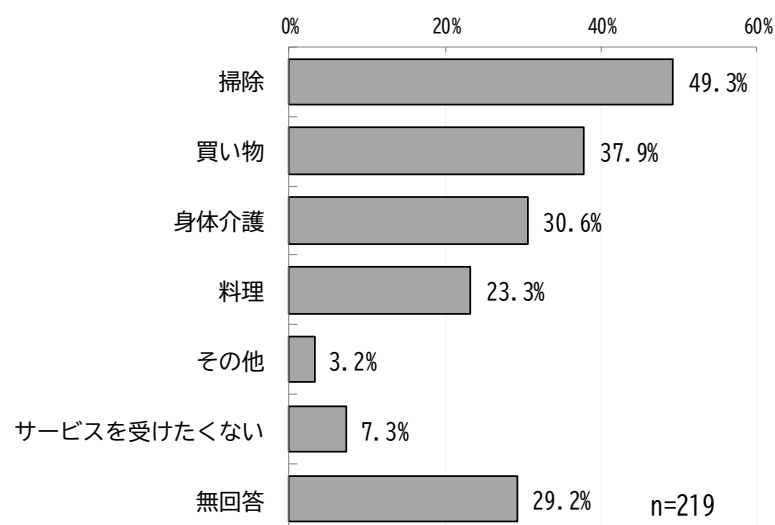
問11 (1) ② 介護を受けられる施設には、次のような施設がありますが、あなたはどのような施設等を望んでいますか（1つに○）。

「特別養護老人ホームなど介護保険施設等に入りたい」と回答した方の、介護を受ける施設の希望として、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）：個室」が22.4%と最も高く、「介護老人保健施設（老人保健施設）」が15.5%、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）：多床室」が15.1%、「軽費老人ホーム（ケアハウス）」が13.7%、「介護医療院」が7.3%、「特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム等）」が5.0%、「認知症対応型共同生活介護（グループホーム）」が1.4%となっている。



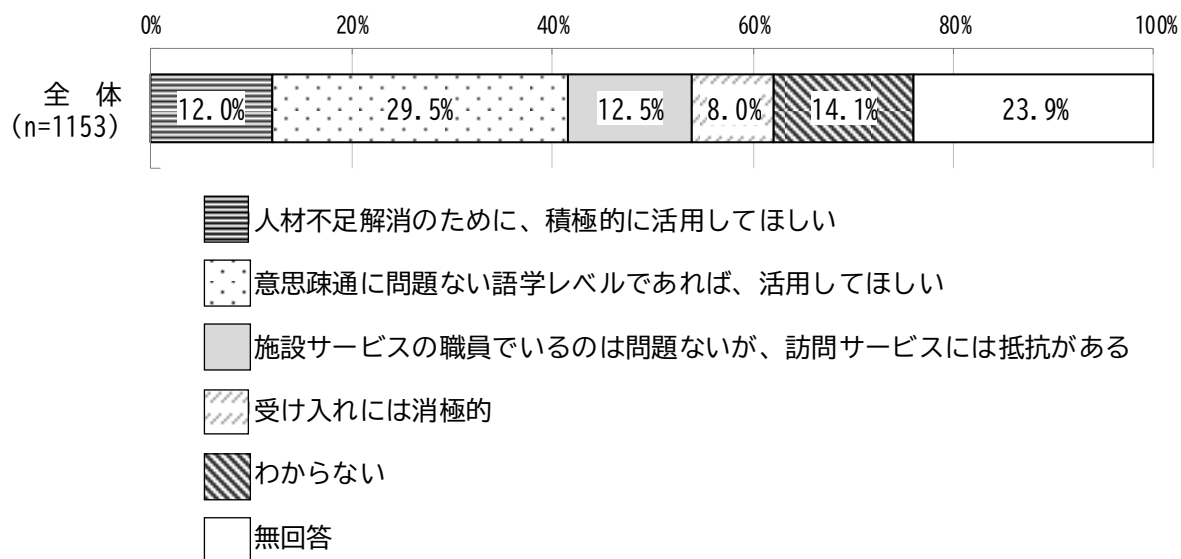
問11 (1) ③ 外国籍を有するホームヘルパーにお願いするとしたら、どんな介護サービスですか（いくつでも○）。

「特別養護老人ホームなど介護保険施設等に入りたい」と回答した方の、外国籍を有するホームヘルパーに依頼する介護サービスとして、「掃除」が49.3%と最も高く、「買い物」は37.9%、「身体介護」が30.6%、「料理」が23.3%となっている。



問11 (2) 介護サービスに関して、国では外国人材の活用が推進されていますが、どのようにお考えですか（1つに○）。

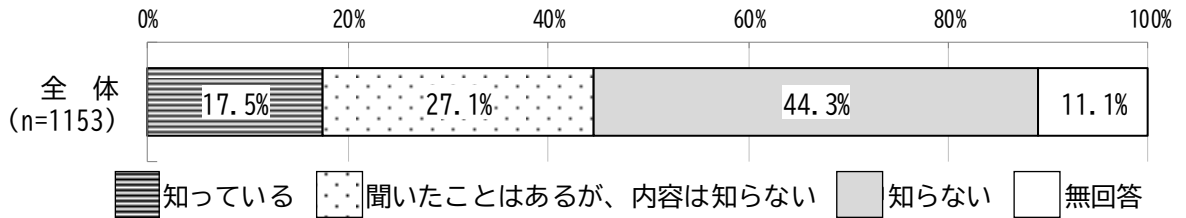
介護サービスにおける外国人材の活用について、「意思疎通に問題ない語学レベルであれば、活用してほしい」が29.5%と最も高く、「施設サービスの職員でいるのは問題ないが、訪問サービスには抵抗がある」が12.5%、「人材不足解消のために、積極的に活用してほしい」が12.0%、「受け入れには消極的」が8.0%、「わからない」が14.1%となっている。



(12) 認知症について

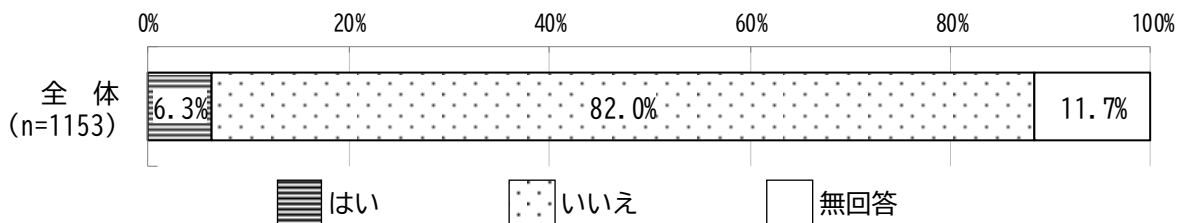
問12(1) 認知症サポーターをご存知ですか(1つに○)。

認知症サポーターについて、「知らない」が44.3%と最も高く、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が27.1%、「知っている」が17.5%となっている。



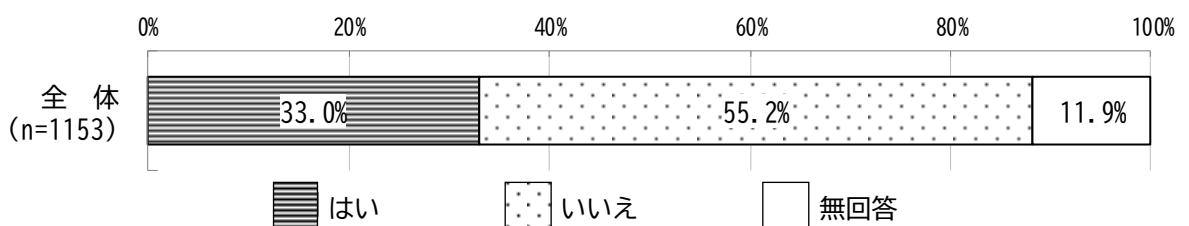
問12(2) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか(1つに○)。

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかについて、足立区全体では、「はい」が6.3%、「いいえ」が82.0%となっている。



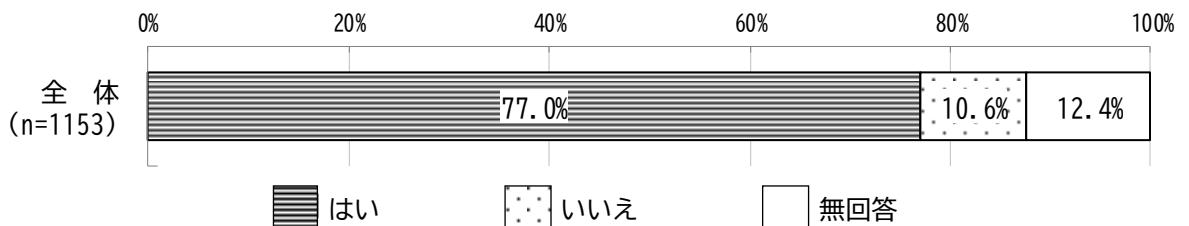
問12(3) 認知症に関する相談窓口を知っていますか(1つに○)。

認知症に関する相談窓口の認知について、「はい」が33.0%、「いいえ」が55.2%となっている。



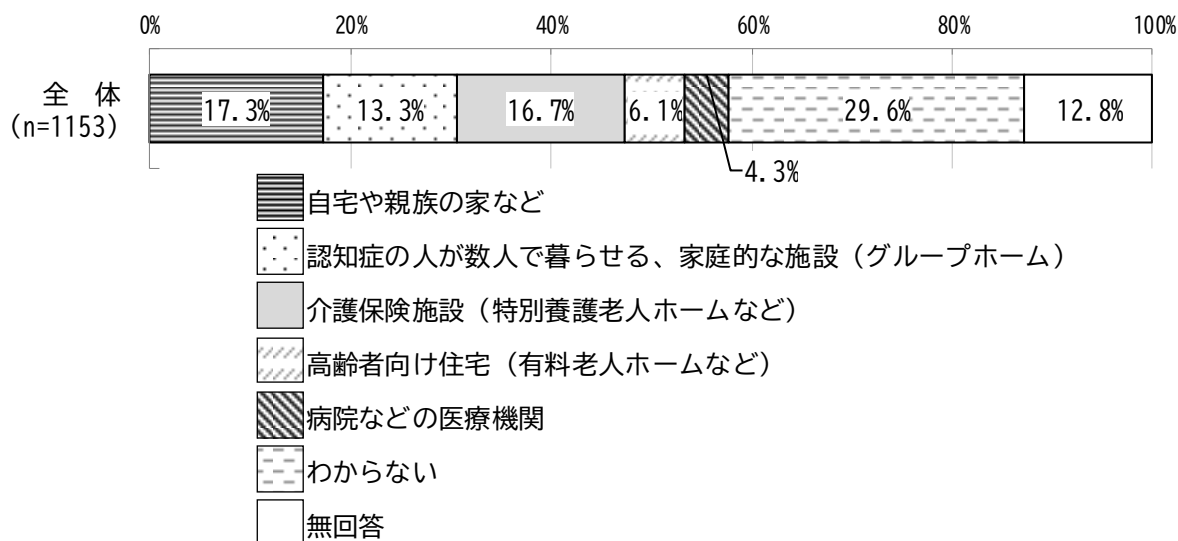
問12(4) 将来、あなたが認知症になったら、周囲(家族や友人など)に公表しますか(1つに○)。

将来、認知症になったら、周囲(家族や友人など)に公表するかどうかについて、「はい」が77.0%、「いいえ」が10.6%となっている。



問12(5) 将来、あなたが認知症になったら、どこで暮らしたいですか（1つに○）。

将来認知症になった場合に暮らしたい場所について、「自宅や親族の家など」が17.3%と最も高く、「介護保険施設（特別養護老人ホームなど）」が16.7%、「認知症の人が数人で暮らせる、家庭的な施設（グループホーム）」が13.3%、「高齢者向け住宅（有料老人ホームなど）」が6.1%、「病院などの医療機関」が4.3%、「わからない」が29.6%となっている。



問12(6) 認知症に関する以下のことに関して、あなたはどのように感じたり、思ったりしていますか（それぞれ1つに○）。

認知症に関する考えについて、認知症は誰もがなり得ると思うかでは「思う」が44.1%、認知症になったら何もわからなくなると思うかでは「どちらかというと思う」が28.9%、認知症になったら何もできなくなると思うかでは「どちらかというと思わない」が26.8%、地域生活の様々な場面において、認知症の人の意思が尊重されていると思うかでは「どちらかというと思わない」が31.7%、認知症の人が自分らしく暮らせていると思うかでは「どちらかというと思わない」が31.5%となっている。

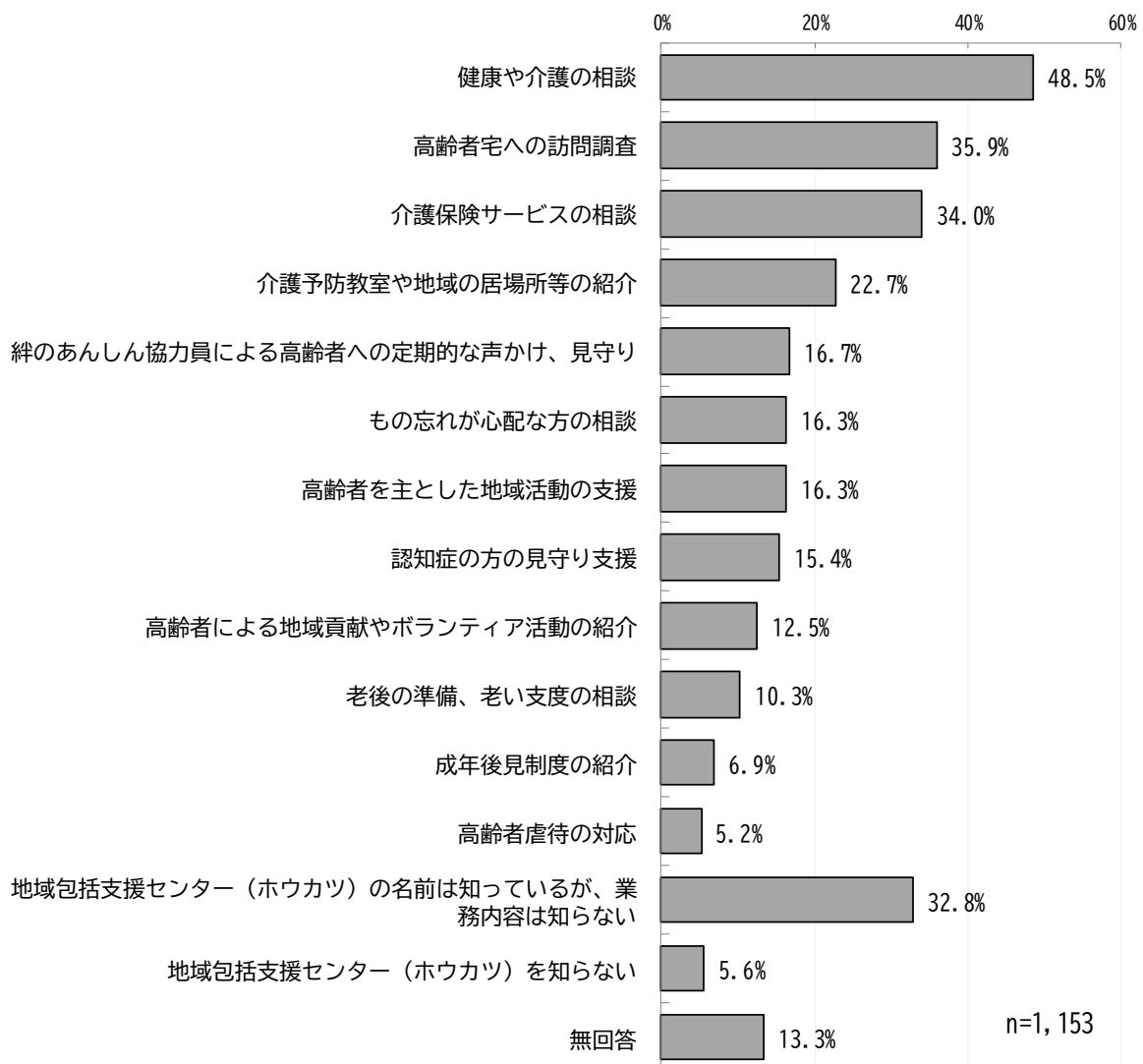
(%)

	調査数	思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない	無回答
① 認知症は誰もがなり得ると思いますか	1153	44.1	26.7	8.4	9.4	11.4
② 認知症になったら何もわからなくなると思えますか	1153	13.5	28.9	21.4	22.4	13.8
③ 認知症になったら何もできなくなると思えますか	1153	11.2	24.3	26.8	23.5	14.2
④ 地域生活の様々な場面において、認知症の人の意思が尊重されていると思いますか	1153	7.1	22.1	31.7	17.1	22.0
⑤ あなたが暮らす地域では、認知症の人が自分らしく暮らせていると思いますか	1153	5.6	20.6	31.5	22.3	20.0

(13) 高齢者福祉サービスや高齢者施策について

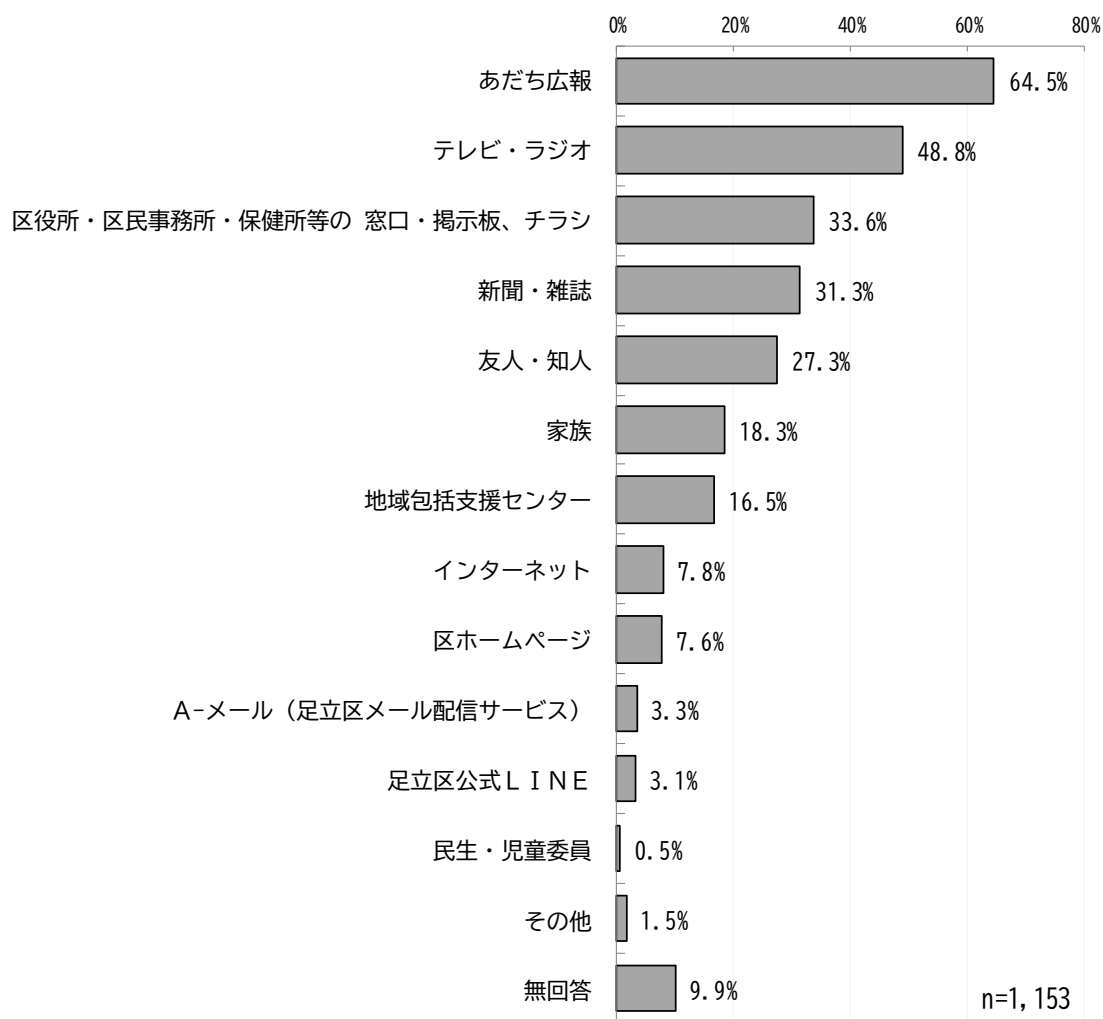
問13(1) 現在、区内には高齢者の介護や生活上の相談等を受ける地域包括支援センターがあります。地域包括支援センター（ホウカツ）の業務で、ご存知のものに○を付けてください（いくつでも○）。

足立区内の地域包括支援センターが行っている業務の認知度について、「健康や介護の相談」が48.5%と最も高く、「高齢者宅への訪問調査」が35.9%、「介護保険サービスの相談」が34.0%、「介護予防教室や地域の居場所等の紹介」が22.7%、「絆のあんしん協力員による定期的な声かけ、見守り」が16.7%、「もの忘れが心配な方の相談」「高齢者を主とした地域活動の支援」が16.3%、「認知症の方の見守り支援」が15.4%、「高齢者による地域貢献やボランティア活動の紹介」が12.5%、「老後の準備、老い支度の相談」が10.3%、「成年後見制度の紹介」が6.9%、「高齢者虐待の対応」が5.2%、「地域包括支援センター（ホウカツ）の名前を知っているが、業務内容を知らない」が32.8%、「地域包括支援センター（ホウカツ）の名前を知らない」が5.6%となっている。



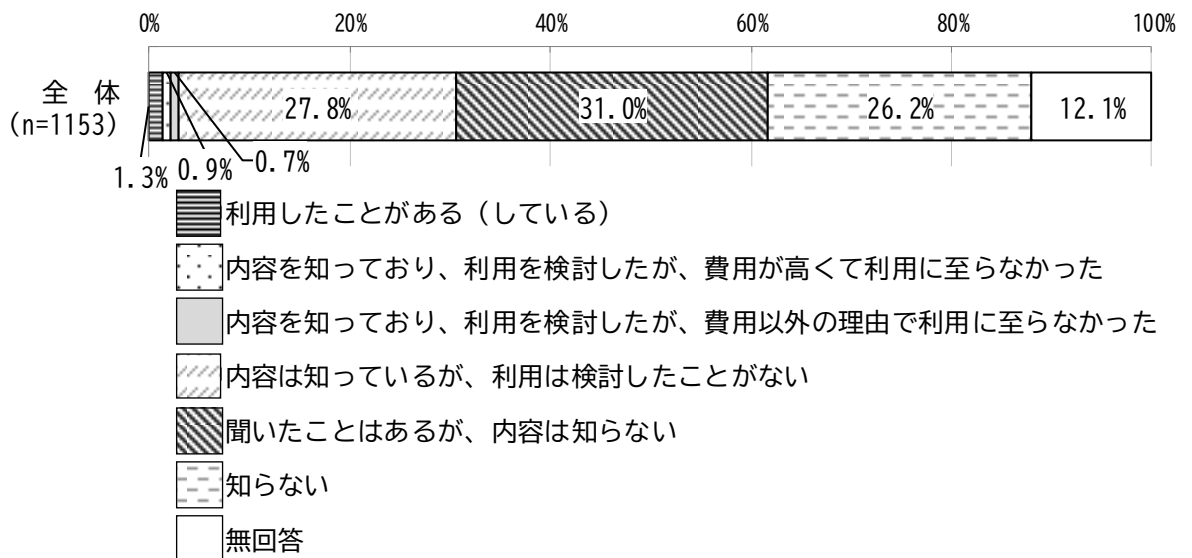
問13(2) 身近なくらしの情報をどのように入手しますか(いくつでも○)。

身近なくらしの情報の入手先について、「あだち広報」が64.5%と最も高く、「テレビ・ラジオ」が48.8%、「区役所・区民事務所・保健所等の窓口・掲示板・チラシ」が33.6%、「新聞・雑誌」が31.3%、「友人・知人」が27.3%、「家族」が18.3%、「地域包括支援センター」が16.5%、「インターネット」が7.8%、「区ホームページ」が7.6%、「A-メール(足立区メール配信サービス)」が3.3%、「足立区公式LINE」が3.1%、「民生・児童委員」が0.5%となっている。



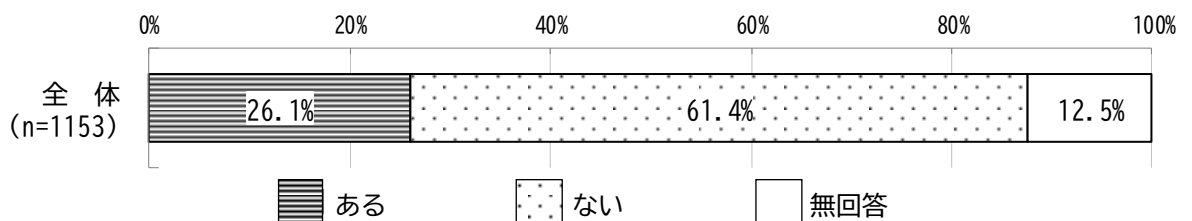
問13(3) 成年後見制度についてご存知ですか。また、利用を検討したことがありますか(1つに○)。

成年後見制度について、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が31.0%と最も高く、「内容は知っているが、利用は検討したことがない」が27.8%、「知らない」が26.2%、「利用したことがある(している)」が1.3%、「内容を知っており、利用を検討したが、費用が高くて利用に至らなかった」が0.9%、「内容を知っており、利用を検討したが、費用以外の理由で利用に至らなかった」が0.7%となっている。



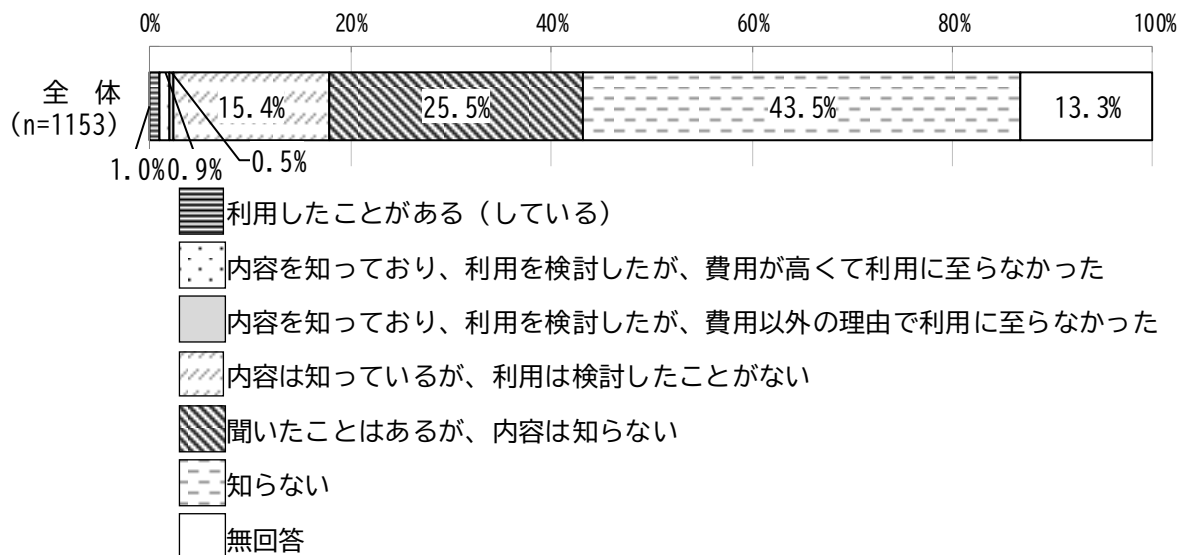
問13(4) 成年後見制度について関心がありますか(1つに○)。

成年後見制度について、関心が「ある」が26.1%、「ない」が61.4%となっている。



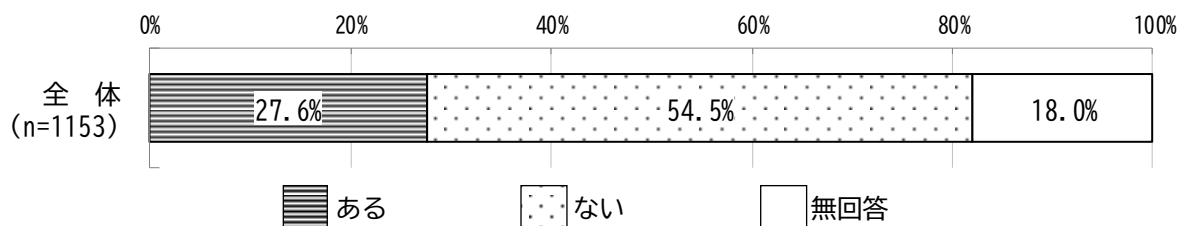
問13(5) 任意後見制度についてご存知ですか。また利用を検討したことがありますか(1つに○)。

任意後見制度について、「知らない」が43.5%と最も高く、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が25.5%、「内容は知っているが、利用は検討したことがない」が15.4%、「利用したことがある(している)」が1.0%、「内容を知っており、利用を検討したが、費用が高くて利用に至らなかった」が0.9%、「内容を知っており、利用を検討したが、費用以外の理由で利用に至らなかった」が0.5%となっている。



問13(6) 任意後見制度について関心がありますか(1つに○)。

任意後見制度について、関心が「ある」が27.6%、「ない」が54.5%となっている。



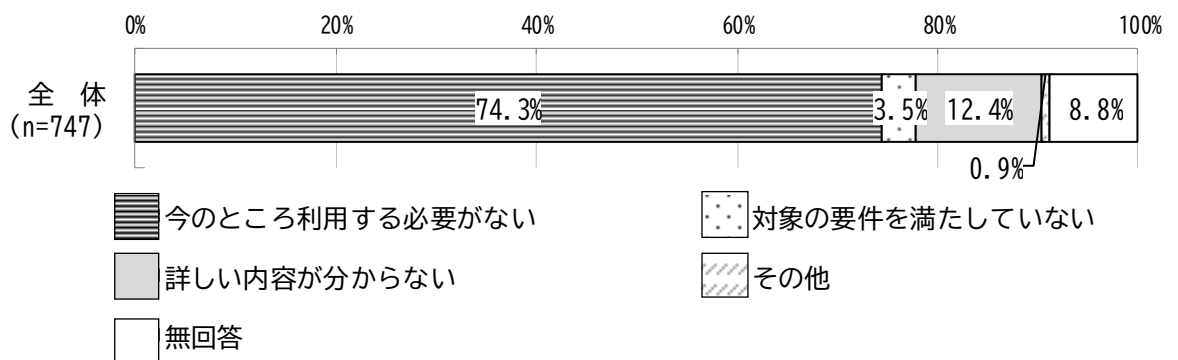
問13 (7) 足立区には次のようなサービスがありますが、あなたは現在利用していますか。また利用していない方は、そのサービスをご存知ですか（それぞれ1つに○）。

足立区内のサービスの利用状況について、「日常生活用具の給付」「高齢者配食サービス」「高齢者緊急通報システムの設置」「見守りキーホルダー・シールの支給」「訪問理美容サービス」「見守りサービス助成」「あいあいサポート」では「知らない」の割合が、「高齢者住宅改修給付」では「知っているが利用したことはない」の割合が高くなっている。

	調査数	利用している (したことがある)	知っているが 利用したことはない	知らない	無回答
① 日常生活用具の給付	1153	4.9	34.3	45.3	15.6
② 高齢者住宅改修給付	1153	12.4	42.8	30.0	14.8
③ 高齢者配食サービス	1153	2.9	38.9	43.8	14.5
④ 高齢者緊急通報システムの設置	1153	3.1	24.7	56.7	15.4
⑤ 見守りキーホルダー・シールの支給	1153	4.7	20.5	59.6	15.3
⑥ 訪問理美容サービス	1153	1.1	29.9	53.6	15.4
⑦ 見守りサービス助成	1153	0.6	18.9	64.9	15.6
⑧ あいあいサポート	1153	2.4	32.8	50.1	14.7

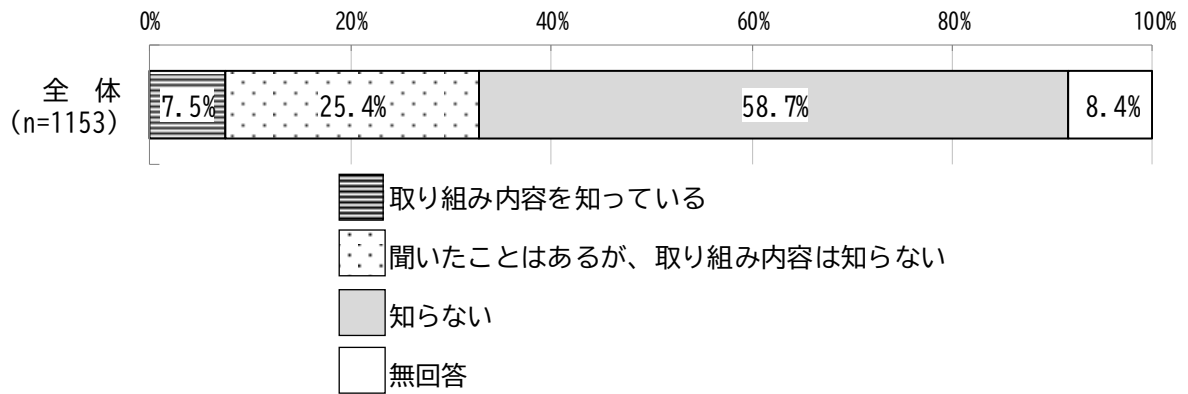
問13 (7) ⑨ 利用したことがない理由は何ですか（1つに○）。

足立区内のサービスで1つでも「知っているが利用したことはない」と回答した方の利用したことがない理由は、「今のところ利用する必要がない」が74.3%と最も高く、「詳しい内容が分からない」が12.4%、「対象の要件を満たしていない」が3.5%となっている。



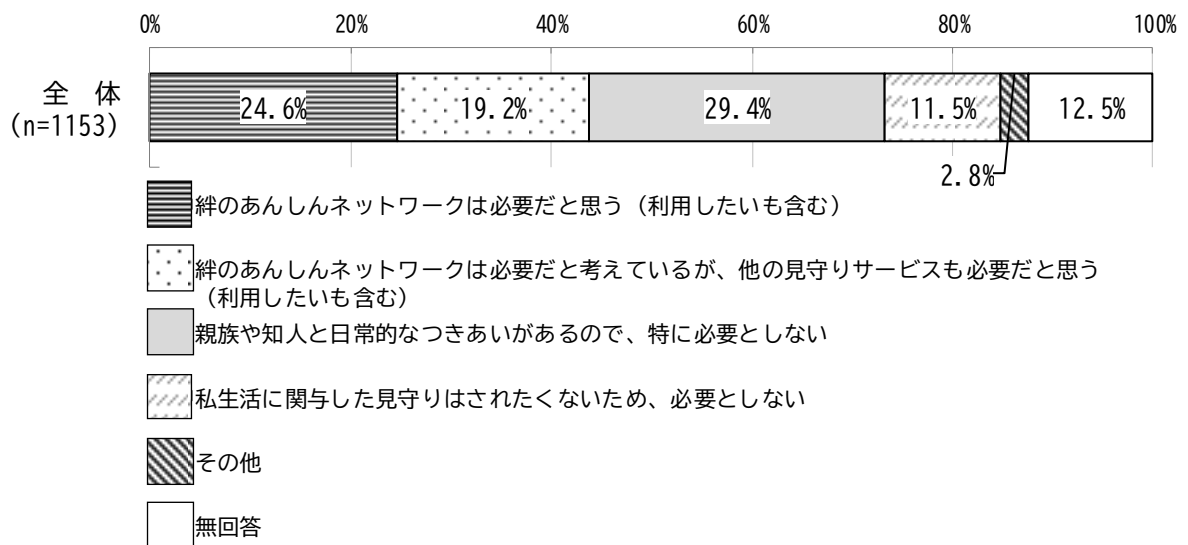
問13(8) 足立区ではひとり暮らし高齢者や高齢者世帯を対象に、「孤立ゼロプロジェクト～絆のあんしんネットワーク～」(近隣同士の見守り活動)の取り組みを実施していますが、ご存知ですか(1つに○)。

「孤立ゼロプロジェクト」の取り組みについて、「知らない」が58.7%と最も高く、「聞いたことはあるが、取り組み内容は知らない」が25.4%、「取り組み内容を知っている」が7.5%となっている。



問13(9) 「孤立ゼロプロジェクト～絆のあんしんネットワーク～」(近隣同士の見守り活動)による見守りや声かけを必要と思われますか(1つに○)。

「孤立ゼロプロジェクト」による見守りや声かけについて、「親族や知人と日常的なつきあいがあるので、特に必要としない」が29.4%と最も高く、「絆のあんしんネットワークは必要だと思う(利用したいも含む)」が24.6%、「絆のあんしんネットワークは必要だと考えているが、他の見守りサービスも必要だと思う(利用したいも含む)」が19.2%、「私生活に関与した見守りはされたくないため、必要としない」が11.5%となっている。



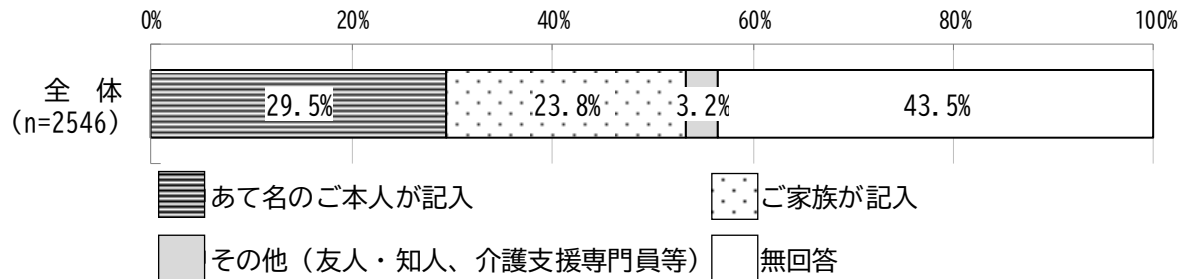
3 要介護認定者実態調査

3 要介護認定者実態調査

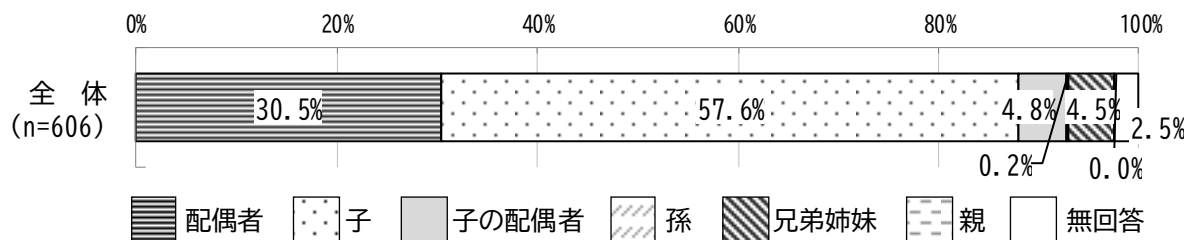
(1) あなたの基本情報について

調査票を記入されたのはどなたですか（1つに○）。

回答者は、「あて名のご本人」が 29.5%と最も高く、「ご家族」が 23.8%、「その他（友人・知人、介護支援専門員等）」が 3.2%となっている。

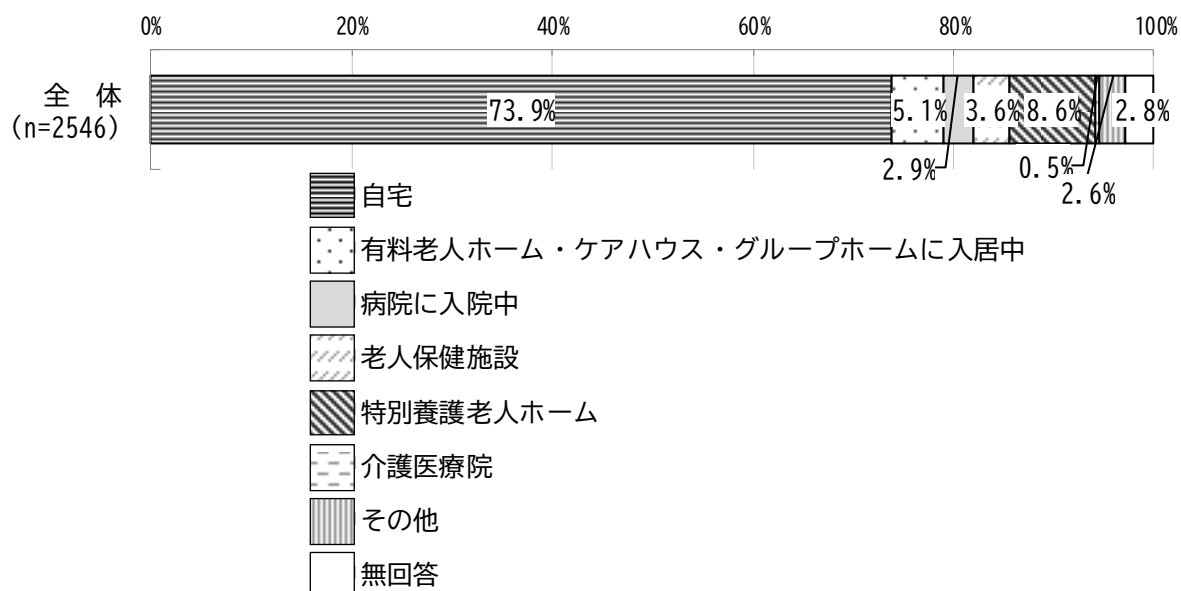


「ご家族」と回答した方の内訳をみると、「子」が 57.6%と最も高く、「配偶者」が 30.5%、「子の配偶者」が 4.8%、「兄弟姉妹」が 4.5%、「孫」が 0.2%、「親」が 0.0%となっている。



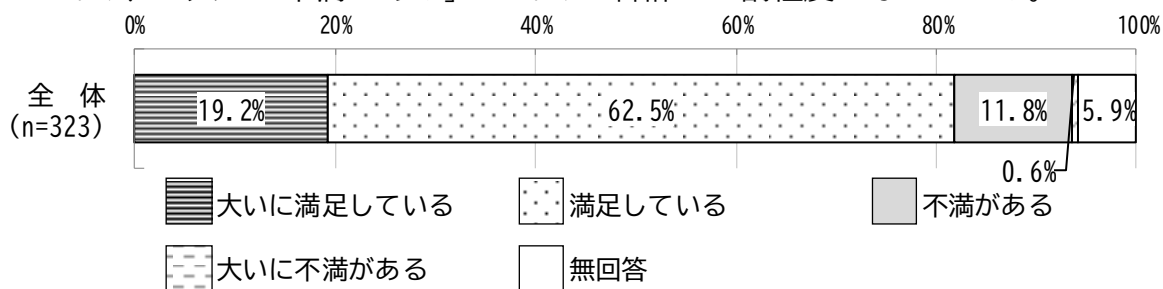
問1 (1) あなたは、現在、どちらで生活していますか (1つに○)。

現在の住まいについて、「自宅」が73.9%と最も高く、「特別養護老人ホーム」が8.6%、「有料老人ホーム・ケアハウス・グループホームに入居中」が5.1%、「老人保健施設」が3.6%、「病院に入院中」が2.9%、「介護医療院」が0.5%となっている。



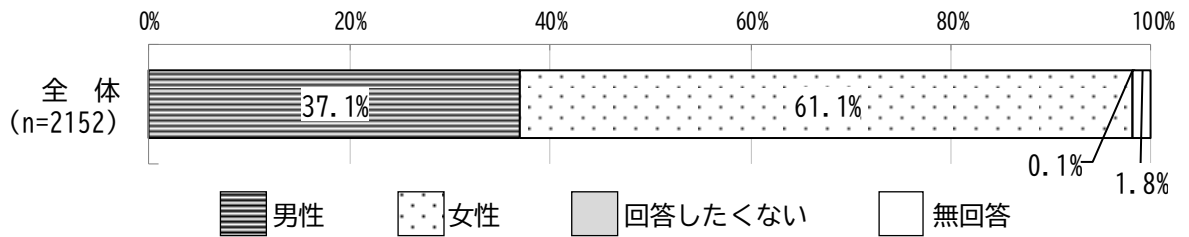
問1 (1) ① 現在の施設に満足していますか (1つに○)。

問1 (1) にて「老人保健施設」「特別養護老人ホーム」「介護療養型医療施設」「介護医療院」と回答した方のうち、現在の施設について、「大いに満足している」が19.2%、「満足している」が62.5%と合計で8割を超えている。また、「不満がある」が11.8%、「大いに不満がある」が0.6%と合計で1割程度となっている。



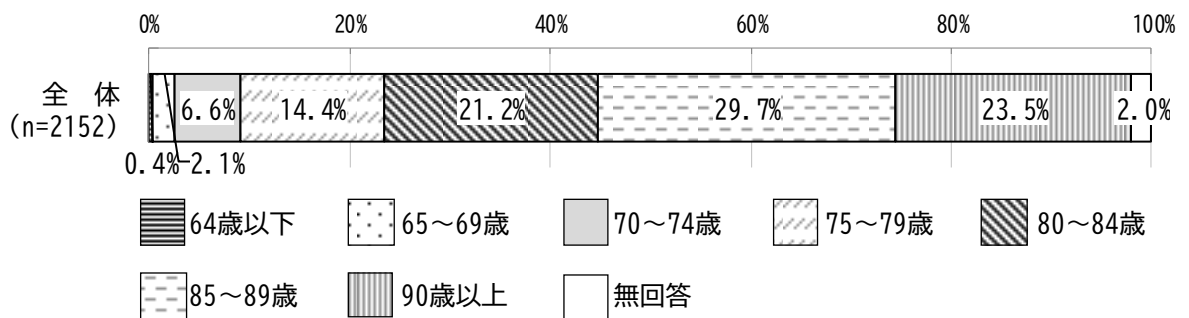
問1 (2) あなたの性別について、ご回答ください(1つに○)。

性別は、「男性」が37.1%、「女性」が61.1%、「回答したくない」が0.1%となっている。



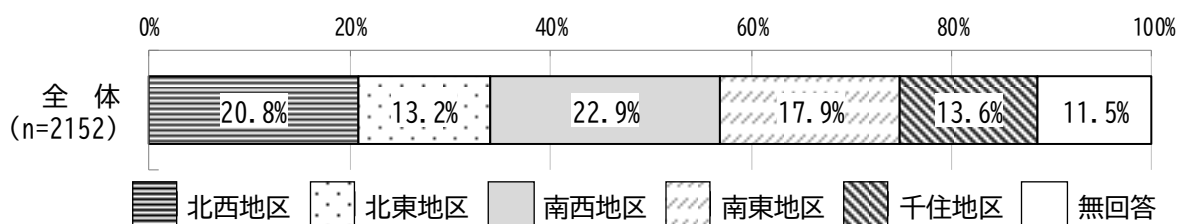
問1 (3) あなたの年齢について、ご回答ください(数字を記入)。

年齢は、「85-89 歳」が29.7%と最も高く、「90 歳以上」が23.5%、「80-84 歳」が21.2%、「75-79 歳」が14.4%、「70-74 歳」が6.6%、「65-69 歳」が2.1%、「64 歳以下」が0.4%となっている。



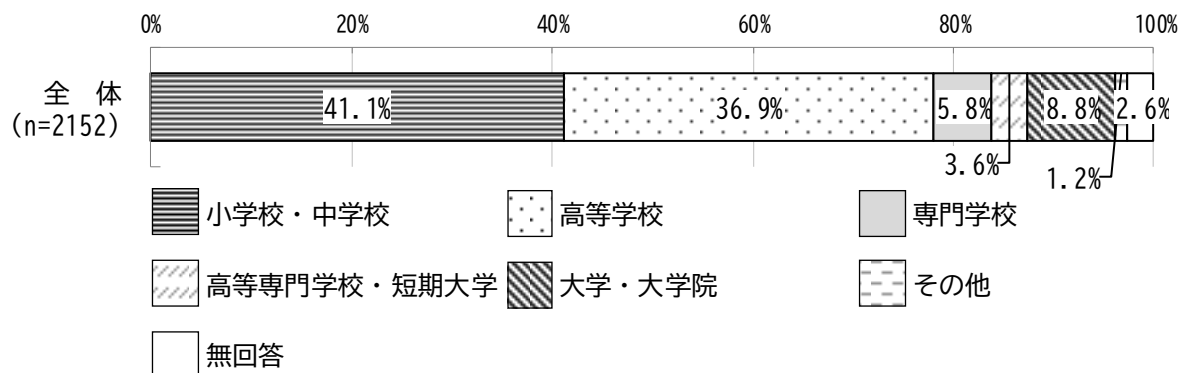
問1 (4) あなたのお住まい(住所)について、ご回答ください(数字を記入)。

日常生活圏域でみると、「南西地区」が22.9%と最も高く、「北西地区」が20.8%、「南東地区」が17.9%、「千住地区」が13.6%、「北東地区」が13.2%となっている。



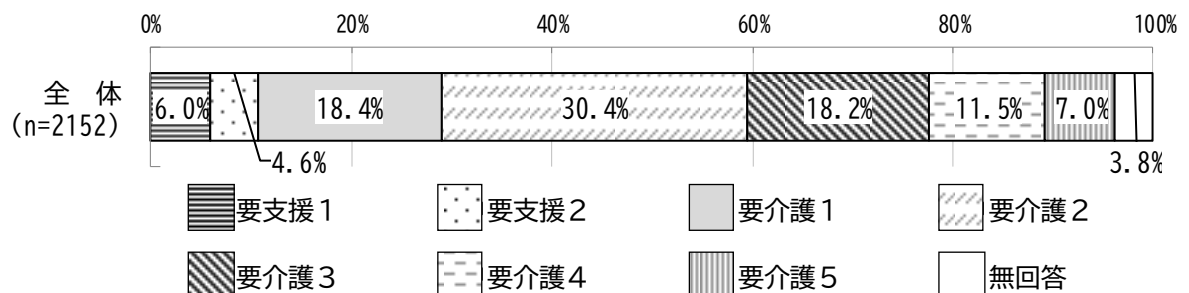
問1（5） あなたが最後に卒業（中退を含む）した学校についてご回答ください（1つに○）。

最後に卒業した学校について、「小学校・中学校」が41.1%と最も高く、「高等学校」が36.9%、「大学・大学院」が8.8%、「専門学校」が5.8%、「高等専門学校・短期大学」が3.6%となっている。



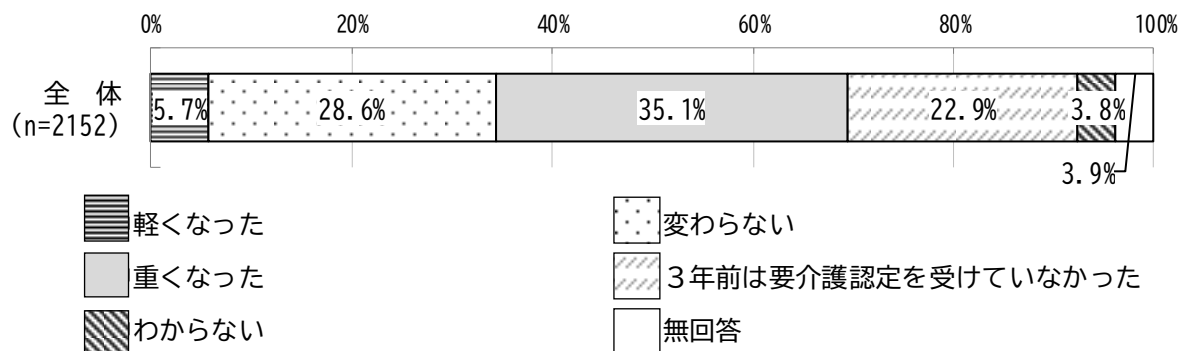
問1（6） あなたの現在の要介護度はどれですか（1つに○）。

現在の要介護度は、「要介護2」が30.4%と最も高く、「要介護1」が18.4%、「要介護3」が18.2%、「要介護4」が11.5%、「要介護5」が7.0%、「要支援1」が6.0%、「要支援2」が4.6%となっている。



問1（7） 3年前と比べて、介護度はどうなりましたか（1つに○）。

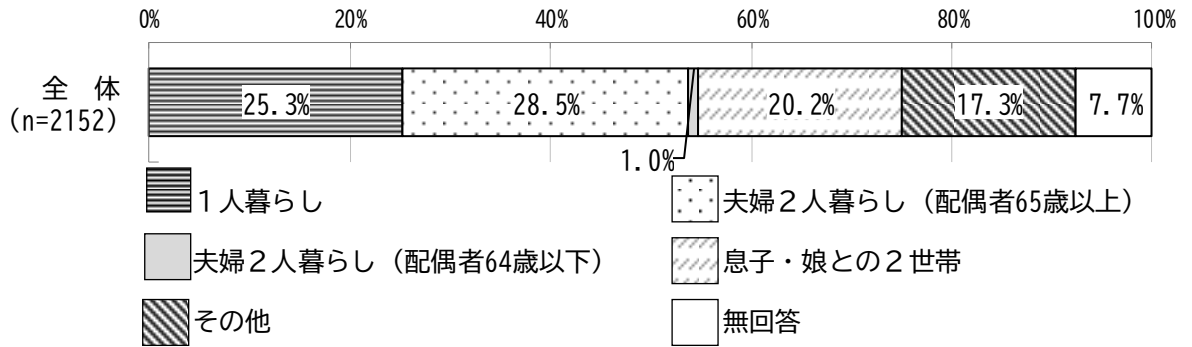
3年前と比べた介護度について、「重くなった」が35.1%と最も高く、「変わらない」が28.6%、「3年前は要介護認定を受けていなかった」が22.9%、「軽くなった」が5.7%、「わからない」が3.8%となっている。



(2) あなたのご家族や生活状況について

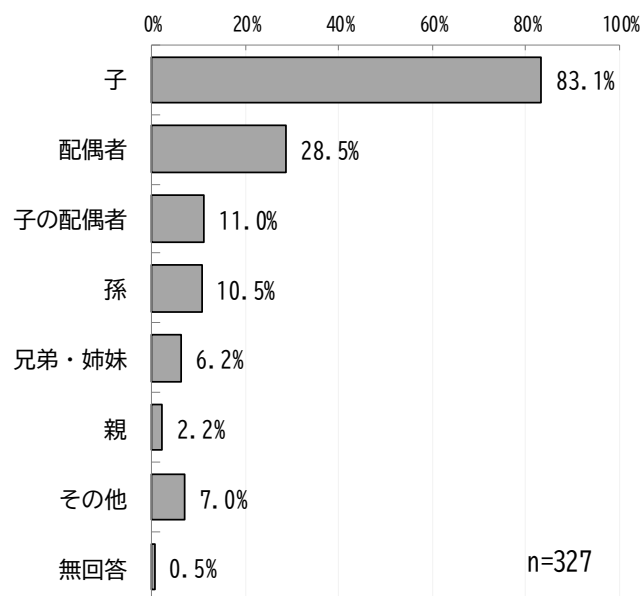
問2 (1) 家族構成をお教えてください (1つに○)。

家族構成について、「夫婦2人暮らし (配偶者 65 歳以上)」が 28.5%と最も高く、「1人暮らし」が 25.3%、「息子・娘との2世帯」が 20.2%、「夫婦2人暮らし (配偶者 64 歳以下)」が 1.0%となっている。



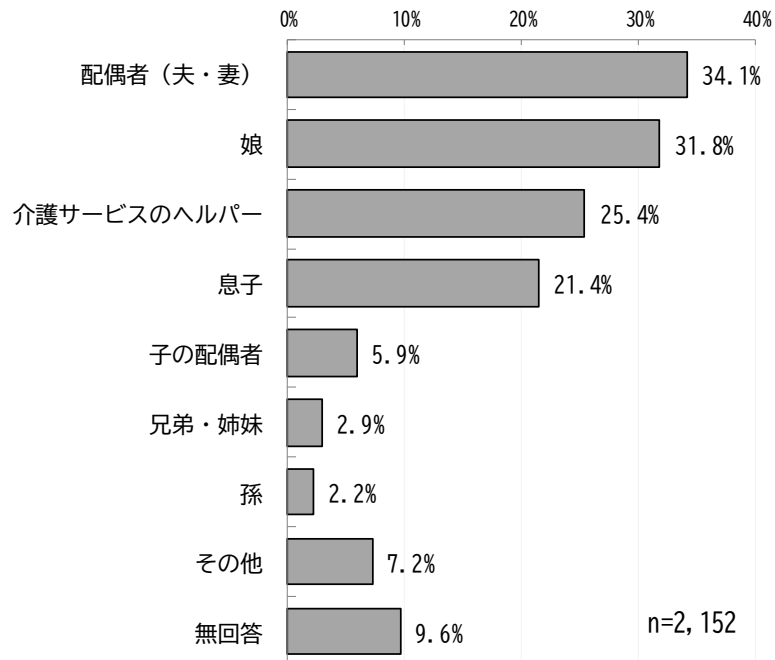
問2 (1) ① あなたと一緒に住まいのご家族はどなたですか (いくつでも○)。

家族構成で「その他」と回答した方の同居している家族について、「子」が 83.1%と最も高く、「配偶者 (夫または妻)」が 28.5%、「子の配偶者」が 11.0%、「孫」が 10.5%、「兄弟姉妹」が 6.2%、「親」が 2.2%となっている。



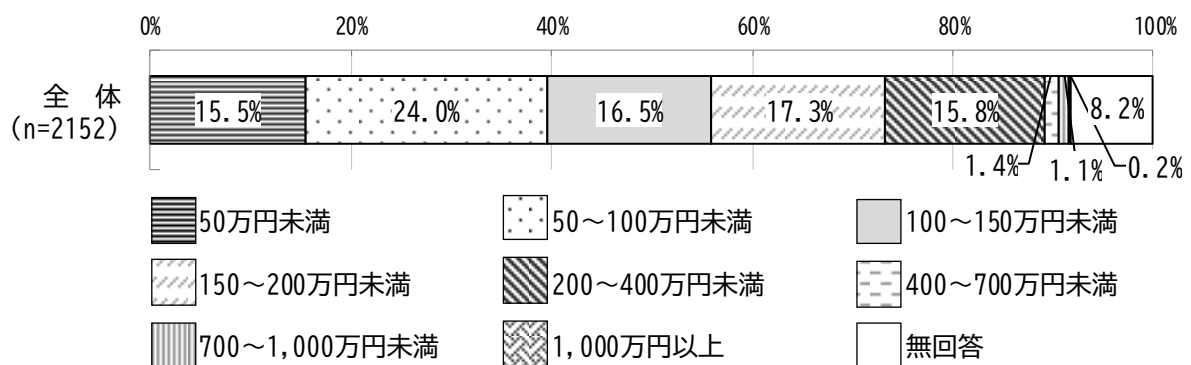
問2（2） 主にどなたの介護、介助を受けていますか（いくつでも○）。

主に介護している方について、「配偶者（夫・妻）」が34.1%と最も高く、「娘」が31.8%、「介護サービスのヘルパー」が25.4%、「息子」が21.4%、「子の配偶者」が5.9%、「兄弟・姉妹」が2.9%、「孫」が2.2%となっている。



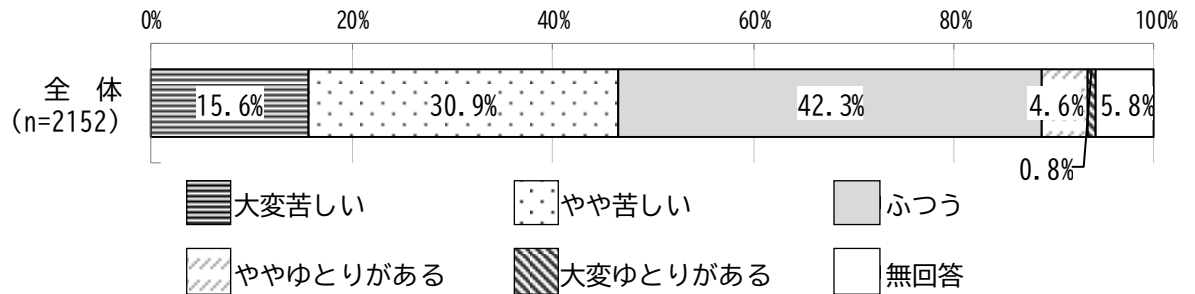
問2（3） あなたの現在の年間収入はどのくらいですか（1つに○）。

現在の年収について、「50～100万円未満」が24.0%と最も高く、「150～200万円未満」が17.3%、「100～150万円未満」が16.5%、「200～400万円未満」が15.8%、「50万円未満」が15.5%、「400～700万円未満」が1.4%、「700～1,000万円未満」が1.1%、「1,000万円以上」が0.2%となっている。



問2（4） 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（1つに○）。

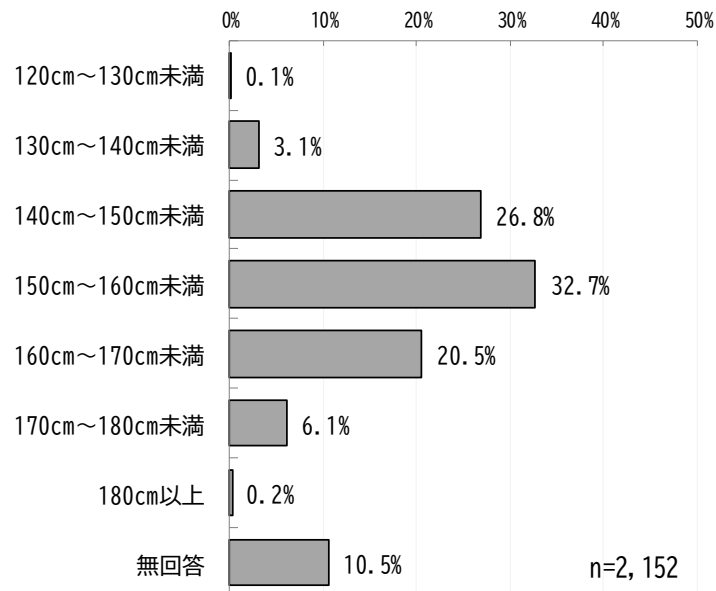
現在の暮らしの経済的な状況について、「ふつう」が42.3%と最も高く、「やや苦しい」が30.9%、「大変苦しい」が15.6%、「ややゆとりがある」が4.6%、「大変ゆとりがある」が0.8%となっている。



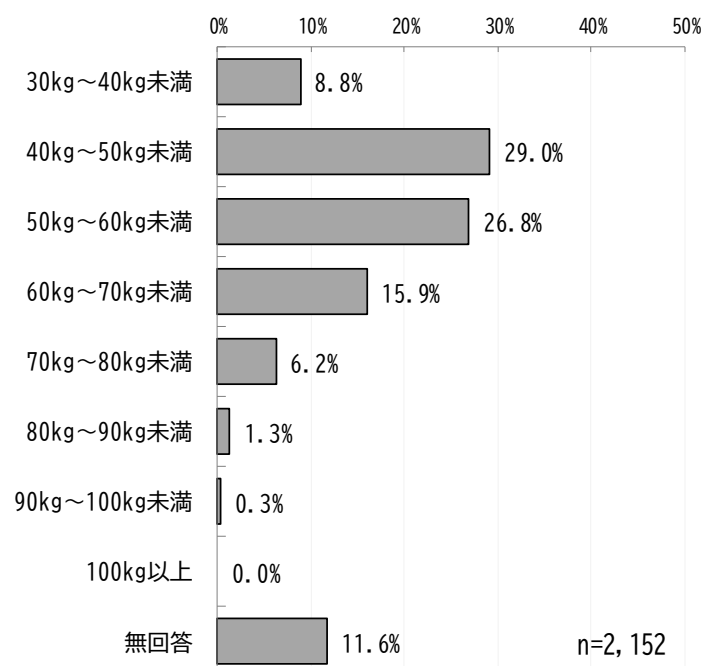
(3) 食べることについて

問3 (1) 身長・体重を教えてください(数字を記入)。

現在の身長について、「150cm～160cm 未満」が32.7%と最も高く、「140cm～150cm 未満」が26.8%、「160cm～170cm 未満」が20.5%、「170cm～180cm 未満」が6.1%、「130cm～140cm 未満」が3.1%、「180cm 以上」が0.2%、「120～130cm 未満」が0.1%となっている。

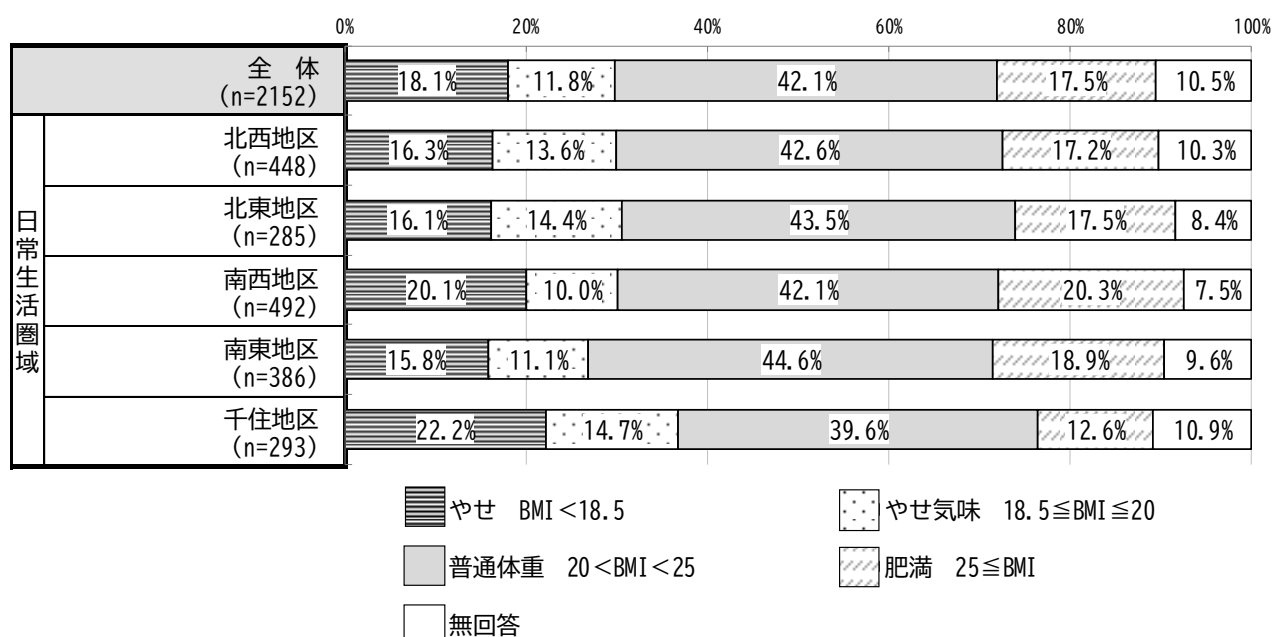


現在の体重について、「40kg～50kg 未満」が29.0%と最も高く、「50kg～60kg 未満」が26.8%、「60kg～70kg 未満」が15.9%、「30kg～40kg 未満」が8.8%、「70kg～80kg 未満」が6.2%、「80kg～90kg 未満」が1.3%、「90kg～100kg 未満」が0.3%、「100kg 以上」が0.0%となっている。



BMIについて、足立区全体では、「普通体重」が42.1%と最も高く、「肥満」が17.5%、「やせ」が18.1%、「やせ気味」が11.8%となっている。

日常生活圏域別にみると、「やせ」「やせ気味」の合計では、南東地区が低くなっている。



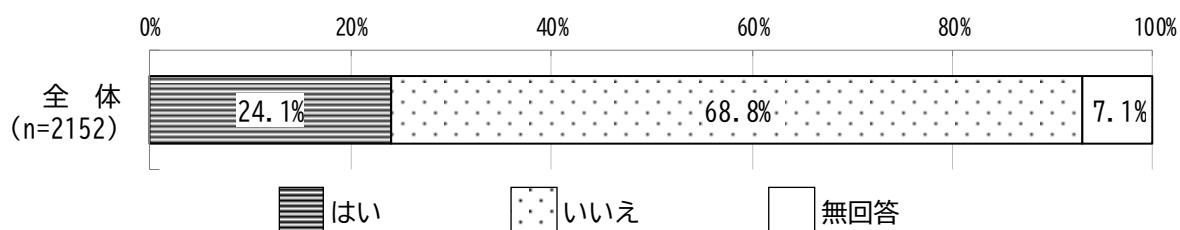
BMI (Body Mass Index) とは体格を表す指標。肥満や低体重(やせ)の判定に用い、 $[\text{体重 (kg)}] \div [\text{身長 (m)}^2]$ で求める。

本設問では身長と体重の回答からBMIを求め、その値を国(厚生労働省)の基準を元に判定を区分している。

判定基準はBMI < 18.5 を「やせ」、18.5 ≤ BMI ≤ 20 を「やせ気味」、20 < BMI < 25 を「普通体重」、25 ≤ BMI を「肥満」とする。

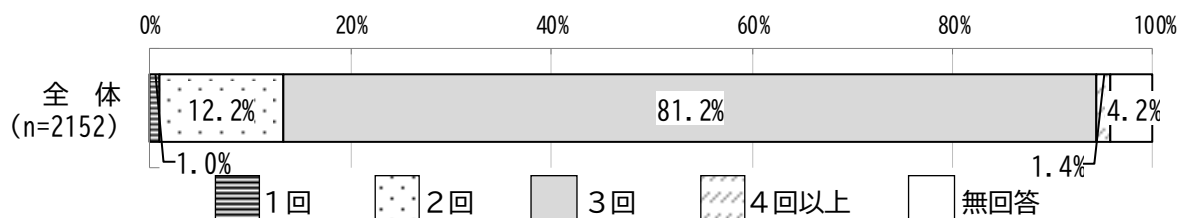
問3（2） 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか（1つに○）。

6か月間で2～3kg以上の体重減少の有無について、「はい」が24.1%、「いいえ」が68.8%となっている。



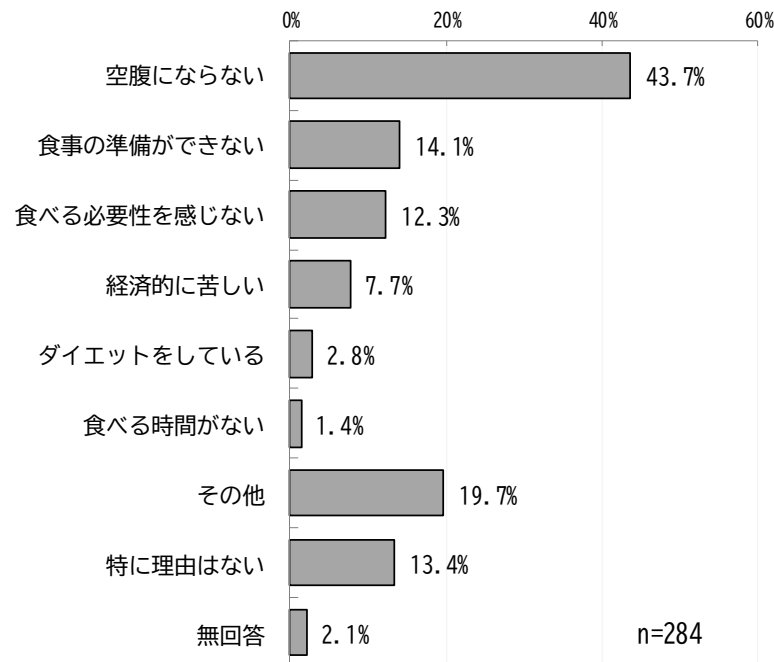
問3（3） 食事は1日何回食べますか（1つに○）。

1日の食事の回数について、「3回」が81.2%と最も高く、「2回」が12.2%、「4回以上」が1.4%、「1回」が1.0%となっている。



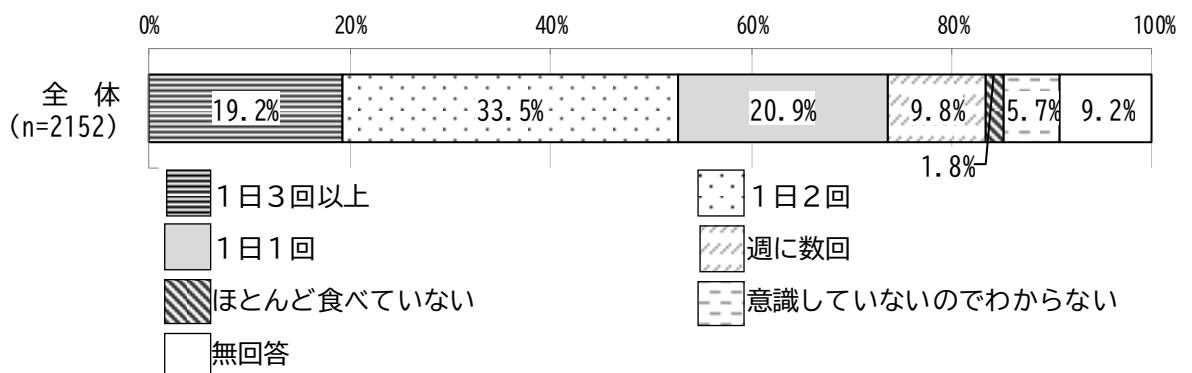
問3 (3) ① 食事を1日3回食べない理由は何ですか (いくつでも○)。

1日の食事の回数が「1回」または「2回」と回答した方の、食事を1日3回とらない理由について、「空腹にならない」が43.7%と最も高く、「食事の準備ができない」が14.1%、「食べる必要性を感じない」が12.3%、「経済的に苦しい」が7.7%、「ダイエットをしている」が2.8%、「食べる時間がない」が1.4%となっている。また「特に理由はない」が13.4%となっている。



問3 (4) たんぱく質を多く含む食品 (肉・魚・卵・大豆製品の1種類以上) をどのくらいの頻度で食べていますか (1つに○)。

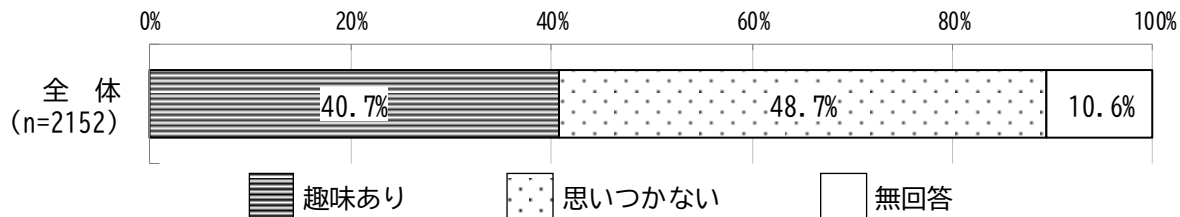
たんぱく質を多く含む食品を食べる頻度について、「1日2回」が33.5%と最も高く、「1日1回」が20.9%、「1日3回以上」が19.2%、「週に数回」が9.8%、「ほとんど食べていない」が1.8%となっている。



(4) 毎日の生活について

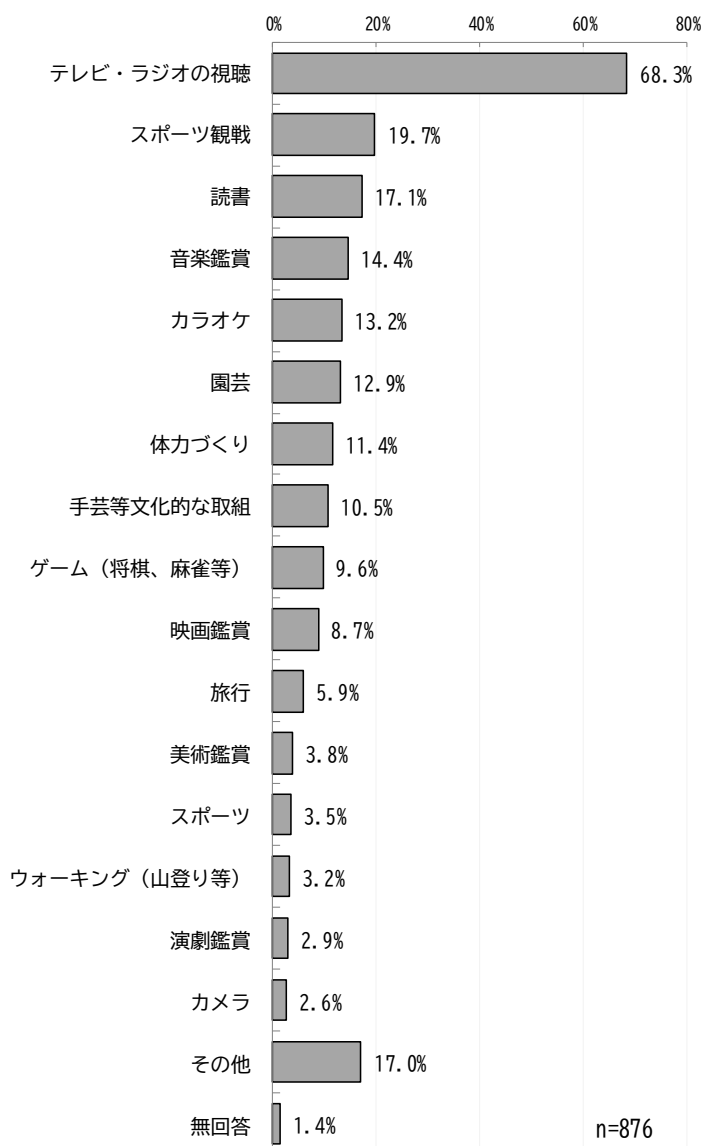
問4 (1) 趣味はありますか (1つに○)。

趣味について、「趣味あり」が40.7%、「思いつかない」が48.7%となっている。



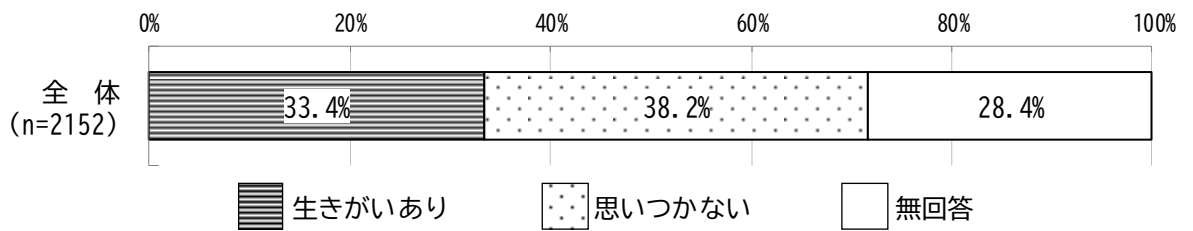
問4 (1) ① どのようなことを趣味にしていますか (いくつでも○)。

「趣味あり」と回答した方の趣味の内容について、「テレビ・ラジオの視聴」が68.3%と最も高く、「スポーツ観戦」が19.7%、「読書」が17.1%、「音楽鑑賞」が14.4%、「カラオケ」が13.2%、「園芸」が12.9%、「体力づくり」が11.4%、「手芸等文化的な取組」が10.5%、「ゲーム(将棋、麻雀等)」が9.6%、「映画鑑賞」が8.7%、「旅行」が5.9%、「美術鑑賞」が3.8%、「スポーツ」が3.5%、「ウォーキング(山登り等)」が3.2%、「演劇鑑賞」が2.9%、「カメラ」が2.6%となっている。



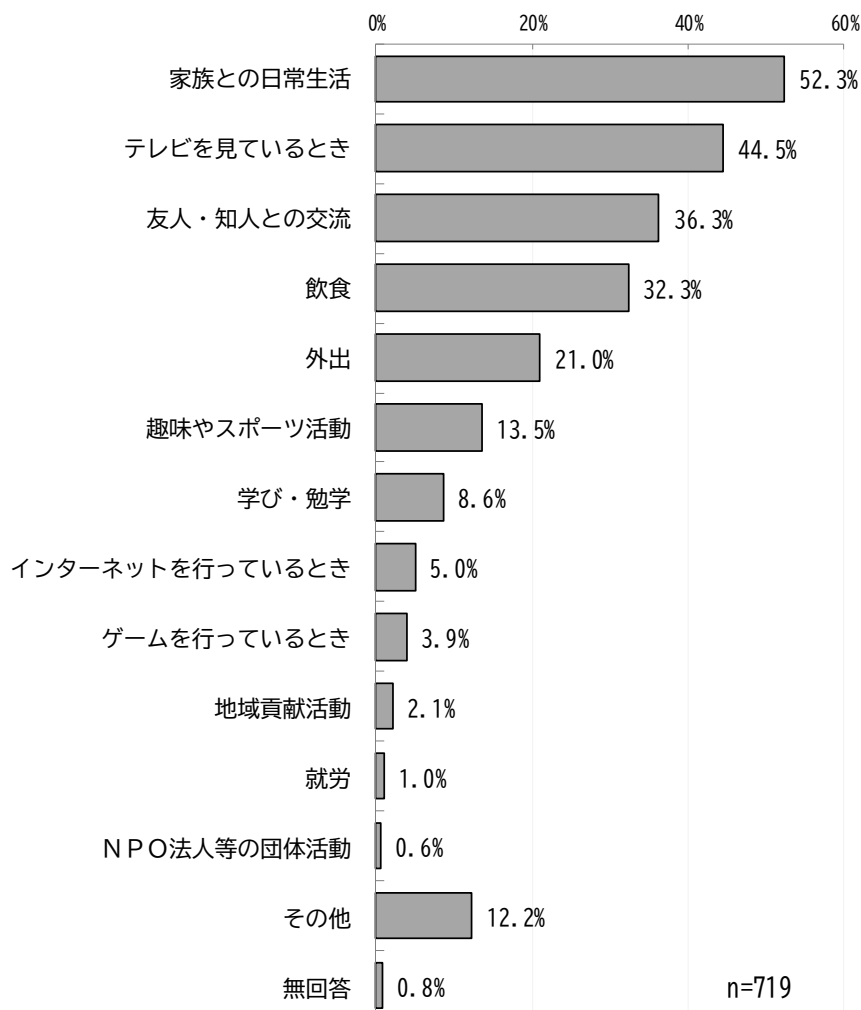
問4 (2) 生きがいがありますか (1つに○)。

生きがいについて、「生きがいあり」が33.4%、「思いつかない」が38.2%となっている。



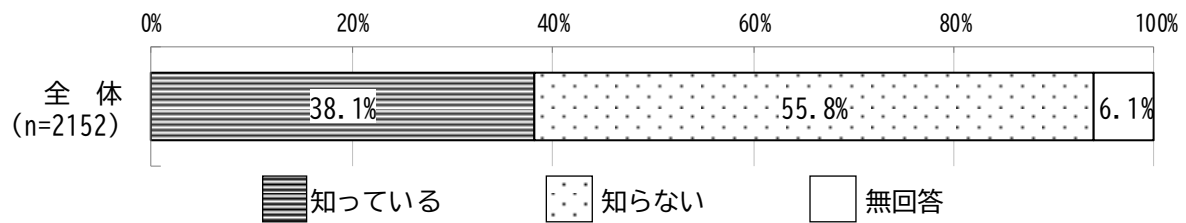
問4 (2) ① どのようなことに生きがいを感じますか (いくつでも○)。

「生きがいあり」と回答した方の生きがいの内容について、「家族との日常生活」が52.3%と最も高く、「テレビを見ているとき」が44.5%、「友人・知人との交流」が36.3%、「飲食」が32.3%、「外出」が21.0%、「趣味やスポーツ活動」が13.5%、「学び・勉強」が8.6%、「インターネットを行っているとき」が5.0%、「ゲームを行っているとき」が3.9%、「地域貢献活動」が2.1%、「就労」が1.0%、「NPO法人等の団体活動」が0.6%となっている。



問4（3） 消費者被害にあったときの相談先として、「足立区消費者センター」がありますが、ご存知ですか（1つに○）。

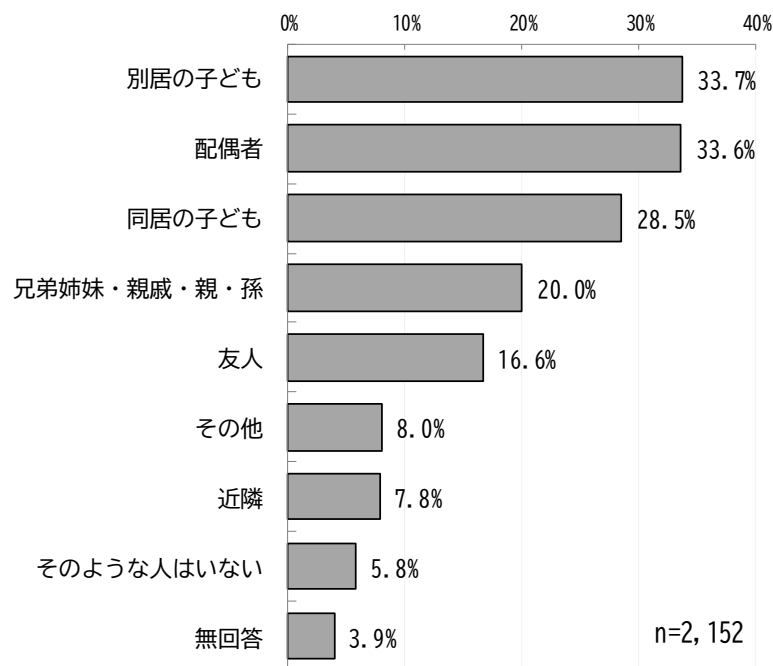
消費者被害の相談先としての「足立区消費者センター」の存在について、「知っている」が38.1%、「知らない」が55.8%となっている。



(5) たすけあいについて

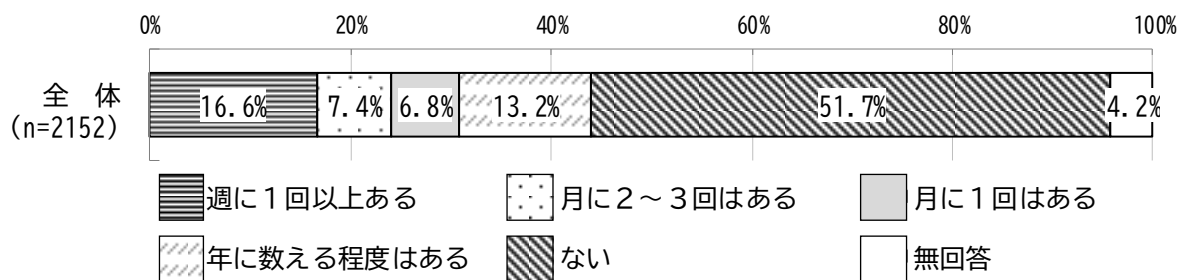
問5 (1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいますか（いくつでも○）。

心配事や愚痴を聞いてくれる人について、「別居の子ども」が 33.7%と最も高く、「配偶者」が33.6%、「同居の子ども」が28.5%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が20.0%、「友人」が16.6%、「近隣」が7.8%となっている。また「そのような人はいない」が5.8%となっている。



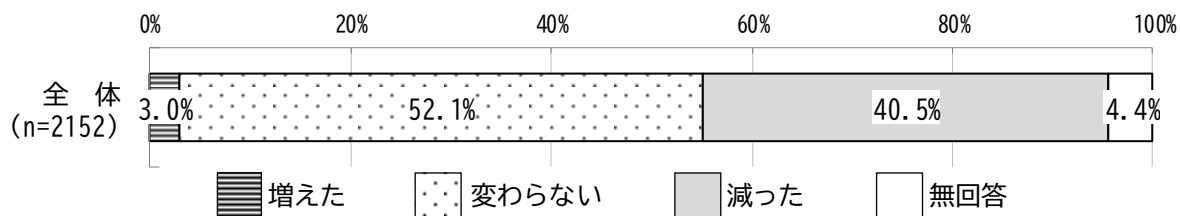
問5（2） 地域とのつながり（近隣者等による声掛けや地域住民との交流会への参加等）はありますか（1つに○）。

地域とのつながりについて、「ない」が51.7%と最も高く、「週に1回以上ある」が16.6%、「年に数える程度はある」が13.2%、「月に2～3回はある」が7.4%、「月に1回はある」が6.8%となっている。



問5（3） 3年前の2022年と比べて、地域とのつながりの回数は変わりましたか（1つに○）。

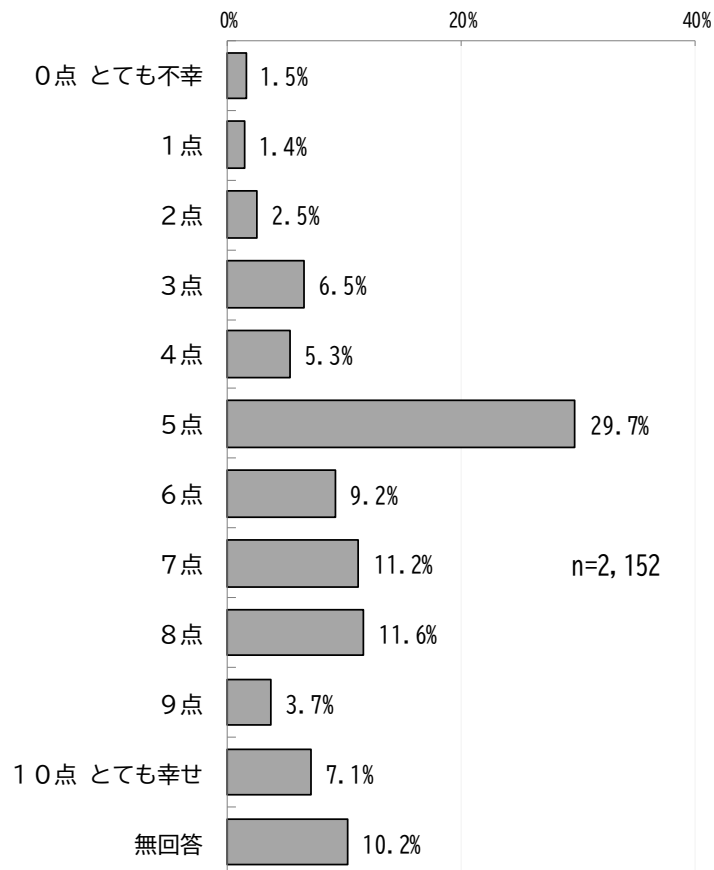
地域とのつながりの回数について、以前に比べて「増えた」が3.0%、「変わらない」が52.1%、「減った」が40.5%となっている。



(6) 健康について

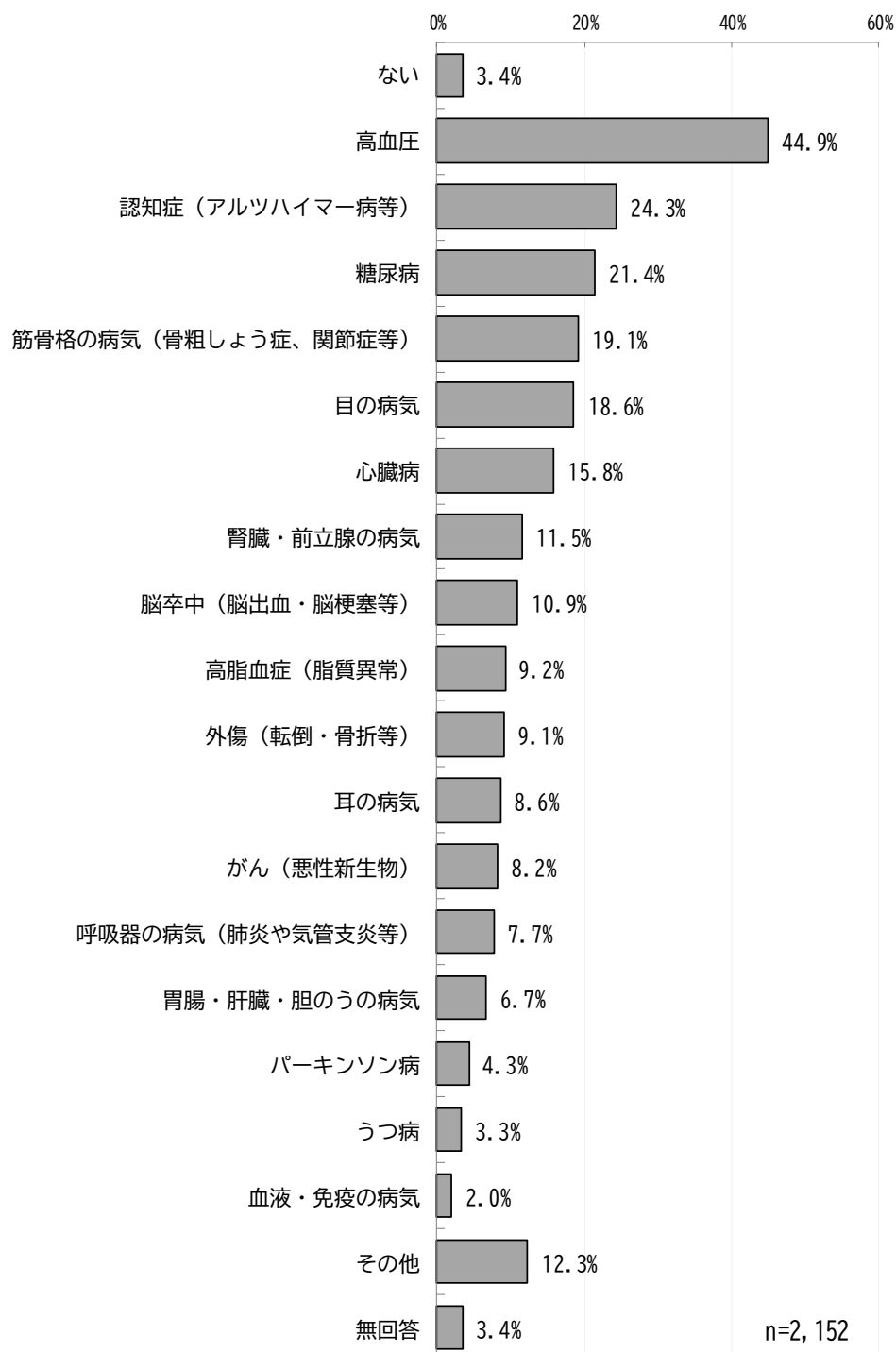
問6 (1) あなたは、現在どの程度幸せですか（当てはまる点数1つに○）。（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください。）

現在の幸福度について、「5点」が29.7%と最も高く、「8点」が11.6%、「7点」が11.2%、「6点」が9.2%、「10点（とても幸せ）」が7.1%、「3点」が6.5%、「4点」が5.3%、「9点」が3.7%、「2点」が2.5%、「0点（とても不幸）」が1.5%、「1点」が1.4%となっている。7点以上は、33.6%となっている。



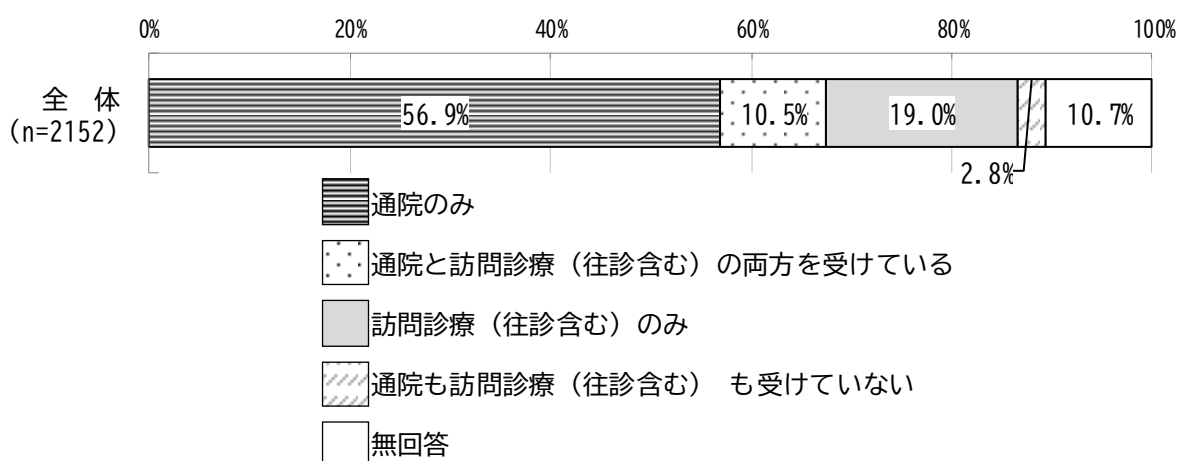
問6（2） 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（いくつでも○）。

現在治療中、または後遺症のある病気について、「高血圧」が44.9%と最も高く、「認知症（アルツハイマー病等）」が24.3%、「糖尿病」が21.4%、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が19.1%、「目の病気」が18.6%、「心臓病」が15.8%、「腎臓・前立腺の病気」が11.5%、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が10.9%、「高脂血症（脂質異常）」が9.2%、「外傷（転倒・骨折等）」が9.1%、「耳の病気」が8.6%、「がん（悪性新生物）」が8.2%、「呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）」が7.7%、「胃腸・肝臓・胆のうの病気」が6.7%、「パーキンソン病」が4.3%、「ない」が3.4%、「うつ病」が3.3%、「血液・免疫の病気」が2.0%となっている。



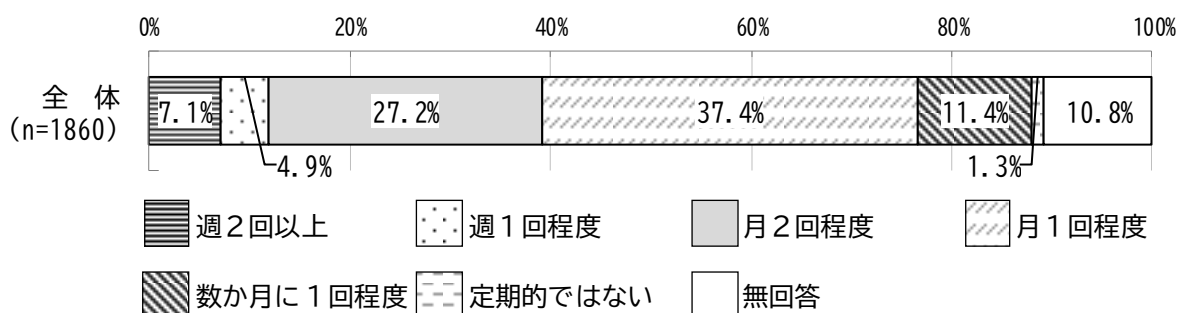
問6（3） あなたは現在、通院や訪問診療（往診含む）を受けていますか（1つに○）。

現在の通院や訪問診療などの診療状況について、「通院のみ」が56.9%と最も高く、「訪問診療（往診含む）のみ」が19.0%、「通院と訪問診療（往診含む）の両方を受けている」が10.5%、「通院も訪問診療（往診含む）も受けていない」が2.8%となっている。



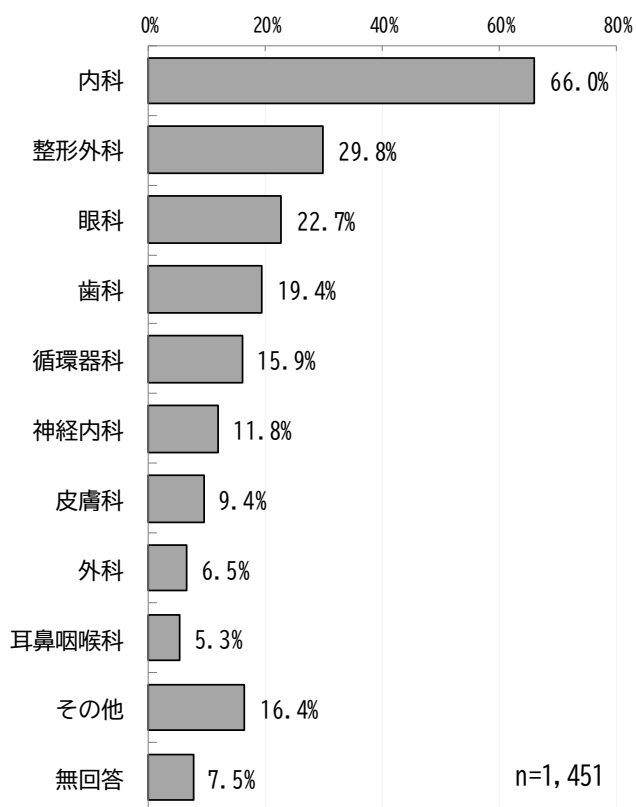
問6（3）① あなたは、医療機関（病院・医院・診療所）に、どのくらいの頻度で通院や訪問診療（往診含む）を受けていますか（1つに○）。

「通院のみ」「通院と訪問診療」「訪問診療のみ」と回答した方の、医療機関の通院や訪問診療の頻度について、「月1回」が37.4%と最も高く、「月2回程度」が27.2%、「数か月に1回程度」が11.4%、「週2回以上」が7.1%、「週1回程度」が4.9%、「定期的ではない」が1.3%となっている。



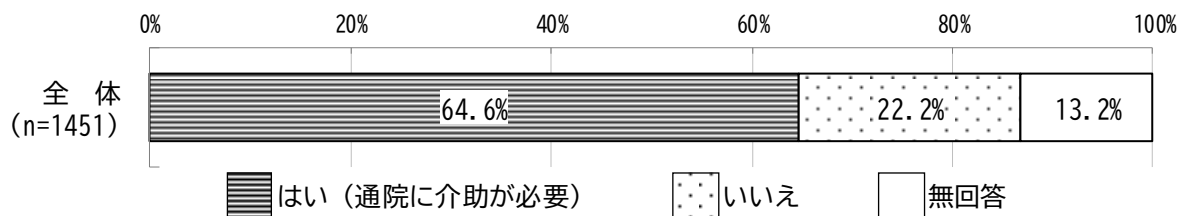
問6(3)② 通院で受診している診療科目は何ですか(いくつでも○)。

「通院のみ」「通院と訪問診療」と回答した方の、通院で受診している診療科目について、「内科」が66.0%と最も高く、「整形外科」が29.8%、「眼科」が22.7%、「歯科」が19.4%、「循環器科」が15.9%、「神経内科」が11.8%、「皮膚科」が9.4%、「外科」が6.5%、「耳鼻咽喉科」が5.3%となっている。



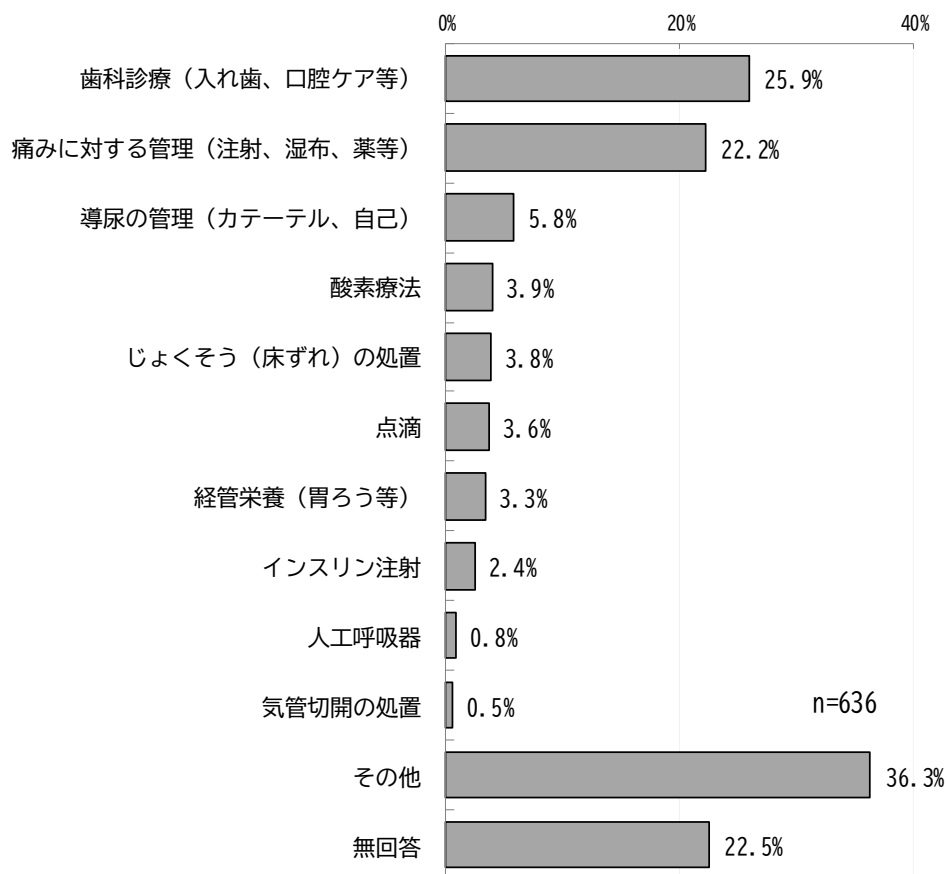
問6(3)③ 通院に介助が必要ですか(1つに○)。

「通院のみ」「通院と訪問診療」と回答した方の、通院における介助が必要かについて、「はい(通院に介助が必要)」が64.6%、「いいえ」が22.2%となっている。



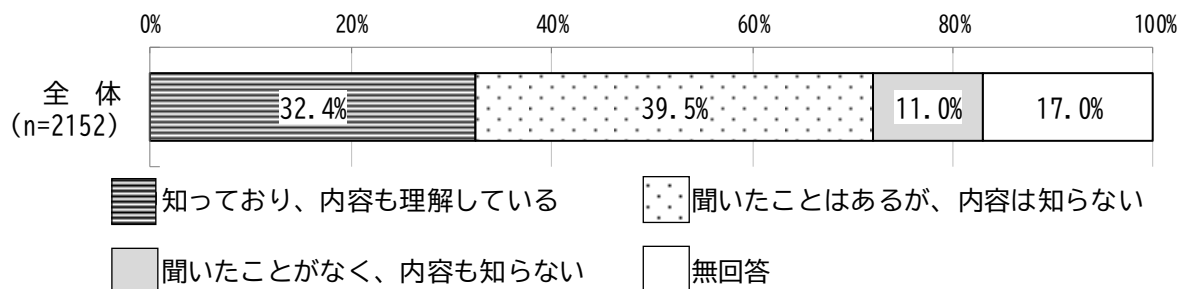
問6（3）④ 訪問診療（往診含む）で受診しているものは、どのような内容ですか（いくつでも○）。

「通院と訪問診療」「訪問診療のみ」と回答した方の、訪問診療（往診含む）で受診している内容について、「その他」を除くと、「歯科診療（入れ歯、口腔ケア等）」が25.9%と最も高く、「痛みに対する管理（注射、湿布、薬等）」が22.2%、「導尿の管理（カテーテル、自己）」が5.8%、「酸素療法」が3.9%、「じょくそう（床ずれ）の処置」が3.8%、「点滴」が3.6%、「経管栄養（胃ろう等）」が3.3%、「インスリン注射」が2.4%、「人工呼吸器」が0.8%、「気管切開の処置」が0.5%となっている。



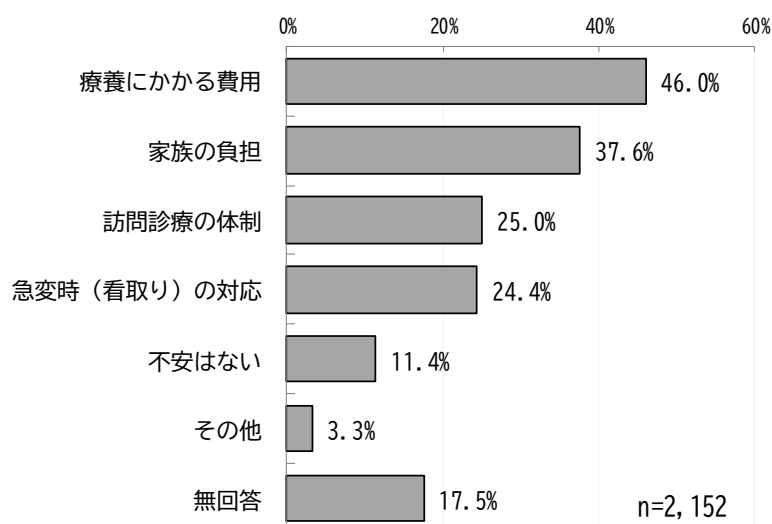
問6（4） 「在宅療養」とは、通院が困難な場合などでも、訪問型の医療や介護サービスを利用しながら、住み慣れたご自宅や地域（在宅施設）で暮らし続けることです。あなたは、「在宅療養」について元々ご存知でしたか（1つに○）。

「在宅療養」の認知度について、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が39.5%と最も高く、「知っており、内容も理解している」が32.4%、「聞いたことがなく、内容も知らない」が11.0%となっている。



問6（5） あなたが在宅療養を利用する場合に、不安に思うことは何ですか（いくつでも○）。

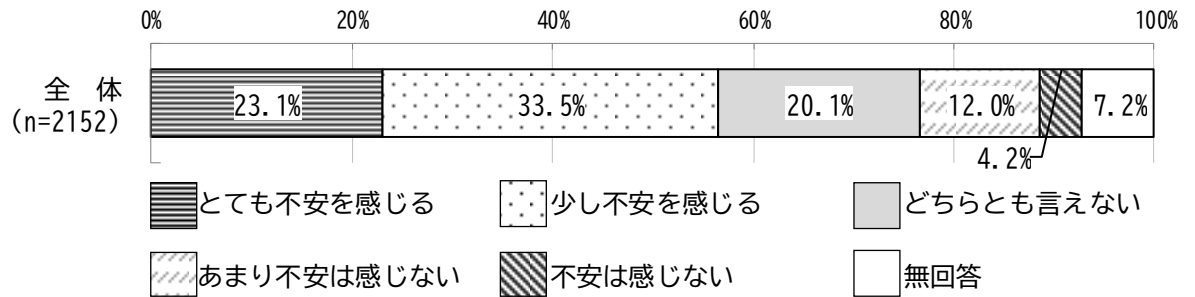
在宅療養を利用する場合に不安なことについて、「療養にかかる費用」が46.0%、家族の負担」が37.6%、「訪問診療の体制」が25.0%、「急変時（看取り）の対応」が24.4%となっている。また「不安がない」が11.4%となっている。



(7) 将来の生活について

問7(1) あなたは、将来の生活についてどのように感じていますか(1つに○)。

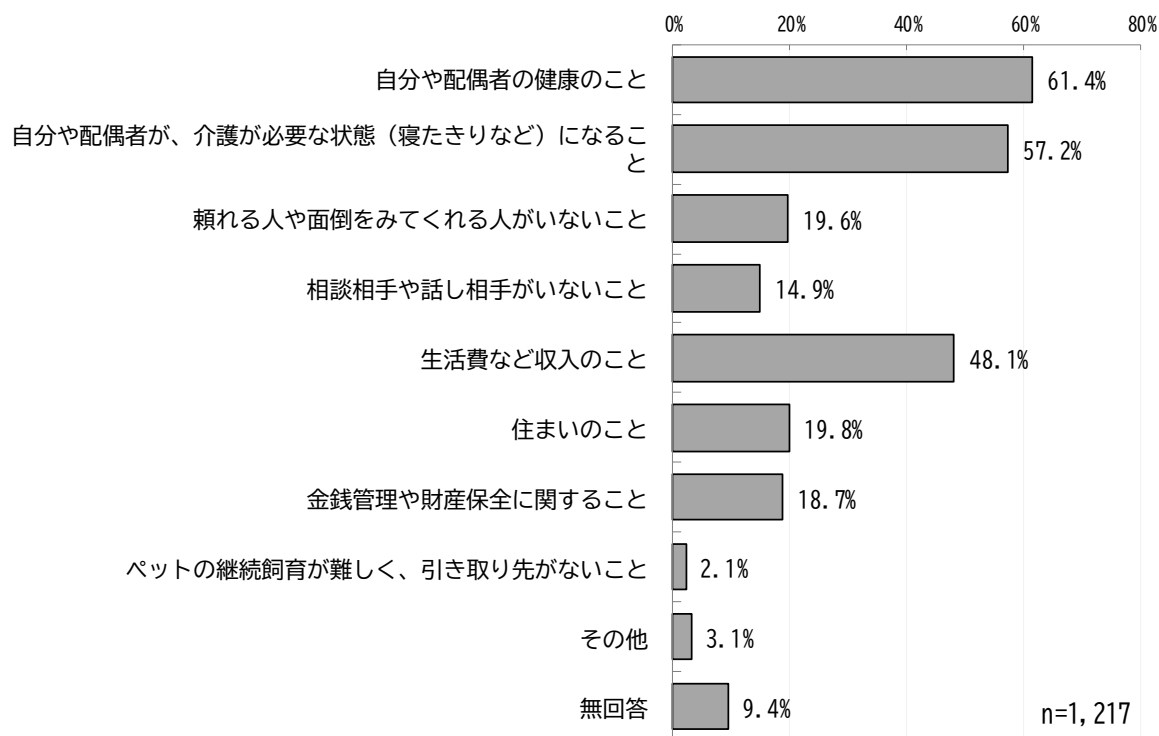
今後の生活について、「少し不安を感じる」が33.5%と最も高く、「とても不安を感じる」が23.1%、「どちらとも言えない」が20.1%、「あまり不安は感じない」が12.0%、「不安は感じない」が4.2%となっている。



問7(1)① どのようなことに不安を感じていますか（いくつでも○）。
また、どのようなことに最も不安を感じていますか（1つに○）。

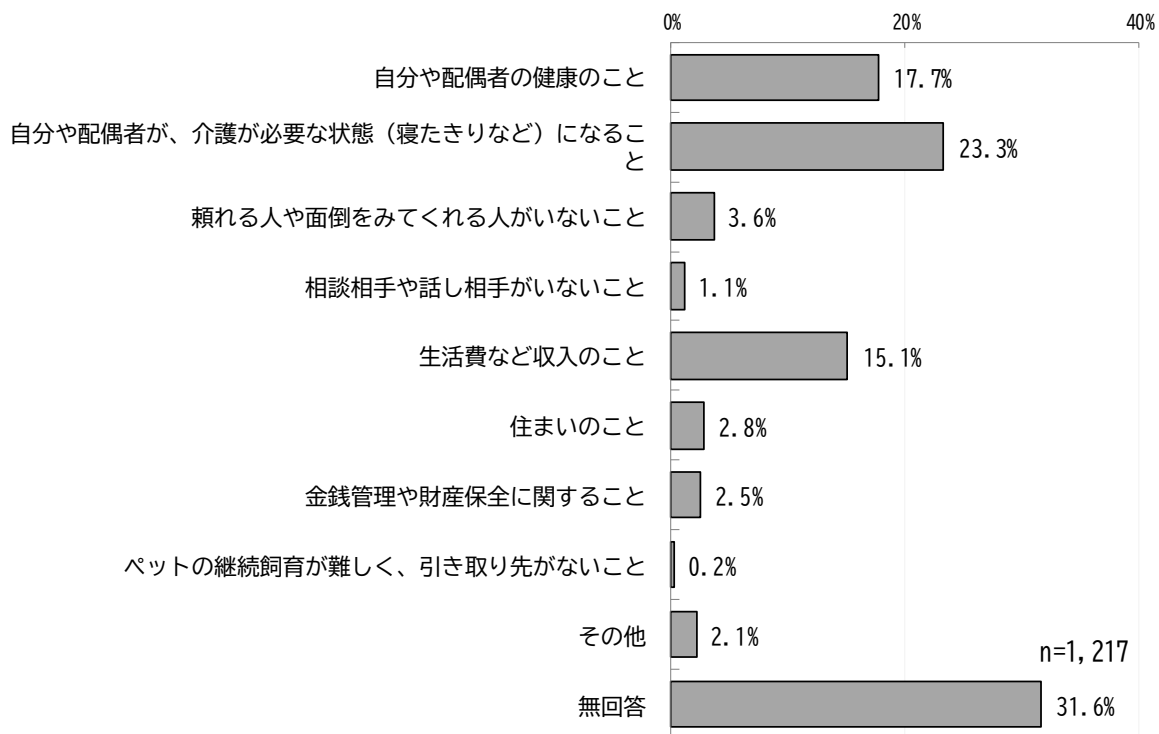
<不安を感じることに>

今後の生活について、「とても不安を感じる」または「少し不安を感じる」と回答した方の不安を感じることにについて、「自分や配偶者の健康のこと」が61.4%と最も高く、「自分や配偶者が、介護が必要な状態（寝たきりなど）になること」が57.2%、「生活費など収入のこと」が48.1%、「住まいのこと」が19.8%、「頼れる人や面倒をみてくれる人がいないこと」が19.6%、「金銭管理や財産保全に関すること」が18.7%、「相談相手や話し相手がないこと」が14.9%、「ペットの継続飼育が難しく、引き取り先がないこと」が2.1%となっている。



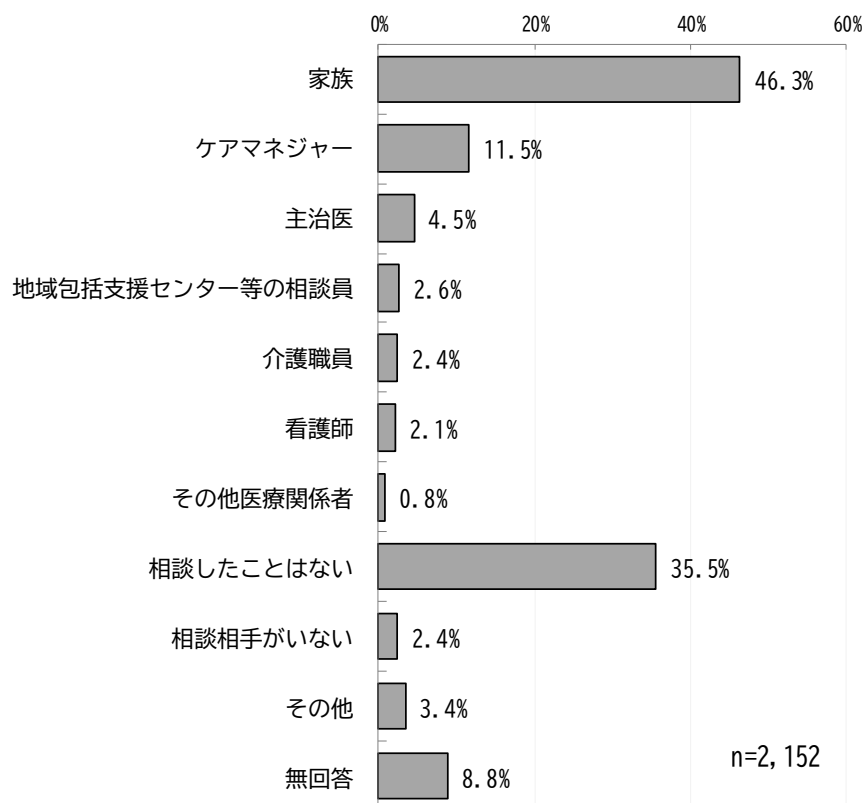
<最も不安を感じること>

今後の生活について、「とても不安を感じる」または「少し不安を感じる」と回答した方の不安を感じることにについて、「自分や配偶者が、介護が必要な状態（寝たきりなど）になること」が23.3%と最も高く、「自分や配偶者の健康のこと」が17.7%、「生活費など収入のこと」が15.1%、「頼れる人や面倒をみてくれる人がいないこと」が3.6%、「住まいのこと」が2.8%、「金銭管理や財産保全に関すること」が2.5%、「相談相手や話し相手がないこと」が1.1%、「ペットの継続飼育が難しく、引き取り先がないこと」が0.2%となっている。



問7（2） あなたは人生の最期について、どなたかに相談したことはありますか（いくつでも○）。

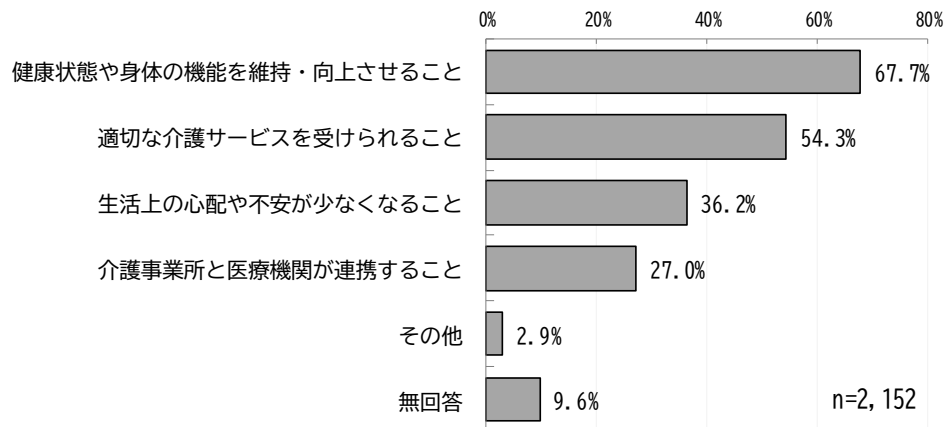
人生の最期について誰かに相談したことがあるかについて、「家族」が46.3%と最も高く、「ケアマネジャー」が11.5%、「主治医」が4.5%、「地域包括支援センター等の相談員」が2.6%、「介護職員」が2.4%、「看護師」が2.1%、「その他医療関係者」が0.8%となっている。また、「相談したことはない」が35.5%、「相談相手がいない」が2.4%となっている。



問7 (3) あなたは、今後も在宅生活続けるために何が必要だと思いますか。

① ご自身について (いくつでも○)。

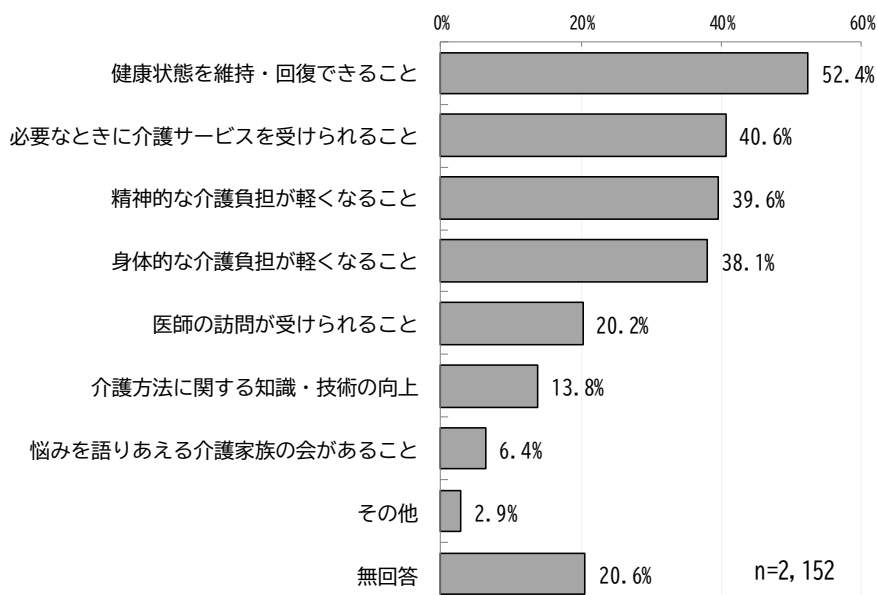
ご自身が今後も在宅生活続けるために必要だと思うことについて、「健康状態や身体の機能を維持・向上させること」が67.7%と最も高く、「適切な介護サービスを受けられること」が54.3%、「生活上の心配や不安が少なくなること」が36.2%、「介護事業所と医療機関が連携すること」が27.0%となっている。



問7 (3) あなたは、今後も在宅生活続けるために何が必要だと思いますか。

② 介護している家族の方について (いくつでも○)。

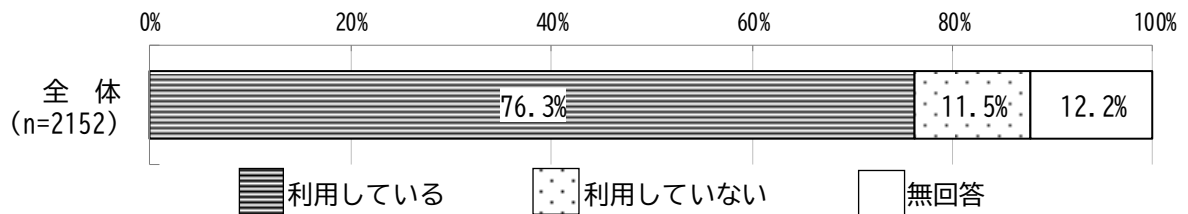
介護している家族の方が今後も在宅生活続けるために必要だと思うことについて、「健康状態を維持・回復できること」が52.4%と最も高く、「必要なときに介護サービスを受けられること」が40.6%、「精神的な介護負担が軽くなること」が39.6%、「身体的な介護負担が軽くなること」が38.1%、「医師の訪問を受けられること」が20.2%、「介護方法に関する知識・技術の向上」が13.8%、「悩みを語りあえる介護家族の会があること」が6.4%となっている。



(8) 介護について

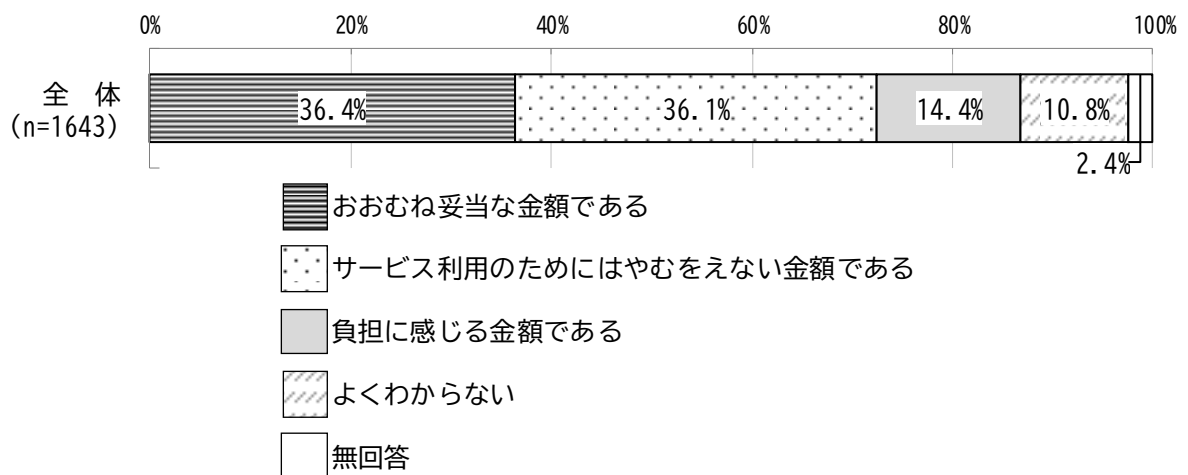
問8(1) あなたは、現在介護サービスを利用していますか(1つに○)。

介護サービスの利用状況について、「利用している」が76.3%、「利用していない」が11.5%となっている。



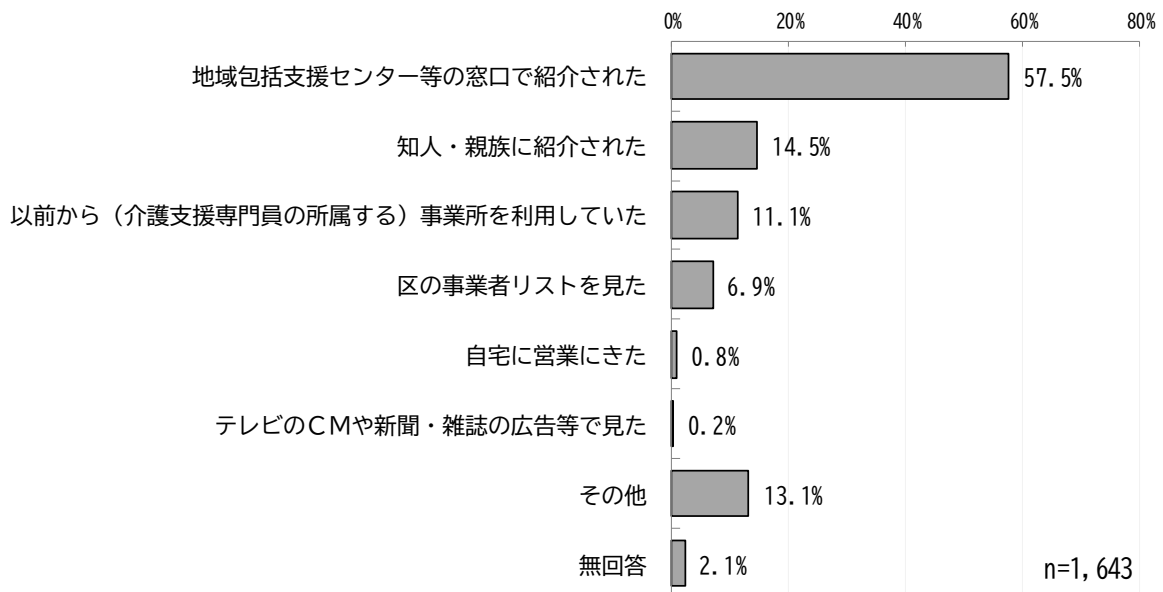
問8(1)① 介護サービスの自己負担額(サービス利用料の1割、2割または3割)について、あなたのご意見をお伺いします(1つに○)。

介護サービスを「利用している」と回答した方の、自己負担額への考えについて、「おおむね妥当な金額である」が36.4%と最も多く、「サービス利用のためにはやむをえない金額である」が36.1%、「負担に感じる金額である」が14.4%、「よくわからない」が10.8%となっている。



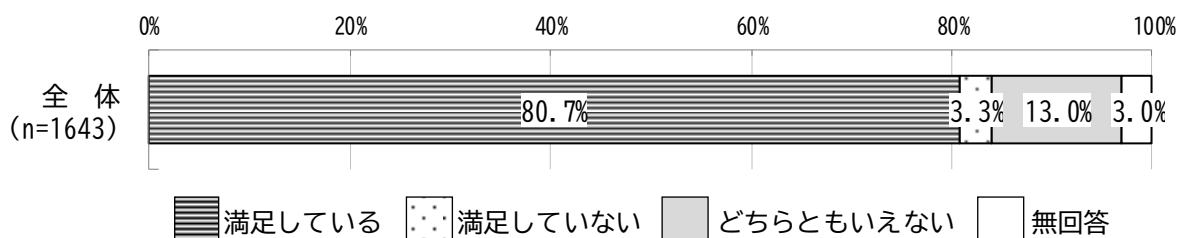
問8 (1) ② あなたは、担当の介護支援専門員（ケアマネジャー）を、どのように選びましたか（いくつでも○）。

介護サービスを「利用している」と回答した方の、担当の介護支援専門員（ケアマネジャー）の選び方について、「地域包括支援センター等の窓口で紹介された」が57.5%と最も高く、「知人・親族に紹介された」が14.5%、「以前から（介護支援専門員の所属する）事業所を利用していた」が11.1%、「区の事業者リストを見た」が6.9%、「自宅に営業にきた」が0.8%、「テレビのCMや新聞・雑誌の広告等で見た」が0.2%となっている。



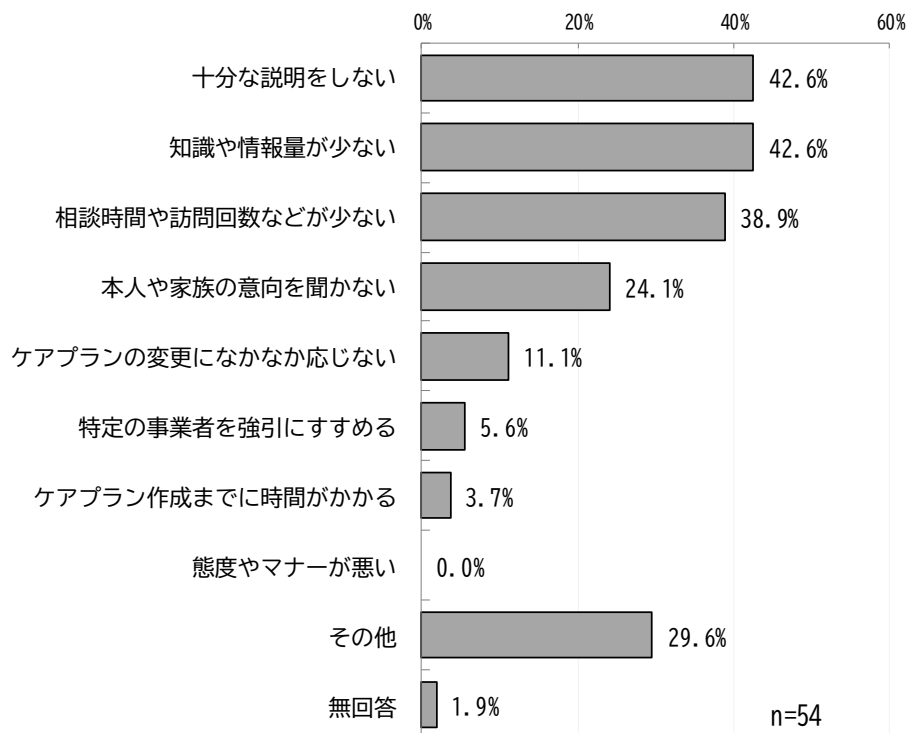
問8 (1) ③ あなたは、担当している介護支援専門員（ケアマネジャー）に満足していますか（1つに○）。

介護サービスを「利用している」と回答した方の、担当している介護支援専門員（ケアマネジャー）への満足度について、「満足している」が80.7%、「満足していない」が3.3%、「どちらともいえない」が13.0%となっている。



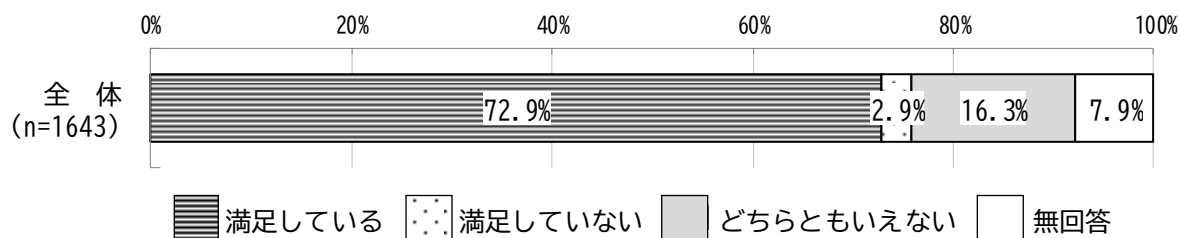
問8(1)④ 満足していない点は、どのようなことですか（いくつでも○）。

担当している介護支援専門員（ケアマネジャー）に「満足していない」と回答した方の、不満に思われる点について、「十分な説明をしない」「知識や情報量が少ない」が42.6%と最も高く、「相談時間や訪問回数などが少ない」が38.9%、「本人や家族の意向を聞かない」が24.1%、「ケアプランの変更になかなか応じない」が11.1%、「特定の事業者を強引にすすめる」が5.6%、「ケアプラン作成までに時間がかかる」が3.7%、「態度やマナーが悪い」が0.0%となっている。



問8(1)⑤ あなたは、現在利用しているサービスに満足していますか。総合的な満足度を教えてください（1つに○）。

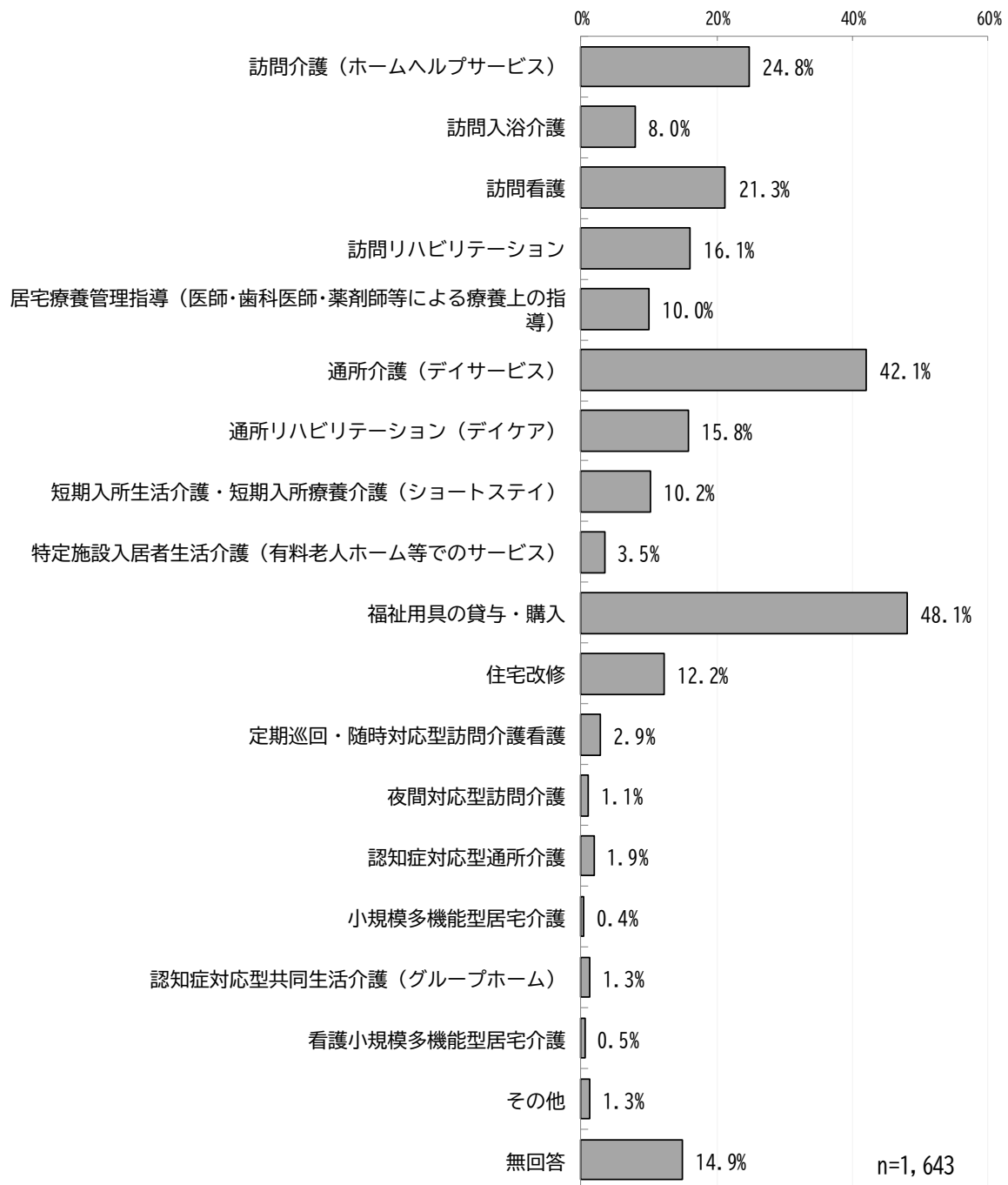
介護サービスを「利用している」と回答した方の、現在利用しているサービスへの満足度について、「満足している」が72.9%、「満足していない」が2.9%、「どちらともいえない」が16.3%となっている。



問8 (1) ⑥ 現在利用している介護保険サービスは次のうちどれですか（いくつでも○）。また、利用している介護保険サービスごとの満足度を教えてください（1つに○）。（「満足していない」に○を付けた方は、その理由もご記入ください）。

<現在利用している介護保険サービス>

介護サービスを「利用している」と回答した方の、現在利用している介護保険サービスについて、「福祉用具の貸与・購入」が48.1%と最も高く、「通所介護（デイサービス）」が42.1%、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が24.8%、「訪問看護」が21.3%、「訪問リハビリテーション」が16.1%と続いている。



第2章 調査結果

<利用している介護保険サービス別満足度>

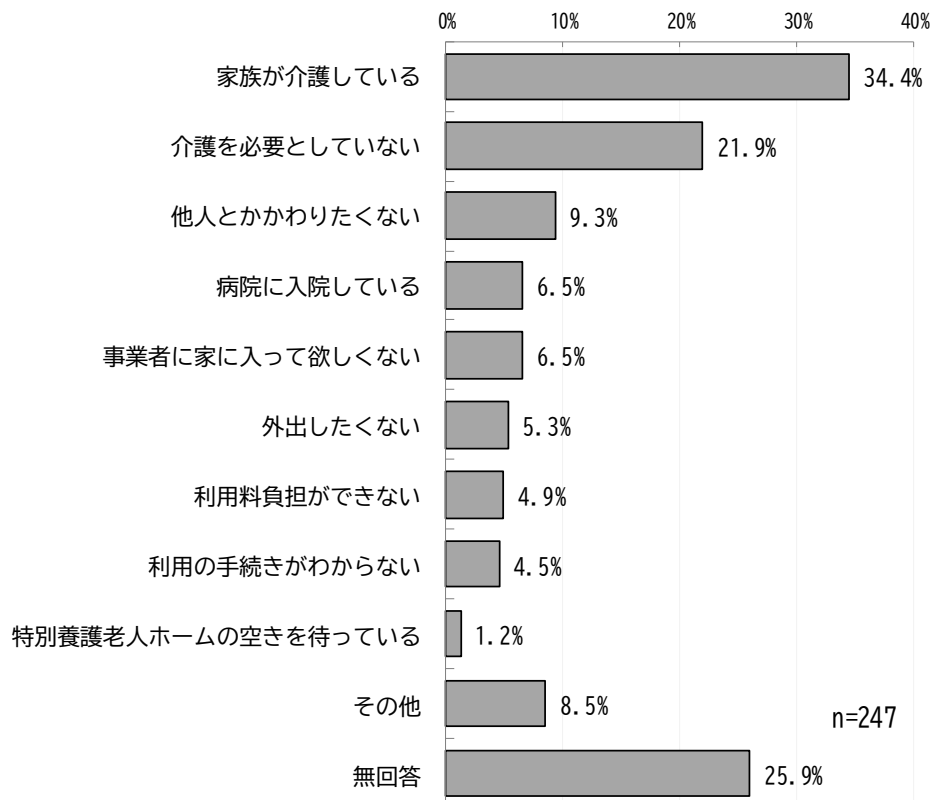
各介護保険サービスを「利用している」と回答した方の、それぞれの満足度について、「小規模多機能型居宅介護」が100.0%と最も高く、「住宅改修」が88.1%、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が83.0%、「訪問リハビリテーション」が82.3%、「福祉用具の貸与・購入」が82.0%と続いている。

(%)

	調査数	満足している	どちらともいえない	満足していない	無回答
訪問介護（ホームヘルプサービス）	407	74.2	17.7	4.2	3.9
訪問入浴介護	132	81.8	9.8	3.8	4.5
訪問看護	350	78.9	14.3	2.3	4.6
訪問リハビリテーション	265	82.3	12.1	2.3	3.4
居宅療養管理指導（医師・歯科・薬剤師等による療養上の指導）	164	78.0	13.4	4.3	4.3
通所介護（デイサービス）	692	74.3	16.5	3.6	5.6
通所リハビリテーション（デイケア）	259	73.0	19.3	3.9	3.9
短期入所生活介護・短期入所療養介護（ショートステイ）	168	67.9	23.8	4.8	3.6
特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム等でのサービス）	57	63.2	14.0	8.8	14.0
福祉用具の貸与・購入	790	82.0	10.5	1.8	5.7
住宅改修	201	88.1	5.5	3.5	3.0
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	47	83.0	10.6	0.0	6.4
夜間対応型訪問介護	18	77.8	22.2	0.0	0.0
認知症対応型通所介護	32	71.9	18.8	0.0	9.4
小規模多機能型居宅介護	6	100.0	0.0	0.0	0.0
認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	22	72.7	22.7	0.0	4.5
看護小規模多機能型居宅介護	9	77.8	11.1	0.0	11.1
その他	22	50.0	4.5	22.7	22.7

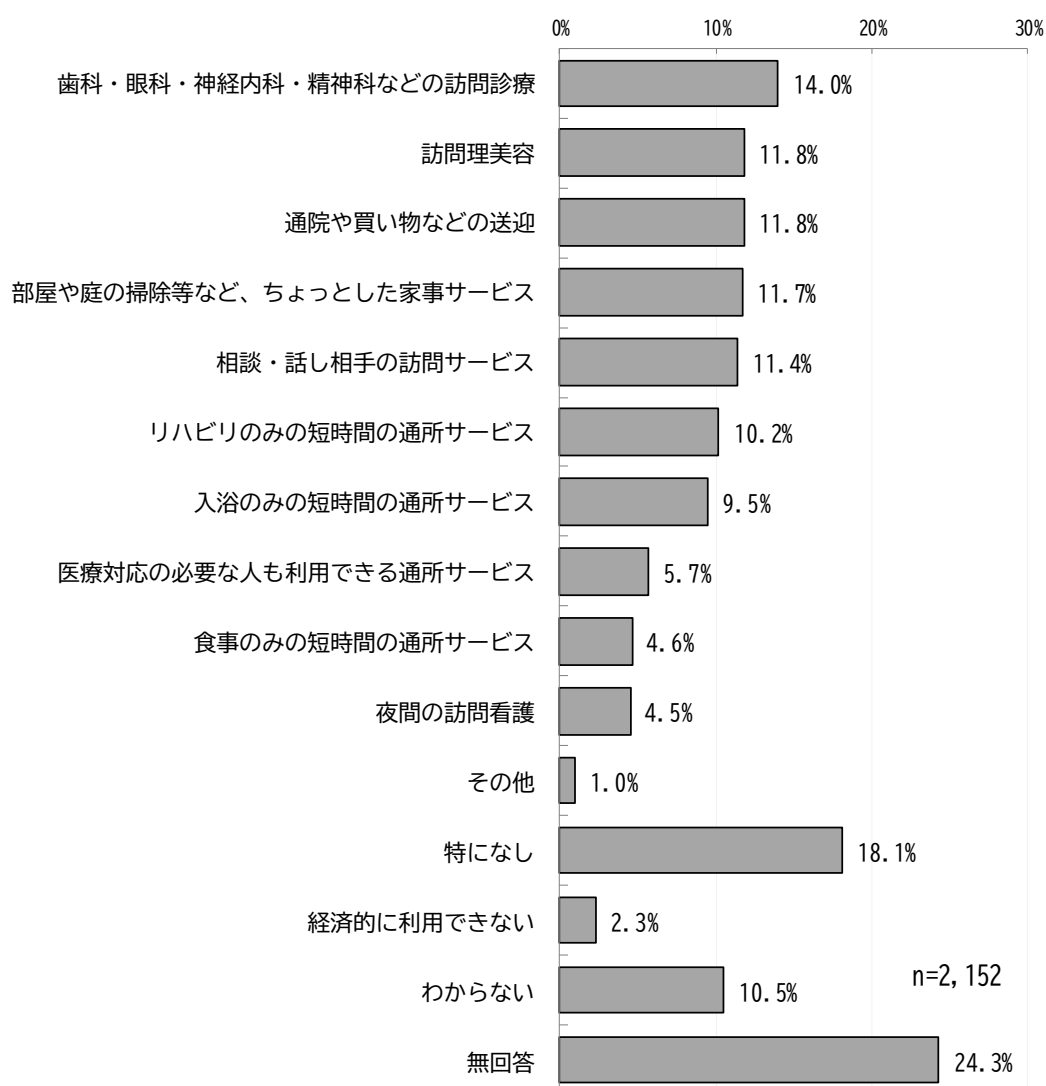
問8（1）⑦ 介護サービスを利用していない理由を、お聞かせください（いくつでも○）。

介護サービスを「利用していない」と回答した方の、介護サービスを利用していない理由として、「家族が介護している」が34.4%と最も高く、「介護を必要としていない」が21.9%、「他人とかかわりたくない」が9.3%、「病院に入院している」「事業者に入家して欲しくない」が6.5%、「外出したくない」が5.3%、「利用料負担ができない」が4.9%、「利用の手続きがわからない」が4.5%、「特別養護老人ホームの空きを待っている」が1.2%となっている。



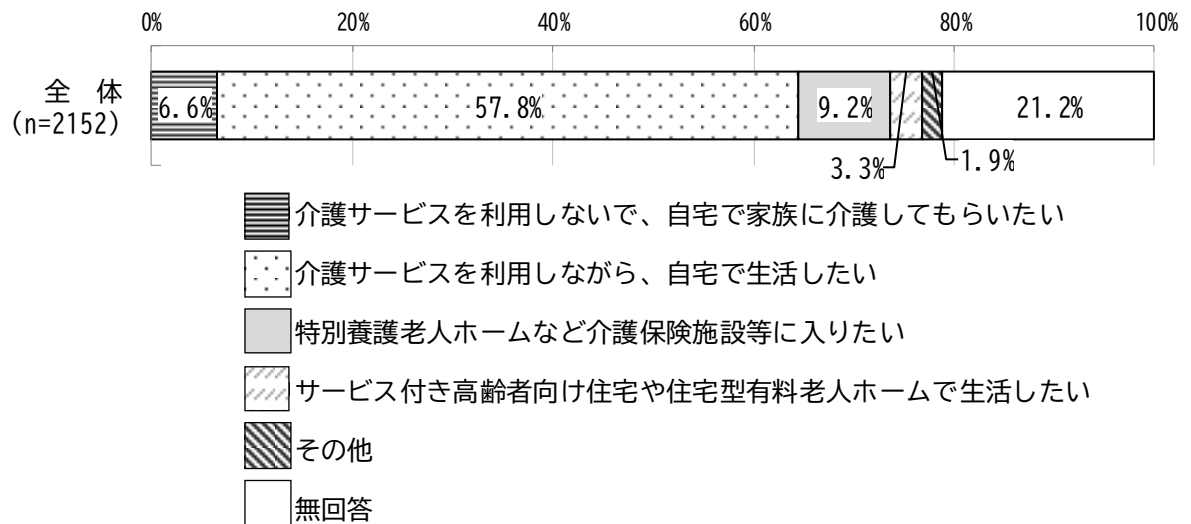
問8（2） あなたは、介護サービス対象外の以下のようなサービスを今後利用したい
 と思いますか（いくつでも○）。

介護サービス対象外のサービスの今後の利用意向について、「歯科・眼科・神経内科・精神科などの訪問診療」が14.0%と最も高く、「訪問理美容」「通院や買い物などの送迎」が11.8%、「部屋や庭の掃除等など、ちょっとした家事サービス」が11.7%、「相談・話し相手の訪問サービス」が11.4%、「リハビリのみの短時間の通所サービス」が10.2%、「入浴のみの短時間の通所サービス」が9.5%、「医療対応の必要な人も利用できる通所サービス」が5.7%、「食事のみの短時間の通所サービス」が4.6%、「夜間の訪問看護」が4.5%となっている。また「特になし」が18.1%、「経済的に利用できない」が2.3%、「わからない」が10.5%となっている。



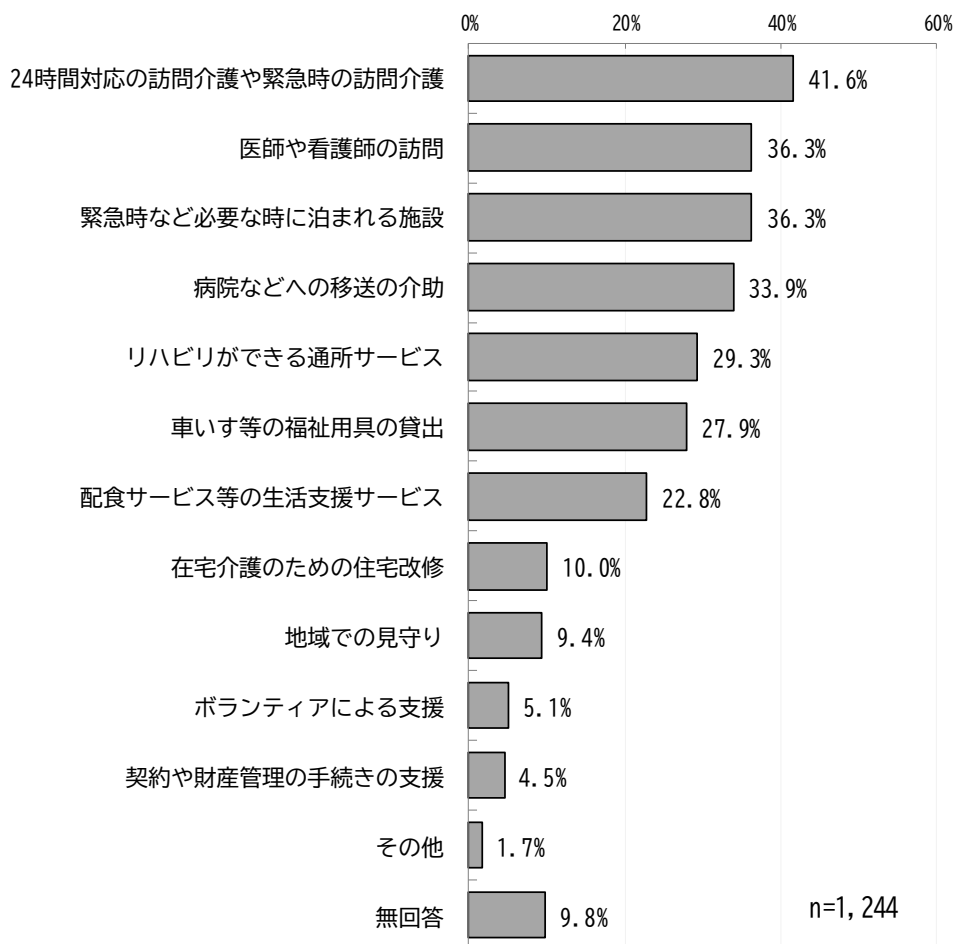
問8 (3) 今後どのような介護を希望しますか (1つに○)。

今後の介護の希望として、「介護サービスを利用しながら、自宅で生活したい」が57.8%と最も高く、「特別養護老人ホームなど介護保険施設等に入りたい」が9.2%、「介護サービスを利用しないで、自宅で家族に介護してもらいたい」が6.6%、「サービス付き高齢者向け住宅や住宅型有料老人ホームで生活したい」が3.3%となっている。



問8（3）① あなたが安心して在宅生活を続けていくために必要なサービスはどれですか（いくつでも○）。

「介護サービスを利用しながら、自宅で生活したい」と回答した方の、今後も安心して在宅生活を続けていくために必要なことについて、「24時間対応の訪問介護や緊急時の訪問介護」が41.6%と最も高く、「医師や看護師の訪問」「緊急時など必要な時に泊まれる施設」が36.3%、「病院などへの移送の介助」が33.9%、「リハビリができる通所サービス」が29.3%、「車いす等の福祉用具の貸出」が27.9%、「配食サービス等の生活支援サービス」が22.8%、「在宅介護のための住宅改修」が10.0%、「地域での見守り」が9.4%、「ボランティアによる支援」が5.1%、「契約や財産管理の手続きの支援」が4.5%となっている。



問8 (3) ② 地域密着型サービスは、高齢者が中重度の要介護状態となっても、可能な限り住み慣れた自宅または地域で生活を継続できるようにするためのサービスです。あなたは次のようなサービスを利用したいと思いますか（それぞれ1つに○）。

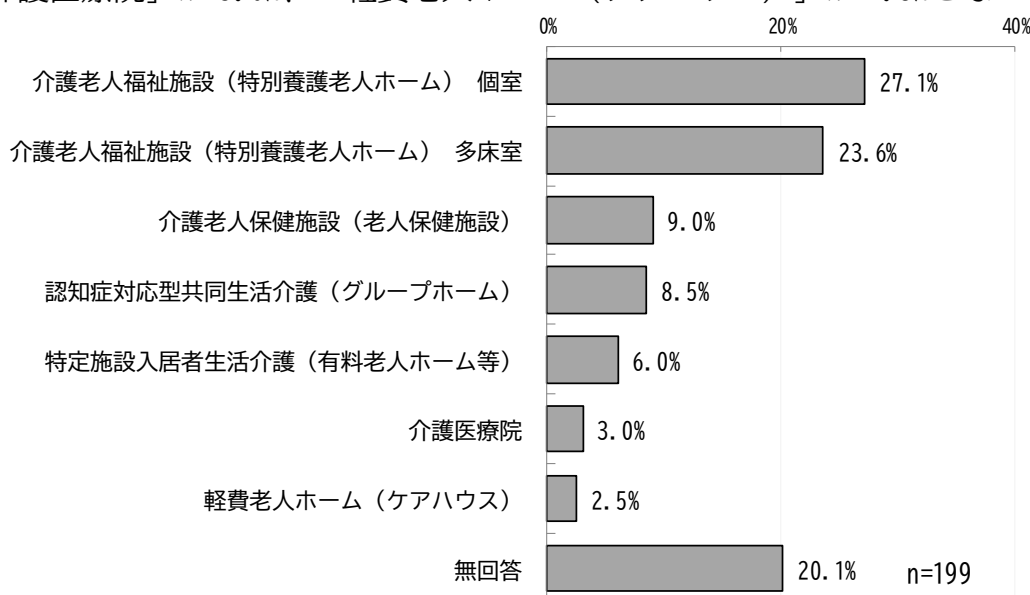
「介護サービスを利用しながら、自宅で生活したい」と回答した方の、それぞれのサービス利用について、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」は43.1%、「夜間対応型訪問介護」は29.4%、「認知症対応型通所介護」は27.3%、「小規模多機能型居宅介護」は42.0%、「看護小規模多機能型居宅介護」は25.2%が「利用したい」と回答している。

(%)

	調査数	利用したい	利用したくない	わからない	無回答
① 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1244	43.1	3.5	28.6	24.8
② 夜間対応型訪問介護	1244	29.4	6.4	34.5	29.7
③ 認知症対応型通所介護	1244	27.3	8.8	33.5	30.4
④ 小規模多機能型居宅介護	1244	42.0	6.9	25.6	25.5
⑤ 看護小規模多機能型居宅介護	1244	25.2	7.0	36.2	31.7

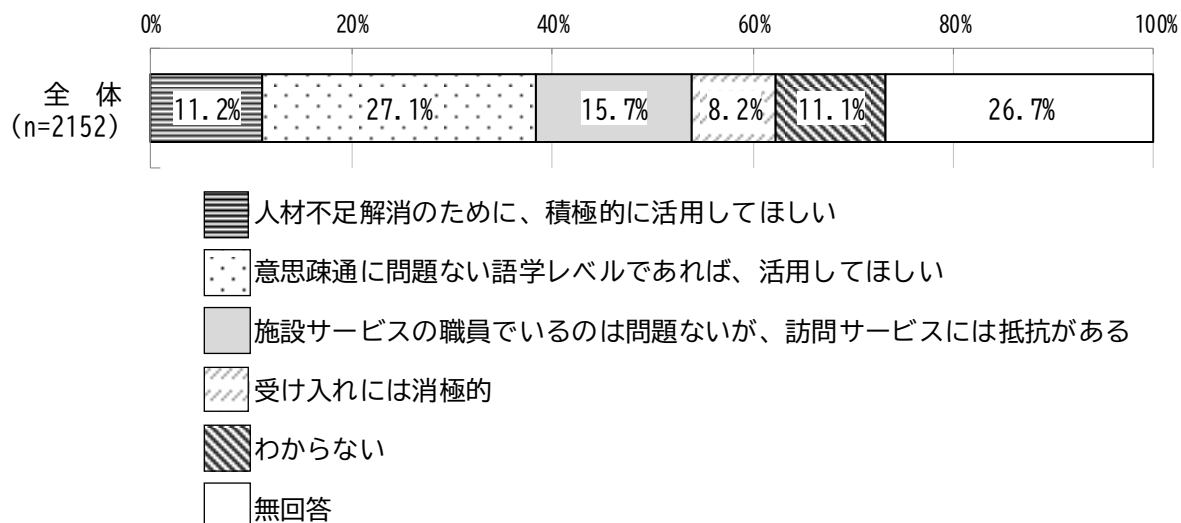
問8 (3) ③ 介護を受けられる施設には、次のような施設がありますが、あなたはどのような施設等を望んでいますか（1つに○）。

「特別養護老人ホームなど介護保険施設等に入りたい」と回答した方の、利用してみたいと思う施設について、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）：個室」が27.1%と最も高く、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）：多床室」が23.6%、「介護老人保健施設（老人保健施設）」が9.0%、「認知症対応型共同生活介護（グループホーム）」が8.5%、「特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム等）」が6.0%、「介護医療院」が3.0%、「軽費老人ホーム（ケアハウス）」が2.5%となっている。



問8（4） 介護サービスに関して、国では外国人材の活用が推進されていますが、どのようにお考えですか（1つに○）。

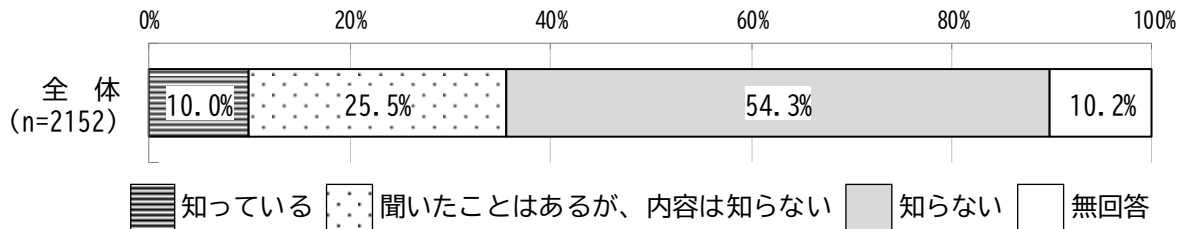
介護サービスにおける外国人材の活用について、「意思疎通に問題ない語学レベルであれば、活用してほしい」が27.1%と最も高く、「施設サービスの職員でいるのは問題ないが、訪問サービスには抵抗がある」が15.7%、「人材不足解消のために、積極的に活用してほしい」が11.2%、「受け入れには消極的」が8.2%、「わからない」が11.1%となっている。



(9) 認知症について

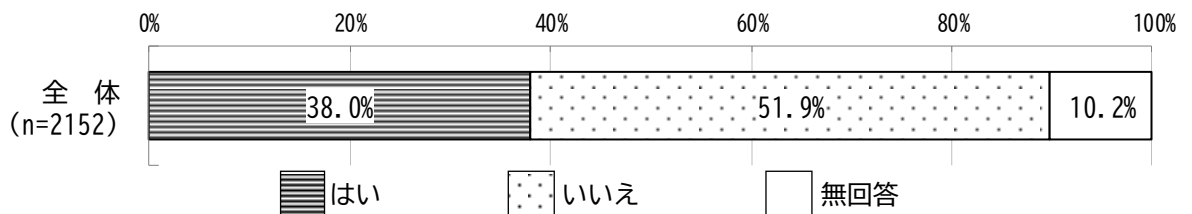
問9 (1) 認知症サポーターをご存知ですか (1つに○)。

認知症サポーターについて、「知らない」が54.3%と最も高く、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が25.5%、「知っている」が10.0%となっている。



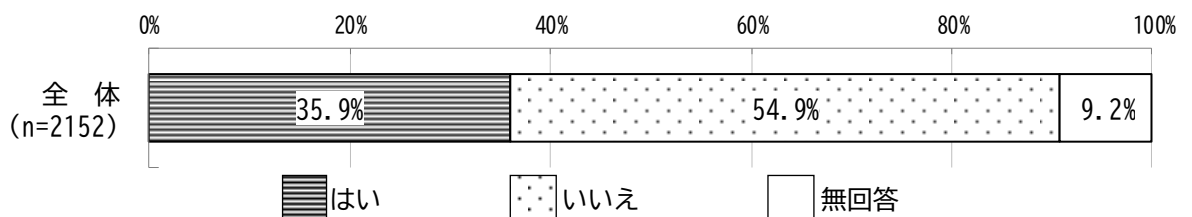
問9 (2) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか (1つに○)。

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかについて、「はい」が38.0%、「いいえ」が51.9%となっている。



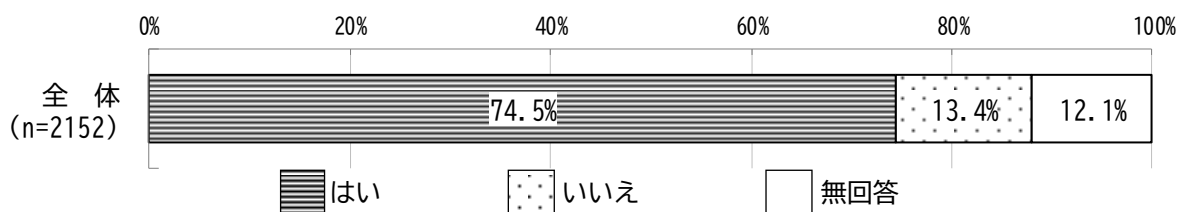
問9 (3) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (1つに○)。

認知症に関する相談窓口の認知について、「はい」が35.9%、「いいえ」が54.9%となっている。



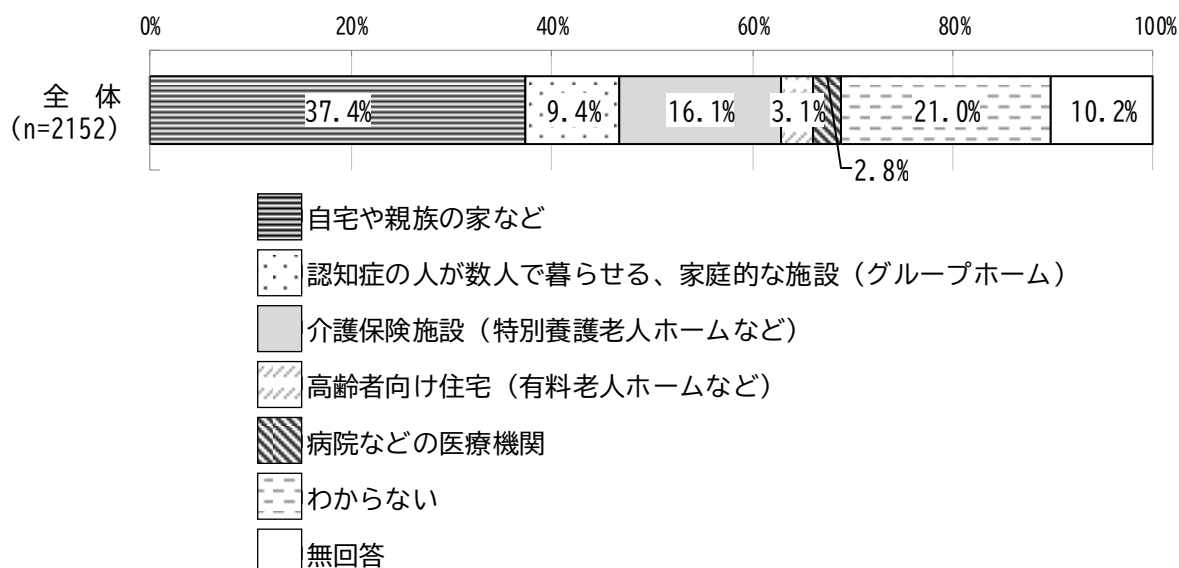
問9 (4) 将来、あなたが認知症になったとしたら、周囲 (家族や友人など) に公表しますか (1つに○)。

将来、認知症になったとしたら、周囲 (家族や友人など) に公表するかどうかについて、「はい」が74.5%、「いいえ」が13.4%となっている。



問9（5） 将来、あなたが認知症になったとしたら、どこで暮らしたいですか（1つに○）。

将来、認知症になった場合に暮らしたい場所について、「自宅や親族の家など」が37.4%と最も高く、「介護保険施設（特別養護老人ホームなど）」が16.1%、「認知症の人が数人で暮らせる、家庭的な施設（グループホーム）」が9.4%、「高齢者向け住宅（有料老人ホームなど）」が3.1%、「病院などの医療機関」が2.8%、「わからない」が21.0%となっている。



問9（6） 認知症に関する以下のことに関して、あなたはどのように感じたり、思ったりしていますか（それぞれ1つに○）。

認知症に関する考えについて、認知症は誰もがなり得ると思うかでは「思う」が56.8%、認知症になったら何もわからなくなると思うかでは「どちらかというと思う」が30.7%、認知症になったら何もできなくなると思うかでは「どちらかというと思う」が26.1%、地域生活の様々な場面において、認知症の人の意思が尊重されていると思うかでは「どちらかというと思わない」が33.9%、認知症の人が自分らしく暮らしていると思うかでは「どちらかというと思わない」が34.8%となっている。

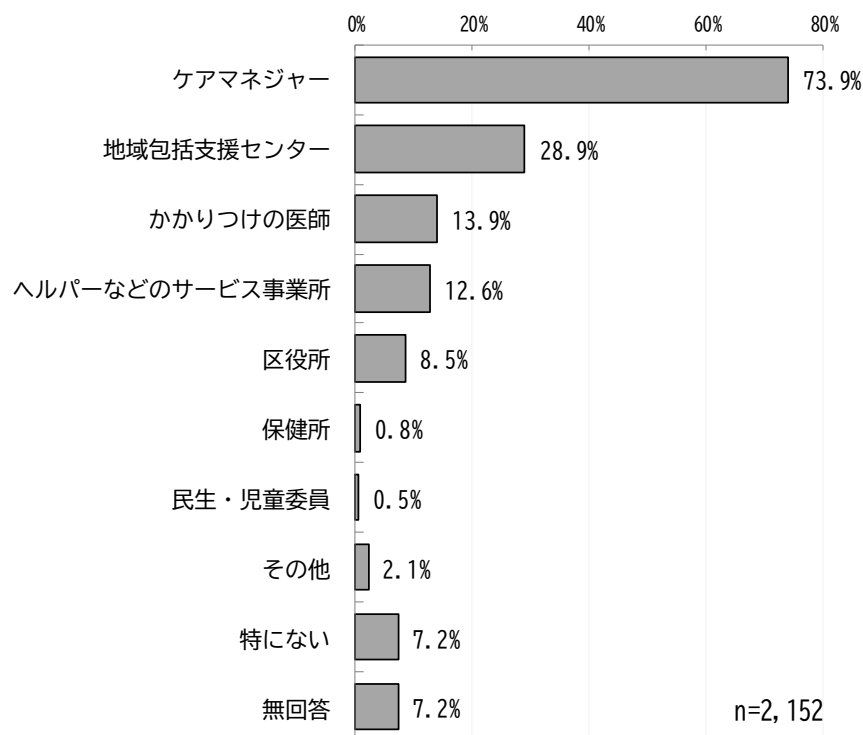
(%)

	調査数	思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない	無回答
① 認知症は誰もがなり得ると思いますか	2152	56.8	21.9	6.8	5.1	9.4
② 認知症になったら何もわからなくなると思いますか	2152	19.6	30.7	21.3	16.8	11.7
③ 認知症になったら何もできなくなると思いますか	2152	18.3	26.1	25.0	18.8	11.9
④ 地域生活の様々な場面において、認知症の人の意思が尊重されていると思いますか	2152	6.4	21.8	33.9	21.8	16.1
⑤ あなたが暮らす地域では、認知症の人が自分らしく暮らしていると思いますか	2152	5.4	21.8	34.8	22.9	15.1

(10) 高齢者福祉サービスや高齢者施策について

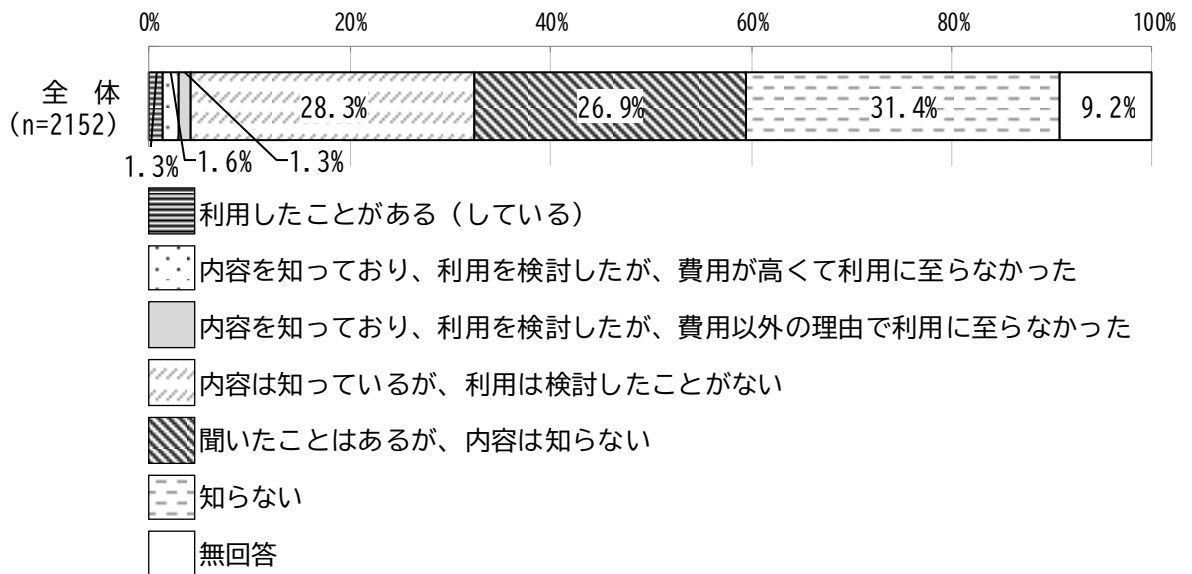
問10(1) 介護保険制度をはじめとする、色々な高齢者制度の内容やサービスについて、あなたが相談しているところをお教えてください（いくつでも○）。

高齢者制度の内容やサービスを相談しているところについて、「ケアマネジャー」が73.9%と最も高く、「地域包括支援センター」が28.9%、「かかりつけの医師」が13.9%、「ヘルパーなどのサービス事業所」が12.6%、「区役所」が8.5%、「保健所」が0.8%、「民生・児童委員」が0.5%となっている。また「特にない」が7.2%となっている。



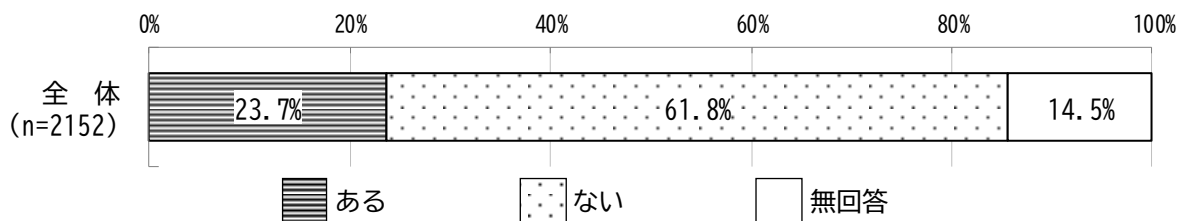
問10(2) 成年後見制度についてご存知ですか。また利用を検討したことがありますか(1つに○)。

成年後見制度について、「知らない」が31.4%と最も高く、「内容は知っているが、利用は検討したことがない」が28.3%、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が26.9%、「内容を知っており、利用を検討したが、費用が高くて利用に至らなかった」が1.6%、「内容を知っており、利用を検討したが、費用以外の理由で利用に至らなかった」が1.3%、「利用したことがある(している)」が1.3%となっている。



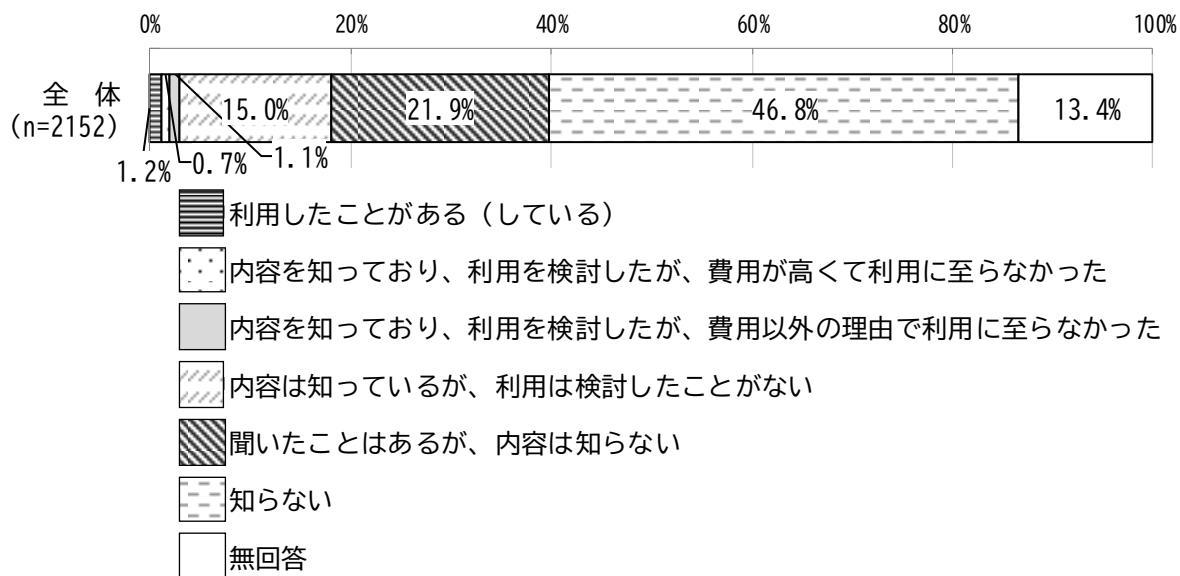
問10(3) 成年後見制度について関心がありますか(1つに○)。

成年後見制度について、関心が「ある」が23.7%、「ない」が61.8%となっている。



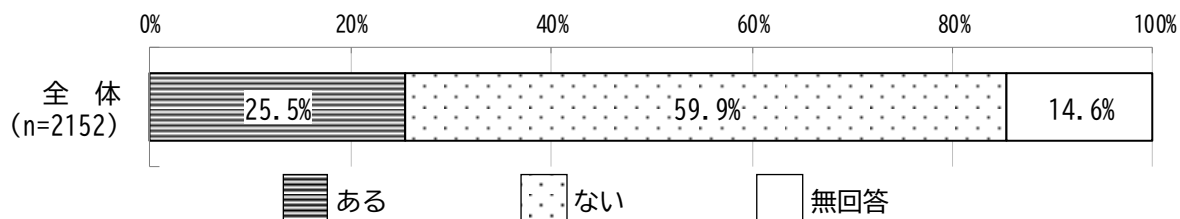
問10(4) 任意後見制度についてご存知ですか。また利用を検討したことがありますか(1つに○)。

任意後見制度について、「知らない」が46.8%と最も高く、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が21.9%、「内容は知っているが、利用は検討したことがない」が15.0%、「利用したことがある(している)」が1.2%、「内容を知っており、利用を検討したが、費用以外で理由で利用に至らなかった」が1.1%、「内容を知っており、利用を検討したが、費用が高くて利用に至らなかった」が0.7%となっている。



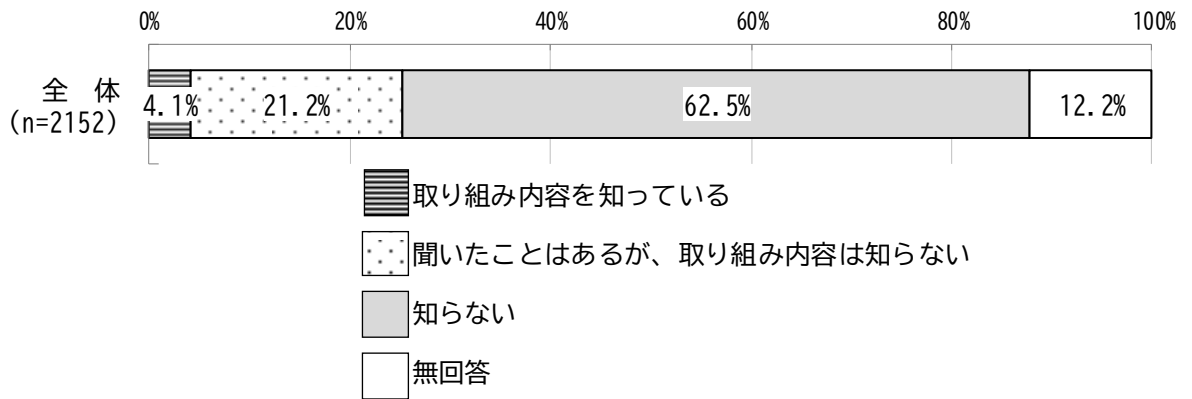
問10(5) 任意後見制度について関心がありますか(1つに○)。

任意後見制度について、関心が「ある」が25.5%、「ない」が59.9%となっている。



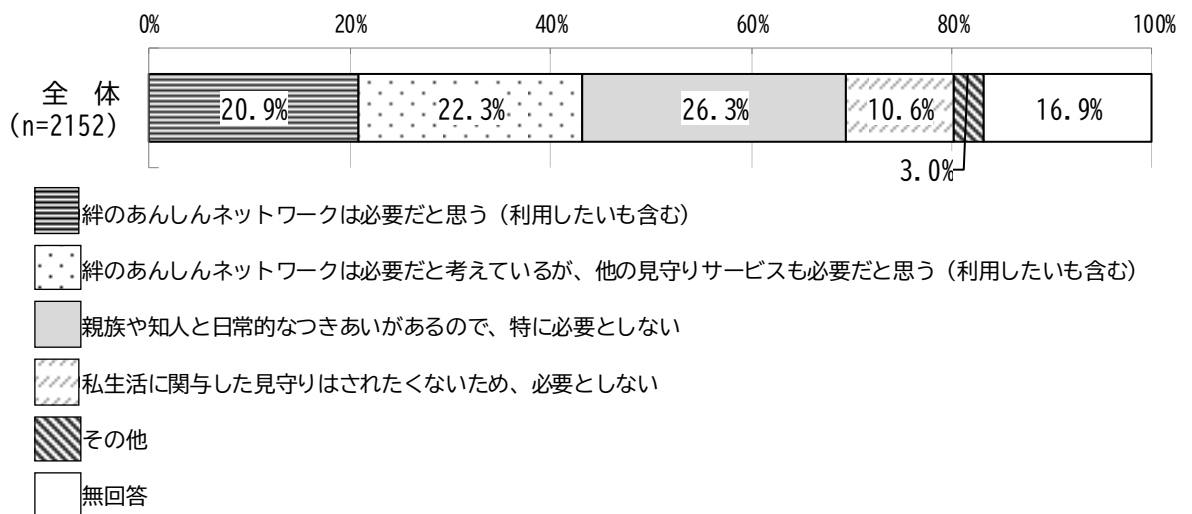
問10(6) 足立区ではひとり暮らし高齢者や高齢者世帯を対象に、「孤立ゼロプロジェクト～絆のあんしんネットワーク～」(近隣同士の見守り活動)の取り組みを実施していますが、ご存知ですか(1つに○)。

「孤立ゼロプロジェクト」による取り組みについて、「知らない」が62.5%と最も高く、「聞いたことはあるが、取り組み内容は知らない」が21.2%、「取り組み内容を知っている」が4.1%となっている。



問10(7) 「孤立ゼロプロジェクト～絆のあんしんネットワーク～」(近隣同士の見守り活動)による見守りや声かけを必要と思われますか(1つに○)。

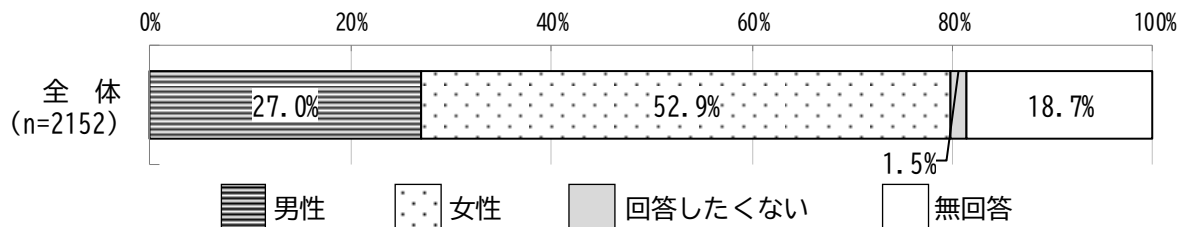
「孤立ゼロプロジェクト」による見守りや声かけについて、「親族や知人と日常的なつきあいがあるので、特に必要としない」が26.3%と最も高く、「絆のあんしんネットワークは必要だと思っているが、他の見守りサービスも必要だと思う(利用したいも含む)」が22.3%、「絆のあんしんネットワークは必要だと思う(利用したいも含む)」が20.9%、「私生活に関与した見守りはされたくないため、必要としない」が10.6%となっている。



(11) 主な介護者について

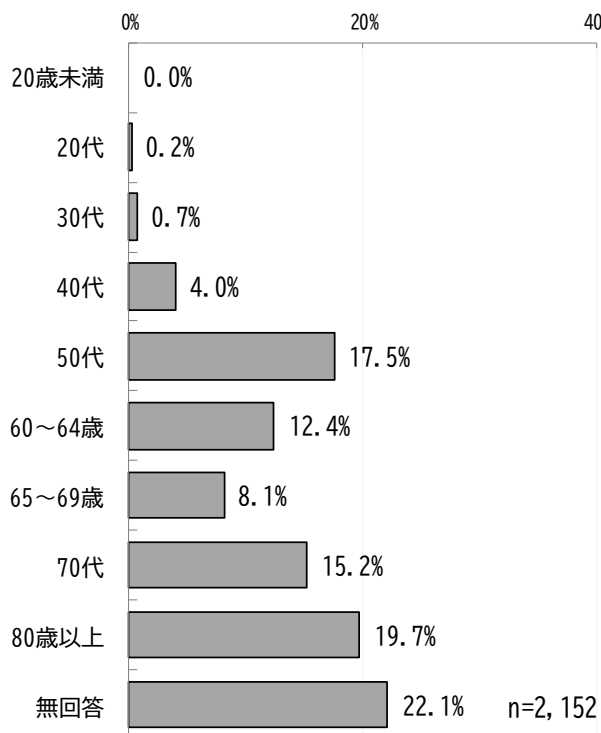
問11(1) 介護者の性別について、ご回答ください(1つに○)。

介護者の性別について、「男性」が27.0%、「女性」が52.9%、「回答したくない」が1.5%となっている。



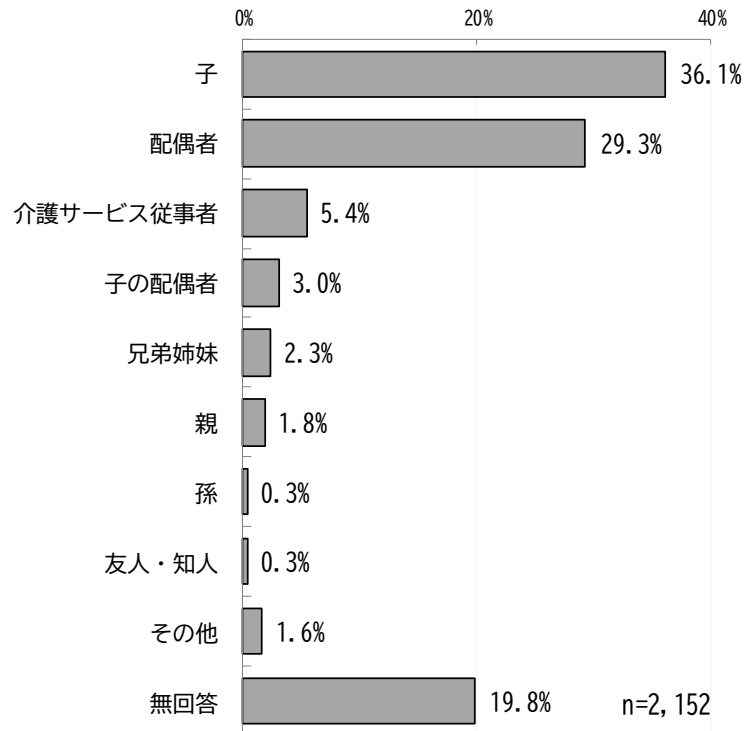
問11(2) 介護者の年齢について、ご回答ください(数字を記入)。

介護者の年齢について、「80歳以上」が19.7%と最も高く、「50代」が17.5%、「70代」が15.2%、「60～64歳」が12.4%、「65～69歳」が8.1%、「40代」が4.0%、「30代」が0.7%、「20代」が0.2%、「20歳未満」が0.0%となっている。



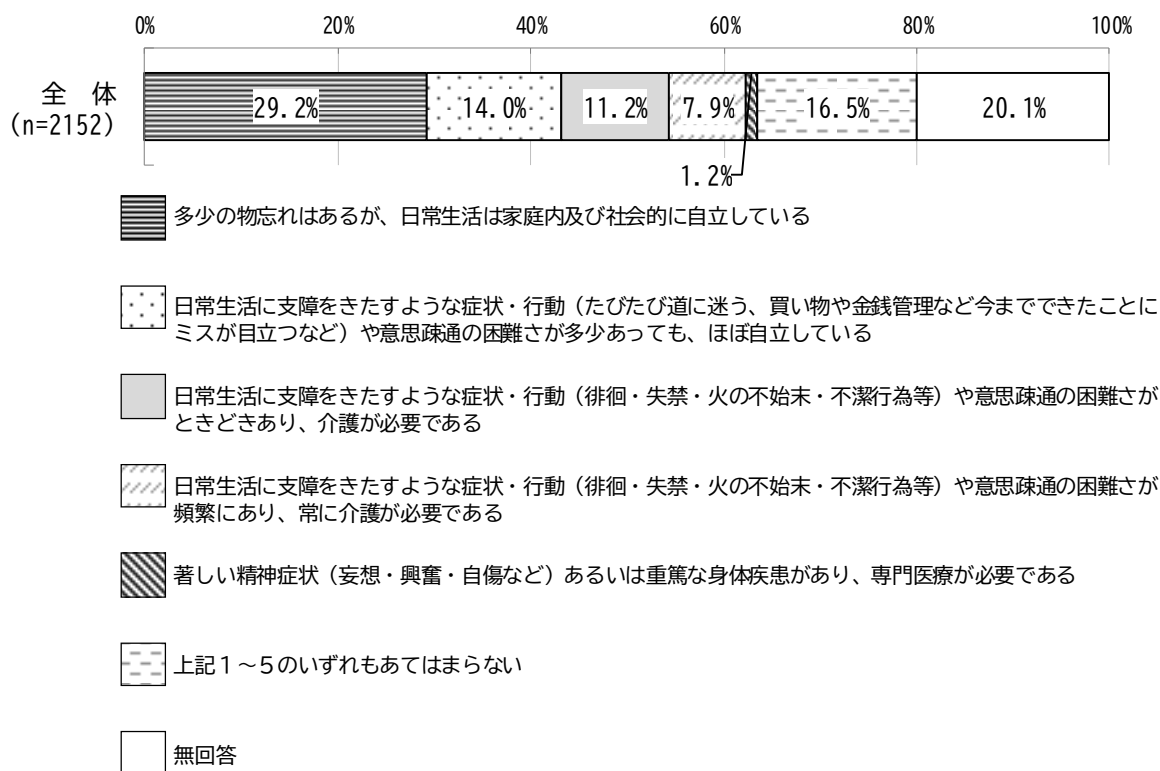
問11 (3) 介護者は、あて名のご本人から見て、どのようなご関係ですか（1つに○）。

介護者との関係について、「子」が36.1%と最も高く、「配偶者」が29.3%、「介護サービス従事者」が5.4%、「子の配偶者」が3.0%、「兄弟姉妹」が2.3%、「親」が1.8%、「孫」「友人・知人」が0.3%となっている。



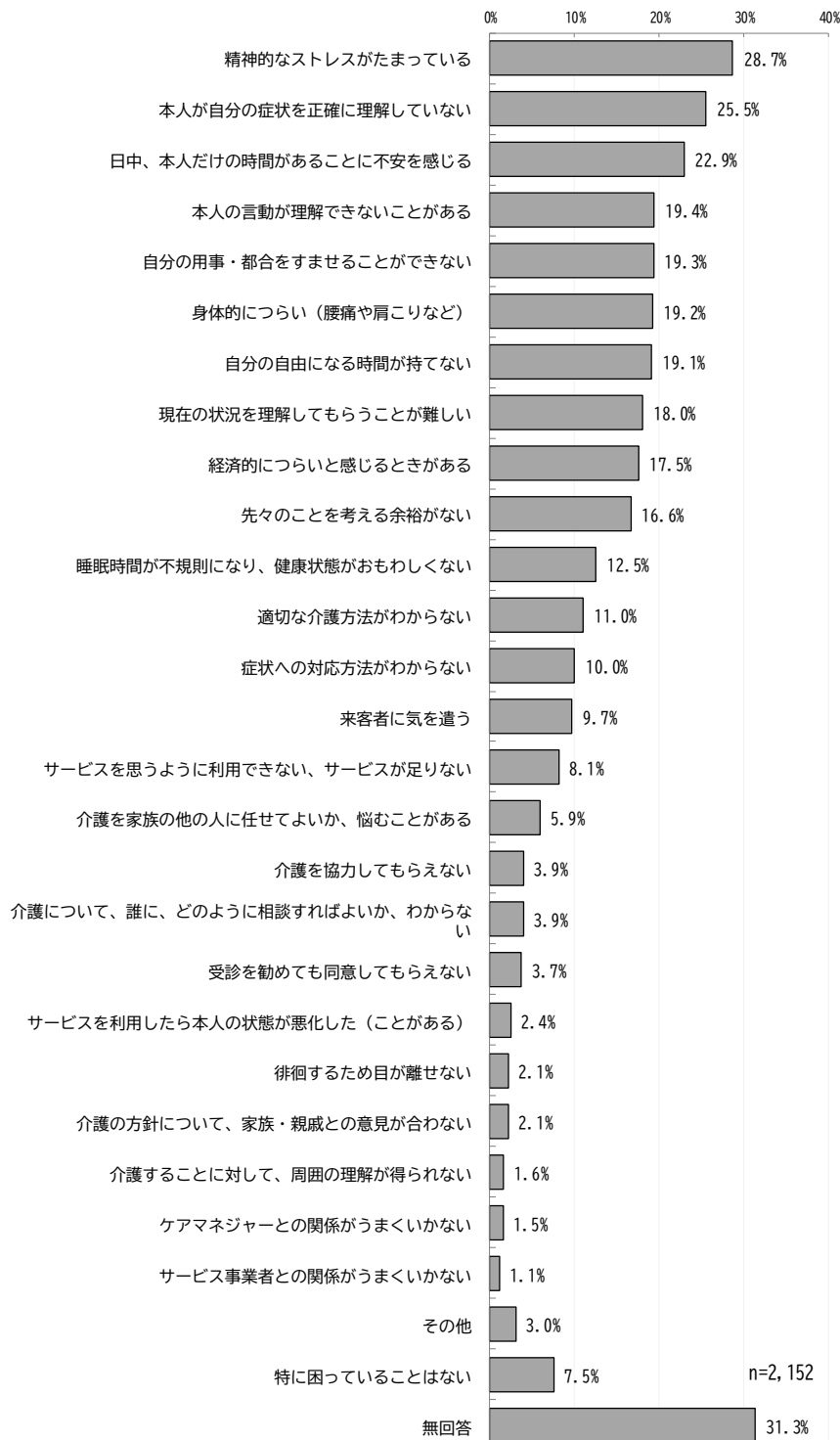
問11 (4) 介護者の方から見て、あて名のご本人にあてはまるものがありますか
(1つに○)。

介護者の方から見た回答者の状態について、「多少の物忘れはあるが、日常生活は家庭内及び社会的に自立している」が29.2%と最も高く、「上記1～5のいずれもあてはまらない」が16.5%、「日常生活に支障をきたすような症状・行動（たびたび道に迷う、買い物や金銭管理など今までできたことにミスが目立つなど）や意思疎通の困難さが多少あっても、ほぼ自立している」が14.0%、「日常生活に支障をきたすような症状・行動（徘徊・失禁・火の不始末・不潔行為等）や意思疎通の困難さがときどきあり、介護が必要である」が11.2%、「日常生活に支障をきたすような症状・行動（徘徊・失禁・火の不始末・不潔行為等）や意思疎通の困難さが頻繁にあり、常に介護が必要である」が7.9%、「著しい精神症状（妄想・興奮・自傷など）あるいは重篤な身体疾患があり、専門医療が必要である」が1.2%となっている。



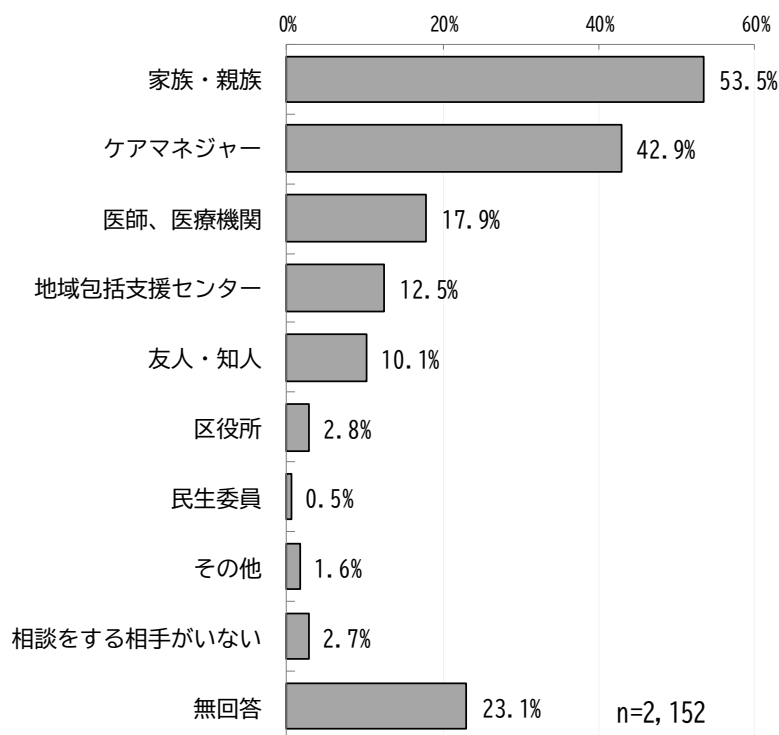
問11 (5) 在宅での介護について、介護者の方が困ったり、負担に感じていることはありますか（いくつでも○）。

在宅での介護において、介護者の方が困ったり、負担に感じたりしていることについて、「精神的なストレスがたまっている」が28.7%と最も高く、「本人が自分の症状を正確に理解していない」が25.5%、「日中、本人だけの時間があることに不安を感じる」が22.9%、「本人の言動が理解できないことがある」が19.4%、「自分の用事・都合をすませることができない」が19.3%と続いている。また「特に困っていることはない」が7.5%となっている。



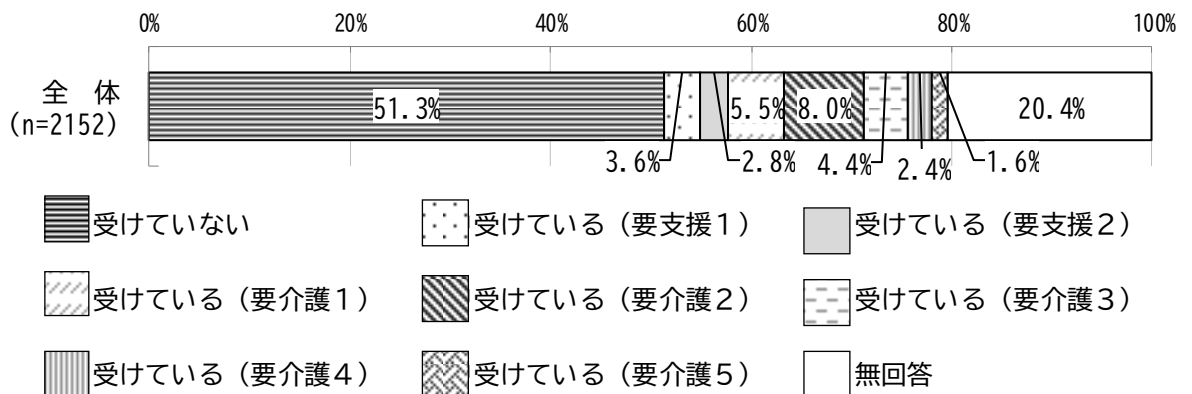
問11 (6) 主な介護者の方は、日常生活や健康のことなどで困った時、どなたに協力を頼んだり、相談されたりしますか（いくつでも○）。

主な介護者の方が日常生活や健康のことなどで困った時、協力を頼んだり、相談したりする人として、「家族・親族」が53.5%と最も高く、「ケアマネジャー」が42.9%、「医師、医療機関」が17.9%、「地域包括支援センター」が12.5%、「友人・知人」が10.1%、「区役所」が2.8%、「民生委員」が0.5%となっている。また「相談をする相手がいらない」が2.7%となっている。



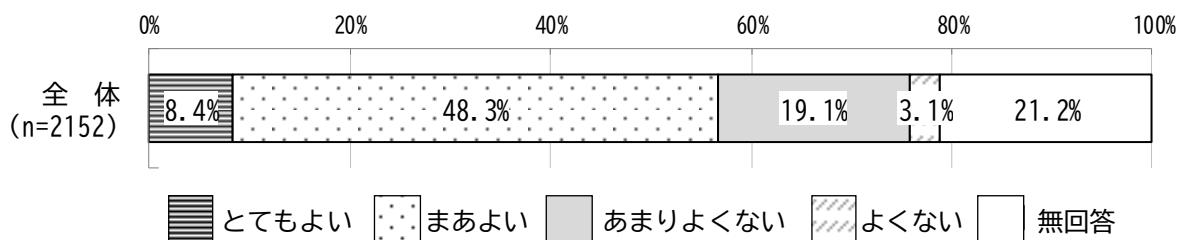
問11(7) 主な介護者の方は現在、要介護認定を受けていますか(1つに○)。

主な介護者の方の要介護認定について、「受けていない」が51.3%と最も高く、「受けている(要介護2)」が8.0%、「受けている(要介護1)」が5.5%、「受けている(要介護3)」が4.4%、「受けている(要支援1)」が3.6%、「受けている(要支援2)」が2.8%、「受けている(要介護4)」が2.4%、「受けている(要介護5)」が1.6%となっている。



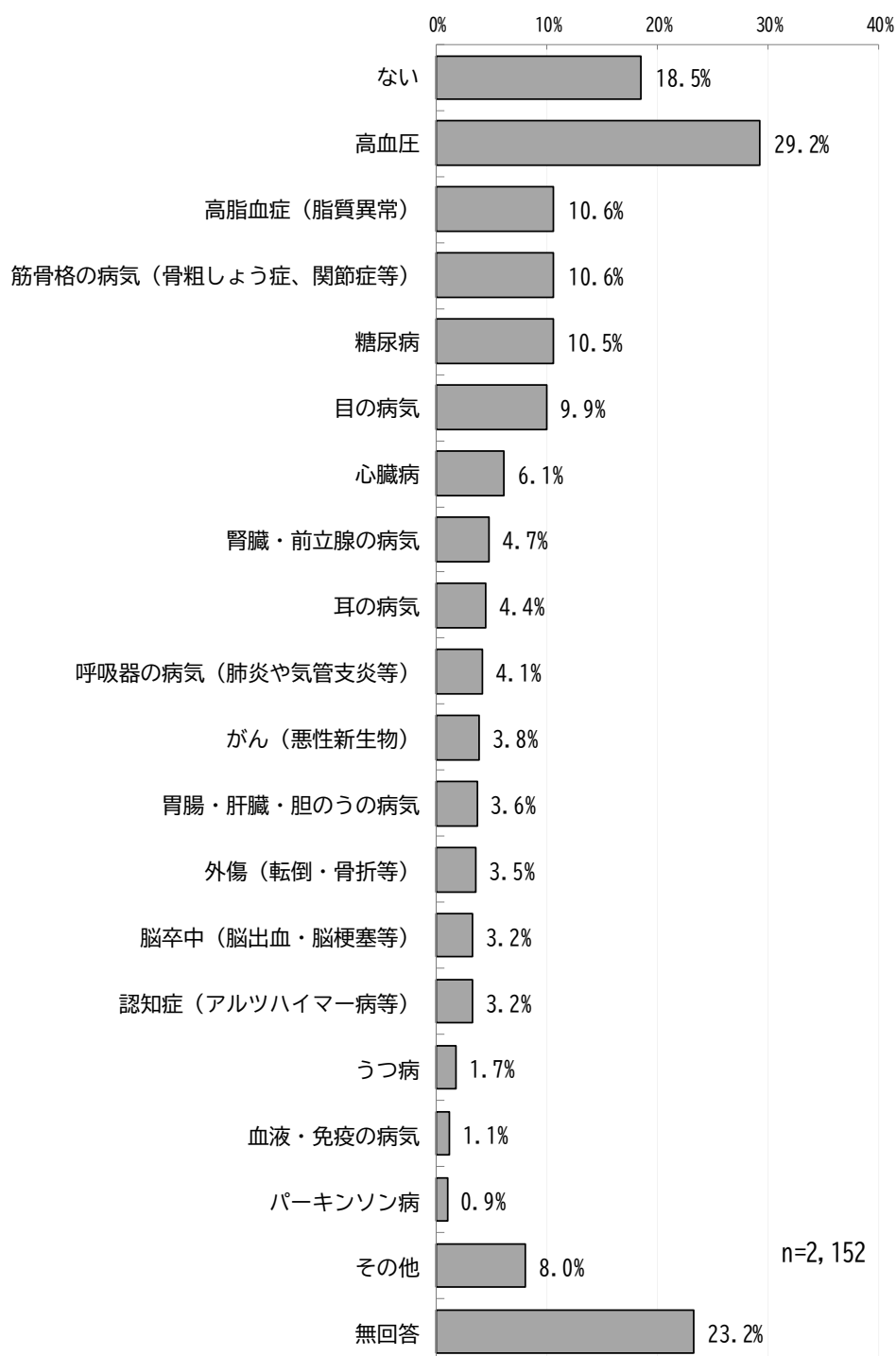
問11(8) 現在の主な介護者の方の健康状態はいかがですか(1つに○)。

主な介護者の方の現在の状況として、「とてもよい」が8.4%、「まあよい」が48.3%で合計が約6割である一方、「あまりよくない」が19.1%、「よくない」が3.1%で合計が約2割となっている。



問11 (9) 主な介護者の方について、現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（いくつでも○）。

主な介護者の方の現在罹患している傷病について、「高血圧」が29.2%と最も高く、「高脂血症（脂質異常）」「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が10.6%、「糖尿病」が10.5%、「目の病気」が9.9%、「心臓病」が6.1%と続いている。また「ない」が18.5%となっている。



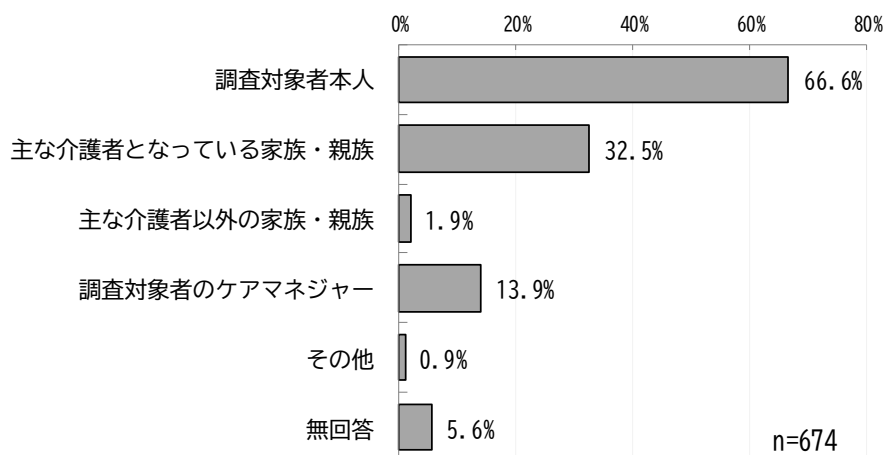
4 在宅介護実態調査

4 在宅介護実態調査

(1) 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目【A票】

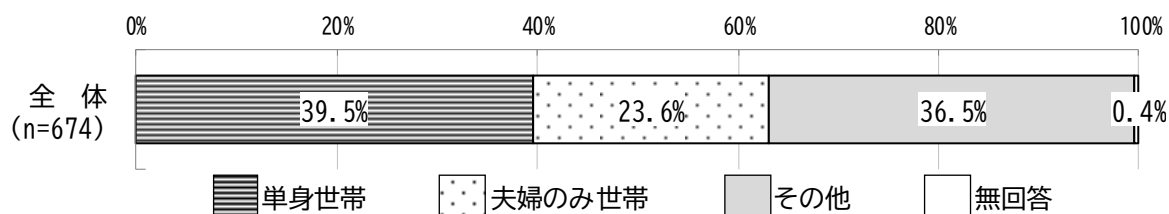
A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか（いくつでも○）。

聞き取りを行った相手について、「調査対象者本人」が66.6%と最も高く、「主な介護者となっている家族・親族」が32.5%、「調査対象者のケアマネジャー」が13.9%、「主な介護者以外の家族・親族」が1.9%となっている。



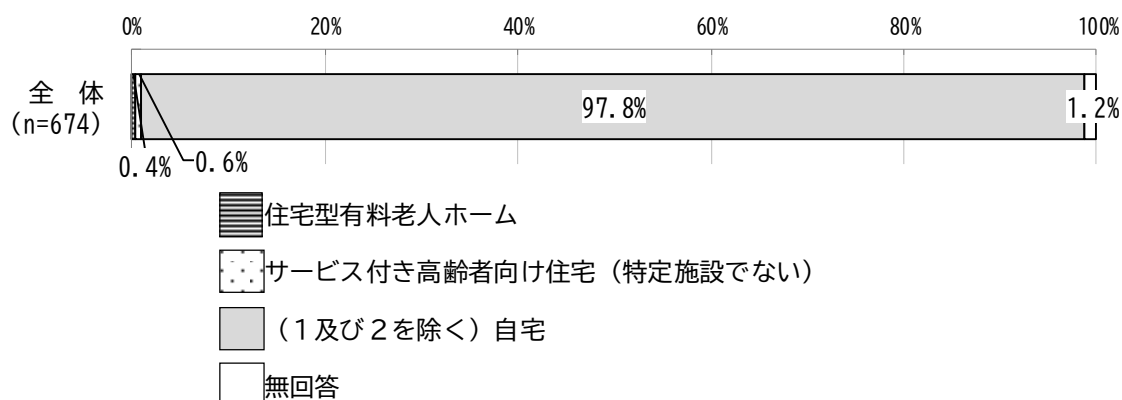
【A票】問1 世帯類型について、ご回答ください（1つに○）。

世帯類型について、「単身世帯」が39.5%と最も高く、「夫婦のみ世帯」が23.6%となっている。



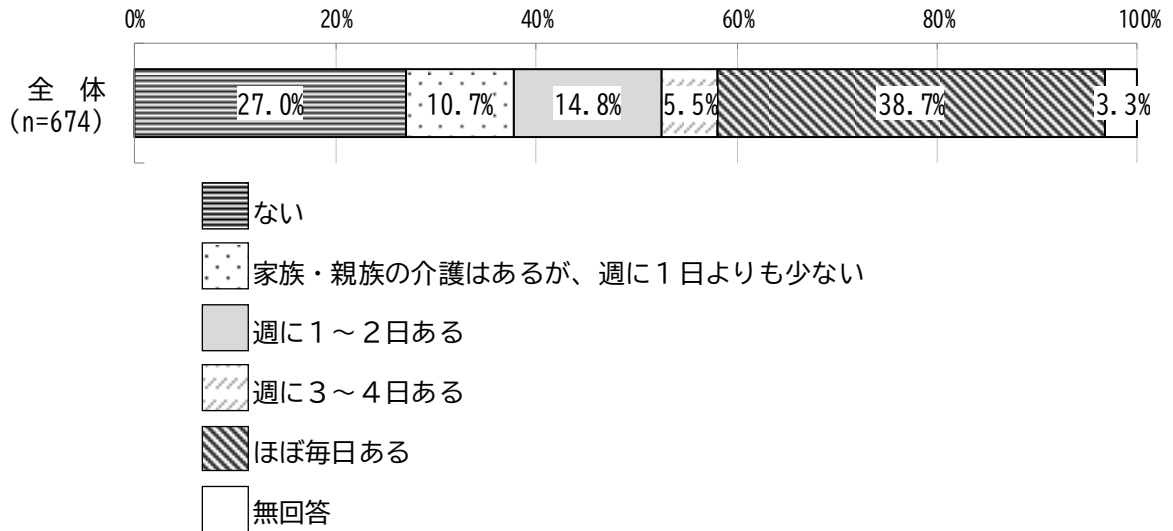
【A票】問2 住まいについて、ご回答ください（1つに○）。

住まいについて、「（1及び2を除く）自宅」が97.8%と最も高く、「サービス付き高齢者向け住宅（特定施設でない）」が0.6%、「住宅型有料老人ホーム」が0.4%となっている。



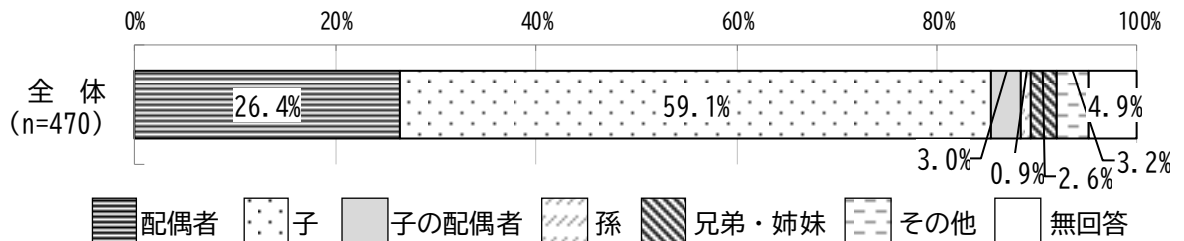
【A票】問3 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つに○）。

家族や親族の方からの介護の頻度について、「ほぼ毎日ある」が38.7%と最も高く、「ない」が27.0%、「週に1～2日ある」が14.8%、「家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない」が10.7%、「週に3～4日ある」が5.5%となっている。



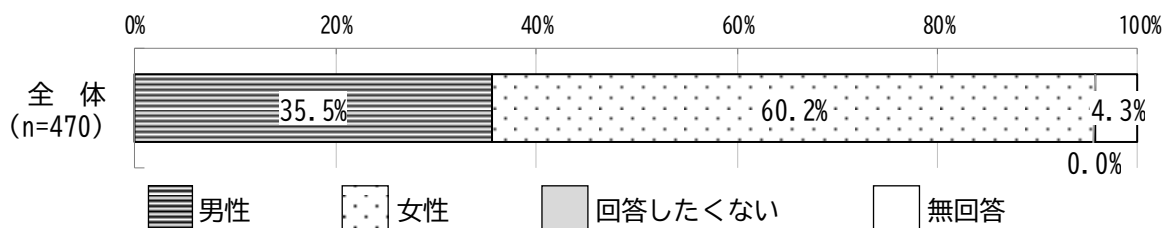
【A票】問4 主な介護者の方は、どなたですか（1つに○）。

主な介護者の方は、「子」が59.1%と最も高く、「配偶者」が26.4%、「子の配偶者」が3.0%、「兄弟・姉妹」が2.6%、「孫」が0.9%となっている。



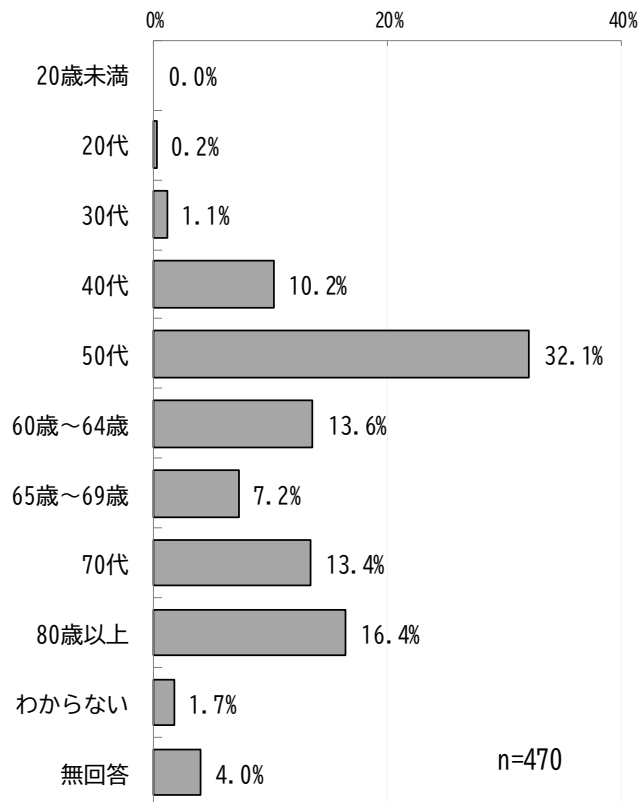
【A票】問5 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つに○）。

主な介護者の方の性別は、「男性」が35.5%、「女性」が60.2%となっている。



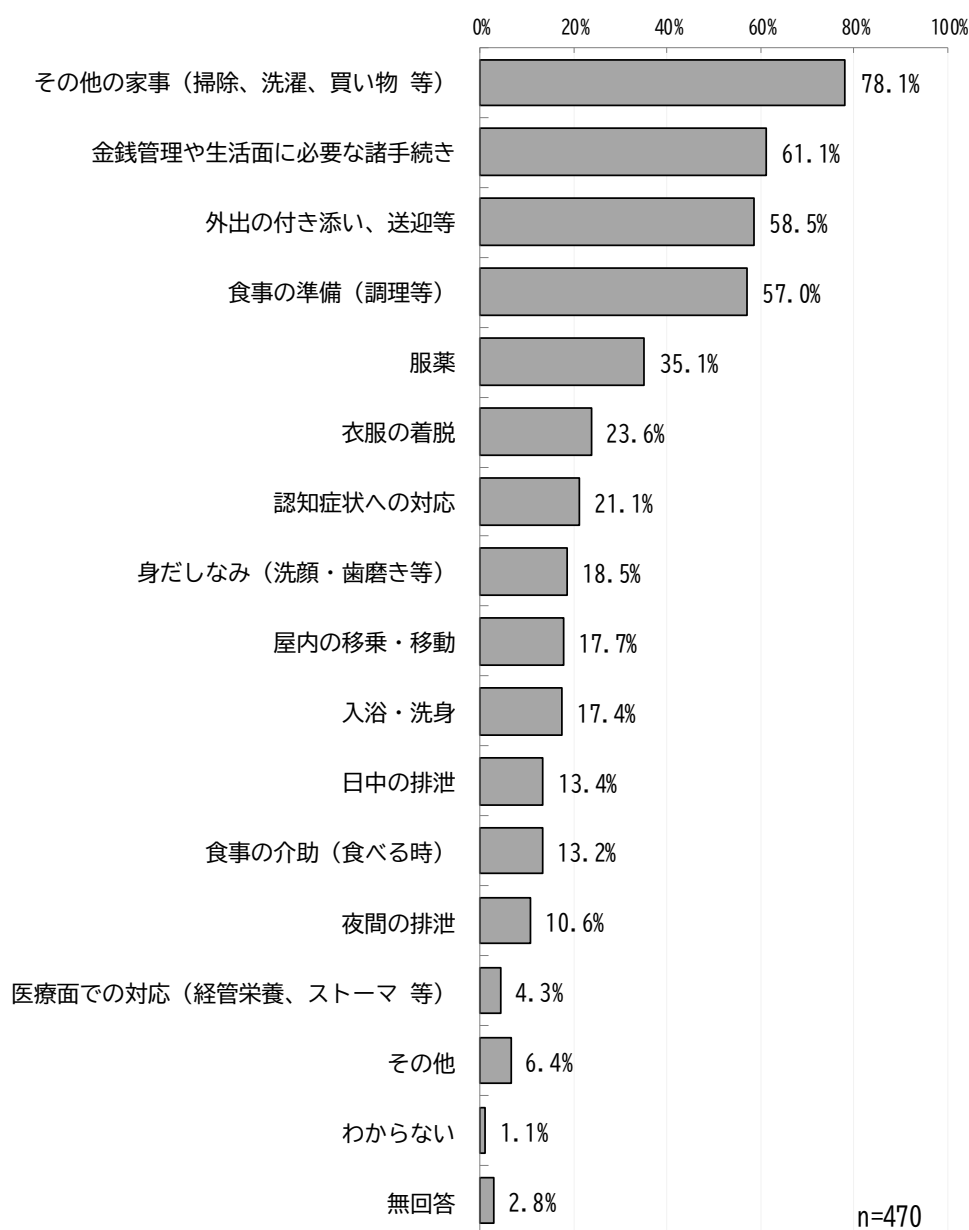
【A票】問6 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つに○）。

主な介護者の方の年齢は、「50代」が32.1%と最も高く、「70代」が13.4%、「80歳以上」が16.4%、「60歳～64歳」が13.6%、「65歳～69歳」が7.2%、「40代」が10.2%、「30代」が1.1%、「20代」が0.2%、「20歳未満」が0.0%、「わからない」が1.7%となっている。



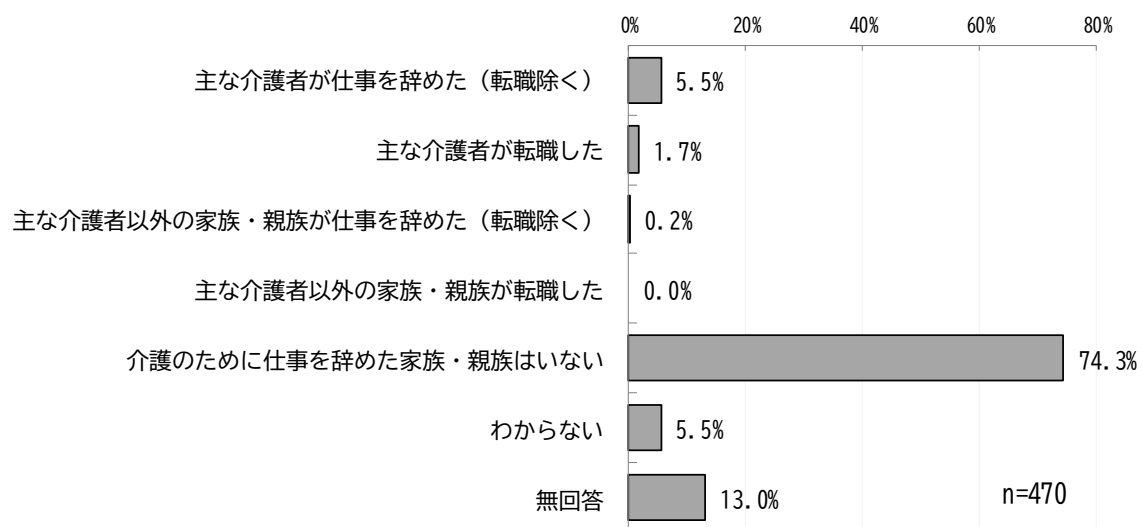
【A票】問7 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください
(いくつでも○)。

現在、主な介護者の方が行っている介護等について、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が78.1%と最も高く、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が61.1%、「外出の付き添い、送迎等」が58.5%、「食事の準備（調理等）」が57.0%、「服薬」が35.1%、「衣服の着脱」が23.6%、「認知症状への対応」が21.1%、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」が18.5%、「屋内の移乗・移動」が17.7%、「入浴・洗身」が17.4%、「日中の排泄」が13.4%、「食事の介助（食べる時）」が13.2%、「夜間の排泄」が10.6%、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」が4.3%となっている。



【A票】問8 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（いくつでも○）。

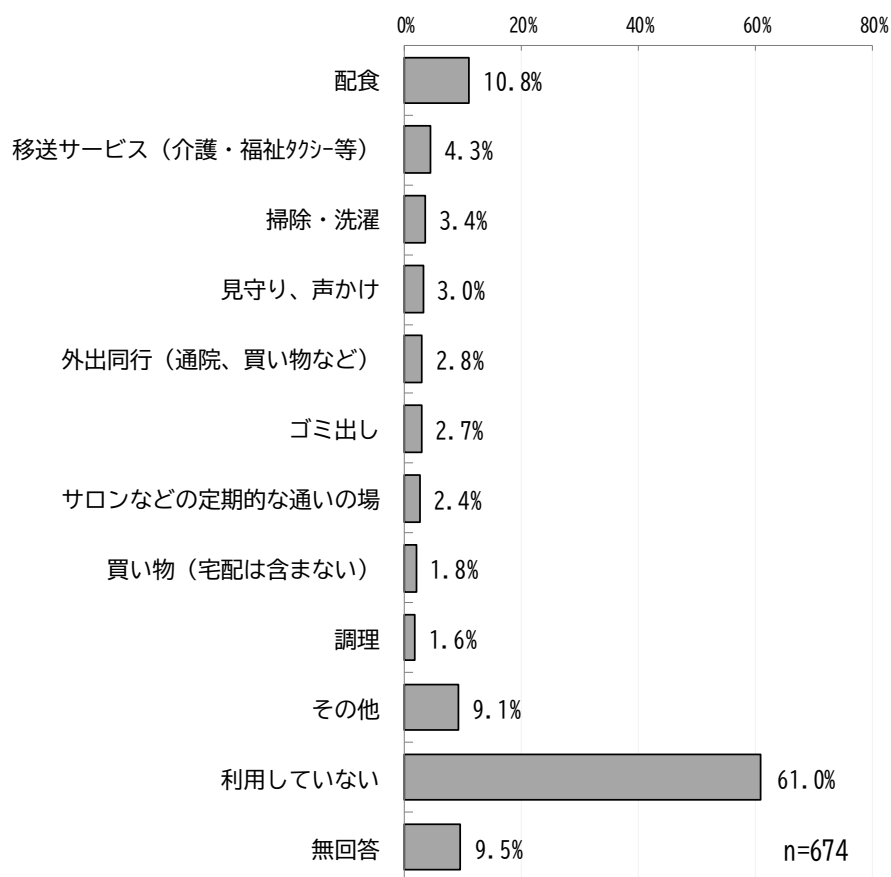
介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方がいるかについて、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が74.3%と最も高く、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が5.5%、「主な介護者が転職した」が1.7%、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」が0.2%、「主な介護者以外の家族・親族が転職した」が0.0%、「わからない」が5.5%となっている。



【A票】問9 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（いくつでも○）。

※ 総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含める。

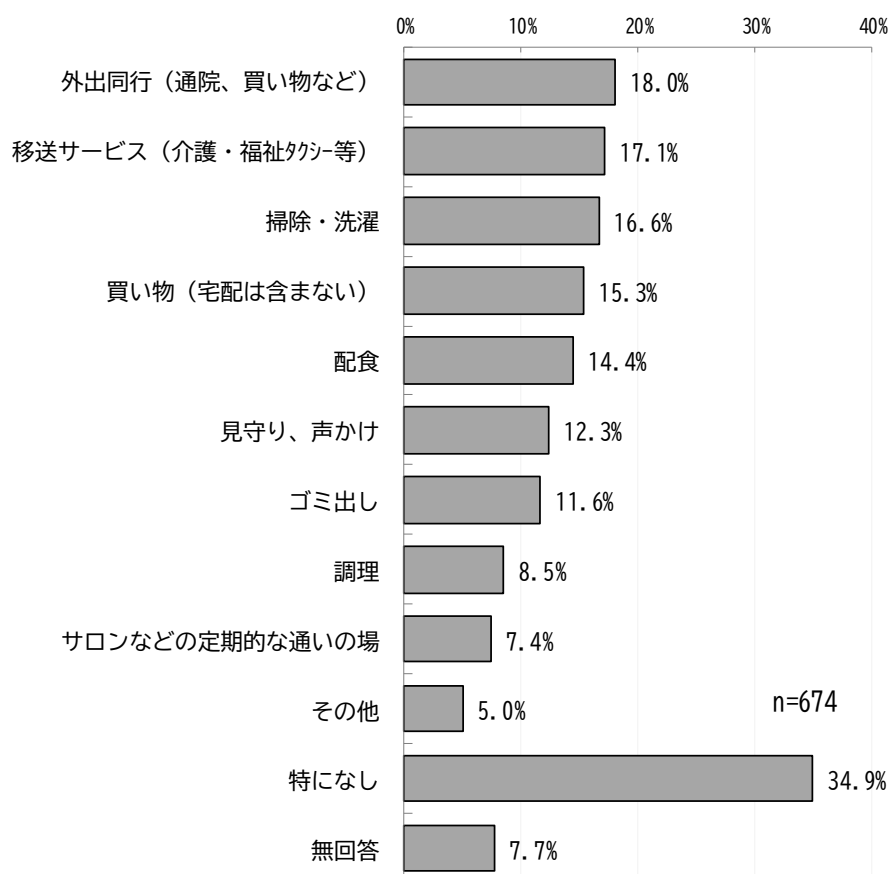
現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、「配食」が10.8%と最も高く、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が4.3%、「掃除・洗濯」が3.4%、「見守り、声かけ」が3.0%、「外出同行（通院、買い物など）」が2.8%、「ゴミ出し」が2.7%、「サロンなどの定期的な通いの場」が2.4%、「買い物（宅配は含まない）」が1.8%、「調理」が1.6%、となっている。また「利用していない」が61.0%となっている。



【A票】問10 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（いくつでも○）。

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含める。

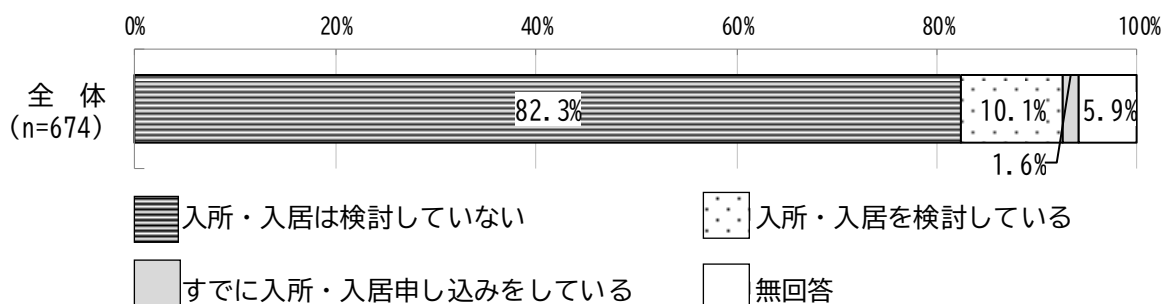
今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて、「外出同行（通院、買い物など）」が18.0%と最も高く、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が17.1%、「掃除・洗濯」が16.6%、「買い物（宅配は含まない）」が15.3%、「配食」が14.4%、「見守り、声かけ」が12.3%、「ゴミ出し」が11.6%、「調理」が8.5%、「サロンなどの定期的な通いの場」が7.4%となっている。また「特になし」が34.9%となっている。



【A票】問11 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つに○）。

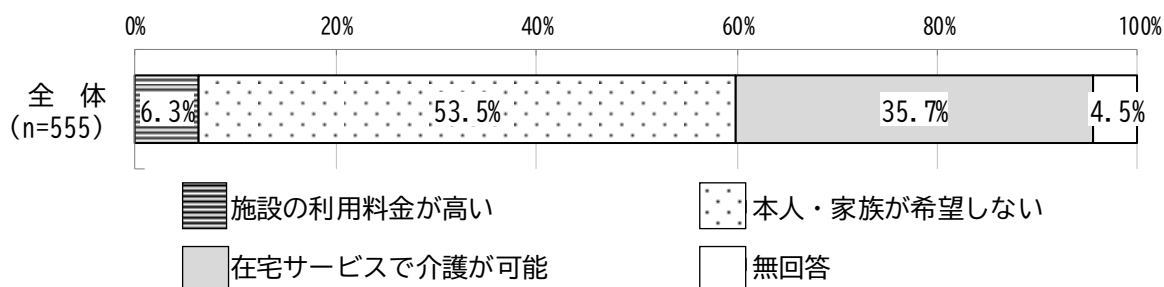
※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指す。

現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、「入所・入居は検討していない」が82.3%と最も高く、「入所・入居を検討している」が10.1%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が1.6%となっている。



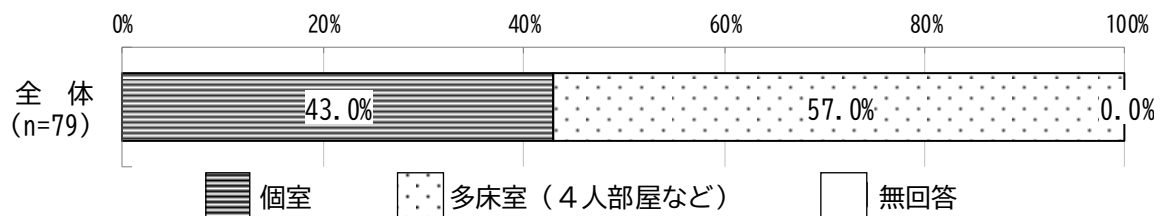
【A票】問12 入所・入居を検討していない理由は何ですか。（1つに○）。

現時点では「入所・入居は検討していない」と回答した方の入所・入居を検討していない理由について、「本人・家族が希望しない」が53.5%と最も高く、「在宅サービスで介護が可能」が35.7%、「施設の利用料金が低い」が6.3%となっている。



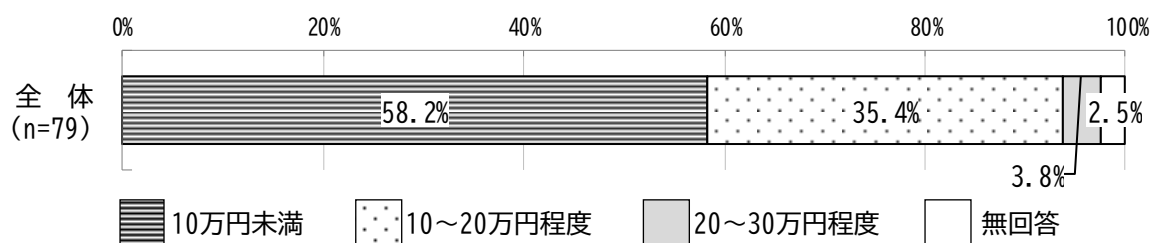
【A票】問13 入所・入居を希望する場合、どのような居室を希望しますか（1つに○）。

「入所・入居を検討している」「すでに入所・入居申し込みをしている」と回答した方が希望する居室について、「個室」が43.0%、「多床室（4人部屋など）」が57.0%となっている。



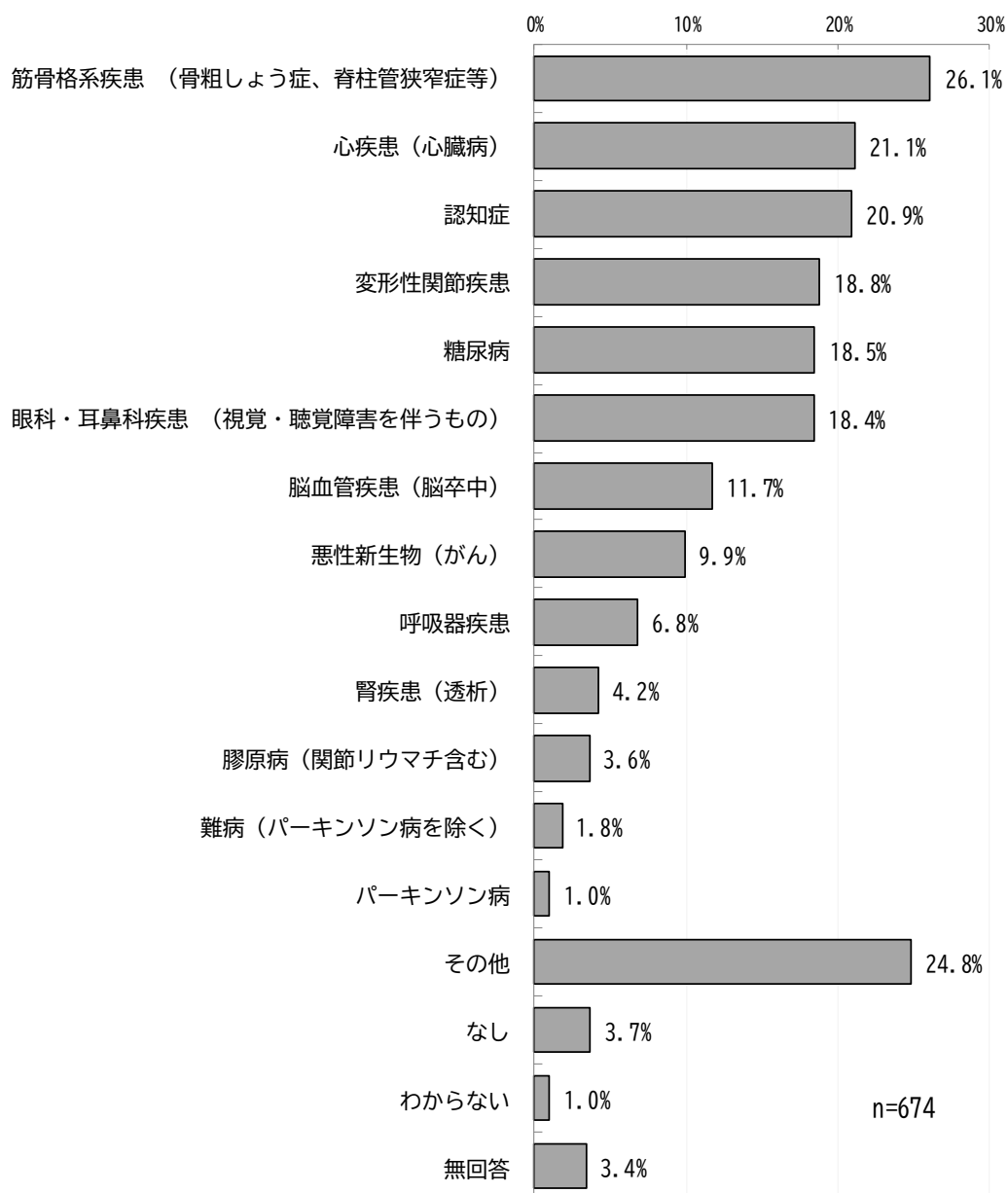
【A票】問14 月額利用料はどのくらいを希望していますか（1つに○）。

「入所・入居を検討している」「すでに入所・入居申し込みをしている」と回答した方が希望する月額利用料について、「10万円未満」が58.2%、「10～20万円程度」が35.4%、「20～30万円程度」が3.8%となっている。



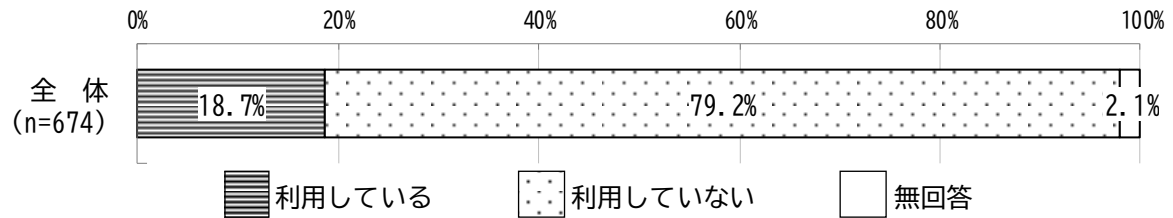
【A票】問15 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（いくつでも○）。

ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が26.1%と最も高く、「心疾患（心臓病）」が21.1%、「認知症」が20.9%、「変形性関節疾患」が18.8%、「糖尿病」が18.5%、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が18.4%、「脳血管疾患（脳卒中）」が11.7%、「悪性新生物（がん）」が9.9%、「呼吸器疾患」が6.8%、「腎疾患（透析）」が4.2%、「膠原病（関節リウマチ含む）」が3.6%、「難病（パーキンソン病を除く）」が1.8%、「パーキンソン病」が1.0%となっている。また「なし」が3.7%、「わからない」が1.0%となっている。



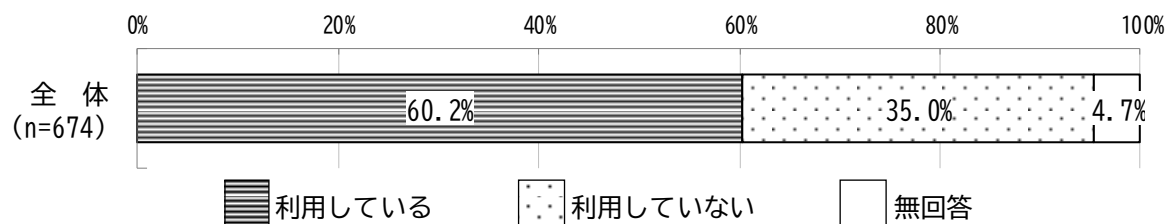
【A票】問16 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（1つに○）。

ご本人（認定調査対象者）の現在の訪問診療の利用について、「利用している」が18.7%、「利用していない」が79.2%となっている。



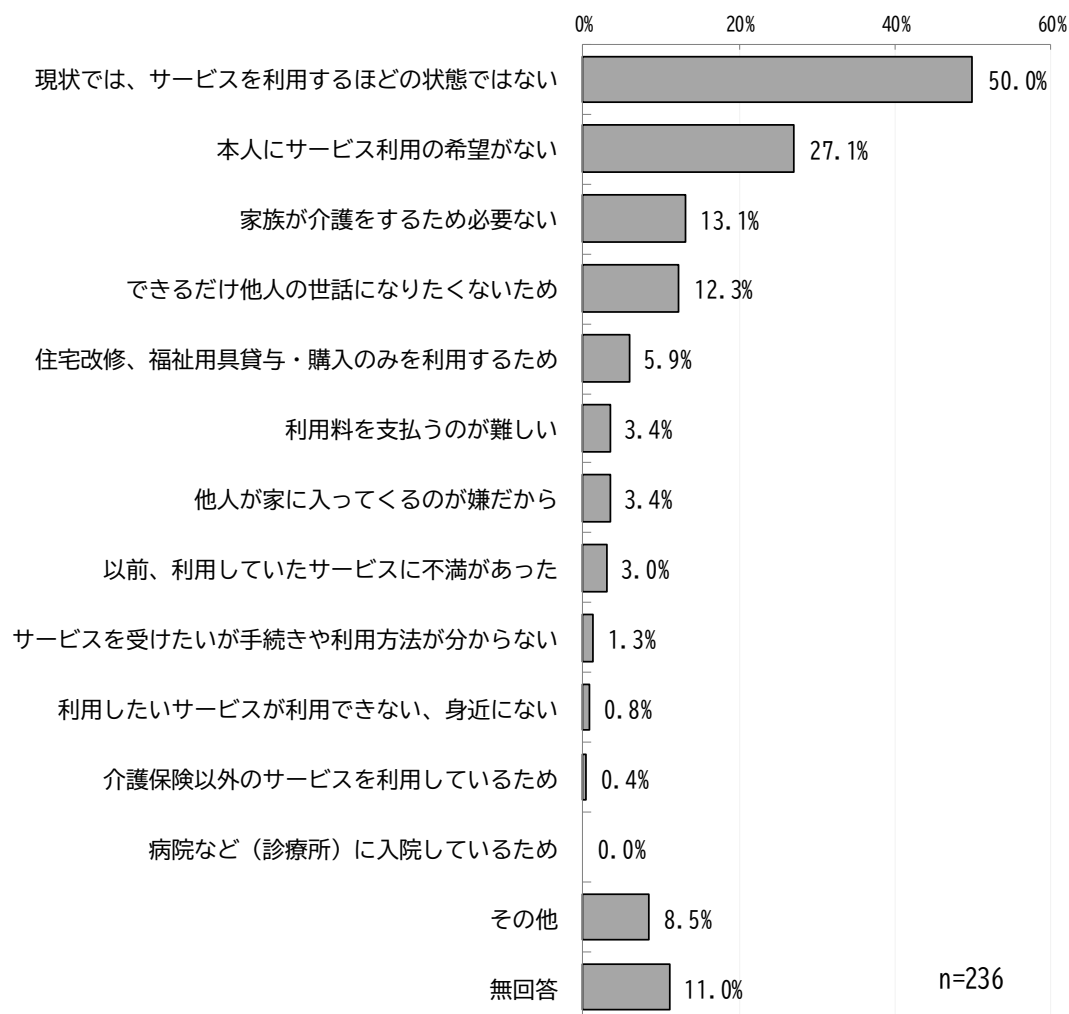
【A票】問17 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか（1つに○）。

現在の（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスの利用状況について、「利用している」が60.2%、「利用していない」が35.0%となっている。



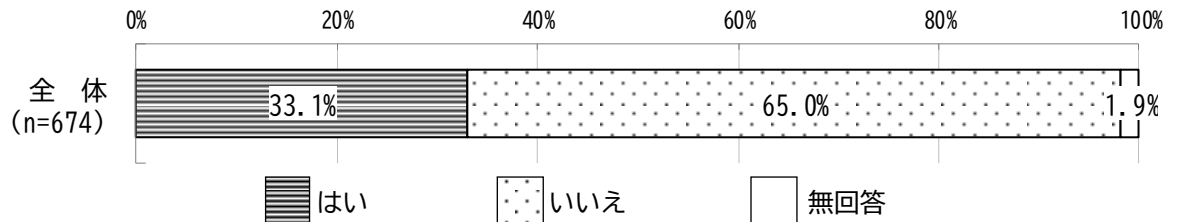
【A票】問18 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（いくつでも○）。

介護保険サービスを「利用していない」と回答した方の利用していない理由として、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が50.0%と最も高く、「本人にサービス利用の希望がない」が27.1%、「家族が介護をするため必要ない」が13.1%、「できるだけ他人の世話になりたくないため」が12.3%、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が5.9%、「利用料を支払うのが難しい」「他人が家に入ってくるのが嫌だから」が3.4%、「以前、利用していたサービスに不満があった」が3.0%、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が1.3%、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」が0.8%、「介護保険以外のサービスを利用しているため」が0.4%、「病院など（診療所）に入院しているため」が0.0%となっている。



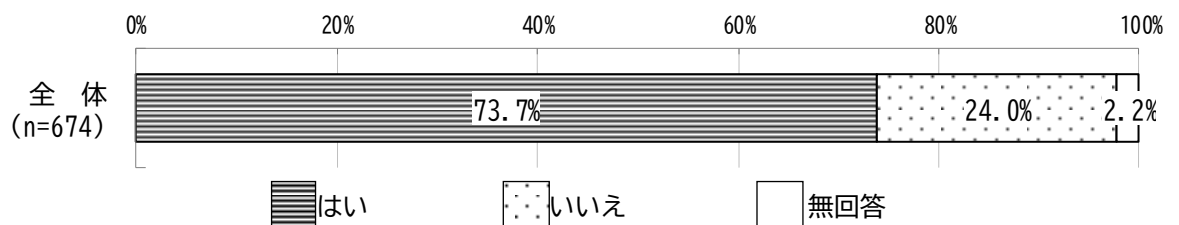
【A票】問19 ご本人（認定調査対象者）は、認知症に関する相談窓口を知っていますか（1つに○）。

ご本人（認定調査対象者）の認知症に関する相談窓口を知っているかについて、「はい」が33.1%、「いいえ」が65.0%となっている。



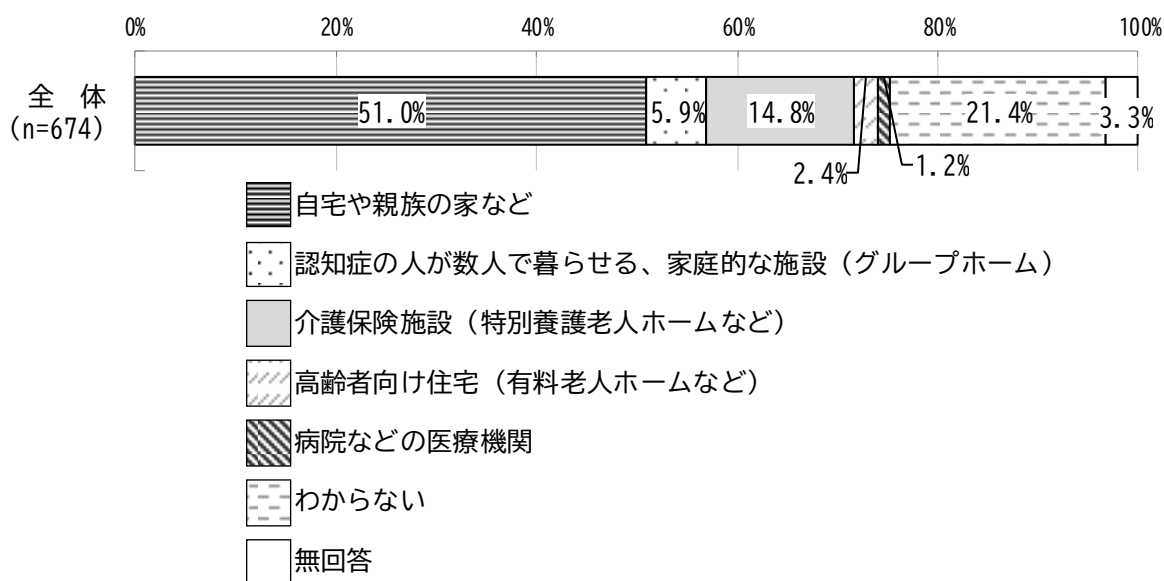
【A票】問20 将来、ご本人（認定調査対象者）が認知症になったら、周囲（家族や友人など）に公表しますか（すでに認知症と診断されている方は公表していますか）（1つに○）。

将来、ご本人（認定調査対象者）が認知症になったら、周囲（家族や友人など）に公表するかどうかについて、「はい」が73.7%、「いいえ」が24.0%となっている。



【A票】問21 将来、ご本人（認定調査対象者）が認知症になったら、どこで暮らしたいですか（すでに認知症と診断されている方は将来どこで暮らしたいですか）（1つに○）。

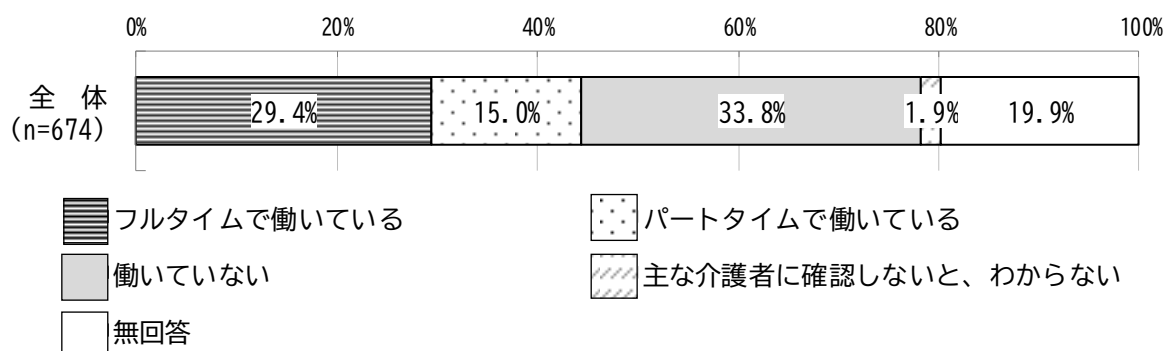
将来、ご本人（認定調査対象者）が認知症になったら、どこで暮らしたいかについて、「自宅や親族の家など」が51.0%と最も高く、「介護保険施設（特別養護老人ホームなど）」が14.8%、「認知症の人が数人で暮らせる、家庭的な施設（グループホーム）」が5.9%、「高齢者向け住宅（有料老人ホームなど）」が2.4%、「病院などの医療機関」が1.2%、「わからない」が21.4%となっている。



(2) 主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目【B票】

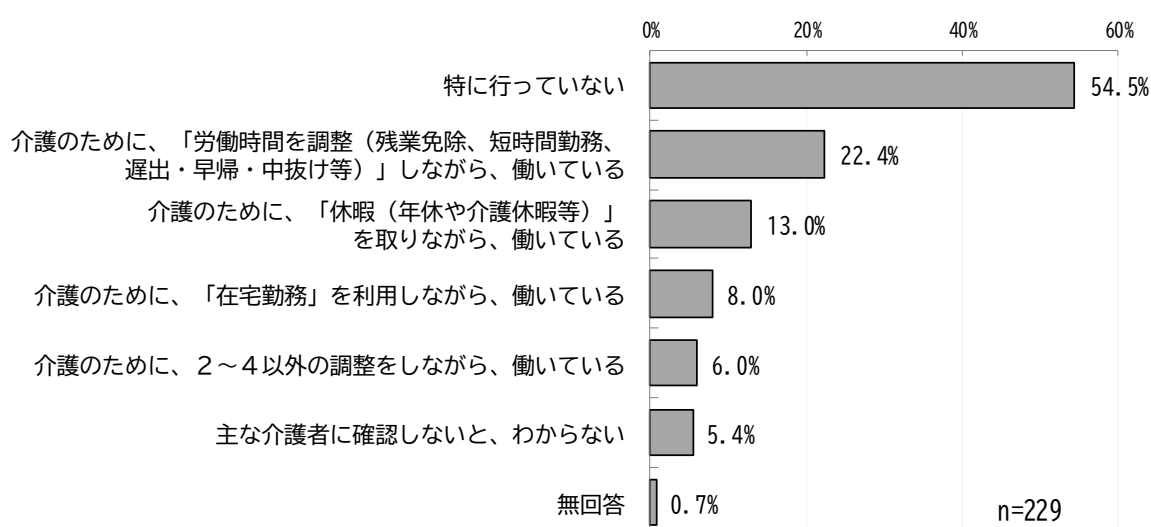
【B票】問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つに○）。

主な介護者の方の現在の勤務形態について、「働いていない」が33.8%と最も高く、「フルタイムで働いている」が29.4%、「パートタイムで働いている」が15.0%、「主な介護者に確認しないと、わからない」が1.9%となっている。



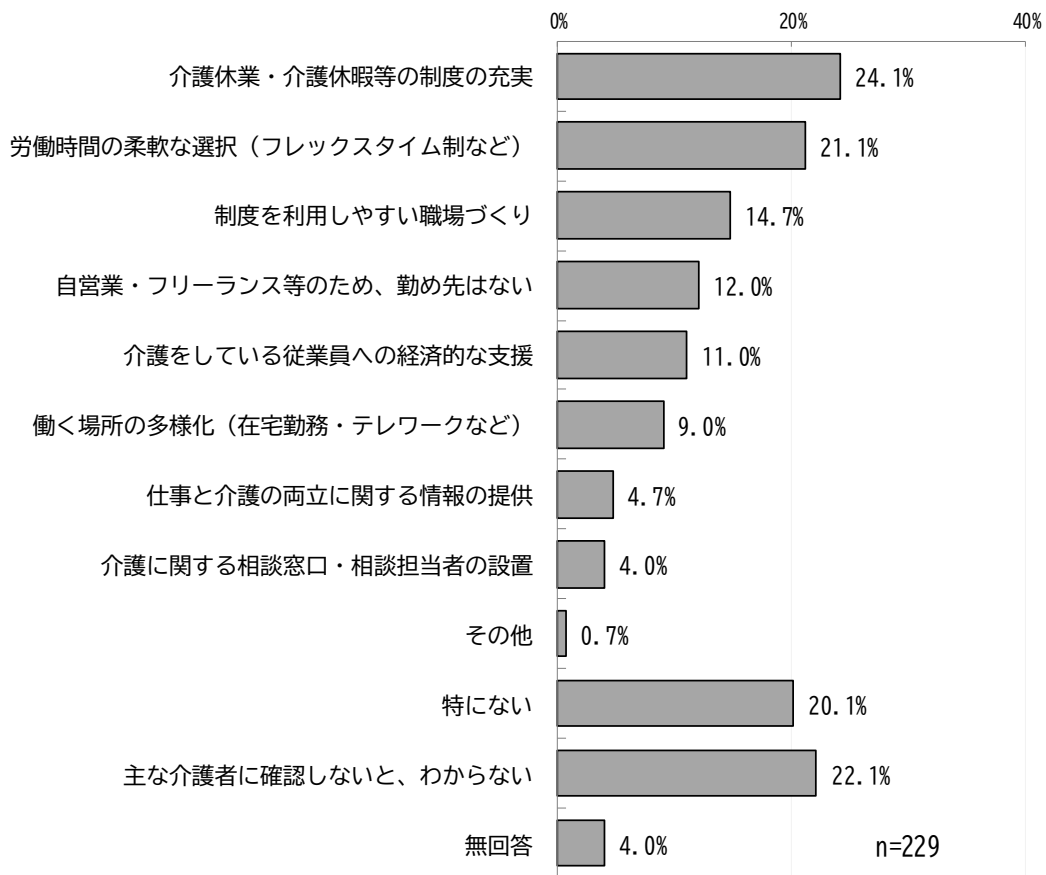
【B票】問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか（いくつでも○）。

主な介護者の方の、介護をするにあたっての働き方の調整等について、「特に行っていない」が54.5%と最も高く、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が22.4%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が13.0%、「介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」が8.0%、「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」が6.0%、「主な介護者に確認しないと、わからない」が5.4%となっている。



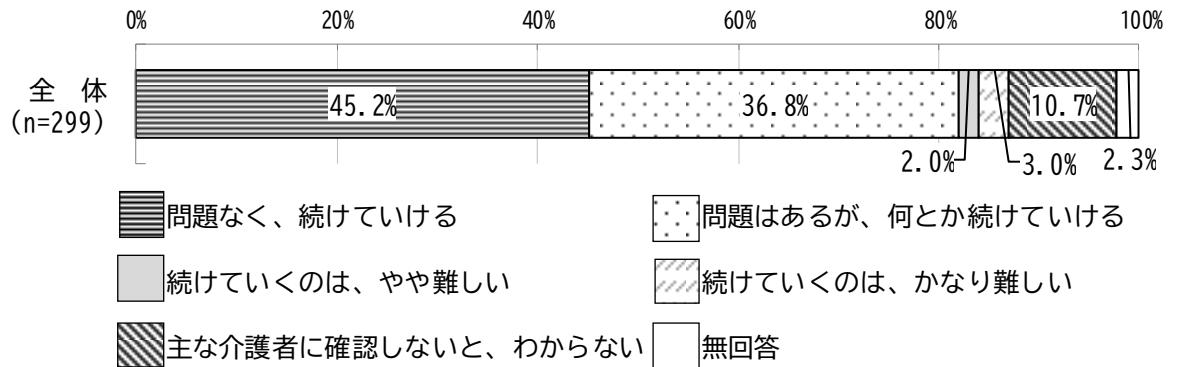
【B票】問3 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで○）。

主な介護者の方が仕事と介護の両立に効果があると考え、勤め先からの支援について、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が24.1%と最も高く、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が21.1%、「制度を利用しやすい職場づくり」が14.7%、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」が12.0%、「介護をしている従業員への経済的な支援」が11.0%、「働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）」が9.0%、「仕事と介護の両立に関する情報の提供」が4.7%、「介護に関する相談窓口・相談担当者の設置」が4.0%となっている。また「特にない」が20.1%、「主な介護者に確認しないと、わからない」が22.1%となっている。



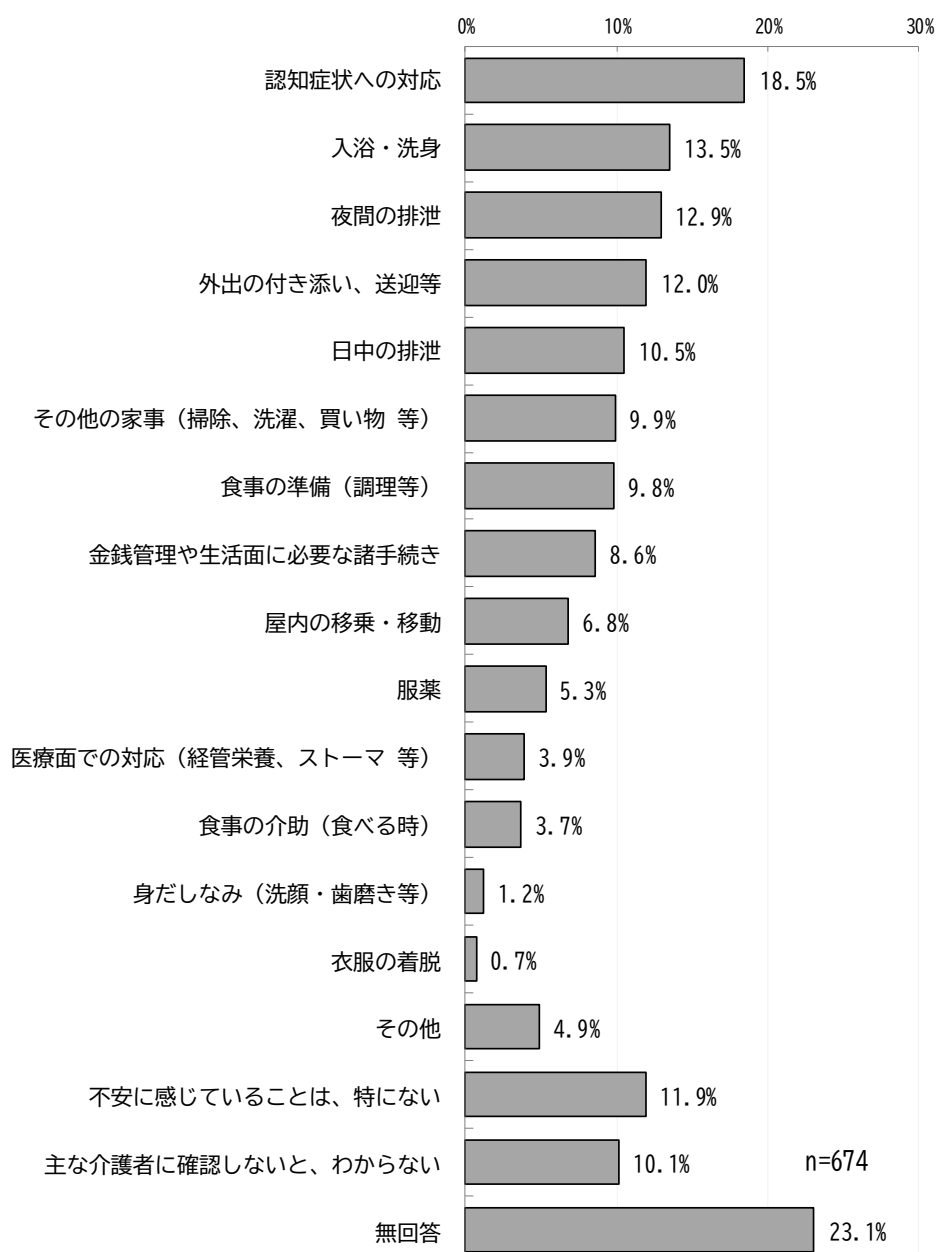
【B票】問4 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つに○）。

主な介護者の方が、今後も働きながら介護を続けていけそうかについて、「問題なく、続けていける」が45.2%と最も高く、「問題はあるが、何とか続けていける」が36.8%、「続けていくのは、やや難しい」が2.0%、「続けていくのは、かなり難しい」が3.0%となっている。また、「主な介護者に確認しないと、わからない」が10.7%となっている。



【B票】問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで○）。

現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、「認知症状への対応」が18.5%と最も高く、「入浴・洗身」が13.5%、「夜間の排泄」が12.9%、「外出の付き添い、送迎等」が12.0%、「日中の排泄」が10.5%、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が9.9%、「食事の準備（調理等）」が9.8%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が8.6%、「屋内の移乗・移動」が6.8%、「服薬」が5.3%、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」が3.9%、「食事の介助（食べる時）」が3.7%、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」が1.2%、「衣服の着脱」が0.7%となっている。また、「不安に感じていることは、特にない」が11.9%、「主な介護者に確認しないと、わからない」が10.1%となっている。



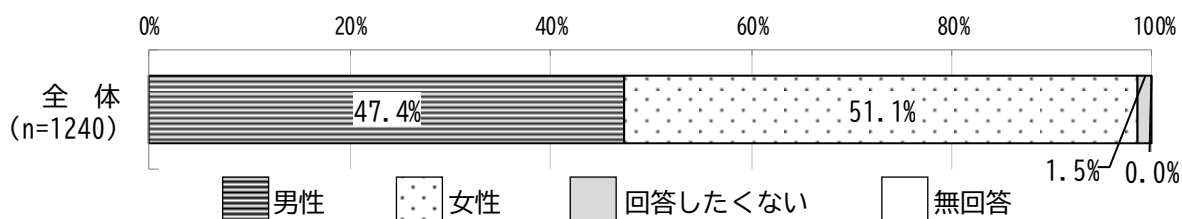
5 第2号被保険者調査

5 第2号被保険者調査

(1) あなたの基本情報について

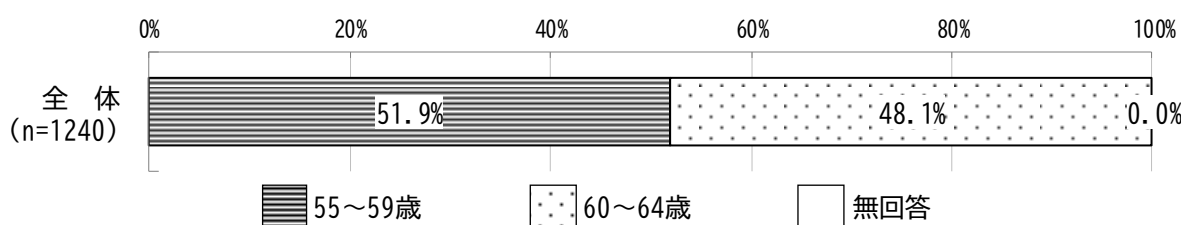
問1 (1) あなたの性別について、ご回答ください(1つを選択)。

性別は、「男性」が47.4%、「女性」が51.1%、「回答したくない」が1.5%となっている。



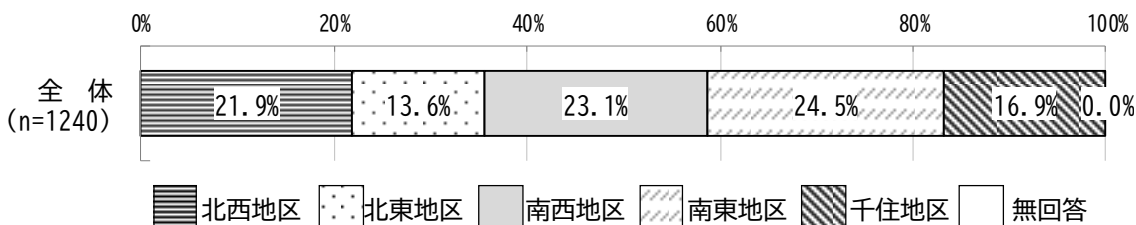
問1 (2) あなたの年齢について、ご回答ください(数字を入力)。

年齢は、「55～59歳」が51.9%、「60～64歳」が48.1%となっている。



問1 (3) あなたのお住まい(住所)について、ご回答ください(1つを選択)。

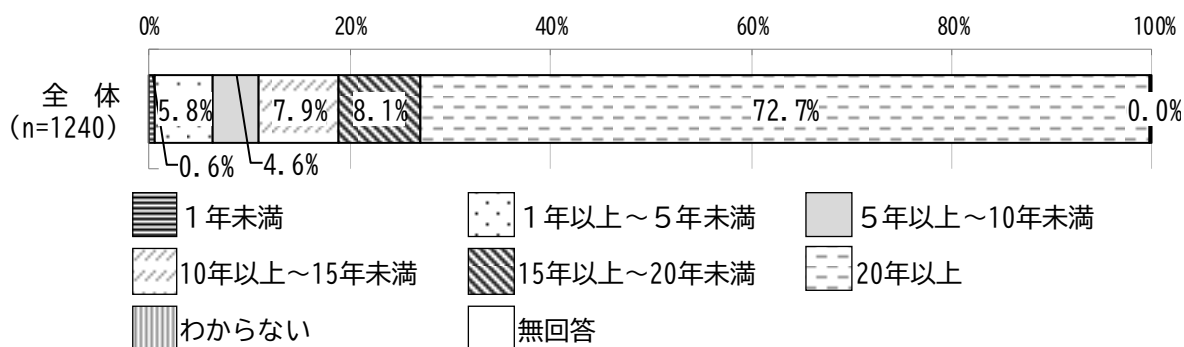
日常生活圏域でみると、「南東地区」が24.5%と最も高く、「南西地区」が23.1%、「北西地区」が21.9%、「千住地区」が16.9%、「北東地区」が13.6%となっている。



問1 (4) あなたの足立区での居住年数は何年ですか(1つを選択)。

※ 足立区を離れたことがある場合でも通算してお答えください。

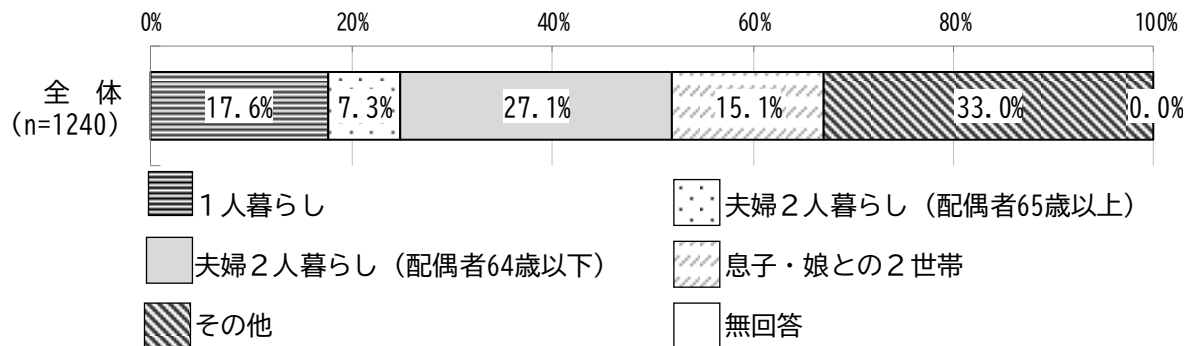
全体では、「20年以上」が72.7%と最も高く、「15年以上～20年未満」が8.1%、「10年以上～15年未満」が7.9%、「1年以上～5年未満」が5.8%、「5年以上～10年未満」が4.6%、「1年未満」が0.6%となっている。



(2) あなたのご家族や生活状況について

問2 (1) 家族構成をお教えてください(1つを選択)。

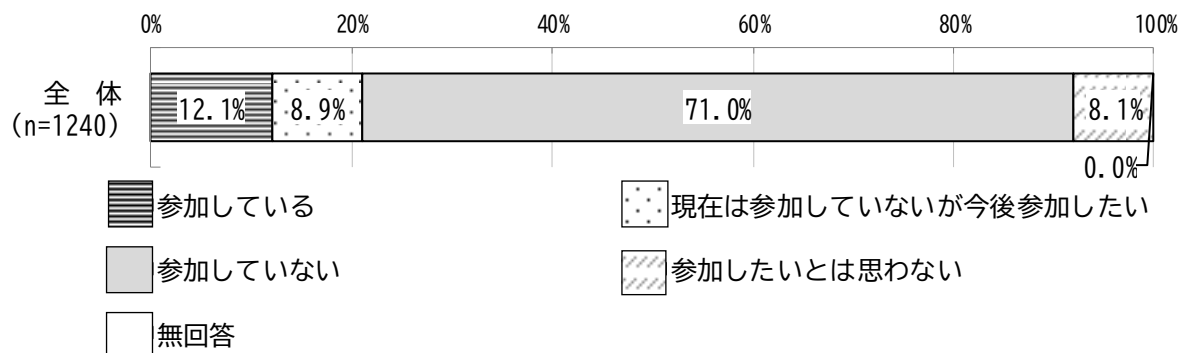
家族構成について、「1人暮らし」が17.6%、「夫婦2人暮らし」が34.4%、「息子・娘との2世帯」が15.1%となっている。



(3) 地域での活動について

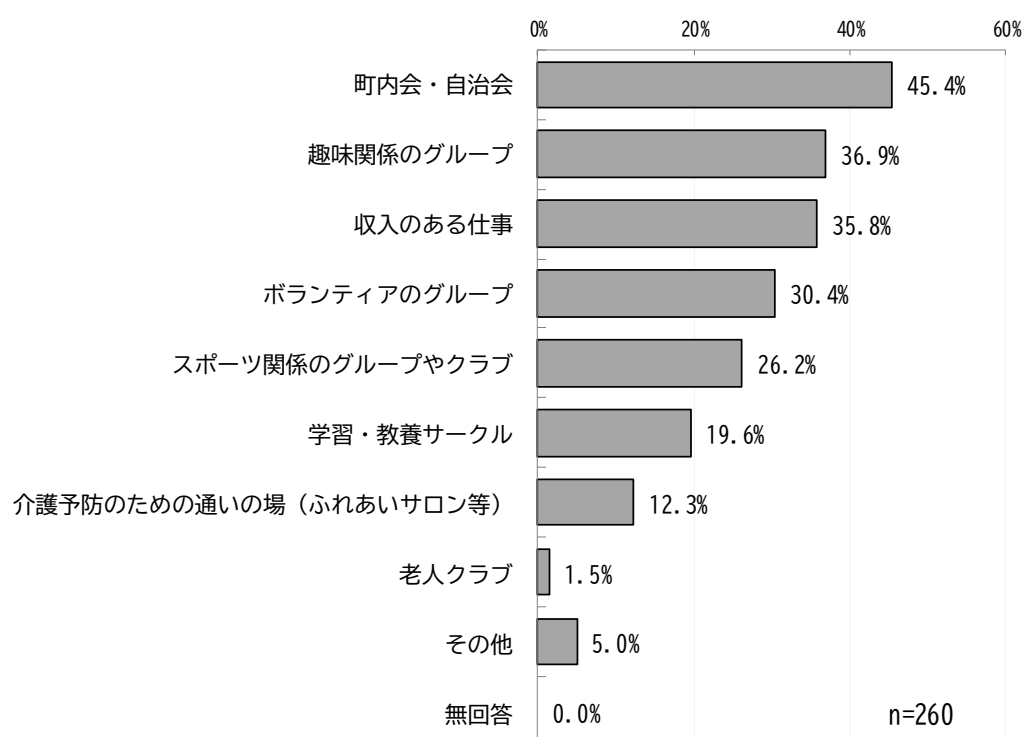
問3 (1) あなたは現在、地域での活動に参加していますか(1つを選択)。

地域活動への参加状況について、「参加していない」が71.0%と最も高く、「参加している」が12.1%、「現在は参加していないが、今後参加したい」が8.9%、「参加したいとは思わない」が8.1%となっている。



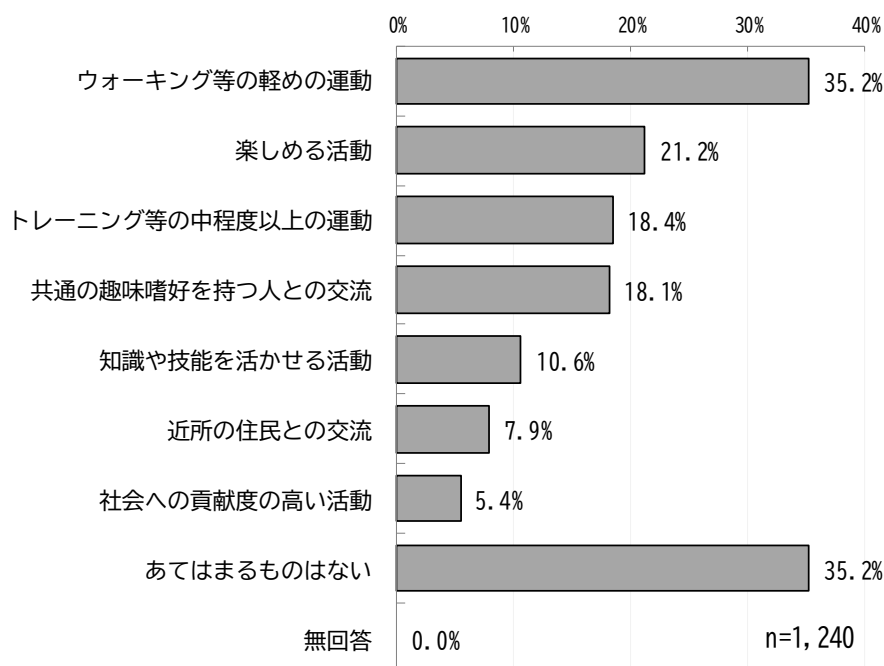
問3 (1) ① 以下のような会・グループ等の中で、あなたが現在参加されている、または今後参加したいと思うものを教えてください（いくつでも選択可）。

現在参加している、または参加したいと思う会・グループ等について、「町内会・自治会」が45.4%と最も高く、「趣味関係のグループ」が36.9%、「収入のある仕事」が35.8%、「ボランティアのグループ」が30.4%、「スポーツ関係のグループやクラブ」が26.2%、「学習・教養サークル」が19.6%、「介護予防のための通いの場（ふれあいサロン等）」が12.3%、「老人クラブ」が1.5%となっている。



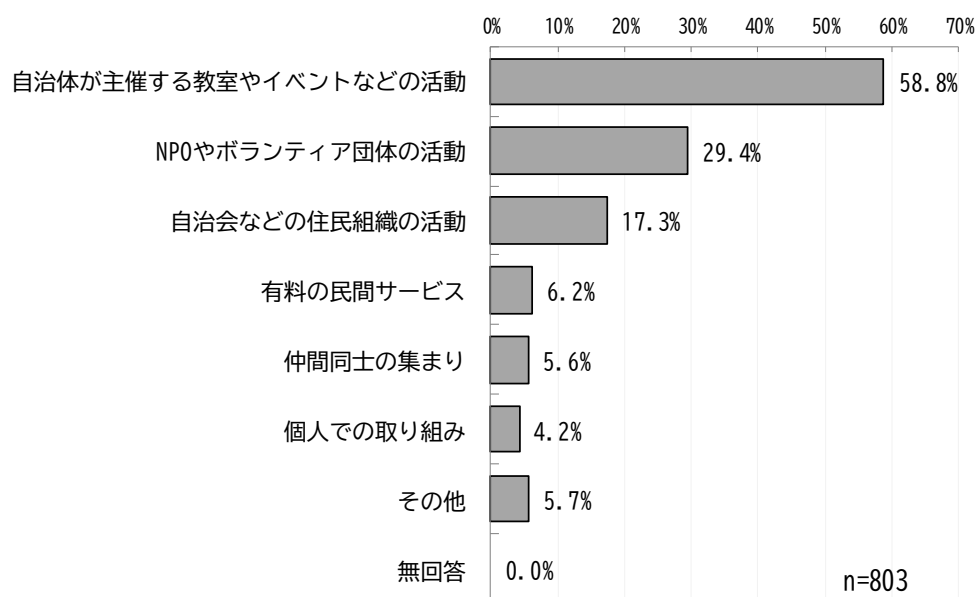
問3（2） あなたが月に1回以上行っている取り組みや活動はありますか（いくつでも選択可）。

月1回以上行っている取り組みや活動について、「ウォーキング等の軽めの運動」が35.2%と最も高く、「楽しめる活動」が21.2%、「トレーニング等の中程度以上の運動」が18.4%、「共通の趣味嗜好を持つ人との交流」が18.1%、「知識や技能を活かせる活動」が10.6%、「近所の住民との交流」が7.9%、「社会への貢献度の高い活動」が5.4%、「あてはまるものはない」が35.2%となっている。



問3 (2) ① 活動にあてはまる場をお答えください（いくつでも選択可）。

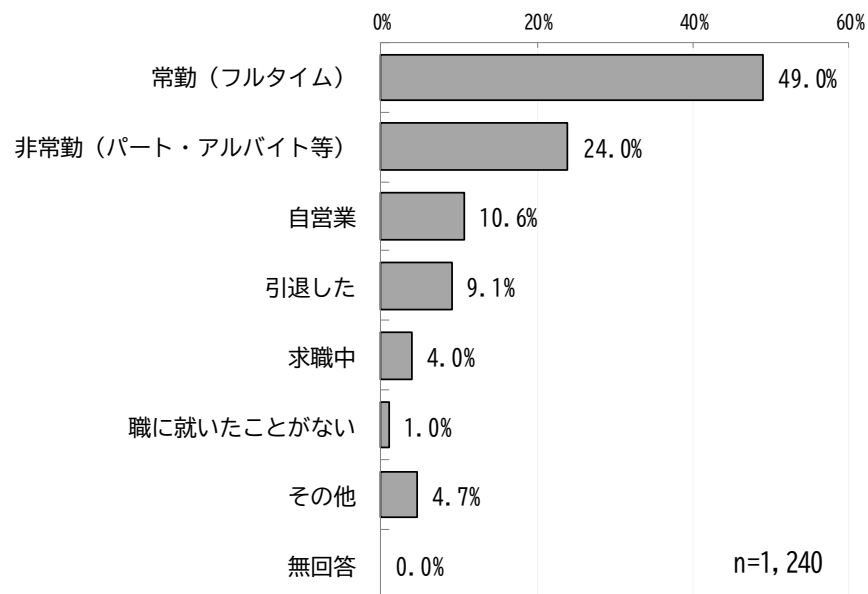
月に1回以上行っている取り組みや活動があると回答した方の、活動にあてはまる場について、「自治体が主催する教室やイベントなどの活動」が58.8%と最も高く、「NPOやボランティア団体の活動」が29.4%、「自治会などの住民組織の活動」が17.3%、「有料の民間サービス」が6.2%、「仲間同士の集まり」が5.6%、「個人での取り組み」が4.2%となっている。



(4) 就労について

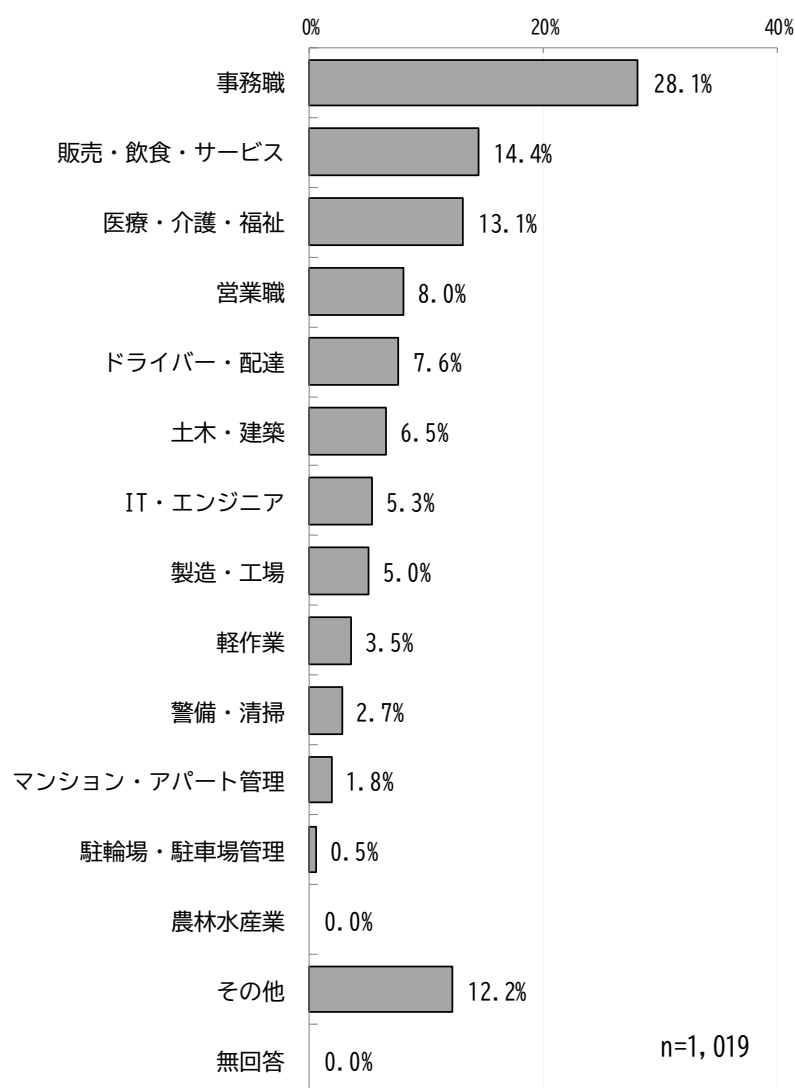
問4 (1) 現在のあなたの就労状態はどれですか (いくつでも選択可)。

現在の就業状態について、「常勤（フルタイム）」が49.0%と最も高く、「非常勤（パート・アルバイト等）」が24.0%、「自営業」が10.6%、「引退した」が9.1%、「求職中」が4.0%、「職に就いたことがない」が1.0%となっている。



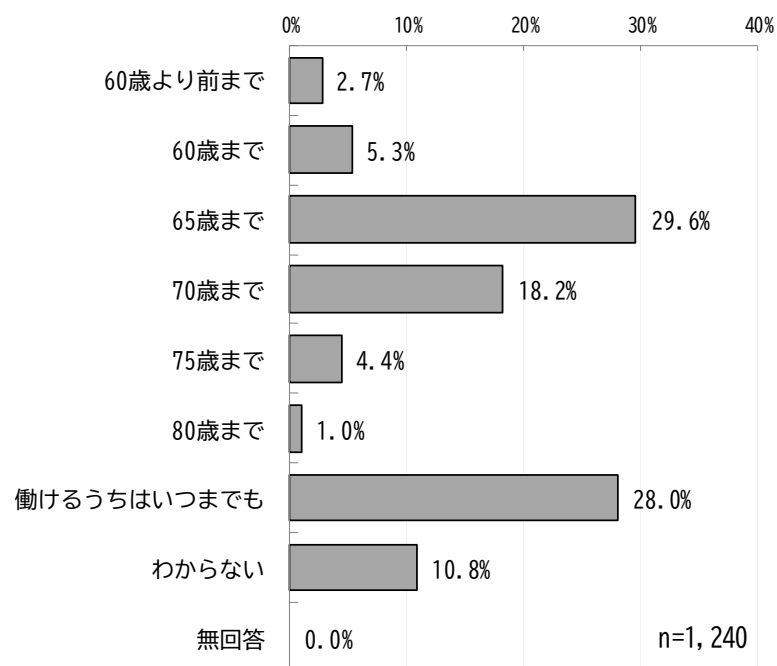
問4 (1) ① 現在の職種について教えてください（いくつでも選択可）。

「常勤（フルタイム）」「非常勤（パート・アルバイト等）」「自営業」と回答した方の、現在の職種について、「事務職」が28.1%と最も高く、「販売・飲食・サービス」が14.4%、「医療・介護・福祉」が13.1%、「営業職」が8.0%、「ドライバー・配達」が7.6%となっている。



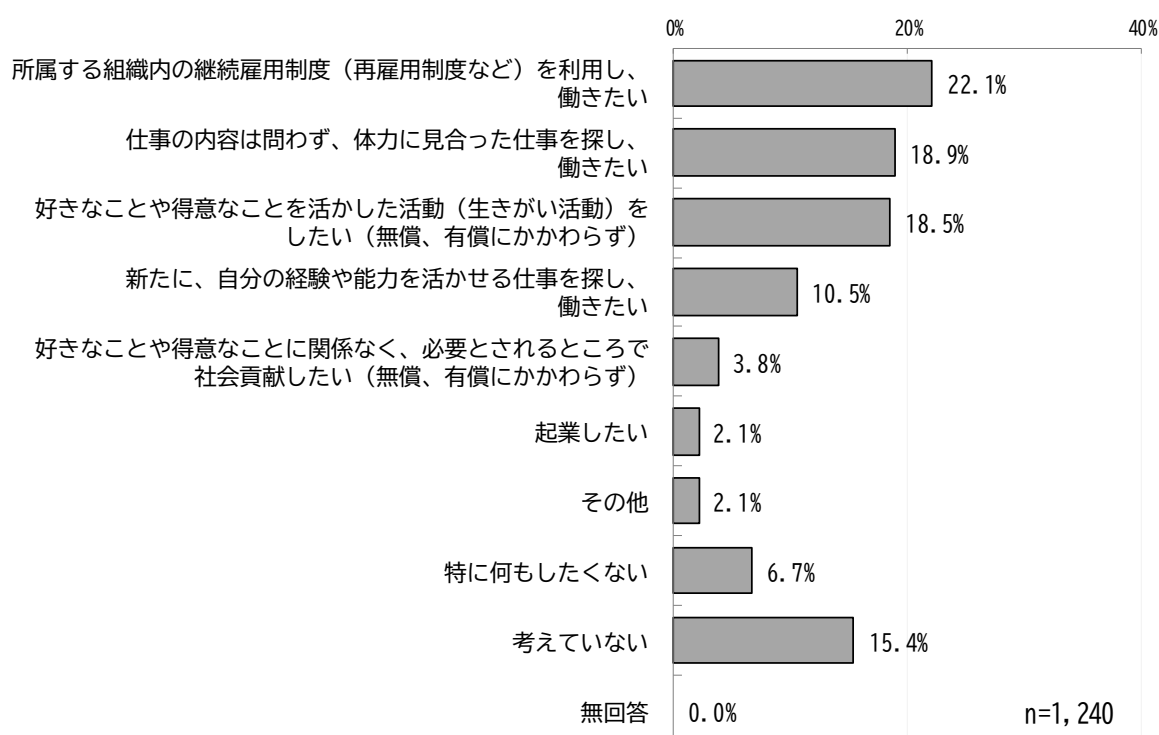
問4（2） あなたは何歳まで仕事をしたい（または続けたい）ですか（1つを選択）。

何歳まで仕事をしたいかについて、「65歳まで」が29.6%と最も高く、「働けるうちはいつまでも」が28.0%、「70歳まで」が18.2%、「60歳まで」が5.3%、「75歳まで」が4.4%、「60歳より前まで」が2.7%、「80歳まで」が1.0%、「わからない」が10.8%となっている。



問4（3） あなたの退職後の働き方等に関する希望を教えてください（1つを選択）。

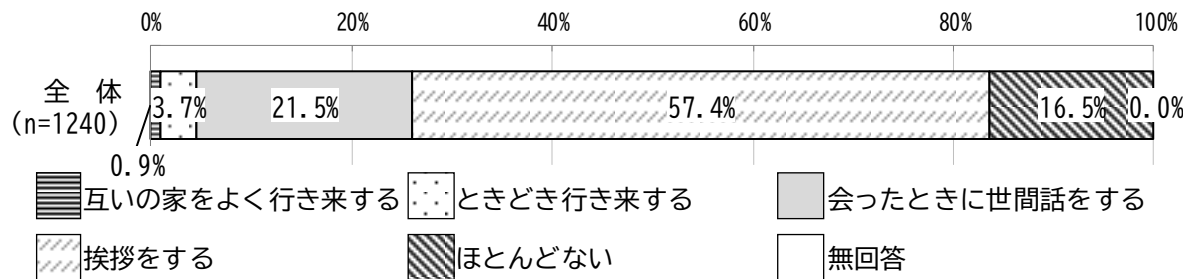
退職後の働き方等に関する希望について、「所属する組織内の継続雇用制度（再雇用制度など）を利用し、働きたい」が22.1%と最も高く、「仕事の内容は問わず、体力に見合った仕事を探し、働きたい」が18.9%、「好きなことや得意なことを活かした活動（生きがい活動）をしたい（無償、有償にかかわらず）」が18.5%、「新たに、自分の経験や能力を活かせる仕事を探し、働きたい」が10.5%、「好きなことや得意なことに関係なく、必要とされるところで社会貢献したい（無償、有償にかかわらず）」が3.8%、「起業したい」が2.1%となっている。また「特に何もしたくない」が6.7%、「考えていない」が15.4%となっている。



(5) たすけあいについて

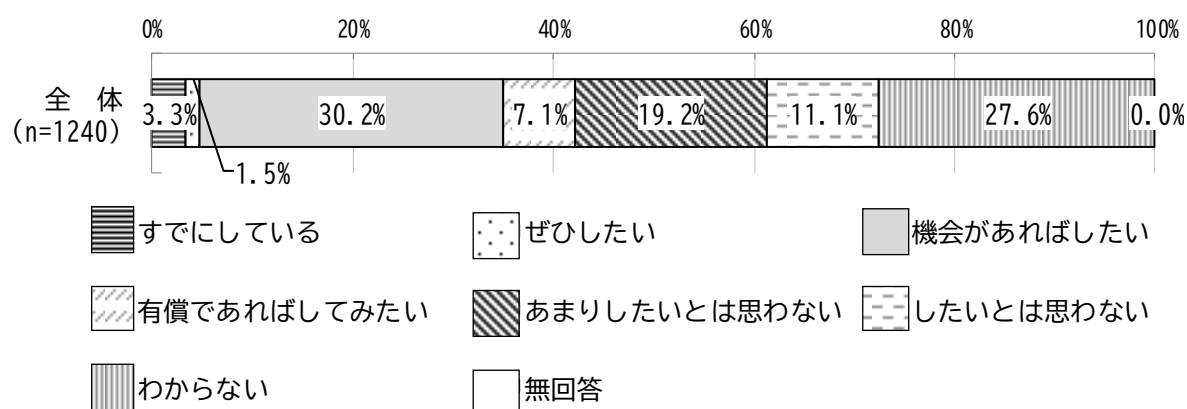
問5 (1) 隣近所とどの程度交流を持っていますか (1つを選択)。

隣近所との交流状況について、「挨拶をする」が57.4%と最も高く、「会ったときに世間話をする」が21.5%、「ほとんどない」が16.5%、「ときどき行き来する」が3.7%、「互いの家をよく行き来する」が0.9%となっている。



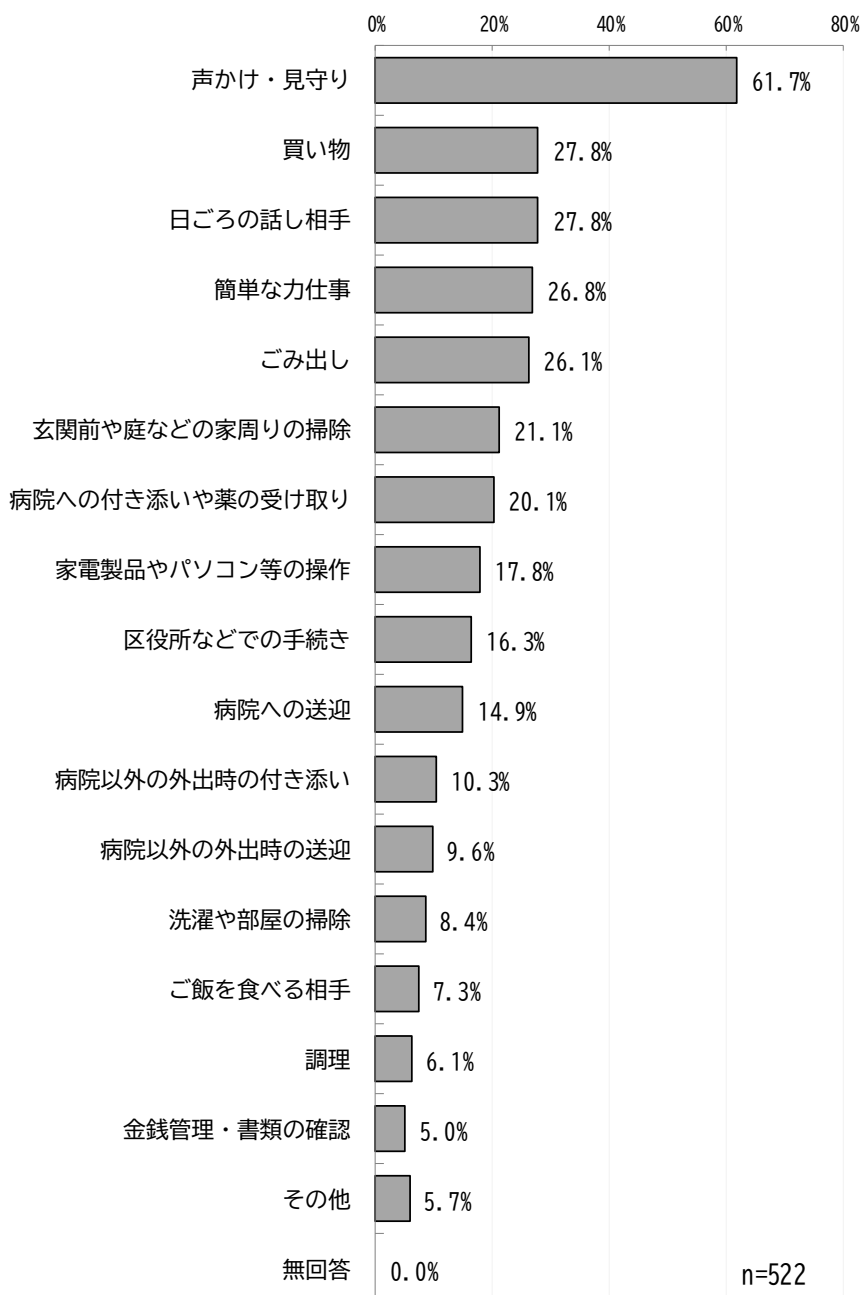
問5（2） あなたはお住まいの地域で、支援が必要な人に対して何か手助けや活動（ボランティアを含む）をしようと思いますか（1つを選択）。

住んでいる地域で支援が必要な人に対しての手助けや活動（ボランティアを含む）の意向について、「機会があればしたい」が30.2%と最も高く、「わからない」が27.6%、「わからない」が27.6%、「あまりしたいとは思わない」が19.2%、「したいとは思わない」が11.1%、「有償であればしてみたい」が7.1%、「すでにしている」が3.3%、「ぜひしたい」が1.5%となっている。



問5 (2) ① それはどのような手助けや活動ですか（いくつでも選択可）。

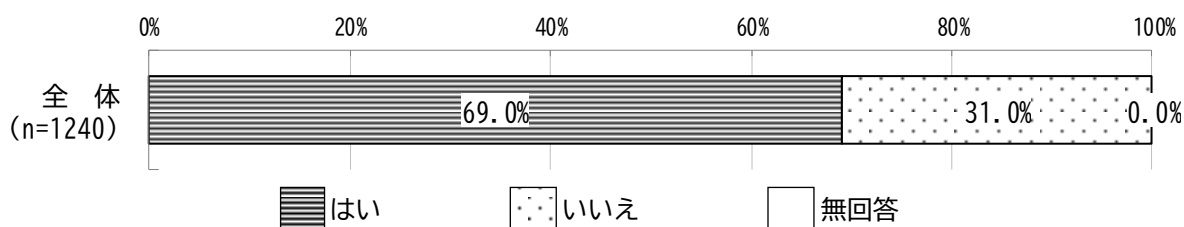
住んでいる地域で支援が必要な人に対しての手助けや活動（ボランティアを含む）を「している」または「したいと思っている」と回答した人のうち、どのような手助けや活動をしたいと思っているかについて、「声かけ・見守り」が61.7%と最も高く、「買い物」「日ごろの話し相手」が27.8%、「簡単な力仕事」が26.8%、「ごみ出し」が26.1%、「玄関前や庭などの家周りの掃除」が21.1%となっている。



(6) 健康について

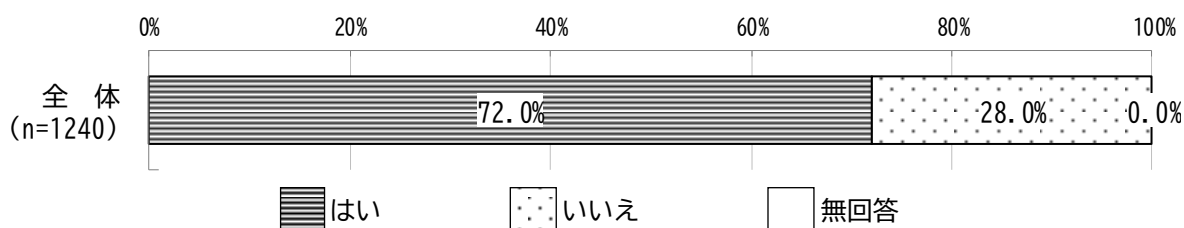
問6(1) かかりつけ医(医院・病院)はいますか(1つを選択)。

『かかりつけ医(医院・病院)はいますか。』に対して、「はい」が69.0%、「いいえ」が31.0%となっている。



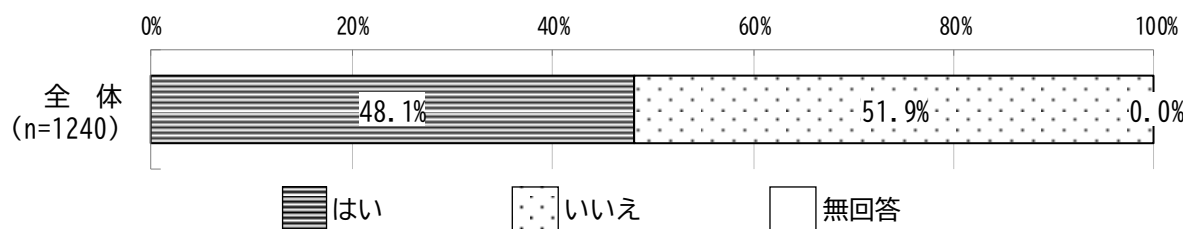
問6(2) かかりつけ歯科医(医院・病院)はいますか(1つを選択)。

『かかりつけ歯科医(医院・病院)はいますか。』に対して、「はい」が72.0%、「いいえ」が28.0%となっている。



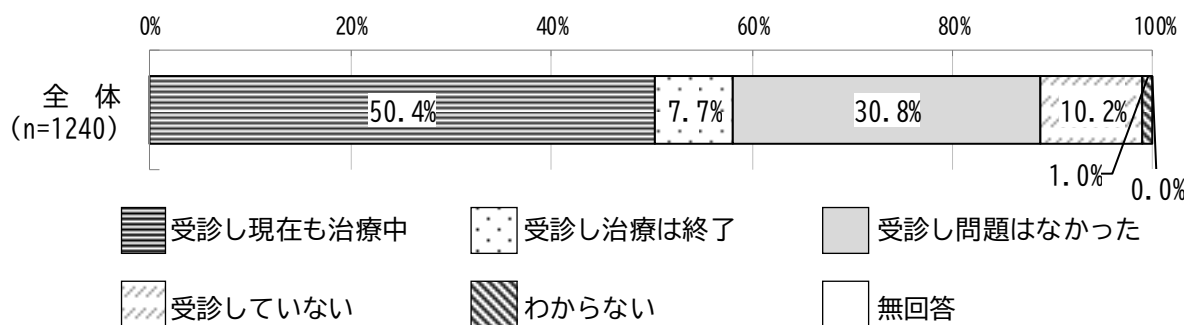
問6(3) かかりつけ薬剤師(薬局)はいますか(1つを選択)。

『かかりつけ薬剤師(薬局)はいますか。』に対して、「はい」が48.1%、「いいえ」が51.9%となっている。



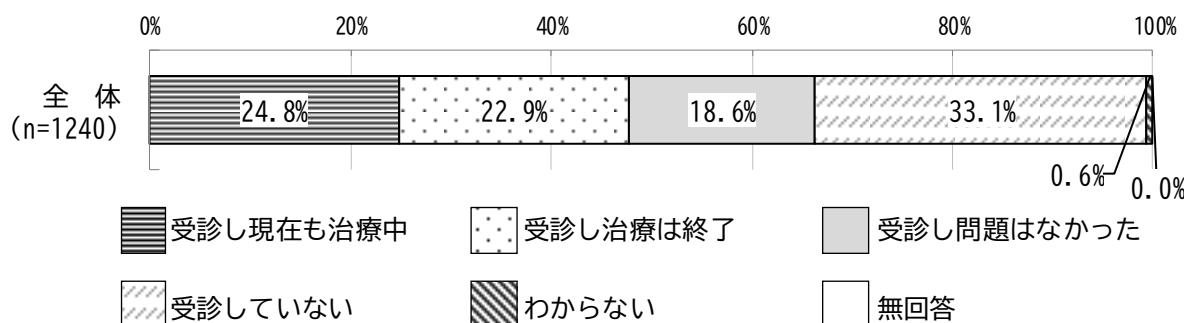
問6（4） あなたは1年前から今日の間で医師による健康診査（検診）や治療を受けましたか（1つを選択）。

1年前から今日の間で医師による健康診査（検診）や治療の受診状況について、「受診し現在も治療中」が50.4%と最も高く、「受診し問題はなかった」が30.8%、「受診していない」が10.2%、「受診し治療は終了」が7.7%、「わからない」が1.0%となっている。



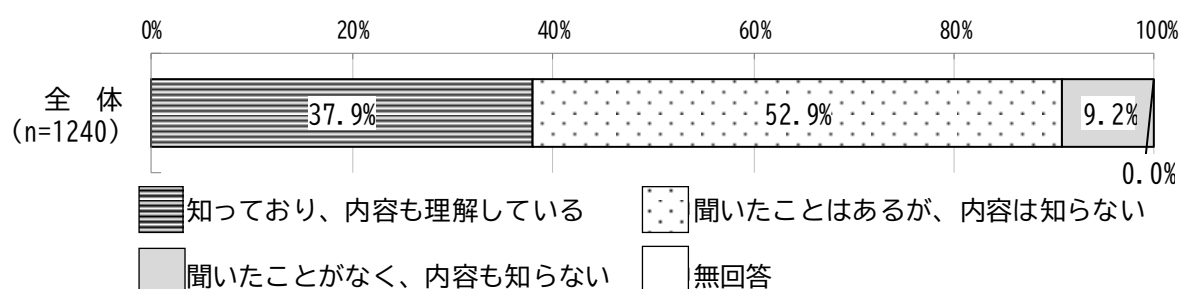
問6（5） あなたは1年前から今日の間で歯科医師による歯科健診（検診）や治療を受けましたか（1つを選択）。

1年前から今日の間で歯科医師による歯科健診（検診）や治療の受診状況について、「受診していない」が33.1%と最も高く、「受診し現在も治療中」が24.8%、「受診し治療は終了」が22.9%、「受診し問題はなかった」が18.6%、「わからない」が0.6%となっている。



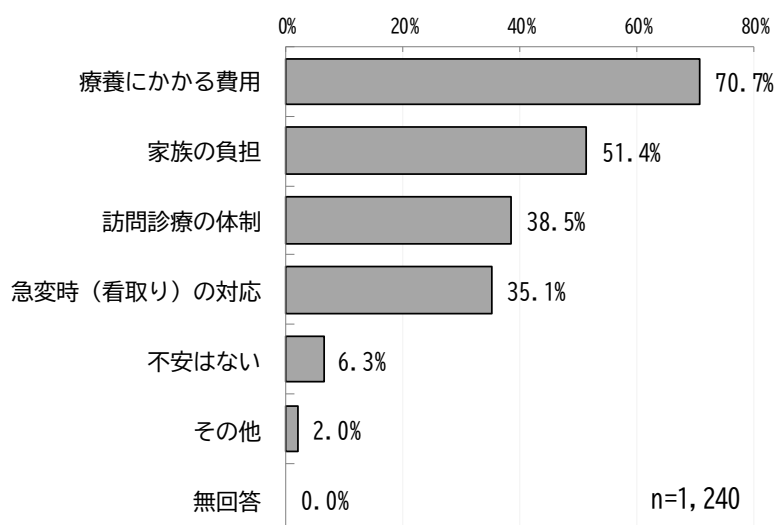
問6（6） 「在宅療養」とは、通院が困難な場合などでも、訪問型の医療や介護サービスを利用しながら、住み慣れたご自宅や地域（在宅施設）で暮らし続けることです。あなたは、「在宅療養」について元々ご存知でしたか（1つに○）。

「在宅療養」の認知度について、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が52.9%と最も高く、「知っており、内容も理解している」が37.9%、「聞いたことがなく、内容も知らない」が9.2%となっている。



問6（7） あなたが在宅療養を利用する場合に、不安に思うことは何ですか（いくつでも○）。

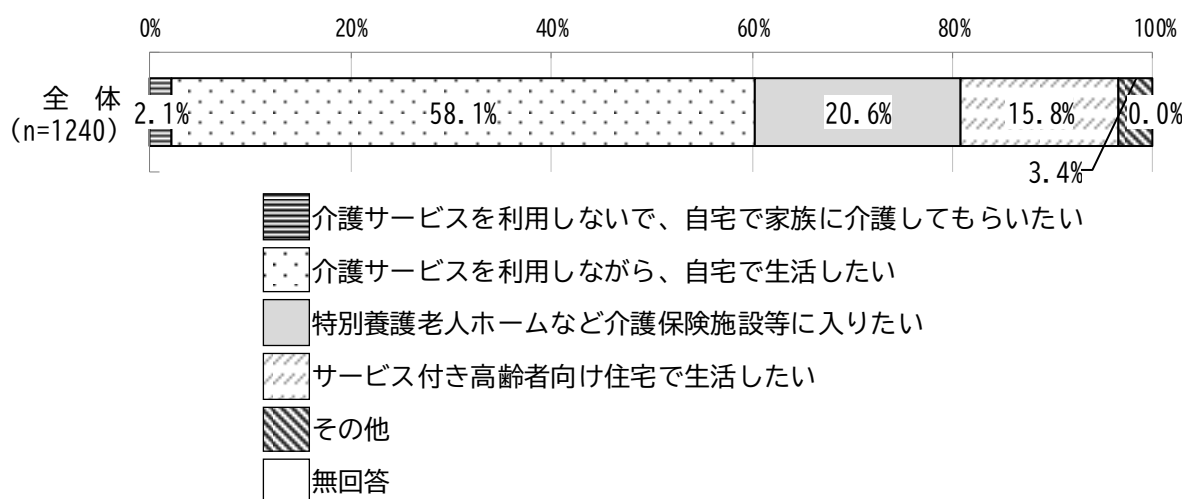
「在宅療養」利用時に不安に思うことについて、「療養にかかる費用」が70.7%と最も高く、「家族の負担」が51.4%、「訪問診療の体制」が38.5%、「急変時（看取り）の対応」が35.1%、「不安はない」が6.3%となっている。



(7) 介護について

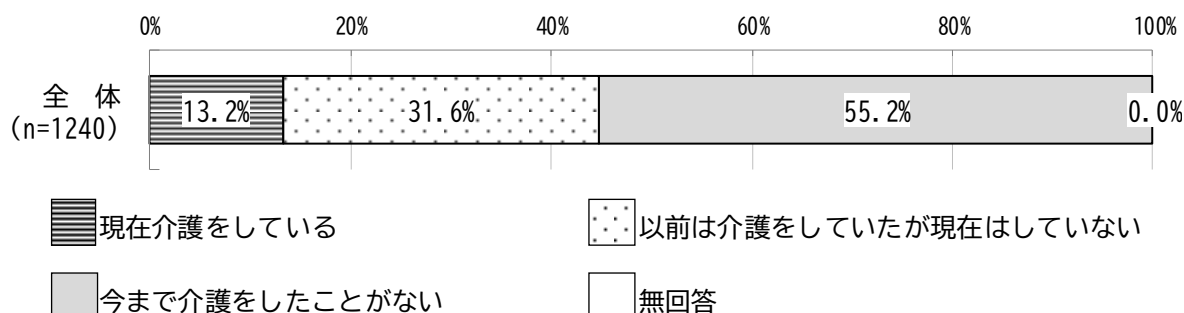
問7(1) あなたは、介護が必要になったとき、どのような介護を希望しますか
(1つを選択)。

介護が必要になった際の介護の希望として、「介護サービスを利用しながら、自宅で生活したい」が58.1%と最も高く、「特別養護老人ホームなど介護保険施設等に入りたい」が20.6%、「サービス付き高齢者向け住宅で生活したい」が15.8%、「介護サービスを利用しないで、自宅で家族に介護してもらいたい」が2.1%となっている。



問7(2) あなたは、家族等の介護をした経験はありますか(1つを選択)。

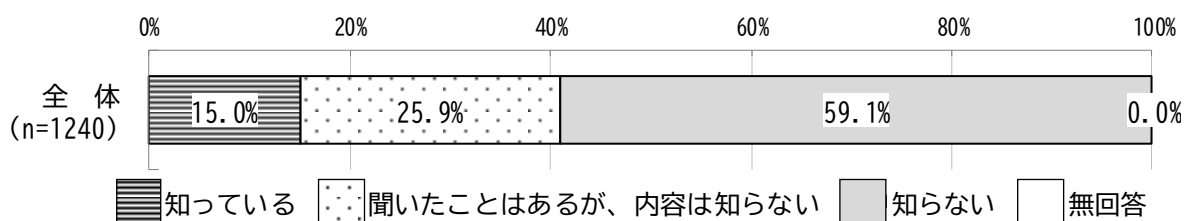
家族等の介護をした経験について、足立区全体では、「今まで介護をしたことがない」が55.2%と最も高く、「以前は介護をしていたが現在はしていない」が31.6%、「現在介護をしている」が13.2%となっている。



(8) 認知症について

問8(1) 認知症サポーターをご存知ですか。(1つを選択)。

認知症サポーターについて、「知らない」が59.1%と最も高く、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が25.9%、「知っている」が15.0%となっている。



問8(2) 認知症に関する以下のことに関して、あなたはどのように感じたり、思ったりしていますか(それぞれ1つに○)。

認知症に関する考えについて、認知症は誰もがなり得ると思うかでは「思う」が73.3%、認知症になったら何もわからなくなると思うかでは「どちらかというと思う」が36.4%、認知症になったら何もできなくなると思うかでは「どちらかというと思わない」が33.1%、地域生活の様々な場面において、認知症の人の意思が尊重されていると思うかでは「どちらかというと思わない」が53.5%、認知症の人が自分らしく暮らせると思うかでは「どちらかというと思わない」が51.9%となっている。

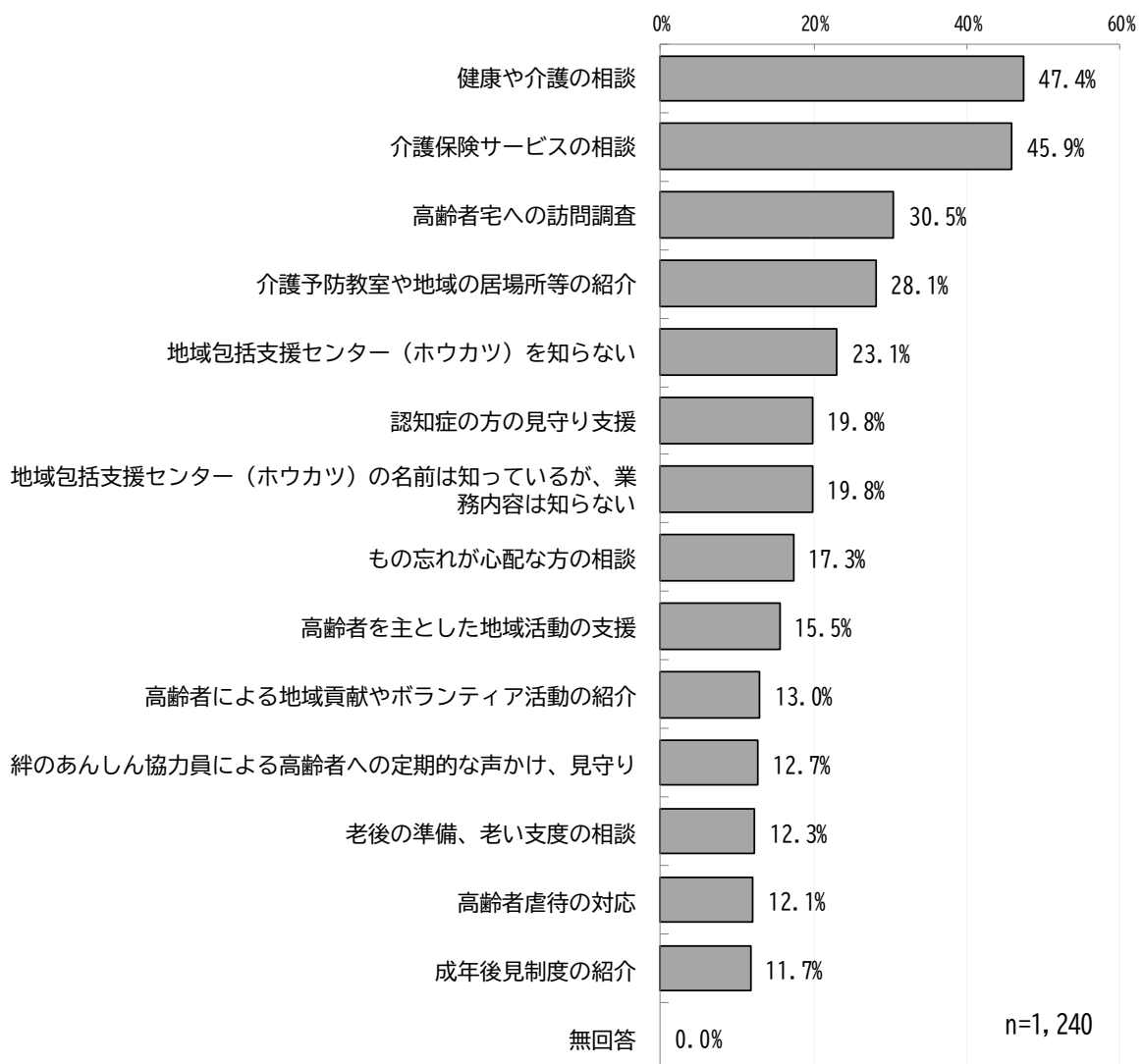
(%)

	調査数	思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない	無回答
① 認知症は誰もがなり得ると思いますか	1240	73.3	20.6	3.5	2.6	0.0
② 認知症になったら何もわからなくなると思いますか	1240	13.8	36.4	28.5	21.3	0.0
③ 認知症になったら何もできなくなると思いますか	1240	11.5	29.9	33.1	25.4	0.0
④ 地域生活の様々な場面において、認知症の人の意思が尊重されていると思いますか	1240	2.3	22.4	53.5	21.7	0.0
⑤ あなたが暮らす地域では、認知症の人が自分らしく暮らせると思いますか	1240	1.5	22.0	51.9	24.6	0.0

(9) 高齢者福祉サービスや高齢者施策について

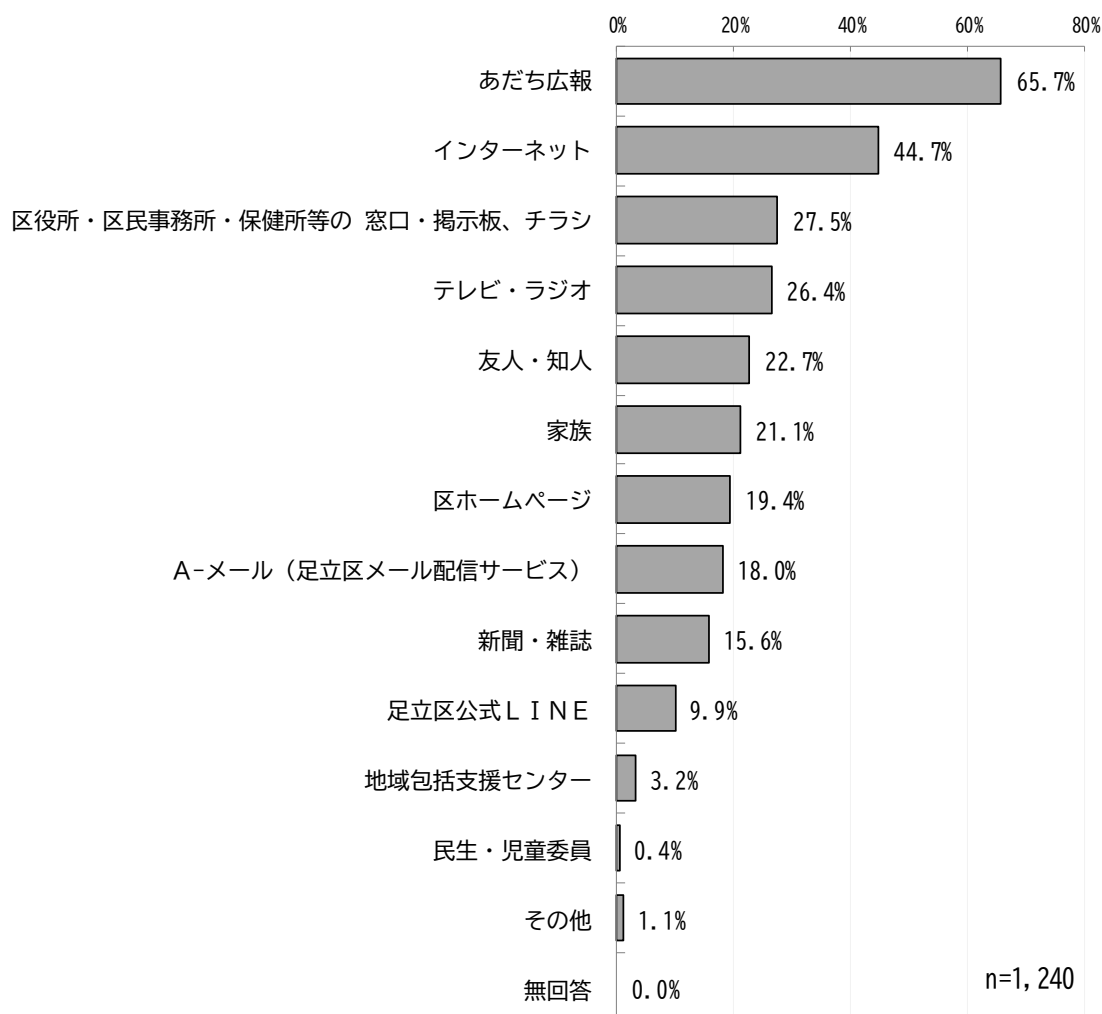
問9 (1) 現在、区内には、高齢者の介護や生活上の相談等を受ける地域包括支援センターがあります。地域包括支援センター（ホウカツ）の業務で、ご存知のものを選択してください（いくつでも選択可）。

足立区内の地域包括支援センターが行っている業務の認知度について、「健康や介護の相談」が47.4%と最も高く、「介護保険サービスの相談」が45.9%、「高齢者宅への訪問調査」が30.5%、「介護予防教室や地域の居場所等の紹介」が28.1%、「地域包括支援センター（ホウカツ）を知らない」が23.1%、「認知症の方の見守り支援」が19.8%、「地域包括支援センター（ホウカツ）の名前は知っているが、業務内容は知らない」が19.8%、「もの忘れが心配な方の相談」が17.3%、「高齢者を主とした地域活動の支援」が15.5%、「高齢者による地域貢献やボランティア活動の紹介」が13.0%、「絆のあんしん協力員による高齢者への定期的な声かけ、見守り」が12.7%、「老後の準備、老い支度の相談」が12.3%、「高齢者虐待の対応」が12.1%、「成年後見制度の紹介」が11.7%となっている。



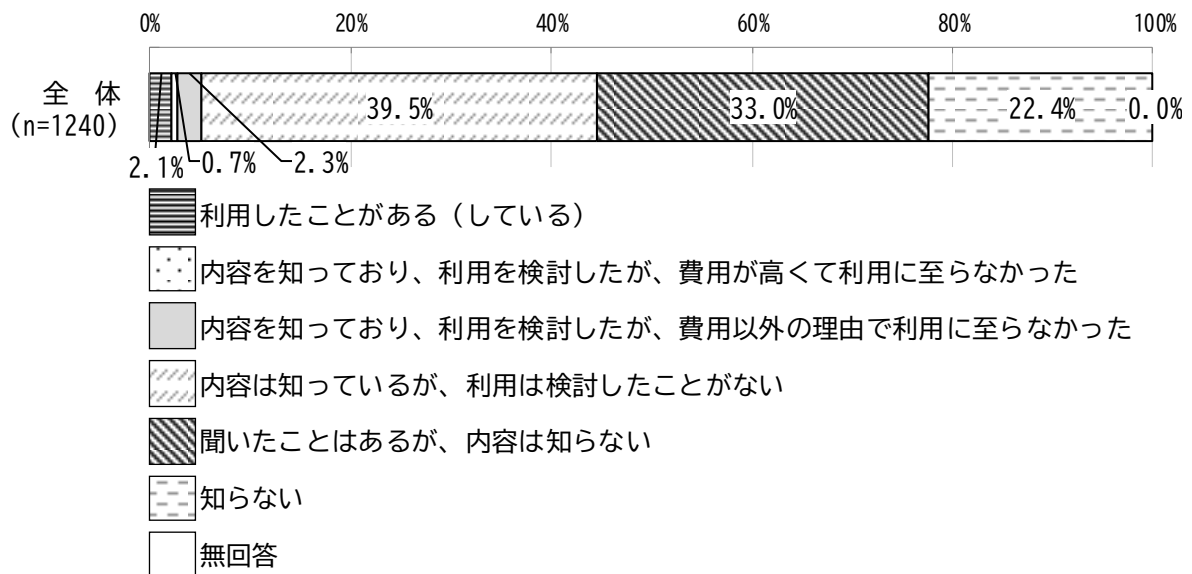
問9(2) 身近な暮らしの情報をどのように入手しますか(いくつでも選択可)。

身近な暮らしの情報の入手先について、「あだち広報」が65.7%と最も高く、「インターネット」が44.7%、「区役所・区民事務所・保健所等の窓口・掲示板、チラシ」が27.5%、「テレビ・ラジオ」が26.4%、「友人・知人」が22.7%、「家族」が21.1%、「区ホームページ」が19.4%、「A-メール(足立区メール配信サービス)」が18.0%、「新聞・雑誌」が15.6%、「足立区公式LINE」が9.9%、「地域包括支援センター」が3.2%、「民生・児童委員」が0.4%となっている。



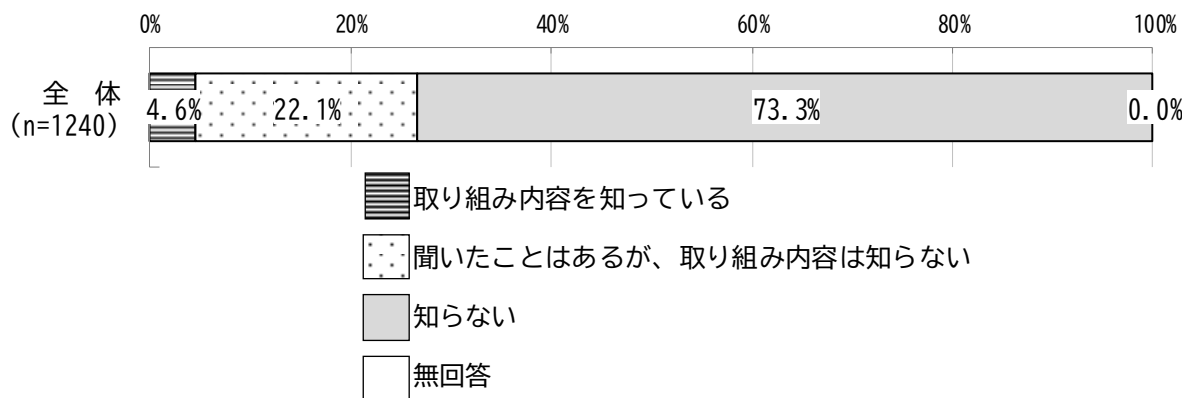
問9（3） 成年後見制度についてご存知ですか（1つを選択）。

成年後見制度について、「内容は知っているが、利用は検討したことがない」が39.5%と最も高く、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が33.0%、「知らない」が22.4%、「利用したことがある（している）」が2.1%、「内容を知っており、利用を検討したが、費用以外で理由で利用に至らなかった」が2.3%、「内容を知っており、利用を検討したが、費用が高くて利用に至らなかった」が0.7%となっている。



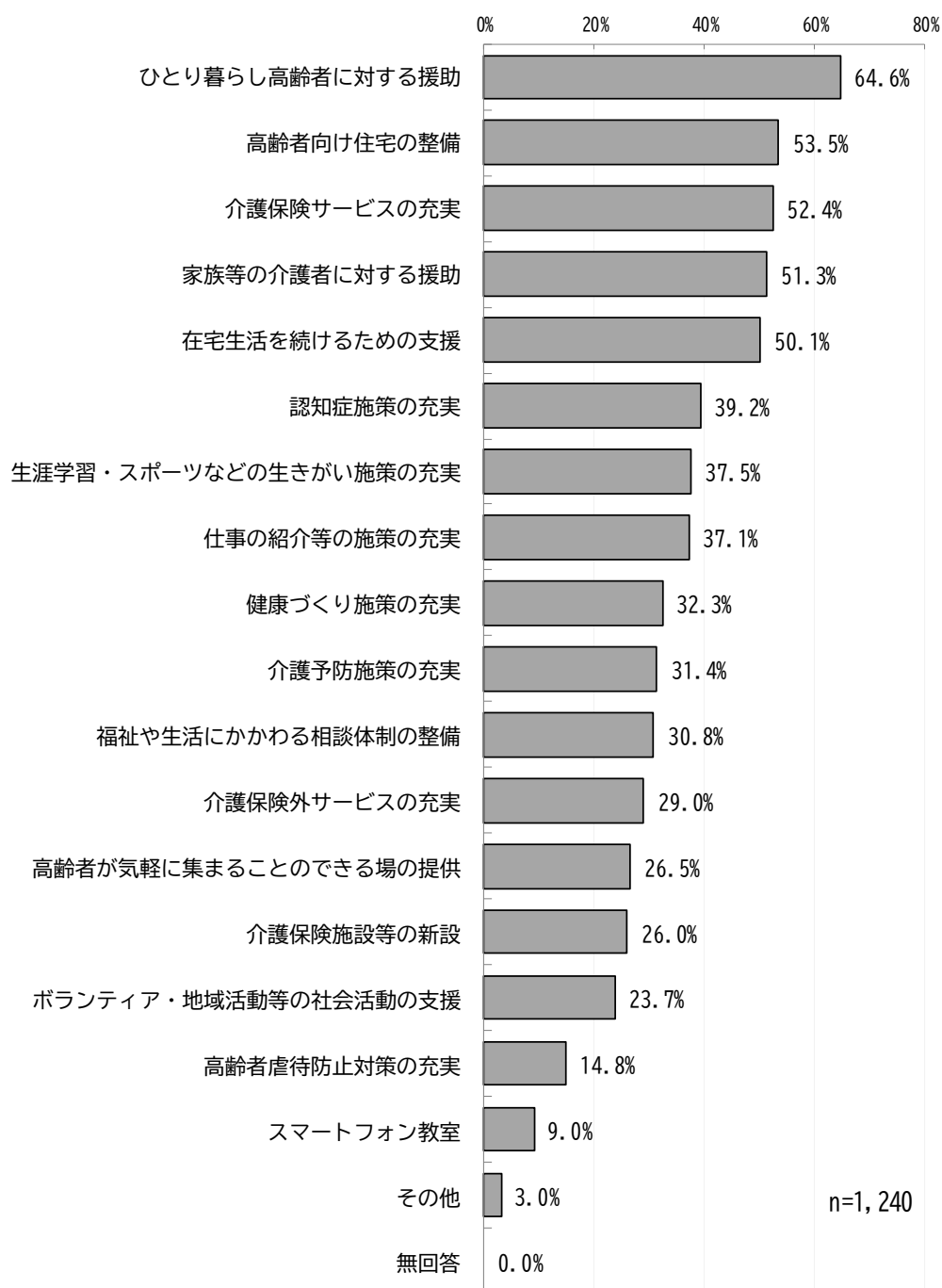
問9（4） 足立区ではひとり暮らし高齢者や高齢者世帯を対象に、「孤立ゼロプロジェクト～絆のあんしんネットワーク～」（近隣同士の見守り活動）の取り組みを実施していますが、ご存知ですか（1つを選択）。

「孤立ゼロプロジェクト」による取り組みについて、「知らない」が73.3%と最も高く、「聞いたことはあるが、取り組み内容は知らない」が22.1%、「取り組み内容を知っている」が4.6%となっている。



問9（5） あなたは、足立区に対してどのような高齢者施策の充実をお望みですか
（いくつでも選択可）。

足立区に対して望む高齢者施策の充実について、「ひとり暮らし高齢者に対する援助」が64.6%と最も高く、「高齢者向け住宅の整備」が53.5%、「介護保険サービスの充実」が52.4%、「家族等の介護者に対する援助」が51.3%、「在宅生活を続けるための支援」が50.1%と続いている。



6 在宅サービス事業所調査

6 在宅サービス事業所調査

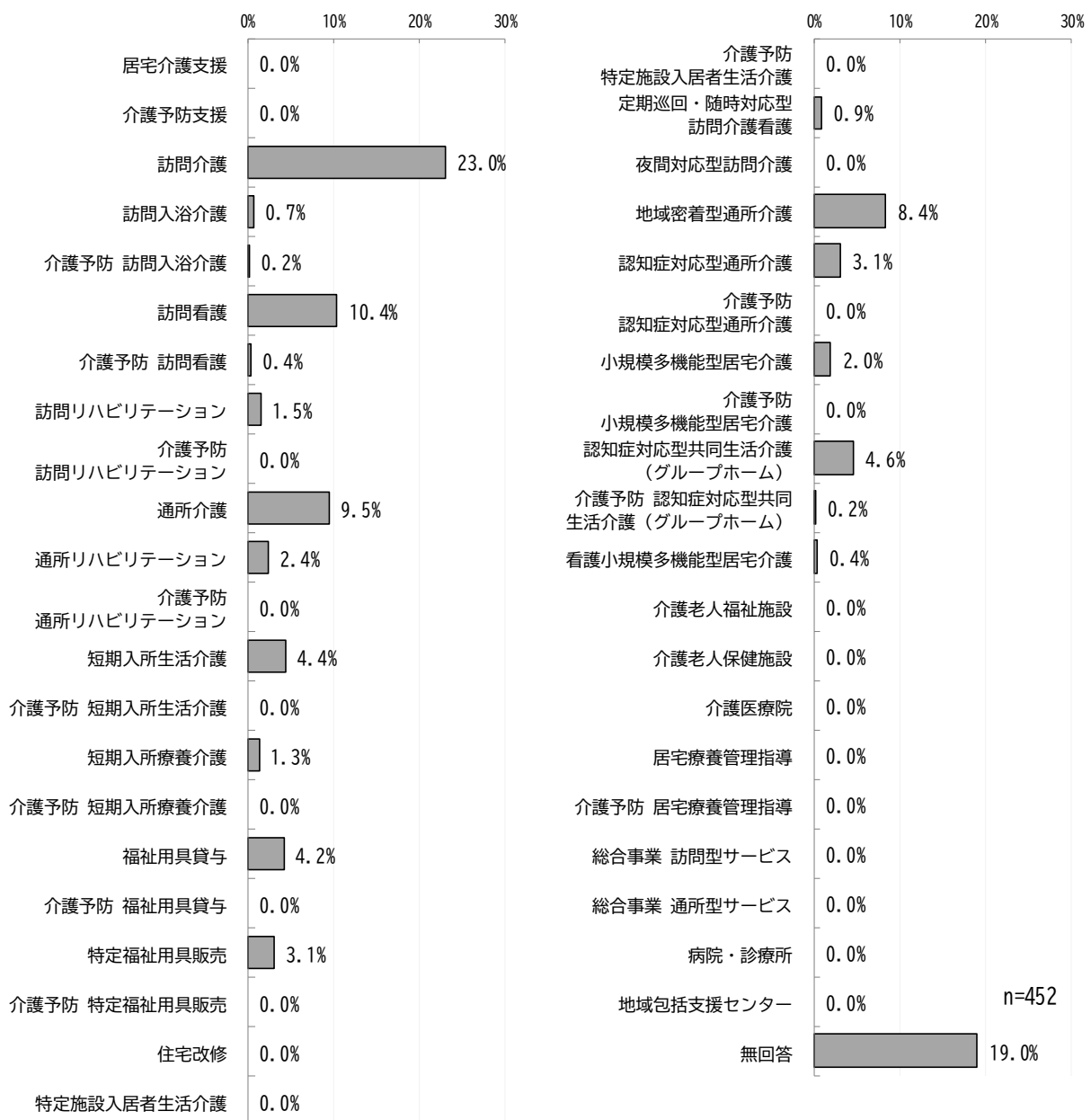
(1) 事業所の基本情報について

問1 (1) 事業所名をご記入ください。

※①は「事業所名をご記入ください」という設問であるため省略

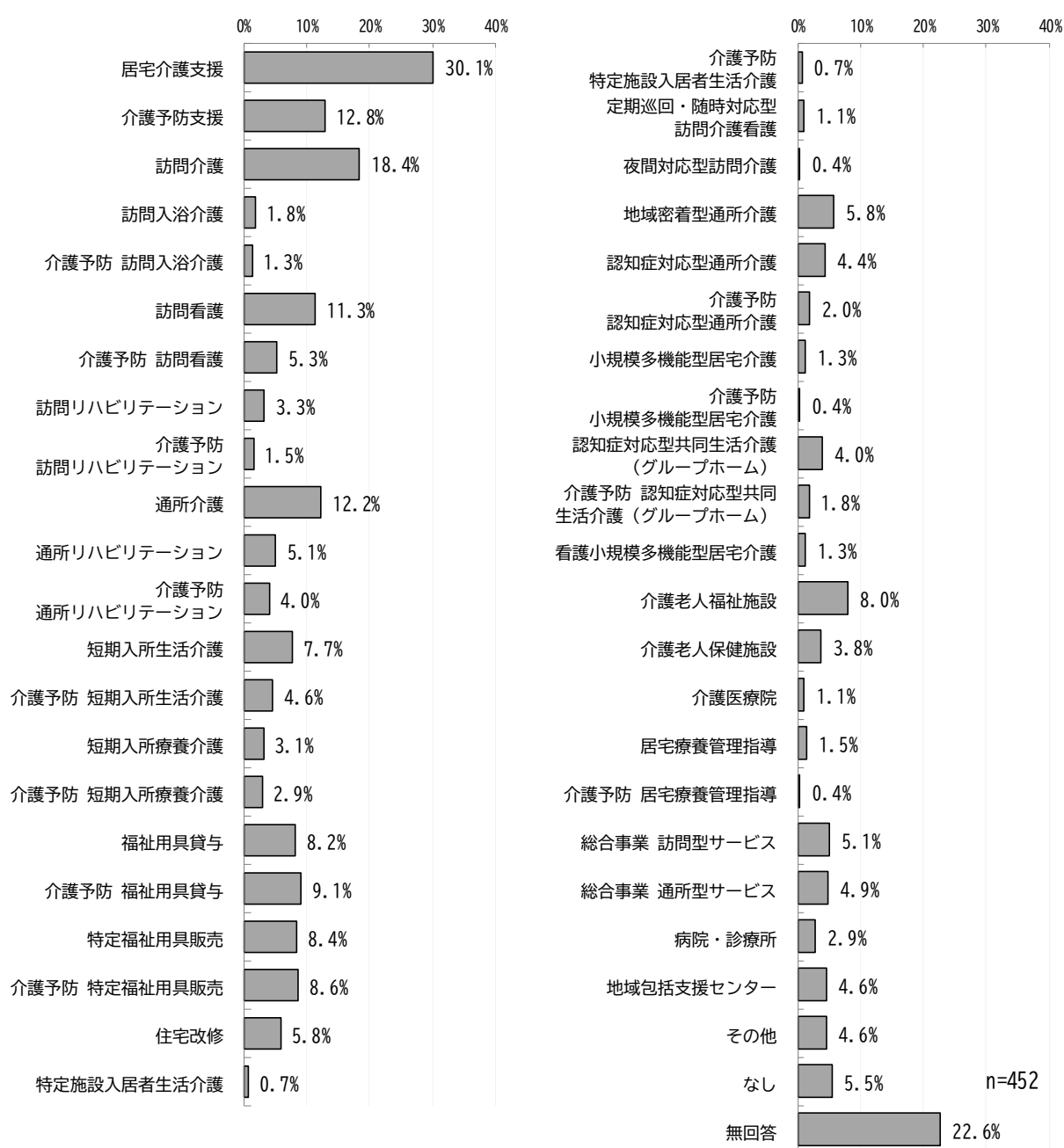
問1 (2) 封筒の宛名に記載のある事業種別は何ですか（数字を記入）。

事業種別について、「訪問介護」が23.0%と最も高く、「訪問看護」が10.4%、「通所介護」が9.5%、「地域密着型通所介護」が8.4%、「認知症対応型共同生活介護（グループホーム）」が4.6%、「短期入所生活介護」が4.4%と続いている。



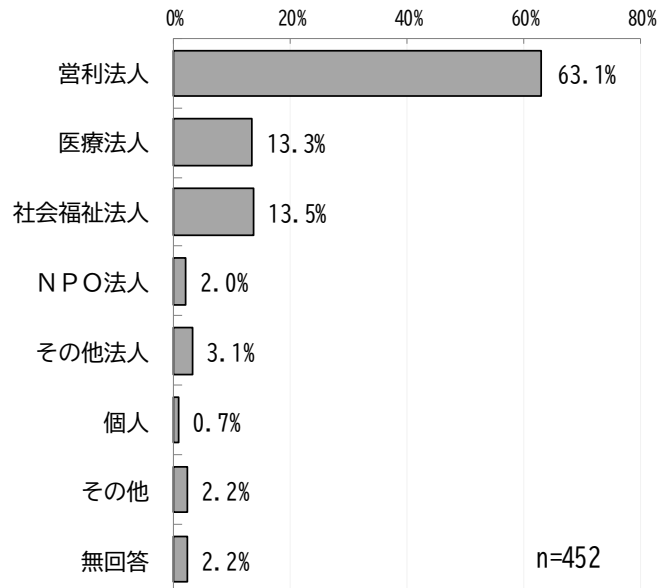
問1(3) 貴事業所の併設事業について、あてはまるものに○を付けてください(いくつでも○)。

事業所の併設事業について、「居宅介護支援」が30.1%と最も高く、「訪問介護」が18.4%、「介護予防支援」が12.8%、「通所介護」が12.2%、「訪問看護」が11.3%と続いている。



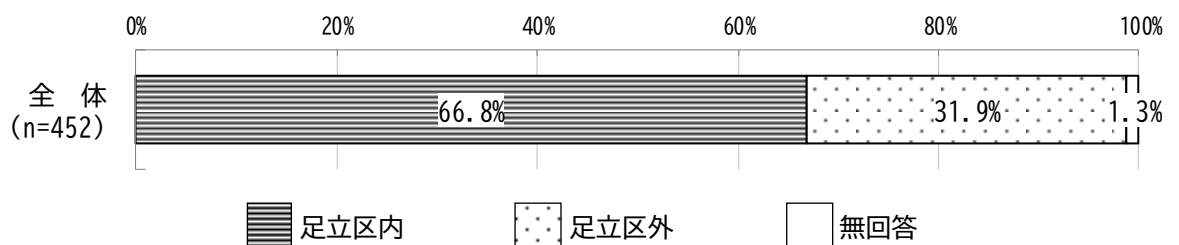
問1 (4) 事業所の経営主体は何ですか (1つに○)。

事業所の経営主体は、「営利法人」が63.1%と最も高く、「社会福祉法人」が13.5%、「医療法人」が13.3%、「NPO法人」が2.0%、「その他法人」が3.1%、「個人」が0.7%となっている。



問1 (5) 経営主体の法人の所在地はどこですか (1つに○)。

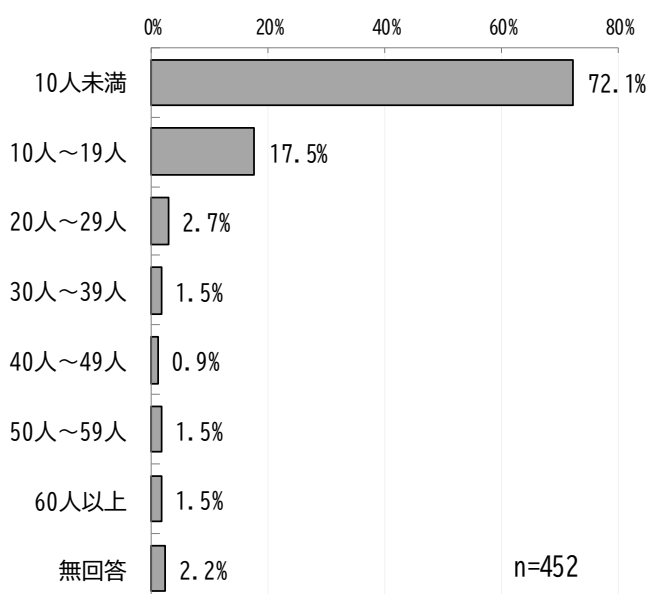
経営主体の法人の所在地は、「足立区内」が66.8%、「足立区外」が31.9%となっている。



問1 (6) 貴事業所の職員体制についてご記入ください(数字を記入)。また、()内に外国人職員数を記入してください。

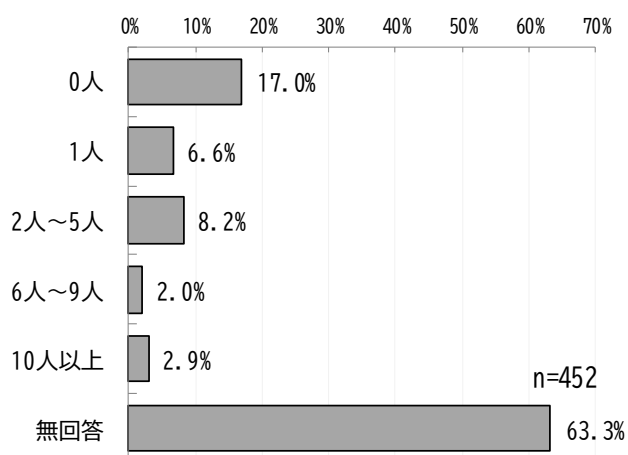
① 正規職員

正規職員の職員体制について、「10人未満」が72.1%と最も高く、「10人～19人」が17.5%、「20人～29人」が2.7%、「30人～39人」「50人～59人」「60人以上」が1.5%、「40人～49人」が0.9%となっている。



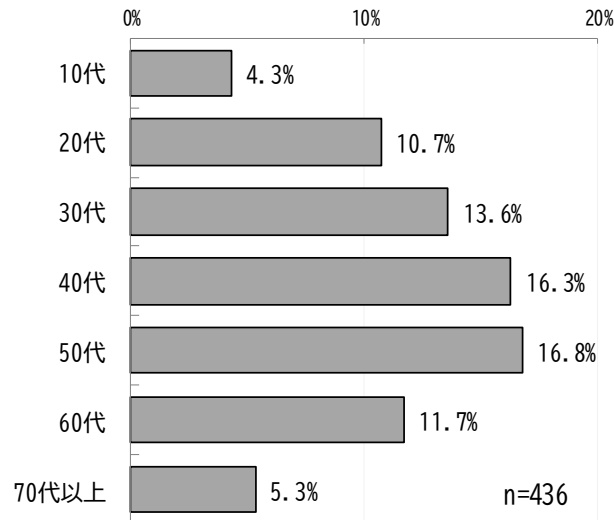
① - 1 正規職員のうち外国人の職員

うち、外国人の正規職員について、「0人」が17.0%と最も高く、「2人～5人」が8.2%、「1人」が6.6%、「10人以上」が2.9%、「6人～9人」が2.0%となっている。



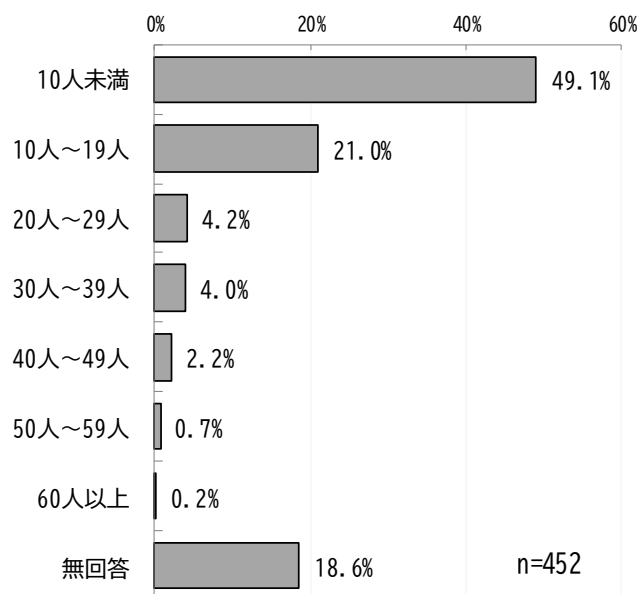
① - 2 正規職員の年齢階級別人数

回答のあった事業所の正規職員の年齢構成について、「50代」が16.8%と最も高く、「40代」が16.3%、「30代」が13.6%、「60代」が11.7%、「20代」が10.7%、「70代以上」が5.3%、「10代」が4.3%となっている。



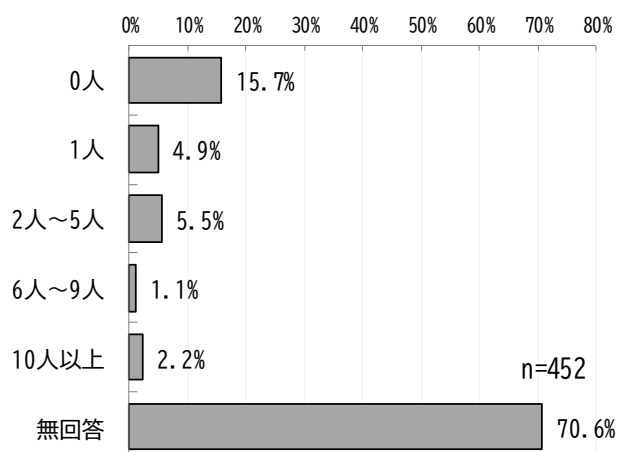
② 非正規職員

非正規職員の職員体制について、「10人未満」が49.1%と最も高く、「10人～19人」が21.0%、「20人～29人」が4.2%、「30人～39人」が4.0%、「40人～49人」が2.2%、「50人～59人」が0.7%、「60人以上」が0.2%となっている。



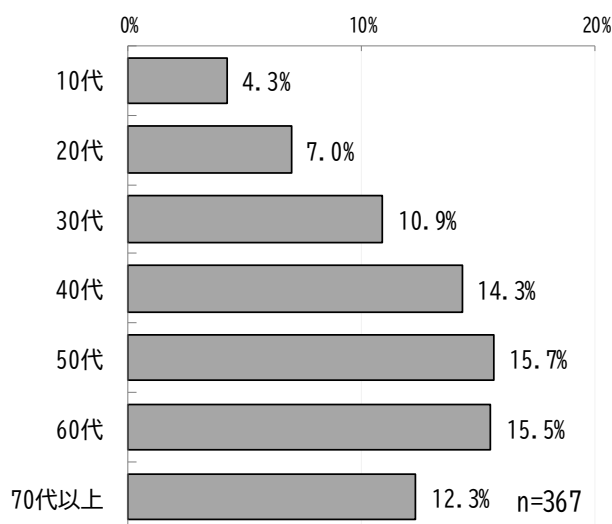
② - 1 非正規職員のうち外国人の職員

うち、外国人の非正規職員について、「0人」が15.7%と最も高く、「2人～5人」が5.5%、「1人」が4.9%、「10人以上」が2.2%、「6人～9人」が1.1%となっている。



② - 2 非正規職員の年齢階級別の人数

回答のあった事業所の非正規職員の年齢構成について、「50代」が15.7%と最も高く、「60代」が15.5%、「40代」が14.3%、「70代以上」が12.3%、「30代」が10.9%、「20代」が7.0%、「10代」が4.3%となっている。

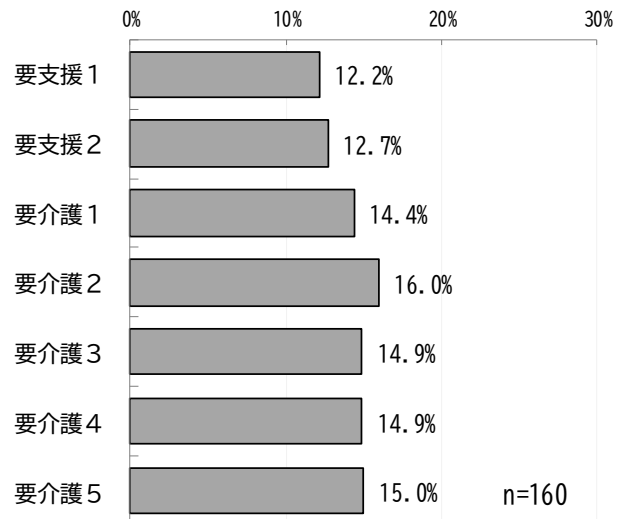


(2) サービス提供の状況について

問2 (1) サービス利用者数を介護度別にご記入ください。

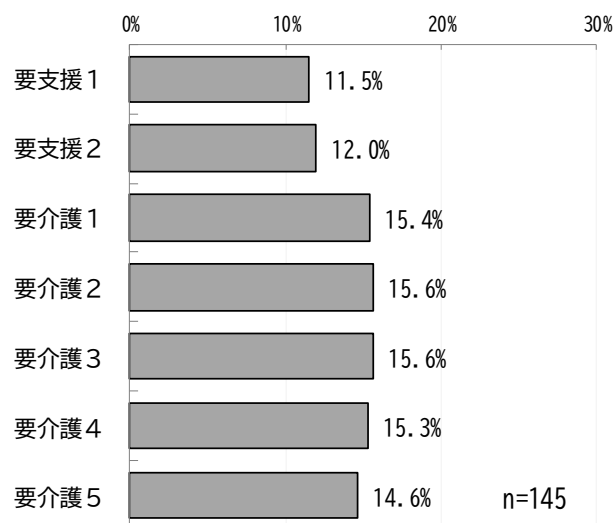
① 訪問介護（訪問型サービス）

回答のあった事業所の訪問介護利用者の介護度の構成について、「要介護 2」が 16.0%と最も高く、「要介護 5」が 15.0%、「要介護 3」「要介護 4」が 14.9%、「要介護 1」が 14.4%、「要支援 2」が 12.7%、「要支援 1」が 12.2%となっている。



② 通所介護（通所型サービス）

回答のあった事業所の通所介護利用者の介護度の構成について、「要介護 2」「要介護 3」が 15.6%と最も高く、「要介護 1」が 15.4%、「要介護 4」が 15.3%、「要介護 5」が 14.6%、「要支援 2」が 12.0%、「要支援 1」が 11.5%となっている。



問2(2) 利用定員のあるサービスを実施されている場合、実施サービスの番号に○を付け、該当する欄に利用定員及びサービス利用者数(延べ人数)、営業日数をご記入ください。なお、半日単位での利用がある場合は、0.5人で計上してください。

定員について

通所介護では、「30人～39人」が38.8%、通所リハビリテーションでは、「30人～39人」「40人～49人」が33.3%、短期入所生活介護では、「10人未満」が33.3%、短期入所療養介護では、「20人～29人」が28.6%、地域密着型通所介護では、「10人～19人」が81.3%、認知症対応型共同生活介護では、「10人～19人」が80.0%、認知症対応型通所介護では、「10人～19人」が78.9%、夜間対応型訪問介護では、「10人未満」が100.0%、定期巡回・随時対応型訪問介護看護では、「20人～29人」が100.0%、小規模多機能型居宅介護では、「20人～29人」が77.8%、看護小規模多機能型居宅介護では、「20人～29人」が100.0%と最も高くなっている。

(%)

	調査数	10人未満	10人～19人	20人～29人	30人～39人	40人～49人	50人～59人	60人～69人	70人～79人	80人～89人	90人～99人	100人以上	無回答
通所介護	49	0.0	2.0	20.4	38.8	16.3	8.2	4.1	2.0	4.1	0.0	2.0	2.0
通所リハビリテーション	12	0.0	8.3	25.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
短期入所生活介護	24	33.3	29.2	29.2	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0
短期入所療養介護	7	0.0	14.3	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	57.1
地域密着型通所介護	48	2.1	81.3	8.3	4.2	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	2.1
認知症対応型共同生活介護	20	10.0	80.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
認知症対応型通所介護	19	0.0	78.9	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3
夜間対応型訪問介護	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小規模多機能型居宅介護	9	0.0	22.2	77.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
看護小規模多機能型居宅介護	4	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

稼働率について、

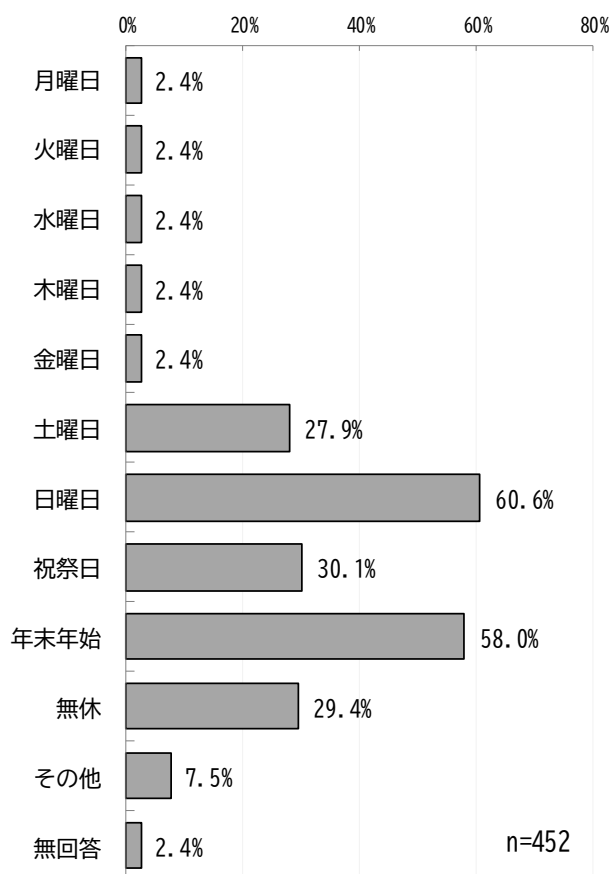
通所介護では、「70～80%未満」が36.7%、通所リハビリテーションでは、「60～70%未満」「70～80%未満」「80～90%未満」が16.7%、短期入所生活介護では、「90～100%未満」が20.8%、短期入所療養介護では、「90～100%未満」が20.8%、地域密着型通所介護では、「90～100%未満」が20.8%、認知症対応型共同生活介護では、「90～100%未満」が45.0%、認知症対応型通所介護では、「70～80%未満」が47.4%、夜間対応型訪問介護では、「10～20%未満」が100.0%、定期巡回・随時対応型訪問介護看護では、「0～10%未満」「80～90%未満」が、50.0%、小規模多機能型居宅介護では、「50～60%未満」が44.4%、看護小規模多機能型居宅介護では、「10～20%未満」が100.0%と最も高くなっている。

(%)

	調査数	0～10% 未満	10～ 20%未 満	20～ 30%未 満	30～ 40%未 満	40～ 50%未 満	50～ 60%未 満	60～ 70%未 満	70～ 80%未 満	80～ 90%未 満	90～ 100%未 満	100%以 上	無回答
通所介護	49	2.0	0.0	2.0	2.0	2.0	2.0	14.3	36.7	16.3	10.2	10.2	2.0
通所リハビリテーション	12	8.3	0.0	8.3	8.3	8.3	8.3	16.7	16.7	16.7	0.0	8.3	0.0
短期入所生活介護	24	8.3	0.0	0.0	4.2	8.3	4.2	4.2	12.5	12.5	20.8	16.7	8.3
短期入所療養介護	7	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	14.3	28.6
地域密着型通所介護	48	2.1	0.0	8.3	8.3	2.1	12.5	4.2	22.9	12.5	16.7	8.3	2.1
認知症対応型共同生活介護	20	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.0	45.0	30.0	10.0
認知症対応型通所介護	19	5.3	0.0	10.5	5.3	0.0	5.3	5.3	47.4	5.3	10.5	0.0	5.3
夜間対応型訪問介護	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
小規模多機能型居宅介護	9	11.1	0.0	0.0	11.1	11.1	44.4	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
看護小規模多機能型居宅介護	4	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

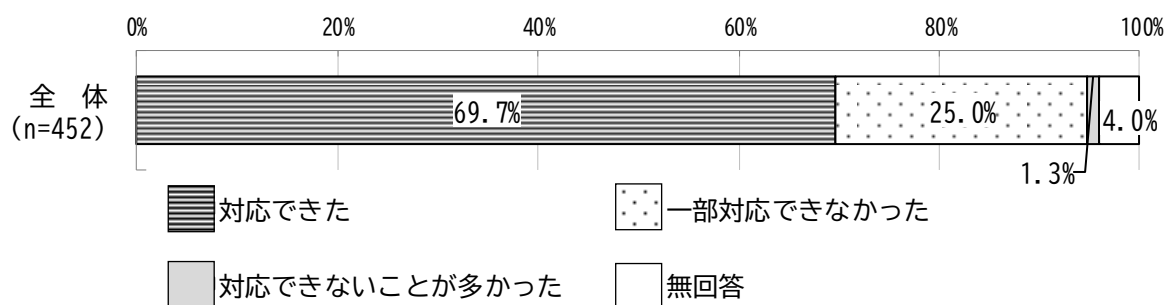
問2（3） 事業所の休業日はいつですか（いくつでも○）。

事業所の休業日について、「日曜日」が60.6%と最も高く、「年末年始」が58.0%、「祝祭日」が30.1%、「無休」が29.4%、「土曜日」が27.9%、「月曜日」「火曜日」「水曜日」「木曜日」「金曜日」が2.4%となっている。



問2（4） 提供しているサービスの供給量が利用者の希望に合わせて対応できたかどうか、対応状況についてお答えください（1つに○）。

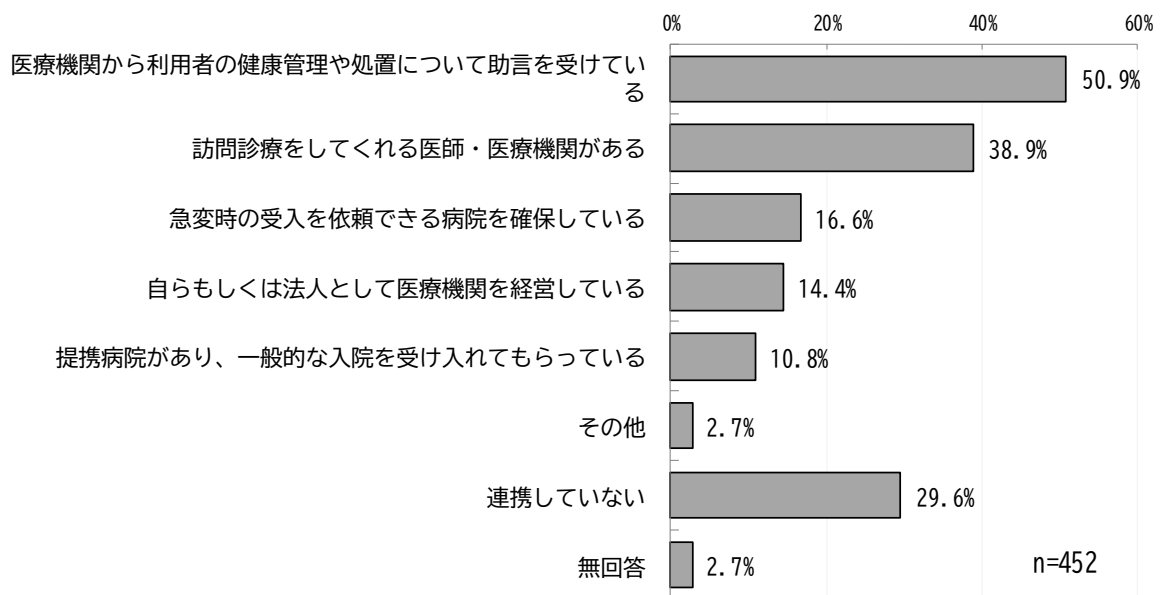
提供しているサービスの供給量が利用者の希望に合わせて対応できたかどうかについて、「対応できた」が69.7%と最も高く、「一部対応できなかった」が25.0%、「対応できないことが多かった」が1.3%となっている。



(3) 地域や他機関との連携について

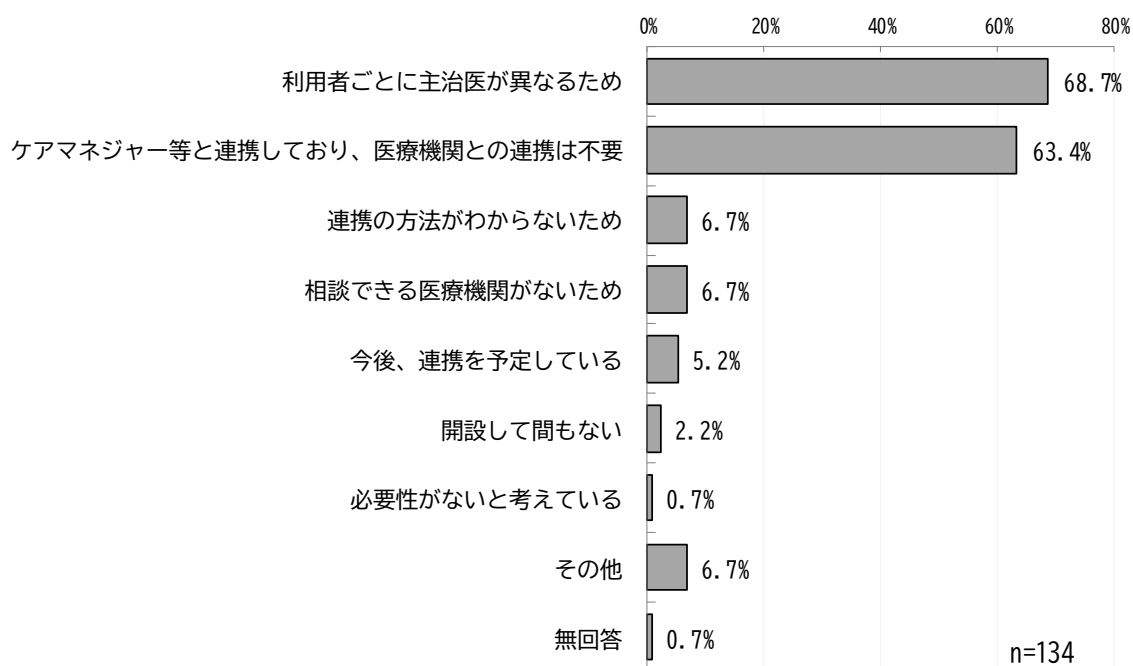
問3 (1) 医療機関との連携について、事業所として取り組んでいることがありますか（いくつでも○）。

医療機関との連携の取り組みについて、「医療機関から利用者の健康管理や処置について助言を受けている」が50.9%と最も高く、「訪問診療をしてくれる医師・医療機関がある」が38.9%、「急変時の受入を依頼できる病院を確保している」が16.6%、「自らもしくは法人として医療機関を経営している」が14.4%、「提携病院があり、一般的な入院を受け入れてもらっている」が10.8%となっている。また「連携していない」が29.6%となっている。



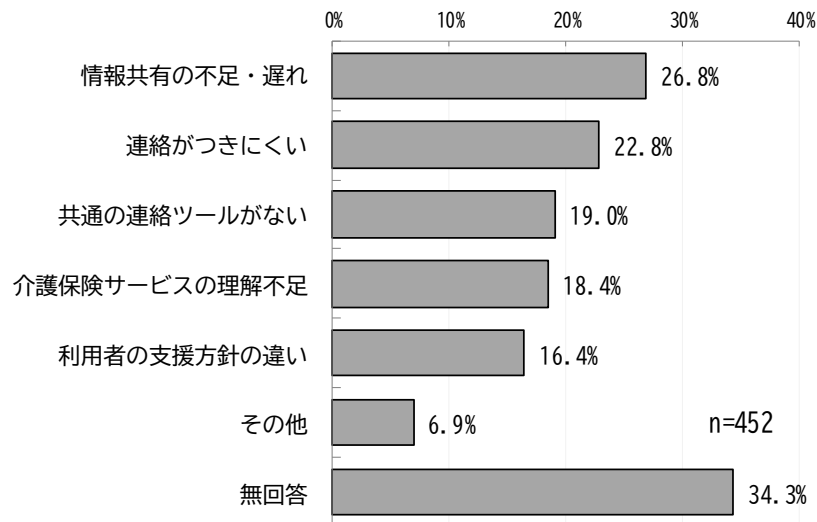
問3（1）① 医療機関と連携していない理由は何ですか（いくつでも○）。

医療機関と連携していない理由は、「利用者ごとに主治医が異なるため」が68.7%と最も高く、「ケアマネジャー等と連携しており、医療機関との連携は不要」が63.4%、「連携の方法がわからないため」「相談できる医療機関がないため」が6.7%、「今後、連携を予定している」が5.2%、「開設して間もない」が2.2%、「必要性がないと考えている」が0.7%となっている。



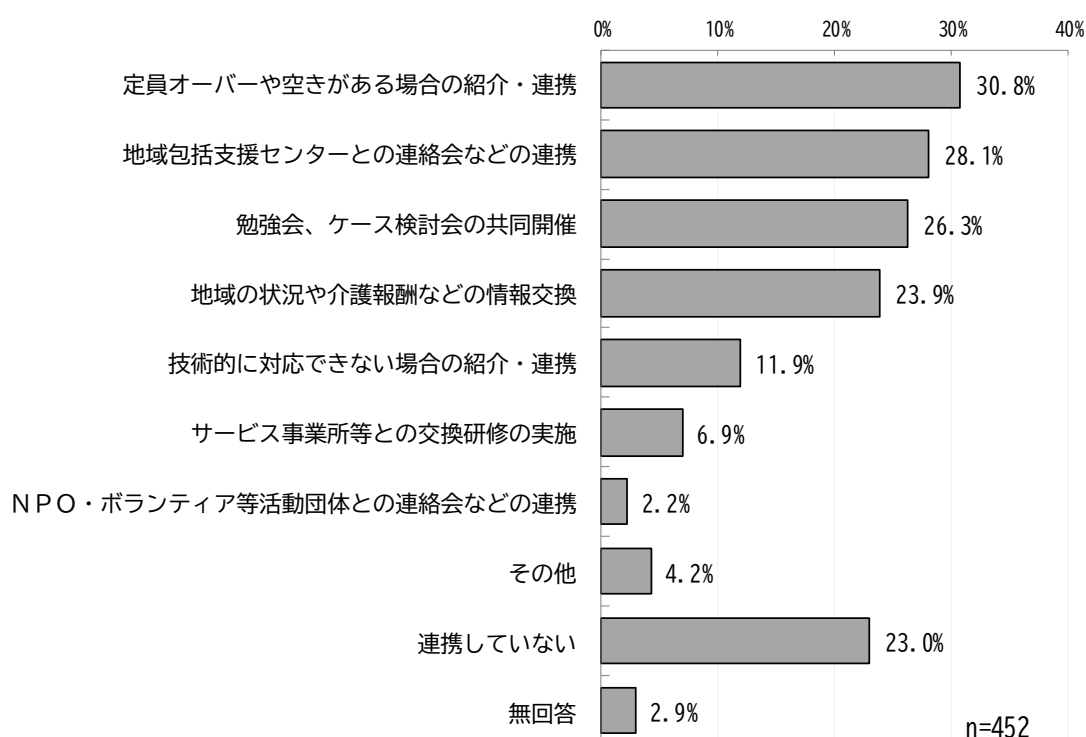
問3（2） 医療機関との連携時に感じている課題を教えてください
(いくつでも○)。

医療機関との連携時に感じている課題について、「情報共有の不足・遅れ」が26.8%と最も高く、「連絡がつきにくい」が22.8%、「共通の連絡ツールがない」が19.0%、「介護保険サービスの理解不足」が18.4%、「利用者の支援方針の違い」が16.4%となっている。



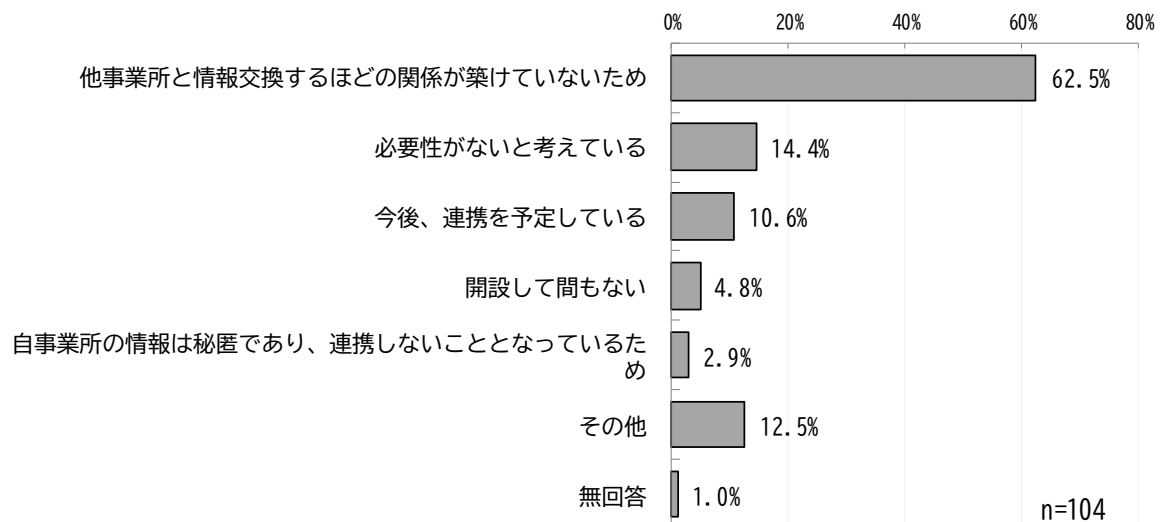
問3（3） 他の介護サービス事業所等との連携について、取り組んでいることがありますか（いくつでも○）。

他の介護サービス事業所等との連携で取り組んでいることについて、「定員オーバーや空きがある場合の紹介・連携」が30.8%と最も高く、「地域包括支援センターとの連絡会などの連携」が28.1%、「勉強会、ケース検討会の共同開催」が26.3%、「地域の状況や介護報酬などの情報交換」が23.9%、「技術的に対応できない場合の紹介・連携」が11.9%、「サービス事業所等との交換研修の実施」が6.9%、「NPO・ボランティア等活動団体との連絡会などの連携」が2.2%となっている。また「連携していない」が23.0%となっている。



問3 (3) ① 他の介護サービス事業所等と連携していない理由は何ですか（いくつでも○）。

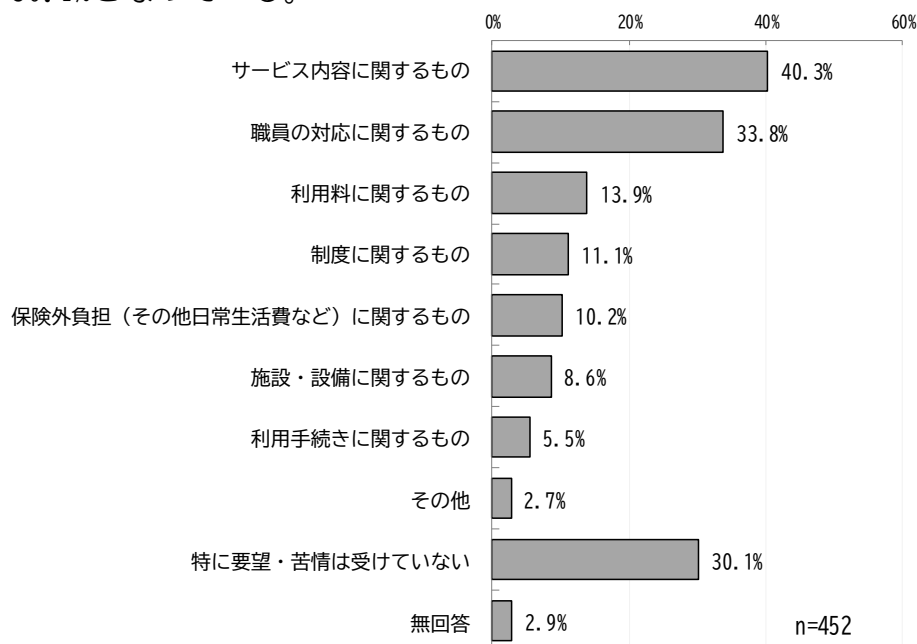
他の介護サービス事業所等と連携していない理由は、「他事業所と情報交換するほどの関係が築けていないため」が 62.5%と最も高く、「必要性がないと考えている」が 14.4%、「今後、連携を予定している」が 10.6%、「開設して間もない」が 4.8%、「自事業所の情報は秘匿であり、連携しないこととなっているため」が 2.9%となっている。



(4) 利用者からの声について

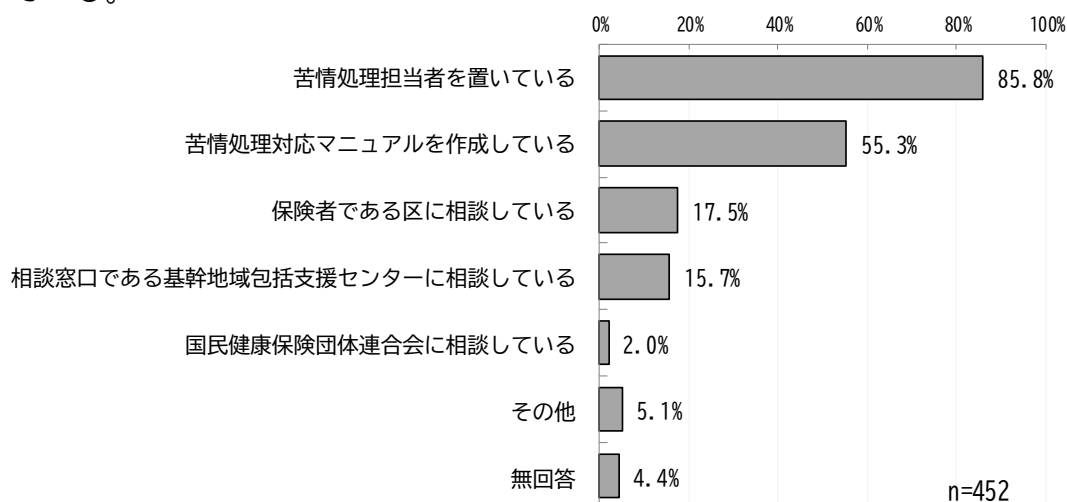
問4 (1) 令和6年度以降、利用者や家族からどのような要望・苦情がありましたか（いくつでも○）。

令和6年度以降、利用者や家族から受けた要望・苦情について、「サービス内容に関するもの」が40.3%と最も高く、「職員の対応に関するもの」が33.8%、「利用料に関するもの」が13.9%、「制度に関するもの」が11.1%、「保険外負担（その他日常生活費など）に関するもの」が10.2%、「施設・設備に関するもの」が8.6%、「利用手続きに関するもの」が5.5%となっている。また「特に要望・苦情は受けていない」が30.1%となっている。



問4 (2) 利用者等から苦情があった場合、どのように対応していますか（いくつでも○）。

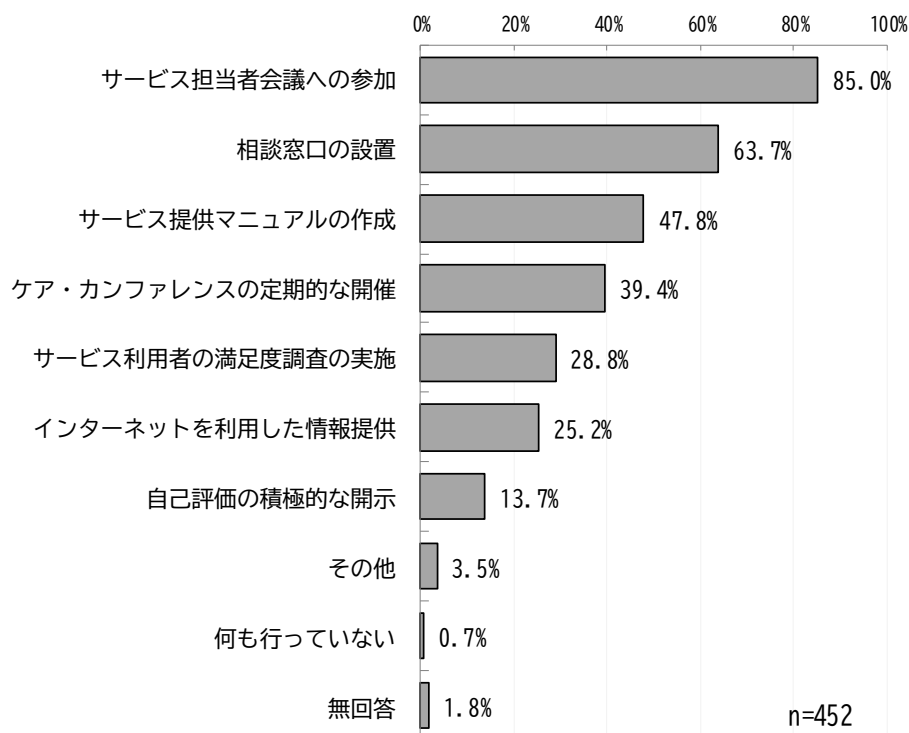
利用者等から苦情があった場合の対応について、「苦情処理担当者を置いている」が85.8%と最も高く、「苦情処理対応マニュアルを作成している」が55.3%、「保険者である区に相談している」が17.5%、「相談窓口である基幹地域包括支援センターに相談している」が15.7%、「国民健康保険団体連合会に相談している」が2.0%となっている。



(5) サービスの質の向上について

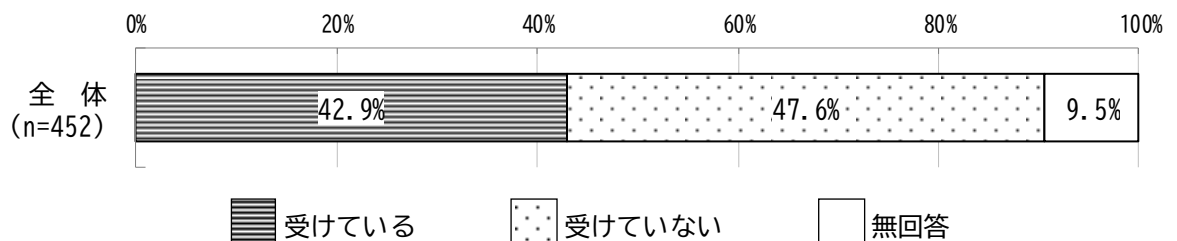
問5 (1) サービスの質の向上のために、どのような取り組みを行っていますか（いくつでも○）。

サービスの質の向上のためにを行っている取り組みについて、「サービス担当者会議への参加」が85.0%と最も高く、「相談窓口の設置」が63.7%、「サービス提供マニュアルの作成」が47.8%、「ケア・カンファレンスの定期的な開催」が39.4%、「サービス利用者の満足度調査の実施」が28.8%、「インターネットを利用した情報提供」が25.2%、「自己評価の積極的な開示」が13.7%となっている。また「何も行っていない」が0.7%となっている。



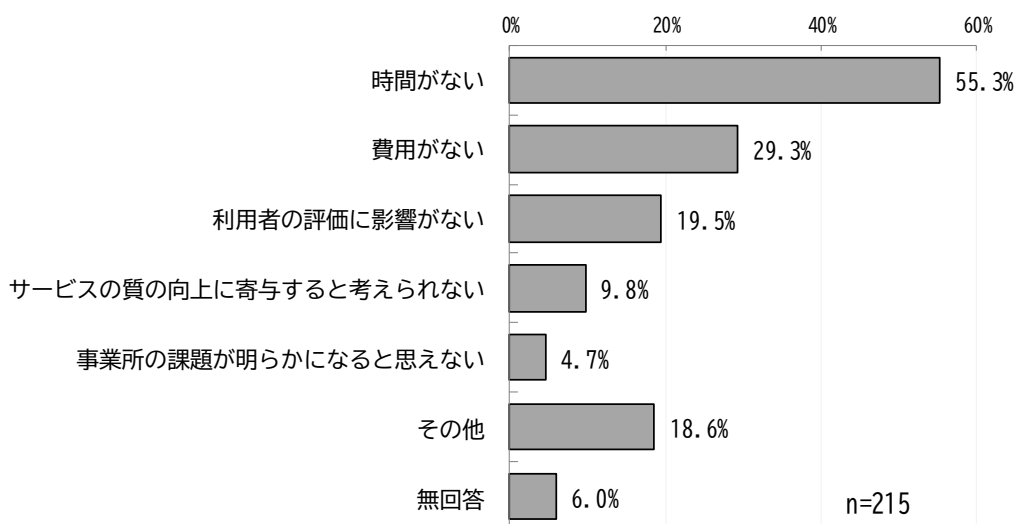
問5 (2) サービスの質の確保や向上に向けて、第三者評価を受けていますか（1つに○）。

サービスの質の確保や向上に向けた第三者評価について、「受けている」が42.9%、「受けていない」が47.6%となっている。



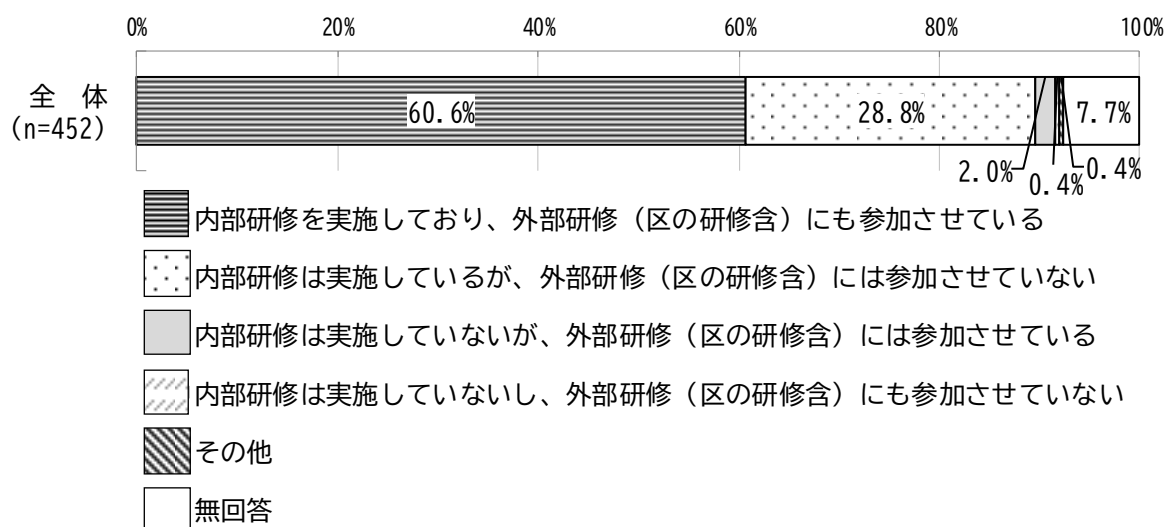
問5（2）① 第三者評価を受けていない理由は何ですか（いくつでも○）。

第三者評価を受けていない理由は、「時間がない」が55.3%と最も高く、「費用がない」が29.3%、「利用者の評価に影響がない」が19.5%、「サービスの質の向上に寄与すると考えられない」が9.8%、「事業所の課題が明らかになると思えない」が4.7%となっている。



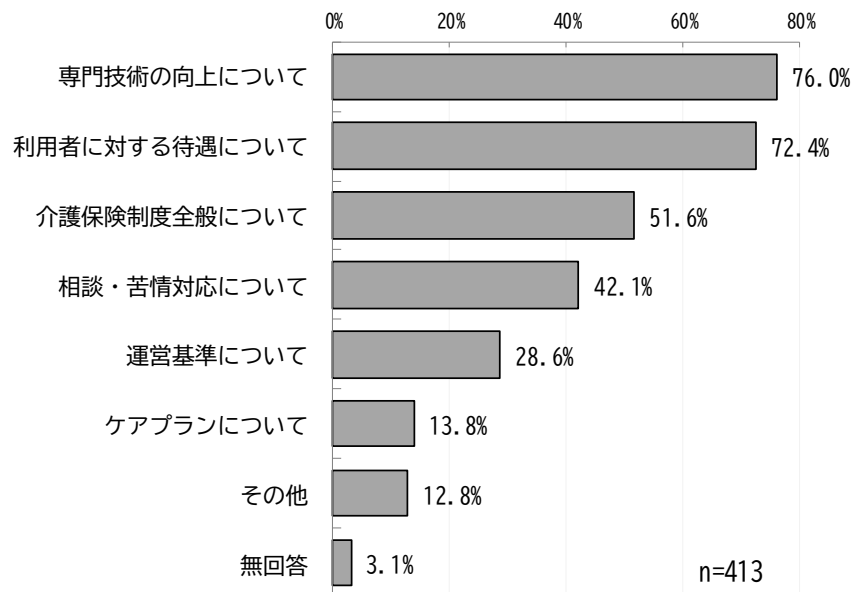
問5（3） 職員に対する社内・社外研修の実施状況をお答えください（1つに○）。

職員に対する社内・社外研修の実施状況について、「内部研修を実施しており、外部研修（区の研修含）にも参加させている」が60.6%と最も高く、「内部研修は実施しているが、外部研修（区の研修含）には参加させていない」が28.8%、「内部研修は実施していないが、外部研修（区の研修含）には参加させている」が2.0%、「内部研修は実施していないし、外部研修（区の研修含）にも参加させていない」が0.4%となっている。



問5（3）① どのような内容の研修を実施されていますか。もしくはどのような研修に参加させていますか（いくつでも○）。

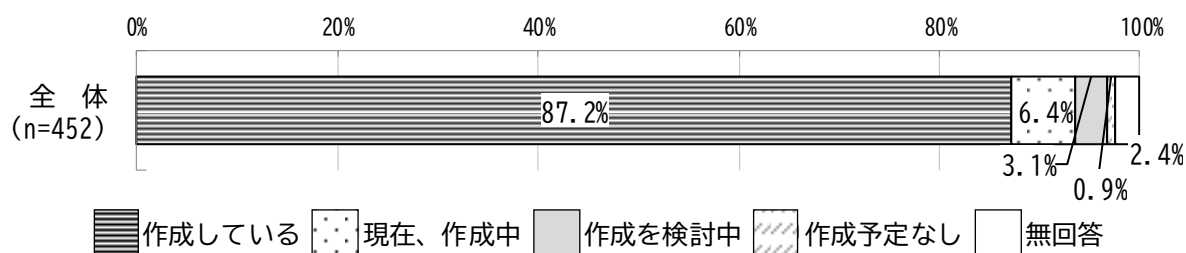
実施している、もしくは参加させている研修の内容について、「専門技術の向上について」が76.0%と最も高く、「利用者に対する待遇について」が72.4%、「介護保険制度全般について」が51.6%、「相談・苦情対応について」が42.1%、「運営基準について」が28.6%、「ケアプランについて」が13.8%となっている。



問5（4） 各種マニュアルの作成状況について、お答えください（それぞれ1つに○）。

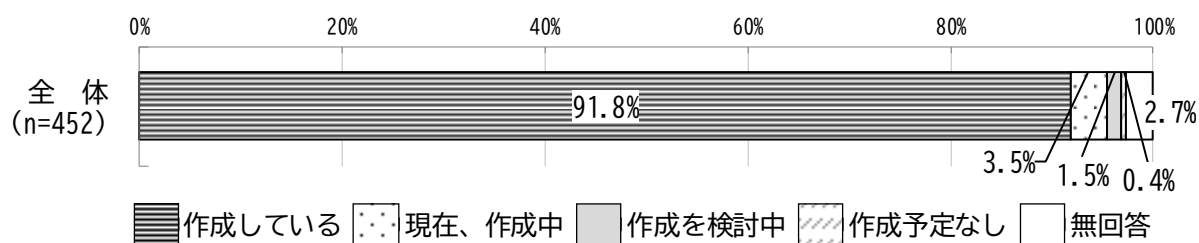
① 職員向けの業務マニュアル

職員向けの業務マニュアルの作成状況について、「作成している」が87.2%と最も高く、「現在、作成中」が6.4%、「作成を検討中」が3.1%、「作成予定なし」が0.9%となっている。



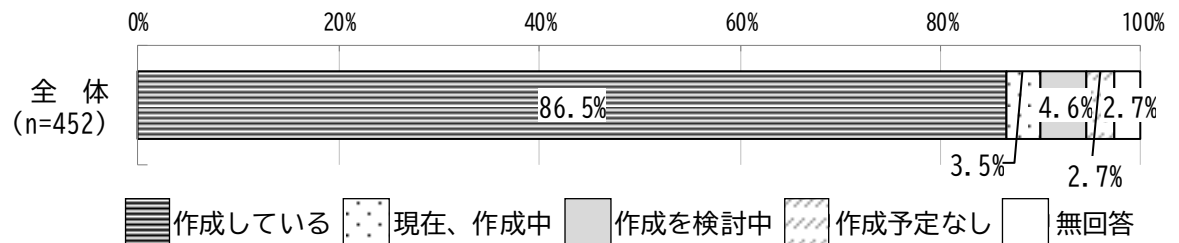
② 事故発生など緊急時の対応マニュアル

事故発生など緊急時の対応マニュアルの作成状況について、「作成している」が91.8%と最も高く、「現在、作成中」が3.5%、「作成を検討中」が1.5%、「作成予定なし」が0.4%となっている。



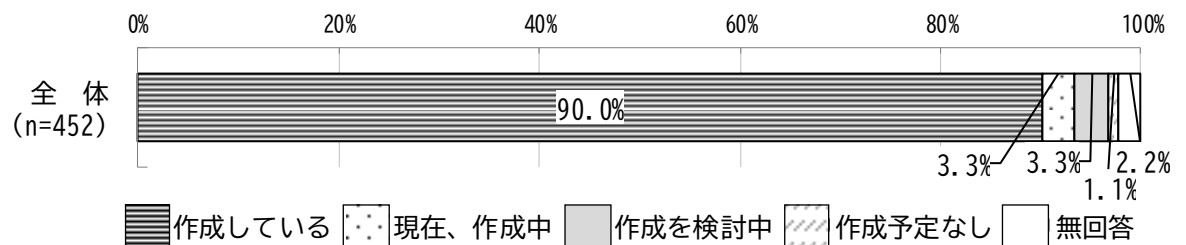
③ 身体拘束防止のための対応マニュアル

身体拘束防止のための対応マニュアルの作成状況について、「作成している」が86.5%と最も高く、「作成を検討中」が4.6%、「現在、作成中」が3.5%、「作成予定なし」が2.7%となっている。



④ 虐待防止のための対応マニュアル

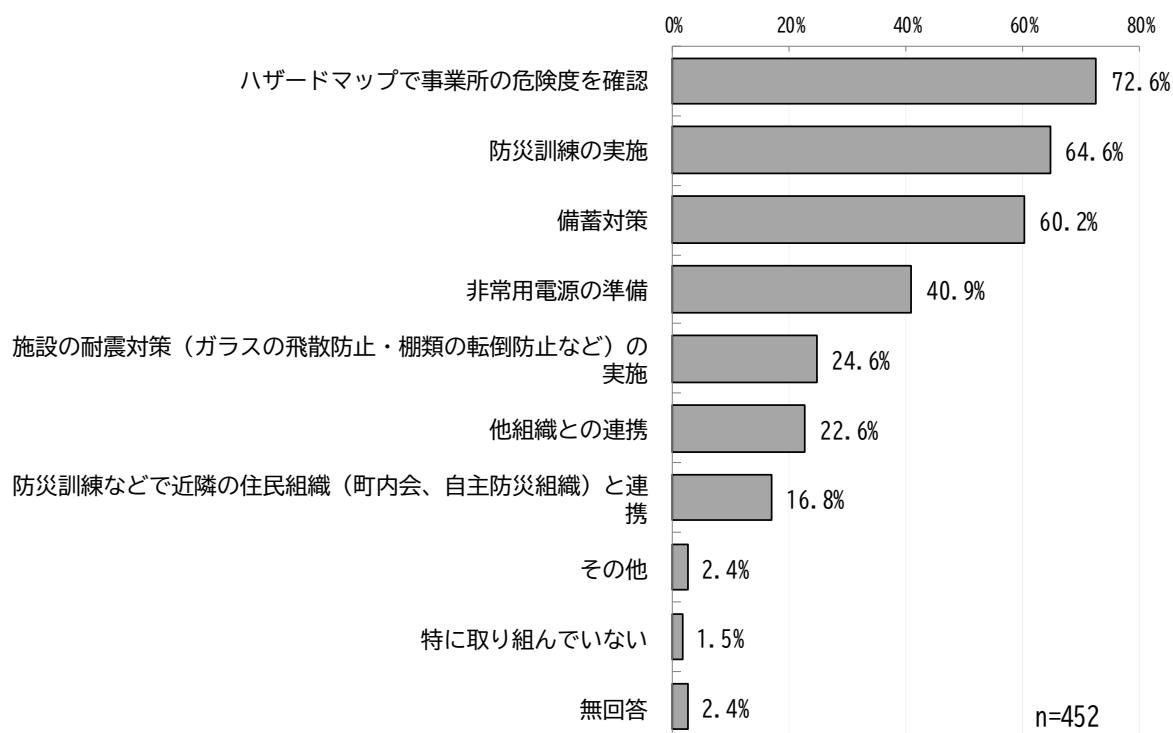
虐待防止のための対応マニュアルの作成状況について、「作成している」が90.0%と最も高く、「作成を検討中」「現在、作成中」が3.3%、「作成予定なし」が1.1%となっている。



(6) リスク管理について

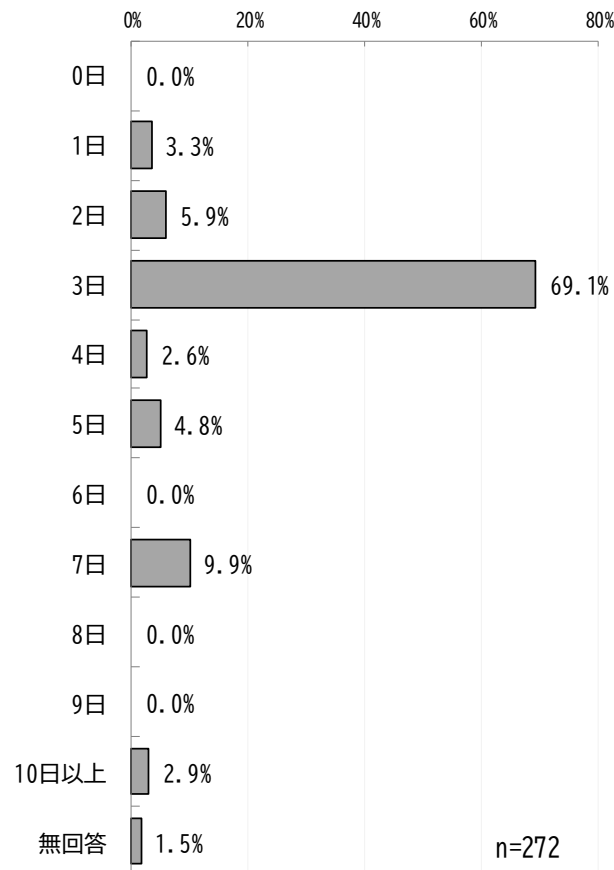
問6 (1) 貴事業所が行っている有事（感染症や自然災害）を想定した平時の備えについて、お答えください（いくつでも○）。

事業所における有事（感染症や自然災害）を想定した平時の備えについて、「ハザードマップで事業所の危険度を確認」が72.6%と最も高く、「防災訓練の実施」が64.6%、「備蓄対策」が60.2%、「非常用電源の準備」が40.9%、「施設の耐震対策（ガラスの飛散防止・棚類の転倒防止など）の実施」が24.6%、「他組織との連携」が22.6%、「防災訓練などで近隣の住民組織（町内会、自主防災組織）と連携」が16.8%となっている。また「特に取り組んでいない」が1.5%となっている。



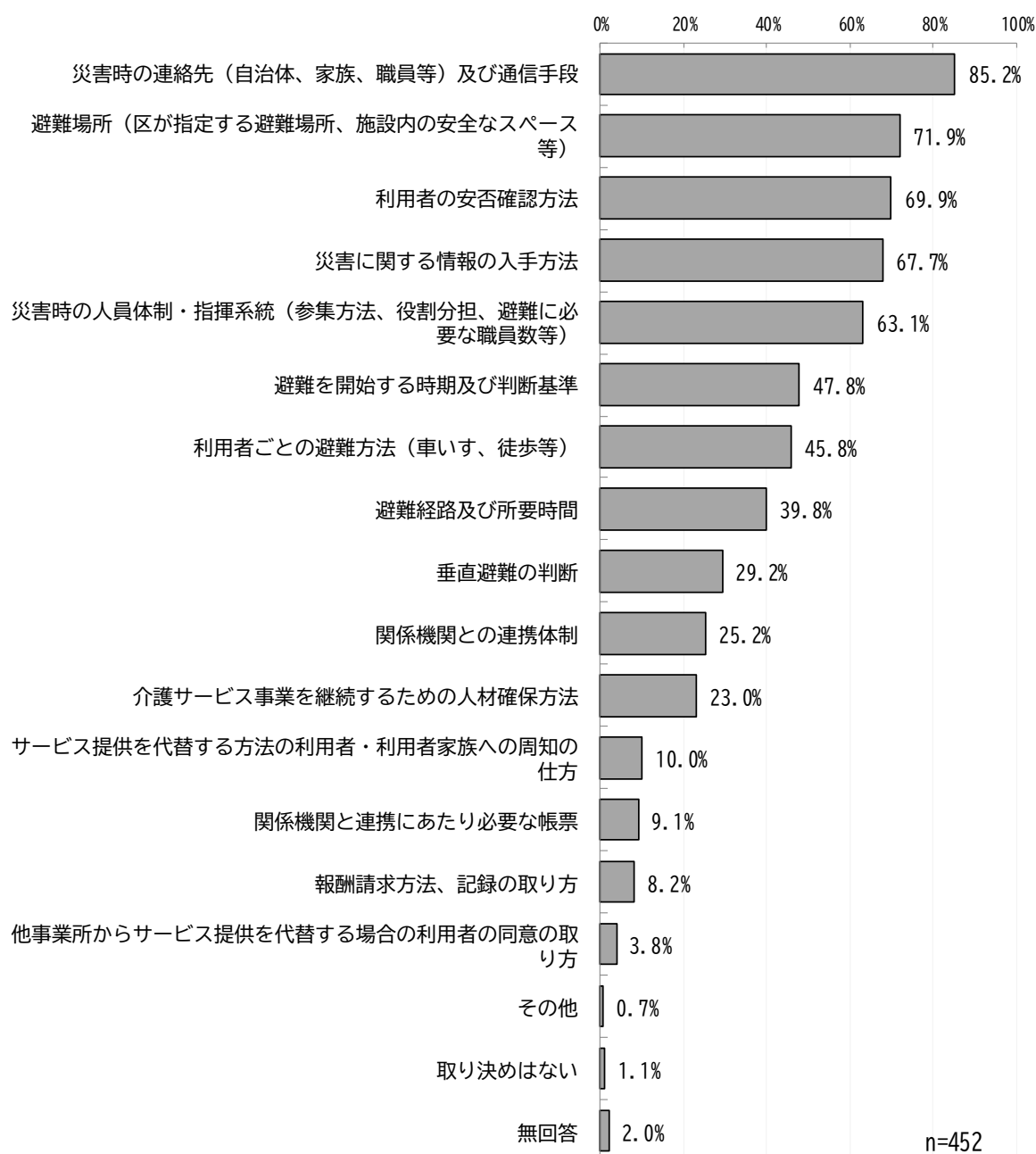
問6（1）① 備蓄は定員および職員あわせて何日分準備していますか（数字を記入）。

「備蓄対策」と回答した事業所の、事業所における災害時の備蓄を定員および職員をあわせて準備している日数は、「3日」が69.1%と最も高く、「7日」が9.9%、「2日」が5.9%、「5日」が4.8%、「1日」が3.3%、「10日以上」が2.9%、「4日」が2.6%、「0日」「6日」「8日」「9日」が0.0%となっている。



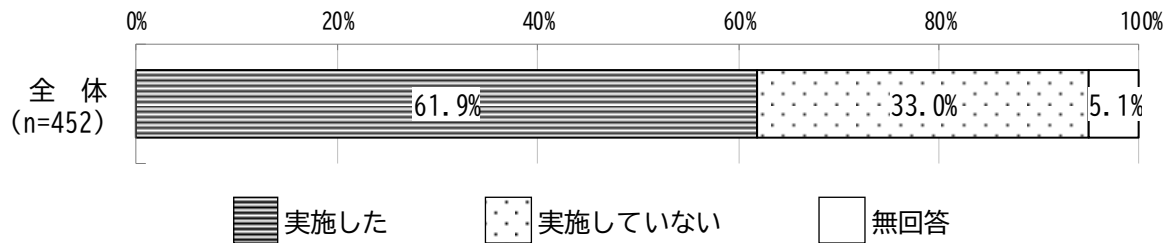
問6（2） 有事（感染症や自然災害）が発生した際に貴事業所で取り決められている内容について、お答えください（いくつでも○）。

有事（感染症や自然災害）が発生した際に事業所で取り決められている内容について、「災害時の連絡先（自治体、家族、職員等）及び通信手段」が85.2%と最も高く、「避難場所（区が指定する避難場所、施設内の安全なスペース等）」が71.9%、「利用者の安否確認方法」が69.9%、「災害に関する情報の入手方法」が67.7%、「災害時の人員体制・指揮系統（参集方法、役割分担、避難に必要な職員数等）」が63.1%と続いている。また「取り決めはない」が1.1%となっている。



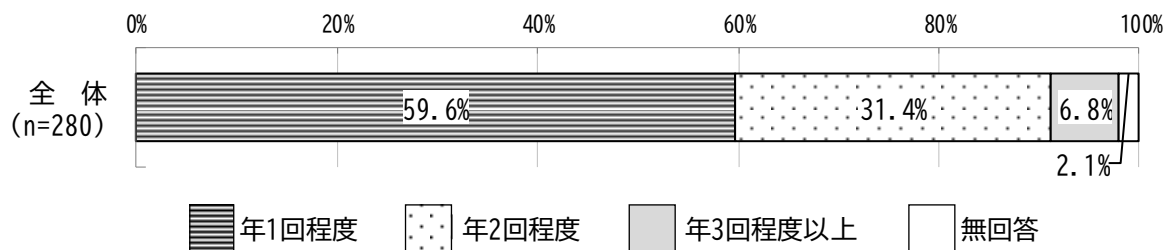
問6（3） 貴事業所は令和6・7年に水害を含む避難訓練を実施しましたか（1つに○）。

令和6年・7年における水害を含む避難訓練について、「実施した」が61.9%、「実施していない」が33.0%となっている。



① 水害を含む避難訓練を実施した事業所の年間実施回数（数字で記入）

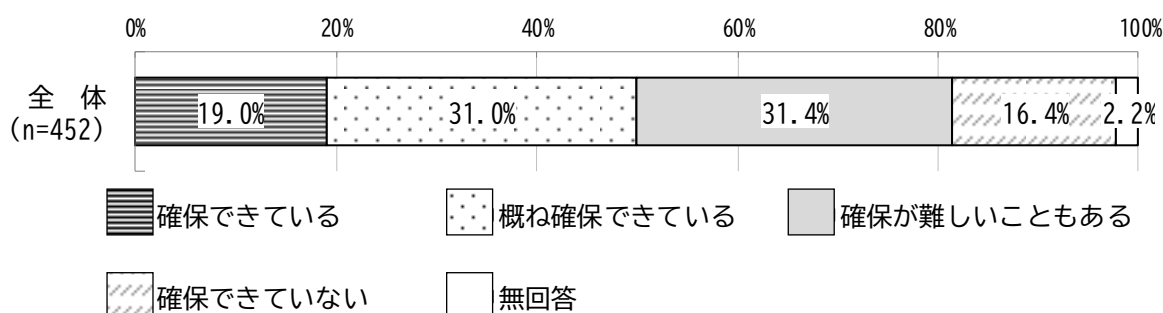
水害を含む避難訓練について、実施した事業所の実施回数は、「年1回程度」が59.6%と最も高く、「年2回程度」が31.4%、「年3回程度以上」が6.8%となっている。



(7) 人材確保について

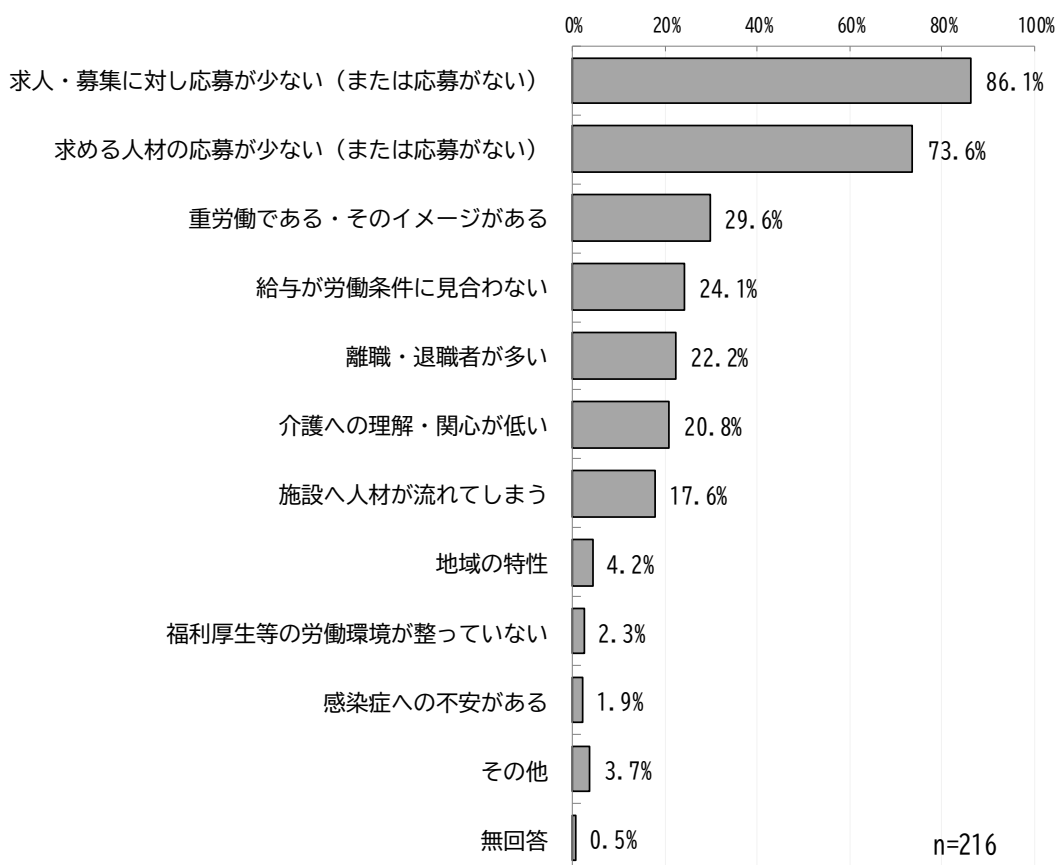
問7(1) 貴事業所では、介護職員等の人材は確保できていますか(1つに○)。

事業所の介護職員等の人材について、「確保が難しいこともある」が31.4%と最も高く、「概ね確保できている」が31.0%、「確保できている」が19.0%、「確保できていない」が16.4%となっている。



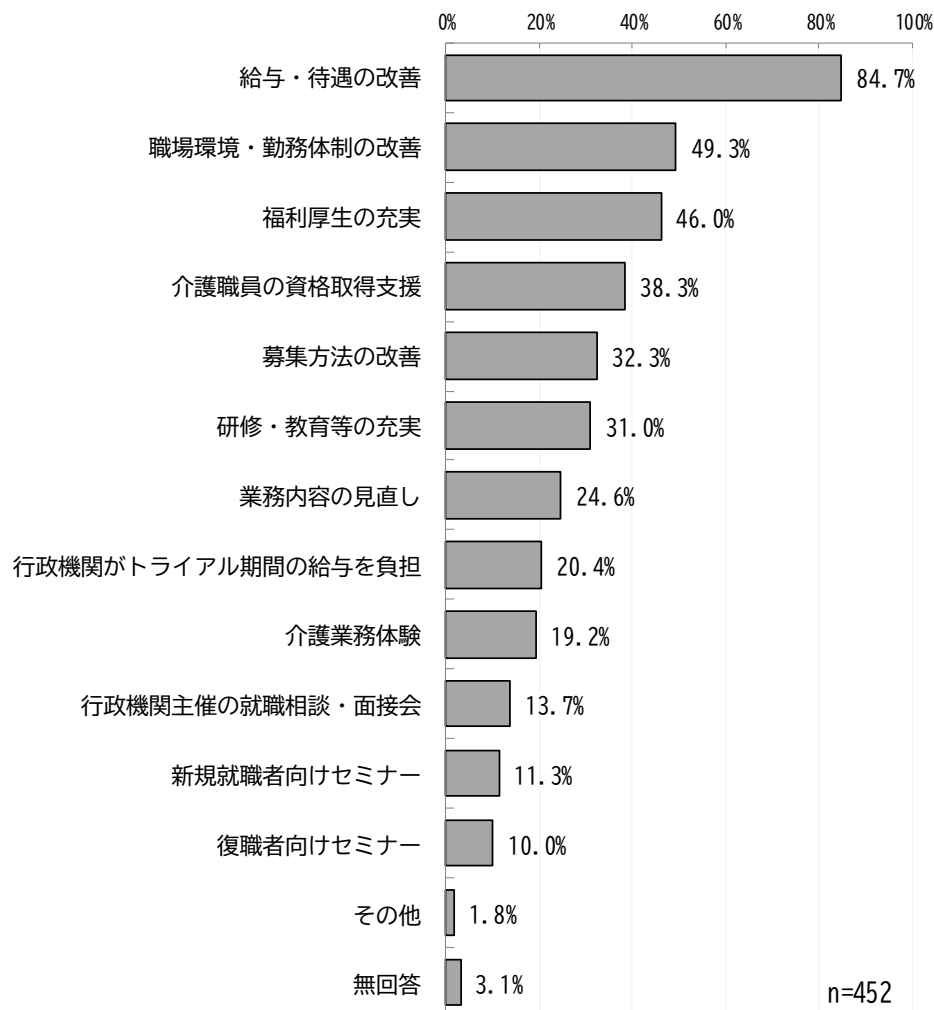
問7(1)① その理由は何ですか(いくつでも○)。

介護職員等の人材について、「確保が難しいこともある」または「確保できていない」と回答した事業所の、人材確保が難しい理由として、「求人・募集に対し応募が少ない(または応募がない)」が86.1%と最も高く、「求める人材の応募が少ない(または応募がない)」が73.6%、「重労働である・そのイメージがある」が29.6%、「給与が労働条件に見合わない」が24.1%、「離職・退職者が多い」が22.2%、「介護への理解・関心が低い」が20.8%、「施設へ人材が流れてしまう」が17.6%、「地域の特性」が4.2%、「福利厚生等の労働環境が整っていない」が2.3%、「感染症への不安がある」が1.9%となっている。



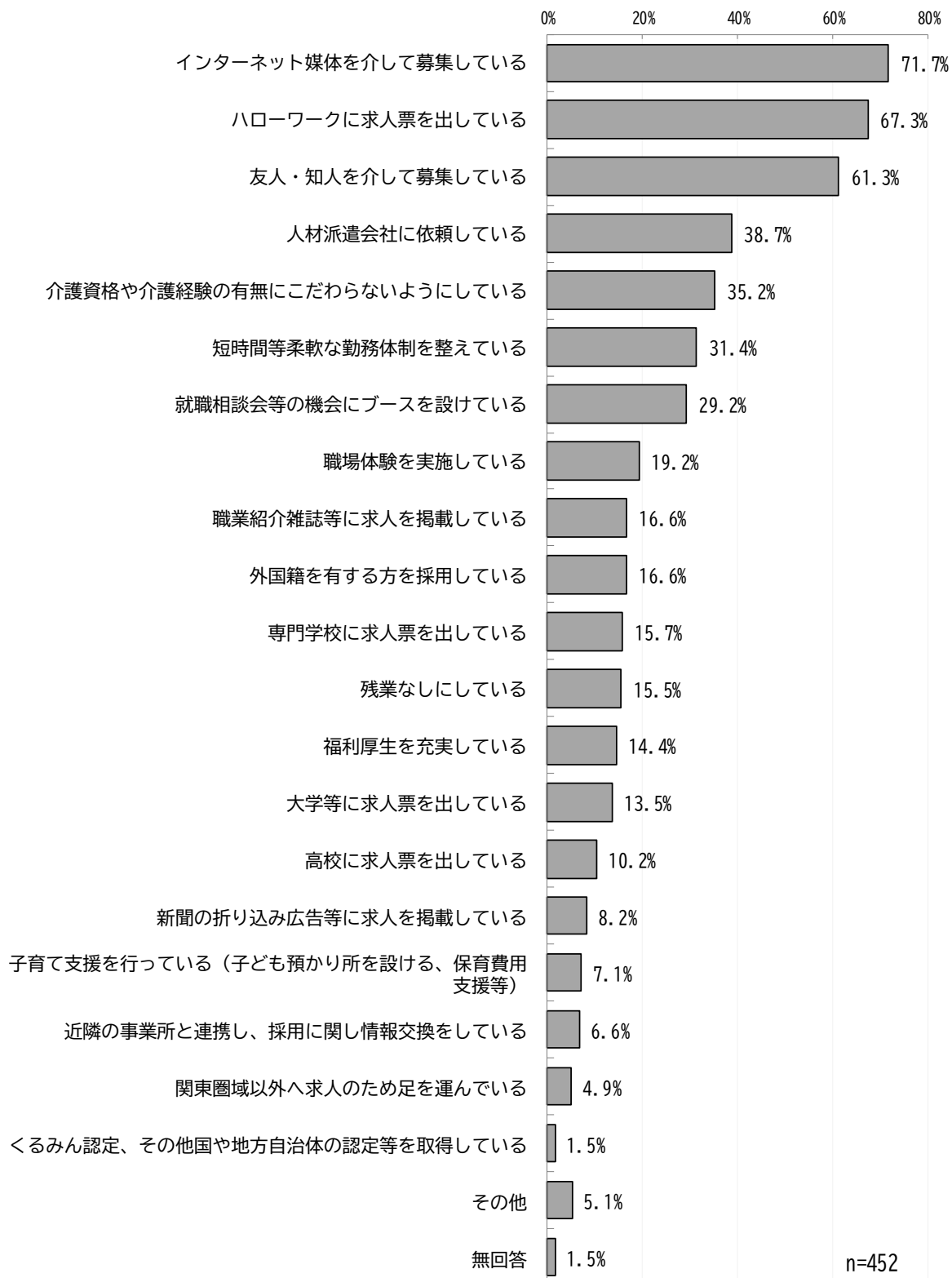
問7(2) 人材確保支援策として有効だと思うものは何ですか(いくつでも○)。

人材確保支援策として有効だと思うものについて、「給与・待遇の改善」が84.7%と最も高く、「職場環境・勤務体制の改善」が49.3%、「福利厚生の充実」が46.0%、「介護職員の資格取得支援」が38.3%、「募集方法の改善」が32.3%、「研修・教育等の充実」が31.0%、「業務内容の見直し」が24.6%、「行政機関がトライアル期間の給与を負担」が20.4%、「介護業務体験」が19.2%、「行政機関主催の就職相談・面接会」が13.7%、「新規就職者向けセミナー」が11.3%、「復職者向けセミナー」が10.0%となっている。



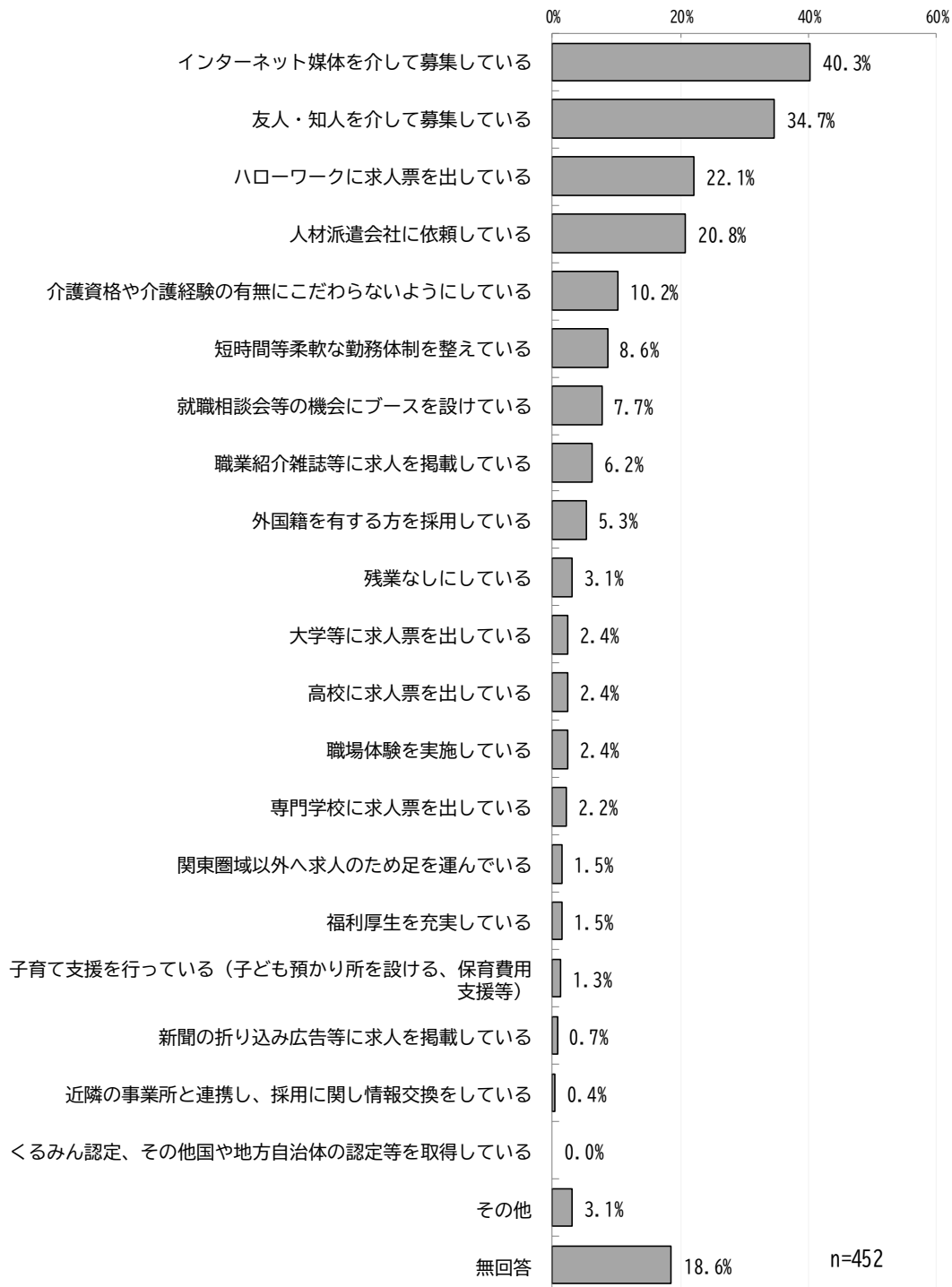
問7（3） 貴事業所では、職員の募集（採用）にあたりどのような工夫を行っていますか（いくつでも○）。

事業所の職員募集の方法について、「インターネット媒体を介して募集している」が71.7%と最も高く、「ハローワークに求人票を出している」が67.3%、「友人・知人を介して募集している」が61.3%、「人材派遣会社に依頼している」が38.7%、「介護資格や介護経験の有無にこだわらないようにしている」が35.2%と続いている。



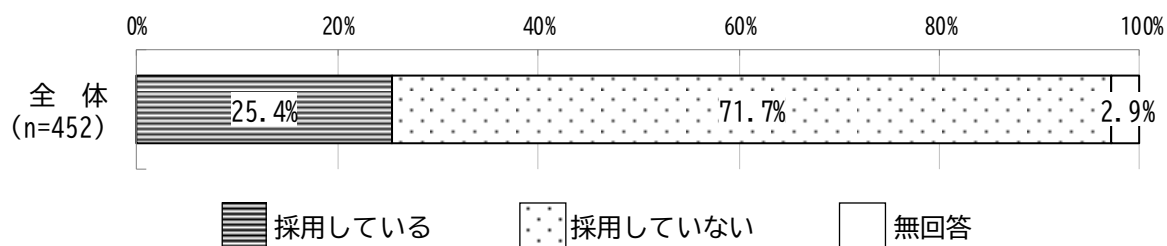
問7（4） 職員の募集（採用）で効果のあったものは何ですか（3つまで数字を記入）。

職員募集で効果のあったものとして、「インターネット媒体を介して募集している」が40.3%と最も高く、「友人・知人を介して募集している」が34.7%、「ハローワークに求人票を出している」が22.1%、「人材派遣会社に依頼している」が20.8%、「介護資格や介護経験の有無にこだわらないようにしている」が10.2%、「短時間等柔軟な勤務体制を整えている」が8.6%と続いている。



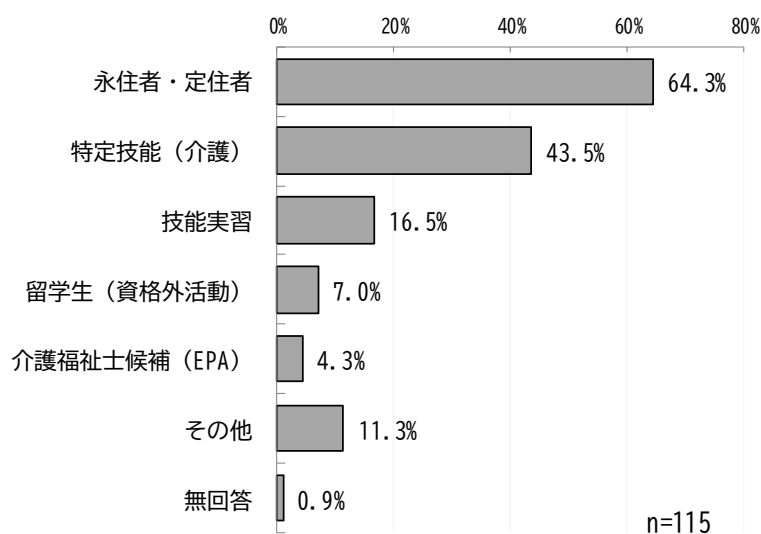
問7（5） 貴事業所では、外国籍を有する方を採用していますか（1つに○）。

外国籍を有する方の採用について、「採用している」が25.4%、「採用していない」が71.7%となっている。



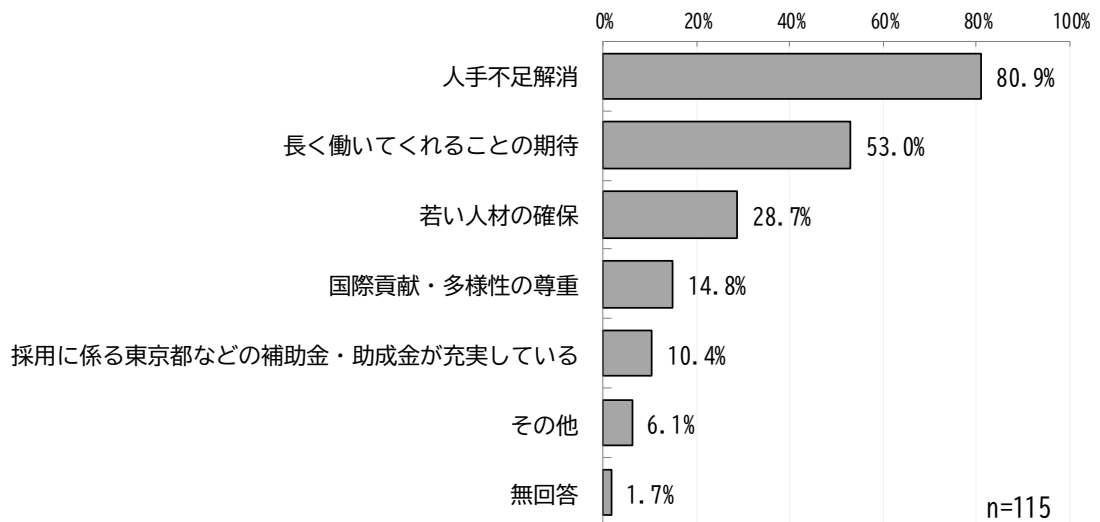
問7（5）① 採用した外国籍を有する方の在留資格を教えてください（いくつでも○）。

採用した外国籍を有する方の在留資格について、「永住者・定住者」が64.3%と最も高く、「特定技能（介護）」が43.5%、「技能実習」が16.5%、「留学生（資格外活動）」が7.0%、「介護福祉士候補(EPA)」が4.3%となっている。



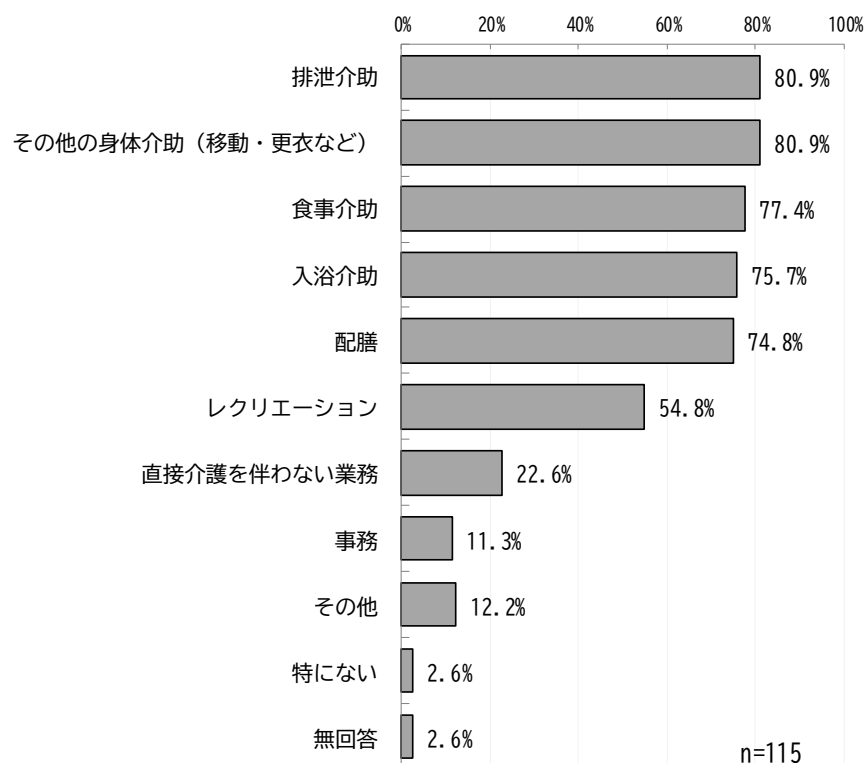
問7(5)② 外国籍を有する方を採用した主な理由を教えてください（いくつでも○）。

外国籍を有する方の主な採用理由について、「人手不足解消」が80.9%で最も高く、「長く働いてくれることの期待」が53.0%、「若い人材の確保」が28.7%、「国際貢献・多様性の尊重」が14.8%、「採用に係る東京都などの補助金・助成金が充実している」が10.4%となっている。



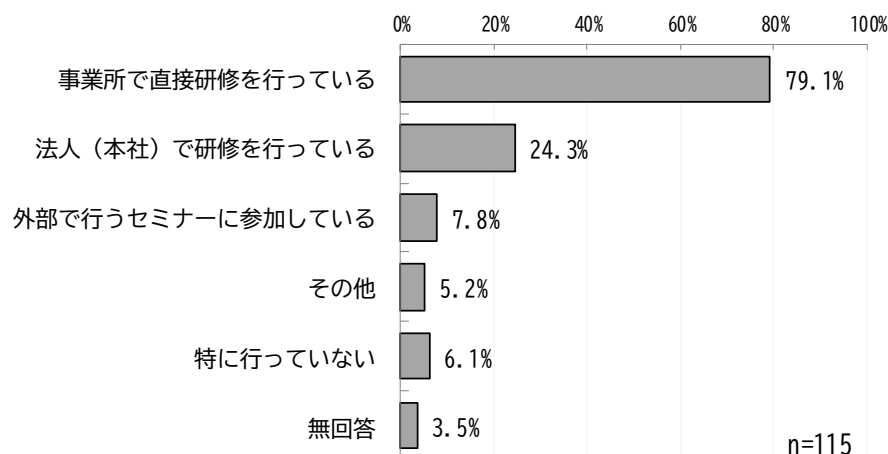
問7(5)③ 外国籍を有する方が行っている主な業務は何ですか（いくつでも○）。

外国籍を有する方が行っている主な業務について、「排泄介助」「その他の身体介助（移動・更衣など）」が80.9%と最も高く、「食事介助」が77.4%、「入浴介助」が75.7%、「配膳」が74.8%、「レクリエーション」が54.8%、直接介護を伴わない業務が22.6%、「事務」が11.3%となっている。また、「特にない」は2.6%となっている。



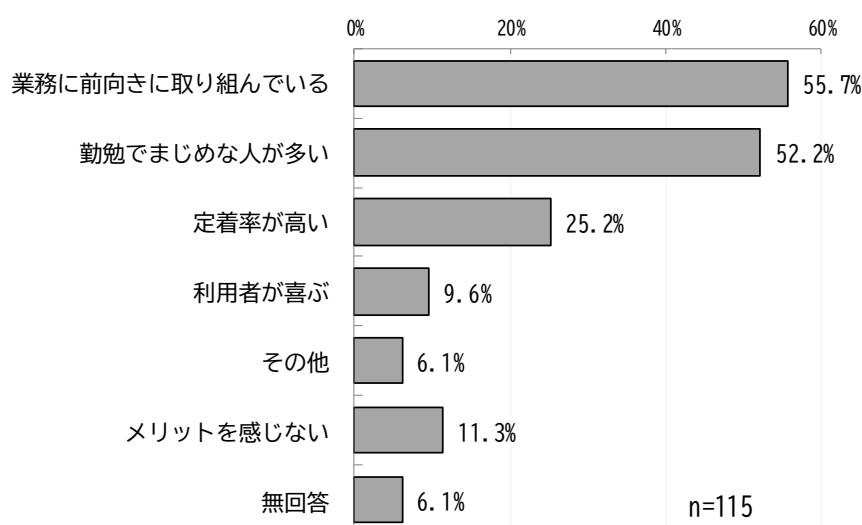
問7（5）④ 外国籍を有する方への教育はどのようにしていますか（いくつでも○）。

外国籍を有する方を「採用している」と回答した事業所の、必要な教育の実施状況について、「事業所で直接研修を行っている」が79.1%と最も高く、「法人（本社）で研修を行っている」が24.3%、「外部で行うセミナーに参加している」が7.8%、「特に行っていない」が6.1%となっている。



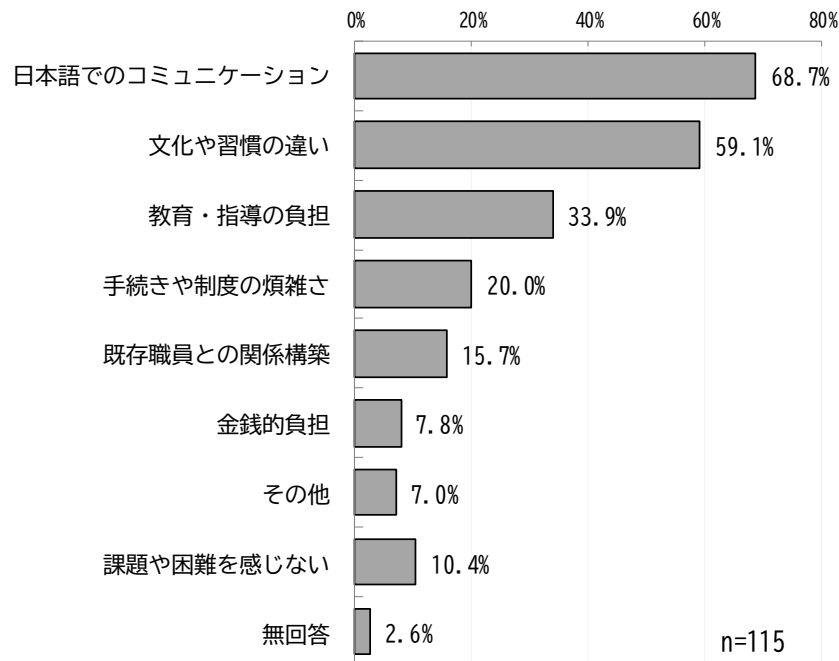
問7（5）⑤ 外国籍を有する方を採用して感じたメリットを教えてください（いくつでも○）。

外国籍を有する方を採用して感じたメリットについて、「業務に前向きに取り組んでいる」が55.7%と最も高く、「勤勉でまじめな人が多い」が52.2%、「定着率が高い」が25.2%、「利用者が喜ぶ」が9.6%、「メリットを感じない」が11.3%となっている。



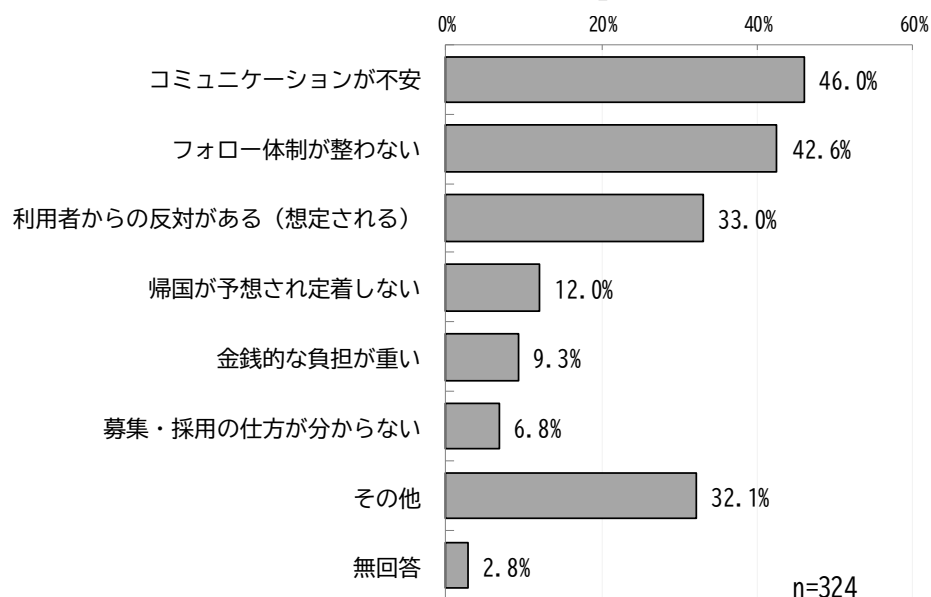
問7(5)⑥ 外国籍を有する方を採用して感じた課題や困難を感じたことを教えてください（いくつでも○）。

外国籍を有する方を採用して感じた課題や困難を感じたことについて、「日本語でのコミュニケーション」が68.7%と最も高く、「文化や習慣の違い」が59.1%、「教育・指導の負担」が33.9%、「手続きや制度の煩雑さ」が20.0%、「既存職員との関係構築」が15.7%、「金銭的負担」が7.8%、「課題や困難を感じない」が10.4%となっている。



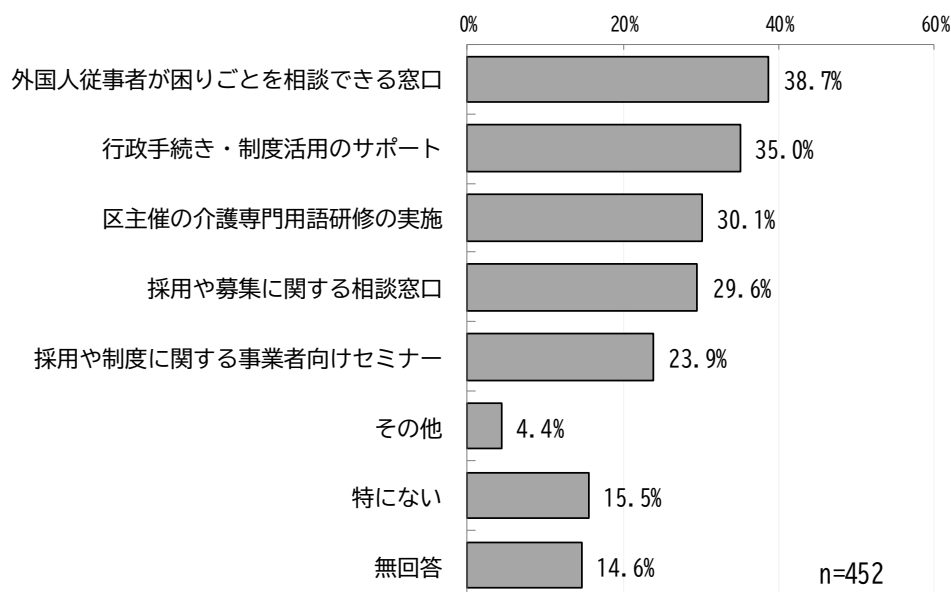
問7(5)⑦ 外国籍を有する方を採用していない理由は何ですか（いくつでも○）。

外国籍を有する方を採用していない理由は、「コミュニケーションが不安」が46.0%と最も高く、「フォロー体制が整わない」が42.6%、「利用者からの反対がある（想定される）」が33.0%、「帰国が予想され定着しない」が12.0%、「金銭的な負担が重い」が9.3%、「募集・採用の仕方が分からない」が6.8%となっている。



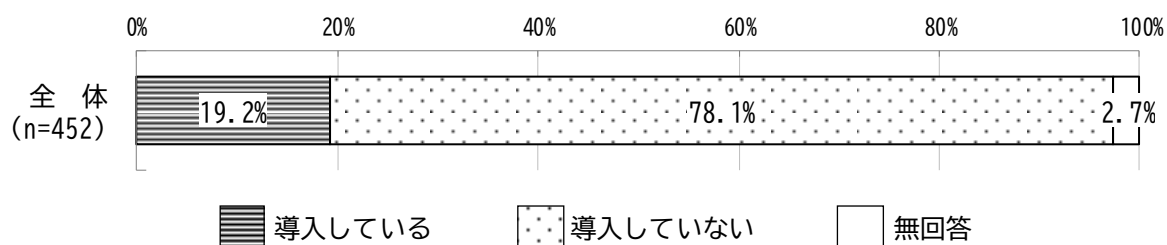
問7（6） 外国籍を有する方の採用・定着のために必要だと感じる支援を教えてください（いくつでも○）。

外国籍を有する方の採用・定着のために必要だと感じる支援は、「外国人従事者が困りごとを相談できる窓口」が38.7%と最も高く、「行政手続き・制度活用のサポート」が35.0%、「区主催の介護専門用語研修の実施」が30.1%、「採用や募集に関する相談窓口」が29.6%、「採用や制度に関する事業者向けセミナー」が23.9%、「特にない」が15.5%となっている。



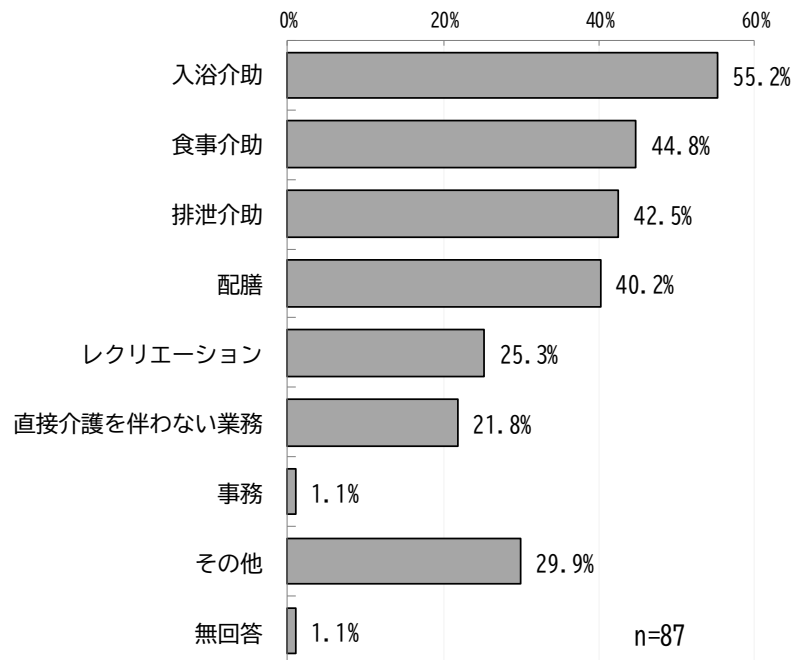
問7（7） スポットワーク（単発・短時間勤務の人材活用）を導入していますか（1つに○）。

スポットワーク（単発・短時間勤務の人材活用）導入状況について、「導入している」が19.2%、「導入していない」が78.1%となっている。



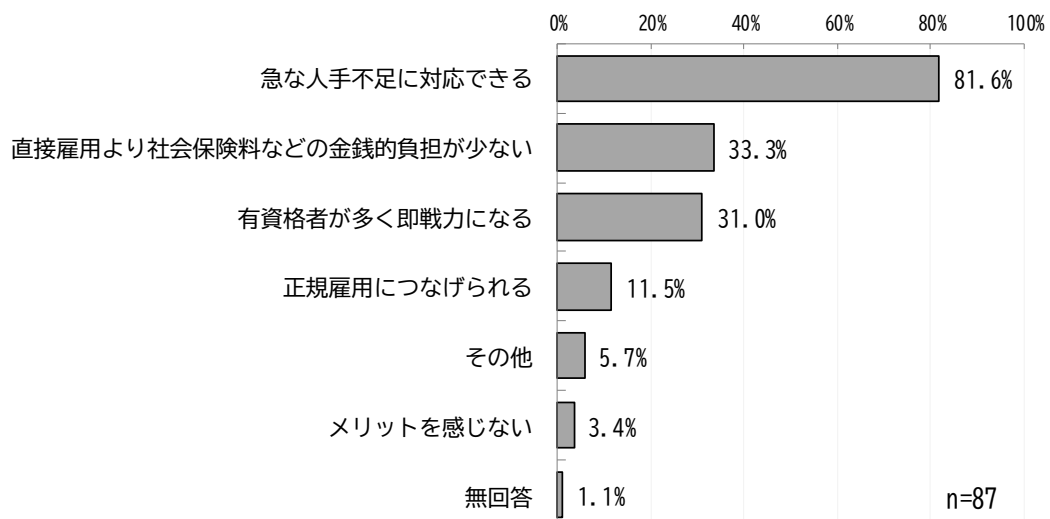
問7（7）① どの業務にスポットワークを導入しているか教えてください（いくつでも○）。

スポットワークを導入している業務について、「入浴介助」は 55.2%と最も高く、「食事介助」が 44.8%、「排泄介助」が 42.5%、「配膳」が 40.2%、「レクリエーション」が 25.3%、「直接介護を伴わない業務」が 21.8%、「事務」が 1.1%となっている。



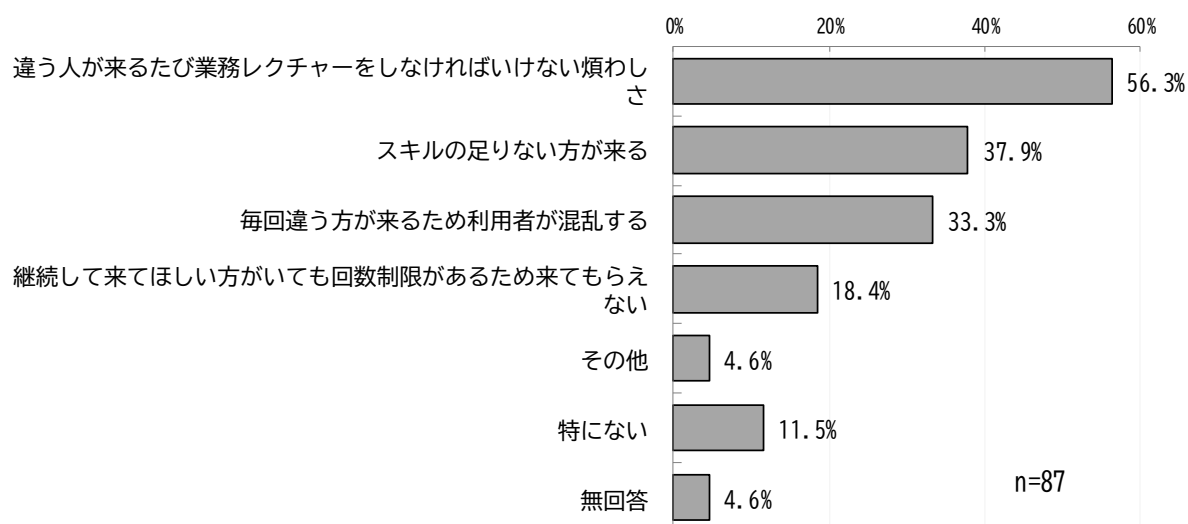
問7（7）② スポットワークを導入して感じたメリットを教えてください（いくつでも○）。

スポットワークを導入して感じたメリットについて、「急な人手不足に対応できる」が 81.6%と最も高く、「直接雇用よりも社会保険料などの金銭的負担が少ない」が 33.3%、「有資格者が多く即戦力になる」が 31.0%、「正規雇用につなげられる」が 11.5%、「メリットを感じない」が 3.4%となっている。



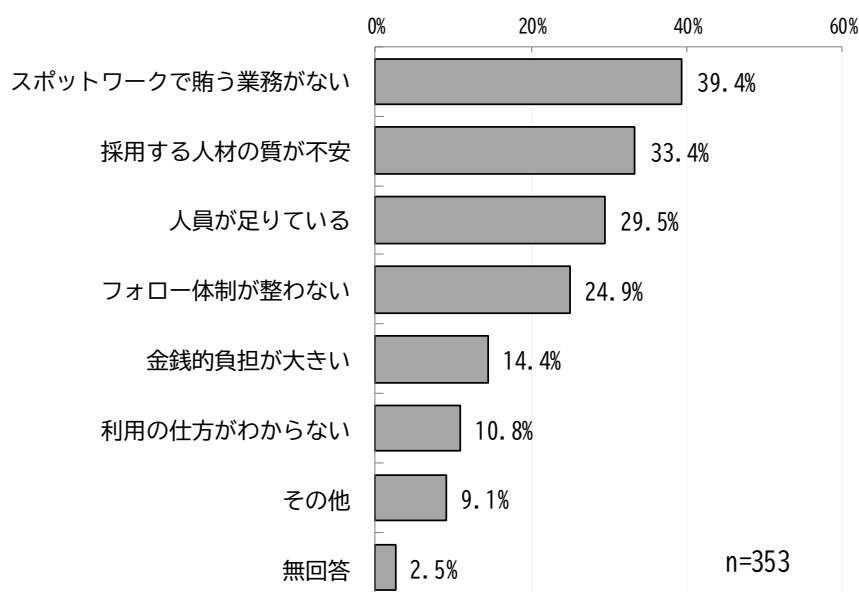
問7 (7) ③ スポットワークを導入して感じた課題を教えてください（いくつでも○）。

スポットワークを導入して感じた課題について、「違う人が来るたび業務レクチャーをしなければいけない煩わしさ」が56.3%と最も高く、「スキルの足りない方が来る」が37.9%、「毎回違う方が来るため利用者が混乱する」が33.3%、「継続して来てほしい方がいても回数制限があるため来てもらえない」が18.4%、「特にない」が11.5%となっている。



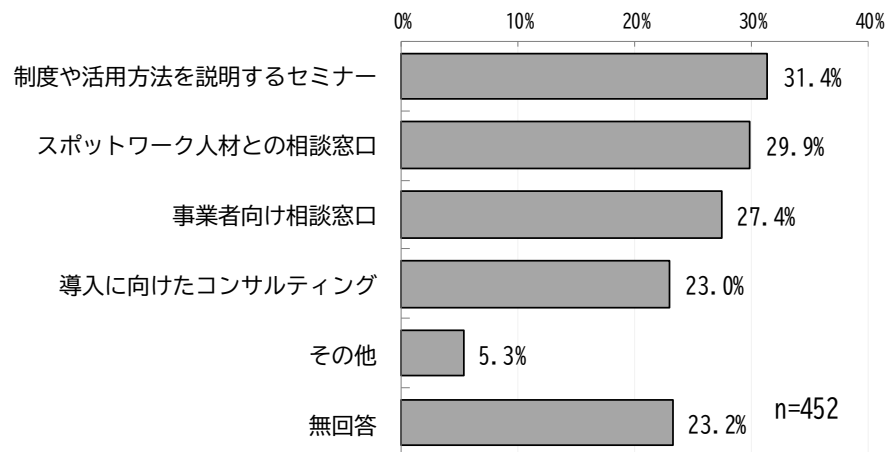
問7 (7) ④ スポットワークを導入していない理由を教えてください（いくつでも○）。

スポットワークを導入していない理由について、「スポットワークで賄う業務がない」が39.4%と最も高く、「採用する人材の質が不安」が33.4%、「人員が足りている」が29.5%、「フォロー体制が整わない」が24.9%、「金銭的負担が大きい」が14.4%、「利用の仕方がわからない」が10.8%となっている。



問7（8） スポットワークを利用するために必要だと感じる支援を教えてください
（いくつでも○）。

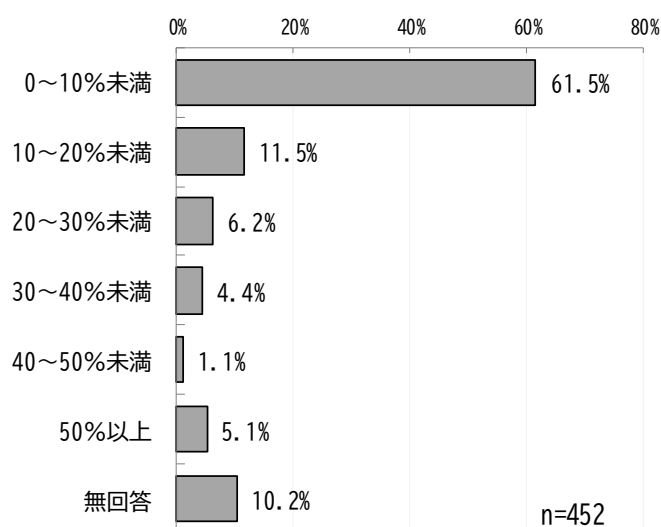
スポットワークを利用するために必要だと感じる支援について、「制度や活用方法を説明するセミナー」が31.4%と最も高く、「スポットワーク人材との相談窓口」が29.9%、「事業者向け相談窓口」が27.4%、「導入に向けたコンサルティング」が23.0%となっている。



問7(9) 令和6年(1月から12月)の入職率と離職率についてお答えください
(それぞれ1つに○)。

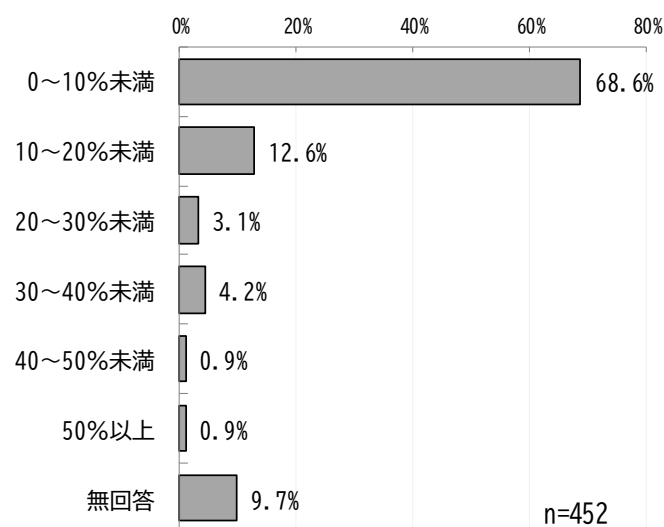
① 正規職員 入職率

令和6年(1月から12月)の正規職員の入職率について、「0～10%未満」が61.5%と最も高く、「10～20%未満」が11.5%、「20～30%未満」が6.2%、「50%以上」が5.1%、「30～40%未満」が4.4%、「40～50%未満」が1.1%となっている。



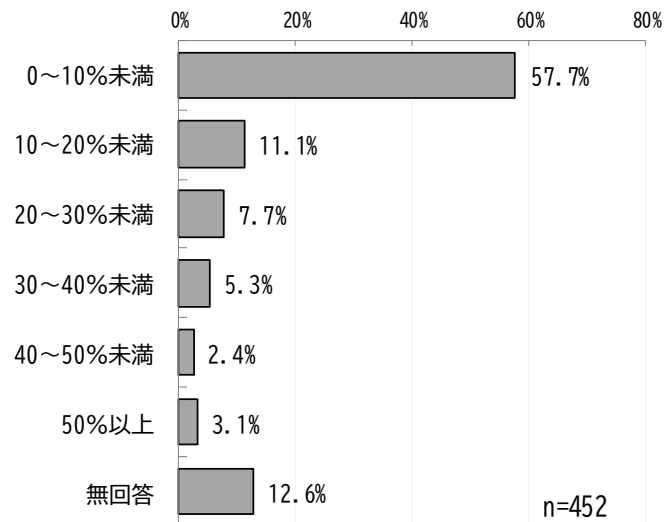
② 正規職員 離職率

令和6年(1月から12月)の正規職員の離職率について、「0～10%未満」が68.6%と最も高く、「10～20%未満」が12.6%、「30～40%未満」が4.2%、「20～30%未満」が3.1%、「40～50%未満」「50%以上」が0.9%となっている。



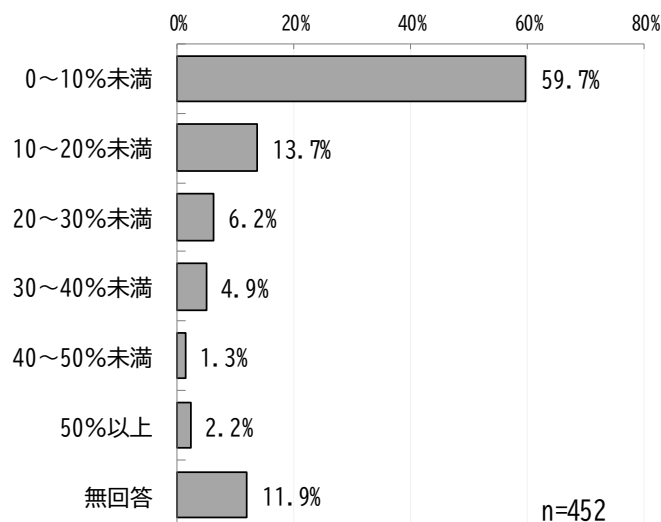
③ 非正規職員 入職率

令和6年（1月から12月）の非正規職員の入職率について、「0～10%未満」が57.7%と最も高く、「10～20%未満」が11.1%、「20～30%未満」が7.7%、「30～40%未満」が5.3%、「50%以上」が3.1%、「40～50%未満」が2.4%となっている。



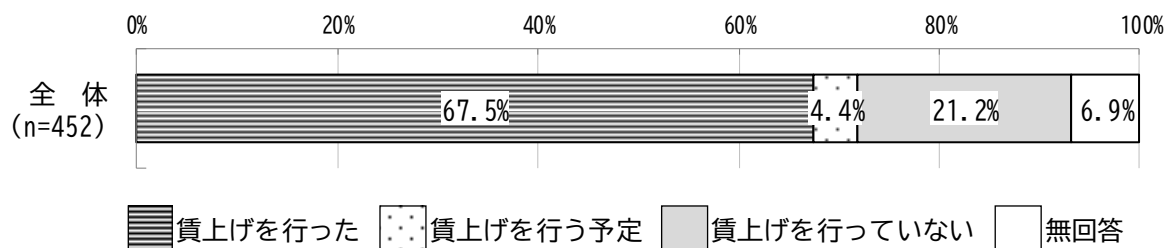
④ 非正規職員 離職率

令和6年（1月から12月）の非正規職員の離職率について、「0～10%未満」が59.7%と最も高く、「10～20%未満」が13.7%、「20～30%未満」が6.2%、「30～40%未満」が4.9%、「50%以上」が2.2%、「40～50%未満」が1.3%となっている。



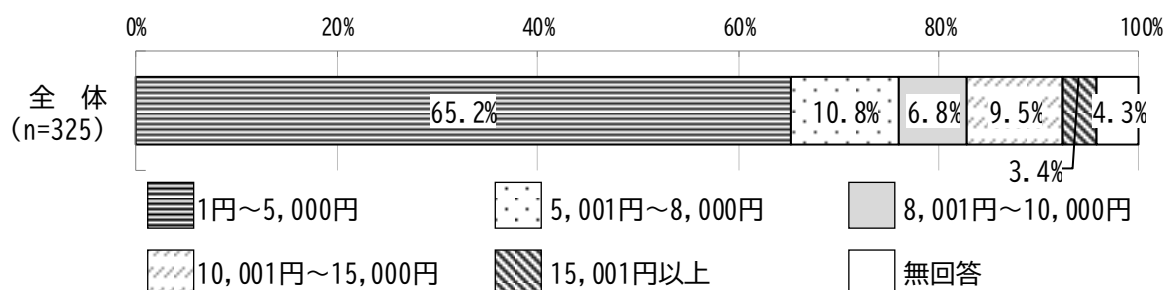
問7（10） 貴事業所は今年度に賃上げを行いましたか（1つに○）。

今年度（令和7年度）の賃上げについて、「賃上げを行った」が67.5%と最も高く、「賃上げを行っていない」が21.2%、「賃上げを行う予定」が4.4%となっている。



問7（10）① 職員1人あたりの賃上げ平均額は月額（換算）でいくらですか（1つに○）。

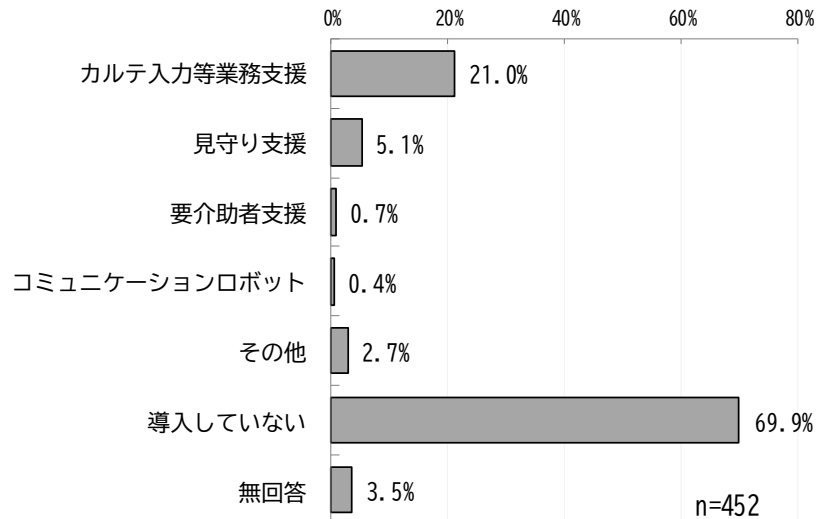
介護職員等の「賃上げを行った」または「賃上げを行う予定」と回答した事業所の、職員1人あたりの賃上げ平均額について、「1円～5,000円」が65.2%と最も高く、「5,001円～8,000円」が10.8%、「10,001円～15,000円」が9.5%、「8,001円～10,000円」が6.8%、「15,001円以上」が3.4%となっている。



(8) 業務効率化について

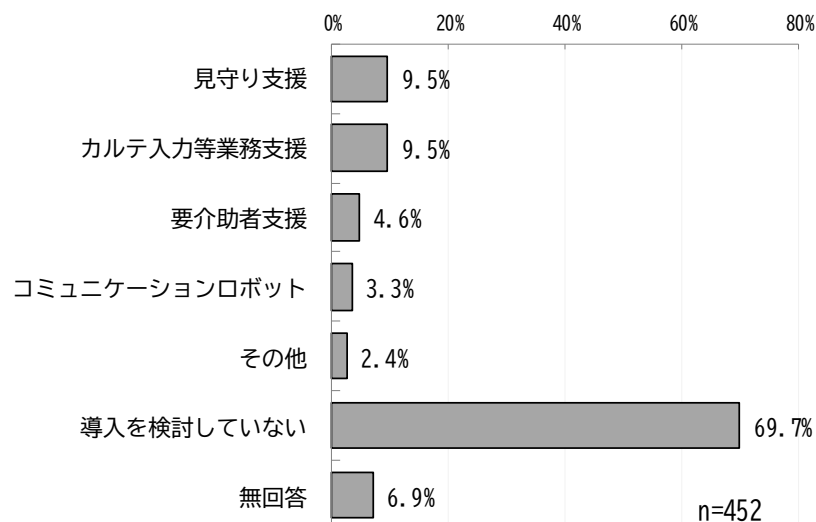
問8 (1) ロボットやIoTを導入している分野はありますか (いくつでも○)。

ロボット・IoTの導入状況について、無回答および「その他」を除くと、「カルテ入力等業務支援」が21.0%と最も高く、「見守り支援」が5.1%、「要介助者支援」が0.7%、「コミュニケーションロボット」が0.4%となっている。



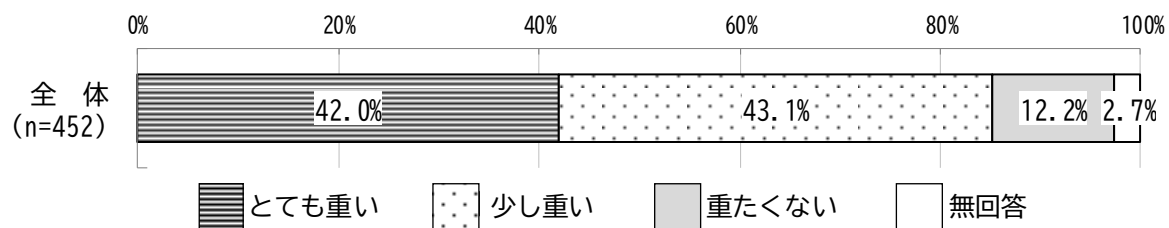
問8 (2) ロボットやIoTの導入を検討している分野はありますか (いくつでも○)。

ロボット・IoTの検討状況について、無回答および「その他」を除くと、「見守り支援」「カルテ入力等業務支援」が9.5%と最も高く、「要介助者支援」が4.6%、「コミュニケーションロボット」が3.3%となっている。



問8（3） 現在、事務負担はどの程度ですか（1つに○）。

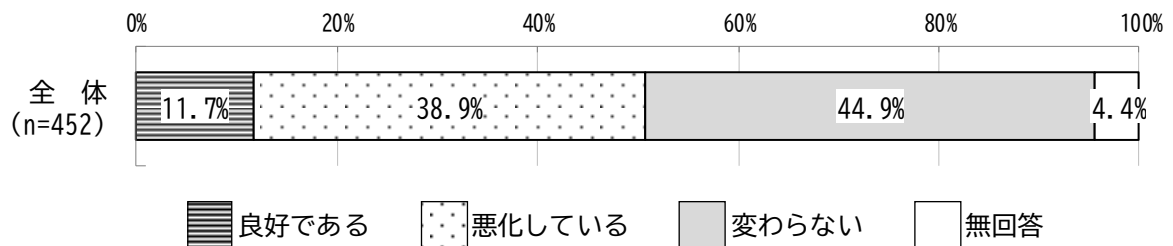
現在の事務負担について、「少し重い」が43.1%と最も高く、「とても重い」が42.0%、「重たくない」が12.2%となっている。



(9) その他（景況感、困難事例、要望など）

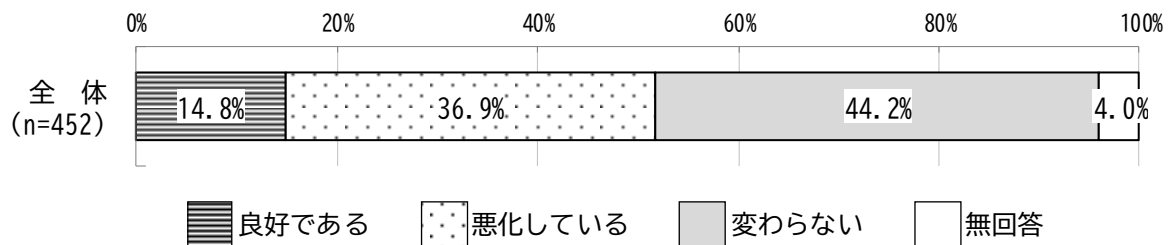
問9（1） 直近の介護報酬改定前と比較して、令和6年度の経営状況はいかがですか（1つに○）。

直近の介護報酬改定前と比較した、令和6年度の経営状況について、「変わらない」が44.9%と最も高く、「悪化している」が38.9%、「良好である」が11.7%となっている。



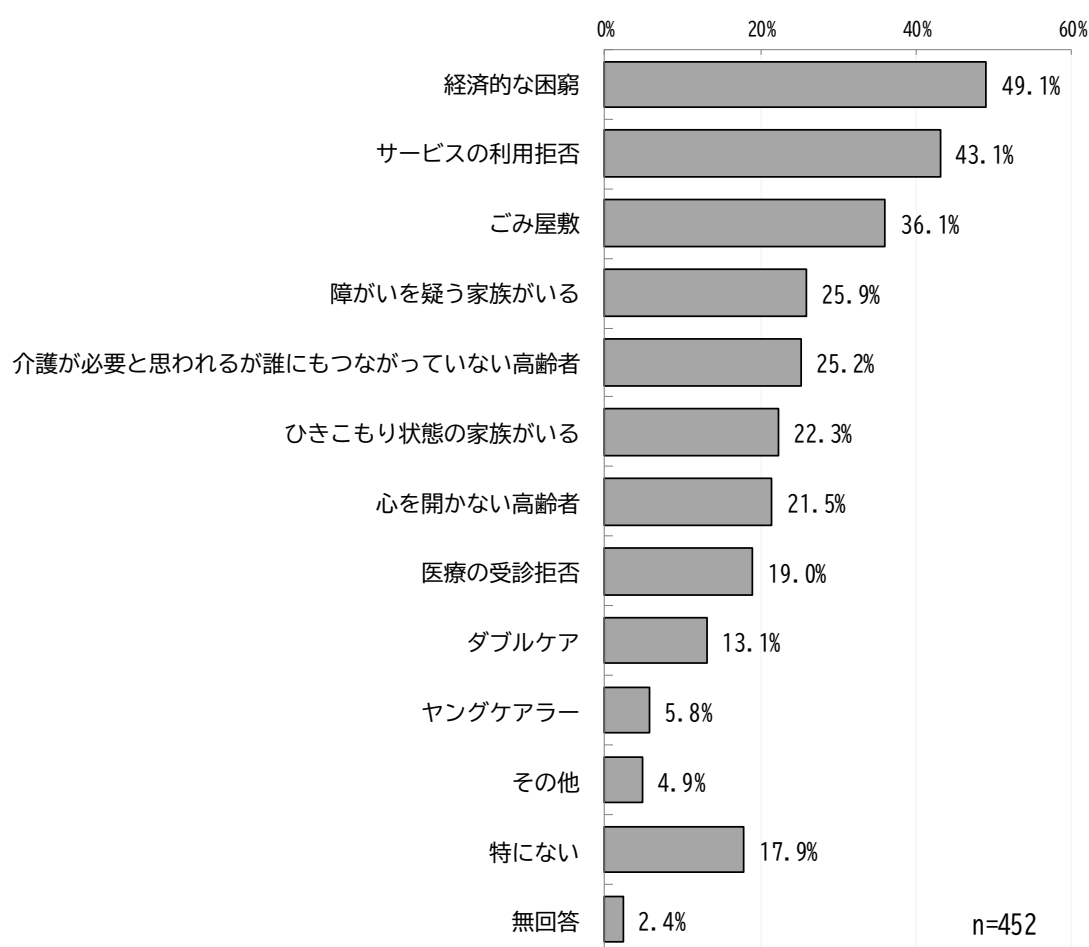
問9（2） 令和6年度の経営状況と比較して、令和7年度（見込み）の経営状況はいかがですか（1つに○）。

令和6年度の経営状況と比較した、令和7年度（見込み）の経営状況について、「変わらない」が44.2%と最も高く、「悪化している」が36.9%、「良好である」が14.8%となっている。



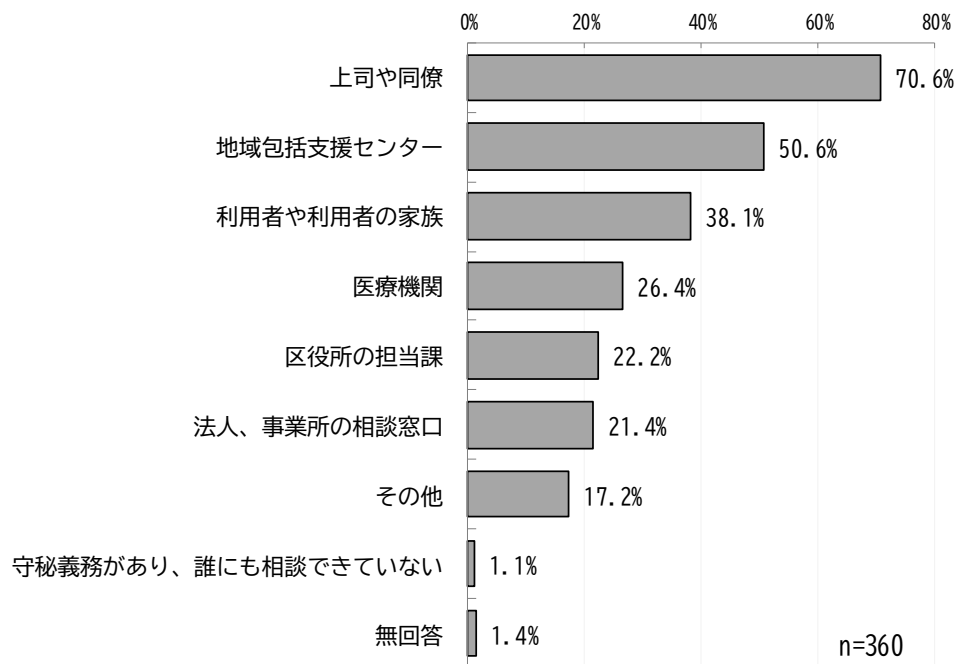
問9（3） 利用者へのサービス提供を行う中で、気になる相談を受けたり、対応困難な事例に遭遇したことがありますか（いくつでも○）。

利用者へのサービス提供を行う中で受けた気になる相談や遭遇した対応困難な事例について、「経済的な困窮」が49.1%と最も高く、「サービスの利用拒否」が43.1%、「ごみ屋敷」が36.1%、「障がいを疑う家族がいる」が25.9%、「介護が必要と思われるが誰にもつながっていない高齢者」が25.2%、「ひきこもり状態の家族がいる」が22.3%、「心を開かない高齢者」が21.5%、「医療の受診拒否」が19.0%、「ダブルケア」が13.1%、「ヤングケアラー」が5.8%となっている。また「特にない」が17.9%となっている。



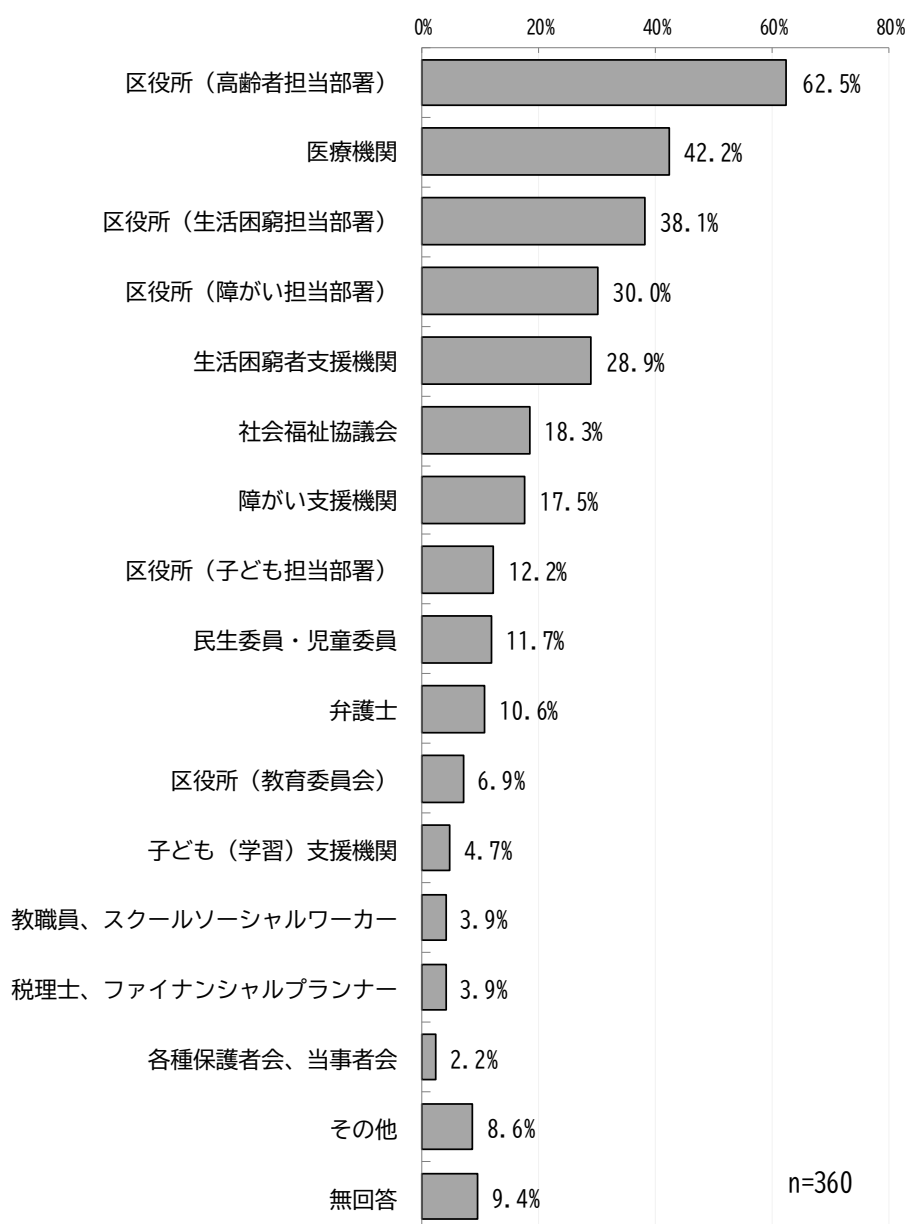
問9 (3) ① 気になった相談や困難事例を誰に相談していますか（いくつでも○）。

気になった相談や困難事例の相談先について、「上司や同僚」が70.6%と最も高く、「地域包括支援センター」が50.6%、「利用者や利用者の家族」が38.1%、「医療機関」が26.4%、「区役所の担当課」が22.2%、「法人、事業所の相談窓口」が21.4%となっている。また「守秘義務があり、誰にも相談できていない」が1.1%となっている。



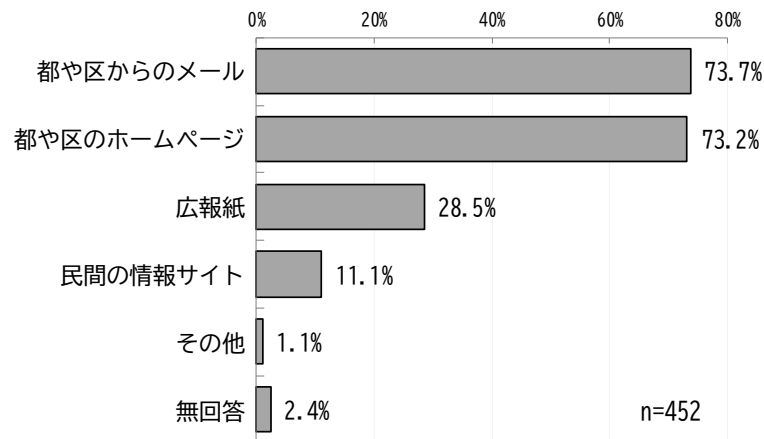
問9（3）② 気になった相談や困難事例の対応にあたり、誰と連携したいと思いますか（いくつでも○）。

気になった相談や困難事例の対応にあたり連携したいと思う先について、「区役所（高齢者担当部署）」が62.5%と最も高く、「医療機関」が42.2%、「区役所（生活困窮担当部署）」が38.1%、「区役所（障がい担当部署）」が30.0%、「生活困窮者支援機関」が28.9%、「社会福祉協議会」が18.3%、「障がい支援機関」が17.5%、「区役所（子ども担当部署）」が12.2%、「民生委員・児童委員」が11.7%、「弁護士」が10.6%、「区役所（教育委員会）」が6.9%、「子ども（学習）支援機関」が4.7%、「教職員、スクールソーシャルワーカー」「税理士、ファイナンシャルプランナー」が3.9%、「各種保護者会、当事者会」が2.2%となっている。



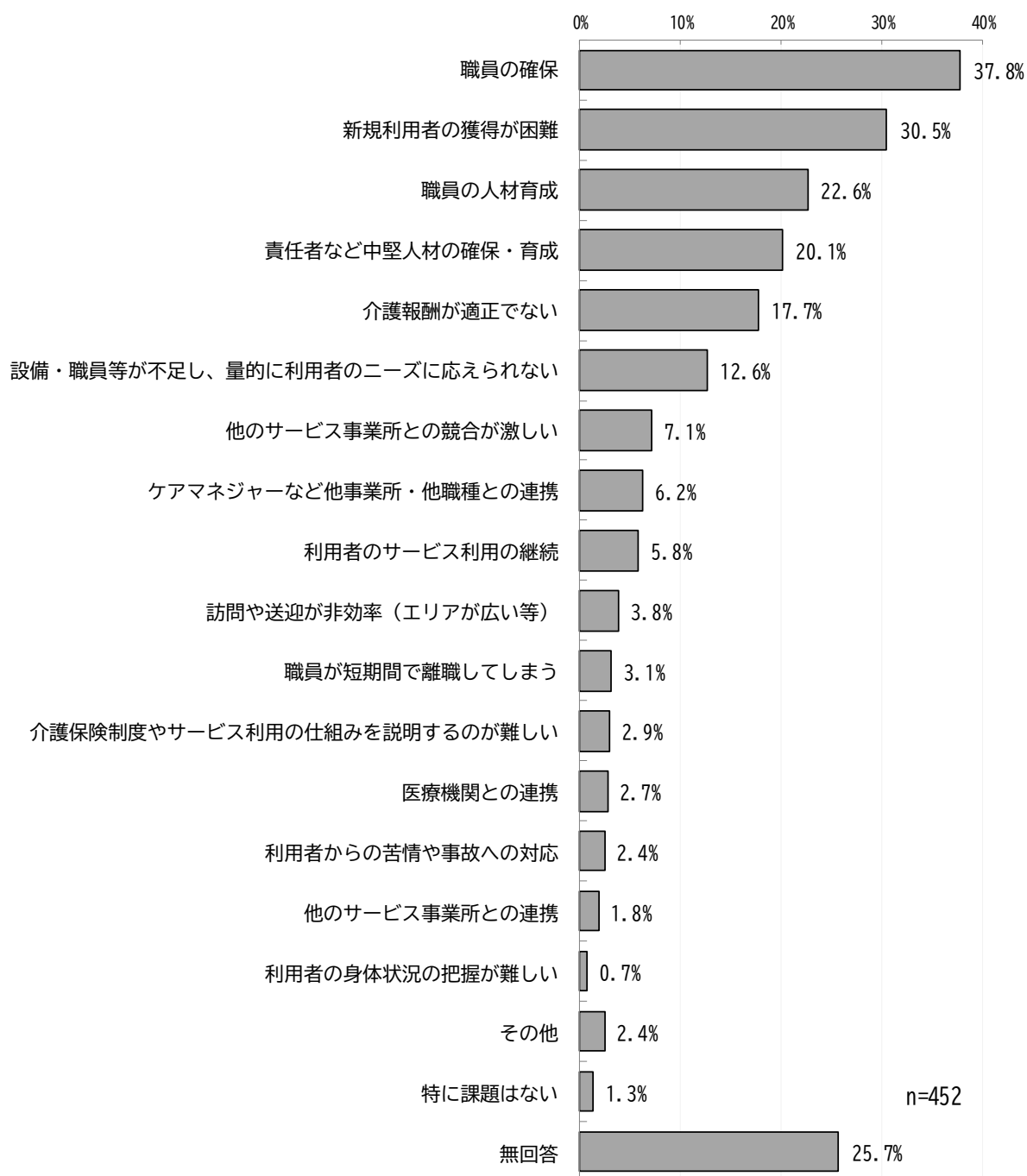
問9（4） 都や区の支援についてどのような手段で情報を得ているか教えてください（いくつでも○）。

都や区の支援についてどのような手段で情報を得ているかについて、「都や区からのメール」が73.7%と最も高く、「都や区からのホームページ」が73.2%、「広報紙」が28.5%、「民間の情報サイト」が11.1%となっている。



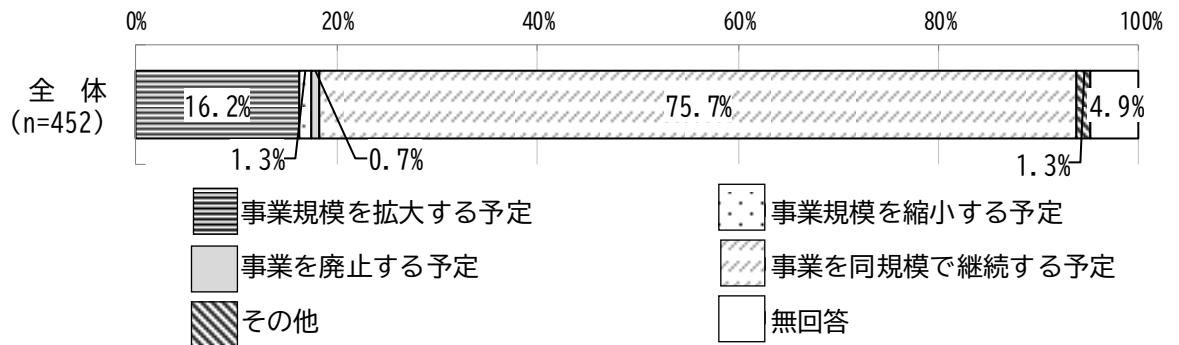
問9（5） 事業を運営する上での課題は何ですか（3つまで○）。

事業を運営する上での課題について、「職員の確保」が37.8%と最も高く、「新規利用者の獲得が困難」が30.5%、「職員の人材育成」が22.6%、「責任者など中堅人材の確保・育成」が20.1%、「介護報酬が適正でない」が17.7%、「設備・職員等が不足し、量的に利用者のニーズに応えられない」が12.6%と続いている。また「特に課題はない」が1.3%となっている。



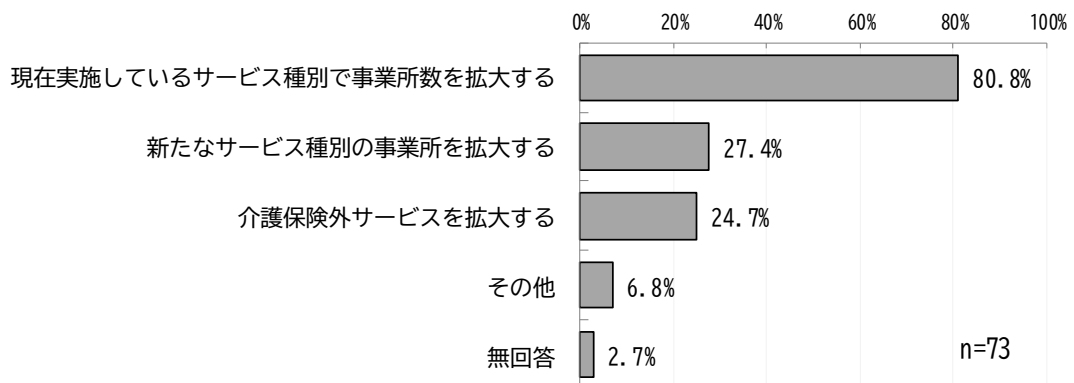
問9（6） 貴事業所の今後の事業展開についてお答えください（1つに○）。

事業所の今後の事業展開について、「事業を同規模で継続する予定」が75.7%と最も高く、「事業規模を拡大する予定」が16.2%、「事業規模を縮小する予定」が1.3%、「事業を廃止する予定」が0.7%となっている。



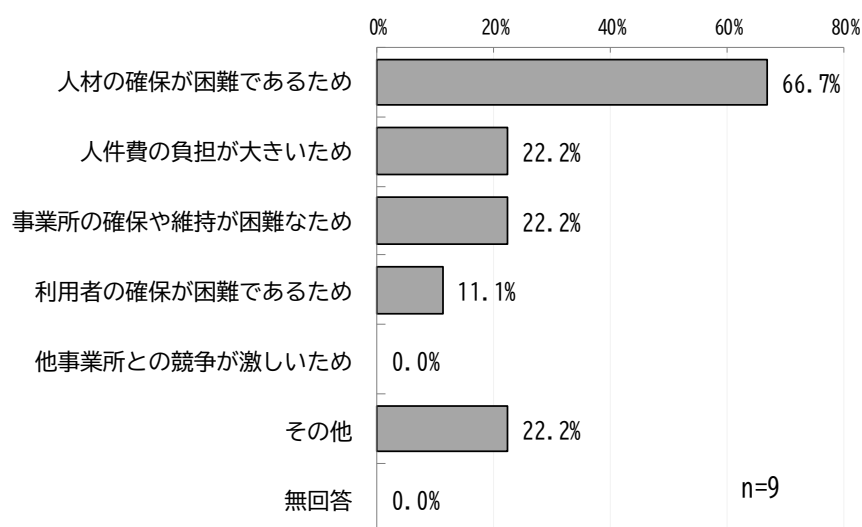
問9（6）① どのように事業規模を拡大しますか（いくつでも○）。

「事業規模を拡大する予定」と回答した事業所の事業拡大の方法について、「現在実施しているサービス種別で事業所数を拡大する」が80.8%と最も高く、「新たなサービス種別の事業所を拡大する」が27.4%、「介護保険外サービスを拡大する」が24.7%となっている。



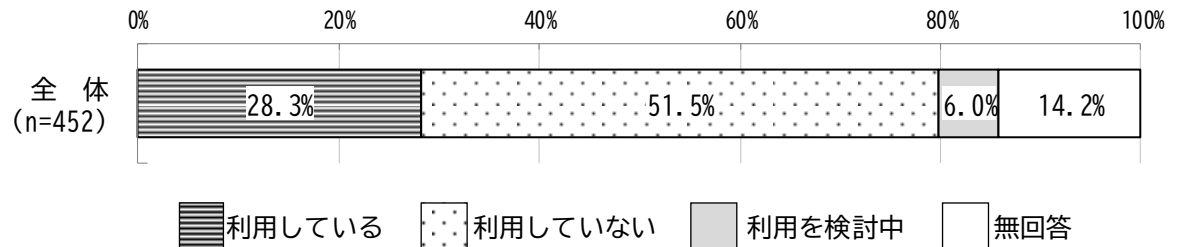
問9（6）② 事業規模を縮小・廃止する予定である理由は何ですか（いくつでも○）。

「事業規模を縮小する予定」または「事業を廃止する予定」と回答した事業所の、縮小・廃止の理由について、「人材の確保が困難であるため」が66.7%と最も高く、「人件費の負担が大きいため」「事業所の確保や維持が困難なため」が22.2%、「利用者の確保が困難であるため」が11.1%、「他事業所との競争が激しいため」が0.0%となっている。



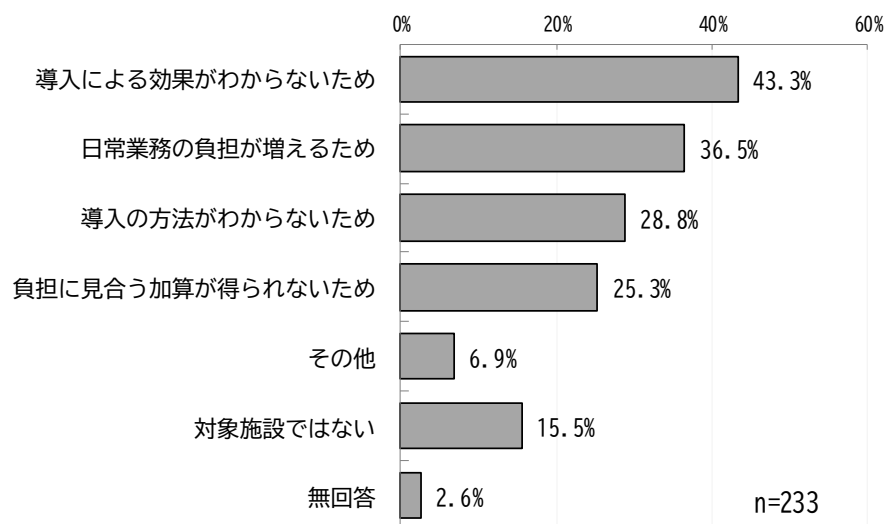
問9 (7) LIFE (科学的介護情報システム) を利用していますか (1 つに○)。

LIFE (科学的介護情報システム) の利用状況について、「利用していない」が 51.5% と最も高く、「利用している」が 28.3%、「利用を検討中」が 6.0%となっている。



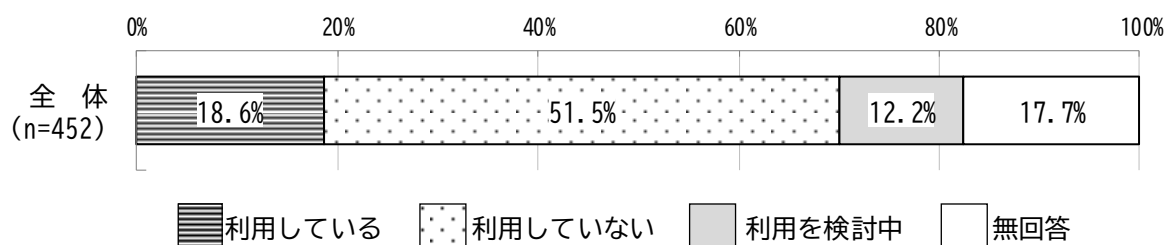
問9 (7) ① 利用していない理由は何ですか (いくつでも○)。

LIFE (科学的介護情報システム) を「利用していない」と回答した事業所の利用していない理由について、「導入による効果がわからないため」が 43.3%と最も高く、「日常業務の負担が増えるため」が 36.5%、「導入の方法がわからないため」が 28.8%、「負担に見合う加算が得られないため」が 25.3%、「対象施設ではない」が 15.5%となっている。



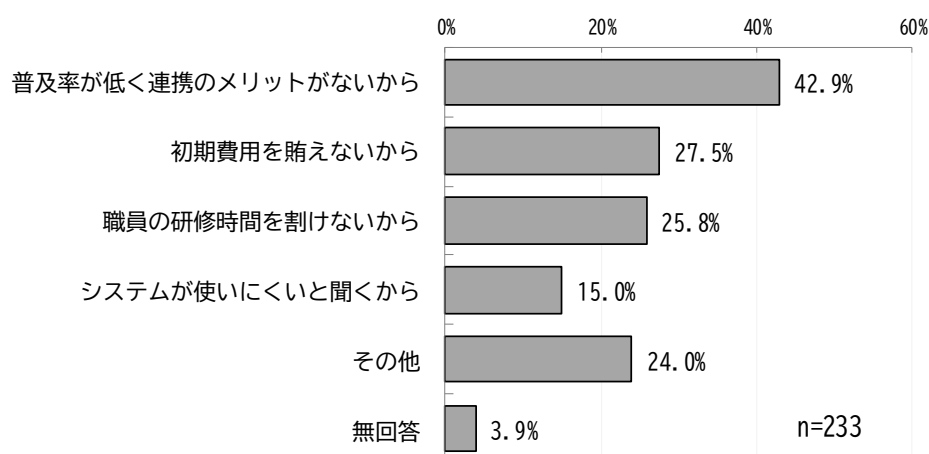
問9（8） ケアプランデータ連携システムを利用していますか（1つに○）。

ケアプランデータ連携システムの利用状況について、「利用していない」が51.5%と最も高く、「利用している」が18.6%、「利用を検討中」が12.2%となっている。



問9（8）① 利用していない理由は何ですか（いくつでも○）。

「ケアプランデータ連携システムを利用していない」と回答した事業所のケアプランデータ連携システムの利用していない理由について、「普及率が低く連携のメリットがないから」が42.9%と最も高く、「初期費用を賄えないから」が27.5%、「職員の研修時間を割けないから」が25.8%、「システムが使いにくいと聞くから」が15.0%となっている。



7 居宅介護支援事業所調査

7 居宅介護支援事業所調査

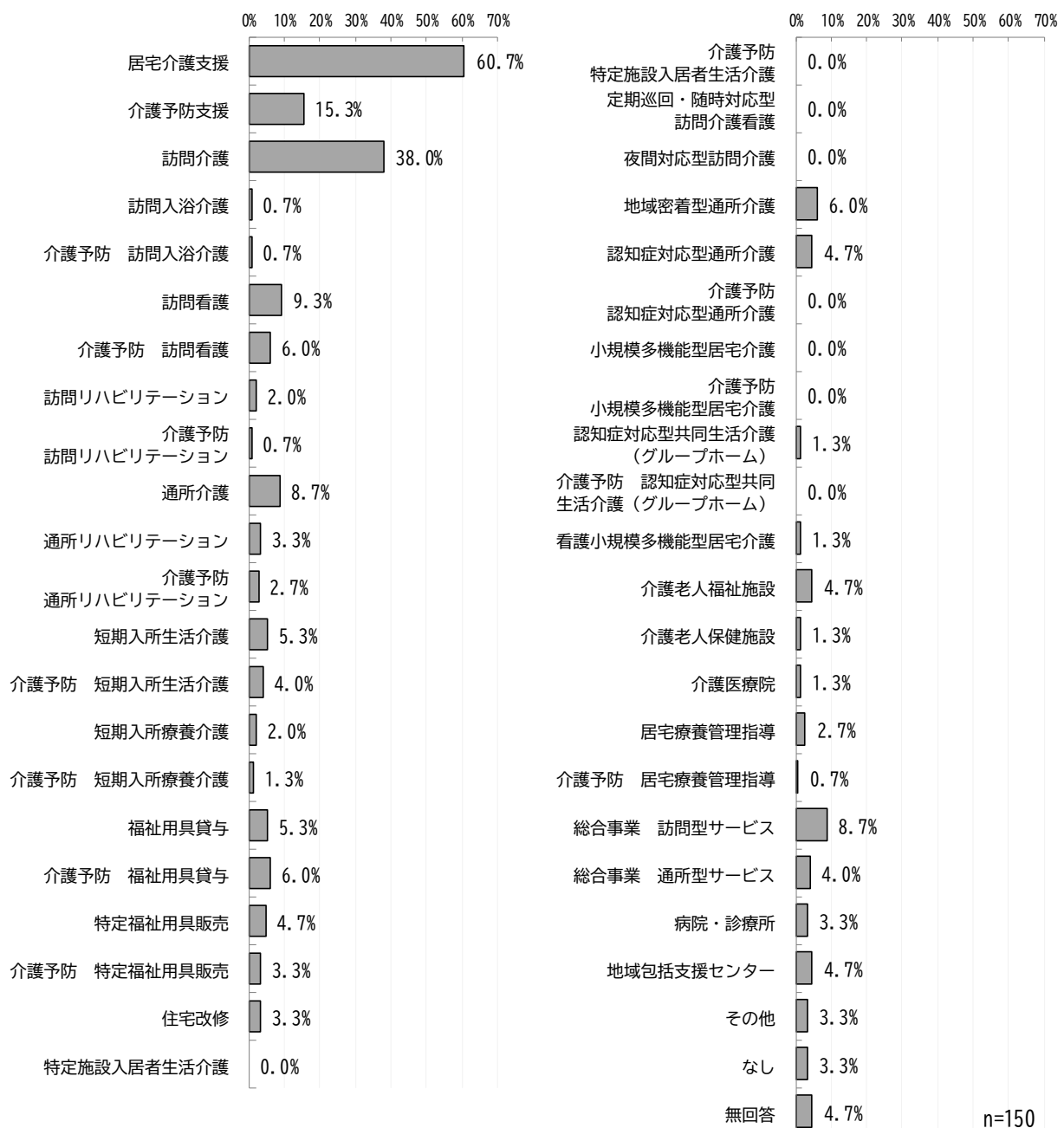
(1) 事業所の基本情報について

問1 (1) 貴事業所について

※「事業所名をご記入ください」という設問であるため省略

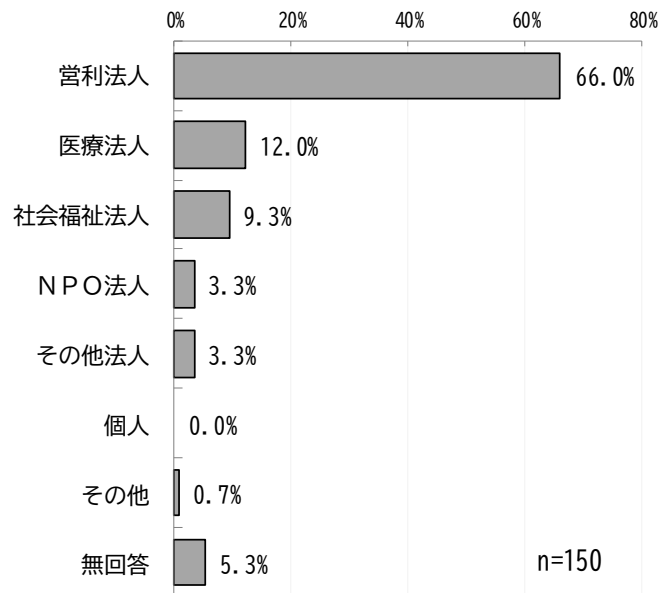
問1 (2) 貴事業所の併設事業について、あてはまるものに○を付けてください
(いくつでも○)。

事業所の併設事業について、「居宅介護支援」が 60.7%と最も高く、「訪問介護」が 38.0%、「介護予防支援」が 15.3%、「訪問看護」が 9.3%、「通所介護」が 8.7%と続いている。また「なし」が 3.3%となっている。



問1（3） 事業所の経営主体は何ですか（1つに○）。

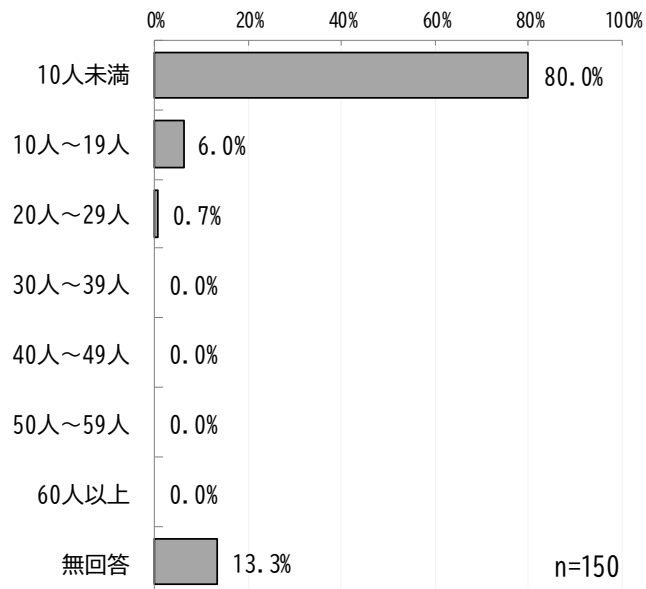
事業所の経営主体は、「営利法人」が66.0%と最も高く、「医療法人」が12.0%、「社会福祉法人」が9.3%、「NPO法人」「その他法人」が3.3%、「個人」が0.0%となっている。



問1 (4) 貴事業所の職員体制についてご記入ください(数字を記入)。また、()内に外国人職員数を記入してください。

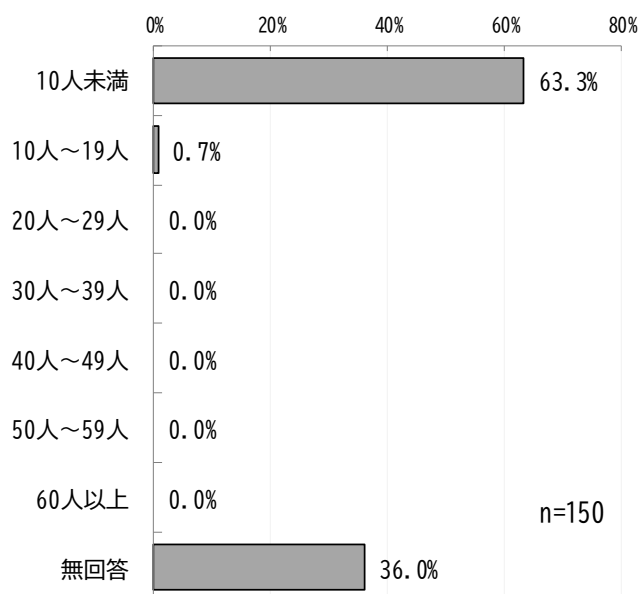
① 正規職員 専任

正規職員(専任)の職員体制について、「10人未満」が80.0%と最も高く、「10人～19人」が6.0%、「20人～29人」が0.7%となっている。



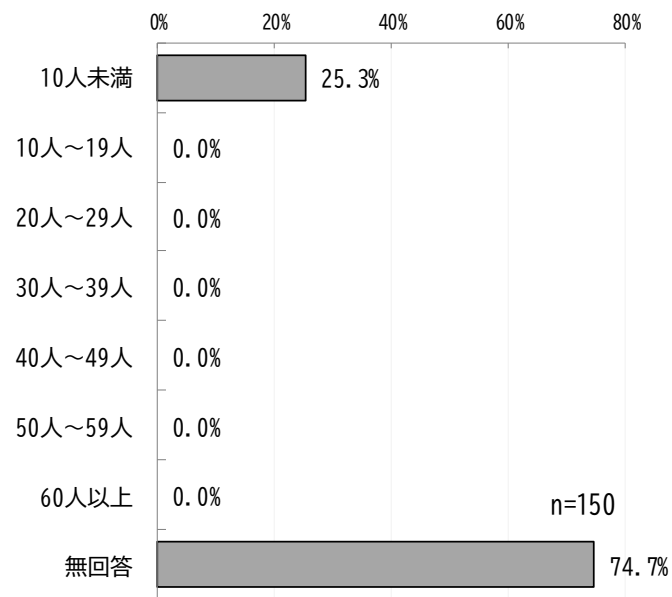
② 正規職員 兼務

正規職員(兼務)の職員体制について、「10人未満」が63.3%と最も高く、「10人～19人」が0.7%となっている。



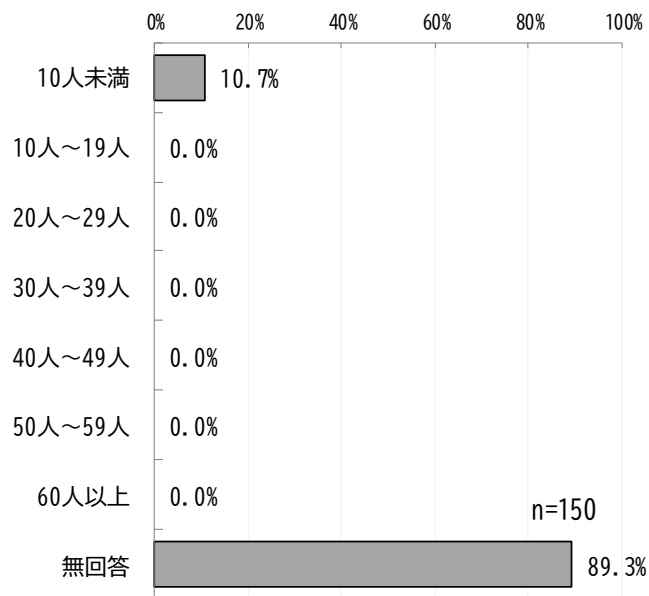
③ 非正規職員 専任

非正規職員（専任）の職員体制について、「10 人未満」が 25.3%と最も高くなっている。



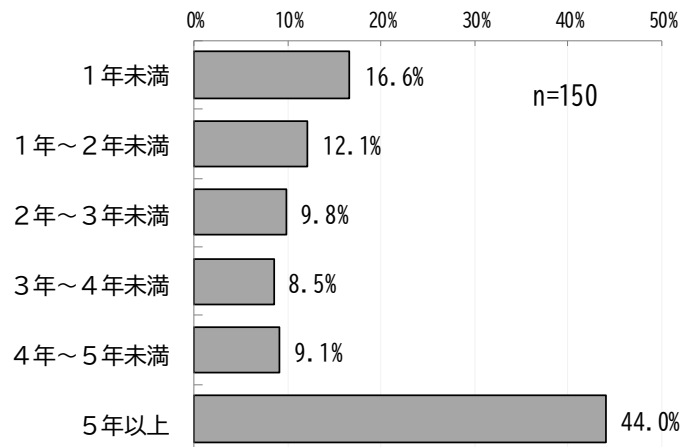
④ 非正規職員 兼務

非正規職員（兼務）の職員体制について、「10 人未満」が 10.7%と最も高くなっている。

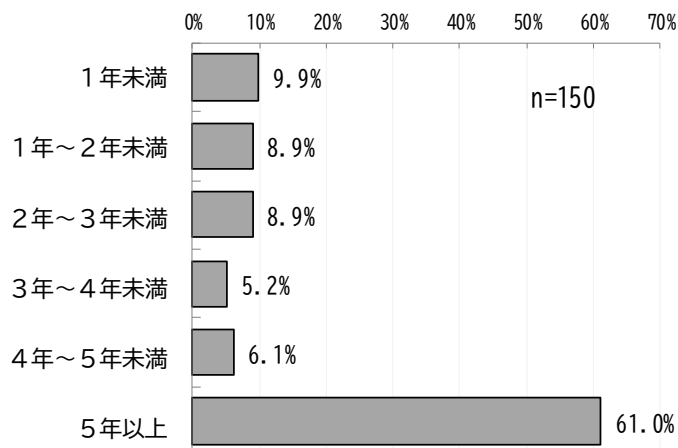


問1（5） 貴事業所の介護支援専門員の人数を、勤務年数別にお答えください。
また、主任介護支援専門員の人数をお答えください（数字を記入）。

回答のあった事業所の介護支援専門員の勤務年数について、「5年以上」が44.0%と最も高く、「1年未満」が16.6%、「1年～2年未満」が12.1%、「2年～3年未満」が9.8%、「4年～5年未満」が9.1%、「3年～4年未満」が8.5%となっている。



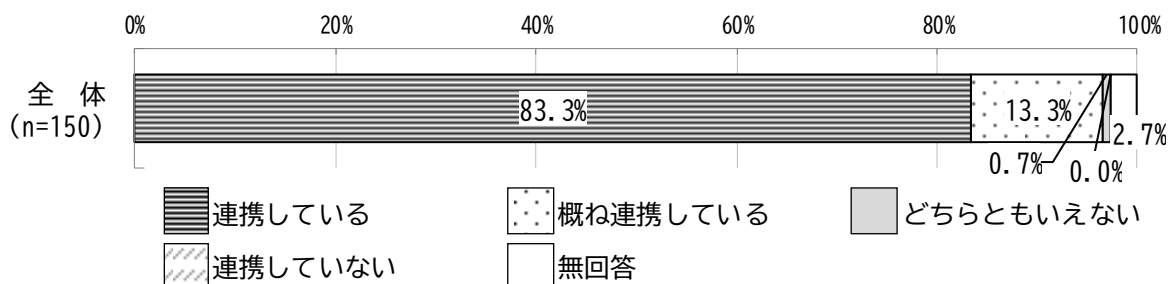
うち主任介護支援専門員の勤務年数について、「5年以上」が61.0%と最も高く、「1年未満」が9.9%、「1年～2年未満」「2年～3年未満」が8.9%、「4年～5年未満」が6.1%、「3年～4年未満」が5.2%となっている。



(2) 地域や他機関との連携について

問2(1) ケアプランを立てる際に、併設事業所以外の介護サービス提供事業者との連携を図られていますか(1つに○)。

ケアプランを立てる際の併設事業所以外の介護サービス提供事業者との連携状況について、「連携している」が83.3%と最も高く、「概ね連携している」が13.3%、「どちらともいえない」が0.7%、「連携していない」が0.0%となっている。

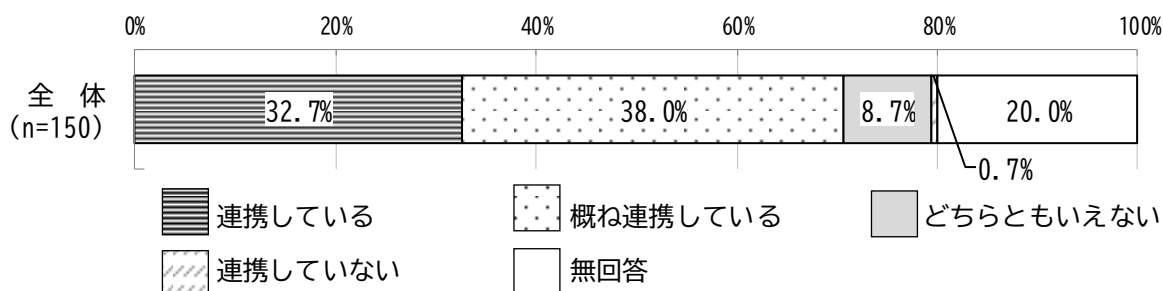


問2(1)① 併設事業所以外の介護サービス提供事業者と連携していない理由は何ですか(いくつでも○)。

ケアプランを立てる際の併設事業所以外の介護サービス提供事業者との連携状況で「連携していない」と回答した事業所がなかったため、グラフは掲載しない。

問2(2) ケアプランを立てる際に、主治医との連携を図られていますか(1つに○)。

ケアプランを立てる際の主治医との連携状況について、「概ね連携している」が38.0%と最も高く、「連携している」が32.7%、「どちらともいえない」が8.7%、「連携していない」が0.7%となっている。

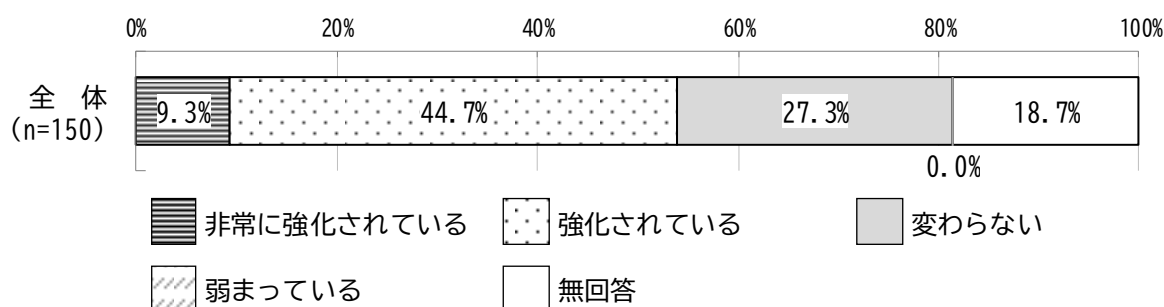


問2 (2) ① 主治医と連携していない理由は何ですか (いくつでも○)。

ケアプランを立てる際の主治医との連携状況と「連携していない」と回答した事業所の回答は無回答のみであったため、グラフは掲載しない。

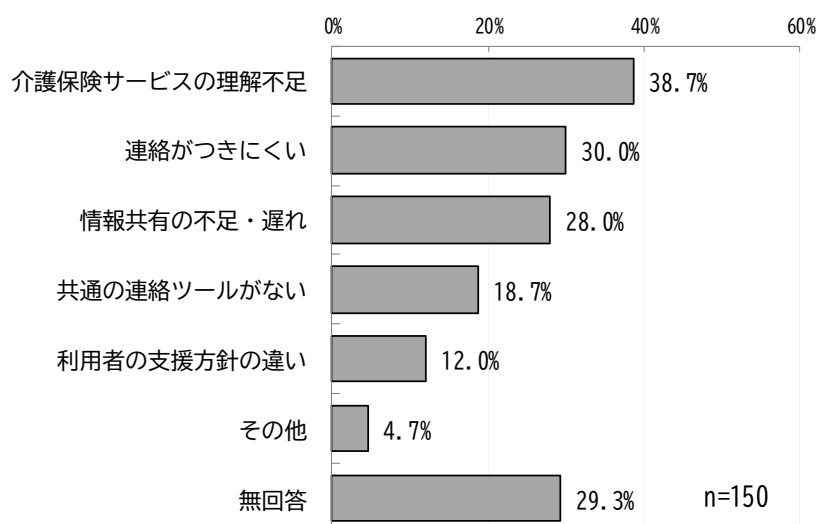
問2 (3) 医療機関との連携はこれまでよりも強化されていますか (1つに○)。

医療機関との連携について、これまでよりも「強化されている」が44.7%と最も高く、「変わらない」が27.3%、「非常に強化されている」が9.3%、「弱まっている」が0.0%となっている。



問2 (4) 医療機関との連携時に感じている課題を教えてください (いくつでも○)。

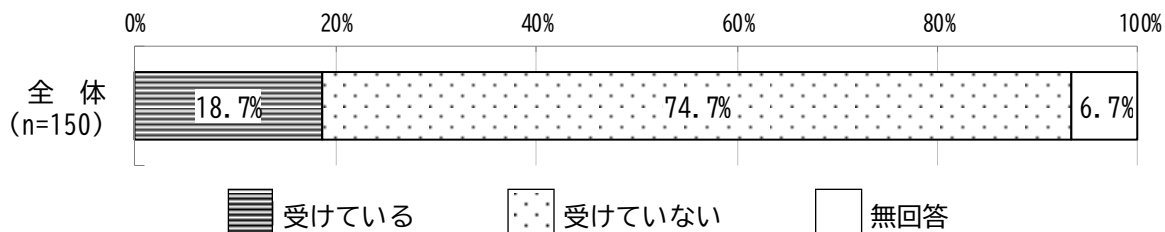
医療機関との連携時に感じている課題について、「介護保険サービスの理解不足」が38.7%で最も高く、「連絡がつきにくい」が30.0%、「情報共有の不足・遅れ」が28.0%、「共通の連絡ツールがない」が18.7%、「利用者の支援方針の違い」が12.0%となっている。



(3) サービスの質の向上について

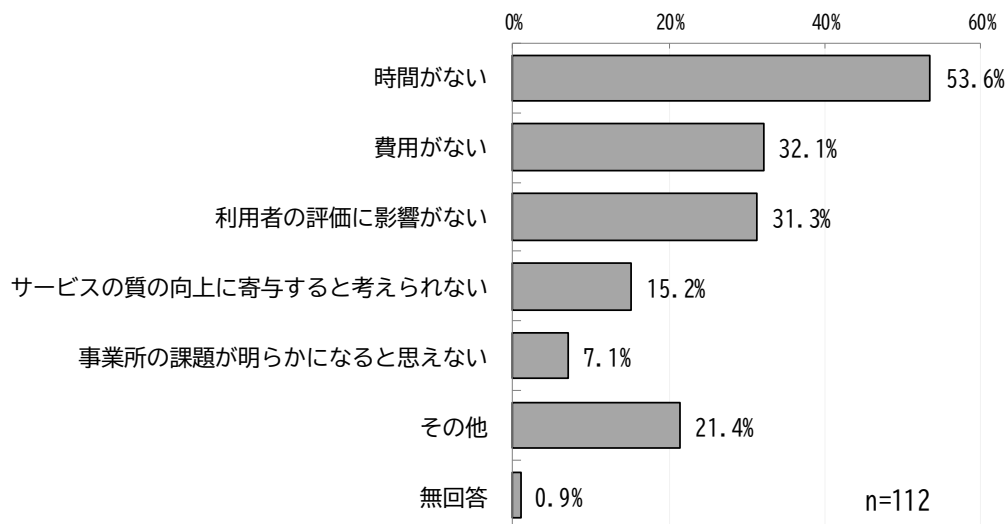
問3 (1) サービスの質の確保や向上に向けて、第三者評価を受けていますか
(1つに○)。

サービスの質の確保や向上に向けて、第三者評価を「受けている」が18.7%、「受けていない」が74.7%となっている。



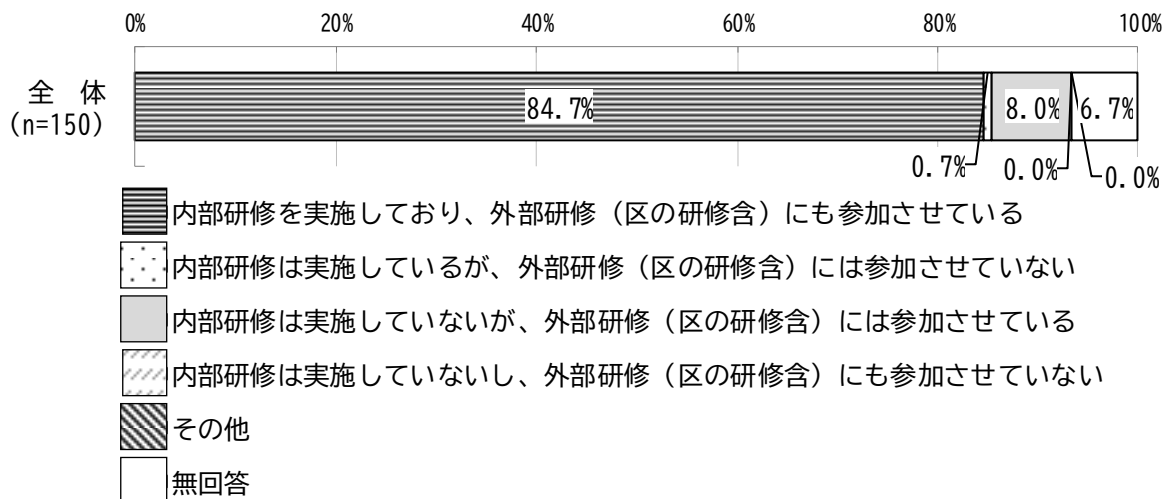
問3 (1) ① 第三者評価を受けていない理由は何ですか。(いくつでも○)。

第三者評価を受けていない理由は、「時間がない」が53.6%と最も高く、「費用がない」が32.1%、「利用者の評価に影響がない」が31.3%、「サービスの質の向上に寄与すると考えられない」が15.2%、「事業所の課題が明らかになると思えない」が7.1%となっている。



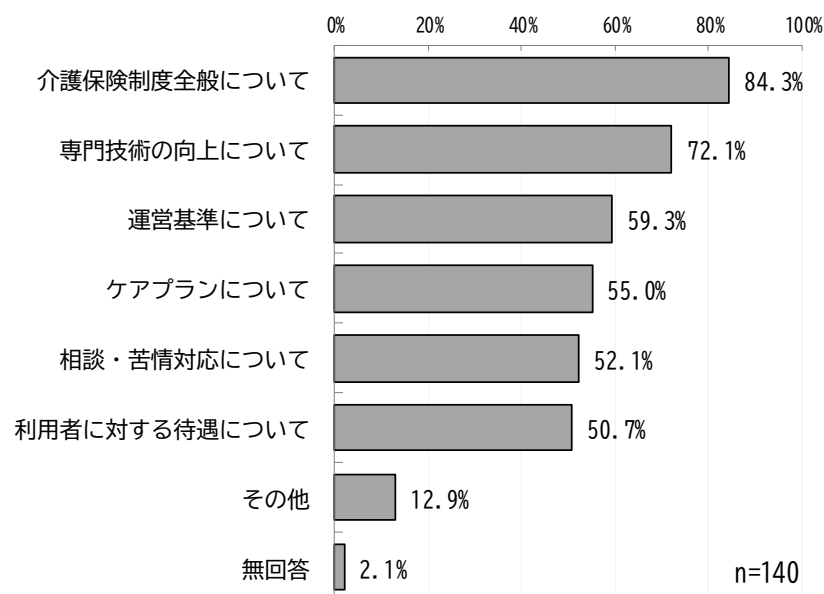
問3（2） 職員に対する社内・社外研修の実施状況をお答えください（1つに○）。

職員に対する社内・社外研修の実施状況について、「内部研修を実施しており、外部研修（区の研修含）にも参加させている」が84.7%と最も高く、「内部研修は実施していないが、外部研修（区の研修含）には参加させている」が8.0%、「内部研修は実施しているが、外部研修（区の研修含）には参加させていない」が0.7%、「内部研修は実施していないし、外部研修（区の研修含）にも参加させていない」が0.0%となっている。



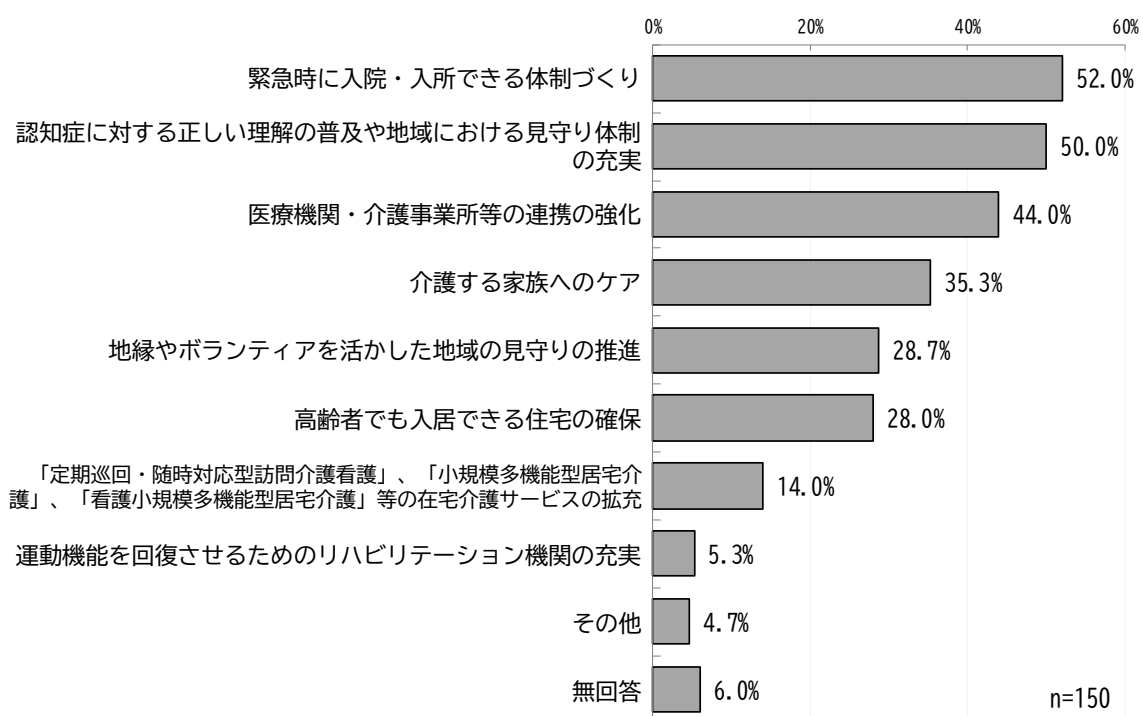
問3（2）① どのような内容の研修を実施されていますか。もしくはどのような研修に参加させていますか（いくつでも○）。

実施している、もしくは参加させている研修の内容について、「介護保険制度全般について」が84.3%と最も高く、「専門技術の向上について」が72.1%、「運営基準について」が59.3%、「ケアプランについて」が55.0%、「相談・苦情対応について」が52.1%、「利用者に対する待遇について」が50.7%となっている。



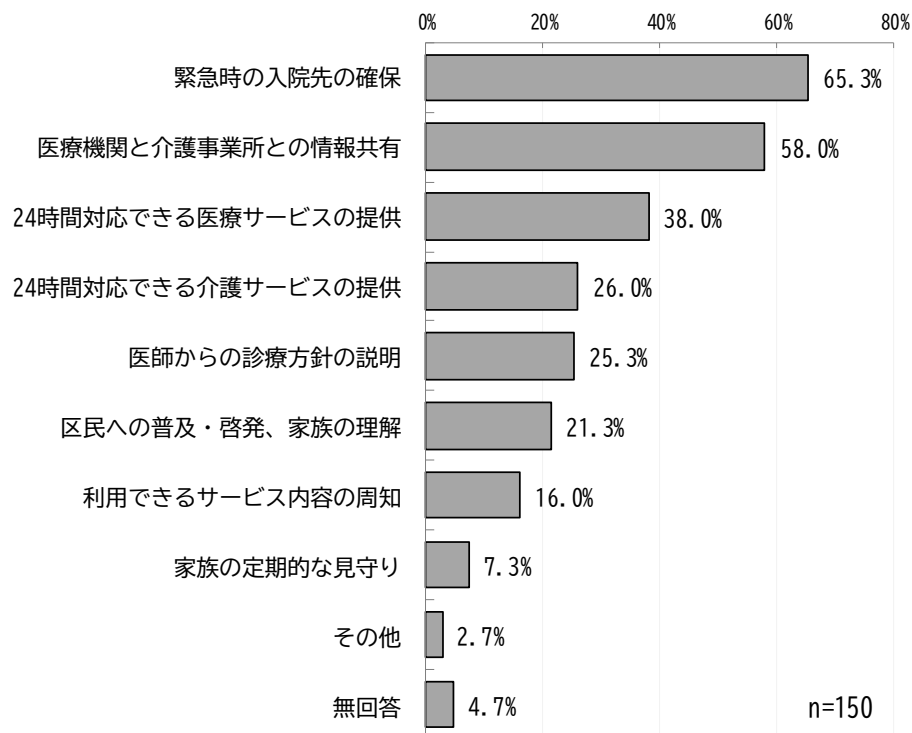
問3（3） 地域包括ケアシステムの推進に向けて、高齢者が自宅や地域で暮らし続けるために、今後さらに強化が必要な取り組みは何ですか（3つまで○）。

地域包括ケアシステムの推進に向けて、「緊急時に入院・入所できる体制づくり」が52.0%と最も高く、「認知症に対する正しい理解の普及や地域における見守り体制の充実」が50.0%、「医療機関・介護事業所等の連携の強化」が44.0%、「介護する家族へのケア」が35.3%、「地縁やボランティアを活かした地域の見守りの推進」が28.7%、「高齢者でも入居できる住宅の確保」が28.0%、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」、「小規模多機能型居宅介護」、「看護小規模多機能型居宅介護」等の在宅介護サービスの拡充」が14.0%、「運動機能を回復させるためのリハビリテーション機関の充実」が5.3%となっている。



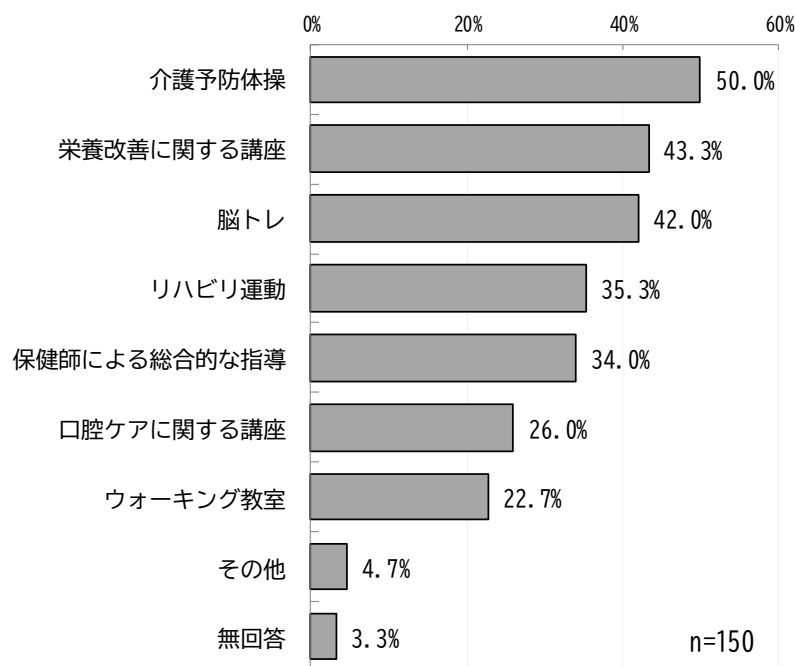
問3（4） 利用者が安心して在宅医療を受けるために、今後さらに強化が必要な取り組みは何ですか（3つまで○）。

利用者が安心して在宅医療を受けるために、今後さらに強化が必要な取り組みは、「緊急時の入院先の確保」が65.3%と最も高く、「医療機関と介護事業所との情報共有」が58.0%、「24時間対応できる医療サービスの提供」が38.0%、「24時間対応できる介護サービスの提供」が26.0%、「医師からの診療方針の説明」が25.3%、「区民への普及・啓発、家族の理解」が21.3%、「利用できるサービス内容の周知」が16.0%、「家族の定期的な見守り」が7.3%となっている。



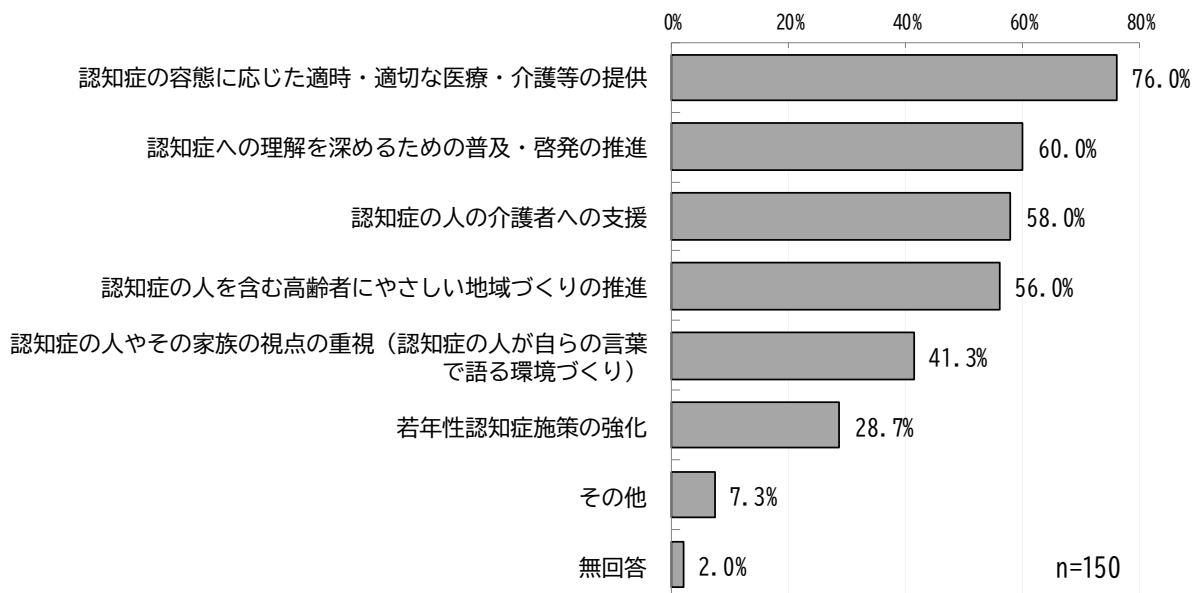
問3（5） 高齢者の健康を維持・向上させていくため、介護予防事業として今後さらに強化が必要な取り組みは何ですか（3つまで○）。

高齢者の健康を維持・向上させていくため、介護予防事業として今後さらに強化が必要な取り組みは、「介護予防体操」が50.0%と最も高く、「栄養改善に関する講座」が43.3%、「脳トレ」が42.0%、「リハビリ運動」が35.3%、「保健師による総合的な指導」が34.0%、「口腔ケアに関する講座」が26.0%、「ウォーキング教室」が22.7%となっている。



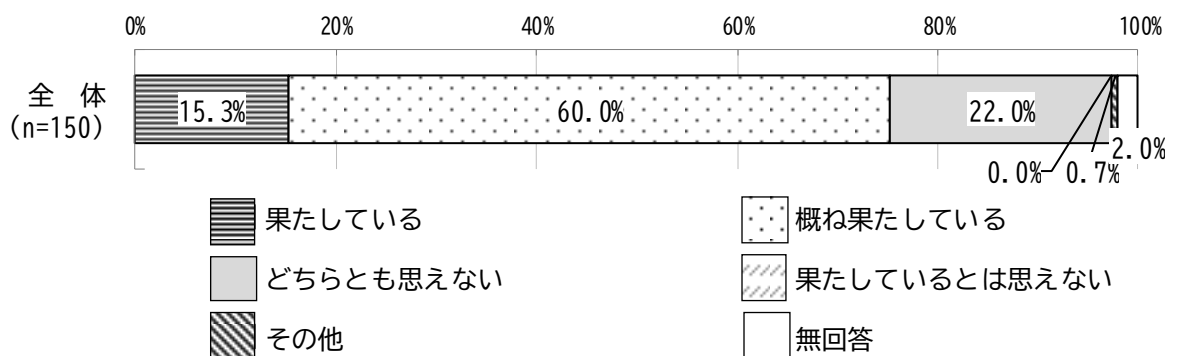
問3（6） 認知症高齢者に関して今後さらに強化が必要な取り組みは何ですか（いくつでも○）。

認知症高齢者に関して、今後さらに強化が必要な取り組みは、「認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供」が76.0%と最も高く、「認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進」が60.0%、「認知症の人の介護者への支援」が58.0%、「認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進」が56.0%、「認知症の人やその家族の視点の重視（認知症の人が自らの言葉で語る環境づくり）」が41.3%、「若年性認知症施策の強化」が28.7%となっている。



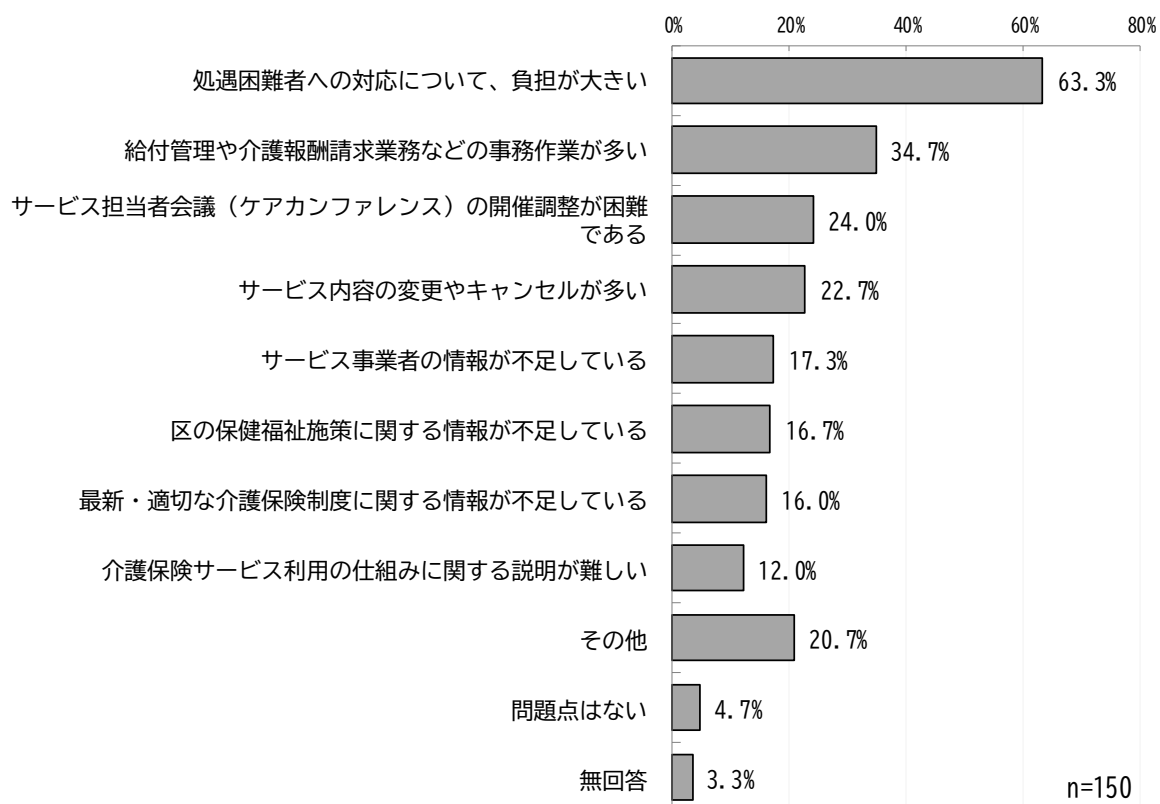
問3（7） 貴事業所は、現在の介護保険サービスは高齢者の自立支援を促進する役割を果たしていると思いますか（1つに○）。

現在の介護保険サービスは高齢者の自立支援を促進する役割を果たしているか、という問いに対して、「概ね果たしている」が60.0%と最も高く、「どちらとも思えない」が22.0%、「果たしているとは思えない」が0.0%となっている。



問3（8） 貴事業所において、足立区で居宅介護支援事業を行う上での問題点がありますか（いくつでも○）。

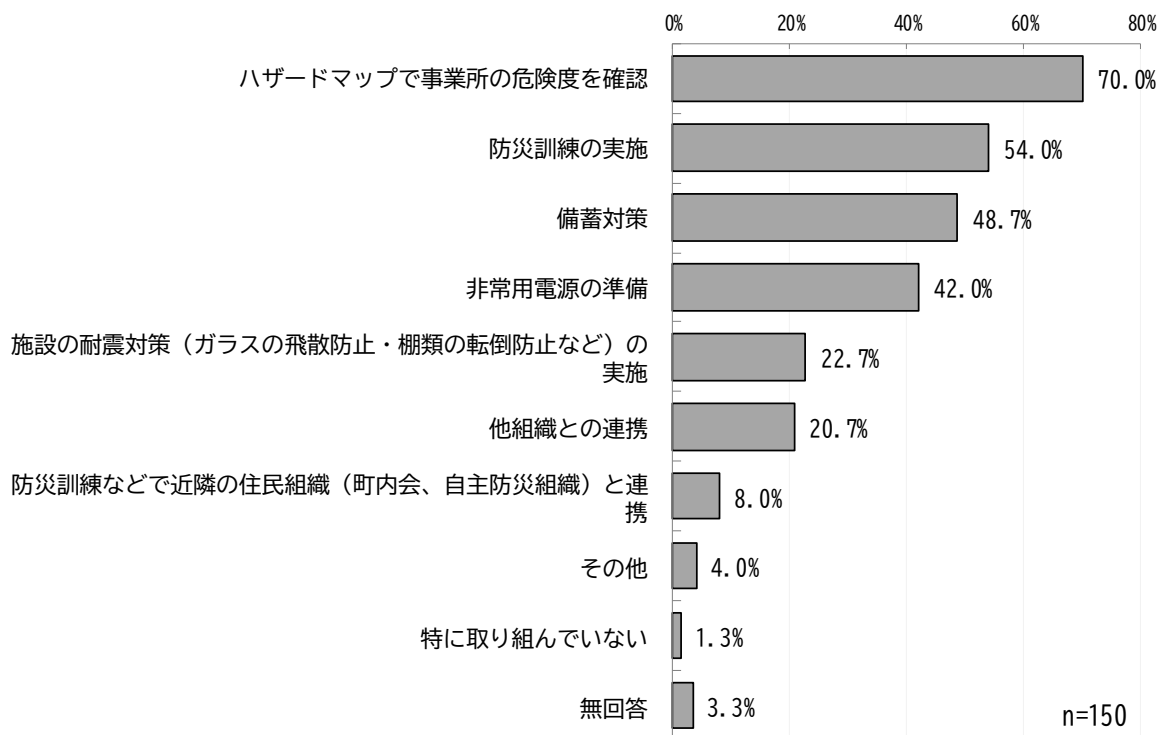
事業所において、足立区で居宅介護支援事業を行う上での問題点として、「処遇困難者への対応について、負担が大きい」が63.3%と最も高く、「給付管理や介護報酬請求業務などの事務作業が多い」が34.7%、「サービス担当者会議（ケアカンファレンス）の開催調整が困難である」が24.0%、「サービス内容の変更やキャンセルが多い」が22.7%、「サービス事業者の情報が不足している」が17.3%、「区の保健福祉施策に関する情報が不足している」が16.7%、「最新・適切な介護保険制度に関する情報が不足している」が16.0%、「介護保険サービス利用の仕組みに関する説明が難しい」が12.0%となっている。また「問題点はない」が4.7%となっている。



(4) リスク管理について

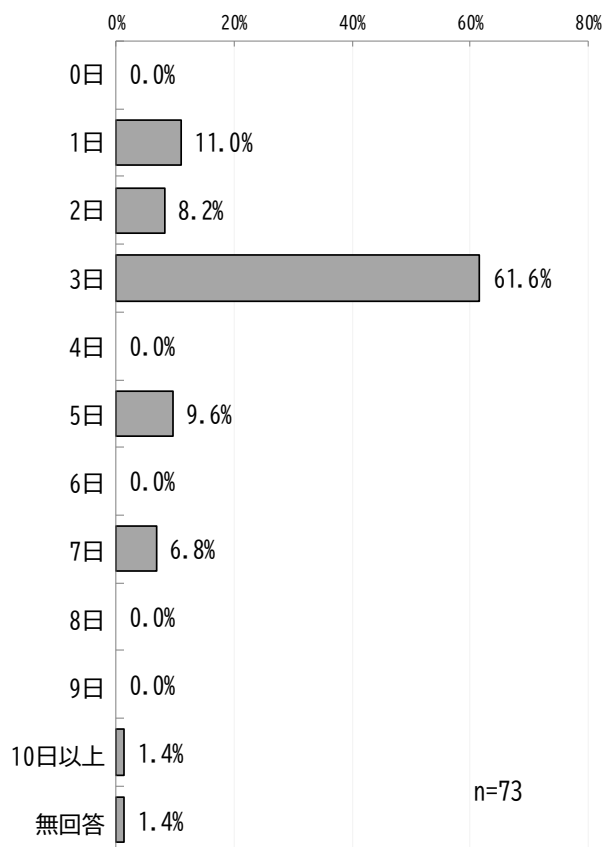
問4 (1) 貴事業所が行っている有事（感染症や自然災害）を想定した平時の備えについて、お答えください（いくつでも○）。

事業所における有事（感染症や自然災害）を想定した平時の備えについて、「ハザードマップで事業所の危険度を確認」が70.0%と最も高く、「防災訓練の実施」が54.0%、「備蓄対策」が48.7%、「非常用電源の準備」が42.0%、「施設の耐震対策（ガラスの飛散防止・棚類の転倒防止など）の実施」が22.7%、「他組織との連携」が20.7%、「防災訓練などで近隣の住民組織（町内会、自主防災組織）と連携」が8.0%となっている。また「特に取り組んでいない」が1.3%となっている。



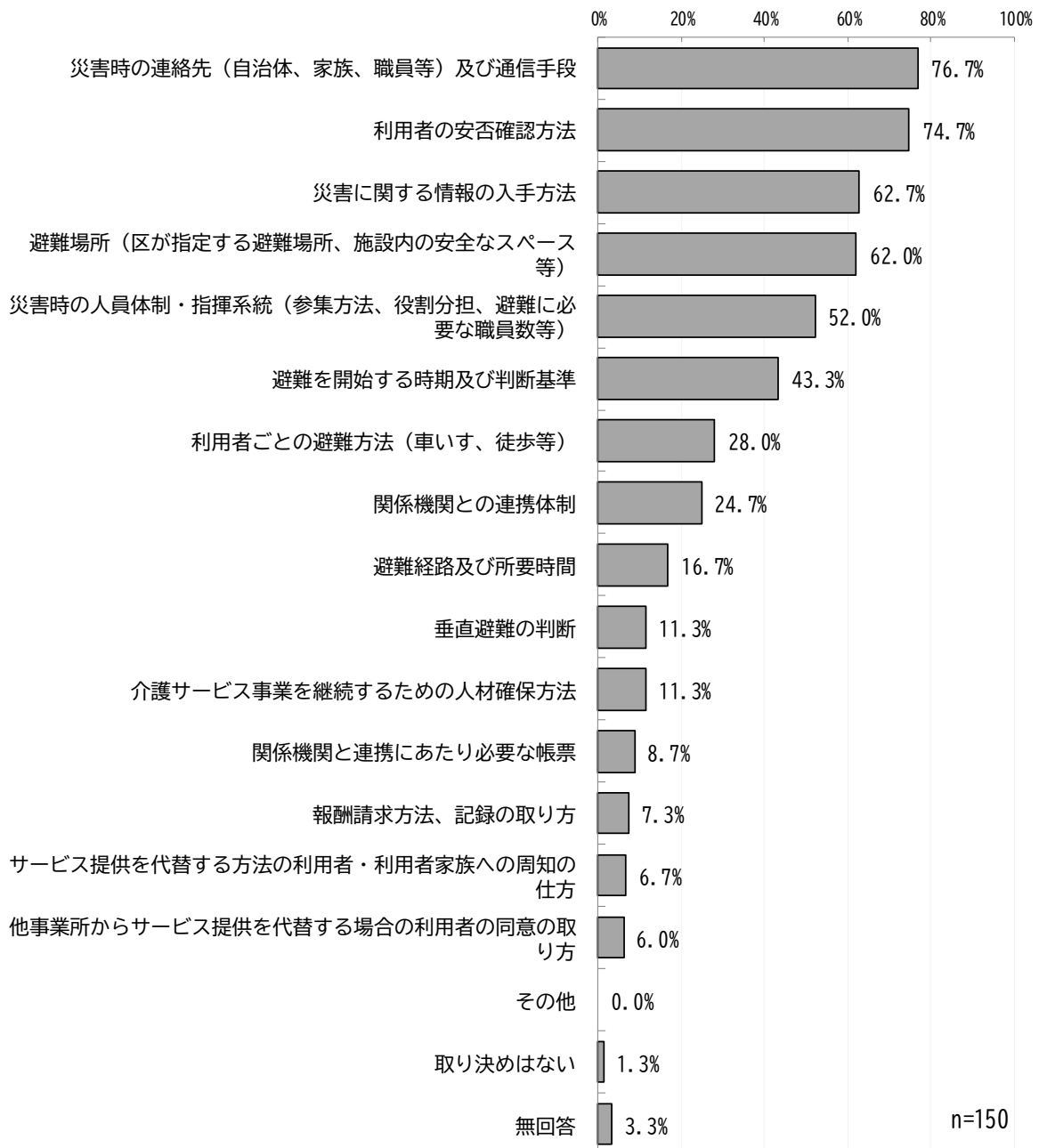
問4（1）① 備蓄は定員および職員あわせて何日分準備していますか（数字を記入）。

「備蓄対策」と回答した事業所の、事業所における災害時の備蓄を定員および職員をあわせて準備している日数は、「3日」が61.6%と最も高く、「1日」が11.0%、「5日」が9.6%、「2日」が8.2%、「7日」が6.8%、「10日以上」が1.4%、「0日」「4日」「6日」「8日」「9日」が0.0%となっている。



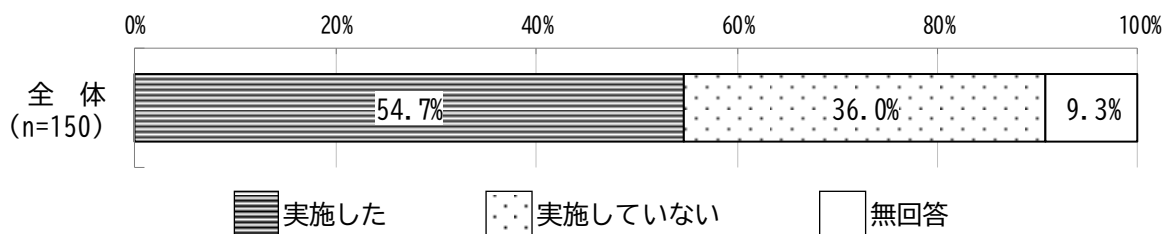
問4（2） 有事（感染症や自然災害）が発生した際に貴事業所で行き決められている内容について、お答えください（いくつでも○）。

有事（感染症や自然災害）が発生した際に事業所で行き決められている内容について、「災害時の連絡先（自治体、家族、職員等）及び通信手段」が76.7%と最も高く、「利用者の安否確認方法」が74.7%、「災害に関する情報の入手方法」が62.7%、「避難場所（区が指定する避難場所、施設内の安全なスペース等）」が62.0%、「災害時の人員体制・指揮系統（参集方法、役割分担、避難に必要な職員数等）」が52.0%と続いている。また「行き決めはない」が1.3%となっている。



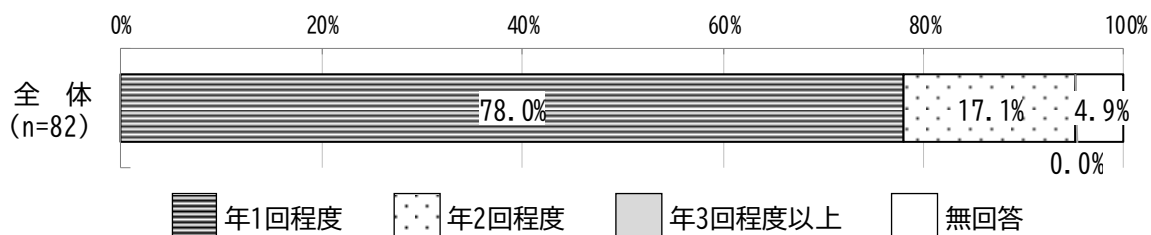
問4（3） 貴事業所は令和6・7年に水害を含む避難訓練を実施しましたか。
（1つに○・数字で記載）。

令和6年・7年における水害を含む避難訓練について、「実施した」が54.7%、「実施していない」が36.0%となっている。



① 水害を含む避難訓練を実施した事業所の年間実施回数（数字で記入）

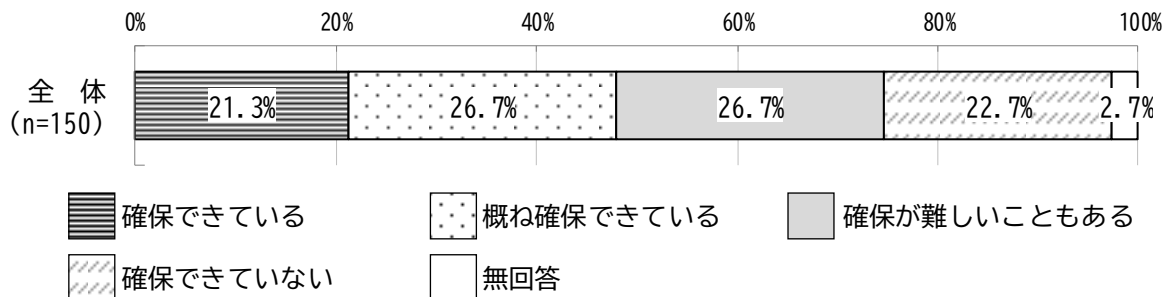
水害を含む避難訓練について、実施した事業所の実施回数は、「年1回程度」が78.0%と最も高く、「年2回程度」が17.1%、「年3回程度以上」が0.0%となっている。



(5) 人材確保について

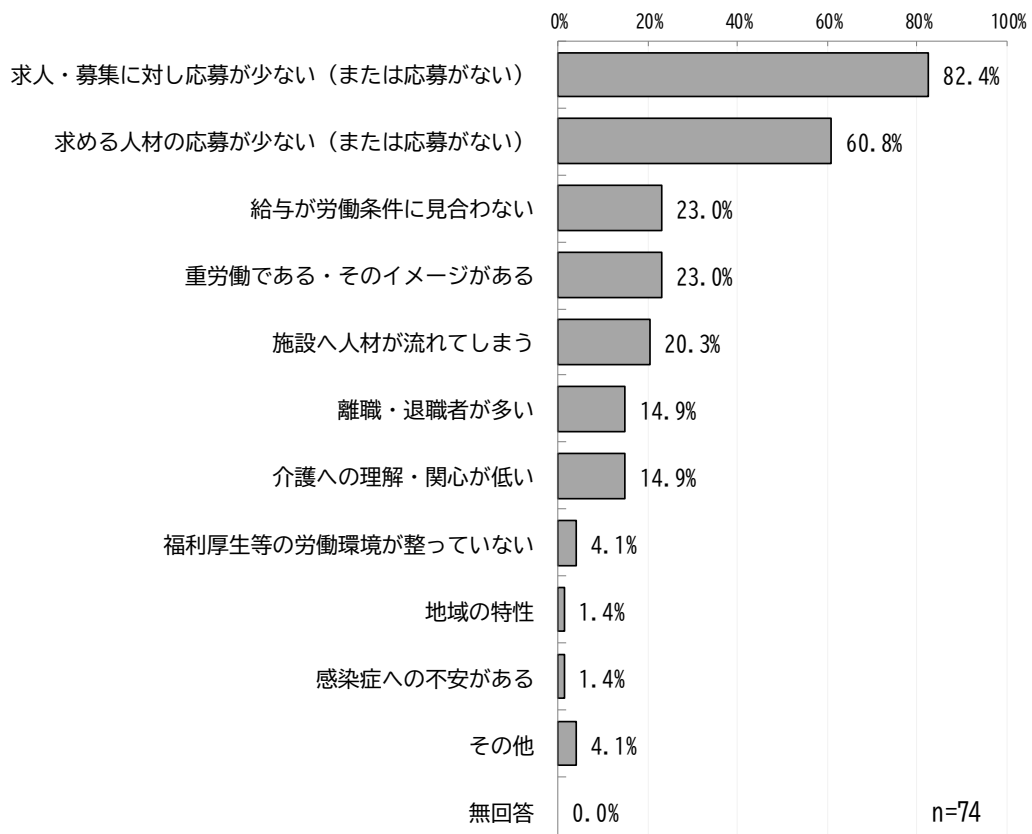
問5 (1) 貴事業所では、介護職員等の人材は確保できていますか (1つに○)。

事業所の介護職員等の人材について、「概ね確保できている」「確保が難しいこともある」が26.7%と最も高く、「確保できていない」が22.7%、「確保できている」が21.3%となっている。



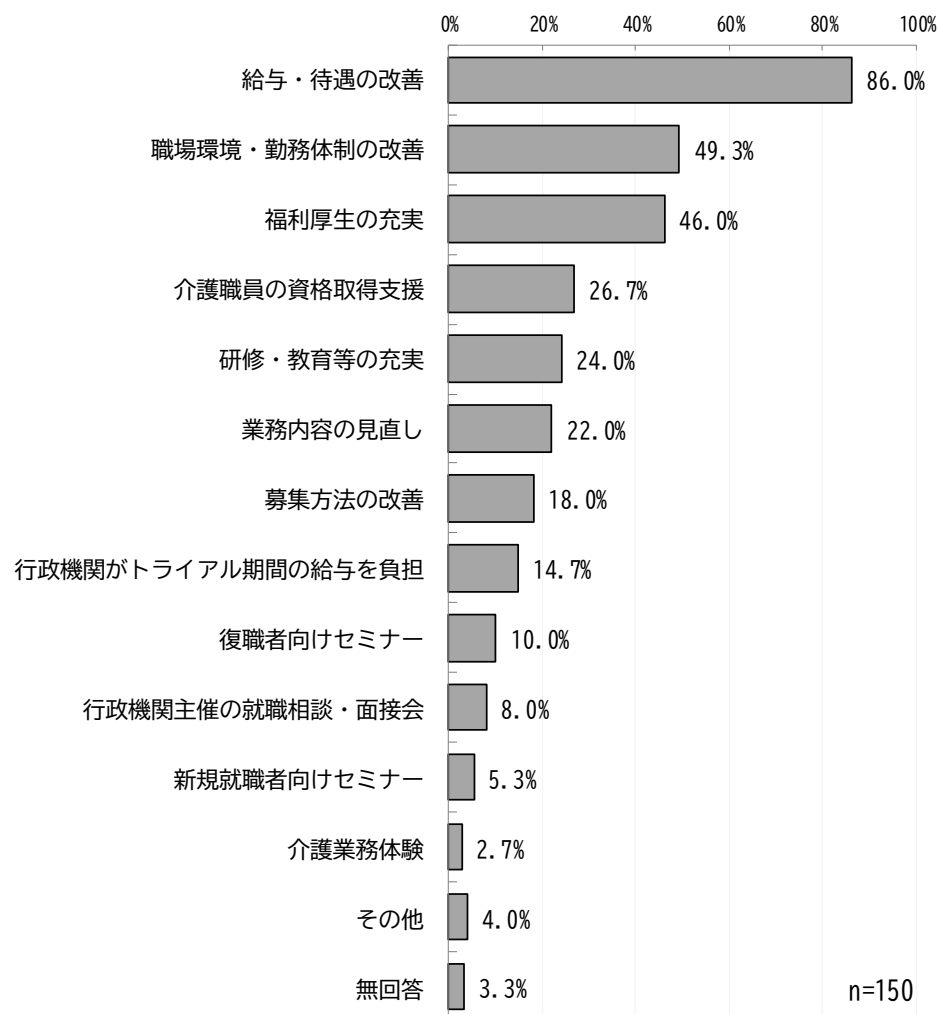
問5 (1) ① その理由は何ですか (いくつでも○)。

介護職員等の人材について、「確保が難しいこともある」または「確保できていない」と回答した事業所の、人材確保が難しい理由として、「求人・募集に対し応募が少ない (または応募がない)」が82.4%と最も高く、「求める人材の応募が少ない (または応募がない)」が60.8%、「給与が労働条件に見合わない」「重労働である・そのイメージがある」が23.0%、「施設へ人材が流れてしまう」が20.3%、「離職・退職者が多い」「介護への理解・関心が低い」が14.9%、「福利厚生等の労働環境が整っていない」が4.1%、「地域の特性」「感染症への不安がある」が1.4%となっている。



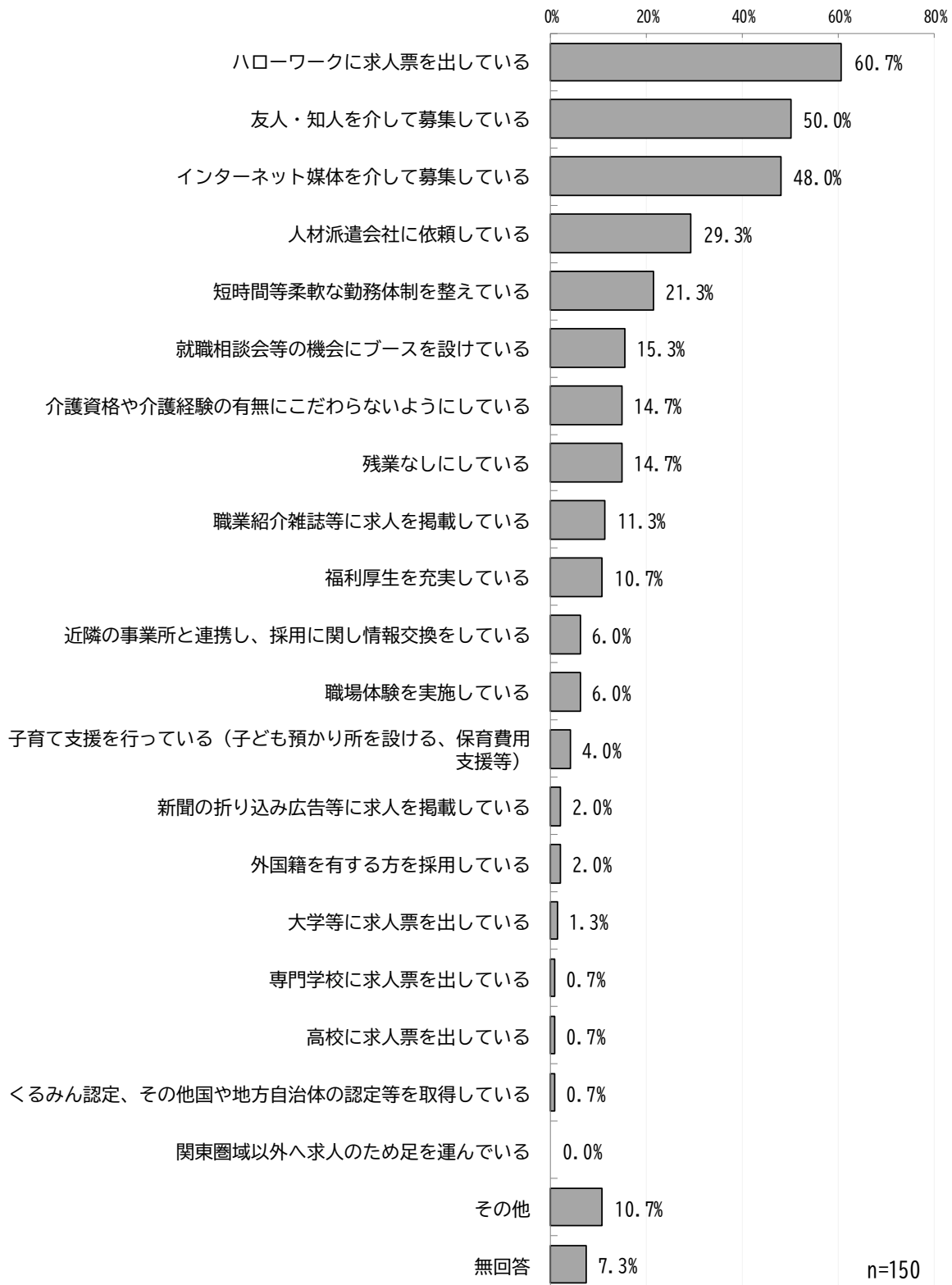
問5（2） 人材確保支援策として有効だと思うものは何ですか（いくつでも○）。

人材確保支援策として有効だと思うものについて、「給与・待遇の改善」が86.0%と最も高く、「職場環境・勤務体制の改善」が49.3%、「福利厚生の充実」が46.0%、「介護職員の資格取得支援」が26.7%、「研修・教育等の充実」が24.0%、「業務内容の見直し」が22.0%、「募集方法の改善」が18.0%、「行政機関がトライアル期間の給与を負担」が14.7%、「復職者向けセミナー」が10.0%、「行政機関主催の就職相談・面接会」が8.0%、「新規就職者向けセミナー」が5.3%、「介護業務体験」が2.7%となっている。



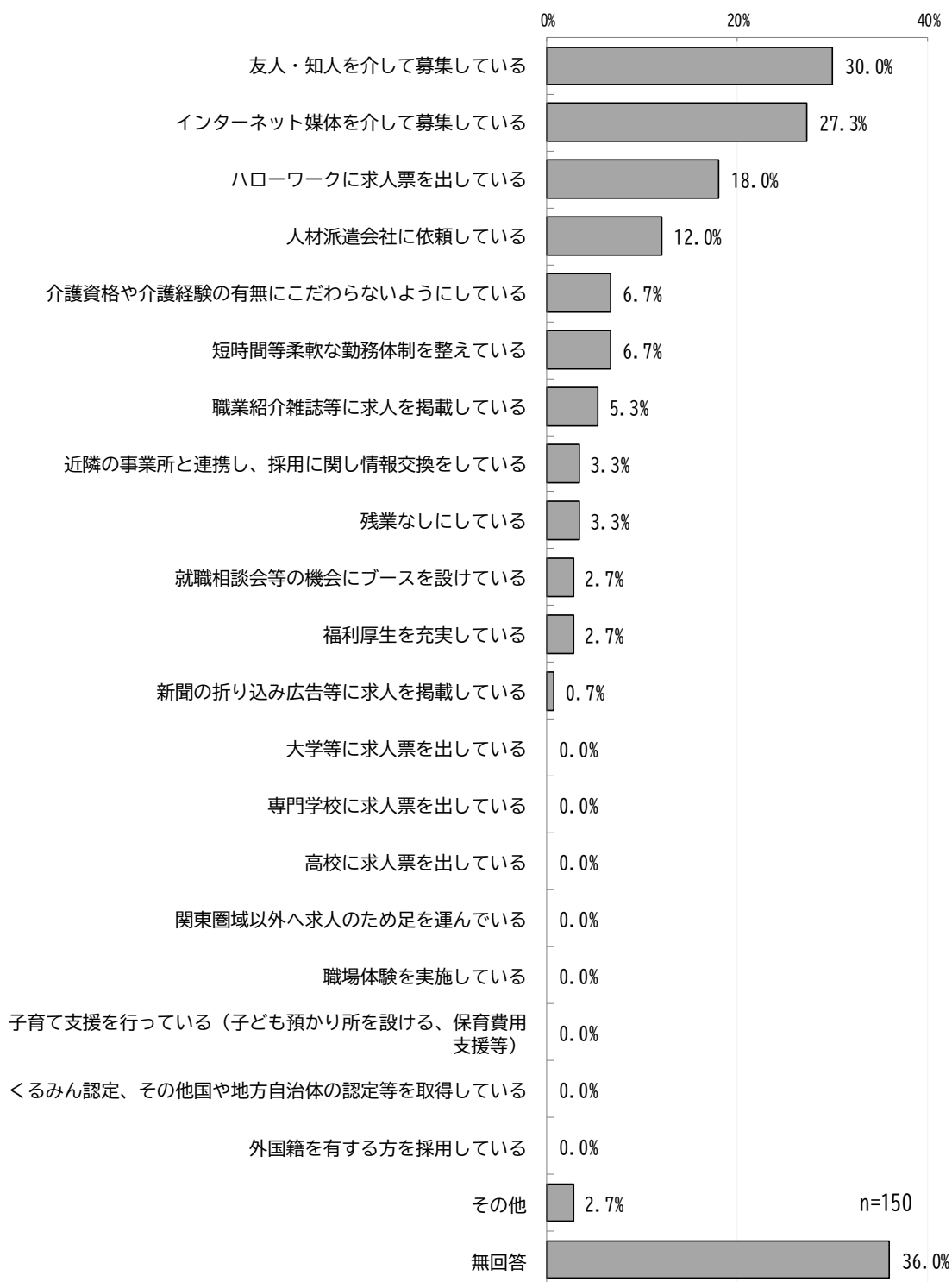
問5（3） 貴事業所では、職員の募集（採用）にあたりどのような工夫を行っていますか（いくつでも○）。

事業所の職員募集の方法について、「ハローワークに求人票を出している」が60.7%と最も高く、「友人・知人を介して募集している」が50.0%、「インターネット媒体を介して募集している」が48.0%、「人材派遣会社に依頼している」が29.3%、「短時間等柔軟な勤務体制を整えている」が21.3%、「就職相談会等の機会にブースを設けている」が15.3%と続いている。



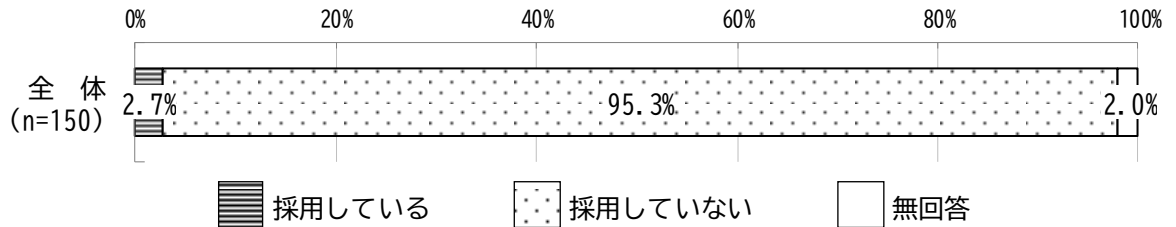
問5（4） 職員の募集（採用）で効果のあったものは何ですか（3つまで数字を記入）。

職員募集で効果のあったものとして、無回答を除くと、「友人・知人を介して募集している」が30.0%と最も高く、「インターネット媒体を介して募集している」が27.3%、「ハローワークに求人票を出している」が18.0%、「人材派遣会社に依頼している」が12.0%、「介護資格や介護経験の有無にこだわらないようにしている」「短時間等柔軟な勤務体制を整えている」が6.7%と続いている。



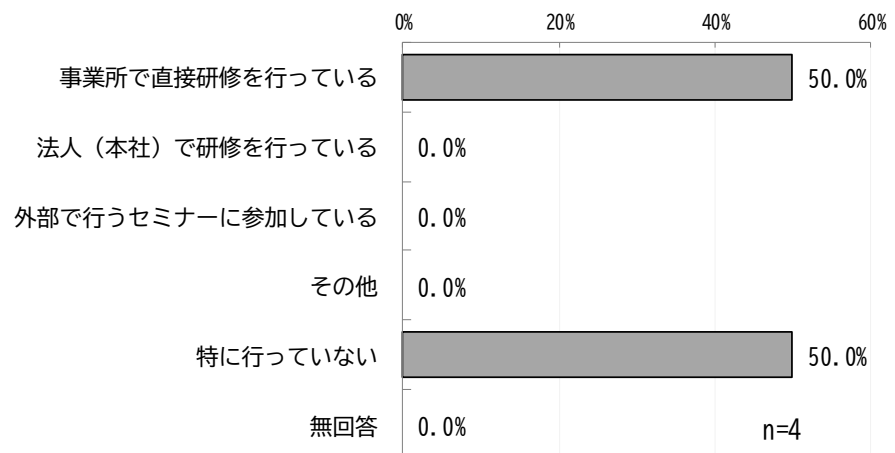
問5（5） 貴事業所では、外国籍を有する方を採用していますか（1つに○）。

外国籍を有する方の採用について、「採用している」が2.7%、「採用していない」が95.3%となっている。



問5（5）① 外国籍を有する方への教育はどのようにしていますか（いくつでも○）。

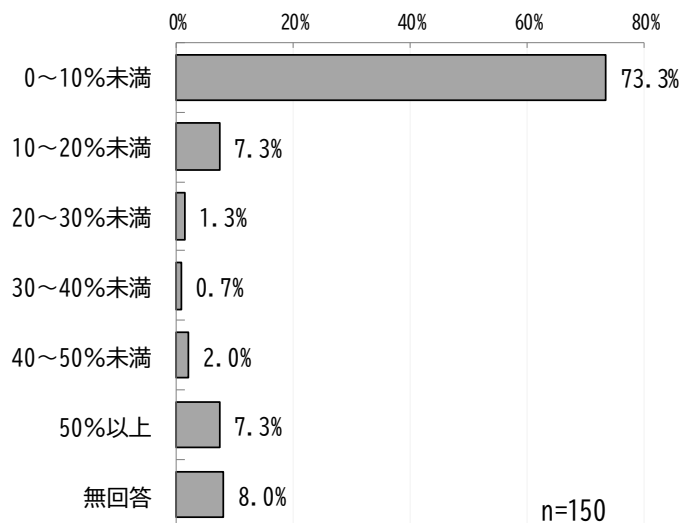
外国籍を有する方を「採用している」と回答した事業所の、必要な教育の実施状況について、「事業所で直接研修を行っている」が50.0%と最も高く、「法人（本社）で研修を行っている」「外部で行うセミナーに参加している」が0.0%、「特に行っていない」が50.0%となっている。



問5（6） 令和6年（1月から12月）の入職率と離職率についてお答えください
（それぞれ1つに○）。

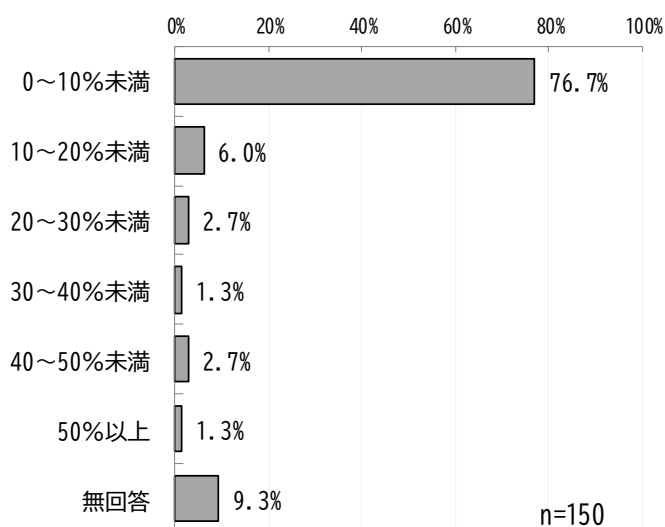
① 正規職員 入職率

正規職員の入職率について、「0～10%未満」が73.3%と最も高く、「10～20%未満」「50%以上」が7.3%、「40～50%未満」が2.0%、「20～30%未満」が1.3%、「30～40%未満」が0.7%となっている。



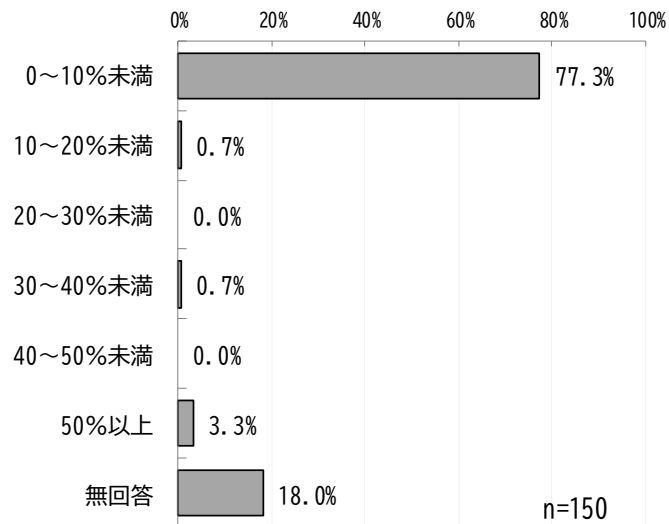
② 正規職員 離職率

正規職員の離職率について、「0～10%未満」が76.7%と最も高く、「10～20%未満」が6.0%、「20～30%未満」「40～50%未満」が2.7%、「30～40%未満」「50%以上」が1.3%となっている。



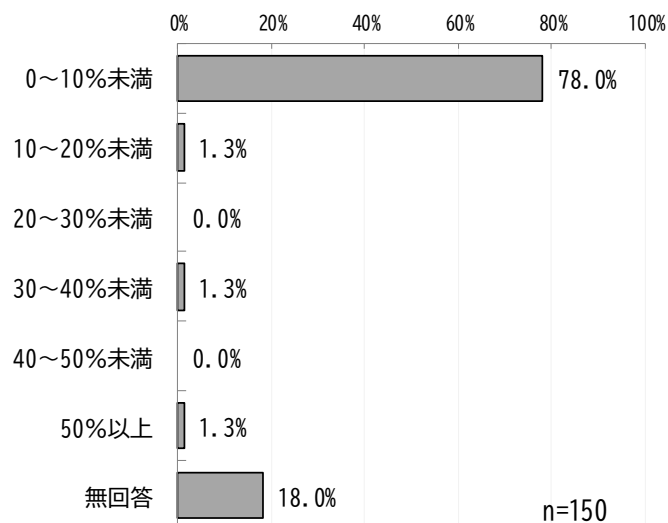
③ 非正規職員 入職率

非正規職員の入職率について、「0～10%未満」が77.3%と最も高く、「50%以上」が3.3%、「10～20%未満」「30～40%未満」が0.7%、「20～30%未満」「40～50%未満」が0.0%となっている。



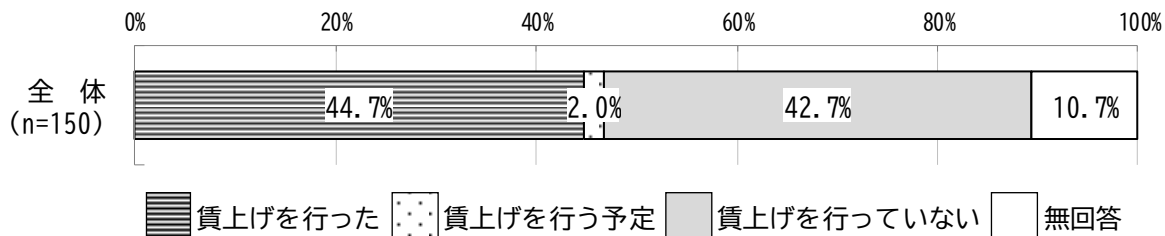
④ 非正規職員 離職率

非正規職員の離職率について、「0～10%未満」が78.0%と最も高く、「10～20%未満」「30～40%未満」「50%以上」が1.3%、「20～30%未満」「40～50%未満」が0.0%となっている。



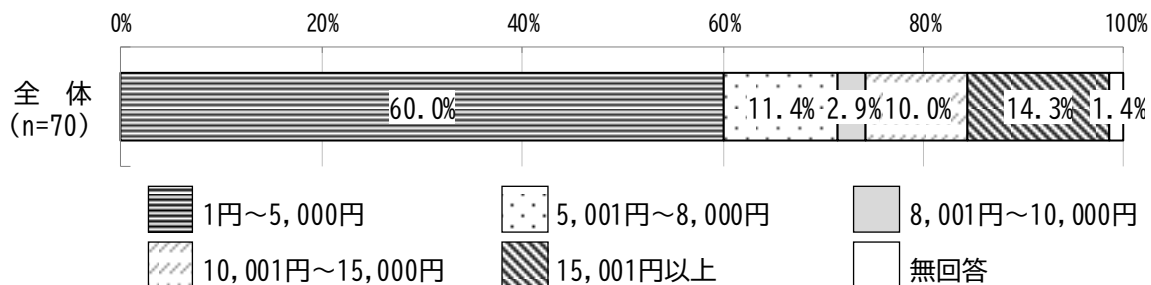
問5（7） 貴事業所は今年度に賃上げを行いましたか（1つに○）。

今年度（令和7年度）の賃上げについて、「賃上げを行った」が44.7%と最も高く、「賃上げを行っていない」が42.7%、「賃上げを行う予定」が2.0%となっている。



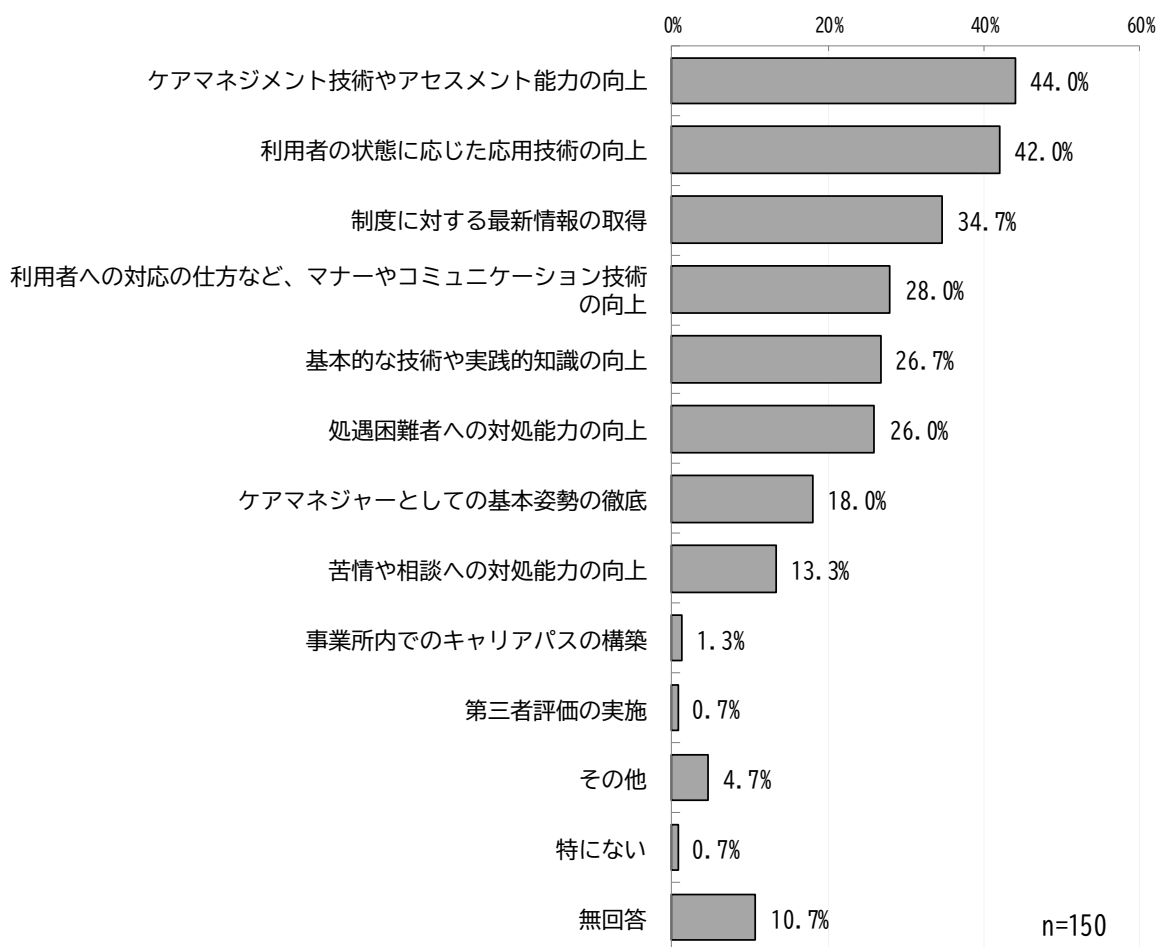
問5（7）① 職員1人あたりの賃上げ平均額は月額（換算）でいくらですか（1つに○）。

「賃上げを行った」または「賃上げを行う予定」と回答した事業所の、職員1人あたりの賃上げ平均額について、「1円～5,000円」が60.0%と最も高く、「15,001円以上」が14.3%、「5,001円～8,000円」が11.4%、「10,001円～15,000円」が10.0%、「8,001円～10,000円」が2.9%となっている。



問5（8） 貴事業所では、ケアマネジャーの質の確保・向上を図るために、今後どのような視点を重視した取り組みが必要だと思いますか（3つまで○）。

居宅介護支援事業所が行うケアマネジャーの質の確保・向上のために重視する取り組みとして、「ケアマネジメント技術やアセスメント能力の向上」が44.0%と最も高く、「利用者の状態に応じた応用技術の向上」が42.0%、「制度に対する最新情報の取得」が34.7%、「利用者への対応の仕方など、マナーやコミュニケーション技術の向上」が28.0%、「基本的な技術や実践的知識の向上」が26.7%、「処遇困難者への対処能力の向上」が26.0%、「ケアマネジャーとしての基本姿勢の徹底」が18.0%、「苦情や相談への対処能力の向上」が13.3%、「事業所内でのキャリアパスの構築」が1.3%、「第三者評価の実施」が0.7%となっている。また「特にない」が0.7%となっている。

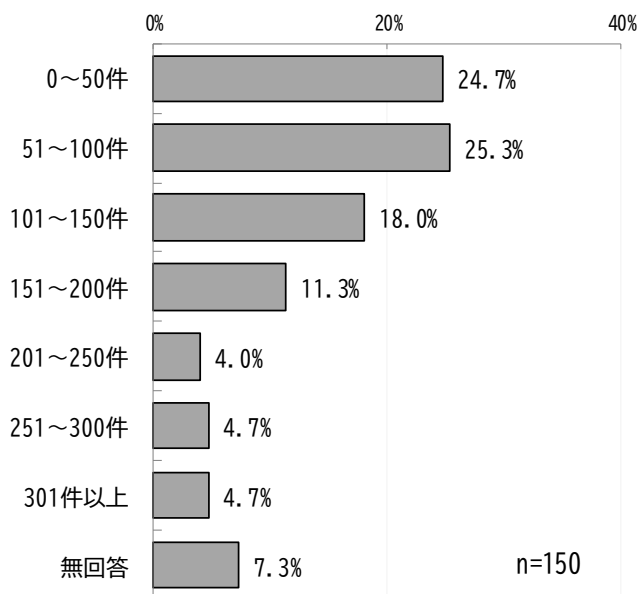


(6) ケアマネジメントについて

問6(1) 貴事業所は10月の1か月間で何名の方のケアプランを作成していますか。
令和6年10月分と令和7年10月分についてお答えください(数字を記入)。

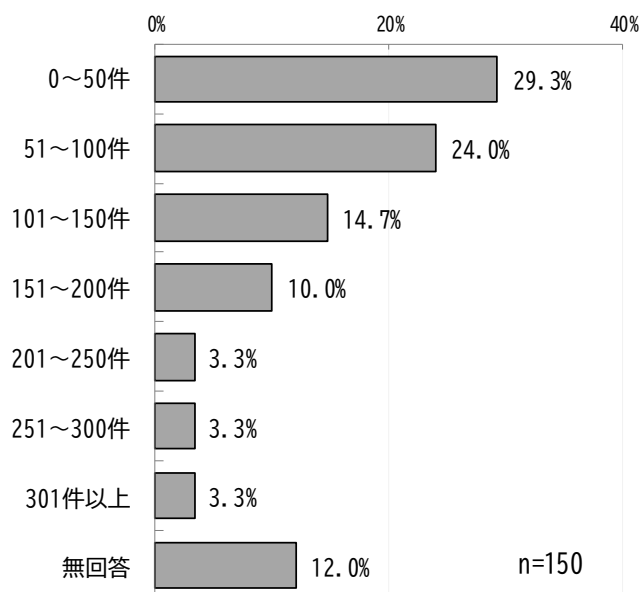
● 令和6年10月分のケアプラン作成件数

令和6年10月分のケアプラン作成件数について、「51～100件」が25.3%と最も高く、「0～50件」が24.7%、「101～150件」が18.0%、「151～200件」が11.3%、「251～300件」「301件以上」が4.7%、「201～250件」が4.0%となっている。



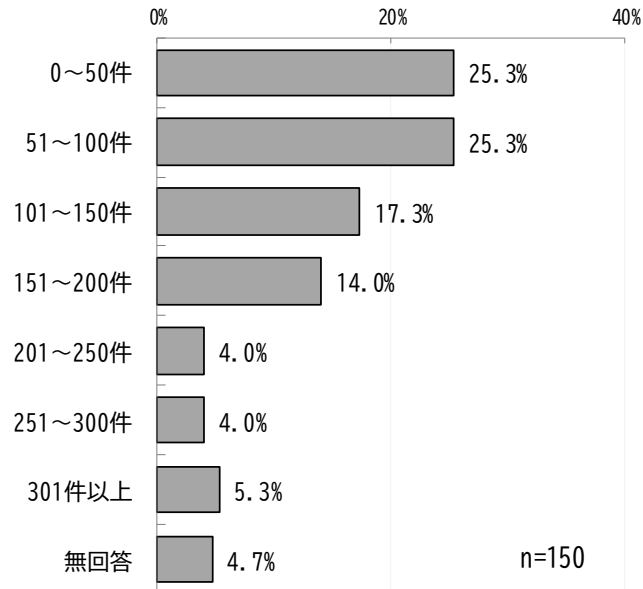
● 令和6年10月分のケアプラン作成件数のうち、足立区の利用者へのケアプラン作成件数

令和6年10月分のケアプラン作成件数のうち、足立区の利用者件数について、「0～50件」が29.3%と最も高く、「51～100件」が24.0%、「101～150件」が14.7%、「151～200件」が10.0%、「201～250件」「251～300件」「301件以上」が3.3%となっている。



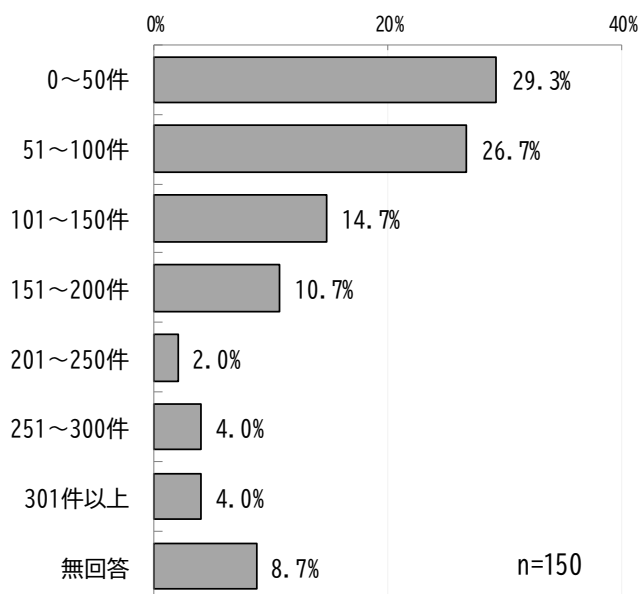
● 令和7年10月分のケアプラン作成件数

令和7年10月分のケアプラン作成件数について、「0～50件」「51～100件」が25.3%と最も高く、「101～150件」が17.3%、「151～200件」が14.0%、「301件以上」が5.3%、「201～250件」「251～300件」が4.0%となっている。



● 令和7年10月分のケアプラン作成件数のうち、足立区の利用者へのケアプラン作成件数

令和7年10月分のケアプラン作成件数のうち、足立区の利用者件数について、「0～50件」が29.3%と最も高く、「51～100件」が26.7%、「101～150件」が14.7%、「151～200件」が10.7%、「251～300件」「301件以上」が4.0%、「201～250件」が2.0%となっている。



問6（2） 令和7年10月分のケアプラン作成件数について、要支援・要介護度別の件数をお答えください（委託を含む）（数字を記入）。

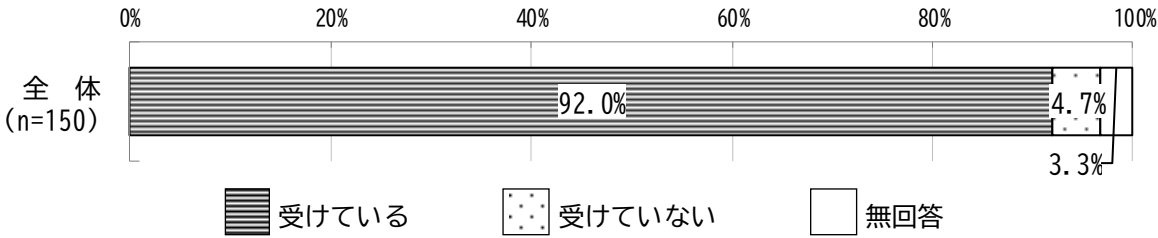
令和7年10月の要支援・要介護度別のケアプラン作成件数について、
要介護5では、「10件未満」が66.7%、要介護4では、「10件未満」が48.7%、要介護3では、「10～19件」が32.7%、要介護2では、「20～29件」が17.3%、要介護1では、「10件未満」が25.3%、要支援2では、「10件未満」が33.3%、要支援1では、「10件未満」が54.0%と最も高くなっている。

(%)

	調査数	10件未満	10件～19件	20件～29件	30件～39件	40件～49件	50件～59件	60件～69件	70件～79件	80件～89件	90件～99件	100件以上	無回答
要支援1	150	54.0	26.0	8.7	1.3	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.3
要支援2	150	33.3	27.3	17.3	6.7	2.7	1.3	1.3	0.0	0.7	0.0	0.0	9.3
要介護1	150	25.3	23.3	22.7	10.7	6.7	2.0	1.3	0.0	1.3	0.0	0.0	6.7
要介護2	150	16.0	14.7	17.3	12.7	10.0	8.0	4.0	3.3	1.3	2.7	3.3	6.7
要介護3	150	27.3	32.7	11.3	10.0	4.7	2.7	2.7	0.7	0.0	0.0	0.7	7.3
要介護4	150	48.7	22.0	15.3	3.3	1.3	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	8.0
要介護5	150	66.7	17.3	4.7	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	10.0

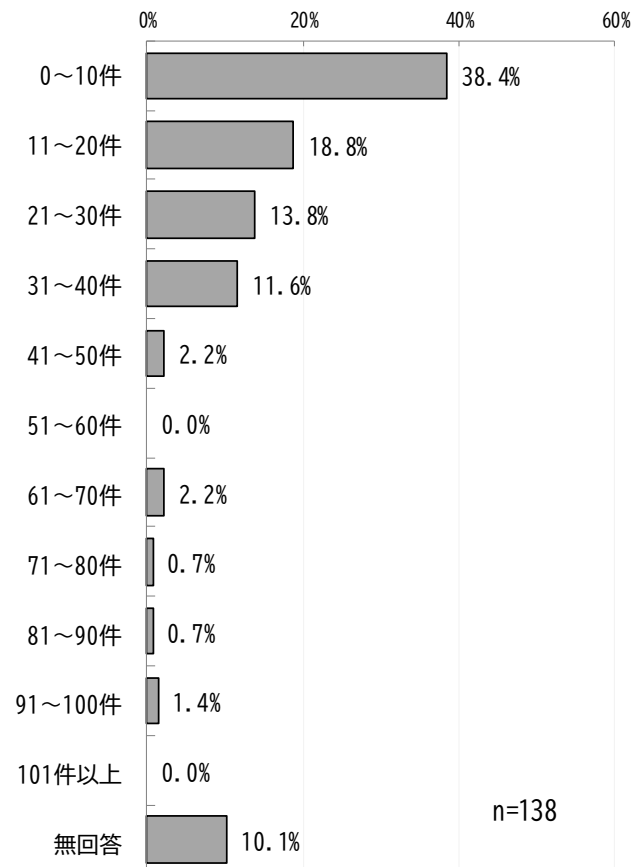
問6（3） 貴事業所は介護予防プランの委託を受けていますか（1つに○）。

事業所が介護予防プランの委託を「受けている」が92.0%、「受けていない」が4.7%となっている。



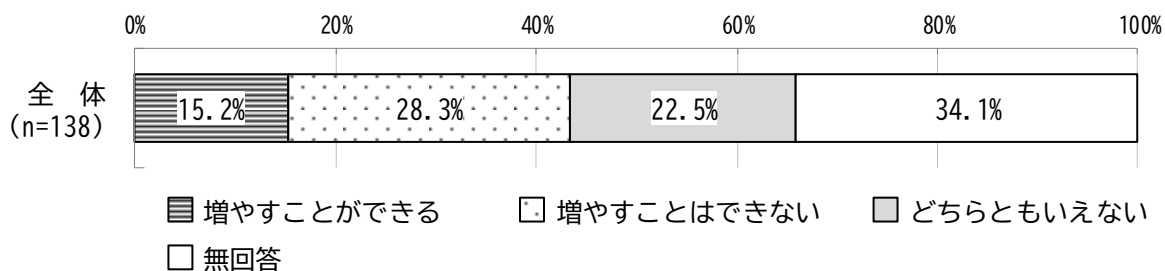
問6（3）① 令和7年10月の1か月間で何件の介護予防プランの委託を受けていますか。

令和7年10月の1か月間に委託を受けた介護予防プランの件数について、「0～10件」が38.4%と最も高く、「11～20件」が18.8%、「21～30件」が13.8%、「31～40件」が11.6%、「41～50件」「61～70件」が2.2%、「91～100件」が1.4%、「71～80件」「81～90件」が0.7%、「51～60件」「101件以上」が0.0%となっている。



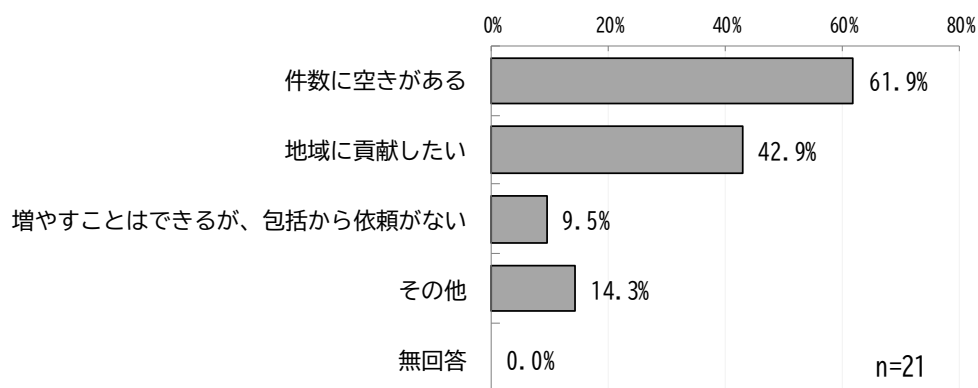
問6（3）② 介護予防プランの作成件数を増やすことはできますか（1つに○）。また、その理由は何ですか（いくつでも○）。

介護予防プランの作成件数について、「増やすことはできない」が28.3%と最も高く、「どちらともいえない」が22.5%、「増やすことができる」が15.2%となっている。



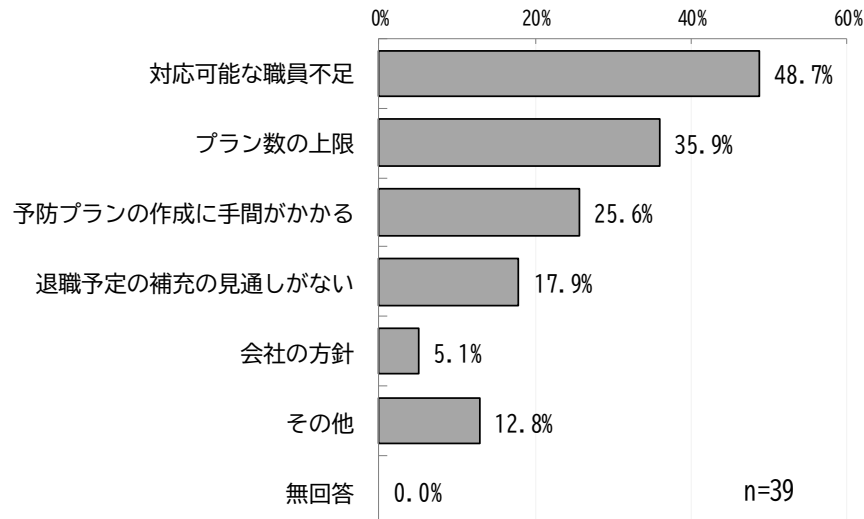
問6（3）②-1 「増やすことができる」理由

介護予防プランの作成件数を「増やすことができる」理由として、「件数に空きがある」が61.9%と最も高く、「地域に貢献したい」が42.9%、「増やすことはできるが、包括から依頼がない」が9.5%となっている。



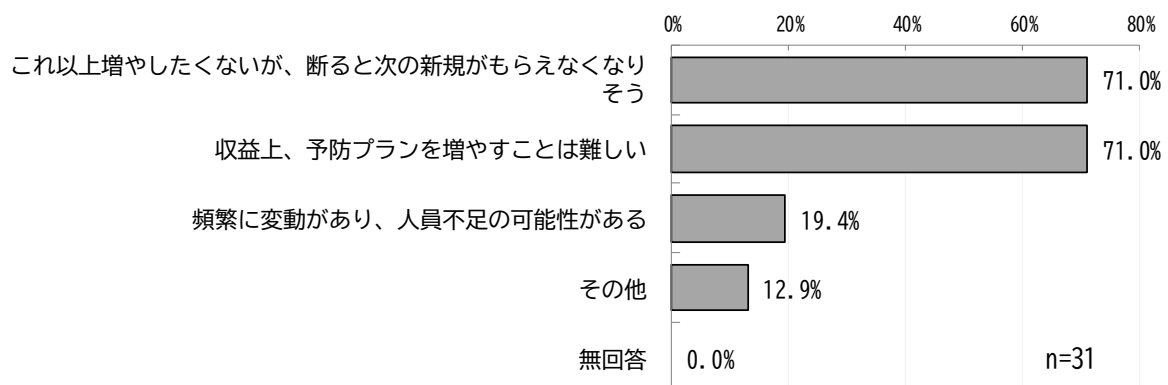
問6 (3) ②-2 「増やすことはできない」理由

介護予防プランの作成件数を「増やすことはできない」理由として、「対応可能な職員不足」が48.7%と最も高く、「プラン数の上限」が35.9%、「予防プランの作成に手間がかかる」が25.6%、「退職予定の補充の見通しがない」が17.9%、「会社の方針」が5.1%となっている。



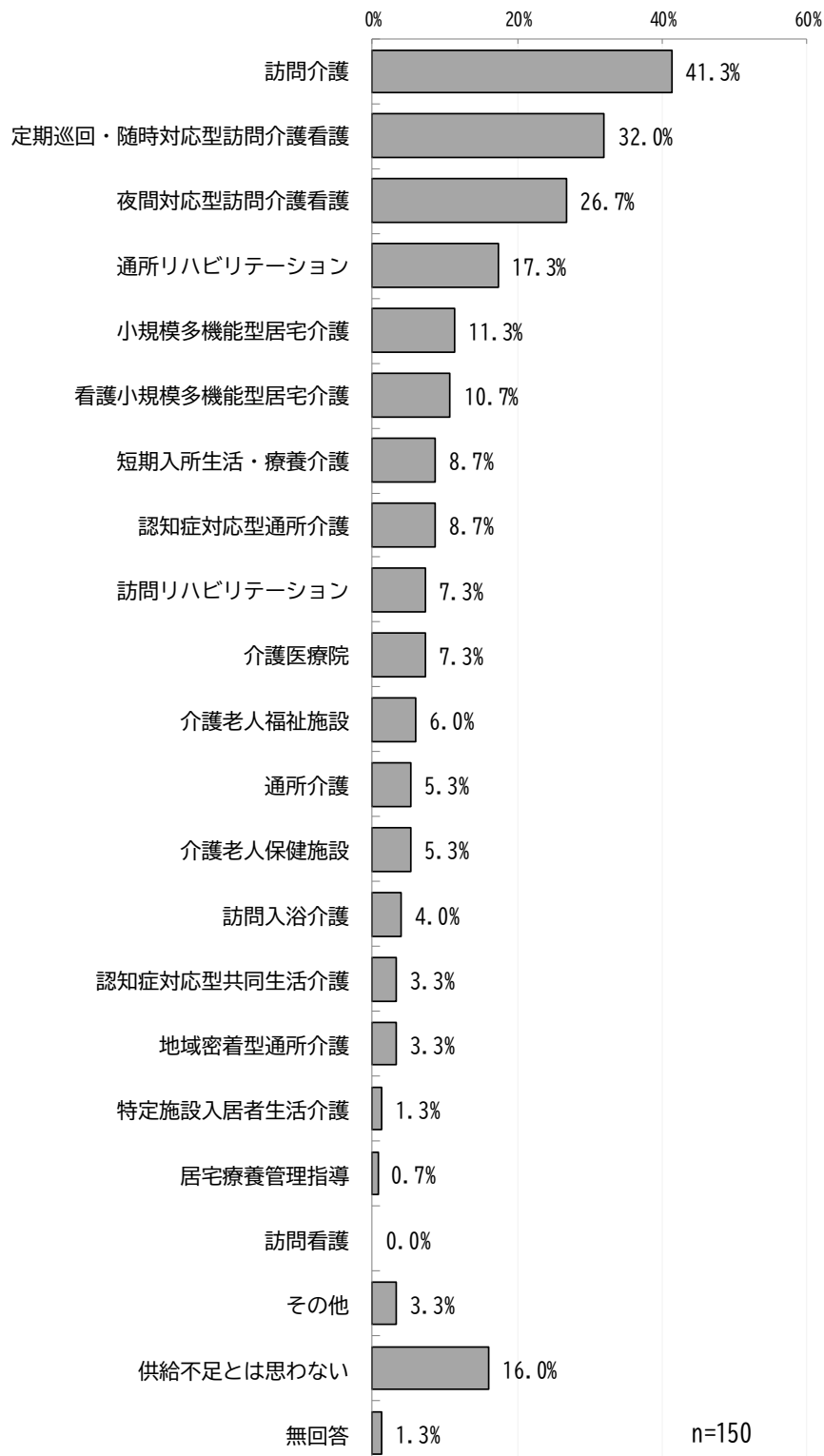
問6 (3) ②-3 「どちらともいえない」理由

介護予防プランの作成件数を増やすことについて「どちらともいえない」理由として、「これ以上増やしたくないが、断ると次の新規がもらえなくなりそう」「収益上、予防プランを増やすことは難しい」が71.0%と最も高く、「頻繁に変動があり、人員不足の可能性はある」が19.4%となっている。



問6（4） ケアプランを立てる際に、区内でサービスの供給量が不足している介護サービスはありますか（いくつでも○）。

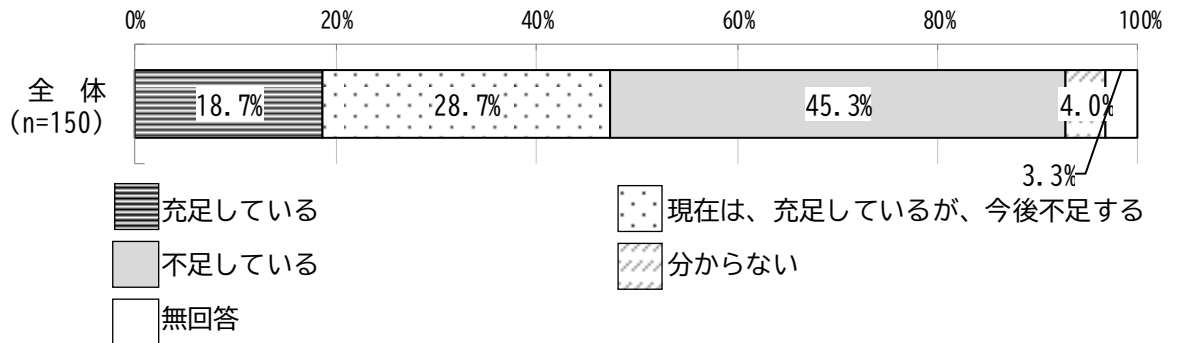
ケアプランを立てる際に、区内でサービスの供給量が不足している介護サービスとして、「訪問介護」が41.3%と最も高く、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が32.0%、「夜間対応型訪問介護看護」が26.7%、「通所リハビリテーション」が17.3%、「小規模多機能型居宅介護」が11.3%、「看護小規模多機能型居宅介護」が10.7%と続いている。また「供給不足とは思わない」が16.0%となっている。



問6 (5) 介護予防プランを策定する際に、区内で総合事業のサービスの供給量は不足していますか（それぞれに1つ〇）。

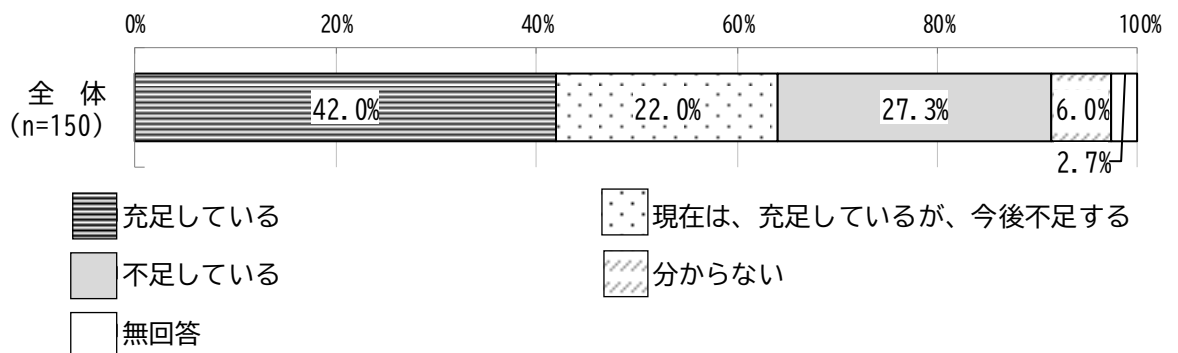
① 訪問サービス

介護予防プランを策定する際の区内の総合事業のサービス（訪問サービス）の供給量について、「不足している」が45.3%と最も高く、「現在は、充足しているが、今後不足する」が28.7%、「充足している」が18.7%、「分からない」が4.0%となっている。



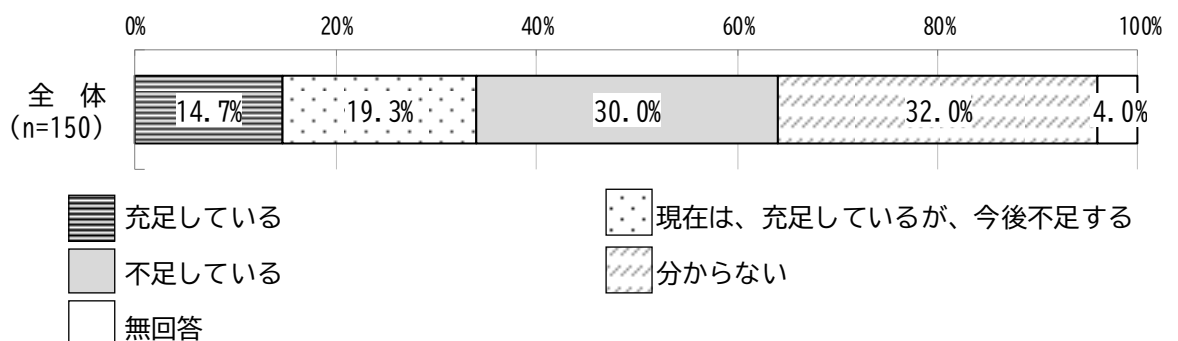
② 通所サービス

介護予防プランを策定する際の区内の総合事業のサービス（通所サービス）の供給量について、「充足している」が42.0%と最も高く、「不足している」が27.3%、「現在は、充足しているが、今後は不足する」が22.0%、「分からない」が6.0%となっている。



③ 生活支援サービス

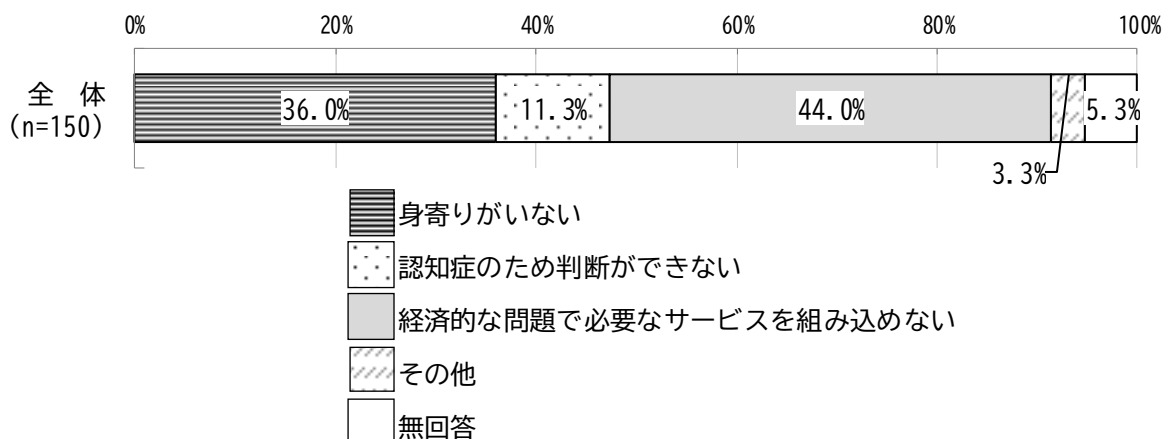
介護予防プランを策定する際の区内の総合事業のサービス（生活支援サービス）の供給量について、「分からない」が32.0%と最も高く、「不足している」が30.0%、「現在は、充足しているが、今後不足する」が19.3%、「充足している」が14.7%となっている。



問6（6） ケアプランを立てる際に、特に対応が難しいのはどういう時ですか。本人の状況と家族の状況についてお答えください（1つに○）。

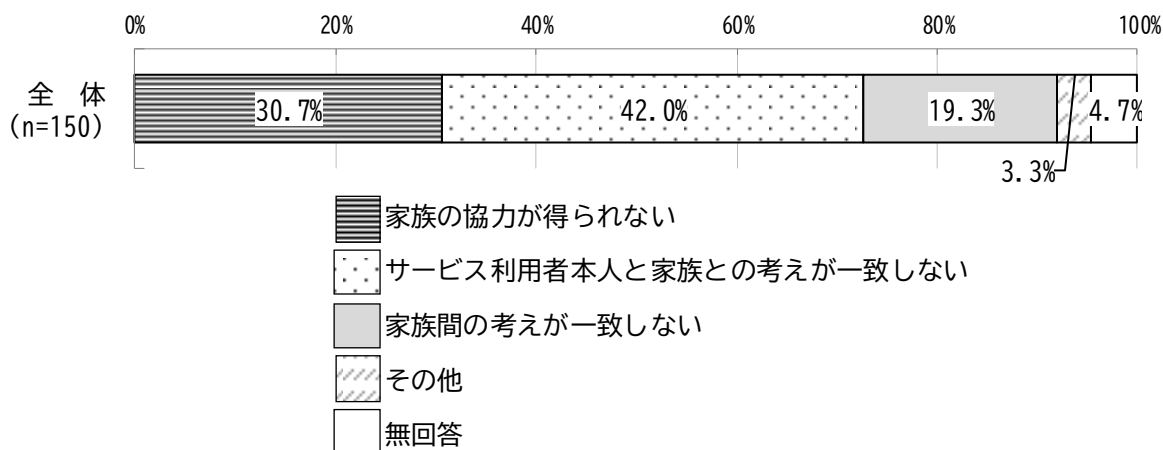
①本人の状況

ケアプランを立てる際に利用者本人の状況について特に対応が難しい事項として、「経済的な問題で必要なサービスを組み込めない」が44.0%と最も高く、「身寄りがいない」が36.0%、「認知症のため判断ができない」が11.3%となっている。



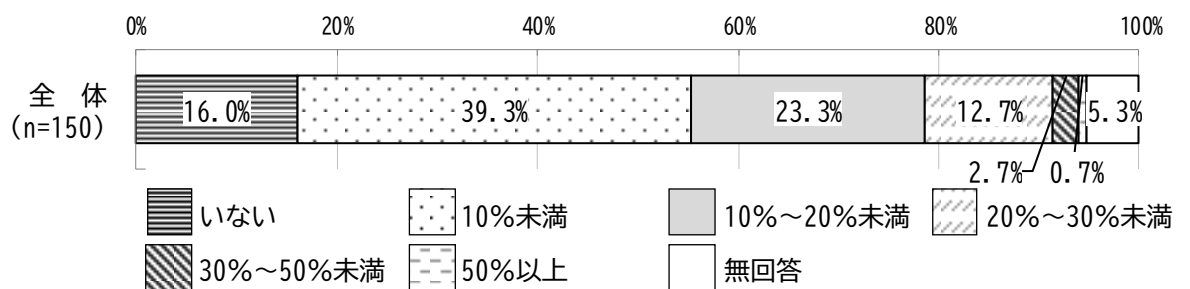
家族の状況

ケアプランを立てる際に家族の状況について特に対応が難しい事項として、「サービス利用者本人と家族との考えが一致しない」が42.0%と最も高く、「家族の協力が得られない」が30.7%、「家族間の考えが一致しない」が19.3%となっている。



問6（7） ケアプランを作成した利用者のうち、「自宅」、「サービス付高齢者住宅」、「住宅型有料老人ホーム」、「軽費老人ホーム」にお住まいの方で現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者はどのくらいいますか（1つに○）。

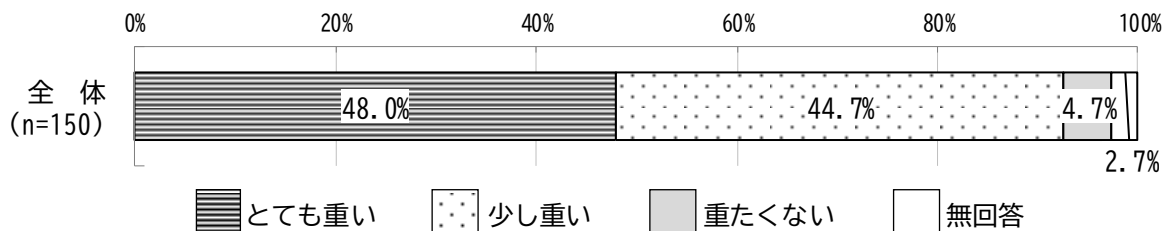
ケアプランを作成した利用者のうち、「自宅」、「サービス付高齢者住宅」、「住宅型有料老人ホーム」、「軽費老人ホーム」にお住まいの方で、現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者の割合は、「10%未満」が39.3%と最も高く、「10%～20%未満」が23.3%、「いない」が16.0%、「20%～30%未満」が12.7%、「30%～50%未満」が2.7%、「50%以上」が0.7%となっている。



(7) 業務効率化について

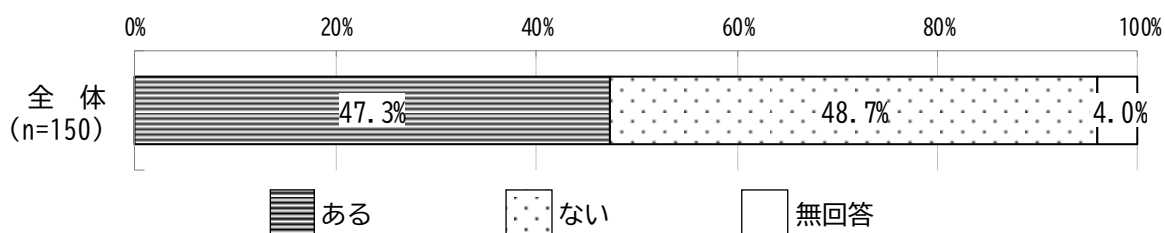
問7(1) 現在、事務負担はどの程度ですか(1つに○)。

現在の事務負担について、「とても重い」が48.0%と最も高く、「少し重い」が44.7%、「重たくない」が4.7%となっている。



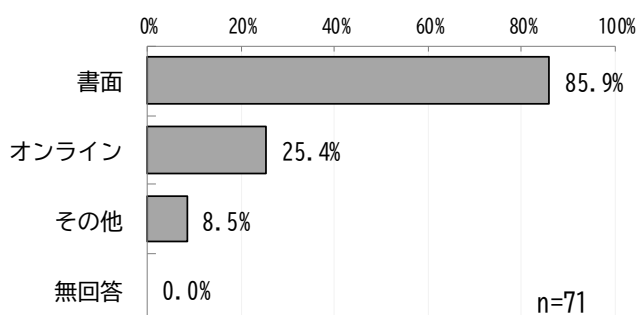
問7(2) サービス担当者会議を参集以外の方法で実施したことはありますか(1つに○)。

サービス担当者会議を参集以外の方法で実施したことが「ある」が47.3%、「ない」が48.7%となっている。



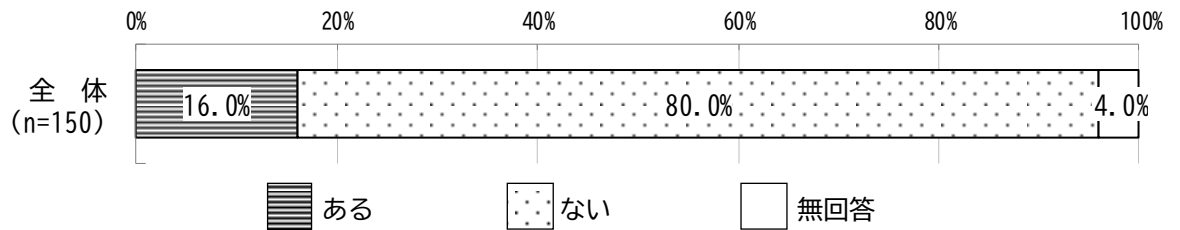
問7(2)① どのような方法でサービス担当者会議を実施しましたか(いくつでも○)。

サービス担当者会議を参集以外の方法で実施したことが「ある」と回答した事業所の実施方法について、「書面」が85.9%と最も高く、「オンライン」が25.4%となっている。



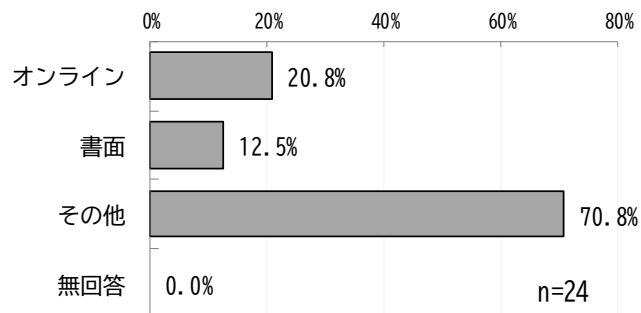
問7（3） 利用者へのモニタリングを訪問以外の方法で行ったことはありますか（1つに○）。

利用者へのモニタリングを訪問以外の方法で行ったことが「ある」が16.0%、「ない」が80.0%となっている。



問7（3）① どのような方法でモニタリングを実施しましたか（いくつでも○）。

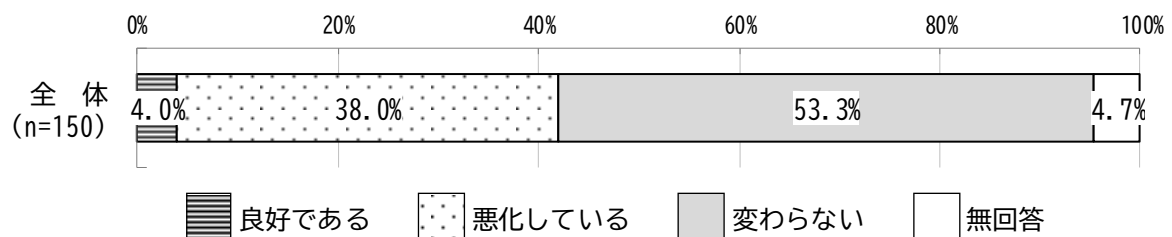
利用者へのモニタリングを訪問以外の方法で行ったことが「ある」と回答した事業所の実施方法について、「オンライン」が20.8%と最も高く、「書面」が12.5%となっている。



(8) その他（景況感、困難事例、要望など）

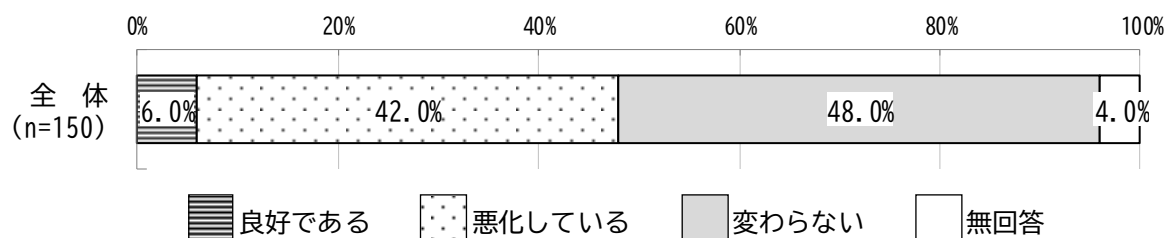
問8（1） 直近の介護報酬改定前と比較して、令和6年度の経営状況はいかがですか（1つに○）。

直近の介護報酬改定前と比較した、令和6年度の経営状況について、「変わらない」が53.3%と最も高く、「悪化している」が38.0%、「良好である」が4.0%となっている。



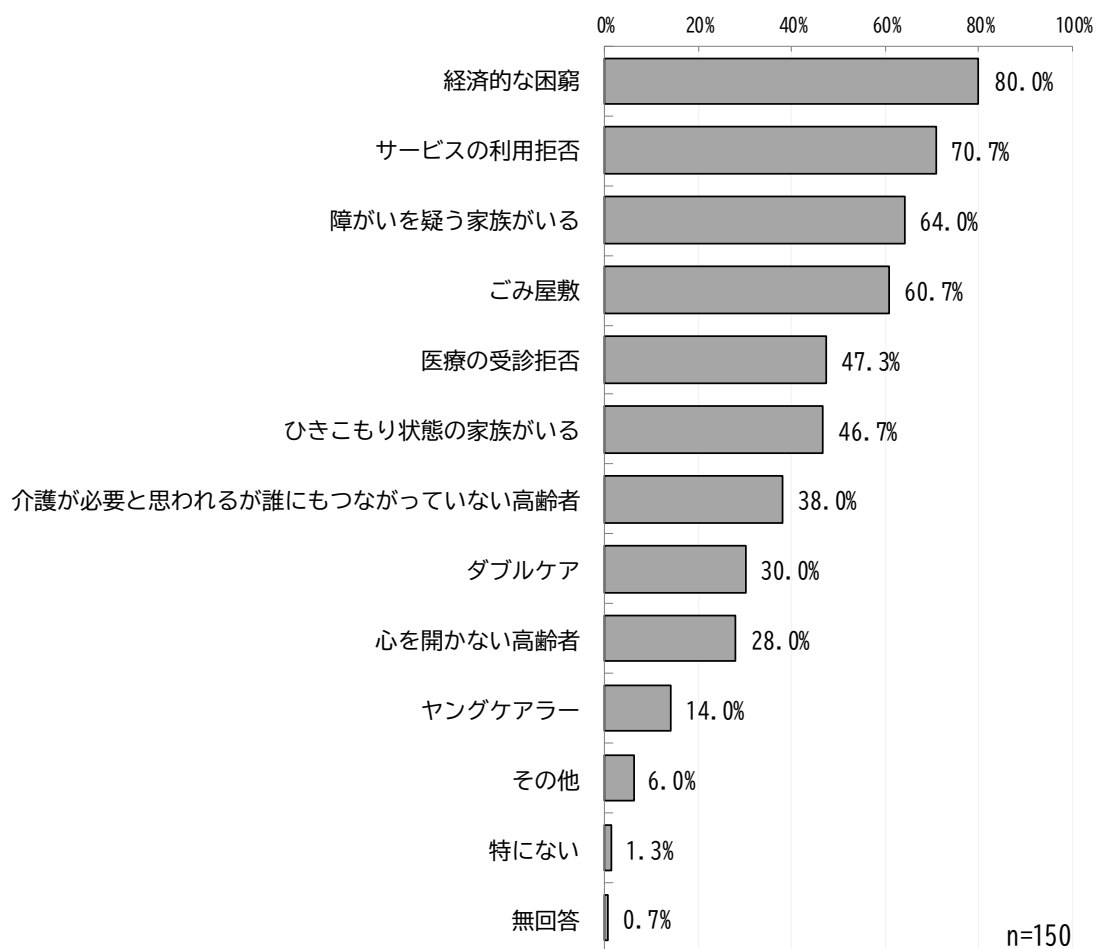
問8（2） 令和6年度の経営状況と比較して、令和7年度（見込み）の経営状況はいかがですか（1つに○）。

令和6年度の経営状況と比較した、令和7年度（見込み）の経営状況について、「変わらない」が48.0%と最も高く、「悪化している」が42.0%、「良好である」が6.0%となっている。



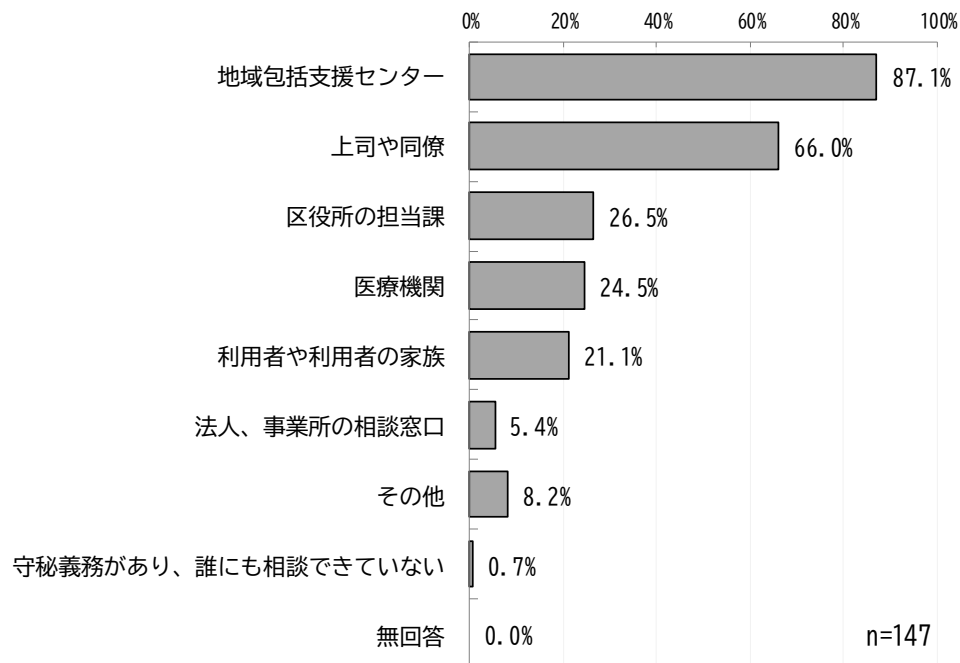
問8（3） 利用者へのケアプランを作成する中で、気になる相談を受けたり、対応困難な事例に遭遇したことがありますか（いくつでも○）。

利用者へのケアプランを作成する中で受けた気になる相談や遭遇した対応困難な事例について、「経済的な困窮」が80.0%と最も高く、「サービスの利用拒否」が70.7%、「障がいを疑う家族がいる」が64.0%、「ごみ屋敷」が60.7%、「医療の受診拒否」が47.3%、「ひきこもり状態の家族がいる」が46.7%、「介護が必要と思われるが誰にもつながっていない高齢者」が38.0%、「ダブルケア」が30.0%、「心を開かない高齢者」が28.0%、「ヤングケアラー」が14.0%となっている。また「特にない」が1.3%となっている。



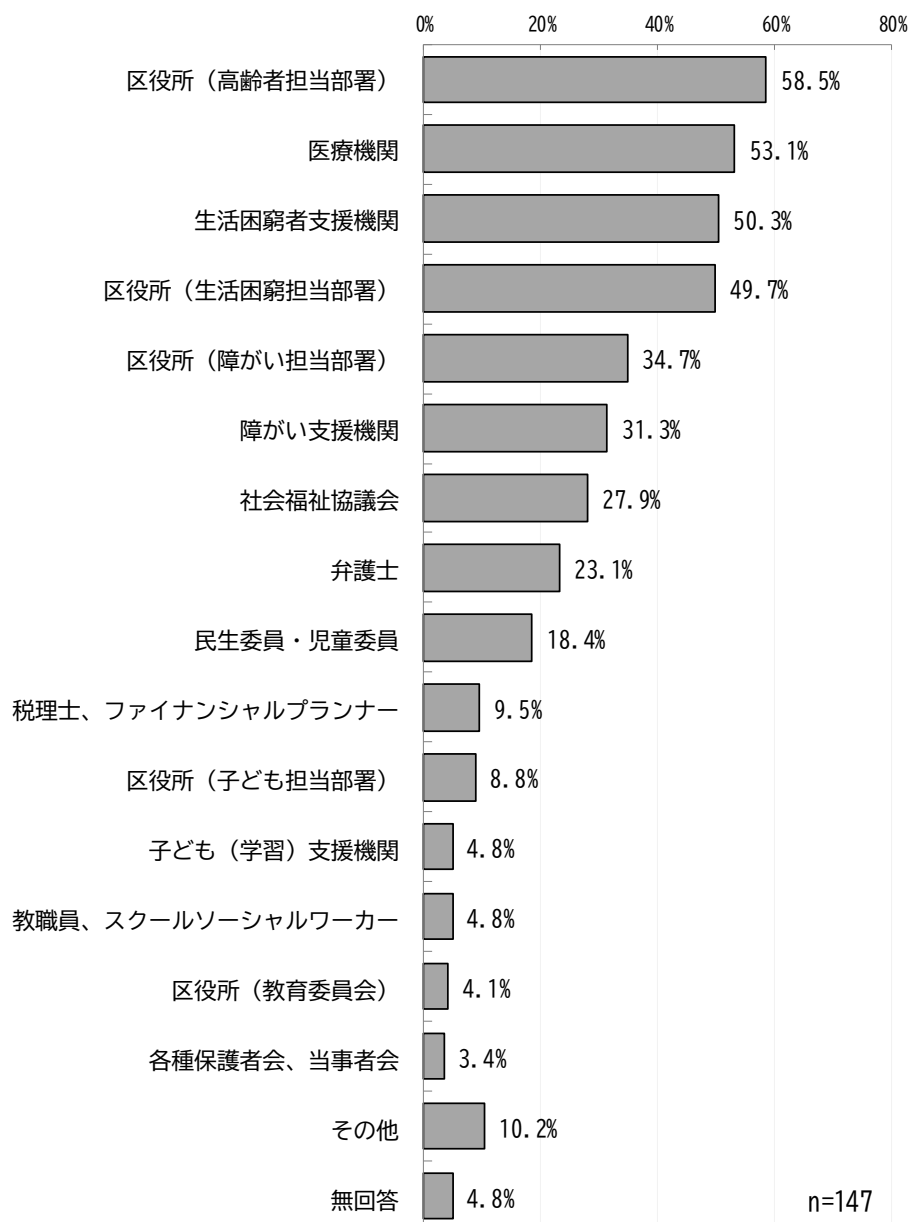
問8（3）① 気になった相談や困難事例を誰に相談していますか（いくつでも○）。

気になった相談や困難事例の相談先について、「地域包括支援センター」が87.1%と最も高く、「上司や同僚」が66.0%、「区役所の担当課」が26.5%、「医療機関」が24.5%、「利用者や利用者の家族」が21.1%、「法人、事業所の相談窓口」が5.4%となっている。



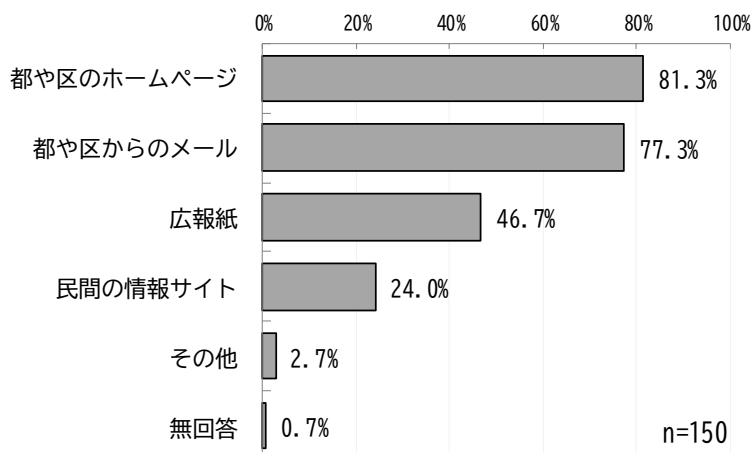
問8 (3) ② 気になった相談や困難事例の対応にあたり、誰と連携したいと思いますか（いくつでも○）。

気になった相談や困難事例の対応にあたり連携したいと思う先について、「区役所（高齢者担当部署）」が58.5%と最も高く、「医療機関」が53.1%、「生活困窮者支援機関」が50.3%、「区役所（生活困窮担当部署）」が49.7%、「区役所（障がい担当部署）」が34.7%、「障がい支援機関」が31.3%、「社会福祉協議会」が27.9%、「弁護士」が23.1%、「民生委員・児童委員」が18.4%、「税理士、ファイナンシャルプランナー」が9.5%、「区役所（子ども担当部署）」が8.8%、「子ども（学習）支援機関」「教職員、スクールソーシャルワーカー」が4.8%、「区役所（教育委員会）」が4.1%、「各種保護者会、当事者会」が3.4%となっている。



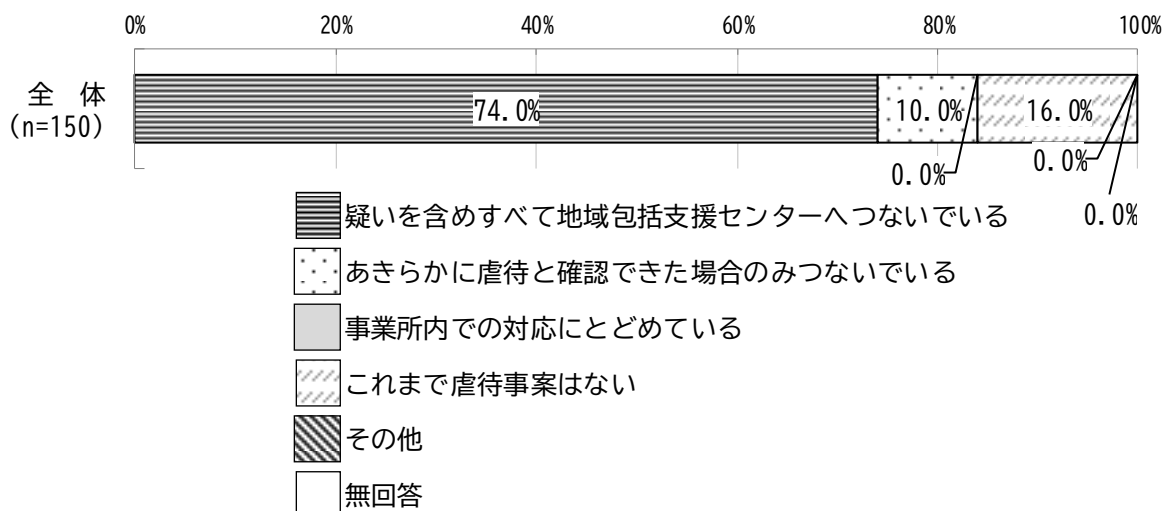
問8（4） 都や区の支援についてどのような手段で情報を得ているか教えてください（いくつでも○）。

都や区の支援についてどのような手段で情報を得ているかについて、「都や区のホームページ」が81.3%と最も高く、「都や区からのメール」が77.3%、「広報紙」が46.7%、「民間の情報サイト」が24.0%となっている。



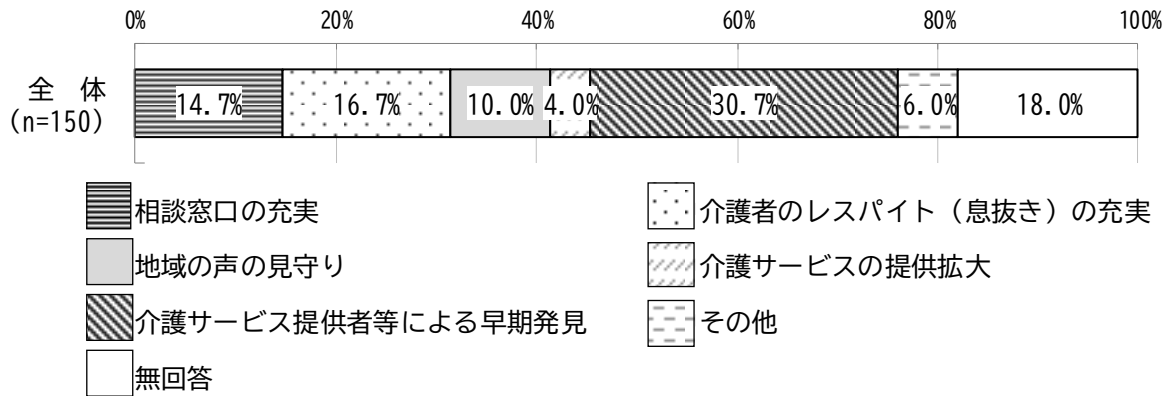
問8（5） 貴事業所は、高齢者等に対する家族や介護者からの虐待について地域包括支援センターへつないでいますか（1つに○）。

高齢者等に対する家族や介護者からの虐待について、「疑いを含めすべて地域包括支援センターへつないでいる」が74.0%と最も高く、「これまで虐待事案はない」が16.0%、「あきらかに虐待と確認できた場合のみつないでいる」が10.0%、「事業所内での対応にとどめている」が0.0%となっている。



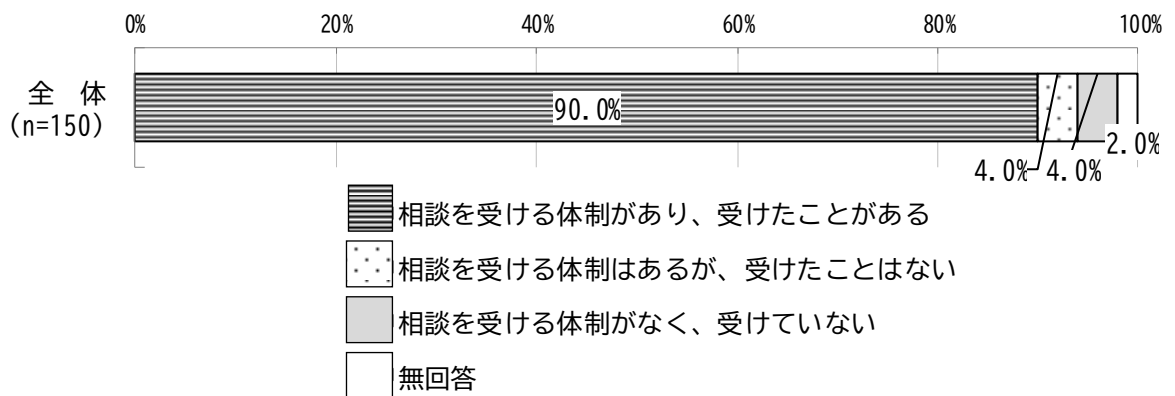
問8（6） 貴事業所は、高齢者に対する虐待に早期に対応するためにはなにが必要だと思いますか（1つに○）。

事業所として的高齢者に対する虐待に早期に対応するために必要な取り組みとして、「介護サービス提供者等による早期発見」が30.7%と最も高く、「介護者のレスパイト（息抜き）の充実」が16.7%、「相談窓口の充実」が14.7%、「地域の声の見守り」が10.0%、「介護サービスの提供拡大」が4.0%となっている。



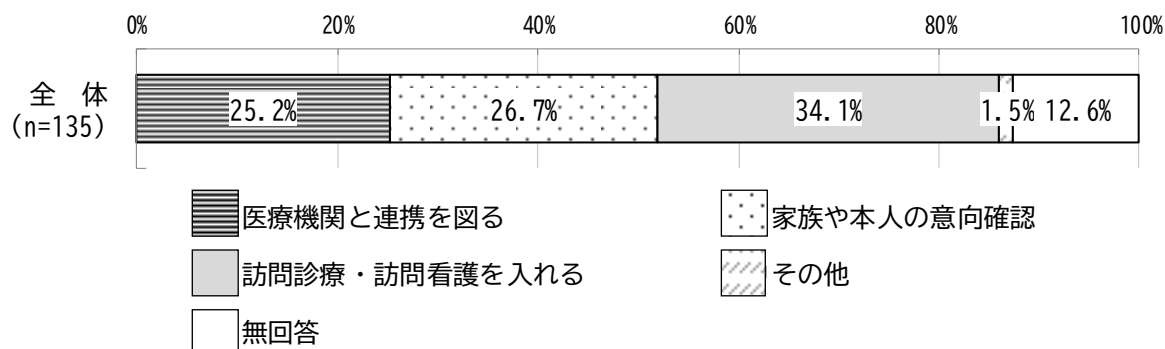
問8（7） 貴事業所では、利用者や家族等から看取りの相談を受けたことがありますか（1つに○）。

利用者や家族等からの看取りの相談について、「相談を受ける体制があり、受けたことがある」が90.0%と最も高く、「相談を受ける体制はあるが、受けたことはない」「相談を受ける体制がなく、受けていない」が4.0%となっている。



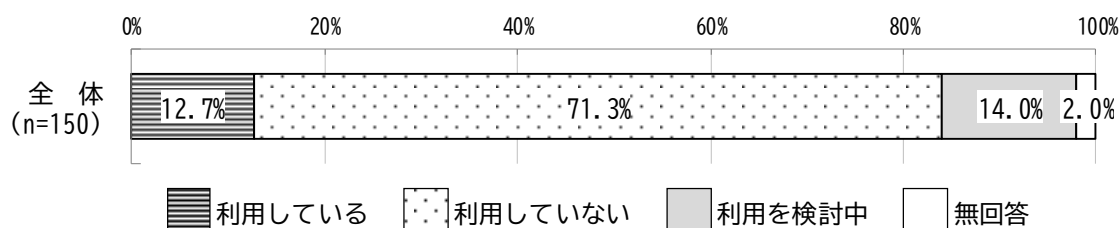
問8（7）① 看取りの相談を受けた際、どのような対応をされましたか（1つに○）。

看取りの相談を「受けたことがある」事業所において、看取りの相談を受けた際の対応として、「訪問診療・訪問看護を入れる」が34.1%と最も高く、「家族や本人の意向確認」が26.7%、「医療機関と連携を図る」が25.2%となっている。



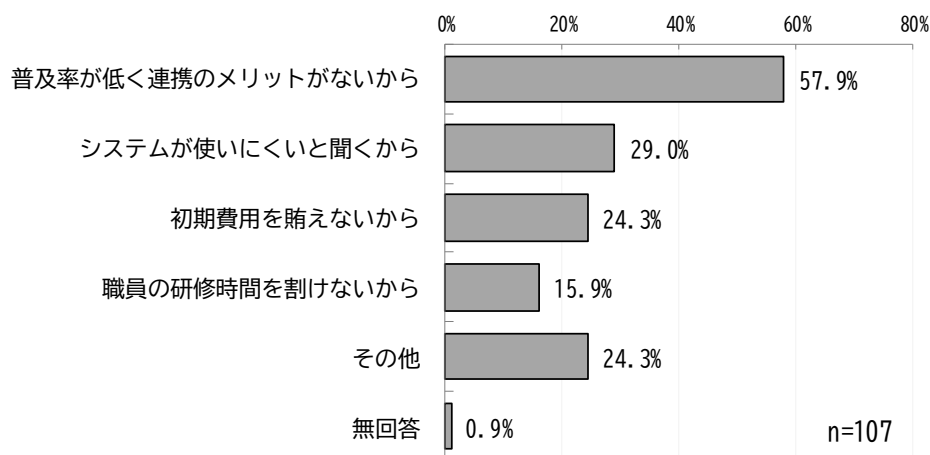
問8（8） ケアプランデータ連携システムを利用していますか（1つに○）。

ケアプランデータ連携システムの利用状況について、「利用していない」が71.3%と最も高く、「利用を検討中」が14.0%、「利用している」が12.7%となっている。



問8（8）① 利用していない理由は何ですか（いくつでも○）。

「ケアプランデータ連携システムを利用していない」と回答した事業所のケアプランデータ連携システムの利用していない理由について、「普及率が低く連携のメリットがないから」が57.9%と最も高く、「システムが使いにくいと聞くから」が29.0%、「初期費用を賄えないから」が24.3%、「職員の研修時間を割けないから」が15.9%となっている。



8 介護保険施設調査

8 介護保険施設調査

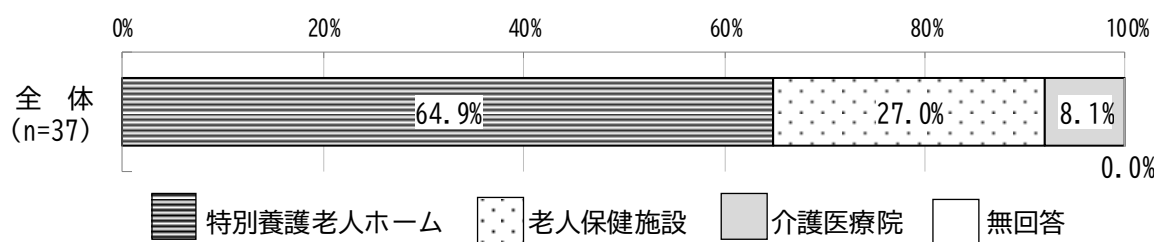
(1) 事業所の基本情報について

問1 (1) 貴事業所について

※①は「事業所名をご記入ください」という設問であるため省略

問1 (2) 事業種別をお答えください(1つに○)。

事業種別について、「特別養護老人ホーム」が64.9%と最も高く、「老人保健施設」が27.0%、「介護医療院」が8.1%となっている。

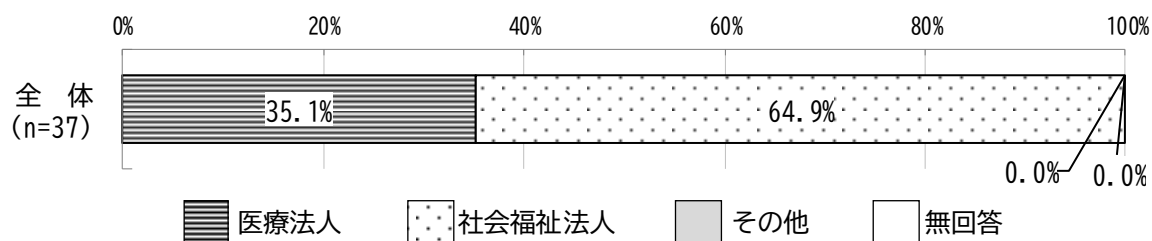


サービス	割合	サービス	割合
居宅介護支援	40.5%	介護予防 特定施設入居者生活介護	0.0%
介護予防支援	13.5%	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0.0%
訪問介護	8.1%	夜間対応型訪問介護	0.0%
訪問入浴介護	0.0%	地域密着型通所介護	5.4%
介護予防 訪問入浴介護	0.0%	認知症対応型通所介護	18.9%
訪問看護	8.1%	介護予防 認知症対応型通所介護	5.4%
介護予防 訪問看護	2.7%	小規模多機能型居宅介護	0.0%
訪問リハビリテーション	8.1%	介護予防 小規模多機能型居宅介護	0.0%
介護予防 訪問リハビリテーション	8.1%	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	0.0%
通所介護	37.8%	介護予防 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	0.0%
通所リハビリテーション	27.0%	看護小規模多機能型居宅介護	0.0%
介護予防 通所リハビリテーション	18.9%	介護老人福祉施設	5.4%
短期入所生活介護	64.9%	介護老人保健施設	13.5%
介護予防 短期入所生活介護	35.1%	介護医療院	5.4%
短期入所療養介護	27.0%	居宅療養管理指導	2.7%
介護予防 短期入所療養介護	21.6%	介護予防 居宅療養管理指導	0.0%
福祉用具貸与	0.0%	総合事業 訪問型サービス	2.7%
介護予防 福祉用具貸与	0.0%	総合事業 通所型サービス	8.1%
特定福祉用具販売	0.0%	病院・診療所	5.4%
介護予防 特定福祉用具販売	0.0%	地域包括支援センター	18.9%
住宅改修	0.0%	その他	5.4%
特定施設入居者生活介護	0.0%	なし	0.0%
		無回答	0.0%

n=37

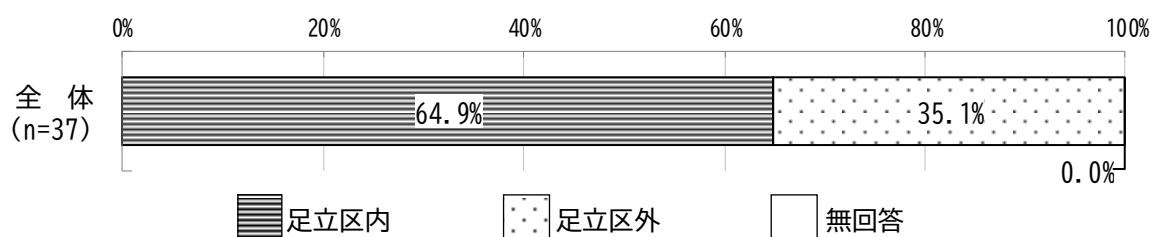
問1 (4) 事業所の経営主体は何ですか (1つに○)。

事業所の経営主体について、「社会福祉法人」が 64.9%と最も高く、「医療法人」が 35.1%となっている。



問1 (5) 経営主体の法人の所在地はどこですか (1つに○)。

経営主体の法人の所在地について、「足立区内」が 64.9%、「足立区外」が 35.1%となっている。

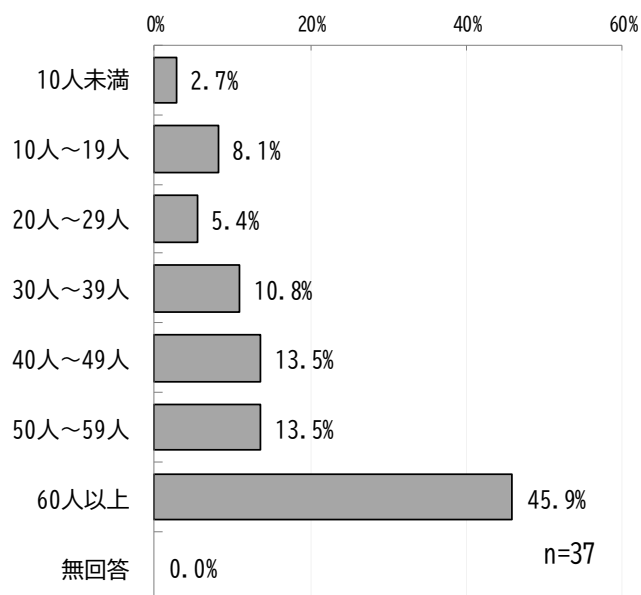


問1 (6) 貴事業所の職員体制についてご記入してください(数字を記入)。
また、() 内に外国人職員数を記入してください。

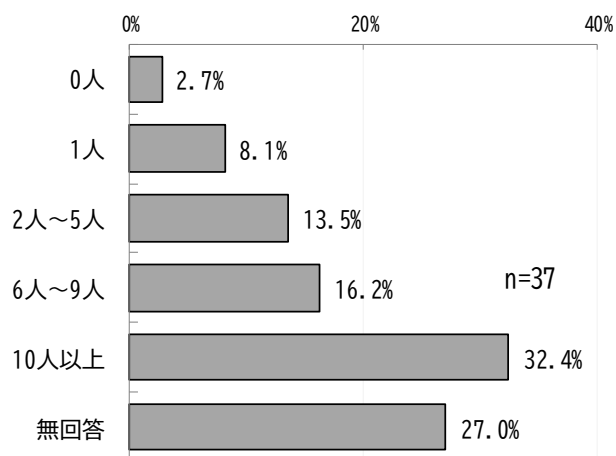
※令和7年10月1日現在

⑥-1 正規職員

正規職員の職員体制について、「60人以上」が45.9%と最も高く、「40人～49人」「50人～59人」が13.5%、「30人～39人」が10.8%、「10人～19人」が8.1%、「20人～29人」が5.4%、「10人未満」が2.7%となっている。

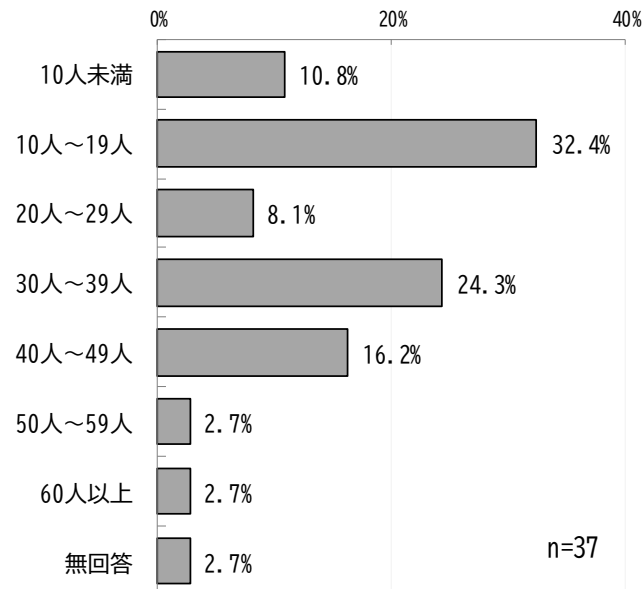


うち、外国人の正規職員について、「10人以上」が32.4%と最も高く、「6人～9人」が16.2%、「2人～5人」が13.5%、「1人」が8.1%、「0人」が2.7%となっている。

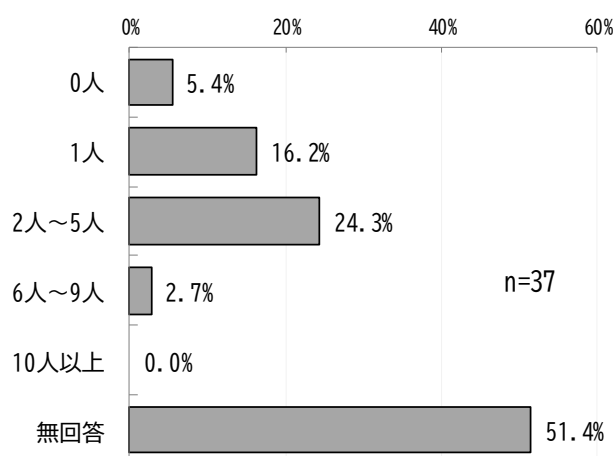


⑥-2 非正規職員

非正規職員の職員体制について、「10人～19人」が32.4%と最も高く、「30人～39人」が24.3%、「40人～49人」が16.2%、「10人未満」が10.8%、「20人～29人」が8.1%、「50人～59人」「60人以上」が2.7%となっている。



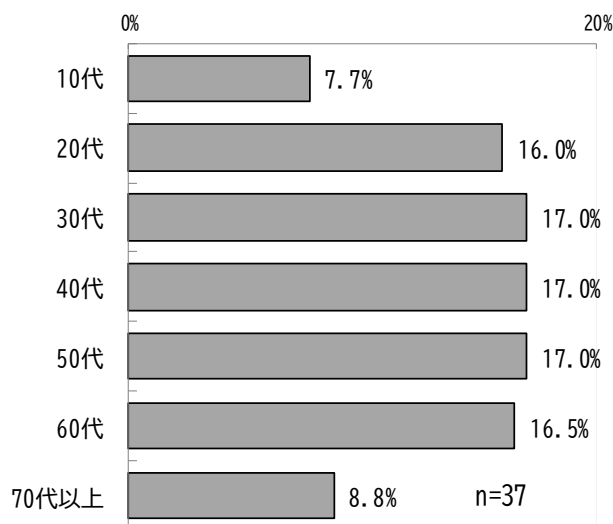
うち、外国人の非正規職員について、「2人～5人」が24.3%と最も高く、「1人」が16.2%、「0人」が5.4%、「6人～9人」が2.7%、「10人以上」が0.0%となっている。



⑦ 年齢階級別

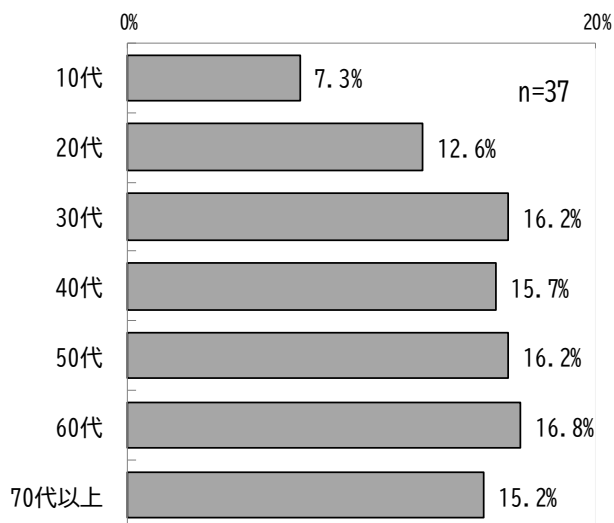
⑦-1 正規職員

回答のあった事業所の正規職員の年齢構成について、「30代」「40代」「50代」が17.0%と最も高く、「60代」が16.5%、「20代」が16.0%、「70代以上」が8.8%、「10代」が7.7%となっている。



⑦-2 非正規職員

回答のあった事業所の非正規職員の年齢構成について、「60代」が16.8%と最も高く、「30代」「50代」が16.2%、「40代」が15.7%、「70代以上」が15.2%、「20代」が12.6%、「10代」が7.3%となっている。

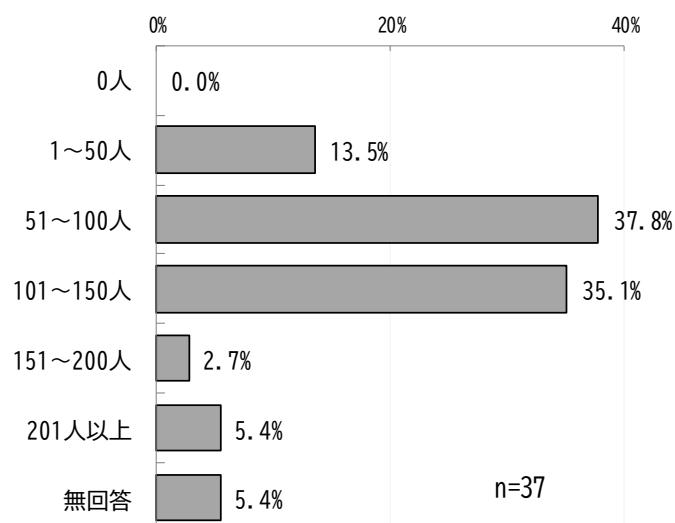


(2) 入居・利用状況について

問2 貴事業所の定員等

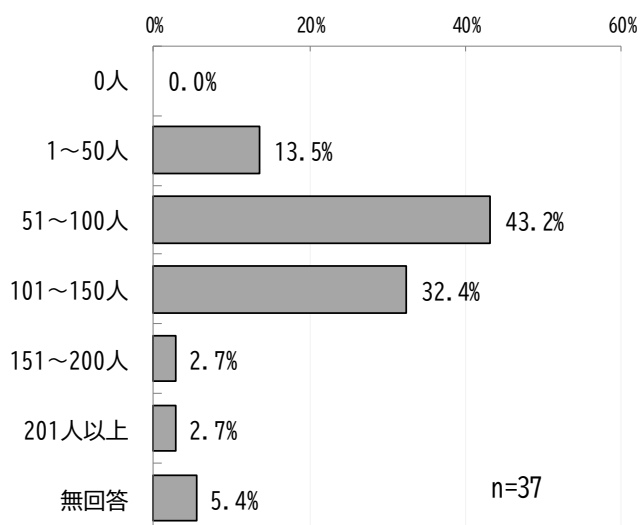
問2 (1) ①-1 定員 (数字を記入)

定員について、「51～100人」が37.8%と最も高く、「101～150人」が35.1%、「1～50人」が13.5%、「201人以上」が5.4%、「151～200人」が2.7%、「0人」が0.0%となっている。



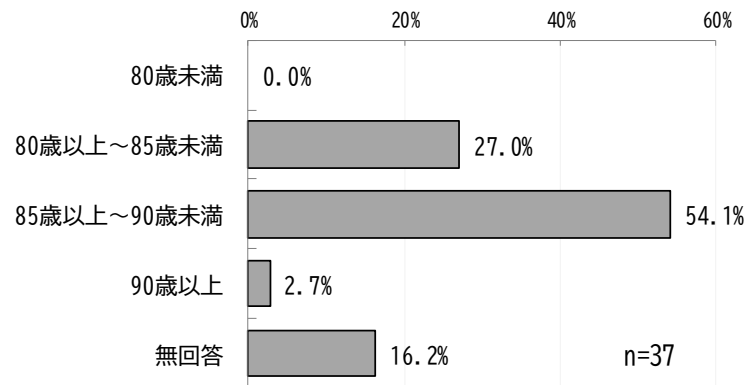
問2 (1) ①-2 入所者数 (数字を記入)

入所者数について、「51～100人」が43.2%と最も高く、「101～150人」が32.4%、「1～50人」が13.5%、「151～200人」「201人以上」が2.7%、「0人」が0.0%となっている。



問2（1）② 入所者の平均年齢（数字を記入）

入所（院）者の平均年齢について、「85 歳以上～90 歳未満」が 54.1%と最も高く、「80 歳以上～85 歳未満」が 27.0%、「90 歳以上」が 2.7%、「80 歳未満」が 0.0%となっている。



問2（1）③ 入所者の要介護度別の人数（数字を記入）。

要介護度別の人数について、
要介護1では、「1～10 人」が 40.5%、要介護2では、「0 人」が 37.8%、要介護3では、「11～20 人」が 24.3%、要介護4では、「41～50 人」が 21.6%、要介護5では、「21～30 人」が 37.8%と最も高くなっている。

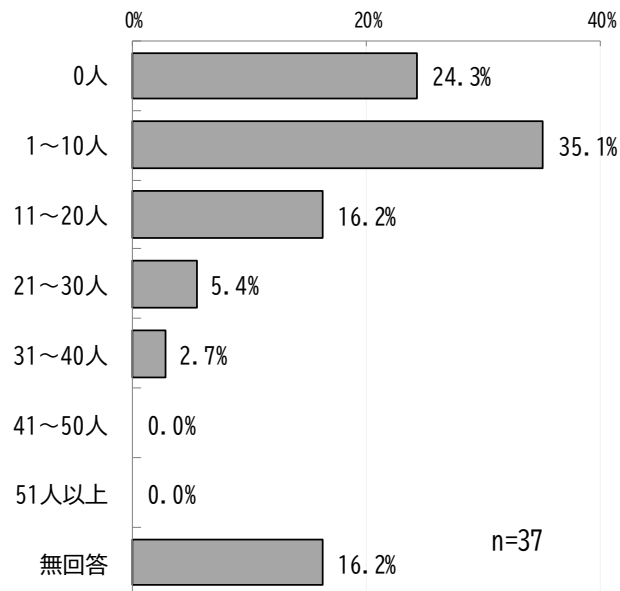
	調査数	0人	1～10人	11～20人	21～30人	31～40人	41～50人	51～60人	61～70人	71～80人	81～90人	91～100人	101人以上	無回答
要介護1	37	35.1	40.5	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	21.6
要介護2	37	37.8	13.5	16.2	10.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	21.6
要介護3	37	0.0	10.8	24.3	21.6	16.2	8.1	5.4	5.4	0.0	0.0	0.0	0.0	8.1
要介護4	37	0.0	8.1	10.8	13.5	13.5	21.6	10.8	13.5	0.0	0.0	0.0	2.7	5.4
要介護5	37	0.0	5.4	32.4	37.8	5.4	13.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.4

うち、医療処置の必要な要介護度別の人数について、
要介護1では、「0 人」が 37.8%、要介護2では、「0 人」が 35.1%、要介護3では、「1～10 人」が 37.8%、要介護4では、「1～10 人」が 56.8%、要介護5では、「1～10 人」が 51.4%と最も高くなっている。

	調査数	0人	1～10人	11～20人	21～30人	31～40人	41～50人	51～60人	61～70人	71～80人	81～90人	91～100人	101人以上	無回答
要介護1	37	37.8	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	59.5
要介護2	37	35.1	8.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	56.8
要介護3	37	18.9	37.8	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.5
要介護4	37	5.4	56.8	5.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	32.4
要介護5	37	5.4	51.4	13.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	29.7

問2(1)④ 入所者のうち住所地特例（保険者が足立区外）の該当者数（数字を記入）。

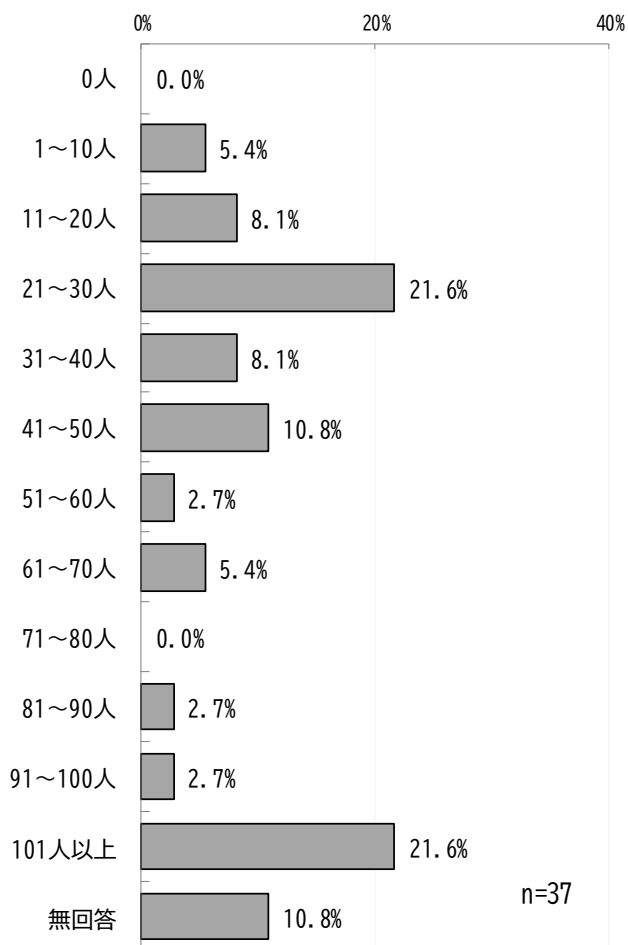
住所地特例（保険者が足立区外）の該当者について、「1～10 人」が 35.1%と最も高く、「0 人」が 24.3%、「11～20 人」が 16.2%、「21～30 人」が 5.4%、「31～40 人」が 2.7%、「41～50 人」「51 人以上」が 0.0%となっている。



問2(1)⑤ 令和6年1月～12月までの入退所者数(数字を記入)

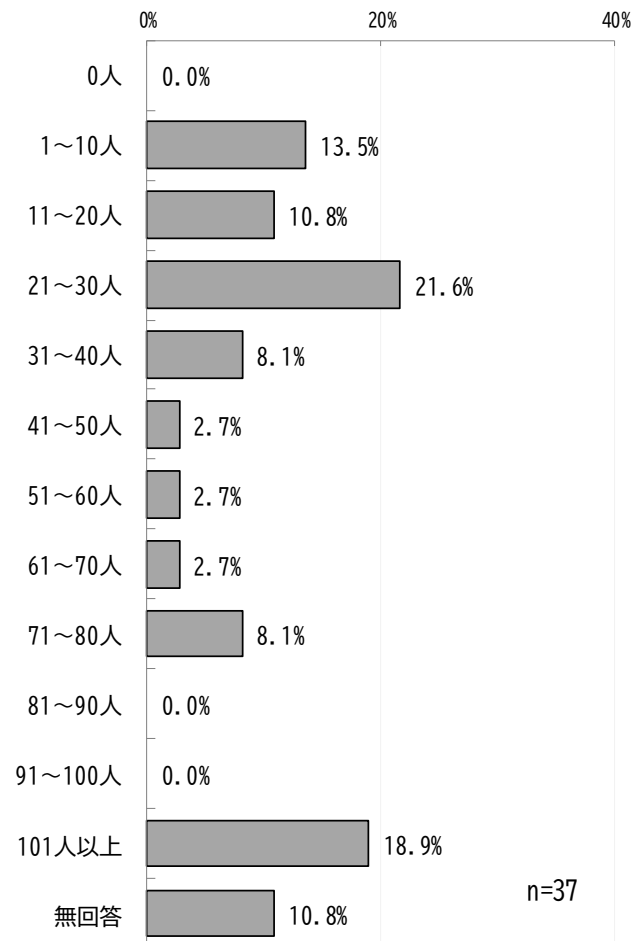
問2(1)⑤-1 入所者数

1年間の入所者数については、「21～30人」「101人以上」が21.6%と最も高く、「41～50人」が10.8%、「11～20人」「31～40人」が8.1%、「1～10人」「61～70人」が5.4%、「51～60人」「81～90人」「91～100人」が2.7%、「0人」「71～80人」が0.0%となっている。



問2(1)⑤-2 退所者数

1年間の退所者数については、「21～30人」が21.6%と最も高く、「101人以上」が18.9%、「1～10人」が13.5%、「11～20人」が10.8%、「31～40人」「71～80人」が8.1%、「41～50人」「51～60人」「61～70人」が2.7%、「0人」「81～90人」「91～100人」が0.0%となっている。



問2(1)⑥ 待機者数(数字を記入)。

待機者数について、

要介護1では、「0人」が37.8%、要介護2では、「1～10人」が35.1%、要介護3では、「1～10人」が32.4%、要介護4では、「1～10人」が32.4%、要介護5では、「1～10人」が29.7%と最も高くなっている。

(%)

	調査数	0人	1～10人	11～20人	21～30人	31～40人	41～50人	51～60人	61～70人	71～80人	81～90人	91～100人	101人以上	無回答
要介護1	37	37.8	10.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	51.4
要介護2	37	24.3	35.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.5
要介護3	37	0.0	32.4	13.5	13.5	5.4	2.7	0.0	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0	29.7
要介護4	37	2.7	32.4	5.4	18.9	8.1	0.0	2.7	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0	27.0
要介護5	37	5.4	29.7	21.6	8.1	2.7	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	29.7

待機者数のうち足立区民の人数について、

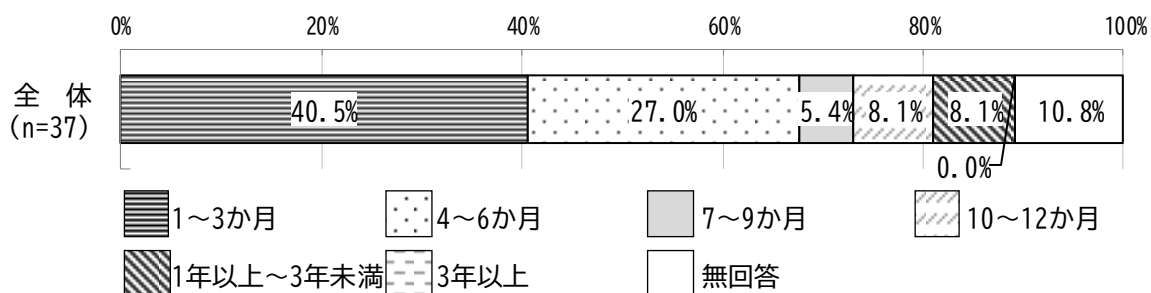
要介護1では、「0人」が35.1%、要介護2では、「1～10人」が32.4%、要介護3では、「1～10人」が35.1%、要介護4では、「1～10人」が35.1%、要介護5では、「1～10人」が35.1%と最も高くなっている。

(%)

	調査数	0人	1～10人	11～20人	21～30人	31～40人	41～50人	51～60人	61～70人	71～80人	81～90人	91～100人	101人以上	無回答
要介護1	37	35.1	10.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	54.1
要介護2	37	24.3	32.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	43.2
要介護3	37	5.4	35.1	18.9	8.1	0.0	0.0	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	29.7
要介護4	37	5.4	35.1	10.8	10.8	5.4	0.0	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	29.7
要介護5	37	8.1	35.1	18.9	5.4	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	29.7

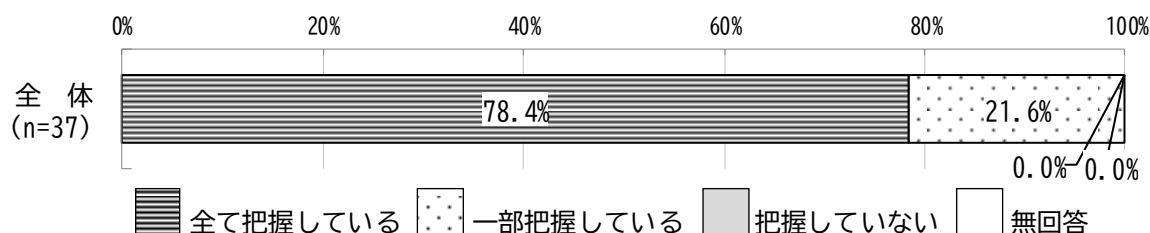
問2(2) 入所までに平均どのくらいかかりますか(1つに○)。

入所(院)までにかかる期間について、「1～3か月」が40.5%と最も高く、「4～6か月」が27.0%、「10～12か月」が8.1%、「1年以上～3年未満」が8.1%、「7～9か月」が5.4%、「3年以上」が0.0%となっている。



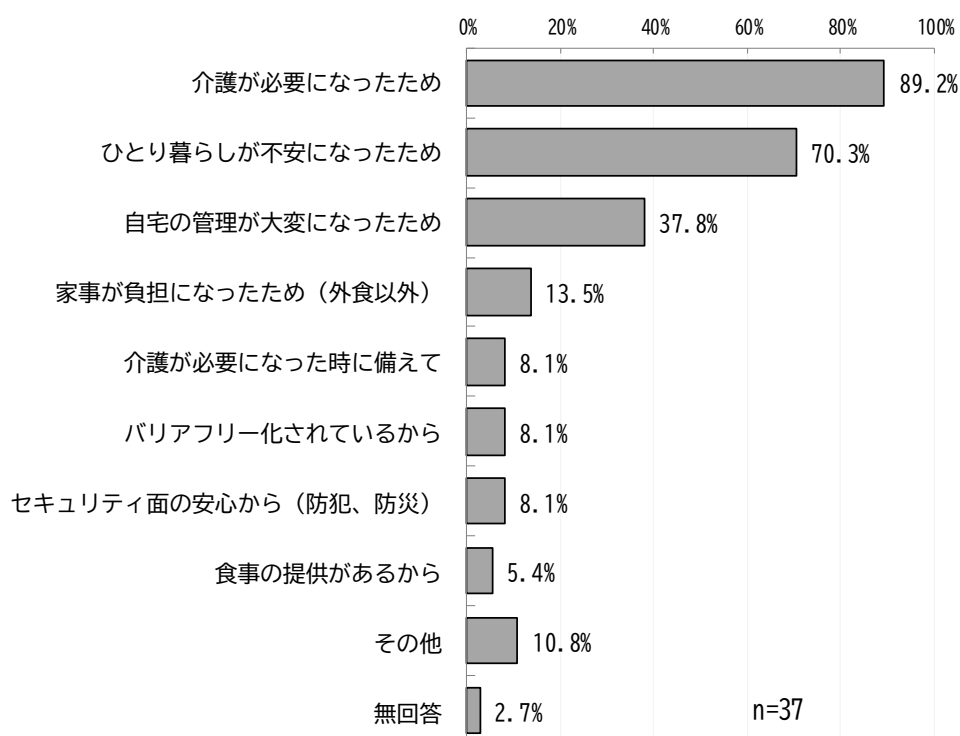
問2 (3) 入所の動機を把握されていますか (1つに○)。

入所(院)の動機について、「全て把握している」が78.4%と最も高く、「一部把握している」が21.6%、「把握していない」が0.0%となっている。



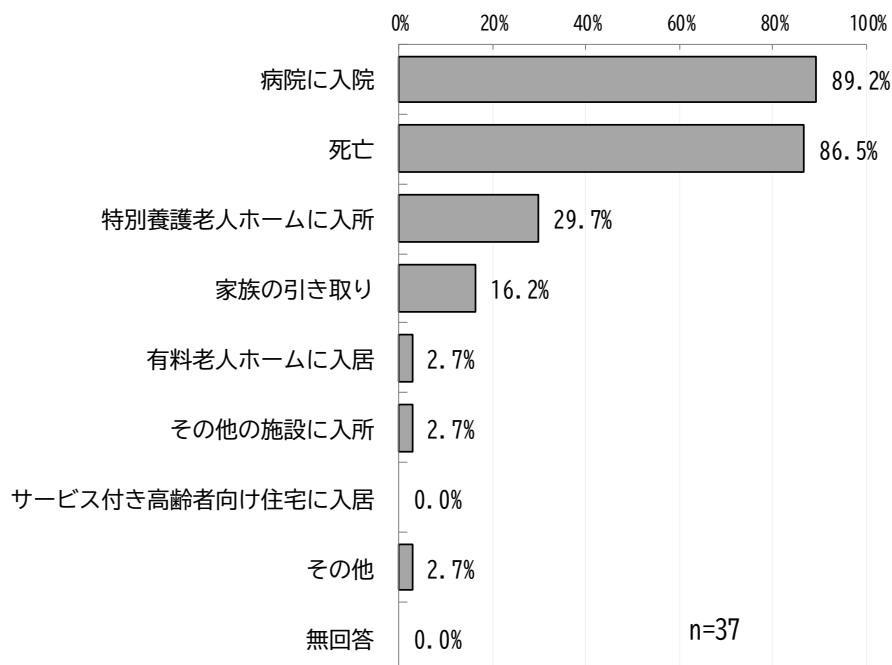
問2 (3) ① 入所を決められた主な理由は何ですか (いくつでも○)。

入所(院)の動機について「全て把握している」または「一部把握している」と回答した事業所における入所(院)を決められた主な理由について、「介護が必要になったため」が89.2%と最も高く、「ひとり暮らしが不安になったため」が70.3%、「自宅の管理が大変になったため」が37.8%、「家事が負担になったため(外食以外)」が13.5%、「介護が必要になった時に備えて」「バリアフリー化されているから」「セキュリティ面の安心から(防犯、防災)」が8.1%、「食事の提供があるから」が5.4%となっている。



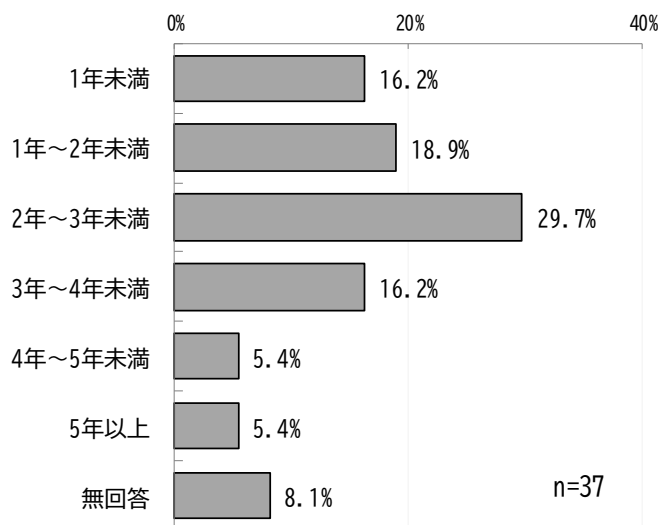
問2（4） 退所の主な理由は何ですか（3つまで○）。

退所（院）の主な理由として、「病院に入院」が89.2%と最も高く、「死亡」が86.5%、「特別養護老人ホームに入所」が29.7%、「家族の引き取り」が16.2%、「有料老人ホームに入居」「その他の施設に入所」が2.7%、「サービス付き高齢者向け住宅に入居」が0.0%となっている。



問2（5） 入所者の平均入所年数は何年ですか（1つに○）。

平均入所（院）年数について、「2年～3年未満」が29.7%と最も高く、「1年～2年未満」が18.9%、「3年～4年未満」「1年未満」が16.2%、「4年～5年未満」「5年以上」が5.4%となっている。



問2（6） 過去3年間の年間稼働率は何パーセントですか（それぞれ1つに○）。

年間稼働率について、全ての年で「90～100%」が最も高く、令和6年では「90～100%」が62.2%、「80～90%未満」が18.9%、「60%未満」「60～70%未満」が5.4%、「70～80%未満」が2.7%となっている。

(%)

	調査数	60%未満	60～70%未満	70～80%未満	80～90%未満	90～100%	無回答
令和4年	37	5.4	2.7	5.4	27.0	45.9	13.5
令和5年	37	8.1	2.7	2.7	29.7	45.9	10.8
令和6年	37	5.4	5.4	2.7	18.9	62.2	5.4

問2（7） 併設している短期入所生活介護の過去3年間の年間稼働率は何パーセントですか（それぞれ1つに○）。

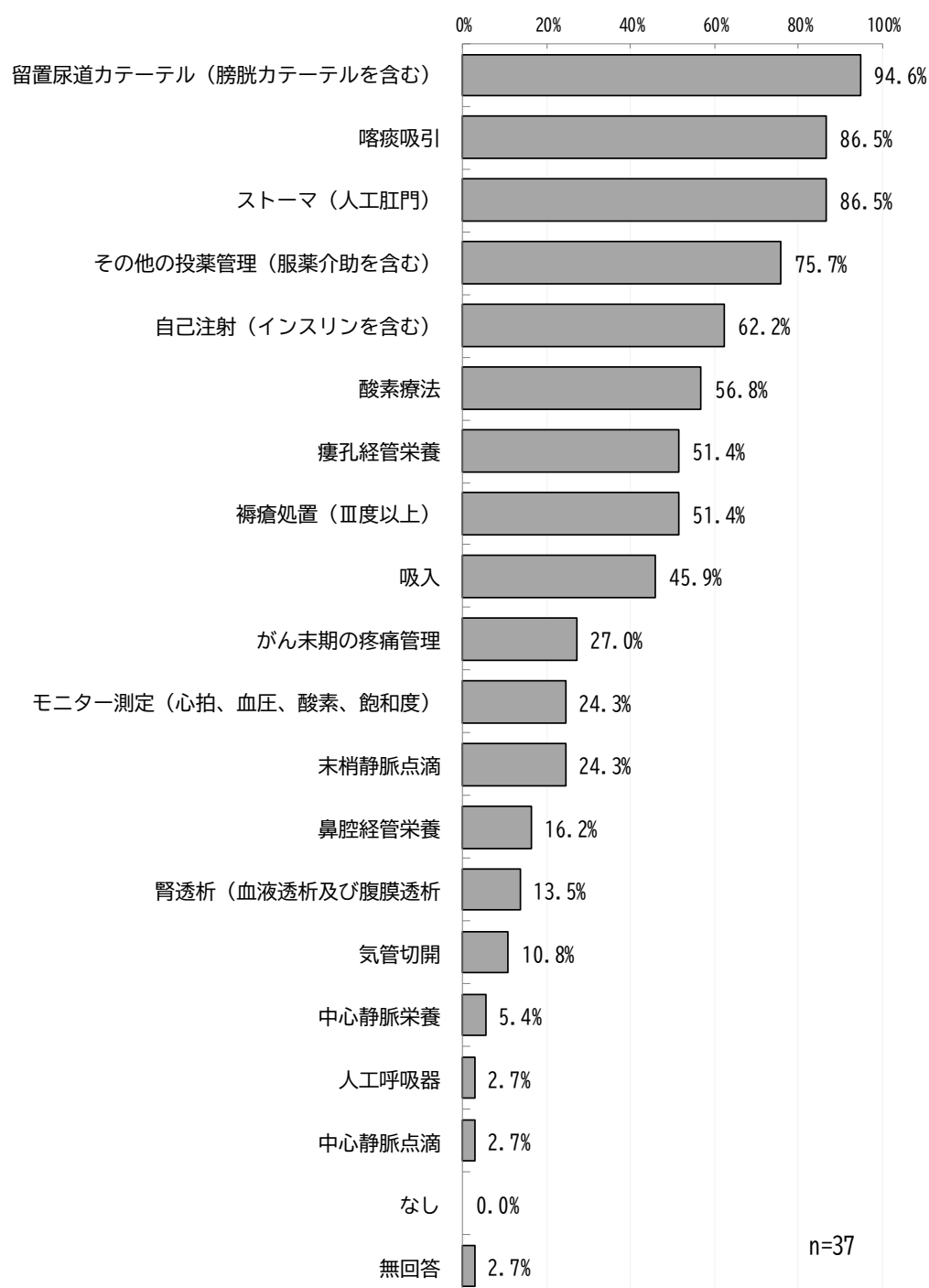
併設している短期入所生活介護の過去3年間の年間稼働率について、全ての年で「90～100%」が最も高く、令和6年では「90～100%」が27.0%、「70～80%未満」が13.5%、「併設していない」が10.8%、「60～70%未満」が8.1%、「80～90%未満」が5.4%となっている。

(%)

	調査数	併設していない	60%未満	60～70%未満	70～80%未満	80～90%未満	90～100%	無回答
令和4年	37	10.8	8.1	2.7	13.5	5.4	27.0	32.4
令和5年	37	10.8	5.4	5.4	13.5	8.1	27.0	29.7
令和6年	37	10.8	10.8	8.1	13.5	5.4	27.0	24.3

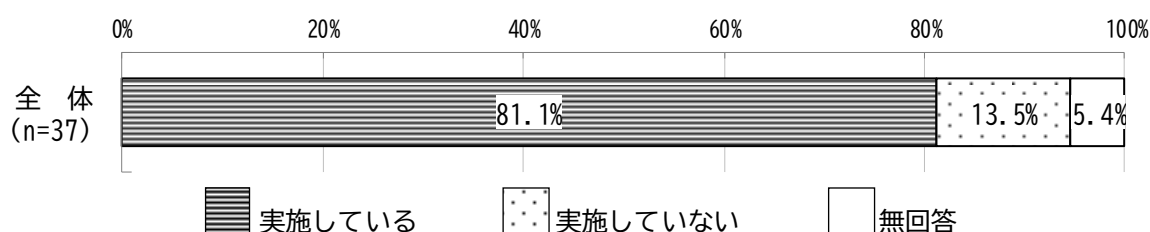
問2(8) 貴事業所で対応可能な医療処置を教えてください(いくつでも○)。

事業所に入所(院)可能な医療処置について、「留置尿道カテーテル(膀胱カテーテルを含む)」が94.6%と最も高く、「喀痰吸引」「ストーマ(人工肛門)」が86.5%、「その他の投薬管理(服薬介助を含む)」が75.7%、「自己注射(インスリンを含む)」が62.2%、「酸素療法」が56.8%、「瘻孔経管栄養」「褥瘡処置(Ⅲ度以上)」が51.4%、「吸入」が45.9%、「がん末期の疼痛管理」が27.0%、「モニター測定(心拍、血圧、酸素、飽和度)」が24.3%、「末梢静脈点滴」が24.3%、「鼻腔経管栄養」が16.2%、「腎透析(血液透析及び腹膜透析)」が13.5%、「気管切開」が10.8%、「中心静脈栄養」が5.4%、「人工呼吸器」「中心静脈点滴」が2.7%となっている。



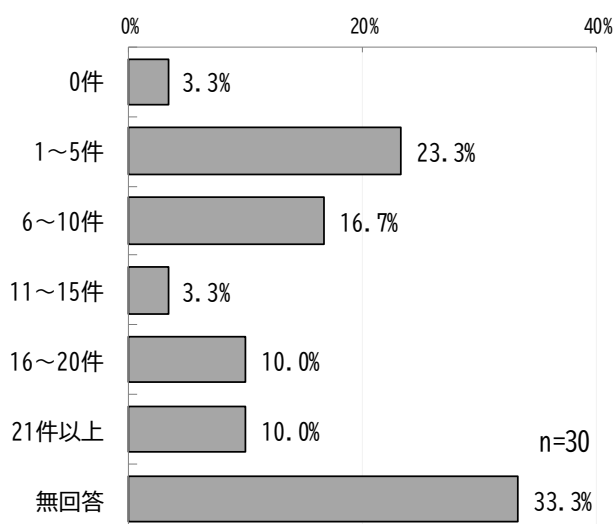
問2（9） 貴事業所では、看取りを実施していますか（1つに○・数字を記入）。

看取りの実施状況について、「実施している」が81.1%、「実施していない」が13.5%となっている。



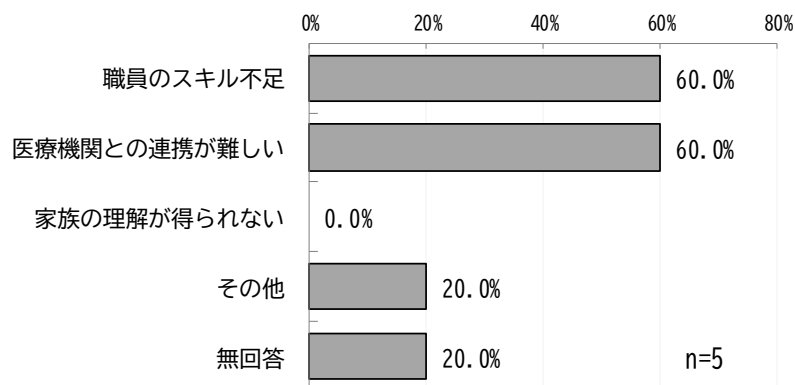
問2（9）1. 看取りを実施している事業所のこの1年の実績

看取りを「実施している」事業所において、この1年の実績として、「1～5件」が23.3%と最も高く、「6～10件」が16.7%、「16～20件」「21件以上」が10.0%、「0件」「11～15件」が3.3%となっている。



問2（9）① 看取りを実施していない理由は何ですか（いくつでも○）。

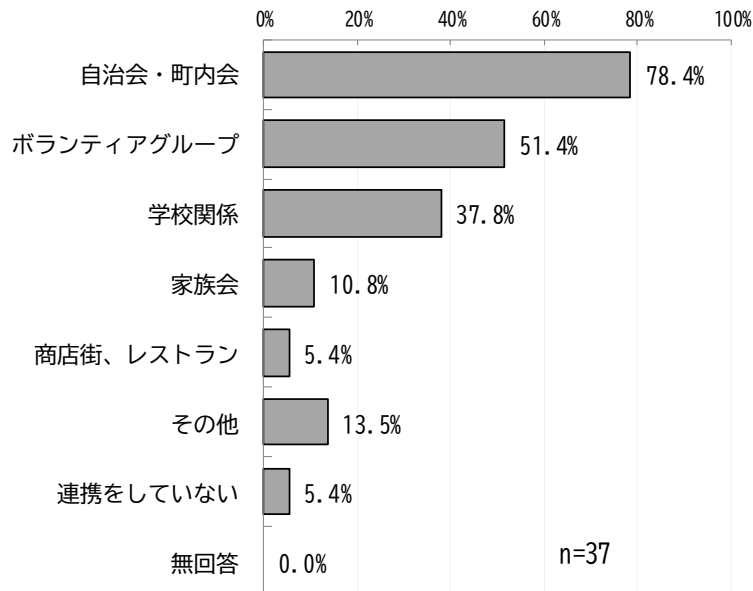
看取りを「実施していない」事業所において、看取りを実施していない理由について、「職員のスキル不足」「医療機関との連携が難しい」が60.0%となっている。



(3) 地域や他機関との連携について

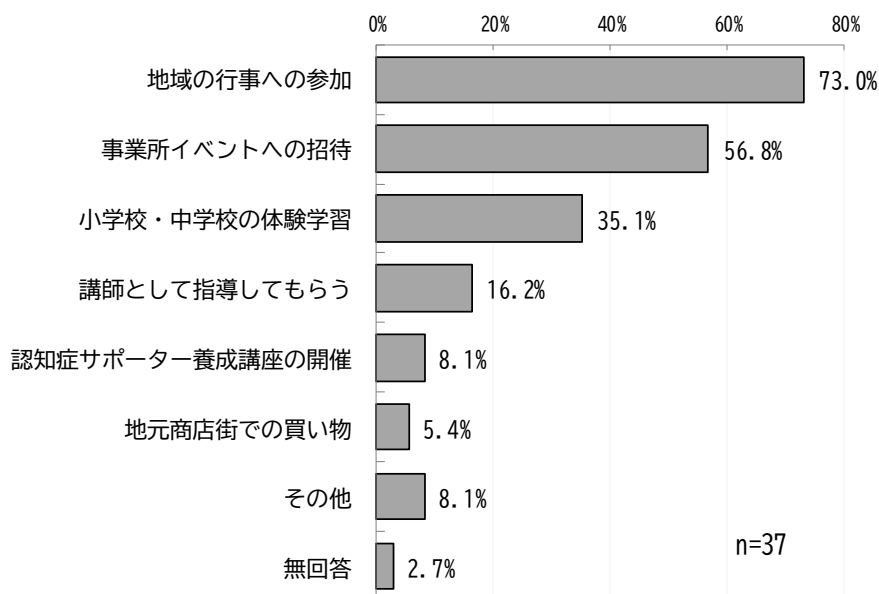
問3 (1) 地域のどのような組織と連携をしていますか (いくつでも○)。

地域の連携先として、「自治会・町内会」が78.4%と最も高く、「ボランティアグループ」が51.4%、「学校関係」が37.8%、「家族会」が10.8%、「商店街、レストラン」が5.4%となっている。また「連携をしていない」が5.4%となっている。



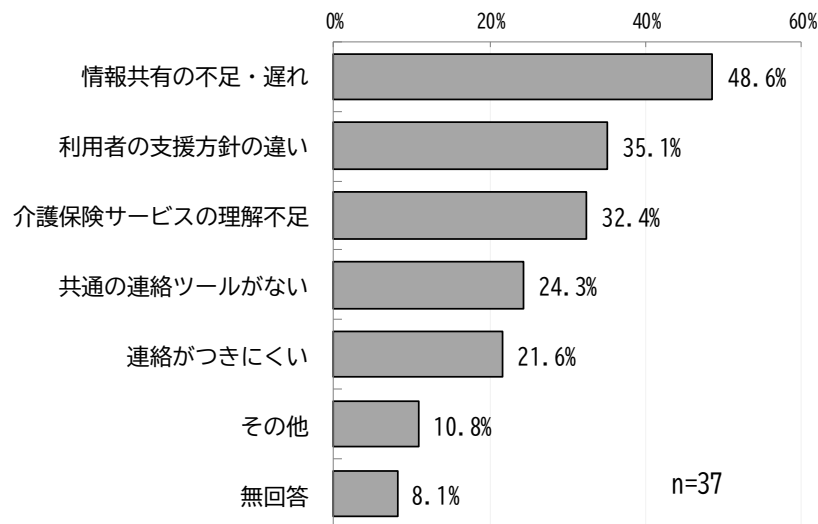
問3 (2) 地域とどのような連携をしていますか (いくつでも○)。

地域との連携方法として、「地域の行事への参加」が73.0%と最も高く、「事業所イベントへの招待」が56.8%、「小学校・中学校の体験学習」が35.1%、「講師として指導してもらう」が16.2%、「認知症サポーター養成講座の開催」が8.1%、「地元商店街での買い物」が5.4%となっている。



問3（3） 医療機関との連携時に感じている課題を教えてください
（いくつでも○）。

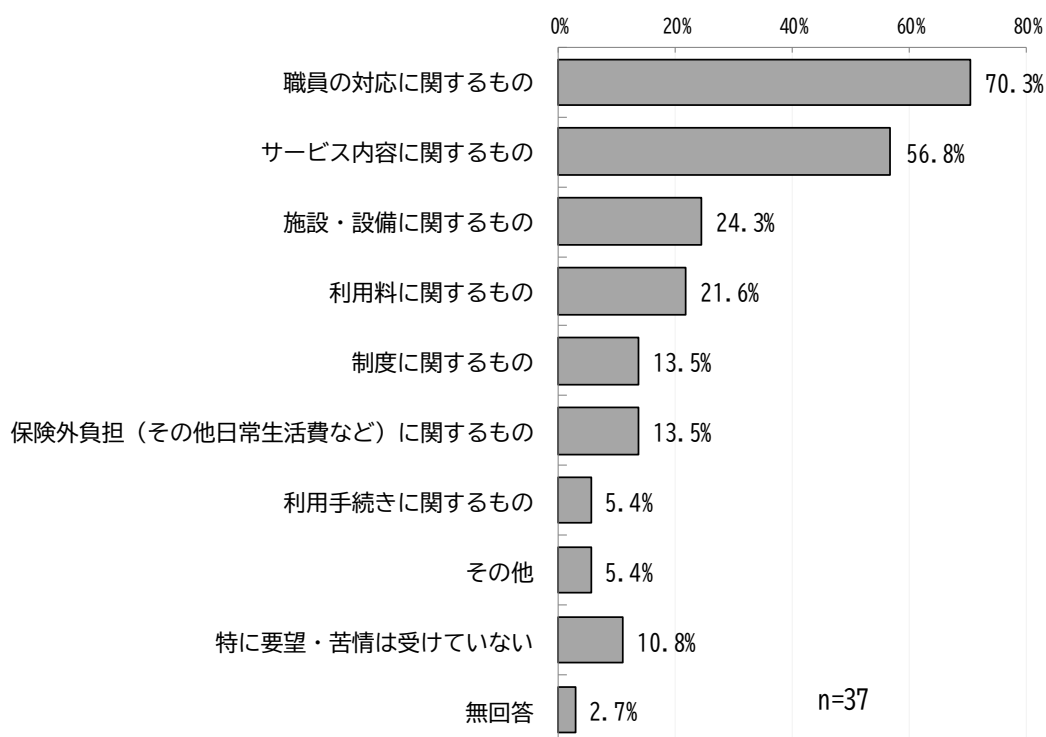
医療機関との連携時に感じている課題について、「情報共有の不足・遅れ」が48.6%で最も高く、「利用者の支援方針の違い」が35.1%、「介護保険サービスの理解不足」が32.4%、「共通の連絡ツールがない」が24.3%、「連絡がつきにくい」が21.6%となっている。



(4) 利用者からの声について

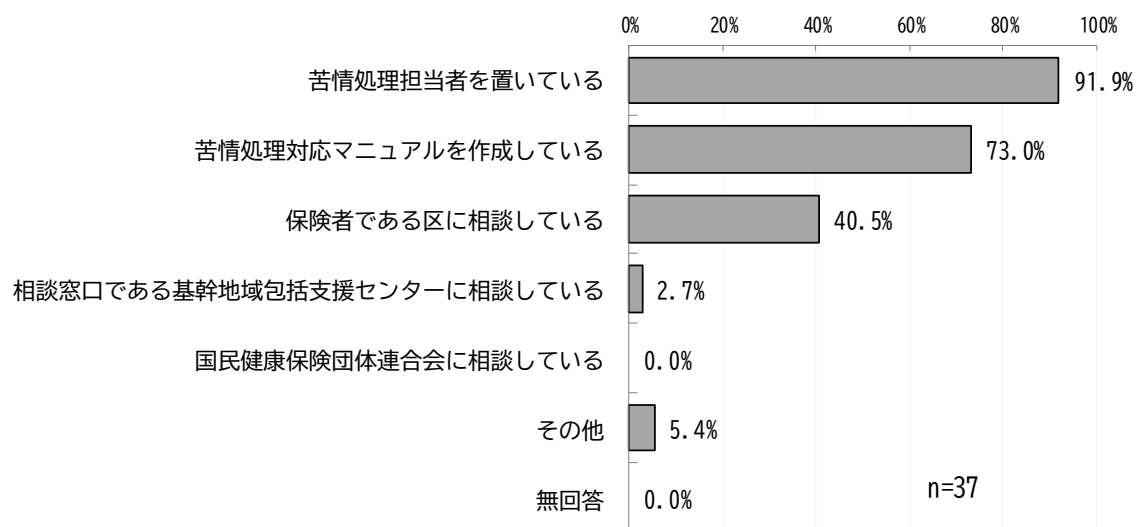
問4 (1) 令和6年度以降、利用者やその家族からどのような要望・苦情がありましたか（いくつでも○）。

令和6年度以降、利用者やその家族から受けた要望・苦情について、「職員の対応に関するもの」が70.3%と最も高く、「サービス内容に関するもの」が56.8%、「施設・設備に関するもの」が24.3%、「利用料に関するもの」が21.6%、「制度に関するもの」「保険外負担（その他日常生活費など）に関するもの」が13.5%、「利用手続きに関するもの」が5.4%となっている。また「特に要望・苦情は受けていない」が10.8%となっている。



問4（2） 利用者等から苦情があった場合、どのように対応していますか
（いくつでも○）。

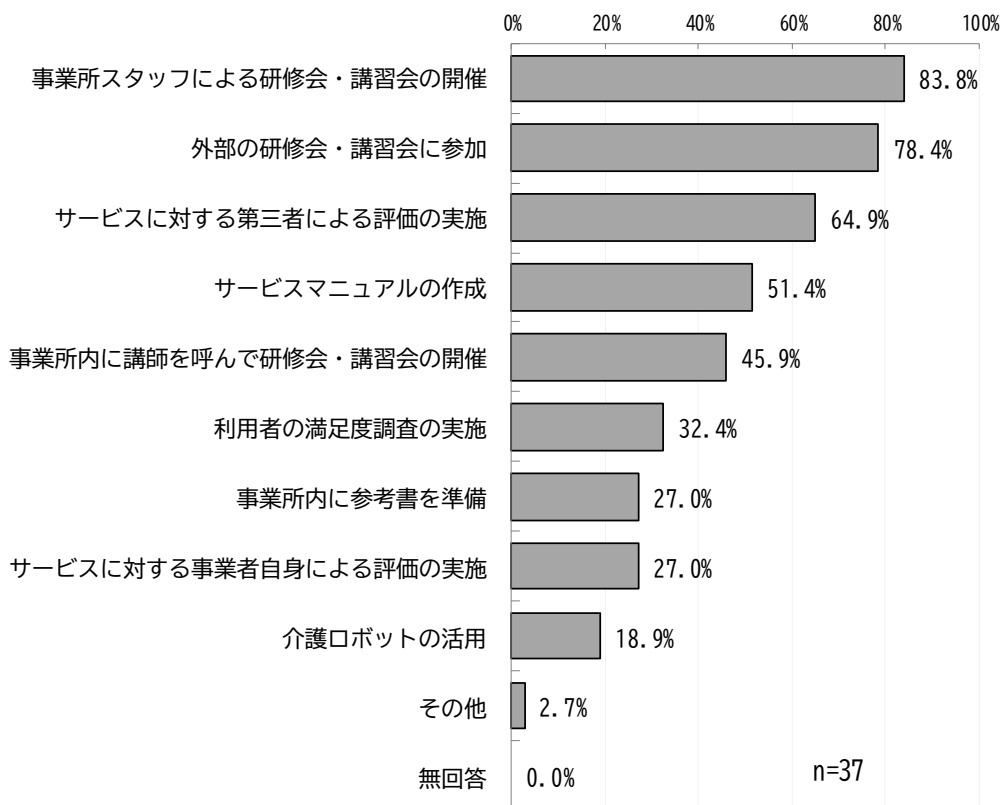
利用者等から苦情があった場合の対応として、「苦情処理担当者を置いている」が91.9%と最も高く、「苦情処理対応マニュアルを作成している」が73.0%、「保険者である区に相談している」が40.5%、「相談窓口である基幹地域包括支援センターに相談している」が2.7%、「国民健康保険団体連合会に相談している」が0.0%となっている。



(5) サービスの質の向上について

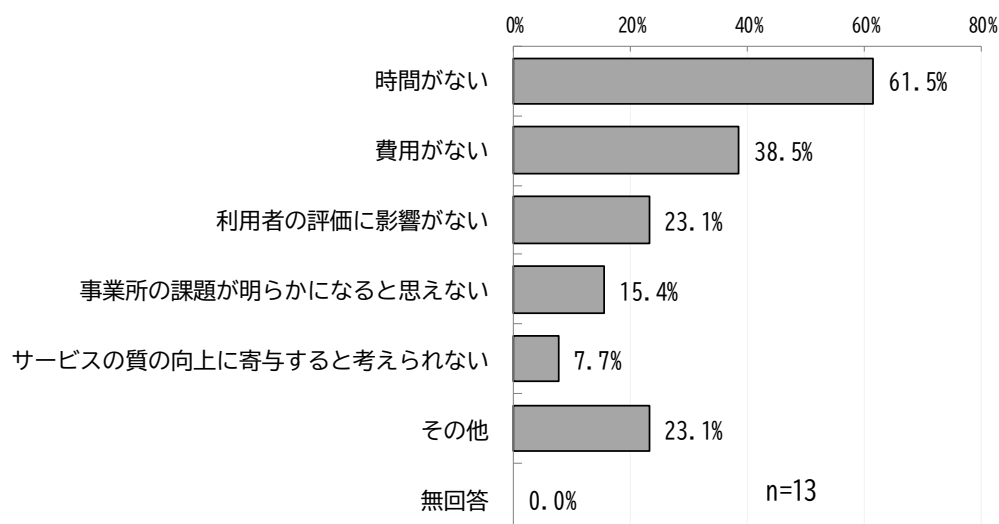
問5 (1) サービスの質の向上のために、どのような取り組みを行っていますか。今後の予定も含めてお答えください（いくつでも○）。

サービスの質の向上にむけて行っている取り組みについて、「事業所スタッフによる研修会・講習会の開催」が83.8%と最も高く、「外部の研修会・講習会に参加」が78.4%、「サービスに対する第三者による評価の実施」が64.9%、「サービスマニュアルの作成」が51.4%、「事業所内に講師を呼んで研修会・講習会の開催」が45.9%、「利用者の満足度調査の実施」が32.4%、「事業所内に参考書を準備」「サービスに対する事業者自身による評価の実施」が27.0%、「介護ロボットの活用」が18.9%となっている。



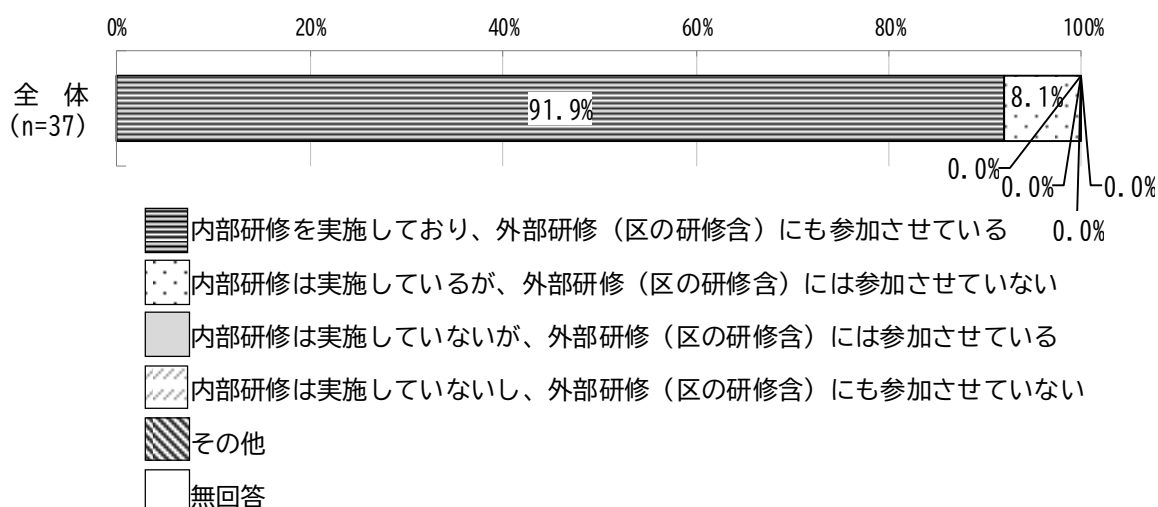
問5 (1) ① 第三者評価を受けていない理由は何ですか (いくつでも○)。

サービスの質の向上にむけて、「サービスに対する第三者による評価の実施」を行っていない事業所において、第三者評価を受けていない理由について、「時間がない」が61.5%と最も高く、「費用がない」が38.5%、「利用者の評価に影響がない」が23.1%、「事業所の課題が明らかになると思えない」が15.4%、「サービスの質の向上に寄与すると考えられない」が7.7%となっている。



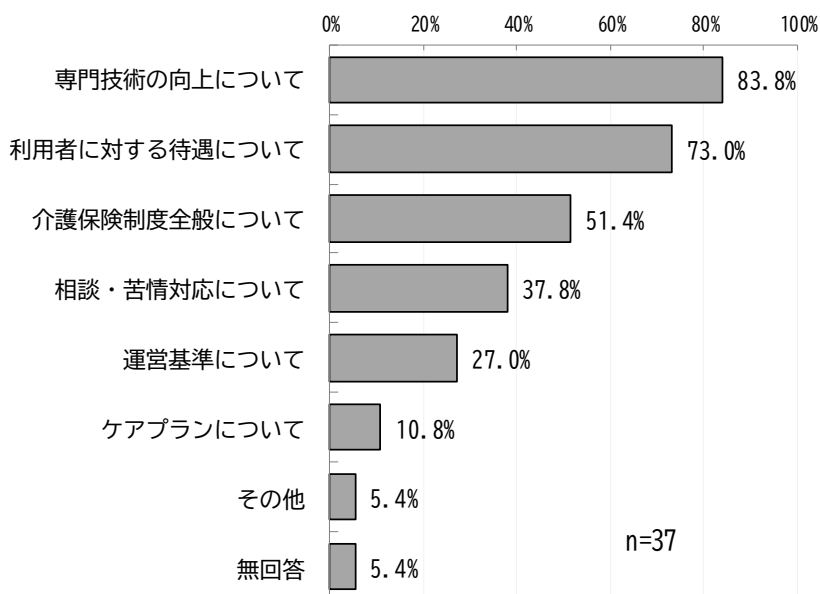
問5 (2) 職員に対する社内・社外研修の実施状況をお答えください (1つに○)。

職員に対する社内・社外研修の実施状況について、「内部研修を実施しており、外部研修（区の研修含）にも参加させている」が91.9%と最も高く、「内部研修は実施しているが、外部研修（区の研修含）には参加させていない」が8.1%、「内部研修は実施していないが、外部研修（区の研修含）には参加させている」「内部研修は実施していないし、外部研修（区の研修含）にも参加させていない」が0.0%となっている。



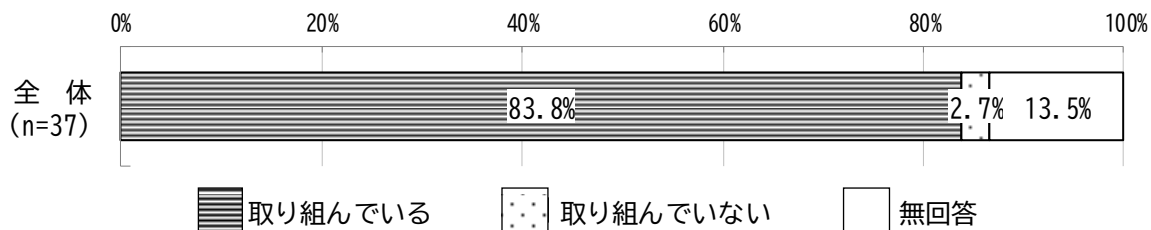
問5（2）① どのような内容の研修を実施されていますか。もしくはどのような研修に参加させていますか（いくつでも○）。

実施している、もしくは参加させている研修の内容について、「専門技術の向上について」が83.8%と最も高く、「利用者に対する待遇について」が73.0%、「介護保険制度全般について」が51.4%、「相談・苦情対応について」が37.8%、「運営基準について」が27.0%、「ケアプランについて」が10.8%となっている。



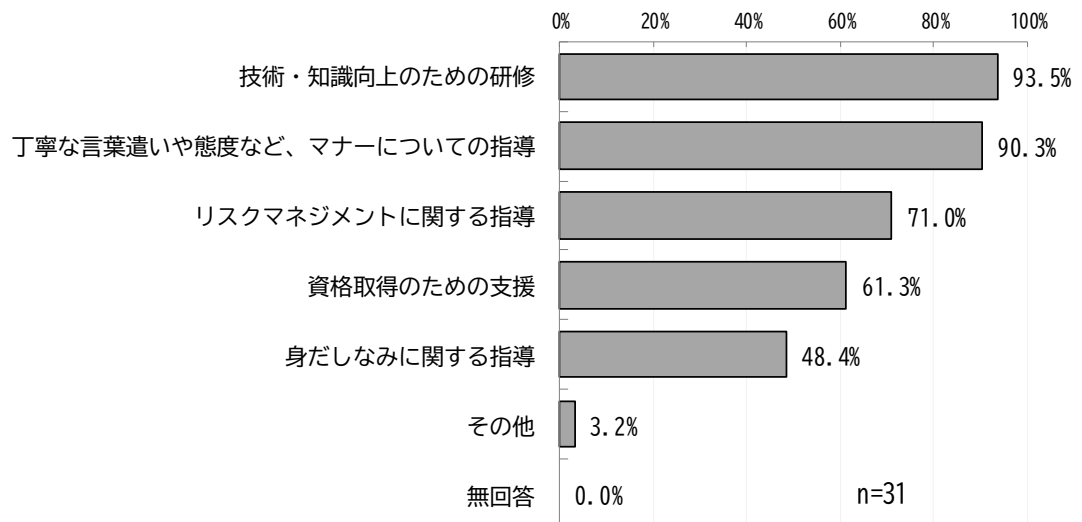
問5（3） 職員の教育に取り組んでいますか（1つに○）。

職員の教育について、「取り組んでいる」が83.8%、「取り組んでいない」が2.7%となっている。



問5（3）① 職員の教育で力を入れていることは何ですか（いくつでも○）。

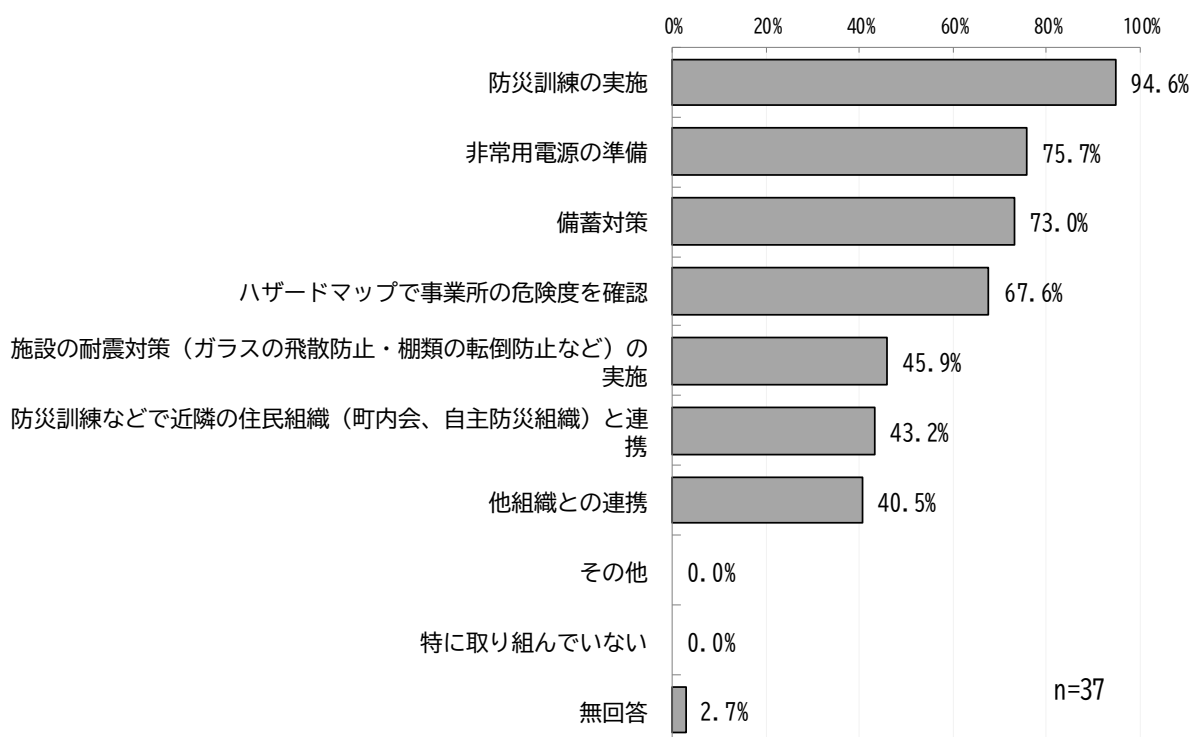
職員教育で力を入れている点について、「技術・知識向上のための研修」が93.5%と最も高く、「丁寧な言葉遣いや態度など、マナーについての指導」が90.3%、「リスクマネジメントに関する指導」が71.0%、「資格取得のための支援」が61.3%、「身だしなみに関する指導」が48.4%となっている。



(6) リスク管理について

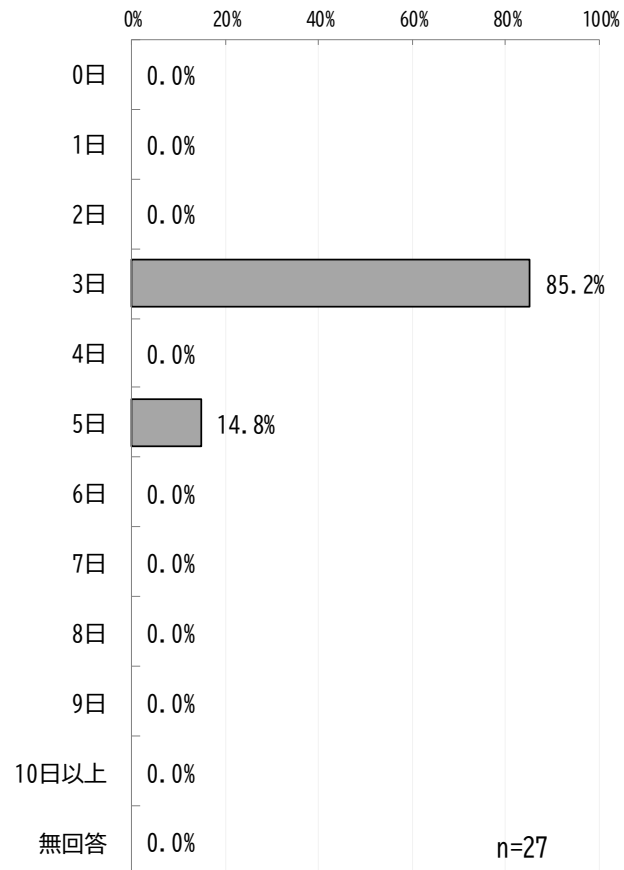
問6(1) 貴事業所が行っている有事（感染症や自然災害）を想定した平時の備えについて、お答えください（いくつでも○）。

事業所における有事（感染症や自然災害）を想定した平時の備えについて、「防災訓練の実施」が94.6%と最も高く、「非常用電源の準備」が75.7%、「備蓄対策」が73.0%、「ハザードマップで事業所の危険度を確認」が67.6%、「施設の耐震対策（ガラスの飛散防止・棚類の転倒防止など）の実施」が45.9%、「防災訓練などで近隣の住民組織（町内会、自主防災組織）と連携」が43.2%、「他組織との連携」が40.5%となっている。また「特に取り組んでいない」が0.0%となっている。



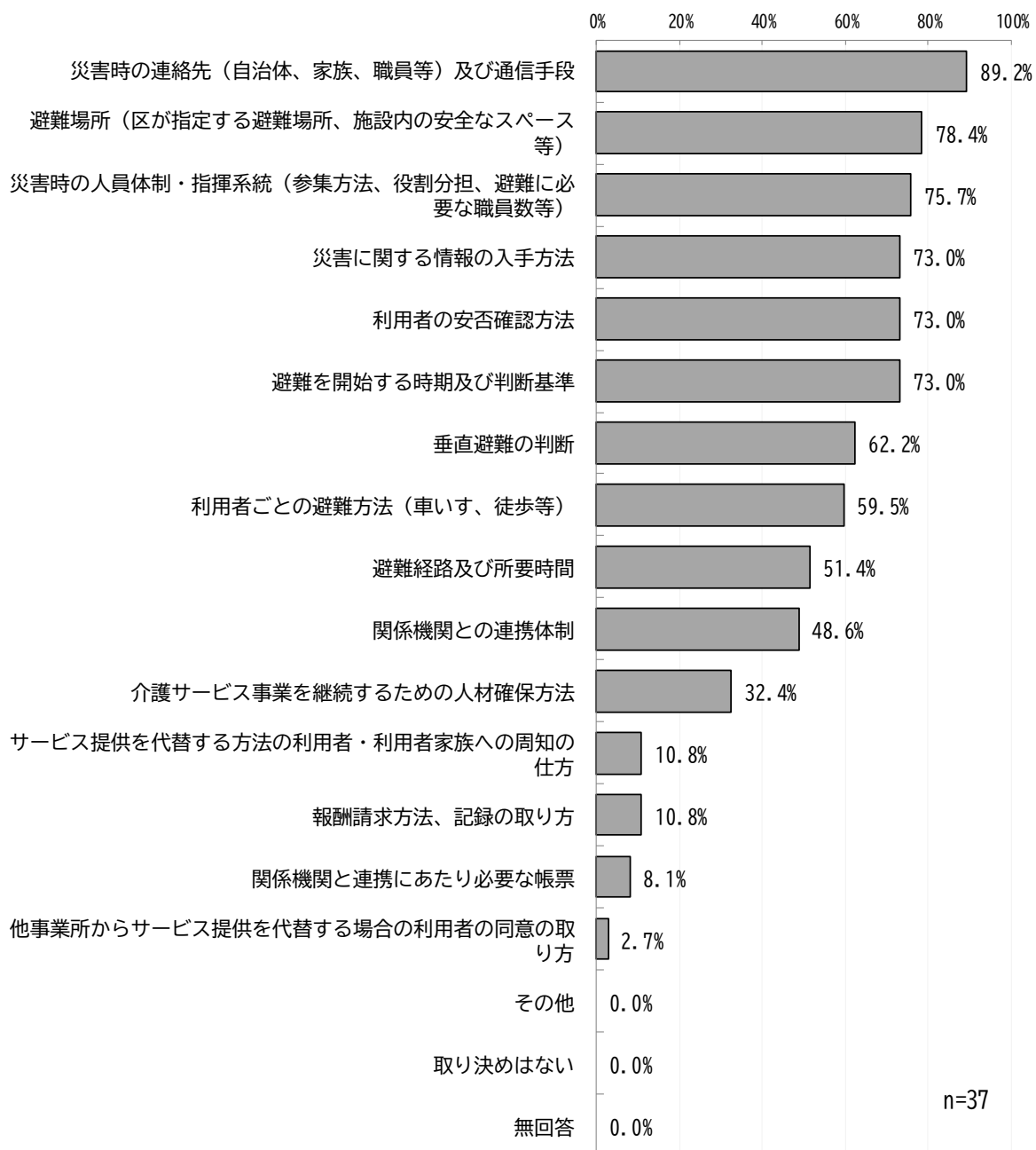
問6（1）① 備蓄は定員および職員あわせて何日分準備していますか（数字を記入）。

「備蓄対策」と回答した事業所の、事業所における災害時の備蓄を定員および職員をあわせて準備している日数は、「3日」が85.2%と最も高く、「5日」が14.8%となっている。



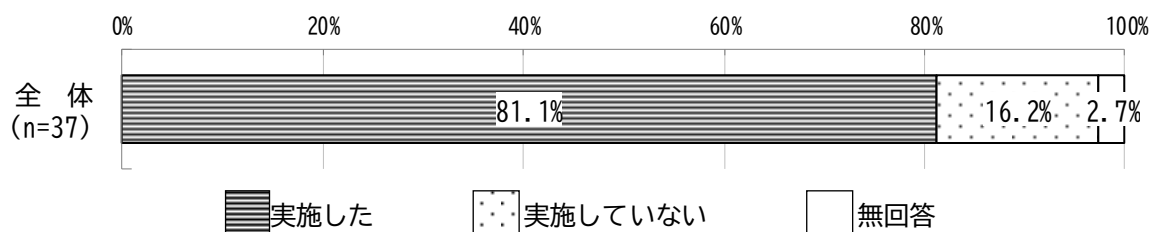
問6（2） 有事（感染症や自然災害）が発生した際に貴事業所で取り決められている内容について、お答えください（いくつでも○）。

有事（感染症や自然災害）が発生した際に事業所で取り決められている内容について、「災害時の連絡先（自治体、家族、職員等）及び通信手段」が89.2%と最も高く、「避難場所（区が指定する避難場所、施設内の安全なスペース等）」が78.4%、「災害時の人員体制・指揮系統（参集方法、役割分担、避難に必要な職員数等）」が75.7%、「災害に関する情報の入手方法」「利用者の安否確認方法」「避難を開始する時期及び判断基準」が73.0%と続いている。また「取り決めはない」が0.0%となっている。



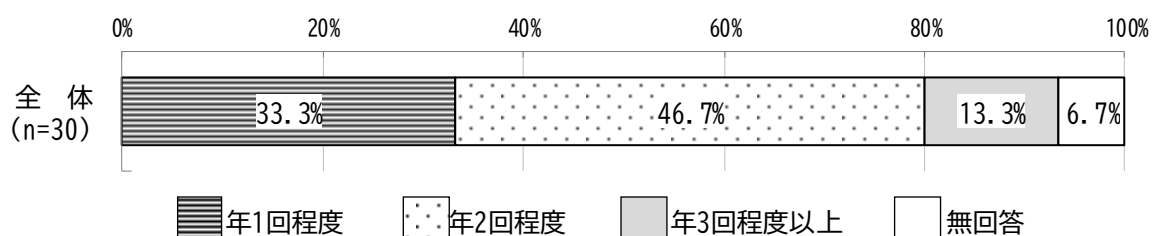
問6（3） 貴事業所は令和6・7年に水害を含む避難訓練を実施しましたか（1つに○・数字を記入）。

令和6年・7年における水害を含む避難訓練について、「実施した」が81.1%、「実施していない」が16.2%となっている。



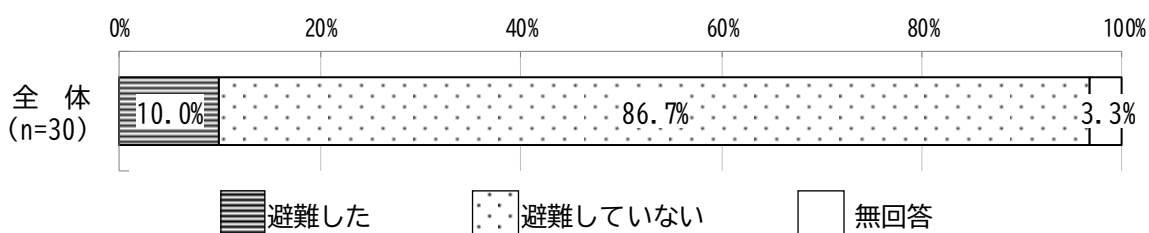
① 水害を含む避難訓練を実施した事業所の年間実施回数（数字で記入）

水害を含む避難訓練について、実施した事業所の実施回数は、「年2回程度」が46.7%と最も高く、「年1回程度」が33.3%、「年3回程度以上」が13.3%となっている。



問6（3）① 実施した避難訓練に介護度の最も重い方は参加しましたか（実際に避難しましたか）（1つに○）。

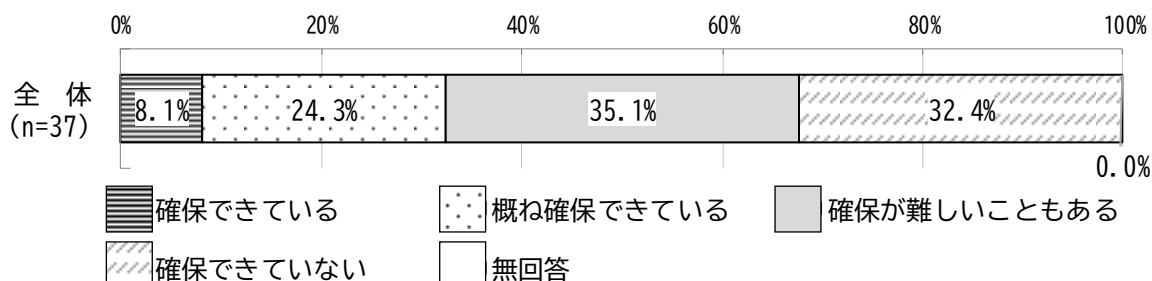
介護度の最も重い方の避難訓練への参加について、「避難した」が10.0%、「避難していない」が86.7%となっている。



(7) 人材確保について

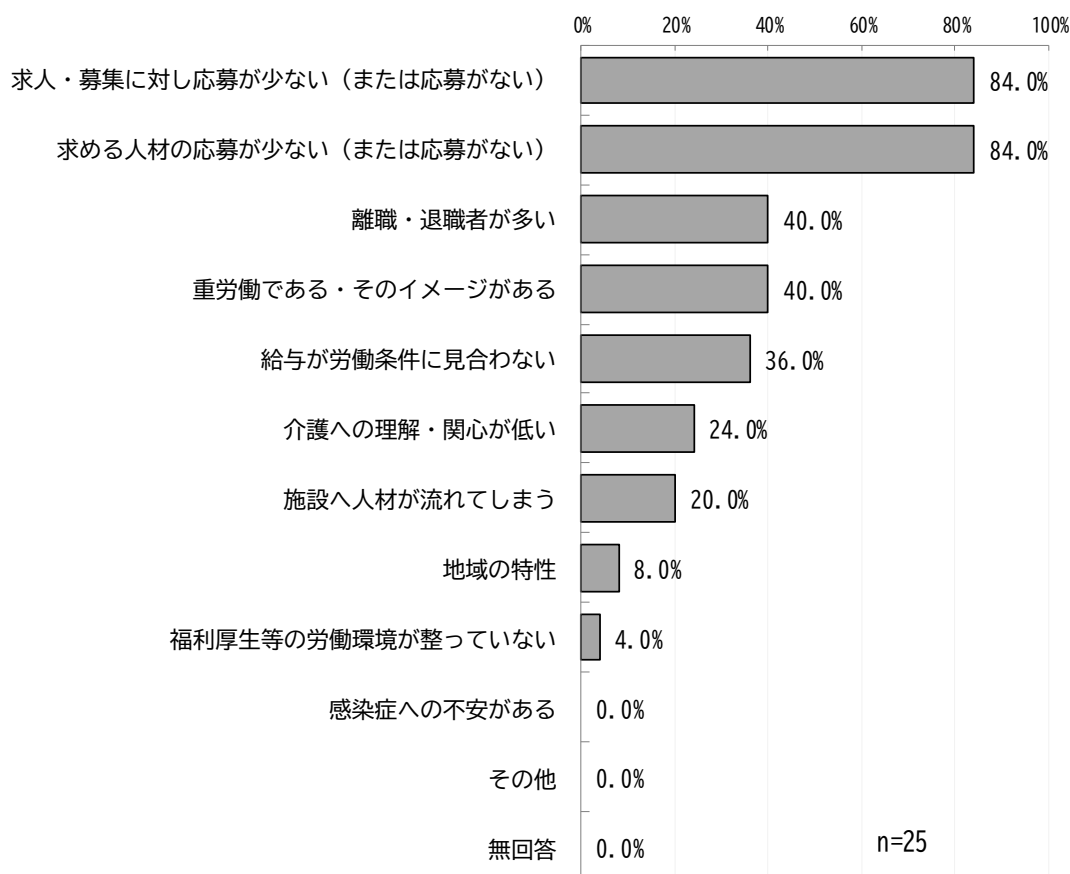
問7(1) 貴事業所では、介護職員等の人材は確保できていますか(1つに○)。

事業所の介護職員等の人材について、「確保が難しいこともある」が35.1%と最も高く、「確保できていない」が32.4%、「概ね確保できている」が24.3%、「確保できている」が8.1%となっている。



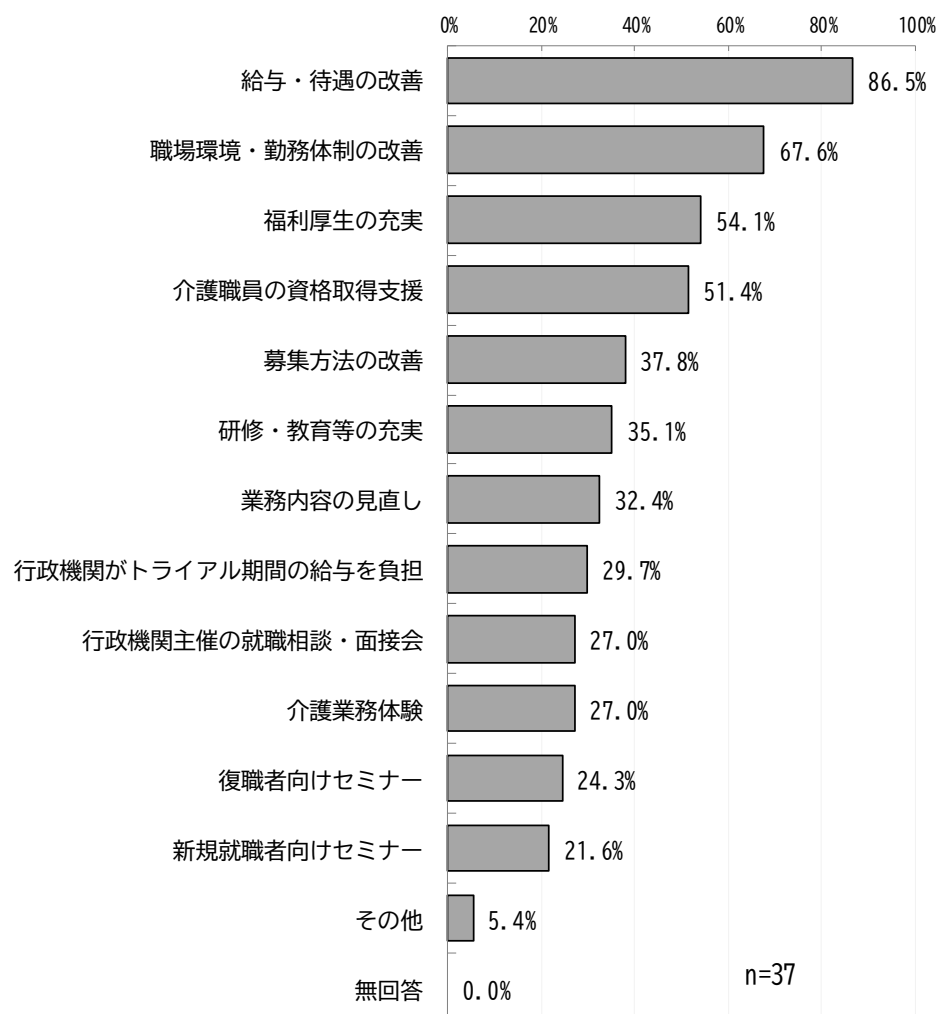
問7(1)① その理由は何ですか(いくつでも○)。

介護職員等の人材について、「確保が難しいこともある」または「確保できていない」と回答した事業所の、人材確保が難しい理由として、「求人・募集に対し応募が少ない(または応募がない)」「求める人材の応募が少ない(または応募がない)」が84.0%と最も高く、「離職・退職者が多い」「重労働である・そのイメージがある」が40.0%、「給与が労働条件に見合わない」が36.0%、「介護への理解・関心が低い」が24.0%、「施設へ人材が流れてしまう」が20.0%、「地域の特性」が8.0%、「福利厚生等の労働環境が整っていない」が4.0%、「感染症への不安がある」が0.0%となっている。



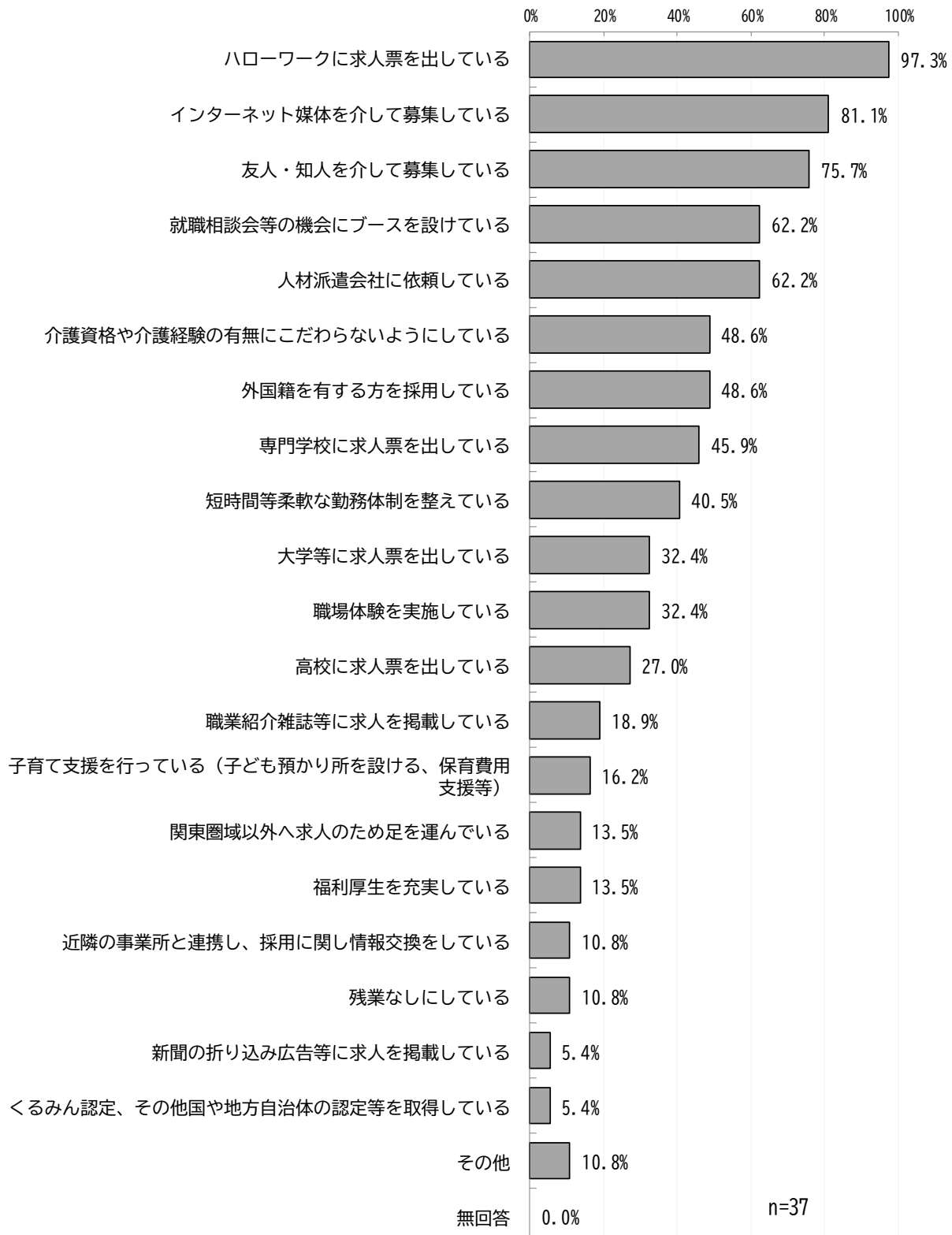
問7(2) 人材確保支援策として有効だと思うものは何ですか(いくつでも○)。

人材確保支援策として有効だと思うものについて、「給与・待遇の改善」が86.5%と最も高く、「職場環境・勤務体制の改善」が67.6%、「福利厚生の充実」が54.1%、「介護職員の資格取得支援」が51.4%、「募集方法の改善」が37.8%、「研修・教育等の充実」が35.1%、「業務内容の見直し」が32.4%、「行政機関がトライアル期間の給与を負担」が29.7%、「行政機関主催の就職相談・面接会」「介護業務体験」が27.0%、「復職者向けセミナー」が24.3%、「新規就職者向けセミナー」が21.6%となっている。



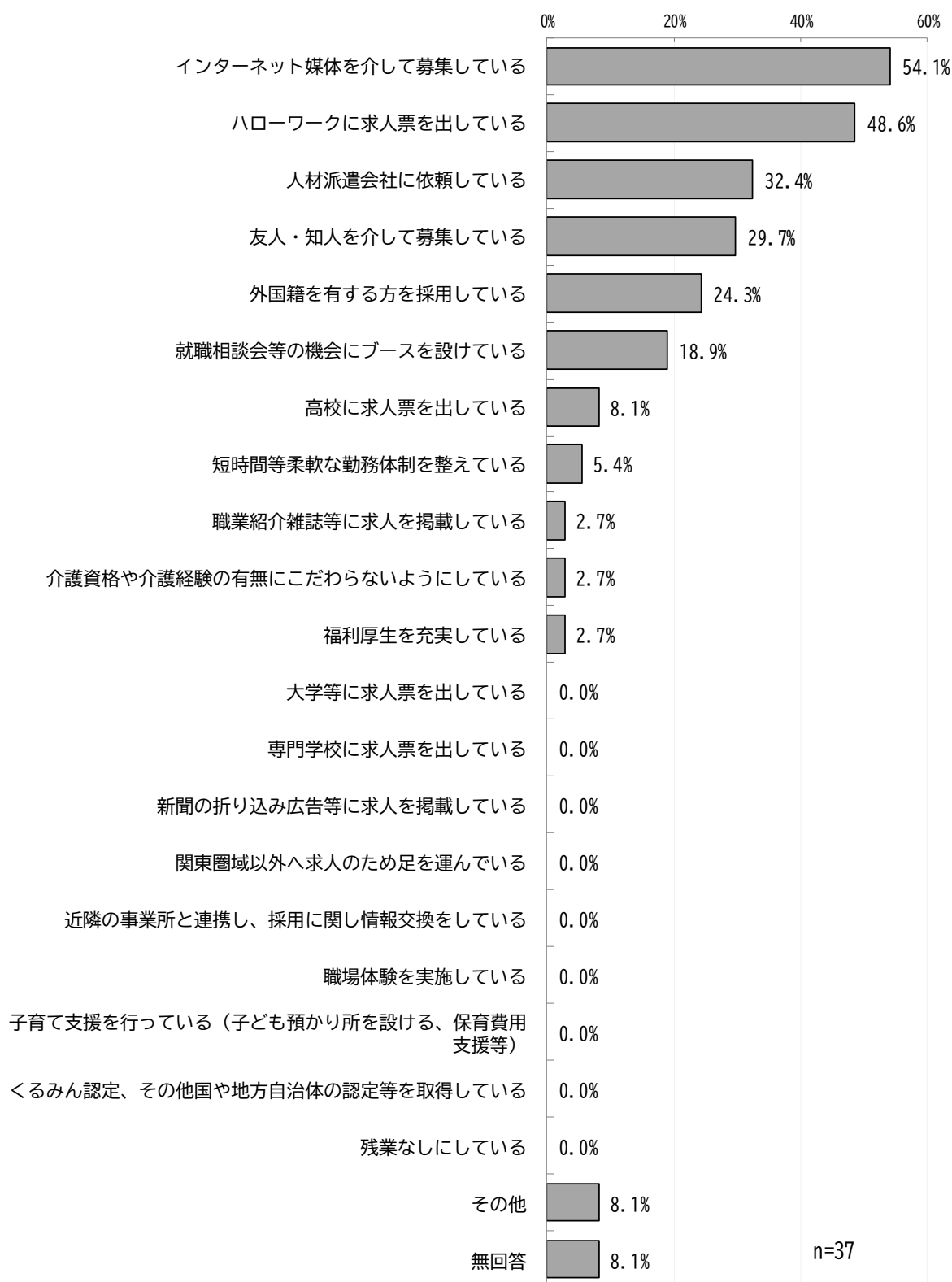
問7（3） 貴事業所では、職員の募集（採用）にあたりどのような工夫を行っていますか（いくつでも○）。

事業所の職員募集の方法について、「ハローワークに求人票を出している」が97.3%と最も高く、「インターネット媒体を介して募集している」が81.1%、「友人・知人を介して募集している」が75.7%、「就職相談会等の機会にブースを設けている」「人材派遣会社に依頼している」が62.2%と続いている。



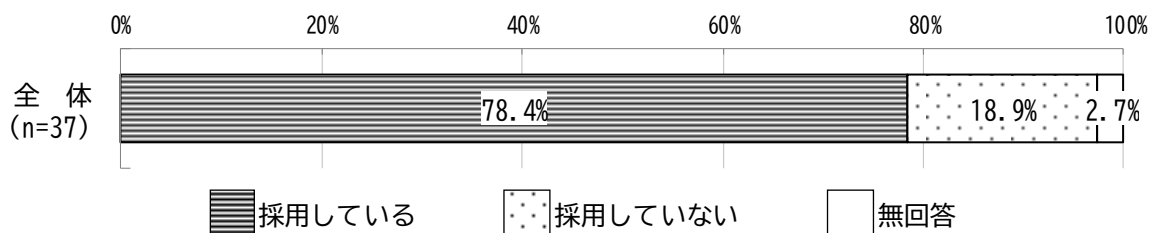
問7（4） 職員募集（採用）で効果のあったものは何ですか（3つまで数字を記入）。

職員募集で効果のあったものとして、「インターネット媒体を介して募集している」が54.1%と最も高く、「ハローワークに求人票を出している」が48.6%、「人材派遣会社に依頼している」が32.4%、「友人・知人を介して募集している」が29.7%、「外国籍を有する方を採用している」が24.3%と続いている。



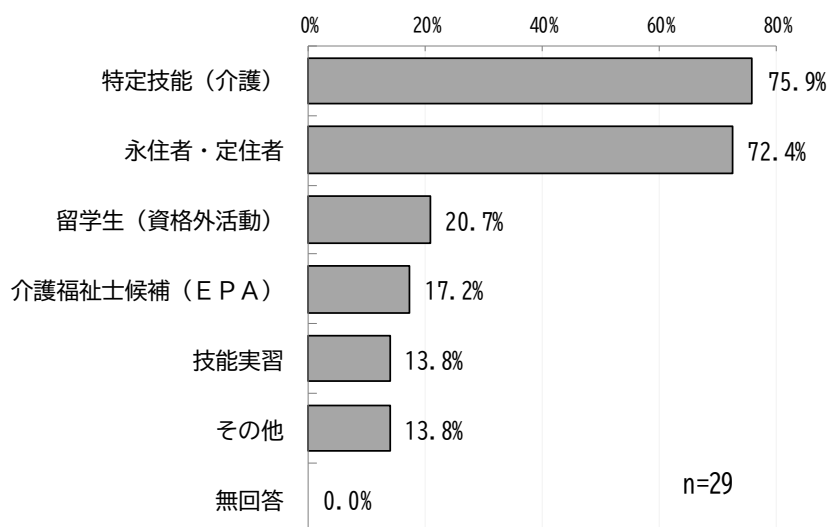
問7（5） 貴事業所では、外国籍を有する方を採用していますか（1つに○）。

外国籍を有する方の採用について、「採用している」が78.4%と最も高く、「採用していない」が18.9%となっている。



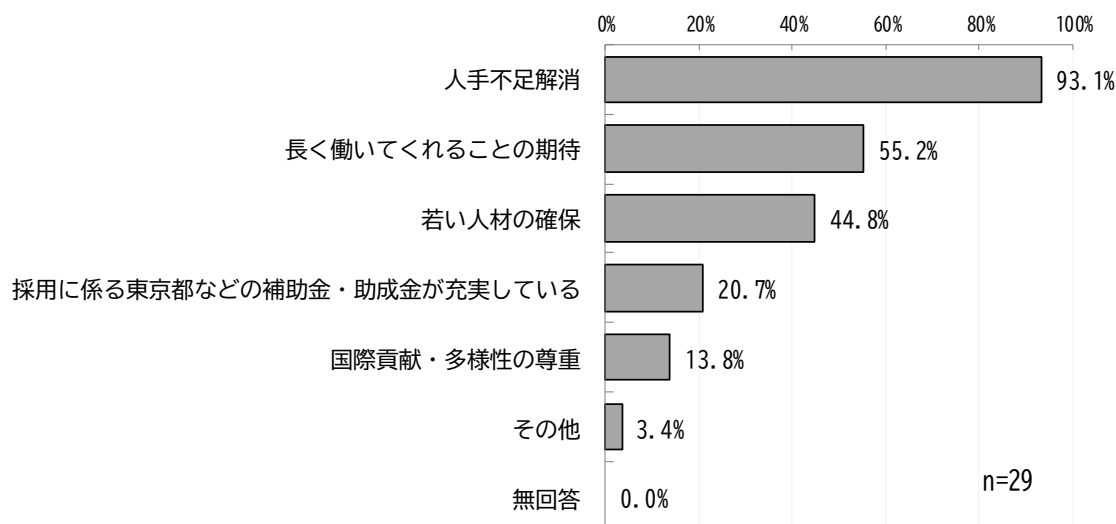
問7（5）① 採用した外国籍を有する方の在留資格を教えてください（いくつでも○）。

採用した外国籍を有する方の在留資格について、「特定技能（介護）」が75.9%と最も高く、「永住者・定住者」が72.4%、「留学生（資格外活動）」が20.7%、「介護福祉士候補(EPA)」が17.2%、「技能実習」が13.8%となっている。



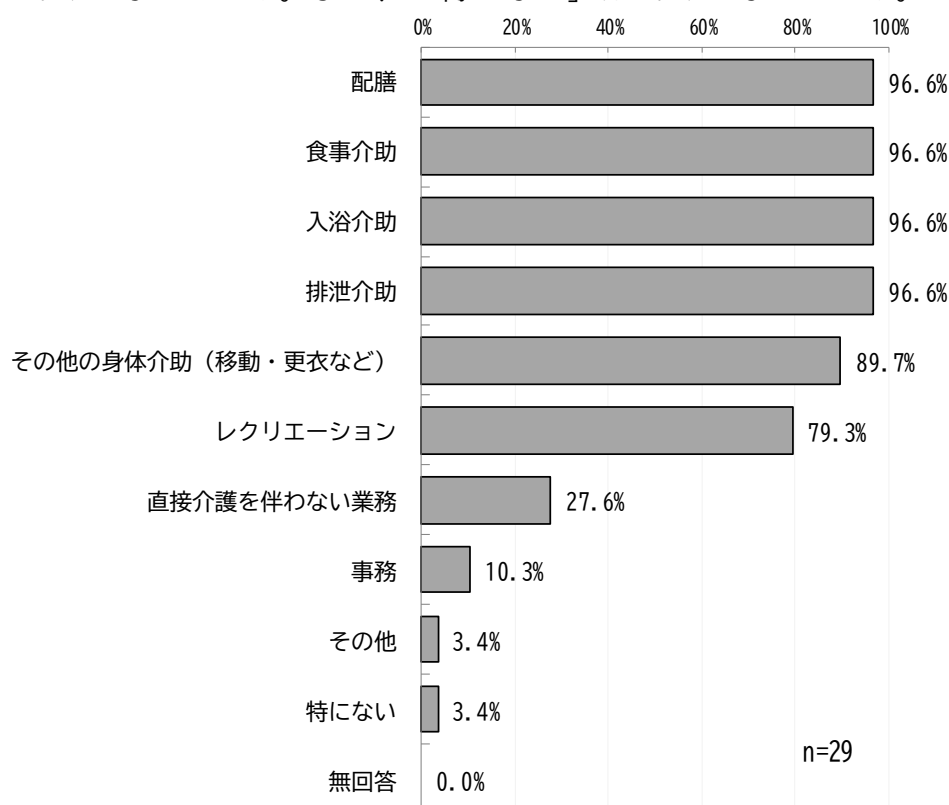
問7(5)② 外国籍を有する方を採用した主な理由を教えてください（いくつでも○）。

外国籍を有する方の主な採用理由について、「人手不足解消」が93.1%で最も高く、「長く働いてくれることの期待」が55.2%、「若い人材の確保」が44.8%、「採用に係る東京都などの補助金・助成金が充実している」が20.7%、「国際貢献・多様性の尊重」が13.8%となっている。



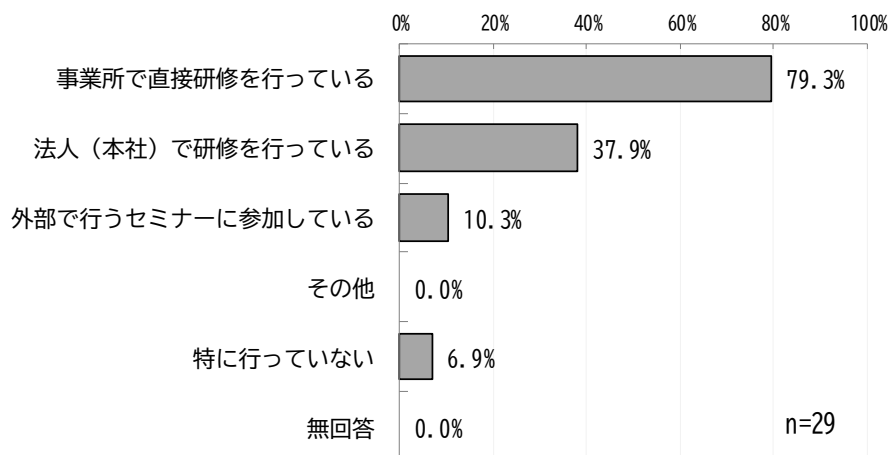
問7(5)③ 外国籍を有する方が行っている主な業務は何ですか（いくつでも○）。

外国籍を有する方が行っている主な業務について、「配膳」「食事介助」「入浴介助」「排泄介助」が96.6%と最も高く、「その他の身体介助（移動・更衣など）」が89.7%、「レクリエーション」が79.3%、「直接介護を伴わない業務」が27.6%、「事務」が10.3%となっている。また、「特にない」は3.4%となっている。



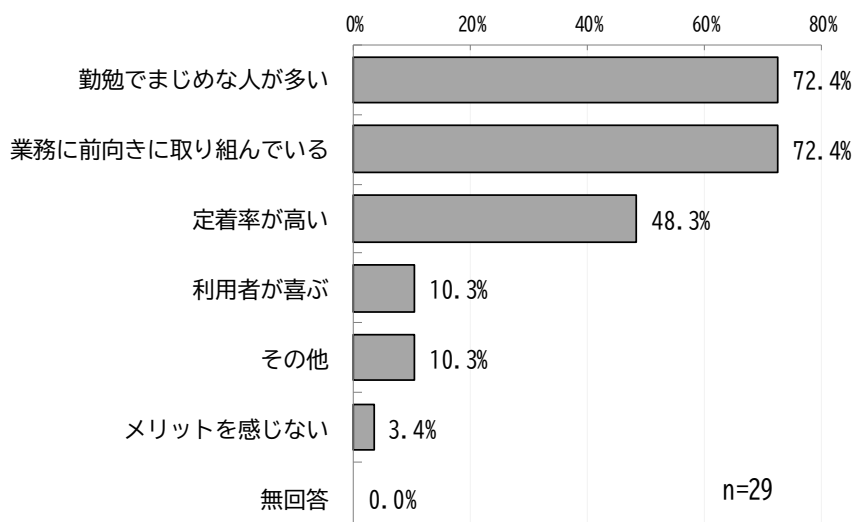
問7（5）④ 外国籍を有する方への教育はどのようにしていますか（いくつでも○）。

外国籍を有する方を「採用している」と回答した事業所の、必要な教育の実施状況について、「事業所で直接研修を行っている」が79.3%と最も高く、「法人（本社）で研修を行っている」が37.9%、「外部で行うセミナーに参加している」が10.3%、「特に行っていない」が6.9%となっている。



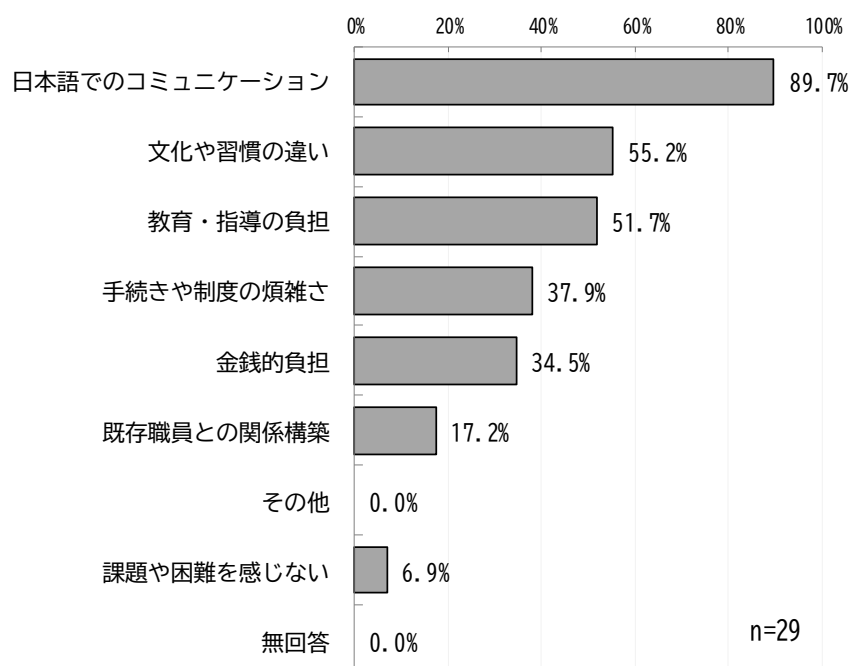
問7（5）⑤ 外国籍を有する方を採用して感じたメリットを教えてください（いくつでも○）。

外国籍を有する方の主な採用理由について、「勤勉でまじめな人が多い」「業務に前向きに取り組んでいる」が72.4%と最も高く、「定着率が高い」が48.3%、「利用者が喜ぶ」が10.3%、「メリットを感じない」が3.4%となっている。



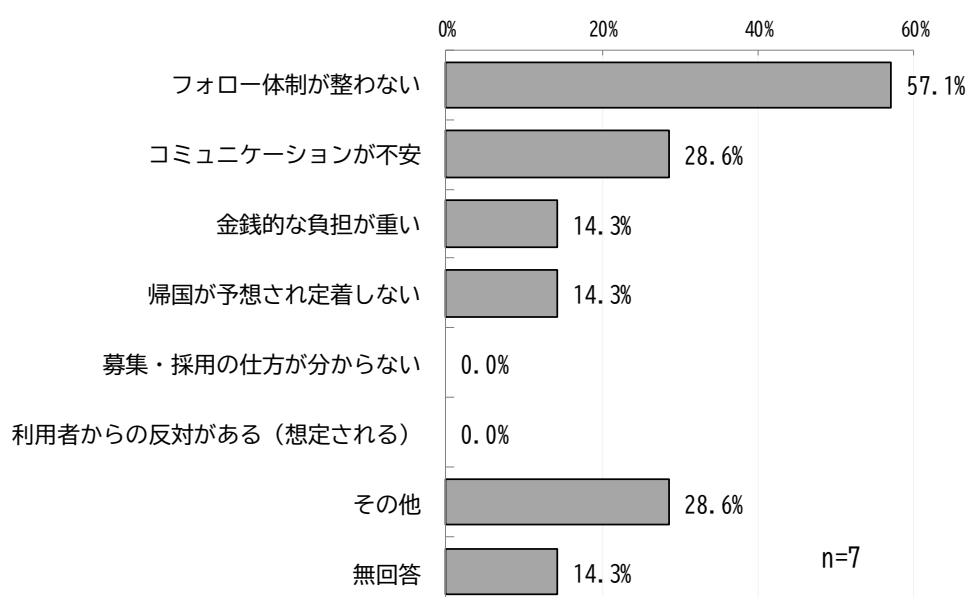
問7 (5) ⑥ 外国籍を有する方を採用して感じた課題や困難を感じたことを教えてください（いくつでも○）。

外国籍を有する方を採用して感じた課題や困難を感じたことについて、「日本語でのコミュニケーション」が89.7%が最も高く、「文化や習慣の違い」が55.2%、「教育・指導の負担」が51.7%、「手続きや制度の煩雑さ」が37.9%、「金銭的負担」が34.5%、「既存職員との関係構築」が17.2%、「課題や困難を感じない」が6.9%となっている。



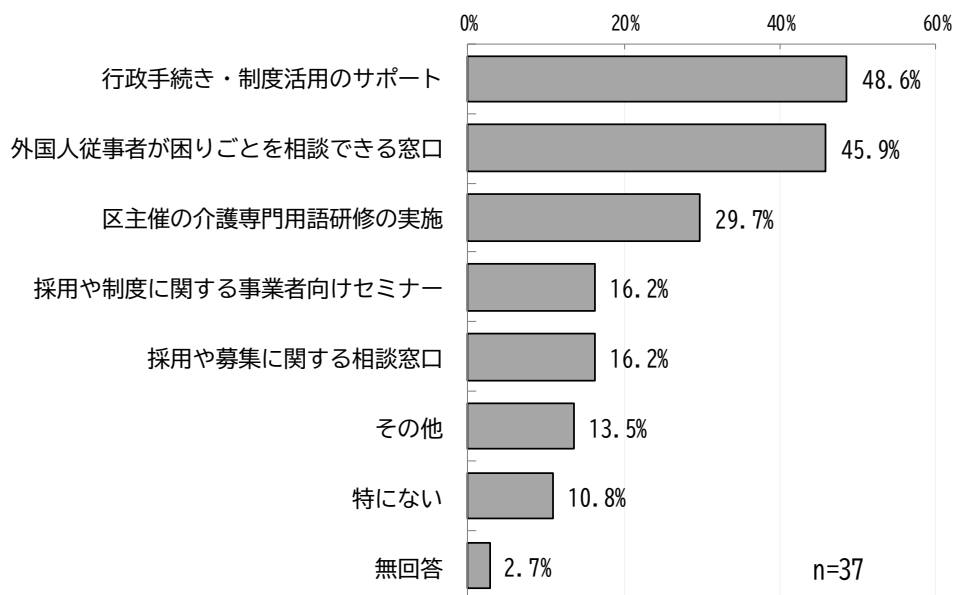
問7 (5) ⑦ 外国籍を有する方を採用していない理由は何ですか（いくつでも○）。

外国籍を有する方を採用していない理由は、「フォロー体制が整わない」が57.1%が最も高く、「コミュニケーションが不安」が28.6%、「金銭的な負担が重い」「帰国が予想され定着しない」が14.3%、「募集・採用の仕方が分からない」「利用者からの反対がある（想定される）」が0.0%となっている。



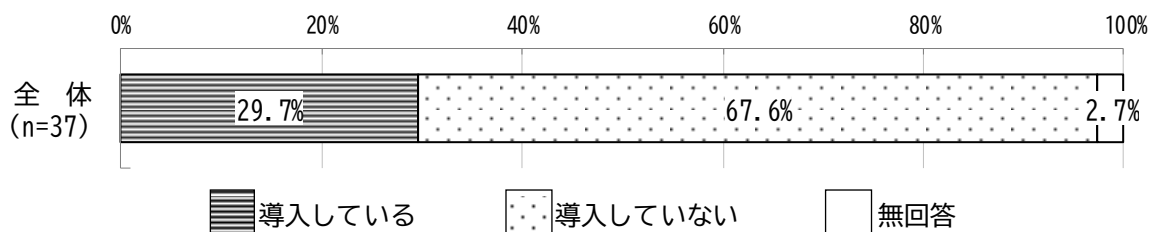
問7（6） 外国籍を有する方の採用・定着のために必要だと感じる支援を教えてください（いくつでも○）。

外国籍を有する方の採用・定着のために必要だと感じる支援は、「行政手続き・制度活用のサポート」が48.6%と最も高く、「外国人従事者が困りごとを相談できる窓口」が45.9%、「区主催の介護専門用語研修の実施」が29.7%、「採用や制度に関する事業者向けセミナー」「採用や募集に関する相談窓口」が16.2%、「特にない」が10.8%となっている。



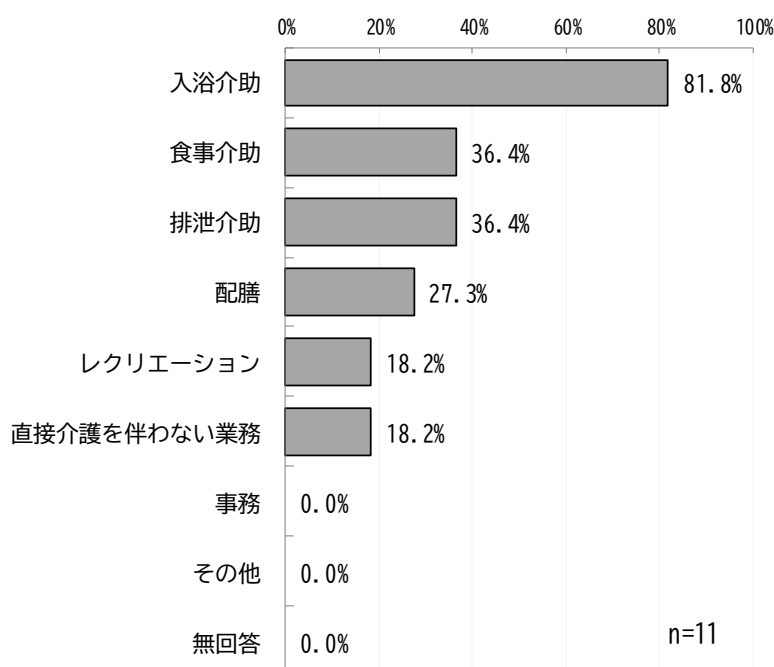
問7（7） スポットワーク（単発・短時間勤務の人材活用）を導入していますか（1つに○）。

スポットワーク（単発・短時間勤務の人材活用）導入状況について、「導入している」が29.7%、「導入していない」が67.6%となっている。



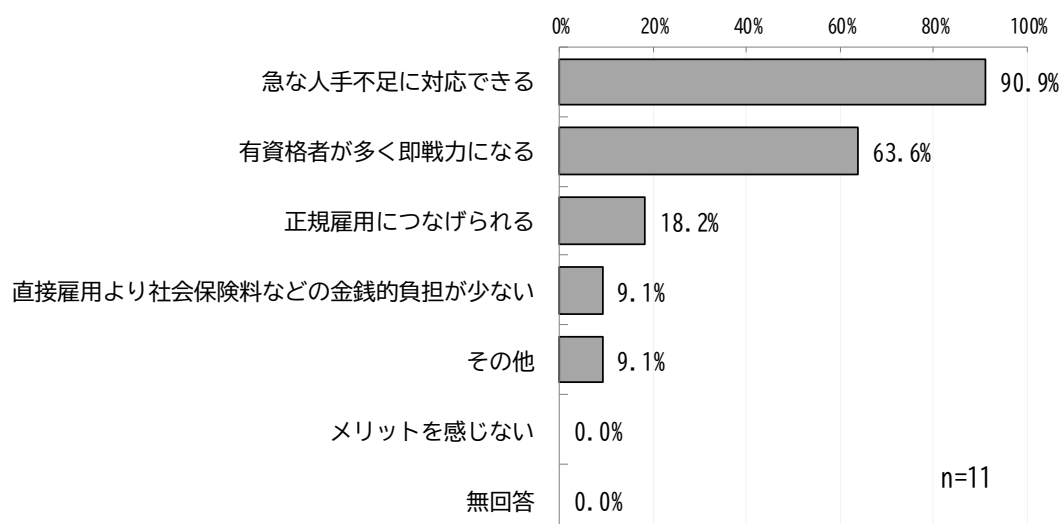
問7 (7) ① どの業務にスポットワークを導入しているか教えてください（いくつでも○）。

スポットワークを導入している業務について、「入浴介助」は 81.8%と最も高く、「食事介助」「排泄介助」が 36.4%、「配膳」が 27.3%、「レクリエーション」「直接介護を伴わない業務」が 18.2%、「事務」が 0.0%となっている。



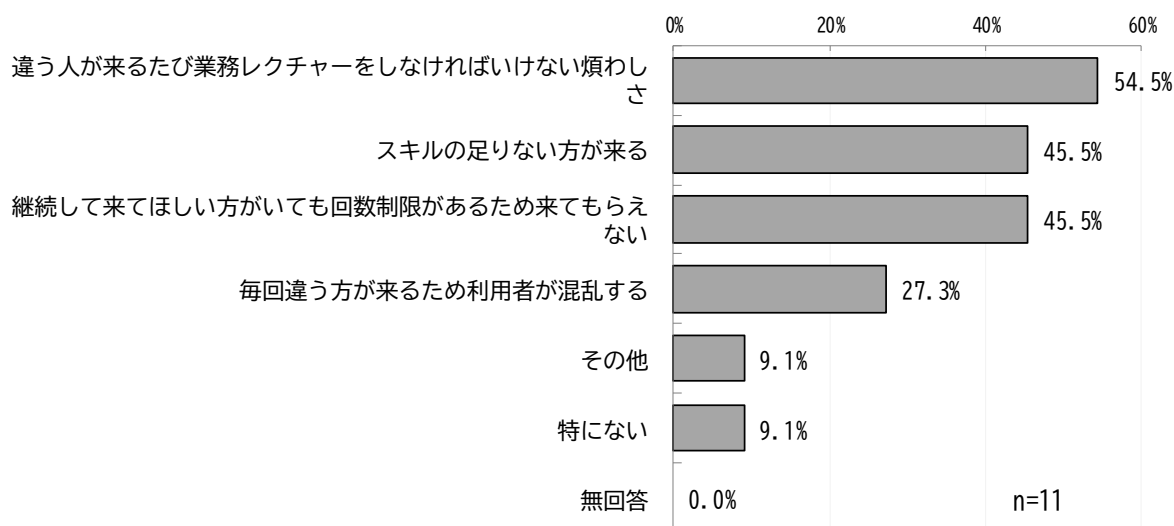
問7 (7) ② スポットワークを導入して感じたメリットを教えてください（いくつでも○）。

スポットワークを導入して感じたメリットについて、「急な人手不足に対応できる」が 90.9%と最も高く、「有資格者が多く即戦力になる」が 63.6%、「正規雇用につなげられる」が 18.2%、「直接雇用よりも社会保険料などの金銭的負担が少ない」が 9.1%、「メリットを感じない」が 0.0%となっている。



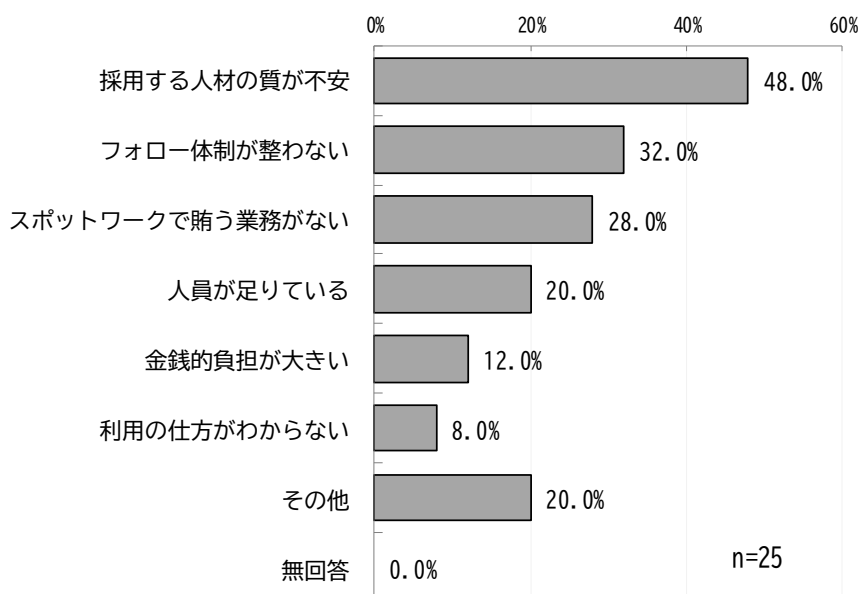
問7 (7) ③ スポットワークを導入して感じた課題を教えてください（いくつでも○）。

スポットワークを導入して感じた課題について、「違う人が来るたび業務レクチャーをしなければいけない煩わしさ」が54.5%と最も高く、「スキルの足りない方が来る」「継続して来てほしい方がいても回数制限があるため来てもらえない」が45.5%、「毎回違う方が来るため利用者が混乱する」が27.3%、「特にない」が9.1%となっている。



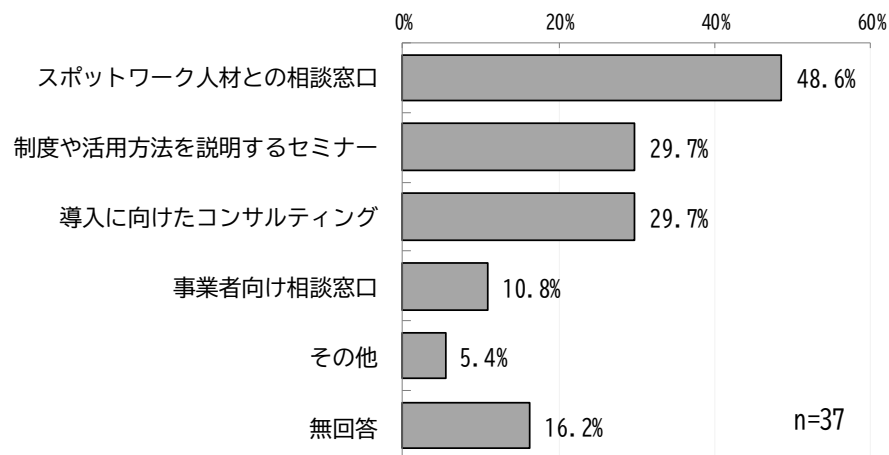
問7 (7) ④ スポットワークを導入していない理由を教えてください（いくつでも○）。

スポットワークを導入していない理由について、「採用する人材の質が不安」が48.0%と最も高く、「フォロー体制が整わない」が32.0%、「スポットワークで賄う業務がない」が28.0%、「人員が足りている」が20.0%、「金銭的負担が大きい」が12.0%、「利用の仕方がわからない」が8.0%となっている。



問7（8） スポットワークを利用するために必要だと感じる支援を教えてください（いくつでも○）。

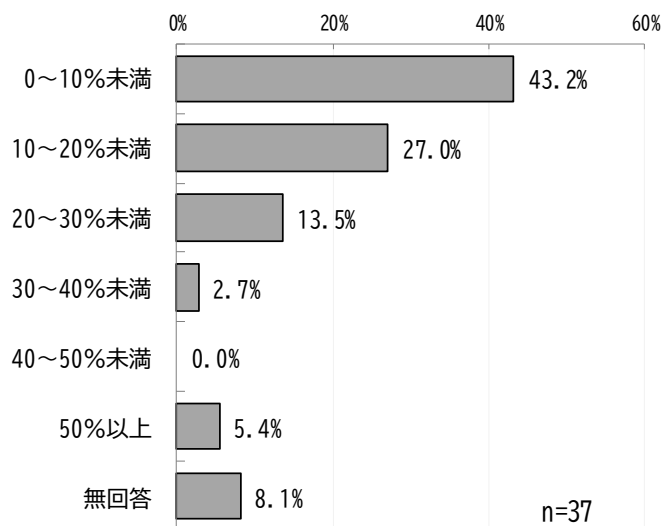
スポットワークを利用するために必要だと感じる支援について、「スポットワーク人材との相談窓口」が48.6%と最も高く、「制度や活用方法を説明するセミナー」「導入に向けたコンサルティング」が29.7%、「事業者向け相談窓口」が10.8%となっている。



問7(9) 令和6年(1月から12月)の入職率と離職率についてお答えください
(それぞれ1つに○)。

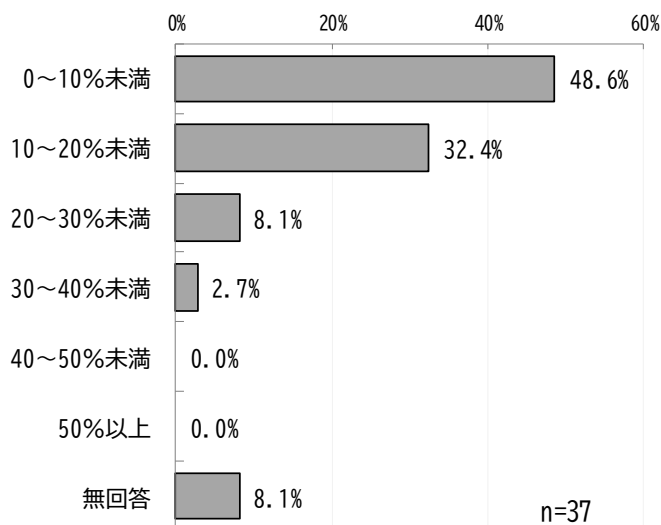
① 正規職員 入職率

令和6年(1月から12月)の正規職員の入職率について、「0～10%未満」が43.2%と最も高く、「10～20%未満」が27.0%、「20～30%未満」が13.5%、「50%以上」が5.4%、「30～40%未満」が2.7%、「40～50%未満」が0.0%となっている。



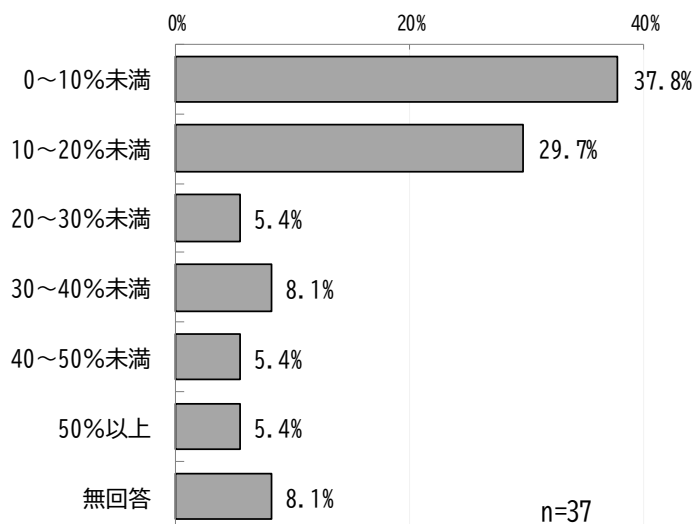
② 正規職員 離職率

令和6年(1月から12月)の正規職員の離職率について、「0～10%未満」が48.6%と最も高く、「10～20%未満」が32.4%、「20～30%未満」が8.1%、「30～40%未満」が2.7%、「40～50%未満」「50%以上」が0.0%となっている。



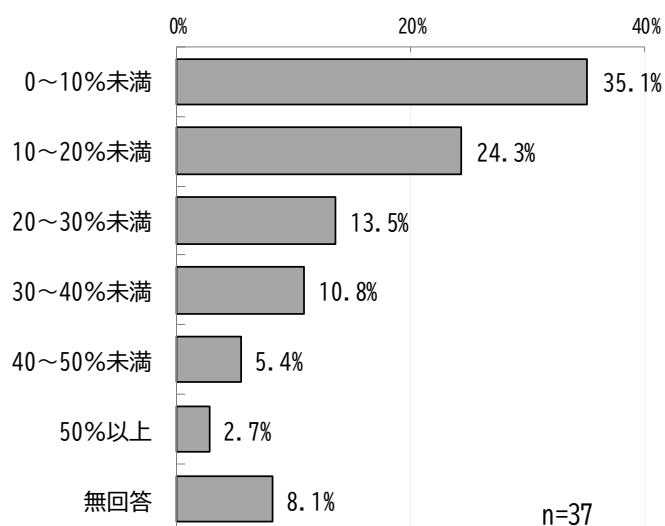
③ 非正規職員 入職率

令和6年（1月から12月）の非正規職員の入職率について、「0～10%未満」が37.8%と最も高く、「10～20%未満」が29.7%、「30～40%未満」が8.1%、「20～30%未満」「40～50%未満」「50%以上」が5.4%となっている。



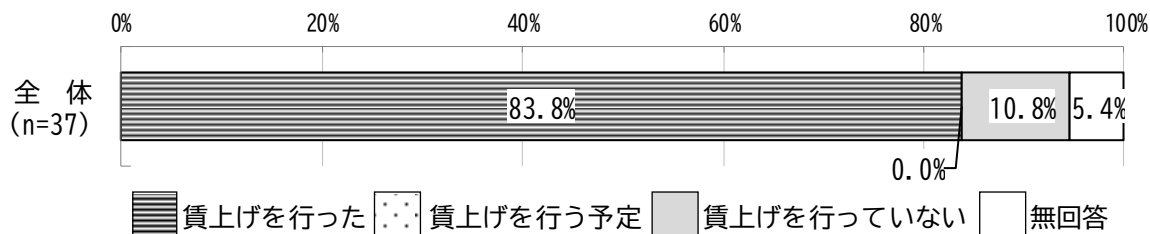
④ 非正規職員 離職率

令和6年（1月から12月）の非正規職員の離職率について、「0～10%未満」が35.1%と最も高く、「10～20%未満」が24.3%、「20～30%未満」が13.5%、「30～40%未満」が10.8%、「40～50%未満」が5.4%、「50%以上」が2.7%となっている。



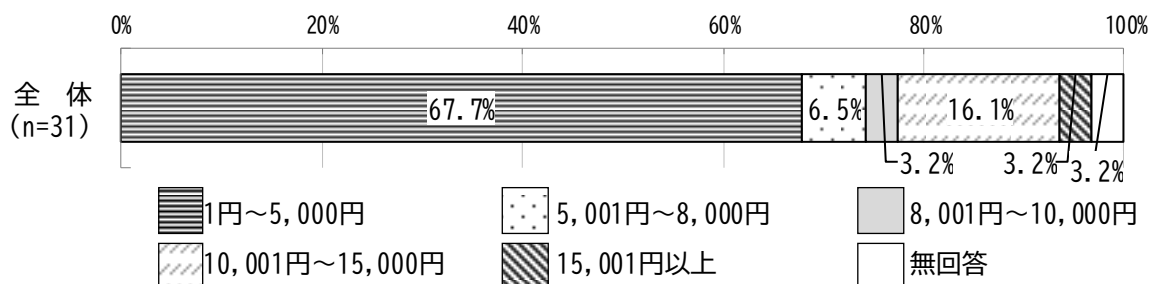
問7(10) 貴事業所は今年度に賃上げを行いましたか(1つに○)。

今年度(令和7年度)の賃上げについて、「賃上げを行った」が83.8%と最も高く、「賃上げを行っていない」が10.8%、「賃上げを行う予定」が0.0%となっている。



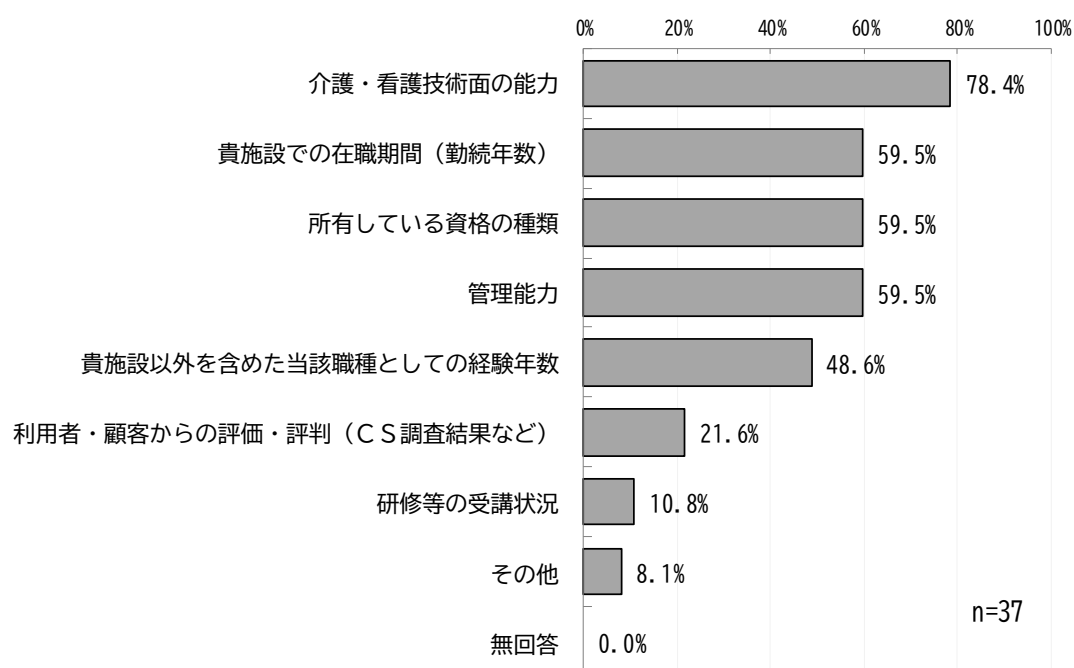
問7(10)① 職員1人あたりの賃上げ平均額は月額(換算)でいくらですか(1つに○)。

介護職員等の「賃上げを行った」または「賃上げを行う予定」と回答した事業所の、職員1人あたりの賃上げ平均額について、「1円～5,000円」が67.7%と最も高く、「10,001円～15,000円」が16.1%、「5,001円～8,000円」が6.5%、「8,001円～10,000円」「15,001円以上」が3.2%となっている。



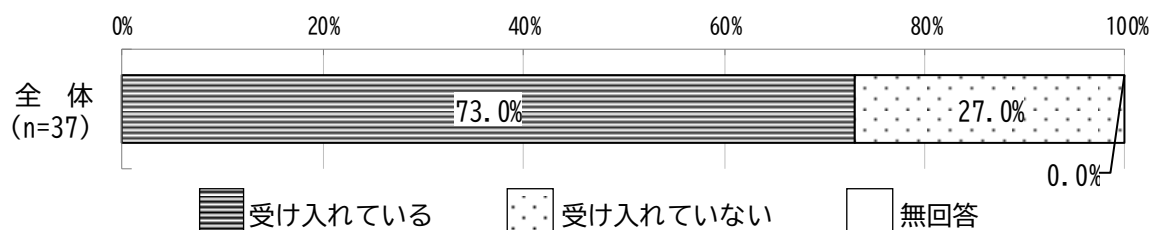
問7（11） 質の高い人材を確保するために、貴事業所では昇進、昇給等に際して、どのような基準で評価を行っていますか（いくつでも○）。

質の高い人材を確保するための昇進、昇給等に際しての基準として、「介護・看護技術面の能力」が78.4%と最も高く、「貴施設での在職期間（勤続年数）」「所有している資格の種類」「管理能力」が59.5%、「貴施設以外を含めた当該職種としての経験年数」が48.6%、「利用者・顧客からの評価・評判（CS調査結果など）」が21.6%、「研修等の受講状況」が10.8%となっている。



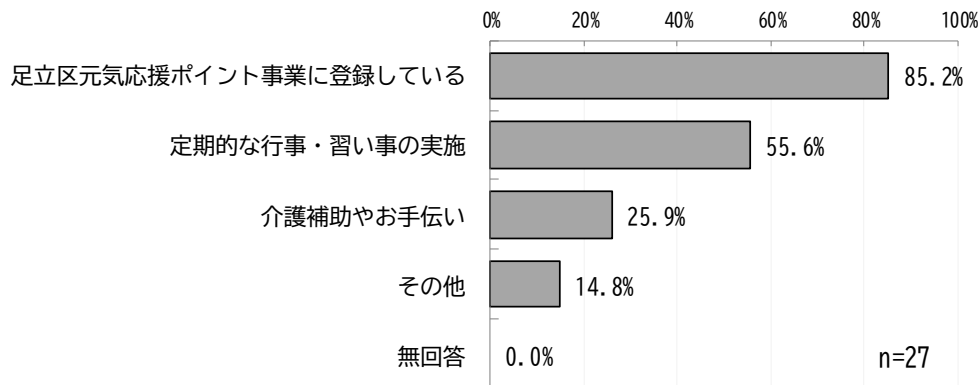
問7（12） ボランティアの受け入れはしていますか（1つに○）。

ボランティアの受け入れ状況について、「受け入れている」が73.0%、「受け入っていない」が27.0%となっている。



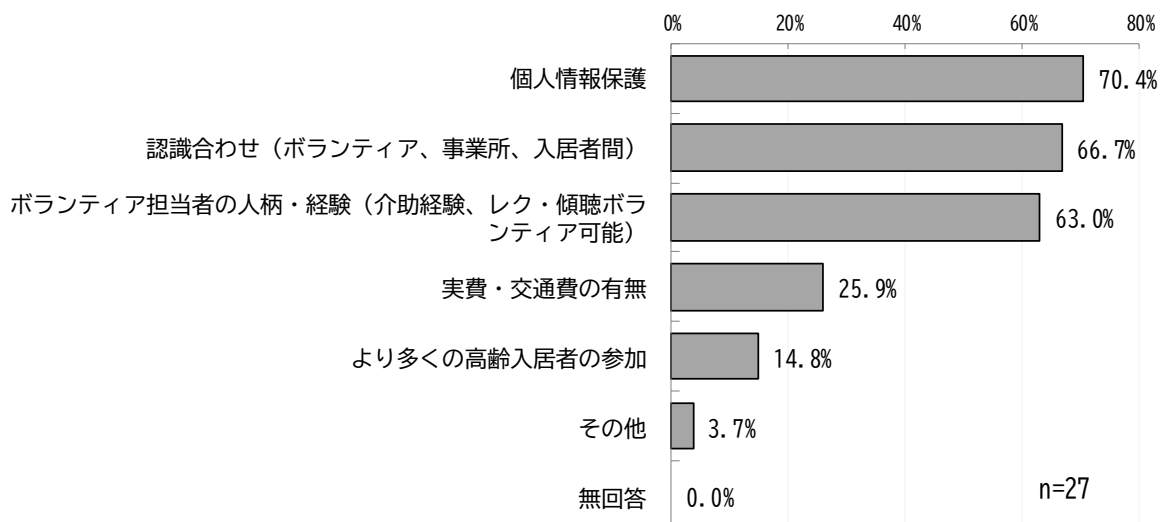
問7（12）① ボランティアの活動内容は何ですか（いくつでも○）。

ボランティアを「受け入れている」事業所において、ボランティアの活動内容として、「足立区元気応援ポイント事業に登録している」が85.2%と最も高く、「定期的な行事・習い事の実施」が55.6%、「介護補助やお手伝い」が25.9%となっている。



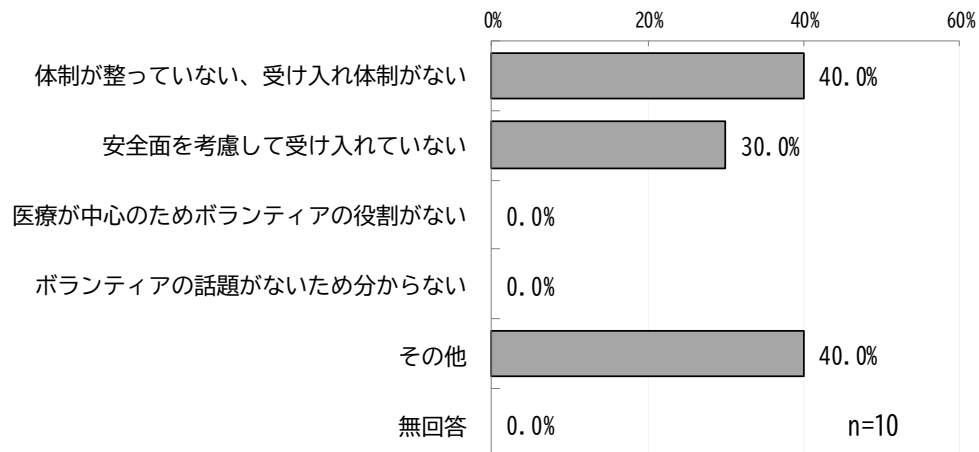
問7（12）② ボランティアを受け入れる際の課題や注意していることは何ですか（いくつでも○）。

ボランティアを「受け入れている」事業所において、ボランティアを受け入れる際の課題や注意点として、「個人情報保護」が70.4%と最も高く、「認識合わせ（ボランティア、事業所、入居者間）」が66.7%、「ボランティア担当者の人柄・経験（介助経験、レク・傾聴ボランティア可能）」が63.0%、「実費・交通費の有無」が25.9%、「より多くの高齢入居者の参加」が14.8%となっている。



問7 (12) ③ ボランティアを受け入れていない理由は何ですか（いくつでも○）。

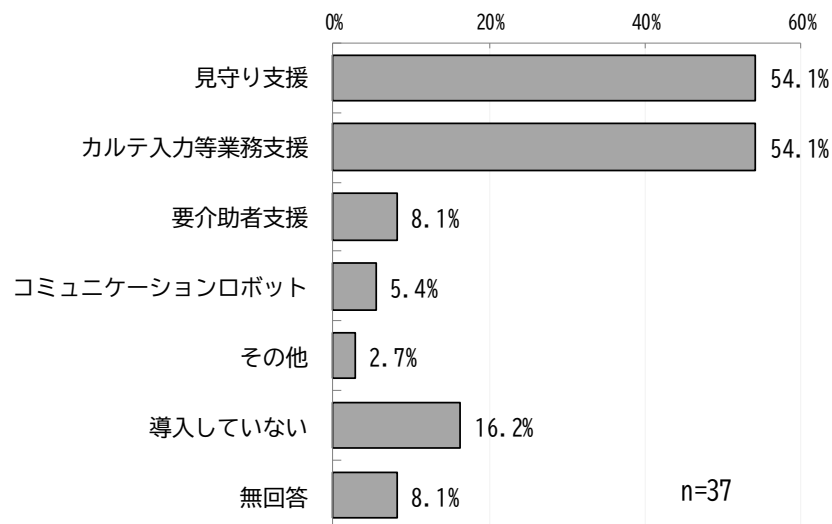
ボランティアを「受け入れていない」事業所において、ボランティアを受け入れていない理由として、「その他」を除くと、「体制が整っていない、受け入れ体制がない」が40.0%と最も高く、「安全面を考慮して受け入れていない」が30.0%、「医療が中心のためボランティアの役割がない」「ボランティアの話題がないため分からない」が0.0%となっている。



(8) 業務効率化について

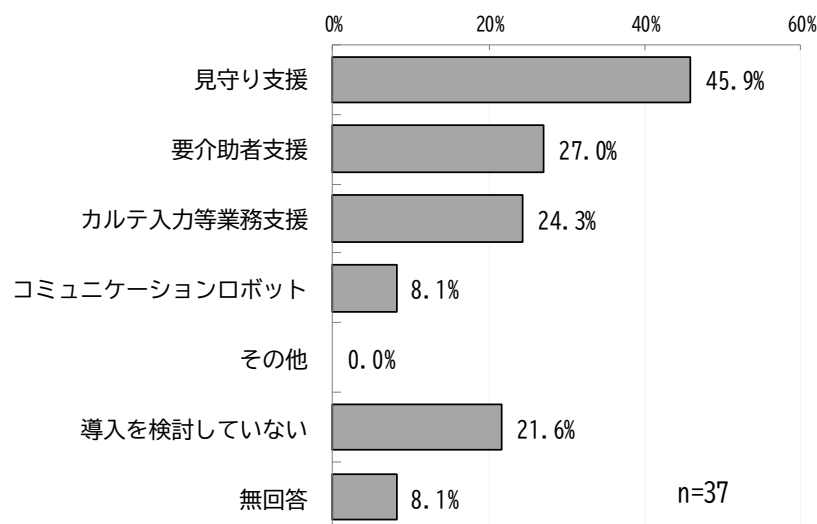
問8 (1) ロボットやIoTを導入している分野はありますか (いくつでも○)。

ロボット・IoTの導入状況について、無回答および「その他」を除くと、「見守り支援」「カルテ入力等業務支援」が54.1%と最も高く、「要介助者支援」が8.1%、「コミュニケーションロボット」が5.4%、「導入していない」が16.2%となっている。



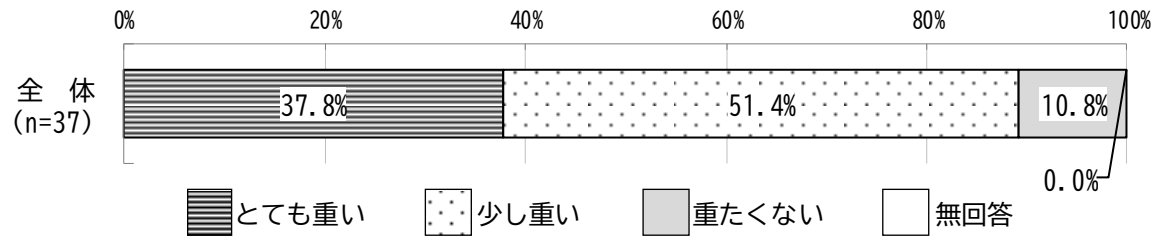
問8 (2) ロボットやIoTの導入を検討している分野はありますか (いくつでも○)。

ロボット・IoTの検討状況について、無回答および「その他」を除くと、「見守り支援」が45.9%と最も高く、「要介助者支援」が27.0%、「カルテ入力等業務支援」が24.3%、「コミュニケーションロボット」が8.1%、「導入を検討していない」が21.6%となっている。



問8（3） 現在、事務負担はどの程度ですか（1つに○）。

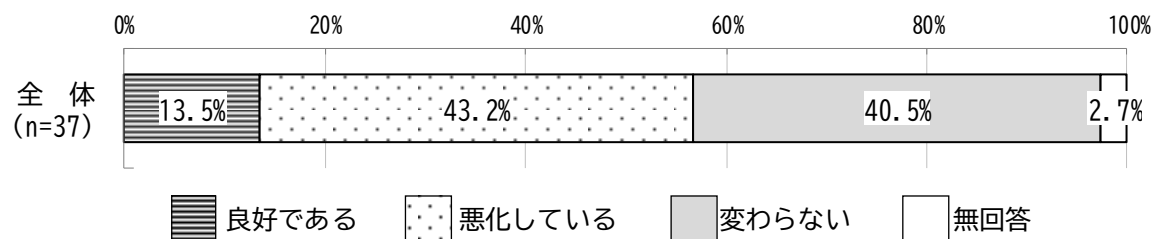
現在の事務負担について、「少し重い」が51.4%と最も高く、「とても重い」が37.8%、「重たくない」が10.8%となっている。



(9) その他（景況感、困難事例、要望など）

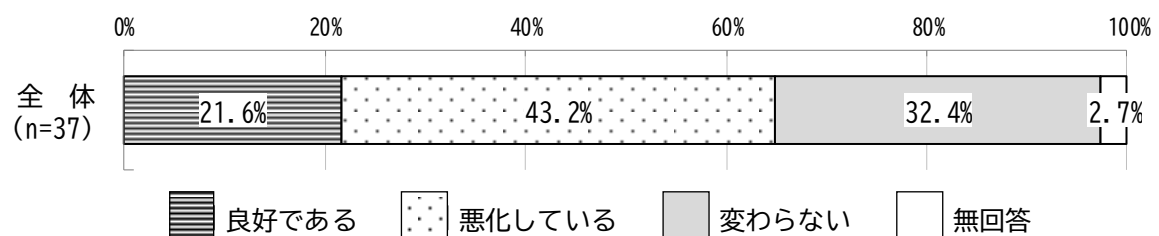
問9（1） 直近の介護報酬改定前と比較して、令和6年度の経営状況はいかがですか（1つに○）。

直近の介護報酬改定前と比較した、令和6年度の経営状況について、「悪化している」が43.2%と最も高く、「変わらない」が40.5%、「良好である」が13.5%となっている。



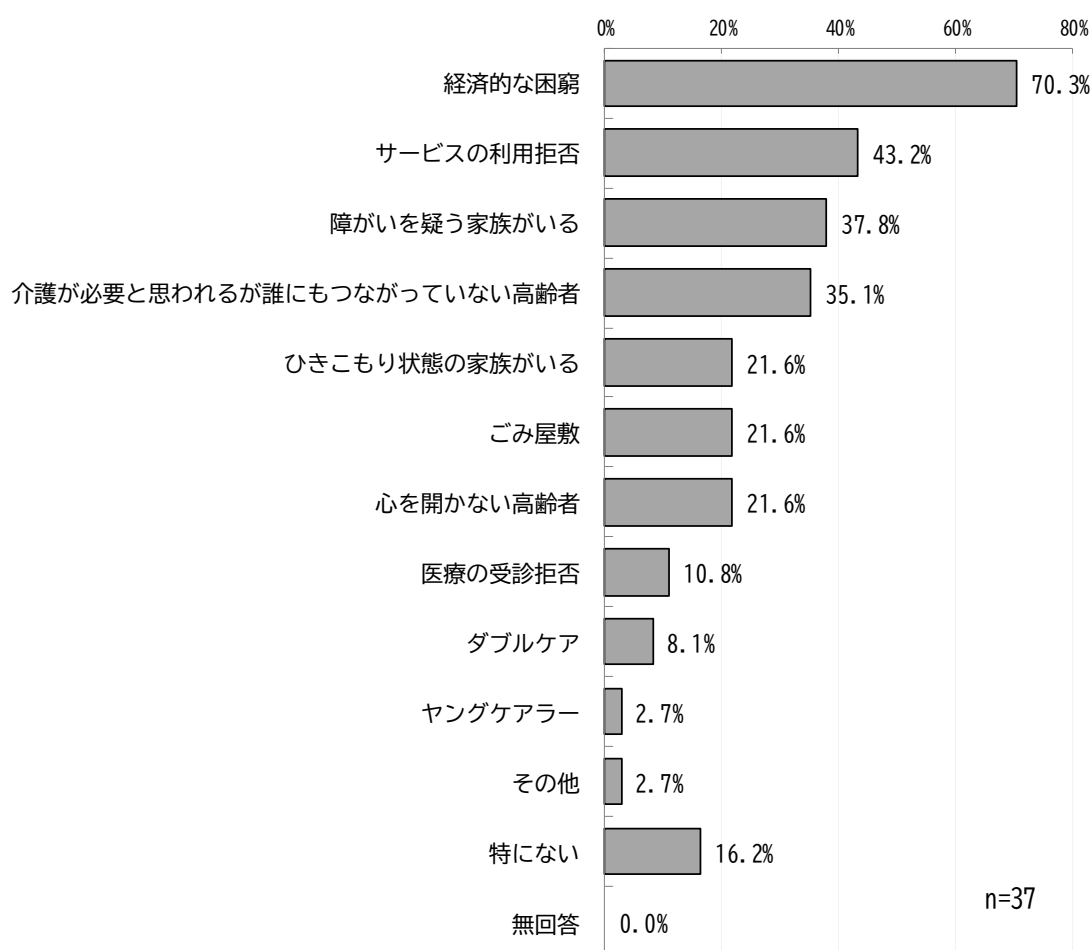
問9（2） 令和6年度の経営状況と比較して、令和7年度（見込み）の経営状況はいかがですか（1つに○）。

令和6年度の経営状況と比較した、令和7年度（見込み）の経営状況について、「悪化している」が43.2%と最も高く、「変わらない」が32.4%、「良好である」が21.6%となっている。



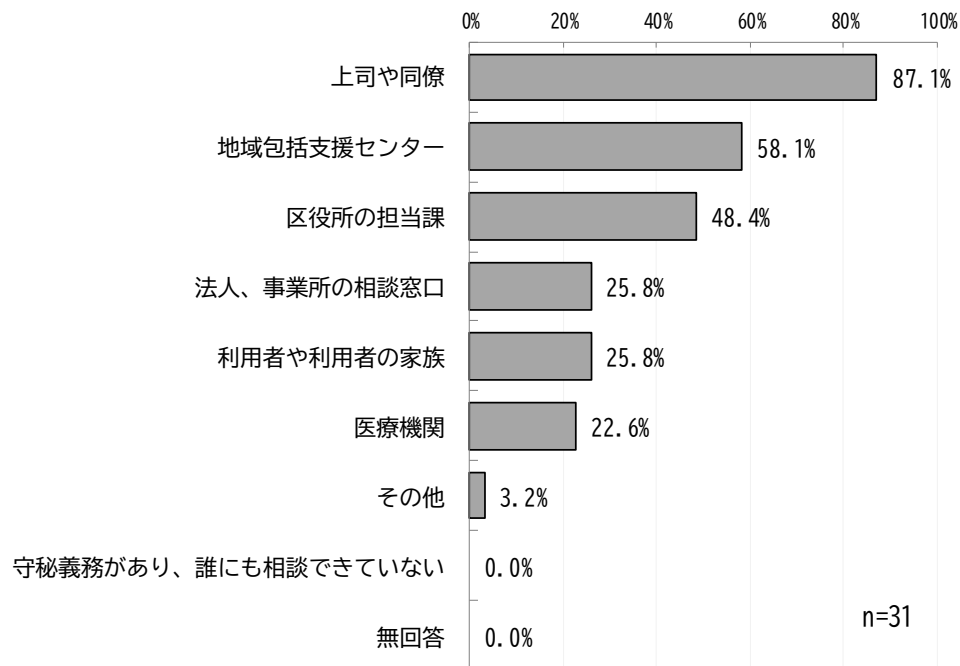
問9（3） 利用者へのサービス提供を行う中で、気になる相談を受けたり、対応困難な事例に遭遇したことがありますか（いくつでも○）。

利用者へのサービス提供を行う中で受けた気になる相談や遭遇した対応困難な事例について、「経済的な困窮」が70.3%と最も高く、「サービスの利用拒否」が43.2%、「障がいを疑う家族がいる」が37.8%、「介護が必要と思われるが誰にもつながっていない高齢者」が35.1%、「ひきこもり状態の家族がいる」「ごみ屋敷」「心を開かない高齢者」が21.6%、「医療の受診拒否」が10.8%、「ダブルケア」が8.1%、「ヤングケアラー」が2.7%となっている。また「特にない」が16.2%となっている。



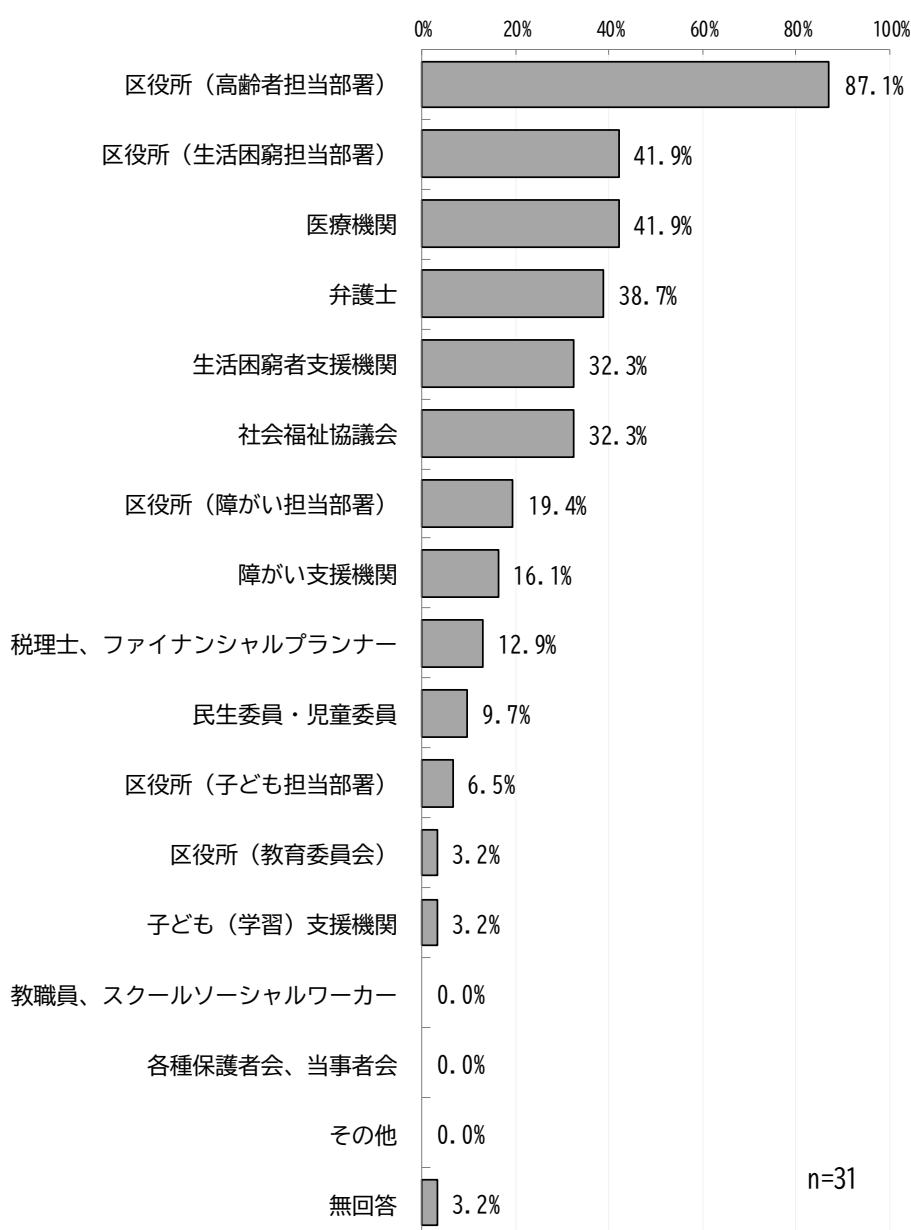
問9（3）① 気になった相談や困難事例を誰に相談していますか（いくつでも○）。

気になった相談や困難事例の相談先について、「上司や同僚」が87.1%と最も高く、「地域包括支援センター」が58.1%、「区役所の担当課」が48.4%、「法人、事業所の相談窓口」「利用者や利用者の家族」が25.8%、「医療機関」が22.6%となっている。また「守秘義務があり、誰にも相談できていない」が0.0%となっている。



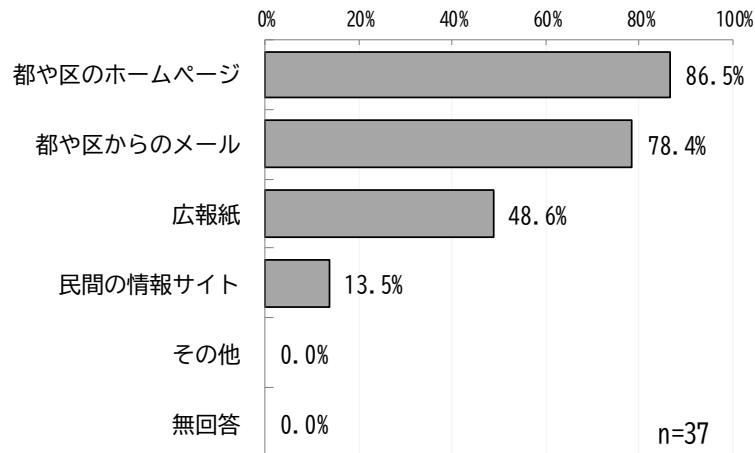
問9 (3) ② 気になった相談や困難事例の対応にあたり、誰と連携したいと思いますか（いくつでも○）。

気になった相談や困難事例の対応にあたり連携したいと思う先について、「区役所（高齢者担当部署）」が87.1%と最も高く、「区役所（生活困窮担当部署）」「医療機関」が41.9%、「弁護士」が38.7%、「生活困窮者支援機関」「社会福祉協議会」が32.3%、「区役所（障がい担当部署）」が19.4%、「障がい支援機関」が16.1%、「税理士、ファイナンシャルプランナー」が12.9%、「民生委員・児童委員」が9.7%、「区役所（子ども担当部署）」が6.5%、「区役所（教育委員会）」「子ども（学習）支援機関」が3.2%、「教職員、スクールソーシャルワーカー」「各種保護者会、当事者会」が0.0%となっている。



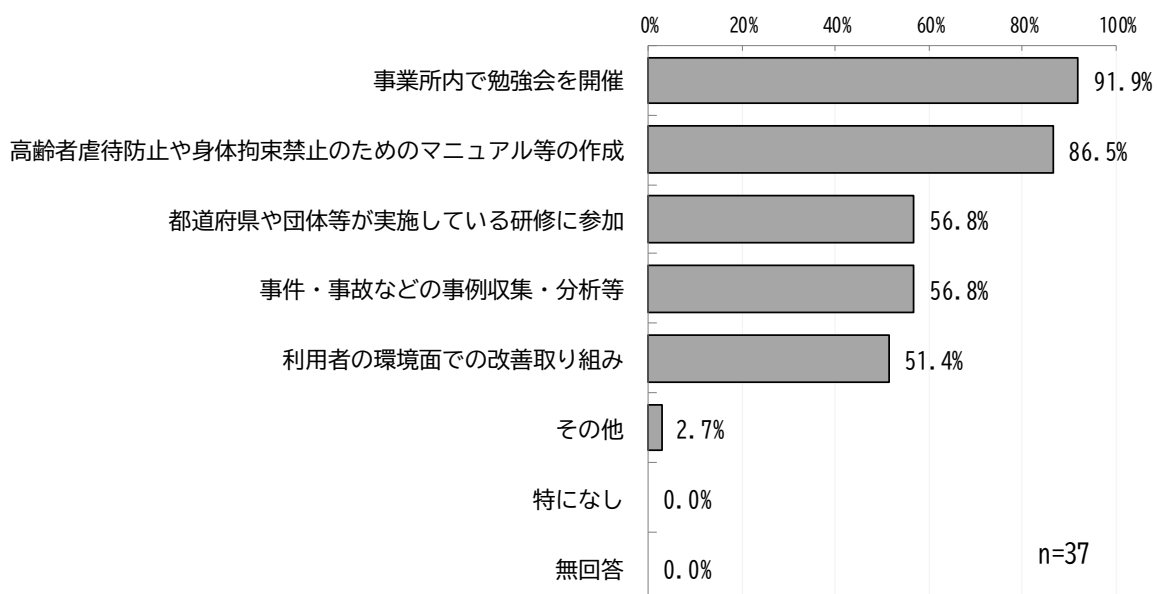
問9（4） 都や区の支援についてどのような手段で情報を得ているか教えてください（いくつでも○）。

都や区の支援についてどのような手段で情報を得ているかについて、「都や区からのホームページ」が86.5%が最も高く、「都や区からのメール」が78.4%、「広報紙」が48.6%、「民間の情報サイト」が13.5%となっている。



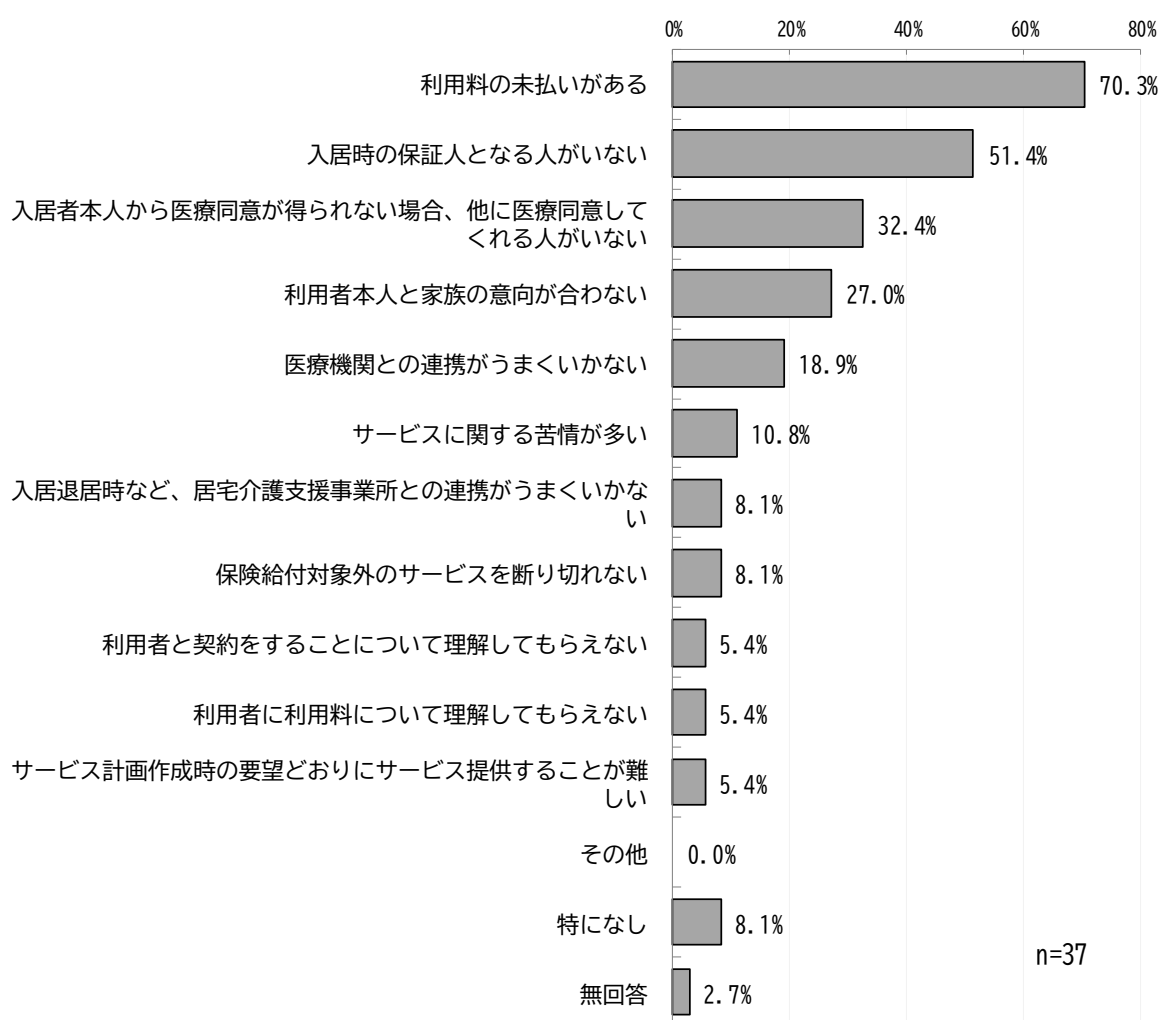
問9（5） 高齢者虐待防止・身体拘束禁止に対する取り組みについて、特に重点を置いているものは何ですか（いくつでも○）。

高齢者虐待防止・身体拘束禁止に対する取り組みとして、「事業所内で勉強会を開催」が91.9%と最も高く、「高齢者虐待防止や身体拘束禁止のためのマニュアル等の作成」が86.5%、「都道府県や団体等が実施している研修に参加」「事件・事故などの事例収集・分析等」が56.8%、「利用者の環境面での改善取り組み」が51.4%となっている。また「特になし」が0.0%となっている。



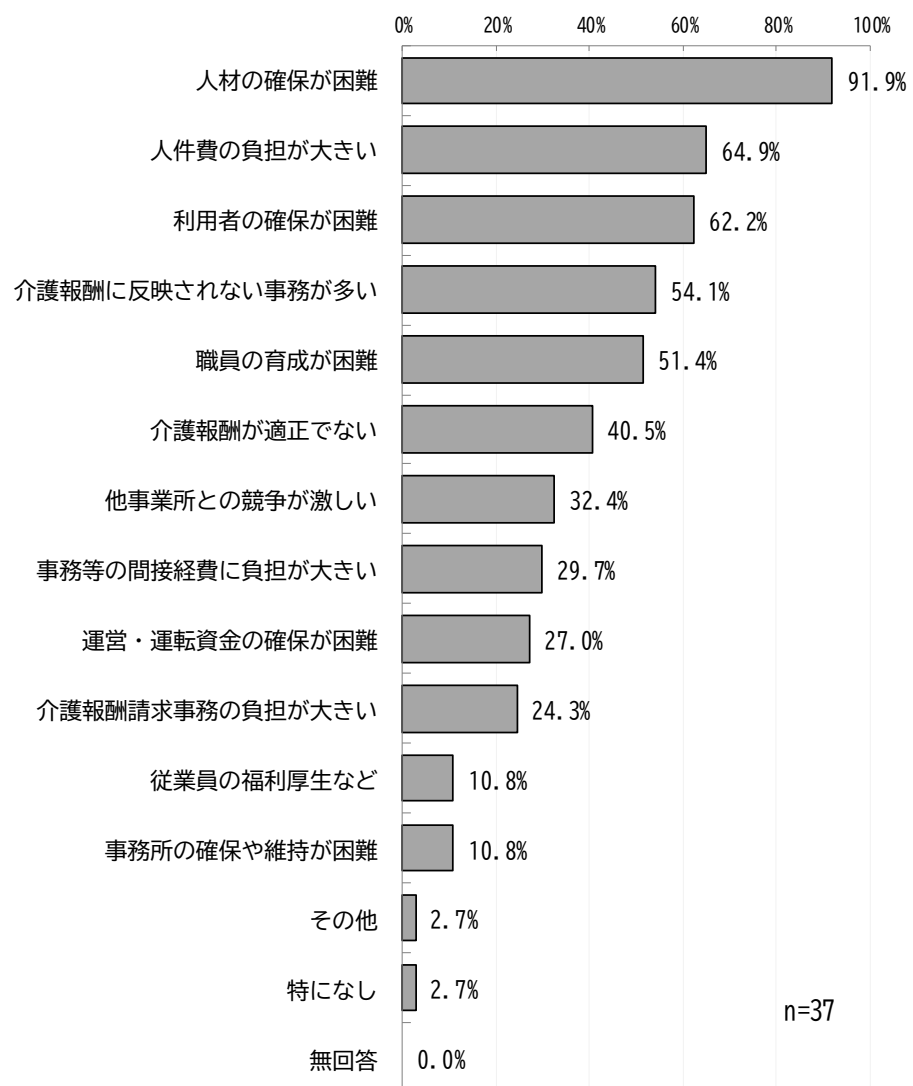
問9（6） 事業を実施するうえで、利用者やその家族等との関係でどのような問題点や課題がありますか（いくつでも○）。

事業を実施するうえでの利用者やその家族等との関係上の問題点や課題として、「利用料の未払いがある」が70.3%と最も高く、「入所時の保証人となる人がいない」が51.4%、「入所者本人から医療同意が得られない場合、他に医療同意してくれる人がいない」が32.4%、「利用者本人と家族の意向が合わない」が27.0%、「医療機関との連携がうまくいかない」が18.9%、「サービスに関する苦情が多い」が10.8%、「入所退所時など、居宅介護支援事業所との連携がうまくいかない」「保険給付対象外のサービスを断り切れない」が8.1%、「利用者と契約をすることについて理解してもらえない」「利用者に利用料について理解してもらえない」「サービス計画作成時の要望どおりにサービス提供することが難しい」が5.4%となっている。また「特になし」が8.1%となっている。



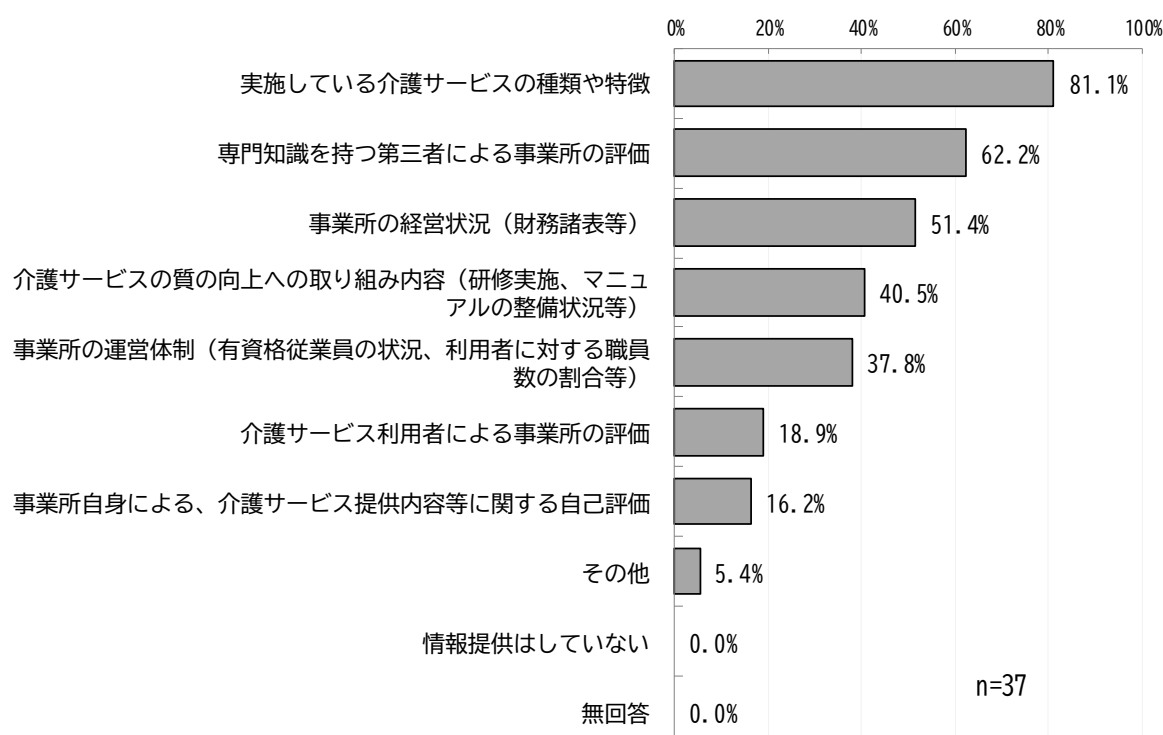
問9（7） 事業所を経営するうえで、どのような問題点や課題がありますか（いくつでも○）。

事業所を経営するうえでの問題点や課題として、「人材の確保が困難」が91.9%と最も高く、「人件費の負担が大きい」が64.9%、「利用者の確保が困難」が62.2%、「介護報酬に反映されない事務が多い」が54.1%、「職員の育成が困難」が51.4%、「介護報酬が適正でない」が40.5%、「他事業所との競争が激しい」が32.4%、「事務等の間接経費に負担が大きい」が29.7%、「運営・運転資金の確保が困難」が27.0%、「介護報酬請求事務の負担が大きい」が24.3%、「従業員の福利厚生など」「事務所の確保や維持が困難」が10.8%となっている。また「特になし」が2.7%となっている。



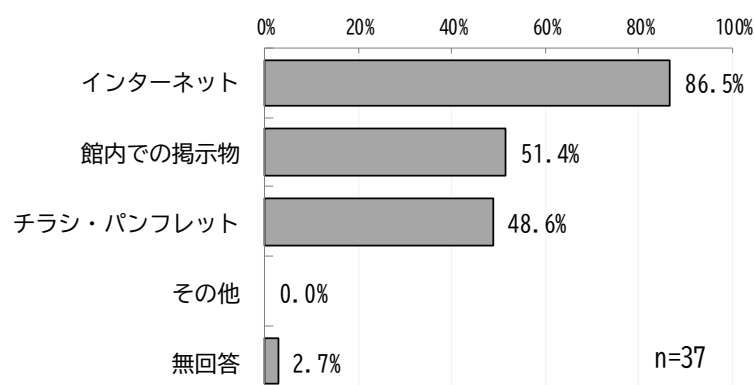
問9（8） 貴事業所では、利用者を含め区民に対してどのような情報提供を行っていますか（いくつでも○）。

利用者を含む区民への情報提供の内容として、「実施している介護サービスの種類や特徴」が81.1%と最も高く、「専門知識を持つ第三者による事業所の評価」が62.2%、「事業所の経営状況（財務諸表等）」が51.4%、「介護サービスの質の向上への取り組み内容（研修実施、マニュアルの整備状況等）」が40.5%、「事業所の運営体制（有資格従業員の状況、利用者に対する職員数の割合等）」が37.8%、「介護サービス利用者による事業所の評価」が18.9%、「事業所自身による、介護サービス提供内容等に関する自己評価」が16.2%となっている。また「情報提供はしていない」が0.0%となっている。



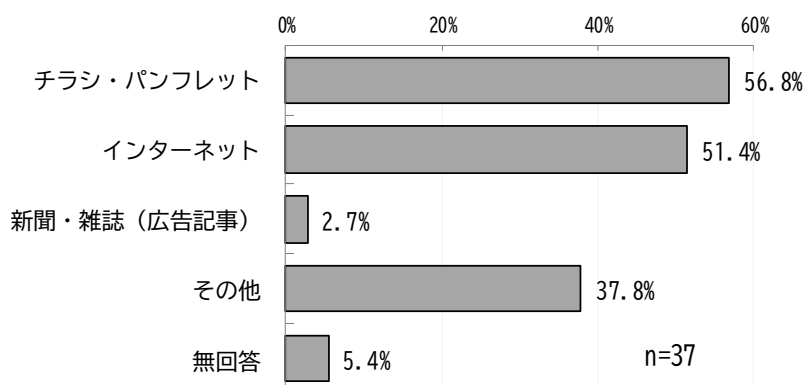
問9（8）① 情報提供の手段は何ですか（いくつでも○）。

情報提供の手段として、「インターネット」が86.5%と最も高く、「館内での掲示物」が51.4%、「チラシ・パンフレット」が48.6%となっている。



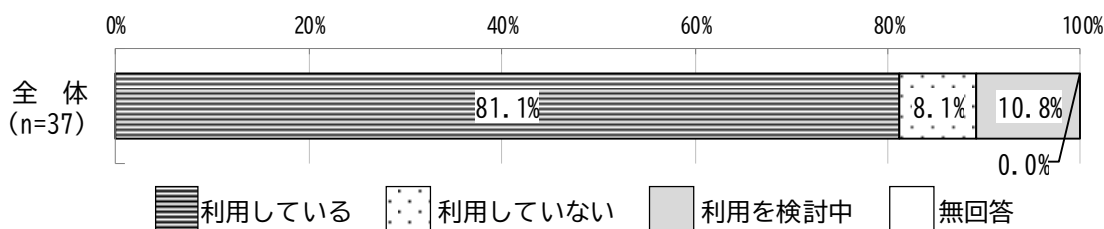
問9（9） 貴事業所では、どのような方法で入居者の募集を行っていますか（いくつでも○）。

入居者の募集方法として、「チラシ・パンフレット」が56.8%と最も高く、「インターネット」が51.4%、「新聞・雑誌（広告記事）」が2.7%となっている。



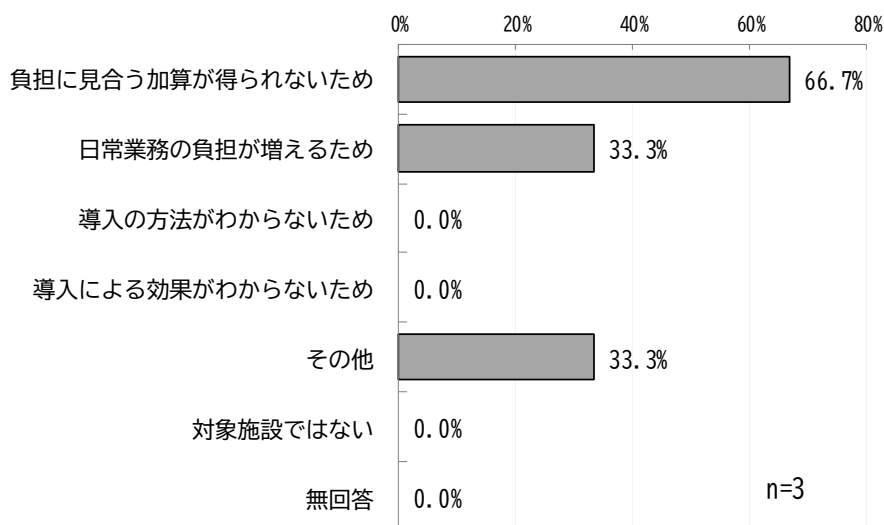
問9（10） LIFE（科学的介護情報システム）を利用していますか（1つに○）。

LIFE（科学的介護情報システム）の利用状況について、「利用している」が81.1%と最も高く、「利用を検討中」が10.8%、「利用していない」が8.1%となっている。



問9（10）① 利用していない理由は何ですか（いくつでも○）。

LIFE（科学的介護情報システム）を「利用していない」と回答した事業所の利用していない理由について、「負担に見合う加算が得られないため」が66.7%と最も高く、「日常業務の負担が増えるため」が33.3%、「導入の方法がわからないため」「導入による効果がわからないため」「対象施設ではない」が0.0%となっている。



9 有料老人ホーム・軽費老人ホーム 施設調査

9 有料老人ホーム・軽費老人ホーム施設調査

(1) 事業所の基本情報について

問1 (1) 貴事業所についてお答えください。

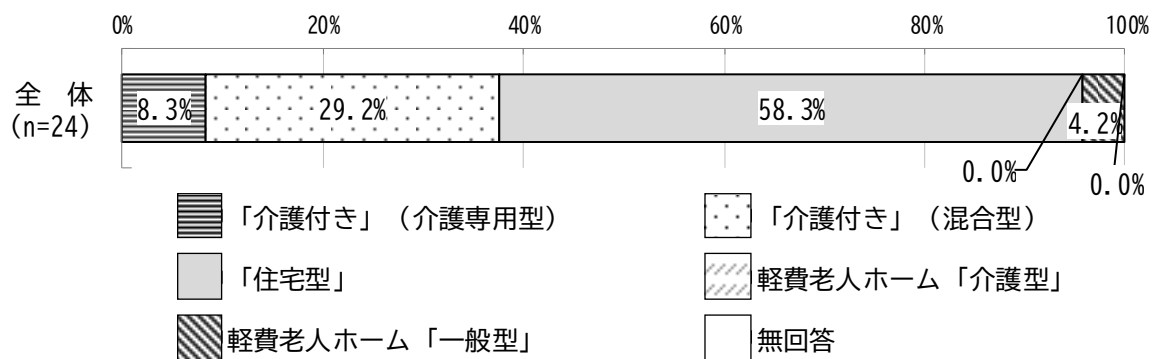
※問1 (1) は「事業所名をご記入ください」という設問であるため省略

問1 (2) 開設年月日をお答えください。

※問1 (2) は「開設年月日をお答えください」という設問であるため省略

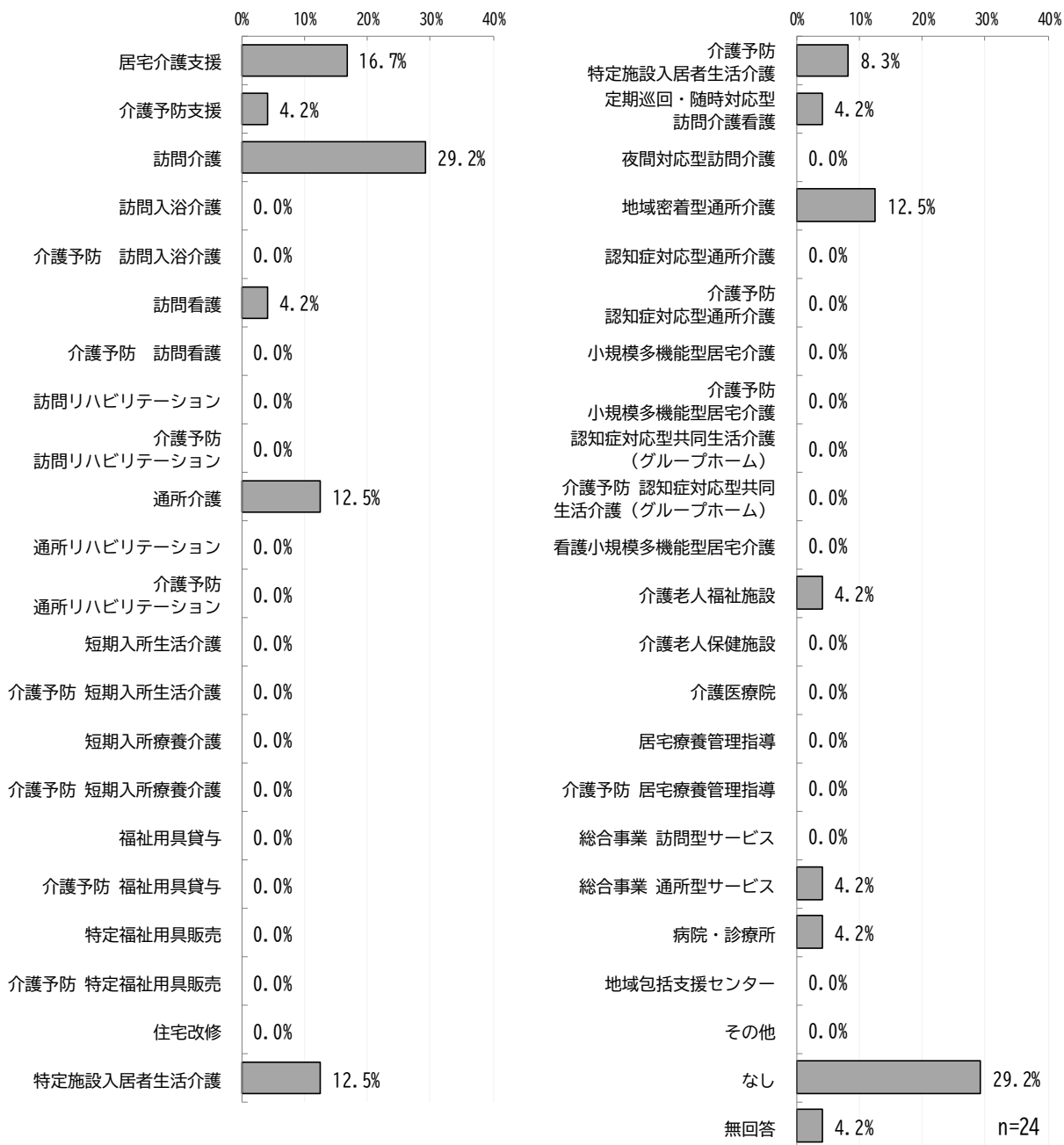
問1 (3) 事業種別をお答えください(1つに○)。

事業種別について、「住宅型」が58.3%と最も高く、「介護付き(混合型)」が29.2%、「介護付き(介護専用型)」が8.3%、「軽費老人ホーム「一般型」」が4.2%、「軽費老人ホーム「介護型」」が0.0%となっている。



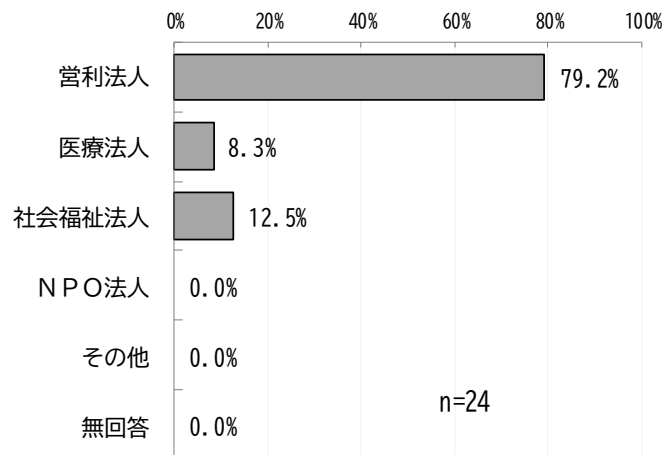
問1（4） 貴事業所の併設事業について、あてはまるものに○をつけてください（いくつでも○）。

事業所の併設事業について、「訪問介護」が29.2%と最も高く、「居宅介護支援」が16.7%、「通所介護」「特定施設入居者生活介護」「地域密着型通所介護」が12.5%、「介護予防特定施設入居者生活介護」が8.3%と続いている。



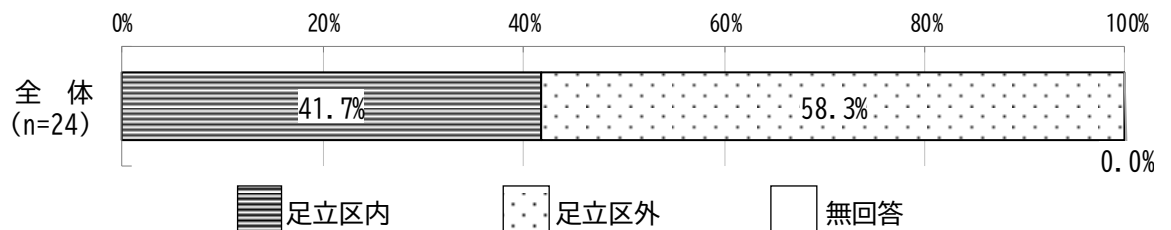
問1 (5) 事業所の経営主体は何ですか(1つに○)。

事業所の経営主体について、「営利法人」が79.2%と最も高く、「社会福祉法人」が12.5%、「医療法人」が8.3%、「NPO法人」が0.0%となっている。



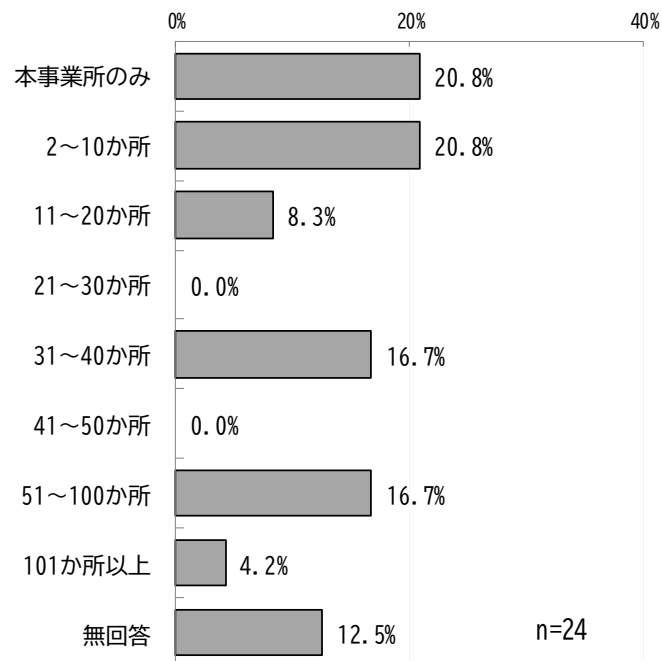
問1 (6) 経営主体の法人の所在地はどこですか(1つに○)。

経営主体の法人の所在地について、「足立区外」が58.3%と最も高く、「足立区内」が41.7%となっている。



問1（7） 貴法人は、貴事業所を含め、有料老人ホーム、軽費老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅を運営していますか。すべての箇所数をお答えください（1つに○・数字を記載）。

有料老人ホーム、軽費老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅の運営状況について、「本事業所のみ」「2～10 か所」が20.8%と最も高く、「31～40 か所」「51～100 か所」が16.7%、「11～20 か所」が8.3%、「101 か所以上」が4.2%、「21～30 か所」「41～50 か所」が0.0%となっている。

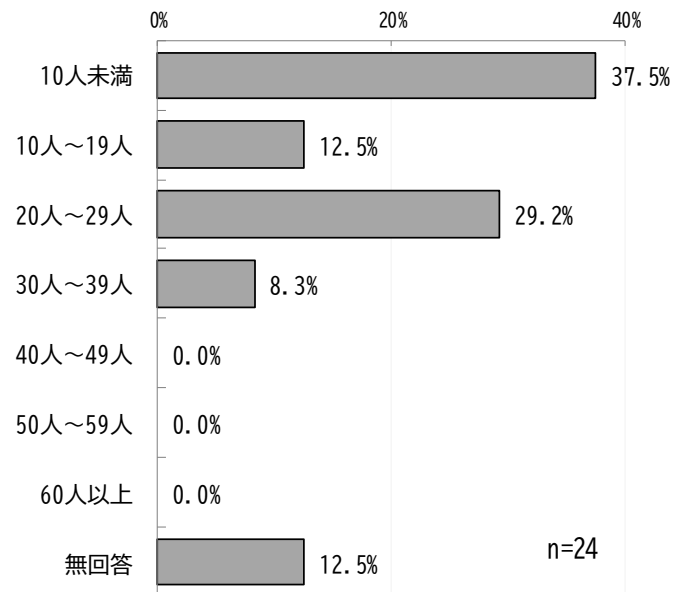


問1 (8) 貴事業所の職員体制についてご記入ください(数字を記入)。
また、() 内に外国人職員数を記入してください。

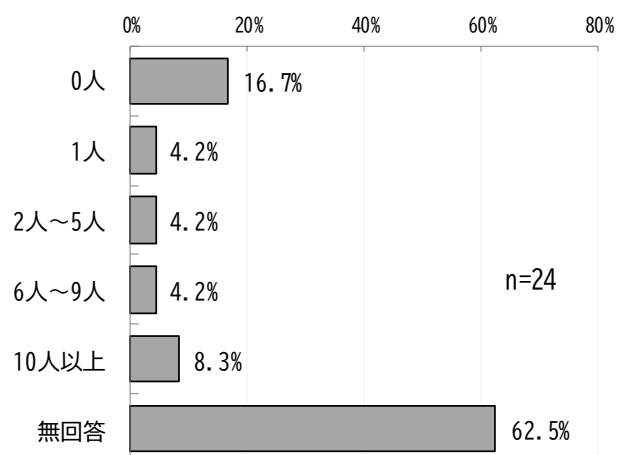
※令和7年10月1日現在

⑧-1 正規職員

正規職員の職員体制について、「10人未満」が37.5%と最も高く、「20人～29人」が29.2%、「10人～19人」が12.5%、「30人～39人」が8.3%、「40人～49人」「50人～59人」「60人以上」が0.0%となっている。

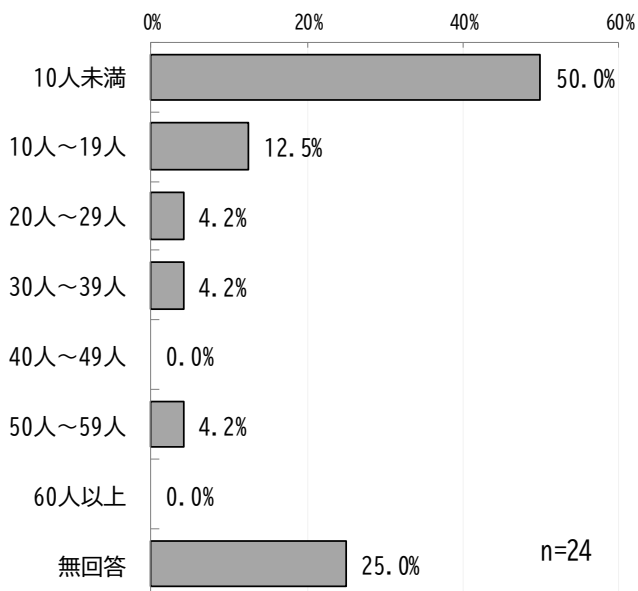


うち、外国人の正規職員について、「0人」が16.7%と最も高く、「10人以上」が8.3%、「1人」「2人～5人」「6人～9人」が4.2%となっている。

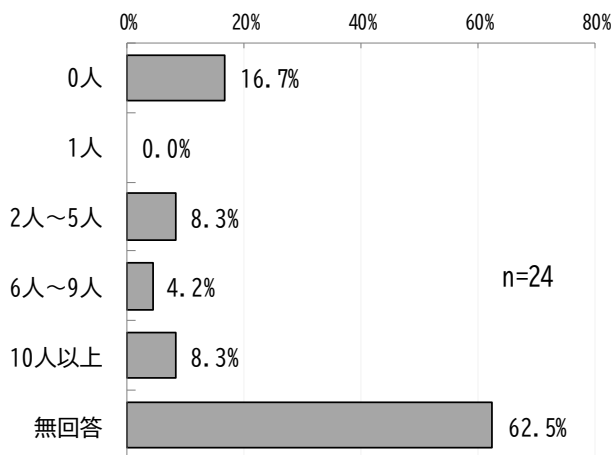


⑧-2 非正規職員

非正規職員の職員体制について、「10 人未満」が 50.0%と最も高く、「10 人～19 人」が 12.5%、「20 人～29 人」「30 人～39 人」「50 人～59 人」が 4.2%、「40 人～49 人」「60 人以上」が 0.0%となっている。



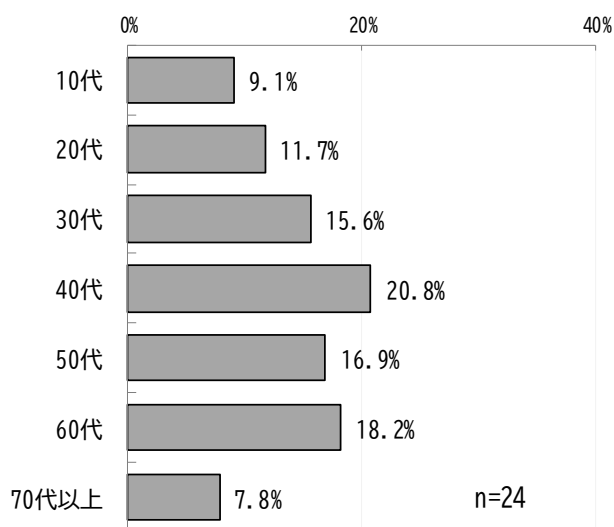
うち、外国人の非正規職員について、「0 人」が 16.7%と最も高く、「2 人～5 人」「10 人以上」が 8.3%、「6 人～9 人」が 4.2%、「1 人」が 0.0%となっている。



⑨ 年齢階級別

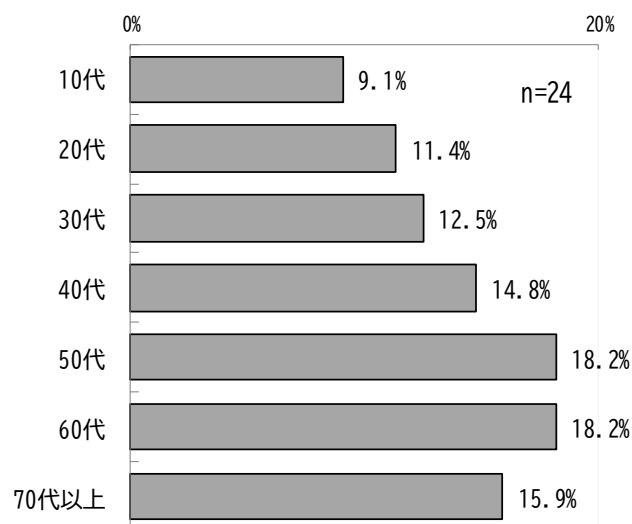
⑨-1 正規職員

回答のあった事業所の正規職員の年齢構成について、「40代」が20.8%と最も高く、「60代」が18.2%、「50代」が16.9%、「30代」が15.6%、「20代」が11.7%、「10代」が9.1%、「70代以上」が7.8%となっている。



⑨-2 非正規職員

回答のあった事業所の非正規職員の年齢構成について、「50代」「60代」が18.2%と最も高く、「70代以上」が15.9%、「40代」が14.8%、「30代」が12.5%、「20代」が11.4%、「10代」が9.1%となっている。

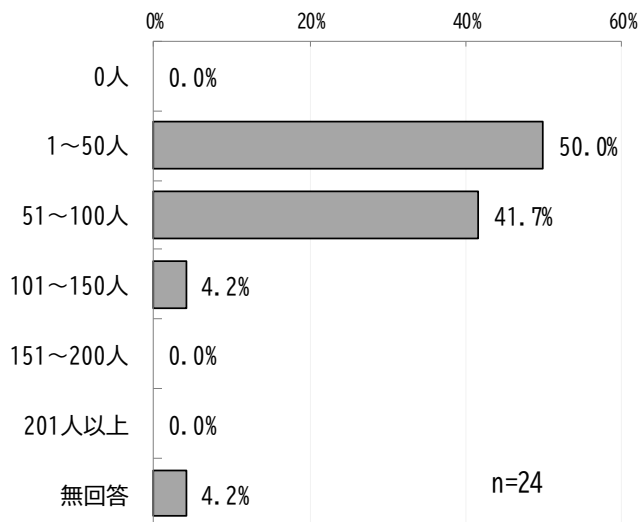


(2) 入居・利用状況について

問2(1) 貴事業所の定員等につき、以下の質問にお答えください。

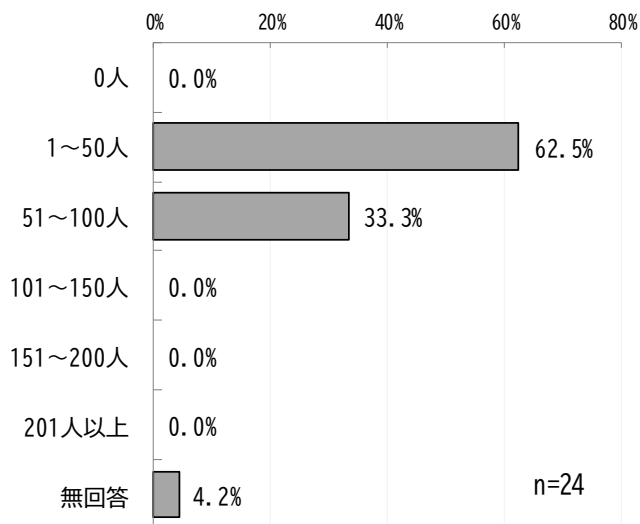
問2(1)①-1 定員(数字を記入)

定員について、「1～50人」が50.0%と最も高く、「51～100人」が41.7%、「101～150人」が4.2%、「0人」「151～200人」「201人以上」が0.0%となっている。



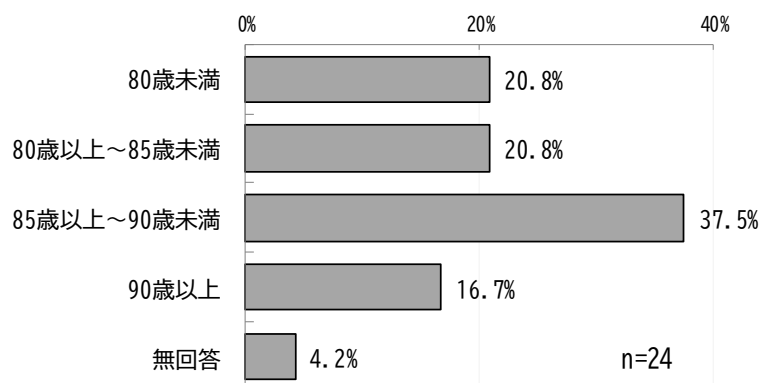
問2(1)①-2 入居者数(数字を記入)

入居者数について、「1～50人」が62.5%と最も高く、「51～100人」が33.3%、「0人」「101～150人」「151～200人」「201人以上」が0.0%となっている。



問2(1)② 入居者の平均年齢(数字を記入)

入居者の平均年齢は、「85歳以上～90歳未満」が37.5%と最も高く、「80歳未満」「80歳以上～85歳未満」が20.8%、「90歳以上」が16.7%となっている。



問2(1)③ 入居者の要介護度別の人数(数字を記入)。

要介護度別の人数について、

自立では、「0人」が29.2%、要支援1では、「1～10人」が29.2%、要支援2では、「1～10人」が25.0%、要介護1では、「1～10人」が54.2%、要介護2では、「1～10人」が50.0%、要介護3では、「1～10人」が58.3%、要介護4では、「1～10人」が58.3%、要介護5では、「1～10人」が62.5%と最も高くなっている。

(%)

	調査数	0人	1～10人	11～20人	21～30人	31～40人	41～50人	51～60人	61～70人	71～80人	81～90人	91～100人	101人以上	無回答
自立	24	29.2	20.8	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	45.8
要支援1	24	20.8	29.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
要支援2	24	20.8	25.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
要介護1	24	8.3	54.2	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
要介護2	24	0.0	50.0	29.2	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
要介護3	24	0.0	58.3	25.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
要介護4	24	0.0	58.3	12.5	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.8
要介護5	24	0.0	62.5	12.5	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.8

うち、医療処置の必要な要介護度別の人数について、

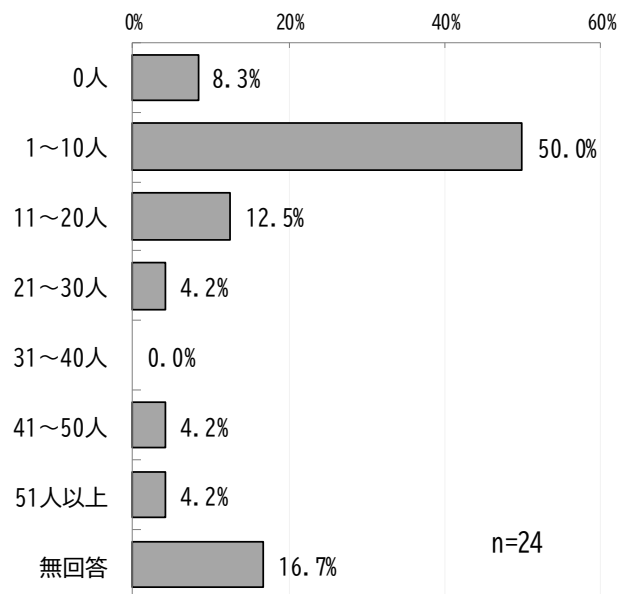
自立では、「0人」が37.5%、要支援1では、「0人」が33.3%、要支援2では、「0人」が37.5%、要介護1では、「0人」が25.0%、要介護2では、「1～10人」が37.5%、要介護3では、「1～10人」が41.7%、要介護4では、「1～10人」が45.8%、要介護5では、「1～10人」が33.3%と最も高くなっている。

(%)

	調査数	0人	1～10人	11～20人	21～30人	31～40人	41～50人	51～60人	61～70人	71～80人	81～90人	91～100人	101人以上	無回答
自立	24	37.5	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	58.3
要支援1	24	33.3	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	62.5
要支援2	24	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	62.5
要介護1	24	25.0	20.8	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
要介護2	24	12.5	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
要介護3	24	12.5	41.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	45.8
要介護4	24	8.3	45.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	45.8
要介護5	24	12.5	33.3	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	45.8

問2(1)④ 入居者のうち住所地特例（保険者が足立区外）の該当者数（数字を記入）。

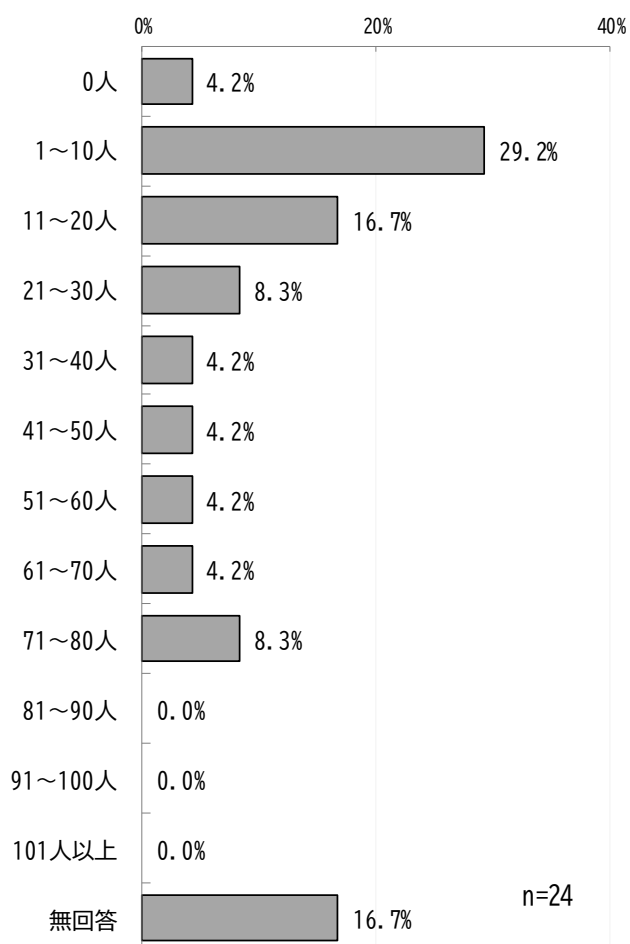
入居者のうち住所地特例（保険者が足立区外）の該当者について、「1～10人」が50.0%と最も高く、「11～20人」が12.5%、「0人」が8.3%、「21～30人」「41～50人」「51人以上」が4.2%、「31～40人」が0.0%となっている。



問2 (1) ⑤ 1年間の入退居者数(令和6年1月～12月)(数字を記入)

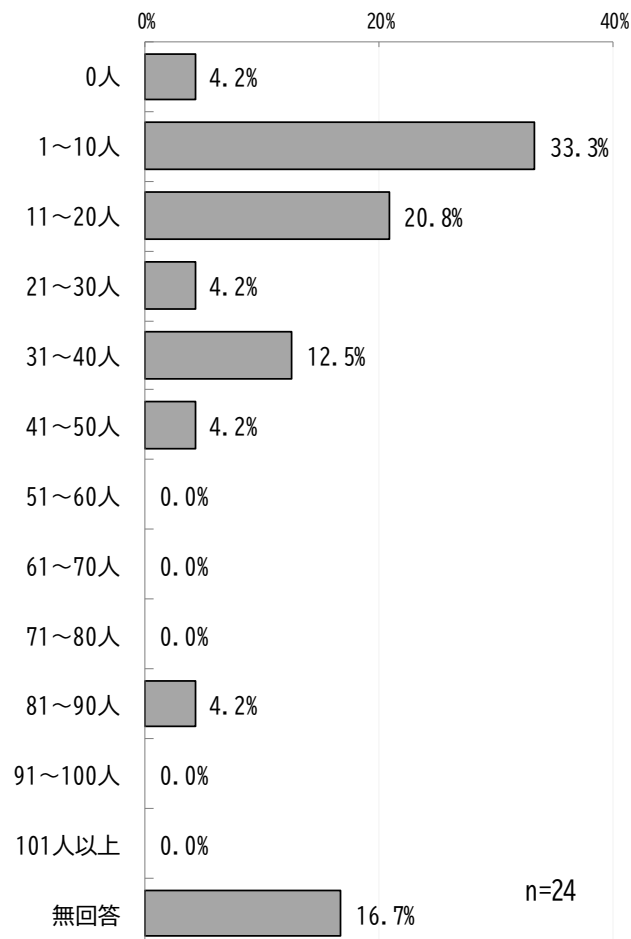
⑤-1 入居者数

1年間の入居者数について、「1～10人」が29.2%と最も高く、「11～20人」が16.7%、「21～30人」「71～80人」が8.3%、「0人」「31～40人」「41～50人」「51～60人」「61～70人」が4.2%、「81～90人」「91～100人」「101人以上」が0.0%となっている。



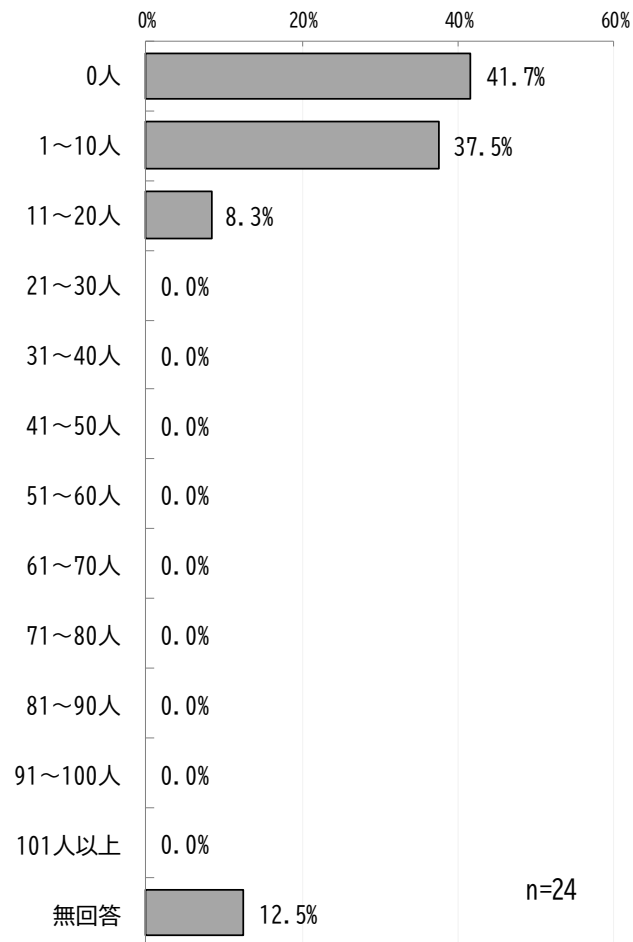
④ - 2 退居者数

1年間の退居者数について、「1～10人」が33.3%と最も高く、「11～20人」が20.8%、「31～40人」が12.5%、「0人」「21～30人」「41～50人」「81～90人」が4.2%、「51～60人」「61～70人」「71～80人」「91～100人」「101人以上」が0.0%となっている。



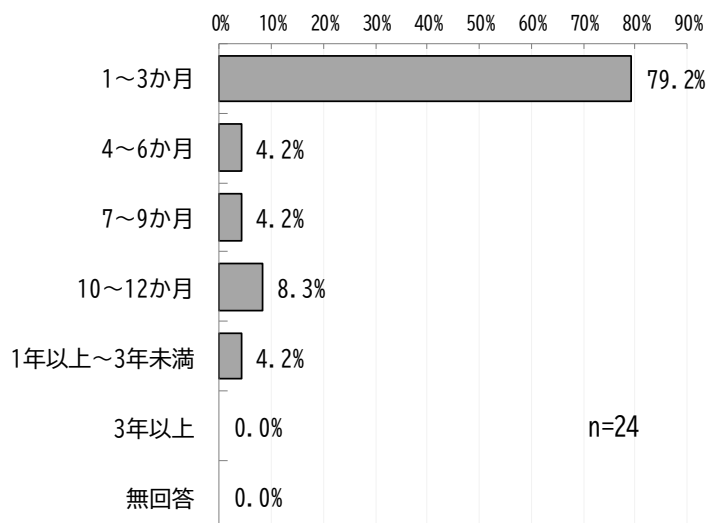
問2(1)⑥ 待機者数(数字を記入)。

待機者数について、「0人」が41.7%と最も高く、「1～10人」が37.5%、「11～20人」が8.3%となっている。



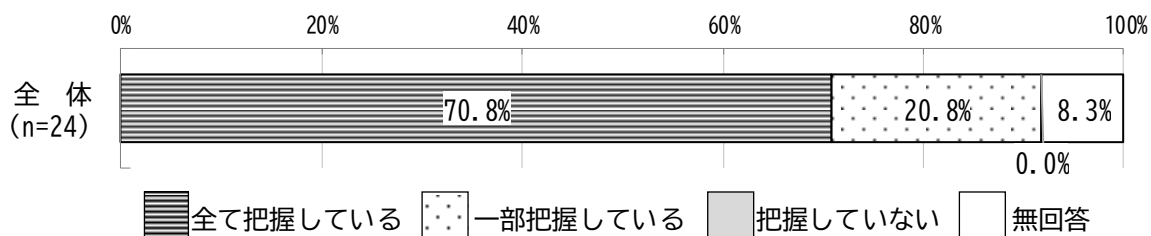
問2（2） 入居までに平均どのくらいかかりますか（1つに○）。

入居までにかかる期間について、「1～3 か月」が 79.2%と最も高く、「10～12 か月」が 8.3%、「4～6 か月」「7～9 か月」「1 年以上～3 年未満」が 4.2%、「3 年以上」が 0.0%となっている。



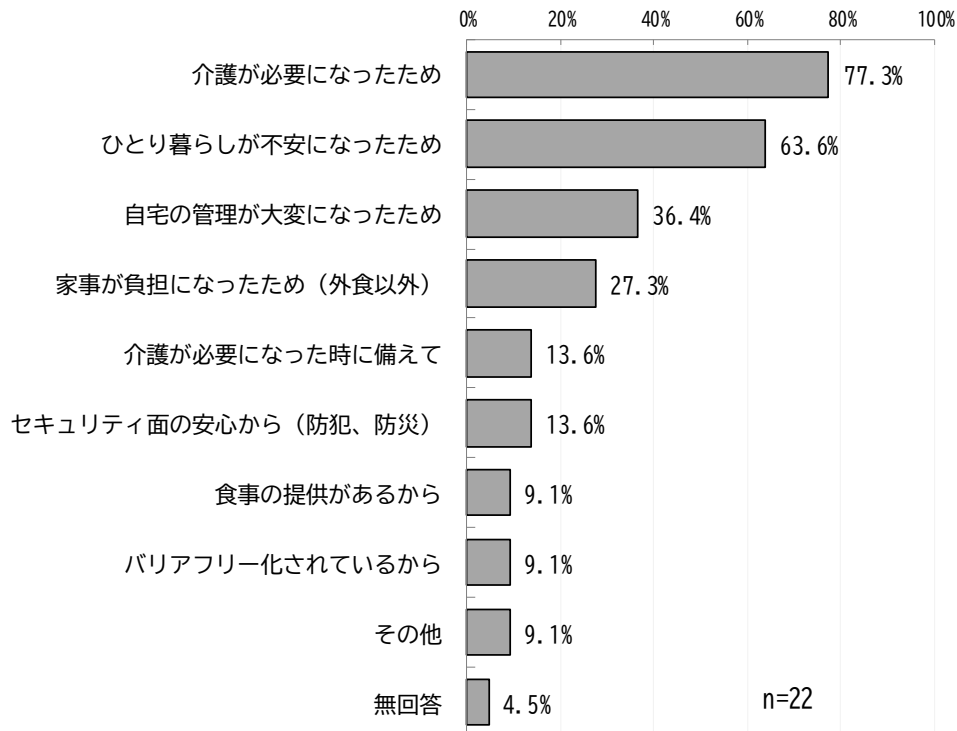
問2（3） 入居の動機を把握されていますか（1つに○）。

入居の動機について、「全て把握している」が 70.8%と最も高く、「一部把握している」が 20.8%、「把握していない」が 0.0%となっている。



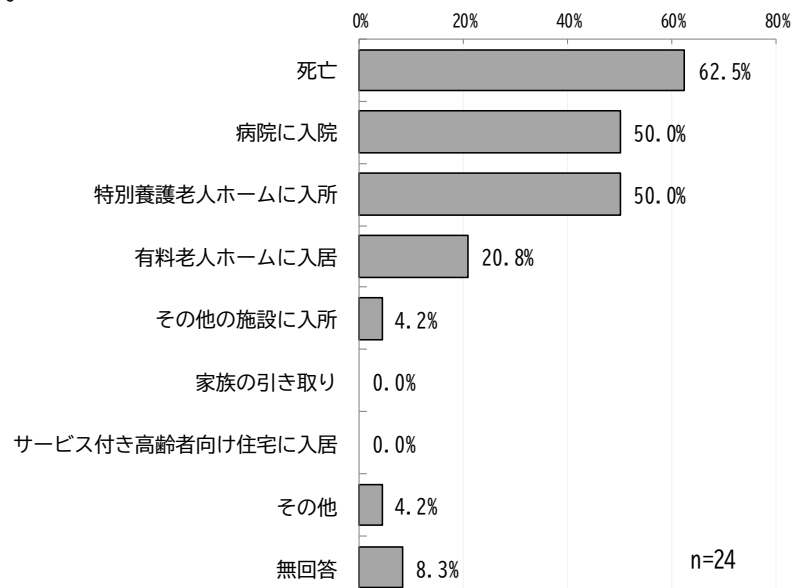
問2 (3) ① 入居を決められた主な理由は何ですか (いくつでも○)。

入居の動機について、「介護が必要になったため」が77.3%と最も高く、「ひとり暮らしが不安になったため」が63.6%、「自宅の管理が大変になったため」が36.4%、「家事が負担になったため（外食以外）」が27.3%、「介護が必要になった時に備えて」「セキュリティ面の安心から（防犯、防災）」が13.6%、「食事の提供があるから」「バリアフリー化されているから」が9.1%となっている。



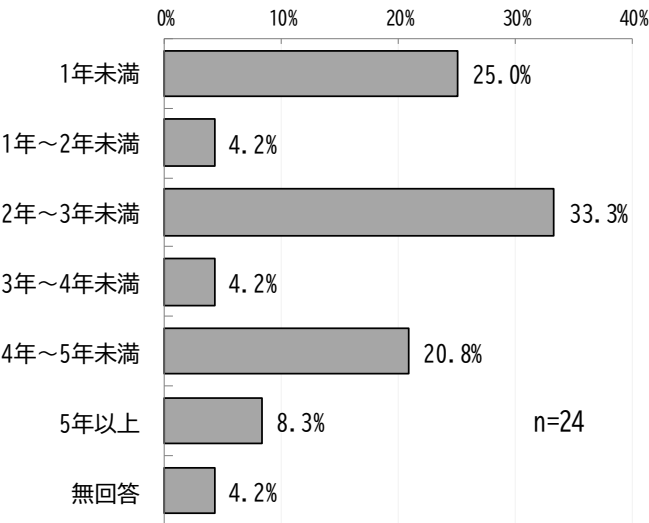
問2 (4) 退居の主な理由は何ですか (3つまで○)。

退居の主な理由として、「死亡」が62.5%と最も高く、「病院に入院」「特別養護老人ホームに入所」が50.0%、「有料老人ホームに入居」が20.8%、「その他の施設に入所」が4.2%、「家族の引き取り」「サービス付き高齢者向け住宅に入居」は0.0%となっている。



問2（5） 入居者の平均入居年数は何年ですか（1つに○）。

平均入居年数について、「2年～3年未満」が33.3%と最も高く、「1年未満」が25.0%、「4年～5年未満」が20.8%、「5年以上」が8.3%、「1年～2年未満」「3年～4年未満」が4.2%となっている。



問2（6） 過去3年間の年間稼働率は何パーセントですか（それぞれ1つに○）。

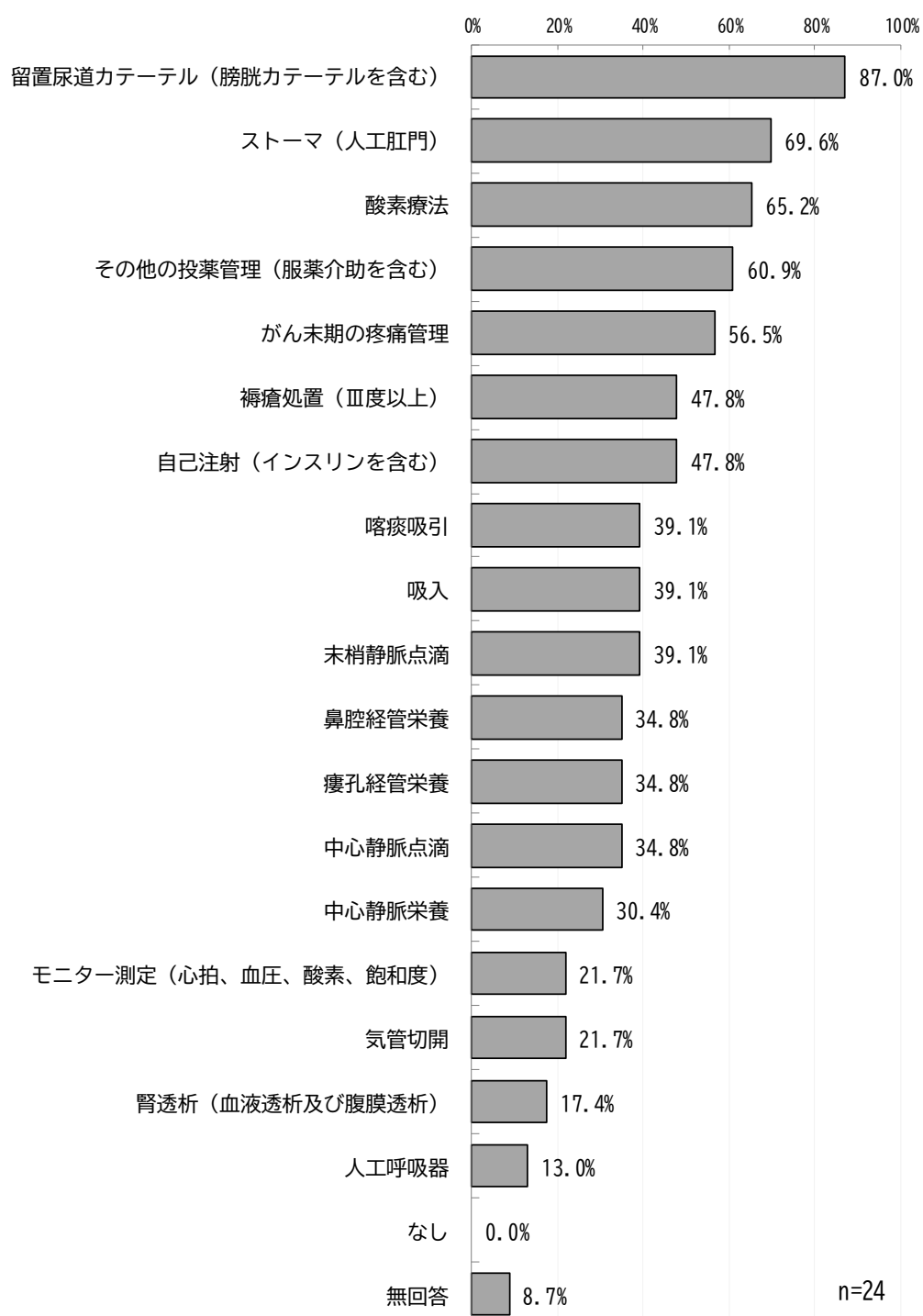
年間稼働率について、全ての年で「80～90%未満」が最も高く、令和6年では、「80～90%未満」が33.3%、「90～100%」が29.2%、「70～80%未満」が20.8%、「60%未満」が8.3%、「60～70%未満」が0.0%となっている。

(%)

	調査数	60%未満	60～70%未満	70～80%未満	80～90%未満	90～100%	無回答
令和4年	24	4.2	4.2	4.2	41.7	16.7	29.2
令和5年	24	12.5	0.0	12.5	29.2	25.0	20.8
令和6年	24	8.3	0.0	20.8	33.3	29.2	8.3

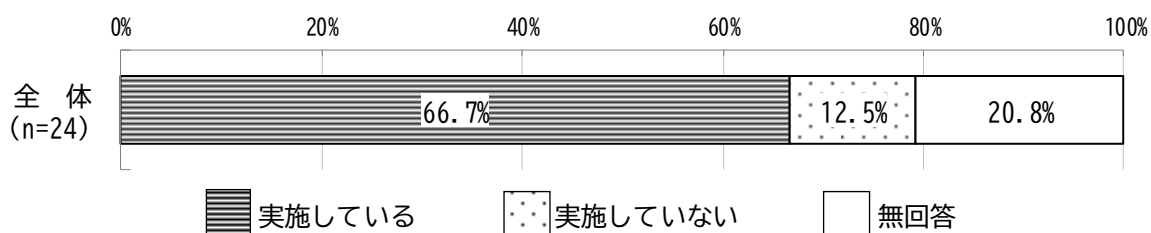
問2（7） 貴事業所で対応可能な医療処置を教えてください（いくつでも○）。

有料老人ホームの事業所において、対応可能な医療処置について、「留置尿道カテーテル（膀胱カテーテルを含む）」が 87.0%と最も高く、「ストーマ（人工肛門）」が 69.6%、「酸素療法」が 65.2%、「その他の投薬管理（服薬介助を含む）」が 60.9%、「がん末期の疼痛管理」が 56.5%、「褥瘡処置（Ⅲ度以上）」「自己注射（インスリンを含む）」が 47.8%、「喀痰吸引」「吸入」「末梢静脈点滴」が 39.1%、「鼻腔経管栄養」「瘻孔経管栄養」「中心静脈点滴」が 34.8%、「中心静脈栄養」が 30.4%、「モニター測定（心拍、血圧、酸素、飽和度）」「気管切開」が 21.7%、「腎透析（血液透析及び腹膜透析）」が 17.4%、「人工呼吸器」が 13.0%となっている。



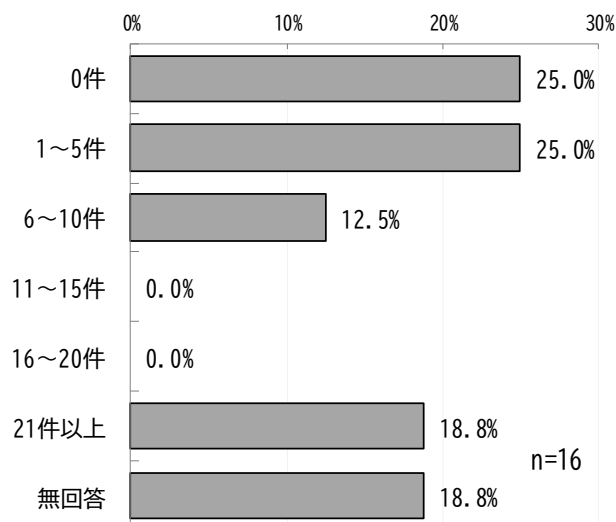
問2(8) 貴事業所では、看取りを実施していますか(1つに○・数字を記入)。

看取りの実施状況について、「実施している」が66.7%と最も高く、「実施していない」が12.5%となっている。



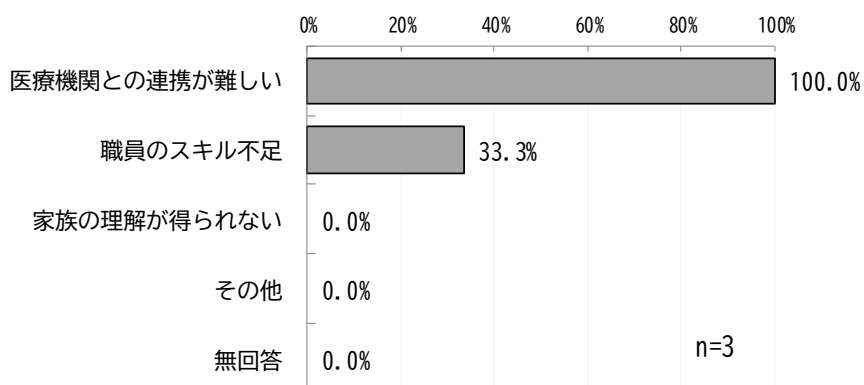
問2(8) 1. 看取りを実施している事業所の、この1年の実績

看取りを「実施している」事業所において、この1年の実績として、「0件」「1～5件」が25.0%と最も高く、「21件以上」が18.8%、「6～10件」が12.5%、「11～15件」「16～20件」が0.0%となっている。



問2(8) ① 看取りを実施していない理由は何ですか(いくつでも○)。

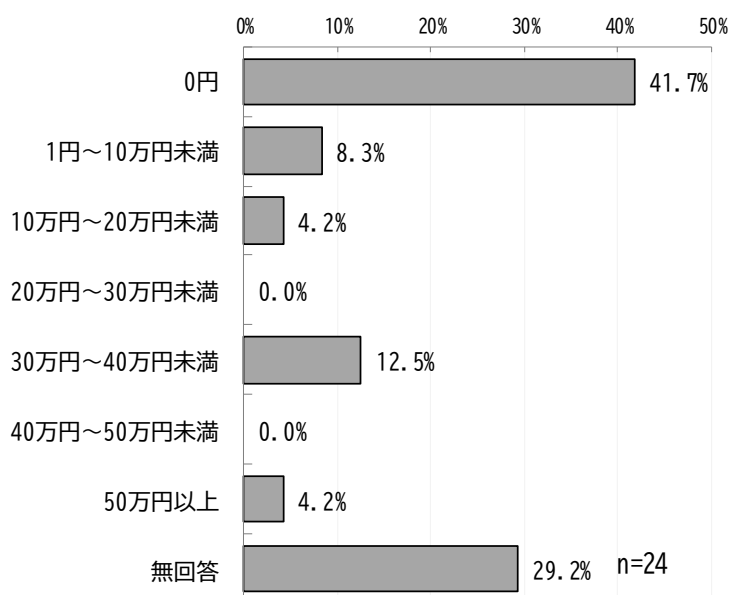
看取りを「実施していない」事業所において、看取りを実施していない理由について、「医療機関との連携が難しい」が100.0%と最も高く、「職員のスキル不足」が33.3%、「家族の理解が得られない」が0.0%となっている。



問2（9） 貴事業所の利用料等につき、以下の質問にお答えください（数字を記入）。

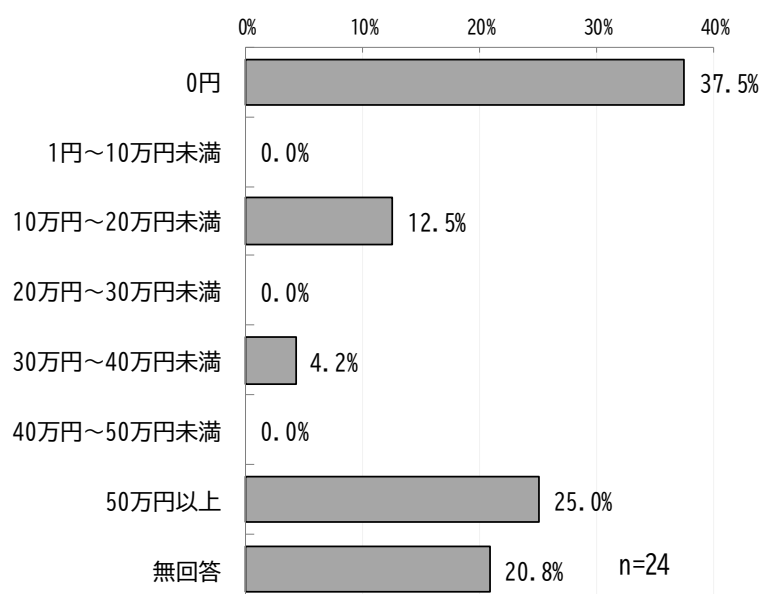
問2（9）① 敷金（保証金）【代表的なプランでお答えください】

敷金（保証金）について、「0円」が41.7%と最も高く、「30万円～40万円未満」が12.5%、「1円～10万円未満」が8.3%、「10万円～20万円未満」「50万円以上」が4.2%、「20万円～30万円未満」「40万円～50万円未満」が0.0%となっている。



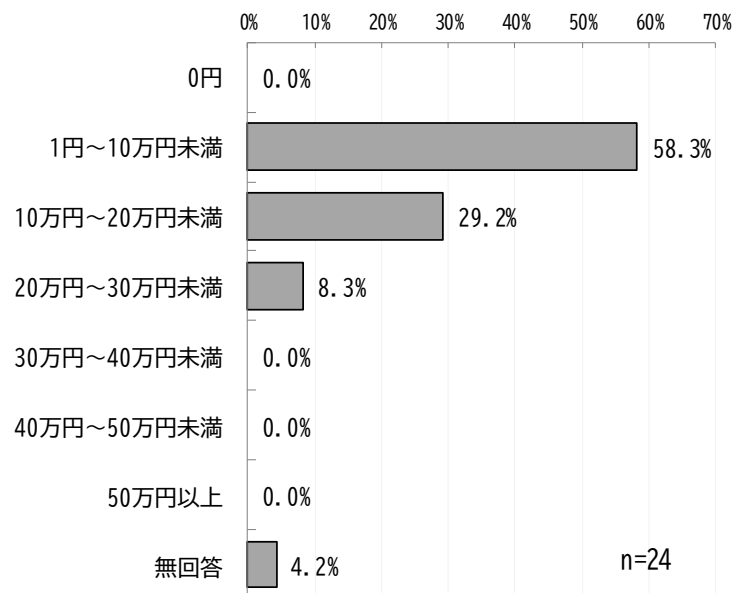
問2（9）② 前払金（入所一時金）【代表的なプランでお答えください】

前払金（入所一時金）について、「0円」が37.5%と最も高く、「50万円以上」が25.0%、「10万円～20万円未満」が12.5%、「30万円～40万円未満」が4.2%、「1円～10万円未満」「20万円～30万円未満」「40万円～50万円未満」が0.0%となっている。



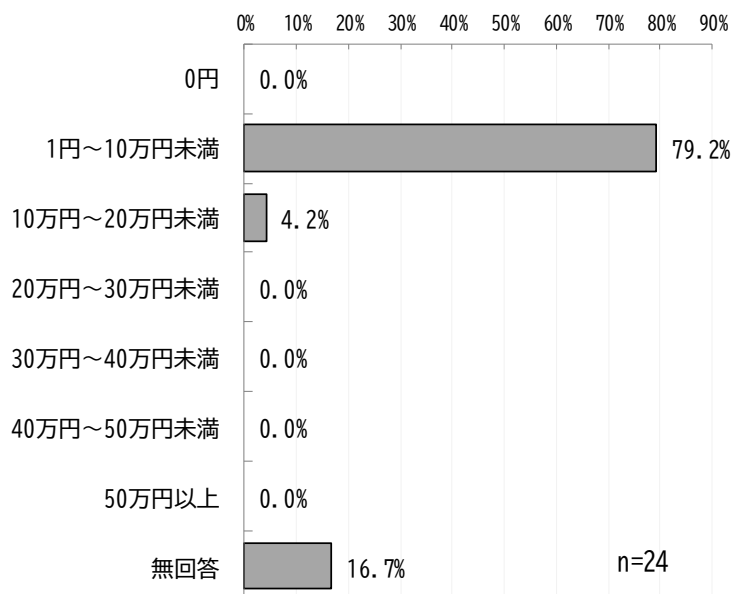
問2(9)③ 月額利用料(賃料)【代表的なプランでお答えください】

月額利用料について、「1円～10万円未満」が58.3%と最も高く、「10万円～20万円未満」が29.2%、「20万円～30万円未満」が8.3%、「0円」「30万円～40万円未満」「40万円～50万円未満」「50万円以上」が0.0%となっている。



問2(9)④ 共益費・管理費【代表的なプランでお答えください】

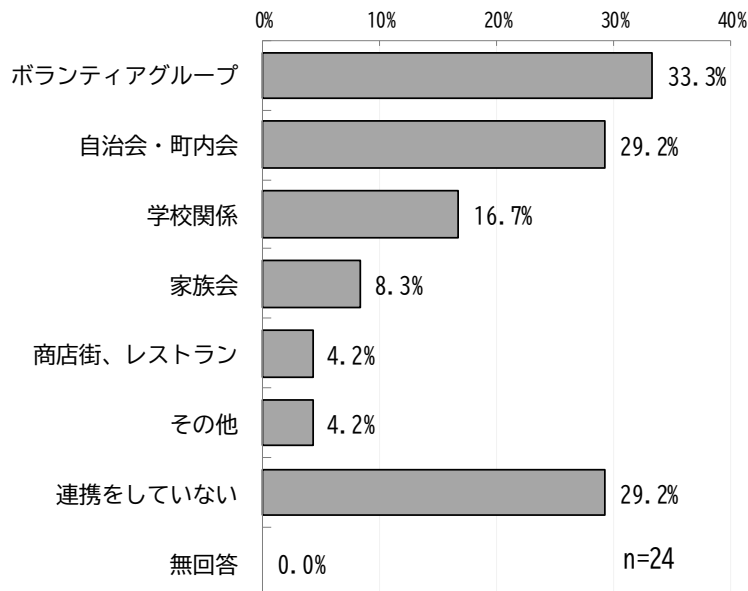
共益費・管理費について、「1円～10万円未満」が79.2%と最も高く、「10万円～20万円未満」が4.2%、「0円」「20万円～30万円未満」「30万円～40万円未満」「40万円～50万円未満」「50万円以上」が0.0%となっている。



(3) 地域や他機関との連携について

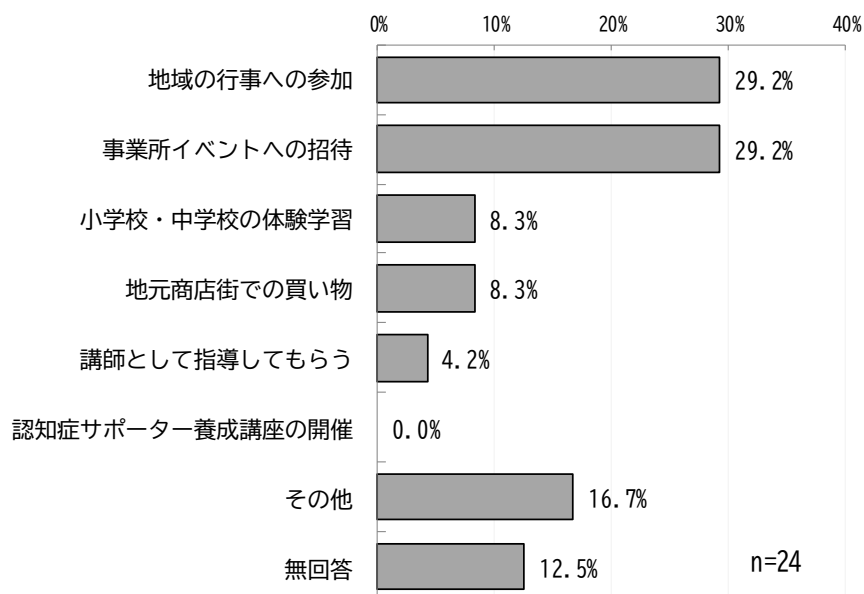
問3 (1) 地域のどのような組織と連携をしていますか (いくつでも○)。

地域の連携先として、「ボランティアグループ」が33.3%と最も高く、「自治会・町内会」が29.2%、「学校関係」が16.7%、「家族会」が8.3%、「商店街、レストラン」が4.2%となっている。また「連携をしていない」が29.2%となっている。



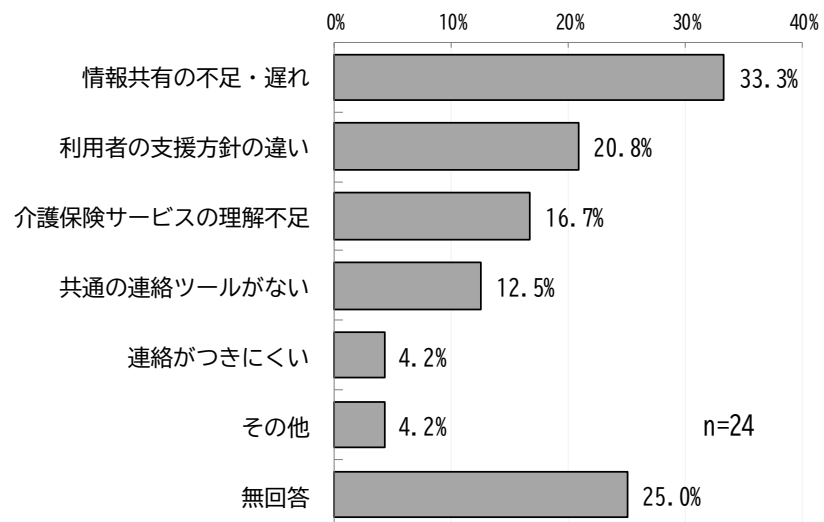
問3 (2) 地域とどのような連携をしていますか (いくつでも○)。

地域との連携方法として、「地域の行事への参加」「事業所イベントへの招待」が29.2%と最も高く、「小学校・中学校の体験学習」「地元商店街での買い物」が8.3%、「講師として指導してもらう」が4.2%、「認知症サポーター養成講座の開催」が0.0%となっている。



問3（3） 医療機関との連携時に感じている課題を教えてください
(いくつでも○)。

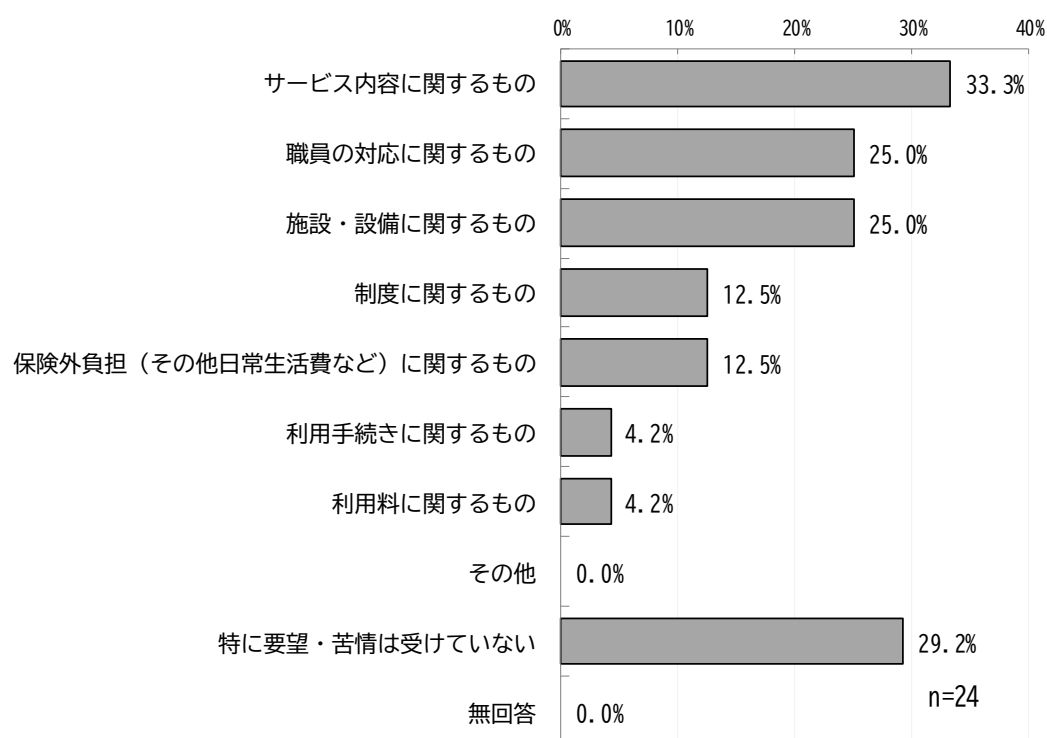
医療機関との連携時に感じている課題について、「情報共有の不足・遅れ」が33.3%と最も高く、「利用者の支援方針の違い」が20.8%、「介護保険サービスの理解不足」が16.7%、「共通の連絡ツールがない」が12.5%、「連絡がつきにくい」が4.2%となっている。



(4) 利用者からの声について

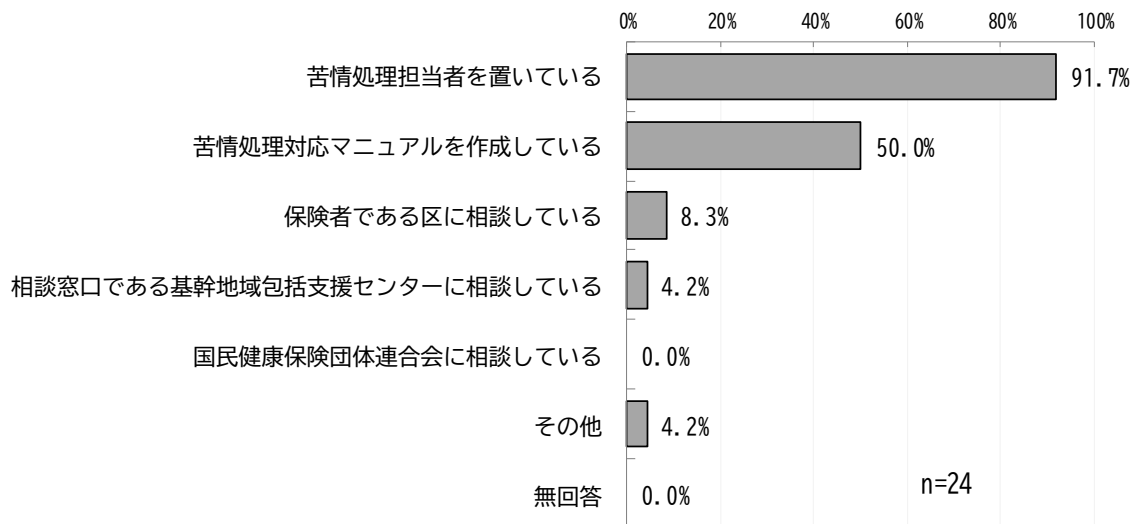
問4 (1) 令和6年度以降、利用者やその家族からどのような要望・苦情がありましたか（いくつでも○）。

令和6年度以降、利用者やその家族から受けた要望・苦情について、「サービス内容に関するもの」が33.3%と最も高く、「職員の対応に関するもの」「施設・設備に関するもの」が25.0%、「制度に関するもの」「保険外負担（その他日常生活費など）に関するもの」が12.5%、「利用手続きに関するもの」「利用料に関するもの」が4.2%となっている。また「特に要望・苦情は受けていない」が29.2%となっている。



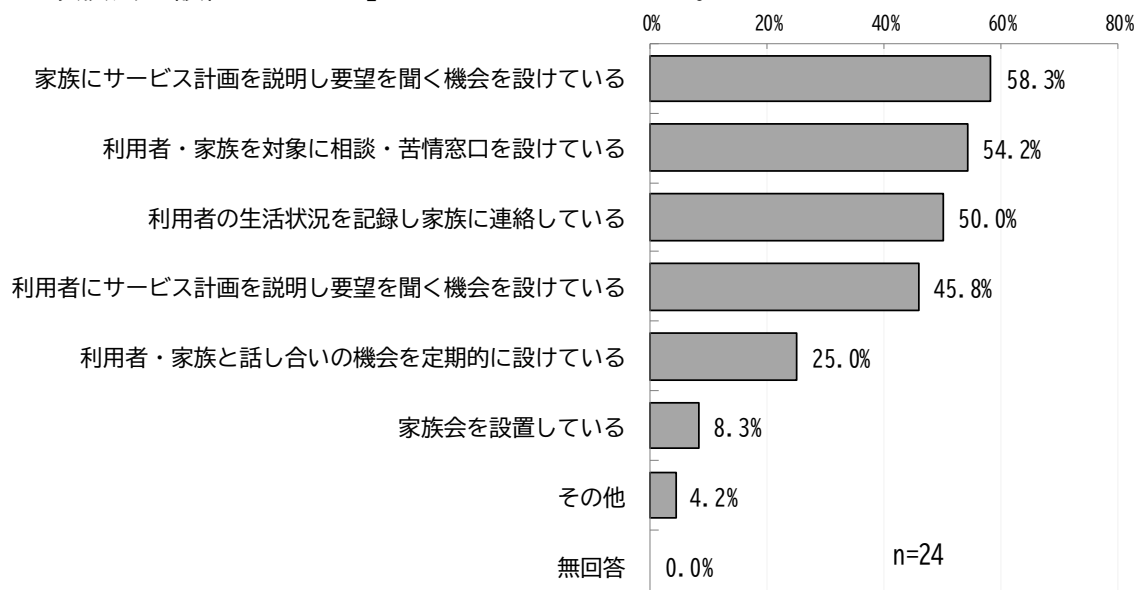
問4（2） 利用者等から苦情があった場合、どのように対応していますか（いくつでも○）。

利用者等から苦情があった場合の対応として、「苦情処理担当者を置いている」が91.7%と最も高く、「苦情処理対応マニュアルを作成している」が50.0%、「保険者である区に相談している」が8.3%、「相談窓口である基幹地域包括支援センターに相談している」が4.2%、「国民健康保険団体連合会に相談している」が0.0%となっている。



問4（3） 利用者や家族の要望を積極的に取り入れるため、どのような取り組みを行っていますか（いくつでも○）。

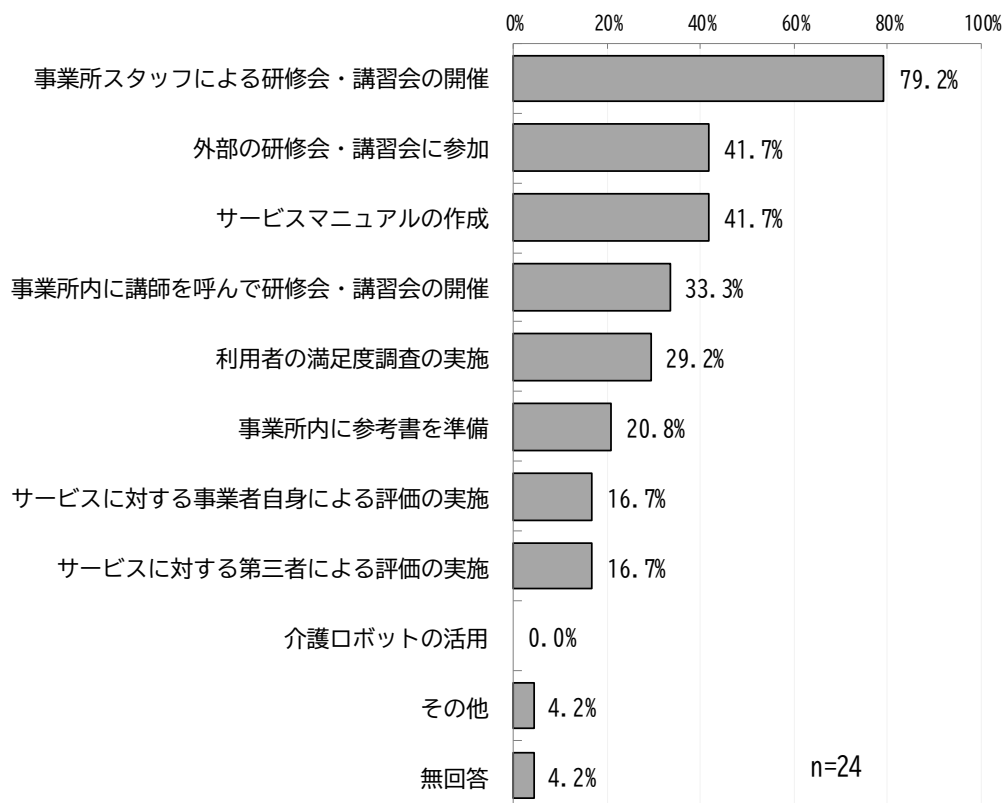
利用者や家族の要望を積極的に取り入れるための取り組みとして、「家族にサービス計画を説明し要望を聞く機会を設けている」が58.3%と最も高く、「利用者・家族を対象に相談・苦情窓口を設けている」が54.2%、「利用者の生活状況を記録し家族に連絡している」が50.0%、「利用者にサービス計画を説明し要望を聞く機会を設けている」が45.8%、「利用者・家族と話し合いの機会を定期的に設けている」が25.0%、「家族会を設置している」が8.3%となっている。



(5) サービスの質の向上について

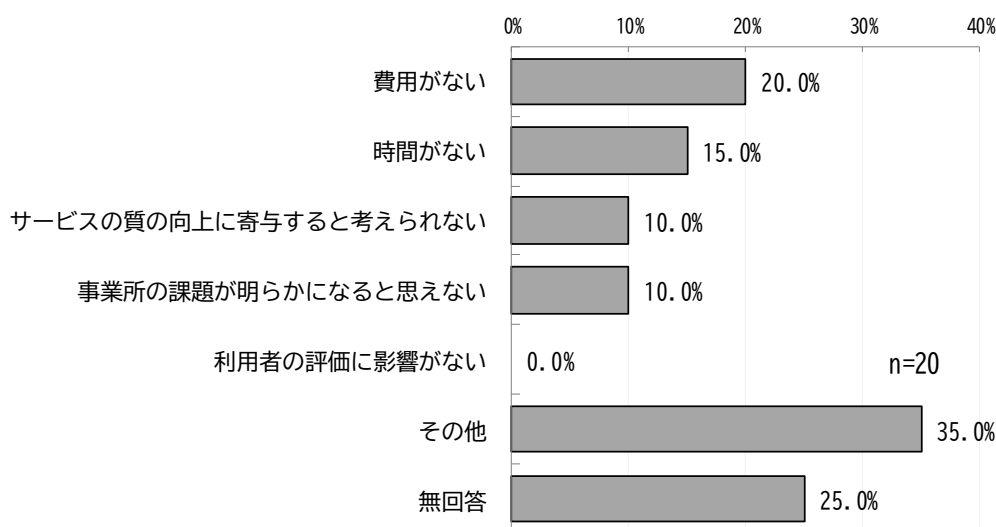
問5 (1) サービスの質の向上のために、どのような取り組みを行っていますか。今後の予定も含めてお答えください（いくつでも○）。

サービスの質の向上にむけて行っている取り組みについて、「事業所スタッフによる研修会・講習会の開催」が79.2%と最も高く、「外部の研修会・講習会に参加」「サービスマニュアルの作成」が41.7%、「事業所内に講師を呼んで研修会・講習会の開催」が33.3%、「利用者の満足度調査の実施」が29.2%、「事業所内に参考書を準備」が20.8%、「サービスに対する事業者自身による評価の実施」「サービスに対する第三者による評価の実施」が16.7%となっている。



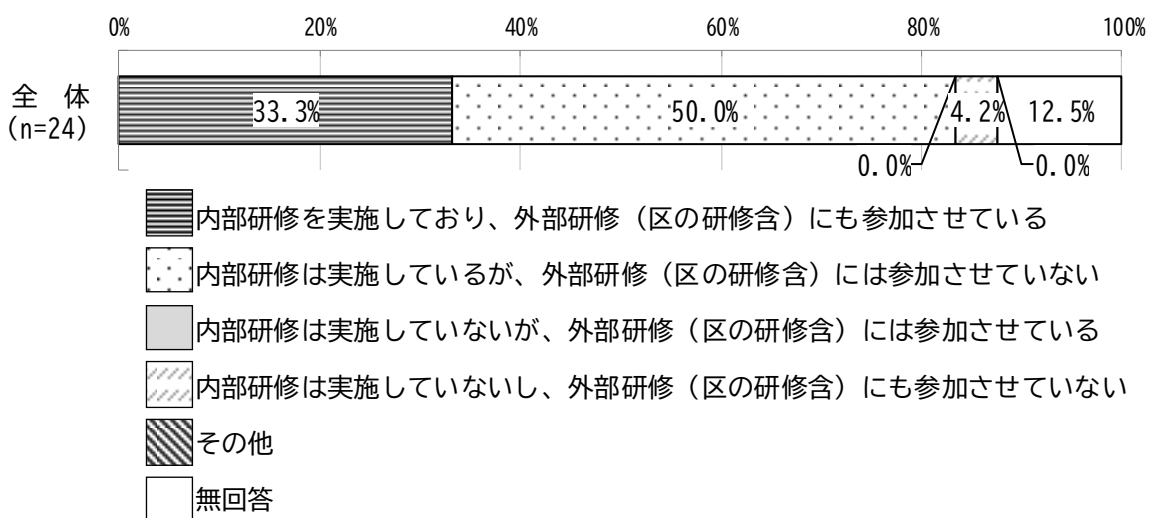
問5（1）① 第三者評価を受けていない理由は何ですか（いくつでも○）。

サービスの質の向上にむけて、「サービスに対する第三者による評価の実施」を行っていない事業所において、第三者評価を受けていない理由について、「費用がない」が20.0%と最も高く、「時間がない」が15.0%、「サービスの質の向上に寄与すると考えられない」「事業所の課題が明らかになると思えない」が10.0%、「利用者の評価に影響がない」が0.0%となっている。



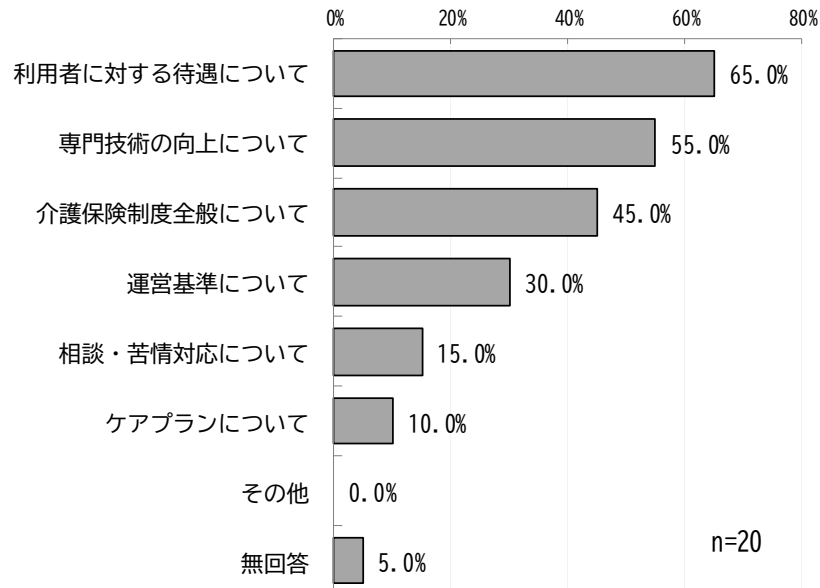
問5（2） 職員に対する社内・社外研修の実施状況をお答えください（1つに○）。

職員に対する社内・社外研修の実施状況について、「内部研修は実施しているが、外部研修（区の研修含）には参加させていない」が50.0%と最も高く、「内部研修を実施しており、外部研修（区の研修含）にも参加させている」が33.3%、「内部研修は実施していないが、外部研修（区の研修含）にも参加させている」が4.2%、「内部研修は実施していないし、外部研修（区の研修含）にも参加させていない」が0.0%となっている。



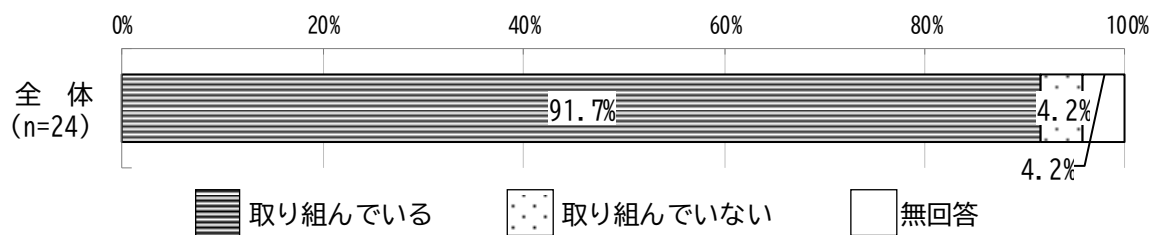
問5（2）① どのような内容の研修を実施されていますか。もしくはどのような研修に参加させていますか（いくつでも○）。

実施している、もしくは参加させている研修の内容について、「利用者に対する待遇について」が65.0%と最も高く、「専門技術の向上について」が55.0%、「介護保険制度全般について」が45.0%、「運営基準について」が30.0%、「相談・苦情対応について」が15.0%、「ケアプランについて」が10.0%となっている。



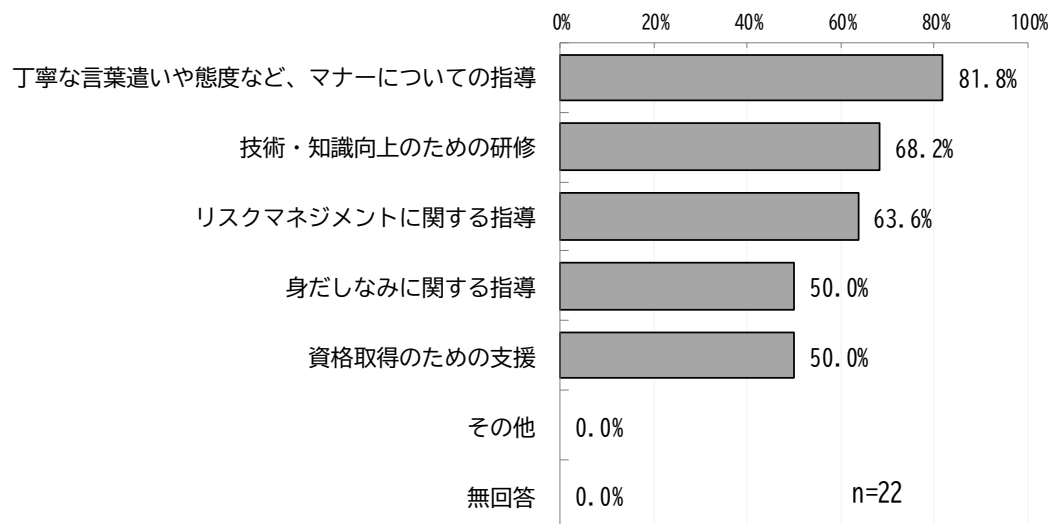
問5（3） 職員の教育に取り組んでいますか（1つに○）。

職員の教育について、「取り組んでいる」が91.7%と最も高く、「取り組んでいない」が4.2%となっている。



問5（3）① 職員の教育で力を入れていることは何ですか（いくつでも○）。

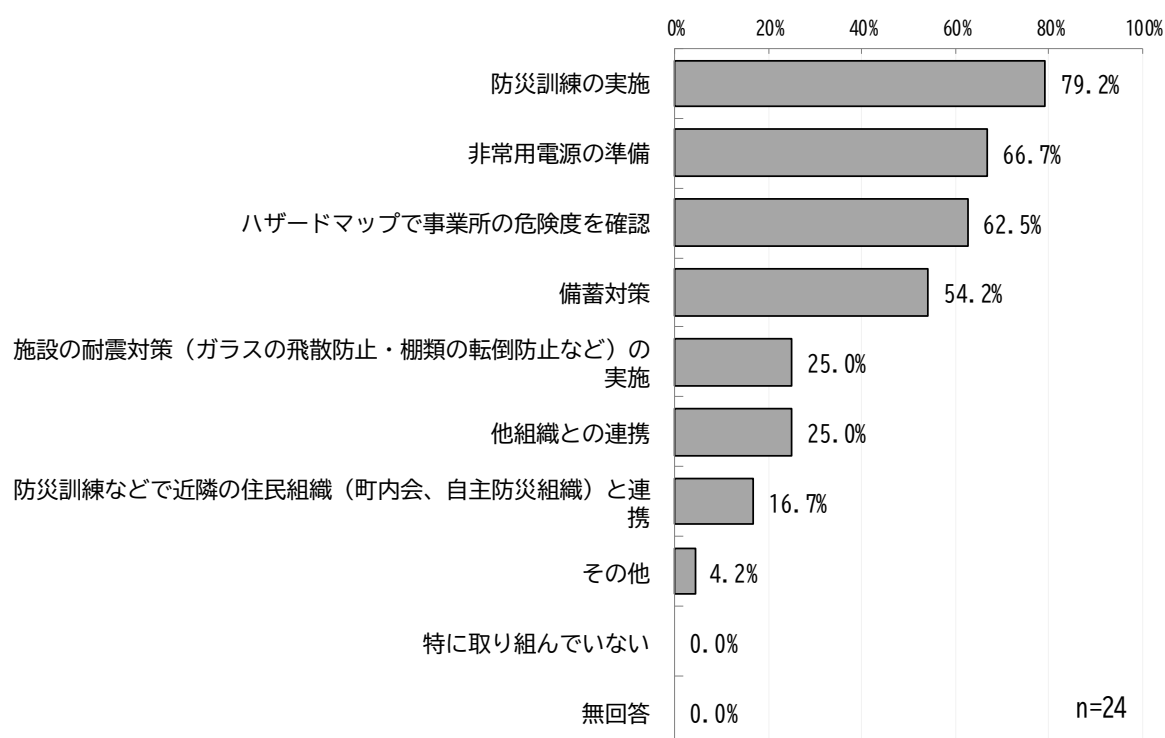
職員教育で力を入れている点について、「丁寧な言葉遣いや態度など、マナーについての指導」が81.8%と最も高く、「技術・知識向上のための研修」が68.2%、「リスクマネジメントに関する指導」が63.6%、「身だしなみに関する指導」「資格取得のための支援」が50.0%となっている。



(6) リスク管理について

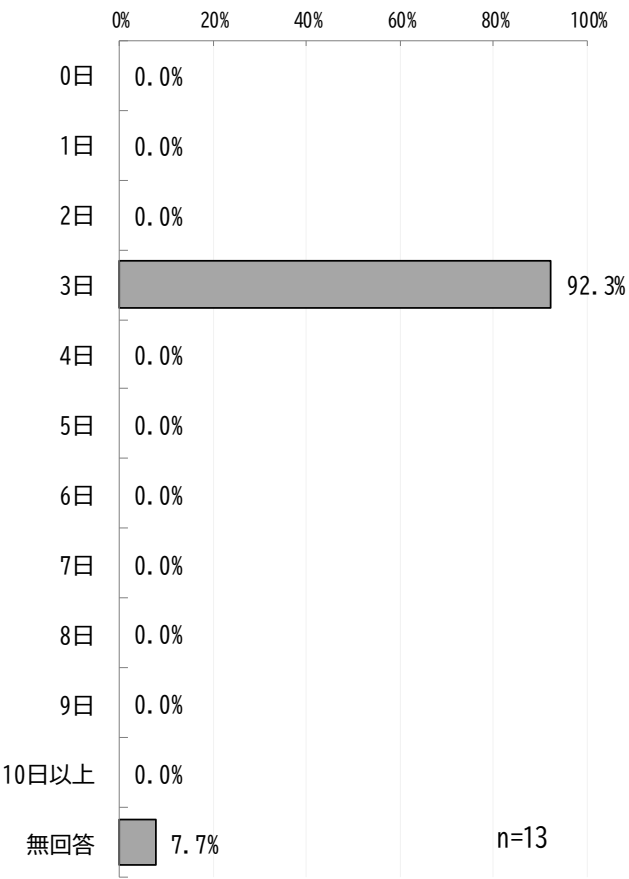
問6(1) 貴事業所が行っている有事（感染症や自然災害）を想定した平時の備えについて、お答えください（いくつでも○）。

事業所における有事（感染症や自然災害）を想定した平時の備えについて、「防災訓練の実施」が79.2%と最も高く、「非常用電源の準備」が66.7%、「ハザードマップで事業所の危険度を確認」が62.5%、「備蓄対策」が54.2%、「施設の耐震対策（ガラスの飛散防止・棚類の転倒防止など）の実施」「他組織との連携」が25.0%、「防災訓練などで近隣の住民組織（町内会、自主防災組織）と連携」が16.7%となっている。



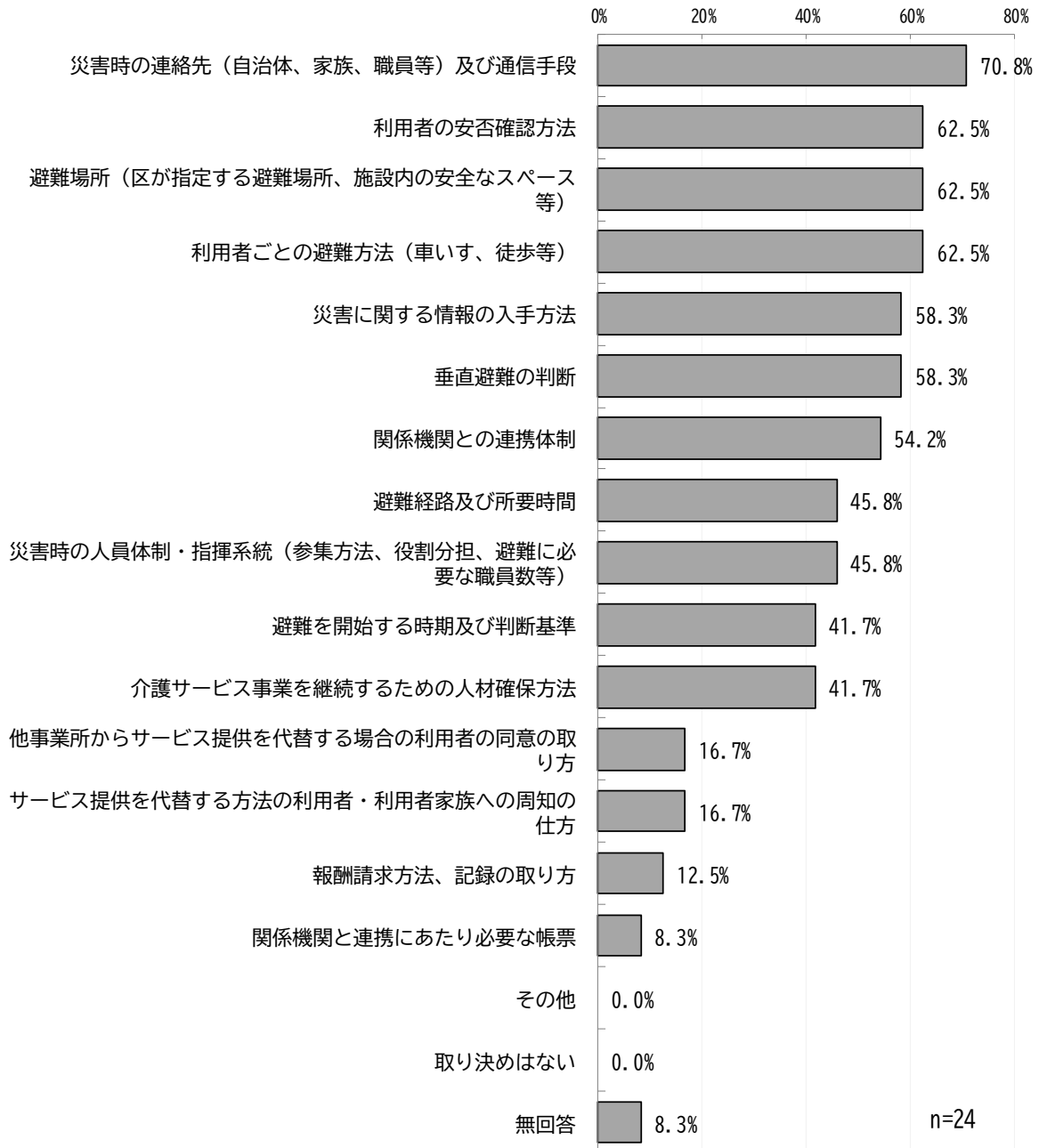
問6（1）① 備蓄は定員および職員あわせて何日分準備していますか（数字を記入）。

「備蓄対策」と回答した事業所の、事業所における災害時の備蓄を定員および職員をあわせて準備している日数は、「3日」が92.3%と最も高くなっている。



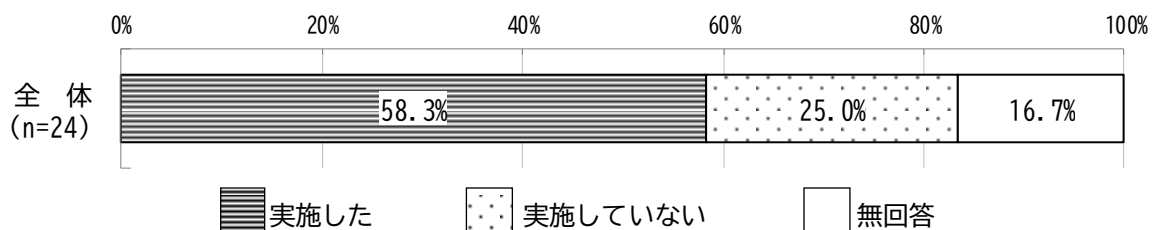
問6（2） 有事（感染症や自然災害）が発生した際に貴事業所で取り決められている内容について、お答えください（いくつでも○）。

有事（感染症や自然災害）が発生した際に事業所で取り決められている内容について、「災害時の連絡先（自治体、家族、職員等）及び通信手段」が70.8%と最も高く、「利用者の安否確認方法」「避難場所（区が指定する避難場所、施設内の安全なスペース等）」「利用者ごとの避難方法（車いす、徒歩等）」が62.5%、「災害に関する情報の入手方法」「垂直避難の判断」が58.3%と続いている。



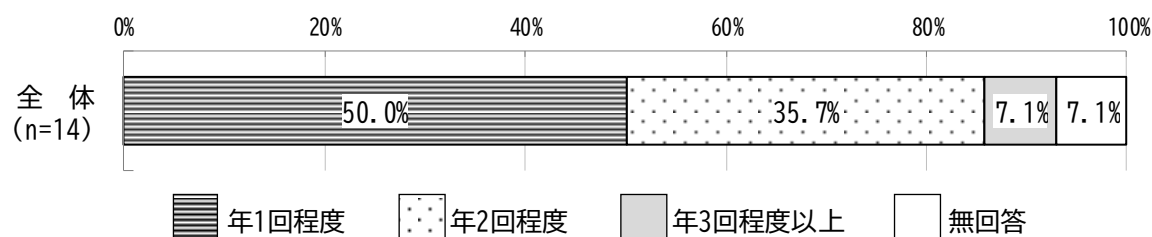
問6（3） 貴事業所は令和6・7年に水害を含む避難訓練を実施しましたか（1つに○・数字を記入）。

令和6年・7年における水害を含む避難訓練について、「実施した」が58.3%、「実施していない」が25.0%となっている。



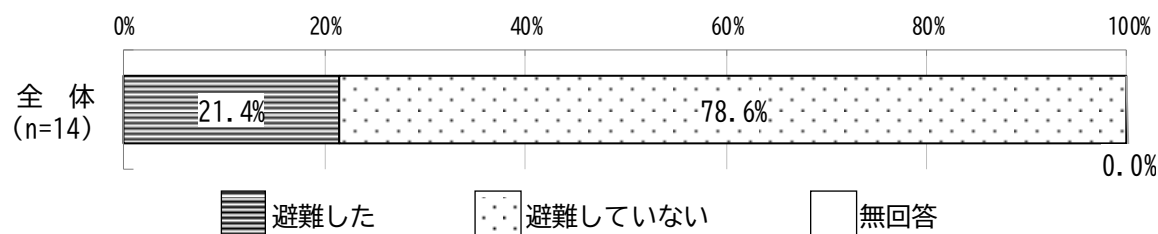
① 水害を含む避難訓練を実施した事業所の年間実施回数（数字で記入）

水害を含む避難訓練について、「年1回程度」が50.0%と最も高く、「年2回程度」が35.7%、「年3回程度以上」が7.1%となっている。



問6（3）① 実施した避難訓練に介護度の最も重い方は参加しましたか（実際に避難しましたか）（1つに○）。

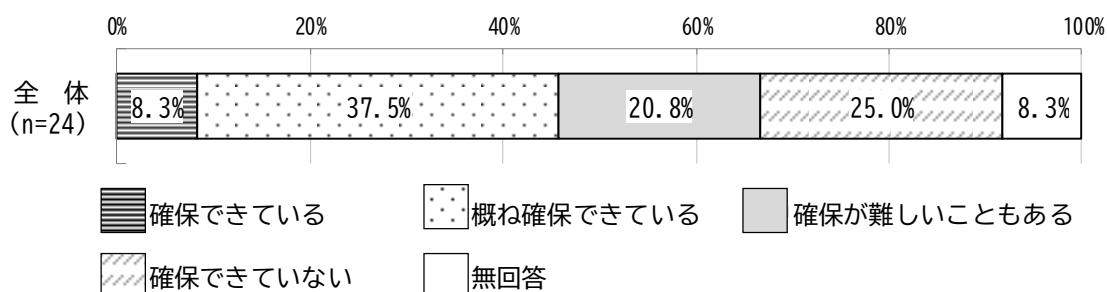
介護度の最も重い方の避難訓練への参加について、「避難した」が21.4%、「避難していない」が78.6%となっている。



(7) 人材確保について

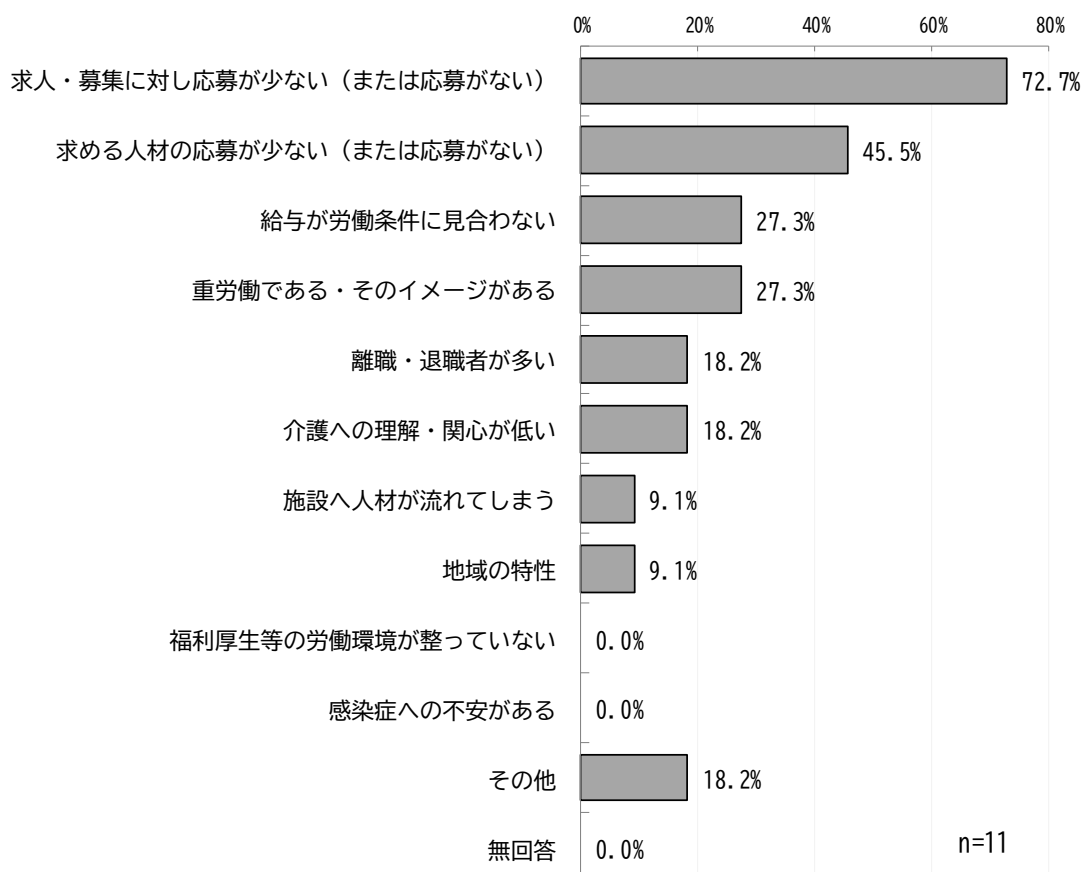
問7(1) 貴事業所では、介護職員等の人材は確保できていますか(1つに○)。

事業所の介護職員等の人材について、「概ね確保できている」が37.5%と最も高く、「確保できていない」が25.0%、「確保が難しいこともある」が20.8%、「確保できている」が8.3%となっている。



問7(1)① その理由は何ですか(いくつでも○)。

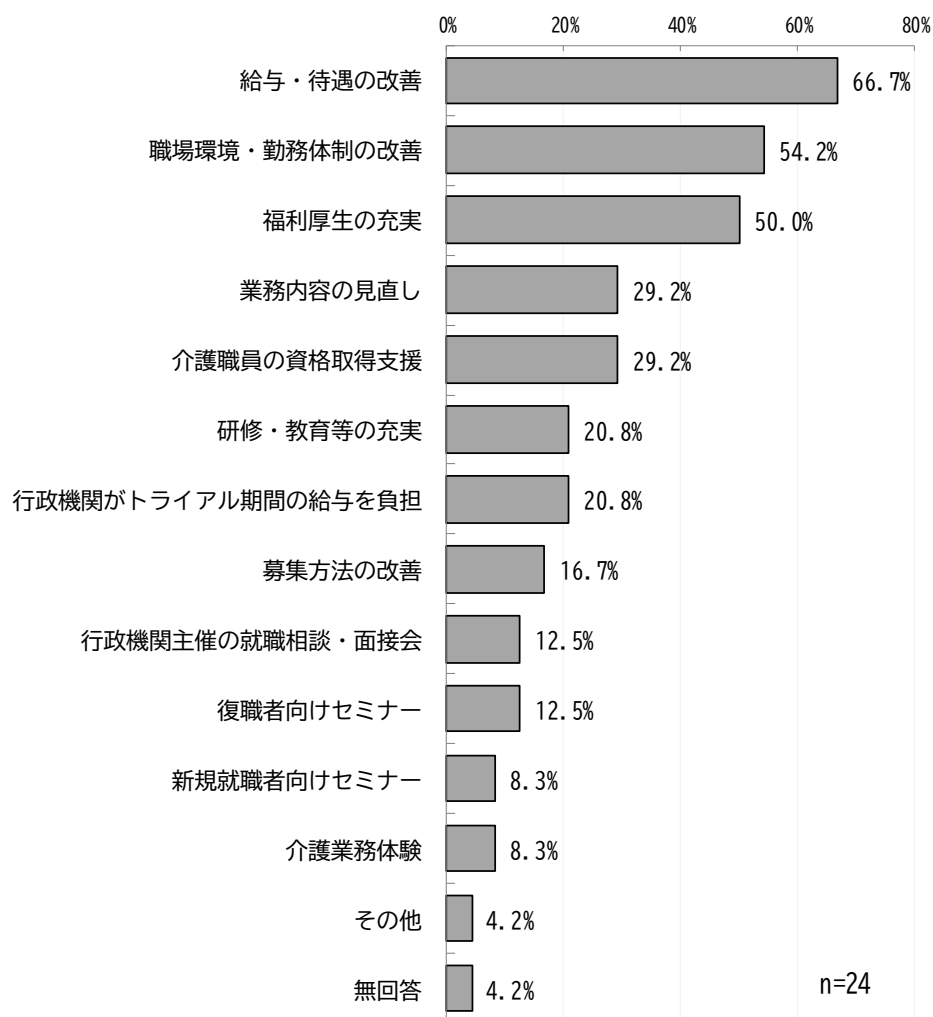
介護職員等の人材について、「求人・募集に対し応募が少ない(または応募がない)」が72.7%と最も高く、「求める人材の応募が少ない(または応募がない)」が45.5%、「給与が労働条件に見合わない」「重労働である・そのイメージがある」が27.3%、「離職・退職者が多い」「介護への理解・関心が低い」が18.2%、「施設へ人材が流れてしまう」「地域の特性」が9.1%、「福利厚生等の労働環境が整っていない」「感染症への不安がある」が0.0%となっている。



n=11

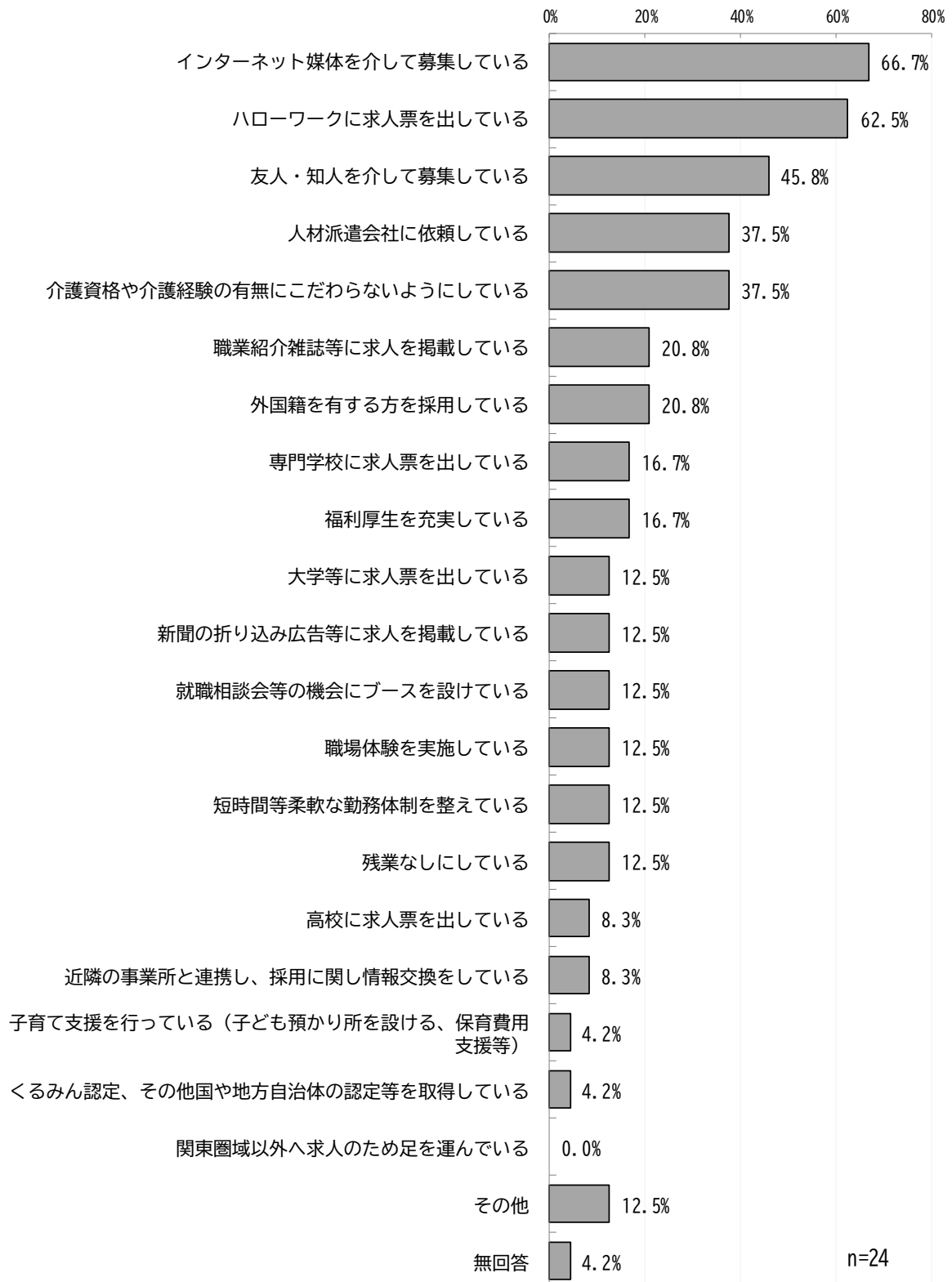
問7(2) 人材確保支援策として有効だと思うものは何ですか(いくつでも○)。

人材確保支援策として有効だと思うものについて、「給与・待遇の改善」が66.7%と最も高く、「職場環境・勤務体制の改善」が54.2%、「福利厚生の充実」が50.0%、「業務内容の見直し」「介護職員の資格取得支援」が29.2%、「研修・教育等の充実」「行政機関がトライアル期間の給与を負担」が20.8%、「募集方法の改善」が16.7%、「行政機関主催の就職相談・面接会」「復職者向けセミナー」が12.5%、「新規就職者向けセミナー」「介護業務体験」が8.3%となっている。



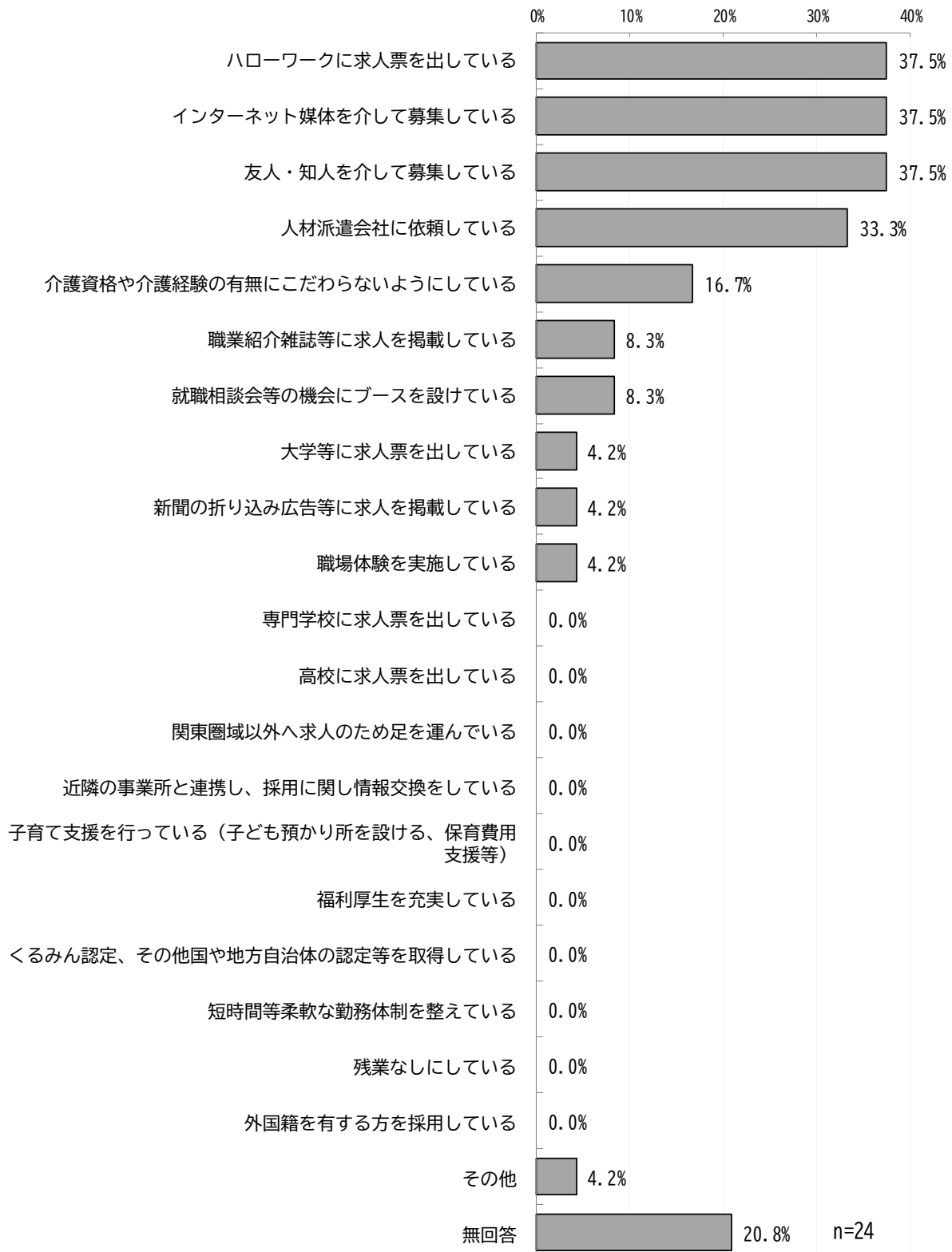
問7（3） 貴事業所では、職員の募集（採用）にあたりどのような工夫を行っていますか（いくつでも○）。

事業所の職員募集の工夫について、「インターネット媒体を介して募集している」が66.7%と最も高く、「ハローワークに求人票を出している」が62.5%、「友人・知人を介して募集している」が45.8%、「人材派遣会社に依頼している」「介護資格や介護経験の有無にこだわらないようにしている」が37.5%、「職業紹介雑誌等に求人を掲載している」「外国籍を有する方を採用している」が20.8%と続いている。



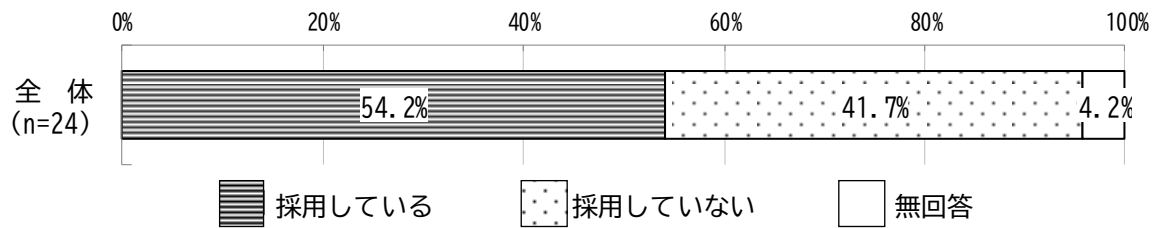
問7(4) 職員募集(採用)で効果のあったものは何ですか(3つまで数字を記入)。

職員募集で効果のあったものとして、「ハローワークに求人票を出している」「インターネット媒体を介して募集している」「友人・知人を介して募集している」が37.5%と最も高く、「人材派遣会社に依頼している」が33.3%、「介護資格や介護経験の有無にこだわらないようにしている」が16.7%と続いている。



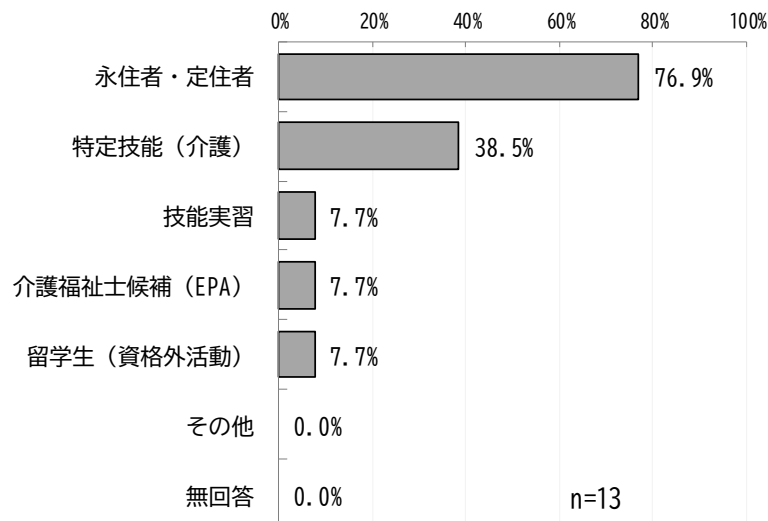
問7(5) 貴事業所では、外国籍を有する方を採用していますか(1つに○)。

外国籍を有する方の採用について、「採用している」が54.2%と最も高く、「採用していない」が41.7%となっている。



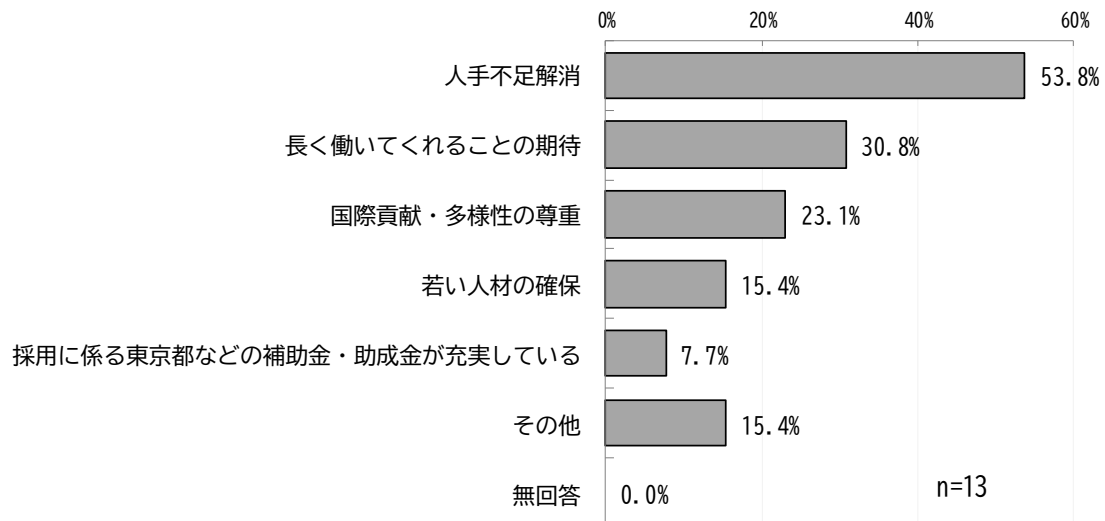
問7(5)① 採用した外国籍を有する方の在留資格を教えてください(いくつでも○)。

外国籍を有する方の在留資格について、「永住者・定住者」が76.9%と最も高く、「特定技能(介護)」が38.5%、「技能実習」「介護福祉士候補(EPA)」「留学生(資格外活動)」が7.7%となっている。



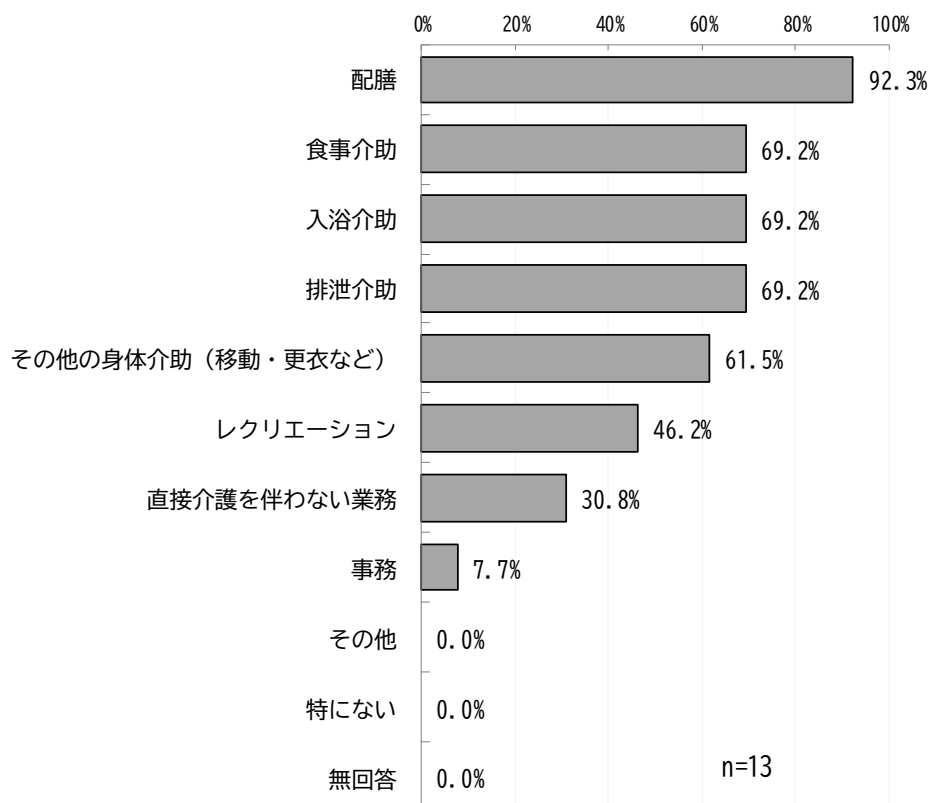
問7(5)② 外国籍を有する方を採用した主な理由を教えてください(いくつでも○)。

外国籍を有する方の主な採用理由について、「人手不足解消」が53.8%と最も高く、「長く働いてくれることの期待」が30.8%、「国際貢献・多様性の尊重」が23.1%、「若い人材の確保」が15.4%、「採用に係る東京都などの補助金・助成金が充実している」が7.7%となっている。



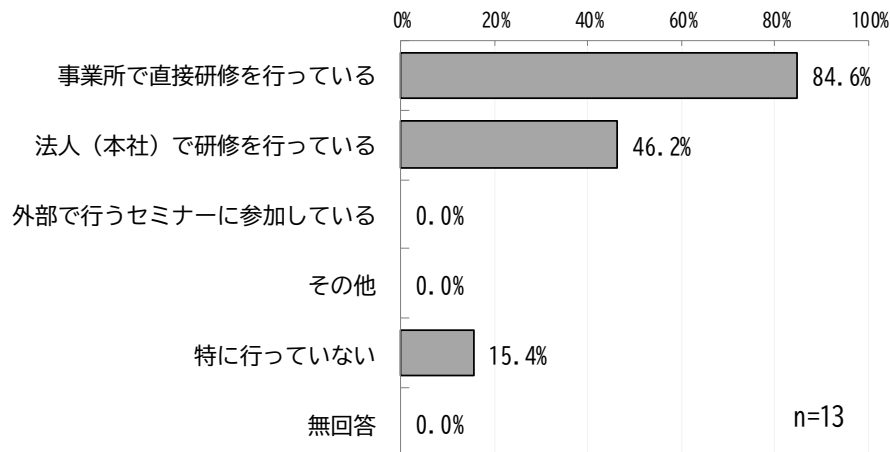
問7(5)③ 外国籍を有する方が行っている主な業務は何ですか(いくつでも○)。

外国籍を有する方が行っている主な業務について、「配膳」が92.3%と最も高く、「食事介助」「入浴介助」「排泄介助」が69.2%、「その他の身体介助(移動・更衣など)」が61.5%、「レクリエーション」が46.2%、「直接介護を伴わない業務」が30.8%、「事務」が7.7%となっている。



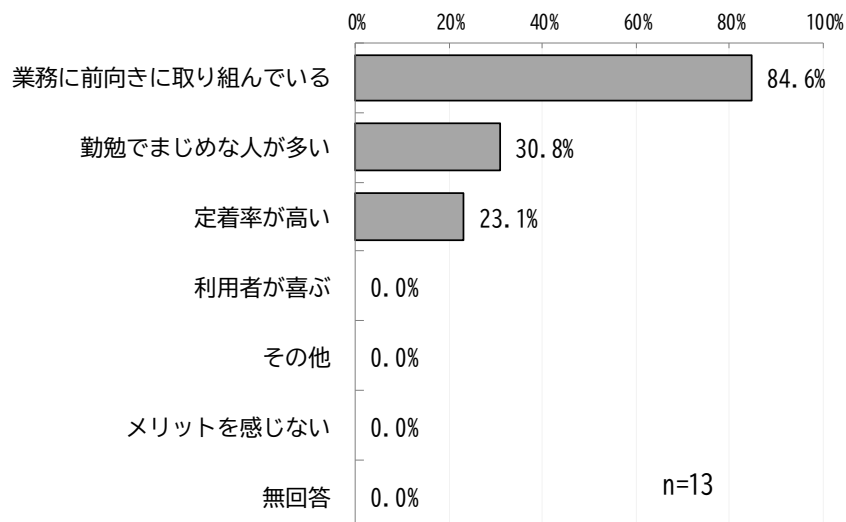
問7 (5) ④ 外国籍を有する方への教育はどのようにしていますか（いくつでも○）。

外国籍を有する方を「採用している」と回答した事業所の、必要な教育の実施状況について、「事業所で直接研修を行っている」が 84.6%と最も高く、「法人（本社）で研修を行っている」が 46.2%、「外部で行うセミナーに参加している」が 0.0%、「特に行っていない」が 15.4%となっている。



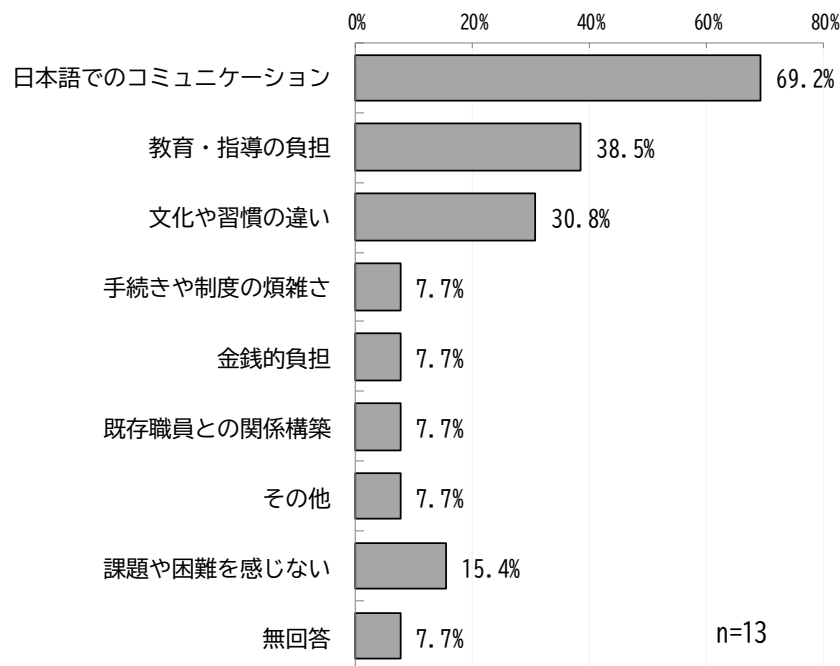
問7 (5) ⑤ 外国籍を有する方を採用して感じたメリットを教えてください（いくつでも○）。

外国籍を有する方を採用して感じたメリットについて、「業務に前向きに取り組んでいる」が 84.6%と最も高く、「勤勉でまじめな人が多い」が 30.8%、「定着率が高い」が 23.1%、「利用者が喜ぶ」「メリットを感じない」が 0.0%となっている。



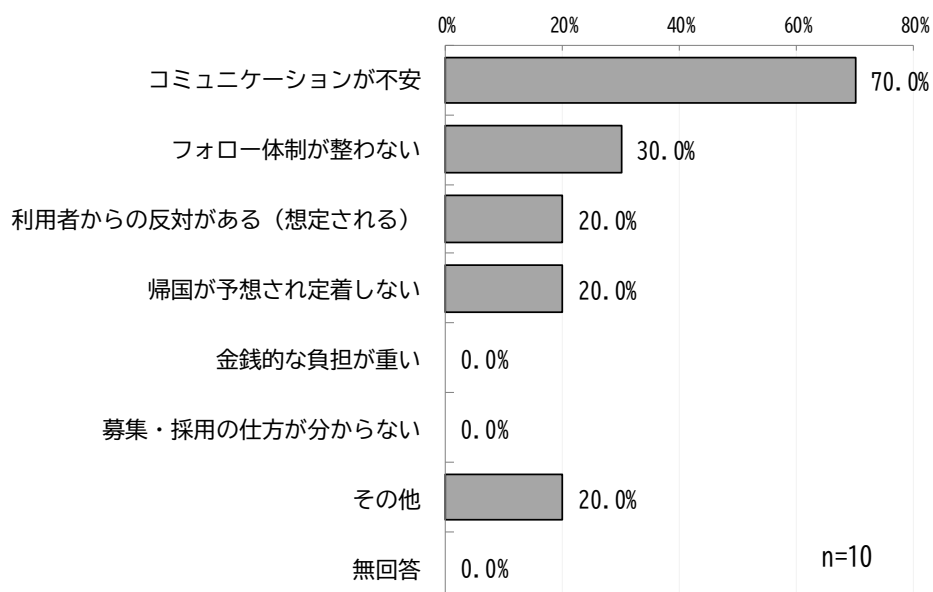
問7 (5) ⑥ 外国籍を有する方を採用して感じた課題や困難を感じたことを教えてください（いくつでも○）。

外国籍を有する方を採用して感じた課題や困難を感じたことについて、「日本語でのコミュニケーション」が69.2%と最も高く、「教育・指導の負担」が38.5%、「文化や習慣の違い」が30.8%、「手続きや制度の煩雑さ」「金銭的負担」「既存職員との関係構築」が7.7%、「課題や困難を感じない」が15.4%となっている。



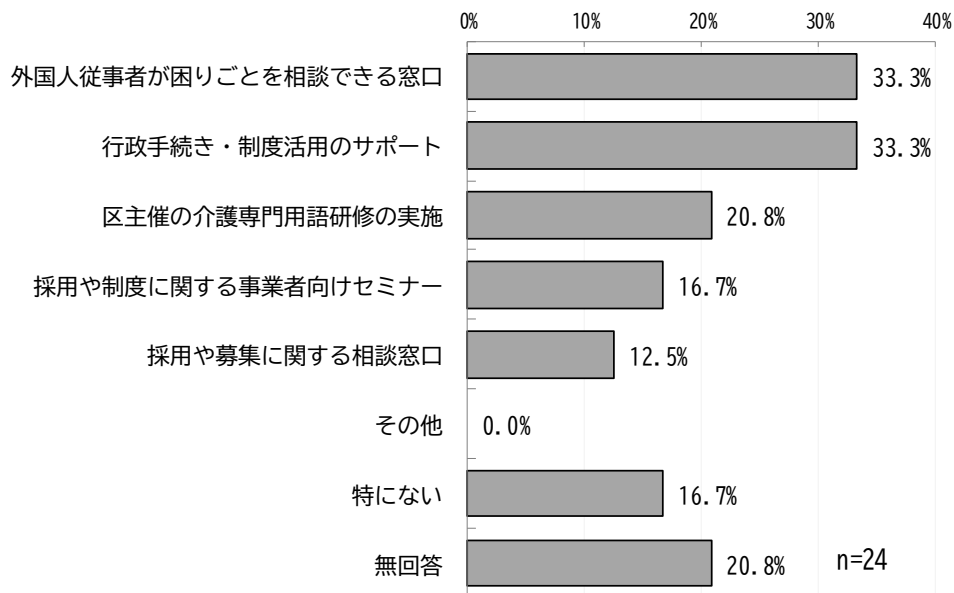
問7 (5) ⑦ 外国籍を有する方を採用していない理由は何ですか（いくつでも○）。

外国籍を有する方を採用していない理由は、「コミュニケーションが不安」が70.0%と最も高く、「フォロー体制が整わない」が30.0%、「利用者からの反対がある（想定される）」「帰国が予想され定着しない」が20.0%、「金銭的な負担が重い」「募集・採用の仕方が分からない」が0.0%となっている。



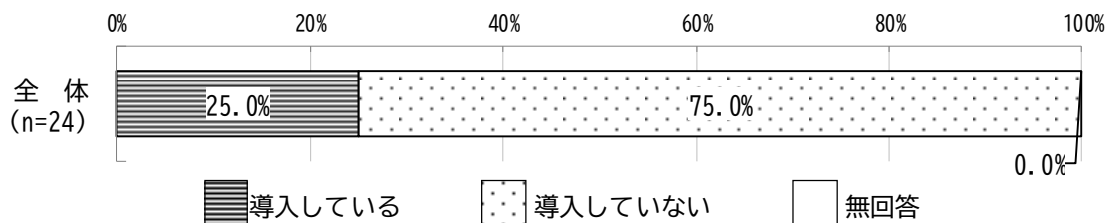
問7（6） 外国籍を有する方の採用・定着のために必要だと感じる支援を教えてください（いくつでも○）。

外国籍を有する方の採用・定着のために必要だと感じる支援は、「外国人従事者が困りごとを相談できる窓口」「行政手続き・制度活用のサポート」が33.3%と最も高く、「区主催の介護専門用語研修の実施」が20.8%、「採用や制度に関する事業者向けセミナー」「特にない」が16.7%、「採用や募集に関する相談窓口」が12.5%となっている。



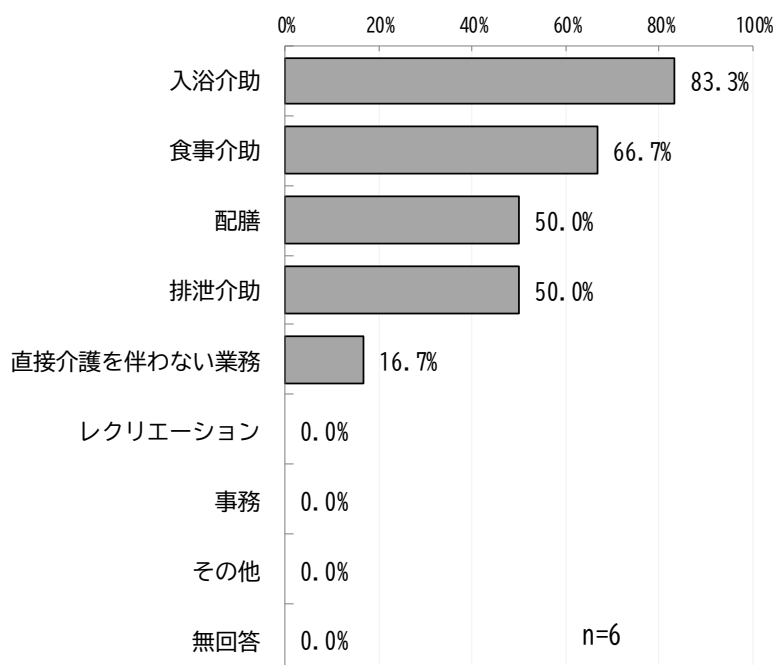
問7（7） スポットワーク（単発・短時間勤務の人材活用）を導入していますか（1つに○）。

スポットワーク（単発・短時間勤務の人材活用）導入状況について、「導入している」が25.0%、「導入していない」が75.0%となっている。



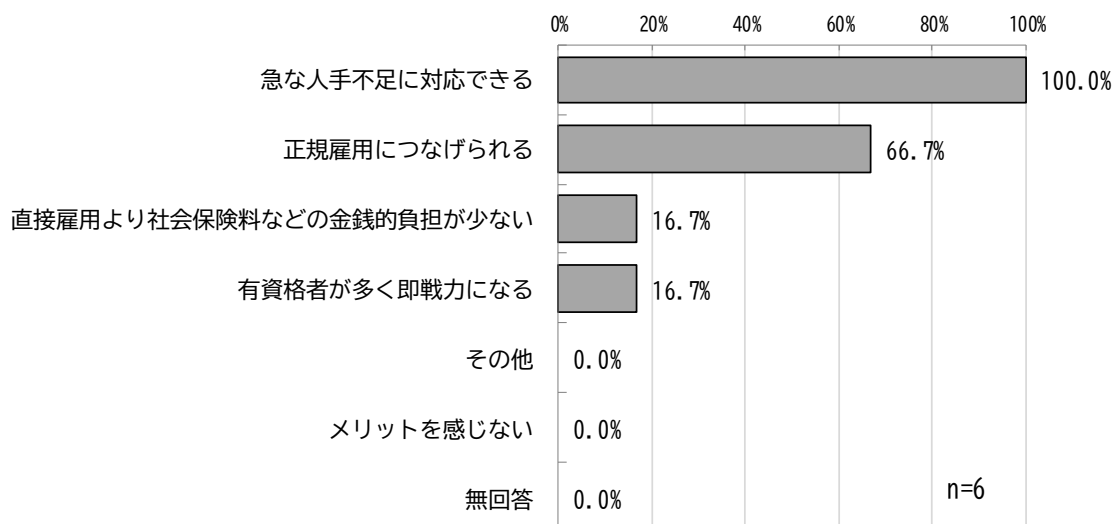
問7 (7) ① どの業務にスポットワークを導入しているか教えてください（いくつでも○）。

スポットワークを導入している業務について、「入浴介助」が 83.3%と最も高く、「食事介助」が 66.7%、「配膳」「排泄介助」が 50.0%、「直接介護を伴わない業務」が 16.7%、「レクリエーション」「事務」が 0.0%となっている。



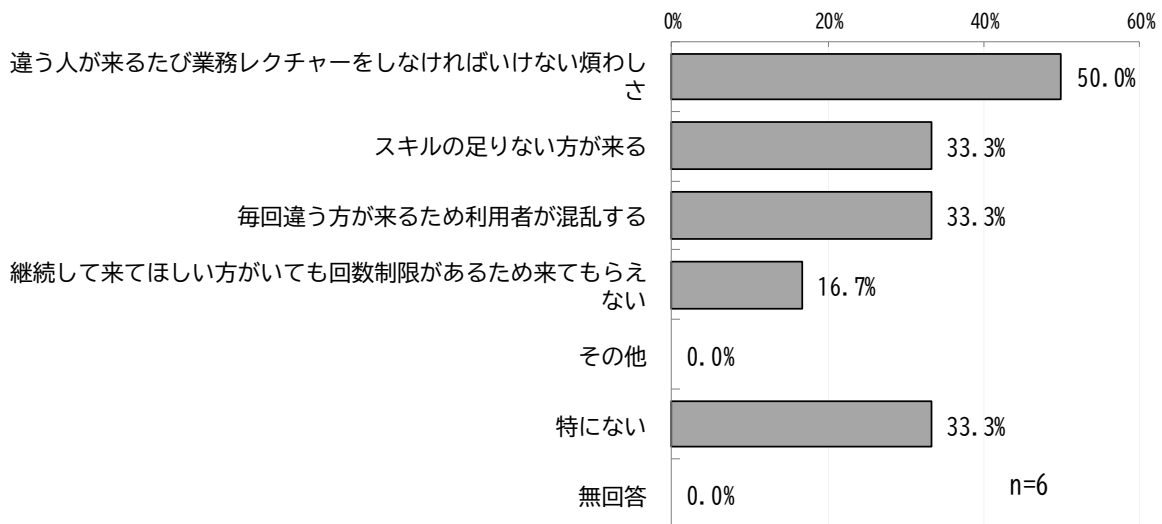
問7 (7) ② スポットワークを導入して感じたメリットを教えてください（いくつでも○）。

スポットワークを導入して感じたメリットについて、「急な人手不足に対応できる」が 100.0%と最も高く、「正規雇用につなげられる」が 66.7%、「直接雇用より社会保険料などの金銭的負担が少ない」「有資格者が多く即戦力になる」が 16.7%、「メリットを感じない」が 0.0%となっている。



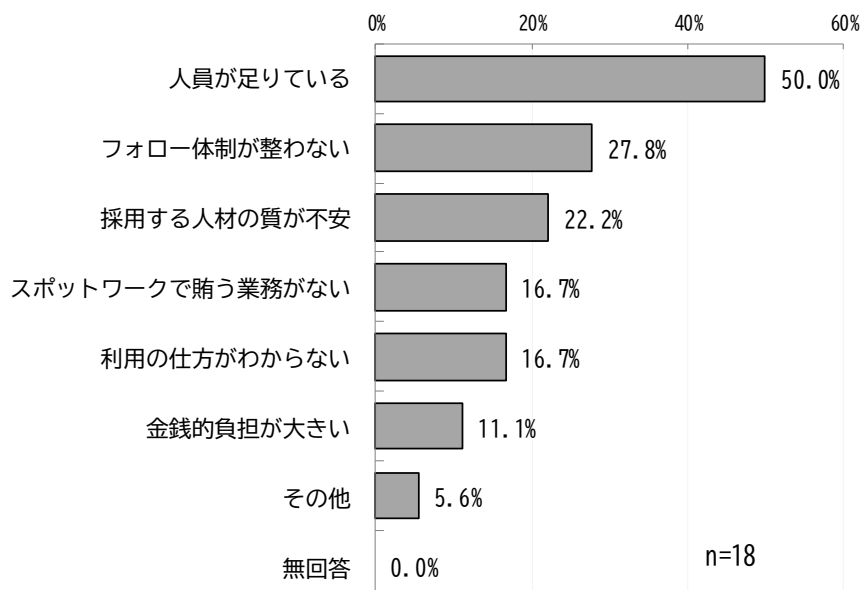
問7 (7) ③ スポットワークを導入して感じた課題を教えてください（いくつでも○）。

スポットワークを導入して感じた課題について、「違う人が来るたび業務レクチャーをしなければいけない煩わしさ」が50.0%と最も高く、「スキルの足りない方が来る」「毎回違う方が来るため利用者が混乱する」が33.3%、「継続して来てほしい方がいても回数制限があるため来てもらえない」が16.7%、「特にない」が33.3%となっている。



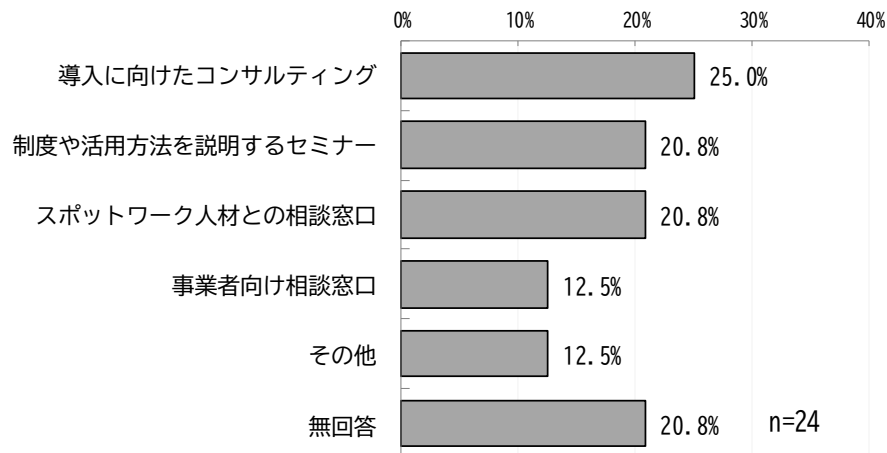
問7 (7) ④ スポットワークを導入していない理由を教えてください（いくつでも○）。

スポットワークを導入していない理由について、「人員が足りている」が50.0%と最も高く、「フォロー体制が整わない」が27.8%、「採用する人材の質が不安」が22.2%、「スポットワークで賄う業務がない」「利用の仕方がわからない」が16.7%、「金銭的負担が大きい」が11.1%となっている。



問7（8） スポットワークを利用するために必要だと感じる支援を教えてください（いくつでも○）。

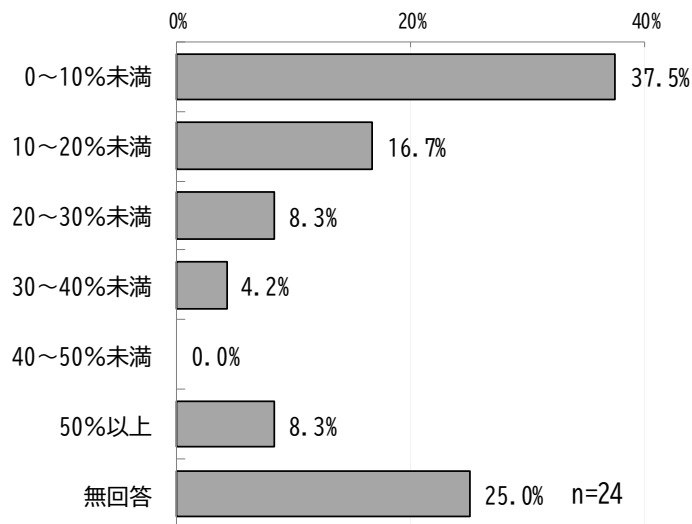
スポットワークを利用するために必要だと感じる支援について、「導入に向けたコンサルティング」が25.0%と最も高く、「制度や活用方法を説明するセミナー」「スポットワーク人材との相談窓口」が20.8%、「事業者向け相談窓口」が12.5%となっている。



問7（9） 令和6年（1月～12月）の入職率と離職率についてお答えください
（それぞれ1つに○）。

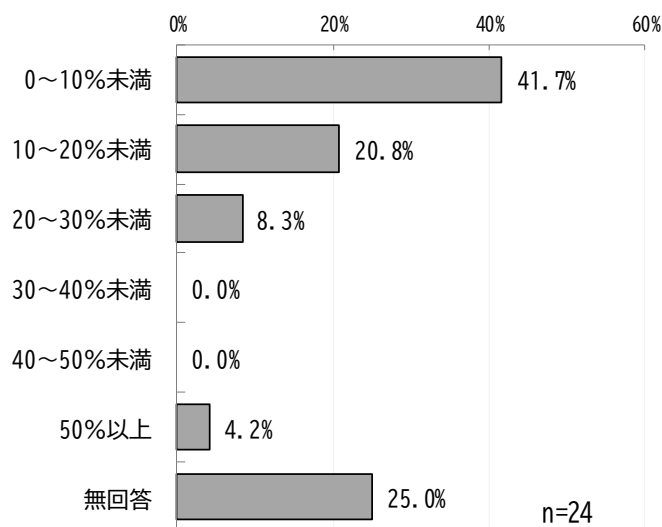
① 正規職員 入職率

令和6年（1月から12月）の正規職員の入職率について、「0～10%未満」が37.5%と最も高く、「10～20%未満」が16.7%、「20～30%未満」「50%以上」が8.3%、「30～40%未満」が4.2%、「40～50%未満」が0.0%となっている。



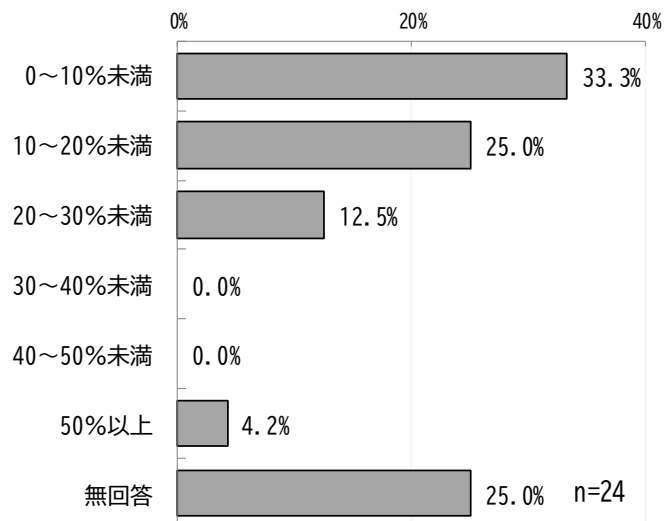
② 正規職員 離職率

令和6年（1月から12月）の正規職員の離職率について、「0～10%未満」が41.7%と最も高く、「10～20%未満」が20.8%、「20～30%未満」が8.3%、「50%以上」が4.2%、「30～40%未満」「40～50%未満」が0.0%となっている。



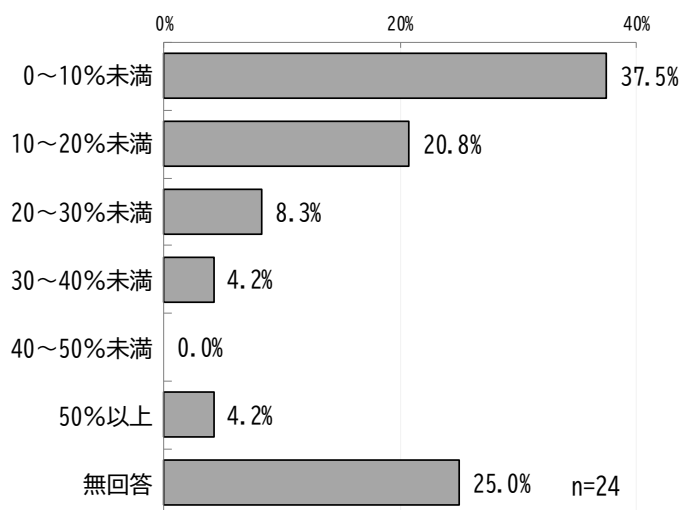
③ 非正規職員 入職率

令和6年（1月から12月）の非正規職員の入職率について、「0～10%未満」が33.3%と最も高く、「10～20%未満」が25.0%、「20～30%未満」が12.5%、「50%以上」が4.2%、「30～40%未満」「40～50%未満」が0.0%となっている。



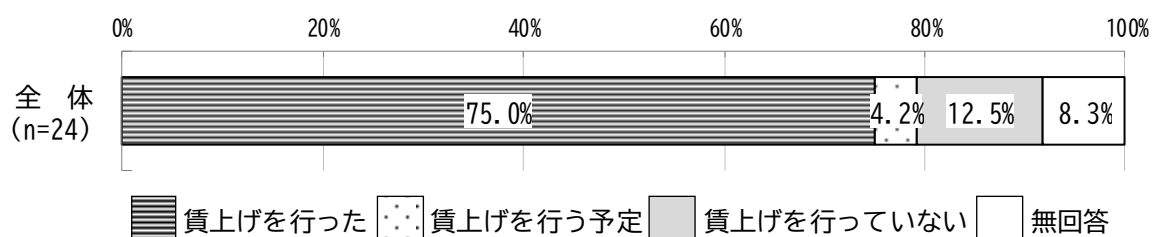
④ 非正規職員 離職率

令和6年（1月から12月）の非正規職員の離職率について、「0～10%未満」が37.5%と最も高く、「10～20%未満」が20.8%、「20～30%未満」が8.3%、「30～40%未満」が4.2%、「50%以上」が4.2%、「40～50%未満」が0.0%となっている。



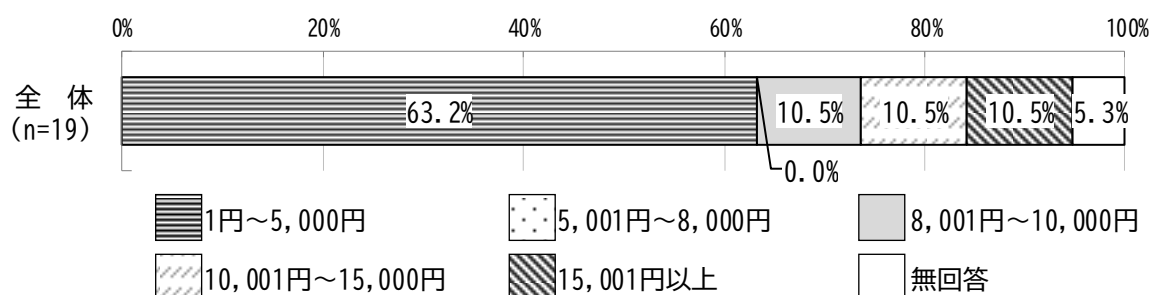
問7(10) 貴事業所は今年度に賃上げを行いましたか(1つに○)。

今年度の賃上げについて、「賃上げを行った」が75.0%と最も高く、「賃上げを行っていない」が12.5%、「賃上げを行う予定」が4.2%となっている。



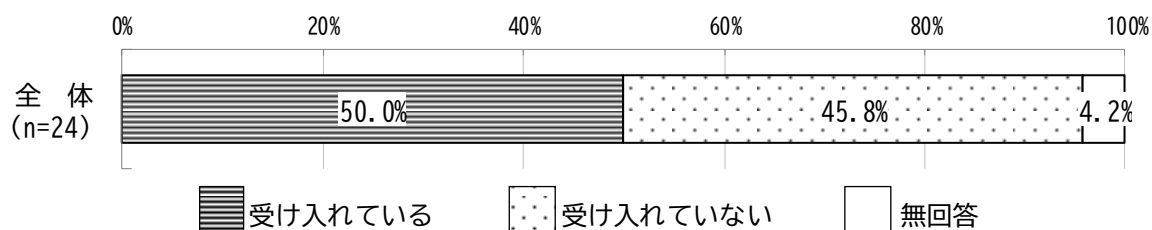
問7(10)① 職員1人あたりの賃上げ平均額は月額(換算)でいくらですか(1つに○)。

「賃上げを行った」または「賃上げを行う予定」と回答した事業所の、職員1人あたりの賃上げ平均額について、「1円～5,000円」が63.2%と最も高く、「8,001円～10,000円」「10,001円～15,000円」「15,001円以上」が10.5%、「5,001円～8,000円」が0.0%となっている。



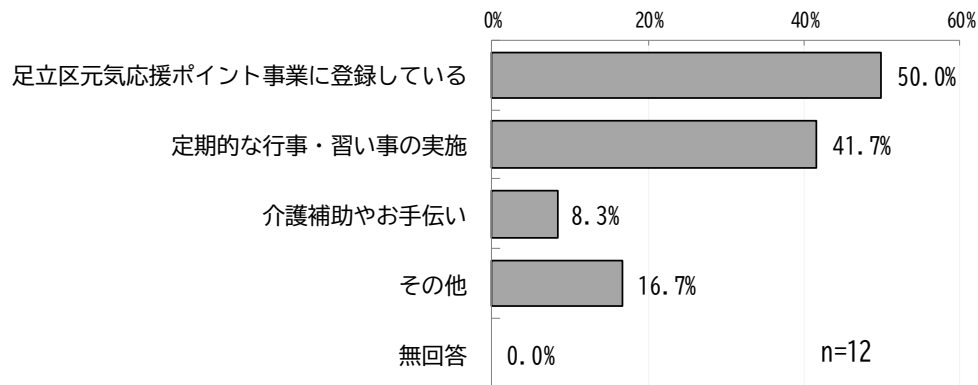
問7(11) ボランティアの受け入れはしていますか(1つに○)。

ボランティアの受け入れ状況について、「受け入れている」が50.0%と最も高く、「受け入っていない」が45.8%となっている。



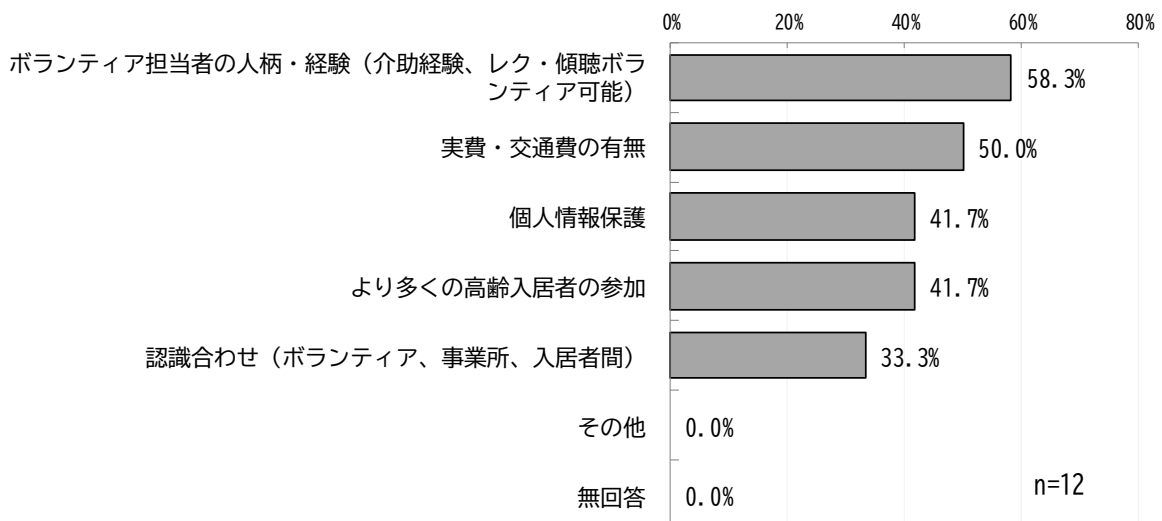
問7（11）① ボランティアの活動内容は何ですか（いくつでも○）。

ボランティアを「受け入れている」事業所において、ボランティアの活動内容として、「足立区元気応援ポイント事業に登録している」が50.0%と最も高く、「定期的な行事・習い事の実施」が41.7%、「介護補助やお手伝い」が8.3%となっている。



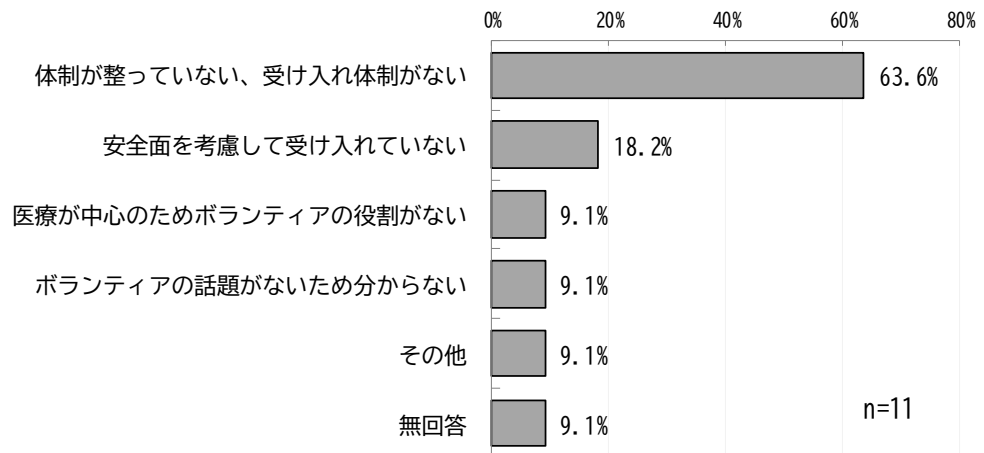
問7（11）② ボランティアを受け入れる際の課題や注意していることは何ですか（いくつでも○）。

ボランティアを「受け入れている」事業所において、ボランティアを受け入れる際の課題や注意点として、「ボランティア担当者の人柄・経験（介助経験、レク・傾聴ボランティア可能）」が58.3%と最も高く、「実費・交通費の有無」が50.0%、「個人情報保護」「より多くの高齢入居者の参加」が41.7%、「認識合わせ（ボランティア、事業所、入居者間）」が33.3%となっている。



問7 (11) ③ ボランティアを受け入れていない理由は何ですか（いくつでも○）。

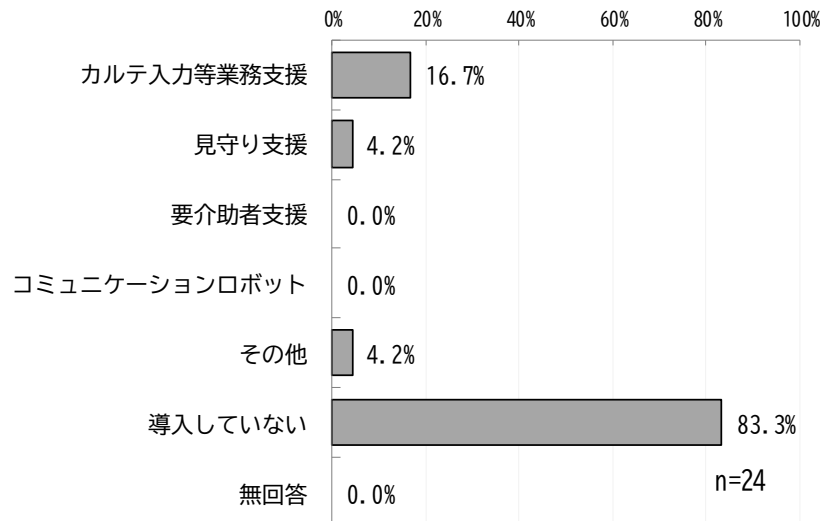
ボランティアを「受け入れていない」事業所において、ボランティアを受け入れていない理由として、「体制が整っていない、受け入れ体制がない」が63.6%と最も高く、「安全面を考慮して受け入れていない」が18.2%、「医療が中心のためボランティアの役割がない」「ボランティアの話題がないため分からない」が9.1%となっている。



(8) 業務効率化について

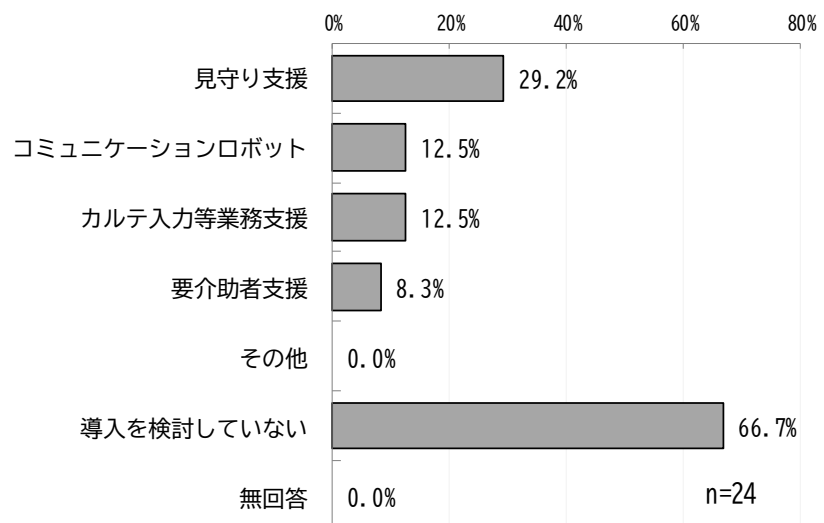
問8 (1) ロボットやIoTを導入している分野はありますか (いくつでも○)。

ロボット・IoTの導入状況について、「カルテ入力等業務支援」が16.7%と最も高く、「見守り支援」が4.2%、「要介助者支援」「コミュニケーションロボット」が0.0%、「導入していない」が83.3%となっている。



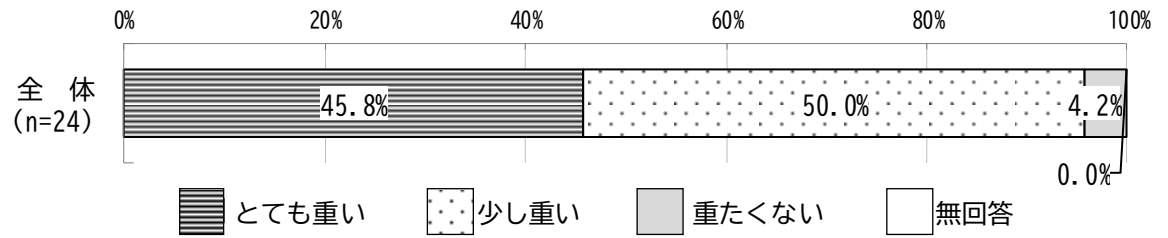
問8 (2) ロボットやIoTの導入を検討している分野はありますか (いくつでも○)。

ロボット・IoTの検討状況について、「見守り支援」が29.2%と最も高く、「コミュニケーションロボット」「カルテ入力等業務支援」が12.5%、「要介助者支援」が8.3%、「導入を検討していない」が66.7%となっている。



問8 (3) 現在、事務負担はどの程度ですか (1つに○)。

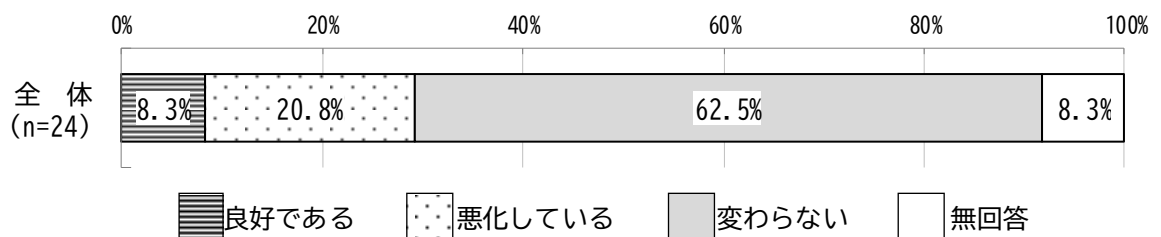
現在の事務負担について、「少し重い」が50.0%と最も高く、「とても重い」が45.8%、「重たくない」が4.2%となっている。



(9) その他（景況感、困難事例、要望など）

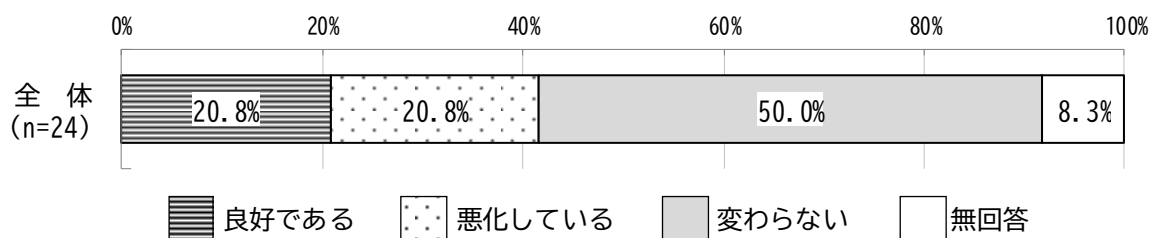
問9（1） 直近の介護報酬改定前と比較して、令和6年度の経営状況はいかがですか（1つに○）。

直近の介護報酬改定前と比較した、令和6年度の経営状況について、「変わらない」が62.5%と最も高く、「悪化している」が20.8%、「良好である」が8.3%となっている。



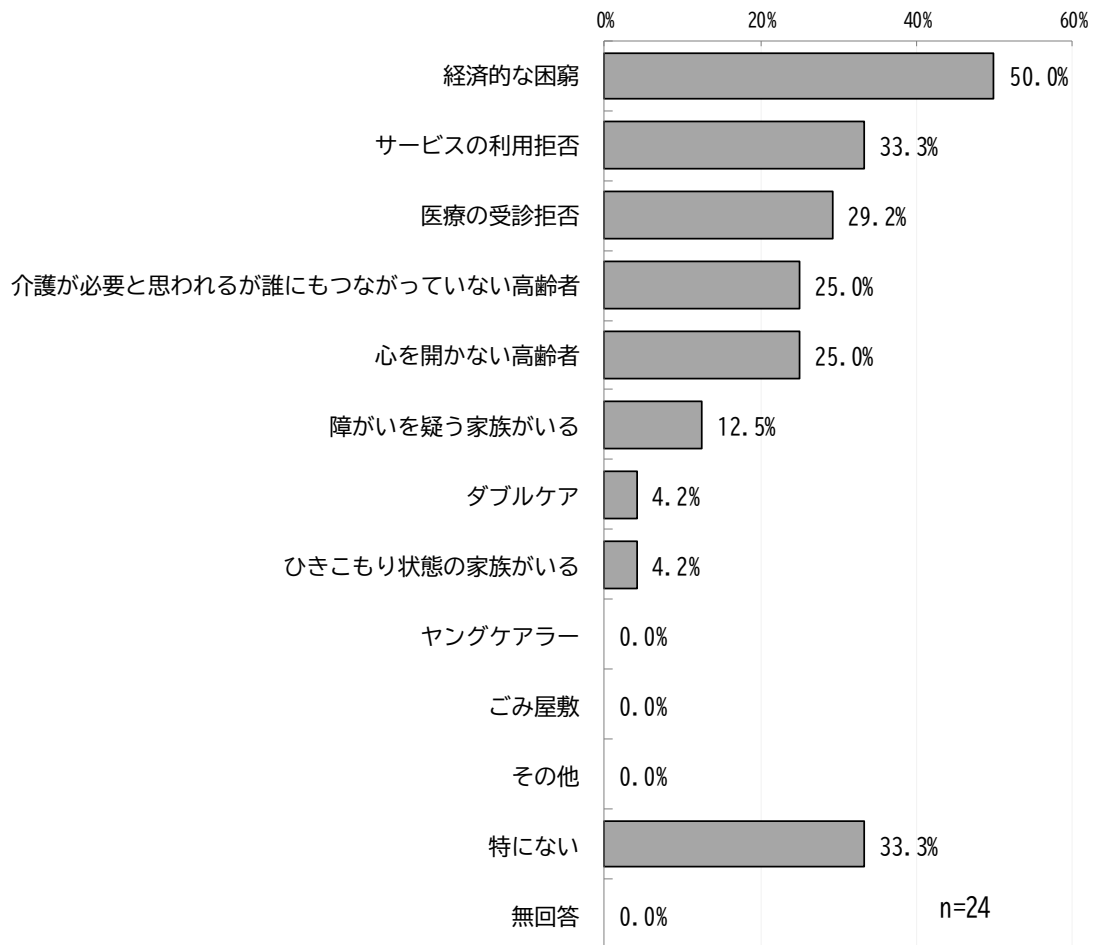
問9（2） 令和6年度の経営状況と比較して、令和7年度（見込み）の経営状況はいかがですか（1つに○）。

令和6年度の経営状況と比較した、令和7年度（見込み）の経営状況について、「変わらない」が50.0%と最も高く、「良好である」「悪化している」が20.8%となっている。



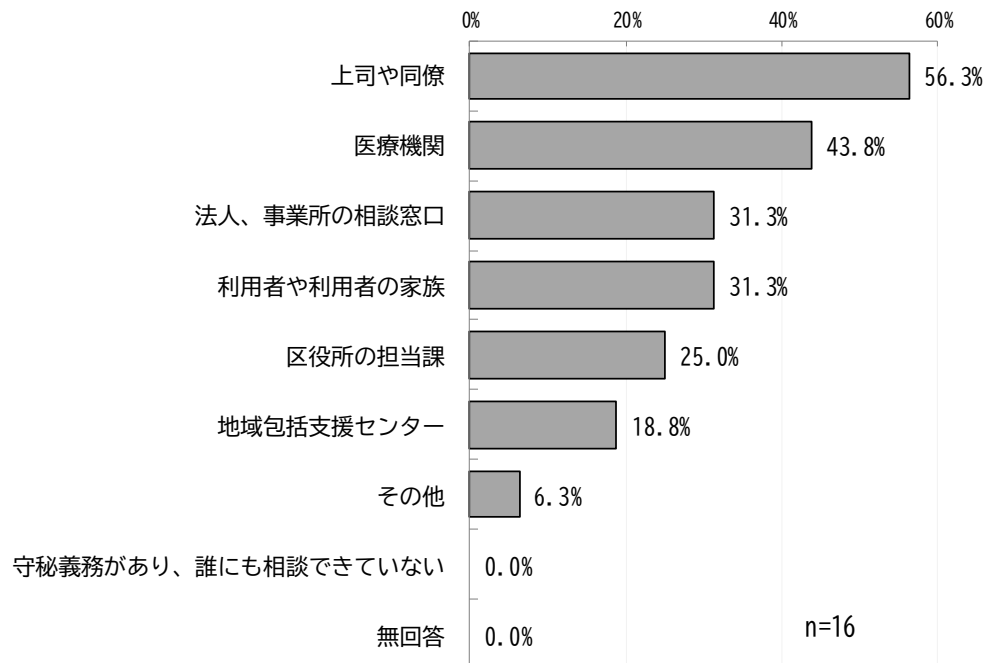
問9（3） 利用者へのサービス提供を行う中で、気になる相談を受けたり、対応困難な事例に遭遇したことがありますか（いくつでも○）。

利用者へのサービス提供を行う中で受けた気になる相談や遭遇した対応困難な事例について、「経済的な困窮」が50.0%と最も高く、「サービスの利用拒否」が33.3%、「医療の受診拒否」が29.2%、「介護が必要と思われるが誰にもつながっていない高齢者」「心を開かない高齢者」が25.0%、「障がいを疑う家族がいる」が12.5%、「ダブルケア」「ひきこもり状態の家族がいる」が4.2%、「ヤングケアラー」「ごみ屋敷」が0.0%、「特にない」が33.3%となっている。



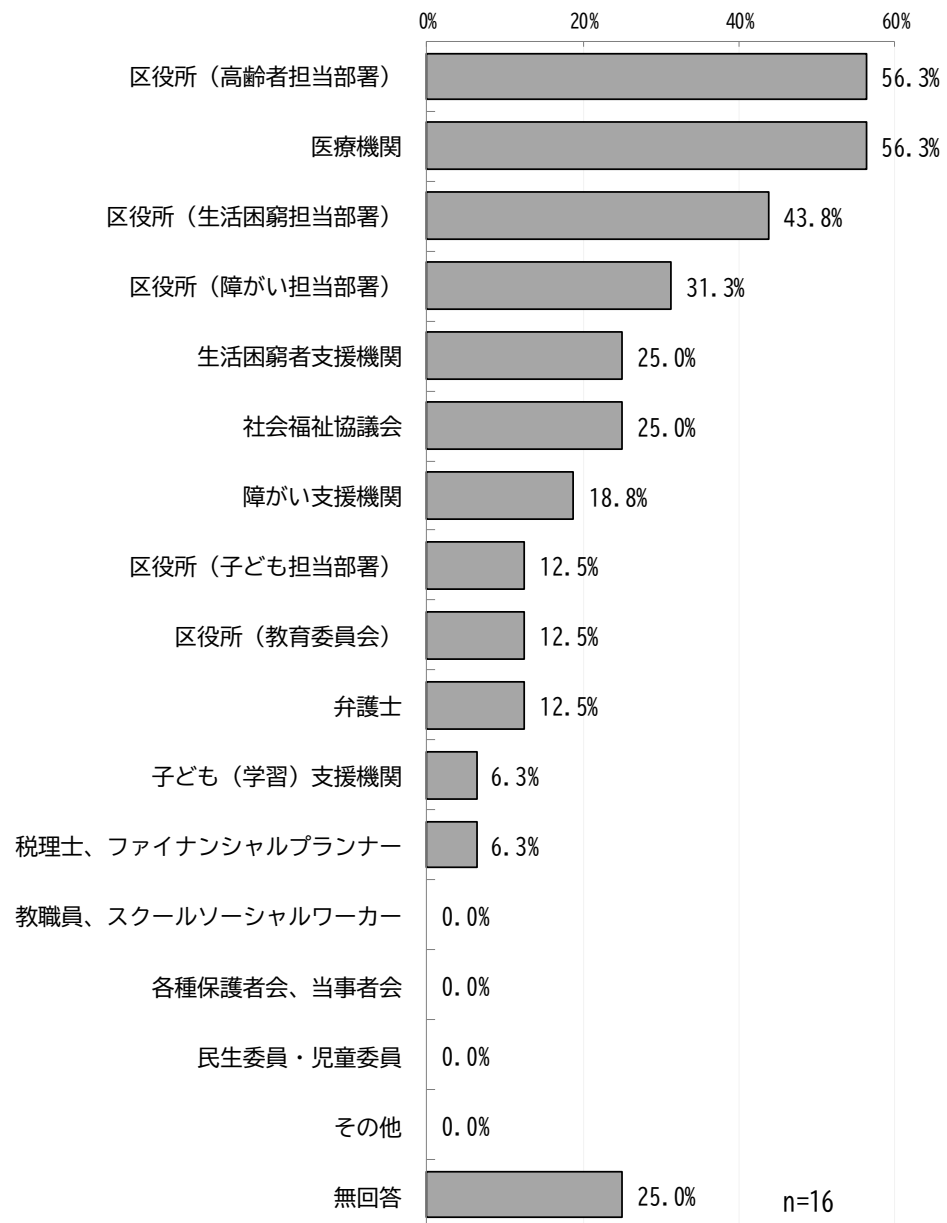
問9 (3) ① 気になった相談や困難事例を誰に相談していますか（いくつでも○）。

気になった相談や困難事例の相談先について、「上司や同僚」が56.3%と最も高く、「医療機関」が43.8%、「法人、事業所の相談窓口」「利用者や利用者の家族」が31.3%、「区役所の担当課」が25.0%、「地域包括支援センター」が18.8%、「守秘義務があり、誰にも相談できていない」が0.0%となっている。



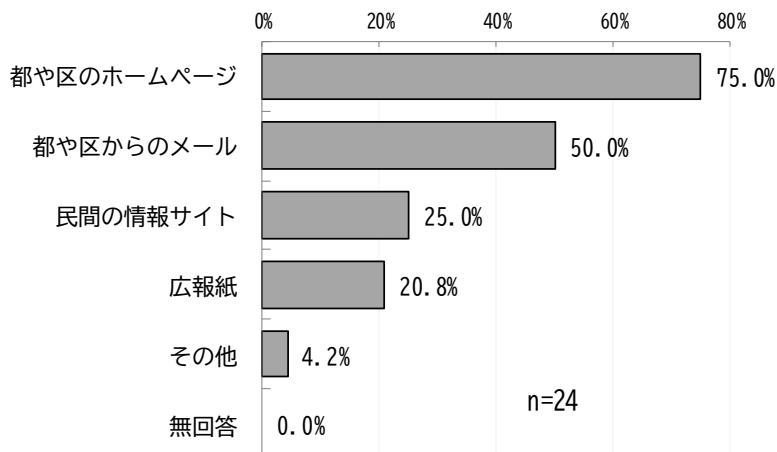
問9 (3) ② 気になった相談や困難事例の対応にあたり、誰と連携したいと思いますか（いくつでも○）。

気になった相談や困難事例の対応にあたり連携したいと思う先について、「区役所（高齢者担当部署）」「医療機関」が56.3%と最も高く、「区役所（生活困窮担当部署）」が43.8%、「区役所（障がい担当部署）」が31.3%、「生活困窮者支援機関」「社会福祉協議会」が25.0%、「障がい支援機関」が18.8%、「区役所（子ども担当部署）」「区役所（教育委員会）」「弁護士」が12.5%、「子ども（学習）支援機関」「税理士、ファイナンシャルプランナー」が6.3%、「教職員、スクールソーシャルワーカー」「各種保護者会、当事者会」「民生委員・児童委員」が0.0%となっている。



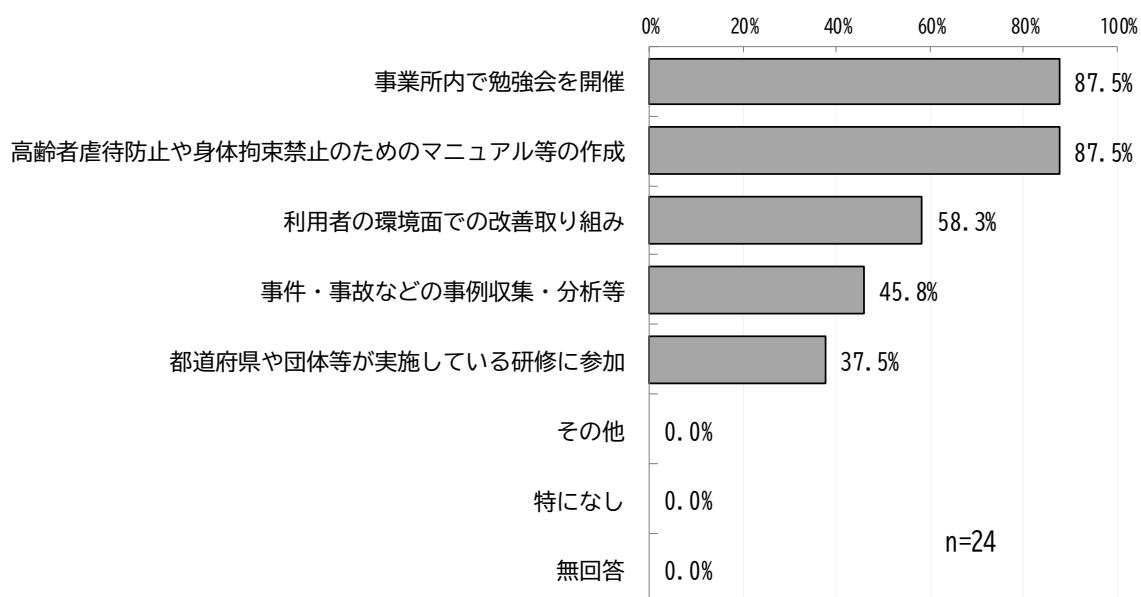
問9（4） 都や区の支援についてどのような手段で情報を得ているか教えてください（いくつでも○）。

都や区の支援に関する情報の入手手段について、「都や区のホームページ」が75.0%と最も高く、「都や区からのメール」が50.0%、「民間の情報サイト」が25.0%、「広報紙」が20.8%となっている。



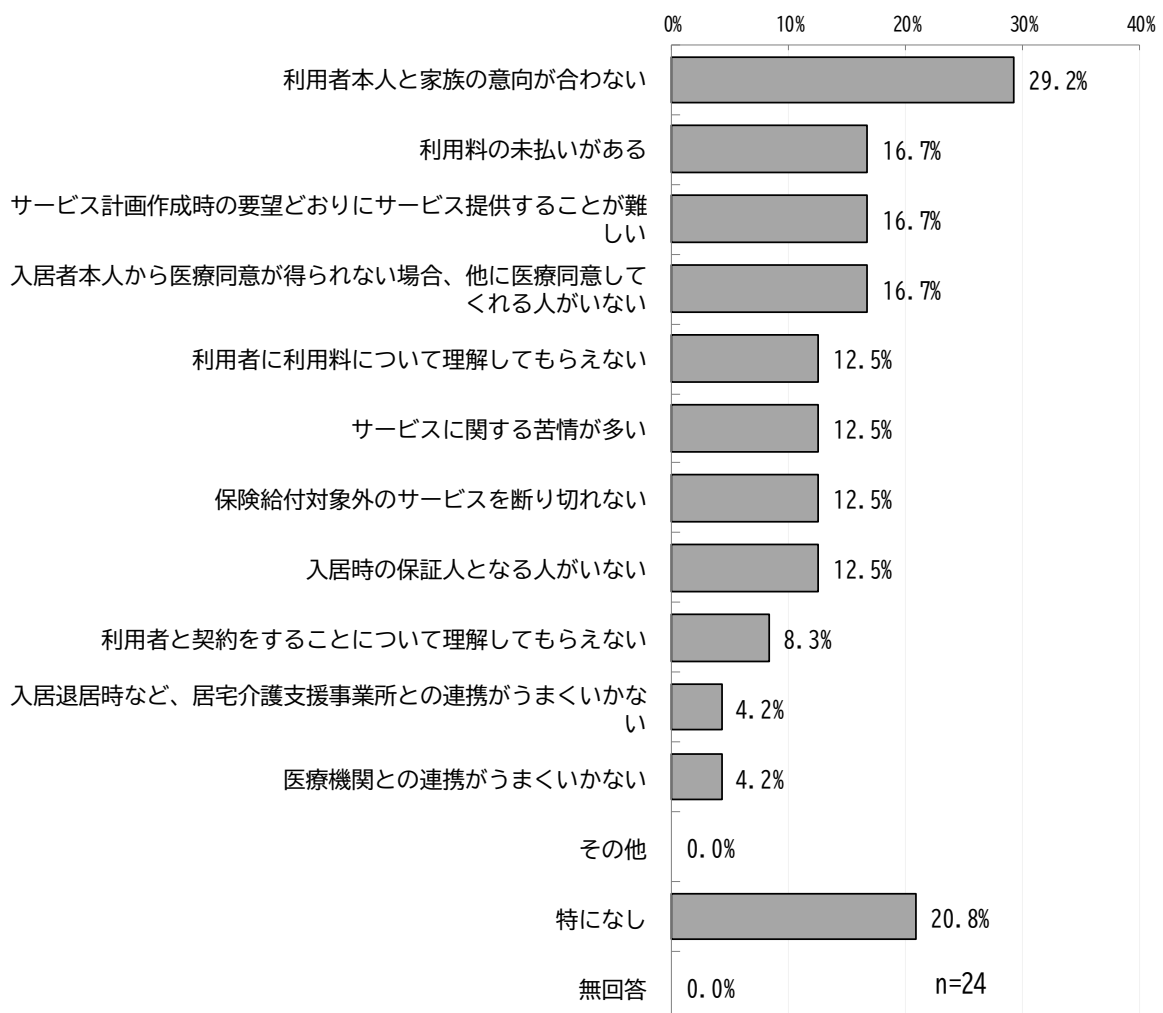
問9（5） 高齢者虐待防止・身体拘束禁止に対する取り組みについて、特に重点を置いているものは何ですか（いくつでも○）。

高齢者虐待防止・身体拘束禁止に対する取り組みとして、「事業所内で勉強会を開催」「高齢者虐待防止や身体拘束禁止のためのマニュアル等の作成」が87.5%と最も高く、「利用者の環境面での改善取り組み」が58.3%、「事件・事故などの事例収集・分析等」が45.8%、「都道府県や団体等が実施している研修に参加」が37.5%、「特になし」が0.0%となっている。



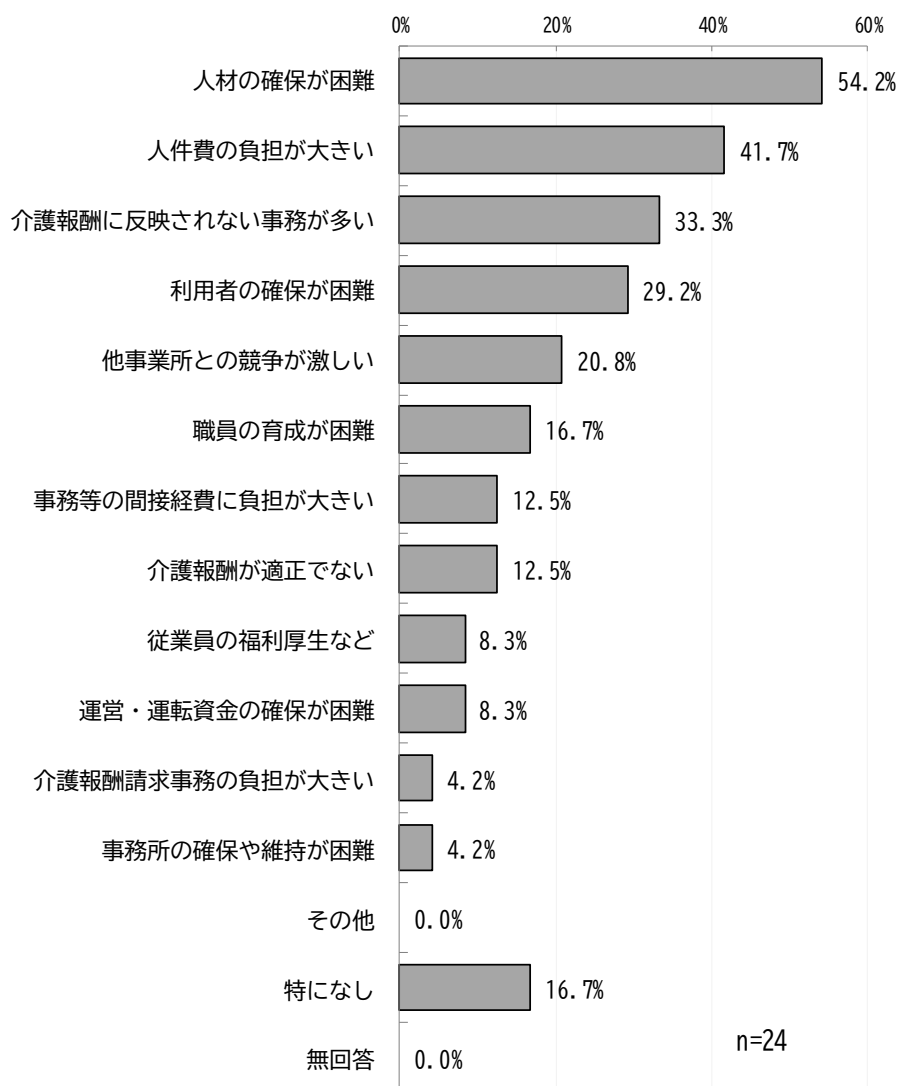
問9（6） 事業を実施するうえで、利用者やその家族等との関係でどのような問題点や課題がありますか（いくつでも○）。

事業を実施するうえでの利用者やその家族等との関係上の問題点や課題として、「利用者本人と家族の意向が合わない」が29.2%と最も高く、「利用料の未払いがある」「サービス計画作成時の要望どおりにサービス提供することが難しい」「入居者本人から医療同意が得られない場合、他に医療同意してくれる人がいない」が16.7%、「利用者に利用料について理解してもらえない」「サービスに関する苦情が多い」「保険給付対象外のサービスを断り切れない」「入居時の保証人となる人がいない」が12.5%、「利用者と契約をすることについて理解してもらえない」が8.3%、「入居退居時など、居宅介護支援事業所との連携がうまくいかない」「医療機関との連携がうまくいかない」が4.2%となっている。また「特になし」が20.8%となっている。



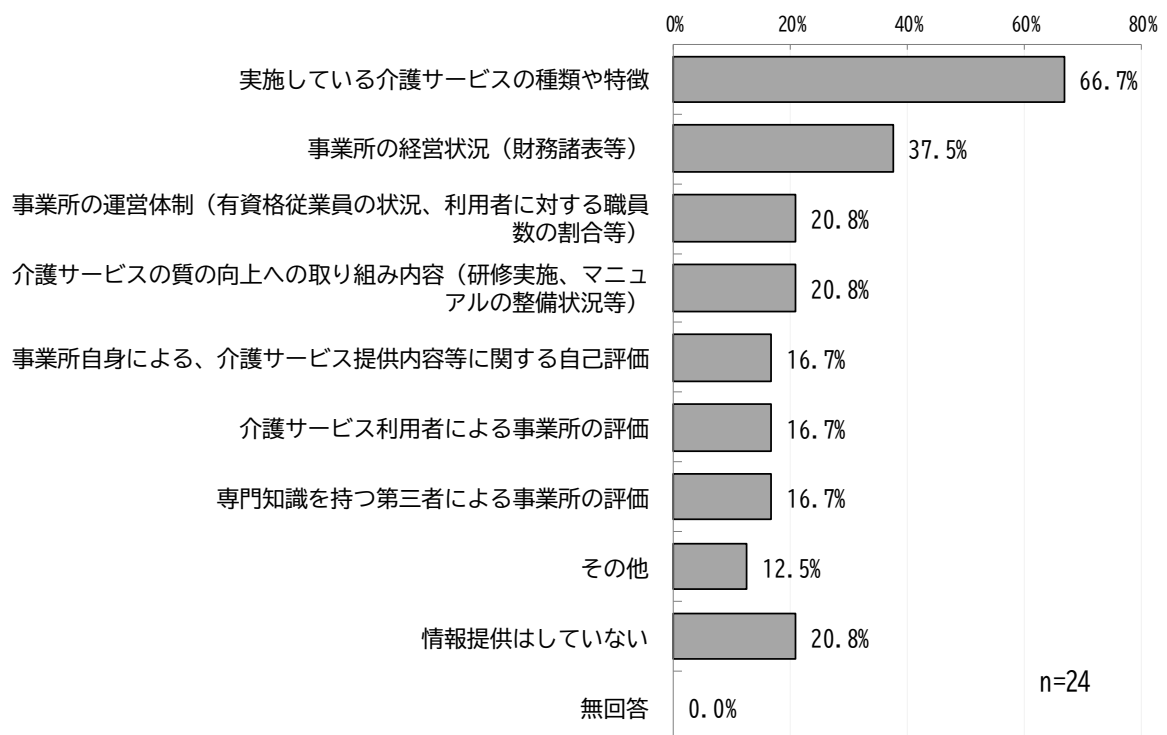
問9（7） 事業所を経営するうえで、どのような問題点や課題がありますか（いくつでも○）。

事業所を経営するうえでの問題点や課題として、「人材の確保が困難」が54.2%と最も高く、「人件費の負担が大きい」が41.7%、「介護報酬に反映されない事務が多い」が33.3%、「利用者の確保が困難」が29.2%、「他事業所との競争が激しい」が20.8%、「職員の育成が困難」が16.7%、「事務等の間接経費の負担が大きい」「介護報酬が適正でない」が12.5%、「従業員の福利厚生など」「運営・運転資金の確保が困難」が8.3%、「介護報酬請求事務の負担が大きい」「事務所の確保や維持が困難」が4.2%、「特になし」が16.7%となっている。



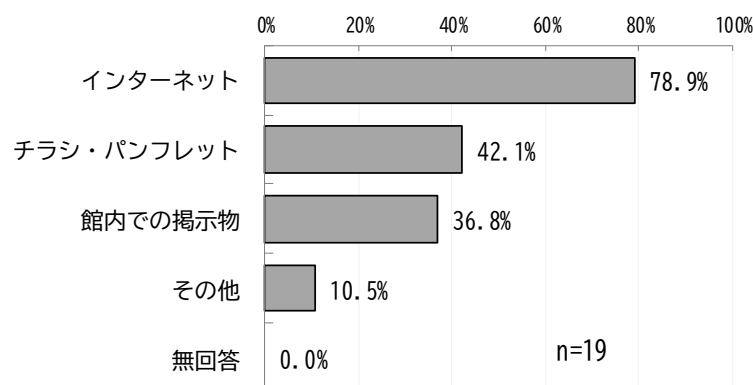
問9（8） 貴事業所では、利用者を含め区民に対してどのような情報提供を行っていますか（いくつでも○）。

利用者を含む区民への情報提供の内容として、「実施している介護サービスの種類や特徴」が66.7%と最も高く、「事業所の経営状況（財務諸表等）」が37.5%、「事業所の運営体制（有資格従業員の状況、利用者に対する職員数の割合等）」「介護サービスの質の向上への取り組み内容（研修実施、マニュアルの整備状況等）」が20.8%、「事業所自身による、介護サービス提供内容等に関する自己評価」「介護サービス利用者による事業所の評価」「専門知識を持つ第三者による事業所の評価」が16.7%、「情報提供はしていない」が20.8%となっている。



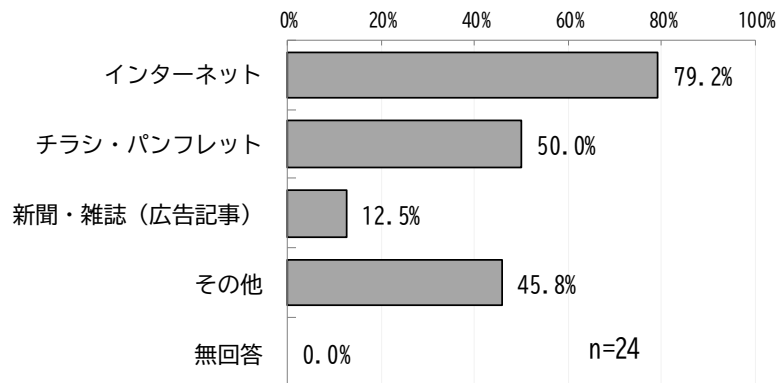
問9（8）① 情報提供の手段は何ですか（いくつでも○）。

情報提供の手段として、「インターネット」が78.9%と最も高く、「チラシ・パンフレット」が42.1%、「館内での掲示物」が36.8%となっている。



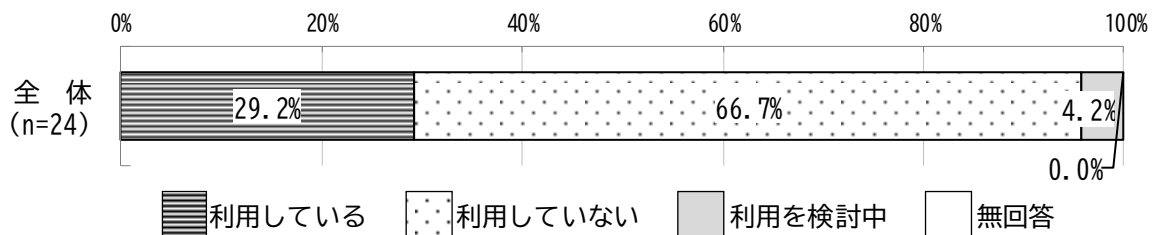
問9（9） 貴事業所では、どのような方法で入居者の募集を行っていますか（いくつでも○）。

入居者の募集方法として、「インターネット」が79.2%と最も高く、「チラシ・パンフレット」が50.0%、「新聞・雑誌（広告記事）」が12.5%となっている。



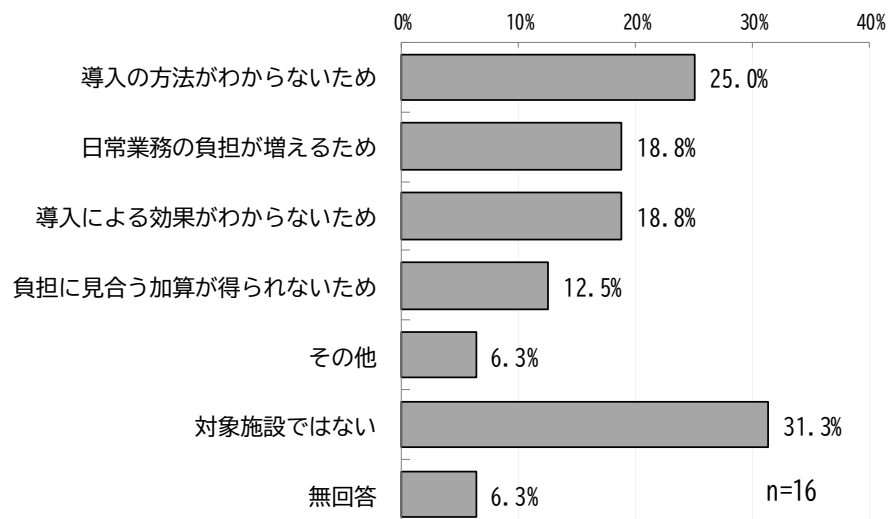
問9（10） LIFE（科学的介護情報システム）を利用していますか（1つに○）。

LIFE（科学的介護情報システム）の利用状況について、「利用していない」が66.7%と最も高く、「利用している」が29.2%、「利用を検討中」が4.2%となっている。



問9（10）① 利用していない理由は何ですか（いくつでも○）。

LIFE（科学的介護情報システム）を「利用していない」と回答した事業所の利用していない理由について、「導入の方法がわからないため」が25.0%と最も高く、「日常業務の負担が増えるため」「導入による効果がわからないため」が18.8%、「負担に見合う加算が得られないため」が12.5%、「対象施設ではない」が31.3%となっている。



10 サービス付き高齢者向け住宅調査

10 サービス付き高齢者向け住宅調査

(1) 事業所の基本情報について

問1 (1) 貴事業所についてお答えください。

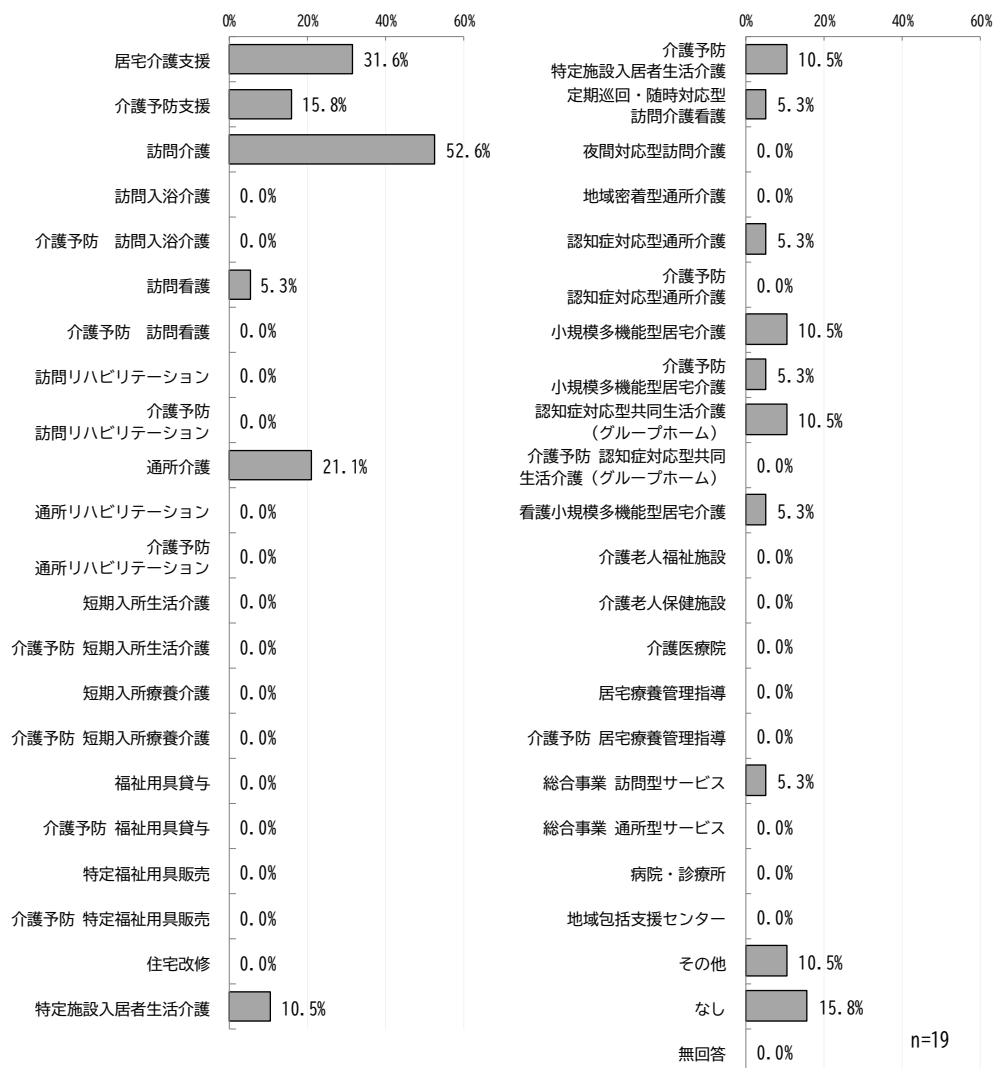
※問1 (1) は「事業所名をご記入ください」という設問であるため省略

問1 (2) 開設年月日をお答えください。

※問1 (2) は「開設年月日をお答えください」という設問であるため省略

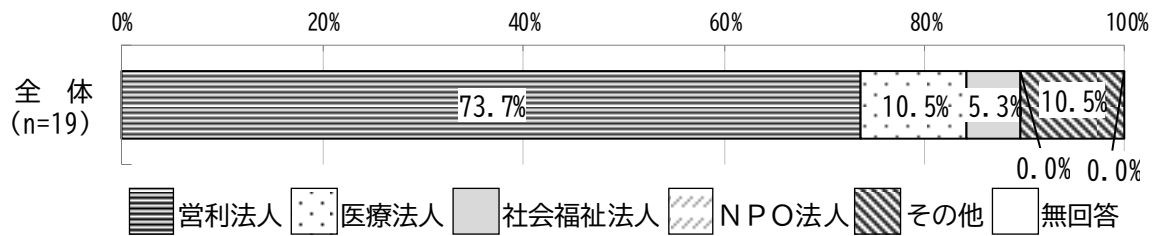
問1 (3) 貴事業所に併設されている事業について、あてはまるものに○をつけてください (いくつでも○)。

事業所の併設事業について、「訪問介護」が 52.6%と最も高く、「居宅介護支援」が 31.6%、「通所介護」が 21.1%、「介護予防支援」が 15.8%、「特定施設入居者生活介護」「介護予防特定施設入居者生活介護」「小規模多機能型居宅介護」「認知症対応型共同生活介護（グループホーム）」が 10.5%と続いている。



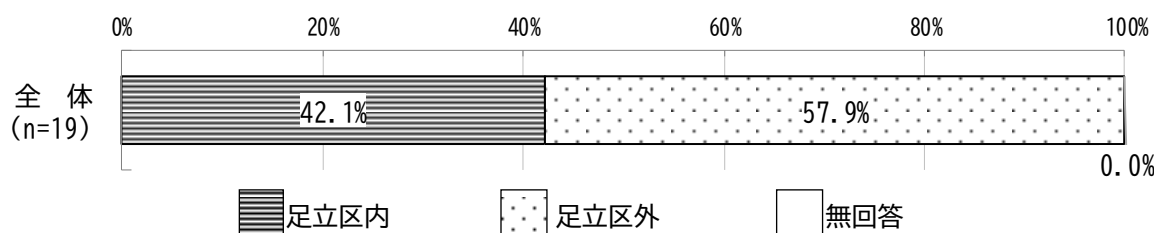
問1 (4) 事業所の経営主体は何ですか (1つに○)。

事業所の経営主体について、「営利法人」が73.7%と最も高く、「医療法人」が10.5%、「社会福祉法人」が5.3%、「NPO法人」が0.0%となっている。



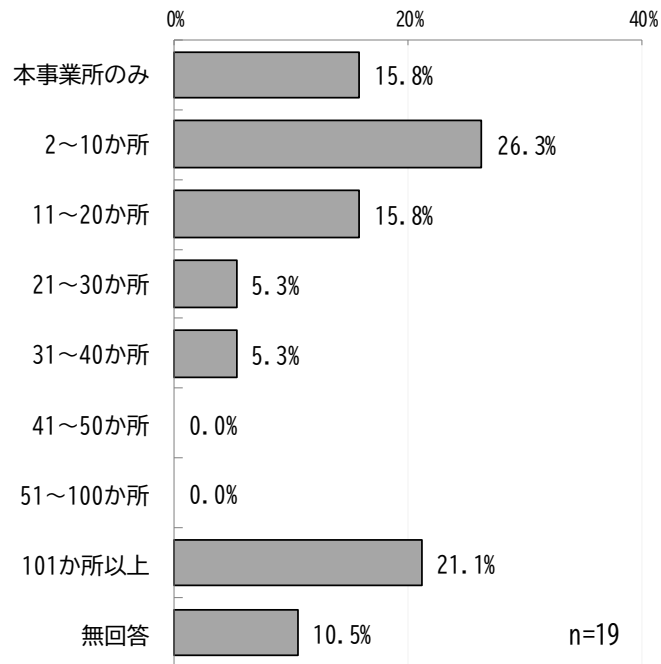
問1 (5) 経営主体の法人の所在地はどこですか (1つに○)。

経営主体の法人の所在地について、「足立区外」が57.9%と最も高く、「足立区内」が42.1%となっている。



問1（6） 貴法人は、貴事業所を含め、有料老人ホーム、軽費老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅を運営していますか。すべての箇所数をお答えください。（1つに○・数字を記入）。

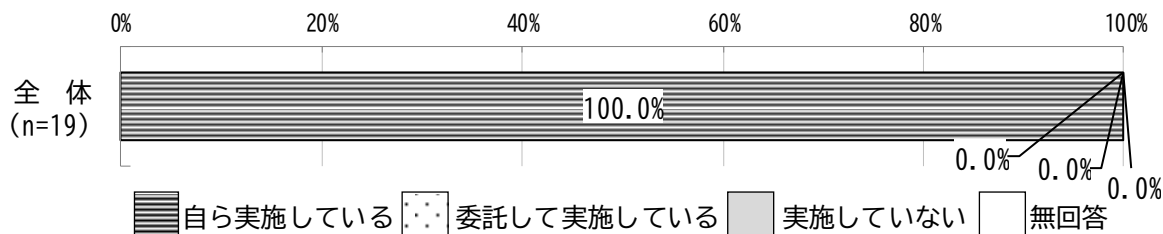
有料老人ホーム、軽費老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅の運営状況について、「2～10 か所」が26.3%と最も高く、「101 か所以上」が21.1%、「本事業所のみ」「11～20 か所」が15.8%、「21～30 か所」「31～40 か所」が5.3%、「41～50 か所」「51～100 か所」が0.0%となっている。



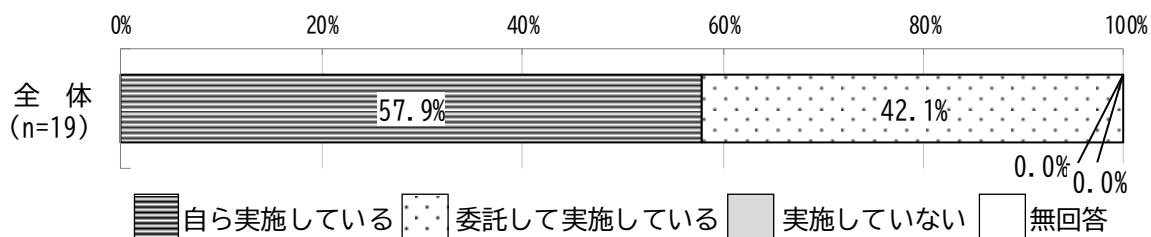
(2) サービス提供の状況について

問2(1) 実施しているサービスを教えてください(それぞれ1つに○・数字を記入)。

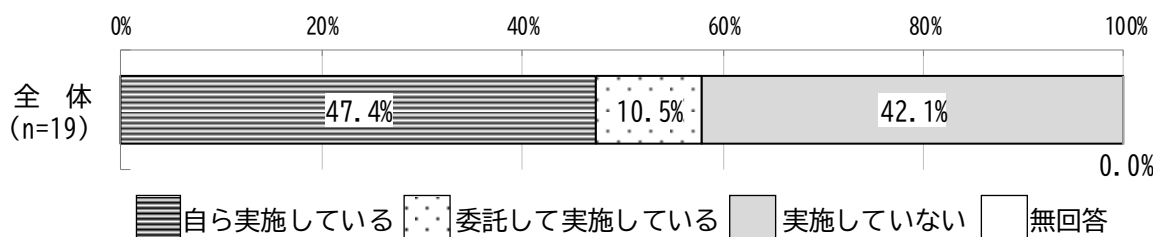
状況把握・生活相談について、「自ら実施している」が100.0%と最も高く、「委託して実施している」「実施していない」が0.0%となっている。



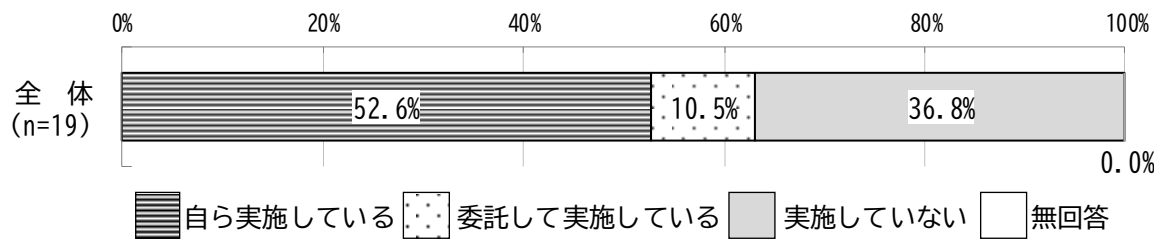
食事の提供について、「自ら実施している」が57.9%と最も高く、「委託して実施している」が42.1%、「実施していない」が0.0%となっている。



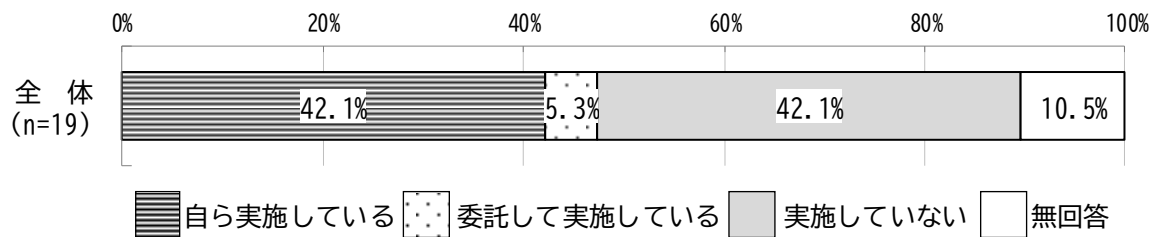
入浴・排せつ・食事等の介護[介護保険外サービス]について、「自ら実施している」が47.4%と最も高く、「実施していない」が42.1%、「委託して実施している」が10.5%となっている。



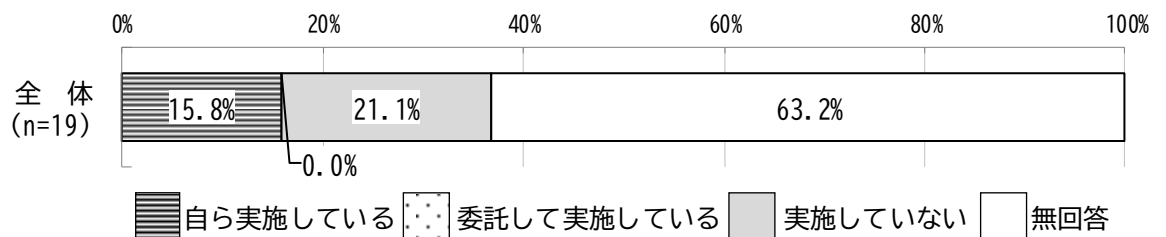
調理・洗濯・掃除等の家事〔介護保険外サービス〕について、「自ら実施している」が52.6%と最も高く、「実施していない」が36.8%、「委託して実施している」が10.5%となっている。



心身の健康の維持・増進について、「自ら実施している」「実施していない」が42.1%と最も高く、「委託して実施している」が5.3%となっている。



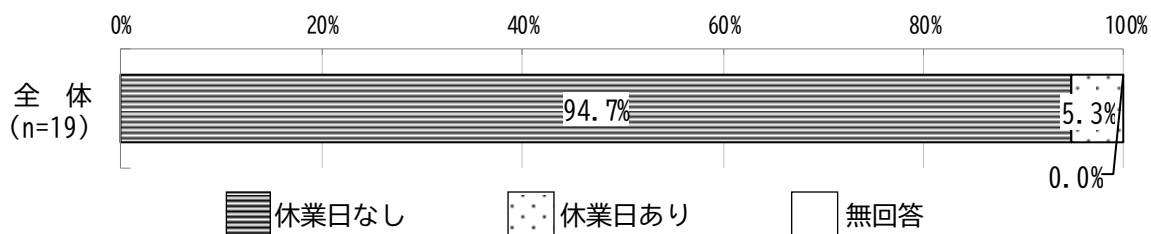
その他のサービスについて、「実施していない」が21.1%と最も高く、「自ら実施している」が15.8%、「委託して実施している」が0.0%となっている。



問2(1)⑦ 状況把握・生活相談の体制を教えてください。

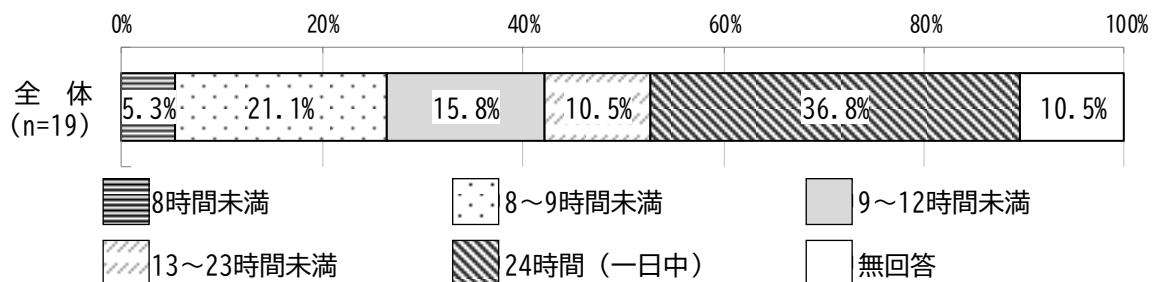
⑦—1 提供日(1つに○)

提供日について、「休業日なし」が94.7%と最も高く、「休業日あり」が0.0%となっている。



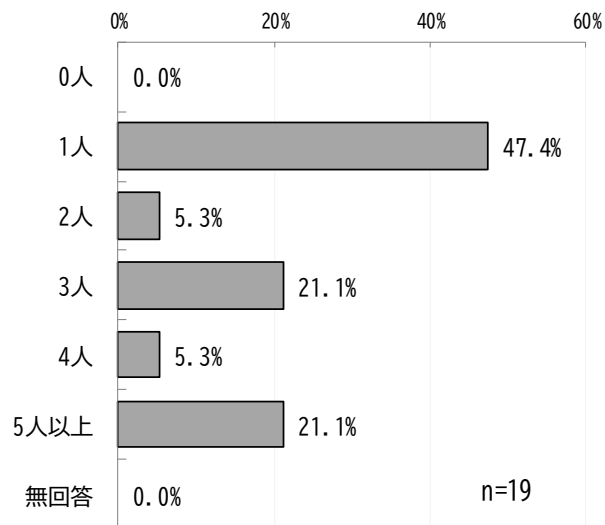
⑦—2 提供時間(数字を記入)

提供時間について、「24時間(一日中)」が36.8%と最も高く、「8～9時間未満」が21.1%、「9～12時間未満」が15.8%、「13～23時間未満」が10.5%、「8時間未満」が5.3%となっている。

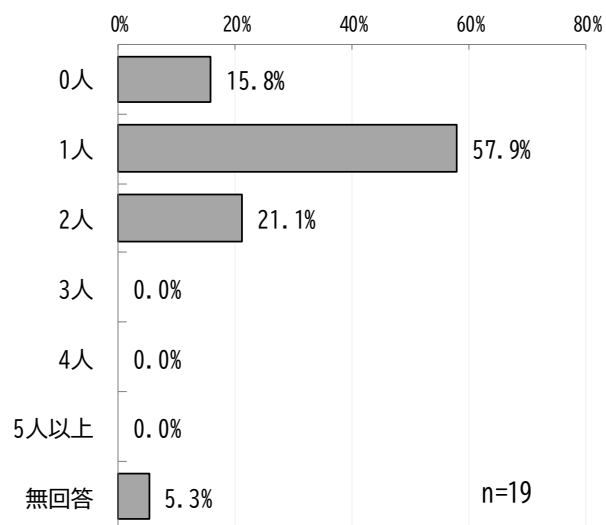


⑦—3 職員配置数（数字を記入）

日中の職員配置数について、「1人」が47.4%と最も高く、「3人」「5人以上」が21.1%、「2人」「4人」が5.3%、「0人」が0.0%となっている。

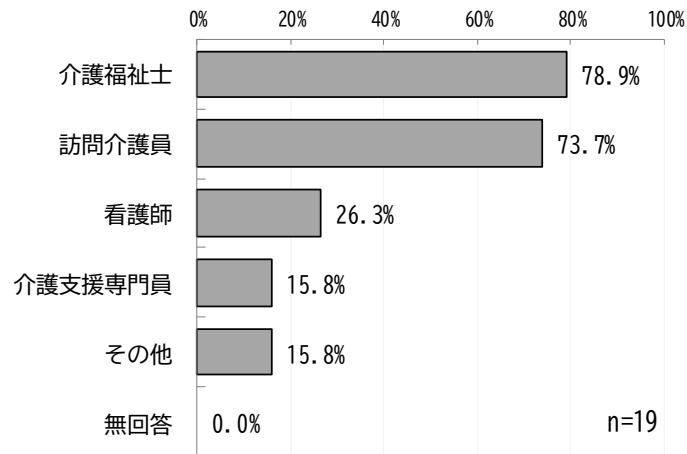


夜間の職員配置数について、「1人」が57.9%と最も高く、「2人」が21.1%、「0人」が15.8%、「3人」「4人」「5人以上」が0.0%となっている。



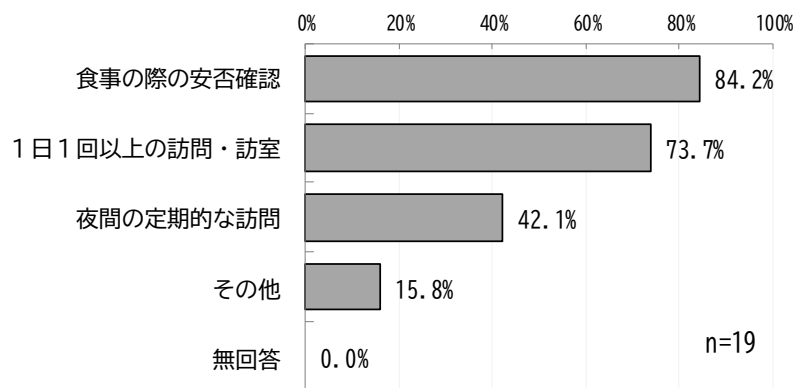
⑦—4 職員の資格（いくつでも○）

職員の資格について、「介護福祉士」が78.9%と最も高く、「訪問介護員」が73.7%、「看護師」が26.3%、「介護支援専門員」が15.8%となっている。



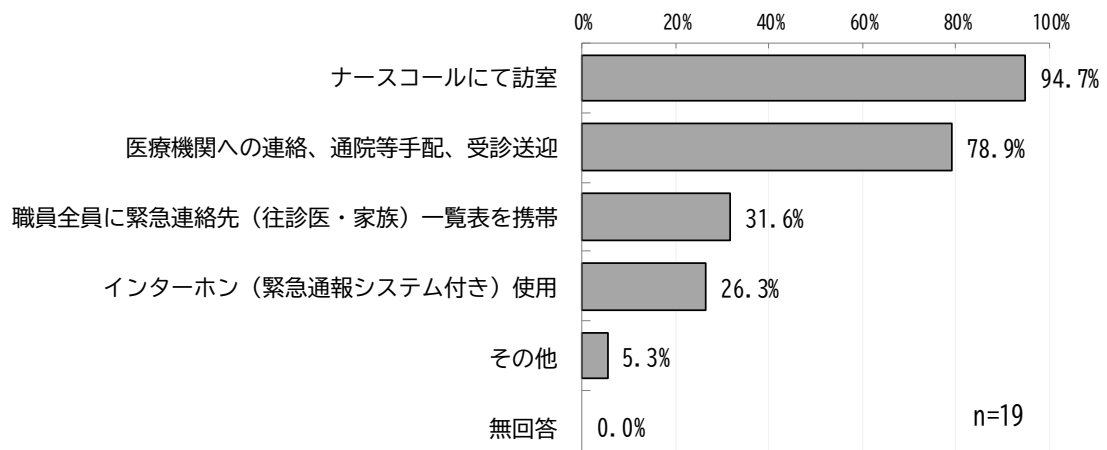
⑦—5 状況把握の方法（いくつでも○）

状況把握の方法について、「食事の際の安否確認」が84.2%と最も高く、「1日1回以上の訪問・訪室」が73.7%、「夜間の定期的な訪問」が42.1%となっている。



⑦—6 緊急通報サービスの内容（いくつでも○）

緊急通報サービスの内容について、「ナースコールにて訪室」が94.7%と最も高く、「医療機関への連絡、通院等手配、受診送迎」が78.9%、「職員全員に緊急連絡先（往診医・家族）一覧表を携帯」が31.6%、「インターホン（緊急通報システム付き）使用」が26.3%となっている。

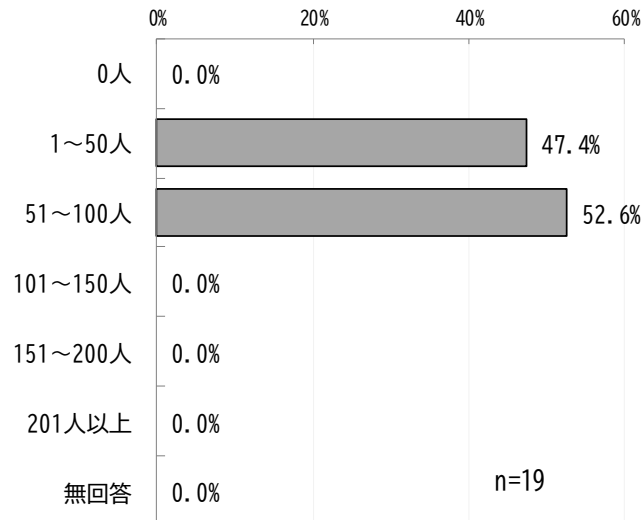


(3) 入居・利用状況について

問3 (1) 貴事業所の定員等につき、以下の質問にお答えください。

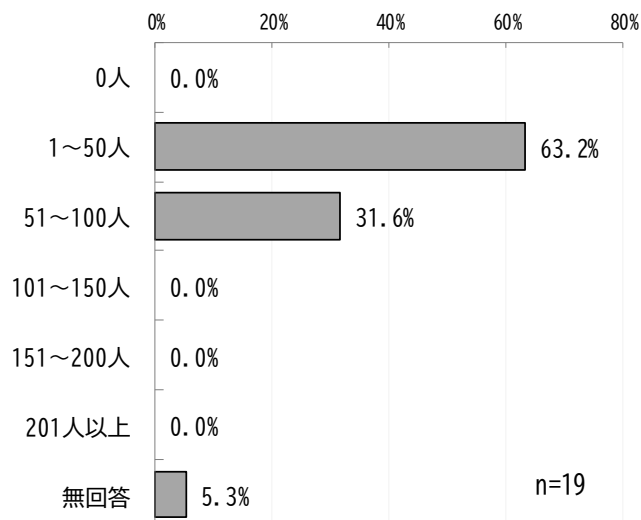
問3 (1) ①-1 定員 (数字を記入)

定員について、「51～100人」が52.6%と最も高く、「1～50人」が47.4%、「0人」「101～150人」「151～200人」「201人以上」が0.0%となっている。



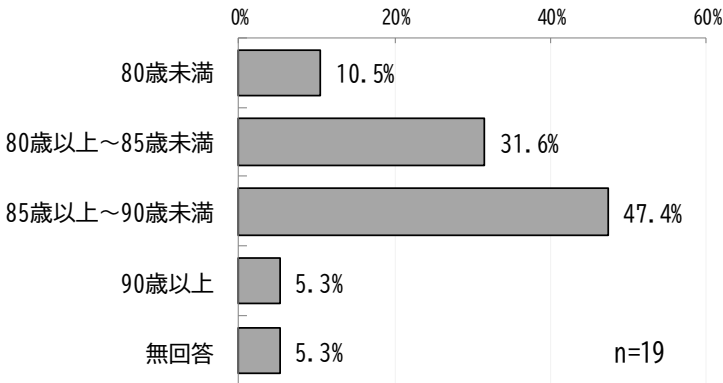
問3 (1) ①-2 入居者数 (数字を記入)

入居者数について、「1～50人」が63.2%と最も高く、「51～100人」が31.6%、「0人」「101～150人」「151～200人」「201人以上」が0.0%となっている。



問3（1）② 入居者の平均年齢（数字を記入）

入居者の平均年齢は、「85 歳以上～90 歳未満」が 47.4%と最も高く、「80 歳以上～85 歳未満」が 31.6%、「80 歳未満」が 10.5%、「90 歳以上」が 5.3%となっている。



問3（1）③ 入居者の要介護度別の人数（数字を記入）。

要介護度別の人数について、
自立では、「0 人」が 36.8%、要支援 1 では、「1～10 人」が 42.1%、要支援 2 では、「1～10 人」が 57.9%、要介護 1 では、「1～10 人」が 68.4%、要介護 2 では、「1～10 人」「11～20 人」が 47.4%、要介護 3 では、「1～10 人」が 73.7%、要介護 4 では、「1～10 人」が 68.4%、要介護 5 では、「1～10 人」が 73.7%と最も高くなっている。

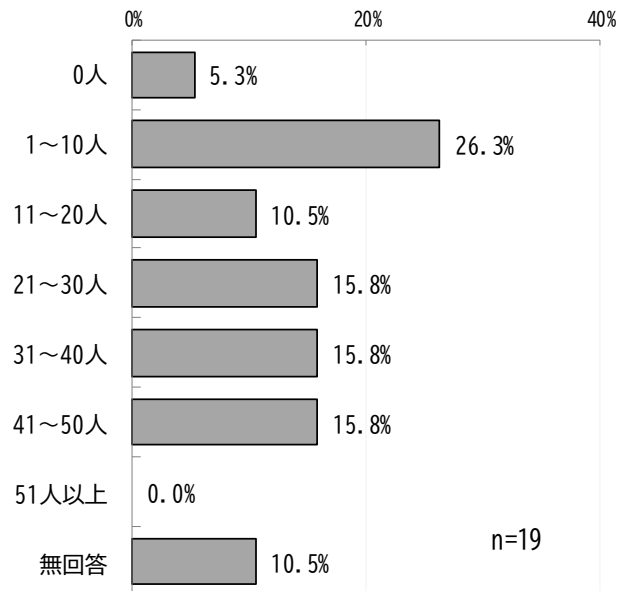
	調査数	0人	1～10人	11～20人	21～30人	31～40人	41～50人	51～60人	61～70人	71～80人	81～90人	91～100人	101人以上	無回答
自立	19	36.8	26.3	10.5	0.0	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.8
要支援1	19	31.6	42.1	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.8
要支援2	19	36.8	57.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3
要介護1	19	5.3	68.4	21.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3
要介護2	19	0.0	47.4	47.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3
要介護3	19	0.0	73.7	21.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3
要介護4	19	5.3	68.4	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.5
要介護5	19	10.5	73.7	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.5

うち、医療処置の必要な要介護度別の人数について、
自立では、「0 人」が 36.8%、要支援 1 では、「0 人」が 26.3%、要支援 2 では、「0 人」が 36.8%、要介護 1 では、「0 人」が 31.6%、要介護 2 では、「0 人」が 31.6%、要介護 3 では、「1～10 人」が 47.4%、要介護 4 では、「1～10 人」が 42.1%、要介護 5 では、「1～10 人」が 42.1%と最も高くなっている。

	調査数	0人	1～10人	11～20人	21～30人	31～40人	41～50人	51～60人	61～70人	71～80人	81～90人	91～100人	101人以上	無回答
自立	19	36.8	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	57.9
要支援1	19	26.3	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	57.9
要支援2	19	36.8	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	52.6
要介護1	19	31.6	15.8	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	47.4
要介護2	19	31.6	26.3	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	36.8
要介護3	19	15.8	47.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	36.8
要介護4	19	21.1	42.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	36.8
要介護5	19	10.5	42.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	47.4

問3（1）④ 入居者のうち住所地特例（保険者が足立区外）の該当者は何人ですか（数字を記入）。

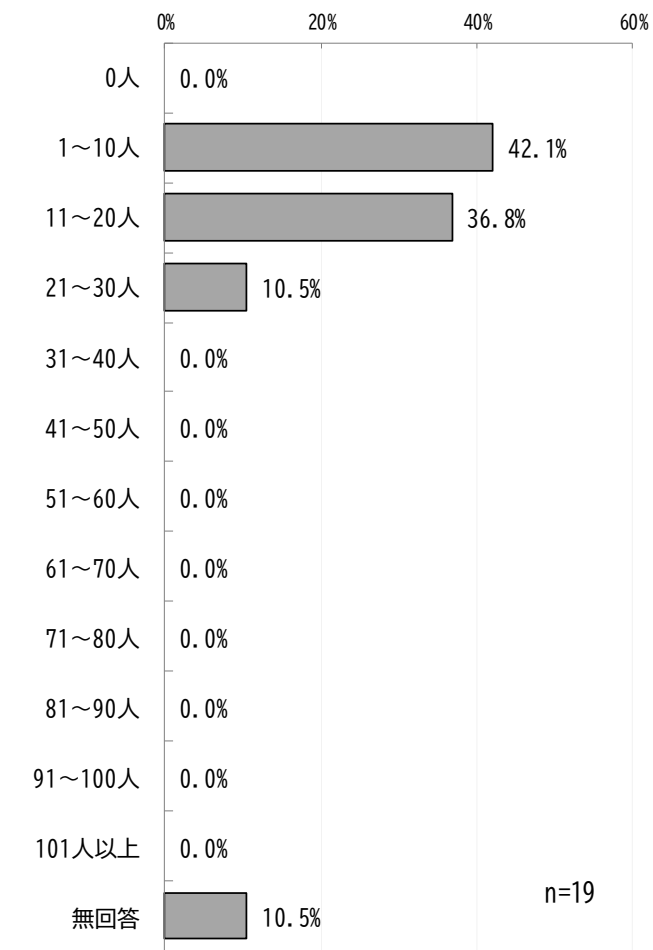
住所地特例（保険者が足立区外）の該当者について、「1～10人」が26.3%と最も高く、「21～30人」「31～40人」「41～50人」が15.8%、「11～20人」が10.5%、「0人」が5.3%、「51人以上」が0.0%となっている。



問3（1）⑤ 令和6年1月～12月までの入退居者数（数字を記入）

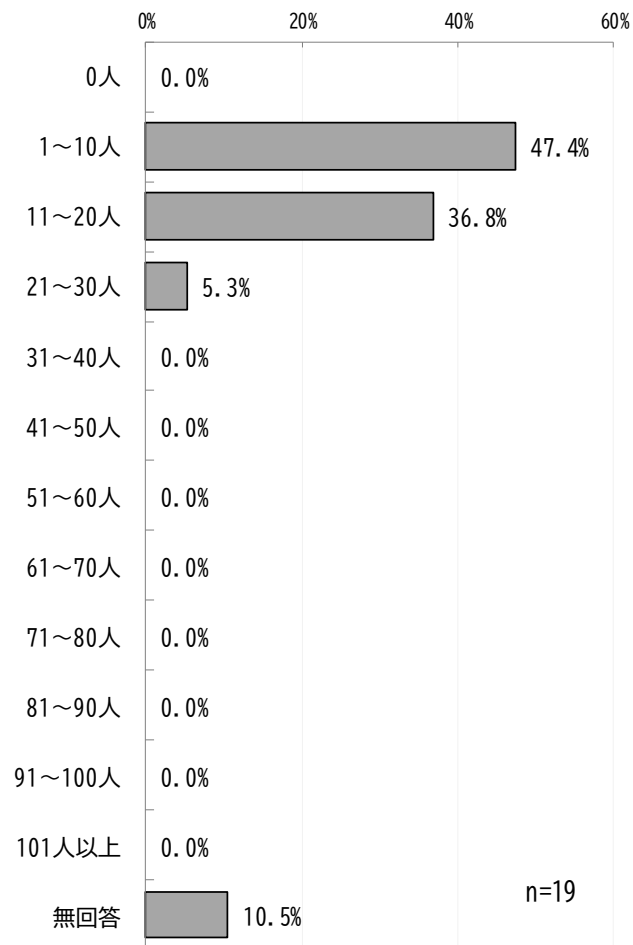
問3（1）⑤－1 入居者数

1年間の入居者数について、「1～10人」が42.1%と最も高く、「11～20人」が36.8%、「21～30人」が10.5%となっている。



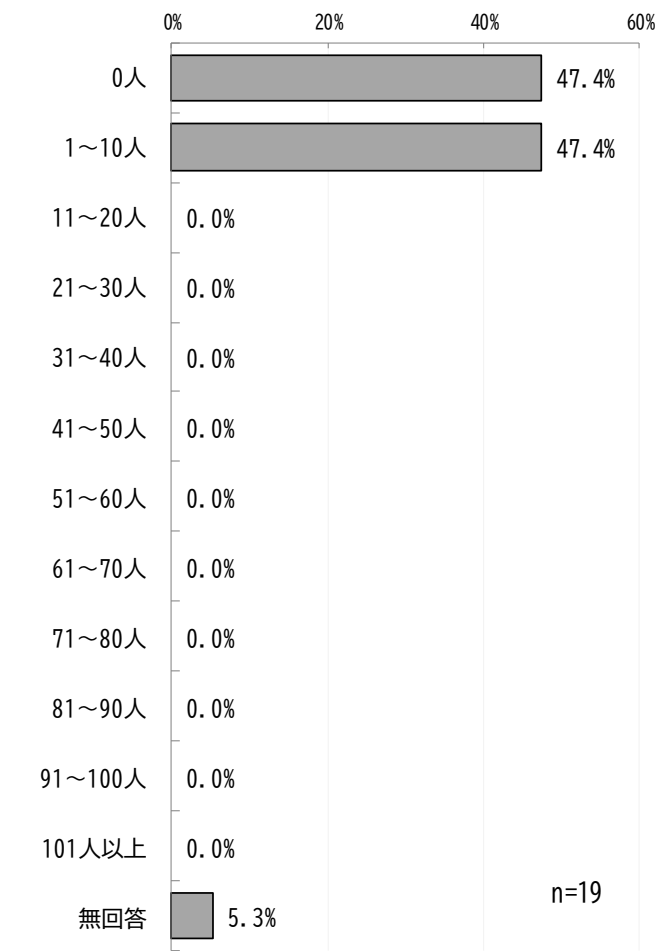
問3 (1) ⑤-2 退居者数

1年間の退居者数について、「1～10人」が47.4%と最も高く、「11～20人」が36.8%、「21～30人」が5.3%となっている。



問3（1）⑥ 待機者数（数字を記入）。

待機者数について、「0人」「1～10人」が47.4%と最も高くなっている。



問3（1）⑦ 入居者の従前の住所地（数字を記入）。

※令和7年10月現在

入居者の従前の住所地について、

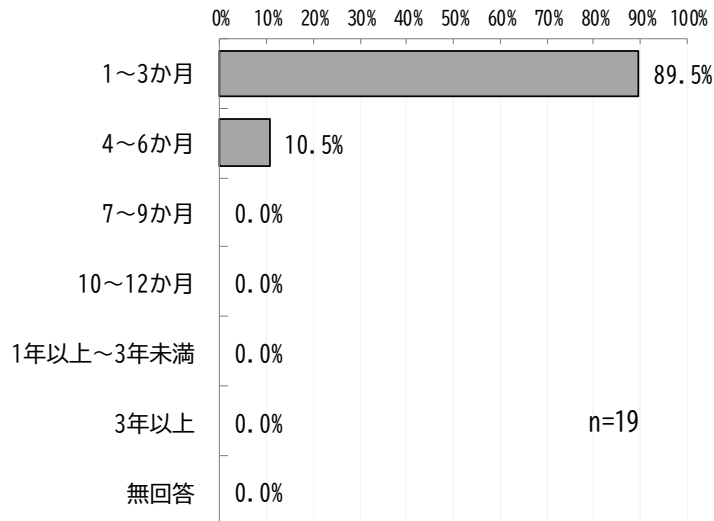
足立区内では、「21～30人」が37.5%、東京都内では、「1～10人」が29.4%、他府県では、「1～10人」が77.8%と最も高くなっている。

(%)

	調査数	0人	1～10人	11～20人	21～30人	31～40人	41～50人	51人以上	無回答
足立区内	16	0.0	25.0	31.3	37.5	6.3	0.0	0.0	0.0
東京都内	17	0.0	29.4	23.5	23.5	5.9	11.8	5.9	0.0
他府県	18	0.0	77.8	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

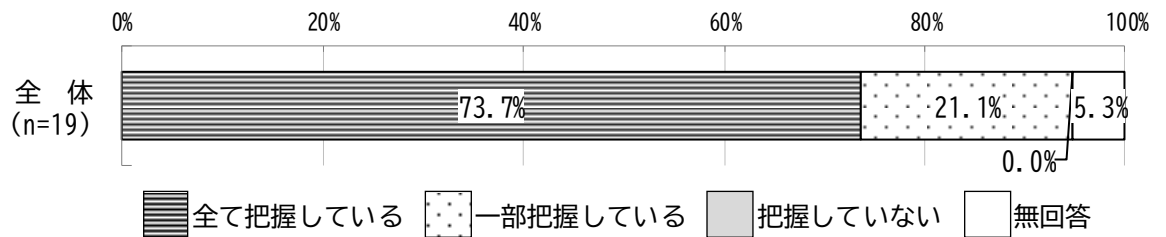
問3（2） 入居までに平均どのくらいかかりますか（1つに○）。

入居までにかかる期間について、「1～3 か月」が89.5%と最も高く、「4～6 か月」が10.5%、「7～9 か月」「10～12 か月」「1年以上～3年未満」「3年以上」が0.0%となっている。



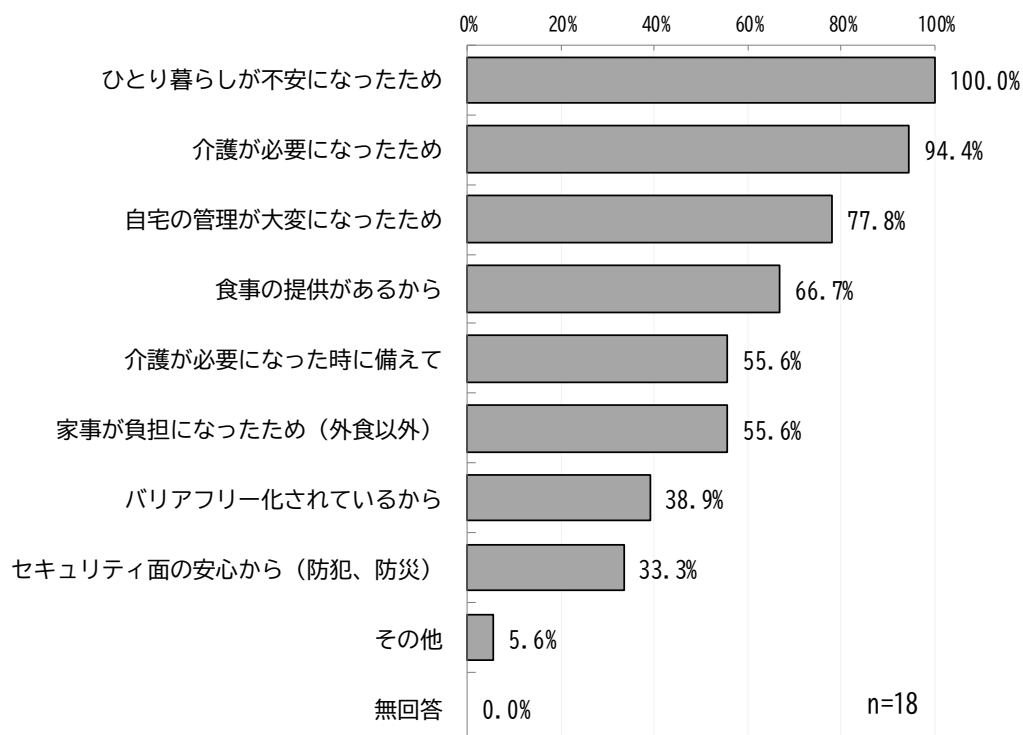
問3（3） 入居の動機を把握されていますか（1つに○）。

入居の動機について、「全て把握している」が73.7%と最も高く、「一部把握している」が21.1%、「把握していない」が0.0%となっている。



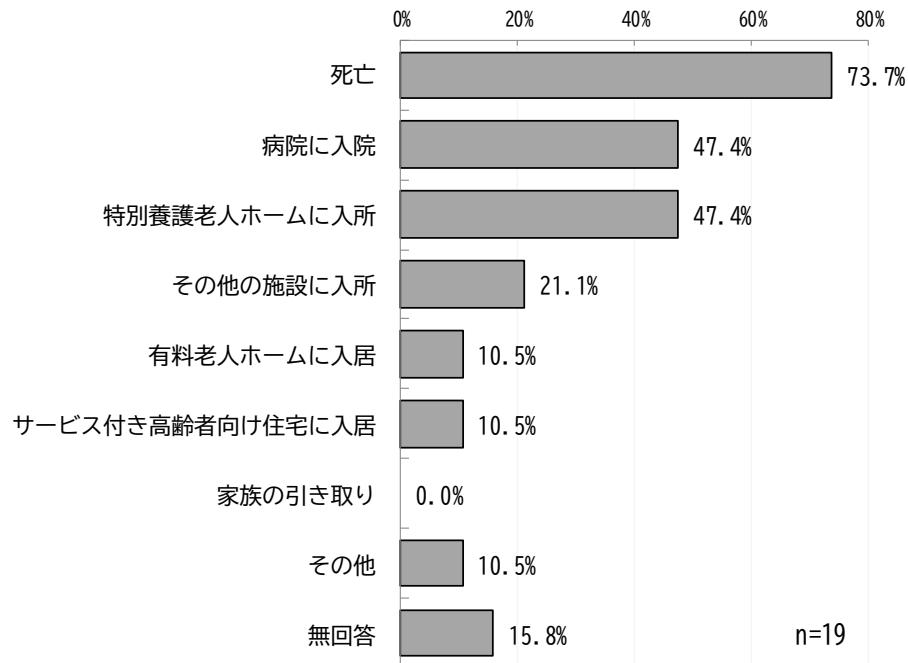
問3 (3) ① 入居を決められた主な理由は何ですか（いくつでも○）。

入居の動機について、「ひとり暮らしが不安になったため」が100.0%と最も高く、「介護が必要になったため」が94.4%、「自宅の管理が大変になったため」が77.8%、「食事の提供があるから」が66.7%、「介護が必要になった時に備えて」「家事が負担になったため（外食以外）」が55.6%、「バリアフリー化されているから」が38.9%、「セキュリティ面の安心から（防犯、防災）」が33.3%となっている。



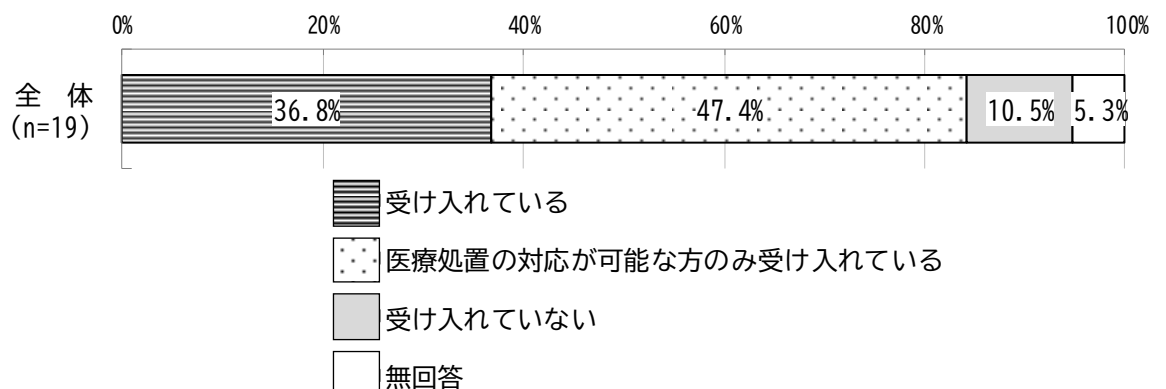
問3（4） 退居の主な理由は何ですか（3つまで○）。

退居の主な理由として、「死亡」が73.7%と最も高く、「病院に入院」「特別養護老人ホームに入所」が47.4%、「その他の施設に入所」が21.1%、「有料老人ホームに入居」「サービス付き高齢者向け住宅に入居」が10.5%となっている。



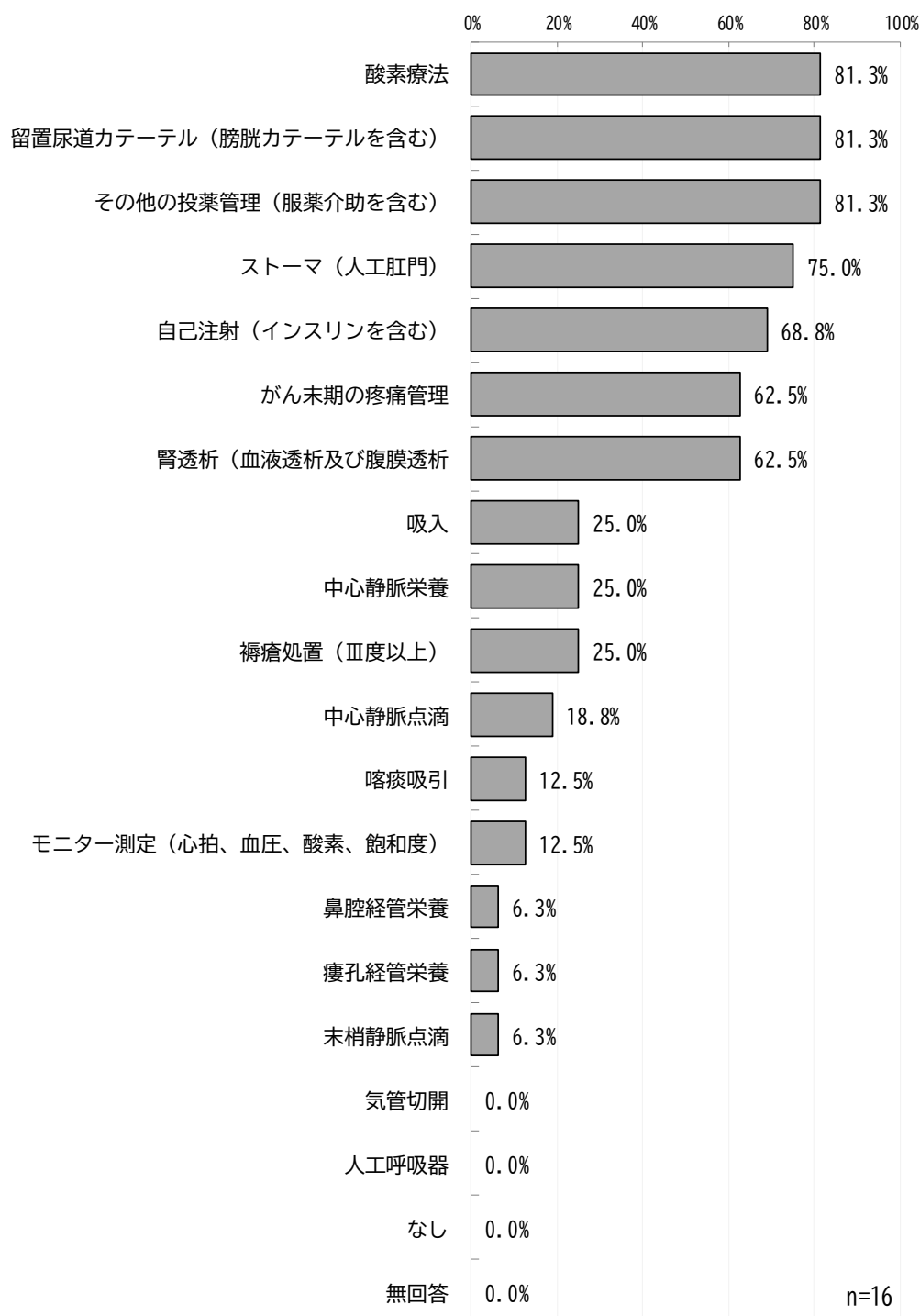
問3（5） 貴事業所は医療処置が必要な方の入居を受け入れていますか（1つに○）。

医療処置が必要な方の入居受入状況について、「医療処置の対応が可能な方のみ受け入れている」が47.4%と最も高く、「受け入れている」が36.8%、「受け入っていない」が10.5%となっている。



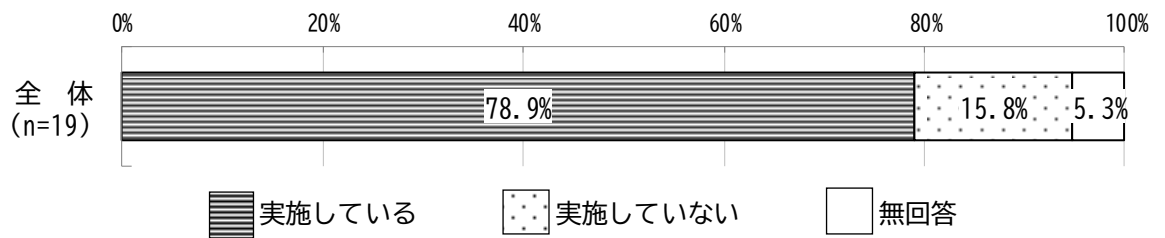
問3 (5) ① 貴事業所で対応が可能な医療処置をお答えください（いくつでも○）。

事業所で対応が可能な医療処置について、「酸素療法」「留置尿道カテーテル（膀胱カテーテルを含む）」「その他の投薬管理（服薬介助を含む）」が81.3%と最も高く、「ストーマ（人工肛門）」が75.0%、「自己注射（インスリンを含む）」が68.8%、「がん末期の疼痛管理」「腎透析（血液透析及び腹膜透析）」が62.5%、「吸入」「中心静脈栄養」「褥瘡処置（Ⅲ度以上）」が25.0%、「中心静脈点滴」が18.8%、「喀痰吸引」「モニター測定（心拍、血圧、酸素、飽和度）」が12.5%、「鼻腔経管栄養」「瘻孔経管栄養」「末梢静脈点滴」が6.3%となっている。



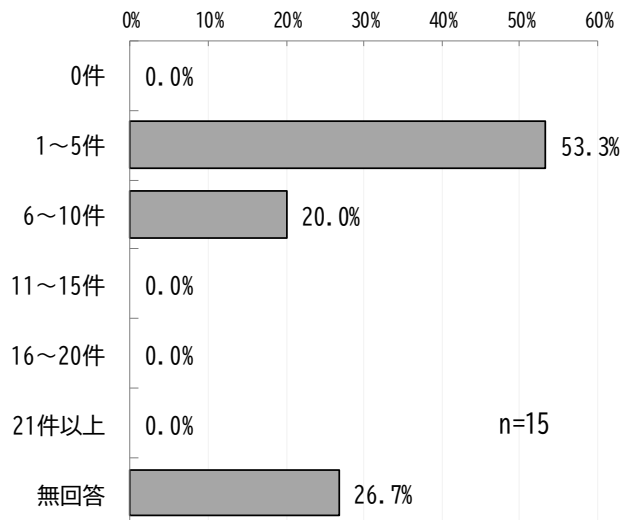
問3（6） 貴事業所では、看取りを実施していますか（1つに○・数字を記入）

看取りの実施状況について、「実施している」が78.9%と最も高く、「実施していない」が15.8%となっている。



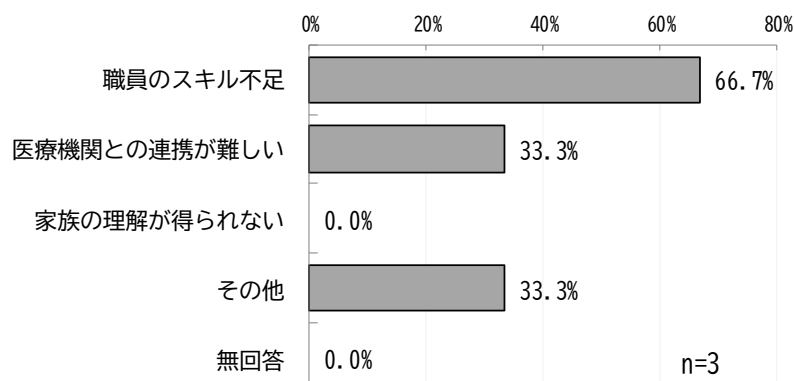
問3（6）1. 看取りを実施している事業所のこの1年の実績

看取りを「実施している」事業所において、この1年の実績として、「1～5件」が53.3%と最も高く、「6～10件」が20.0%、「0件」「11～15件」「16～20件」「21件以上」が0.0%となっている。



問3（6）① 看取りを実施していない理由は何ですか（いくつでも○）。

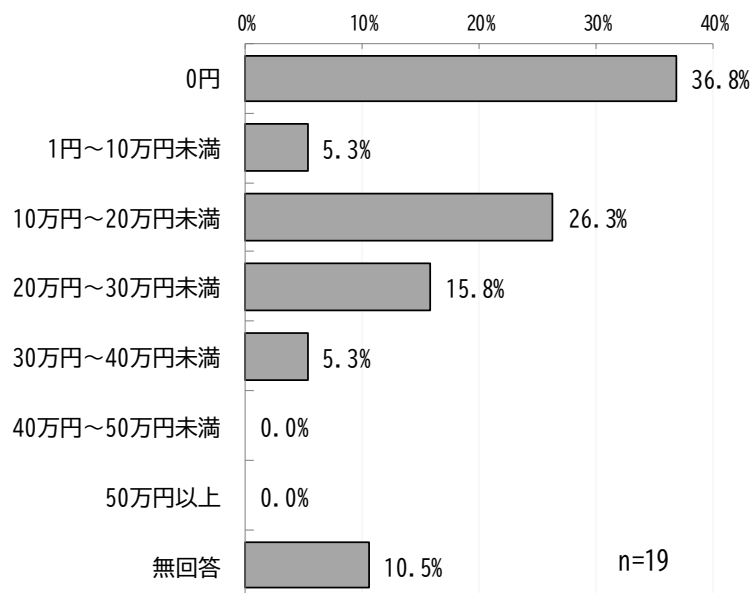
看取りを「実施していない」事業所における、看取りを実施していない理由について、「職員のスキル不足」が66.7%と最も高く、「医療機関との連携が難しい」が33.3%、「家族の理解が得られない」が0.0%となっている。



問3（7） 貴事業所の利用料等につき、以下の質問にお答えください（数字を記入）。

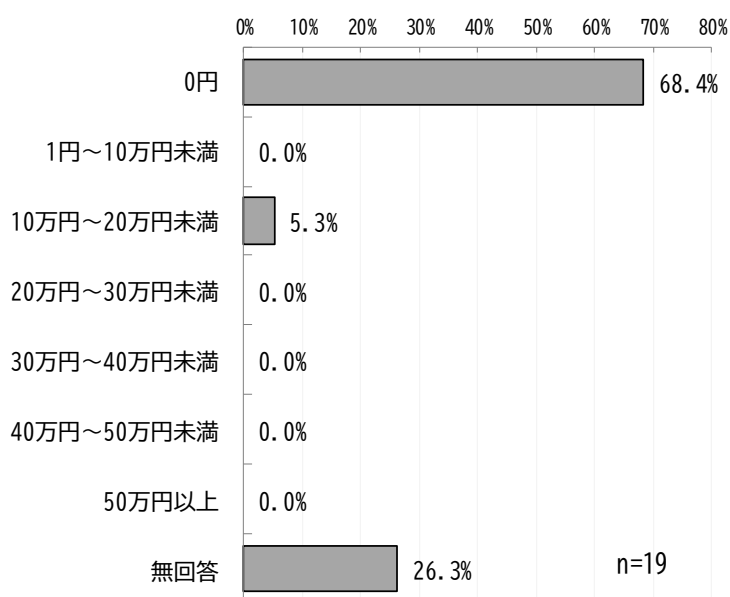
問3（7）① 敷金（保証金）【代表的なプランでお答えください】

敷金（保証金）について、「0円」が36.8%と最も高く、「10万円～20万円未満」が26.3%、「20万円～30万円未満」が15.8%、「1円～10万円未満」「30万円～40万円未満」が5.3%、「40万円～50万円未満」「50万円以上」が0.0%となっている。



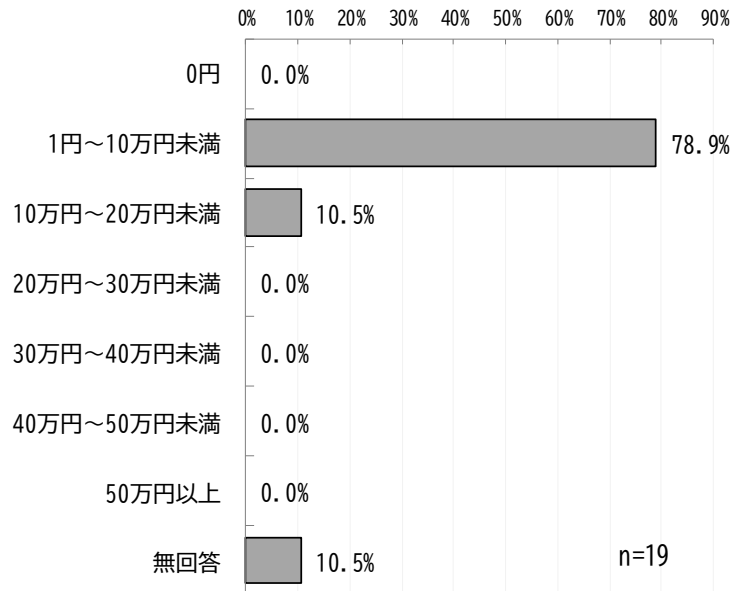
問3（7）② 前払金（入所一時金）【代表的なプランでお答えください】

前払金（入所一時金）について、「0円」が68.4%と最も高く、「10万円～20万円未満」が5.3%、「1円～10万円未満」「20万円～30万円未満」「30万円～40万円未満」「40万円～50万円未満」「50万円以上」が0.0%となっている。



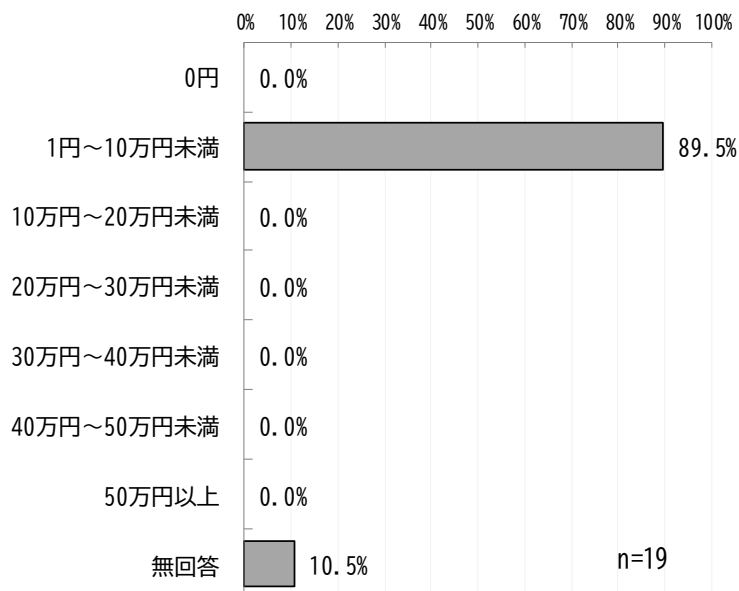
問3 (7) ③ 月額利用料（賃料）【代表的なプランでお答えください】

月額利用料（賃料）について、「1 円～10 万円未満」が 78.9%と最も高く、「10 万円～20 万円未満」が 10.5%、「0 円」「20 万円～30 万円未満」「30 万円～40 万円未満」「40 万円～50 万円未満」「50 万円以上」が 0.0%となっている。



問3 (7) ④ 共益費・管理費【代表的なプランでお答えください】

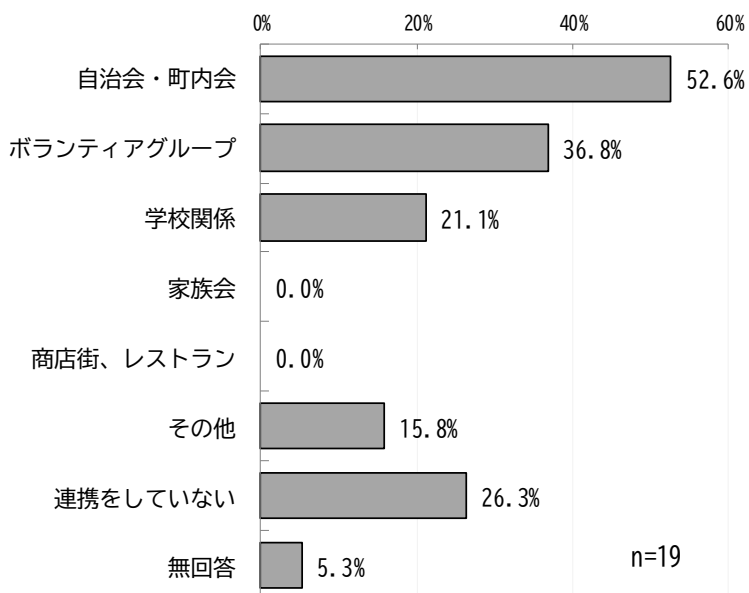
共益費・管理費について、「1 円～10 万円未満」が 89.5%と最も高くなっている。



(4) 地域や他機関との連携について

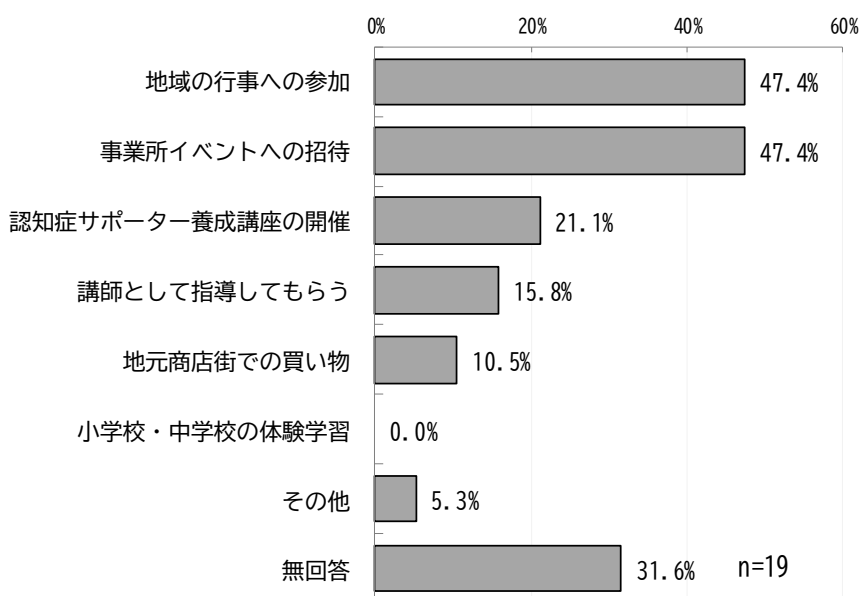
問4 (1) 地域のどのような組織と連携をしていますか (いくつでも○)。

地域の連携先として、「自治会・町内会」が52.6%と最も高く、「ボランティアグループ」が36.8%、「学校関係」が21.1%、「家族会」「商店街、レストラン」が0.0%、「連携をしていない」が26.3%となっている。



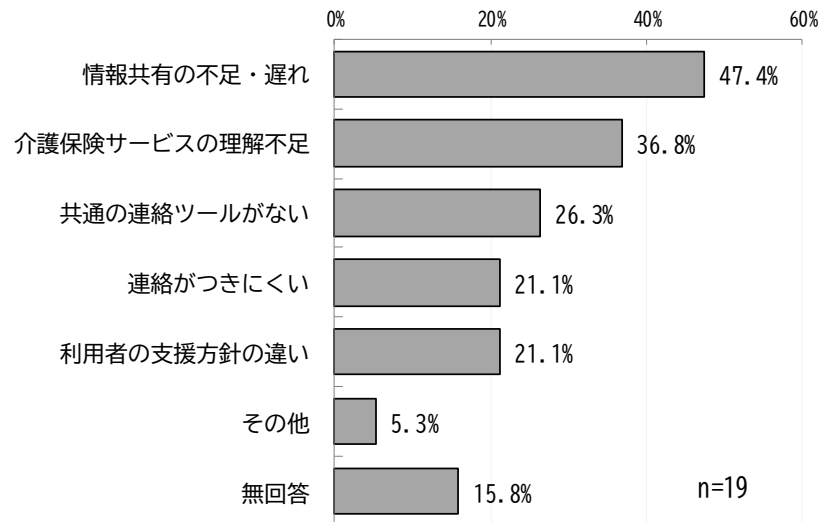
問4 (2) 地域とどのような連携をしていますか (いくつでも○)。

地域との連携方法として、「地域の行事への参加」「事業所イベントへの招待」が47.4%と最も高く、「認知症サポーター養成講座の開催」が21.1%、「講師として指導してもらう」が15.8%、「地元商店街での買い物」が10.5%、「小学校・中学校の体験学習」が0.0%となっている。



問4（3） 医療機関との連携時に感じている課題を教えてください
(いくつでも○)。

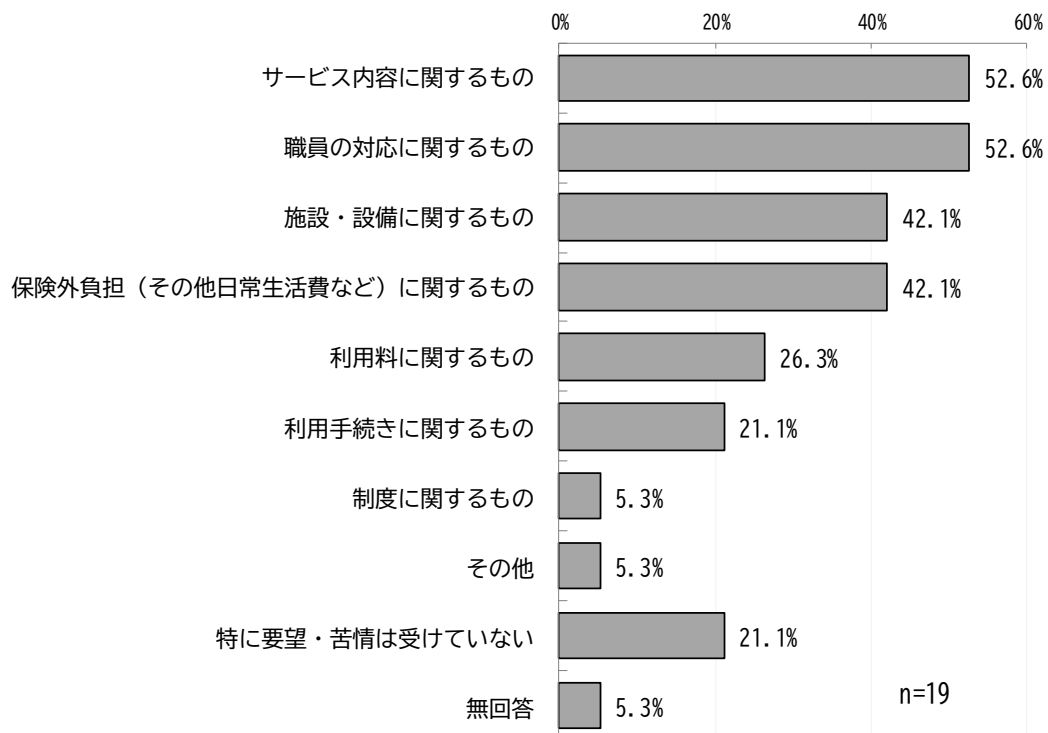
医療機関との連携時に感じている課題について、「情報共有の不足・遅れ」が47.4%と最も高く、「介護保険サービスの理解不足」が36.8%、「共通の連絡ツールがない」が26.3%、「連絡がつきにくい」「利用者の支援方針の違い」が21.1%となっている。



(5) 利用者からの声について

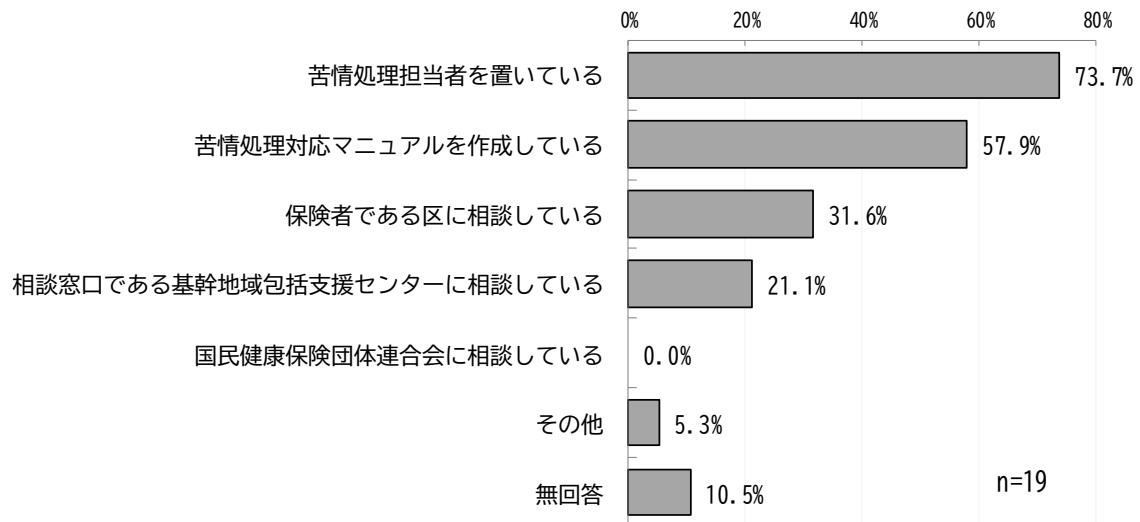
問5 (1) 令和6年度以降、利用者やその家族からどのような要望・苦情がありましたか（いくつでも○）。

令和6年度以降、利用者やその家族から受けた要望・苦情について、「サービス内容に関するもの」「職員の対応に関するもの」が52.6%と最も高く、「施設・設備に関するもの」「保険外負担（その他日常生活費など）に関するもの」が42.1%、「利用料に関するもの」が26.3%、「利用手続きに関するもの」「特に要望・苦情は受けていない」が21.1%、「制度に関するもの」が5.3%となっている。



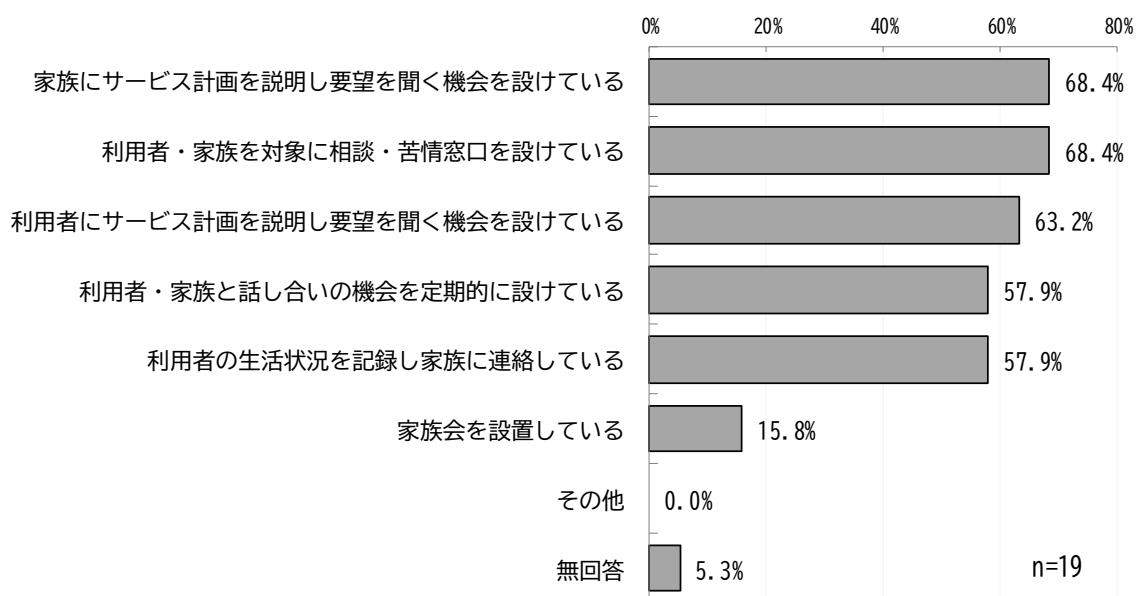
問5（2） 利用者等から苦情があった場合、どのように対応していますか
（いくつでも○）。

利用者等から苦情があった場合の対応として、「苦情処理担当者を置いている」が73.7%と最も高く、「苦情処理対応マニュアルを作成している」が57.9%、「保険者である区に相談している」が31.6%、「相談窓口である基幹地域包括支援センターに相談している」が21.1%、「国民健康保険団体連合会に相談している」が0.0%となっている。



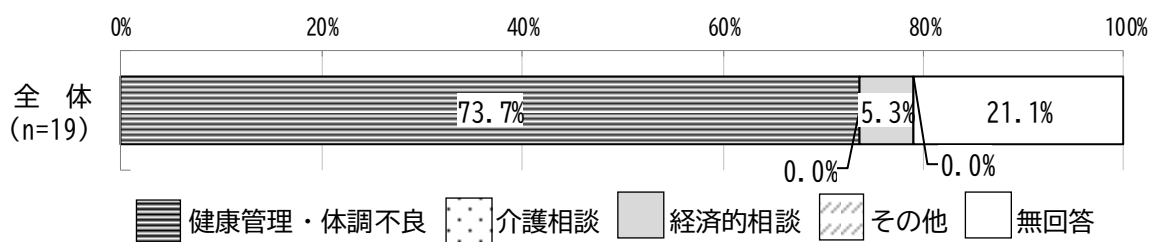
問5（3） 利用者や家族の要望を積極的に取り入れるため、どのような取り組みを行っていますか（いくつでも○）。

利用者や家族の要望を積極的に取り入れるための取り組みとして、「家族にサービス計画を説明し要望を聞く機会を設けている」「利用者・家族を対象に相談・苦情窓口を設けている」が68.4%と最も高く、「利用者にサービス計画を説明し要望を聞く機会を設けている」が63.2%、「利用者・家族と話し合いの機会を定期的に設けている」「利用者の生活状況を記録し家族に連絡している」が57.9%、「家族会を設置している」が15.8%となっている。



問5（4） 入居者からの生活相談で1番多いものを教えてください（1つに○）。

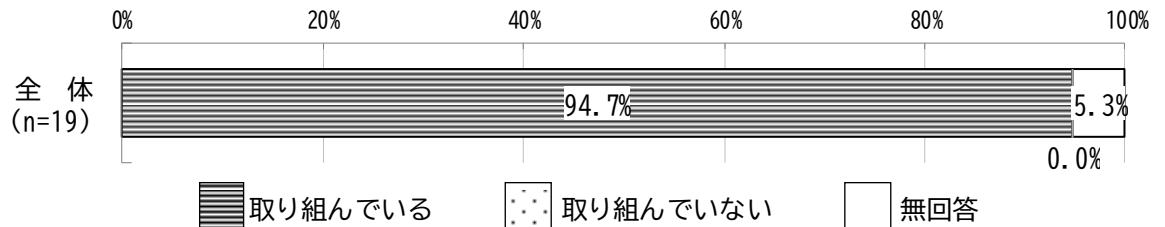
入居者からの生活相談について、「健康管理・体調不良」が73.7%と最も高く、「経済的相談」が5.3%、「介護相談」が0.0%となっている。



(6) サービスの質の向上について

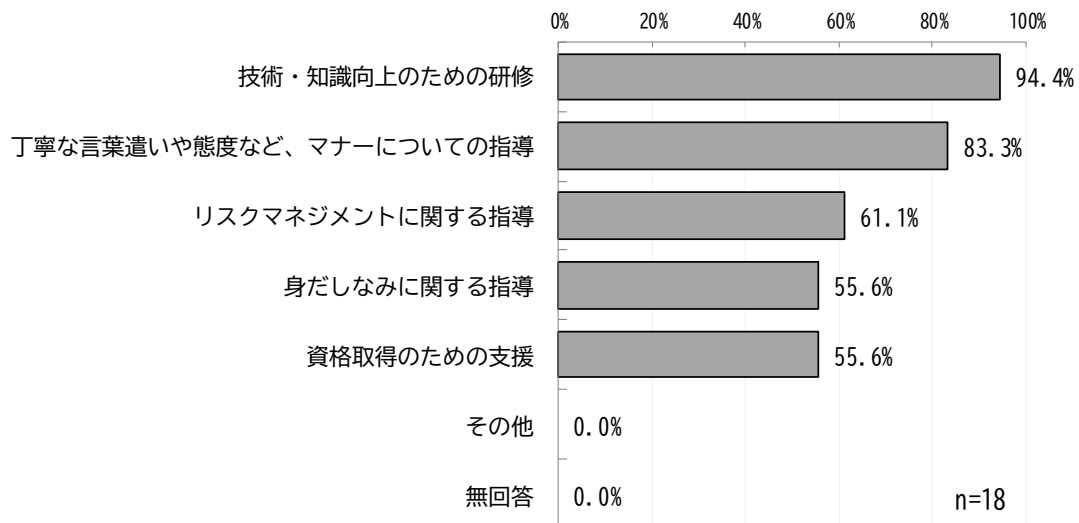
問6(1) 職員の教育に取り組んでいますか(1つに○)。

職員の教育について、「取り組んでいる」が94.7%と最も高く、「取り組んでいない」が0.0%となっている。



問6(1)① 職員の教育で力を入れていることは何ですか(いくつでも○)。

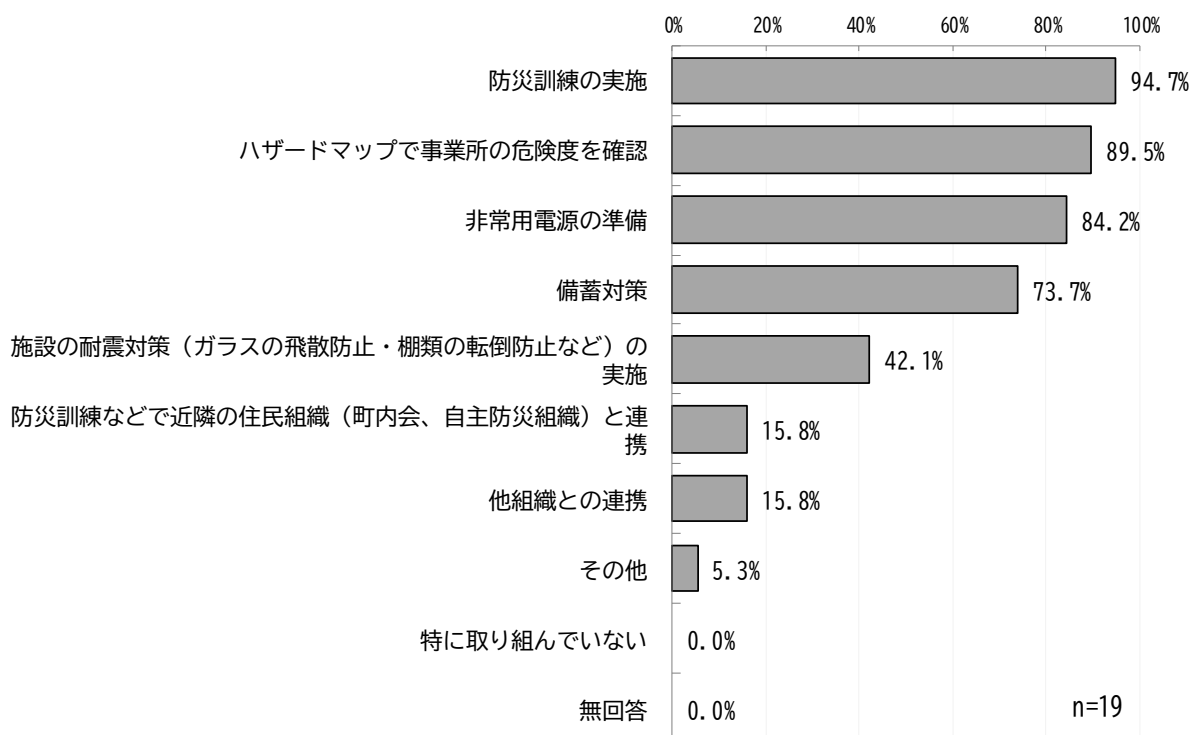
職員教育で力を入れている点について、「技術・知識向上のための研修」が94.4%と最も高く、「丁寧な言葉遣いや態度など、マナーについての指導」が83.3%、「リスクマネジメントに関する指導」が61.1%、「身だしなみに関する指導」「資格取得のための支援」が55.6%となっている。



(7) リスク管理について

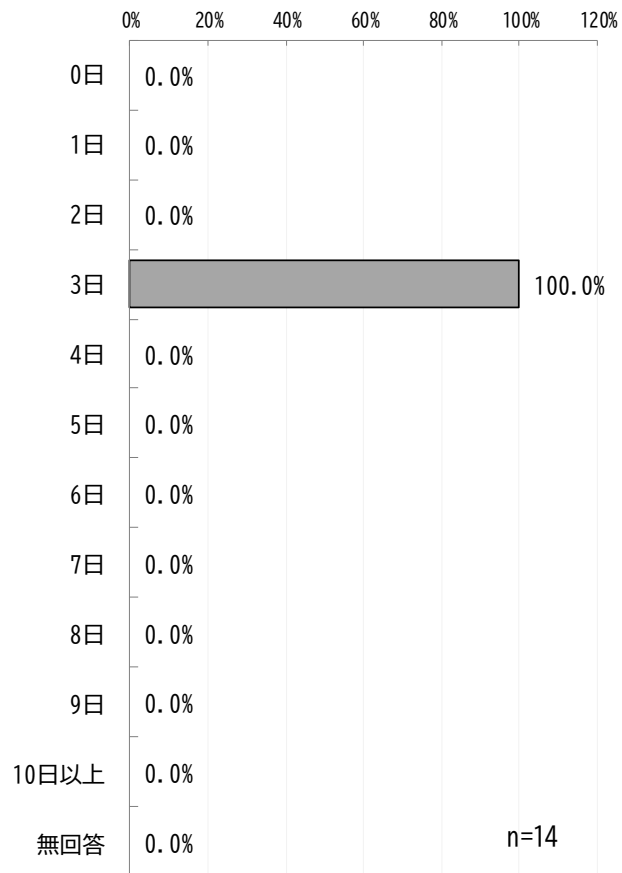
問7(1) 貴事業所が行っている有事（感染症や自然災害）を想定した平時の備えについて、お答えください（いくつでも○）。

事業所における有事（感染症や自然災害）を想定した平時の備えについて、「防災訓練の実施」が94.7%と最も高く、「ハザードマップで事業所の危険度を確認」が89.5%、「非常用電源の準備」が84.2%、「備蓄対策」が73.7%、「施設の耐震対策（ガラスの飛散防止・棚類の転倒防止など）の実施」が42.1%、「防災訓練などで近隣の住民組織（町内会、自主防災組織）と連携」「他組織との連携」が15.8%、「特に取り組んでいない」が0.0%となっている。



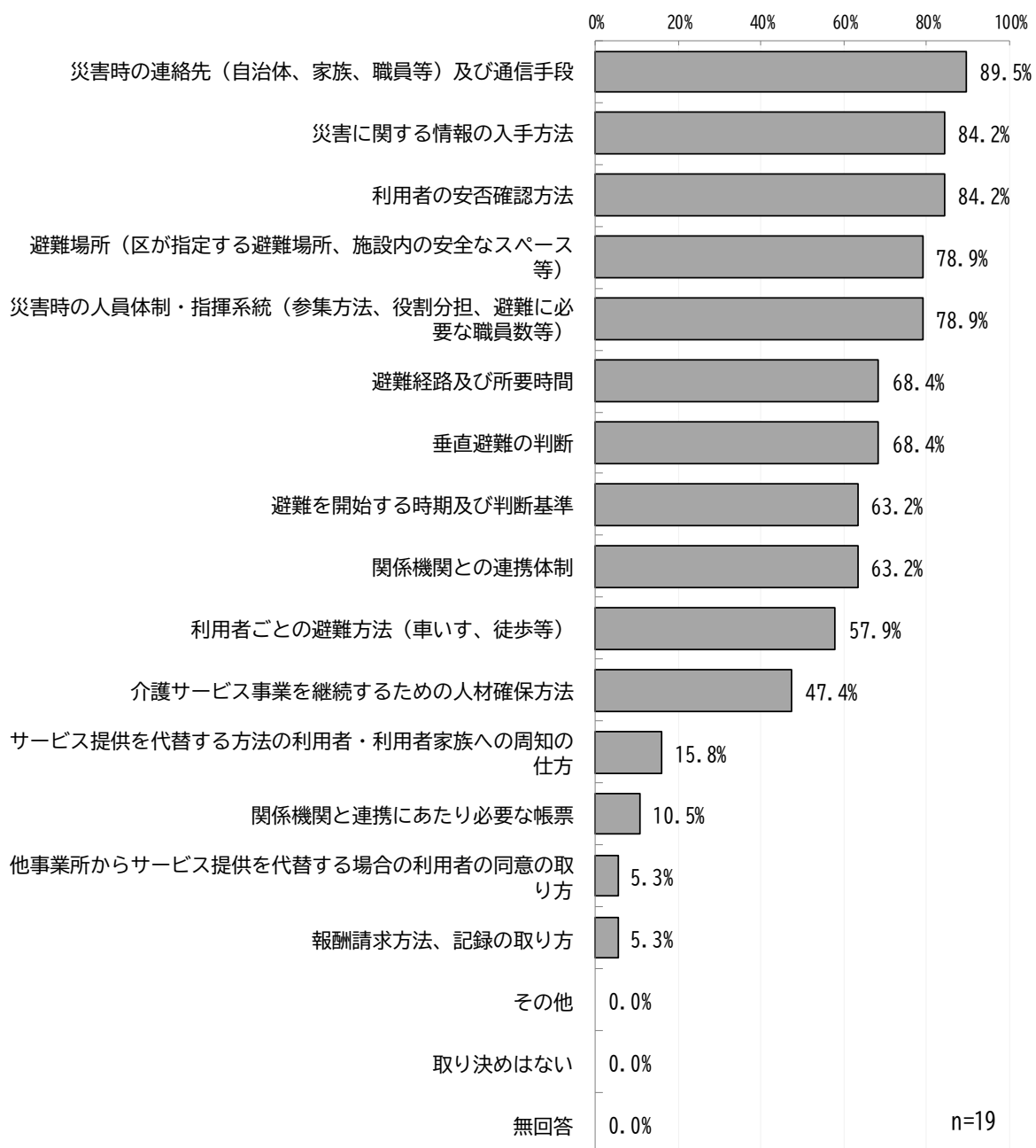
問7（1）① 備蓄は定員および職員あわせて何日分準備していますか（数字を記入）。

「備蓄対策」と回答した事業所の、事業所における災害時の備蓄を定員および職員をあわせて準備している日数は、「3日」が100.0%となっている。



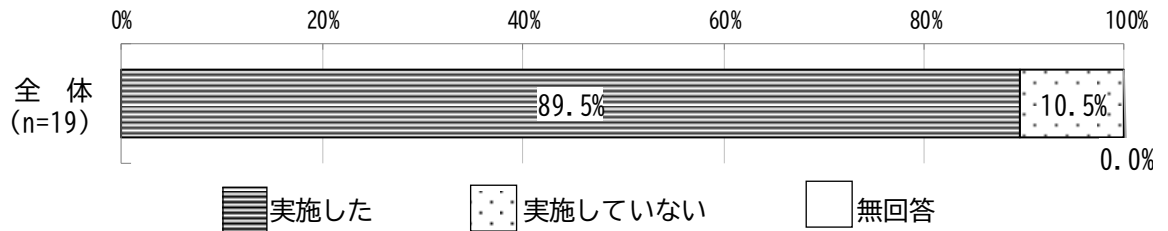
問7(2) 有事（感染症や自然災害）が発生した際に貴事業所で取り決められている内容について、お答えください（いくつでも○）。

有事（感染症や自然災害）が発生した際に事業所で取り決められている内容について、「災害時の連絡先（自治体、家族、職員等）及び通信手段」が89.5%と最も高く、「災害に関する情報の入手方法」「利用者の安否確認方法」が84.2%、「避難場所（区が指定する避難場所、施設内の安全なスペース等）」「災害時の人員体制・指揮系統（参集方法、役割分担、避難に必要な職員数等）」が78.9%と続いている。



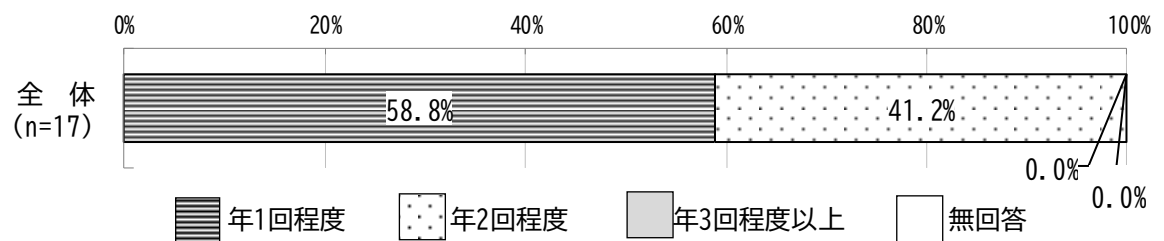
問7（3） 貴事業所は令和6・7年に水害を含む避難訓練を実施しましたか
（1つに○・数字を記入）。

令和6年・7年における水害を含む避難訓練について、「実施した」が89.5%と最も高く、「実施していない」が10.5%となっている。



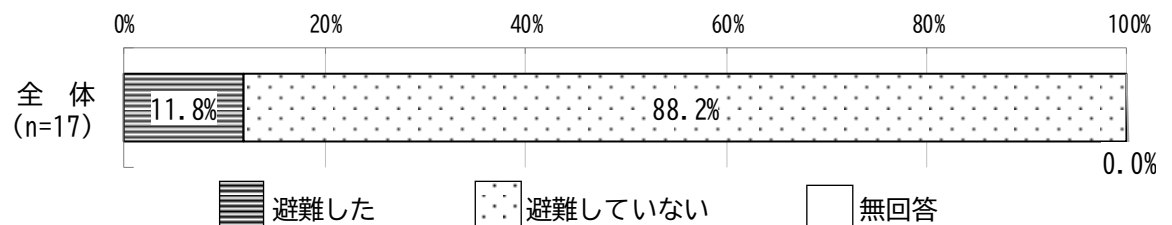
① 水害を含む避難訓練を実施した事業所の年間実施回数（数字で記入）

水害を含む避難訓練について、「年1回程度」が58.8%と最も高く、「年2回程度」が41.2%、「年3回程度以上」が0.0%となっている。



問7（3）① 実施した避難訓練に介護度の最も重い方は参加しましたか（実際に避難しましたか）（1つに○）。

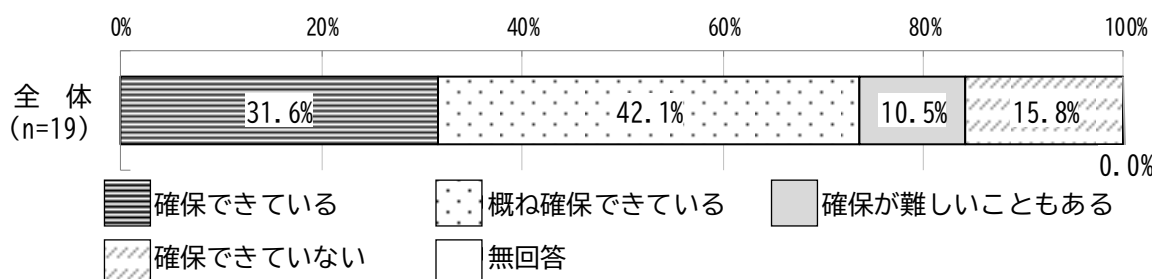
介護度の最も重い方の避難訓練への参加について、「避難していない」が88.2%と最も高く、「避難した」が11.8%となっている。



(8) 人材確保について

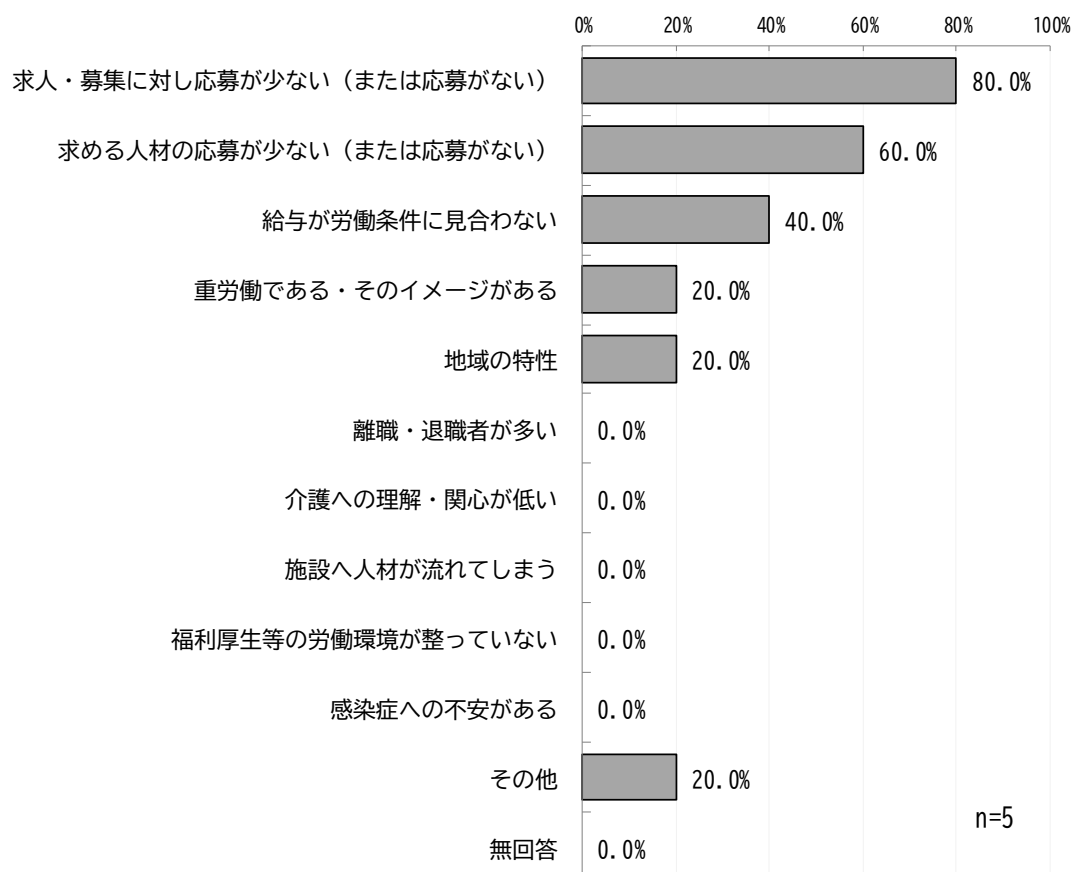
問8 (1) 貴事業所では、介護職員等の人材は確保できていますか (1つに○)。

事業所の介護職員等の人材について、「概ね確保できている」が42.1%と最も高く、「確保できている」が31.6%、「確保できていない」が15.8%、「確保が難しいこともある」が10.5%となっている。



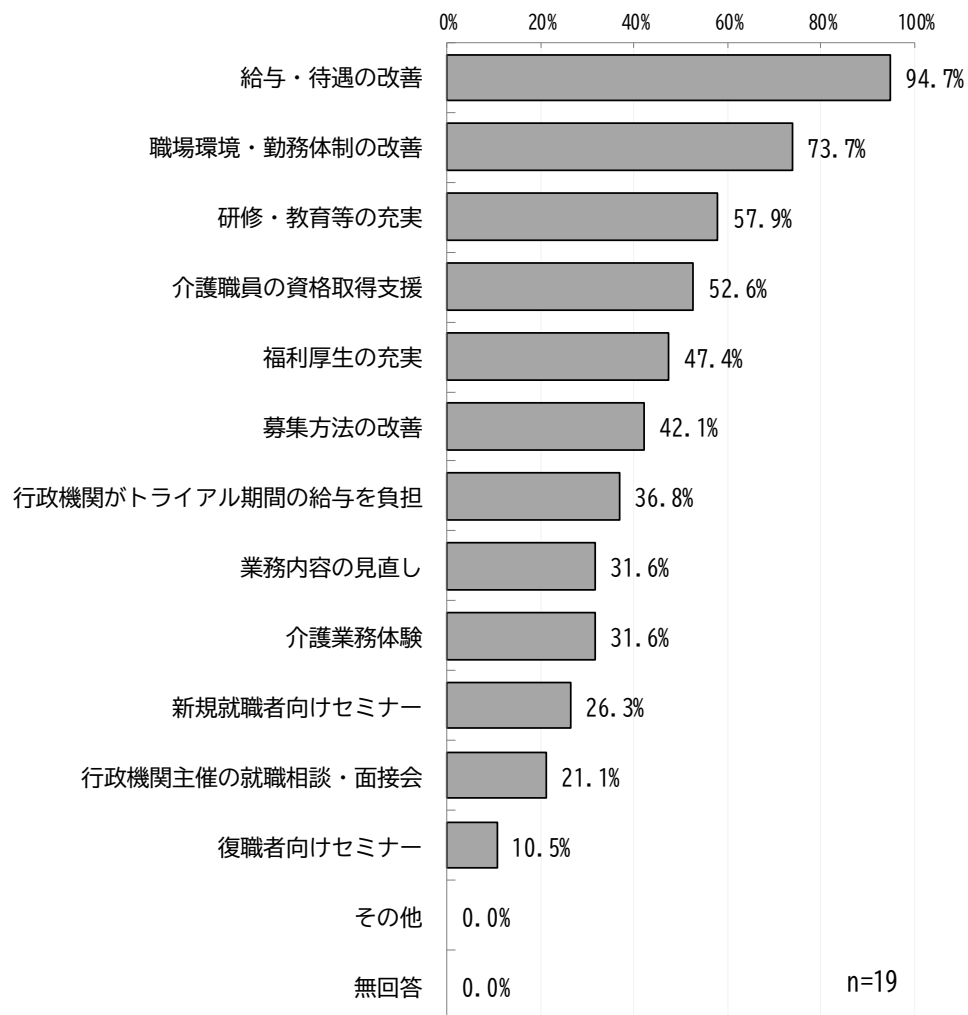
問8 (1) ① その理由は何ですか (いくつでも○)。

介護職員等の人材について、「求人・募集に対し応募が少ない(または応募がない)」が80.0%と最も高く、「求める人材の応募が少ない(または応募がない)」が60.0%、「給与が労働条件に見合わない」が40.0%、「重労働である・そのイメージがある」「地域の特性」が20.0%となっている。「離職・退職者が多い」「介護への理解・関心が低い」「施設へ人材が流れてしまう」「福利厚生等の労働環境が整っていない」「感染症への不安がある」が0.0%となっている。



問8（2） 人材確保支援策として有効だと思うものは何ですか（いくつでも○）。

人材確保支援策として有効だと思うものについて、「給与・待遇の改善」が94.7%と最も高く、「職場環境・勤務体制の改善」が73.7%、「研修・教育等の充実」が57.9%、「介護職員の資格取得支援」が52.6%、「福利厚生の充実」が47.4%、「募集方法の改善」が42.1%、「行政機関がトライアル期間の給与を負担」が36.8%、「業務内容の見直し」「介護業務体験」が31.6%、「新規就職者向けセミナー」が26.3%、「行政機関主催の就職相談・面接会」が21.1%、「復職者向けセミナー」が10.5%となっている。



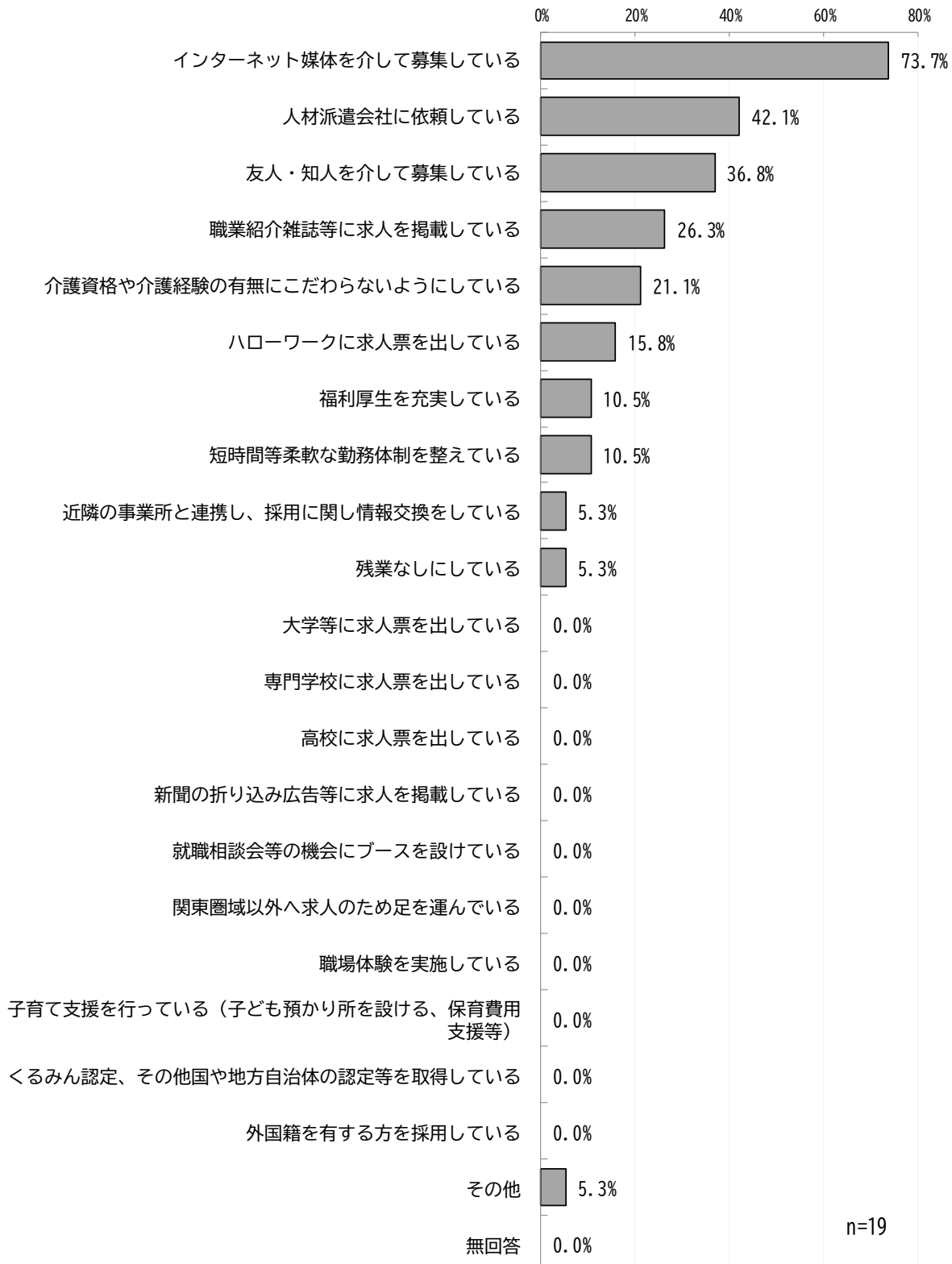
問8（3） 貴事業所では、職員の募集（採用）にあたりどのような工夫を行っていますか（いくつでも○）。

事業所の職員募集の工夫について、「インターネット媒体を介して募集している」が94.7%と最も高く、「ハローワークに求人票を出している」が68.4%、「友人・知人を介して募集している」が63.2%、「人材派遣会社に依頼している」が57.9%、「職業紹介雑誌等に求人を掲載している」が42.1%と続いている。



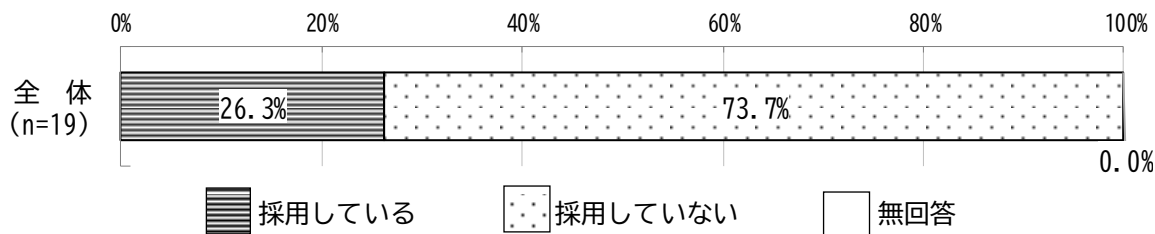
問8 (4) 職員募集(採用)で効果のあったものは何ですか(3つまで数字を記入)。

職員募集で効果のあったものとして、「インターネット媒体を介して募集している」が73.7%と最も高く、「人材派遣会社に依頼している」が42.1%、「友人・知人を介して募集している」が36.8%、「職業紹介雑誌等に求人を掲載している」が26.3%、「介護資格や介護経験の有無にこだわらないようにしている」が21.1%、「ハローワークに求人票を出している」が15.8%と続いている。



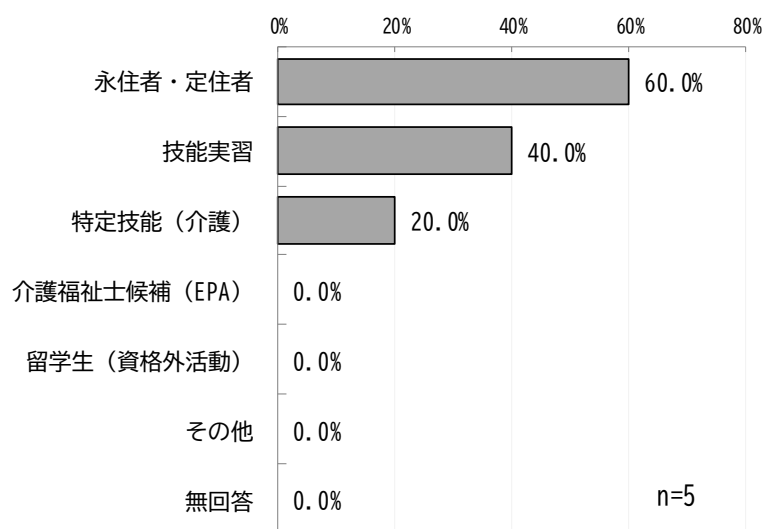
問8（5） 貴事業所では、外国籍を有する方を採用していますか（1つに○）。

外国籍を有する方の採用について、「採用していない」が73.7%と最も高く、「採用している」が26.3%となっている。



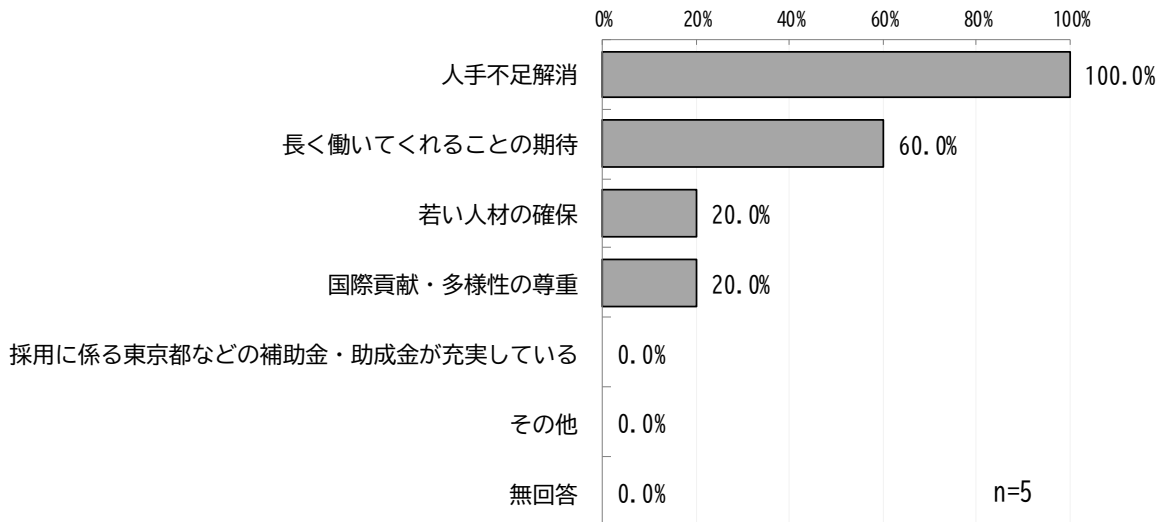
問8（5）① 採用した外国籍を有する方の在留資格を教えてください（いくつでも○）。

外国籍を有する方の在留資格について、「永住者・定住者」が60.0%と最も高く、「技能実習」が40.0%、「特定技能（介護）」が20.0%、「介護福祉士候補（EPA）」「留学生（資格外活動）」が0.0%となっている。



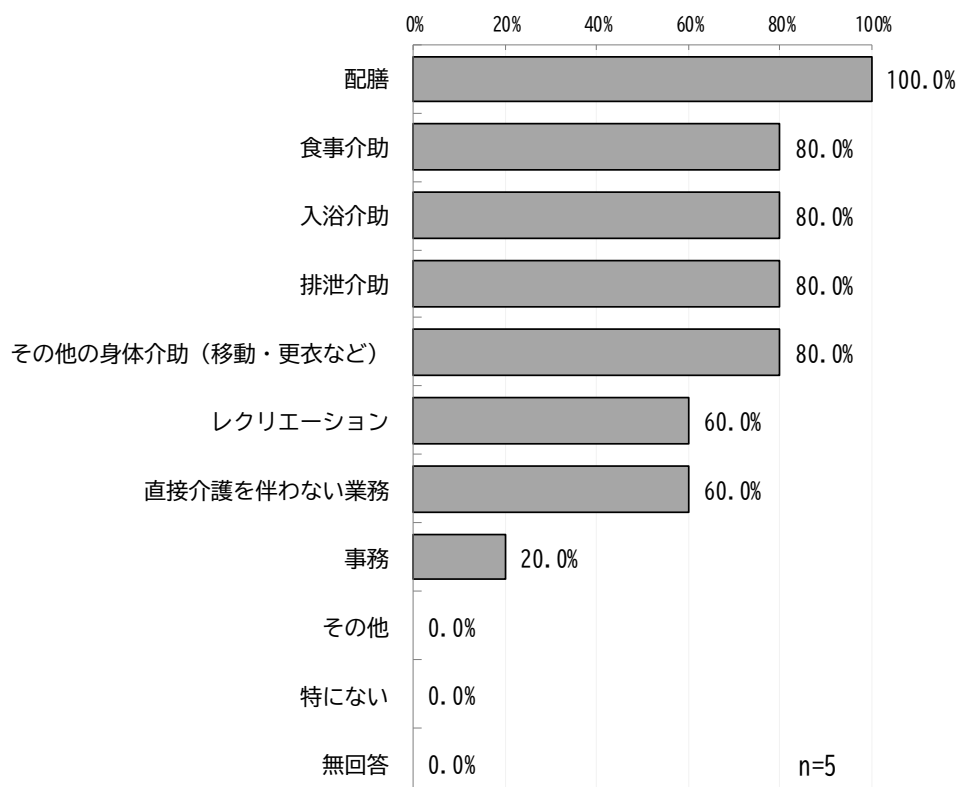
問8（5）② 外国籍を有する方を採用した主な理由を教えてください（いくつでも○）。

外国籍を有する方の主な採用理由について、「人手不足解消」が100.0%と最も高く、「長く働いてくれることの期待」が60.0%、「若い人材の確保」「国際貢献・多様性の尊重」が20.0%、「採用に係る東京都などの補助金・助成金が充実している」が0.0%となっている。



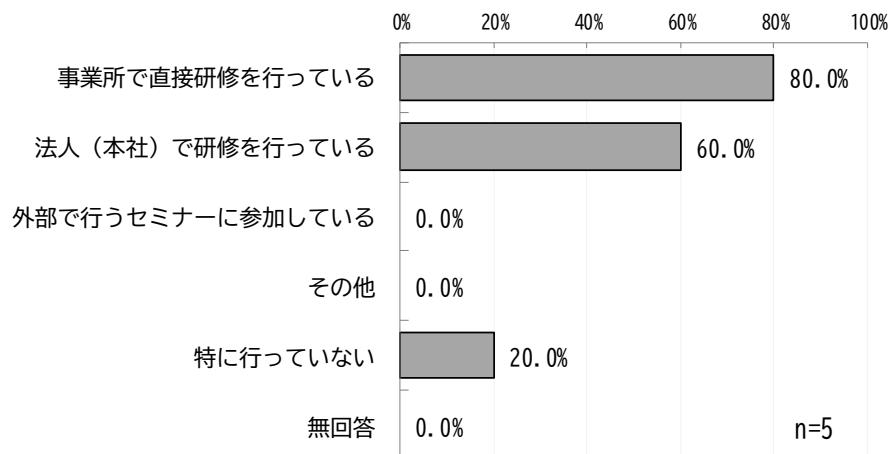
問8（5）③ 外国籍を有する方が行っている主な業務は何ですか（いくつでも○）。

外国籍を有する方が行っている主な業務について、「配膳」が100.0%と最も高く、「食事介助」「入浴介助」「排泄介助」「その他の身体介助（移動・更衣など）」が80.0%、「レクリエーション」「直接介護を伴わない業務」が60.0%、「事務」が20.0%となっている。



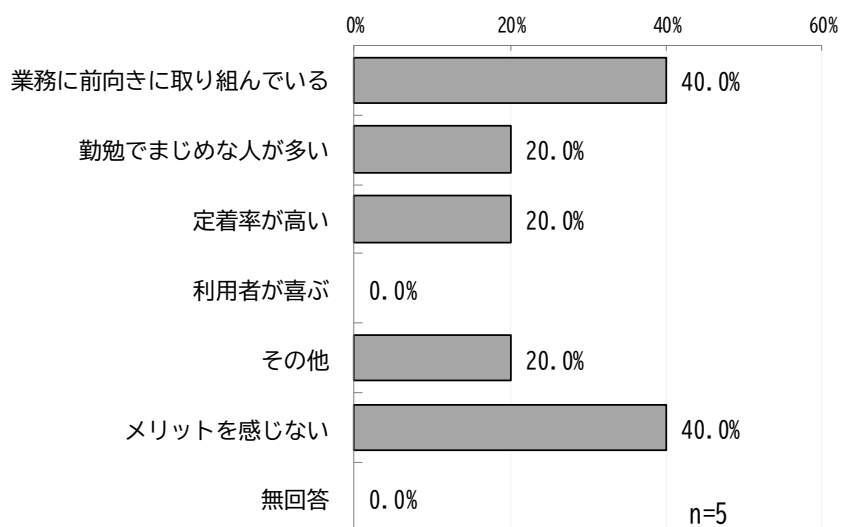
問8（5）④ 外国籍を有する方への教育はどのようにしていますか（いくつでも○）。

外国籍を有する方を「採用している」と回答した事業所の、必要な教育の実施状況について、「事業所で直接研修を行っている」が80.0%と最も高く、「法人（本社）で研修を行っている」が60.0%、「外部で行うセミナーに参加している」が0.0%、「特に行っていない」が20.0%となっている。



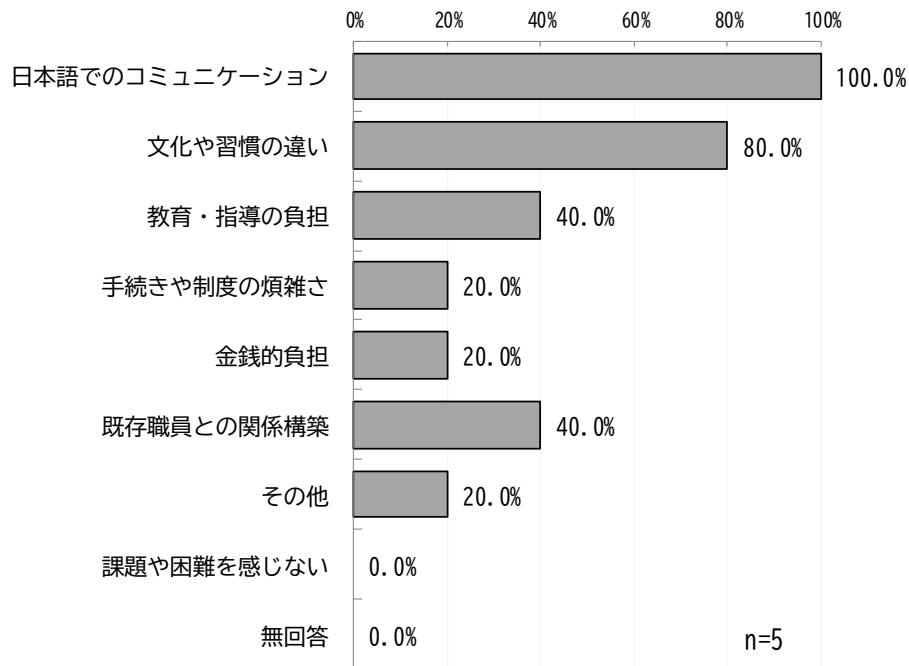
問8（5）⑤ 外国籍を有する方を採用して感じたメリットを教えてください（いくつでも○）。

外国籍を有する方を採用して感じたメリットについて、「業務に前向きに取り組んでいる」が40.0%と最も高く、「勤勉でまじめな人が多い」「定着率が高い」が20.0%、「利用者が喜ぶ」が0.0%、「メリットを感じない」が40.0%となっている。



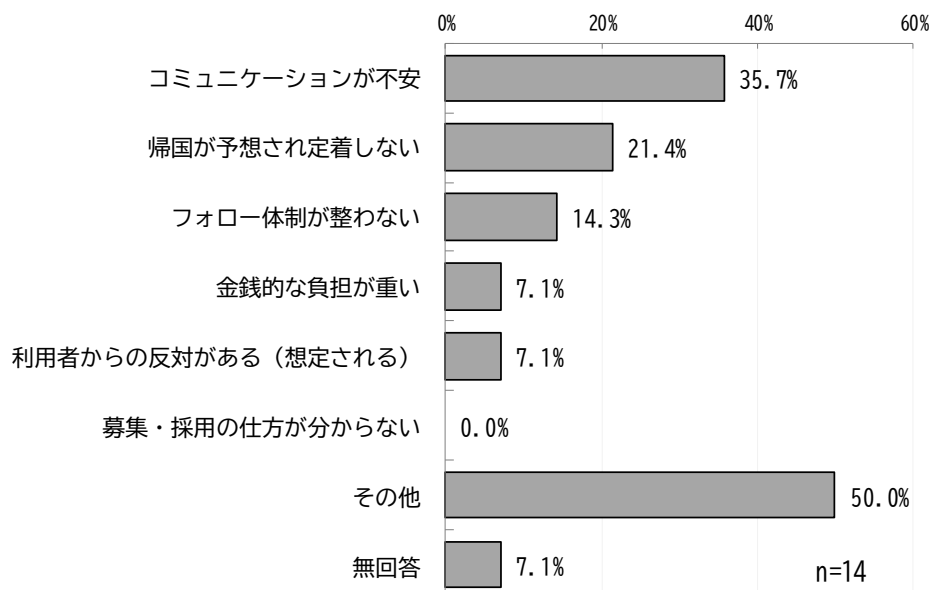
問8 (5) ⑥ 外国籍を有する方を採用して感じた課題や困難を感じたことを教えてください（いくつでも○）。

外国籍を有する方を採用して感じた課題や困難を感じたことについて、「日本語でのコミュニケーション」が100.0%と最も高く、「文化や習慣の違い」が80.0%、「教育・指導の負担」「既存職員との関係構築」が40.0%、「手続きや制度の煩雑さ」「金銭的負担」が20.0%、「課題や困難を感じない」が0.0%となっている。



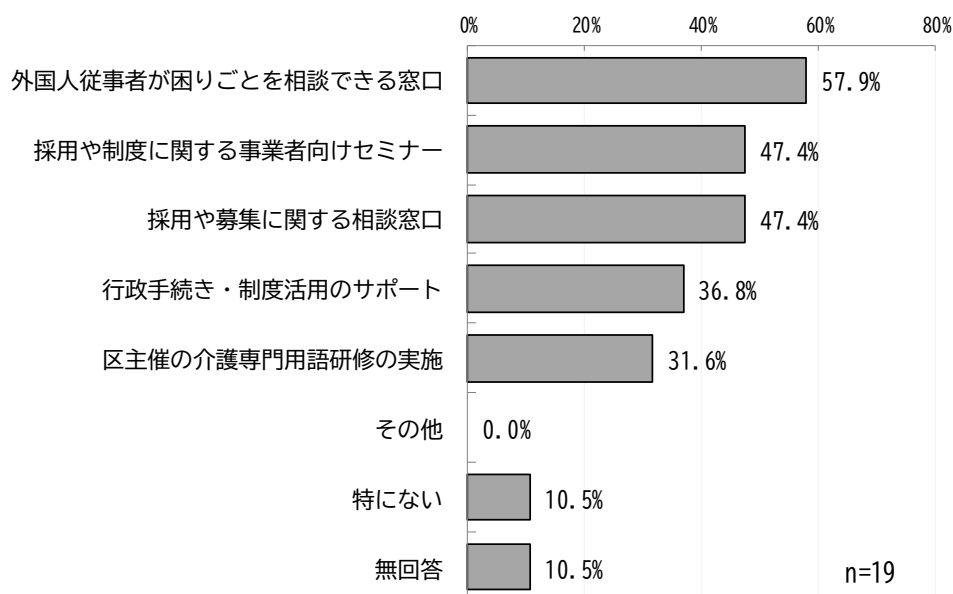
問8 (5) ⑦ 外国籍を有する方を採用していない理由は何ですか（いくつでも○）。

外国籍を有する方を採用していない理由は、「コミュニケーションが不安」が35.7%と最も高く、「帰国が予想され定着しない」が21.4%、「フォロー体制が整わない」が14.3%、「金銭的な負担が重い」「利用者からの反対がある（想定される）」が7.1%、「募集・採用の仕方が分からない」が0.0%となっている。



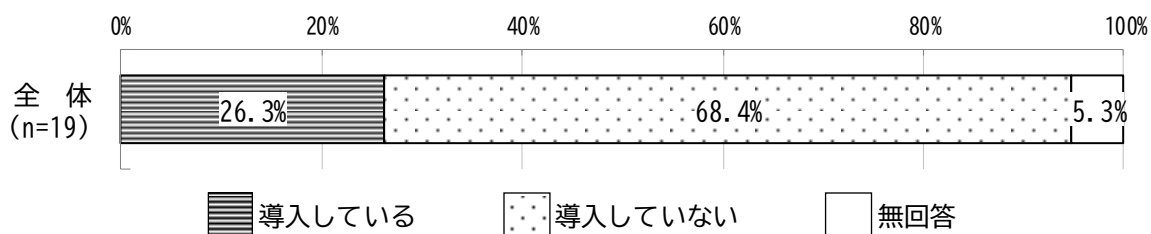
問8（6） 外国籍を有する方の採用・定着のために必要だと感じる支援を教えてください（いくつでも○）。

外国籍を有する方の採用・定着のために必要だと感じる支援は、「外国人従事者が困りごとを相談できる窓口」が57.9%と最も高く、「採用や制度に関する事業者向けセミナー」「採用や募集に関する相談窓口」が47.4%、「行政手続き・制度活用をサポート」が36.8%、「区主催の介護専門用語研修の実施」が31.6%、「特にない」が10.5%となっている。



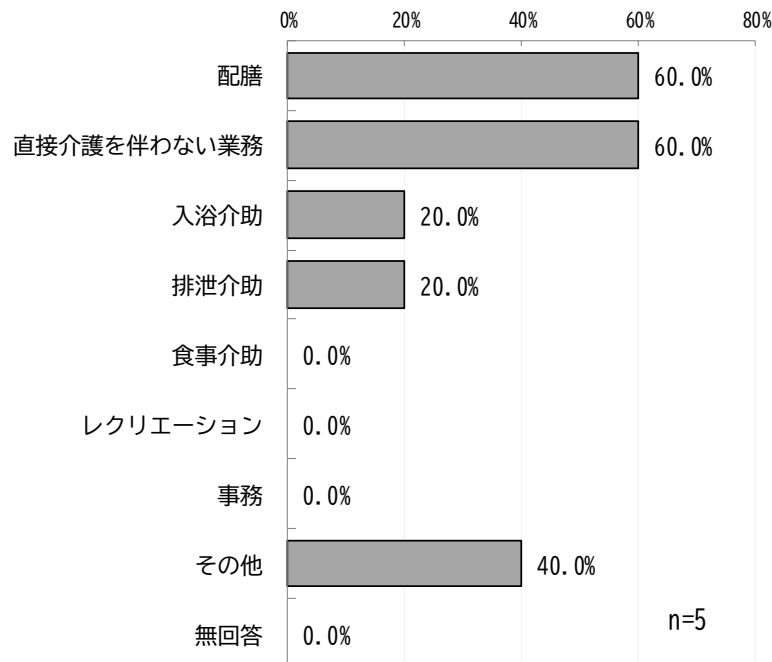
問8（7） スポットワーク（単発・短時間勤務の人材活用）を導入していますか（1つに○）。

スポットワーク（単発・短時間勤務の人材活用）導入状況について、「導入している」が26.3%、「導入していない」が68.4%となっている。



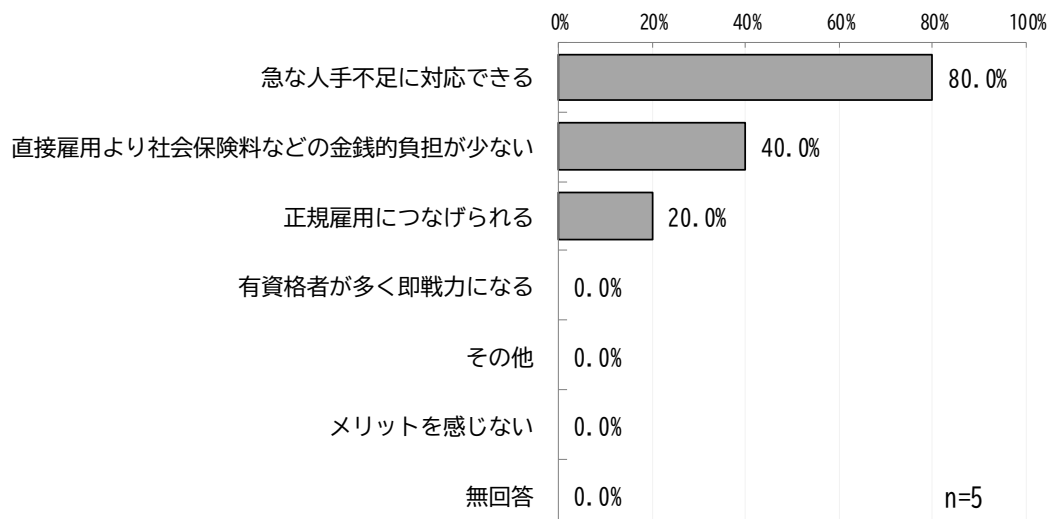
問8 (7) ① どの業務にスポットワークを導入しているか教えてください（いくつでも○）。

スポットワークを導入している業務について、「配膳」「直接介護を伴わない業務」が60.0%と最も高く、「入浴介助」「排泄介助」が20.0%、「食事介助」「レクリエーション」「事務」が0.0%となっている。



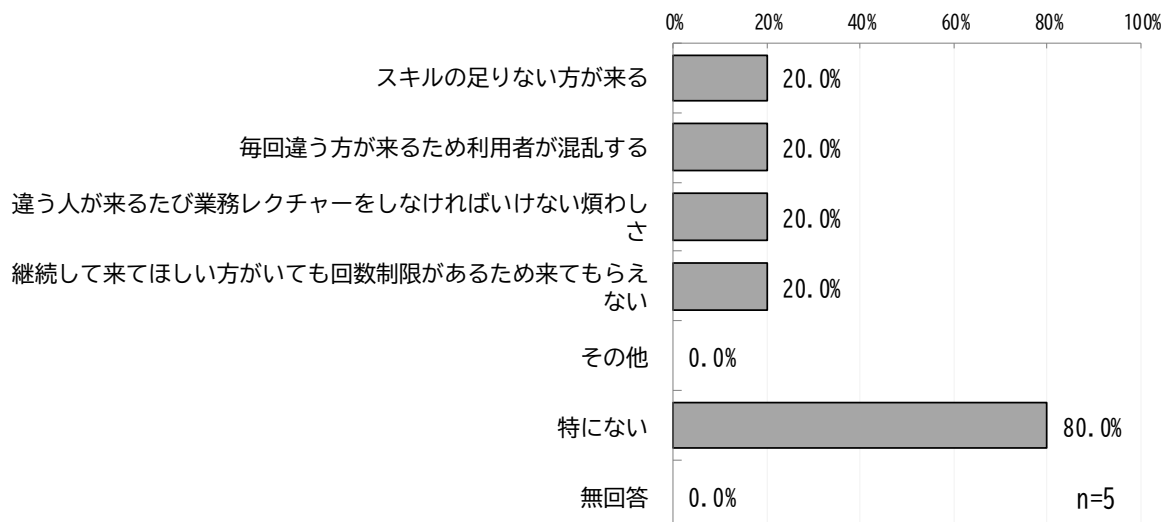
問8 (7) ② スポットワークを導入して感じたメリットを教えてください（いくつでも○）。

スポットワークを導入して感じたメリットについて、「急な人手不足に対応できる」が80.0%と最も高く、「直接雇用より社会保険料などの金銭的負担が少ない」が40.0%、「正規雇用につなげられる」が20.0%、「有資格者が多く即戦力になる」「メリットを感じない」が0.0%となっている。



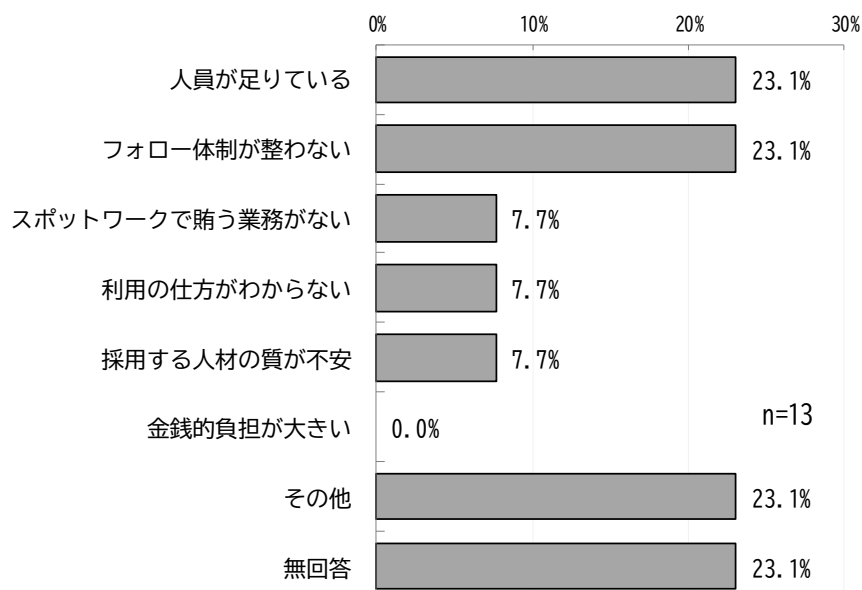
問8 (7) ③ スポットワークを導入して感じた課題を教えてください（いくつでも○）。

スポットワークを導入して感じた課題について、「スキルの足りない方が来る」「毎回違う方が来るため利用者が混乱する」「違う人が来るたび業務レクチャーをしなければいけない煩わしさ」「継続して来てほしい方がいても回数制限があるため来てもらえない」が20.0%、「特にない」が80.0%となっている。



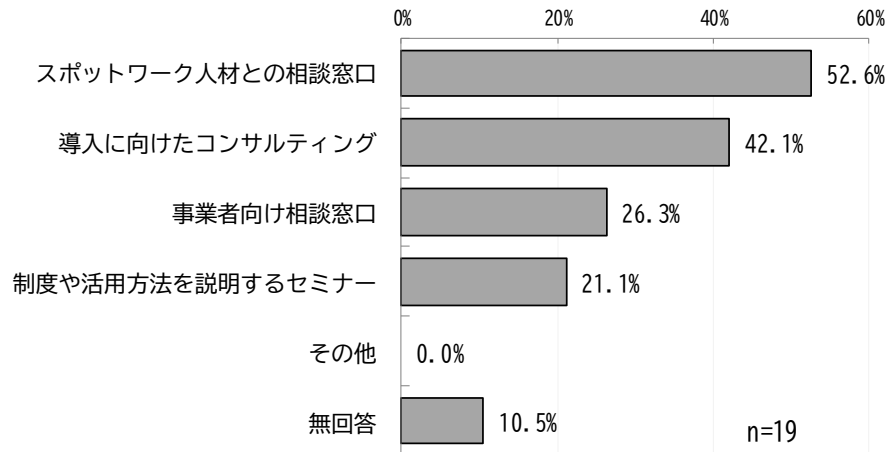
問8 (7) ④ スポットワークを導入していない理由を教えてください（いくつでも○）。

スポットワークを導入していない理由について、「人員が足りている」「フォロー体制が整わない」が23.1%と最も高く、「スポットワークで賄う業務がない」「利用の仕方がわからない」「採用する人材の質が不安」が7.7%、「金銭的負担が大きい」が0.0%となっている。



問8（8） スポットワークを利用するために必要だと感じる支援を教えてください（いくつでも○）。

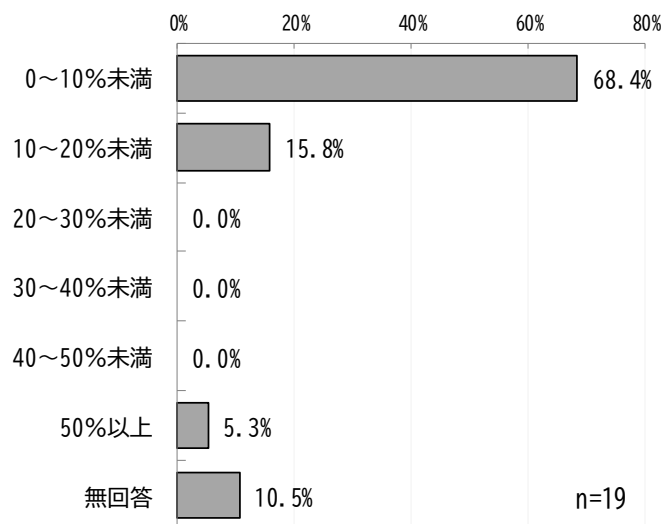
スポットワークを利用するために必要だと感じる支援について、「スポットワーク人材との相談窓口」が52.6%と最も高く、「導入に向けたコンサルティング」が42.1%、「事業者向け相談窓口」が26.3%、「制度や活用方法を説明するセミナー」が21.1%となっている。



問8（9） 令和6年（1月～12月）の入職率と離職率についてお答えください
（それぞれ1つに○）。

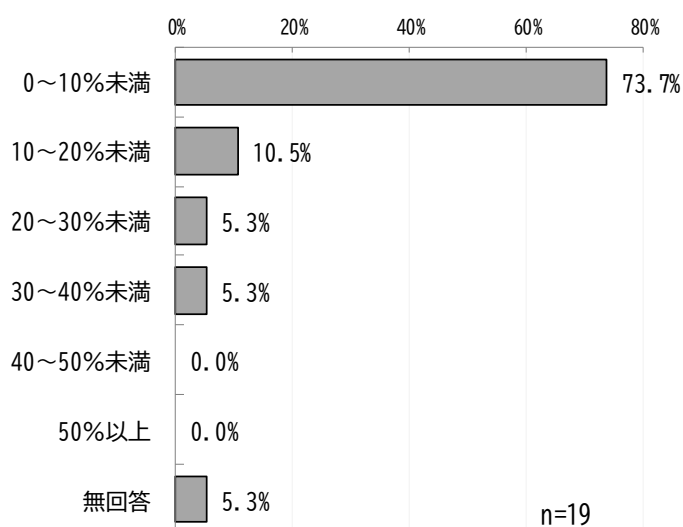
① 正規職員 入職率

令和6年（1月から12月）の正規職員の入職率について、「0～10%未満」が68.4%と最も高く、「10～20%未満」が15.8%、「50%以上」が5.3%、「20～30%未満」「30～40%未満」「40～50%未満」が0.0%となっている。



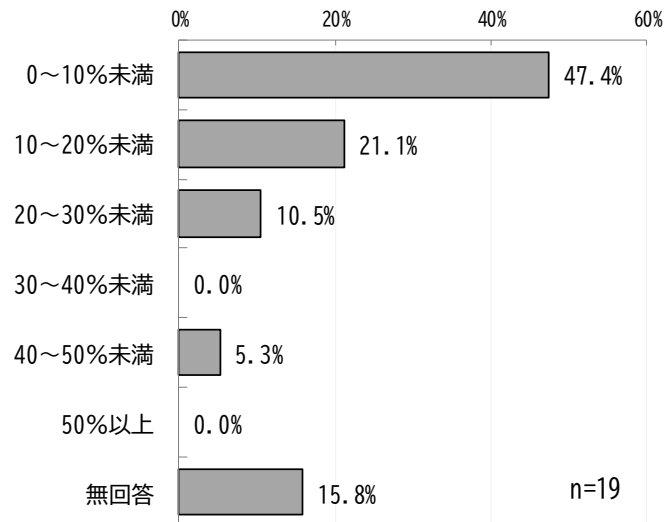
② 正規職員 離職率

令和6年（1月から12月）の正規職員の離職率について、「0～10%未満」が73.7%と最も高く、「10～20%未満」が10.5%、「20～30%未満」「30～40%未満」が5.3%、「40～50%未満」「50%以上」が0.0%となっている。



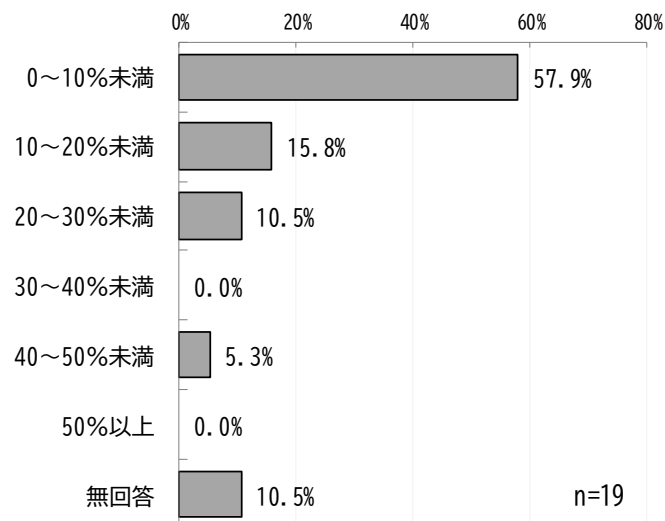
③ 非正規職員 入職率

令和6年（1月から12月）の非正規職員の入職率について、「0～10%未満」が47.4%と最も高く、「10～20%未満」が21.1%、「20～30%未満」が10.5%、「40～50%未満」が5.3%、「30～40%未満」「50%以上」が0.0%となっている。



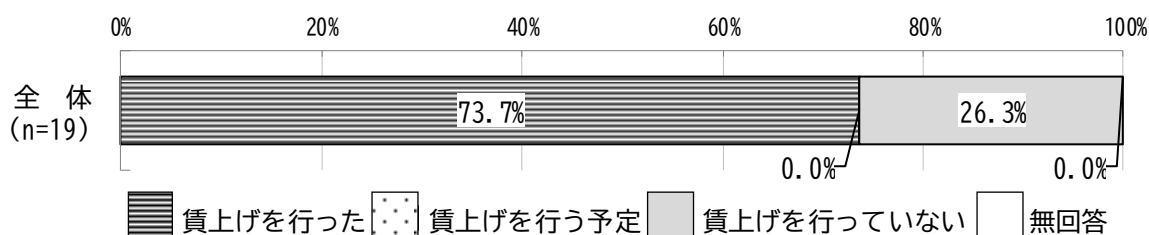
④ 非正規職員 離職率

令和6年（1月から12月）の非正規職員の離職率について、「0～10%未満」が57.9%と最も高く、「10～20%未満」が15.8%、「20～30%未満」が10.5%、「40～50%未満」が5.3%、「30～40%未満」「50%以上」が0.0%となっている。



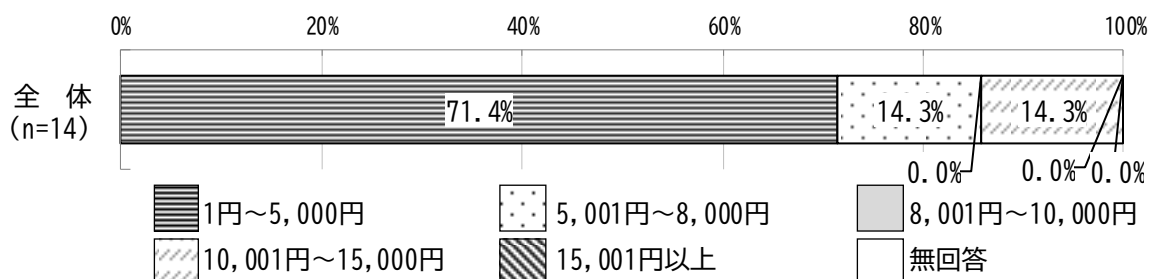
問8(10) 貴事業所は今年度に賃上げを行いましたか(1つに○)。

今年度の賃上げについて、「賃上げを行った」が73.7%と最も高く、「賃上げを行っていない」が26.3%、「賃上げを行う予定」が0.0%となっている。



問8(10)① 職員1人あたりの賃上げ平均額は月額(換算)でいくらですか(1つに○)。

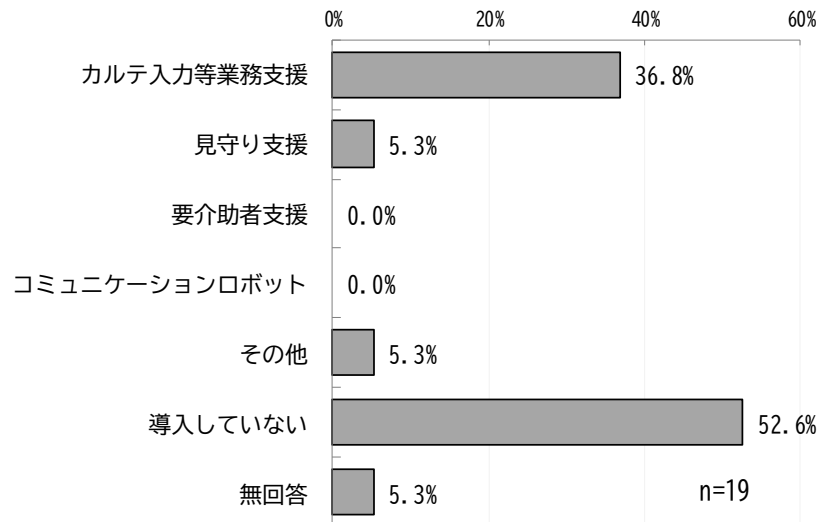
「賃上げを行った」または「賃上げを行う予定」と回答した事業所の、職員1人あたりの賃上げ平均額について、「1円～5,000円」が71.4%と最も高く、「5,001円～8,000円」「10,001円～15,000円」が14.3%、「8,001円～10,000円」「15,001円以上」が0.0%となっている。



(9) 業務効率化について

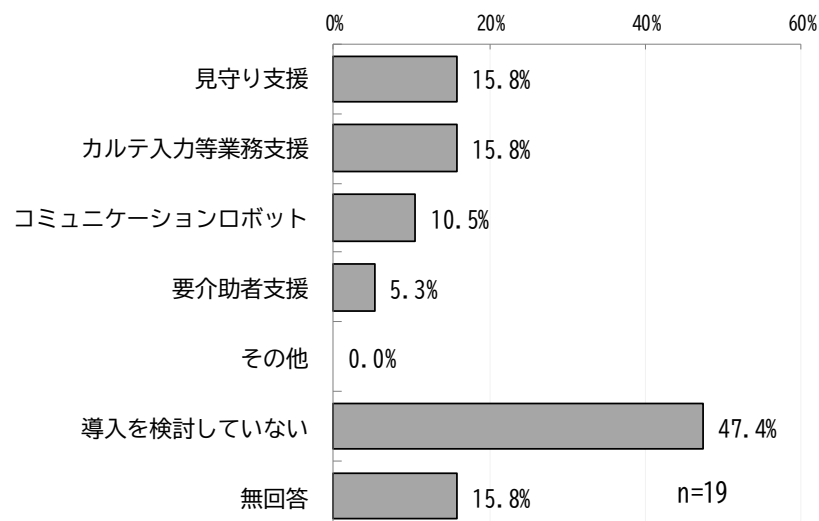
問9 (1) ロボットやIoTを導入している分野はありますか (いくつでも○)。

ロボット・IoTの導入状況について、「カルテ入力等業務支援」が36.8%と最も高く、「見守り支援」が5.3%、「要介助者支援」「コミュニケーションロボット」が0.0%、「導入していない」が52.6%となっている。



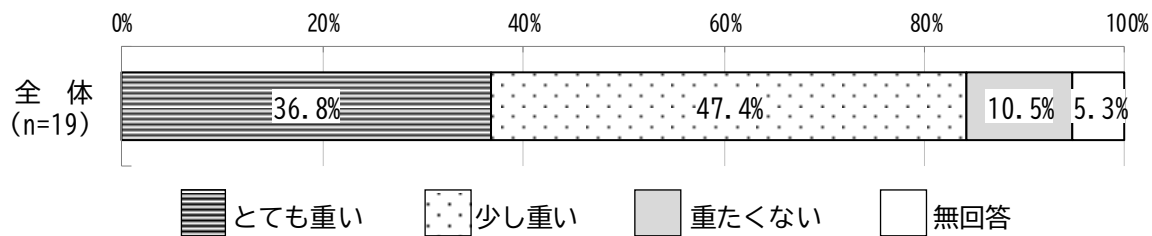
問9 (2) ロボットやIoTの導入を検討している分野はありますか (いくつでも○)。

ロボット・IoTの検討状況について、「見守り支援」「カルテ入力等業務支援」が15.8%と最も高く、「コミュニケーションロボット」が10.5%、「要介助者支援」が5.3%、「導入を検討していない」が47.4%となっている。



問9（3） 現在、事務負担はどの程度ですか（1つに○）。

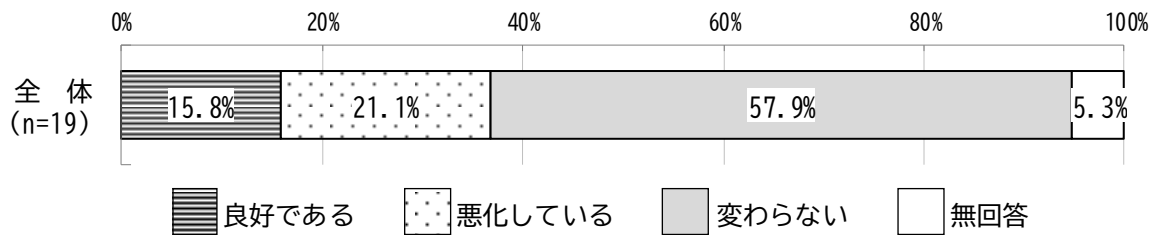
現在の事務負担について、「少し重い」が47.4%と最も高く、「とても重い」が36.8%、「重たくない」が10.5%となっている。



(10) その他(景況感、困難事例、要望など)

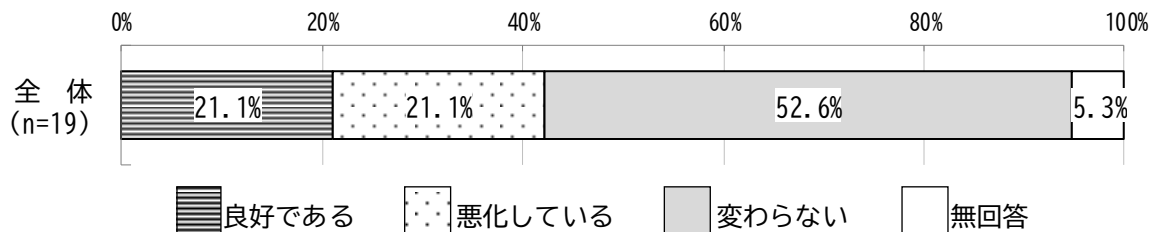
問10(1) 直近の介護報酬改定前と比較して、令和6年度の経営状況はいかがですか(1つに○)。

直近の介護報酬改定前と比較した、令和6年度の経営状況について、「変わらない」が57.9%と最も高く、「悪化している」が21.1%、「良好である」が15.8%となっている。



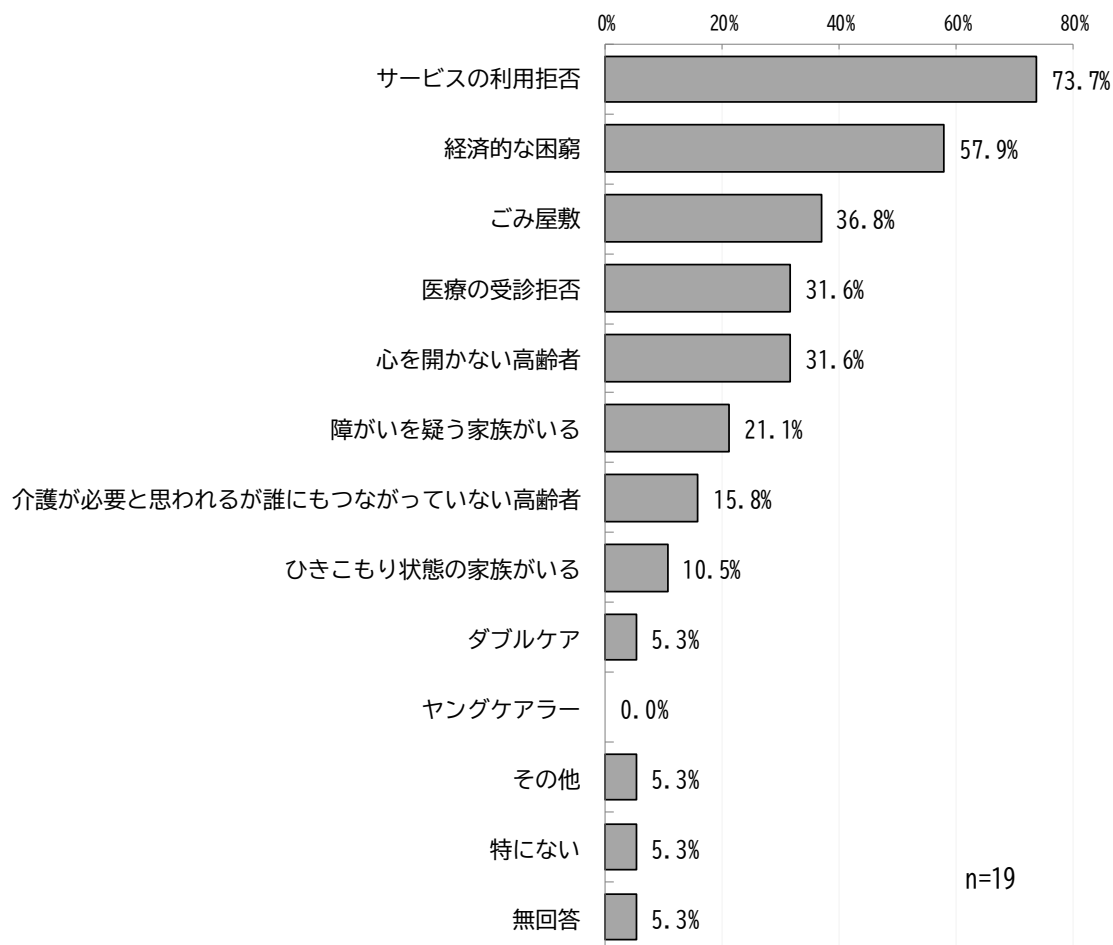
問10(2) 令和6年度の経営状況と比較して、令和7年度(見込み)の経営状況はいかがですか(1つに○)。

令和6年度の経営状況と比較した、令和7年度(見込み)の経営状況について、「変わらない」が52.6%と最も高く、「良好である」「悪化している」が21.1%となっている。



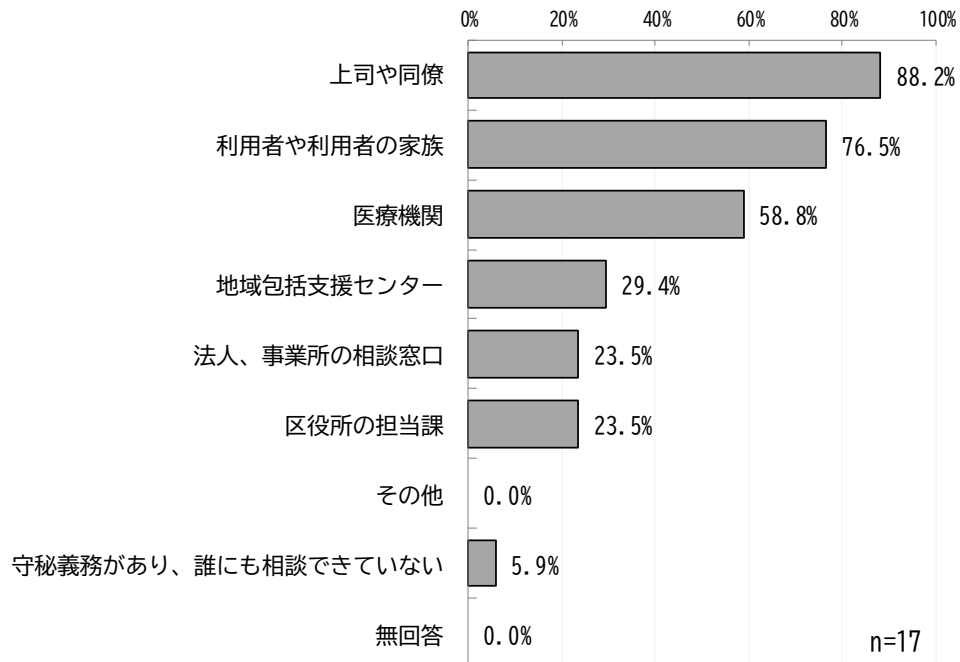
問10(3) 利用者へのサービス提供を行う中で、気になる相談を受けたり、対応困難な事例に遭遇したことがありますか（いくつでも○）。

利用者へのサービス提供を行う中で受けた気になる相談や遭遇した対応困難な事例について、「サービスの利用拒否」が73.7%と最も高く、「経済的な困窮」が57.9%、「ごみ屋敷」が36.8%、「医療の受診拒否」「心を開かない高齢者」が31.6%、「障がいを疑う家族がいる」が21.1%、「介護が必要と思われるが誰にもつながっていない高齢者」が15.8%、「ひきこもり状態の家族がいる」が10.5%、「ダブルケア」「特にない」が5.3%、「ヤングケアラー」が0.0%となっている。



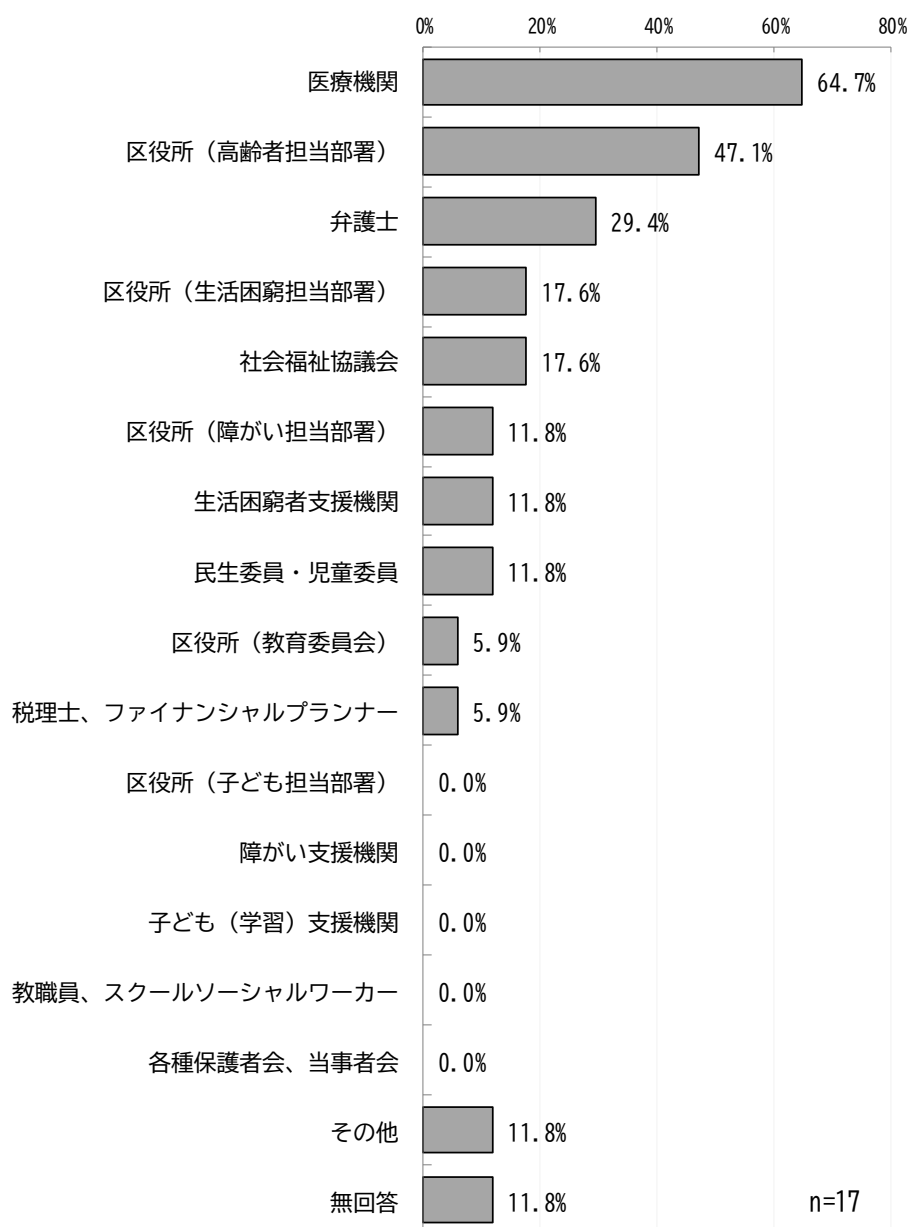
問10(3)① 気になった相談や困難事例を誰に相談していますか
(いくつでも○)。

気になった相談や困難事例の相談先について、「上司や同僚」が88.2%と最も高く、「利用者や利用者の家族」が76.5%、「医療機関」が58.8%、「地域包括支援センター」が29.4%、「法人、事業所の相談窓口」「区役所の担当課」が23.5%、「守秘義務があり、誰にも相談できていない」が5.9%となっている。



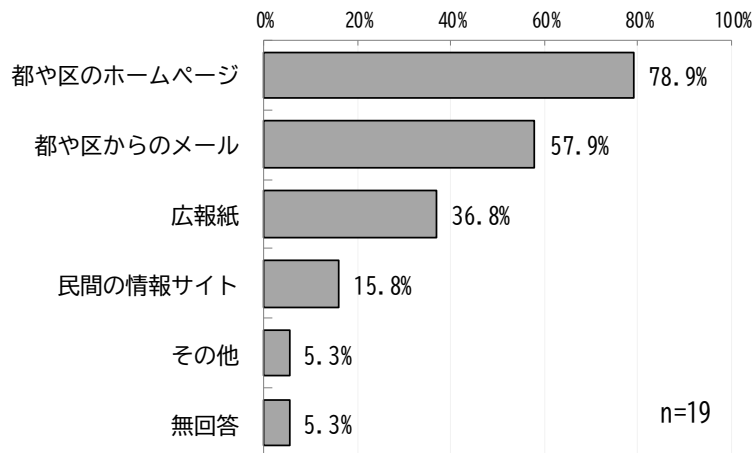
問10(3)② 気になった相談や困難事例の対応にあたり、誰と連携したいと思いますか（いくつでも○）。

気になった相談や困難事例の対応にあたり連携したいと思う先について、「医療機関」が64.7%と最も高く、「区役所（高齢者担当部署）」が47.1%、「弁護士」が29.4%、「区役所（生活困窮担当部署）」「社会福祉協議会」が17.6%、「区役所（障がい担当部署）」「生活困窮者支援機関」「民生委員・児童委員」が11.8%、「区役所（教育委員会）」「税理士、ファイナンシャルプランナー」が5.9%、「区役所（子ども担当部署）」「障がい支援機関」「子ども（学習）支援機関」「教職員、スクールソーシャルワーカー」「各種保護者会、当事者会」が0.0%となっている。



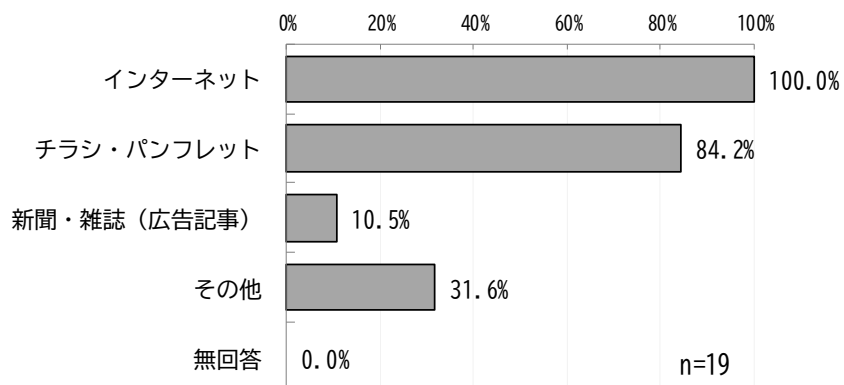
問10(4) 都や区の支援についてどのような手段で情報を得ているか教えてください（いくつでも○）。

都や区の支援に関する情報の入手手段について、「都や区のホームページ」が78.9%と最も高く、「都や区からのメール」が57.9%、「広報紙」が36.8%、「民間の情報サイト」が15.8%となっている。



問10(5) 貴事業所では、どのような方法で入居者の募集を行っていますか（いくつでも○）。

入居者の募集方法について、「インターネット」が100.0%と最も高く、「チラシ・パンフレット」が84.2%、「新聞・雑誌（広告記事）」が10.5%となっている。



資料

介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
また、日頃から足立区の高齢者施策にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
本区では、令和8年度に「足立区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の見直しを行います。
今回の調査は、計画の見直しにあたり、高齢者福祉に関する皆さまのお考えやご意見をお伺いするものです。いただいたお考えやご意見は、高齢者保健福祉計画策定にあたっての貴重な資料とさせていただきます。
ご多忙のところ、誠に恐縮ではございますが、何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年11月吉日

【ご記入にあたってのお願い】

- この調査の対象者は、令和7年10月1日現在、65歳以上の方です（要介護1～5の方を除く）。
- 回答は宛名ラベルのご本人についてご記入をお願いします。もし、ご本人がご記入などに不都合があるときは、ご家族の方等が代わりにご記入をお願いします。
- 回答にあたっては、質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲んでください。また、必要に応じて、数字やご意見のご記入をお願いします。
- ご記入いただいたアンケートは、12月1日（月）までに同封の返信用封筒にてご返送ください（切手は不要です）。
- この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

※ 今回の調査は、高齢者地域包括ケア推進課、医療介護連携課、介護保険課が共同で実施していますので、返信用封筒のあて名は「介護保険課」となっています。
※ この調査票は、無記名式となっています。お名前をご記入いただく必要はありません。返信用封筒にも、ご住所、お名前をご記入いただく必要はありません。
※ 本調査で得られた情報については、計画策定等の目的以外には利用いたしません。また、当該情報は足立区が適切に管理し、お答えいただいた個人のお考えが公表されることはありません。

【お問い合わせ先】

お問い合わせコール あだち
03-3880-0039（受付時間：午前8時～午後8時/1月1日から1月3日を除く毎日）
【調査主体】
足立区 福祉部 高齢者施策推進室 高齢者地域包括ケア推進課
足立区 福祉部 高齢者施策推進室 医療介護連携課

1 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

はじめに、調査の回答者についておたずねします

調査票を記入されたのはどなたですか（1つに○）。

- あて名のご本人が記入
- ご家族が記入（下記から1つに○）
a. 配偶者 b. 子 c. 子の配偶者 d. 孫 e. 兄弟姉妹 f. 親
- その他（友人・知人、介護支援専門員等）

※ 以下の設問について、「あなた」とは封筒の「あて名のご本人」のことを指します。

問1 あなたの基本情報について

(1) あなたの性別について、ご回答ください（1つに○）。

- 男性
- 女性
- 回答したくない

(2) あなたの年齢について、ご回答ください（数字を記入）。

() 歳 ※ 令和7年10月1日現在

(3) あなたのお住まい（住所）について、ご回答ください（数字を記入）。

住所番号 () ※ 「別紙：住所地一覧」から該当の番号を数字で記入

(4) あなたが最後に卒業（または中退）した学校について、ご回答ください（1つに○）。

- 小学校・中学校
- 高等学校
- 専門学校
- 高等専門学校・短期大学
- 大学・大学院
- その他 ()

(5) あなたは現在、要介護認定を受けていますか（1つに○）。

- 受けていない
- 受けている（要支援1）
- 受けている（要支援2）
- 受けている（要介護1）
- 受けている（要介護2）
- 受けている（要介護3）
- 受けている（要介護4）
- 受けている（要介護5）

※ 問1（5）で「4」～「8」と回答した方は、これでアンケートは終了です。
ご協力ありがとうございました。
なお、区へのご意見、ご要望がありましたら、問13（12）にご記入の上、ご返送ください。

問2 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えください（1つに○）。

- 1人暮らし
- 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）
- 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）
- 息子・娘との2世帯
- その他

1 介護予防・日常生活圏域二一ス調査

問2 (1) で「5」と回答した方にお伺いします。

① あなたと一緒に住まいのご家族はどなたですか (いくつでも○)。		
1. 配偶者	4. 孫	6. 親
2. 子	5. 兄弟・姉妹	7. その他 ()
3. 子の配偶者		

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (1つに○)。

1. 介護・介助は必要ない	問2 (3) へ
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	
3. 現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)	

問2 (2) で「2」「3」と回答した方にお伺いします。

① 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか (いくつでも○)。	
1. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	9. 腎疾患 (透析)
2. 心臓病	10. 視覚・聴覚障害
3. がん (悪性新生物)	11. 骨折・転倒
4. 呼吸器の病気 (肺炎腫・肺炎等)	12. 背椎損傷
5. 関節の病気 (リウマチ等)	13. 高齢による衰弱
6. 認知症 (アルツハイマー病等)	14. その他 ()
7. パーキンソン病	15. 不明
8. 糖尿病	

問2 (2) で「3」と回答した方にお伺いします。

② 主にどなたの介護・介助を受けていますか (いくつでも○)。		
1. 配偶者 (夫・妻)	4. 子の配偶者	7. 介護サービスのヘルパー
2. 息子	5. 孫	8. その他
3. 娘	6. 兄弟・姉妹	

(3) あなたの現在の年間収入はどのくらいですか (1つに○)。

1. 50 万円未満	4. 150～200 万円未満	7. 700～1,000 万円未満
2. 50～100 万円未満	5. 200～400 万円未満	8. 1,000 万円以上
3. 100～150 万円未満	6. 400～700 万円未満	

(4) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (1つに○)。

1. 大変苦しい	3. ふつう	5. 大変ゆとりがある
2. やや苦しい	4. ややゆとりがある	

(5) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか (1つに○)。

1. 持家 (一戸建て)	5. 民間賃貸住宅 (集合住宅)
2. 持家 (集合住宅)	6. 借家
3. 公営賃貸住宅	7. その他
4. 民間賃貸住宅 (一戸建て)	

(6) 3年前の2022年と比べて、あなたの生活状況におきた変化としてあてはまるものをお答えください (いくつでも○)。

1. 気分が落ち込むことが多くなった	5. 友人・知人が少なくなった
2. 体力や筋力が落ちた	6. 引越をした
3. 病院に入院した	7. あてはまるものはない
4. ケガや病気のために通院するようになった	

問3 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (1つに○)。		
1. できるし、している	2. できるだけしていない	3. できない

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (1つに○)。

1. できるし、している	2. できるだけしていない	3. できない

(3) 15分位続けて歩いていきますか (1つに○)。

1. できるし、している	2. できるだけしていない	3. できない

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (1つに○)。

1. 何度もある	2. 1度ある	3. ない

(5) 転倒に対する不安は大きいですか (1つに○)。

1. とても不安である	3. あまり不安でない
2. やや不安である	4. 不安でない

(6) 週に1回以上は外出していますか (1つに○)。

1. ほとんど外出しない	3. 週2～4回
2. 週1回	4. 週5回以上

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (1つに○)。

1. とても減っている	3. あまり減っていない
2. 減っている	4. 減っていない

(8) 外出を控えていますか (1つに○)。

1. はい	2. いいえ	問3 (9) へ

問3 (8) で「1」と回答した方にお伺いします。

① 外出を控えている理由は、次のどれですか (いくつでも○)。

1. 病気	6. 目の障害
2. 障害 (脳卒中の後遺症など)	7. 外での楽しみがない
3. 足腰などの痛み	8. 経済的に出られない
4. トイレの心配 (失禁など)	9. 交通手段がない
5. 耳の障害 (聞こえの問題など)	10. その他 ()

(7) あなたは1年前から今日の間で歯科医師による歯科健診（検診）や治療を受けましたか（1つに○）。

1. 受診し現在も治療中	4. 受診していない
2. 受診し治療は終了	5. わからない
3. 受診し問題はなかった	

(8) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか（1つに○）。

1. はい	2. いいえ

(9) どなたかと食事をともにする機会がありますか（1つに○）。

1. 毎日ある	3. 月に何度かある	5. ほとんどない
2. 週に何度かある	4. 年に何度かある	

問4 (9) で「5」と回答した方にお伺いします。

① どなたかと食事をともにする機会があれば参加したいですか（1つに○）。

1. はい	2. いいえ	3. どちらでもない

(10) 食事は1日何回食べますか（1つに○）。

1. 1回	2. 2回	3. 3回	4. 4回以上

問4 (10) で「1」「2」と回答した方にお伺いします。

① 食事を1日3回食べない理由は何か（いくつでも○）。

1. 空腹にならない	5. ダイエットをしている
2. 経済的に苦しい	6. 食べる必要性を感じない
3. 食事の準備ができない	7. その他（ ）
4. 食べる時間がない	8. 特に理由はない

(11) たんぱく質を多く含む食品（肉・魚・卵・大豆製品の1種類以上）をどのくらいの頻度で食べていますか（1つに○）。

1. 1日3回以上	4. 週に数回
2. 1日2回	5. ほとんど食べていない
3. 1日1回	6. 意識していないのでわからない

※ 筋力や認知機能などを含む生活機能が低下し、将来、要介護状態となる危険性が高い状態（フレイル）になる要因の一つにたんぱく質不足があげられます。

問5 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか（1つに○）。

1. はい	2. いいえ

(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか（1つに○）。

1. はい	2. いいえ

(9) 外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも○）。

1. 徒歩	8. 病院や施設のバス
2. 自転車	9. 車いす
3. バイク	10. 電動車いす（カート）
4. 自動車（自分で運転）	11. 歩行器・シルバーカー
5. 自動車（人に乗せてもらう）	12. タクシー
6. 電車	13. はるかぜ（コミュニティバス）
7. 路線バス（はるかぜは除く）	14. その他（ ）

問4 食べることにについて

(1) 身長・体重を教えてください（数字を記入）。

身長	cm	体重	kg

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか（1つに○）。

1. はい	2. いいえ

(3) お茶や汁物等でもせることがありますか（1つに○）。

1. はい	2. いいえ

(4) 口の渇きが気になりますか（1つに○）。

1. はい	2. いいえ

(5) 歯磨き（人にやってもらってもう場合も含む）を毎日していますか（1つに○）。

1. はい	2. いいえ

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください（1つに○）。

（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。）

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

① 噛み合わせは良いですか（1つに○）。

1. はい	2. いいえ

問4 (6) で「1」「3」と回答した方にお伺いします。

② 毎日入れ歯の手入れをしていますか（1つに○）。

1. はい	2. いいえ

(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか (1つに○)。

1. はい

2. いいえ

(4) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可) (1つに○)。

1. できるし、している

2. できるだけしていない

3. できない

(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか (1つに○)。

1. できるし、している

2. できるだけしていない

3. できない

問5 (5) で「1」と回答した方にお伺いします。

① どのようなお店で食品・日用品の買物をしていますか (いくつでも○)。

1. 大型商業施設

4. 商店街のお店

7. インターネットショッピング

2. 近隣のスーパーマーケット

5. コンビニエンスストア

8. 宅配サービス

3. ドラッグストア

6. 移動販売車

9. その他 ()

② 食品・日用品の買物をするお店まで自宅からどれくらいかかりますか (1つに○)。

1. 自宅から歩いて 10 分以内

4. 自宅から歩いて 30 分超

2. 自宅から歩いて 20 分以内

5. 自宅に配達される

3. 自宅から歩いて 30 分以内

6. わからない

③ 食品・日用品の買物について、不便を感じていますか (1つに○)。

1. 感じる

2. 感じない

問5 (6) へ

問5 (5) ③で「1」と回答した方にお伺いします。

④ 特に、どのようなことに不便を感じていますか (1つに○)。

1. 歩いて行ける距離にお店がない

2. バス等の交通手段がない

3. 配達してくれるお店がない

4. 重い物が持てない

5. 誰かの協力がないと行きたいときに買物できない

6. 一緒に買物に行ってくれる人がいない

7. その他 ()

(6) 自分で食事の用意をしていますか (1つに○)。

1. できるし、している

2. できるだけしていない

3. できない

(7) 自分で請求書の支払いをしていますか (1つに○)。

1. できるし、している

2. できるだけしていない

3. できない

(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (1つに○)。

1. できるし、している

2. できるだけしていない

3. できない

(9) 年金などの書類 (役所や病院などに出す書類) が書けますか (1つに○)。

1. はい

2. いいえ

(10) 新聞を読んでいますか (1つに○)。

1. はい

2. いいえ

(11) 本や雑誌を読んでいますか (1つに○)。

1. はい

2. いいえ

(12) 健康についての記事や番組に番組に関心がありますか (1つに○)。

1. はい

2. いいえ

(13) 友人の家を訪ねていますか (1つに○)。

1. はい

2. いいえ

(14) 家族や友人の相談にのっていますか (1つに○)。

1. はい

2. いいえ

(15) 病人を見舞うことができますか (1つに○)。

1. はい

2. いいえ

(16) 若い人に自分から話しかけることができますか (1つに○)。

1. はい

2. いいえ

(17) 趣味はありますか (1つに○)。

1. 趣味あり

2. 思いつかない

問5 (18) へ

問5 (17) で「1」と回答した方にお伺いします。

① どのようなことを趣味にしていますか (いくつでも○)。

1. テレビ・ラジオの視聴

7. スポーツ観戦

13. 手芸等文化的な取組

2. 読書

8. ウォーキング (山登り等)

14. 園芸

3. 映画鑑賞

9. 体力づくり

15. カメラ

4. 美術鑑賞

10. スポーツ

16. 旅行

5. 音楽鑑賞

11. カラオケ

17. その他 ()

6. 演劇鑑賞

12. ゲーム (将棋、麻雀等)

540

6

7

(18) 生きがいがありますか (1つに○)。

1. 生きがいあり → 2. 思いつかない → 問5 (19)へ

問5 (18) で「1」と回答した方にお伺いします。

① どのようなことに生きがいを感じますか (いくつでも○)。

1. 家族との日常生活 8. 学び・勉強
2. 友人・知人との交流 9. 飲食
3. 外出 10. テレビを見ているとき
4. 就労 11. インターネットを行っているとき
5. 地域貢献活動 12. ゲームを行っているとき
6. NPO法人等の団体活動 13. その他 ()
7. 趣味やスポーツ活動

(19) あなたは、詐欺にあわないための対策をしていますか (1つに○)。

1. はい → 2. いいえ → 問5 (20)へ

問5 (19) で「1」と回答した方にお伺いします。

① どのような対策をしていますか (いくつでも○)。

1. 自動通話録音機の設定 3. 家族で合言葉を決める
2. 留守番電話の設定 4. その他 ()

(20) 消費者被害にあったときの相談先として「足立区消費者センター」がありますが、ご存知ですか (1つに○)。

1. 知っている 2. 知らない

(21) スマートフォンの利用状況について、教えてください (1つに○)。

1. 電話やメールなど毎日使用している 3. 使い方が難しそうだから、持っていない
2. 持っはいるが、ほとんど使わない 4. 費用が高そうだから、持っていない
5. 必要性を感じないから、持っていない

問6へ

問5 (21) で「1」「2」と回答した方にお伺いします。

① 「あだち脳活ラボ (※)」をご存じですか (1つに○)。

1. 知っている (既に利用している)
2. 知っていたが、まだ利用していない (機会があれば利用してみたい)
3. 知らなかった (機会があれば利用してみたい)
4. 知らなかった (今後利用する予定はない)

※ 豊富な脳トレ問題や運動・美術・音楽など感性を刺激する映像プログラムなど、スマートフォンを使って、楽しみながら介護予防・認知症予防に取り組める足立区の公式LINE

問6 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか (それぞれ1つに○)。

会・グループ等	週4回以上	週2回～3回	週1回	月1回～3回	年に数回	年に1回	参加していない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6	
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6	
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6	
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6	
⑤ 介護予防のための通いの場 (ふれあいサロン等)	1	2	3	4	5	6	
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6	
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6	
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6	

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたははその活動に参加者として参加してみたいと思いますか (1つに○)。

1. 是非参加したい 3. 参加したくない
2. 参加してもよい 4. 既に参加している

問6 (3)へ

問6 (2) で「3」と回答した方にお伺いします。

- ① 参加したくない理由を教えてください (いくつでも○)。
1. どんな活動をしているかわからない 5. 健康に不安がある
2. 興味が合う活動がない 6. 続ける自信がない
3. 他の住民との交流が苦手 7. その他 ()
4. 多忙で時間がない

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたははその活動に参加者として参加してみたいと思いますか (1つに○)。

1. 是非参加したい 3. 参加したくない
2. 参加してもよい 4. 既に参加している

1 介護予防・日常生活圏域二一ス調査

問7 就労について

(1) 現在のあなたの就労状態はどれですか（いくつでも○）。

1. 職に就いたことがない	5. 自営業
2. 引退した	6. 求職中
3. 常勤（フルタイム）	7. その他（ ）
4. 非常勤（パート・アルバイト等）	

「2」以外は問8へ

問7（1）で「2」と回答した方にお伺いします。

① あなたはいつ引退しましたか（数字を記入）。

1. 昭和（ ）年	2. 平成（ ）年	3. 令和（ ）年

問8 たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお伺いします。

(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいますか（いくつでも○）。

1. 配偶者	3. 別居の子ども	5. 近隣	7. その他（ ）
2. 同居の子ども	4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	6. 友人	8. そのような人はいない

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はいますか（いくつでも○）。

1. 配偶者	3. 別居の子ども	5. 近隣	7. その他（ ）
2. 同居の子ども	4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	6. 友人	8. そのような人はいない

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか（いくつでも○）。

1. 配偶者	3. 別居の子ども	5. 近隣	7. その他（ ）
2. 同居の子ども	4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	6. 友人	8. そのような人はいない

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人はいますか（いくつでも○）。

1. 配偶者	3. 別居の子ども	5. 近隣	7. その他（ ）
2. 同居の子ども	4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	6. 友人	8. そのような人はいない

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも○）。

1. 自治会・町内会・老人クラブ	5. 地域包括支援センター・役所
2. 社会福祉協議会・民生委員	6. その他（ ）
3. ケアマネジャー	7. そのような人はいない
4. 医師・歯科医師・看護師	

(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか（1つに○）。

1. 毎日ある	3. 月に何度かある	5. ほとんどない
2. 週に何度かある	4. 年に何度かある	

(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか（1つに○）。（同じ人には何度会っても1人と数えることとします。）

1. 0人（いない）	3. 3～5人	5. 10人以上
2. 1～2人	4. 6～9人	

(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（いくつでも○）。

1. 近所・同じ地域の人	5. 趣味や関心が同じ友人
2. 幼なじみ	6. ボランティア等の活動での友人
3. 学生時代の友人	7. その他（ ）
4. 仕事での同僚・元同僚	8. いない

問9 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか（1つに○）。

1. とてもよい	3. あまりよくない
2. まあよい	4. よくない

(2) あなたは、現在のどの程度幸せですか（当てはまる点数1つに○）。

（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）。

とても不幸	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	とても幸せ

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか（1つに○）。

1. はい	2. いいえ

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか（1つに○）。

1. はい	2. いいえ

(5) お酒は飲みますか（1つに○）。

1. ほぼ毎日飲む	3. ほとんど飲まない
2. 時々飲む	4. もともと飲まない

問9（5）で「1」「2」と回答した方にお伺いします。

① お酒を飲む日は、1日にどのくらい量を飲みますか（1つに○）。

1. 1合未満	3. 2～3合未満
2. 1～2合未満	4. 3合以上

【清酒1合（180ml）の目安】
ビール中瓶1本（約500ml）、焼酎35度（80ml）、
ウイスキーダブル一杯（60ml）、ワイン2杯（240ml）

(10) 日頃、スポーツクラブやジム、プール等の運動施設を利用していますか（1つに○）。

1. よく利用している（週に1回以上）	↑ 問9 (11)へ
2. たまに利用している（月に2回以上）	
3. あまり利用していない（半年に1回以上）	
4. 利用していない（1年以上利用していない）	

問9 (10) で「3」「4」と回答した方にお伺いします。

① 日頃から民間のスポーツクラブやジム、運動施設等を利用していない理由を教えてください（いくつでも○）。

1. 自宅や公園での体操やウォーキングなど、施設を利用しないで運動をしている	3. 忙しくて運動をする時間がない
2. 運動をする設備が整った施設の場所をよく知らない	4. 運動をするきっかけがない
	5. 上記に当てはまらない

(11) あなたは、老いへの備えを考えていますか（1つに○）。

1. 考えている	↑ 問9 (12)へ
2. 考えているが具体的な行動はしていない	
3. 考えていない	

問9 (11) で「1」と回答した方にお伺いします。

① 老いへの備えについて、どのようなことを考えていますか（いくつでも○）。

1. 経済的なこと	4. 介護のこと
2. 住まいのこと	5. その他（ ）
3. 家族のこと	

(12) あなたは、日常の健康について相談するかかりつけの医師、歯科医師、薬局のいずれかはいますか（1つに○）。

1. 近くにいる	3. 今はいないが、必要と思っている
2. 近くではないがいる	4. 必要と思わない

(13) あなたは、医療機関（病院・医院・診療所）に、どのくらいの頻度で通院や訪問診療（往診含む）を受けていますか（1つに○）。

1. 週2回以上	3. 月2回程度	5. 数か月に1回程度
2. 週1回程度	4. 月1回程度	6. 定期的ではない

(14) 「在宅療養」とは、通院が困難な場合などでも、訪問型の医療や介護サービスを利用しながら、住み慣れたご自宅や地域（在宅施設）で暮らし続けることです。あなたは、「在宅療養」について元々ご存知でしたか（1つに○）。

1. 知っており、内容も理解している	3. 聞いたことがなく、内容も知らない
2. 聞いたことはあるが、内容は知らない	

(6) タバコは吸っていますか（1つに○）。

1. ほぼ毎日吸っている	↑ 問9 (7)へ
2. 時々吸っている	
3. 吸っていたがやめた	
4. もともと吸っていない	

問9 (6) で「1」「2」と回答した方にお伺いします。

① タバコは1日にどのくらい吸いますか（1つに○）。

1. 15本未満	3. 20～35本未満
2. 15～20本未満	4. 35本以上

(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（いくつでも○）。

1. ない	11. 外傷（転倒・骨折等）
2. 高血圧	12. がん（悪性新生物）
3. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	13. 血液・免疫の病気
4. 心臓病	14. うつ病
5. 糖尿病	15. 認知症（アルツハイマー病等）
6. 高脂血症（脂質異常）	16. パーキンソン病
7. 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	17. 目の病気
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	18. 耳の病気
9. 腎臓・前立腺の病気	19. その他（ ）
10. 筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）	

(8) あなたは、いくつまで健康（介護を受けない状態）に過ごしたいですか（1つに○）。

1. 65～69歳	4. 80～84歳
2. 70～74歳	5. 85～90歳
3. 75～79歳	6. 90歳以上

(9) 高齢期におこりやすい「フレイル」（筋力や心身の機能などが低下し、衰弱した状態）にならないために、「運動」「口の健康・栄養」「社会参加」のそれぞれが大切なことを知っていますか（1つに○）。

1. 知っていて、活動を実践している	2. 知っているが特に何もしていない
3. 知らない（はじめて聞いた）	

（下記から実践している活動すべてに○）

a. 運動	b. 口の健康	c. 栄養
d. 社会参加		

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(15) あなたが在宅療養を利用する場合に、不安に思うことは何ですか（いくつでも○）。

1. 訪問診療の体制	4. 急変時（看取り）の対応
2. 療養にかかる費用	5. 不安はない
3. 家族の負担	6. その他（ ）

問10 将来の生活について

(1) あなたは、将来の生活についてどのように感じていますか（1つに○）。

1. とても不安を感じる	3. どちらとも言えない
2. 少し不安を感じる	4. あまり不安は感じない
	5. 不安は感じない

問10
(2)へ

問10 (1)で「1」「2」と回答した方にお伺いします。

① どのようなことに不安を感じていますか（いくつでも○）。
また、どのようなことに最も不安を感じていますか（1つに○）。

	不安を 感じる こと (いくつでも○)	最も不安を 感じる こと (1つに○)
① 自分や配偶者の健康のこと	1	1
② 自分や配偶者が、介護が必要な状態（寝たきりなど）になること	2	2
③ 頼れる人や面倒をみてくれる人がいないこと	3	3
④ 相談相手や話し相手がないこと	4	4
⑤ 生活費など収入のこと	5	5
⑥ 住まいのこと	6	6
⑦ 金銭管理や財産保全に関すること	7	7
⑧ ペットの継続飼育が難しく、引き取り先がないこと	8	8
⑨ その他（ ）	9	9

(2) あなたは、現在の住まいに引き続きたいとお考えですか（1つに○）。

1. 現在の住まいに引き続きたい
2. 他の賃貸等に住み替えたい
3. サービス付き高齢者住宅や有料老人ホームに住み替えたい
4. その他（ ）

問10
(3)へ

問10 (2)で「2」「3」と回答した方にお伺いします。

① 住み替えたいと思う理由は何か（いくつでも○）。

1. 家賃が高いのでもう少し安くしたい
2. 段差等があり住みにくい
3. 狭いためもう少し広いところに住み替えたい
4. 耐震等が心配なため住み替えたい
5. 家族、親戚等の近くに住み替えたい
6. 交通の便や商業施設の近くなど便利な所に住み替えたい
7. その他（ ）

問10 (2)で「2」「3」と回答した方にお伺いします。

② 住み替えを検討される場合、選ぶ基準として最も優先していることは何ですか（1つに○）。

1. 住居の広さ	4. 交通の便	7. 保証人が不要
2. 築年数	5. 周辺環境	8. その他（ ）
3. 賃料等の安さ	6. 介護等のサービス	9. わからない

(3) あなたは人生の最期をどこで迎えたいですか（1つに○）。

1. 自宅で迎えたい	4. その他（ ）
2. 介護施設で迎えたい	5. どこでも良い
3. 医療機関で迎えたい	6. 考えていない

(4) あなたは人生の最期について、どなたかに相談したことはありますか（いくつでも○）。

1. 家族	6. その他医療関係者
2. ケアマネジャー	7. 地域包括支援センター等の相談員
3. 介護職員	8. 相談したことはない
4. 主治医	9. 相談相手がない
5. 看護師	10. その他（ ）

問11 介護について

(1) あなたは、介護が必要になったとき、どのような介護を希望しますか（1つに○）。

1. 介護サービスを利用しないで、自宅で家族に介護してもらいたい
2. 介護サービスを利用しながら、自宅で生活したい
3. 特別養護老人ホームなど介護保険施設等に入りたい
4. サービス付き高齢者向け住宅で生活したい
5. その他（ ）

問11 (2)へ

問11 (1)②へ

問11 (1)で「1」「2」と回答した方にお伺いします。

① あなたは、どなたに介護してもらいたいですか（いくつでも○）。

1. 妻または夫	4. ホームヘルパー等
2. 子どもやその家族	5. 近所の人やボランティア
3. 兄弟などの親族	6. その他（ ）

問11 (1)で「3」と回答した方にお伺いします。

② 介護を受けられる施設には、次のような施設がありますが、あなたはどのような施設等を望んでいますか (1つに○)。

施設の種類	サービスの内容	利用したい番号に○
① 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム) 月額費用 個室: 約10.5万円~13.7万円 多居室: 約9.5万円~10.0万円	常に介護が必要で自宅では介護が困難な人のための施設です。 (要介護3~5が対象)	個室 1
		多居室 2
② 介護老人保健施設 (老人保健施設) 月額費用: 約8.3万円~13.9万円	病状が安定し、治療よりは看護や介護に重点を置いたケアが必要な人のための施設です。 (要介護1~5が対象)	3
③ 介護医療院 月額費用: 約8.4万円~15.1万円	長期療養を必要とする人のための施設です。 医療や看護、介護等が受けられます。 (要介護1~5が対象)	4
④ 認知症対応型共同生活介護 (グループホーム) 月額費用: 約11.3万円~21.6万円	認知症の方が共同で生活しながら、食事・入浴などの介護や支援、機能訓練が受けられます。 (要支援2、要介護1~5が対象)	5
⑤ 特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム等) 月額費用: 約12.0万円~45.6万円	入浴や食事、介護など日常生活に必要なサービスが受けられます。	6
⑥ 軽費老人ホーム (ケアハウス) 月額費用: 約2.9万円~24.7万円	自立した生活が継続できるように、食事や必要最低限の介助を提供する住まいです。	7

※ 費用は、自己負担1割の場合の目安です。日常生活費(理美容など)は含みません。
※ ⑤⑥の月額費用は、施設ごとに異なります。また、入居時に一時金が必要な場合があります。

(2) あなたの家族等に介護が必要となった場合、どのようにしたいと思いますか (1つに○)。

1. 介護サービスを利用しないで、自宅で介護したい
2. 介護サービスを利用しながら、自宅で介護したい
3. 特別養護老人ホームなどの介護保険施設に入所させたい
4. サービス付き高齢者向け住宅に入居させたい
5. 介護の対象となる家族等がいない
6. その他 ()

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(3) あなたは、これまでに介護保険の要介護認定を申請したことがありますか (1つに○)。

1. 申請したことはないし、申請する予定もない
2. 現在申請中、または申請する予定である
3. 申請したが「自立」と判定された
4. 申請して要支援や要介護と認定されたことがある
5. わからない

(4) あなたは、家族等の介護をした経験はありますか (1つに○)。

1. 現在介護をしている
2. 以前は介護をしていたが現在はしていない
3. 今まで介護をしたことがない

(5) 介護サービスに関して、国では外国人材の活用が推進されていますが、どのようなお考えですか (1つに○)。

1. 人材不足解消のために、積極的に活用してほしい
2. 意思疎通に問題ない語学レベルであれば、活用してほしい
3. 施設サービスの職員の職員でないのは問題ないが、訪問サービスには抵抗がある
4. 受け入れには消極的
5. わからない

問12 認知症について

(1) 認知症サポーター (※) をご存知ですか (1つに○)。

1. 知っている
2. 聞いたことはあるが、内容は知らない
3. 知らない

※ 認知症サポーターとは、認知症に関する正しい知識と理解を持ち、地域や職場で認知症の人やそのご家族を支援する人のことをいいます。

(2) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか (1つに○)。

1. はい
2. いいえ

(3) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (1つに○)。

1. はい
2. いいえ

※ 足立区では地域包括支援センター (ホウカツ) が健康や介護・もの忘れに関する相談窓口です。

(4) 将来、あなたが認知症になったとしたら、周囲 (家族や友人など) に公表しますか (1つに○)。

1. はい
2. いいえ

(5) 将来、あなたが認知症になったらとしたら、どこで暮らしたいですか（1つに○）。

1. 自宅や親族の家など
2. 認知症の人が数人で暮らせる、家庭的な施設（グループホーム）
3. 介護保険施設（特別養護老人ホームなど）
4. 高齢者向け住宅（有料老人ホームなど）
5. 病院などの医療機関
6. わからない

(6) 認知症に関する以下のことに関して、あなたはどのように感じたり、思ったりしていますか（それぞれ1つに○）。

	思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
① 認知症は誰もがなり得ると思いますか	1	2	3	4
② 認知症になったら何もわからなくなると思えますか	1	2	3	4
③ 認知症になったら何もできなくなると思えますか	1	2	3	4
④ あなたが暮らす地域では、地域生活の様々な場面において、認知症の人の意思が尊重されていると思いますか	1	2	3	4
⑤ あなたが暮らす地域では、認知症の人が自分らしく暮らせると思いますか	1	2	3	4

問13 高齢者福祉サービスや高齢者施策について

(1) 現在、区内には、高齢者の介護や生活上の相談等を受ける地域包括支援センターがあります。地域包括支援センター（ホウカツ）の業務で、ご存知のものに○を付けてください（いくつでも○）。

1. 健康や介護の相談	9. 老後の準備、老い支度の相談
2. 介護予防教室や地域の居場所等の紹介	10. 高齢者宅への訪問調査
3. 介護保険サービスの相談	11. 高齢者を主とした地域活動の支援
4. もの忘れが心配な方の相談	12. 絆のあんしん協力員による高齢者への定期的な声かけ、見守り
5. 認知症の方の見守り支援	13. 地域包括支援センター（ホウカツ）の名前は知っているが、業務内容は知らない
6. 高齢者虐待の対応	14. 地域包括支援センター（ホウカツ）活動の紹介
7. 成年後見制度の紹介	
8. 高齢者による地域貢献やボランティア活動の紹介	

(2) 身近なくらしの情報をどのように入手しますか（いくつでも○）。

1. 区役所・区民事務所・保健所等の窓口・掲示板、チラシ	7. 区ホームページ
2. あだち広報	8. インターネット
3. A-メール（足立区メール配付サービス）	9. 家族
4. 足立区公式LINE	10. 友人・知人
5. 新聞・雑誌	11. 民生・児童委員
6. テレビ・ラジオ	12. 地域包括支援センター
	13. その他（ ）

(3) 成年後見制度（※）についてご存知ですか。また利用を検討したことがありますか（1つに○）。

1. 利用したことがある（している）
2. 内容を知っており、利用を検討したが、費用が高くて利用に至らなかった
3. 内容を知っており、利用を検討したが、費用以外の理由で利用に至らなかった
4. 内容は知っているが、利用は検討したことがない
5. 聞いたことはあるが、内容は知らない
6. 知らない

※ 成年後見制度とは、認知症や知的障がい、精神障がいなどによって財産の管理や契約を自身で十分に行うことが難しい方に対し、本人の権利を守る援助者（成年後見人等）を選ぶ法的に支援する制度です。

(4) 成年後見制度について関心がありますか（1つに○）。

1. ある
2. ない

(5) 任意後見制度（※）についてご存知ですか。また利用を検討したことがありますか（1つに○）。

1. 利用したことがある（している）
2. 内容を知っており、利用を検討したが、費用が高くて利用に至らなかった
3. 内容を知っており、利用を検討したが、費用以外の理由で利用に至らなかった
4. 内容は知っているが、利用は検討したことがない
5. 聞いたことはあるが、内容は知らない
6. 知らない

※ 任意後見制度とは、自分の判断能力が十分なうちに、判断能力が低下したときに備えて、「支援してほしいこと」や「支援をお願いする人」をあらかじめ「契約」で決めておく制度です。

(6) 任意後見制度について関心がありますか（1つに○）。

1. ある
2. ない

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(7) 足立区には次のようなサービスがありますが、あなたは現在利用していますか。
また利用していない方は、そのサービスをご存知ですか（それぞれ1つに○）。

サービスの種類	利用している (したこと がある)	知っているが 利用したこと はない	知らない
① 日常生活用具の給付 在宅で虚弱な方に外出の支援としてシルバー カーなどを給付	1	2	3
② 高齢者住宅改修給付 日常の生活動作が低下した方に、手すりや 段差解消等の住宅改修費用を給付	1	2	3
③ 高齢者配食サービス（元氣サポート弁当） 高齢者のみの世帯で食事の用意が困難な方 を対象に、1日1食、定価の300円引きで の配食により、バランスの良い栄養摂取と 配食時の見守りを実施	1	2	3
④ 高齢者緊急通報システムの設置 慢性疾患等があり、常時注意を要する方の 緊急時に本人に代わって警備会社等へ連絡 するためのシステムを設置	1	2	3
⑤ 見守りキーホルダー・シールの支給 認知症等による徘徊の恐れのある高齢者や、 一人での外出に不安のある高齢者に無料で 配付	1	2	3
⑥ 訪問理美容サービス 在宅で寝たきり等のため調髪が困難な方に 訪問し調髪を行う	1	2	3
⑦ 見守りサービス助成 慢性疾患等があり、常時注意を要する方に センサー等の設置費用を助成	1	2	3
⑧ あいあいサポート 掃除、買い物、外出の付き添いや電球の取 り換え等ちょっとした困りごとを支援	1	2	3

問13 (7) ①～⑧で1つでも「2」と回答した方にお伺いします。

⑨ 利用したことがない理由は何ですか（1つに○）。

1. 今のところ利用する必要がない
2. 対象の要件を満たしていない
3. 詳しい内容が分からない
4. その他（ ）

(8) 介護予防事業についてお聞きします。あなたは以下の事業に現在参加していますか。
また、参加していない方は、そのサービスをご存知ですか（それぞれ1つに○）。

事業	参加している (したこと がある)	知っているが 参加したこと はない	知らない
① パークで筋トレ（公園で開催）	1	2	3
② ウォーキング教室（区内の名所等）	1	2	3
③ はつらつ教室（地域学習センター等）	1	2	3
④ はつらつ測定会（地域学習センター等）	1	2	3
⑤ みんなで元氣アップ教室（地域学習センター等）	1	2	3
⑥ 元氣アップサポーター養成研修（地域学習センター等）	1	2	3
⑦ 住区センターで実施している教室・講座	1	2	3
⑧ ふれあい湯う（公衆浴場）	1	2	3
⑨ 住区 de 団らん（住区センター）	1	2	3

問13 (8) ①～⑨で1つでも「2」と回答した方にお伺いします。

⑩ 参加したことがない理由は何ですか（1つに○）。

1. 通える距離での開催がない
2. 参加する時間がない
3. 興味がない
4. その他（ ）

(9) 足立区ではひとり暮らし高齢者や高齢者世帯を対象に、「孤立ゼロプロジェクト
～絆のあんしんネットワーク～」（近隣同士の見守り活動）の取り組みを実施し
ていますが、ご存知ですか（1つに○）。

1. 取り組み内容を知っている
2. 聞いたことはあるが、取り組み内容は知らない
3. 知らない

(10) あなたは、足立区の高齢者施策についてどのように感じていますか
(1つに○)。

1. とても充実している	3. どちらとも言えない	5. 充実していない
2. 充実している	4. あまり充実していない	6. わからない

(11) あなたは、足立区に対してどのような高齢者施策の充実をお望みですか
(いくつでも○)。

1. 仕事の紹介等の施策の充実	10. 介護保険サービスの充実
2. 生涯学習・スポーツなどの生きがい 施策の充実	11. 介護保険外サービスの充実
3. ボランティア・地域活動等の社会活 動の支援	12. 介護保険施設等の新設
4. ひとり暮らし高齢者に対する援助	13. 在宅生活を続けるための支援
5. 高齢者向け住宅の整備	14. 家族等の介護者に対する援助
6. 高齢者虐待防止対策の充実	15. 高齢者が気軽に集まることのできる 場の提供
7. 健康づくり施策の充実	16. 福祉や生活にかかわる相談体制の整備
8. 介護予防施策の充実	17. スマートフォン教室
9. 認知症施策の充実	18. その他 ()

(12) 高齢者保健・福祉事業や介護保険制度について、区へのご要望、ご意見などがあ
りましたら、お聞かせください。

(13) その他、生活の中での困りごとがありましたら、お聞かせください。

—アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。—

高齢者単身世帯実態調査

皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
また、日頃から足立区の高齢者施策にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
本区では、令和8年度に「足立区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の見直しを行います。
今回の調査は、計画の見直しにあたり、高齢者福祉に関する皆さまのお考えやご意見を伺いたいものです。いただいたお考えやご意見は、高齢者保健福祉計画策定にあたっての貴重な資料とさせていただきます。
ご多忙のところ、誠に恐縮ではございますが、何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年11月吉日

【ご記入にあたってのお願い】

- 1 この調査の対象者は、令和7年10月1日現在、75歳以上の方です。
- 2 回答は宛名ラベルのご本人についてご記入をお願いいたします。もし、ご本人がご記入などに不都合があるときは、どなたかにご記入をお願いいたします。
- 3 回答にあたっては、質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲んでください。また、必要に応じて、数字やご意見のご記入をお願いいたします。
- 4 ご記入いただいたアンケートは、12月1日（月）までに同封の返信用封筒にてご返送ください（切手は不要です）。
- 5 この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

※ 今回の調査は、高齢者地域包括ケア推進課、医療介護連携課、介護保険課が共同で実施していますので、返信用封筒のあて名は「介護保険課」となっています。
※ この調査票は、無記名式となっています。お名前をご記入いただく必要はありません。返信用封筒にも、ご住所、お名前をご記入いただく必要はありません。
※ 本調査で得られた情報については、計画策定等の目的以外には利用いたしません。また、当該情報は足立区が適切に管理し、お答えいただいた個人のお考えが公表されることはありません。

【お問い合わせ先】

お問い合わせコール あだち
03-3880-0039（受付時間：午前8時～午後8時/1月1日から1月3日を除く毎日）

【調査主体】

足立区 福祉部 高齢者施策推進室 高齢者地域包括ケア推進課
足立区 福祉部 高齢者施策推進室 医療介護連携課

2 高齢者単身世帯実態調査

はじめに、調査の回答者についておたずねします

調査票を記入されたのはどなたですか（1つに○）。

1. あて名のご本人が記入
2. ご家族が記入（下記から1つに○）
a. 配偶者 b. 子 c. 子の配偶者 d. 孫 e. 兄弟姉妹 f. 親
3. その他（友人・知人、介護支援専門員等）

※ 以下の設問について、「あなた」とは封筒の「あて名のご本人」のことを指します。

問1 あなたの基本情報について

（1）あなたは、普段、どちらにお住まいですか（1つに○）。

1. あて名の住所に、ひとりで住んでいる
2. あて名の住所に、だれかと一緒に住んでいる
3. 親族や知人の家
4. 病院に入院中
5. 足立区外に転出した
6. 老人保健施設
7. 特別養護老人ホーム
8. 介護医療院
9. 有料老人ホーム・ケアハウス・グループホームに入居中

※ 問1（1）で「2」～「9」と回答した方は、これでアンケートは終了です。
ご協力ありがとうございました。
なお、区へのご意見、ご要望がありましたら、問13（10）にご記入の上、ご返送ください。

（2）あなたの性別について、ご回答ください（1つに○）。

1. 男性
2. 女性
3. 回答したくない

（3）あなたの年齢について、ご回答ください（数字を記入）。

（ ）歳 ※ 令和7年10月1日現在

（4）あなたのお住まい（住所）について、ご回答ください（数字を記入）。

住所番号（ ） ※ 「別紙：住所地一覧」から該当の番号を数字で記入

（5）あなたが最後に卒業（または中退）した学校について、ご回答ください（1つに○）。

1. 小学校・中学校
2. 高等学校
3. 専門学校
4. 高等専門学校・短期大学
5. 大学・大学院
6. その他（ ）

問3 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (1つに○)。

1. できるし、している	2. できるだけしていない	3. できない

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (1つに○)。

1. できるし、している	2. できるだけしていない	3. できない

(3) 15分位続けて歩いていますか (1つに○)。

1. できるし、している	2. できるだけしていない	3. できない

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (1つに○)。

1. 何度もある	2. 1度ある	3. ない

(5) 転倒に対する不安は大きいですか (1つに○)。

1. とても不安である	3. あまり不安でない
2. やや不安である	4. 不安でない

(6) 週に1回以上は外出していますか (1つに○)。

1. ほとんど外出しない	3. 週2～4回
2. 週1回	4. 週5回以上

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (1つに○)。

1. とても減っている	3. あまり減っていない
2. 減っている	4. 減っていない

(8) 外出する際の移動手段は何ですか (いくつでも○)。

1. 徒歩	8. 病院や施設のバス
2. 自転車	9. 車いす
3. バイク	10. 電動車いす (カート)
4. 自動車 (自分で運転)	11. 歩行器・シルバーカー
5. 自動車 (人に乗せてもらう)	12. タクシー
6. 電車	13. はるかぜ (コミュニティバス)
7. 路線バス (はるかぜは除く)	14. その他 ()

問4 食べることにについて

(1) 身長・体重を教えてください (数字を記入)。

身長		cm	体重		kg

(6) あなたは現在、要介護認定を受けていますか (1つに○)。

1. 受けていない	5. 受けている (要介護2)
2. 受けている (要支援1)	6. 受けている (要介護3)
3. 受けている (要支援2)	7. 受けている (要介護4)
4. 受けている (要介護1)	8. 受けている (要介護5)

問2 あなたの生活状況について

(1) あなたの現在の年間収入はどのくらいですか (1つに○)。

1. 50万円未満	4. 150～200万円未満	7. 700～1,000万円未満
2. 50～100万円未満	5. 200～400万円未満	8. 1,000万円以上
3. 100～150万円未満	6. 400～700万円未満	

(2) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (1つに○)。

1. 大変苦しい	3. ぶつう	5. 大変ゆとりがある
2. やや苦しい	4. ややゆとりがある	

(3) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか (1つに○)。

1. 持家 (一戸建て)	5. 民間賃貸住宅 (集合住宅)
2. 持家 (集合住宅)	6. 借家
3. 公営賃貸住宅	7. その他
4. 民間賃貸住宅 (一戸建て)	

(4) あなたのお住まいの広さはおよそどのくらいですか (1つに○)。

1. 25㎡未満 (例: 1K、1DK)
2. 25㎡以上～40㎡未満 (例: 2DK、1LDK)
3. 40㎡以上 (例: 2LDK)

(5) おひとり暮らしで暮らされている期間はおよそどのくらいですか (1つに○)。

1. 2年以下	3. 5～9年	5. 15～19年
2. 3～4年	4. 10～14年	6. 20年以上

(6) おひとり暮らしで暮らされていることについて、どのようにお感じですか (1つに○)。

1. 気が楽でよい	2. 不安に感じる	3. 特に何も感じていない

(7) 3年前の2022年と比べて、あなたの生活状況におきた変化としてあてはまるものをお答えください (いくつでも○)。

1. 気分が落ち込むことが多くなった	5. 友人・知人が少なくなった
2. 体力や筋力が落ちた	6. 引越をした
3. 病院に入院した	7. あてはまるものはない
4. ケガや病気のために通院するようになった	

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (1つに○)。

1. はい	2. いいえ

(3) お茶や汁物等でむせることがありますか (1つに○)。

1. はい	2. いいえ

(4) 口の渇きが気になりますか (1つに○)。

1. はい	2. いいえ

(5) あなたは1年前から今日の間に歯科医師による歯科健診 (検診) や治療を受けましたか (1つに○)。

1. 受診し現在も治療中	4. 受診していない
2. 受診し治療は終了	5. わからない
3. 受診し問題はなかった	

(6) 6か月間で2～3 kg以上の体重減少がありましたか (1つに○)。

1. はい	2. いいえ

(7) 食事は1日何回食べますか (1つに○)。

1. 1回	2. 2回	3. 3回	4. 4回以上

問4 (7) で「1」「2」と回答した方にお伺いします。

① 食事を1日3回食べない理由は何ですか (いくつでも○)。

1. 空腹にならない	5. ダイエットをしている
2. 経済的に苦しい	6. 食べる必要性を感じない
3. 食事の準備ができない	7. その他 ()
4. 食べる時間がない	8. 特に理由はない

(8) たんぱく質を多く含む食品 (肉・魚・卵・大豆製品の1種類以上) をどのくらいの頻度で食べていますか (1つに○)。

1. 1日3回以上	4. 週に数回
2. 1日2回	5. ほとんど食べていない
3. 1日1回	6. 意識していないのでわからない

※ 筋力や認知機能などを含む生活機能が低下し、将来、要介護状態となる危険性が高い状態 (フレイル) になる要因の一つにたんぱく質不足があげられます。

(9) あなたは、自分で食事を食べられますか (1つに○)。

1. 自分で食べられる	3. 自分では食べられない
2. おかずを切ってもらうなど介助があればできる	

(10) なたなかと食事をともにする機会はありますか (1つに○)。

1. 毎日ある	3. 月に何度かある	5. ほとんどない
2. 週に何度かある	4. 年に何度かある	

問5へ

問4 (10) で「5」と回答した方にお伺いします。

① なたなかと食事をともにする機会があれば参加したいですか (1つに○)。

1. はい	2. いいえ	3. どちらでもない

問5 毎日の生活について
(1) 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか (1つに○)。

1. はい	2. いいえ

(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか (1つに○)。

1. はい	2. いいえ

(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか (1つに○)。

1. はい	2. いいえ

(4) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可) (1つに○)。

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない

(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか (1つに○)。

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない

問5 (5) で「1」と回答した方にお伺いします。

① 食品・日用品の買物に出かける頻度はどのくらいですか (1つに○)。

1. ほとんど外出しない	3. 週2～4回
2. 週1回	4. 週5回以上

② どのようなお店で食品・日用品の買物をしていますか (いくつでも○)。

1. 大型商業施設	4. 商店街のお店	7. インターネットショッピング
2. 近隣のスーパーマーケット	5. コンビニエンスストア	8. 宅配サービス
3. ドラッグストア	6. 移動販売車	9. その他 ()

(10) 特殊詐欺対策に関する情報は、テレビのニュースや新聞以外にどのような方法で入手していますか（いくつでも○）。

1. あだち広報	5. インターネット
2. 区役所や警察の講演	(ウェブсайт、SNS など)
3. 町会等で回ってくる回覧板または町会内の掲示板のチラシ	6. その他 ()
4. 家族や友人からの情報	7. 特に情報を入手していない

(11) 消費者被害にあったときの相談先として「足立区消費者センター」がありますか、ご存知ですか（1つに○）。

1. 知っている	2. 知らない

(12) ここ2週間の生活について教えてください（それぞれ1つに○）。

	はい	いいえ
① 毎日の生活に充実感がない。	1	2
② これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった。	1	2
③ 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる。	1	2
④ 自分が役に立つ人間だと思えない。	1	2
⑤ わけもなく疲れたような感じがする。	1	2

(13) あなたは、食事をする、衣服を選ぶなど、その日の活動を自分で判断できますか（1つに○）。

1. 困難なくできる
2. いくらか困難であるが、できる
3. 判断するときに、他人からの助言や見守りが必要
4. ほとんど判断できない

(14) あなたは、人に自分の考えをうまく伝えられますか（1つに○）。

1. 伝えられる	3. あまり伝えられない
2. いくらか困難であるが、伝えられる	4. ほとんど伝えられない

(15) 日中はどのように過ごされていることが多いですか（いくつでも○）。

1. 仕事	5. 地域活動	9. インターネット
2. 家事	6. 健康づくり活動	10. 買い物
3. 趣味	7. 通院・治療等	11. 外出
4. 友人つきあい	8. テレビ鑑賞	12. その他 ()

問5 (5) で「1」と回答した方にお伺いします。

③ 食品・日用品の買物をするお店まで自宅からどれくらいかかりですか（1つに○）。

1. 自宅から歩いて10分以内	4. 自宅から歩いて30分超
2. 自宅から歩いて20分以内	5. 自宅に配達される
3. 自宅から歩いて30分以内	6. わからない

④ 食品・日用品の買物について、不便を感じていますか（1つに○）。

1. 感じる	2. 感じない → 問5 (6)へ

問5 (5) (4) で「1」と回答した方にお伺いします。

⑤ 特に、どのようなことに不便を感じていますか（1つに○）。

1. 歩いて行ける距離にお店がない
2. バス等の交通手段がない
3. 配達してくれるお店がない
4. 重い物が持てない
5. 誰かの協力がないと行きたいときに買物できない
6. 一緒に買物に行ってくれる人がいない
7. その他 ()

(6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか（1つに○）。

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない

(7) 友人の家を訪ねていますか（1つに○）。

1. はい	2. いいえ

(8) 家族や友人の相談にのっていますか（1つに○）。

1. はい	2. いいえ

(9) 自宅に固定電話を設置していますか（1つに○）。

1. 設置している (親機、子機いずれが設置している)	2. 設置していない (スマートフォンのみ)

問5 (10)へ

問5 (9) で「1」と回答した方にお伺いします。

① 足立区で無償貸与している「自動通話録音機」を設置していますか（1つに○）。

1. 設置している	3. 無償貸与されていることを知らない
2. 知っているが設置していない	

(16) あなたは今、何か生活の上で楽しみがありますか（1つに○）。

1. ある

2. ない

問5 (17) へ

問5 (16) で「1」と回答した方にお伺いします。

① それはどのようなことですか（いくつでも○）。

1. テレビ・ラジオの視聴	7. スポーツ観戦	13. 手芸等文化的な取組
2. 読書	8. ウォーキング（山登り等）	14. 園芸
3. 映画鑑賞	9. 体力づくり	15. カメラ
4. 美術鑑賞	10. スポーツ	16. 旅行
5. 音楽鑑賞	11. カラオケ	17. その他（ ）
6. 演劇鑑賞	12. ゲーム（将棋、麻雀等）	

(17) スマートフォンの利用状況について、教えてください（1つに○）。

1. 電話やメールなど毎日使用している	3. 使い方が難しそうだから、持っていない
2. 持っているが、ほとんど使わない	4. 費用が高そうだから、持っていない
5. 必要性を感じないから、持っていない	

問6 へ

問5 (17) で「1」「2」と回答した方にお伺いします。

① 「あだち脳活ラボ（※）」をご存じですか（1つに○）。

- | |
|------------------------------------|
| 1. 知っている（既にご利用している） |
| 2. 知っていたが、まだ利用していない（機会があれば利用してみたい） |
| 3. 知らなかった（機会があれば利用してみたい） |
| 4. 知らなかった（今後も利用する予定はない） |

※ 豊富な脳トレ問題や運動・美術・音楽など感性を刺激する映像プログラムなど、スマートフォンを使って、楽しみながら介護予防・認知症予防に取り組み足立区の公式LINE

問6 地域での活動について

(1) あなたは現在、地域での活動に参加していますか（1つに○）。

1. 参加している

2. 現在は参加していないが今後参加したい

3. 参加していない

問6 (1) ②へ

4. 参加したいとは思わない

問6 (1) ③へ

問6 (1) ①へ

問6 (1) で「1」「2」と回答した方にお伺いします。

① 以下のような会・グループ等の中で、あなたが現在参加されている、または今後参加したいと思うものを教えてください（いくつでも○）。

1. ボランティアのグループ	6. 老人クラブ
2. スポーツ関係のグループやクラブ	7. 町内会・自治会
3. 趣味関係のグループ	8. 収入のある仕事
4. 学習・教養サークル	9. その他（ ）
5. 介護予防のための通いの場（ふれあいサロン等）	

問6 (1) で「3」と回答した方にお伺いします。

② 参加していない理由は何か（いくつでも○）。

1. 時間がない	7. それらの活動を知らない
2. 自分の興味をひくものがない	8. 一緒に参加する仲間や友人がいない
3. 自分にあつた活動や集会がない	9. 参加のきっかけがない
4. 体の調子が悪い	10. 感染症への不安がある
5. 費用がかかる	11. その他（ ）
6. 近くに活動がない	

問6 (1) で「4」と回答した方にお伺いします。

③ 参加したいと思わない理由は何ですか（いくつでも○）。

1. 人と付き合うのが苦手	5. 費用がかかる
2. 疲れる	6. 知り合いがいない
3. 役を任される	7. その他（ ）
4. 楽しそうでない	

(2) あなたが月に1回以上行っている取り組みや活動はありますか（いくつでも○）。

1. 知識や技能を活かせる活動	5. 共通の趣味嗜好を持つ人との交流
2. 楽しめる活動	6. ウォーキング等の軽めの運動
3. 社会への貢献度の高い活動	7. トレーニング等の中程度以上の運動
4. 近所の住民との交流	8. あてはまるものはない

問7 へ

問6 (2) で「1」～「7」と回答した方にお伺いします。

① 活動にあてはまる場をお答えください（いくつでも○）。

1. 自治体が主催する教室やイベントなどの活動	5. 仲間同士の集まり
2. NP0 やボランティア団体の活動	6. 個人での取り組み
3. 自治会などの住民組織の活動	7. その他（ ）
4. 有料の民間サービス	

問7 就労について

(1) 現在のあなたの就労状態はどれですか (いくつでも○)。

1. 職に就いたことがない	5. 自営業
2. 引退した	6. 求職中
3. 常勤 (フルタイム)	7. その他 ()
4. 非常勤 (パート・アルバイト等)	

「2」以外は問8へ

問7 (1) で「2」と回答した方にお伺いします。

① あなたはいつ引退しましたか (数字を記入)。

1. 昭和 () 年	2. 平成 () 年	3. 令和 () 年

問8 たすけあいについて

(1) ご家族、ご親せきで一番近い方はどのくらいの距離にいらっしゃいますか (普段利用される交通手段でご回答ください) (1つに○)。

1. 30分以内の場所にいる	4. 2時間以上の場所にいる
2. 30分～1時間以内の場所にいる	5. いない
3. 1時間～2時間以内の場所にいる	

(2) 日頃、最も連絡がとれるご家族、ご親せきはどなたですか (1つに○)。

1. 子ども	6. いとこ
2. 子どもの配偶者	7. 甥・姪
3. 親	8. 孫
4. 兄弟・姉妹	9. その他 ()
5. おじ・おば	10. いない

問8 (3) へ

問8 (2) で「1」～「9」と回答した方にお伺いします。

① その人と会う頻度はどれくらいですか (1つに○)。

1. 毎日ある	3. 月に何度かある	5. ほとんどない
2. 週に何度かある	4. 年に何度かある	

② その人と連絡をとる頻度はどれくらいですか (1つに○)。

1. 毎日	4. 年に何度か
2. 週に何度か	5. ほとんどない
3. 月に何度か	

(3) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか (1つに○)。

1. 毎日ある	3. 月に何度かある	5. ほとんどない
2. 週に何度かある	4. 年に何度かある	

(4) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか (1つに○)。(同じ人には何度会っても1人と数えることとします。)

1. 0人 (いない)	3. 3～5人	5. 10人以上
2. 1～2人	4. 6～9人	

(5) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (いくつでも○)。

1. 近所・同じ地域の人	5. 趣味や関心が同じ友人
2. 幼なじみ	6. ボランティア等の活動での友人
3. 学生時代の友人	7. その他 ()
4. 仕事での同僚・元同僚	8. いない

(6) 友人・知人と連絡をとる頻度はどれくらいですか (1つに○)。

1. 毎日	4. 年に何度か
2. 週に何度か	5. ほとんどない
3. 月に何度か	

(7) あなたは、自分は他の人たちから孤立していると感じることがありますか (1つに○)。

1. 決してない	2. ほとんどない	3. 時々ある	4. 常にある

(8) あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか (1つに○)。

1. 決してない	3. たまにある	5. しばしば・常にある
2. ほとんどない	4. 時々ある	

(9) 隣近所との程度交流を持っていますか (1つに○)。

1. 互いの家をよく行き来する	4. 挨拶をする
2. とぎとぎ行き来する	5. ほとんどない
3. 会ったときに世間話をする	

問9 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (1つに○)。

1. とてもよい	3. あまりよくない
2. まあよい	4. よくない

(2) あなたは、いくつまで健康 (介護を受けない状態) に過ごしたいですか (1つに○)。

1. 65～69歳	4. 80～84歳
2. 70～74歳	5. 85～90歳
3. 75～79歳	6. 90歳以上

(3) 高齢期におこりやすい「フレイル」（筋力や心身の機能などが低下し、衰弱した状態）にならないために、「運動」「口の健康・栄養」「社会参加」のそれぞれが大切なことを知っていますか（1つに○）。

1. 知っていて、活動を実践している

2. 知っているが特に何もしていない

3. 知らない（はじめて聞いた）

（下記から実践している活動すべてに○）

a. 運動

b. 口の健康

c. 栄養

d. 社会参加

(4) 日頃、スポーツクラブやジム、プール等の運動施設を利用していますか（1つに○）。

1. よく利用している（週に1回以上）

2. たまに利用している（月に2回以上）

3. あまり利用していない（半年に1回以上）

4. 利用していない（1年以上利用していない）

問9（5）へ

問9（4）で「3」「4」と回答した方にお伺いします。
① 日頃から民間のスポーツクラブやジム、運動施設等を利用していない理由を教えてください（いくつでも○）。

1. 自宅や公園での体操やウォーキングなど、施設を利用しないで運動をしている

2. 運動をする設備が整った施設の場所をよく知らない

3. 忙しくて運動をする時間がない

4. 運動をするきつかけがない

5. 上記に当てはまらない

(5) 「在宅療養」とは、通院が困難な場合などでも、訪問型の医療や介護サービスを利用しながら、住み慣れたご自宅や地域（在宅施設）で暮らし続けることです。あなたは、「在宅療養」について元々ご存知でしたか（1つに○）。

1. 知っており、内容も理解している

2. 聞いたことはあるが、内容は知らない

3. 聞いたことがなく、内容も知らない

(6) あなたが在宅療養を利用する場合に、不安に思うことは何ですか（いくつでも○）。

1. 訪問診療の体制

2. 療養にかかる費用

3. 家族の負担

4. 急変時（看取り）の対応

5. 不安はない

6. その他（ ）

問10 将来の生活について

(1) あなたは、将来の生活についてどのように感じていますか（1つに○）。

1. とても不安を感じる

2. 少し不安を感じる

3. どちらとも言えない

4. あまり不安は感じない

5. 不安は感じない

問10（2）へ

問10（1）で「1」「2」と回答した方にお伺いします。

① どのようなことに不安を感じていますか（いくつでも○）。
また、どのようなことに最も不安を感じていますか（1つに○）。

	不安を感じること (いくつでも○)	最も不安を感じること (1つに○)
① 自分の健康のこと	1	1
② 自分が、介護が必要な状態（寝たきりなど）になること	2	2
③ 孤独死のこと	3	3
④ 頼れる人や面倒をみてくれる人がいないこと	4	4
⑤ 相談相手や話し相手がないこと	5	5
⑥ 生活費など収入のこと	6	6
⑦ 住まいのこと	7	7
⑧ 金銭管理や財産保全に関すること	8	8
⑨ ペットの継続飼育が難しく、引き取り先がないこと	9	9
⑩ その他（ ）	10	10

(2) あなたは、現在の住まいに引き続き住みたいとお考えですか（1つに○）。

1. 現在の住まいに引き続き住みたい

2. 他の賃貸等に住み替えたい

3. サービス付き高齢者住宅や有料老人ホームに住み替えたい

4. その他（ ）

問10（3）へ

問10（2）で「2」「3」と回答した方にお伺いします。

① 住み替えたいと思う理由は何ですか（いくつでも○）。

1. 家賃が高いのでもう少し安くしたい

2. 段差等があり住みにくい

3. 狭いためもう少し広いところに住み替えたい

4. 耐震等が心配なため住み替えたい

5. 家族、親戚等の近くに住み替えたい

6. 交通の便や商業施設の近くなど便利な所に住み替えたい

7. その他（ ）

問10 (2) で「2」「3」と回答した方にお伺いします。

② 住み替えを検討される場合、選が基準として最も優先していることは何ですか (1つに○)。

1. 住居の広さ

4. 交通の便

7. 保証人が不要

2. 築年数

5. 周辺環境

8. その他 ()

3. 賃料等の安さ

6. 介護等のサービス

9. わからない

(3) あなたは人生の最期をどこで迎えたいですか (1つに○)。

1. 自宅で迎えたい

4. その他 ()

2. 介護施設で迎えたい

5. どこでも良い

3. 医療機関で迎えたい

6. 考えていない

(4) あなたは人生の最期について、どなたかに相談したことはありますか (いくつでも○)。

1. 家族

6. その他医療関係者

2. ケアマネジャー

7. 地域包括支援センター等の相談員

3. 介護職員

8. 相談したことはない

4. 主治医

9. 相談相手がいない

5. 看護師

10. その他 ()

問11 介護について

(1) あなたは、介護が必要になったとき、どのような介護を希望しますか (1つに○)。

1. 介護サービスを利用しないで、自宅で家族に介護してもらいたい

2. 介護サービスを利用しながら、自宅で生活したい

3. 特別養護老人ホームなど介護保険施設等に入りたい

4. サービス付き高齢者向け住宅で生活したい

5. その他 ()

問11 (1) で「1」「2」と回答した方にお伺いします。

① あなたは、どなたに介護してもらいたいですか (いくつでも○)。

1. 妻または夫

4. ホームヘルパー等

2. 子どもやその家族

5. 近所の人やボランティア

3. 兄弟などの親族

6. その他 ()

問11 (1) で「3」と回答した方にお伺いします。

② 介護を受けられる施設には、次のような施設がありますが、あなたはどのような施設等を望んでいますか (1つに○)。

施設の種類	サービスの内容	利用したい番号に○
① 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム) 月額費用 個室：約10.5万円～13.7万円 多床室：約9.5万円～10.0万円	常に介護が必要で自宅では介護が困難な人のための施設です。 (要介護3～5が対象)	1 個室
② 介護老人保健施設 (老人保健施設) 月額費用：約8.3万円～13.9万円	病状が安定し、治療よりは看護や介護に重点を置いたケアが必要な人のための施設です。 (要介護1～5が対象)	2 多床室
③ 介護医療院 月額費用：約8.4万円～15.1万円	長期療養を必要とする人のための施設です。 医療や看護、介護等が受けられます。 (要介護1～5が対象)	3
④ 認知症対応型共同生活介護 (グループホーム) 月額費用：約11.3万円～21.6万円	認知症の方が共同で生活しながら、食事・入浴などの介護や支援、機能訓練が受けられます。 (要支援2、要介護1～5が対象)	4
⑤ 特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム等) 月額費用：約12.0万円～45.6万円	入浴や食事、介護など日常生活に必要なサービスが受けられます。	5
⑥ 軽費老人ホーム (ケアハウス) 月額費用：約2.9万円～24.7万円	自立した生活が継続できるように、食事や必要最低限の介助を提供する住まいです。	6
		7

※ 費用は、自己負担1割の場合の目安です。日常生活費 (理美容など) は含まれません。

※ ⑤⑥の月額費用は、施設ごとに異なります。また、入居時に一時金が必要な場合があります。

③ 外国籍を有するホームヘルパーにお願いするとしたら、どんな介護サービスですか (いくつでも○)。

1. 身体介護

4. 料理

2. 掃除

5. その他 ()

3. 買い物

6. サービスを受けたくない

(2) 介護サービスに関して、国では外国人材の活用が推進されていますが、どのようなお考えですか (1つに○)。

1. 人材不足解消のために、積極的に活用してほしい

2. 意思疎通に問題ない語学レベルであれば、活用してほしい

3. 施設サービスの職員でいるのは問題ないが、訪問サービスには抵抗がある

4. 受け入れには消極的

5. わからない

556

14

15

問 12 認知症について

(1) 認知症サポーター（※）をご存知ですか（1つに○）。

1. 知っている	3. 知らない
2. 聞いたことはあるが、内容は知らない	

※ 認知症サポーターとは、認知症に関する正しい知識と理解を持ち、地域や職場で認知症の人やそのご家族を支援する人のことをいいます。

(2) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか（1つに○）。

1. はい	2. いいえ

(3) 認知症に関する相談窓口を知っていますか（1つに○）。

1. はい	2. いいえ

※ 足立区では地域包括支援センター（ホウカツ）が健康や介護・もの忘れに関する相談窓口です。

(4) 将来、あなたが認知症になったら、周囲（家族や友人など）に公表しますか（1つに○）。

1. はい	2. いいえ

(5) 将来、あなたが認知症になったら、どこで暮らしたいですか（1つに○）。

1. 自宅や親族の家など
2. 認知症の人が数人で暮らせる、家庭的な施設（グループホーム）
3. 介護保険施設（特別養護老人ホームなど）
4. 高齢者向け住宅（有料老人ホームなど）
5. 病院などの医療機関
6. わからない

(6) 認知症に関する以下のことに関して、あなたはどのように感じたり、思ったりしていますか（それぞれ1つに○）。

	思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
① 認知症は誰もがなり得ると思いますか	1	2	3	4
② 認知症になったら何もわからなくなると思えますか	1	2	3	4
③ 認知症になったら何もできなくなると思いますか	1	2	3	4
④ あなたが暮らす地域では、地域生活の様々な場面において、認知症の人の意思が尊重されていると思いますか	1	2	3	4
⑤ あなたが暮らす地域では、認知症の人が自分らしく暮らせると思いますか	1	2	3	4

問 13 高齢者福祉サービスや高齢者施策について

(1) 現在、区内には、高齢者の介護や生活上の相談等を受ける地域包括支援センターがあります。地域包括支援センター（ホウカツ）の業務で、ご存知のものに○を付けてください（いくつでも○）。

1. 健康や介護の相談	9. 老後の準備、老い支度の相談
2. 介護予防教室や地域の居場所等の紹介	10. 高齢者宅への訪問調査
3. 介護保険サービスの相談	11. 高齢者を主とした地域活動の支援
4. もの忘れが心配な方の相談	12. 絆のあしん協力員による高齢者への定期的な声かけ、見守り
5. 認知症の方の見守り支援	13. 地域包括支援センター（ホウカツ）の名前は知っているが、業務内容は知らない
6. 高齢者虐待の対応	14. 地域包括支援センター（ホウカツ）の活動の紹介
7. 成年後見制度の紹介	
8. 高齢者による地域貢献やボランティア活動の紹介	

(2) 身近なくらしの情報をどのように入手しますか（いくつでも○）。

1. 区役所・区民事務所・保健所等の窓口・掲示板、チラシ	7. 区ホームページ
2. あだち広報	8. インターネット
3. A-メール（足立区メール配信サービス）	9. 家族
4. 足立区公式LINE	10. 友人・知人
5. 新聞・雑誌	11. 民生・児童委員
6. テレビ・ラジオ	12. 地域包括支援センター
	13. その他（ ）

(3) 成年後見制度（※）についてご存知ですか。また利用を検討したことがありますか（1つに○）。

1. 利用したことがある（している）
2. 内容を知っており、利用を検討したが、費用が高くて利用に至らなかった
3. 内容を知っており、利用を検討したが、費用以外の理由で利用に至らなかった
4. 内容は知っているが、利用は検討したことがない
5. 聞いたことはあるが、内容は知らない
6. 知らない

※ 成年後見制度とは、認知症や知的障がい、精神障がいなどによって財産の管理や契約を自身で十分に行うことが難しい方に対し、本人の権利を守る援助者（成年後見人等）を選ぶ法的に支援する制度です。

(4) 成年後見制度について関心がありますか（1つに○）。

1. ある	2. ない

(5) 任意後見制度（※）についてご存知ですか。また利用を検討したことがありますか（1つに○）。

1. 利用したことがある（している）
2. 内容を知っており、利用を検討したが、費用が高くて利用に至らなかった
3. 内容を知っており、利用を検討したが、費用以外の理由で利用に至らなかった
4. 内容は知っているが、利用は検討したことがない
5. 聞いたことはあるが、内容は知らない
6. 知らない

※ 任意後見制度とは、自分の判断能力が十分なうちに、判断能力が低下したときに備えて、「支援してほしいこと」や「支援をお願いする人」をあらかじめ「契約」で決めておく制度です。

(6) 任意後見制度について関心がありますか（1つに○）。

1. ある
2. ない

(7) 足立区には次のようなサービスがありますが、あなたは現在利用していますか。また利用していない方は、そのサービスをご存知ですか（それぞれ1つに○）。

サービスの種類	利用している（したことがある）	知っているが利用したことはない	知らない
① 日常生活用具の給付 在宅で虚弱な方に外出の支援としてシルバーカーなどを給付	1	2	3
② 高齢者住宅改修給付 日常生活動作が低下した方に、手すりや段差解消等の住宅改修費用を給付	1	2	3
③ 高齢者配食サービス（元氣サポート弁当） 高齢者のみの世帯で食事の用意が困難な方を対象に、1日1食、定価の300円引きでの配食により、バランスの良い栄養摂取と配食時の見守りを実施	1	2	3
④ 高齢者緊急通報システムの設置 慢性疾患等があり、常時注意を要する方の緊急時に本人に代わって警備会社等へ連絡するためのシステムを設置	1	2	3
⑤ 見守りキーホルダー・シールの支給 認知症等による徘徊の恐れのある高齢者や一人での外出に不安のある高齢者に無料で配付	1	2	3
⑥ 訪問理美容サービス 在宅で髪たきり等のため調髪が困難な方に訪問し調髪を行う	1	2	3
⑦ 見守りサービス助成 慢性疾患等があり、常時注意を要する方にセンサー等の設置費用を助成	1	2	3
⑧ あいあいサポート 掃除、買い物、外出の付き添いや電球の取り換え等ちょっとした困りごとを支援	1	2	3

問13 (7) ①～⑧で1つでも「2」と回答した方にお伺いします。

⑨ 利用したことがない理由は何か（1つに○）。

1. 今のところ利用する必要がない
2. 対象の要件を満たしていない
3. 詳しい内容が分からない
4. その他（ ）

(8) 足立区ではひとり暮らし高齢者や高齢者世帯を対象に、「孤立ゼロプロジェクト～絆のあんしんネットワーク～」(近隣同士の見守り活動)の取り組みを実施していますが、ご存知ですか（1つに○）。

1. 取り組み内容を知っている
2. 聞いたことはあるが、取り組み内容は知らない
3. 知らない

(9) 「孤立ゼロプロジェクト～絆のあんしんネットワーク～」(近隣同士の見守り活動)による見守りや声かけを必要と思われませんか（1つに○）。

1. 絆のあんしんネットワークは必要だと思う（利用したいも含む）
2. 絆のあんしんネットワークは必要だと考えているが、他の見守りサービスも必要だと思う（利用したいも含む）
3. 親族や知人と日常的なつきあひがあるので、特に必要としない
4. 私生活に関与した見守りはされたくないため、必要としない
5. その他（ ）

(10) 高齢者保健・福祉事業や介護保険制度について、区へのご要望、ご意見などがありましたら、お聞かせください。

(11) その他、生活の中での困りごとがありましたら、お聞かせください。

—アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。—

3 要介護認定者実態調査

はじめに、調査の回答者についておたずねします

調査票を記入されたのはどなたですか（1つに○）。

1. あて名のご本人が記入

2. ご家族が記入（下記から1つに○）
a. 配偶者 b. 子 c. 子の配偶者 d. 孫 e. 兄弟姉妹 f. 親

3. その他（友人・知人、介護支援専門員 等）

※ 以下の設問について、「あなた」とは封筒の「あて名のご本人」のことを指します。

問1 あなたの基本情報について

(1) あなたは、現在、どちらで生活していますか（1つに○）。

1. 自宅

2. 有料老人ホーム・ケアハウス・グループホームに入居中

3. 病院に入院中

4. 老人保健施設

5. 特別養護老人ホーム

6. 介護医療院

7. その他（ ）

問1(2)へ

問1(1)で「4」～「6」と回答した方にお伺いします。

① 現在の施設に満足していますか（1つに○）。

1. 大いに満足している

2. 満足している

3. 不満がある

4. 大いに不満がある

※ 問1(1)で「4」～「6」と回答した方は、これでアンケートは終了です。
ご協力ありがとうございました。
なお、区へのご意見、ご要望がありましたら、問10(8)にご記入の上、ご返送してください。

(2) あなたの性別について、ご回答ください（1つに○）。

1. 男性

2. 女性

3. 回答したくない

(3) あなたの年齢について、ご回答ください（数字を記入）。

() 歳 ※ 令和7年10月1日現在

(4) あなたのお住まい（住所）について、ご回答ください（数字を記入）。

住所番号 () ※ 「別紙：住所地一覧」から該当の番号を数字で記入

ピンク

要介護認定者実態調査

皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
また、日頃から足立区の高齢者施策にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
本区では、令和8年度に「足立区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の見直しを行います。
今回の調査は、計画の見直しにあたり、高齢者福祉に関する皆さまの考えやご意見をお伺いするものです。いただいたお考えやご意見は、高齢者保健福祉計画策定にあたっての貴重な資料とさせていただきます。
ご多忙のところ、誠に恐縮ではございますが、何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年11月吉日

【ご記入にあたってのお願い】

- この調査の対象者は、令和7年10月1日現在、要介護1～5の認定を受けている方です。
- 回答は宛名ラベルのご本人についてご記入をお願いします。もし、ご本人がご記入などに不都合があるときは、ご家族の方等が代わりにご記入をお願いします。
- 回答にあたっては、質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲んでください。また、必要に応じて、数字やご意見のご記入をお願いします。
- この調査で使う用語の意味は、以下のとおりです。
介護…介護保険のサービスを受けている場合や、認定を受けていない場合でも、常時ご家族などの援助を受けている状態
介助…ご自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態
5 ご記入いただいたアンケートは、12月1日(月)までに同封の返信用封筒にてご返送ください（切手は不要です）。
- この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

※ この調査票は、無記名式となっております。お名前をご記入いただく必要はありません。返信用封筒にも、ご住所、お名前をご記入いただく必要はありません。
※ 本調査で得られた情報については、計画策定等の目的以外には利用いたしません。また、当該情報は足立区が適切に管理し、お答えいただいた個人のお考えが公表されることはありません。

【お問い合わせ先】

お問い合わせコール あだち
03-3880-0039（受付時間：午前8時～午後8時/1月1日から1月3日を除く毎日）

【調査主体】

足立区 福祉部 高齢者施策推進室 介護保険課

559

(5) あなたが最後に卒業（または中退）した学校について、ご回答ください（1つに○）。

1. 小学校・中学校	3. 専門学校	5. 大学・大学院
2. 高等学校	4. 高等専門学校・短期大学	6. その他（ ）

(6) あなたの現在の要介護度はどれですか（1つに○）。

1. 要支援1	4. 要介護2	7. 要介護5
2. 要支援2	5. 要介護3	
3. 要介護1	6. 要介護4	

(7) 3年前と比べて、介護度はどうなりましたか（1つに○）。

1. 軽くなった	4. 3年前は要介護認定を受けていなかった
2. 変わらない	5. わからない
3. 重くなった	

問2 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください（1つに○）。

1. 1人暮らし	問2 (2) へ
2. 夫婦2人暮らし（配偶者 65歳以上）	
3. 夫婦2人暮らし（配偶者 64歳以下）	
4. 息子・娘との2世帯	
5. その他	

問2 (1) で「5」と回答した方にお伺いします。

① あなたと一緒に住まいのご家族はどなたですか（いくつでも○）。

1. 配偶者	5. 兄弟・姉妹
2. 子	6. 親
3. 子の配偶者	7. その他（ ）
4. 孫	

(2) 主にどなたの介護、介助を受けていますか（いくつでも○）。

1. 配偶者（夫・妻）	4. 子の配偶者	7. 介護サービスのヘルパー
2. 息子	5. 孫	8. その他（ ）
3. 娘	6. 兄弟・姉妹	

(3) あなたの現在の年間収入はどのくらいですか（1つに○）。

1. 50万円未満	4. 150～200万円未満	7. 700～1,000万円未満
2. 50～100万円未満	5. 200～400万円未満	8. 1,000万円以上
3. 100～150万円未満	6. 400～700万円未満	

(4) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（1つに○）。

1. 大変苦しい	4. ややゆとりがある
2. やや苦しい	5. 大変ゆとりがある
3. ぶつう	

問3 食べることにについて

(1) 身長・体重を教えてください（数字を記入）。

身長	cm	体重	kg

(2) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか（1つに○）。

1. はい	2. いいえ

(3) 食事は1日何回食べますか（1つに○）。

1. 1回	2. 2回	3. 3回	4. 4回以上
問3 (4) へ			

問3 (3) で「1」「2」と回答した方にお伺いします。

① 食事を1日3回食べない理由は何ですか（いくつでも○）。

1. 空腹にならない	5. ダイエットをしている
2. 経済的に苦しい	6. 食べる必要性を感じない
3. 食事の準備ができない	7. その他（ ）
4. 食べる時間がない	8. 特に理由はない

(4) たんぱく質を多く含む食品（肉・魚・卵・大豆製品の1種類以上）をどのくらいの頻度で食べていますか（1つに○）。

1. 1日3回以上	4. 週に数回
2. 1日2回	5. ほとんど食べていない
3. 1日1回	6. 意識していないのでわからない

※ 身体機能の維持・向上のためには、低栄養（たんぱく質等の栄養不足による体重、筋量の低下）を予防・改善することが重要です。

問4 毎日の生活について

(1) 趣味はありますか（1つに○）。

1. 趣味あり	2. 思いつかない	問4 (2) へ

問4 (1) ①へ

問4（1）で「1」と回答した方にお伺いします。

① どのようなことを趣味にしていますか（いくつでも○）。

1. テレビ・ラジオの視聴

2. 読書

3. 映画鑑賞

4. 美術鑑賞

5. 音楽鑑賞

6. 演劇鑑賞

7. スポーツ観戦

8. ウォーキング（山登り等）

9. 体力づくり

10. スポーツ

11. カラオケ

12. ゲーム（将棋、麻雀等）

13. 手芸等文化的な取組

14. 園芸

15. カメラ

16. 旅行

17. その他（ ）

（2）生きがいがありますか（1つに○）。

1. 生きがいあり

2. 思いつかない

問4（3）へ

問4（2）で「1」と回答した方にお伺いします。

① どのようなことに生きがいを感じますか（いくつでも○）。

1. 家族との日常生活

2. 友人・知人との交流

3. 外出

4. 就労

5. 地域貢献活動

6. NPO法人等の団体活動

7. 趣味やスポーツ活動

8. 学び・勉強

9. 飲食

10. テレビを見ているとき

11. インターネットを行っているとき

12. ゲームを行っているとき

13. その他（ ）

（3）消費者被害にあったときの相談先として「足立区消費者センター」があります
が、ご存知ですか（1つに○）。

1. 知っている

2. 知らない

問5 たすけあいについて
あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお伺いします。

（1）あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいいますか（いくつでも○）。

1. 配偶者

2. 同居の子ども

3. 別居の子ども

4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫

5. 近隣

6. 友人

7. その他（ ）

8. そのような人はいない

（2）地域とのつながり（近隣者等による声掛けや地域住民との交流会への参加等）は
ありますか（1つに○）。

1. 週に1回以上ある

2. 月に2～3回はある

3. 月に1回はある

4. 年に数える程度はある

5. ない

（3）3年前の2022年と比べて、地域とのつながりの回数は変わりましたか
（1つに○）。

1. 増えた

2. 変わらない

3. 減った

問6 健康について

（1）あなたは、現在の程度幸せですか（当てはまる点数1つに○）。

（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください。）

とても不幸

0点

1点

2点

3点

4点

5点

6点

7点

8点

9点

10点

とても幸せ

（2）現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（いくつでも○）。

1. ない

2. 高血圧

3. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）

4. 心臓病

5. 糖尿病

6. 高脂血症（脂質異常）

7. 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）

8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気

9. 腎臓・前立腺の病気

10. 筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）

11. 外傷（転倒・骨折等）

12. がん（悪性新生物）

13. 血液・免疫の病気

14. うつ病

15. 認知症（アルツハイマー病等）

16. パーキンソン病

17. 目の病気

18. 耳の病気

19. その他（ ）

（3）あなたは現在、通院や訪問診療（往診含む）を受けていますか（1つに○）。

1. 通院のみ

2. 通院と訪問診療（往診含む）の両方を受けている

3. 訪問診療（往診含む）のみ

4. 通院も訪問診療（往診含む）も受けていない

問6（3）で「1」～「3」と回答した方にお伺いします。

① あなたは、医療機関（病院・医院・診療所）に、どのくらいの頻度で通院や訪問診療（往診含む）を受けていますか（1つに○）。

1. 週2回以上

2. 週1回程度

3. 月2回程度

4. 月1回程度

5. 数か月に1回程度

6. 定期的ではない

561

5

4

問6 (3) で「1」「2」と回答した方にお伺いします。

② 通院で受診している診療科目は何ですか（いくつでも○）。

1. 内科	4. 整形外科	7. 皮膚科	10. その他（ ）
2. 外科	5. 歯科	8. 耳鼻咽喉科	
3. 循環器科	6. 眼科	9. 神経内科	

③ 通院に介助が必要ですか（1つに○）。

1. はい（通院に介助が必要）	2. いいえ

問6 (3) で「2」「3」と回答した方にお伺いします。

④ 訪問診療（往診含む）で受診しているものは、どのような内容ですか（いくつでも○）。

1. 点滴	7. 気管切開の処置
2. 経管栄養（胃ろう等）	8. インスリン注射
3. 酸素療法	9. 痛みに対する管理（注射、湿布、薬等）
4. じょくそう（床ずれ）の処置	10. 歯科診療（入れ歯、口腔ケア等）
5. 人工呼吸器	11. その他（ ）
6. 導尿の管理（カテーテル、自己）	

(4) 「在宅療養」とは、通院が困難な場合などでも、訪問型の医療や介護サービスを利用しながら、住み慣れたご自宅や地域（在宅施設）で暮らし続けることです。あなたは、「在宅療養」について元々ご存知でしたか（1つに○）。

1. 知っており、内容も理解している	3. 聞いたことがなく、内容も知らない
2. 聞いたことはあるが、内容は知らない	

(5) あなたが在宅療養を利用する場合に、不安に思うことは何ですか（いくつでも○）。

1. 訪問診療の体制	4. 急変時（看取り）の対応
2. 療養にかかる費用	5. 不安はない
3. 家族の負担	6. その他（ ）

問7 将来の生活について

(1) あなたは、将来の生活についてどのように感じていますか（1つに○）。

1. とても不安を感じる	3. どちらとも言えない
2. 少し不安を感じる	4. あまり不安は感じない
	5. 不安は感じない

問7 (1) ○へ

問7 (2) へ

問7 (1) で「1」「2」と回答した方にお伺いします。

① どのようなことに不安を感じていますか（いくつでも○）。また、どのようなことに最も不安を感じていますか（1つに○）。

	不安を感じること（いくつでも○）	最も不安を感じること（1つに○）
① 自分や配偶者の健康のこと	1	1
② 自分や配偶者が、介護が必要な状態（寝たきりなど）になること	2	2
③ 頼れる人や面倒をみてくれる人がいないこと	3	3
④ 相談相手や話し相手がいないこと	4	4
⑤ 生活費など収入のこと	5	5
⑥ 住まいのこと	6	6
⑦ 金銭管理や財産保全に関すること	7	7
⑧ ペットの継続飼育が難しく、引き取り先がないこと	8	8
⑨ その他（ ）	9	9

(2) あなたは人生の最期について、どなたかに相談したことはありますか（いくつでも○）。

1. 家族	6. その他医療関係者
2. ケアマネジャー	7. 地域包括支援センター等の相談員
3. 介護職員	8. 相談したことはない
4. 主治医	9. 相談相手がいない
5. 看護師	10. その他（ ）

(3) あなたは、今後も在宅生活を続けるために何が必要だと思いますか。① ご自身について（いくつでも○）

1. 健康状態や身体機能を維持・向上させること
2. 適切な介護サービスを受けられること
3. 介護事業所と医療機関が連携すること
4. 生活上の心配や不安が少なくなること
5. その他（ ）

② 介護している家族の方について（いくつでも○）

1. 健康状態を維持・回復できること	5. 介護方法に関する知識・技術の向上
2. 医師の訪問が受けられること	6. 悩みを語りあえる介護家族の会があること
3. 精神的な介護負担が軽くなること	7. 必要ときに介護サービスを受けられること
4. 身体的な介護負担が軽くなること	8. その他（ ）

問8 介護について

(1) あなたは、現在介護サービスを利用していますか（1つに○）。

1. 利用している → 2. 利用していない → 問8 (1) ⑦へ

問8 (1) で「1」と回答した方にお伺いします。

① 介護サービスの自己負担額(サービス利用料の1割、2割または3割)について、
あなたのご意見をお願いします(1つに○)。

1. おおむね妥当な金額である
2. サービス利用のためにはやむをえない金額である
3. 負担に感じる金額である
4. よくわからない

② あなたは、担当の介護支援専門員（ケアマネジャー）を、どのように選びましたか（いくつでも○）。

1. 知人・親族に紹介された
2. 区の事業者リストを見た
3. 地域包括支援センター等の窓口で紹介された
4. 自宅に営業にきた
5. テレビのCMや新聞・雑誌の広告等で見た
6. 以前から（介護支援専門員の所属する）事業所を利用していた
7. その他（ ）

③ あなたは、担当している介護支援専門員（ケアマネジャー）に満足していますが（1つに○）。

1. 満足している 2. 満足していない 3. どちらともいえない

問8 (1) ⑤へ

問8 (1) ⑤へ

問題8 (1) ③で「2」と回答した方にお伺いします。

④ 満足していない点は、どのようなことですか（いくつでも○）。

1. 十分な説明をしない
2. 本人や家族の意向を聞かない
3. 相談時間や訪問回数などが少ない
4. ケアプラン作成までに時間がかかる
5. ケアプランの変更になかなか応じない
6. 特定の事業者を強引にすすめる
7. 態度やマナーが悪い
8. 知識や情報量が少ない
9. その他（ ）

問8 (1) で「1」と回答した方にお伺いします。

⑤ あなたは、現在利用しているサービスに満足していますか。総合的な満足度を教えてください（1つに○）。

1. 満足している 2. 満足していない 3. どちらともいえない

⑥ 現在利用している介護保険サービスは次のうちどれですか（いくつでも○）。
また、利用している介護保険サービスごとの満足度を教えてください（1つに○）。
（「満足していない」に○を付けた方は、その理由もご記入ください。）

サービスの種類	利用している	→	満足している		満足していない理由	
			満足している	満足していない	満足している	満足していない理由
1. 訪問介護 (ホームヘルプサービス)	1	→	1	2	3	
2. 訪問入浴介護	1	→	1	2	3	
3. 訪問看護	1	→	1	2	3	
4. 訪問リハビリテーション	1	→	1	2	3	
5. 居宅療養管理指導 (医師・歯科 医師・薬剤師等による療養上の指導)	1	→	1	2	3	
6. 通所介護 (デイサービス)	1	→	1	2	3	
7. 通所リハビリテーション (デイケア)	1	→	1	2	3	
8. 短期入所生活介護・短期入所 療養介護 (ショートステイ)	1	→	1	2	3	
9. 特定施設入居者生活介護 (有料 老人ホーム等でのサービス)	1	→	1	2	3	
10. 福祉用具の貸与・購入	1	→	1	2	3	
11. 住宅改修	1	→	1	2	3	
12. 定期巡回・随時対応型訪問介護 看護	1	→	1	2	3	
13. 夜間対応型訪問介護	1	→	1	2	3	
14. 認知症対応型通所介護	1	→	1	2	3	
15. 小規模多機能型居宅介護	1	→	1	2	3	
16. 認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	1	→	1	2	3	
17. 看護小規模多機能型居宅介護	1	→	1	2	3	
18. その他 ()	1	→	1	2	3	

問8 (1) で「2」と回答した方にお伺いします。

⑦ 介護サービスを利用していない理由を、お聞かせください（いくつでも○）。

1. 家族が介護している	6. 利用の手続きがわからない
2. 病院に入院している	7. 他人とかかわりたくない
3. 利用料負担がでない	8. 外出したくない
4. 介護を必要としていない	9. 特別養護老人ホームの空きを待っている
5. 事業者に家に入って欲しくない	10. その他（ ）

(2) あなたは、介護サービス対象外の以下のようなサービスを今後利用したいと思
いますか（いくつでも○）。

1. 相談・話し相手の訪問サービス
2. 夜間の訪問看護
3. 入浴のみの短時間の通所サービス
4. 食事のみの短時間の通所サービス
5. リハビリのみの短時間の通所サービス
6. 医療対応の必要な人も利用できる通所サービス
7. 歯科・眼科・神経内科・精神科などの訪問診療
8. 部屋や庭の掃除など、ちょっとした家事サービス
9. 訪問理美容
10. 通院や買い物などの送迎
11. その他（具体的に： ）
12. 特になし
13. 経済的に利用できない
14. わからない

(3) 今後どのような介護を希望しますか（1つに○）。

1. 介護サービスを利用しないで、自宅で家族に介護してもらいたい
2. 介護サービスを利用しながら、自宅で生活したい
3. 特別養護老人ホームなど介護保険施設等に入りたい
4. サービス付き高齢者向け住宅や住宅型有料老人ホームで生活したい
5. その他（ ）

問8 (4) へ

問8 (3) ③へ

問8 (3) ①へ

問8 (3) で「2」と回答した方にお伺いします。

① あなたが安心して在宅生活を続けていくために必要なサービスはどれですか（いくつでも○）。

1. 24時間対応の訪問介護や緊急時の訪問介護	7. 緊急時など必要な時に泊まれる施設
2. 医師や看護師の訪問	8. 地域での見守り
3. 病院などへの移送の介助	9. ボランティアによる支援
4. 在宅介護のための住宅改修	10. リハビリができる通所サービス
5. 配食サービス等の生活支援サービス	11. 車いす等の福祉用具の貸出
6. 契約や財産管理の手続きの支援	12. その他（ ）

② 地域密着型サービスは、高齢者が中重度の要介護状態となっても、可能な限り住み慣れた自宅または地域で生活を継続できるようにするためのサービスです。あなたは次のようなサービスを利用したいと思いますか（それぞれ1つに○）。

サービス内容	利用したい	利用したくない	わからない
① 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 定期巡回と随時対応による訪問介護と訪問看護を24時間いつでも受けることのできるサービス	1	2	3
② 夜間対応型訪問介護 24時間安心して居宅での生活が送れるようになるための、定期的な巡回や通報システムによる夜間専用の訪問介護サービス	1	2	3
③ 認知症対応型通所介護 認知症の人を対象に専門的なケアを提供する通所介護	1	2	3
④ 小規模多機能型居宅介護 通所介護（デイサービス）を中心に、利用者の様態や希望に応じて、随時「訪問介護」や「短期入所（ショートステイ）」を組み合わせた介護サービス	1	2	3
⑤ 看護小規模多機能型居宅介護 訪問看護と小規模多機能型居宅介護との組合せなど、複数の居宅サービスや地域密着型サービスを組み合わせて提供されるサービス	1	2	3

問8 (3) で「3」と回答した方にお伺いします。

③ 介護を受けられる施設には、次のような施設がありますが、あなたはどのような施設等を望んでいますか（1つに○）。

施設の種類	サービスの内容	利用したい番号に○
① 介護老人福祉施設 （特別養護老人ホーム） 月額費用 個室：約10.5万円～13.7万円 多居室：約9.5万円～10.0万円	常に介護が必要で自宅で介護が困難な人のための施設です。 （要介護3～5が対象）	1 個室
		2 多居室
② 介護老人保健施設 （老人保健施設） 月額費用：約8.3万円～13.9万円	病状が安定し、治療よりは看護や介護に重点を置いたケアが必要な人のための施設です。 （要介護1～5が対象）	3
③ 介護医療院 月額費用：約8.4万円～15.1万円	長期療養を必要とする人のための施設です。 医療や看護、介護等が受けられます。 （要介護1～5が対象）	4
④ 認知症対応型共同生活介護 （グループホーム） 月額費用：約11.3万円～21.6万円	認知症の方が共同で生活しながら、食事・入浴などの介護や支援、機能訓練が受けられます。 （要支援2、要介護1～5が対象）	5
⑤ 特定施設入居者生活介護 （有料老人ホーム等） 月額費用：約12.0万円～45.6万円	入浴や食事、介護など日常生活に必要なサービスが受けられます。	6
⑥ 軽費老人ホーム （ケアハウス） 月額費用：約2.9万円～24.7万円	自立した生活が継続できるように、食事や必要最低限の介助を提供する住まいです。	7

※ 費用は、自己負担1割の場合の目安です。日常生活費（理美容など）は含まれません。
※ ⑤⑥の月額費用は、施設ごとに異なります。また、入居時に一時金が必要な場合があります。

（4）介護サービスに関して、国では外国人材の活用が推進されていますが、どのようなと考えていますか（1つに○）。

1. 人材不足解消のために、積極的に活用してほしい

2. 意思疎通に問題ない語学レベルであれば、活用してほしい

3. 施設サービスの職員でいるのは問題ないが、訪問サービスには抵抗がある

4. 受け入れには消極的

5. わからない

問9 認知症について

（1）認知症サポーター（※）をご存知ですか（1つに○）。

1. 知っている	2. 聞いたことはあるが、内容は知らない	3. 知らない

※ 認知症サポーターとは、認知症に関する正しい知識と理解を持ち、地域や職場で認知症の人やそのご家族を支援する人のことをいいます。

（2）認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか（1つに○）。

1. はい	2. いいえ

（3）認知症に関する相談窓口を知っていますか（1つに○）。

1. はい	2. いいえ

※ 足立区では地域包括支援センター（ホウカツ）が健康や介護・もの忘れに関する相談窓口です。

（4）将来、あなたが認知症になったら、周囲（家族や友人など）に公表しますか（1つに○）。

1. はい	2. いいえ

（5）将来、あなたが認知症になったら、どこで暮らしたいですか（1つに○）。

1. 自宅や親族の家など	2. 認知症の人が数人で暮らせる、家庭的な施設（グループホーム）
3. 介護保険施設（特別養護老人ホームなど）	4. 高齢者向け住宅（有料老人ホームなど）
5. 病院などの医療機関	6. わからない

(6) 認知症に関する以下のことに関して、あなたはどのように感じたり、思ったりしていますか（それぞれ1つに○）。

	思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
① 認知症は誰もがなり得ると思いませんか	1	2	3	4
② 認知症になったら何もわからなくなると思いませんか	1	2	3	4
③ 認知症になったら何もできなくなると思いませんか	1	2	3	4
④ あなたが暮らす地域では、地域生活の様々な場面において、認知症の人の意思が尊重されていると思いませんか	1	2	3	4
⑤ あなたが暮らす地域では、認知症の人が自分らしく暮らせると思いませんか	1	2	3	4

問10 高齢者福祉サービスや高齢者施策について

(1) 介護保険制度をはじめとする、色んな高齢者制度の内容やサービスについて、あなたが相談しているところをお教えください（いくつでも○）。

1. 区役所	6. 保健所
2. ケアマネジャー	7. ヘルパーなどのサービス事業所
3. 地域包括支援センター	8. その他（ ）
4. 民生・児童委員	9. 特になし
5. かかりつけの医師	

(2) 成年後見制度（※）についてご存知ですか。また利用を検討したことがありますか（1つに○）。

1. 利用したことがある（している）
2. 内容を知っており、利用を検討したが、費用が高くて利用に至らなかった
3. 内容を知っており、利用を検討したが、費用以外の理由で利用に至らなかった
4. 内容は知っているが、利用は検討したことがない
5. 聞いたことはあるが、内容は知らない
6. 知らない

※ 成年後見制度とは、認知症や知的障がい、精神障がいなどによって財産の管理や契約を自身で十分に行うことが難しい方に対し、本人の権利を守る援助者（成年後見人等）を選び法的に支援する制度です。

(3) 成年後見制度について関心がありますか（1つに○）。

1. ある	2. ない

(4) 任意後見制度（※）についてご存知ですか。また利用を検討したことがありますか（1つに○）。

1. 利用したことがある（している）
2. 内容を知っており、利用を検討したが、費用が高くて利用に至らなかった
3. 内容を知っており、利用を検討したが、費用以外の理由で利用に至らなかった
4. 内容は知っているが、利用は検討したことがない
5. 聞いたことはあるが、内容は知らない
6. 知らない

※ 任意後見制度とは、自分の判断能力が十分なうちに、判断能力が低下したときに備えて、「支援してほしいこと」や「支援をお願いする人」をあらかじめ「契約」で決めておく制度です。

(5) 任意後見制度について関心がありますか（1つに○）。

1. ある	2. ない

(6) 足立区ではひとり暮らし高齢者や高齢者世帯を対象に、「孤立ゼロプロジェクト～絆のあんしんネットワーク～」（近隣同士の見守り活動）の取り組みを実施していますが、ご存知ですか（1つに○）。

1. 取り組み内容を知っている
2. 聞いたことはあるが、取り組み内容は知らない
3. 知らない

(7) 「孤立ゼロプロジェクト～絆のあんしんネットワーク～」（近隣同士の見守り活動）による見守りや声かけを必要と思われますか（1つに○）。

1. 絆のあんしんネットワークは必要だと思う（利用したいも含む）
2. 絆のあんしんネットワークは必要だと考えているが、他の見守りサービスも必要だと思う（利用したいも含む）
3. 親族や知人と日常的なつきあいがあるので、特に必要としない
4. 私生活に関与した見守りはされたくないため、必要としない
5. その他（ ）

(8) 高齢者保健・福祉事業や介護保険制度について、区へのご要望、ご意見などがありましたら、お聞かせください。

ここからは、あなたを主に介護している方（以下、「介護者」といいます。）が可能な範囲でお答えください。

問 11 主な介護者について

(1) 介護者の性別について、ご回答ください（1つに○）。

1. 男性	2. 女性	3. 回答したくない

(2) 介護者の年齢について、ご回答ください（数字を記入）。

() 歳	※ 令和7年10月1日現在

(3) 介護者は、あて名のご本人から見ても、どのようなご関係ですか（1つに○）。

1. 配偶者	4. 孫	7. 友人・知人
2. 子	5. 兄弟姉妹	8. 介護サービス従事者
3. 子の配偶者	6. 親	9. その他 ()

(4) 介護者の方から見ても、あて名のご本人にあてはまるものはありますか（1つに○）。

1. 多少の物忘れはあるが、日常生活は家庭内及び社会的に自立している
2. 日常生活に支障をきたすような症状・行動（たびたび道に迷う、買い物や金銭管理など今までできたことにミスが目立つなど）や意思疎通の困難さが多少あっても、ほぼ自立している
3. 日常生活に支障をきたすような症状・行動（徘徊・失禁・失禁・火の不始末・不潔行為等）や意思疎通の困難さがときどきあり、介護が必要である
4. 日常生活に支障をきたすような症状・行動（徘徊・失禁・火の不始末・不潔行為等）や意思疎通の困難さが頻繁にあり、常に介護が必要である
5. 著しい精神症状（妄想・興奮・自傷など）あるいは重篤な身体疾患があり、専門医療が必要である
6. 上記1～5のいずれもあてはまらない

(5) 在宅での介護について、介護者の方が困ったり、負担に感じていることはありますか（いくつでも○）。

本人との意思疎通等について	1. 現在の状況を理解してもらったことが難しい 2. 本人の言動が理解できないことがある 3. 受診を勧めても同意してもらえない 4. 本人が自分の症状を正確に理解していない 5. 来客者に気を遣う
介護の仕方について	6. 適切な介護方法がわからない 7. 症状への対応方法がわからない 8. 徘徊するため目が離せない 9. 介護を協力してもらえない 10. 介護について、誰に、どのように相談すればよいかわからない 11. 日中、本人だけの時間があることに不安を感じる 12. 介護を家族の他の人に任せてよいかわからない 13. 介護の方針について、家族・親戚との意見が合わない 14. 介護することに対して、周囲の理解が得られない
サービス利用について	15. サービスを思うように利用できない、サービスが足りない 16. サービスを利用したら本人の状態が悪化した（ことがある） 17. サービス事業者との関係がうまくいかない 18. ケアマネジャーとの関係がうまくいかない
介護者ご自身のことについて	19. 自分の用事・都合をすませることができない 20. 身体的につらい（腰痛や肩こりなど） 21. 精神的なストレスがたまっている 22. 睡眠時間が不規則になり、健康状態がおもわしくない 23. 自分の自由になる時間が持てない 24. 先々のことを考える余裕がない 25. 経済的につらいと感じるときがある 26. その他 () 27. 特に困っていることはない

(6) 主な介護者の方は、日常生活や健康のことで困った時、どなたに協力を頼んだり、相談されたりしますか（いくつでも○）。

1. 家族・親族	6. 地域包括支援センター
2. 友人・知人	7. 区役所
3. 民生委員	8. その他 ()
4. 医師、医療機関	9. 相談をする相手がいらない
5. ケアマネジャー	

(7) 主な介護者の方は現在、要介護認定を受けていますか（1つに○）。

1. 受けていない	5. 受けている（要介護2）
2. 受けている（要支援1）	6. 受けている（要介護3）
3. 受けている（要支援2）	7. 受けている（要介護4）
4. 受けている（要介護1）	8. 受けている（要介護5）

(8) 現在の主な介護者の方の健康状態はいかがですか（1つに○）。

1. とてもよい	3. あまりよくない
2. まあよい	4. よくない

(9) 主な介護者の方について、現在治療中、または後遺症のある病気がありますか（いくつでも○）。

1. ない	11. 外傷（転倒・骨折等）
2. 高血圧	12. がん（悪性新生物）
3. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	13. 血液・免疫の病気
4. 心臓病	14. うつ病
5. 糖尿病	15. 認知症（アルツハイマー病等）
6. 高脂血症（脂質異常）	16. パーキンソン病
7. 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	17. 目の病気
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	18. 耳の病気
9. 腎臓・前立腺の病気	19. その他（
10. 筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）	）

—アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。—

4 在宅介護実態調査

在宅介護実態調査

皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
また、日頃から足立区の高齢者施策にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
本区では、令和8年度に「足立区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の見直しを行うにあたり、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」や「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討するために調査を行うこととなりましたので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

令和7年9月吉日

【ご記入にあたってのお願い】

- この調査の対象者は、在宅で生活している要支援・要介護のうち、調査期間中に「要支援・要介護認定の更新申請・区分変更申請」をしている方が対象となります。
- 回答は概況調査等の対象であるご本人についてご記入をお願いします。
- 回答にあたっては、該当する番号を○で囲んでください。また、必要に応じて、数字やご意見のご記入をお願いします。

※ この調査票は、被保険者番号で紐づける調査となっております。被保険者番号は忘れずに記載をお願いします。

※ 調査結果は、統計的に処理します。お答えいただいた個人のお考えが公表されることはありません。

【お問い合わせ先・調査主体】

足立区 高齢者施策推進室 介護保険課 介護保険係
03-3880-5887（直通）（受付時間：土・日・祝日を除く午前8時30分～午後5時）

被保険者番号 []

【A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか】（いくつでも○）

1. 調査対象者本人	4. 調査対象者のケアマネジャー
2. 主な介護者となっている家族・親族	5. その他（ ）
3. 主な介護者以外の家族・親族	

A票 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

問1 世帯類型について、ご回答ください（1つに○）。

1. 単身世帯	2. 夫婦のみ世帯	3. その他（ ）

問2 住まいについて、ご回答ください（1つに○）。

1. 住宅型有料老人ホーム	3. （1及び2を除く）自宅
2. サービス付き高齢者向け住宅（特定施設でない）	

問3 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つに○）。

- | |
|---------------------------|
| 1. ない |
| 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない |
| 3. 週に1～2日ある |
| 4. 週に3～4日ある |
| 5. ほぼ毎日ある |

問4～問21へ

問9（P.2）へ

問3で「2」～「5」を回答した場合は、問4～問21も調査してください。

問4 主な介護者の方は、どなたですか（1つに○）。

1. 配偶者	3. 子の配偶者	5. 兄弟・姉妹
2. 子	4. 孫	6. その他（ ）

問5 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つに○）。

1. 男性	2. 女性	3. 回答しにくい

問 10 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（いくつでも○）。

1. 配食	7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等）
2. 調理	8. 見守り、声かけ
3. 掃除・洗濯	9. サロンなどの定期的な通いの場
4. 買い物（宅配は含まない）	10. その他（ ）
5. ゴミ出し	11. 特になし
6. 外出同行（通院、買い物など）	

※ 介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスにも含みます。

問 11 現時点で、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つに○）。

1. 入所・入居は検討していない	2. 入所・入居を検討している
	3. すでに入所・入居申し込みをしている

問 12 入 入所・入居を検討していない理由は何ですか（1つに○）。

1. 施設の利用料金が高い 2. 本人・家族が希望しない 3. 在宅サービスで介護が可能

問 13 入所・入居を希望する場合、どのような居室を希望しますか（1つに○）。

1. 個室 2. 多居室（4人部屋など）

問 14 月額利用料はどのくらいを希望していますか（1つに○）。

1. 10万円未満	2. 10～20万円程度	3. 20～30万円程度

問 6 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つに○）。

1. 20歳未満	4. 40代	6. 60歳～64歳	8. 70代
2. 20代	5. 50代	7. 65歳～69歳	9. 80歳以上
3. 30代		10. わからない	

問 7 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（いくつでも○）。

身体介護	1. 日中の排泄 2. 夜間の排泄 3. 食事の介助（食べる時） 4. 入浴・洗身 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） 6. 衣服の着脱	7. 屋内の移乗・移動 8. 外出の付き添い、送迎等 9. 服薬 10. 認知症への対応 11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）
生活援助	12. 食事の準備（調理等） 13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等） 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き	
その他	15. その他（ ） 16. わからない	

問 8 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（いくつでも○）。

1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

ここから再び、全員に調査してください。

問 9 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（いくつでも○）。

1. 配食	7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等）
2. 調理	8. 見守り、声かけ
3. 掃除・洗濯	9. サロンなどの定期的な通いの場
4. 買い物（宅配は含まない）	10. その他（ ）
5. ゴミ出し	11. 利用していない
6. 外出同行（通院、買い物など）	

※ 総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

ここから再び、全員に調査してください。

問 15 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（いくつでも○）。

1. 脳血管疾患（脳卒中）

2. 心疾患（心臓病）

3. 悪性新生物（がん）

4. 呼吸器疾患

5. 腎疾患（透析）

6. 筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）

7. 膠原病（関節リウマチ含む）

8. 変形性関節疾患

9. 認知症

10. パーキンソン病

11. 難病（パーキンソン病を除く）

12. 糖尿病

13. 眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）

14. その他（ ）

15. なし

16. わからない

問 16 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（1つに○）。

1. 利用している

2. 利用していない

※ 訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

問 17 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか（1つに○）。

1. 利用している

2. 利用していない

問 19（P. 5）へ

問 17で「2」を回答した場合は、問 18 も調査してください。

問 18 介護保険サービスを利用していない理由は何か（いくつでも○）。

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない

2. 本人にサービス利用の希望がない

3. 家族が介護をするため必要ない

4. 以前、利用していたサービスに不満があった

5. 利用料を支払うのが難しい

6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない

7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため

8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない

9. 他人が家に入ってくるのが嫌だから

10. 病院など（診療所）に入院しているため

11. 介護保険以外のサービスを利用しているため

12. できるだけ他人の世話になりにくいたため

13. その他（ ）

- 4 -

ここから再び、全員に調査してください。

問 19 ご本人（認定調査対象者）は、認知症に関する相談窓口を知っていますか（1つに○）。

1. はい

2. いいえ

問 20 将来、ご本人（認定調査対象者）が認知症になったらしたら、周囲（家族や友人など）に公表しますか（すでに認知症と診断されている方は公表していますか）（1つに○）。

1. はい

2. いいえ

問 21 将来、ご本人（認定調査対象者）が認知症になったらしたら、どこで暮らしたいですか（すでに認知症と診断されている方は将来どこで暮らしたいですか）（1つに○）。

1. 自宅や親族の家など

2. 認知症の人が数人で暮らせる、家庭的な施設（グループホーム）

3. 介護保険施設（特別養護老人ホームなど）

4. 高齢者向け住宅（有料老人ホームなど）

5. 病院などの医療機関

6. わからない

※ 問 3で「2」～「5」を回答し、さらに「主な介護者」が調査に同席している場合は、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いしてください。

※ 「主な介護者」の方が同席されていない場合は、ご本人（調査対象者の方）にご回答・ご記入をお願いしてください（ご本人にご回答・ご記入をお願いすることが困難な場合は、無回答で結構です）。

- 5 -

571

問4 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか(1つに○)。

1. 問題なく、続けていける

4. 続けていくのは、かなり難しい

2. 問題はあるが、何とか続けていける

5. 主な介護者に確認しないと、わからない

3. 続けていくのは、やや難しい

ここから再び、全員の方にお伺いします。

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください (現状で行っているか否かは問いません) (3つまで○)。

身体介護	1. 日中の排泄 2. 夜間の排泄 3. 食事の介助 (食べる時) 4. 入浴・洗身 5. 身だしなみ (洗顔・歯磨き等) 6. 衣服の着脱	7. 屋内の移乗・移動 8. 外出の付き添い、送迎等 9. 服薬 10. 認知症状への対応 11. 医療面での対応 (経管栄養、ストーマ等)
生活援助	12. 食事の準備 (調理等) 13. その他の家事 (掃除、洗濯、買い物 等) 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き	
その他	15. その他 () 16. 不安に感じていることは、特にな 17. 主な介護者に確認しないと、わからない	

—アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。—

B票 主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目

※ 主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入 (調査票の該当する番号に○)をお願い致します。

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください (1つに○)。

1. フルタイムで働いている	3. 働いていない
2. パートタイムで働いている	4. 主な介護者に確認しないと、わからない

問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をして
いますか (いくつでも○)。

※ 「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問1で「1」「2」と回答した方にお伺いします。

問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をして
いますか (いくつでも○)。

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整 (残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇 (年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問3 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか (3つまで○)。

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
3. 制度を利用しやすい職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択 (フレックスタイム制など)
5. 働く場所の多様化 (在宅勤務・テレワークなど)
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経済的な支援
9. その他 ()
10. 特にな
11. 主な介護者に確認しないと、わからない

5 第2号被保険者調査

第2号被保険者調査		
必須 問1（3） あなたのお住まい（住所）について、ご回答ください。（1つを選択）	{ 10 % / 100% }	
▼▼▼選択して下さい▼▼▼		
必須 問2（1） 家族構成をお答えください。（1つを選択）		
必須 問1（4） あなたの定年までの居住年数は何年ですか。（1つを選択） ※ 足立区を離れてここがもう家白でも通算してお答えください		{ 13 % / 100% }
1年未満 ☐ 1年以上～5年未満 ☐ 5年以上～10年未満 ☐ 10年以上～15年未満 ☐ 15年以上～20年未満 ☐ 20年以上 ☐ わからない		
必須 問2（1） 家族構成をお答えください。（1つを選択）		{ 15 % / 100% }
1人暮らし ☐ 夫婦2人暮らし（配偶者が65歳以上） ☐ 夫婦2人暮らし（配偶者が64歳以下） ☐ 親子・娘との2世帯 ☐ その他		

第2号候補者調査

第2号候補者調査

はしめにお読みください。

■アンケートの回答には、ブラウザのJavaScriptの設定を有効にする必要があります。
 ・Internet Explorer 10以降
 ・Microsoft Windows 10以降
 ・Google Chrome 最新版
 ・Mozilla Firefox 最新版
 ・Safari 最新版
 ※上記以外のOS・ブラウザでは、正常に動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

下記のお好きな順番の順に「複数」ボタンが表示されない場合は、JavaScriptがOFFになっているか、
 お試しですが、お好みの設定でブラウザタイプを確認してください。ページの更新(F5キー)をお試しま
 す。

※ 上記以外の OS・ブラウザ では、正常に動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

- Microsoft Edge 最新版
- Google Chrome 最新版
- Mozilla Firefox 最新版
- Safari 最新版
- Android 最新版

性別 問1(1) .
 あなたの性別について、ご回答ください。(1つを選択)

男性 ☐ 女性 ☐
 回答したくない ☐

年齢 問1(2) .
 あなたの年齢について、ご回答ください。(数値を入力)
*半角数字でご記入ください。

歳 ※ 令和7年10月1日現在

【 5 % / 100% 】

問1 あなたの基本情報について

【 8 % / 100% 】

第2号候補者調査

戻る 次へ

戻る 次へ

第2号被保険者調査

設定項目表示

【 18 % / 100% 】

問3 増城での活動について

必須 問3 (1) .
あなたは現在、増城での活動に参加していますか。（1つを選択）

☐ 参加している

☐ 現在は参加していないが今後参加したい

☐ 参加していない

☐ 参加したいとは思わない

戻る

次へ

第2号被保険者調査

設定項目表示

【 21 % / 100% 】

必須 問3 (1) ①.
問3 (1) で「参加している」「現在は参加していないが今後参加したい」と回答した方にお伺いします。
以下のような会・グループ等の中で、あなたが現在参加されている、または今後参加したいと思うものを教えてください。（いくつでも選択可）

☐ ボランティアのグループ

☐ スポーツ関係のグループやクラブ

☐ 趣味・娯楽のグループ

☐ 学園・教養グループ

☐ 介護予防のための通いの団（ふれあいサロン等）

☐ 老人クラブ

☐ 町内会・自治会

☐ 収入のある仕事

☐ その他

戻る

次へ

第2号被保険者調査

設定項目表示

【 24 % / 100% 】

必須 問3 (2) .
あなたが月に1回以上行っている取り組みや活動はありますか。（いくつでも選択可）

☐ 知識や技能を習得する活動

☐ 楽しめる活動

☐ 社会への貢献度の高い活動

☐ 近所の住民との交流

☐ 共通の趣味・嗜好を持つ人との交流

☐ ウォーキング等の軽めの運動

☐ トレーニング等の中程度以上の運動

☐ あてはまるものはない

戻る

次へ

第2号被保険者調査

設定項目表示

【 27 % / 100% 】

必須 問3 (2) ①.
問3 (2) で「知識や技能を習得する活動」～「トレーニング等の中程度以上の運動」と回答した方にお伺いします。
活動にあてはまる事をお答えください。（いくつでも選択可）

☐ 自治体が生産する教室やイベントなどの活動

☐ NPO やボランティア団体の活動

☐ 自治会などの任意組織の活動

☐ 有料の民間サービス

☐ 仲間同士の集まり

☐ 個人での取り組み

☐ その他

戻る

次へ

第2号被保険者調査

設定項目表示

【 29 % / 100% 】

第4 設例について

必須 問4 (1) .

現在のあなたの働き状態はどれですか。 (いくつでも選択可)

☐ 雇に就いたことがない

☐ 引退した

☐ 常勤 (フルタイム)

☐ 非常勤 (パート、アルバイト等)

☐ 自営業

☐ 求職中

☐ その他

戻る

次へ

第2号被保険者調査

設定項目表示

【 32 % / 100% 】

必須 問4 (1) a.

問4 (1) で「常勤 (フルタイム)」～「自営業」と回答した方にお伺いします。
現在の職場について教えてください。 (いくつでも選択可)

☐ 事務職

☐ 営業職

☐ 医療・介護・福祉

☐ 販売・飲食・サービス

☐ 設備・清掃

☐ ドライバー・配達

☐ 土木・建築

☐ 農林水産業

☐ IT・エンジニア

☐ 製造・工場

☐ 軽作業

☐ 運輸・郵便・郵便配達

☐ マンション・アパート管理

☐ その他

戻る

次へ

第2号被保険者調査

設定項目表示

【 35 % / 100% 】

必須 問4 (2) .

あなたは何歳まで仕事をしたい (または続けたい) ですか。 (1つを選択)

☐ 60歳より前まで

☐ 60歳まで

☐ 65歳まで

☐ 70歳まで

☐ 75歳まで

☐ 80歳まで

☐ 働けるうちはいつまでも

☐ わからない

戻る

次へ

第2号被保険者調査

設定項目表示

【 37 % / 100% 】

必須 問4 (3) .

あなたの退職後の生活費に際する希望を教えてください。 (1つを選択)

☐ 所属する組織内の終老準備制度 (再雇用制度など) を利用し、働きたい

☐ 新たに、自分の経験や能力を活かせる仕事を探し、働きたい

☐ 仕事の内容は問わず、体力に合った仕事を探し、働きたい

☐ 位置したい

☐ 好きなことや得意なことを活かした活動 (生きがい活動) をしたい (無償、有償にかかわらず)

☐ 好きなことや得意なことに費やさず、必要とされるところで社会貢献したい (無償、有償にかかわらず)

☐ その他

☐ 特に何もしたくない

☐ 考えていない

戻る

次へ

第2号被保険者調査

設定項目表示

【 40 % / 100% 】

問5 たすけあいについて

必須 問5 (1) .
除五所ごとの程度交流を持っていますか。 (1つを選択)

☐ 互いの家をよく行き来する

☐ ときどき行き来する

☐ 会ったときに世間話をする

☐ 挨拶をする

☐ ほとんどない

第2号被保険者調査

設定項目表示

【 43 % / 100% 】

問5 (2) .
あなたはお住まいの地域で、支援が必要なおの人に代りて何か手助けや活動（ボランティアを含む）をしようと思いませんか。 (1つを選択)

☐ すでにしている

☐ ぜひしたい

☐ 機会があればしたい

☐ 有償であればしてみたい

☐ をまうりたいとは思わない

☐ したいとは思わない

☐ わからない

第2号被保険者調査

設定項目表示

【 45 % / 100% 】

必須 問5 (2) ① .
問5 (2) で「すでにしている」～「有償であればしてみたい」と回答した方にお伺いします。
それはどのような手助けや活動ですか。 (いくつでも選択可)

☐ ごみ出し

☐ 買い物

☐ 調理

☐ 洗濯や部屋の掃除

☐ 玄関前や車などのまわりの掃除

☐ 簡単なお仕事を

☐ 病院への送迎

☐ 病院への付き添いや車の受け取り

☐ 病院以外の外出時の付き添い

☐ 声かけ・見守り

☐ 日ごろの話し相手

☐ ご飯を食べる相手

☐ 会談管理・書類の整理

☐ 区役所などでの手続き

☐ 携帯電話やパソコン等の操作

☐ その他

第2号被保険者調査

設定項目表示

【 48 % / 100% 】

問6 健康について

必須 問6 (1) .
かかりつけ医（医師・病院）はいいますか。 (1つを選択)

☐ はい

☐ いいえ

第2号被保険者調査

設定項目表示

【 51 % / 100% 】

必須 問 6 (2) .

かかりつけ診療所（医院、病院）はいますか。（1つを選択）

はい

いいえ

第2号被保険者調査

設定項目表示

【 54 % / 100% 】

必須 問 6 (3) .

かかりつけ薬局（薬局）はありますか。（1つを選択）

はい

いいえ

第2号被保険者調査

設定項目表示

【 56 % / 100% 】

必須 問 6 (4) .

あなたは1年前から今日の間で医師による歯科診査（検診）や治療を受けましたか。（1つを選択）

受診し現在も治療中

受診し治療は終了

受診し問題はなかった

受診してはいない

わからない

第2号被保険者調査

設定項目表示

【 59 % / 100% 】

必須 問 6 (5) .

あなたは1年前から今日の間で歯科医師による歯科健診（検診）や治療を受けましたか。（1つを選択）

受診し現在も治療中

受診し治療は終了

受診し問題はなかった

受診してはいない

わからない

第2号被保険者調査

設定項目表示

【 62 % / 100% 】

必須 問 6 (6) .

「在宅診療」とは、選択が可能な場合などでも、訪問型の医療や介護サービスを利用しながら、住み慣れたご自宅や地域（在宅施設）で暮らし続けることです。あなたは、「在宅診療」についてどのように感じていますか。（1つを選択）

知っている

聞いたことはあるが、内容は知らない

聞いたことがなく、内容も知らない

第2号被保険者調査

設定項目表示

【 64 % / 100% 】

必須 問 6 (7) .

あなたが在宅医療を利用する場合に、不安に思うことは何ですか。（いくつでも選択可）

訪問診療の体制

備置にかかる費用

家族の負担

急変時（転倒等）の対応

不安はない

その他

577

第2号被保険者調査

設定項目表示

【 67 % / 100% 】

問7 介護について

必須 問7 (1) .
あなたは、介護が必要になったとき、どのような介護を希望しますか。（1つを選択）

☐ 介護サービスを利用しないで、自宅で家族に介護してもらいたい

☐ 介護サービスを利用しながら、自宅で生活したい

☐ 特別養護老人ホームなど介護保険施設に入りたい

☐ サービス付き高齢者向け住宅で生活したい

☐ その他

戻る

次へ

第2号被保険者調査

設定項目表示

【 70 % / 100% 】

問7 (2) .
あなたは、家族等の介護をした経験はありますか。（1つを選択）

☐ 現在介護をしている

☐ 以前は介護をしていたが現在はしていない

☐ 今まで介護をしたことがない

戻る

次へ

第2号被保険者調査

設定項目表示

【 72 % / 100% 】

問8 認知症について

必須 問8 (1) .
認知症センター（※）をご存知ですか。（1つを選択）
※ 認知症センターとは、認知症に関する正しい知識と理解を持ち、地域や家族で認知症の人やそのご家族を支援する人のことをいいます。

☐ 知っている

☐ 聞いたことはあるが、内容は知らない

☐ 知らない

戻る

次へ

第2号被保険者調査

設定項目表示

【 75 % / 100% 】

必須 問8 (2) .
認知症に関する以下のことに關して、あなたはどのように感じたり、思ったりしていますか。（それぞれ1つを選択）

ヨコに回答→

	思 っ	思 っ	思 っ	思 っ	思 っ
認知症は誰もがなり得ると思いますか	☐	☐	☐	☐	☐
認知症になったら何むからなくなると思いますか	☐	☐	☐	☐	☐
認知症になったら何もうできなくなると思いますか	☐	☐	☐	☐	☐
あなたが暮らす地域では、地域生活の様々な場面において、認知症の人の情報が尊重されていると思いますか	☐	☐	☐	☐	☐
あなたが暮らす地域では、認知症の人が自分らしく暮らしていると思いますか	☐	☐	☐	☐	☐

戻る

次へ

第2号被保険者調査

設定項目表示

【 78 % / 100% 】

問9 高齢者福祉サービスや高齢者施策について

必須 問9 (1) .
現在、区内には、高齢者の介護や生活上の相談等を受ける地域包括支援センター（ボウカウ）の業務で、ご存知のものを入れてください。（いくつでも選択可）

☐ 健康や介護の相談

☐ 介護予防教室や地域の居場所等の紹介

☐ 介護保険サービスの相談

☐ もの忘れが心配な方の相談

☐ 認知症の方の居寄り支援

☐ 高齢者虐待の対応

☐ 成年後見制度の紹介

☐ 高齢者による地域活動やボランティア活動の紹介

☐ 葬後の事情、葬い支那の相談

☐ 高齢者への訪問調査

☐ 高齢者を主とした地域活動の支援

☐ 葬のあんしん協力員による葬儀への立廻りな声かけ、見守り

☐ 地域包括支援センター（ボウカウ）の名前は知っているが、業務内容は知らない

☐ 地域包括支援センター（ボウカウ）を知らない

戻る

次へ

578

設定項目表示

第 2 号候補者調査

1 81 % / 100% 1

公開 問 9 (2) .

最近なくらしの情報をどのように入手しますか。(いくつでも選択可)

☐ 区役所・区民事務所・保健所等の窓口・掲示板、チラシ

☐ あちち広報

☐ Aメール (足立区メール配信サービス)

☐ 足立区公式LINE

☐ 新聞・雑誌

☐ テレビ、ラジオ

☐ 区ホームページ

☐ インターネット

☐ 家族

☐ 友人・知人

☐ 民生・児童委員

☐ 地域包括支援センター

☐ その他

戻る 次 >

第2号読者保護制度

{ 83 % / 100% }

###

####

成金貸付制度（※）についてご存知ですか、また利用を検討したことがありますか。（1つを選択）

- ※ 成年後援制度とは、認知症や知的障害が、精神障害いまだによって財産の管理や保護を困難に行うことが難しい方に對し、本人の権利を守る目的（成年後援人等）を達し強的に要請する制度です。

利用したことがある（している）

内容を知っており、利用を検討したが、費用が高くて利用に至らなかった

内容を知っており、利用を検討したが、費用以外の理由で利用に至らなかった

内容を知っているが、利用を検討したことがない

聞いたことはあるが、内容は知らない

知らない

第2号候補者調査

配付用目録表示

{ 86 % / 100% }

説明 第9(4) 項。

足引ではどのような「第9」高齢者が読者の投票を依頼に、「追加せろプロシエクト〜神のあんしんネットワーク〜」（近隣福祉の見守り活動）の間の組み合わせ編入していますか。【1つ未満】

- ☐ 取り組みが答を知っている
- ☐ 聞いたことはあるが、取り組みが答は知らない
- ☐ 知らない

次 >

第2号候補者調査

[89 % / 100%]

必須 問題 9 (5) .

あなたは、足立区に対してどのような高齢者施策の充実を希望ですか。（いくつでも選択可）

☐ 仕事の紹介等の職場の充実

☐ 生涯学習、スバービーなどの生きがい施策の充実

☐ ボランティア、地域活動等の社会活動の支援

☐ ひとり暮らし高齢者に対する援助

☐ 高齢者向け住宅の整備

☐ 高齢者虐待防止対策の充実

☐ 健康づくり施策の充実

☐ 介護予防施策の充実

☐ 認知症施策の充実

☐ 介護保険サービスの充実

☐ 介護保険外サービスの充実

☐ 介護保険施設等の新設

☐ 在宅生活を続けるための援助

☐ 緊急時の介護者に対する支援

☐ 高齢者が気軽に集まることのできる場の提供

☐ 地域や生活にかかわる相談体制の整備

☐ スマートフォン教室

☐ その他

戻 る 次

第2号被保険者調査

設定項目表示

【 91 % / 100% 】

任意 問9（6）．
高齢者保健・福祉事業や介護保険制度について、区へのご要望、ご意見などがありましたら、お聞かせください。（自由記述）

戻る

次へ

第2号被保険者調査

【 94 % / 100% 】

任意 問9（7）．
その際、生活の中でのお困りごとがありましたら、お聞かせください。（自由記述）

戻る

次へ

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。――
質問は以上です。

戻る

次へ

第2号被保険者調査

【 97 % / 100% 】

[送信]ボタンを押すと、終了となります。

戻る

送信

6 在宅サービス事業所調査

問1 事業所の基本情報について
(1) 事業所名をご記入ください。

事業所名

(2) 封筒の宛名に記載のある事業種別はですか（数字を記入）。
※ 次の設問から該当の番号を選んでください。

事業種別

(3) 貴事業所の併設事業について、あてはまるものに○を付けてください
(いくつでも○)。

1. 居宅介護支援	24. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
2. 介護予防支援	25. 夜間対応型訪問介護
3. 訪問介護	26. 地域密着型通所介護
4. 訪問入浴介護	27. 認知症対応型通所介護
5. 介護予防 訪問入浴介護	28. 介護予防 認知症対応型通所介護
6. 訪問看護	29. 小規模多機能型居宅介護
7. 介護予防 訪問看護	30. 介護予防 小規模多機能型居宅介護
8. 訪問リハビリテーション	31. 認知症対応型共同生活介護
9. 介護予防 訪問リハビリテーション	(グループホーム)
10. 通所介護	32. 介護予防 認知症対応型共同生活
11. 通所リハビリテーション	介護 (グループホーム)
12. 介護予防 通所リハビリテーション	看護小規模多機能型居宅介護
13. 短期入所生活介護	34. 介護老人福祉施設
14. 介護予防 短期入所生活介護	35. 介護老人保健施設
15. 短期入所療養介護	36. 介護医療院
16. 介護予防 短期入所療養介護	37. 居宅療養管理指導
17. 福祉用具貸与	38. 介護予防 居宅療養管理指導
18. 介護予防 福祉用具貸与	39. 総合事業 訪問型サービス
19. 特定福祉用具販売	40. 総合事業 通所型サービス
20. 介護予防 特定福祉用具販売	41. 病院・診療所
21. 住宅改修	42. 地域包括支援センター
22. 特定施設入居者生活介護	43. その他 ()
23. 介護予防 特定施設入居者生活介護	44. なし

(4) 事業所の経営主体はですか（1つに○）。

1. 営利法人	5. その他法人 ()
2. 医療法人	6. 個人
3. 社会福祉法人	7. その他 ()
4. NPO法人	

(5) 経営主体の法人の所在地はどこですか（1つに○）。

1. 足立区内	2. 足立区外

在宅サービス事業所調査

皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
また、日頃から足立区の高齢者施策にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
本区では、令和8年度に「足立区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の見直しを行います。
今回の調査は、計画の見直しにあたり、高齢者福祉に関する皆さまのお考えやご意見を伺いするものです。いただいたお考えやご意見は、高齢者保健福祉計画策定にあたっての貴重な資料とさせていただきます。
ご多忙のところ、誠に恐縮ではございますが、何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年11月吉日

【ご記入にあたってのお願い】

- 1 回答は事業者の代表者の方がご記入いただきますようお願いいたします。
- 2 回答にあたっては、質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲んでください。また、必要に応じて、数字やご意見のご記入をお願いいたします。
- 3 ご記入いただいたアンケートは、12月1日（月）までに同封の返信用封筒にてご返送ください（切手は不要です）。
- 4 この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

※ 本調査で得られた情報については、計画策定等の目的以外には利用いたしません。
また、当該情報は足立区が適切に管理し、お答えいただいた事業所や個人のお考えが公表されることはありません。
※ 数字を記入する設問で、無回答の場合は「0（ゼロ）」として集計します。

【調査主体・お問い合わせ先】

足立区 福祉部 高齢者施策推進室 介護保険課 介護保険係
03-3880-5887（直通）（受付時間：土・日・祝日を除く午前8時30分～午後5時）

(6) 貴事業所の職員体制についてご記入ください(数字を記入)。また、() 内に外国人職員数を記入してください。
※ 令和7年10月1日現在
※ 兼務をしている場合は、主たる業務でカウントしてください。
※ 空白は0人として集計します。

職種別		正規職員	非正規職員
施設責任者(管理者)		()人()人	()人()人
生活相談員		()人()人	()人()人
事務職員		()人()人	()人()人
看護職員(看護師、准看護師)		()人()人	()人()人
介護職員 (介護福祉士、ヘルパー1・2級、初任者研修等)		()人()人	()人()人
機能訓練指導員(PT、OT等)		()人()人	()人()人
介護支援専門員		()人()人	()人()人
栄養士		()人()人	()人()人
その他		()人()人	()人()人
合計		()人()人	()人()人

※ 非正規職員：いわゆるパート・アルバイト

【年齢階級別の職員体制】

年代別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
正規職員	()人()人	()人()人	()人()人	()人()人	()人()人	()人()人	()人()人	()人()人
非正規職員	()人()人	()人()人	()人()人	()人()人	()人()人	()人()人	()人()人	()人()人

※ 非正規職員：いわゆるパート・アルバイト

問2 サービス提供の状況について
「訪問介護」「通所介護」の事業所の方は、問2(1)のご回答をお願いします。
上記以外の事業所の方は、問2(2)へ進んでください。

(1) サービス利用者数を介護度別に記入してください。

【訪問介護(訪問型サービス)利用者の要介護度別人数】

		令和7年10月サービス提供分				
要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
						合計
上記利用者のうち、 家事援助のみ利用者数						

【通所介護(通所型サービス)利用者の要介護度別人数】

		令和7年10月サービス提供分				
要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
						合計

(2) 利用定員のあるサービスを実施されている場合、実施サービスの番号に○を付け、該当する欄に利用定員及びサービス利用者数(延べ人数)、営業日数をご記入ください。なお、半日単位での利用がある場合は、0.5人で計上してください。

令和7年10月サービス提供分

実施しているサービス	利用定員	延べ利用者数	営業日数	稼働率
1. 通所介護	人	人	日	%
2. 通所リハビリテーション	人	人	日	%
3. 短期入所生活介護	床	人	日	%
4. 短期入所療養介護	床	人	日	%
5. 地域密着型通所介護	人	人	日	%
6. 認知症対応型共同生活介護	人	人	日	%
7. 認知症対応型通所介護	人	人	日	%
8. 夜間対応型訪問介護	人	人	日	%
9. 定期巡回・随時対応型訪問看護	人	人	日	%
10. 小規模多機能型居宅介護	登録定員 人 宿泊	人 人 人	日 日 日	% % %
11. 看護小規模多機能型居宅介護	登録定員 人 宿泊	人 人 人	日 日 日	% % %

※ 稼働率=延べ利用者数/(利用定員×営業日数)

(3) 他の介護サービス事業所等との連携について、取り組んでいることがありますか (いくつでも○)。

1. 勉強会、ケース検討会の共同開催
2. 地域の状況や介護報酬などの情報交換
3. サービス事業所等との交換研修の実施 ⇒どのサービスですか。P.1の問1 (3) から該当の番号を選んでください。 (複数回答可)
4. 定員オーバーや空きがある場合の紹介・連携
5. 技術的に対応できない場合の紹介・連携
6. NPO・ボランティア等活動団体との連絡会などの連携
7. 地域包括支援センターとの連絡会などの連携
8. その他 ()
9. 連携していない

問4へ

問3 (2) で「9」と回答した方にお伺します。

① 他の介護サービス事業所等と連携していない理由は何ですか (いくつでも○)。

1. 他事業所と情報交換するほどの関係が築けていないため	3. 必要性がないと考えている
2. 自事業所の情報は秘密であり、連携しないこととなっているため	4. 今後、連携を予定している
	5. 開設して間もない
	6. その他 ()

問4 利用者からの声について

(1) 令和6年度以降、利用者や家族からどのような要望・苦情がありましたか (いくつでも○)。

1. 制度に関するもの	6. 施設・設備に関するもの
2. サービス内容に関するもの	7. 保険外負担 (その他日常生活費など) に関するもの
3. 利用手続きに関するもの	
4. 利用料に関するもの	8. その他 ()
5. 職員の対応に関するもの	9. 特に要望・苦情は受けていない

(2) 利用者等から苦情があった場合、どのように対応していますか (いくつでも○)。

1. 苦情処理担当者を置いている	5. 相談窓口である基幹地域包括支援センターに相談している
2. 苦情処理対応マニュアルを作成している	6. その他 ()
3. 国民健康保険団体連合会に相談している	
4. 保険者である区に相談している	

(3) 事業所の休業日はいつですか (いくつでも○)。

1. 月曜日	4. 木曜日	7. 日曜日	10. 無休
2. 火曜日	5. 金曜日	8. 祝祭日	11. その他 ()
3. 水曜日	6. 土曜日	9. 年末年始	

(4) 提供しているサービスの供給量が利用者の希望に合わせて対応できたかどうか、対応状況についてお答えください (1つに○)。

1. 対応できた
2. 一部対応できなかった
3. 対応できないことが多かった

問3 地域や他機関との連携について

(1) 医療機関との連携について、事業所として取り組んでいることがありますか (いくつでも○)。

1. 医療機関から利用者の健康管理や処置について助言を受けている
2. 訪問診療をしてくれる医師・医療機関がある
3. 急変時の受入を依頼できる病院を確保している
4. 提携病院があり、一般的な入院を受け入れてもらっている
5. 自らもしくは法人として医療機関を運営している
6. その他 ()
7. 連携していない

問3 (2) へ

問3 (1) で「7」と回答した方にお伺します。

① 医療機関と連携していない理由は何ですか (いくつでも○)。

1. 利用者ごとに主治医が異なるため
2. 連携の方法がわからないため
3. ケアマネジャー等と連携しており、医療機関との連携は不要
4. 必要性がないと考えている
5. 相談できる医療機関がないため
6. 今後、連携を予定している
7. 開設して間もない
8. その他 ()

(2) 医療機関との連携時に感じている課題を教えてください (いくつでも○)。

1. 連絡がつきにくい	4. 介護保険サービスの理解不足
2. 情報共有の不足・遅れ	5. 利用者の支援方針の違い
3. 共通の連絡ツールがない	6. その他 ()

6 在宅サービス事業所調査

問5 サービスの質の向上について

(1) サービスの質の向上のために、どのような取り組みを行っていますか (いくつでも○)。

1. 相談窓口の設置	6. サービス担当者会議への参加
2. サービス提供マニュアルの作成	7. ケア・カンファレンスの定期的な開催
3. 自己評価の積極的な開示	8. その他 ()
4. インターネットを利用した情報提供	9. 何も行っていない
5. サービス利用者の満足度調査の実施	

(2) サービスの質の確保や向上に向けて、第三者評価を受けていますか(1つに○)。

1. 受けている	2. 受けていない

問5 (3) へ

問5 (2) で「2」と回答した方にお伺いします。

① 第三者評価を受けていない理由は何ですか (いくつでも○)。

1. 利用者の評価に影響がない	4. 時間がない
2. サービスの質の向上に寄与すると考えられない	5. 費用がない
3. 事業所の課題が明らかにならない	6. その他 ()

(3) 職員に対する社内・社外研修の実施状況をお答えください (1つに○)。

- | |
|--|
| 1. 内部研修を実施しており、外部研修 (区の研修会) にも参加させている |
| 2. 内部研修は実施しているが、外部研修 (区の研修会) には参加させていない |
| 3. 内部研修は実施していないが、外部研修 (区の研修会) には参加させている |
| 4. 内部研修は実施していないし、外部研修 (区の研修会) にも参加させていない |
| 5. その他 () |

問5 (4) へ

問5 (3) で「1」～「3」と回答した方にお伺いします。

① どのような内容の研修を実施されていますか。もしくはどのような研修に参加させていますか (いくつでも○)。

1. 介護保険制度全般について	5. 相談・苦情対応について
2. 運営基準について	6. ケアプランについて
3. 専門技術の向上について	7. その他 ()
4. 利用者に対する待遇について	

(4) 各種マニュアルの作成状況について、お答えください (それぞれ1つに○)。

	作成 している	現在、 作成中	作成を 検討中	作成 予定 なし
① 職員向けの業務マニュアル	1	2	3	4
② 事故発生など緊急時の対応マニュアル	1	2	3	4
③ 身体拘束防止のための対応マニュアル	1	2	3	4
④ 虐待防止のための対応マニュアル	1	2	3	4
その他、作成しているものがあればお書きください。 ()				

問6 リスク管理について

(1) 貴事業所が行っている有事 (感染症や自然災害) を想定した平時の備えについて、お答えください (いくつでも○)。

1. 備蓄対策	問6 (2) へ
2. 非常用電源の準備	
3. 施設の耐震対策 (ガラスの飛散防止・棚類の転倒防止など) の実施	
4. 防災訓練の実施	
5. 防災訓練などで近隣の住民組織 (町内会、自主防災組織) と連携	
6. ハザードマップで事業所の危険度を確認	
7. 他組織との連携	
8. その他 ()	
9. 特に取り組んでいない	

問6 (1) で「1」と回答した方にお伺いします。

① 備蓄は定員および職員あわせて何日分準備していますか (数字を記入)。

() 日分程度

(2) 有事 (感染症や自然災害) が発生した際に貴事業所で取り決められている内容について、お答えください (いくつでも○)。

1. 災害に関する情報の入手方法
2. 災害時の連絡先 (自治体、家族、職員等) 及び通信手段
3. 利用者の安否確認方法
4. 避難を開始する時期及び判断基準
5. 避難場所 (区が指定する避難場所、施設内の安全なスペース等)
6. 避難経路及び所要時間
7. 利用者ごとの避難方法 (車いす、徒歩等)
8. 垂直避難の判断
9. 災害時の人員体制・指揮系統 (参集方法、役割分担、避難に必要な職員数等)
10. 他事業所からサービス提供を代替する場合の利用者の同意の取り方
11. サービス提供を代替する方法の利用者・利用者家族への周知の仕方
12. 介護サービス事業を継続するための人材確保方法
13. 報酬請求方法、記録の取り方
14. 関係機関との連携体制
15. 関係機関と連携にあたり必要な帳票
16. その他 ()
17. 取り決めはない

(3) 貴事業所は令和6、7年に水害を含む避難訓練を実施しましたか (1つに○・数字を記入)。

1. 実施した→ (年 回数)
2. 実施していない→ (実施予定時期 年 月頃)

問7 人材確保について

(1) 貴事業所では、介護職員等の人材は確保できていますか (1つに○)。

1. 確保できている	問7 (2) へ
2. 概ね確保できている	3. 確保が難しいこともある
	4. 確保できていない

問7 (1) で「3」「4」と回答した方にお伺いします。

① その理由は何ですか (いくつでも○)。

1. 求人・募集に対し応募が少ない (または応募がない)	6. 介護への理解・関心が低い
2. 求める人材の応募が少ない (または応募がない)	7. 施設へ人材が流れてしまう
3. 給与が労働条件に見合わない	8. 福利厚生等の労働環境が整っていない
4. 離職・退職者が多い	9. 地域の特性
5. 重労働である・そのイメージがある	10. 感染症への不安がある
	11. その他 ()

(2) 人材確保支援策として有効だと思うものは何ですか (いくつでも○)。

1. 給与・待遇の改善	8. 行政機関がトライアル期間の給与を負担
2. 募集方法の改善	9. 行政機関主催の就職相談・面接会
3. 職場環境・勤務体制の改善	10. 復職者向けセミナー
4. 福利厚生の充実	11. 新規就職者向けセミナー
5. 研修・教育等の充実	12. 介護業務体験
6. 業務内容の見直し	13. その他 ()
7. 介護職員の資格取得支援	

(3) 貴事業所では、職員の募集 (採用) にあたりどのような工夫を行っていますか (いくつでも○)。

1. ハローワークに求人票を出している
2. 大学等に求人票を出している
3. 専門学校に求人票を出している
4. 高校に求人票を出している
5. 新聞の折り込み広告等に求人を掲載している
6. 職業紹介雑誌等に求人を掲載している
7. 就業紹介会等の機会にブースを設けている
8. 関東圏域以外へ求人のため足を運んでいる
9. インターネット媒体を介して募集している
10. 友人・知人を介して募集している
11. 人材派遣会社に依頼している
12. 介護資格や介護経験の有無にこだわらないようにしている
13. 近隣の事業所と連携し、採用に関し情報交換をしている
14. 職場体験を実施している
15. 子育て支援を行っている (子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)
16. 福利厚生を充実している
17. くるみ認定、その他国や地方自治体の認定等を取得している
18. 短時間等柔軟な勤務体制を整えている
19. 残業なしにしている
20. 外国籍を有する方を採用している
21. その他 ()

(4) 職員の募集 (採用) で効果のあったものは何ですか (3つまで数字を記入)。

※ 問7 (3) の設問から該当の番号を選んでください。

()、()、()

(5) 貴事業所では、外国籍を有する方を採用していますか (1つに○)。

1. 採用している	2. 採用していない → 問7 (5) へ

問7 (5) で「1」と回答した方にお伺いします。

① 採用した外国籍を有する方の在留資格を教えてください (いくつでも○)。

1. 技能実習	4. 留学生 (資格外活動)
2. 介護福祉士候補 (EPA)	5. 永住者・定住者
3. 特定技能 (介護)	6. その他 ()

(6) 外国籍を有する方の採用・定着のために必要だと感じる支援を教えてください（いくつでも○）。

1. 採用や制度に関する事業者向けセミナー	5. 行政手続き・制度活用サポート
2. 区主催の介護専門用語研修の実施	6. その他（ ）
3. 採用や募集に関する相談窓口	7. 特になし
4. 外国人従事者が困りごとを相談できる窓口	

(7) スポットワーク（単発・短時間勤務の人材活用）を導入していますか（1つに○）。

1. 導入している	2. 導入していない

問7(7)で「1」と回答した方にお伺いします。

① どの業務にスポットワークを導入しているか教えてください（いくつでも○）。

1. 配膳	5. レクリエーション
2. 食事介助	6. 直接介護を伴わない業務
3. 入浴介助	7. 事務
4. 排泄介助	8. その他（ ）

② スポットワークを導入して感じたメリットを教えてください（いくつでも○）。

1. 急な人手不足に対応できる	4. 正規雇用につなげられる
2. 直接雇用より社会保険料などの金銭的負担が少しい	5. その他（ ）
3. 有資格者が多く即戦力になる	6. メリットを感じない

③ スポットワークを導入して感じた課題を教えてください（いくつでも○）。

1. スキルの足りない方が来る	4. 継続して来てほしい方がいても回数制限があるため来てもらえない
2. 毎回違う方が来るため利用者が混乱する	5. その他（ ）
3. 違う人が来るたび業務レクチャーをしなければいけない煩わしさ	6. 特になし

問7(7)で「2」と回答した方にお伺いします。

④ スポットワークを導入していない理由を教えてください（いくつでも○）。

1. 人員が足りている	5. 利用の方がわからない
2. スポットワークで賄う業務がない	6. 採用する人材の質が不安
3. 金銭的負担が大きい	7. その他（ ）
4. フォロー体制が整わない	

問7(5)で「1」と回答した方にお伺いします。

② 外国籍を有する方を採用した主な理由を教えてください（いくつでも○）。

1. 人手不足解消	4. 採用に係る東京都などの補助金・助成金が充実している
2. 若い人材の確保	5. 国際貢献・多様性の尊重
3. 長く働いてくれることの期待	6. その他（ ）

③ 外国籍を有する方が行っている主な業務は何ですか（いくつでも○）。

1. 配膳	6. レクリエーション
2. 食事介助	7. 直接介護を伴わない業務
3. 入浴介助	8. 事務
4. 排泄介助	9. その他（ ）
5. その他の身体介助（移動・更衣など）	10. 特になし

④ 外国籍を有する方への教育はどのようにしていますか（いくつでも○）。

1. 事業所で直接研修を行っている	
2. 法人（本社）で研修を行っている	
3. 外部で行うセミナーに参加している	
4. その他（ ）	
5. 特に行っていない	

⑤ 外国籍を有する方を採用して感じたメリットを教えてください（いくつでも○）。

1. 勤勉でまじめな人が多い	4. 定着率が高い
2. 業務に前向きに取り組んでいる	5. その他（ ）
3. 利用者が喜ぶ	6. メリットを感じない

⑥ 外国籍を有する方を採用して感じた課題や困難を感じたことを教えてください（いくつでも○）。

1. 日本語でのコミュニケーション	5. 金銭的負担
2. 文化や習慣の違い	6. 既存職員との関係構築
3. 教育・指導の負担	7. その他（ ）
4. 手続きや制度の煩雑さ	8. 課題や困難を感じない

問7(5)で「2」と回答した方にお伺いします。

⑦ 外国籍を有する方を採用していない理由は何ですか（いくつでも○）。

1. 金銭的な負担が重い	5. コミュニケーションが不安
2. フォロー体制が整わない	6. 帰国が予想され定着しない
3. 募集・採用の仕方が分からない	7. その他（ ）
4. 利用者からの反対がある（想定される）	

(8) スポットワークを利用するために必要だと感じる支援を教えてください
(いくつでも○)。

1. 制度や活用方法を説明するセミナー
2. 導入に向けたコンサルティング
3. スポットワーク人材との相談窓口
4. 事業者向け相談窓口
5. その他（ ）

(9) 令和6年(1月から12月)の入職率と離職率についてお答えください
(それぞれ1つに○)。

① 正規職員について

【入職率】令和6年初の正規職員数に対する令和6年の入職者（正規職員）数の割合

1. 0~10%未滿
2. 10~20%未滿
3. 20~30%未滿
4. 30~40%未滿
5. 40~50%未滿
6. 50%以上

【離職率】令和6年初の正規職員数に対する令和6年の離職者（正規職員）数の割合

1. 0~10%未満
2. 10~20%未満
3. 20~30%未満
4. 30~40%未満
5. 40~50%未満
6. 50%以上

② 非正規職員について

【入職率】令和6年年初の非正規職員数に対する令和6年の入職者（非正規職員）数の割合

1. 0~10%未満
2. 10~20%未満
3. 20~30%未満
4. 30~40%未満
5. 40~50%未満
6. 50%以上

【離職率】令和6年年初の非正規職員数に対する令和6年の離職者（非正規職員）数の割合

1. 0~10%未満
2. 10~20%未満
3. 20~30%未満
4. 30~40%未満
5. 40~50%未満
6. 50%以上

(10) 貴事業所は今年度に賃上げを行いましたか（１つに○）。

1. 賃上げを行った 2. 賃上げを行う予定

3. 賃上げを行っていない

問8へ

問7 (10) で「1」「2」と回答した方にお伺いします。

① 職員1人あたりの賃上げ平均額は月額（換算）でいくらか（1つに○）。

1. 1円～5,000円
2. 5,001円～8,000円
3. 8,001円～10,000円
4. 10,001円～15,000円
5. 15,001円以上

問8 業務効率化について

(1) ロボットやＩＯＴを導入している分野はありますか（いくつでもＯ）。

1. 見守り支援
2. 要介助者支援
3. コミュニケーションロボット
4. カルテ入力等業務支援
5. その他()
6. 導入していない

(2) ロボットやIoTの導入を検討している分野はありますか（いくつでも○）。

1. 見守り支援
2. 要介助者支援
3. コミュニケーションロボット
4. カルテ入力等業務支援
5. その他 ()
6. 導入を検討していない

(3) 現在、事務負担はどの程度ですか（1つに○）。

1. とても重い	2. 少し重い	3. 重たくない

問9 その他（景況感、困難事例、要望など）

(1) 直近の介護報酬改定前と比較して、令和6年度の経営状況はいかがでしょうか？
(1つに○)。

1. 良好である	2. 悪化している	3. 変わらない

(2) 令和6年度と比較して、令和7年度（見込み）の経営状況はいかがでしょうか。（1つに○）。

1. 良好である	2. 悪化している	3. 変わらない

(3) 利用者へのサービス提供を行う中で、気になる相談を受けたり、対応困難な事例に遭遇したことがありますか（いくつでも○）。

1. 経済的な困窮 2. ヤングケアラー 3. ダブルケア 4. ひきこもり状態の家族がいる 5. 障がいを持つ家族がいる 6. ごみ屋敷	7. 介護が必要と思われるが誰にもつながらない高齢者 8. 医療の受診拒否 9. サービスの利用拒否 10. 心を開かない高齢者 11. その他（ ） 12. 特にない → 問9(4)へ

問9 (3) で「1」～「11」と回答した方にお伺いします。

① 気になった相談や困難事例を誰に相談していますか (いくつでも○)。

1. 上司や同僚
2. 法人、事業所の相談窓口
3. 利用者や利用者の家族
4. 医療機関
5. 役所の担当課
6. 地域包括支援センター
7. その他（ ）
8. 守秘義務があり、誰にも相談できない

6 在宅サービス事業所調査

問9 (3) で「1」～「11」と回答した方にお伺いします。

② 気になった相談や困難事例の対応にあたり、誰と連携したいと思いますか（いくつでも○）。

1. 区役所（障がい担当部署）

2. 区役所（子ども担当部署）

3. 区役所（生活困窮担当部署）

4. 区役所（高齢者担当部署）

5. 区役所（教育委員会）

6. 障がい支援機関

7. 子ども（学習）支援機関

8. 生活困窮者支援機関

9. 医療機関

10. 教職員、スクールソーシャルワーカー

11. 弁護士

12. 税理士、ファイナンシャルプランナー

13. 各種保護者会、当事者会

14. 民生委員・児童委員

15. 社会福祉協議会

16. その他（ ）

（4）都や区の支援についてどのような手段で情報を得ているか教えてください（いくつでも○）。

1. 都や区のホームページ

2. 広報紙

3. 都や区からのメール

4. 民間の情報サイト

5. その他（ ）

（5）事業を運営する上での課題は何ですか（3つまで○）。

1. 新規利用者の獲得が困難

2. 利用者のサービス利用の継続

3. 設備・職員等が不足し、量的に利用者へのニーズに応えられない

4. 介護保険制度やサービス利用の仕組みを説明するのが難しい

5. 利用者の身体状況の把握が難しい

6. 利用者からの苦情や事故への対応

7. 訪問や送迎が非効率（エリアが広い等）

8. 職員の確保

9. 職員が短期間で離職してしまう

10. 職員の人材育成

11. 責任者など中堅人材の確保・育成

12. 他のサービス事業所との競合が激しい

13. ケアマネジャーなど他事業所・他職種との連携

14. 他のサービス事業所との連携

15. 医療機関との連携

16. 介護報酬が適正でない

17. その他（ ）

18. 特に課題はない

（6）貴事業所の今後の事業展開についてお答えください（1つに○）。

1. 事業規模を拡大する予定

2. 事業規模を縮小する予定

3. 事業を廃止する予定

4. 事業を同規模で継続する予定

5. その他（ ）

問9 (6) ②へ

問9 (6) ①へ

問9 (7) へ

問9 (6) で「1」と回答した方にお伺いします。

① どのように事業規模を拡大しますか（いくつでも○）。

1. 現在実施しているサービス種別で事業所数を拡大する

2. 新たなサービス種別の事業所を拡大する

3. 介護保険外サービスを拡大する

4. その他（ ）

（7）LIFE（科学的介護情報システム）を利用していますか（1つに○）。

1. 利用している

2. 利用していない

3. 利用を検討中

問9 (7) で「2」と回答した方にお伺いします。

① 利用していない理由は何ですか（いくつでも○）。

1. 導入の方法がわからないため

2. 日常業務の負担が増えるため

3. 負担に見合う加算が得られないため

4. 導入による効果がわからないため

5. その他（ ）

6. 対象施設ではない

（8）ケアプランデータ連携システムを利用していますか（1つに○）。

1. 利用している

2. 利用していない

3. 利用を検討中

問9 (8) で「2」と回答した方にお伺いします。

① 利用していない理由は何ですか（いくつでも○）。

1. 初期費用を賄えないから

2. システムが使いにくいと聞くから

3. 普及率が低く連携のメリットがないから

4. 職員の研修時間を割けないから

5. その他（ ）

（9）高齢者保健・福祉事業や介護保険制度について、区へのご要望、ご意見などがありましたら、お聞かせください。

—アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。—

588

14

15

7 居宅介護支援事業所調査

問1 事業所の基本情報について
(1) 事業所名をご記入ください。

事業所名

(2) 貴事業所の併設事業について、あてはまるものに○を付けてください
(いくつでも○)。

1. 居宅介護支援	24. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
2. 介護予防支援	25. 夜間対応型訪問介護
3. 訪問介護	26. 地域密着型通所介護
4. 訪問入浴介護	27. 認知症対応型通所介護
5. 介護予防 訪問入浴介護	28. 介護予防 認知症対応型通所介護
6. 訪問看護	29. 小規模多機能型居宅介護
7. 介護予防 訪問看護	30. 介護予防 小規模多機能型居宅介護
8. 訪問リハビリテーション	31. 認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)
9. 介護予防 訪問リハビリテーション	32. 介護予防 認知症対応型共同生活 介護 (グループホーム)
10. 通所介護	33. 看護小規模多機能型居宅介護
11. 通所リハビリテーション	34. 介護老人福祉施設
12. 介護予防 通所リハビリテーション	35. 介護老人保健施設
13. 短期入所生活介護	36. 介護医療院
14. 介護予防 短期入所生活介護	37. 居宅療養管理指導
15. 短期入所療養介護	38. 介護予防 居宅療養管理指導
16. 介護予防 短期入所療養介護	39. 総合事業 訪問型サービス
17. 福祉用具貸与	40. 総合事業 通所型サービス
18. 介護予防 福祉用具貸与	41. 病院・診療所
19. 特定福祉用具販売	42. 地域包括支援センター
20. 介護予防 特定福祉用具販売	43. その他 ()
21. 住宅改修	44. なし
22. 特定施設入居者生活介護	
23. 介護予防 特定施設入居者生活介護	

(3) 事業所の経営主体は何ですか (1つに○)。

1. 営利法人	5. その他法人 ()
2. 医療法人	6. 個人
3. 社会福祉法人	7. その他 ()
4. NPO法人	

居宅介護支援事業所調査

皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、日頃から足立区の高齢者施策にご理解とご協力をお願い申し上げます。
本区では、令和8年度に「足立区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の見直しを行います。

今回の調査は、計画の見直しにあたり、高齢者福祉に関する皆さまの考えやご意見を伺いするものです。いただいたお考えやご意見は、高齢者保健福祉計画策定にあたっての貴重な資料とさせていただきます。

ご多忙のところ、誠に恐縮ではございますが、何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年11月吉日

【ご記入にあたってのお願い】

- 1 回答は事業者の代表者の方がご記入いただきますようお願いいたします。
- 2 回答にあたっては、質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲んでください。また、必要に応じて、数字やご意見のご記入をお願いいたします。
- 3 ご記入いただいたアンケートは、12月1日(月)までに同封の返信用封筒にてご返送ください(切手は不要です)。
- 4 この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

※ 本調査で得られた情報については、計画策定等の目的以外には利用いたしません。
また、当該情報は足立区が適切に管理し、お答えいただいた事業所や個人のお考えが公表されることはありません。
※ 数字を記入する設問で、無回答の場合は「0 (ゼロ)」として集計します。

【調査主体・お問い合わせ先】

足立区 福祉部 高齢者施策推進室 介護保険課 介護保険係
03-3880-5887 (直通) (受付時間：土・日・祝日を除く午前8時30分～午後5時)

(4) 貴事業所の職員体制についてご記入ください（数字を記入）。また、() 内に外国人職員数を記入してください。
※ 令和7年10月1日現在
※ 空白は0人として集計します。

職種別	正規職員		非正規職員	
	専任	兼務	専任	兼務
施設責任者（管理者）	() 人	() 人	() 人	() 人
生活相談員	() 人	() 人	() 人	() 人
事務職員	() 人	() 人	() 人	() 人
介護支援専門員	() 人	() 人	() 人	() 人
うち、主任介護支援専門員	() 人	() 人	() 人	() 人
その他	() 人	() 人	() 人	() 人
合計	() 人	() 人	() 人	() 人

※ 非正規職員：いわゆるパート・アルバイト

【年齢階級別の職員体制】

年代別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
正規職員	() 人	() 人	() 人	() 人	() 人	() 人	() 人	() 人
非正規職員	() 人	() 人	() 人	() 人	() 人	() 人	() 人	() 人

※ 非正規職員：いわゆるパート・アルバイト

(5) 貴事業所の介護支援専門員の人数を、勤務年数別にご記入ください。また、介護支援専門員のうち主任介護支援専門員の数もご記入ください（数字を記入）。
※ 令和7年10月1日現在
※ 空白は0人として集計します。

勤務年数	人数	うち、主任	勤務年数	人数	うち、主任
1年未満	人	人	3年～4年未満	人	人
1年～2年未満	人	人	4年～5年未満	人	人
2年～3年未満	人	人	5年以上	人	人

問2 地域や他機関との連携について
(1) ケアプランを立てる際に、併設事業所以外の介護サービス提供事業者との連携を図られていますか（1つに○）。

1. 連携している

2. 概ね連携している

3. どちらともいえない

4. 連携していない

問2 (2) へ

問2 (1) で「4」と回答した方にお伺いします。
① 併設事業所以外の介護サービス提供事業者と連携していない理由は何ですか（いくつでも○）。

1. 利用者ごとに主治医が異なるため

2. 必要性がない

3. 今後、連携を予定している

4. 開設して間もない

5. その他 ()

(2) ケアプランを立てる際に、主治医との連携を図られていますか（1つに○）。

1. 連携している

2. 概ね連携している

3. どちらともいえない

4. 連携していない

問2 (3) へ

問2 (2) で「4」と回答した方にお伺いします。
① 主治医と連携していない理由は何ですか（いくつでも○）。

1. 利用者ごとに主治医が異なるため

2. 必要性がない

3. 今後、連携を予定している

4. 開設して間もない

5. その他 ()

(3) 医療機関と連携はこれまでよりも強化されていますか（1つに○）。

1. 非常に強化されている

2. 強化されている

3. 変わらない

4. 弱まっている

(4) 医療機関との連携時に感じている課題を教えてください（いくつでも○）。

1. 連絡がつきにくい

2. 情報共有の不足・遅れ

3. 共通の連絡ツールがない

4. 介護保険サービスの理解不足

5. 利用者の支援方針の違い

6. その他 ()

問3 サービスの質の向上について

(1) サービスの質の確保や向上に向けて、第三者評価を受けていますか（1つに○）。

1. 受けている

2. 受けていない

問3 (2) へ

問3 (1) ①へ

問3 (1) で「2」と回答した方にお伺いします。

① 第三者評価を受けていない理由は何ですか（いくつでも○）。

1. 利用者の評価に影響がない

4. 時間がない

2. サービスの質の向上に寄与すると考えられない

5. 費用がない

3. 事業所の課題が明らかになると思えない

6. その他（ ）

(2) 職員に対する社内・社外研修の実施状況をお答えください（1つに○）。

1. 内部研修を実施しており、外部研修（区の研修含）にも参加させている

2. 内部研修は実施しているが、外部研修（区の研修含）には参加させていない

3. 内部研修は実施していないが、外部研修（区の研修含）には参加させている

4. 内部研修は実施していないし、外部研修（区の研修含）にも参加させていない

5. その他（ ）

問3 (3) へ

問3 (2) で「1」～「3」と回答した方にお伺いします。

① どのような内容の研修を実施されていますか。もしくはどのような研修に参加させていますか（いくつでも○）。

1. 介護保険制度全般について

5. 相談・苦情対応について

2. 運営基準について

6. ケアプランについて

3. 専門技術の向上について

7. その他（ ）

4. 利用者に対する待遇について

(3) 地域包括ケアシステムの推進に向けて、高齢者が自宅や地域で暮らし続けるために、今後さらに強化が必要な取り組みは何ですか（3つまで○）。

1. 医療機関・介護事業所等の連携の強化

2. 「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」、「小規模多機能型居宅介護」、「看護小規模多機能型居宅介護」等の在宅介護サービスの拡充

3. 認知症に対する正しい理解の普及や地域における見守り体制の充実

4. 運動機能を回復させるためのリハビリテーション・機能の充実

5. 地縁やボランティアを活かした地域の見守りの推進

6. 介護する家族へのケア

7. 緊急時に入院・入所できる体制づくり

8. 高齢者でも入居できる住宅の確保

9. その他（ ）

4

(4) 利用者が安心して在宅医療を受けるために、今後さらに強化が必要な取り組みは何ですか（3つまで○）。

1. 医師からの診療方針の説明

6. 緊急時の入院先の確保

2. 医療機関と介護事業所との情報共有

7. 区民への普及・啓発、家族の理解

3. 24時間対応できる医療サービスの提供

8. 家族の定期的な見守り

4. 24時間対応できる介護サービスの提供

9. その他（ ）

5. 利用できるサービス内容の周知

(5) 高齢者の健康を維持・向上させていくため、介護予防事業として今後さらに強化が必要な取り組みは何ですか（3つまで○）。

1. ウォーキング教室

5. 保健師による総合的な指導

2. リハビリ運動

6. 口腔ケアに関する講座

3. 介護予防体操

7. 栄養改善に関する講座

4. 脳トレ

8. その他（ ）

(6) 認知症高齢者に関して今後さらに強化が必要な取り組みは何ですか（いくつでも○）。

1. 認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進
(講演会や予防教室等による正しい知識の普及啓発、認知症サポーターの養成と活動の支援等)

2. 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供
(早期診断・早期対応のための体制整備、医療・介護の連携の推進等)

3. 若年性認知症施策の強化
(若年性認知症の理解の促進、支援ハンドブックの配布等)

4. 認知症の人の介護者への支援
(認知症カフェの設置、家族の交流会や家族相談会などの支援等)

5. 認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進
(徘徊高齢者検索情報ネットワークの充実、見守りキーホルダー、あんしんブリンットの普及啓発、認知症グループホームや特別養護老人ホーム等の施設整備等)

6. 認知症の人やその家族の視点の重視 (認知症の人が自らの言葉で語る環境づくり)

7. その他（具体的に： ）

(7) 貴事業所は、現在の介護保険サービスは高齢者の自立支援を促進する役割を果たしていると思いますか（1つに○）。

1. 果たしている

4. 果たしているとは思えない

2. 概ね果たしている

5. その他（ ）

3. どちらとも思えない

5

591

7 居宅介護支援事業所調査

(8) 貴事業所において、足立区で居宅介護支援事業を行う上での問題点はありますか
(いくつでも○)。

1. サービス内容の変更やキャンセルが多い

2. サービス担当者会議（ケアカンファレンス）の開催調整が困難である

3. 処遇困難者への対応について、負担が大きい

4. サービス事業者の情報が不足している

5. 区の保健福祉施策に関する情報が不足している

6. 介護保険サービス利用の仕組みに関する説明が難しい

7. 最新・適切な介護保険制度に関する情報が不足している

8. 給付管理や介護報酬請求業務などの事務作業が多い

9. その他（

10. 問題点はない

問4 リスク管理について

(1) 貴事業所が行っている有事(感染症や自然災害)を想定した平時の備えについて、
お答えください (いくつでも○)。

1. 備蓄対策

2. 非常用電源の準備

3. 施設の耐震対策（ガラスの飛散防止・棚等の転倒防止など）の実施

4. 防災訓練の実施

5. 防災訓練などで近隣の住民組織（町内会、自主防災組織）と連携

6. ハザードマップで事業所の危険度を確認

7. 他組織との連携

8. その他（

9. 特に取り組んでいない

問4 (2) ^

問4 (1) で「1」と回答した方にお伺いします。

① 備蓄は定員および職員あわせて何日分準備していますか（数字を記入）。

() 日分程度

(2) 有事（感染症や自然災害）が発生した際に貴事業所で取り決められている内容
について、お答えください (いくつでも○)。

1. 災害に関する情報の入手方法

2. 災害時の連絡先（自治体、家族、職員等）及び通信手段

3. 利用者の安否確認方法

4. 避難を開始する時期及び判断基準

5. 避難場所（区が指定する避難場所、施設内の安全なスペース等）

6. 避難経路及び所要時間

7. 利用者ごとの避難方法（車いす、徒歩等）

8. 垂直避難の判断

9. 災害時の人員体制・指揮系統（参集方法、役割分担、避難に必要な職員数等）

10. 他事業所からサービス提供を代替する場合の利用者の同意の取り方

11. サービス提供を代替する方法の利用者・利用者家族への周知の仕方

12. 介護サービス事業を継続するための人材確保方法

13. 報酬請求方法、記録の取り方

14. 関係機関との連携体制

15. 関係機関と連携にあたり必要な帳票

16. その他（

17. 取り決めはない

(3) 貴事業所は令和6、7年に水害を含む避難訓練を実施しましたか
(1つに○・数字を記入)。

1. 実施した→ (年 回数)

2. 実施していない→ (実施予定時期 年 月頃)

問5 人材確保について

(1) 貴事業所では、介護職員等の人材は確保できていますか（1つに○)。

1. 確保できている

2. 概ね確保できている

3. 確保が難しいこともある

4. 確保できていない

問5 (2) ^

問5 (1) で「3」「4」と回答した方にお伺いします。

① その理由は何ですか (いくつでも○)。

1. 求人・募集に対し応募が少ない

2. 求める人材の応募が少ない

3. 給与が労働条件に見合わない

4. 離職・退職者が多い

5. 重労働である・そのイメージがある

6. 介護への理解・関心が低い

7. 施設へ人材が流れてしまう

8. 福利厚生等の労働環境が整っていない

9. 地域の特性

10. 感染症への不安がある

11. その他（

(5) 貴事業所では、外国籍を有する方を採用していますか（1つに○）。

1. 採用している

2. 採用していない

問5（5）で「1」と回答した方にお伺いします。

① 外国籍を有する方への教育はどのようになっていますか（いくつでも○）。

1. 事業所で直接研修を行っている

2. 法人（本社）で研修を行っている

3. 外部で行うセミナーに参加している

4. その他（ ）

5. 特に行っていない

(6) 令和6年（1月から12月）の入職率と離職率についてお答えください（それぞれ1つに○）。

① 正規職員について

【入職率】 令和6年年初の正規職員数に対する令和6年の入職者（正規職員）数の割合

1. 0～10%未満

2. 10～20%未満

3. 20～30%未満

4. 30～40%未満

5. 40～50%未満

6. 50%以上

【離職率】 令和6年年初の正規職員数に対する令和6年の離職者（正規職員）数の割合

1. 0～10%未満

2. 10～20%未満

3. 20～30%未満

4. 30～40%未満

5. 40～50%未満

6. 50%以上

② 非正規職員について

【入職率】 令和6年年初の非正規職員数に対する令和6年の入職者（非正規職員）数の割合

1. 0～10%未満

2. 10～20%未満

3. 20～30%未満

4. 30～40%未満

5. 40～50%未満

6. 50%以上

【離職率】 令和6年年初の非正規職員数に対する令和6年の離職者（非正規職員）数の割合

1. 0～10%未満

2. 10～20%未満

3. 20～30%未満

4. 30～40%未満

5. 40～50%未満

6. 50%以上

(2) 人材確保支援策として有効だと思うものは何ですか（いくつでも○）。

1. 給与・待遇の改善

2. 募集方法の改善

3. 職場環境・勤務体制の改善

4. 福利厚生の充実

5. 研修・教育等の充実

6. 業務内容の見直し

7. 介護職員の資格取得支援

8. 行政機関がトライアル期間の給与を負担

9. 行政機関主催の就職相談・面接会

10. 復職者向けセミナー

11. 新規就職者向けセミナー

12. 介護業務体験

13. その他（ ）

(3) 貴事業所では、職員の募集（採用）にあたりどのような工夫を行っていますか（いくつでも○）。

1. ハローワークに求人票を出している

2. 大学等に求人票を出している

3. 専門学校に求人票を出している

4. 高校に求人票を出している

5. 新聞の折り込み広告等に求人掲載している

6. 職業紹介雑誌等に求人掲載している

7. 就職相談会等の機会にブースを設けている

8. 関東圏域以外へ求人のため足を運んでいる

9. インターネット媒体を介して募集している

10. 友人・知人を介して募集している

11. 人材派遣会社に依頼している

12. 介護資格や介護経験の有無にこだわらないようにしている

13. 近隣の事業所と連携し、採用に関し情報交換をしている

14. 職場体験を実施している

15. 子育て支援を行っている（子ども預かり所を設ける、保育費用支援等）

16. 福利厚生を充実している

17. くるみん認定、その他国や地方自治体の認定等取得している

18. 短時間等柔軟な勤務体制を整えている

19. 残業なしにしている

20. 外国籍を有する方を採用している

21. その他（ ）

(4) 職員の募集（採用）で効果のあったものは何ですか（3つまで数字を記入）。

※ 問5（3）の設問から該当の番号を選んでください。

()、()、()

593

8

9

(7) 貴事業所は今年度に賃上げを行いましたか（1つに○）。

1. 賃上げを行った	2. 賃上げを行う予定	3. 賃上げを行っていない

問5 (7) で「1」「2」と回答した方にお伺いします。

① 職員1人あたりの賃上げ平均額は月額（換算）でいくらですか（1つに○）。

1. 1円～5,000円	4. 10,001円～15,000円
2. 5,001円～8,000円	5. 15,001円以上
3. 8,001円～10,000円	

(8) 貴事業所では、ケアマネジャーの質の確保・向上を図るために、今後どのような視点を重視した取り組みが必要だと思いますか（3つまで○）。

1. 基本的な技術や実践的知識の向上	6. 処遇困難者への対応能力の向上
2. 利用者の状態に応じた応用技術の向上	7. ケアマネジャーとしての基本姿勢の徹底
3. ケアマネジメント技術やアセスメント	8. 制度に対する最新情報の取得能力の向上
9. 第三者評価の実施	
4. 利用者への対応の仕方など、マナーや	10. 事業所内でのキャリアパスの構築
5. コミュニケーション技術の向上	11. その他（ ）
6. 苦情や相談への対応能力の向上	12. 特 に な い

問6 ケアマネジメントについて

(1) 貴事業所は10月の1か月間で何名の方のケアプランを作成していますか。令和6年10月分と令和7年10月分についてお答えください（数字を記入）。

※ 空白は0件として集計します。

ケアプラン作成件数	令和6年10月	令和7年10月
うち、足立区の利用者へのケアプラン作成数	件	件

(2) 令和7年10月分のケアプラン作成件数について、要支援・要介護度の件数を教えてください（委託を含む）（数字を記入）。

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計

(3) 貴事業所は介護予防プランの委託を受けていますか（1つに○）。

1. 受けている	2. 受けていない

問6 (3) で「1」と回答した方にお伺いします。

① 令和7年10月の1か月間で何件の介護予防プランの委託を受けていますか。（ ）件

問6 (3) で「1」と回答した方にお伺いします。

② 介護予防プランの作成件数を増やすことはできますか（1つに○）。また、その理由は何ですか（いくつでも○）。

1. 増やすことができる	1. 件数に空きがある 2. 地域に貢献したい 3. 増やすことはできるが、包括から依頼がない 4. その他（ ）
2. 増やすことはできない	1. 会社の方針 2. 対応可能な職員不足 3. プラン数の上限 4. 退職予定の補充の見通しがない 5. 予防プランの作成に手間がかかる 6. その他（ ）
3. どちらともいえない	1. これ以上増やしたくないが、断ると次の新規がもたらなくなりそう 2. 収益上、予防プランを増やすことは難しい 3. 頻繁に変動があり、人員不足の可能性がある 4. その他（ ）

(4) ケアプランを立てる際に、区内でサービスの供給量が不足している介護サービスはありますか（いくつでも○）。

1. 訪問介護	12. 介護医療院
2. 訪問入浴介護	13. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
3. 訪問看護	14. 夜間対応型訪問介護看護
4. 訪問リハビリテーション	15. 認知症対応型共同生活介護
5. 通所介護	16. 地域密着型通所介護
6. 通所リハビリテーション	17. 小規模多機能型居宅介護
7. 短期入所生活・療養介護	18. 認知症対応型通所介護
8. 居宅療養管理指導	19. 看護小規模多機能型居宅介護
9. 特定施設入居者生活介護	20. その他（ ）
10. 介護老人福祉施設	21. 供給不足とは思わない
11. 介護老人保健施設	

(5) 介護予防プランを策定する際に、区内で総合事業のサービスの供給量は不足していますか（それぞれに1つ○）。

サービス種別	充足している	現在、充足しているが、今後不足する	不足している	分からない
① 訪問サービス	1	2	3	4
② 通所サービス	1	2	3	4
③ 生活支援サービス	1	2	3	4

(6) ケアプランを立てる際に、特に対応が難しいのはどういう時ですか。本人の状況と家族の状況についてお答えください（1つに○）。

【本人の状況】

1. 身寄りがいない
2. 認知症のため判断ができない
3. 経済的な問題で必要なサービスを組み込めない
4. その他（ ）

【家族の状況】

1. 家族の協力が得られない
2. サービス利用者本人と家族との考えが一致しない
3. 家族間の考えが一致しない
4. その他（ ）

(7) ケアプランを作成した利用者のうち、「自宅」、「サービス付高齢者住宅」、「住宅型有料老人ホーム」、「経費老人ホーム」にお住まいの方で「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」はどのくらいいますか（1つに○）。

1. いらない	4. 20%～30%未満
2. 10%未満	5. 30%～50%未満
3. 10%～20%未満	6. 50%以上

問7 業務効率化について

(1) 現在、事務負担はどの程度ですか（1つに○）。

1. とても重い	2. 少し重い	3. 重たくない

(2) サービス担当者会議を参集以外の方法で実施したことはありますか（1つに○）。

1. ある	2. ない	問7 (3)へ

問7 (2) で「1」と回答した方にお伺いします。

① どのような方法でサービス担当者会議を実施しましたか(いくつでも○)。

1. オンライン	2. 書面	3. その他（ ）

(3) 利用者へのモニタリングを訪問以外の方法で行ったことはありますか（1つに○）。

1. ある	2. ない	問8へ

問7 (3) で「1」と回答した方にお伺いします。

① どのような方法でモニタリングを実施しましたか（いくつでも○）。

1. オンライン	2. 書面	3. その他（ ）

問8 その他（景況感、困難事例、要望など）

(1) 直近の介護報酬改定前と比較して、令和6年度の経営状況はいかがですか（1つに○）。

1. 良好である	2. 悪化している	3. 変わらない

(2) 令和6年度と比較して、令和7年度（見込み）の経営状況はいかがですか（1つに○）。

1. 良好である	2. 悪化している	3. 変わらない

(3) 利用者へのケアプランを作成する中で、気になる相談を受けたり、対応困難な事例に遭遇したことがありますか（いくつでも○）。

1. 経済的な困難	7. 介護が必要と思われるが誰にもつながらない高齢者
2. ヤングケアラー	8. 医療の受診拒否
3. ダブルケア	9. サービスの利用拒否
4. ひきこもり状態の家族がいる	10. 心を開かない高齢者
5. 障がいや疑う家族がいる	11. その他（ ）
6. ごみ屋敷	12. 特にない

問8 (3) で「1」～「11」と回答した方にお伺いします。

① 気になった相談や困難事例を誰に相談していますか（いくつでも○）。

1. 上司や同僚	5. 区役所の担当課
2. 法人、事業所の相談窓口	6. 地域包括支援センター
3. 利用者や利用者の家族	7. その他（ ）
4. 医療機関	8. 守秘義務があり、誰にも相談できない

② 気になった相談や困難事例の対応にあたり、誰と連携したいと思いますか（いくつでも○）。

1. 区役所（障がい担当部署）	9. 医療機関
2. 区役所（子ども担当部署）	10. 教職員、スクールソーシャルワーカー
3. 区役所（生活困窮担当部署）	11. 弁護士
4. 区役所（高齢者担当部署）	12. 税理士、ファイナンシャルプランナー
5. 区役所（教育委員会）	13. 各種保護者会、当事者会
6. 障がい支援機関	14. 民生委員・児童委員
7. 子ども（学習）支援機関	15. 社会福祉協議会
8. 生活困窮者支援機関	16. その他（ ）

(9) 高齢者保健・福祉事業や介護保険制度について、区へのご要望、ご意見などがありましたら、お聞かせください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。――

(4) 都や区の支援についてどのような手段で情報を得ているか教えてください
(いくつでも○)。

1. 都や区のホームページ	4. 民間の情報サイト
2. 広報紙	5. その他 ()
3. 都や区からのメール	

(5) 貴事業所は、高齢者等に対する家族や介護者からの虐待についての地域包括支援センターへつないでいますか (1つに○)。

1. 疑いを含めすべて地域包括支援センターへつないでいる
2. あきらかに虐待と確認できた場合のみつないでいる
3. 事業所内での対応にとどめている
4. これまで虐待事案はない
5. その他 ()

(6) 貴事業所は、高齢者に対する虐待に早期に対応するためにはなにが必要だと思いますか (1つに○)。

1. 相談窓口の充実	4. 介護サービスの提供拡大
2. 介護者のレスパイト (息抜き) の充実	5. 介護サービス提供者等による早期発見
3. 地域の声の聞き取り	6. その他 ()

(7) 貴事業所では、利用者や家族等から看取りの相談を受けたことがありますか (1つに○)。

1. 相談を受ける体制があり、受けたことがある
2. 相談を受ける体制はあるが、受けたことはない
3. 相談を受ける体制がなく、受けていない

問8 (8) ^

問8 (7) で「1」と回答した方にお伺いします。

① 看取りの相談を受けた際、どのような対応をされましたか (1つに○)。

1. 医療機関と連携を図る	3. 訪問診療・訪問看護を入れる
2. 家族や本人の意向確認	4. その他 ()

(8) ケアプランデータ連携システムを利用していますか (1つに○)。

1. 利用している	2. 利用していない	3. 利用を検討中

問8 (8) で「2」と回答した方にお伺いします。

① 利用していない理由は何ですか (いくつでも○)。

1. 初期費用を賄えないから	4. 職員の研修時間を割けないから
2. システムが使いにくいと聞くから	5. その他 ()
3. 普及率が低く連携のメリットがないから	

問1 事業所の基本情報について
(1) 事業所名をご記入ください。

事業所名

(2) 事業種別をお答えください(1つに○)。

1. 特別養護老人ホーム

3. 介護医療院

2. 老人保健施設

(3) 貴事業所の併設事業について、あてはまるものに○を付けてください
(いくつでも○)。

1. 居宅介護支援

2. 介護予防支援

3. 訪問介護

4. 訪問入浴介護

5. 介護予防 訪問入浴介護

6. 訪問看護

7. 介護予防 訪問看護

8. 訪問リハビリテーション

9. 介護予防 訪問リハビリテーション

10. 通所介護

11. 通所リハビリテーション

12. 介護予防 通所リハビリテーション

13. 短期入所生活介護

14. 介護予防 短期入所生活介護

15. 短期入所療養介護

16. 介護予防 短期入所療養介護

17. 福祉用具貸与

18. 介護予防 福祉用具貸与

19. 特定福祉用具販売

20. 介護予防 特定福祉用具販売

21. 住宅改修

22. 特定施設入居者生活介護

23. 介護予防 特定施設入居者生活介護

24. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

25. 夜間対応型訪問介護

26. 地域密着型通所介護

27. 認知症対応型通所介護

28. 介護予防 認知症対応型通所介護

29. 小規模多機能型居宅介護

30. 介護予防 小規模多機能型居宅介護

31. 認知症対応型共同生活介護
(グループホーム)

32. 介護予防 認知症対応型共同生活
介護 (グループホーム)

33. 看護小規模多機能型居宅介護

34. 介護老人福祉施設

35. 介護老人保健施設

36. 介護医療院

37. 居宅療養管理指導

38. 介護予防 居宅療養管理指導

39. 総合事業 訪問型サービス

40. 総合事業 通所型サービス

41. 病院・診療所

42. 地域包括支援センター

43. その他 ()

44. なし

(4) 事業所の経営主体は何ですか (1つに○)。

1. 医療法人

2. 社会福祉法人

3. その他 ()

(5) 経営主体の法人の所在地はどこですか (1つに○)。

1. 足立区内

2. 足立区外

介護保険施設調査

皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
また、日頃から足立区の高齢者施策にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
本区では、令和8年度に「足立区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の見直しを行います。
今回の調査は、計画の見直しにあたり、高齢者福祉に関する皆さまのお考えやご意見を伺いするものです。いただいたお考えやご意見は、高齢者保健福祉計画策定にあたっての貴重な資料とさせていただきます。
ご多忙のところ、誠に恐縮ではございますが、何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年11月吉日

【ご記入にあたってのお願い】

- 1 回答は事業者の代表者の方がご記入いただきますようお願いいたします。
- 2 回答にあたっては、質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲んでください。また、必要に応じて、数字やご意見のご記入をお願いいたします。
- 3 ご記入いただいたアンケートは、12月1日(月)までに同封の返信用封筒にてご返送ください(切手は不要です)。
- 4 この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

※ 本調査で得られた情報については、計画策定等の目的以外には利用いたしません。
また、当該情報は足立区が適切に管理し、お答えいただいた事業所や個人のお考えが公表されることはありません。
※ 数字を記入する設問で、無回答の場合は「0 (ゼロ)」として集計します。

【調査主体・お問い合わせ先】

足立区 福祉部 高齢者施策推進室 介護保険課 介護保険係
03-3880-5887 (直通) (受付時間：土・日・祝日を除く午前8時30分～午後5時)

597

1

(6) 貴事業所の職員体制についてご記入ください(数字を記入)。また、() 内に外国人職員数を記入してください。

※ 令和7年10月1日現在
※ 兼務をしている場合は、主たる業務でカウントしてください。
※ 空白は0人として集計します。

職種別		正規職員	非正規職員
施設責任者(管理者)		()人()人	()人()人
生活相談員		()人()人	()人()人
事務職員		()人()人	()人()人
看護職員(看護師、准看護師)		()人()人	()人()人
介護職員 (介護福祉士、ヘルパー1・2級、初任者研修等)		()人()人	()人()人
機能訓練指導員(PT、OT等)		()人()人	()人()人
介護支援専門員		()人()人	()人()人
栄養士		()人()人	()人()人
その他		()人()人	()人()人
合計		()人()人	()人()人

※ 非正規職員：いわゆるパート・アルバイト

【年齢階級別の職員体制】

年代別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
正規職員	()人()人	()人()人	()人()人	()人()人	()人()人	()人()人	()人()人	()人()人
非正規職員	()人()人	()人()人	()人()人	()人()人	()人()人	()人()人	()人()人	()人()人

※ 非正規職員：いわゆるパート・アルバイト

問2 入居・利用状況について

(1) 貴事業所の定員等につき、以下の質問にお答えください。

① 定員及び入所数(数字を記入) ※ 令和7年10月1日現在

定員 ()人
入所者数 ()人(内訳:男()人女()人)

② 入所者の平均年齢(数字を記入) ※ 令和7年10月1日現在

()歳

③ 入所者の要介護度別の人数(数字を記入)

※ 令和7年10月1日現在

※ 空白は0人として集計します。

要介護度別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
入所者数	()人	()人	()人	()人	()人	()人
うち医療処置の必要な人数	()人	()人	()人	()人	()人	()人

④ 入所のうち住所特例(保険者が足立区外)の該当者数(数字を記入)

※ 令和7年10月1日現在

()人

⑤ 令和6年1月～12月までの入退所者数(数字を記入)

入所者数 ()人 退所者数 ()人

⑥ 待機者数(数字を記入)

※ 令和7年10月1日現在

※ 空白は0人として集計します。

要介護度別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
待機者数	()人	()人	()人	()人	()人	()人
うち足立区民	()人	()人	()人	()人	()人	()人

(2) 入所までに平均どのくらいかかりましたか(1つに○)。

1. 1～3か月	4. 10～12か月
2. 4～6か月	5. 1年以上～3年未満
3. 7～9か月	6. 3年以上

(3) 入所の動機を把握されていますか (1つに○)。

1. 全て把握している	2. 一部把握している	3. 把握していない

問2 (4) へ

問2 (3) で「1」「2」と回答した方にお伺いします。

① 入所を決められた主な理由は何ですか (いくつでも○)。

1. 介護が必要になったため
2. 介護が必要になった時に備えて
3. 食事の提供があるから
4. 家事が負担になったため (外食以外)
5. バリアフリー化されているから
6. 自宅の管理が大変になったため
7. ひとり暮らしが不安になったため
8. セキュリティ面の安心から
9. その他 ()

(4) 退所の主な理由は何ですか (3つまで○)。

1. 死亡
2. 病院に入院
3. 家族の引き取り
4. 特別養護老人ホームに入所
5. 有料老人ホームに入居
6. サービス付き高齢者向け住宅に入居
7. その他の施設に入所
8. その他 ()

(5) 入所者の平均入居年数は何年ですか (1つに○)。

1. 1年未満
2. 1年～2年未満
3. 2年～3年未満
4. 3年～4年未満
5. 4年～5年未満
6. 5年以上

(6) 過去3年間の年間稼働率は何パーセントですか (それぞれ1つに○)。

年間稼働率	60%未満	60～70%未満	70～80%未満	80～90%未満	90～100%
令和4年	1	2	3	4	5
令和5年	1	2	3	4	5
令和6年	1	2	3	4	5

(7) 併設している短期入所生活介護の過去3年間の年間稼働率は何パーセントですか (それぞれ1つに○)。

年間稼働率	併設していない	60%未満	60～70%未満	70～80%未満	80～90%未満	90～100%
令和4年	1	2	3	4	5	6
令和5年	1	2	3	4	5	6
令和6年	1	2	3	4	5	6

(8) 貴事業所では対応可能な医療処置を教えてください (いくつでも○)。

1. 喀痰吸引
2. 吸入
3. 鼻腔経管栄養
4. 瘻孔経管栄養
5. 中心静脈栄養
6. モニター測定
7. 酸素療法
8. 気管切開
9. 人工呼吸器
10. ストーマ (人工肛門)
11. 留置尿道カテーテル
12. 中心静脈点滴
13. 末梢静脈点滴
14. 褥瘡処置 (Ⅲ度以上)
15. がん末期の疼痛管理
16. 腎透析 (血液透析及び腹膜透析)
17. 自己注射 (インスリンを含む)
18. その他の投薬管理 (服薬介助を含む)
19. なし

(9) 貴事業所では、看取りを実施していますか (1つに○・数字を記入)。

※ 空白は0として集計します。

1. 実施している	2. 実施していない

(この1年の実績 件)

問3 へ

問2 (9) で「2」と回答した方にお伺いします。

① 看取りを実施していない理由は何ですか (いくつでも○)。

1. 職員のスキル不足
2. 医療機関との連携が難しい
3. 家族の理解が得られない
4. その他 ()

問3 地域や他機関との連携について

(1) 地域のどのような組織と連携をしていますか (いくつでも○)。

1. 自治会・町内会
2. ボランティアグループ
3. 家族会
4. 学校関係
5. 商店街、レストラン
6. その他 ()
7. 連携をしていない

(2) 地域とどのような連携をしていますか (いくつでも○)。

1. 地域の行事への参加
2. 講師として指導してもらう
3. 事業所イベントへの招待
4. 小学校・中学校の体験学習
5. 地元商店街での買い物
6. 認知症サポーター養成講座の開催
7. その他 ()

(3) 医療機関との連携時に感じている課題を教えてください (いくつでも○)。

1. 連絡がつきにくい
2. 情報共有の不足・遅れ
3. 共通の連絡ツールがない
4. 介護保険サービスの理解不足
5. 利用者の支援方針の違い
6. その他 ()

問4 利用者からの声について

(1) 令和6年度以降、利用者や家族からどのような要望・苦情がありましたか（いくつでも○）。

1. 制度に関するもの	6. 施設・設備に関するもの
2. サービス内容に関するもの	7. 保険外負担（その他日常生活費など）に関するもの
3. 利用手続に関するもの	8. その他（ ）
4. 利用料に関するもの	9. 特に要望・苦情は受けていない
5. 職員の対応に関するもの	

(2) 利用者等から苦情があった場合、どのようにに対応していますか（いくつでも○）。

1. 苦情処理担当者を置いている	5. 相談窓口である基幹地域包括支援センターに相談している
2. 苦情処理対応マニュアルを作成している	6. その他（ ）
3. 国民健康保険団体連合会に相談している	
4. 保険者である区に相談している	

問5 サービスの質の向上について

(1) サービスの質の向上のために、どのような取り組みを行っていますか。今後の予定も含めてお答えください（いくつでも○）。

1. 外部の研修会・講習会に参加
2. 事業所内に講師を呼んで研修会・講習会の開催
3. 事業所スタッフによる研修会・講習会の開催
4. 事業所内に参考書を準備
5. サービスマニュアルの作成
6. サービスに対する事業者自身による評価の実施
7. 利用者の満足度調査の実施
8. サービスに対する第三者による評価の実施
9. 介護ロボットの活用
10. その他（ ）

問5 (1) で「8」と回答しなかった方にお伺いします。

① 第三者評価を受けていない理由は何か（いくつでも○）。

1. 利用者の評価に影響がない	4. 時間がない
2. サービスの質の向上に寄与すると考えられない	5. 費用がない
3. 事業所の課題が明らかにならない	6. その他（ ）

(2) 職員に対する社内・社外研修の実施状況をお答えください（1つに○）。

1. 内部研修を実施しており、外部研修（区の研修会）にも参加させている
2. 内部研修は実施しているが、外部研修（区の研修会）には参加させていない
3. 内部研修は実施していないが、外部研修（区の研修会）には参加させている
4. 内部研修は実施していないし、外部研修（区の研修会）にも参加させていない
5. その他（ ）

問5 (3) へ

問5 (2) で「1」～「3」と回答した方にお伺いします。

① どのような内容の研修を実施されていますか。もしくはどのような研修に参加させていますか（いくつでも○）。

1. 介護保険制度全般について	5. 相談・苦情対応について
2. 運営基準について	6. ケアプランについて
3. 専門技術の向上について	7. その他（ ）
4. 利用者に対する待遇について	

(3) 職員の教育に取り組んでいますか（1つに○）。

1. 取り組んでいる	2. 取り組んでいない

問6 へ

問5 (3) で「1」と回答した方にお伺いします。

① 職員の教育で力を入れていることは何ですか（いくつでも○）。

1. 丁寧な言葉遣いや態度など、マナーについての指導
2. 身だしなみに関する指導
3. 技術・知識向上のための研修
4. 資格取得のための支援
5. リスクマネジメントに関する指導
6. その他（ ）

問6 リスク管理について

(1) 貴事業所が行っている有事(感染症や自然災害)を想定した平時の備えについて、お答えください（いくつでも○）。

1. 備蓄対策

2. 非常用電源の準備

3. 施設の耐震対策（ガラスの飛散防止・棚等の転倒防止など）の実施

4. 防災訓練の実施

5. 防災訓練などで近隣の住民組織（町内会、自主防災組織）と連携

6. ハザードマップで事業所の危険度を確認

7. 他組織との連携

8. その他（ ）

9. 特に取り組んでいない

問6 (2) ^

問6 (1) で「1」と回答した方にお伺いします。

① 備蓄は定員および職員あわせて何日分準備していますか（数字を記入）。

() 日分程度

(2) 有事（感染症や自然災害）が発生した際に貴事業所で取り決められている内容について、お答えください（いくつでも○）。

1. 災害に関する情報の入手方法

2. 災害時の連絡先（自治体、家族、職員等）及び通信手段

3. 利用者の安否確認方法

4. 避難を開始する時期及び判断基準

5. 避難場所（区が指定する避難場所、施設内の安全なスペース等）

6. 避難経路及び所要時間

7. 利用者ごとの避難方法（車いす、徒歩等）

8. 垂直避難の判断

9. 災害時の人員体制・指揮系統（参集方法、役割分担、避難に必要な職員数等）

10. 他事業所からサービス提供を代替する場合の利用者の同意の取り方

11. サービス提供を代替する方法の利用者・利用者家族への周知の仕方

12. 介護サービス事業を継続するための人材確保方法

13. 報酬請求方法、記録の取り方

14. 関係機関との連携体制

15. 関係機関と連携にあたり必要な帳票

16. その他（ ）

17. 取り決めたはない

8

(3) 貴事業所は令和6、7年に水害を含む避難訓練を実施しましたか（1つに○・数字を記入）。

1. 実施した→(年 回数)

2. 実施していない→(実施予定時期 年 月頃) → 問7 ^

問6 (3) で「1」と回答した方にお伺いします。

① 実施した避難訓練に介護度の最も重い方は参加しましたか（実際に避難しましたか）（1つに○）。

1. 避難した

2. 避難していない

問7 人材確保について

(1) 貴事業所では、介護職員等の人材は確保できていますか（1つに○）。

1. 確保できている

2. 概ね確保できている

3. 確保が難しいこともある

4. 確保できていない

問7 (2) ^

問7 (1) で「3」「4」と回答した方にお伺いします。

① その理由は何ですか（いくつでも○）。

1. 求人・募集に対し応募が少ない

2. 求める人材の応募が少ない

3. 給与が労働条件に見合わない

4. 離職・退職者が多い

5. 重労働である・そのイメージがある

6. 介護への理解・関心が低い

7. 施設へ人材が流れてしまう

8. 福利厚生等の労働環境が整っていない

9. 地域の特性

10. 感染症への不安がある

11. その他（ ）

(2) 人材確保支援策として有効だと思うものは何ですか（いくつでも○）。

1. 給与・待遇の改善

2. 募集方法の改善

3. 職場環境・勤務体制の改善

4. 福利厚生の充実

5. 研修・教育等の充実

6. 業務内容の見直し

7. 介護職員の資格取得支援

8. 行政機関がトライアル期間の給与を負担

9. 行政機関主催の就職相談・面接会

10. 復職者向けセミナー

11. 新規就職者向けセミナー

12. 介護業務体験

13. その他（ ）

9

601

(3) 貴事業所では、職員の募集（採用）にあたりどのような工夫を行っていますか（いくつでも○）。

1. ハローワークに求人票を出している
2. 大学等に求人票を出している
3. 専門学校に求人票を出している
4. 高校に求人票を出している
5. 新聞の折り込み広告等に求人掲載している
6. 職業紹介雑誌等に求人掲載している
7. 就職相談会等の機会にブースを設けている
8. 関東圏域以外へ求人のため足を運んでいる
9. インターネット媒体を介して募集している
10. 友人・知人を介して募集している
11. 人材派遣会社に依頼している
12. 介護資格や介護経験の有無にこだわらないようにしている
13. 近隣の事業所と連携し、採用に関し情報交換をしている
14. 職場体験を実施している
15. 子育て支援を行っている（子ども預かり所を設ける、保育費用支援等）
16. 福利厚生を充実している
17. くるみん認定、その他国や地方自治体の認定等を取得している
18. 短時間等柔軟な勤務体制を整えている
19. 残業なしにしている
20. 外国籍を有する方を採用している
21. その他（ ）

(4) 職員の募集（採用）で効果のあったものは何ですか（3つまで数字を記入）。
※ 問7（3）の設問から該当の番号を選んでください。

（ ）	（ ）	（ ）

(5) 貴事業所では、外国籍を有する方を採用していますか（1つに○）。

1. 採用している	2. 採用していない

問7（5）で「1」と回答した方にお伺いします。

① 採用した外国籍を有する方の在留資格を教えてください（いくつでも○）。

1. 技能実習	4. 留学生（資格外活動）
2. 介護福祉士候補（EPA）	5. 永住者・定住者
3. 特定技能（介護）	6. その他（ ）

② 外国籍を有する方を採用した主な理由を教えてください（いくつでも○）。

1. 人手不足解消	4. 採用に係る東京都などの補助金・助成金
2. 若い人材の確保	5. 国際貢献・多様性の尊重
3. 長く働いてくれることの期待	6. その他（ ）

③ 外国籍を有する方が行っている主な業務は何ですか（いくつでも○）。

1. 配膳	6. レクリエーション
2. 食事介助	7. 直接介護を伴わない業務
3. 入浴介助	8. 事務
4. 排泄介助	9. その他（ ）
5. その他の身体介助（移動・更衣など）	10. 特にない

④ 外国籍を有する方への教育はどのようにしていますか（いくつでも○）。

1. 事業所で直接研修を行っている	2. 法人（本社）で研修を行っている
3. 外部で行うセミナーに参加している	4. その他（ ）
5. 特に行っていない	

⑤ 外国籍を有する方を採用して感じたメリットを教えてください（いくつでも○）。

1. 勤勉でまじめな人が多い	4. 定着率が高い
2. 業務に前向きに取り組んでいる	5. その他（ ）
3. 利用者が喜ぶ	6. メリットを感じない

602

10

11

問7 (5) で「1」と回答した方にお伺いします。

⑥ 外国籍を有する方を採用して感じた課題や困難を感じたことを教えてください (いくつでも○)。

1. 日本語でのコミュニケーション	5. 金銭的負担
2. 文化や習慣の違い	6. 既存職員との関係構築
3. 教育・指導の負担	7. その他 ()
4. 手続きや制度の煩雑さ	8. 課題や困難を感じない

問7 (5) で「2」と回答した方にお伺いします。

⑦ 外国籍を有する方を採用していない理由は何ですか (いくつでも○)。

1. 金銭的な負担が重い	5. コミュニケーションが不安
2. フォロー体制が整わない	6. 帰国が予想され定着しない
3. 募集・採用の仕方が分からない	7. その他 ()
4. 利用者からの反対がある (想定される)	

(6) 外国籍を有する方の採用・定着のために必要だと感じる支援を教えてください (いくつでも○)。

1. 採用や制度に関する事業者向けセミナー	5. 行政手続き・制度活用のサポート
2. 区主催の介護専門用語研修の実施	6. その他 ()
3. 採用や募集に関する相談窓口	7. 特にならない
4. 外国人従事者が困りごとを相談できる窓口	

(7) スポットワーク (単発・短時間勤務の人材活用) を導入していますか (1つに○)。

1. 導入している	2. 導入していない
- ↓
- 問7 (7) ④へ

問7 (7) で「1」と回答した方にお伺いします。

① どの業務にスポットワークを導入しているか教えてください (いくつでも○)。

1. 配膳	5. レクリエーション
2. 食事介助	6. 直接介護を伴わない業務
3. 入浴介助	7. 事務
4. 排泄介助	8. その他 ()

② スポットワークを導入して感じたメリットを教えてください (いくつでも○)。

1. 急な人手不足に対応できる	4. 正規雇用につなげられる
2. 直接雇用より社会保険料などの金銭的負担が少ない	5. その他 ()
3. 有資格者が多く即戦力になる	6. メリットを感じない

問7 (7) で「1」と回答した方にお伺いします。

③ スポットワークを導入して感じた課題を教えてください (いくつでも○)。

1. スキルの足りない方が来る	4. 継続して来てほしい方がいても回数制限があるため来てもらえない
2. 毎回違う方が来るため利用者が混乱する	5. その他 ()
3. 違う人が来るたび業務レクチャーをしなければいけない煩わしさ	6. 特にならない

問7 (7) で「2」と回答した方にお伺いします。

④ スポットワークを導入していない理由を教えてください (いくつでも○)。

1. 人員が足りている	5. 利用の方がわからない
2. スポットワークで暗う業務がない	6. 採用する人材の質が不安
3. 金銭的負担が大きい	7. その他 ()
4. フォロー体制が整わない	

(8) スポットワークを利用するために必要だと感じる支援を教えてください (いくつでも○)。

1. 制度や活用方法を説明するセミナー	4. 事業者向け相談窓口
2. 導入に向けたコンサルティング	5. その他 ()
3. スポットワーク人材との相談窓口	

(9) 令和6年 (1月から12月) の入職率と離職率についてお答えください (それぞれ1つに○)。

① 正規職員について

- 【入職率】 令和6年年初の正規職員数に対する令和6年の入職者 (正規職員) 数の割合
- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 0~10%未満 | 4. 30~40%未満 |
| 2. 10~20%未満 | 5. 40~50%未満 |
| 3. 20~30%未満 | 6. 50%以上 |

【離職率】 令和6年年初の正規職員数に対する令和6年の離職者 (正規職員) 数の割合

1. 0~10%未満	4. 30~40%未満
2. 10~20%未満	5. 40~50%未満
3. 20~30%未満	6. 50%以上

② 非正規職員について

【入職率】 令和6年年初の非正規職員数に対する令和6年の入職者 (非正規職員) 数の割合

1. 0~10%未満	4. 30~40%未満
2. 10~20%未満	5. 40~50%未満
3. 20~30%未満	6. 50%以上

【離職率】令和6年年初の非正規職員数に対する令和6年の離職者（非正規職員）数の割合

1. 0～10%未満	4. 30～40%未満
2. 10～20%未満	5. 40～50%未満
3. 20～30%未満	6. 50%以上

(10) 貴事業所は今年度に賃上げを行いましたか（1つに○）。

1. 賃上げを行った	2. 賃上げを行わず予定	3. 賃上げを行っていない

問7 (10) で「1」「2」と回答した方にお伺いします。

① 職員1人あたりの賃上げ平均額は月額（換算）でいくらですか（1つに○）。

1. 1円～5,000円	4. 10,001円～15,000円
2. 5,001円～8,000円	5. 15,001円以上
3. 8,001円～10,000円	

(11) 質の高い人材を確保するために、貴事業所では昇進、昇給等に際して、どのような基準で評価を行っていますか（いくつでも○）。

1. 貴施設での在職期間（勤続年数）
2. 貴施設以外を含めた当該職種としての経験年数
3. 所有している資格の種類
4. 介護・看護技術面の能力
5. 管理能力
6. 利用者・顧客からの評価・評判（CS調査結果など）
7. 研修等の受講状況
8. その他（ ）

(12) ボランティアの受け入れはしていますか（1つに○）。

1. 受け入れている	2. 受け入れていない

問7 (12) で「1」と回答した方にお伺いします。

① ボランティアの活動内容は何か（いくつでも○）。

1. 足立区元気応援ポイント事業に登録している
2. 定期的な行事・習い事の実施
3. 介護補助やお手伝い
4. その他（ ）

② ボランティアを受け入れる際の課題や注意していることは何ですか（いくつでも○）。

1. 実費・交通費の有無	4. 個人情報保護
2. 認識合わせ（ボランティア、事業所、入居者間）	5. より多くの高齢入居者の参加
3. ボランティア担当者の人柄・経験（介助経験、レク・傾聴ボランティア可能）	6. その他（ ）

問7 (12) で「2」と回答した方にお伺いします。

③ ボランティアを受け入れていない理由は何ですか（いくつでも○）。

1. 体制が整っていない、受け入れ体制がない
2. 医療が中心のためボランティアの役割がない
3. ボランティアの話題がないため分からない
4. 安全面を考慮して受け入れていない
5. その他（ ）

問8 業務効率化について

(1) ロボットやIoTを導入している分野はありますか（いくつでも○）。

1. 見守り支援	4. カルテ入力等業務支援
2. 要介助者支援	5. その他（ ）
3. コミュニケーションロボット	6. 導入していない

(2) ロボットやIoTの導入を検討している分野はありますか（いくつでも○）。

1. 見守り支援	4. カルテ入力等業務支援
2. 要介助者支援	5. その他（ ）
3. コミュニケーションロボット	6. 導入を検討していない

(3) 現在、事務負担はどの程度ですか（1つに○）。

1. とても重い	2. 少し重い	3. 重たくない

問9 (8) で「1」～「8」と回答した方にお伺いします。

① 情報提供の手段は何ですか（いくつでも○）。

1. チャラシ・パンフレット

2. インターネット

3. 館内での掲示物

4. その他（
）

1. 実施している介護サービスの種類や特徴

2. 事業所自身による、介護サービス提供内容等に関する自己評価

3. 介護サービス利用者による事業所の評価

4. 専門知識を持つ第三者による事業所の評価

5. 事業所の運営体制（有資格従業員の状況、利用者に対する職員数の割合等）

6. 介護サービスの質の向上への取り組み内容（研修実施、マニュアルの整備状況等）

7. 事業所の経営状況（財務諸表等）

8. その他（
）

9. 情報提供はしていない

問9 (8) で「1」～「8」と回答した方にお伺いします。

① 情報提供の手段は何ですか（いくつでも○）。

1. チャラシ・パンフレット

2. インターネット

3. 新聞・雑誌（広告記事）

4. その他（
）

問9 (9) で「1」～「8」と回答した方にお伺いします。

① LIFE（科学的介護情報システム）を利用していますか（1つに○）。

1. 利用している

2. 利用していない

3. 利用を検討中

問9 (10) で「2」と回答した方にお伺いします。

① 利用していない理由は何ですか（いくつでも○）。

1. 導入の方法がわからないため

2. 日常業務の負担が増えるため

3. 負担に見合う加算が得られないため

4. 導入による効果がわからないため

5. その他（
）

6. 対象施設ではない

問9 (11) 高齢者保健・福祉事業や介護保険制度について、区へのご要望、ご意見などがありましたら、お聞かせください。

（8）貴事業所では、利用者を含め区民に対してどのような情報提供を行っていますか（いくつでも○）。

（9）貴事業所では、どのような方法で入居者の募集を行っていますか（いくつでも○）。

（10）LIFE（科学的介護情報システム）を利用していますか（1つに○）。

（11）高齢者保健・福祉事業や介護保険制度について、区へのご要望、ご意見などがありましたら、お聞かせください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。――

606

18

有料老人ホーム・軽費老人ホーム施設調査

皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
また、日頃から足立区の高齢者施策にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
本区では、令和8年度に「足立区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の見直しを行います。
今回の調査で、計画の見直しにあたり、高齢者福祉に関する皆さまのお考えやご意見を伺います。
また、いただいたお考えやご意見は、高齢者保健福祉計画策定にあたっての貴重な資料とさせていただきます。
ご多忙のところ、誠に恐縮ではございますが、何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年11月吉日

【ご記入にあたってのお願い】

- 1 回答は事業者の代表者の方がご記入いただきますようお願いいたします。
- 2 回答にあたっては、質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲んでください。また、必要に応じて、数字やご意見のご記入をお願いいたします。
- 3 ご記入いただいたアンケートは、12月1日(月)までに同封の返信用封筒にてご返送ください(切手は不要です)。
- 4 この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

※ 本調査で得られた情報については、計画策定等の目的以外には利用いたしません。
また、当該情報は足立区が適切に管理し、お答えいただいた事業者や個人のお考えが公表されることはありません。
※ 数字を記入する設問で、無回答の場合は「0(ゼロ)」として集計します。

【調査主体・お問い合わせ先】

足立区 福祉部 高齢者施策推進室 介護保険課 介護保険係
03-3880-5887 (直通) (受付時間：土・日・祝日を除く午前8時30分～午後5時)
足立区 福祉部 高齢者施策推進室 高齢者地域包括ケア推進課 施設係
03-3880-5498 (直通) (受付時間：土・日・祝日を除く午前8時30分～午後5時)

9 有料老人ホーム・軽費老人ホーム施設調査

9 有料老人ホーム・軽費老人ホーム施設調査

問1 事業所の基本情報について
(1) 事業所名をご記入ください。

事業所名

(2) 開設年月日をお答えください(数字を記入)。

西暦 () 年 () 月 () 日

(3) 事業種別をお答えください(1つに○)。

1. 「介護付き」(介護専用型)	4. 軽費老人ホーム「介護型」
2. 「介護付き」(混合型)	5. 軽費老人ホーム「一般型」
3. 「住宅型」	

(4) 貴事業所の併設事業について、あてはるものに○を付けてください
(いくつでも○)。

1. 居宅介護支援	24. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
2. 介護予防支援	25. 夜間対応型訪問介護
3. 訪問介護	26. 地域密着型通所介護
4. 訪問入浴介護	27. 認知症対応型通所介護
5. 介護予防 訪問入浴介護	28. 介護予防 認知症対応型通所介護
6. 訪問看護	29. 小規模多機能型居宅介護
7. 介護予防 訪問看護	30. 介護予防 小規模多機能型居宅介護
8. 訪問リハビリテーション	31. 認知症対応型共同生活介護
9. 介護予防 訪問リハビリテーション	(グループホーム)
10. 通所介護	32. 介護予防 認知症対応型共同生活
11. 通所リハビリテーション	介護 (グループホーム)
12. 介護予防 通所リハビリテーション	33. 看護小規模多機能型居宅介護
13. 短期入所生活介護	34. 介護老人福祉施設
14. 介護予防 短期入所生活介護	35. 介護老人保健施設
15. 短期入所療養介護	36. 介護医療院
16. 介護予防 短期入所療養介護	37. 居宅療養管理指導
17. 福祉用具貸与	38. 介護予防 居宅療養管理指導
18. 介護予防 福祉用具貸与	39. 総合事業 訪問型サービス
19. 特定福祉用具販売	40. 総合事業 通所型サービス
20. 介護予防 特定福祉用具販売	41. 病院・診療所
21. 住宅改修	42. 地域包括支援センター
22. 特定施設入居者生活介護	43. その他 ()
23. 介護予防 特定施設入居者生活介護	44. なし

(5) 事業所の経営主体は何ですか (1つに○)。

1. 営利法人	4. NPO法人
2. 医療法人	5. その他 ()
3. 社会福祉法人	

【年齢階級別の職員体制】

年代別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
正規職員	人 ()	人 ()	人 ()	人 ()	人 ()	人 ()	人 ()	人 ()
非正規職員	人 ()	人 ()	人 ()	人 ()	人 ()	人 ()	人 ()	人 ()

※ 非正規職員：いわゆるパート・アルバイト

問2 入居・利用状況について

(1) 貴事業所の定員等につき、以下の質問にお答えください。

① 定員及び入居者数（数字を記入） ※ 令和7年10月1日現在

定員 () 人
入居者数 () 人 (内訳：男 () 人 女 () 人)

② 入居者の平均年齢（数字を記入） ※ 令和7年10月1日現在

() 歳

③ 入居者の要介護度別の人数（数字を記入）

※ 令和7年10月1日現在

※ 空白は0人として集計します。

要介護度別	自立	要支援1	要介護2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
入居者数	人	人	人	人	人	人	人	人	人
うち医療 処置の必 要な人数	人	人	人	人	人	人	人	人	人

④ 入居者のうち住所地特例（保険者が足立区外）の該当者数（数字を記入）

※ 令和7年10月1日現在

※ 住所地特例の対象となっている事業所のみ回答

() 人

⑤ 令和6年1月～12月までの入退居者数（数字を記入）

入居者数 () 人 退居者数 () 人

(6) 経営主体の法人の所在地はどこですか（1つに○）。

1. 足立区内	2. 足立区外

(7) 貴法人は、貴事業所を含め、有料老人ホーム、軽費老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅を運営していますか。すべての箇所数をお答えください（1つに○。数字を記入）。

1. 本事業所のみ	2. () 箇所

(8) 貴事業所の職員体制についてご記入ください（数字を記入）。また、() 内に外国人職員数を記入してください。

※ 令和7年10月1日現在

※ 兼務をしている場合は、主たる業務でカウントしてください。

※ 空白は0人として集計します。

職種別	正規職員	非正規職員
施設責任者（管理者）	() 人 () 人	人 () 人
生活相談員	() 人 () 人	人 () 人
事務職員	() 人 () 人	人 () 人
看護職員（看護師、准看護師）	() 人 () 人	人 () 人
介護職員（介護福祉士、ヘルパー1・2級、初任者研修等）	() 人 () 人	人 () 人
機能訓練指導員（PT、OT等）	() 人 () 人	人 () 人
介護支援専門員	() 人 () 人	人 () 人
栄養士	() 人 () 人	人 () 人
その他	() 人 () 人	人 () 人
合計	() 人 () 人	人 () 人

※ 非正規職員：いわゆるパート・アルバイト

問2 (7) 是有料老人ホームの事業所の方にお伺いします。

(7) 貴事業所では、看取りを実施していますか（1つに○・数字を記入）。

※ 空白は0として集計します。

1. 実施している
(この1年の実績件)

2. 実施していない

問2 (9)へ

1. 介護が必要になったため

2. 介護が必要になった時に備えて

3. 食事の提供があるから

4. 家事が負担になったため（外食以外）

5. バリアフリー化されているから

6. 自宅の管理が大変になったため

7. ひとり暮らしが不安になったため

8. セキュリティ面の安心から

9. その他（防犯、防災）

問2 (8) で「2」と回答した方にお伺いします。

(8) 貴事業所では、看取りを実施していますか（1つに○・数字を記入）。

※ 空白は0として集計します。

1. 実施している
(この1年の実績件)

2. 実施していない

問2 (9)へ

1. 介護が必要になったため

2. 介護が必要になった時に備えて

3. 食事の提供があるから

4. 家事が負担になったため（外食以外）

5. バリアフリー化されているから

6. 自宅の管理が大変になったため

7. ひとり暮らしが不安になったため

8. セキュリティ面の安心から

9. その他（防犯、防災）

(9) 貴事業所の利用料等につき、以下の質問にお答えください（数字を記入）。

① 敷金（保証金）【代表的なプランでお答えください】

() 円

② 前払金（入所一時金）【代表的なプランでお答えください】

() 円

③ 月額利用料（賃料）【代表的なプランでお答えください】

() 円

④ 共益費・管理費【代表的なプランでお答えください】

() 円

⑥ 待機者数（数字を記入） ※ 令和7年10月1日現在

() 人

(2) 入居までに平均どのくらいかかりますか（1つに○）。

1. 1～3か月

2. 4～6か月

3. 7～9か月

4. 10～12か月

5. 1年以上～3年未満

6. 3年以上

(3) 入居の動機を把握されていますか（1つに○）。

1. 全て把握している

2. 一部把握している

3. 把握していない

問2 (4)へ

問2 (3) で「1」「2」と回答した方にお伺いします。

① 入居を決められた主な理由は何ですか（いくつでも○）。

1. 介護が必要になったため

2. 介護が必要になった時に備えて

3. 食事の提供があるから

4. 家事が負担になったため（外食以外）

5. バリアフリー化されているから

6. 自宅の管理が大変になったため

7. ひとり暮らしが不安になったため

8. セキュリティ面の安心から

9. その他（防犯、防災）

(4) 退居の主な理由は何ですか（3つまで○）。

1. 死亡

2. 病院に入院

3. 家族の引き取り

4. 特別養護老人ホームに入居

5. 有料老人ホームに入居

6. サービス付き高齢者向け住宅に入居

7. その他の施設に入所

8. その他（施設の種類）

(5) 入居者の平均入居年数は何年ですか（1つに○）。

1. 1年未満

2. 1年～2年未満

3. 2年～3年未満

4. 3年～4年未満

5. 4年～5年未満

6. 5年以上

(6) 過去3年間の年間稼働率は何パーセントですか（それぞれ1つに○）。

年間稼働率	60%未満	60～70%未満	70～80%未満	80～90%未満	90～100%
令和4年	1	2	3	4	5
令和5年	1	2	3	4	5
令和6年	1	2	3	4	5

9 有料老人ホーム・軽費老人ホーム施設調査

問3 地域や他機関との連携について

(1) 地域のどのような組織と連携をしていますか（いくつでも○）。

1. 自治会・町内会	5. 商店街、レストラン
2. ボランティアグループ	6. その他（ ）
3. 家族会	7. 連携をしていない
4. 学校関係	

(2) 地域とどのような連携をしていますか（いくつでも○）。

1. 地域の行事への参加	5. 地元商店街での買い物
2. 講師として指導してもらう	6. 認知症サポーター養成講座の開催
3. 事業所イベントへの招待	7. その他（ ）
4. 小学校・中学校の体験学習	

(3) 医療機関との連携時に感じている課題を教えてください（いくつでも○）。

1. 連絡がつきにくい	4. 介護保険サービスの理解不足
2. 情報共有の不足・遅れ	5. 利用者の支援方針の違い
3. 共通の連絡ツールがない	6. その他（ ）

問4 利用者からの声について

(1) 令和6年度以降、利用者や家族からどのような要望・苦情がありましたか（いくつでも○）。

1. 制度に関するもの	6. 施設・設備に関するもの
2. サービス内容に関するもの	7. 保険外負担（その他日常生活費など）に関するもの
3. 利用手続きに関するもの	
4. 利用料に関するもの	8. その他（ ）
5. 職員の対応に関するもの	9. 特に要望・苦情は受けていない

(2) 利用者等から苦情があった場合、どのように対応していますか（いくつでも○）。

1. 苦情処理担当者を置いている	5. 相談窓口である基幹地域包括支援センターに相談している
2. 苦情処理対応マニュアルを作成している	6. その他（ ）
3. 国民健康保険団体連合会に相談している	
4. 保険者である区に相談している	

(3) 利用者や家族の要望を積極的に取り入れるため、どのような取り組みを行っていますか（いくつでも○）。

1. 利用者にサービス計画を説明し要望を聞く機会を設けている
2. 家族にサービス計画を説明し要望を聞く機会を設けている
3. 利用者・家族と話し合いの機会を定期的に設けている
4. 利用者の生活状況を記録し家族に連絡している
5. 利用者・家族を対象に相談・苦情窓口を設けている
6. 家族会を設置している
7. その他（ ）

問5 サービスの質の向上について

(1) サービスの質の向上のために、どのような取り組みを行っていますか。今後の予定も含めてお答えください（いくつでも○）。

1. 外部の研修会・講習会に参加
2. 事業所内に講師を呼んで研修会・講習会の開催
3. 事業所スタッフによる研修会・講習会の開催
4. 事業所内に参考書を準備
5. サービスマニュアルの作成
6. サービスに対する事業者自身による評価の実施
7. 利用者の満足度調査の実施
8. サービスに対する第三者による評価の実施
9. 介護ロボットの活用
10. その他（ ）

問5 (1) で「8」と回答しなかった方にお伺いします。

① 第三者評価を受けていない理由は何か（いくつでも○）。

1. 利用者の評価に影響がない	4. 時間がない
2. サービスの質の向上に寄与すると考えられない	5. 費用がない
3. 事業所の課題が明らかになると思えない	6. その他（ ）

(2) 職員に対する社内・社外研修の実施状況をお答えください（1つに○）。

1. 内部研修を実施しており、外部研修（区の研修会）にも参加させている
2. 内部研修は実施しているが、外部研修（区の研修会）には参加させていない
3. 内部研修は実施していないが、外部研修（区の研修会）には参加させている
4. 内部研修は実施していないし、外部研修（区の研修会）にも参加させていない
5. その他（ ）

問5 (3) へ

問5 (2) で「1」～「3」と回答した方にお伺いします。

① どのような内容の研修を実施されていますか。もしくはどのような研修に参加させていますか（いくつでも○）。

1. 介護保険制度全般について	5. 相談・苦情対応について
2. 運営基準について	6. ケアプランについて
3. 専門技術の向上について	7. その他（ ）
4. 利用者に対する待遇について	

1. 取り組んでいる

2. 取り組んでいない → 問6へ

① 職員の教育で力を入れていることは何ですか（いくつでも○）。

1. 丁寧な言葉遣いや態度など、マナーについての指導
2. 身だしなみに関する指導
3. 技術・知識向上のための研修
4. 資格取得のための支援
5. リスクマネジメントに関する指導
6. その他（ ）

(1) 貴事業所が行っている有事(感染症や自然災害)を想定した平時の備えについて、お答えください(いくつでも○)。

1. 備蓄対策
2. 非常用電源の準備
3. 施設の耐震対策（ガラスの飛散防止・棚類の転倒防止など）の実施
4. 防災訓練の実施
5. 防災訓練などで近隣の住民組織（町内会、自主防災組織）と連携
6. ハザードマップで事業所の危険度を確認
7. 他組織との連携
8. その他（
9. 特に取り組んでいない

① ① 備蓄金は定員および職員あわせて何目分準備していますか（数字を記入）。

() 目分程理

1. 災害に関する情報の入手方法
2. 災害時の連絡先（自治体、家族、職員等）及び通信手段
3. 利用者の安否確認方法
4. 避難を開始する時期及び判断基準
5. 避難場所（区が指定する避難場所、施設内の安全なスペース等）
6. 避難経路及び所要時間
7. 利用者ごとの避難方法（車いす、徒歩等）
8. 垂直避難の判断
9. 災害時の人員体制・指揮系統（参集方法、役割分担、避難に必要な職員数等）
10. 他事業所からサービス提供を代替する場合の利用者の同意の取り方
11. サービス提供を代替する方法の利用者・利用者家族への周知の仕方
12. 介護サービス事業を継続するための人材確保方法
13. 報酬請求方法、記録の取り方
14. 関係機関との連携体制
15. 関係機関と連携にあたり必要な帳票
16. その他（
17. 取り決めはない

1. 実施した→(年 回程度)
2. 実施していない→(実施予定時期 年 月頃) ↑ 問7へ

① 実施した避難訓練に介護度の最も重い方は参加しましたか（実際に避難しましたか）（1つに○）。

1. 避難した 2. 避難していない

(1) 貴事業所では、介護職員等の人材は確保できていますか(1つに○)。

- ```
graph LR; A[1. 確保できている] --> B[2. 概ね確保できている]; B --- C[3. 確保が難しいこともある
4. 確保できていない];
```

問7 (1) ①△

9 有料老人ホーム・軽費老人ホーム施設調査

問7 (1) で「3」「4」と回答した方にお伺いします。

① その理由は何ですか (いくつでも○)。

1. 求人・募集に対し応募が少ない  
(または応募がない)
2. 求める人材の応募が少しい  
(または応募がない)
3. 給与が労働条件に見合わない
4. 離職・退職者が多い
5. 重労働である・そのイメージがある
6. 介護への理解・関心が低い  
(または人材が流れてしまう)
7. 施設厚生等の労働環境が整って  
いない
8. 地域の特性
9. 感染症への不安がある
10. その他 ( )
11. その他 ( )

(2) 人材確保支援策として有効だと思うものは何ですか (いくつでも○)。

1. 給与・待遇の改善
2. 募集方法の改善
3. 職場環境・勤務体制の改善
4. 福利厚生の充実
5. 研修・教育等の充実
6. 業務内容の見直し
7. 介護職員の資格取得支援
8. 行政機関がトライアル期間の給与を負担
9. 行政機関主催の就職相談・面接会
10. 復職向けセミナー
11. 新規就職者向けセミナー
12. 介護業務体験
13. その他 ( )

(3) 貴事業所では、職員の募集 (採用) にあたりどのような工夫を行っていますか (いくつでも○)。

1. ハローワークに求人票を出している
2. 大学等に求人票を出している
3. 専門学校に求人票を出している
4. 高校に求人票を出している
5. 新聞の折り込み広告等に求人を掲載している
6. 職業紹介雑誌等に求人を掲載している
7. 就職相談会等の機会にブースを設けている
8. 関東圏域以外へ求人のため足を運んでいる
9. インターネット媒体を介して募集している
10. 友人・知人を介して募集している
11. 人材派遣会社に依頼している
12. 介護資格や介護経験の有無にこだわらないようにしている
13. 近隣の事業所と連携し、採用に関し情報交換をしている
14. 職場体験を実施している
15. 子育て支援を行っている (子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)
16. 福利厚生を充実している
17. くるみん認定、その他国や地方自治体の認定等を取得している
18. 短時間等柔軟な勤務体制を整えている
19. 残業なしにしている
20. 外国籍を有する方を採用している
21. その他 ( )

(4) 職員の募集 (採用) で効果のあったものは何ですか (3つまで数字を記入)。

※ 問7 (3) の設問から該当の番号を選んでください。

- ( ) ( ) ( ) ( ) ( )

(5) 貴事業所では、外国籍を有する方を採用していますか (1つに○)。

1. 採用している
2. 採用していない
- 問7 (5) ⑦へ

問7 (5) で「1」と回答した方にお伺いします。

① 採用した外国籍を有する方の在留資格を教えてください (いくつでも○)。

1. 技能実習
2. 介護福祉士候補 (EPA)
3. 特定技能 (介護)
4. 留学生 (資格外活動)
5. 永住者・定住者
6. その他 ( )

② 外国籍を有する方を採用した主な理由を教えてください (いくつでも○)。

1. 人手不足解消
2. 若い人材の確保
3. 長く働いてくれることの期待
4. 採用に係る東京都などの補助金・助成金が充実している
5. 国際貢献・多様性の尊重
6. その他 ( )

③ 外国籍を有する方が行っている主な業務は何ですか (いくつでも○)。

1. 配膳
2. 食事介助
3. 入浴介助
4. 排泄介助
5. その他の身体介助 (移動・更衣など)
6. レクリエーション
7. 直接介護を伴わない業務
8. 事務
9. その他 ( )
10. 特にない

④ 外国籍を有する方への教育はどのようにしていますか (いくつでも○)。

1. 事業所で直接研修を行っている
2. 法人 (本社) で研修を行っている
3. 外部で行うセミナーに参加している
4. その他 ( )
5. 特に行っていない

⑤ 外国籍を有する方を採用して感じたメリットを教えてください (いくつでも○)。

1. 勤勉でまじめな人が多い
2. 業務に前向きに取り組んでいる
3. 利用者が喜ぶ
4. 定着率が高い
5. その他 ( )
6. メリットを感じない



問7 (5) で「1」と回答した方にお伺いします。

⑥ 外国籍を有する方を採用して感じた課題や困難を感じたことを教えてください (いくつでも○)。

|                   |               |
|-------------------|---------------|
| 1. 日本語でのコミュニケーション | 5. 金銭的負担      |
| 2. 文化や習慣の違い       | 6. 既存職員との関係構築 |
| 3. 教育・指導の負担       | 7. その他 ( )    |
| 4. 手続きや制度の煩雑さ     | 8. 課題や困難を感じない |

問7 (5) で「2」と回答した方にお伺いします。

⑦ 外国籍を有する方を採用していない理由は何ですか (いくつでも○)。

|                        |                 |
|------------------------|-----------------|
| 1. 金銭的な負担が重い           | 5. コミュニケーションが不安 |
| 2. フォロー体制が整わない         | 6. 帰国が予想され定着しない |
| 3. 募集・採用の仕方が分からない      | 7. その他 ( )      |
| 4. 利用者からの反対がある (想定される) |                 |

(6) 外国籍を有する方の採用・定着のために必要だと感じる支援を教えてください (いくつでも○)。

|                        |                    |
|------------------------|--------------------|
| 1. 採用や制度に関する事業者向けセミナー  | 5. 行政手続き・制度活用のサポート |
| 2. 区主催の介護専門用語研修の実施     | 6. その他 ( )         |
| 3. 採用や募集に関する相談窓口       | 7. 特 に ない          |
| 4. 外国人従事者が困りごとを相談できる窓口 |                    |

(7) スポットワーク (単発・短時間勤務の人材活用) を導入していますか (1つに○)。

|           |            |
|-----------|------------|
| 1. 導入している | 2. 導入していない |
|-----------|------------|

問7 (7) で「1」と回答した方にお伺いします。

① どの業務にスポットワークを導入しているか教えてください (いくつでも○)。

|         |                |
|---------|----------------|
| 1. 配膳   | 5. レクリエーション    |
| 2. 食事介助 | 6. 直接介護を伴わない業務 |
| 3. 入浴介助 | 7. 事務          |
| 4. 排泄介助 | 8. その他 ( )     |

② スポットワークを導入して感じたメリットを教えてください (いくつでも○)。

|                            |                |
|----------------------------|----------------|
| 1. 急な人手不足に対応できる            | 4. 正規雇用につなげられる |
| 2. 直接雇用より社会保険料などの金銭的負担が少ない | 5. その他 ( )     |
| 3. 有資格者が多く即戦力になる           | 6. メリットを感じない   |

問7 (7) で「1」と回答した方にお伺いします。

③ スポットワークを導入して感じた課題を教えてください (いくつでも○)。

|                                  |                                   |
|----------------------------------|-----------------------------------|
| 1. スキルの足りない方が来る                  | 4. 継続して来てほしい方がいても回数制限があるため来てもらえない |
| 2. 毎回違う方が来るため利用者が混乱する            | 5. その他 ( )                        |
| 3. 違う人が来るたび業務レクチャーをしなければいけない煩わしさ | 6. 特 に ない                         |

問7 (7) で「2」と回答した方にお伺いします。

④ スポットワークを導入していない理由を教えてください (いくつでも○)。

|                    |                |
|--------------------|----------------|
| 1. 人員が足りている        | 5. 利用の方がわからない  |
| 2. スポットワークで補う業務がない | 6. 採用する人材の質が不安 |
| 3. 金銭的負担が大きい       | 7. その他 ( )     |
| 4. フォロー体制が整わない     |                |

(8) スポットワークを利用するために必要だと感じる支援を教えてください (いくつでも○)。

|                     |              |
|---------------------|--------------|
| 1. 制度や活用方法を説明するセミナー | 4. 事業者向け相談窓口 |
| 2. 導入に向けたコンサルティング   | 5. その他 ( )   |
| 3. スポットワーク人材との相談窓口  |              |

(9) 令和6年(1月から12月)の入職率と離職率についてお答えください (それぞれ1つに○)。

① 正規職員について

【入職率】令和6年年初の正規職員数に対する令和6年の入職者(正規職員)数の割合

|             |             |
|-------------|-------------|
| 1. 0～10%未満  | 4. 30～40%未満 |
| 2. 10～20%未満 | 5. 40～50%未満 |
| 3. 20～30%未満 | 6. 50%以上    |

【離職率】令和6年年初の正規職員数に対する令和6年の離職者(正規職員)数の割合

|             |             |
|-------------|-------------|
| 1. 0～10%未満  | 4. 30～40%未満 |
| 2. 10～20%未満 | 5. 40～50%未満 |
| 3. 20～30%未満 | 6. 50%以上    |

② 非正規職員について

【入職率】令和6年年初の非正規職員数に対する令和6年の入職者(非正規職員)数の割合

|             |             |
|-------------|-------------|
| 1. 0～10%未満  | 4. 30～40%未満 |
| 2. 10～20%未満 | 5. 40～50%未満 |
| 3. 20～30%未満 | 6. 50%以上    |

【離職率】令和6年年初の非正規職員数に対する令和6年の離職者(非正規職員)数の割合

|             |             |
|-------------|-------------|
| 1. 0～10%未満  | 4. 30～40%未満 |
| 2. 10～20%未満 | 5. 40～50%未満 |
| 3. 20～30%未満 | 6. 50%以上    |

問8 業務効率化について

(1) ロボットやIoTを導入している分野はありますか（いくつでもO）。

|                  |               |
|------------------|---------------|
| 1. 見守り支援         | 4. カルテ入力等業務支援 |
| 2. 要介助者支援        | 5. その他（ ）     |
| 3. コミュニケーションロボット | 6. 導入していない    |

(2) ロボットやIoTの導入を検討している分野はありますか（いくつでもO）。

|                  |               |
|------------------|---------------|
| 1. 見守り支援         | 4. カルテ入力等業務支援 |
| 2. 要介助者支援        | 5. その他（ ）     |
| 3. コミュニケーションロボット | 6. 導入を検討していない |

(3) 現在、事務負担はどの程度ですか（1つにO）。

|          |         |          |
|----------|---------|----------|
| 1. とても重い | 2. 少し重い | 3. 重たくない |
|----------|---------|----------|

問9 その他（景況感、困難事例、要望など）

(1) 直近の介護報酬改定前と比較して、令和6年度の経営状況はいかがですか（1つにO）。

|          |           |          |
|----------|-----------|----------|
| 1. 良好である | 2. 悪化している | 3. 変わらない |
|----------|-----------|----------|

(2) 令和6年度と比較して、令和7年度（見込み）の経営状況はいかがですか（1つにO）。

|          |           |          |
|----------|-----------|----------|
| 1. 良好である | 2. 悪化している | 3. 変わらない |
|----------|-----------|----------|

(10) 貴事業所は今年度に賃上げを行いましたか（1つにO）。

|            |             |               |
|------------|-------------|---------------|
| 1. 賃上げを行った | 2. 賃上げを行う予定 | 3. 賃上げを行っていない |
|------------|-------------|---------------|

問7 (11)へ

問7 (10)で「1」「2」と回答した方にお伺いします。

① 職員1人あたりの賃上げ平均額は月額（換算）でいくらですか（1つにO）。

|                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 1. 1円～5,000円      | 4. 10,001円～15,000円 |
| 2. 5,001円～8,000円  | 5. 15,001円以上       |
| 3. 8,001円～10,000円 |                    |

(11) ボランティアの受け入れはしていますか（1つにO）。

|            |             |
|------------|-------------|
| 1. 受け入れている | 2. 受け入れていない |
|------------|-------------|

問7 (11)へ

問7 (11)で「1」と回答した方にお伺いします。

① ボランティアの活動内容は何か（いくつでもO）。

|                         |
|-------------------------|
| 1. 足立区元気応援ポイント事業に登録している |
| 2. 定期的な行事・習い事の実施        |
| 3. 介護補助やお手伝い            |
| 4. その他（ ）               |

② ボランティアを受け入れる際の課題や注意していることは何ですか（いくつでもO）。

|                                        |                  |
|----------------------------------------|------------------|
| 1. 実費・交通費の有無                           | 4. 個人情報保護        |
| 2. 認識合わせ                               | 5. より多くの高齢入居者の参加 |
| （ボランティア、事業所、入居者間）                      | 6. その他（ ）        |
| 3. ボランティア担当者の人柄・経験（介助経験、レク・傾聴ボランティア可能） |                  |

問7 (11)で「2」と回答した方にお伺いします。

③ ボランティアを受け入れていない理由は何ですか（いくつでもO）。

|                         |
|-------------------------|
| 1. 体制が整っていない、受け入れ体制がない  |
| 2. 医療が中心のためボランティアの役割がない |
| 3. ボランティアの話題がないため分らない   |
| 4. 安全面を考慮して受け入れていない     |
| 5. その他（ ）               |

(3) 利用者へのサービス提供を行う中で、気になる相談を受けたり、対応困難な事例に遭遇したことがありますか（いくつでも○）。

|                                      |                                 |
|--------------------------------------|---------------------------------|
| 1. 経済的な困窮                            | 7. 介護が必要と思われるが誰にもつながら           |
| 2. ヤングケアラー                           | つていない高齢者                        |
| 3. ダブルケア                             | 8. 医療の受診拒否                      |
| 4. ひきこもり状態の家族がいる                     | 9. サービスの利用拒否                    |
| 5. 障がい者を疑う家族がいる                      | 10. 心を開かない高齢者                   |
| 6. ごみ屋敷                              | 11. その他（                      ） |
| 12. 特になし                      問9（4）へ |                                 |

問9（3）で「1」～「11」と回答した方にお伺いします。

① 気になった相談や困難事例を誰に相談していますか（いくつでも○）。

|                |                                |
|----------------|--------------------------------|
| 1. 上司や同僚       | 5. 区役所の担当課                     |
| 2. 法人、事業所の相談窓口 | 6. 地域包括支援センター                  |
| 3. 利用者や利用者の家族  | 7. その他（                      ） |
| 4. 医療機関        | 8. 守秘義務があり、誰にも相談できていない         |

② 気になった相談や困難事例の対応にあたり、誰と連携したいと思いますか（いくつでも○）。

|                  |                                 |
|------------------|---------------------------------|
| 1. 区役所（障がい担当部署）  | 9. 医療機関                         |
| 2. 区役所（子ども担当部署）  | 10. 教職員、スクールソーシャルワーカー           |
| 3. 区役所（生活困窮担当部署） | 11. 弁護士                         |
| 4. 区役所（高齢者担当部署）  | 12. 税理士、ファイナンシャルプランナー           |
| 5. 区役所（教育委員会）    | 13. 各種保護者会、当事者会                 |
| 6. 障がい支援機関       | 14. 民生委員・児童委員                   |
| 7. 子ども（学習）支援機関   | 15. 社会福祉協議会                     |
| 8. 生活困窮者支援機関     | 16. その他（                      ） |

(4) 都や区の支援についてどのような手段で情報を得ているか教えてください（いくつでも○）。

|               |                                |
|---------------|--------------------------------|
| 1. 都や区のホームページ | 4. 民間の情報サイト                    |
| 2. 広報紙        | 5. その他（                      ） |
| 3. 都や区からのメール  |                                |

(5) 高齢者虐待防止・身体拘束禁止に対する取り組みについて、特に重点を置いているものは何ですか（いくつでも○）。

|                                |
|--------------------------------|
| 1. 都道府県や団体等が実施している研修に参加        |
| 2. 事業所内で勉強会を開催                 |
| 3. 利用者の環境面での改善取り組み             |
| 4. 高齢者虐待防止や身体拘束禁止のためのマニュアル等の作成 |
| 5. 事件・事故などの事例収集・分析等            |
| 6. その他（                      ） |
| 7. 特になし                        |

(6) 事業を実施するうえで、利用者やその家族等との関係でどのような問題点や課題がありますか（いくつでも○）。

|                                          |
|------------------------------------------|
| 1. 利用者と契約をすることについて理解してもらえない              |
| 2. 利用者に利用料について理解してもらえない                  |
| 3. 利用料の未払いがある                            |
| 4. 入居退居時など、居宅介護支援事業所との連携がうまくいかない         |
| 5. サービス計画作成時の要望どおりにサービス提供することが難しい        |
| 6. 利用者本人と家族の意向が合わない                      |
| 7. サービスに関する苦情が多い                         |
| 8. 医療機関との連携がうまくいかない                      |
| 9. 保険給付対象外のサービスを断り切れない                   |
| 10. 入居時の保証人となる人がいない                      |
| 11. 入居者本人から医療同意が得られない場合、他に医療同意してくれる人がいない |
| 12. その他（                      ）          |
| 13. 特になし                                 |

(7) 事業所を経営するうえで、どのような問題点や課題がありますか（いくつでも○）。

|                    |                                 |
|--------------------|---------------------------------|
| 1. 利用者の確保が困難       | 8. 介護報酬に反映されない事務が多い             |
| 2. 人材の確保が困難        | 9. 運営・運転資金の確保が困難                |
| 3. 従業員の福利厚生など      | 10. 事務所の確保や維持が困難                |
| 4. 事務等の間接経費に負担が大きい | 11. 他事業所との競争が激しい                |
| 5. 人件費の負担が大きい      | 12. 職員の育成が困難                    |
| 6. 介護報酬請求事務の負担が大きい | 13. その他（                      ） |
| 7. 介護報酬が適正でない      | 14. 特になし                        |

問9 (8) で「1」～「8」と回答した方にお伺いします。

① 情報提供の手段は何ですか (いくつでも○)。

1. チラシ・パンフレット

2. インターネット

3. 館内での掲示物

4. その他 ( )

問9 (9) で「1」～「8」と回答した方にお伺いします。

① LIFE (科学的介護情報システム) を利用していますか (1つに○)。

1. 利用している

2. 利用していない

3. 利用を検討中

問9 (10) で「2」と回答した方にお伺いします。

① 利用していない理由は何ですか (いくつでも○)。

1. 導入の方法がわからないため

2. 日常業務の負担が増えるため

3. 負担に見合う加算が得られないため

4. 導入による効果がわからないため

5. その他 ( )

6. 対象施設ではない

問9 (11) 高齢者保健・福祉事業や介護保険制度について、区へのご要望、ご意見などがありましたら、お聞かせください。

問9 (8) 貴事業所では、利用者を含め区民に対してどのような情報提供を行っていますか (いくつでも○)。

1. 実施している介護サービスの種類や特徴

2. 事業所自身による、介護サービス提供内容等に関する自己評価

3. 介護サービス利用者による事業所の評価

4. 専門知識を持つ第三者による事業所の評価

5. 事業所の運営体制 (有資格従業員の状況、利用者に対する職員数の割合等)

6. 介護サービスの質の向上への取り組み内容 (研修実施、マニュアルの整備状況等)

7. 事業所の経営状況 (財務諸表等)

8. その他 ( )

9. 情報提供はしていない

616

—アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。—

18

10 サービス付き高齢者向け住宅調査

問1 事業所の基本情報について

(1) 事業所名をご記入ください。

事業所名

(2) 開設年月日をお答えください（数字を記入）。

西暦（      ）年（      ）月（      ）日

(3) 貴事業所の併設事業について、あてはまるものに○を付けてください（いくつでも○）。

1. 居宅介護支援

2. 介護予防支援

3. 訪問介護

4. 訪問入浴介護

5. 介護予防 訪問入浴介護

6. 訪問看護

7. 介護予防 訪問看護

8. 訪問リハビリテーション

9. 介護予防 訪問リハビリテーション

10. 通所介護

11. 通所リハビリテーション

12. 介護予防 通所リハビリテーション

13. 短期入所生活介護

14. 介護予防 短期入所生活介護

15. 短期入所療養介護

16. 介護予防 短期入所療養介護

17. 福祉用具貸与

18. 介護予防 福祉用具貸与

19. 特定福祉用具販売

20. 介護予防 特定福祉用具販売

21. 住宅改修

22. 特定施設入居者生活介護

23. 介護予防 特定施設入居者生活介護

24. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

25. 夜間対応型訪問介護

26. 地域密着型通所介護

27. 認知症対応型通所介護

28. 介護予防 認知症対応型通所介護

29. 小規模多機能型居宅介護

30. 介護予防 小規模多機能型居宅介護

31. 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

32. 介護予防 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

33. 看護小規模多機能型居宅介護

34. 介護老人福祉施設

35. 介護老人保健施設

36. 介護医療院

37. 居宅療養管理指導

38. 介護予防 居宅療養管理指導

39. 総合事業 訪問型サービス

40. 総合事業 通所型サービス

41. 病院・診療所

42. 地域包括支援センター

43. その他（      ）

44. なし

(4) 事業所の経営主体は何ですか（1つに○）。

1. 営利法人

2. 医療法人

3. 社会福祉法人

4. NPO法人

5. その他（      ）

(5) 経営主体の法人の所在地はどこですか（1つに○）。

1. 足立区内

2. 足立区外

(6) 貴法人は、貴事業所を含め、有料老人ホーム、軽費老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅を運営していますか。すべての箇所数をお答えください（1つに○。数字を記入）。

1. 本事業所のみ

2. （      ）か所

サービス付き高齢者向け住宅調査

皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。  
また、日頃から足立区の高齢者施策にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。  
本区では、令和8年度に「足立区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の見直しを行います。  
今回の調査は、計画の見直しにあたり、高齢者福祉に関する皆さまのお考えやご意見を伺うものです。いただいたお考えやご意見は、高齢者保健福祉計画策定にあたっての貴重な資料とさせていただきます。  
ご多忙のところ、誠に恐縮ではございますが、何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年11月吉日

【ご記入にあたってのお願い】

- 1 回答は事業者の代表者の方がご記入いただきますようお願いいたします。
- 2 回答にあたっては、質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲んでください。また、必要に応じて、数字やご意見のご記入をお願いいたします。
- 3 ご記入いただいたアンケートは、12月1日（月）までに同封の返信用封筒にてご返送ください（切手は不要です）。
- 4 この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

※ 本調査で得られた情報については、計画策定等の目的以外には利用いたしません。  
また、当該情報は足立区が適切に管理し、お答えいただいた事業所や個人のお考えが公表されることはありません。  
※ 数字を記入する設問で、無回答の場合は「0（ゼロ）」として集計します。

【調査主体・お問い合わせ先】

足立区 福祉部 高齢者施策推進室 介護保険課 介護保険係  
03-3880-5887（直通）（受付時間：土・日・祝日を除く午前8時30分～午後5時）

問2 サービス提供の状況について

(1) 実施しているサービスを教えてください（それぞれ1つに○・数字を記入）。

|                                |                                                          |
|--------------------------------|----------------------------------------------------------|
| ① 状況把握・生活相談                    | 1. 自ら実施している (月額 円)<br>2. 委託して実施している (月額 円)<br>3. 実施していない |
| ② 食事の提供                        | 1. 自ら実施している (月額 円)<br>2. 委託して実施している (月額 円)<br>3. 実施していない |
| ③ 入浴・排せつ・食事等の介護<br>[介護保険外サービス] | 1. 自ら実施している (月額 円)<br>2. 委託して実施している (月額 円)<br>3. 実施していない |
| ④ 調理・洗濯・掃除等の家事<br>[介護保険外サービス]  | 1. 自ら実施している (月額 円)<br>2. 委託して実施している (月額 円)<br>3. 実施していない |
| ⑤ 心身の健康の維持・増進                  | 1. 自ら実施している (月額 円)<br>2. 委託して実施している (月額 円)<br>3. 実施していない |
| ⑥ その他 ( )                      | 1. 自ら実施している (月額 円)<br>2. 委託して実施している (月額 円)<br>3. 実施していない |

問2 (1) ①で「1」「2」と回答した方にお伺いします。

|                       |                                                                                                                     |
|-----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 提供日 (1つに○)            | 1. 休業日なし<br>2. 休業日あり (具体的に )                                                                                        |
| 提供時間 (数字を記入)          | ( ) 時～ ( ) 時                                                                                                        |
| 職員配置数 (数字を記入)         | 日中 ( ) 人 夜間 ( ) 人                                                                                                   |
| 職員の資格 (いくつでも○)        | 1. 看護師<br>2. 介護福祉士<br>3. 介護支援専門員<br>4. 訪問介護員<br>5. その他 ( )                                                          |
| 状況把握の方法 (いくつでも○)      | 1. 食事の際の安否確認<br>2. 1日1回以上の訪問・訪室<br>3. 夜間の定期的な訪問<br>4. その他 ( )                                                       |
| 緊急通報 サービスの内容 (いくつでも○) | 1. ナースコールにて訪室<br>2. 医療機関への連絡、通院等手配、受診送迎<br>3. インターホン (緊急通報システム付き) 使用<br>4. 職員全員に緊急連絡先 (往診医・家族) 一覧表を携帯<br>5. その他 ( ) |

問3 入居・利用状況について

(1) 貴事業所の定員等につき、以下の質問にお答えください。

| ① 定員及び入居者数 (数字を記入) ※ 令和7年10月1日現在                                                   | 定員 ( ) 人<br>入居者数 ( ) 人 (内訳: 男 ( ) 人 女 ( ) 人)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |       |      |      |      |      |      |      |      |      |    |      |   |   |   |   |   |   |   |   |   |                      |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|----|------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ② 入居者の平均年齢 (数字を記入) ※ 令和7年10月1日現在                                                   | ( ) 歳                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |       |      |      |      |      |      |      |      |      |    |      |   |   |   |   |   |   |   |   |   |                      |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| ③ 入居者の要介護度別の人数 (数字を記入)<br>※ 令和7年10月1日現在<br>※ 空白は0人として集計します。                        | <table><tr><th>要介護度別</th><th>自立</th><th>要支援1</th><th>要支援2</th><th>要介護1</th><th>要介護2</th><th>要介護3</th><th>要介護4</th><th>要介護5</th><th>合計</th></tr><tr><td>入居者数</td><td>人</td><td>人</td><td>人</td><td>人</td><td>人</td><td>人</td><td>人</td><td>人</td><td>人</td></tr><tr><td>うち医療<br/>処置の必<br/>要な人数</td><td>人</td><td>人</td><td>人</td><td>人</td><td>人</td><td>人</td><td>人</td><td>人</td><td>人</td></tr></table> | 要介護度別 | 自立   | 要支援1 | 要支援2 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | 合計 | 入居者数 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | うち医療<br>処置の必<br>要な人数 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 |
| 要介護度別                                                                              | 自立                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 要支援1  | 要支援2 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | 合計   |      |    |      |   |   |   |   |   |   |   |   |   |                      |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 入居者数                                                                               | 人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 人     | 人    | 人    | 人    | 人    | 人    | 人    | 人    |      |    |      |   |   |   |   |   |   |   |   |   |                      |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| うち医療<br>処置の必<br>要な人数                                                               | 人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 人     | 人    | 人    | 人    | 人    | 人    | 人    | 人    |      |    |      |   |   |   |   |   |   |   |   |   |                      |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| ④ 入居者のうち住所地特例 (保険者が足立区外) の該当者数 (数字を記入)<br>※ 令和7年10月1日現在<br>※ 住所地特例の対象となっている事業所のみ回答 | ( ) 人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |       |      |      |      |      |      |      |      |      |    |      |   |   |   |   |   |   |   |   |   |                      |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| ⑤ 令和6年1月～12月までの入退居者数 (数字を記入)                                                       | 入居者数 ( ) 人 退居者数 ( ) 人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |       |      |      |      |      |      |      |      |      |    |      |   |   |   |   |   |   |   |   |   |                      |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| ⑥ 待機者数 (数字を記入) ※ 令和7年10月1日現在                                                       | ( ) 人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |       |      |      |      |      |      |      |      |      |    |      |   |   |   |   |   |   |   |   |   |                      |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| ⑦ 入居者の従前の住所地 (数字を記入) ※ 令和7年10月1日現在                                                 | 1. 足立区内 ( ) 人 2. 東京都内 ( ) 人 3. 他府県 ( ) 人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |       |      |      |      |      |      |      |      |      |    |      |   |   |   |   |   |   |   |   |   |                      |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| (2) 入居までに平均どのくらいかかりましたか (1つに○)。                                                    | 1. 1～3か月<br>2. 4～6か月<br>3. 7～9か月<br>4. 10～12か月<br>5. 1年以上～3年未満<br>6. 3年以上                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |       |      |      |      |      |      |      |      |      |    |      |   |   |   |   |   |   |   |   |   |                      |   |   |   |   |   |   |   |   |   |

(3) 入居の動機を把握されていますか（1つに○）。

1. 全て把握している 2. 一部把握している 3. 把握していない

問3 (4) へ

問3 (3) で「1」「2」と回答した方にお伺いします。

① 入居を決められた主な理由は何ですか (いくつでも○)。

|                       |                    |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 介護が必要になったため        | 6. 自宅の管理が大変になったため  |
| 2. 介護が必要になった時に備えて     | 7. ひとり暮らしが不安になったため |
| 3. 食事の提供があるから         | 8. セキュリティ面の安心から    |
| 4. 家事が負担になったため (外食以外) | (防犯、防災)            |
| 5. バリアフリー化されているから     | 9. その他 ( )         |

(4) 退居の主な理由は何ですか (3つまで)。

1. 死亡
2. 病院に入院
3. 家族の引き取り
4. 特別養護老人ホームに入所
5. 有料老人ホームに入居
6. サービス付き高齢者向け住宅に入居
7. その他の施設に入所  
(施設の種類: )
8. その他 ( )

(5) 貴事業所は医療処置が必要な方の入居を受け入れていますか（1つに○）。

3. 受け入れている  
1. 受け入れている  
2. 医療処置の対応が可能なお方のみ受け入れている

3. 受け入れていない

問3(6)へ

問3 (5) で「1」「2」と回答した方にお伺いします。

- ① 貴事業所で対応が可能な医療処置をお答えください（いくつでも○）。
1. 喀痰吸引
2. 吸入
  - (膀胱カテーテルを含む)
3. 鼻腔経管栄養
4. 瘻孔経管栄養
5. 中心静脈栄養
6. モニター測定
  - (心拍、血圧、酸素、飽和度)
7. 酸素療法
8. 気管切開
9. 人工呼吸器
10. ストーマ（人工肛門）
11. 留置尿道カテーテル
  - (膀胱カテーテルを含む)
12. 中心静脈点滴
13. 末梢静脈点滴
14. 褥瘡処置（Ⅲ度以上）
15. がん末期の疼痛管理
16. 腎透析（血液透析及び腹膜透析）
17. 自己注射（インスリンを含む）
18. その他の投薬管理（服薬介助を含む）
19. なし

(6) 貴事業所では、看取りを実施していますか（１つに○・数字を記入）。

※空白は0として集計します。

1. 実施している  
↓ (この1年の実績)  
2. 実施していない

問3 (7)へ

問3(6)で「2」と回答した方にお伺いします。

① 看取りを実施していない理由は何ですか（いくつでも○）。

|                 |                |
|-----------------|----------------|
| 1. 職員のスキル不足     | 3. 家族の理解が得られない |
| 2. 医療機関との連携が難しい | 4. その他（ ）      |

(7) 貴事業所の利用料等につき、以下の質問にお答えください（数字を記入）。

① 敷金（保証金）【代表的なプランでお答えください】

(                      ) 円

② 前払金（入所一時金）【代表的なプランで教えてください】

(                      ) 円

③ 月額利用料（賃料）【代表的なプランでお答えください】  
 (                      ) 円

④ 共益費・管理費【代表的なプランでお答えください】  
( ) 円

問4 地域や他機関との連携について

(1) 地域のどのような組織と連携をしていますか (いくつでも○)。

1. 自治会・町内会
2. ホランディアグループ
3. 家族会
4. 学校関係
5. 商店街、レストラン
6. その他( )
7. 連携をしていない

(2) 地域とどのような連携をしていますか（いくつかでも○）。

1. 地域の行事への参加
2. 講師として指導してもらう
3. 事業所イベントへの招待
4. 小学校・中学校の体験学習
5. 地元商店街での買い物
6. 認知症サポーター養成講座の開催
7. その他（ ）

(3) 医療機関との連携時に感じている課題を教えてください(いくつでも○)。

1. 連絡がつきにくい
2. 情報共有の不足・遅れ
3. 共通の連絡ツールがない
4. 介護保険サービスの理解不足
5. 利用者の支援方針の違い
6. その他（ ）

問5 利用者からの声について

(1) 令和6年度以降、利用者や家族からどのような要望・苦情がありましたか  
(いくつでも○)。

|                 |                            |
|-----------------|----------------------------|
| 1. 制度に関するもの     | 6. 施設・設備に関するもの             |
| 2. サービス内容に関するもの | 7. 保険外負担（その他日常生活費など）に関するもの |
| 3. 利用手続きに関するもの  | 8. その他（ ）                  |
| 4. 利用料に関するもの    | 9. 特に要望・苦情は受けていない          |
| 5. 職員の対応に関するもの  |                            |

(2) 利用者等から苦情があった場合、どのように対応していますか(いくつでも○)。

|                       |                               |
|-----------------------|-------------------------------|
| 1. 苦情処理担当者を置いている      | 5. 相談窓口である基幹地域包括支援センターに相談している |
| 2. 苦情処理対応マニュアルを作成している | 6. その他（ ）                     |
| 3. 国民健康保険団体連合会に相談している |                               |
| 4. 保険者である区に相談している     |                               |

(3) 利用者や家族の要望を積極的に取り入れるため、どのような取り組みを行っていますか（いくつでも○）。

|                                |
|--------------------------------|
| 1. 利用者にサービス計画を説明し要望を聞く機会を設けている |
| 2. 家族にサービス計画を説明し要望を聞く機会を設けている  |
| 3. 利用者・家族と話し合いの機会を定期的に設けている    |
| 4. 利用者の生活状況を記録し家族に連絡している       |
| 5. 利用者・家族を対象に相談・苦情窓口を設けている     |
| 6. 家族会を設置している                  |
| 7. その他（ ）                      |

(4) 入居者からの生活相談で1番多いものを教えてください(1つに○)。

|              |           |
|--------------|-----------|
| 1. 健康管理・体調不良 | 3. 経済的相談  |
| 2. 介護相談      | 4. その他（ ） |

問6 サービスの質の向上について

(1) 職員の教育に取り組んでいますか（1つに○）。

|            |             |
|------------|-------------|
| 1. 取り組んでいる | 2. 取り組んでいない |
|------------|-------------|

問6 (1) で「1」と回答した方にお伺いします。

① 職員の教育で力を入れていることは何ですか（いくつでも○）。

|                            |
|----------------------------|
| 1. 丁寧な言葉遣いや態度など、マナーについての指導 |
| 2. 身だしなみに関する指導             |
| 3. 技術・知識向上のための研修           |
| 4. 資格取得のための支援              |
| 5. リスクマネジメントに関する指導         |
| 6. その他（ ）                  |

問7 リスク管理について

(1) 貴事業所が行っている有事(感染症や自然災害)を想定した平時の備えについて、お答えください（いくつでも○）。

|                                   |
|-----------------------------------|
| 1. 備蓄対策                           |
| 2. 非常用電源の準備                       |
| 3. 施設の耐震対策（ガラスの飛散防止・棚類の転倒防止など）の実施 |
| 4. 防災訓練の実施                        |
| 5. 防災訓練などで近隣の住民組織（町内会、自主防災組織）と連携  |
| 6. ハザードマップで事業所の危険度を確認             |
| 7. 他組織との連携                        |
| 8. その他（ ）                         |
| 9. 特に取り組んでいない                     |

問7 (2) へ

問7 (1) で「1」と回答した方にお伺いします。

① 備蓄は定員および職員あわせて何日分準備していますか（数字を記入）。

|         |
|---------|
| （ ）日分程度 |
|---------|

(2) 有事（感染症や自然災害）が発生した際に貴事業所で取り決められている内容について、お答えください（いくつでも○）。

|                                        |
|----------------------------------------|
| 1. 災害に関する情報の入手方法                       |
| 2. 災害時の連絡先（自治体、家族、職員等）及び通信手段           |
| 3. 利用者の安否確認方法                          |
| 4. 避難を開始する時期及び判断基準                     |
| 5. 避難場所（区が指定する避難場所、施設内の安全なスペース等）       |
| 6. 避難経路及び所要時間                          |
| 7. 利用者ごとの避難方法（車いす、徒歩等）                 |
| 8. 垂直避難の判断                             |
| 9. 災害時の人員体制・指揮系統（参集方法、役割分担、避難に必要な職員数等） |
| 10. 他事業所からサービス提供を代替する方法の利用者・利用者の同意の取り方 |
| 11. サービス提供を代替する方法の利用者・利用者家族への周知の仕方     |
| 12. 介護サービス事業を継続するための人材確保方法             |
| 13. 報酬請求方法、記録の取り方                      |
| 14. 関係機関との連携体制                         |
| 15. 関係機関と連携にあたり必要な帳票                   |
| 16. その他（ ）                             |
| 17. 取り決めはない                            |



(3) 貴事業所では、職員の募集（採用）にあたりどのような工夫を行っていますか（1つに○・数字を記入）。

1. ハローワークに求人票を出している

2. 大学等に求人票を出している

3. 専門学校に求人票を出している

4. 高校に求人票を出している

5. 新聞の折り込み広告等に求人を掲載している

6. 職業紹介雑誌等に求人を掲載している

7. 就職相談会等の機会にブースを設けている

8. 関東圏域以外へ求人のため足を運んでいる

9. インターネット媒体を介して募集している

10. 友人・知人を介して募集している

11. 人材派遣会社に依頼している

12. 介護資格や介護経験の有無にこだわらないようにしている

13. 近隣の事業所と連携し、採用に関し情報交換をしている

14. 職場体験を実施している

15. 子育て支援を行っている（子ども預かり所を設ける、保育費用支援等）

16. 福利厚生を充実している

17. くるみん認定、その他国や地方自治体の認定等を取得している

18. 短時間等柔軟な勤務体制を整えている

19. 残業なしにしている

20. 外国籍を有する方を採用している

21. その他（ ）

(4) 職員の募集（採用）で効果のあったものは何ですか（3つまで数字を記入）。  
※ 問8（3）の設問から該当の番号を選んでください。

（ ）

（ ）

（ ）

（ ）

(5) 貴事業所では、外国籍を有する方を採用していますか（1つに○）。

1. 採用している

2. 採用していない

問8（5）⑦へ

問8（5）で「1」と回答した方にお伺いします。

① 採用した外国籍を有する方の在留資格を教えてください（いくつでも○）。

1. 技能実習

2. 介護福祉士候補（EPA）

3. 特定技能（介護）

4. 留学生（資格外活動）

5. 永住者・定住者

6. その他（ ）

(3) 貴事業所は令和6、7年に水害を含む避難訓練を実施しましたか（1つに○・数字を記入）。

1. 実施した→（年 回数度）

2. 実施していない→（実施予定時期 年 月頃）

問8へ

問7（3）で「1」と回答した方にお伺いします。

① 実施した避難訓練に介護度の最も重い方は参加しましたか（実際に避難しましたか）（1つに○）。

1. 避難した

2. 避難していない

問8 人材確保について

(1) 貴事業所では、生活相談員等の人材は確保できていますか（1つに○）。

1. 確保できている

2. 概ね確保できている

3. 確保が難しいこともある

4. 確保できていない

問8（2）へ

問8（1）で「3」「4」と回答した方にお伺いします。

① その理由は何ですか（いくつでも○）。

1. 求人・募集に対し応募が少ない（または応募がない）

2. 求める人材の応募が少ない（または応募がない）

3. 給与が労働条件に見合わない

4. 離職・退職者が多い

5. 重労働である・そのイメージがある

6. 介護への理解・関心が低い

7. 施設へ人材が流れてしまう

8. 福利厚生等の労働環境が整っていない

9. 地域の特性

10. 感染症への不安がある

11. その他（ ）

(2) 人材確保支援策として有効だと思われるものは何ですか（いくつでも○）。

1. 給与・待遇の改善

2. 募集方法の改善

3. 職場環境・勤務体制の改善

4. 福利厚生の充実

5. 研修・教育等の充実

6. 業務内容の見直し

7. 介護職員の資格取得支援

8. 行政機関がトライアル期間の給与を負担

9. 行政機関主催の就職相談・面接会

10. 復職者向けセミナー

11. 新規就職者向けセミナー

12. 介護業務体験

13. その他（ ）

問8 (5) で「1」と回答した方にお伺いします。

② 外国籍を有する方を採用した主な理由を教えてください (いくつでも○)。

1. 人手不足解消

2. 若い人材の確保

3. 長く働いてくれることの期待

4. 採用に係る東京都などの補助金・助成金が充実している

5. 国際貢献・多様性の尊重

6. その他 ( )

③ 外国籍を有する方が行っている主な業務は何ですか (いくつでも○)。

1. 配膳

2. 食事介助

3. 入浴介助

4. 排泄介助

5. その他の身体介助 (移動・更衣など)

6. レクリエーション

7. 直接介護を伴わない業務

8. 事務

9. その他 ( )

10. 特にない

④ 外国籍を有する方への教育はどのようにしていますか (いくつでも○)。

1. 事業所で直接研修を行っている

2. 法人 (本社) で研修を行っている

3. 外部で行うセミナーに参加している

4. その他 ( )

5. 特に行っていない

⑤ 外国籍を有する方を採用して感じたメリットを教えてください (いくつでも○)。

1. 勤勉でまじめな人が多い

2. 業務に前向きに取り組んでいる

3. 利用者が喜ぶ

4. 定着率が高い

5. その他 ( )

6. メリットを感じない

⑥ 外国籍を有する方を採用して感じた課題や困難を感じたことを教えてください (いくつでも○)。

1. 日本語でのコミュニケーション

2. 文化や習慣の違い

3. 教育・指導の負担

4. 手続きや制度の煩雑さ

5. 金銭的負担

6. 既存職員との関係構築

7. その他 ( )

8. 課題や困難を感じない

問8 (5) で「2」と回答した方にお伺いします。

⑦ 外国籍を有する方を採用していない理由は何ですか (いくつでも○)。

1. 金銭的な負担が重い

2. フォロー体制が整わない

3. 募集・採用の仕方が分からない

4. 利用者からの反対がある (想定される)

5. コミュニケーションが不安

6. 帰国が予想され定着しない

7. その他 ( )

問8 (5) で「1」と回答した方にお伺いします。

② 外国籍を有する方を採用・定着のために必要だと感じる支援を教えてください (いくつでも○)。

1. 採用や制度に関する事業者向けセミナー

2. 区主催の介護専門用語研修の実施

3. 採用や募集に関する相談窓口

4. 外国人従事者が困りごとを相談できる窓口

5. 行政手続き・制度活用サポート

6. その他 ( )

7. 特にない

⑦ スポットワーク (単発・短時間勤務の人材活用) を導入していますか (1つに○)。

1. 導入している

2. 導入していない

問8 (7) で「1」と回答した方にお伺いします。

① どの業務にスポットワークを導入しているか教えてください (いくつでも○)。

1. 配膳

2. 食事介助

3. 入浴介助

4. 排泄介助

5. レクリエーション

6. 直接介護を伴わない業務

7. 事務

8. その他 ( )

② スポットワークを導入して感じたメリットを教えてください (いくつでも○)。

1. 急な人手不足に対応できる

2. 直接雇用より社会保険料などの金銭的負担が少ない

3. 有資格者が多く即戦力になる

4. 正規雇用につなげられる

5. その他 ( )

6. メリットを感じない

③ スポットワークを導入して感じた課題を教えてください (いくつでも○)。

1. スキルの足りない方が来る

2. 毎回違う方が来るため利用者が混乱する

3. 違う人が来るたび業務レクチャーをしなければいけない煩わしさ

4. 継続して来てほしい方がいても回数制限があるため来てもらえない

5. その他 ( )

6. 特にない

問8 (7) で「2」と回答した方にお伺いします。

④ スポットワークを導入していない理由を教えてください (いくつでも○)。

1. 人員が足りている

2. スポットワークで賄う業務がない

3. 金銭的負担が大きい

4. フォロー体制が整わない

5. 利用の方がわからない

6. 採用する人材の質が不安

7. その他 ( )

11

622

問9 業務効率化について

(1) ロボットやIoTを導入している分野はありますか（いくつでもO）。

1. 見守り支援

4. カルテ入力等業務支援

2. 要介助者支援

5. その他（ ）

3. コミュニケーションロボット

6. 導入していない

(2) ロボットやIoTの導入を検討している分野はありますか（いくつでもO）。

1. 見守り支援

4. カルテ入力等業務支援

2. 要介助者支援

5. その他（ ）

3. コミュニケーションロボット

6. 導入を検討していない

(3) 現在、事務負担はどの程度ですか（1つにO）。

1. とても重い

2. 少し重い

3. 重たくない

問10 その他（景況感、困難事例、要望など）

(1) 直近の介護報酬改定前と比較して、令和6年度の経営状況はいかがですか（1つにO）。

1. 良好である

2. 悪化している

3. 変わらない

(2) 令和6年度と比較して、令和7年度（見込み）の経営状況はいかがですか（1つにO）。

1. 良好である

2. 悪化している

3. 変わらない

(8) スポットワークを利用するために必要だと感じる支援を教えてください（いくつでもO）。

1. 制度や活用方法を説明するセミナー

4. 事業者向け相談窓口

2. 導入に向けたコンサルティング

5. その他（ ）

3. スポットワーク人材との相談窓口

(9) 令和6年（1月から12月）の入職率と離職率についてお答えください（それぞれ1つにO）。

① 正規職員について

【入職率】令和6年年初の正規職員数に対する令和6年の入職者（正規職員）数の割合

1. 0～10%未満

4. 30～40%未満

2. 10～20%未満

5. 40～50%未満

3. 20～30%未満

6. 50%以上

【離職率】令和6年年初の正規職員数に対する令和6年の離職者（正規職員）数の割合

1. 0～10%未満

4. 30～40%未満

2. 10～20%未満

5. 40～50%未満

3. 20～30%未満

6. 50%以上

② 非正規職員について

【入職率】令和6年年初の非正規職員数に対する令和6年の入職者（非正規職員）数の割合

1. 0～10%未満

4. 30～40%未満

2. 10～20%未満

5. 40～50%未満

3. 20～30%未満

6. 50%以上

【離職率】令和6年年初の非正規職員数に対する令和6年の離職者（非正規職員）数の割合

1. 0～10%未満

4. 30～40%未満

2. 10～20%未満

5. 40～50%未満

3. 20～30%未満

6. 50%以上

(10) 貴事業所は今年度に賃上げを行いましたか（1つにO）。

1. 賃上げを行った

2. 賃上げを行う予定

3. 賃上げを行っていない

問8 (10) で「1」「2」と回答した方にお伺いします。

① 職員1人あたりの賃上げ平均額は月額（換算）でいくらですか（1つにO）。

1. 1円～5,000円

4. 10,001円～15,000円

2. 5,001円～8,000円

5. 15,001円以上

3. 8,001円～10,000円

12

623

(5) 貴事業所では、どのような方法で入居者の募集を行っていますか  
(いくつでも○)。

|               |                 |
|---------------|-----------------|
| 1. チラシ・パンフレット | 3. 新聞・雑誌 (広告記事) |
| 2. インターネット    | 4. その他 ( )      |

(6) 高齢者保健・福祉事業や介護保険制度について、区へのご要望、ご意見などがありましたら、お聞かせください。

—アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。—

(3) 利用者へのサービス提供を行う中で、気になる相談を受けたり、対応困難な事例に遭遇したことがありますか (いくつでも○)。

|                  |                            |
|------------------|----------------------------|
| 1. 経済的な困窮        | 7. 介護が必要と思われるか誰にもつながらない高齢者 |
| 2. ヤングケアラー       | 8. 医療の受診拒否                 |
| 3. ダブルケア         | 9. サービスの利用拒否               |
| 4. ひきこもり状態の家族がいる | 10. 心を開かない高齢者              |
| 5. 障がい者を疑う家族がいる  | 11. その他 ( )                |
| 6. ごみ屋敷          | 12. 特になし → 問 10 (4) へ      |

問 10 (3) で「1」～「11」と回答した方にお伺いします。

① 気になった相談や困難事例を誰に相談していますか (いくつでも○)。

|                |                      |
|----------------|----------------------|
| 1. 上司や同僚       | 5. 区役所の担当課           |
| 2. 法人、事業所の相談窓口 | 6. 地域包括支援センター        |
| 3. 利用者や利用者の家族  | 7. その他 ( )           |
| 4. 医療機関        | 8. 守秘義務があり、誰にも相談できない |

② 気になった相談や困難事例の対応にあたり、誰と連携したいと思いますか (いくつでも○)。

|                   |                       |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 区役所 (障がい担当部署)  | 9. 医療機関               |
| 2. 区役所 (子ども担当部署)  | 10. 教職員、スクールソーシャルワーカー |
| 3. 区役所 (生活困窮担当部署) | 11. 弁護士               |
| 4. 区役所 (高齢者担当部署)  | 12. 税理士、ファイナンシャルプランナー |
| 5. 区役所 (教育委員会)    | 13. 各種保護者会、当事者会       |
| 6. 障がい支援機関        | 14. 民生委員・児童委員         |
| 7. 子ども (学習) 支援機関  | 15. 社会福祉協議会           |
| 8. 生活困窮者支援機関      | 16. その他 ( )           |

(4) 都や区の支援についてどのような手段で情報を得ているか教えてください (いくつでも○)。

|               |             |
|---------------|-------------|
| 1. 都や区のホームページ | 4. 民間の情報サイト |
| 2. 広報紙        | 5. その他 ( )  |
| 3. 都や区からのメール  |             |

## 足立区高齢者等実態調査報告書

令和 8 年6月 発行

発 行 足立区

編 集 足立区 福祉部 高齢者施策推進室

高齢福祉課

高齢者はつらつ支援課

医療介護連携課

介護保険課

東京都足立区中央本町1-17-1

電話:03-3880-5111(代表)

